大判プリンター

iPF8400

ユーザーズガイド

印刷の流れ 19

さまざまな印刷方法 33
- 拡大／縮小して印刷する ... 63
- 原寸で印刷する ... 76
- フチなしで印刷する ... 86
- 垂れ幕など定形外の用紙に印刷する ... 98
- 分割して印刷する／まとめて印刷する ... 110
- 用紙の中央に印刷する ... 125
- など

Windows ソフトウエア 155
- プリンタドライバ ... 156
- Preview ... 188
- フリーレイアウト ... 198
- Color imageRUNNER 連携拡大コピー ... 219
- Print Plug-In for Photoshop / Digital Photo Professional ... 228
- Layout Plug-In for Photoshop ... 282
- Print Plug-In for Office ... 286
- など

Mac OS X ソフトウエア 325
- プリンタドライバ ... 326
- Preview ... 347
- Free Layout ... 372
- Color imageRUNNER 連携拡大コピー ... 399
- Print Plug-In for Photoshop / Digital Photo Professional ... 414
- Layout Plug-In for Photoshop ... 468
- など

用紙の取り扱いと活用 473

操作パネル 587

プリンタの各部 621

ネットワークの設定 637

印刷ジョブの管理 671

画質の調整と改善 725

色の管理 741

メンテナンスと消耗品 817

困ったときには 863

エラーメッセージ 893

仕様 919

付録 923

本プリンタのマニュアル
- セットアップガイド
- 基本操作ガイド
- ユーザーズガイド 電子マニュアル
- 用紙リファレンスガイド 電子マニュアル

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

ver1.00　2012-07-13

メモ

本書は、プリンタに同梱の「User Manuals CD-ROM」に収録されている HTML 形式の製品マニュアルを、簡単に印刷できるよう PDF 形式にしたものです。そのため、一部 HTML 形式にのみ適用される説明文や、使用できない機能(動画表示機能など)があります。あらかじめご了承ください。

目次

印刷の流れ

印刷の流れ 19

印刷の手順 20

ロール紙印刷とカット紙印刷でできること 20
電源をオン/オフにする 21
ロール紙をセットして印刷する 22
カット紙をセットして印刷する 25
Windows から印刷する 26
Mac OS X から印刷する 27

印刷の中止 28

操作パネルから印刷を中止する 28
Windows から印刷を中止する 29
Mac OS X から印刷を中止する 29

印刷の一時停止 31

印刷を一時停止状態にする 31

さまざまな印刷方法

さまざまな印刷方法 33

用紙を選択する 34

用紙の種類を選択して印刷する 34
プリンタドライバで用紙を指定する 34

写真やオフィス文書を印刷する 35

写真やイラストを印刷する 35
　写真やイラストを印刷する (Windows) 36
　写真やイラストを印刷する (Mac OS X) 37
Photoshop で印刷する 40
　Adobe RGB 画像を印刷する (Windows) 40
　Adobe RGB 画像を印刷する (Mac OS X) 43
オフィスの文書を印刷する 45
　オフィスの文書を印刷する (Windows) 45
　オフィスの文書を印刷する (Mac OS X) 47
PosterArtist で編集して印刷する 48

画像を調整する 51

プリンタドライバで色を調整して印刷する 51
　写真やイラストの色を微調整して印刷する (Windows) 52
　写真やイラストの色を微調整して印刷する (Mac OS X) 55
印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する 57
　印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する (Windows) 59
　印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する (Mac OS X) 60

拡大／縮小して印刷する 63

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する 63
　用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する (Windows) 63
　用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する (Mac OS X) 65
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する 67
　ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する (Windows) 67
　ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する (Mac OS X) 69
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する 71
　指定した倍率で拡大/縮小して印刷する (Windows) 71
　指定した倍率で拡大/縮小して印刷する (Mac OS X) 73

原寸で印刷する 76

オーバーサイズの用紙サイズに印刷する 76
　原稿サイズの全面を原寸で印刷する (Windows) 77
　原稿サイズの全面を原寸で印刷する (Mac OS X) 78

原寸大のフチなしで印刷する 80
原寸大のフチなしで印刷する(Windows) 81
原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X) 83

フチなしで印刷する 86

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する 86
用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Windows) 87
用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) 89
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する 92
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows) 93
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) 95

垂れ幕など定形外の用紙に印刷する 98

垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷) 98
垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Windows) 98
垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Mac OS X) 102
定形外の用紙に印刷する 105
定形外の用紙に印刷する(Windows) 105
定形外の用紙に印刷する(Mac OS X) 107

分割して印刷する／まとめて印刷する 110

複数の原稿を並べて印刷する 110
複数の原稿を並べて印刷する(Windows) 111
複数の原稿を並べて印刷する(Mac OS X) 112
複数ページをつなげて印刷する 114
複数ページをつなげて印刷する(Windows) 114
複数ページをつなげて印刷する(Mac OS X) 115
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する 117
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Windows) 118
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Mac OS X) 119
ポスターを分割して印刷する 122
大きなポスターを印刷する(Windows) 122

用紙の中央に印刷する 125

原稿をロール紙の中央に印刷する 125
原稿をロール紙の中央に印刷する(Windows) 125
原稿をロール紙の中央に印刷する(Mac OS X) 127
原稿をカット紙の中央に印刷する 129
原稿をカット紙の中央に印刷する(Windows) 129
原稿をカット紙の中央に印刷する(Mac OS X) 131

ロール紙を節約して印刷する 134

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する 134
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Windows) 134
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Mac OS X) 135
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する 138
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows) 138
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X) 140

印刷前に確認する 143

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する 143

その他の便利な設定 144

スタンプを押して印刷する 144
COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する(Windows) 145
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する 146
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Windows) 147
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Mac OS X) 148
お気に入りの設定で印刷する 150
印刷後にロール紙をカットする 150
印刷後にロール紙をカットする(Windows) 151
印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X) 151

Windows ソフトウエア 155

プリンタドライバ 156

プリンタドライバの設定項目 156
プリンタドライバで用紙を指定する 157
印刷の設定を確認する 159
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する 159
お気に入りの設定で印刷する 160
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 162
システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 163
基本設定シート 164
- プリンタの用紙情報ダイアログボックス 167
- 用紙の詳細設定ダイアログボックス 167
- 印刷目的の設定確認ダイアログボックス 169
- 色調整シート(カラー) 169
- 調整の対象ダイアログボックス(カラー) 171
- マッチングシート 171
- 色調整シート(モノクロ) 174
- 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) 175
- グレー調整シート 175

ページ設定シート 176
- 出力方法ダイアログボックス 179
- ユーザ用紙設定ダイアログボックス 180

レイアウトシート 181
- ページオプションダイアログボックス 182
- 処理オプションダイアログボックス 183

お気に入りシート 184
ユーティリティシート 185
サポートシート 186
- 設定一覧ダイアログボックス 186

デバイス設定シート 187

Preview 188

Preview の特長 188
Preview の起動方法 188
Preview メインウィンドウ 189
ダイアログエリア 191
画面表示を拡大/縮小する 192
ページを移動する 192
ルーラーを使用する 192
90 度回転の優先設定を行う 193
レイアウトを選択して印刷する 194
中央に印刷する 196
上下の余白を印刷しない 197

フリーレイアウト 198

フリーレイアウトの特長 198
フリーレイアウトの起動方法 198
フリーレイアウト メインウィンドウ 200
詳細設定ダイアログ 201
環境設定ダイアログボックス 201
ページオプションダイアログボックス 202
ズームダイアログボックス 203
書式設定ダイアログボックス 204
複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する 205
複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する 207
オブジェクトを選択する 209
オブジェクトのサイズを変更する 210
オブジェクトを移動する 211
オブジェクトを回転する 211
オブジェクトを自動配置する 211
オブジェクトを整列する 212

オブジェクトの重なり順を変更する 213
コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける 214
折り返し両面ウィンドウ 215
仕上りサイズ設定ダイアログボックス 216
とじしろ設定ダイアログボックス 217
折り返し両面で印刷する 217

Color imageRUNNER 連携拡大コピー 219

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長 219
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 219
Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス 220
ホットフォルダ 221
ホットフォルダを新規作成する 221
既存の共有フォルダをホットフォルダに指定する 224
印刷について設定する 226
Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する 227

Print Plug-In for Photoshop / Digital Photo Professional 228

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の特長 229
インストール手順 229
アンインストール手順 232
Photoshop からの起動方法 232
Digital Photo Professional からの起動方法 233
Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional メインウィンドウ 234
プレビューエリア 236
基本設定シート 237
ページ設定シート 240
色設定シート(カラー) 242
色設定シート(モノクロ) 243
印刷履歴シート 244
サポートシート 245
調整パターン設定ダイアログボックス 246
用紙の詳細設定ダイアログボックス 249
環境設定ダイアログボックス 250
ICC 変換オプションダイアログボックス 251
ロール紙オプションダイアログボックス 252
ユーザ用紙設定ダイアログボックス 252
トーンカーブダイアログボックス 253
印刷履歴の詳細ダイアログボックス 254
3 種類のプレビューを活用する 255
印刷範囲レイアウトで画像を確認する 255
画像で元画像を確認する 256
ロール紙プレビューで画像を確認する 256
お好みの画質で印刷する 257
色を調整して印刷する 257
プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合) 258
プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合) 259
カラーマッチングで色を調整する 261
Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する 262
高品質なモノクロの写真を印刷する 263
Adobe CMM を使用する 263
調整パターンを印刷して調整値を選択する 265
黒点補正を行う 266
印刷機のシミュレーション印刷を行う 267
拡大/縮小して印刷する 267
出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する 268
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する 268
倍率を指定して拡大/縮小印刷する 270
フチなしで印刷する 270
用紙の設定をカスタマイズする 271
印刷履歴を活用する 272
印刷履歴の詳細を確認する 272
印刷履歴を画像に適用する 273

印刷履歴をお気に入りに登録する ... 273
印刷履歴を削除する ... 275
お気に入りの印刷履歴を書き出す ... 277
お気に入りに印刷履歴を読み込む ... 278
お気に入りから印刷履歴を削除する ... 279
情報を画像とともに印刷するよう設定する ... 280

Layout Plug-In for Photoshop ... 282

Layout Plug-In について ... 282
Layout Plug-In メインウィンドウ ... 282
フレームサイズの追加ダイアログボックス ... 284
フレーム装丁用のレイアウトイメージを作成して印刷する ... 285

Print Plug-In for Office ... 286

Print Plug-In for Office の特長 ... 286
インストール手順 ... 286
アンインストール手順 ... 289
Print Plug-In for Office が表示されないときには ... 289
Microsoft Word からの起動方法 ... 292
ロール紙幅に合わせて印刷する(Word) ... 294
フチなし印刷する(Word) ... 296
割り付け印刷する(Word) ... 298
設定を登録する(Word) ... 299
登録した設定で印刷する(Word) ... 300
垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(Word) ... 301
Microsoft PowerPoint からの起動方法 ... 303
ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint) ... 305
フチなし印刷する(PowerPoint) ... 306
割り付け印刷する(PowerPoint) ... 309
設定を登録する(PowerPoint) ... 310
登録した設定で印刷する(PowerPoint) ... 311
垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(PowerPoint) ... 312
Microsoft Excel からの起動方法 ... 314
シート全体を印刷する(Excel) ... 315
選択した範囲を印刷する(Excel) ... 318
とじしろを設定する(Excel) ... 320
処理オプションを設定する ... 321

Digital Photo Front-Access ... 323

Digital Photo Front-Access ... 323

Mac OS X ソフトウエア ... 325

プリンタドライバ ... 326

プリンタドライバの設定項目 ... 326
プリンタドライバで用紙を指定する ... 327
印刷の設定を確認する ... 329
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する ... 329
お気に入りの設定で印刷する ... 330
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く ... 331
基本設定パネル ... 331
プリンタの用紙情報ダイアログボックス ... 334
用紙の詳細設定ダイアログボックス ... 335
印刷目的の設定確認ダイアログボックス ... 337
マッチングパネル ... 337
色設定パネル(カラー) ... 340
調整の対象ダイアログボックス(カラー) ... 341
色設定パネル(モノクロ) ... 341
調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) ... 342
グレー調整パネル ... 343
ページ加工パネル ... 344
ユーティリティパネル ... 345

付加設定パネル 346
サポートパネル 346

Preview 347

Preview の特長 347
Preview の起動方法 347
Preview メインウィンドウ 348
用紙設定パネル 351
目的設定モード 352
詳細設定モード 354
出力設定パネル 355
色設定パネル 357
色調整 358
グレー調整 360
マッチング 362
ドライバ補正モード 364
ICC 補正モード 365
ColorSync モード 366
環境設定ダイアログボックス 366
ズームダイアログボックス 367
ページ移動ダイアログボックス 367
フチなしで印刷する 367
中央に印刷する 368
上下の余白を印刷しない 368
ページを 90 度回転して印刷する 369
用紙の幅に合わせて表示する 369
全体を表示する 370
実際のサイズで表示する 370
ページを移動する 371

Free Layout 372

Free Layout の特長 372
Free Layout の起動方法 372
Free Layout メインウィンドウ 373
用紙設定パネル 376
目的設定モード 377
詳細設定モード 379
色設定パネル 380
色調整 381
グレー調整 384
マッチング 385
ドライバ補正モード 387
ICC 補正モード 388
ColorSync モード 389
環境設定ダイアログボックス 389
ページ設定ダイアログボックス 390
ズームダイアログボックス 391
書式設定ダイアログボックス 392
複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する 392
複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する 393
オブジェクトを選択する 393
オブジェクトのサイズを変更する 394
オブジェクトを移動する 394
オブジェクトを回転する 395
オブジェクトを自動配置する 395
オブジェクトを整列する 395
オブジェクトの重なり順を変更する 397
コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける 398

Color imageRUNNER 連携拡大コピー 399

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長 399
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 399
Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス 400

ホットフォルダ 401
ホットフォルダを新規作成する 401
ホットフォルダを編集する(印刷条件の設定) 403
ホットフォルダを削除する 405
印刷について設定する 405
用紙設定パネル 406
目的設定モード 407
詳細設定モード 408
出力設定パネル 409
色設定パネル 410
ドライバ補正モード 411
ICC 補正モード 412
Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する 412

Print Plug-In for Photoshop / Digital Photo Professional 414

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の特長 415
インストール手順 415
アンインストール手順 417
Photoshop からの起動方法 418
Digital Photo Professional からの起動方法 419
Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の画面構成 420
プレビューエリア 422
基本設定パネル 423
ページ設定パネル 425
色設定パネル(カラー) 428
色設定パネル(モノクロ) 429
印刷履歴パネル 430
サポートパネル 431
調整パターン設定ダイアログボックス 432
用紙の詳細設定ダイアログボックス 435
環境設定ダイアログボックス 436
ICC 変換オプションダイアログボックス 437
ロール紙オプションダイアログボックス 438
ユーザ用紙設定ダイアログボックス 438
トーンカーブダイアログボックス 439
印刷履歴の詳細ダイアログボックス 440
3 種類のプレビューを活用する 441
印刷範囲レイアウトで画像を確認する 441
画像で元画像を確認する 442
ロール紙プレビューで画像を確認する 442
お好みの画質で印刷する 443
色を調整して印刷する 443
プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合) 444
プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合) 445
カラーマッチングで色を調整する 447
Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する 448
高品質なモノクロの写真を印刷する 449
Adobe CMM を使用する 450
調整パターンを印刷して調整値を選択する 451
黒点補正を行う 452
印刷機のシミュレーション印刷を行う 453
拡大/縮小して印刷する 454
出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する 454
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する 455
倍率を指定して拡大/縮小印刷する 456
フチなしで印刷する 457
用紙の設定をカスタマイズする 458
印刷履歴を活用する 458
印刷履歴の詳細を確認する 459
印刷履歴を画像に適用する 460
印刷履歴をお気に入りに登録する 460
印刷履歴を削除する 462
お気に入りの印刷履歴を書き出す 463

お気に入りに印刷履歴を読み込む 464
お気に入りから印刷履歴を削除する 465
情報を画像とともに印刷するよう設定する 466

Layout Plug-In for Photoshop 468

Layout Plug-In について 468
Layout Plug-In メインウィンドウ 468
フレームサイズの追加ダイアログボックス 470
フレーム装丁用のレイアウトイメージを作成して印刷する 471

用紙の取り扱いと活用 473

用紙について 474

用紙の種類 474
用紙のサイズ 474
純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する 476
既存の設定で純正紙/出力確認紙以外の用紙に印刷する 477
用紙の種類を追加して純正紙/出力確認紙以外の用紙に印刷する 478
用紙リファレンスガイドを表示する 478
最新の用紙情報に更新する 479

ロール紙の取り扱い 481

ロール紙にロールホルダーをセットする 481
ロール紙をプリンタにセットする 483
用紙の種類を変更する 487
用紙の長さを設定する 489
ロール紙をプリンタから取り外す 489
ロール紙からロールホルダーを取り外す 492
ロール紙を手動で送る 493
ロール紙の残量を管理する 494
ロール紙のインク乾燥時間を設定する 494
ロール紙のカット方法を設定する 496
ロール紙の先端を自動でカットする 502
ロール紙のカット屑を軽減する 503

カット紙の取り扱い 505

カット紙をプリンタにセットする 505
任意の位置から印刷を開始する 508
カット紙を取り外す 510

バスケット 512

バスケット 512
バスケットを使用する 513
バスケットを収納する 517

巻き取り装置 519

巻き取り装置(オプション)について 519
巻き取り装置(オプション)を使用する 519
巻き取り機能をオンにする 520
巻き取り機能をオフにする 520
巻き取り用スプールを巻き取り装置にセットする 521
印刷した用紙を巻き取り装置(オプション)から取り外す 526

Media Configuration Tool (Windows) 530

Media Configuration Tool の特長 530
インストール手順 531
起動方法 532
Media Configuration Tool メインウィンドウ 533
純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する 533
用紙種類の追加 535
用紙名称の変更 537
追加した用紙種類の削除 539
用紙種類の表示/非表示を切り替える 540

用紙種類の表示順序を変更する 542
純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する 543
使用できる用紙 545
カスタム用紙の追加 545
カスタム用紙の削除 551
カスタム用紙の編集 551
カスタム用紙の書き出し 552
カスタム用紙の読み込み 553
注意事項 554

Media Configuration Tool (Mac OS X) 556

Media Configuration Tool の特長 556
インストール手順 557
アンインストール手順 559
起動方法 561
Media Configuration Tool メインウィンドウ 562
純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する 563
用紙種類の追加 564
用紙名称の変更 567
追加した用紙種類の削除 569
用紙種類の表示/非表示を切り替える 570
用紙種類の表示順序を変更する 572
純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する 573
使用できる用紙 575
カスタム用紙の追加 575
カスタム用紙の削除 581
カスタム用紙の編集 582
カスタム用紙の書き出し 583
カスタム用紙の読み込み 584
注意事項 585

操作パネル 587

操作とディスプレイ 588

操作パネル 588
操作パネルのディスプレイ 589
ナビの見かた 593
ガイダンスを見ながら操作する 594

プリンタのメニュー 596

プリンタのメニューでできること 596
メニューを操作する 597
メニューの階層 600
メニューの設定値 605
ステータスプリントについて 614
インタフェース設定プリントについて 617

プリンタの各部 621

各部の説明 622

前面 622
背面 624
上カバー内部 625
キャリッジ 626
インクタンクカバー内部 627
スタンド 628
巻き取り装置（オプション） 629

ハードディスク 631

プリンタのハードディスク関連の機能一覧 631
ハードディスクの空き容量を確認する 631
ハードディスク内のデータを消去する 633

オプション 635
ロールホルダーセット 635
巻き取り装置 635

ネットワークの設定 637

ネットワーク環境 638
ネットワーク環境について 638
リモート UI を使用する 641
リモート UI を使う 641
最初の設定 643
プリンタに IP アドレスを設定する 643
プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する 643
ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する 644
TCP/IPv6 ネットワークを設定する 645
プリンタドライバの接続先を設定する (Windows) 646
プリンタドライバの接続先を設定する (Mac OS X) 647
リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする 647
NetWare の設定 650
NetWare ネットワークを設定する 650
プリンタのフレームタイプを設定する 650
NetWare プリントサービスを設定する 653
リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする 655
Mac OS X の設定 658
TCP/IP ネットワークで接続先を設定する 658
Bonjour ネットワークで接続先を設定する 659
AppleTalk ネットワークで接続先を設定する 660
プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする 662
その他の設定 664
プリンタの情報を設定する 664
通信方式を手動で設定する 665
印刷の終了やエラーの発生を電子メールで通知する 666
ネットワークの設定を初期化する 666
Device Setup Utility (Windows) 668
imagePROGRAF Device Setup Utility 668
imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする 668
imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する 668

印刷ジョブの管理 671

Status Monitor (Windows) 672
imagePROGRAF Status Monitor の特長 672
imagePROGRAF Status Monitor によるジョブ管理 673
Printmonitor (Mac OS X) 674
imagePROGRAF Printmonitor の特長 674
imagePROGRAF Printmonitor によるジョブ管理 675
アカウンティング (Windows) 676
アカウンティングについて 676
アカウンティングの起動方法 676
アカウンティング メインウィンドウ 677
ジョブリストエリア 679

アカウンティングの基本的な手順 680
アカウンティングの単価を設定する 681
インクの単価を設定する 681
用紙の単価を設定する 682
インクと用紙以外の価格を設定する 683
アカウンティングの表示と単位の設定をする 684
ジョブ履歴を定期的に自動取得する 684
ジョブ履歴の定期取得を解除する 685
プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える 685
ジョブ情報を CSV ファイルに出力する 685
ジョブのプロパティまたは期間のプロパティを表示する 686
設定した単価情報の表示、保存、読み込みをする 687
インクと用紙の総使用量を表示する 687

印刷ジョブの基本操作 688

ハードディスクの使い方 688
印刷ジョブをハードディスクに保存する 689
ジョブキューを操作する（削除、追い越し印刷） 692
保留ジョブを操作する（印刷、削除） 694
保存したジョブを印刷する 696
保存したジョブを削除する 700
保存したジョブを移動する 703

印刷ジョブのさまざまな操作 707

プリンタドライバ以外から送信された印刷ジョブを保存する 707
印刷ジョブを共通ボックスに保存しない 708
個人ボックスに暗証番号を設定する 709
個人ボックスに名前を付ける 712
保存したジョブの一覧を表示する 715
保存したジョブの一覧を印刷する 717
保存したジョブの詳細を表示する 718
保存したジョブの名前を変更する 720

画質の調整と改善 725

高画質印刷の調整 726

印刷品質を向上させる 726

プリントヘッドの調整 728

プリントヘッドを調整する 728
縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する 728
縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する 730
プリントヘッドの設置時調整 731
用紙のこすれや画像のぼやけを改善する 732

用紙送りの調整 734

用紙の送り量を調整する 734
用紙の送り量の調整方法を選択する 734
横スジを自動で調整する 735
横スジを手動で調整する 736
用紙の送り量を微調整する 738
罫線の長さを調整する 738
用紙の吸着力を変更する 740

色の管理 741

モニタマッチング 742

画像をモニタと同じ色味で出力する 742
画像をモニタと同じ色味で出力する（Windows） 743
画像をモニタと同じ色味で出力する（Mac OS X） 745

カラーキャリブレーション 747
色を管理する 747
プリンタのセンサーで色管理する 749
プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション 751
カラーキャリブレーションに使用できる用紙 753
Color Calibration Management Console (Windows) 757
Color Calibration Management Console の特長 757
インストール手順 758
アンインストール手順 760
起動方法 760
メインウィンドウ 761
ファイルメニュー 764
ツールメニュー（キャリブレーションシート表示時） 765
ツールメニュー（色の測定シート表示時） 765
ヘルプメニュー 766
プリンタリスト 766
キャリブレーションシート 768
色の測定シート 769
カラーキャリブレーション状況を確認する 770
カラーキャリブレーションを実行する 772
任意のカラーチャートの測色データを取得する 774
カラーチェックを実行する 780
実行履歴をお気に入りに登録する 784
実行履歴をお気に入りから削除する 785
実行履歴をコンピュータに保存する 785
表示単位を切り替える 786
カラーキャリブレーションの完了を音で知らせる 787
Color Calibration Management Console (Mac OS X) 788
Color Calibration Management Console の特長 788
インストール手順 789
アンインストール手順 790
起動方法 792
メインウィンドウ 792
imagePROGRAF Color Calibration Management Console メニュー 794
ファイルメニュー 795
ツールメニュー（キャリブレーションシート表示時） 795
ツールメニュー（色の測定シート表示時） 796
プリンタリスト 797
キャリブレーションシート 798
色の測定シート 799
カラーキャリブレーション状況を確認する 800
カラーキャリブレーションを実行する 801
任意のカラーチャートの測色データを取得する 804
カラーチェックを実行する 809
実行履歴をお気に入りに登録する 813
実行履歴をお気に入りから削除する 813
実行履歴をコンピュータに保存する 814
表示単位を切り替える 815
カラーキャリブレーションの完了を音で知らせる 815

メンテナンスと消耗品 817
インクタンク 818
インクタンク 818
インクタンクを交換する 818
インクタンクの残量を確認する 828
インクタンクの交換時期について 828
プリントヘッド 830
プリントヘッド 830

ノズルのつまりをチェックする ... 830
プリントヘッドをクリーニングする ... 831
プリントヘッドを交換する ... 832

カッターユニット 839

カッターユニット ... 839
カッターユニットを交換する ... 839

メンテナンスカートリッジ 843

メンテナンスカートリッジ ... 843
メンテナンスカートリッジを交換する ... 843
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する ... 849
メンテナンスカートリッジの交換時期について ... 850

プリンタの清掃 851

プリンタの外装を清掃する ... 851
上カバー内部を清掃する ... 851

その他のメンテナンス 855

プリンタの輸送の準備をする ... 855
ファームウェアをアップデートする ... 861

消耗品 862

困ったときには 863

よくある質問 864

よくある質問 ... 864

用紙に関連するトラブル 865

ロール紙のつまりを取り除く ... 865
カット紙のつまりを取り除く ... 868
ロール紙が給紙口に入らない ... 870
カット紙をセットできない ... 871
用紙をきれいにカットできない ... 871
用紙がカットされない ... 871
巻き取り装置が回転し続ける ... 871
クリアフィルムのサイズを検知できない ... 872
余白が多い ... 872
薄いロール紙に印刷すると印刷面に傷がつく ... 872

印刷が開始されない 873

操作パネルのデータ受信ランプが点灯しない ... 873
印刷データを送信してもプリンタが動かない ... 873
ディスプレイにインク充填中です。と表示された ... 873
ディスプレイにインク攪拌中ですと表示された ... 873

プリンタが途中で停止する 874

ディスプレイにエラーメッセージが表示される ... 874
用紙が白紙で排紙される ... 874

印刷品質のトラブル 875

印刷がかすれる ... 875
プリントヘッドが用紙にこすれる ... 875
用紙の端が汚れる ... 876
用紙の表面が汚れる ... 877
用紙の裏面が汚れる ... 877
フチなし印刷の直後のフチあり印刷で後端余白部が汚れる ... 877
色味が違って印刷される ... 878
色味の違うスジが入る ... 878
色ムラが発生する ... 879
画像の端部がぼやけたり、白スジが入る ... 879
　プラテン上の青いスイッチを設定する ... 880
印刷中に周期的な濃淡差が発生する ... 882

印刷物の用紙送り方向の長さが正確でない 882
用紙に対して斜めに印刷される 883
モノクロで印刷される 883
線の太さが均一に印刷されない 883
罫線のずれや色ずれが起こる 883
フチなし印刷でフチが出る 884

ネットワーク環境で印刷できない 885
プリンタをネットワークに接続できない 885
TCP/IP ネットワークで印刷できない 885
NetWare ネットワークで印刷できない 885
AppleTalk や Bonjour ネットワークで印刷できない 886

インストールに関連するトラブル 887
インストールしたプリンタドライバを削除したい 887

その他のトラブル 889
電源がオンにならない 889
起動に時間がかかる 889
異常音かなと思ったときには 889
メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない 889
インクが異常に消費される 889
インク残量検知機能について 890

エラーメッセージ 893

エラーメッセージ一覧 894

用紙関連のメッセージ 896
用紙が違います 896
用紙種類が違います 896
用紙が小さいです 897
用紙が小さいです。 897
用紙幅が違います 898
用紙サイズを検知できません。 898
このデータを印刷するには用紙が足りません。 899
この用紙は､対応していないサイズのため使用できません。 899
ロール紙印刷が指定されています。 900
ロール紙印刷が指定されましたが､カット紙がセットされています。 900
ロール紙がなくなりました。 900
カット紙がありません。 901
カット紙印刷が指定されています。 901
カット紙印刷が指定されましたが､ロール紙がセットされています。 901
用紙がつまりました。 901
用紙が斜めにセットされています。 901
用紙を検知できません。 902
用紙を送ることができません。 902
この用紙はカットできません。 902
紙送り量のリミットに達しました。 903
リリースレバーの位置が不正です 。 903
巻き取りエラー 903
巻き取り装置を使用します。 903
巻き取り装置の電源を入れてください。 904
フチなし印刷ができません。 904
用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。 904

インク関連のメッセージ 906
インクが不足しています。 906
インクがありません。 906
インクの残量を正しく検知できません。 906
インクタンクカバーを閉じてください。 906
インクタンクが空です。 907
インク残量が少ないです。 907

インクタンクが装着されていません。 907
下記のインクタンクが、認識できません。 907

印刷／調整関連のメッセージ 908

この用紙では実行できません。 908
キャリブレーションできません。 908
キャリブレーション　温度・湿度が適応範囲を超えています。 908
共通キャリブ実行をお勧めします。 908
上記用紙で共通キャリブ実行をお勧めします 909
上記用紙でキャリブレーション実行をお勧めします 909
用紙サイズが伸縮したため、フチなし印刷ができません。 909
フチなし印刷をする時は、プラテン上の青いスイッチを切換えてください 。 909
プラテン上の青いスイッチが汚れています。 909
プラテン上の青いスイッチ No.xx を右に動かしてください。（xx は数字） 909
紙送り調整できません。 910
印刷された出力物を確認してください。 910

プリントヘッド関連のメッセージ 911

ヘッド調整できません 911
プリントヘッドの装着位置（L/R）が違います。 911
プリントヘッド x が違います。（x は L、R または表示なし） 911
プリントヘッド x が異常です。（x は L、R または表示なし） 911
プリントヘッド x を認識できません。（x は L、R または表示なし） 912
ヘッドクリーニングを行ってください。 912

メンテナンスカートリッジ関連のメッセージ 913

メンテナンスカートリッジが装着されていません。 913
メンテナンスカートリッジが違います。 913
メンテナンスカートリッジ 残り容量が少ないです。 913
メンテナンスカートリッジの残り容量がありません 913
メンテナンスカートリッジがいっぱいです。 913
メンテナンスカートリッジが異常です。 913

ハードディスク関連のメッセージ 914

ハードディスクにエラーが発生しました 。 914
ファイル読み込み失敗 914
ボックスの空き容量がありません。 914
ボックスに空き容量がないので保存せずに印刷を行っています。 914
ボックスの空き容量が少ないです。 914
保存ジョブの数が最大です。 914
ボックスの保存可能数が最大です。 914

その他のメッセージ 916

GARO Wxxxx（x は数字） 916
エラー Exxx-xxxx（x は英数字） 916
ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx（x は英数字） 916
上カバーが開いています。 916
部品交換が近付いています。 917
部品交換目安を過ぎています。 917
ファイルを認識できませんでした。 917
キャリブレーション マルチセンサが異常です。 917
マルチセンサが異常です。 917

仕様 919

プリンタの仕様 920

仕様 920
印刷領域 921

印刷の手順

ロール紙印刷とカット紙印刷でできること 20
電源をオン/オフにする 21
ロール紙をセットして印刷する 22
カット紙をセットして印刷する 25
プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) 157
プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) 327
Windows から印刷する 26
Mac OS X から印刷する 27

ロール紙印刷とカット紙印刷でできること

このプリンタでは、ロール紙とカット紙に印刷できます。
ここでは、ロール紙印刷、カット紙印刷の特徴と設定できる主な印刷方法を紹介します。目的に応じて用紙を選択してください。

メモ

- プリンタに対応する用紙の種類については、「用紙の種類」を参照してください。 →P.474
- ここで紹介している印刷方法以外にも、さまざまな印刷方法があります。詳しくは、「さまざまな印刷方法」を参照してください。 →P.33

ロール紙印刷

ロール紙とは、ロール状に巻かれている用紙のことです。ロールホルダーにセットし、プリンタに取り付けます。
大判サイズの写真や、通常のカット紙では印刷できないポスターや横断幕などを印刷することができます。

- 長尺印刷
  Microsoft Office などのアプリケーションソフトから、垂れ幕や横断幕を簡単に印刷できます。
  (「垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)」参照) →P.98
- フチなし印刷
  ポスターや写真などの周囲に余白(フチ)を入れずに印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する」参照) →P.86
  (「ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する」参照) →P.92
  (「原寸大のフチなしで印刷する」参照) →P.80
- バナー印刷
  複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷できます。
  (「複数ページをつなげて印刷する」参照) →P.114
- 90 度回転印刷
  縦長の原稿を印刷するとき、原稿を 90 度回転し、余白を減らして印刷できます。
  (「原稿を 90 度回転してロール紙を節約する」参照) →P.134
- 拡大/縮小印刷
  原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、サイズを自由に調整して印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.63
  (「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.67
  (「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する」参照) →P.71
- フリーレイアウト(Windows) / imagePROGRAF Free Layout(Macintosh)
  ワープロソフトや表計算ソフトなど、複数のアプリケーションソフトの原稿を、並べて印刷できます。
  (「複数の原稿を並べて印刷する」参照) →P.110

カット紙印刷

カット紙とは、一枚ずつ裁断されている用紙です。単票紙ともいいます。
カット紙はプラテンと用紙押さえの間にセットします。

- 拡大/縮小印刷
  原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、サイズを自由に調整して印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.63
  (「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する」参照) →P.71

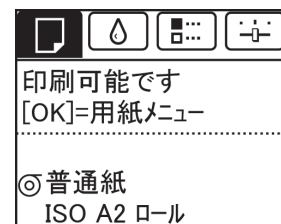
- フリーレイアウト（Windows） / imagePROGRAF Free Layout（Macintosh）
  ワープロソフトや表計算ソフトなど、複数のアプリケーションソフトの原稿を、並べて印刷できます。
  （「複数の原稿を並べて印刷する」参照） →P.110

電源をオン/オフにする

電源をオンにする

1 [電源]キーを押して、プリンタの電源をオンにします。
プリンタが起動します。
ディスプレイにキヤノンのロゴが表示され、続いて[起動中です。しばらくお待ちください。]と表示されます。

2 起動が完了すると、[電源ランプ]が点灯し、[スタンバイ]になります。

以下の場合は、[スタンバイ]になりません。必要な処置を行ってください。

- 上カバーが開いている場合
  上カバーを閉じてください。
- インクタンクカバーが開いている場合
  インクタンクカバーを閉じてください。
- プリントヘッドがセットされていない場合
  「プリントヘッドを交換する」を参照してください。 →P.832
- インクタンクがセットされていない場合
  「インクタンクを交換する」を参照してください。 →P.818
- ディスプレイに[エラー]が表示された場合
  「エラーメッセージ一覧」を参照してください。 →P.894
- [電源ランプ]や[メッセージランプ]が一度も点灯しなかったり、ディスプレイに何も表示されない場合
  電源コードやコンセントの接続を確認してください。
- 用紙がセットされていない場合
  用紙をセットしてください。（「ロール紙をセットして印刷する」参照） →P.22 （「カット紙をセットして印刷する」参照） →P.25

重要

- プリンタと Macintosh を USB ケーブルで接続している場合、プリンタの電源をオンにすると、シャットダウンしていた Macintosh も同時に起動することがあります。同時に起動させたくない場合は、USB ケーブルを取り外してからプリンタの電源をオンにしてください。なお、USB ハブを使用してプリンタと Macintosh を接続すると、この問題が解決される場合があります。

電源をオフにする

重要

- プリンタの動作中は、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。プリンタの故障や破損の原因になります。

1 プリンタが動作中でないことを確認します。
[メッセージランプ]が点滅している場合は、ディスプレイのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。（「エラーメッセージ一覧」参照） →P.894

[データ受信ランプ]が点滅している場合は、印刷ジョブを受信中です。印刷が終了してから電源をオフにしてください。

2 [電源]キーを 1 秒以上押し続けます。

ディスプレイに[終了します。しばらくお待ちください。]と表示され、電源がオフになります。

ロール紙をセットして印刷する

ここでは、ロール紙をセットしてから印刷するまでの基本的な操作を説明します。
ロール紙をセットして印刷する場合は以下の手順を行ってください。

- バスケットの使い方は、「バスケットを使用する」を参照してください。 →P.513
- オプションの巻き取り装置の使い方は、「巻き取り装置」を参照してください。 →P.635

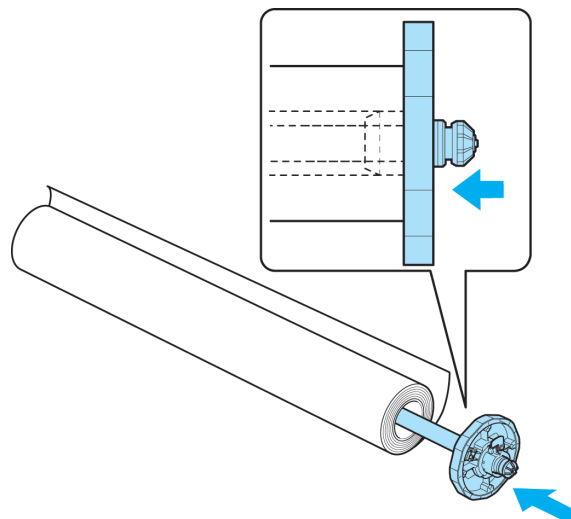
重要

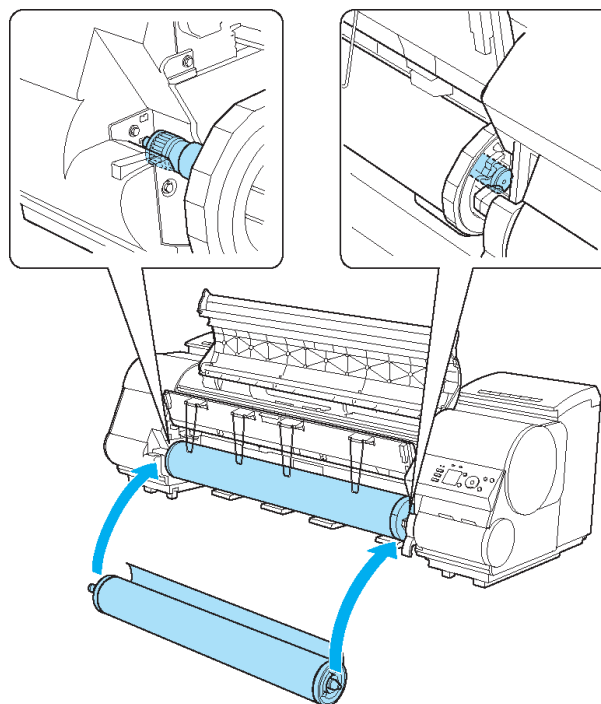
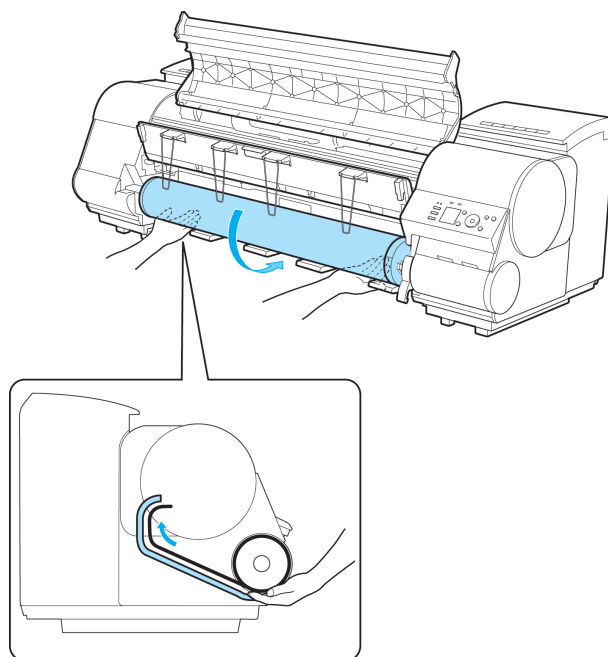
- オプションの巻き取り装置を使用しないで、バナー印刷など長いサイズの印刷を行うときは、床にきれいな布または紙を敷きます。大きいサイズの印刷を行うと、印刷後の用紙が床に触れて印刷面が汚れる可能性があるため、バスケットを使用します。（「バスケットを使用する」参照） →P.513

メモ

- セットできるロール紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。（「用紙のサイズ」参照） →P.474 （「用紙の種類」参照） →P.474
- 印刷後にインクの乾燥を待ってロール紙をカットしたい場合は、プリンタドライバで[インク乾燥時間]を設定してください。（「ロール紙のインク乾燥時間を設定する」参照） →P.494
- ロール紙を 1 本使い切った場合は、プラテンを清掃してください。上カバー内部のプラテンが汚れていると、用紙の裏面が汚れる場合があります。（「上カバー内部を清掃する」参照） →P.851

1 プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.21

2 ロール紙にロールホルダーをセットします。(「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481

3 ロール紙をプリンタにセットします。(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483

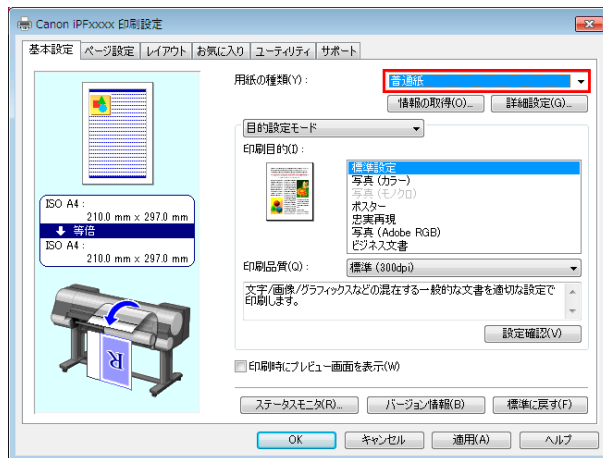
重要

- フチなしで印刷する場合は、プラテン上の青いスイッチを必ず●側に設定してください。スイッチが正しく設定されていないと、印刷品質が低下します。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.880

4 用紙の種類を選択します。(「用紙の種類を変更する」参照) →P.487

メモ

- ロール紙にバーコードが印刷されていなくて、[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されている場合は、用紙の種類を選択した後、続けて、用紙の長さを選択してください。(「用紙の長さを設定する」参照) →P.489

5 プリンタドライバで用紙の種類などを選択します。

- プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) →P.157
- プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) →P.327

6 印刷ジョブを送信します。

- Windows から印刷する →P.26

- Mac OS X から印刷する →P.27

印刷が開始されます。

カット紙をセットして印刷する

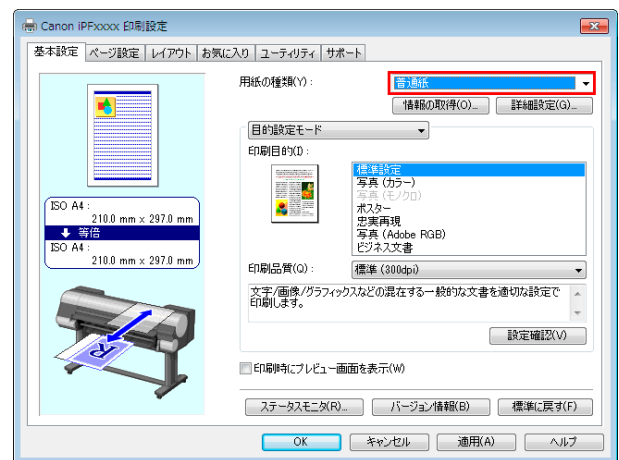
ここでは、カット紙をセットしてから印刷するまでの基本的な操作を説明します。
カット紙をセットして印刷する場合は以下の手順を行ってください。

メモ

- セットできる用紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙のサイズ」参照) →P.474 (「用紙の種類」参照) →P.474
- カット紙はフチなし印刷できません。カット紙印刷の特徴と設定できる主な印刷方法は、「ロール紙印刷とカット紙印刷でできること」を参照してください。 →P.20

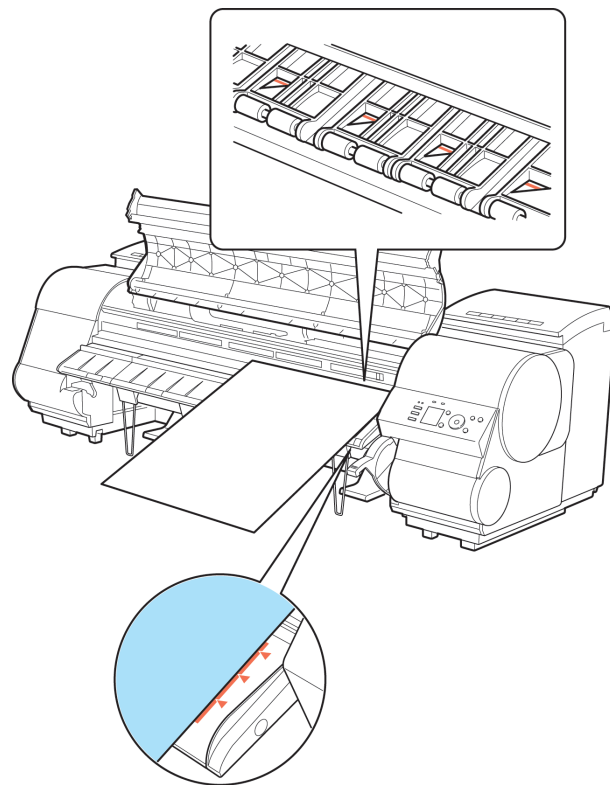
1 プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.21

2 プリンタドライバで用紙の種類などを選択します。

- プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) →P.157
- プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) →P.327

3 印刷ジョブを送信します。

- Windows から印刷する →P.26
- Mac OS X から印刷する →P.27

4 カット紙をセットします。(「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505

印刷が開始されます。

Windows から印刷する

アプリケーションソフトのメニューから印刷します。

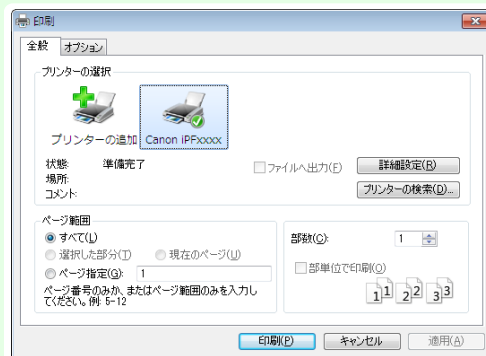
重要

- 印刷するときは、印刷に必要のないアプリケーションソフトを終了することをお勧めします。印刷するときに多くのアプリケーションソフトを起動していると、コンピュータに負荷がかかるため、プリンタへの印刷ジョブの送信が途切れて印刷品質が低下する場合があります。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[印刷](プリント)を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

2 表示されるダイアログボックスで、プリンタが選択されていることを確認し、[印刷]や[OK]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 表示されるダイアログボックスはアプリケーションソフトによって異なります。多くのアプリケーションソフトでは、このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。
アプリケーションソフトから表示される[印刷]ダイアログボックスの例

- 他のプリンタが選択されている場合は、[プリンタの選択]の一覧や[プリンタ設定]をクリックして表示されるダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択します。

拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、プリンタドライバのダイアログボックスで行います。プリンタドライバのダイアログボックスを開くには、以下の 2 種類の方法があります。

- アプリケーションソフトから開く
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く」参照) →P.162

- システムのメニューから開く
（「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く」参照）→P.163

Mac OS X から印刷する

コンピュータでプリンタを登録し、アプリケーションソフトのメニューから印刷します。

重要

- 印刷するときは、印刷に必要のないアプリケーションソフトを終了することをお勧めします。印刷するときに多くのアプリケーションソフトを起動していると、コンピュータに負荷がかかるため、プリンタへの印刷ジョブの送信が途切れて印刷品質が低下する場合があります。

プリンタを登録する

印刷する前に、[imagePROGRAF PrinterSetup.app]でプリンタを登録しておく必要があります。
プリンタを登録する方法については、「プリンタドライバの接続先を設定する」を参照してください。→P.647

重要

- プリンタを登録するときに、プリンタの電源がオフになっていたり、ケーブルが外れていると、プリンタの一覧にプリンタが表示されません。

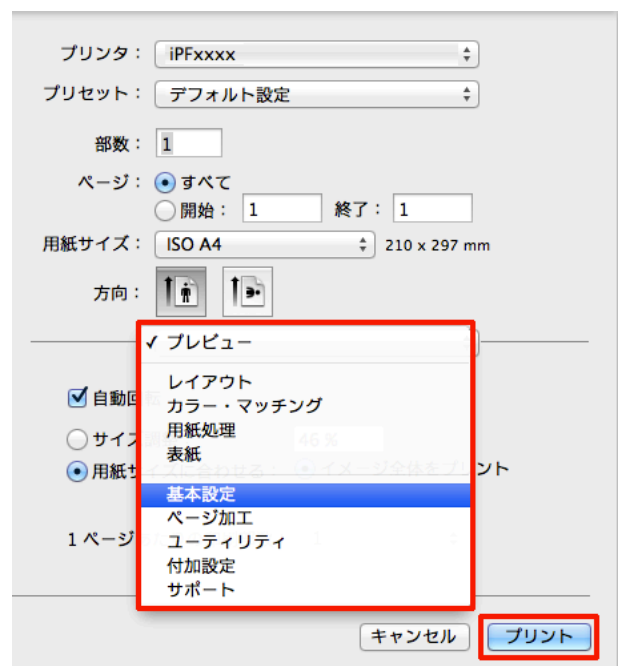
アプリケーションソフトから印刷する

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

メモ

- このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。

2 [プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 [プリント]をクリックして印刷を開始します。
拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、図のように、ダイアログボックスのパネルを切り替えて行います。

印刷の中止

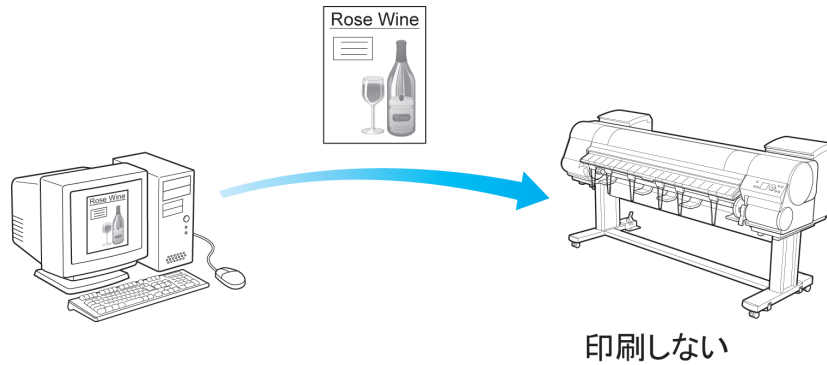
操作パネルから印刷を中止する 28
Windows から印刷を中止する 29
Mac OS X から印刷を中止する 29

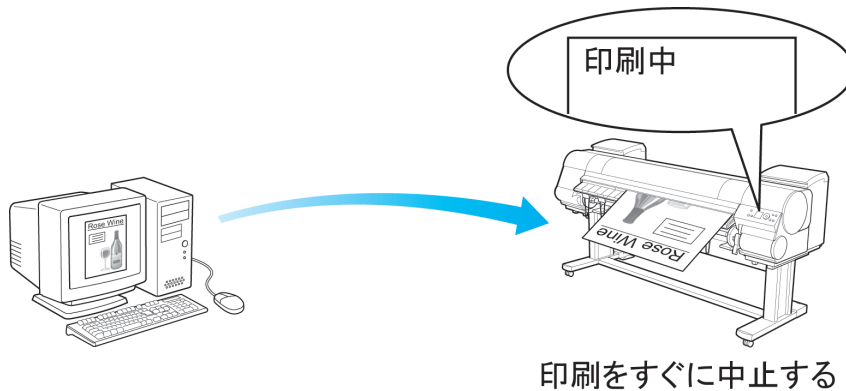
操作パネルから印刷を中止する

操作パネルの[ストップ]キーを押すと、プリンタで受信中、または印刷中のジョブを中止できます。

印刷時に[ストップ]キーを押した場合、そのときの状況によってプリンタの動作が異なります。

- 印刷が開始される前に[ストップ]キーを押した場合

  印刷の開始前に[ストップ]キーを押すと、確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、印刷ジョブがキャンセルされます。

- 印刷中に[ストップ]キーを押した場合

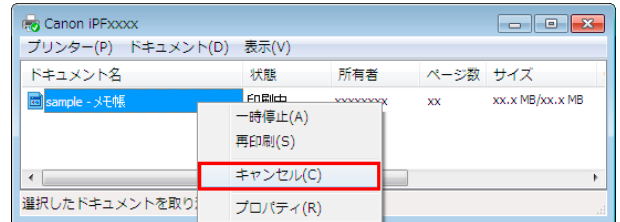
  印刷中に[ストップ]キーを押すと、確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、すぐに印刷が中止されます。

Windows から印刷を中止する

プリンタに送信中のジョブは、プリンタのウィンドウで中止できます。
プリンタで受信したジョブおよび印刷中のジョブは、imagePROGRAF Status Monitor から中止できます。

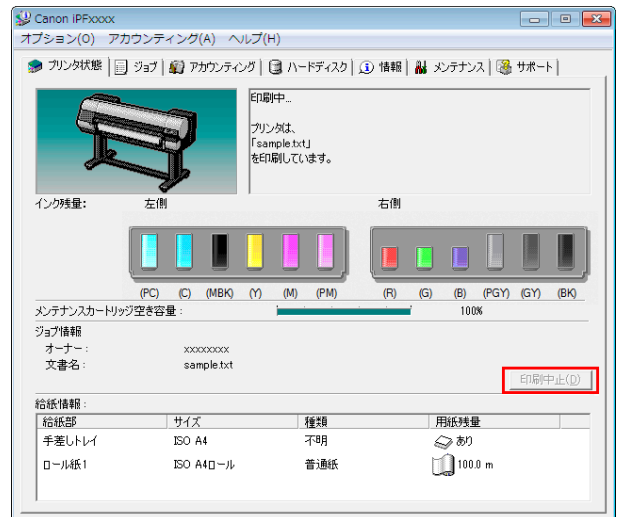
1 タスクバーに表示されているプリンタのアイコンをクリックし、プリンタのウィンドウを開きます。

メモ

- Windows の[スタート]メニューの[プリンタと FAX](または[プリンタ])から、プリンタのアイコンをダブルクリックして開くこともできます。

2 中止するドキュメントを選択し、右クリックして表示されるメニューから[キャンセル]を選択します。

3 プリンタのウィンドウに中止対象のジョブが無い場合(プリンタへの印刷データの送信が終了した場合)は、タスクバーのアイコンをダブルクリックし、imagePROGRAF Status Monitor を開きます。

4 [プリンタ状態]シートの[印刷中止]をクリックします。

メモ

- お使いの機種によっては画面が多少異なります。

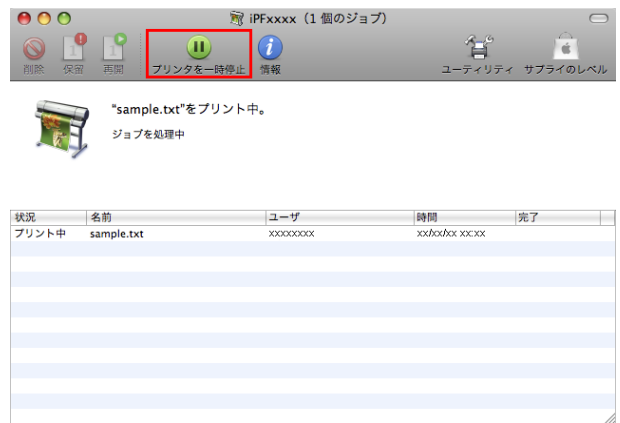
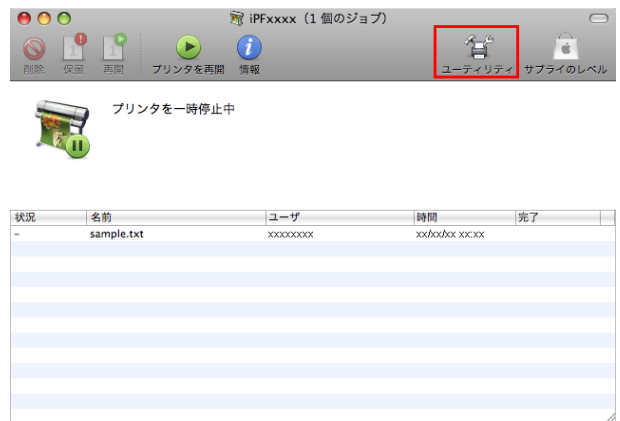
Mac OS X から印刷を中止する

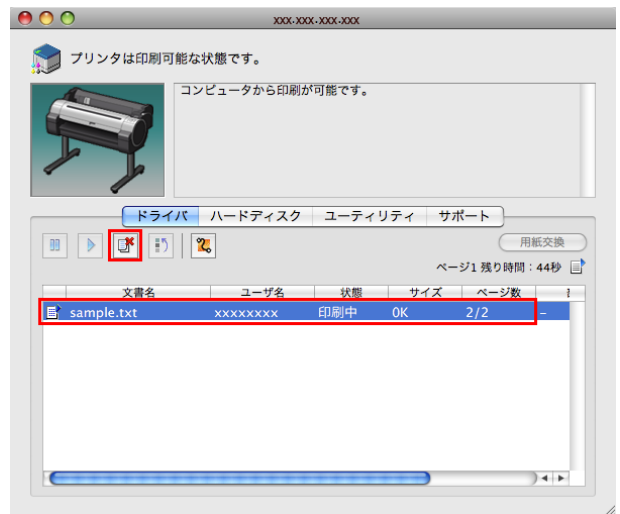
プリンタに送信中のジョブは、プリンタのウィンドウで中止できます。
プリンタで受信したジョブおよび印刷中のジョブは、imagePROGRAF Printmonitor から中止できます。

メモ

- プリンタのウィンドウにジョブが表示されるのは、コンピュータからプリンタに印刷データが送信されている間です。プリンタへの印刷データの送信が終了した場合は、印刷中でもジョブは表示されません。
- imagePROGRAF Printmonitor のウィンドウにジョブが表示されるのは、プリンタがコンピュータからの印刷データを受信してから印刷が終了するまでの間です。コンピュータで印刷データを作成中でも、プリンタへの送信が開始されていなければ、ジョブは表示されません。

1 デスクトップの[Dock]に表示されているプリンタのアイコンをクリックし、プリンタのウィンドウを開きます。

2 [プリンタを一時停止]をクリックし、印刷を停止します。

3 プリンタのウィンドウに中止対象のジョブが無い場合(プリンタへの印刷データの送信が終了した場合)は、[ユーティリティ]をクリックし、imagePROGRAF Printmonitor を開きます。

4 印刷を中止するジョブを選択して をクリックし、ジョブを削除します。

メモ

- お使いの機種によっては画面が多少異なります。

プリンタに送信されたジョブが中止されます。

5 imagePROGRAF Printmonitor を閉じ、プリンタのウィンドウで[プリンタを再開]をクリックします。

重要

- imagePROGRAF Printmonitor から印刷を中止した場合は、必ずこの手順を行ってください。ジョブを開始しないと、次のジョブを印刷できません。

印刷の一時停止

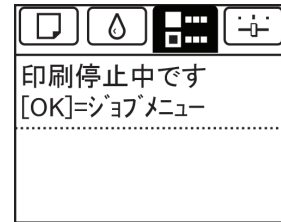
印刷を一時停止状態にする

印刷中に、操作パネルのメニューで、[印刷の一時停止]を[オン]に設定すると、設定した時点での印刷が終了後、プリンタは印刷停止状態になります。(「操作パネルのディスプレイ」参照) →P.589
印刷停止状態では、ジョブキューの印刷が実行されません。
印刷停止状態を解除するには[印刷の一時停止]を[オフ]に設定します。

メモ

- 以下の場合は、[印刷の一時停止]を[オフ]に設定しなくても印刷停止状態が解除され、ジョブキューの印刷が実行されます。
  - 給紙した場合
  - [用紙メニュー]から[用紙種類の変更]を実行した場合

1 印刷中に、操作パネルの[タブ選択画面]で[◀]キー、[▶]キーを押して、(ジョブタブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[ジョブメニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷の一時停止]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[オン]または[オフ]を選択し、[OK]キーを押します。

印刷の流れ 19

さまざまな印刷方法

用紙を選択する 34
写真やオフィス文書を印刷する 35
画像を調整する 51
拡大／縮小して印刷する 63
原寸で印刷する 76
フチなしで印刷する 86
垂れ幕など定形外の用紙に印刷する 98
分割して印刷する／まとめて印刷する 110
用紙の中央に印刷する 125
ロール紙を節約して印刷する 134
印刷前に確認する 143
その他の便利な設定 144

Windows ソフトウエア 155
Mac OS X ソフトウエア 325
用紙の取り扱いと活用 473
操作パネル 587
プリンタの各部 621
ネットワークの設定 637
印刷ジョブの管理 671
画質の調整と改善 725
色の管理 741
メンテナンスと消耗品 817
困ったときには 863
エラーメッセージ 893
仕様 919
付録 923

用紙を選択する

用紙の種類を選択して印刷する 34
　用紙の種類を変更する 487

プリンタドライバで用紙を指定する 34
　プリンタドライバで用紙を指定する（Windows） 157
　プリンタドライバで用紙を指定する（Mac OS X） 327

用紙の種類を選択して印刷する

プリンタにセットした用紙に合わせて、プリンタの操作パネル及びプリンタドライバから適切な用紙の種類を選択してください。適切な用紙の種類は、キヤノン純正紙またはキヤノン出力確認紙の場合と、キヤノン出力確認紙以外の用紙の場合で異なります。以下の説明に従って用紙の種類を選択してください。
用紙の種類をプリンタの操作パネルで選択する方法は「用紙の種類を変更する」→P.487 を、プリンタドライバで選択する方法は「プリンタドライバで用紙を指定する（Windows）」→P.157 または「プリンタドライバで用紙を指定する（Mac OS X）」を参照してください。→P.327

重要

- キヤノン出力確認紙以外の用紙の使用については、印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません

メモ

- キヤノン純正紙またはキヤノン出力確認紙は、「用紙リファレンスガイド」に記載されている用紙です。
- プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類が合っていない場合、プリンタの操作パネルにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。

- キヤノン純正紙またはキヤノン出力確認紙

  キヤノン純正紙またはキヤノン出力確認紙では、用紙ごとに最適化された設定を選択してください。キヤノン純正紙またはキヤノン出力確認紙の設定については、「用紙リファレンスガイド」を参照してください。

- キヤノン出力確認紙以外の用紙

  キヤノン出力確認紙以外の用紙については、既存の設定から選択する方法と、新たに用紙の種類を作成してプリンタの操作パネル及びプリンタドライバに追加する方法があります。詳しくは「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。→P.476

プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換したときは、プリンタドライバで用紙の種類やサイズを設定します。
プリンタドライバでの用紙の設定方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- プリンタドライバで用紙を指定する（Windows） →P.157
- プリンタドライバで用紙を指定する（Mac OS X） →P.327

写真やオフィス文書を印刷する

写真やイラストを印刷する 35
写真やイラストを印刷する(Windows) 36
写真やイラストを印刷する(Mac OS X) 37
Photoshop で印刷する 40
Adobe RGB 画像を印刷する(Windows) 40
Adobe RGB 画像を印刷する(Mac OS X) 43
オフィスの文書を印刷する 45
オフィスの文書を印刷する(Windows) 45
オフィスの文書を印刷する(Mac OS X) 47
PosterArtist で編集して印刷する 48

写真やイラストを印刷する

プリンタドライバの[目的設定モード]から以下の[印刷目的]を選択することで、簡単に写真やイラストの印刷設定が行えます。

	[印刷目的]	説明
sRGB	[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
	[写真(モノクロ)]	モノクロ写真を最適な設定で印刷します。
ABCDE	[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
	[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
Adobe RGB	[写真(Adobe RGB)]	Adobe RGB の色空間を使用して作成された画像を最適な色で印刷するのに適した設定です。

重要

- [用紙の種類]によっては、選択できない[印刷目的]があります。

メモ

- 印刷目的ごとの設定値は、[設定確認]で確認できます。
- 設定値を詳細に調整することもできます。([詳細設定モード])
  [詳細設定モード]については、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.57」を参照してください。

写真やイラストを印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 写真やイラストを印刷する(Windows) →P.36
- 写真やイラストを印刷する(Mac OS X) →P.37

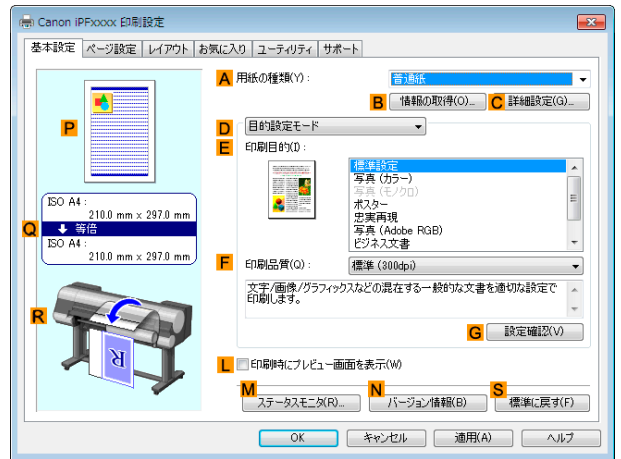
写真やイラストを印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、写真を印刷する手順を説明します。

- 原稿:デジタルカメラの写真画像
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[Canon プレミアム光沢紙 2(厚口)]
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[Canon プレミアム光沢紙 2(厚口)]をクリックします。
A[用紙の種類]では、光沢紙や[Canon コート紙]など、印刷する用紙を選択します。その際、選択する用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。

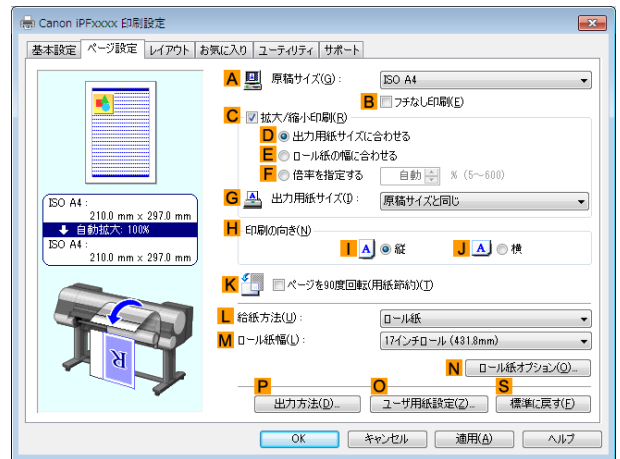
メモ

- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。詳細は Media Configuration Tool →P.530 を参照してください。

5 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[写真(カラー)]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 **A**[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

8 **L**[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 **M**[ロール紙幅]の一覧からプリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール (254.0mm)]をクリックします。

10 その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.156 」を参照してください。

11 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する」を参照してください。→P.159

写真やイラストを印刷する(Mac OS X)

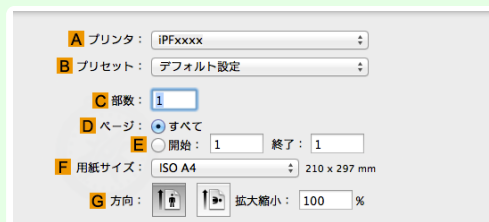
ここでは、以下を例に、写真を印刷する手順を説明します。

- 原稿:デジタルカメラの写真画像
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[Canon プレミアム光沢紙 2(厚口)]
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

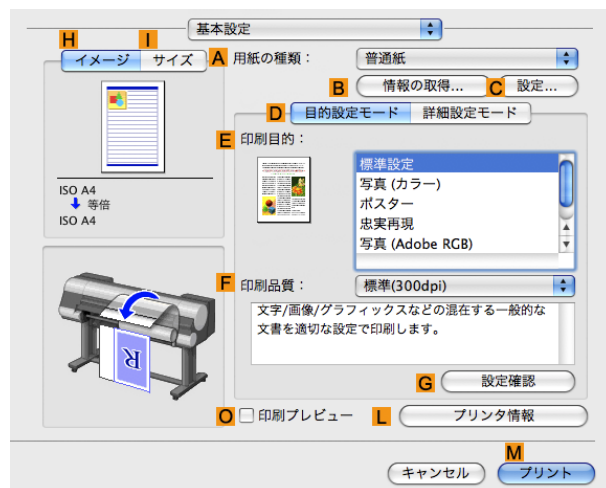
メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

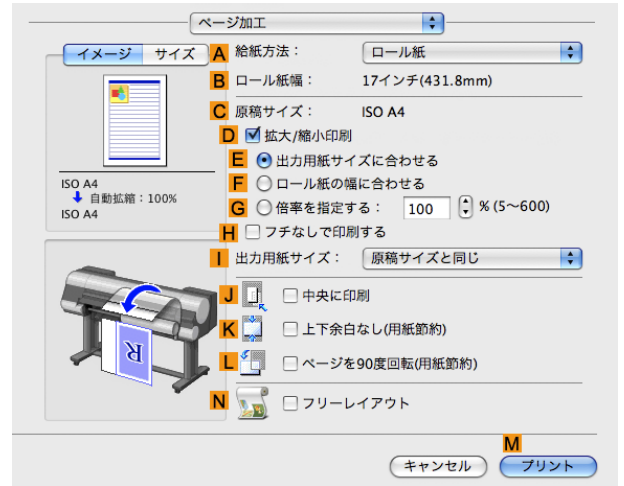
4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[Canon プレミアム光沢紙 2 (厚口)]をクリックします。
その際、選択する用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。

メモ

- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。詳細は Media Configuration Tool →P.556 を参照してください。

7 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[写真（カラー)]をクリックします。

メモ
- 写真やイラストに最適な印刷目的については「写真やイラストを印刷する →P.35」を参照してください。
- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ
- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 [ページ加工]パネルのC[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスのC[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切（10"x12")]が表示されていることを確認します。

13 その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.326」を参照してください。

14 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

Photoshop で印刷する

プリンタドライバでは、Adobe Systems 社のフォトレタッチソフト Photoshop で作成した Adobe RGB 画像を印刷できます。また、プリンタに付属の Photoshop 専用プラグインソフトウェアを使用すれば、Adobe RGB 画像を、より簡単に、よりきれいに印刷できます。

- プラグインソフトウェアを使用して印刷する
  プリンタには、Photoshop に組み込んで印刷をカスタマイズできる、専用のプラグインソフトウェア imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop が付属します。プラグインソフトウェアを使用すると、Photoshop の RGB 16bit データをそのまま処理できるため、オリジナル画像の高い階調を損なうことなく印刷できます。プラグインソフトウェアでは、以下のような設定や調整ができます。
  - sRGB 画像または Adobe RGB 画像の色空間を自動認識し、最適なプロファイルを自動的に設定できます。このため、面倒な設定をすることなく Adobe RGB 画像を印刷できます。
  - 色調、明るさ、コントラスト、ハイライト、シャドーの調整に加え、トーンカーブの調整など、高度なグレー調整機能を使用できます。
  - 印刷の結果を忠実に再現したプレビューを見ながら Photoshop で色合いを調整できます。
  - 印刷履歴の管理機能により、過去の印刷設定パラメータの保存や読み込みができます。

  メモ
  - imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop は、Windows 版と Macintosh 版が付属しています。

  imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop の対応する Photoshop のバージョンや機能の詳細については、お使いのコンピュータや OS に応じて、以下の項を参照してください。

  - Print Plug-In（Windows） →P.228
  - Print Plug-In（Macintosh） →P.414

- プリンタドライバを使用して印刷する
  プリンタドライバでは、以下のような設定や調整ができます。
  - 色空間として、標準的な sRGB に加え、Adobe RGB を選択できます。
  - 色調、明るさ、コントラスト、鮮やかさ、グレーを調整できます。

  Photoshop で作成した Adobe RGB 画像を、プリンタドライバを使用して印刷する方法については、お使いのコンピュータや OS に応じて、以下の項を参照してください。

  - Adobe RGB 画像を印刷する（Windows） →P.40
  - Adobe RGB 画像を印刷する（Mac OS X） →P.43

Adobe RGB 画像を印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、Adobe RGB 画像を印刷する手順を説明します。

- 原稿:Photoshop で作成した AdobeRGB 画像
- 原稿サイズ:四切（10×12 インチ）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[Canon プレミアム光沢紙 2（厚口）]
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

重要
- Photoshop では、カラーマッチングを行わないように設定します。
- プリンタドライバで、[ドライバ補正モード]を使用し、[色空間]として[Adobe RGB]を設定します。

1 Photoshop で AdobeRGB 画像を作成します。

メモ
- ここでは、Photoshop CS3/CS4/CS5 を例に説明します。
- Adobe RGB 画像を作成する方法については、Photoshop の説明書を参照してください。

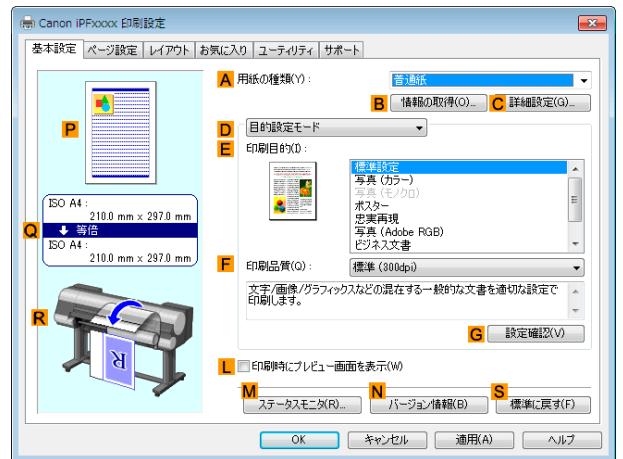
2 [ファイル]メニューから[プリントプレビュー]を選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

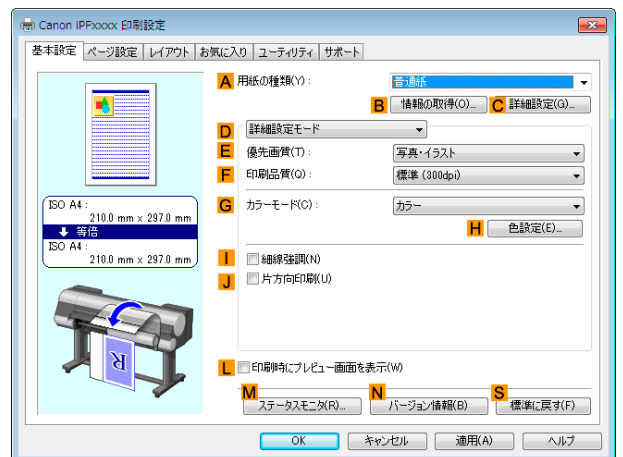
3 [カラーマネジメント]の設定モードになっていることを確認します。

4 [オプション]の[カラー処理]の一覧から、[プリンタによるカラー管理]をクリックします。

5 [プリント]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

6 プリンタを選択して[プロパティ]をクリックし、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。

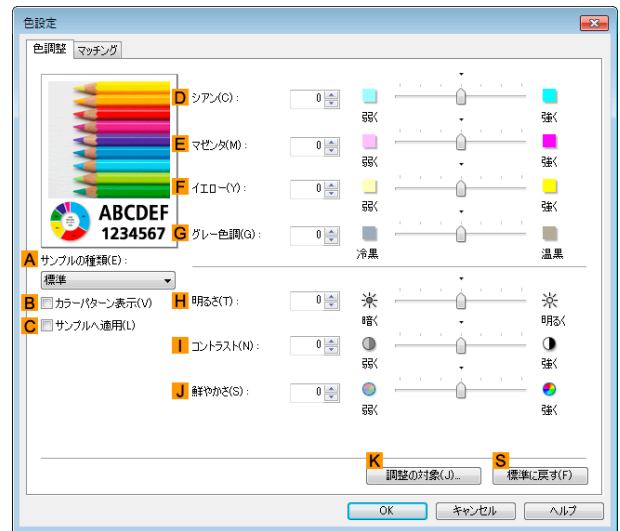
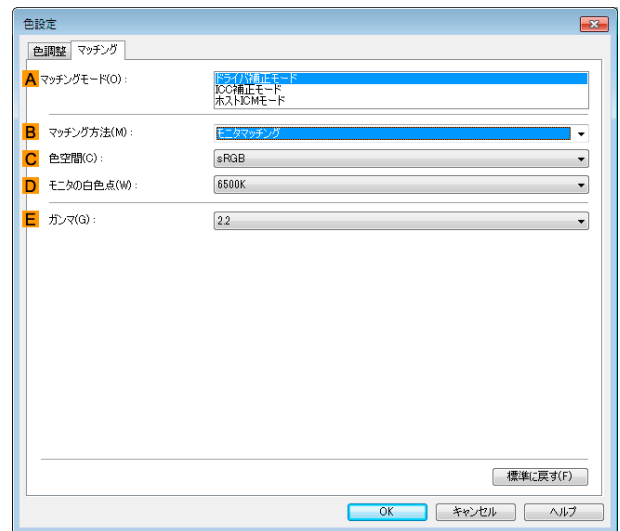
7 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

8 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[Canon プレミアム光沢紙 2 (厚口)]をクリックします。

9 D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

10 E[優先画質]の一覧から[写真・イラスト]をクリックします。

11 F[印刷品質]の一覧から印刷の品質を選択します。

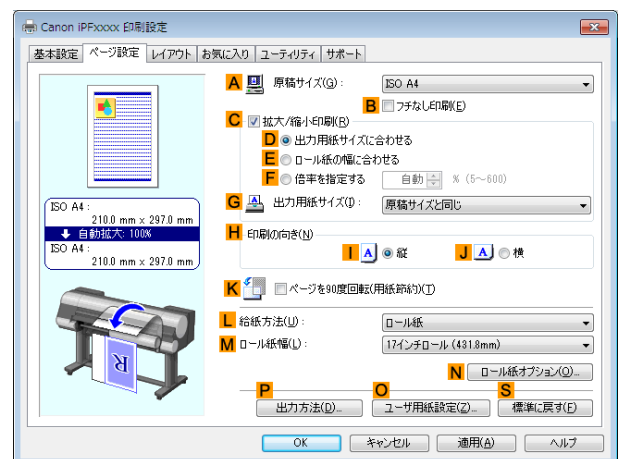
メモ
- F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

12 G[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

13 H[色設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

14 [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]シートを表示します。

15 A[マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]をクリックします。

16 C[色空間]で、[Adobe RGB]をクリックします。

17 [OK]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを閉じます。

18 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

19 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

20 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

21 M[ロール紙幅]の一覧からプリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール (254.0mm)]をクリックし、[OK]をクリックします。

22 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

Adobe RGB 画像を印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、Adobe RGB 画像を印刷する手順を説明します。

- 原稿:Photoshop で作成した Adobe RGB 画像
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[Canon プレミアム光沢紙 2(厚口)]
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

重要
- Photoshop では、カラーマッチングを行わないように設定します。
- プリンタドライバで、[ドライバ補正モード]を使用し、[色空間]として[Adobe RGB]を設定します。

1 Photoshop で Adobe RGB 画像を作成します。

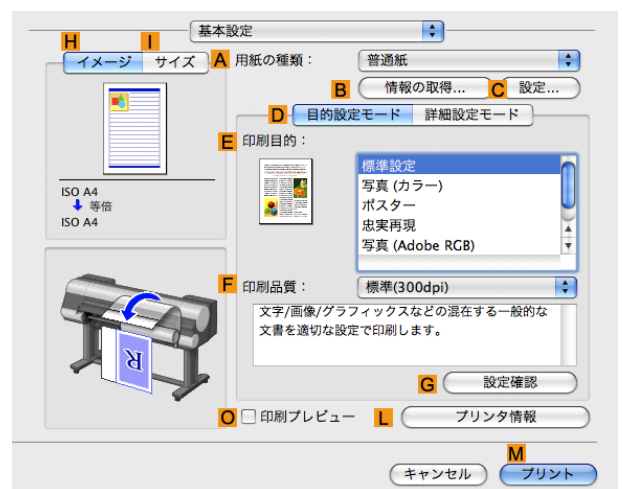
メモ
- ここでは、Photoshop CS3/CS4/CS5 を例に説明します。
- Adobe RGB 画像を作成する方法については、Photoshop の説明書を参照してください。

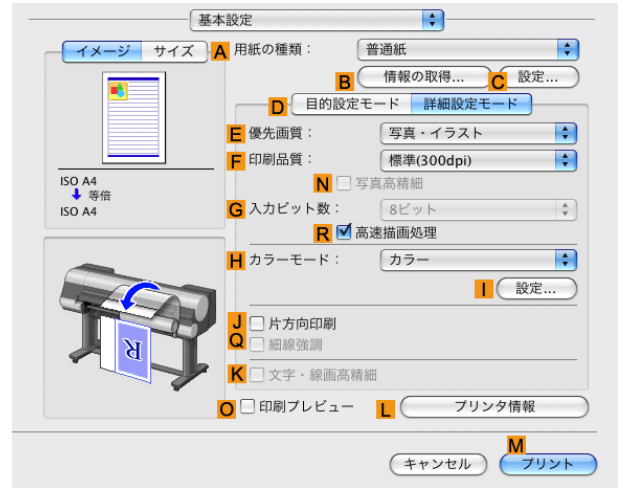
2 Photoshop のメニューから[プリントプレビュー]を選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

3 [カラーマネジメント]の設定モードになっていることを確認します。

4 [カラー処理]の一覧から、[プリンタによるカラー管理]をクリックします。

5 [プリント]をクリックします。

6 [基本設定]パネルを表示します。

7 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[Canon プレミアム光沢紙 2 (厚口)]をクリックします。

8 D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

9 E[優先画質]の一覧から[写真・イラスト]をクリックします。

10 F[印刷品質]の一覧から印刷の品質を選択します。

> メモ
> - F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

11 H[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

12 I[設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

13 [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]パネルを表示します。

14 [マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]をクリックします。

15 [色空間]で、[Adobe RGB]をクリックします。

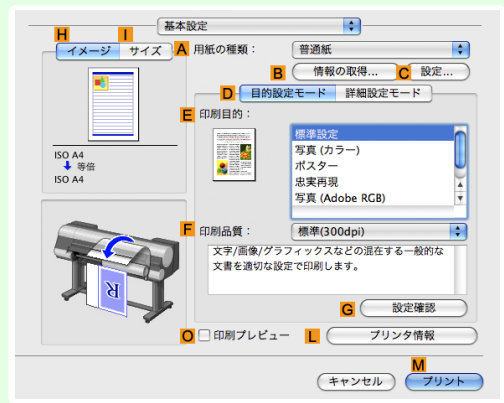
16 [OK]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを閉じます。

17 [ページ加工]パネルを表示します。

18 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

19 **B**[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- **B**[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの **L** [プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

20 [ページ加工]パネルの **C**[原稿サイズ]で、Photoshop で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]が表示されていることを確認します。

21 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する」を参照してください。→P.329

オフィスの文書を印刷する

プリンタドライバの[目的設定モード]から[ビジネス文書]を選択することで、簡単にオフィスの文書の印刷設定が行えます。

	[印刷目的]	説明
	[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷するのに適した設定です。

メモ

- 印刷目的ごとの設定値は、[設定確認]で確認できます。
- 設定値を詳細に調整することもできます。(詳細設定モード)
  詳細設定モードについては、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.57 」を参照してください。

オフィスの文書を印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- オフィスの文書を印刷する(Windows) →P.45
- オフィスの文書を印刷する(Mac OS X) →P.47

オフィスの文書を印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、オフィスの文書を印刷する手順を説明します。

- 原稿:ワープロソフトや表計算ソフトで作成したオフィスの文書
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- 用紙サイズ:A4(210.0×297.0 mm)

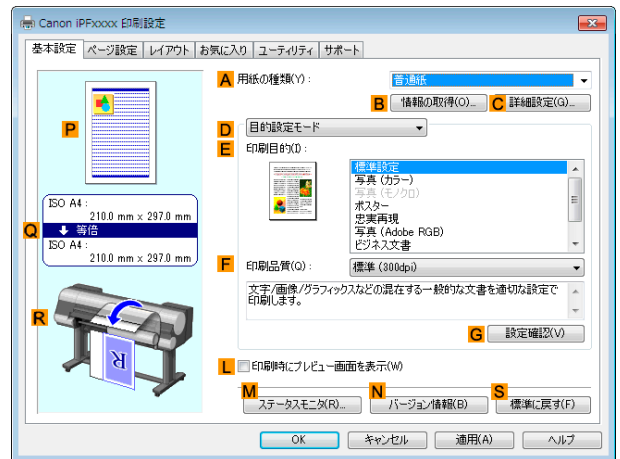
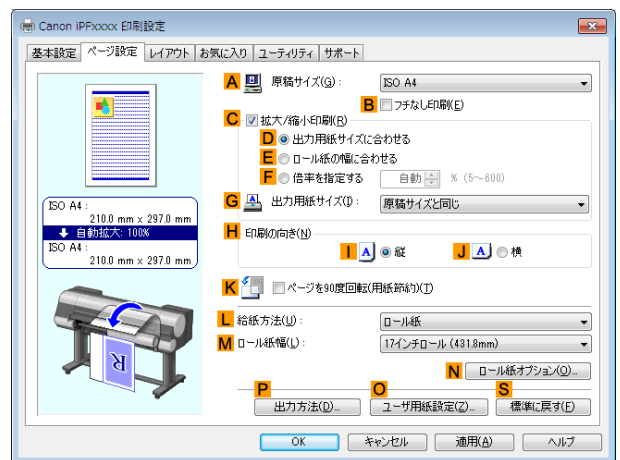
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照）

3 ［基本設定］シートが表示されていることを確認します。

4 A［用紙の種類］の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは［普通紙］をクリックします。

5 D［目的設定モード］が選択されていることを確認し、E［印刷目的］の一覧から［ビジネス文書］をクリックします。

メモ
- G［設定確認］をクリックすると、E［印刷目的］の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6 ［ページ設定］タブをクリックし、［ページ設定］シートを表示します。

7 A［原稿サイズ］の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］をクリックします。

8 L［給紙方法］の一覧から［カット紙］をクリックします。

9 その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.156 」を参照してください。

10 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

オフィスの文書を印刷する(Mac OS X)

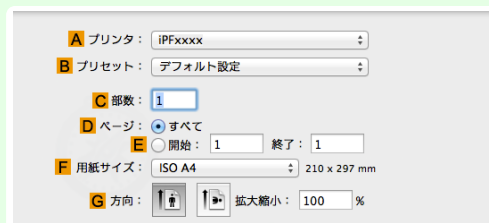
ここでは、以下を例に、オフィスの文書を印刷する手順を説明します。

- 原稿:ワープロソフトや表計算ソフトで作成したオフィスの文書
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- 用紙サイズ:A4(210.0×297.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

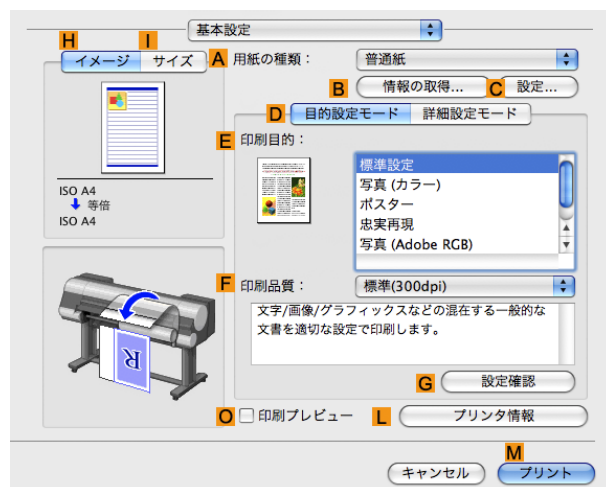
メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

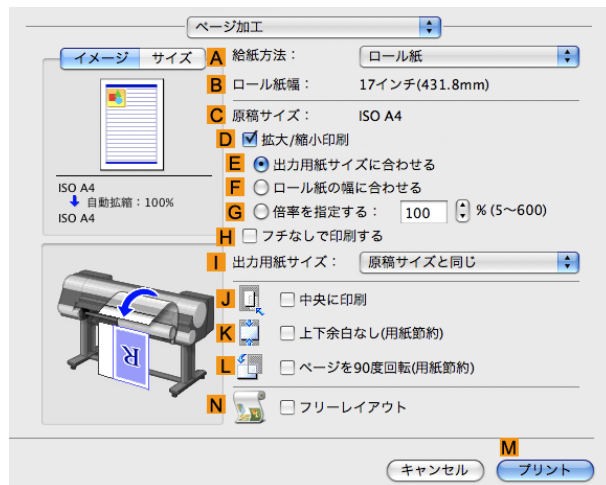
5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

7 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[ビジネス文書]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

11 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]が表示されていることを確認します。

12 その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.326 」を参照してください。

13 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

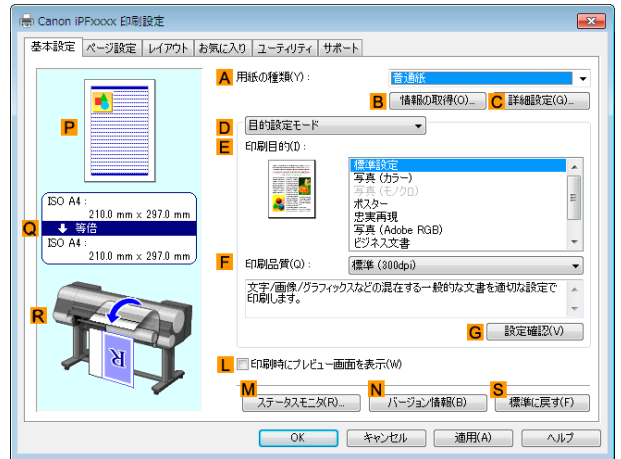
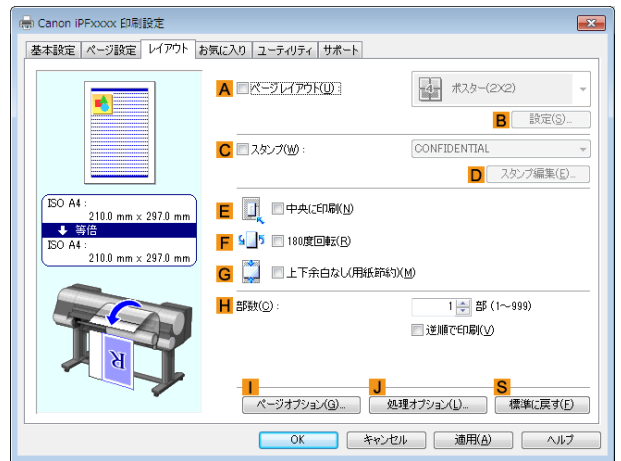
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329 」を参照してください。

PosterArtist で編集して印刷する

ワープロソフトや表計算ソフトの原稿、Web ブラウザの画面などを、PosterArtist で編集して印刷できます。
ここでは、複数のアプリケーションソフトの原稿を PosterArtist で編集し、ポスターにレイアウトして印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

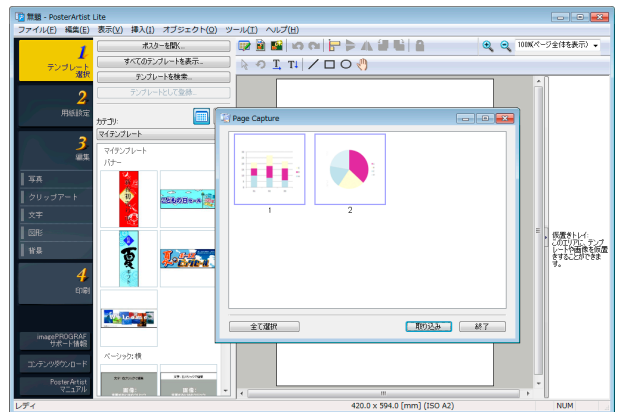
2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows）」参照） →P.162

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

5 **A**[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

6 **A**[ページレイアウト]の一覧から[PosterArtist で編集]をクリックします。

メモ

- この機能は 64bit 版の OS では使用できません。

7 印刷を実行すると、PosterArtist が起動し、PageCapture ウィンドウが開きます。（実際には、まだ用紙に印刷されません。）

8 PosterArtist に取り込むページを選択します。

9 PosterArtist のウィンドウで､イメージの編集や並べ替えを行います。
PosterArtist のウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 8 を繰り返すことで､複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。

メモ

- イメージの編集や並べ替えの方法については､PosterArtist マニュアルを参照してください｡

10 PosterArtist のメニューから印刷します。

画像を調整する

プリンタドライバで色を調整して印刷する 51
写真やイラストの色を微調整して印刷する(Windows) 52
写真やイラストの色を微調整して印刷する(Mac OS X) 55
印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する 57
印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Windows) 59
印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Mac OS X) 60

プリンタドライバで色を調整して印刷する

個々の印刷データに対する印刷時の色は、基本的にアプリケーションソフトの設定が優先されますが、さらに色の調整を行いたい場合は、プリンタドライバで調整します。

- [カラーモード]

プリンタドライバが行う色の処理の方法を選択します。
カラーモードの設定によって、調整できることが異なります。

カラーモード	説明	色の調整
[カラー]	カラーで印刷します。	色調の補正、カラーマッチング機能の選択をすることができます。
[モノクロ(写真)]	モノクロ写真に適したグレースケール印刷を行います。	モノクロ写真用に色調を補正できます。
[モノクロ]	グレースケールで印刷します。	色調を補正できます。
[色補正なし](*1)	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。	色調を補正できます。

*1:[色補正なし]を選択した場合、[マッチング]シート/[マッチング]パネルは表示されません。

- [色調整]

イメージ、グラフィックス、テキストごとに、色調を補正できます。

補正項目	説明
[シアン]	[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]の強弱を調整することで色合いを補正できます。
[マゼンタ]	
[イエロー]	
[グレー色調]	冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで、グレーの色を表現できます。
[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。 軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

- [マッチング]

カラーマッチングのマッチングモードとマッチング方法を選択できます。
マッチングモードとマッチング方法の設定によって、コンピュータのディスプレイで見た画像の色と印刷結果の色を近づけることができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]の変更はできません。

マッチングモード	説明	備考
[ドライバ補正モード]	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。	通常はこのモードを選択してください。

マッチングモード	説明	備考
[ICC 補正モード]	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。 入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。	デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
[ホスト ICM モード]	Windows の ICM 機能を用いて、ホストコンピュータでカラーマッチングを行います。 ICM 機能対応のアプリケーションから印刷する場合に選択してください。	Windows で選択できます。
[ColorSync モード]	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。 ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。	Mac OS で選択できます。 [ColorSync モード]を選択するには、[カラー・マッチング]パネルで[ColorSync]を選択します。

マッチング方法	説明	備考
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストごとに最適なカラーマッチングを行います。	マッチングモードの設定やご使用の OS によって、選択できる項目や項目の並び順が異なります。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。	
[写真調(人肌・暗部優先)]	室内で撮影された人物写真や、薄暗い風景写真など、ローキーな写真を印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。暗部の階調つぶれを防止すると共に、人物の肌を温かみのある色合いで再現できます。	
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。	
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。	
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。	
[モニタマッチング]	モニタマッチングに最適な設定で印刷します。 キャリブレーションされた sRGB または AdobeRGB モニタの色を忠実に再現する目的に適したカラーマッチングを行ないます。	

色を調整して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

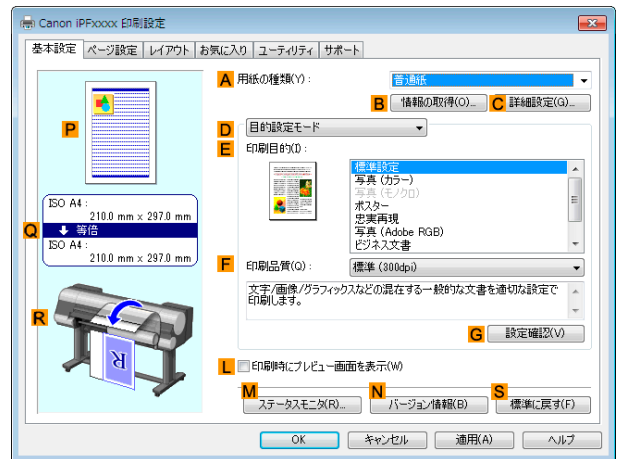
- 写真やイラストの色を微調整して印刷する(Windows) →P.52
- 写真やイラストの色を微調整して印刷する(Mac OS X) →P.55

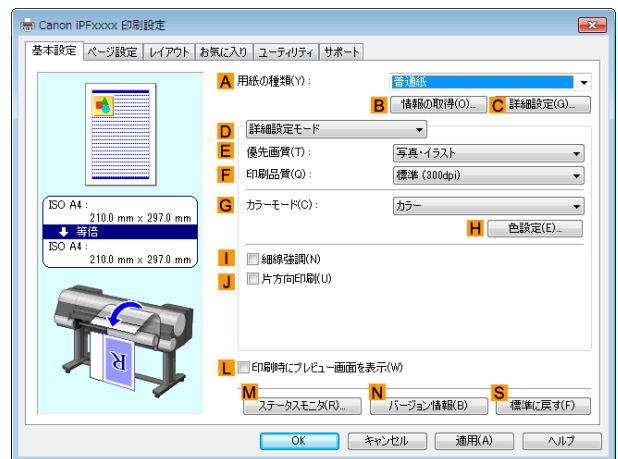
写真やイラストの色を微調整して印刷する(Windows)

登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真の色味を微調整して印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 **A**[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5 **D**[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6 **G**[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

7 **H**[色設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

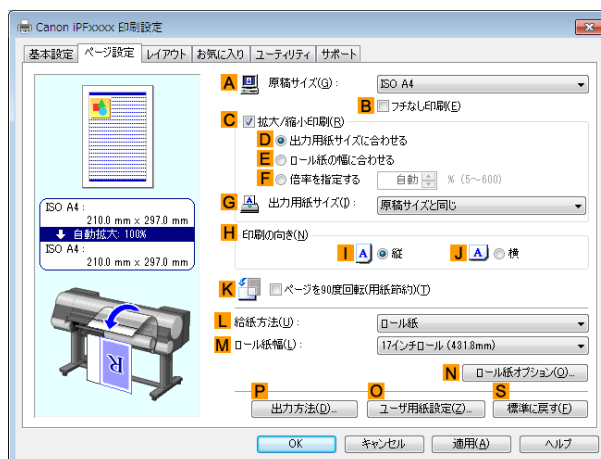
8 [色調整]シートで、色合いや明るさなどを調整します。

補正項目	説明
D[シアン]	シアン、マゼンタ、イエローの強弱を調整することで色合いを補正できます。
E[マゼンタ]	
F[イエロー]	
G[グレー色調]	冷黒(青みがかった色合い)、純黒(ニュートラル)、温黒(赤みがかった色合い)など、モノクロ写真に適したグレーの色調を調整できます。色領域から色を選択するか、リストから色調を選択します。
H[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
I[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。 軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
J[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

9 [色設定]ダイアログボックスを閉じます。

10 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

11 A[原稿サイズ]やL[給紙方法]の設定を確認します。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

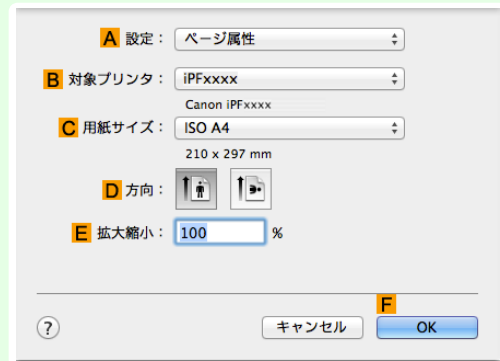
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

写真やイラストの色を微調整して印刷する（Mac OS X）

登録されている［印刷目的］の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真の色味を微調整して印刷する手順を説明します。

1 B［対象プリンタ］と C［用紙サイズ］の設定をします。

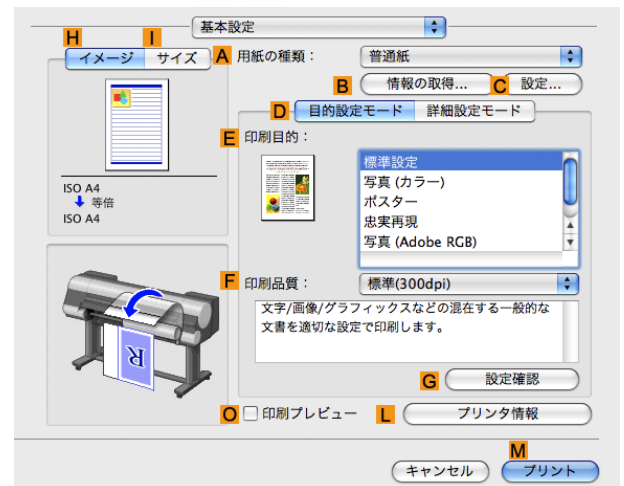
メモ

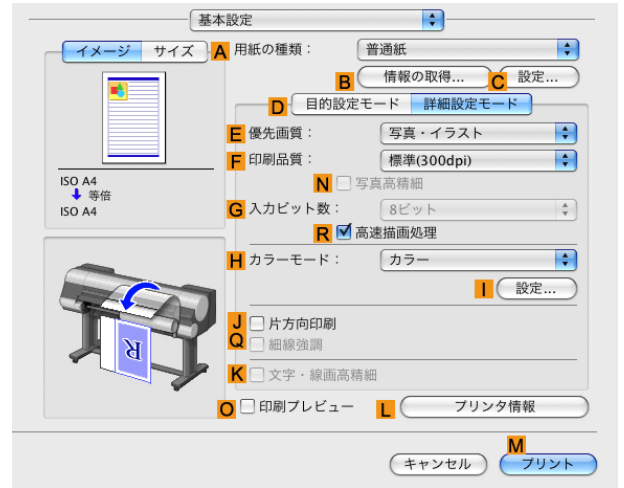
- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに［ページ設定］が表示される場合は、［ページ設定］から［ページ属性］ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

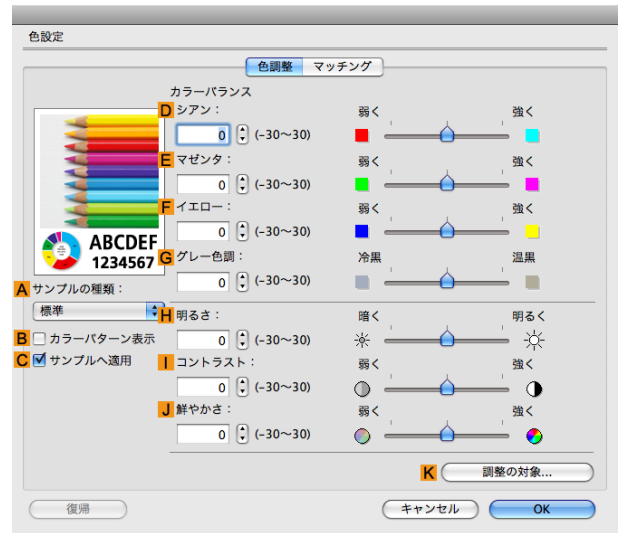
2 A［プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

3 F［用紙サイズ］の一覧から原稿のサイズを選択します。

4 ［ページ属性］ダイアログボックスで設定した場合、F［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択します。

5 ［基本設定］パネルを表示します。

6 A［用紙の種類］の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

7 D［詳細設定モード］をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

8 H［カラーモード］の一覧から［カラー］をクリックします。

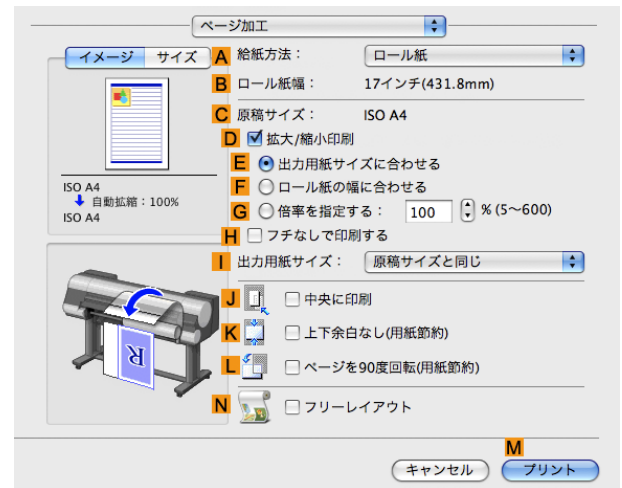
9 I［設定］をクリックし、［色設定］ダイアログボックスを開きます。

10 ［色調整］パネルで色合いや明るさなどを調整します。

補正項目	説明
D［シアン］	シアン、マゼンタ、イエローの強弱を調整することで色合いを補正できます。
E［マゼンタ］	
F［イエロー］	
G［グレー色調］	冷黒（青みがかった色合い）、純黒（ニュートラル）、温黒（赤みがかった色合い）など、モノクロ写真に適したグレーの色調を調整できます。色領域から色を選択するか、リストから色調を選択します。
H［明るさ］	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
I［コントラスト］	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。 軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
J［鮮やかさ］	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- ［調整の対象］をクリックすると［調整の対象］ダイアログボックスが開き、［イメージ］、［グラフィックス］、［テキスト］から色を調整する対象を選択することができます。

11 ［OK］をクリックし、［色設定］ダイアログボックスを閉じます。

12 [ページ加工]パネルを表示します。

13 A[給紙方法]や C[原稿サイズ]の設定を確認します。

14 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

• 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329 」を参照してください。

印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する

品質や色などの詳細な印刷設定を行えます。

• [優先画質]

印刷結果において、特に重視する要素を選択します。

優先画質(*1)	説明
[写真･イラスト]	ポスターのように主に写真やイラストで構成される原稿を印刷する場合、または印刷物の写真やイラストの仕上がりを重視する場合の設定です。
[線画･文字]	主に微細な線で構成される CAD 図面などを印刷する場合、または細かな文字の仕上がりを重視する場合に選択します。 写真や塗りつぶしの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。その場合は[写真･イラスト]を選択してください。
[オフィス文書]	一般的なアプリーションソフトで作成した書類やプレゼン資料のように、テキストとイラストの混在したドキュメントの読みやすさを重視する場合の設定です。
[プルーフ]	印刷プルーフで写真やイラストや文字の再現性を重視する場合の設定です。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

*1:優先画質の一覧には、選択した用紙の種類によって、その用紙の種類に最適な選択肢が表示されます。

• [印刷品質]

品質を選択します。

品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質(*1)	説明	優先画質
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。	[写真･イラスト] [プルーフ]
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。 [標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。	[写真･イラスト] [線画･文字] [プルーフ]
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。	[写真･イラスト] [線画･文字]

印刷品質(*1)	説明	優先画質
[標準]	[最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。	[オフィス文書] [プルーフ]
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。レイアウトの確認などを効率よく行えます。	[写真・イラスト] [線画・文字]

*1:印刷品質の一覧には、選択した優先画質によって、その優先画質に最適な選択肢が表示されます。

- 色の設定

設定項目	選択肢	説明
[カラーモード](*1)	[カラー] [モノクロ(写真)] [モノクロ] [色補正なし]	カラー印刷またはモノクロ印刷を選択します。 (「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.51 」参照)
[色調整](イメージ) [色調整](グラフィックス) [色調整](テキスト)	[シアン] [マゼンタ] [イエロー] [グレー色調] [明るさ] [コントラスト] [鮮やかさ]	イメージ、グラフィックス、テキストごとに、シアン、マゼンタ、イエローの色合いや、明るさ、コントラスト、鮮やかさ、グレーの度合いを調整できます。 [カラーモード]で、[モノクロ]を選択した場合は、[明るさ]と[コントラスト]だけを調整できます。
[グレー調整]	[色調] [明るさ] [コントラスト] [ハイライト] [シャドー]	[冷黒]や[温黒]といったグレーの色調、明るさ、コントラスト、ハイライト、シャドーの階調を調整できます。 [カラーモード]で、[モノクロ(写真)]を選択した場合に調整できます。
カラーマッチングのモード	[ドライバ補正モード] [ICC 補正モード]	カラーマッチングのモードを選択できます。これ以外にも、ICM や ColorSync など、OS の提供するマッチングモードを選択できます。
カラーマッチングの方法(*2)	[自動] [写真調] [鮮やかな色に] [モニタマッチング] [色差最小] (その他)	カラーマッチングの方法を選択できます。[カラーマッチングのモード]で選択したマッチングモードによって、選択できる項目が異なります。
[色空間](*3)	[sRGB] [Adobe RGB]	標準的なカラースペース([sRGB])と拡張カラースペース([Adobe RGB])を選択できます。

*1:[カラーモード]の一覧には、選択した[優先画質]や[用紙の種類]によって、その[優先画質]に最適な選択肢が表示されます。

*2:ご使用の OS によって、表示される選択肢の並び順が異なります。

*3:[Adobe RGB]をサポートしていない用紙や印刷品質の組み合わせが選択されている場合は、この機能は使用できません。

- 品質の補正

設定項目	説明
[細線強調]	細い線を太く見やすく印刷します。
[片方向印刷]	色ムラや罫線ズレを抑えて印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- より高画質をお求めの場合は、プリンタドライバの[印刷品質]を[きれい]または[最高]に設定し、[片方向印刷]をチェックして印刷してください。

印刷品質や色を指定して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

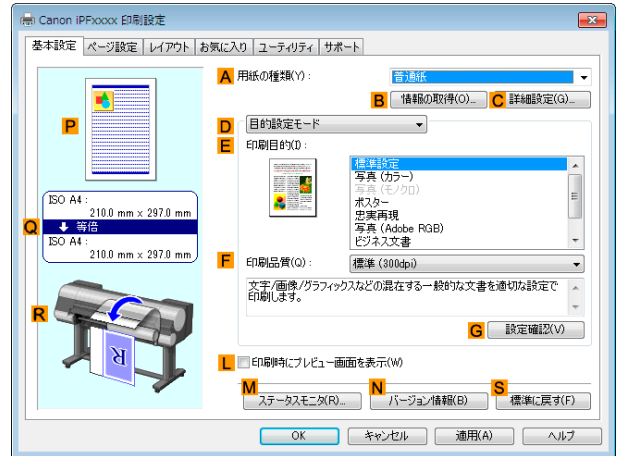
- 印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Windows) →P.59
- 印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Mac OS X) →P.60

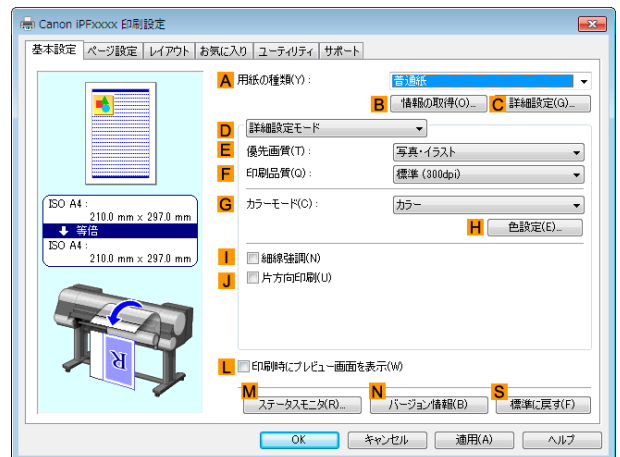
印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Windows)

登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真画像をモノクロで印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5 D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6 E[優先画質]の一覧から[写真・イラスト]をクリックします。

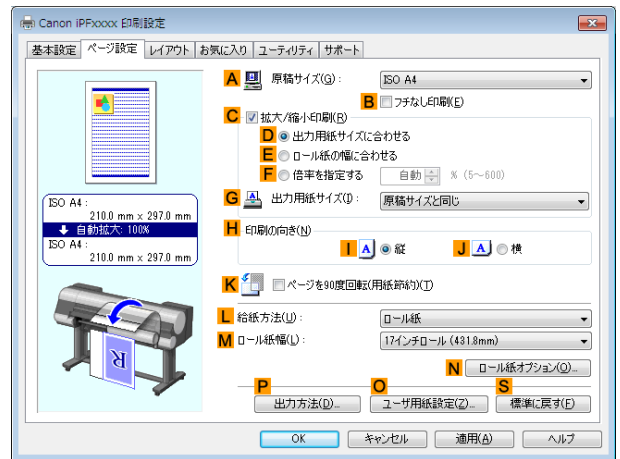
7 F[印刷品質]の一覧から[きれい (600dpi)]をクリックします。

> メモ
> • F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

8 G[カラーモード]の一覧から[モノクロ]をクリックします。

9 明るさやコントラストを調整する場合は、H[色設定]をクリックします。

> メモ
> • 明るさやコントラストを調整する方法については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する」を参照してください。 →P.51

10 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

11 A[原稿サイズ]やL[給紙方法]の設定を確認します。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Mac OS X)

登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真画像をモノクロで印刷する手順を説明します。

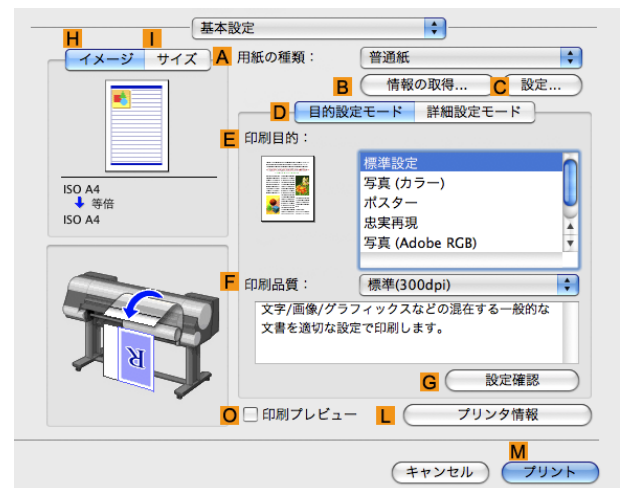
1 アプリケーションソフトのメニューから[ページ設定]を選択し、[ページ属性]ダイアログボックスを開きます。

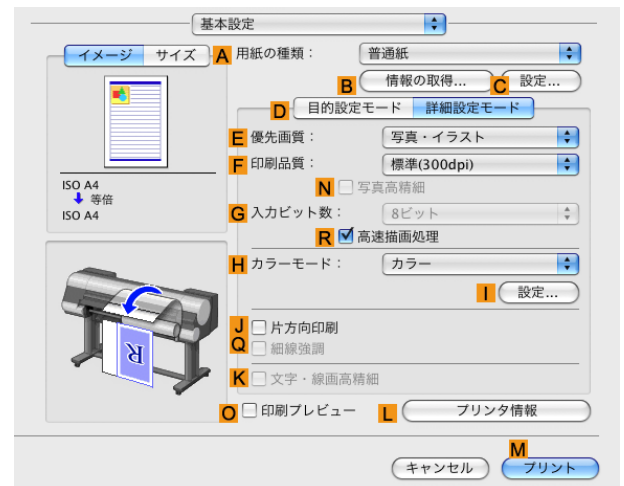
2 B[対象プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4 F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

5 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

6 [基本設定]パネルを表示します。

7 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

8 D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

9 E[優先画質]の一覧から[写真・イラスト]をクリックします。

10 F[印刷品質]の一覧から[きれい (600dpi)]をクリックします。

メモ

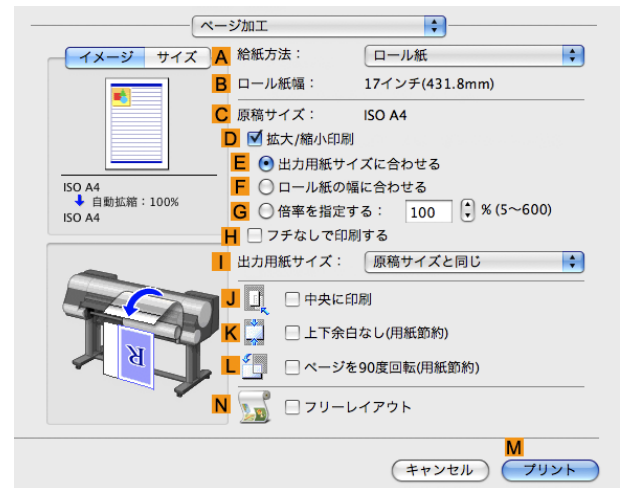
- F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

11 H[カラーモード]の一覧から[モノクロ]をクリックします。

12 明るさやコントラストを調整する場合は、I[設定]をクリックします。

メモ

- 明るさやコントラストを調整する方法については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.51 」を参照してください。

13 [ページ加工]パネルを表示します。

14 A[給紙方法]やC[原稿サイズ]の設定を確認します。

15 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

拡大／縮小して印刷する

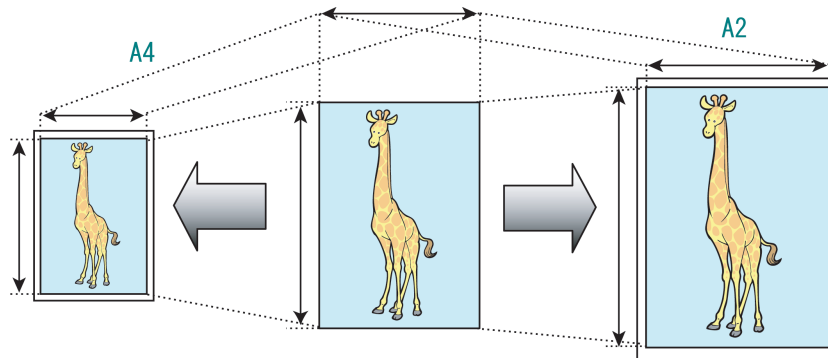
用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する 63
用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） 63
用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） 65

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する 67
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） 67
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） 69

指定した倍率で拡大/縮小して印刷する 71
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Windows） 71
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） 73

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

- ［拡大/縮小印刷］
  プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。
- ［出力用紙サイズに合わせる］
  用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小します。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） →P.63
- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） →P.65

メモ

- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:［普通紙］
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1 アプリケーションソフトのメニューから［印刷］（プリント）を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照）

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 **A**[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5 **E**[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 **L**[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8 **M**[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

9 **A**[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

10 **C**[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

11 **D**[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

12 **G**[出力用紙サイズ]の一覧から[ISO A3]をクリックします。

13 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159」を参照してください。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F［印刷品質］を一覧から選択します。

9 ［ページ加工］パネルを表示します。

10 A［給紙方法］の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B［ロール紙幅］で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［ISO A2/A3（420.0mm）］が表示されていることを確認します。

メモ

- B［ロール紙幅］に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、［基本設定］パネルの L［プリンタ情報］をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 ［ページ加工］パネルの C［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの C［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］が表示されていることを確認します。

13 D［拡大/縮小印刷］チェックボックスをオンにします。

14 E［出力用紙サイズに合わせる］が選択されていることを確認します。

15 I［出力用紙サイズ］の一覧から［ISO A3］をクリックします。

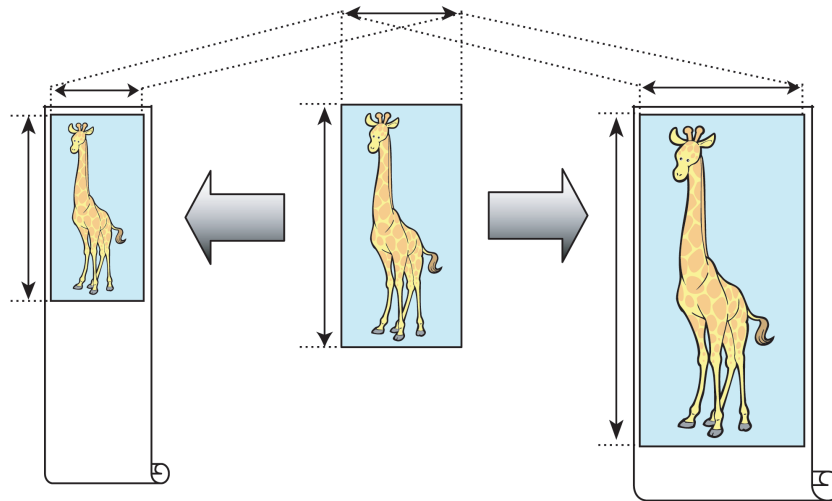
16 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

- [拡大/縮小印刷]
  プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。
- [ロール紙の幅に合わせる]
  原稿の幅をロール紙の幅に合わせて、原稿全体を拡大/縮小して印刷します。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する(Windows) →P.67
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する(Mac OS X) →P.69

メモ

- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

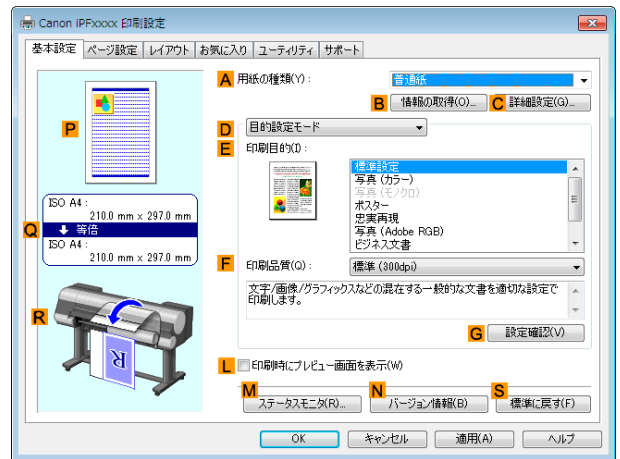
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

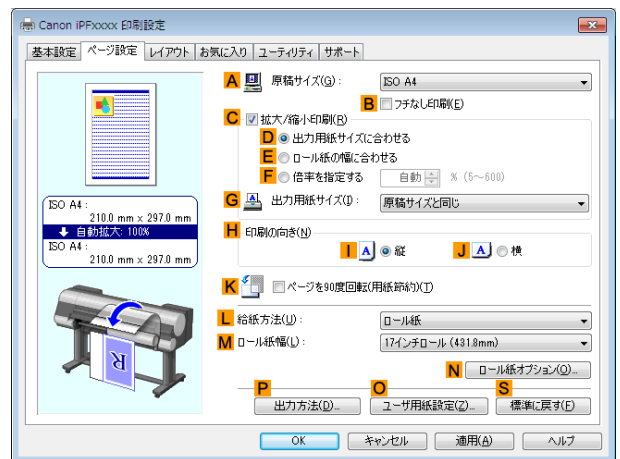
- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:16 インチ(406.4 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5 E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

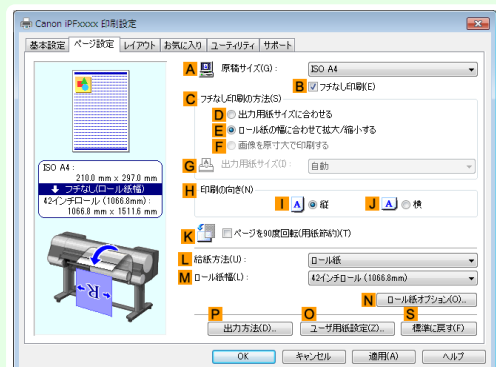
8 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします[Letter(8.5"x11")]。

9 C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

メモ

- [ページ設定]シートにC[拡大/縮小印刷]チェックボックスが表示されない場合は、B[フチなし印刷]チェックボックスをオフにします。

10 E［ロール紙の幅に合わせる］をクリックします。

メモ

- E［ロール紙の幅に合わせる］をクリックすると、［情報］ダイアログボックスが開きます。［ロール紙幅］の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅を選択し、［OK］をクリックします。
- 設定したロール紙の幅とプリンタにセットしたロール紙の幅が同じであることを確認してください。

11 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:［普通紙］
- ロール紙幅:16 インチ（406.4 mm）

1 B［対象プリンタ］と C［用紙サイズ］の設定をします。

メモ

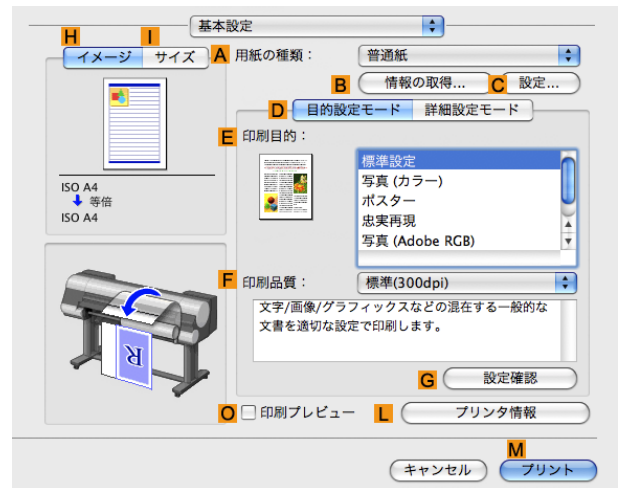
- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに［ページ設定］が表示される場合は、［ページ設定］から［ページ属性］ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A［プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

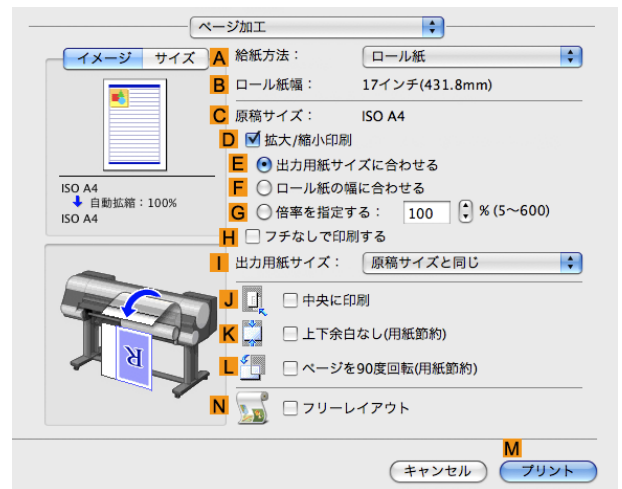
3 F［用紙サイズ］の一覧から原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］をクリックします。

4 ［ページ属性］ダイアログボックスで設定した場合、F［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチ(406.4mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13 D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

14 F[ロール紙の幅に合わせる]をクリックします。

15 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

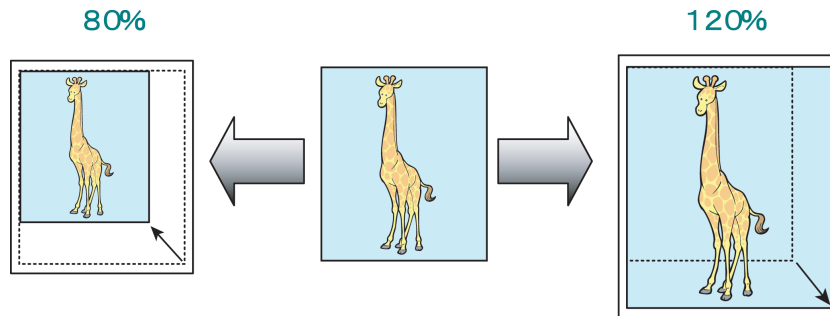
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

- [拡大/縮小印刷]

  プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。

- [倍率を指定する]

  指定した倍率で原稿を拡大/縮小します。

倍率を指定して拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Windows） →P.71
- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） →P.73

メモ

- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、指定した倍率で原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）

- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

重要

- フチなしで印刷する場合は、倍率を指定して拡大/縮小して印刷することはできません。

さまざまな印刷方法
拡大/縮小して印刷する

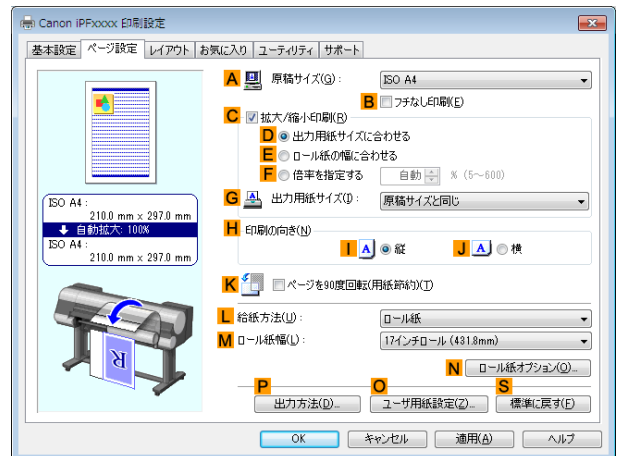
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5 E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

9 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

10 C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

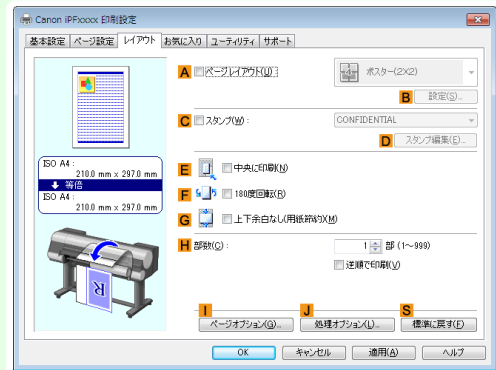
11 G[出力用紙サイズ]の一覧から[ISO A4]をクリックします。

12 F[倍率を指定する]をクリックし、[120]を入力します。

メモ

- 印刷する用紙のサイズより大きくなるように倍率を指定することもできますが、右側と下側の用紙に収まらない部分は印刷されません。
- 拡大/縮小した原稿のサイズが用紙のサイズよりも小さいと左上に寄って印刷されます。その場合は、[レイアウト]シートの E[中央に印刷]チェックボックスをオンにすると中央に印刷できます。

13 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159」を参照してください。

指定した倍率で拡大/縮小して印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、指定した倍率で原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、**F**[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 **A**[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

7 **E**[印刷目的]を一覧から選択します。

8 **F**[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 **A**[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルのL[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスのC[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13 D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

14 G[倍率を指定する]をクリックし、[120]を入力します。

メモ

- 印刷する用紙のサイズより大きくなるように倍率を指定することもできますが、用紙に収まらない部分は印刷されません。
- 拡大/縮小した原稿のサイズが用紙のサイズよりも小さいと左上に寄って印刷されます。その場合は、J[中央に印刷]チェックボックスをオンにすると中央に印刷できます。

15 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329 」を参照してください。

原寸で印刷する

オーバーサイズの用紙サイズに印刷する 76
原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Windows) 77
原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Mac OS X) 78
原寸大のフチなしで印刷する 80
原寸大のフチなしで印刷する(Windows) 81
原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X) 83

オーバーサイズの用紙サイズに印刷する

用紙サイズを[オーバーサイズ](原稿のサイズに、プリンタの動作に必要な余白を加えたサイズ)から選択することで、原稿の全ての領域を原寸で印刷できます。
画質を重視した印刷の場合にお勧めします。

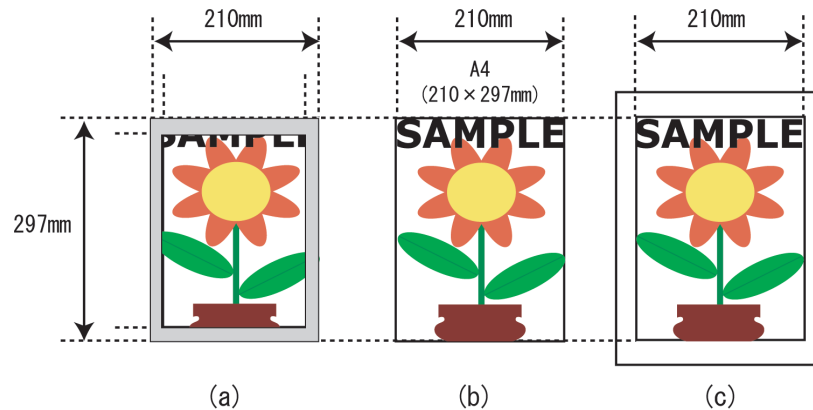
メモ

- 通常の用紙サイズでは、原稿を余白なく作成して印刷した場合、用紙の端の画像が欠けます。

- [オーバーサイズ]

通常の用紙サイズで印刷する場合は、原稿の領域の内側にプリンタの動作に必要な余白をとって印刷します。(「印刷領域」参照) →P.921 例えば、図(b)の A4 サイズ(210×297 mm)の原稿を印刷した場合は、図(a)のようになります。

一方、[オーバーサイズ]の用紙サイズを選択した場合は、原稿の領域の外側にプリンタの動作に必要な余白をとって印刷するので、図(c) のようになります。

印刷後に周囲の余白を切り落とせば、図(b)のような A4 サイズの印刷が得られます。

重要

- [オーバーサイズ]の用紙サイズに印刷するときは、原稿のサイズに、プリンタの動作に必要な余白を加えたサイズよりも大きな用紙をセットしてください。
  - カット紙の場合:原稿のサイズより、幅 10 mm 以上、高さ 28 mm 以上大きな用紙をセットします。
  - ロール紙の場合:原稿のサイズより、幅 10 mm 以上、長さ 10 mm 以上大きな用紙をセットします。

メモ

- プリンタにセットできる最大の用紙サイズに対しては、オーバーサイズの用紙サイズは使用できません。(「用紙のサイズ」参照) →P.474
- [原稿サイズ]で[オーバーサイズ]を選択できるのは、Windows だけです。
- Macintosh でオーバーサイズ印刷を行う場合は、定形外の用紙に印刷する設定が必要です。
- 定形外の用紙に対してオーバーサイズの用紙サイズを設定する場合は、ユーザ定義用紙に用紙サイズを登録してください。[カスタムサイズ]では、オーバーサイズの用紙サイズの設定はできません。(「定形外の用紙に印刷する」参照) →P.105

オーバーサイズで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Windows) →P.77

• 原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Mac OS X) →P.78

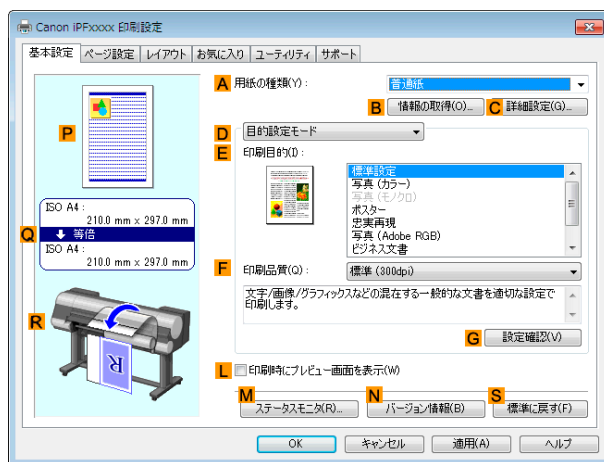
原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Windows)

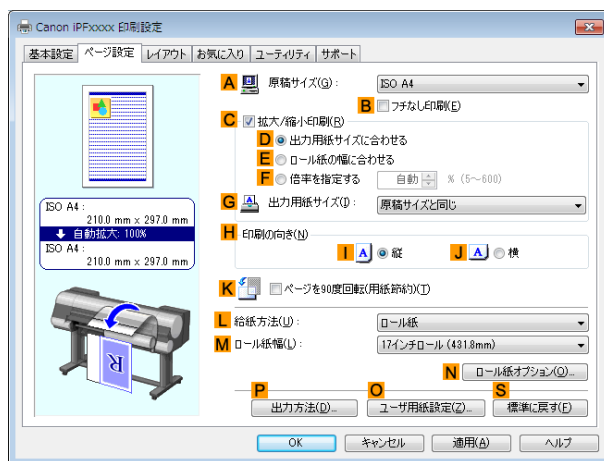
ここでは、以下を例に、原稿サイズの全面を原寸で印刷する手順を説明します。(オーバーサイズ印刷)

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. **A**[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. **O**[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。

7. [ユーザ用紙設定]ダイアログボックスで、[サイズ系列]の[オーバーサイズ]チェックボックスをオンにします。

8. [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

9. **A**[原稿サイズ]の一覧から[オーバーサイズ - ISO A4]をクリックします。

10 L［給紙方法］の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 M［ロール紙幅］の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［ISO A2/A3 ロール（420.0mm）］をクリックします。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

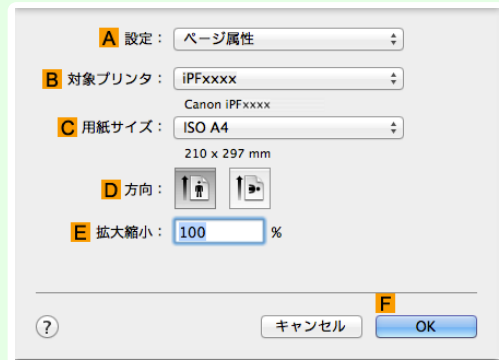
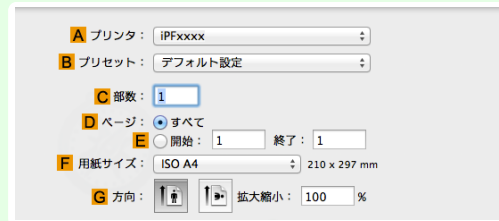
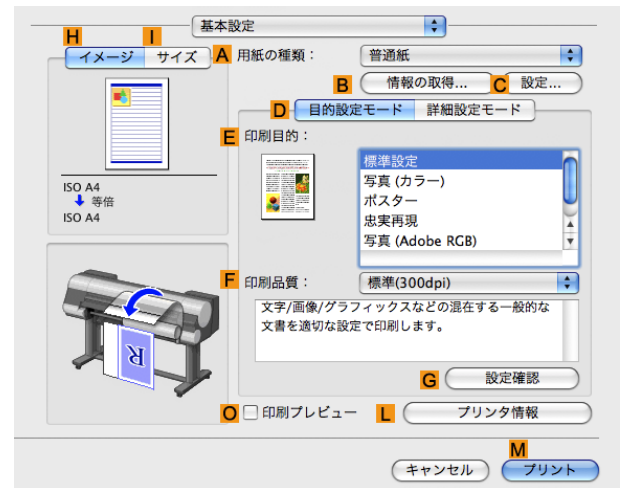
原稿サイズの全面を原寸で印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、原稿サイズの全面を原寸で印刷する手順を説明します。（オーバーサイズ印刷）

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:［普通紙］
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1 B［対象プリンタ］と C［用紙サイズ］の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに［ページ設定］が表示される場合は、［ページ設定］から［ページ属性］ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A［プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

3 F［用紙サイズ］の一覧から原稿のサイズ、ここでは［ISO A4 - オーバーサイズ］をクリックします。

4 ［ページ属性］ダイアログボックスで設定した場合、F［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

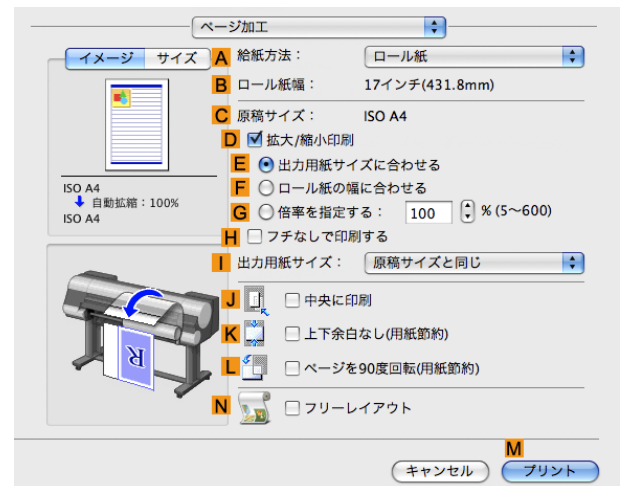
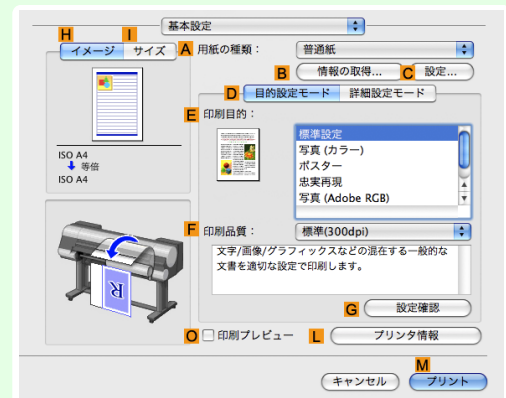
7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - オーバーサイズ]が表示されていることを確認します。

13 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329 」を参照してください。

原寸大のフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白(フチ)のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。
通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入りますが、フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

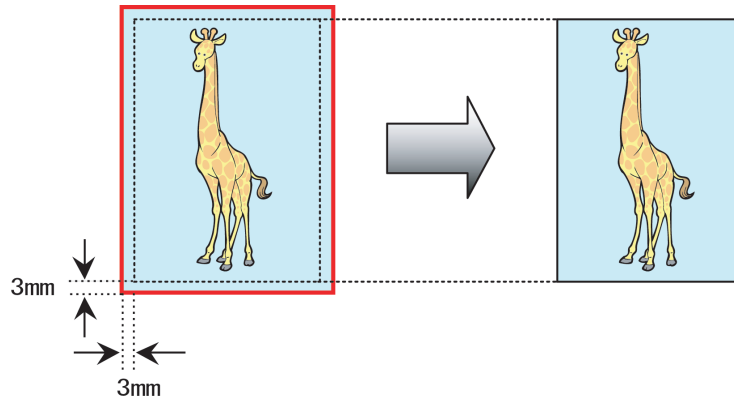
- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。(「用紙リファレンスガイド」参照)
- 通常は上下左右フチなし(4 辺フチなし)で印刷しますが、次の場合は、印刷された画像の上下がオートカットされないため、左右のみフチなし(2 辺フチなし)になります。
  - 用紙リファレンスガイドにフチなし印刷が 2 辺のみと記載されている用紙(印刷された画像部分がきれいにカットできない用紙)を選択した場合
  - プリンタの操作パネルで以下の設定を行っている場合
    - [カットモード]が[ユーザーカット]
    - [カット屑軽減]が[オン]
    - [巻き取り装置]の[装置の使用]が[使用する]
  - プリンタドライバでオートカットを行わない設定にしている場合

重要

- フチなし印刷する場合は、プラテン上のすべての青いスイッチを必ず●側に設定してください。スイッチが正しく設定されていないと、印刷品質が低下します。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.880
- トンボや余白などが原稿の周囲にデータとして含まれている場合はフチなし印刷になりません。
- 印刷する画像の長さが短い場合、カット不良や排紙不良を防ぐためロール紙を規定の長さまで送ってカットするので、ロール紙の後端はフチなし印刷されない場合があります。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、[出力用紙サイズに合わせる]または[画像を原寸大で印刷する](Windows のみ)が選択されている場合は[ページを 90 度回転(用紙節約)]を選択することはできません。ただし原稿を 90 度回転させてもフチなし印刷可能な場合は、自動的にページを 90 度回転して印刷します。

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

- [画像を原寸大で印刷する]

原稿の拡大/縮小を行わず、原稿のサイズと同じサイズで印刷します。画質を重視する場合にお勧めします。用紙サイズよりも上下左右 3 mm ずつ大きいサイズで原稿を作成してください。

- 選択できる原稿のサイズには制限があります。
- [画像を原寸大で印刷する]以外のフチなし印刷では、画像が自動的に拡大されるため、わずかに画質が劣化します。

写真やイラストを原寸大のフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原寸大のフチなしで印刷する(Windows) →P.81
- 原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X) →P.83

原寸大のフチなしで印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、原寸大のフチなしで原稿を印刷する手順を説明します。

重要

- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、[ロール紙オプション]ダイアログボックスの[オートカット]一覧から[なし]を選択してください。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[Canon 厚口コート紙]
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 アプリケーションソフトで、四切(254.0×304.8 mm)よりも上下左右に 3 mm ずつ大きいサイズ(260.0×310.8 mm)で原稿を作成します。

メモ

- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。
- 上下左右の約 3 mm は印刷されません。印刷したい部分が用紙に収まるように原稿を作成してください。

2 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く」参照) →P.162

4 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[Canon 厚口コート紙]をクリックします。

6 E[印刷目的]を一覧から選択します。

重要

- インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。
  - [用紙の種類]の[詳細設定]をクリックします。
  - [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

9 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10 B[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11 [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

12 [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13 C[フチなし印刷の方法]で、F[画像を原寸大で印刷する]をクリックします。

14 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する」を参照してください。 →P.159

原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原寸大のフチなしで原稿を印刷する手順を説明します。

重要

- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスの[オートカット]から[なし]を選択してください。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)-フチなし
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[Canon 厚口コート紙]
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[ページ設定]を選択し、[ページ属性]ダイアログボックスを開きます。

2 B［対象プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

3 C［用紙サイズ］の一覧から原稿のサイズ、ここではフチなし印刷が可能な用紙サイズ［四切（10"×12"）- フチなし］をクリックします。

> メモ
> • 原寸大のフチなし印刷が可能な用紙のサイズは、通常のサイズ名の後に［- フチなし］が付いたサイズです。

4 F［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

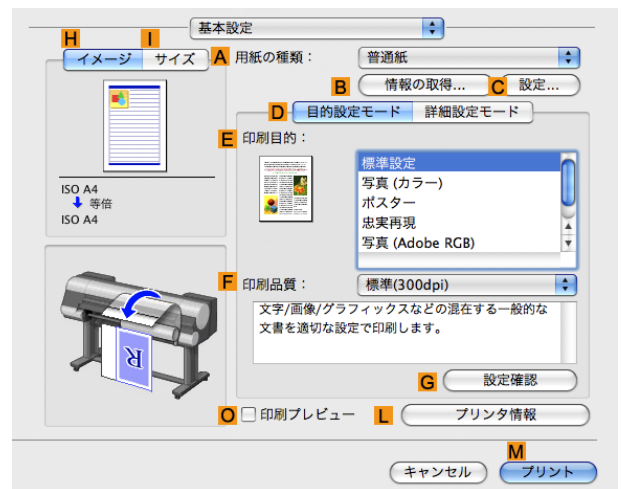
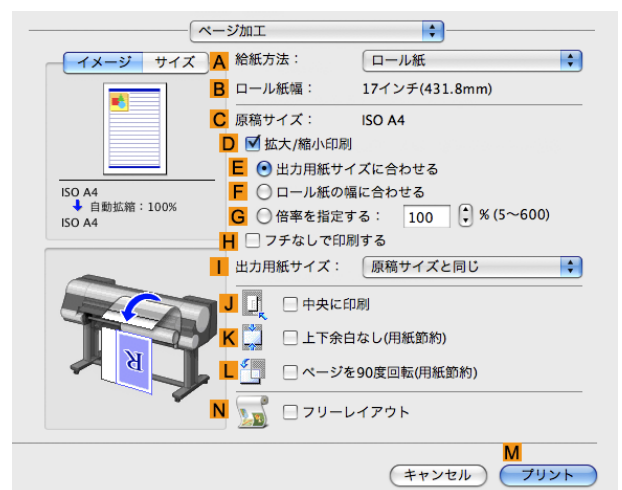
5 アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

6 アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択します。

7 ［基本設定］パネルを表示します。

8 A［用紙の種類］の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは［Canon 厚口コート紙］をクリックします。

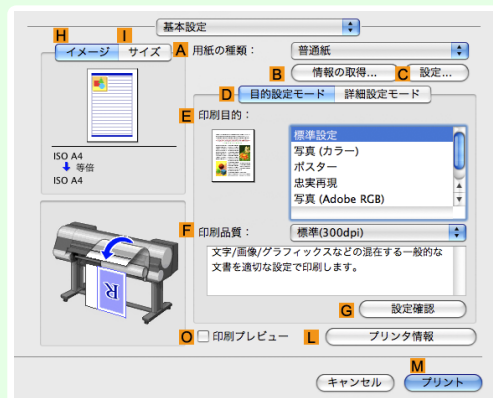
9 E［印刷目的］を一覧から選択します。

> 重要
> • インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、［用紙の詳細設定］ダイアログボックスの［ページ間］でインク乾燥時間を変更してください。

10 ［ページ加工］パネルを表示します。

11 A［給紙方法］の一覧からロール紙を選択してクリックします。

12 ロール紙幅と原稿サイズが一致していることを確認します。

B［ロール紙幅］で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［10 インチ（254.0mm）］が表示されていることを確認します。

メモ

- **B**［ロール紙幅］に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、［基本設定］パネルの **L**［プリンタ情報］をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

13 **C**［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの **C**［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［四切（10"×12"）- フチなし］が表示されていることを確認します。

14 印刷の設定を確認し、**M**［プリント］をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329 」を参照してください。

フチなしで印刷する

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する 86
用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Windows) 87
用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) 89
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する 92
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows) 93
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) 95
原寸大のフチなしで印刷する 80
原寸大のフチなしで印刷する(Windows) 81
原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X) 83

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する

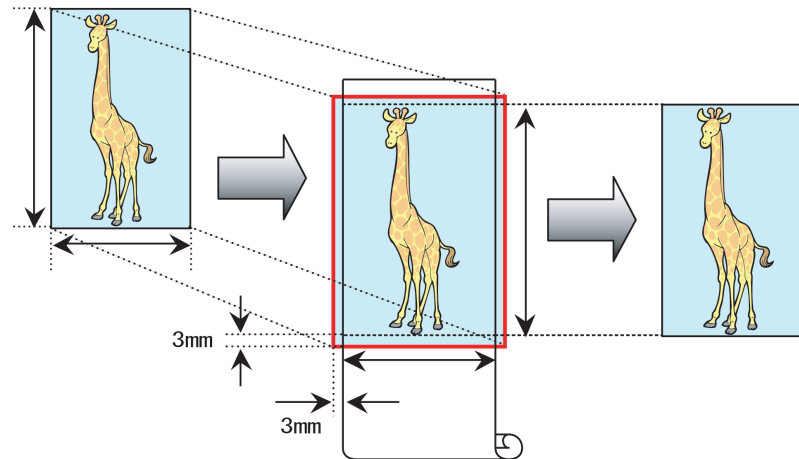
写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白(フチ)のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。
通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入りますが、フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。(「用紙リファレンスガイド」参照)
- 通常は上下左右フチなし(4 辺フチなし)で印刷しますが、次の場合は、印刷された画像の上下がオートカットされないため、左右のみフチなし(2 辺フチなし)になります。
  - 用紙リファレンスガイドにフチなし印刷が 2 辺のみと記載されている用紙(印刷された画像部分がきれいにカットできない用紙)を選択した場合
  - プリンタの操作パネルで以下の設定を行っている場合
    - [カットモード]が[ユーザーカット]
    - [カット屑軽減]が[オン]
    - [巻き取り装置]の[装置の使用]が[使用する]
  - プリンタドライバでオートカットを行わない設定にしている場合

重要

- フチなし印刷する場合は、プラテン上のすべての青いスイッチを必ず●側に設定してください。スイッチが正しく設定されていないと、印刷品質が低下します。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.880
- トンボや余白などが原稿の周囲にデータとして含まれている場合はフチなし印刷になりません。
- 印刷する画像の長さが短い場合、カット不良や排紙不良を防ぐためロール紙を規定の長さまで送ってカットするので、ロール紙の後端はフチなし印刷されない場合があります。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、[出力用紙サイズに合わせる]または[画像を原寸大で印刷する](Windows のみ)が選択されている場合は[ページを 90 度回転(用紙節約)]を選択することはできません。ただし原稿を 90 度回転させてもフチなし印刷可能な場合は、自動的にページを 90 度回転して印刷します。

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

- [出力用紙サイズに合わせる]
  用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小します。

メモ
- 原稿の各辺は、プリンタドライバで用紙サイズに対して上下左右に 3 mm ずつ大きく設定されます。用紙の外にはみ出した 3 mm の部分は印刷されません。

写真やイラストを出力する用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Windows) →P.87
- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) →P.89

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

重要
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、[ロール紙オプション]ダイアログボックスの[オートカット]一覧から[なし]を選択してください。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[Canon 厚口コート紙]
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

メモ
- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

2 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く」参照) →P.162

4 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[Canon 厚口コート紙]をクリックします。

6 E[印刷目的]を一覧から選択します。

重要

- インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。
  - [用紙の種類]の[詳細設定]をクリックします。
  - [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

9 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10 B[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11 [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

12 [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13 C[フチなし印刷の方法]で、D[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

14 G[出力用紙サイズ]の一覧から[原稿サイズと同じ]をクリックします。

15 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する」を参照してください。→P.159

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

重要

- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスの[オートカット]から[なし]を選択してください。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[Canon 厚口コート紙]
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[ページ設定]を選択し、[ページ属性]ダイアログボックスを開きます。

2 B[対象プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

> メモ
> - 用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小してフチなしで印刷する場合は、すべてのサイズを選択できます。

4 F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

5 アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

6 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

7 [基本設定]パネルを表示します。

8 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[Canon 厚口コート紙]をクリックします。

9 E[印刷目的]を一覧から選択します。

> 重要
> - インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスの[ページ間]でインク乾燥時間を変更してください。

10 [ページ加工]パネルを表示します。

11 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

12 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

13 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]が表示されていることを確認します。

14 D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

15 H[フチなしで印刷する]チェックボックスをオンにします。

16 D[拡大/縮小印刷]で、E[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

17 I[出力用紙サイズ]の一覧から用紙のサイズ、ここでは[四切(10"×12")- フチなし]をクリックします。

18 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白(フチ)のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。
通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入りますが、フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

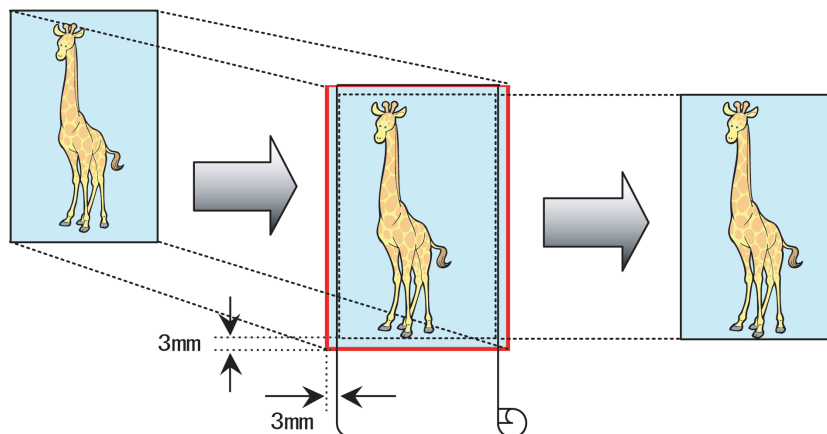
- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。(「用紙リファレンスガイド」参照)
- 通常は上下左右フチなし(4 辺フチなし)で印刷しますが、次の場合は、印刷された画像の上下がオートカットされないため、左右のみフチなし(2 辺フチなし)になります。
  - 用紙リファレンスガイドにフチなし印刷が 2 辺のみと記載されている用紙(印刷された画像部分がきれいにカットできない用紙)を選択した場合
  - プリンタの操作パネルで以下の設定を行っている場合
    - [カットモード]が[ユーザーカット]
    - [カット屑軽減]が[オン]
    - [巻き取り装置]の[装置の使用]が[使用する]
  - プリンタドライバでオートカットを行わない設定にしている場合

重要

- フチなし印刷する場合は、プラテン上のすべての青いスイッチを必ず●側に設定してください。スイッチが正しく設定されていないと、印刷品質が低下します。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.880
- トンボや余白などが原稿の周囲にデータとして含まれている場合はフチなし印刷になりません。
- 印刷する画像の長さが短い場合、カット不良や排紙不良を防ぐためロール紙を規定の長さまで送ってカットするので、ロール紙の後端はフチなし印刷されない場合があります。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、[出力用紙サイズに合わせる]または[画像を原寸大で印刷する](Windows のみ)が選択されている場合は[ページを 90 度回転(用紙節約)]を選択することはできません。ただし原稿を 90 度回転させてもフチなし印刷可能な場合は、自動的にページを 90 度回転して印刷します。

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

- [ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]
  原稿の幅をロール紙の幅に合わせて原稿全体を拡大/縮小します。

メモ

- ページを 90 度回転させて印刷する設定と組み合わせて使用すると、原稿の縦の幅とロール紙の幅を合わせて、フチなしで印刷できます。

写真やイラストをロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows) →P.93
- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) →P.95

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

重要

- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、[ロール紙オプション]ダイアログボックスの[オートカット]一覧から[なし]を選択してください。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[Canon 厚口コート紙]
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

メモ

- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

2 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く」参照) →P.162

4 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[Canon 厚口コート紙]をクリックします。

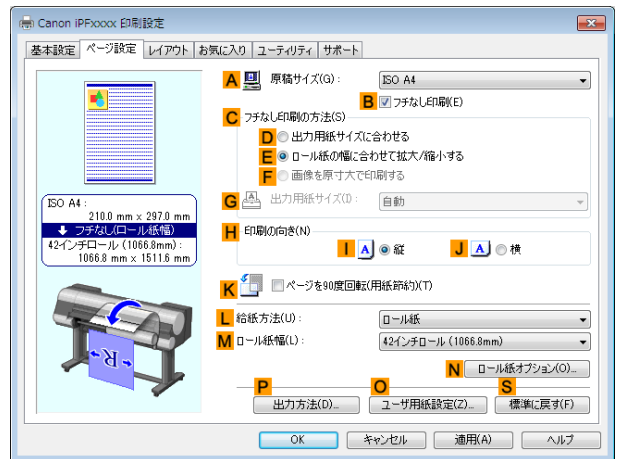
6 **E**[印刷目的]を一覧から選択します。

重要

- インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。
  - [用紙の種類]の[詳細設定]をクリックします。
  - [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 **A**[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

9 **L**[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10 **B**[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11 [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

12 [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13 **C**[フチなし印刷の方法]で、**E**[ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]が選択されていることを確認します。

14 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する」を参照してください。→P.159

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

重要

- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスの[オートカット]から[なし]を選択してください。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[Canon 厚口コート紙]
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

1 アプリケーションソフトのメニューから[ページ設定]を選択し、[ページ属性]ダイアログボックスを開きます。

2 B[対象プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

メモ

- ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大/縮小してフチなしで印刷する場合は、すべてのサイズを選択できます。

4 F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

5 アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

6 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

7 [基本設定]パネルを表示します。

8 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[Canon 厚口コート紙]をクリックします。

9 E[印刷目的]を一覧から選択します。

重要
- インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスの[ページ間]でインク乾燥時間を変更してください。

10 [ページ加工]パネルを表示します。

11 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

12 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ
- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

13 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

A 設定：ページ属性
B 対象プリンタ：iPFxxxx
Canon iPFxxxx
C 用紙サイズ：ISO A4
210 x 297 mm
D 方向：
E 拡大縮小：100 %
F
キャンセル　OK

14 D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

15 H[フチなしで印刷する]チェックボックスをオンにします。
自動的に D[拡大/縮小印刷]で F[ロール紙の幅に合わせる]が選択されます。

16 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329 」を参照してください。

垂れ幕など定形外の用紙に印刷する

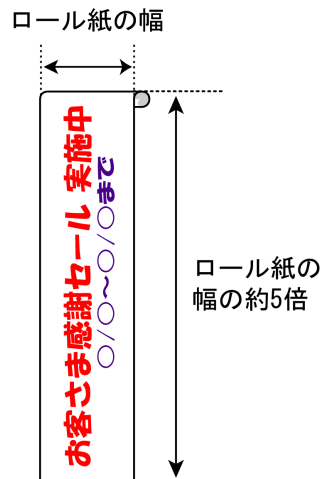
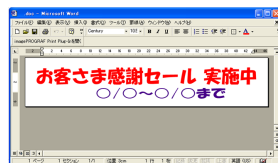
垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷) 98
垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Windows) 98
垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Mac OS X) 102

定形外の用紙に印刷する 105
定形外の用紙に印刷する(Windows) 105
定形外の用紙に印刷する(Mac OS X) 107

垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)

このプリンタでは、ロール紙を使用して最大 18.0m の長尺印刷ができます。
Print Plug-In for Office または PosterArtist を使用すれば、最大 18.0m の垂れ幕や横断幕が簡単に印刷できます。
(「Print Plug-In for Office の特長 (Windows) →P.286」、「PosterArtist で編集して印刷する →P.48」参照)
ただし、アプリケーションソフトによっては設定可能な原稿サイズに制約があるため、18.0m の印刷ができない場合があります。

[ロール紙の幅に合わせる]

垂れ幕や横断幕の幅をロール紙の幅に合わせたいときは、プリンタドライバの自動的に拡大/縮小して印刷する機能を使用します。
たとえば Microsoft Word などのアプリケーションソフトで作成した原稿を自動的に拡大すれば、簡単にロール紙の幅いっぱいに印刷できます。

垂れ幕や横断幕を印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Windows) →P.98
- 垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Mac OS X) →P.102

重要

- 印刷を開始する前に、ロール紙の残量を確認してください。プリンタ本体のロール紙の残量検知機能をオンにしている場合は、ロール紙の残量が不足すると、メッセージで表示されます。
- インクの残量が少ない場合は、交換用のインクをご用意ください。
- より高画質をお求めの場合は、プリンタドライバの印刷品質を[きれい]または[最高]、印刷方向を[片方向印刷]に設定して印刷してください。

垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Windows)

アプリケーションソフトで作成した原稿をプリンタドライバで自動的に拡大することにより、最大 18.0m の垂れ幕や横断幕が印刷できます。
ただし、アプリケーションソフトによっては設定可能な原稿サイズに制約があるため、18.0m の印刷ができない場合があります。
ここでは、以下を例にロール紙幅の約 5 倍の長さの横断幕(バナー)を印刷する手順を紹介します。

- 原稿:Microsoft Word で作成した横断幕用の原稿

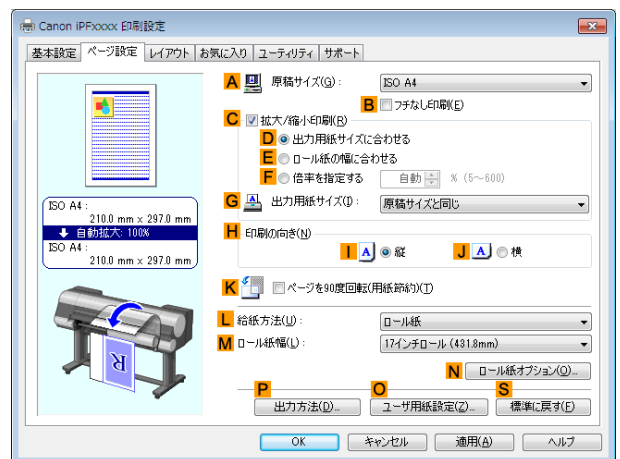
- 原稿サイズ:定形外(100×500 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:16 インチ(406.4 mm)

印刷手順は次のとおりです。

1. プリンタドライバにユーザ定義用紙を登録します。
   プリンタドライバに登録する定形外の用紙サイズをユーザ定義用紙と呼びます。
   ユーザ定義用紙を一度登録すれば、以降は用紙サイズの一覧から繰り返し選択できます。
   なお、ユーザ定義用紙は最大 18.0m まで設定できます。
2. アプリケーションソフトで、登録した用紙サイズで原稿を作成します。
3. 垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷します。

ユーザ定義用紙を登録する

ここでは、垂れ幕や横断幕用の横長の用紙サイズを登録する手順を説明します。

1. プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.163 」参照)
2. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

3. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。
4. O[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。
5. [ユーザ定義用紙名]に任意の名前、ここでは[横断幕用]を入力します。
6. [単位]で、[ミリメートル]をクリックします。
7. [用紙サイズ]の[幅]に[100]、[高さ]に[500]を入力します。
8. [登録]をクリックし、[横断幕用]という名前の用紙サイズを登録します。
9. [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。
10. プリンタドライバのダイアログボックスを閉じます。

メモ

- 用紙サイズは、[カスタムサイズ]でも設定できますが、設定可能なサイズは最大 3.2m です。なお、[カスタムサイズ]の設定は、アプリケーションソフトを終了すると無効になります。
  詳細については、「定形外の用紙に印刷する →P.105 」を参照してください。

アプリケーションソフトで原稿を作成する

ここでは、登録したユーザ定義用紙を使用し、Microsoft Word で原稿を作成する手順を説明します。

1 Microsoft Word を起動します。

2 [ファイル]メニューから[ページ設定]を選択し、[ページ設定]ダイアログボックスを開きます。

3 [用紙サイズ]の一覧から、登録したユーザ定義用紙、ここでは[横断幕用]をクリックします。

重要

- [横断幕用]が表示されない場合は、印刷に使用するプリンタとしてこのプリンタが選択されていることを確認してください。
- Microsoft PowerPoint など、登録した用紙サイズを選択できないアプリケーションソフトでは、アプリケーションソフトの[ユーザ設定]などで、100×500 mm を指定します。

4 印刷の向きを横向きに設定します。

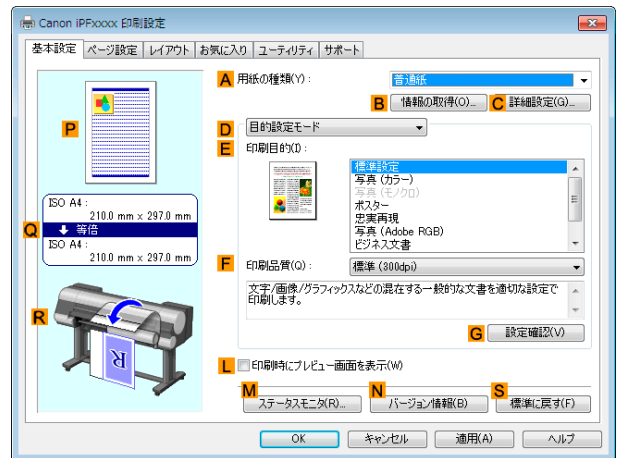
5 原稿を作成します。

印刷する

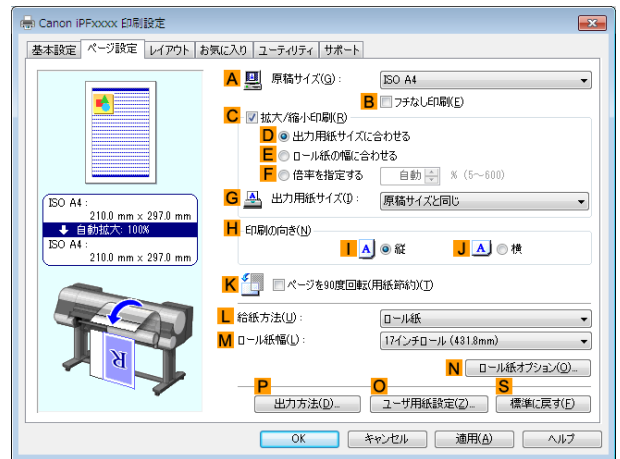
ここでは、垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷する手順を説明します。

1 Microsoft Word のメニューから[印刷]を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

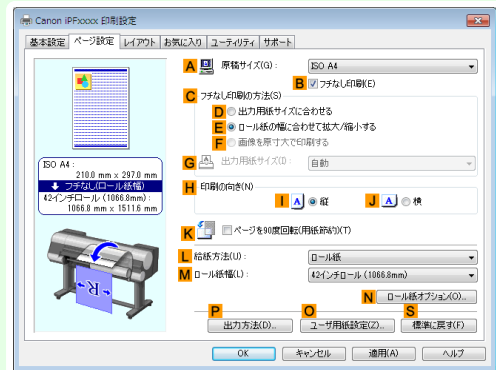
3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[ポスター]をクリックします。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 A[原稿サイズ]の一覧から、登録した[横断幕用]をクリックします。

8 C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

メモ

- [ページ設定]シートにC[拡大/縮小印刷]チェックボックスが表示されない場合は、B[フチなし印刷]チェックボックスをオフにします。

9 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10 E[ロール紙の幅に合わせる]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

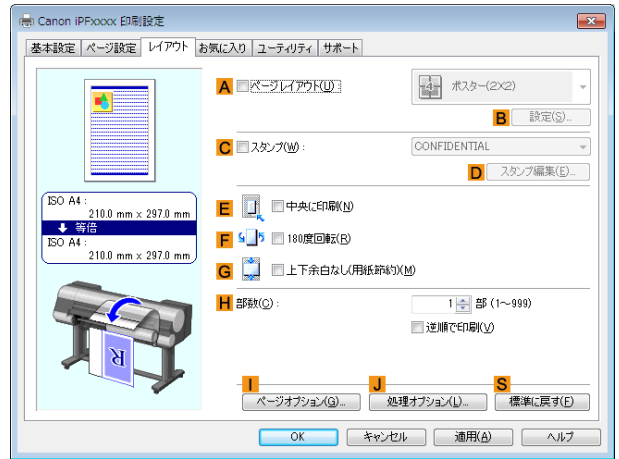
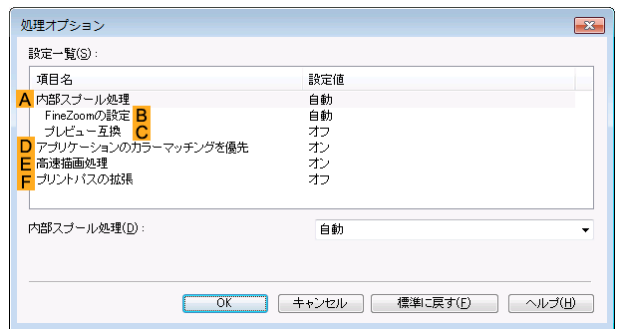
11 [ロール紙幅]の一覧からプリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチロール (406.4mm)]をクリックし、[OK]をクリックします。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

印刷が正しく行われない場合、以下の設定を行うと印刷できることがあります。

1 [レイアウト]シートの **J**[処理オプション]をクリックし、[処理オプション]ダイアログボックスを開きます。

2 [FineZoom の設定]の一覧から[する]をクリックします。

垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）（Mac OS X）

アプリケーションソフトで作成した原稿をプリンタドライバで自動的に拡大することにより、最大 18.0m の垂れ幕や横断幕が印刷できます。
ここでは、以下を例にロール紙幅の約 5 倍の長さの横断幕（バナー）を印刷する手順を紹介します。

- 原稿:横断幕用の原稿
- 原稿サイズ:定形外（100×500 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:16 インチ（406.4 mm）

印刷手順は次のとおりです。

1. アプリケーションソフトで垂れ幕や横断幕用の原稿を作成します。
2. [ページ設定]で[カスタム・ページ・サイズ]（Mac OS X v10.5）/[カスタム用紙サイズ]（Mac OS X v10.6 以降）を登録します。
   [カスタム・ページ・サイズ]/[カスタム用紙サイズ]を一度登録すれば、以降は用紙サイズの一覧から繰り返し選択できます。
   なお、[カスタム・ページ・サイズ]/[カスタム用紙サイズ]は最大 18.0m まで設定できます。
3. 垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷します。

メモ

- 以下の操作手順は Mac OS X v10.5 のものです。定形外の用紙サイズの設定方法は Mac OS X のバージョンによって異なります。

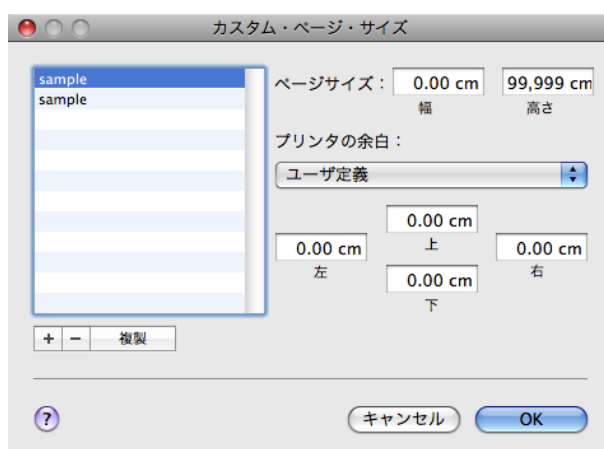
[カスタム･ページ･サイズ]を登録する

ここでは、垂れ幕や横断幕用の横長の用紙サイズを登録し、登録した用紙サイズで原稿を作成する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトで原稿を作成します。

2 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

3 **A**[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

4 **F**[用紙サイズ]の一覧から[カスタムサイズを管理]をクリックし、[カスタム･ページ･サイズ]ダイアログボックスを開きます。

5 左側の一覧の[名称未設定]をダブルクリックし、登録するページサイズの名前、ここでは[100*500]を入力します。
左側の一覧に[名称未設定]が表示されない場合は、左側の一覧の下にある[+]をクリックします。

6 [ページサイズ]の[幅]に[10]、[高さ]に[50]を入力します。単位は cm で入力します。

7 [プリンタの余白]で、上下左右の余白に[0.3]を入力します。単位は cm で入力します。

8 [OK]をクリックし、[カスタム･ページ･サイズ]ダイアログボックスを閉じます。

9 **F**[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは登録した[100*500]をクリックします。

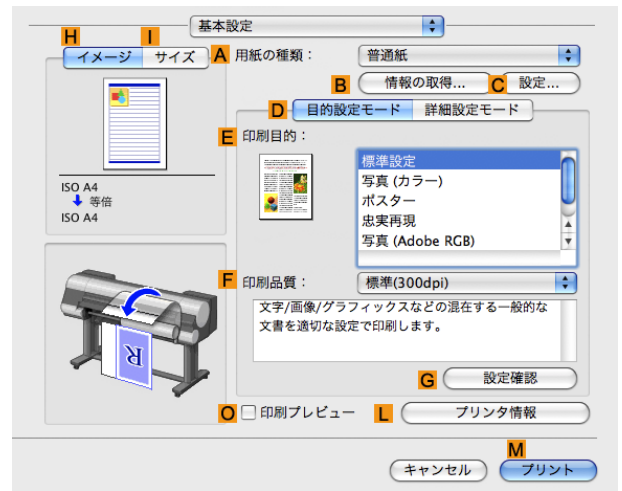
10 **G**[方向]で、原稿が横向きのアイコンをクリックします。

11 [OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

印刷する

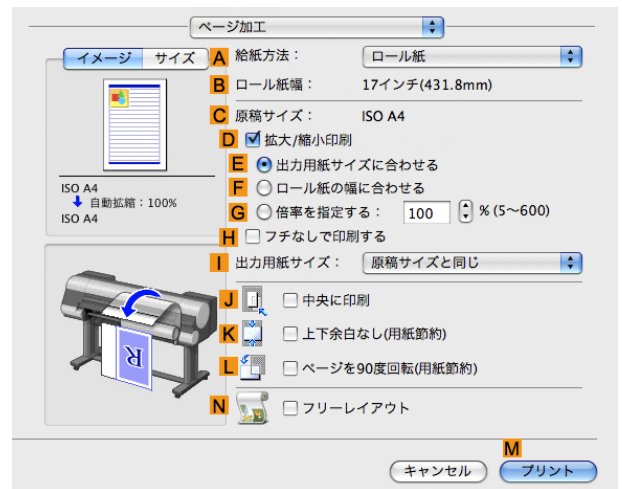
ここでは、垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2 [基本設定]パネルを表示します。

3 **A**[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

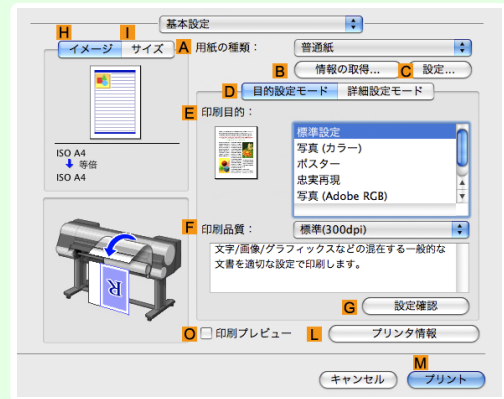
4 **E**[印刷目的]を一覧から選択します。

5 **F**[印刷品質]を一覧から選択します。

6 [ページ加工]パネルを表示します。

7 **A**[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8 **B**[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチ(406.4mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- **B**[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの **L** [プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

9 C[原稿サイズ]で、[ページ設定]で登録した[100*500]が表示されていることを確認します。

10 D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

11 F[ロール紙の幅に合わせる]をクリックします。

12 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

定形外の用紙に印刷する

定形外の用紙への印刷は、用紙サイズをプリンタドライバに登録して行います。
用紙サイズを一度登録すれば、以降は用紙サイズの一覧から繰り返し選択できます。なお、用紙サイズは最大 18.0m まで設定できます。

メモ

- Windows では、用紙サイズを[カスタムサイズ]でも設定できますが、設定可能なサイズは最大 3.2m です。また、[カスタムサイズ]の設定は、アプリケーションソフトを終了すると無効になります。

定形外の用紙に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 定形外の用紙に印刷する(Windows) →P.105
- 定形外の用紙に印刷する(Mac OS X) →P.107

定形外の用紙に印刷する(Windows)

定形外の用紙への印刷は、用紙サイズをプリンタドライバに登録して行います。
プリンタドライバに登録する定形外の用紙サイズをユーザ定義用紙と呼びます。
ユーザ定義用紙を一度登録すれば、以降は用紙サイズの一覧から繰り返し選択できます。
なお、ユーザ定義用紙は最大 18.0m まで設定できます。

メモ

- 用紙サイズを[カスタムサイズ]として一時的に設定する方法もありますが、設定可能なサイズは最大 3.2m です。また、[カスタムサイズ]はアプリケーションソフトを終了すると無効になります。

ユーザ定義用紙を登録して印刷する

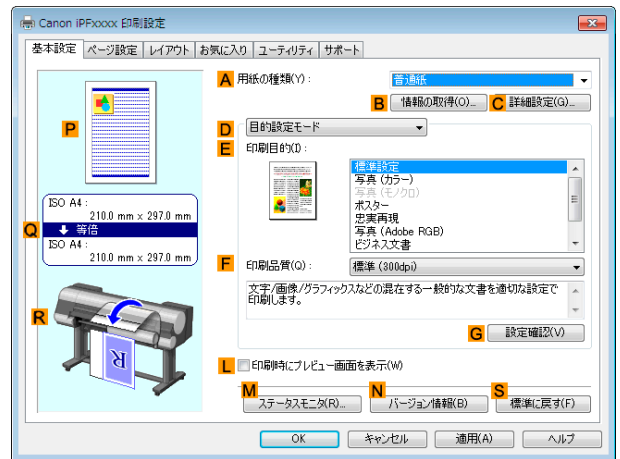
ここでは、以下を例に定形外の用紙サイズを[正方形 430]という名前で登録して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:正方形(430×430 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形(430×430 mm)

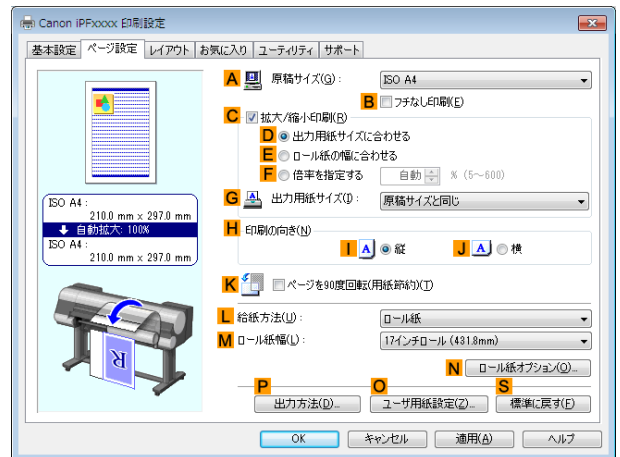
1 プリンタに正方形(430×430 mm)の用紙をセットします。

2 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

4 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5 **A**[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

6 **D**[目的設定モード]が選択されていることを確認し、**E**[印刷目的]を一覧から選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 **O**[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。

9 [ユーザ定義用紙名]に任意の名前、ここでは[正方形 430]と入力します。

10 [単位]で[ミリメートル]が選択されていることを確認します。

11 [幅]と[高さ]に[430]を入力します。

メモ

- [幅･高さの比を固定する]チェックボックスをオンにした場合、[幅]または[高さ]のどちらか一方に入力すると、元の幅と高さの比率に応じて、もう一方が自動的に変更されます。

12 [登録]をクリックし、[正方形 430]を登録します。

13 [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

14 **L**[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

15 **A**[原稿サイズ]の一覧から、登録した[正方形 430]をクリックします。

16 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159」を参照してください。

定形外の用紙に印刷する(Mac OS X)

定形外の用紙への印刷は、用紙サイズをプリンタドライバに登録して行います。
プリンタドライバに登録する定形外の用紙サイズを[カスタム・ページ・サイズ](Mac OS X v10.5)/[カスタム用紙サイズ](Mac OS X v10.6 以降)と呼びます。
[カスタム・ページ・サイズ]/[カスタム用紙サイズ]を一度登録すれば、以降は用紙サイズの一覧から繰り返し選択できます。
なお、[カスタム・ページ・サイズ]/[カスタム用紙サイズ]は最大 18.0m まで設定できます。
ここでは、以下を例に定形外の用紙サイズを[430*430]という名前で登録して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:正方形(430×430 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形(430×430 mm)

メモ

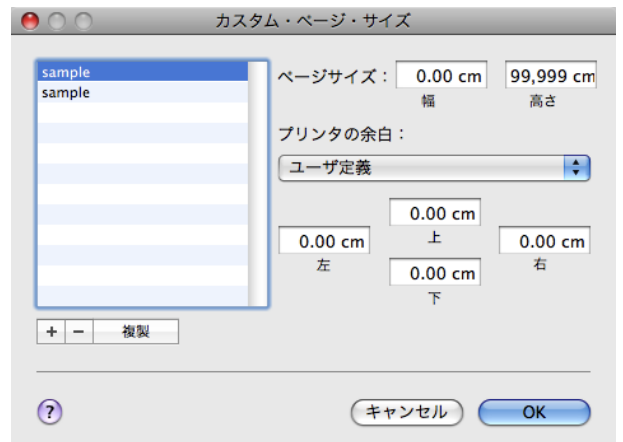
- 以下の手順は Mac OS X v10.5 のものです。定形外の用紙サイズの設定方法は Mac OS X のバージョンによって異なります。

1 アプリケーションソフトで原稿を作成します。

2 プリンタに正方形(430×430 mm)の用紙をセットします。

3 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

4 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

5 F[用紙サイズ]の一覧から[カスタムサイズを管理]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを開きます。

6 [ページサイズ]で、原稿の幅と高さ、ここでは[幅]と[高さ]に[43.00 cm]を入力します。

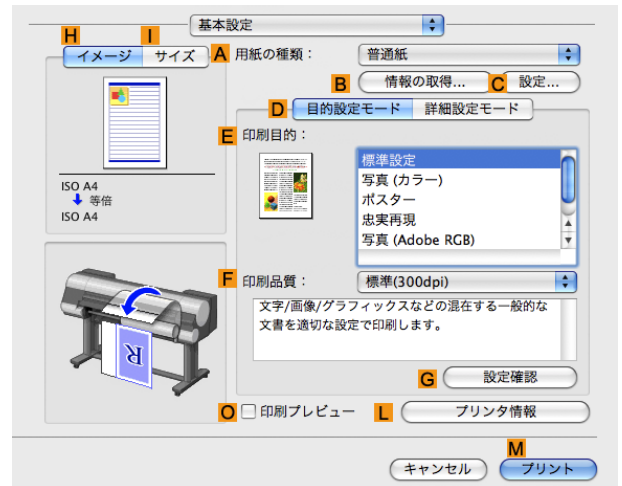
7 [プリンタの余白]で、上と左右の余白に[0.5]、下の余白に[2.3]を入力します。単位は cm で入力します。

8 [カスタム･ページ･サイズ]ダイアログボックスの左側の一覧の[名称未設定]をダブルクリックし、用紙サイズの名前、ここでは[430*430]を入力します。

9 [OK]をクリックし、[カスタム･ページ･サイズ]ダイアログボックスを閉じます。

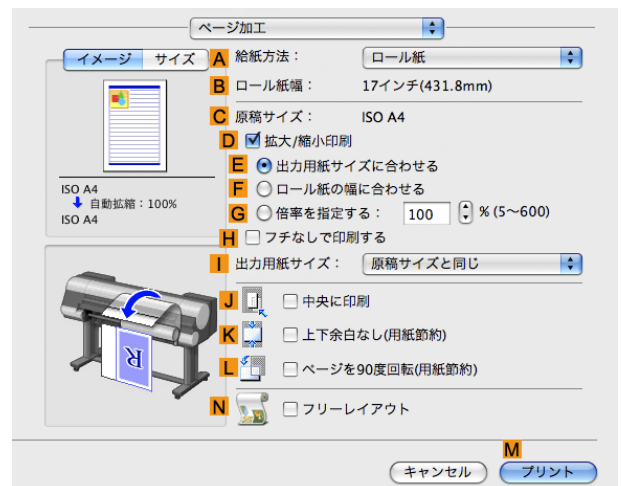
10 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは登録した[430*430]をクリックします。

11 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

12 [基本設定]パネルを表示します。

13 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

14 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]を一覧から選択します。

15 F[印刷品質]を一覧から選択します。

16 [ページ加工]パネルを表示します。

17 A[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

18 C[原稿サイズ]で、[ページ設定]で登録した[430*430]が表示されていることを確認します。

19 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329 」を参照してください。

分割して印刷する／まとめて印刷する

複数の原稿を並べて印刷する 110
　複数の原稿を並べて印刷する（Windows） 111
　複数の原稿を並べて印刷する（Mac OS X） 112

複数ページをつなげて印刷する 114
　複数ページをつなげて印刷する（Windows） 114
　複数ページをつなげて印刷する（Mac OS X） 115

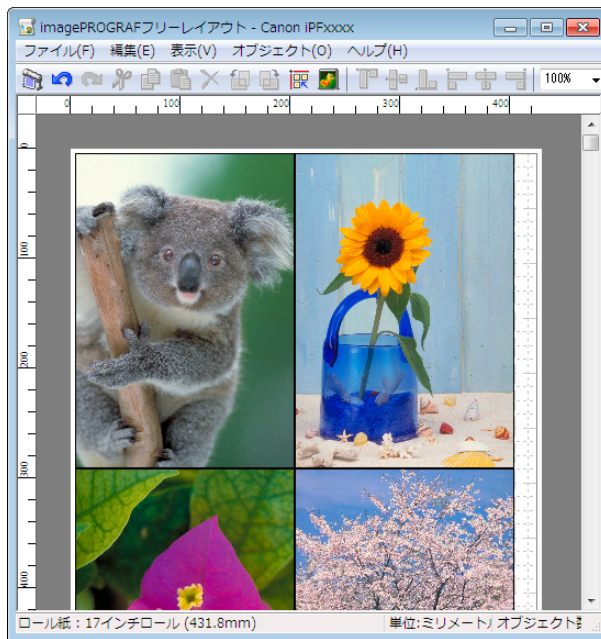
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する 117
　複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Windows） 118
　複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Mac OS X） 119

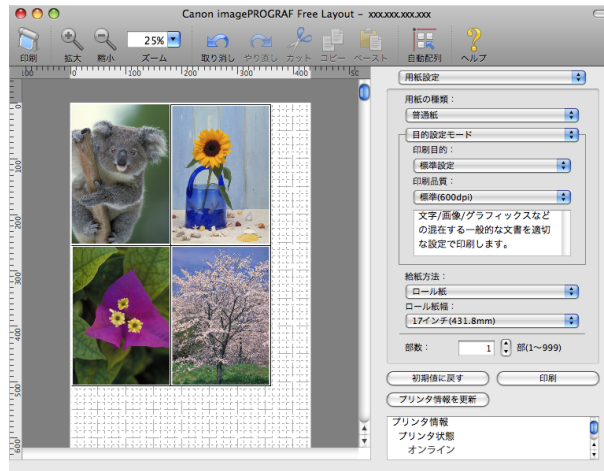
ポスターを分割して印刷する 122
　大きなポスターを印刷する（Windows） 122

複数の原稿を並べて印刷する

ワープロソフトや表計算ソフトの原稿、Web ブラウザの画面などを並べてレイアウトすることで、表現力の豊かなプレゼンテーション資料やわかりやすい会議用の資料など、さまざまな印刷物を作成できます。

- ［フリーレイアウト］（Windows）

　複数のページを用紙に配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を用紙に配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を用紙に配置して印刷することができます。

- [imagePROGRAF Free Layout]（Macintosh）

複数のページを用紙に配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を用紙に配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を用紙に配置して印刷することができます。

複数のアプリケーションソフトの原稿を配置して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

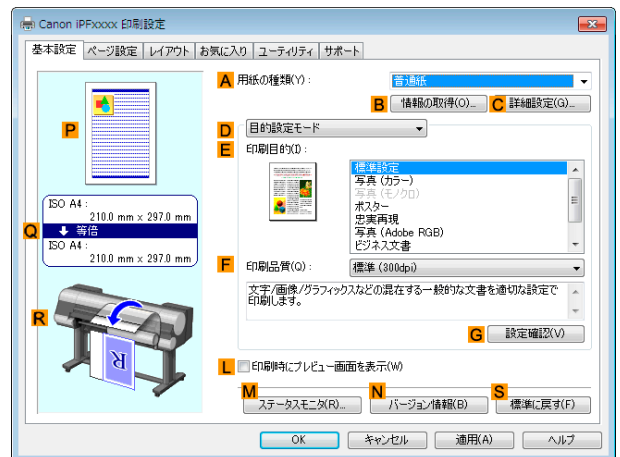
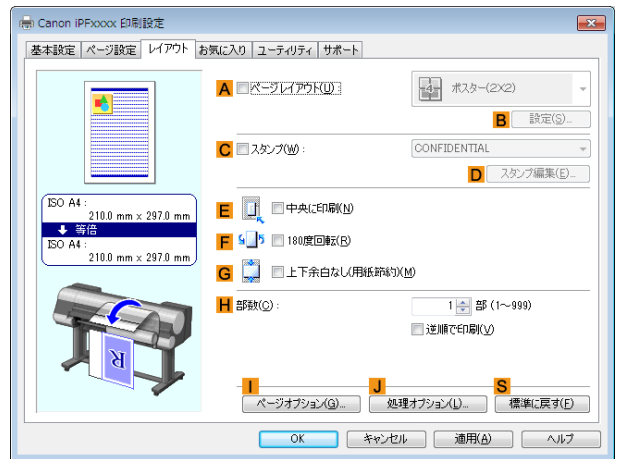
- 複数の原稿を並べて印刷する（Windows） →P.111
- 複数の原稿を並べて印刷する（Mac OS X） →P.112

複数の原稿を並べて印刷する（Windows）

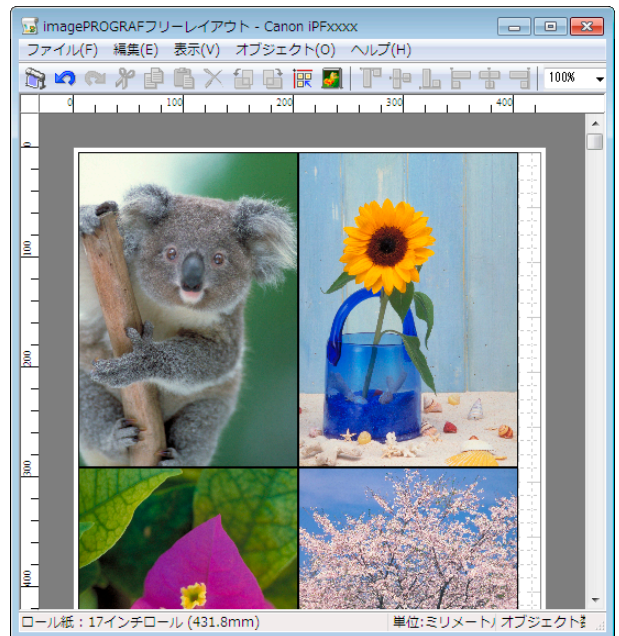
ここでは、フリーレイアウトという機能で、複数の原稿を並べて印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照）

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 ［レイアウト］タブをクリックし、［レイアウト］シートを表示します。

5 **A**［ページレイアウト］チェックボックスをオンにします。

6 **A**［ページレイアウト］の一覧から［フリーレイアウト］をクリックします。

7 印刷を実行すると、imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウが開きます。（実際には、まだ用紙に印刷されません。）

8 imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。

メモ

- imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 7 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。
- イメージの編集や並べ替えの方法については、imagePROGRAF フリーレイアウトのヘルプを参照してください。

9 imagePROGRAF フリーレイアウトのメニューから印刷します。

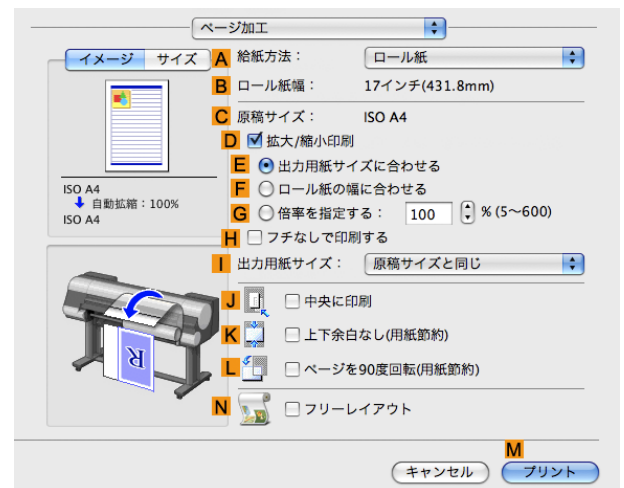
メモ

- imagePROGRAF フリーレイアウト機能についての詳細は、フリーレイアウト →P.198 を参照してください。

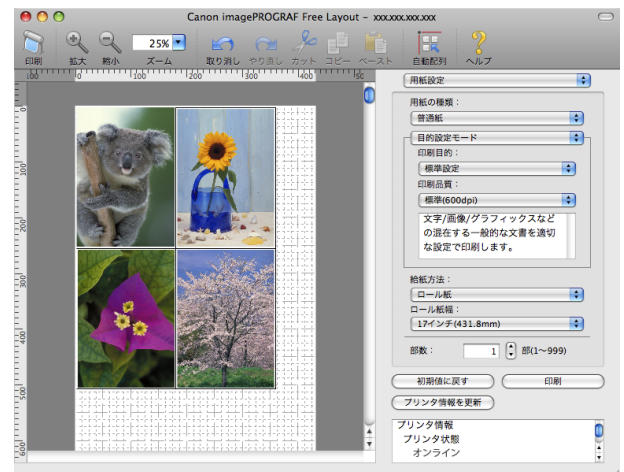
複数の原稿を並べて印刷する（Mac OS X）

ここでは、［Free Layout］（フリーレイアウト）という機能で、複数の原稿を並べて印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択します。

2 ［ページ加工］パネルを表示します。

3 N［フリーレイアウト］チェックボックスをオンにします。

4 M［プリント］をクリックします。

5 ［Canon imagePROGRAF Free Layout］のウィンドウが開きます。

6 ［Canon imagePROGRAF Free Layout］のウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。

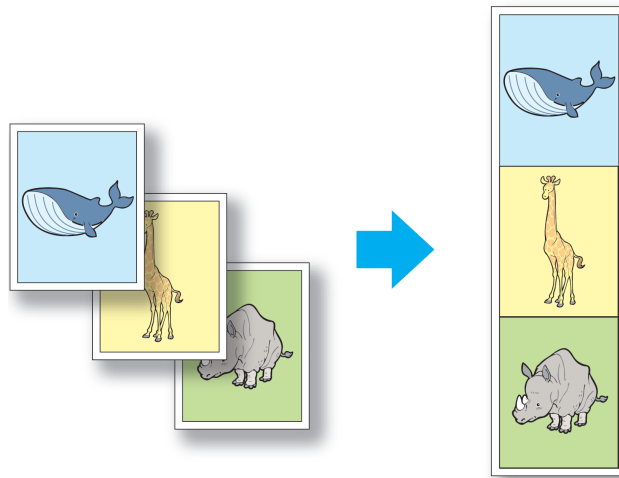
- ［Canon imagePROGRAF Free Layout］のウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 4 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。
- イメージの編集や並べ替えの方法については、［Canon imagePROGRAF Free Layout］のヘルプを参照してください。

7 ［Canon imagePROGRAF Free Layout］のメニューから印刷します。

- ［Canon imagePROGRAF Free Layout］機能についての詳細は、Free Layout →P.372 を参照してください。

複数ページをつなげて印刷する

複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷することができます。

- [バナー印刷]

重要

- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

写真やイラストを原寸大のフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 複数ページをつなげて印刷する（Windows） →P.114
- 複数ページをつなげて印刷する（Mac OS X） →P.115

複数ページをつなげて印刷する（Windows）

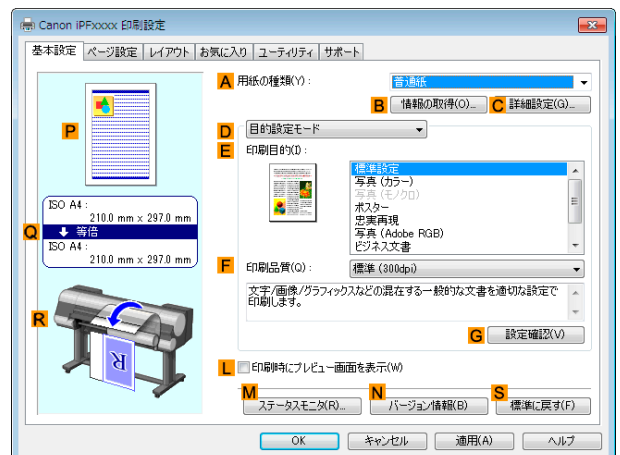
ここでは、複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷する手順について説明します。

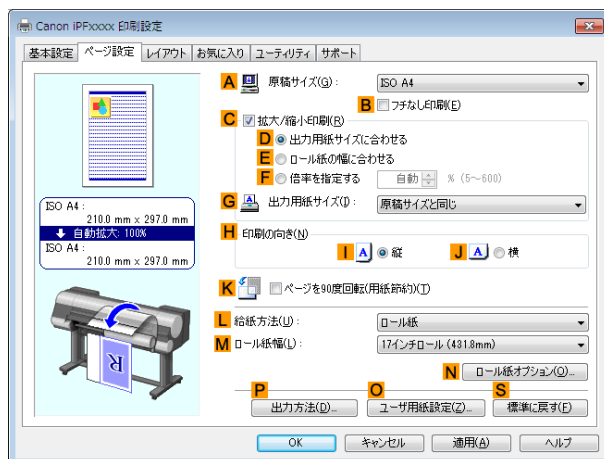
重要

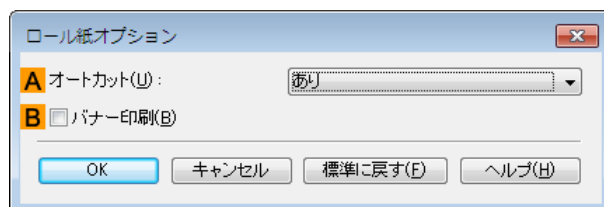
- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照）

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類をクリックします。

5 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

7 N[ロール紙オプション]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを表示します。

8 B[バナー印刷]チェックボックスをオンにします。

9 [OK]をクリックします。

10 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

複数ページをつなげて印刷する(Mac OS X)

ここでは、複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷する手順について説明します。

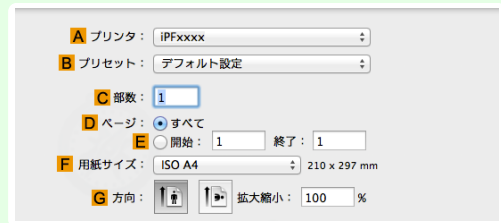
重要

- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

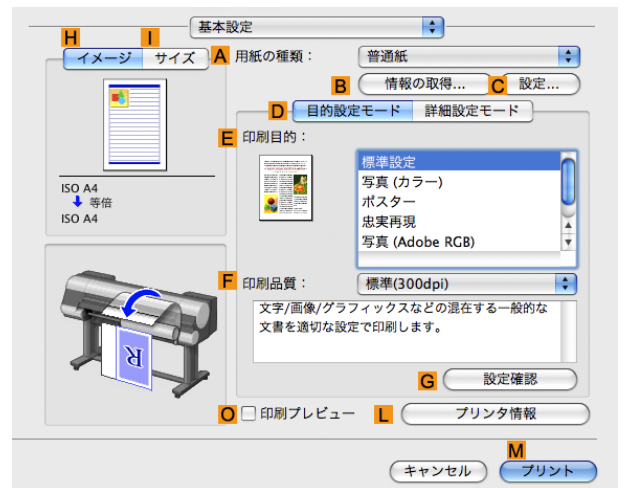
メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

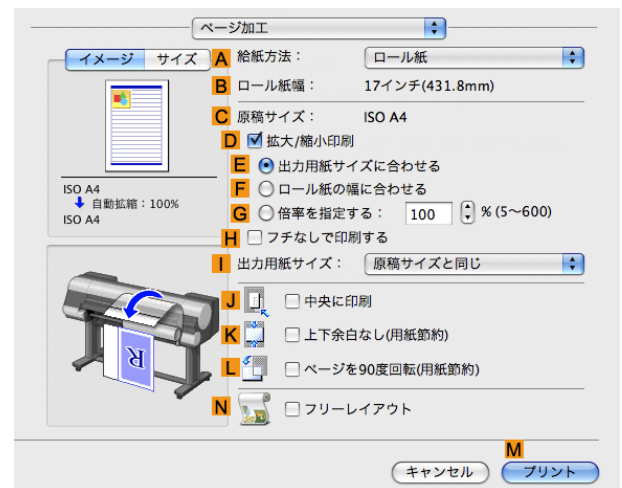
3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズをクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

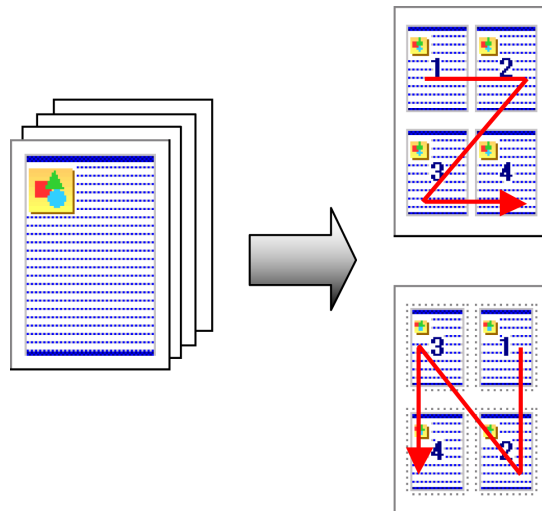
9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧から[ロール紙(バナー印刷)]をクリックします。

11 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する

原稿を縮小し、複数のページを 1 ページに割り付けて印刷することで、用紙を節約できます。

- [ページレイアウト]

  1 枚の用紙に割り付ける原稿のページ数を指定します。

重要

- 以下の場合は、この機能は使用できません。
  - フチなし印刷
  - 倍率を指定した拡大/縮小印刷(Windows)
  - バナー印刷(Windows)
- この機能を使用して印刷する場合は[中央に印刷]の設定が無効になります。

メモ

- 最大 16 ページを 1 ページにまとめることができます。
- ページの配置順序を変更したり、それぞれのページに枠を付けることもできます。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Windows) →P.118
- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Mac OS X) →P.119

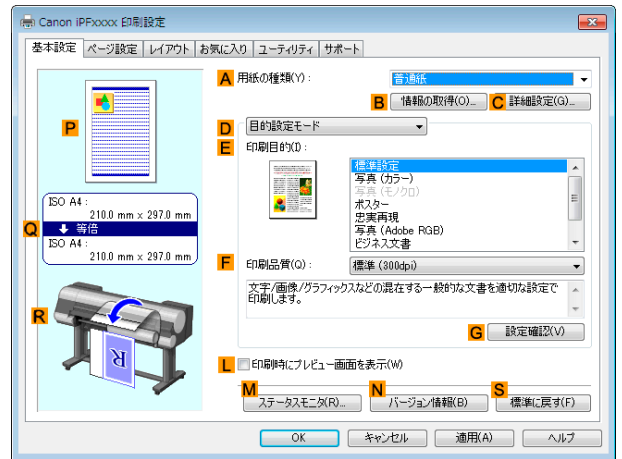
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、4 ページ分の原稿を 1 ページにまとめて印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A3(297.0×420.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

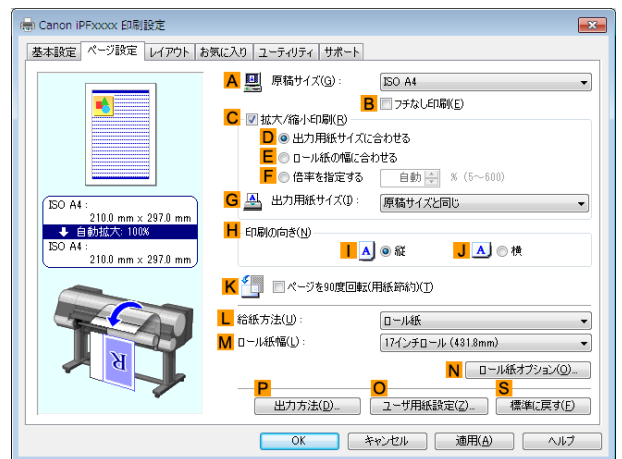
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

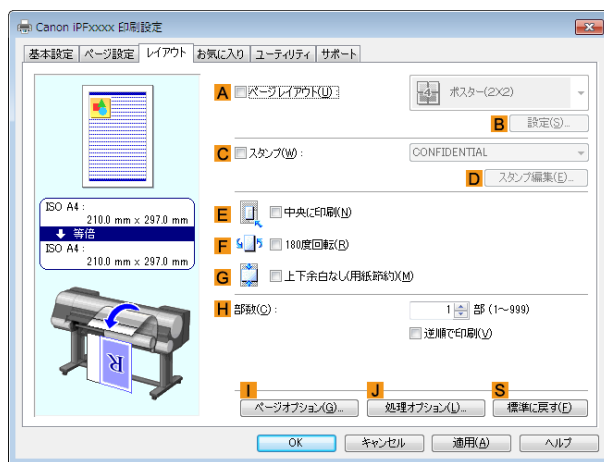
5 E[印刷目的]を一覧から選択します。

6 F[印刷品質]を一覧から選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

9 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

11 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

12 A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

13 A[ページレイアウト]の一覧から[4 ページ/枚]をクリックします。

メモ

- B[設定]をクリックし、[N ページ印刷]ダイアログボックスを開くと、4 ページの上下左右の並び順やページを囲む枠線を選択できます。

14 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159」を参照してください。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Mac OS X)

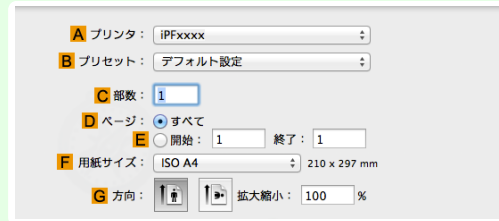
ここでは、以下を例に、4 ページ分の原稿を 1 ページにまとめて印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A3(297.0×420.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

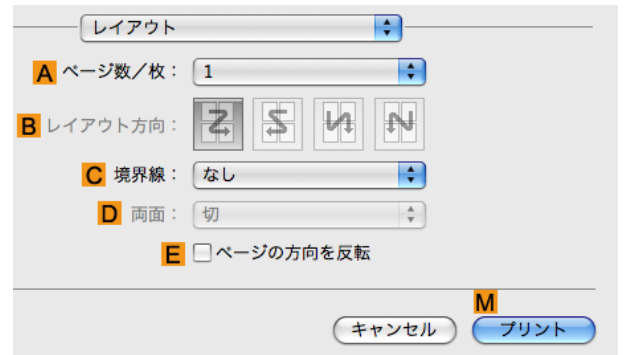
メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [レイアウト]パネルを表示します。

6 A[ページ数／枚]の一覧から[4]をクリックします。

メモ

- B[レイアウト方向]や C[境界線](または[枠線])で、4 ページの上下左右の並び順やページを囲む枠線を選択できます。

7 [基本設定]パネルを表示します。

8 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

9 E[印刷目的]を一覧から選択します。

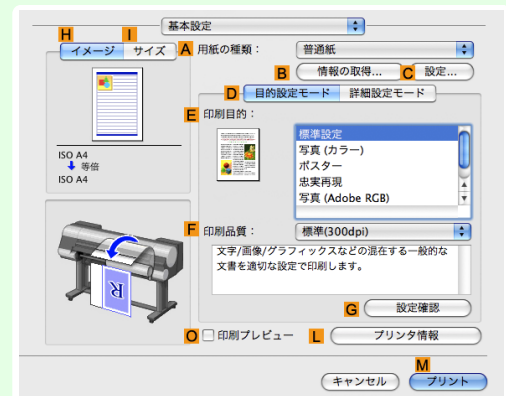
10 F[印刷品質]を一覧から選択します。

11 [ページ加工]パネルを表示します。

12 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

13 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3（420.0mm）]が表示されていることを確認します。

メモ

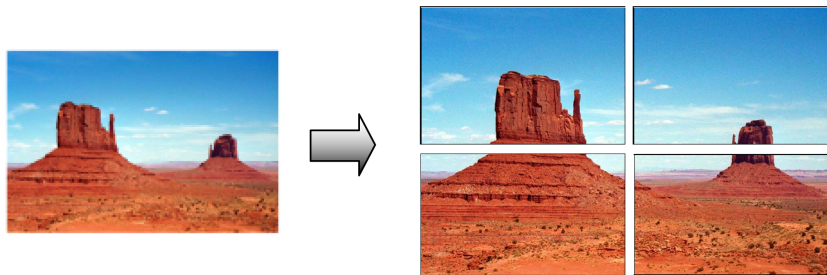
- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

14 C［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの C［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［ISO A3］が表示されていることを確認します。

15 印刷の設定を確認し、M［プリント］をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

ポスターを分割して印刷する

原稿を拡大して複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせると、プリンタにセットできる用紙のサイズを超える大きさのポスターを作成できます。

- ［ページレイアウト］

ポスター印刷を選択します。

重要

- この機能を使用して印刷する場合は［中央に印刷］、［スタンプ］、［上下余白なし（用紙節約）］、［ページオプション］の設定が無効になります。

大きなポスターを印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 大きなポスターを印刷する（Windows） →P.122

メモ

- ポスター印刷は、Windows で使用できます。

大きなポスターを印刷する（Windows）

原稿を拡大して複数の用紙に分割して印刷できます。印刷した用紙を貼り合わせると、プリンタにセットできる用紙のサイズを超える大きさのポスターを作成できます。ここでは、以下を例に、A2 サイズの原稿を拡大して 4 枚の用紙に分割して印刷する手順を説明します。

- 原稿:ポスター
- 原稿サイズ:A2（420.0×594.0 mm）
- 用紙:カット紙
- 用紙サイズ:A2（420.0×594.0 mm）

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

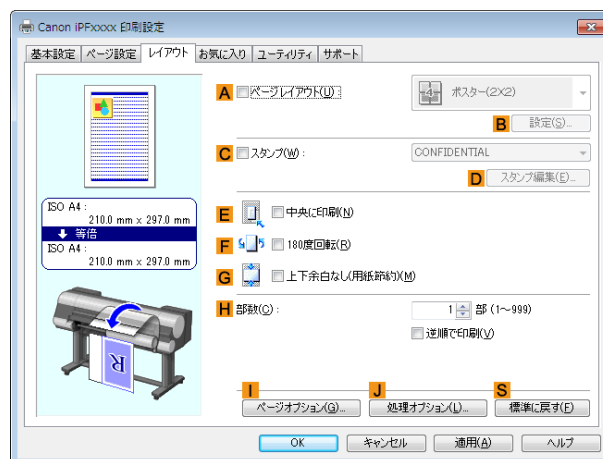
4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5 E[印刷目的]の一覧から[ポスター]をクリックします。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A2]をクリックします。

8 L[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

9 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

10 A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

11 A[ページレイアウト]の一覧から[ポスター(2 X 2)]をクリックします。

メモ

- 分割して印刷するポスターの一部分だけを印刷する場合は、以下の手順を行います。
  - A[ページレイアウト]の下にあるB[設定]をクリックし、[出力ページの指定]ダイアログボックスを開きます。
  - [出力ページの指定]ダイアログボックスで、印刷しない部分のチェックボックスをオフにします。
  - [OK]をクリックし、[出力ページの指定]ダイアログボックスを閉じます。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

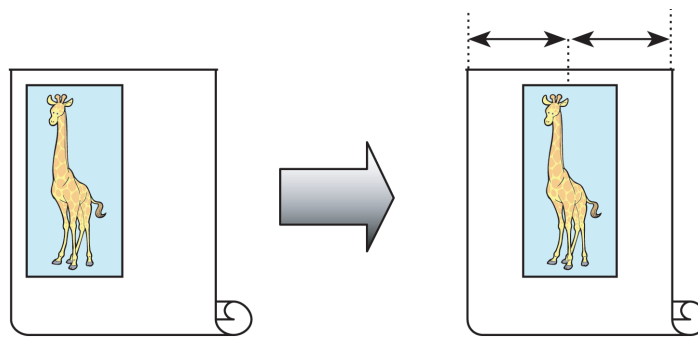
用紙の中央に印刷する

原稿をロール紙の中央に印刷する 125
原稿をロール紙の中央に印刷する(Windows) 125
原稿をロール紙の中央に印刷する(Mac OS X) 127
原稿をカット紙の中央に印刷する 129
原稿をカット紙の中央に印刷する(Windows) 129
原稿をカット紙の中央に印刷する(Mac OS X) 131

原稿をロール紙の中央に印刷する

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷するときに、原稿を用紙の中央に配置して印刷することができます。

- [中央に印刷]

ロール紙の幅よりも小さいサイズの原稿を印刷する場合、原稿をロール紙の幅の中央に配置して印刷することができます。

原稿をロール紙の中央に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

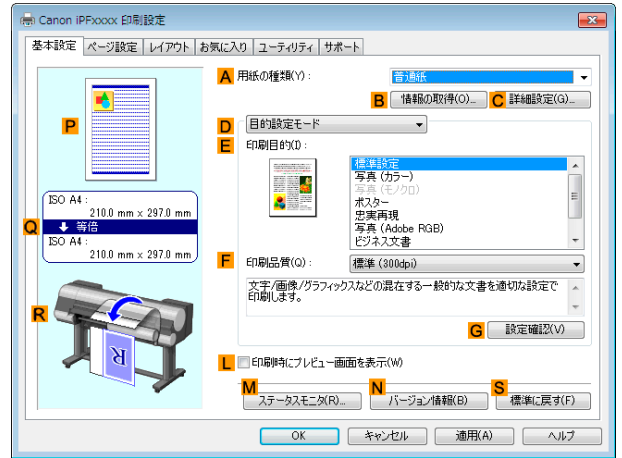
- 原稿をロール紙の中央に印刷する(Windows) →P.125
- 原稿をロール紙の中央に印刷する(Mac OS X) →P.127

原稿をロール紙の中央に印刷する(Windows)

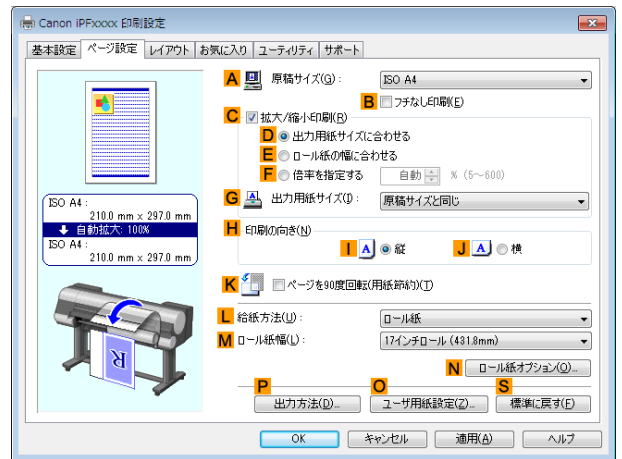
ここでは、以下を例に、原稿をロール紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。
2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5 E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします[Letter(8.5"x11")]。

8 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

10 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

11 E[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159」を参照してください。

原稿をロール紙の中央に印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿をロール紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13 J[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

14 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

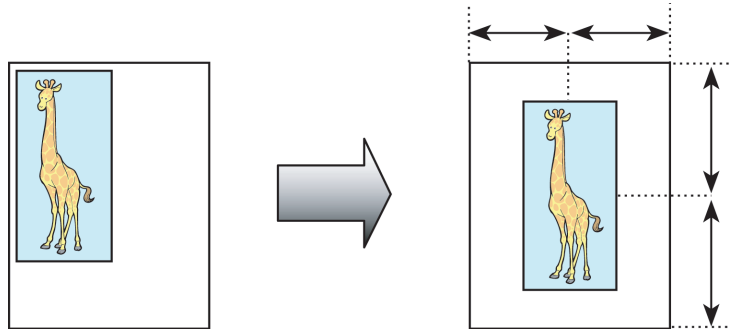
メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

原稿をカット紙の中央に印刷する

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷するときに、原稿を用紙の中央に配置して印刷することができます。

- [中央に印刷]

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷する場合、原稿が用紙の左上にずれて印刷されることがあります。原稿が用紙の左上に印刷される場合、原稿をカット紙の中央に配置して印刷することができます。

原稿をカット紙の中央に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿をカット紙の中央に印刷する(Windows) →P.129
- 原稿をカット紙の中央に印刷する(Mac OS X) →P.131

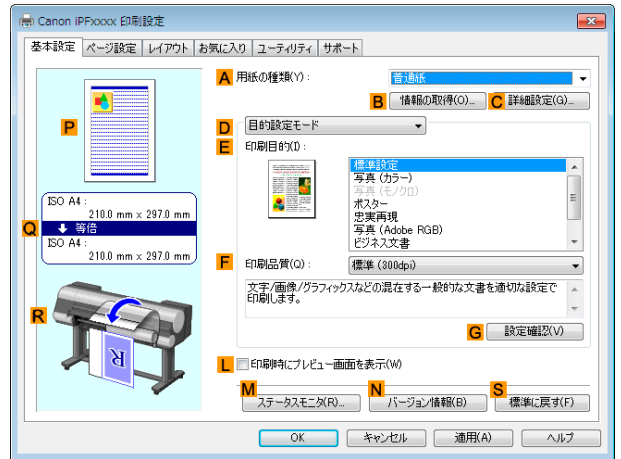
原稿をカット紙の中央に印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、原稿を 50%の大きさに縮小し、カット紙の中央に印刷する手順を説明します。

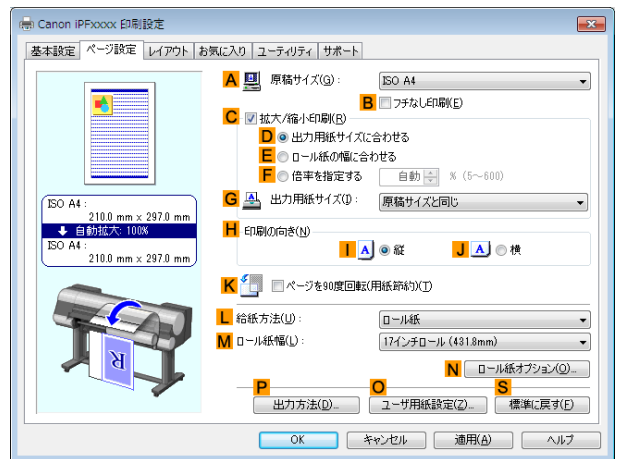
- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- 用紙サイズ:A4(210.0×297.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5 E[印刷目的]を一覧から選択します。

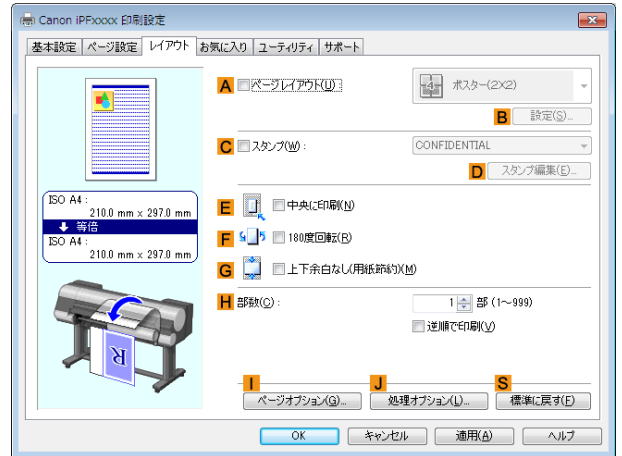
6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

8 C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

9 G[出力用紙サイズ]の一覧から[原稿サイズと同じ]をクリックします。

10 F[倍率を指定する]をクリックし、[50]を入力します。

11 L[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

12 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

13 **E**[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

14 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

重要

- 給紙方法に[カット紙]を選択した場合は、本体操作パネルのメッセージにしたがって用紙サイズを入力してください。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

原稿をカット紙の中央に印刷する(Mac OS X)

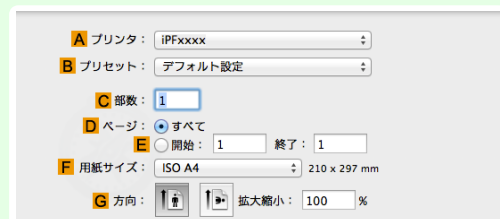
ここでは、以下を例に、カット紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- 用紙サイズ:定形外

1 **B**[対象プリンタ]と **C**[用紙サイズ]の設定をします。

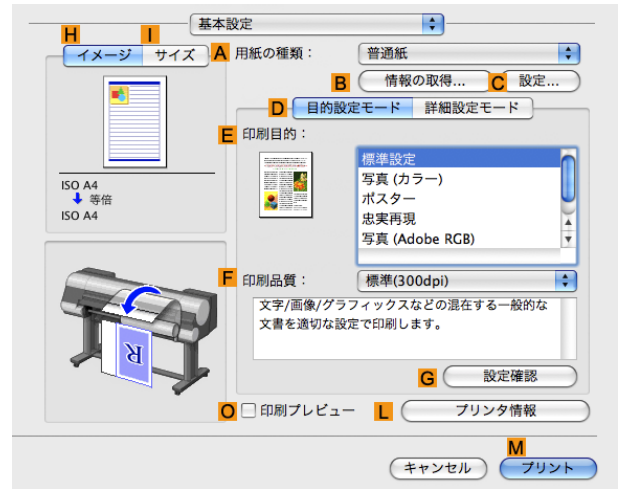
メモ

- ご使用のOSやアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

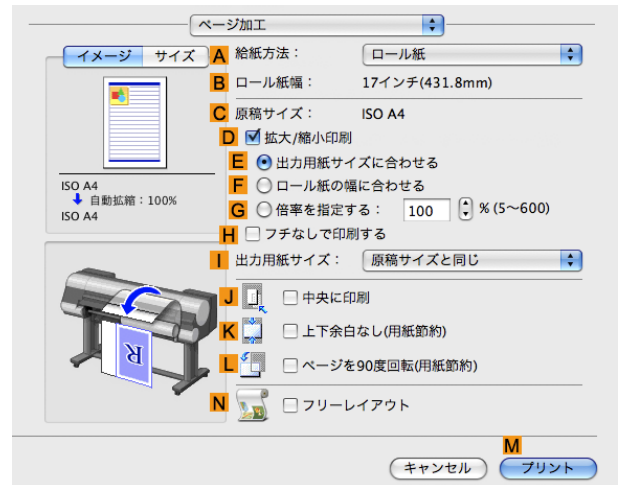
3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - カット紙]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

11 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - カット紙]が表示されていることを確認します。

12 J[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

13 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

重要

- 給紙方法に[カット紙]を選択した場合は、本体操作パネルのメッセージにしたがって用紙サイズを入力してください。

ロール紙を節約して印刷する

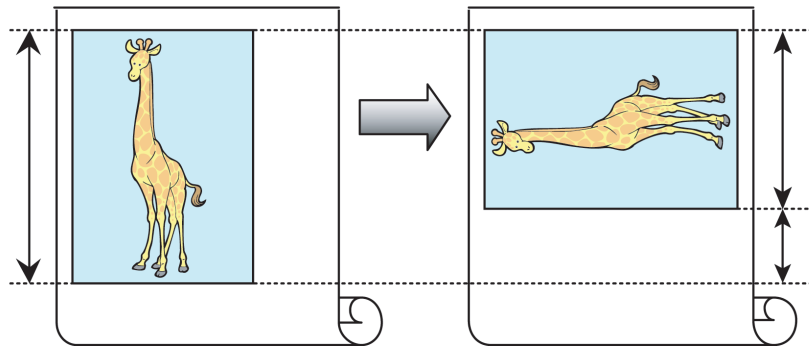
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する 134
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Windows) 134
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Mac OS X) 135
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する 138
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows) 138
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X) 140

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する

原稿に合わせた設定を行うことで、ロール紙を節約することができます。

- [ページを 90 度回転(用紙節約)]

縦長の原稿を印刷するとき、原稿の縦の長さがロール紙の幅に収まる場合、原稿を自動的に 90 度回転して印刷します。これにより、用紙を節約できます。

重要

- 回転するとロール紙の幅に収まらない場合も、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する機能を同時に使用すれば、ページを回転して印刷できます。

ロール紙を節約して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Windows) →P.134
- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Mac OS X) →P.135

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Windows)

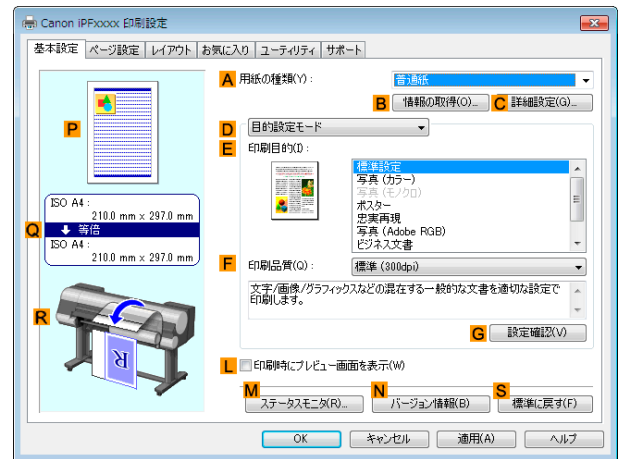
ここでは、以下を例に、原稿を 90 度回転してロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

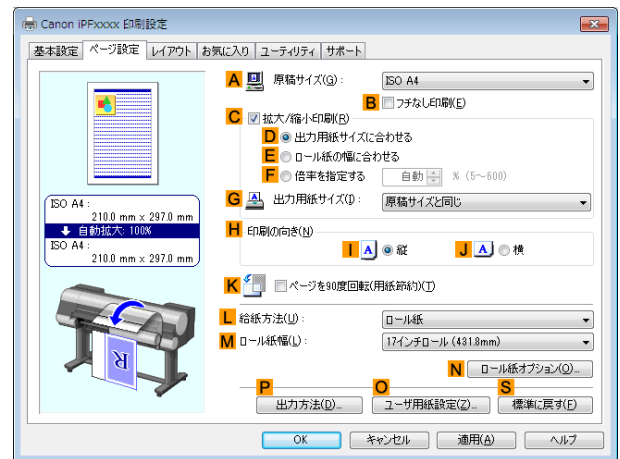
- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

この例では、A4(210.0×297.0 mm)の縦の長さが A3/A4 ロールのロール紙の幅(297.0 mm)に収まるため、原稿を 90 度回転させて印刷することで、用紙を節約できます。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします[Letter(8.5"x11")]。

7 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

9 K[ページを 90 度回転(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

10 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159」を参照してください。

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿を 90 度回転してロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

この例では、A4(210.0×297.0 mm)の縦の長さが A3/A4 ロールのロール紙の幅(297.0 mm)に収まるため、原稿を 90 度回転させて印刷することで、用紙を節約できます。

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

7 [ページ加工]パネルを表示します。

8 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

10 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

11 L[ページを 90 度回転(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

12 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

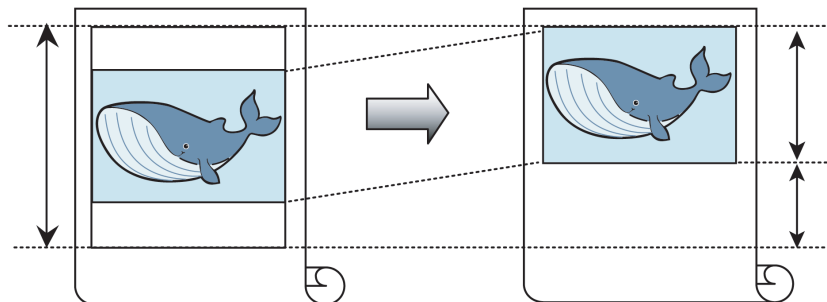
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329 」を参照してください。

原稿の上下の余白分のロール紙を節約する

原稿に合わせた設定を行うことで、ロール紙を節約することができます。

- [上下余白なし(用紙節約)]

原稿の上下に空白部分(余白)がある場合、空白部分にあたる用紙の紙送りを行わずに印刷します。これにより、余白の分だけ用紙を節約できます。

重要

- 以下の場合は、上下の余白を除いて印刷することはできません。
  - バナー印刷
  - ページレイアウトとしてポスターを選択

メモ

- フチなしで印刷するときも、上下の余白を除いて印刷できます。
- 上下の余白を除いて印刷されるため、原稿内の画像や文章のレイアウトによっては、印刷物のサイズが不揃いになることがあります。

ロール紙を節約して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows) →P.138
- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X) →P.140

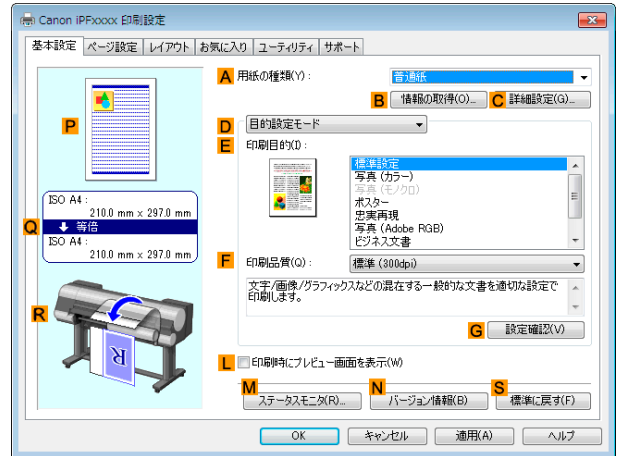
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows)

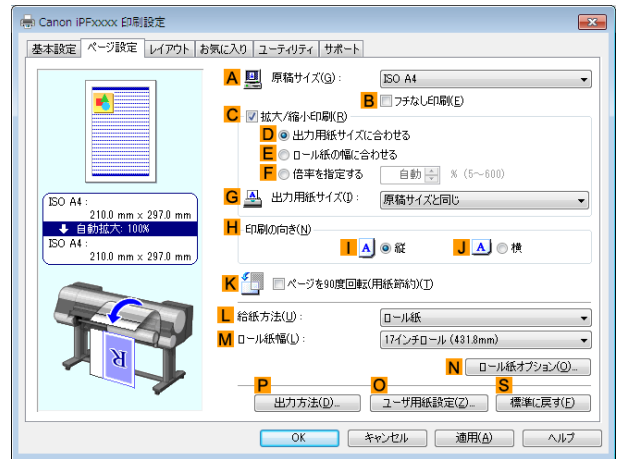
ここでは、以下を例に、原稿の上下の余白分のロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

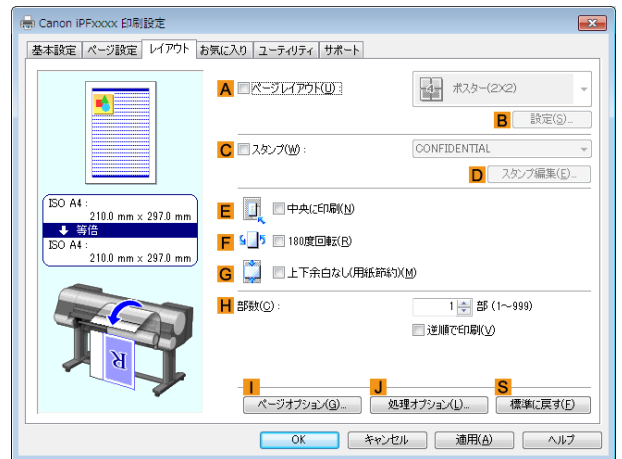
2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします[Letter(8.5"x11")]。

7 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

9 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

10 G[上下余白なし(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

11 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

原稿の上下の余白分のロール紙を節約する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、原稿の上下の余白分のロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A3/A4 ロール（297.0 mm）

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

7 [ページ加工]パネルを表示します。

8 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

10 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

11 K[上下余白なし(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

12 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

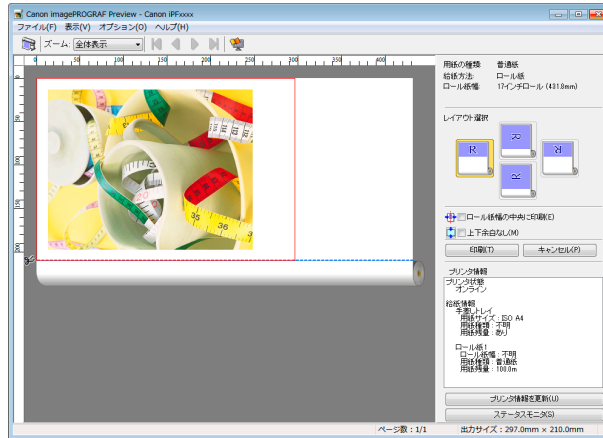
印刷前に確認する

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

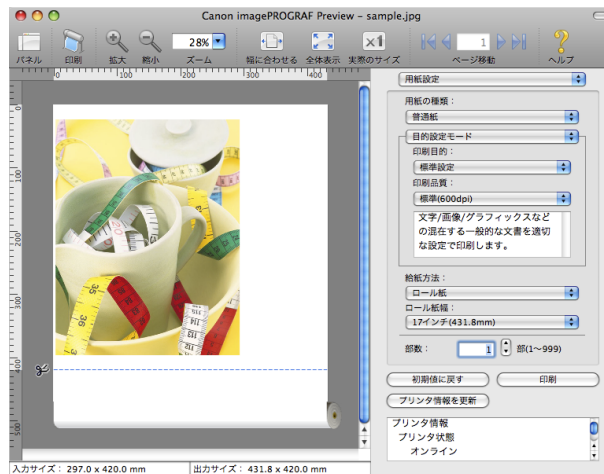
プレビュー画面で印刷レイアウトを確認することができます。

- [印刷時にプレビュー画面を表示](Windows)

プレビュー画面を見ながら印刷の向きなどの設定を変更することもでき、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映されます。

メモ

- 設定や環境によってはPageComposerが起動する場合があります。

- [Preview](Macintosh)

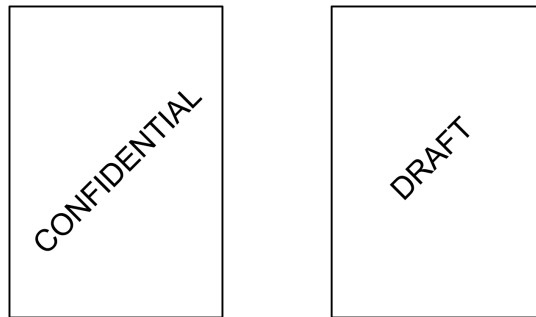
プレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することもでき、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映されます。

印刷前にレイアウトを確認する方法については、以下のトピックを参照してください。

- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する(Windows) →P.159
- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する(Mac OS X) →P.329

その他の便利な設定

スタンプを押して印刷する 144
COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する(Windows) 145
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する 146
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Windows) 147
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Mac OS X) 148
お気に入りの設定で印刷する 150
お気に入りの設定で印刷する(Windows) 160
お気に入りの設定で印刷する(Mac OS X) 330
印刷後にロール紙をカットする 150
印刷後にロール紙をカットする(Windows) 151
印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X) 151

スタンプを押して印刷する

取り扱いに注意が必要な書類に、マーク(スタンプ)を付けて印刷できます。

- [スタンプ]

原稿のすべてのページにスタンプを押して印刷します。

重要
- ポスターのページレイアウトが選択されている場合は、スタンプは印刷できません。

以下のスタンプが用意されています。

- CONFIDENTIAL
- COPY
- DRAFT
- 社外秘
- FINAL
- コピー禁止
- サンプル
- マル秘

また、独自にスタンプを作成することもできます。スタンプを作成するときは、以下の項目を設定できます。

- スタンプに使用する文字列:フォント、サイズ、色などを設定できます。文字列を枠で囲むこともできます。
- スタンプを押す位置:ページ内の位置、角度などを設定できます。
- スタンプを印刷する方法:重ね印刷や透かし印刷を設定できます。また、先頭のページだけに印刷することもできます。

メモ
- スタンプ機能は、Windows で使用できます。
- 用意されているスタンプの他に、最大 50 個のスタンプを作成できます。

スタンプを押して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する(Windows) →P.145

COPYや社外秘などのスタンプを押して印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、原稿に[社外秘]というスタンプを押して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A2(420.0×594.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

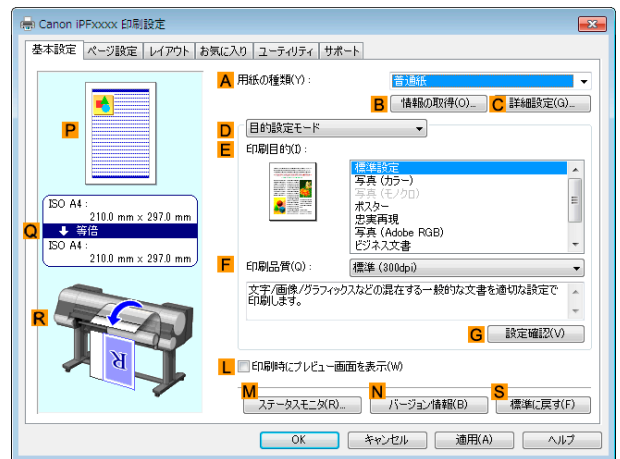
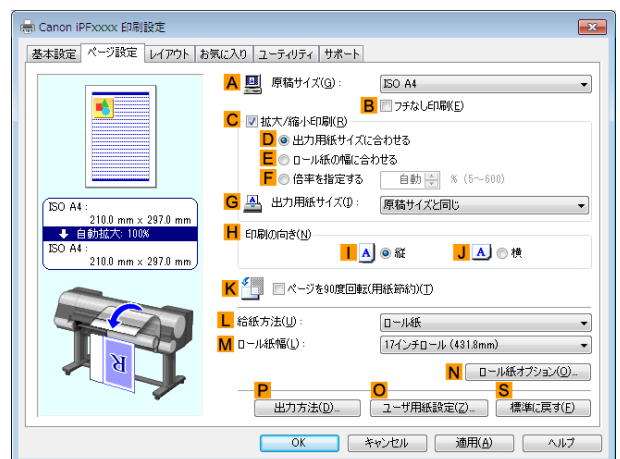
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

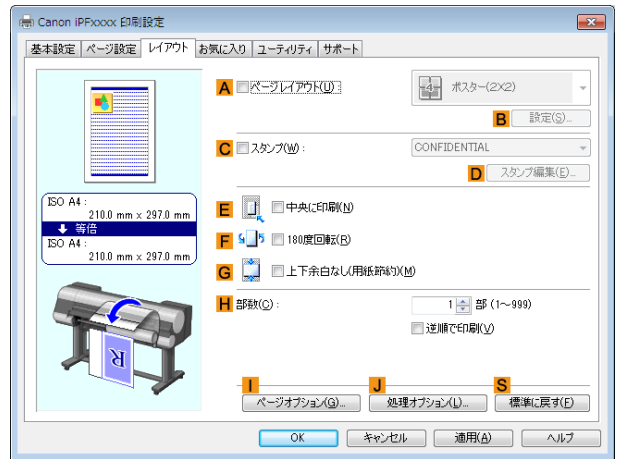
4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5 E[印刷目的]を一覧から選択します。

> メモ
> - G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 A[原稿サイズ]の一覧から、アプリケーションソフトで作成した原稿サイズ、ここでは[ISO A2]をクリックします。

8 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

10 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

11 C[スタンプ]チェックボックスをオンにします。

12 [スタンプリスト]の一覧から[社外秘]をクリックします。

- D[スタンプ編集]をクリックすると[スタンプ編集]ダイアログボックスが開きます。[スタンプ編集]ダイアログボックスでは、独自のスタンプを作成したり、スタンプの位置や角度を変更することができます。

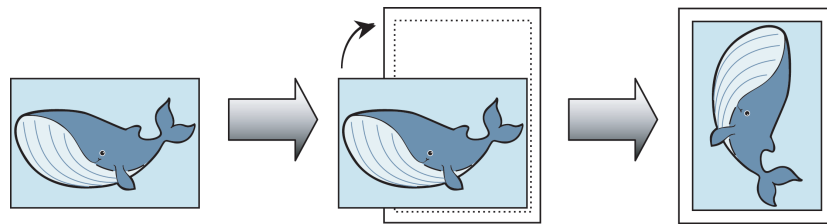
13 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159」を参照してください。

原稿の向きを用紙に合わせて印刷する

印刷する用紙に合わせて、原稿の向きを指定することができます。

- [印刷の向き]

  プリンタには通常、用紙を縦向きにセットします。横長の原稿を印刷する場合は、印刷の向きを指定し、原稿を横向きにして印刷します。

- [180 度回転]

  原稿を 180 度回転し、上下を逆にして印刷します。

- [鏡像]

  鏡に映したように、原稿の左右を反転して印刷します。

  原稿の向きを指定して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

  - 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Windows) →P.147
  - 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Mac OS X) →P.148

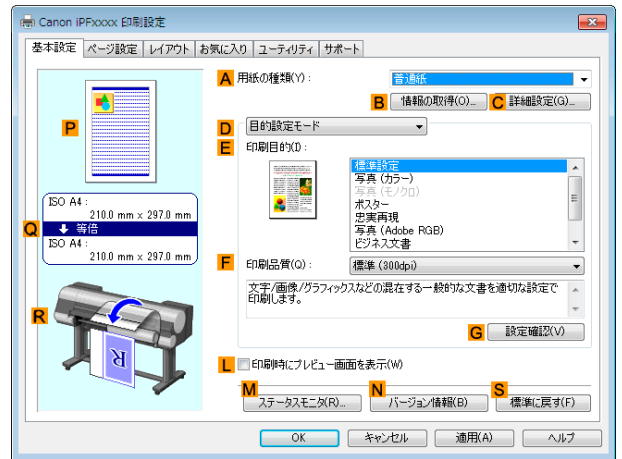
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、横長で作成した原稿の向きを用紙に合わせて印刷する手順を説明します。

- 原稿:横長で作成した原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

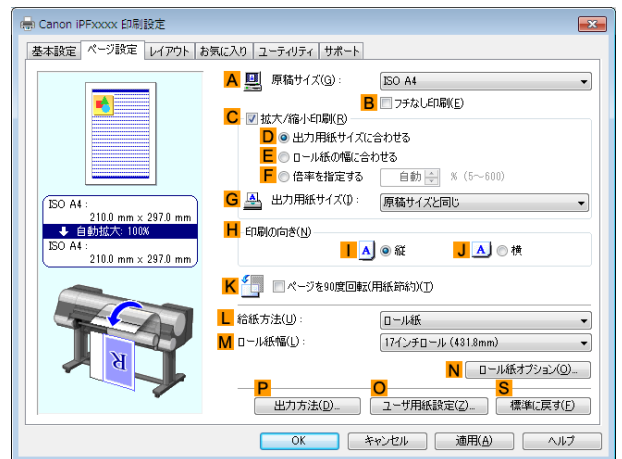
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

5 E[印刷目的]を一覧から選択します。

6 F[印刷品質]を一覧から選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします[Letter(8.5"x11")]。

9 H[印刷の向き]で、J[横]をクリックします。

10 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159」を参照してください。

原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Mac OS X)

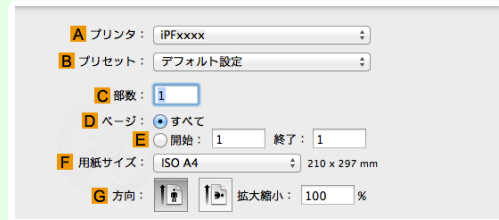
ここでは、以下を例に、横長で作成した原稿の向きを用紙に合わせて印刷する手順を説明します。

- 原稿:横長で作成した原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[普通紙]
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

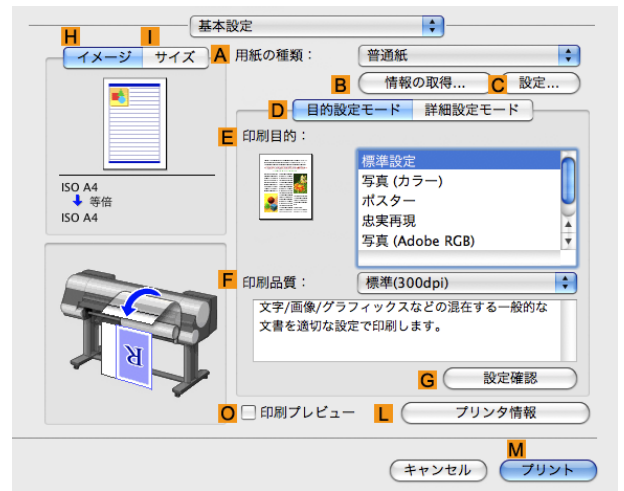
- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

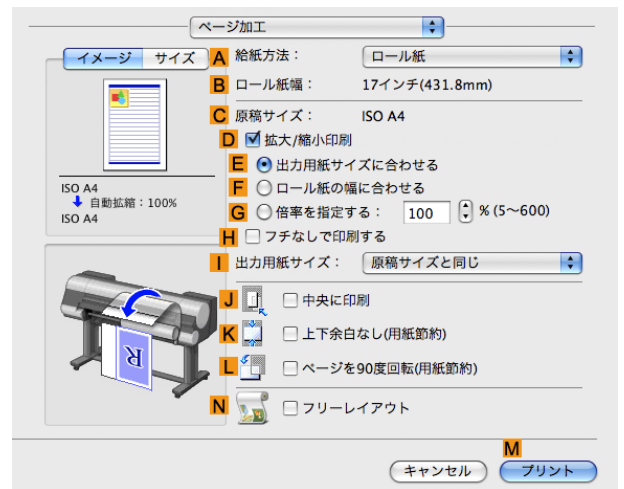
4 G[方向]で、原稿が横向きのアイコンをクリックします。

5 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

6 [基本設定]パネルを表示します。

7 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[普通紙]をクリックします。

8 E[印刷目的]を一覧から選択します。

9 F[印刷品質]を一覧から選択します。

10 [ページ加工]パネルを表示します。

11 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

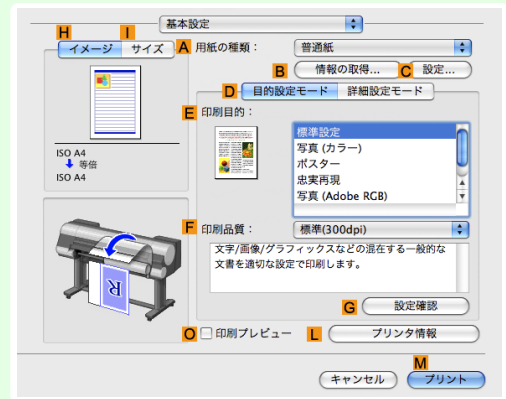
12 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

13 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

14 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329」を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

思いどおりに印刷できた場合や、同じサイズで何度も印刷する場合、[お気に入り]の設定として印刷の設定を登録しておくと、繰り返し同じ設定で印刷できます。

- [お気に入り]

お気に入りの設定を登録します。登録済みの設定を一覧から選択して印刷に適用したり、内容を確認することができます。

メモ

- お気に入りの設定は、ファイルに保存することもできるため、他のコンピュータから同じ設定で印刷したい場合などに使用できます。(Windows の場合)

お気に入りの設定で印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- お気に入りの設定で印刷する(Windows) →P.160
- お気に入りの設定で印刷する(Mac OS X) →P.330

印刷後にロール紙をカットする

印刷後にロール紙を自動でカットできます。

メモ

- 糊付きの用紙など、特殊な用紙の場合はカットできないことがあります。自動でカットできない用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.474」参照)

- [オートカット]

印刷後にロール紙を自動でカットします。ロール紙をカットせずに、続けて印刷したり、カットラインを印刷することもできます。

印刷後にロール紙をカットする方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 印刷後にロール紙をカットする(Windows) →P.151
- 印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X) →P.151

印刷後にロール紙をカットする(Windows)

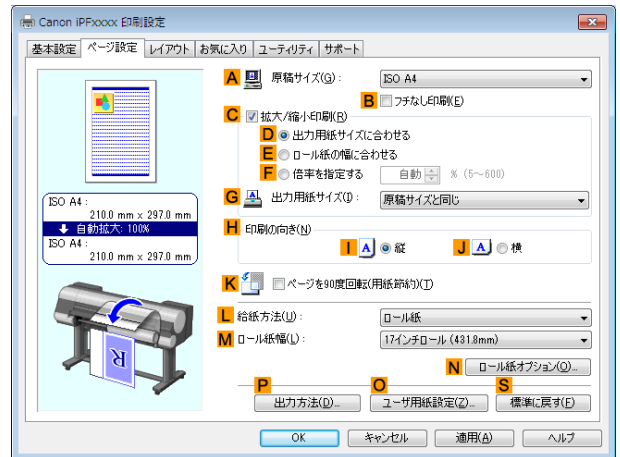
ここでは、印刷後にロール紙を自動でカットする(オートカット)手順、または手動でカットするためのカットラインを印刷する手順を説明します。

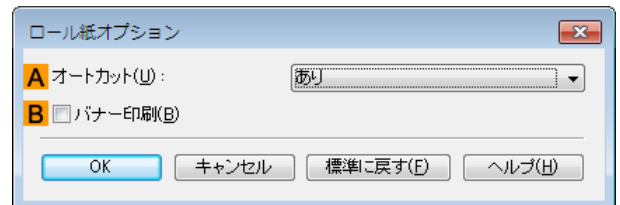
メモ

- 初期設定の状態(プリンタの設定が工場出荷時の状態、プリンタドライバがインストール時の状態)では、オートカット機能は有効になっています。以下の手順では、無効になっているオートカット機能を有効にしたり、カットラインを印刷する設定に変更できます。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照)

3 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

4 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

5 N[ロール紙オプション]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを開きます。

6 A[オートカット]の一覧から、オートカットを有効にする場合は[あり]をクリックします。後で手動でカットする場合は[カットラインを印刷]をクリックします。

7 [OK]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを閉じます。

8 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

印刷後に、ロール紙が自動でカットされます。

印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X)

ここでは、印刷後にロール紙を自動でカットする(オートカット)手順、または手動でカットするためのカットラインを印刷する手順を説明します。

メモ

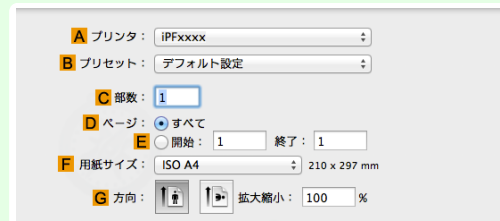
- 初期設定の状態(プリンタの設定が工場出荷時の状態、プリンタドライバがインストール時の状態)では、オートカット機能は有効になっています。以下の手順では、無効になっているオートカット機能を有効にしたり、カットラインを印刷する設定に変更できます。

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

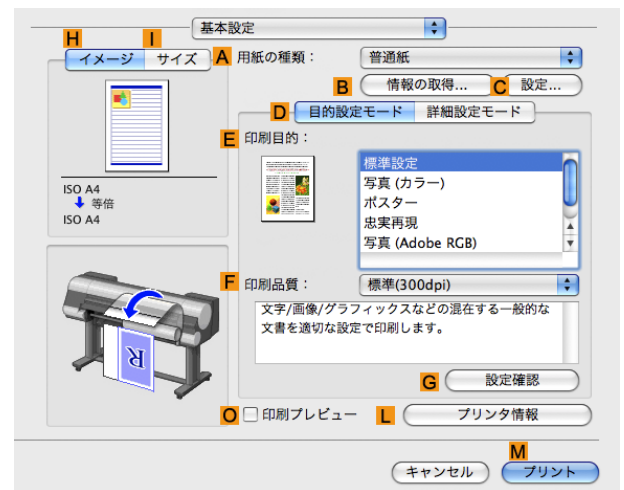
A プリンタ： iPFxxxx
B プリセット： デフォルト設定
C 部数： 1
D ページ： すべて
E 開始： 1 終了： 1
F 用紙サイズ： ISO A4 210 x 297 mm
G 方向： 拡大縮小： 100 %

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

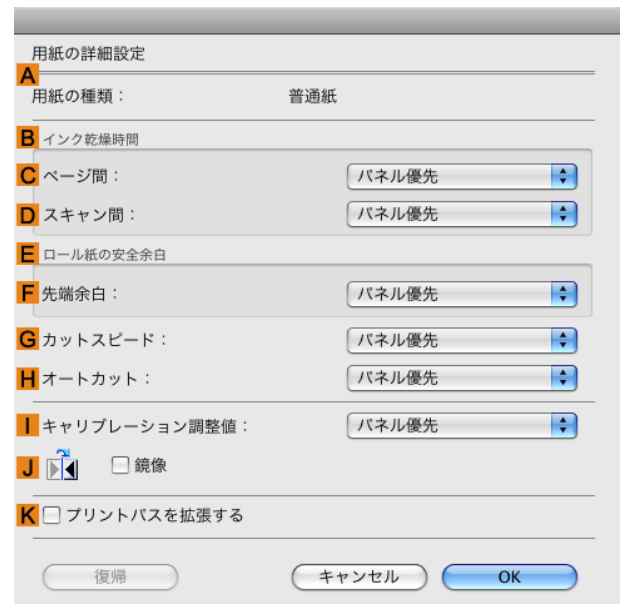
3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [ページ加工]パネルを表示します。

6 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

7 [基本設定]パネルを表示します。

8 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

9 C[設定]をクリックし、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスを開きます。

10 H[オートカット]の一覧から、オートカットを有効にする場合は[パネル優先]をクリックします。後で手動でカットする場合は[カットラインを印刷]をクリックします。

重要
- プリンタでオートカット機能が無効になっている場合は、プリンタの操作パネルから、オートカットの設定を変更する必要があります。

11 [OK]をクリックし、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスを閉じます。

12 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.329 」を参照してください。

プリンタドライバ

プリンタドライバの設定項目 156

プリンタドライバで用紙を指定する 157
印刷の設定を確認する 159
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する 159
お気に入りの設定で印刷する 160

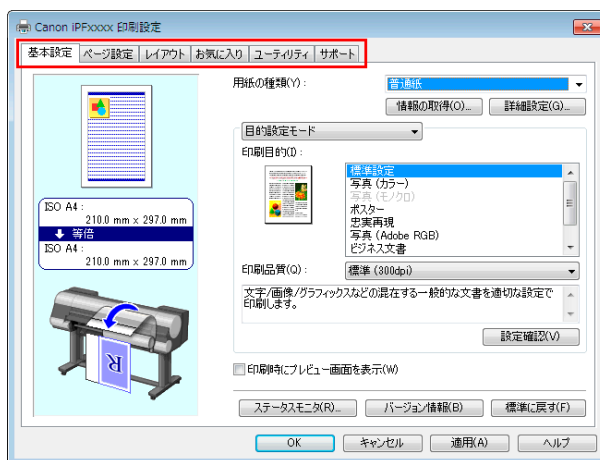
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 162
システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 163

基本設定シート 164
　プリンタの用紙情報ダイアログボックス 167
　用紙の詳細設定ダイアログボックス 167
　印刷目的の設定確認ダイアログボックス 169
　色調整シート(カラー) 169
　調整の対象ダイアログボックス(カラー) 171
　マッチングシート 171
　色調整シート(モノクロ) 174
　調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) 175
　グレー調整シート 175
ページ設定シート 176
　出力方法ダイアログボックス 179
　ユーザ用紙設定ダイアログボックス 180
レイアウトシート 181
　ページオプションダイアログボックス 182
　処理オプションダイアログボックス 183
お気に入りシート 184
ユーティリティシート 185
サポートシート 186
　設定一覧ダイアログボックス 186
デバイス設定シート 187

プリンタドライバの設定項目

Windows 版プリンタドライバの開き方については、以下を参照してください。

- アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162
- システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.163

Windows 版プリンタドライバの設定項目については、以下を参照してください。

- 基本設定シート →P.164
  用紙の種類、カラー、印刷画質、印刷プレビューについて設定できます。目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]があります。
  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.167

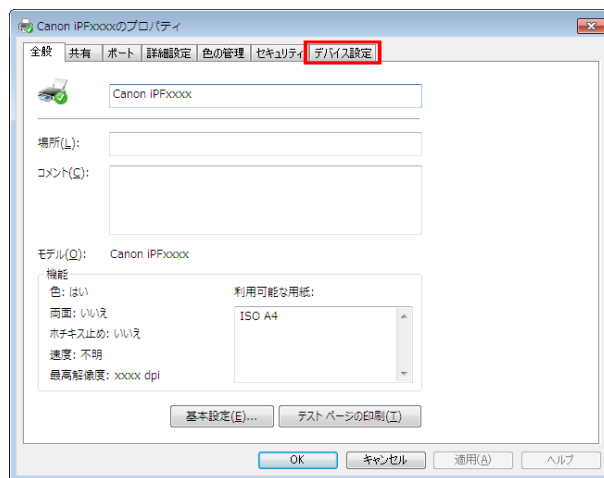
- 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.169
- 色調整シート(カラー) →P.169
- 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.171
- マッチングシート →P.171
- 色調整シート(モノクロ) →P.174
- 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) →P.175
- グレー調整シート →P.175

- ページ設定シート →P.176
原稿の用紙サイズ、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、印刷の向き、給紙方法、印刷する用紙のサイズ、用紙のオートカットについて設定できます。
  - 出力方法ダイアログボックス →P.179
  - ユーザ用紙設定ダイアログボックス →P.180

- レイアウトシート →P.181
ページレイアウト、スタンプ印刷、印刷の向き、印刷部数、印刷処理オプションについて設定できます。
  - ページオプションダイアログボックス →P.182
  - 処理オプションダイアログボックス →P.183

- お気に入りシート →P.184
各シートで選択した印刷設定をお気に入りとして登録できます。登録したお気に入りは、編集したり、印刷時に使用することができます。

- ユーティリティシート →P.185
プリントヘッドや用紙送りに関するメンテナンス、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]に関する設定を行えます。

- サポートシート →P.186
サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

- デバイス設定シート →P.187
プリンタに装着されているオプションの設定や、プリンタドライバのバージョン情報表示を行えます。

[imagePROGRAF フリーレイアウト]とは、アプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに自由に配置して印刷するための機能です。詳細は、フリーレイアウト →P.198 を参照してください。
[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]とは、[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷するための機能です。詳細は、Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.219 を参照してください。

プリンタドライバで用紙を指定する

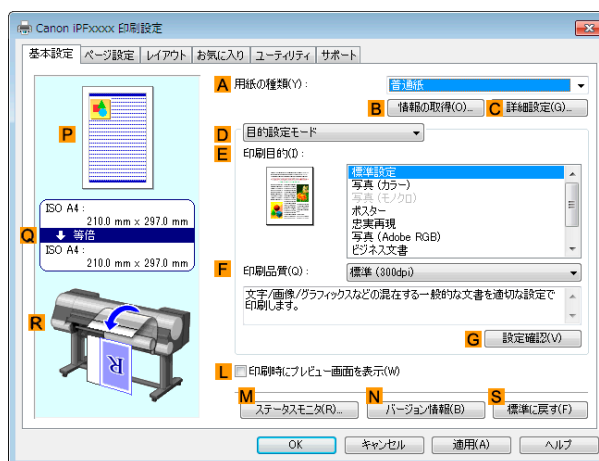
用紙を交換した場合にプリンタドライバでは以下の設定が必要です。

重要

- 必ずプリンタのメニューとプリンタドライバで同じ用紙やサイズを指定してください。

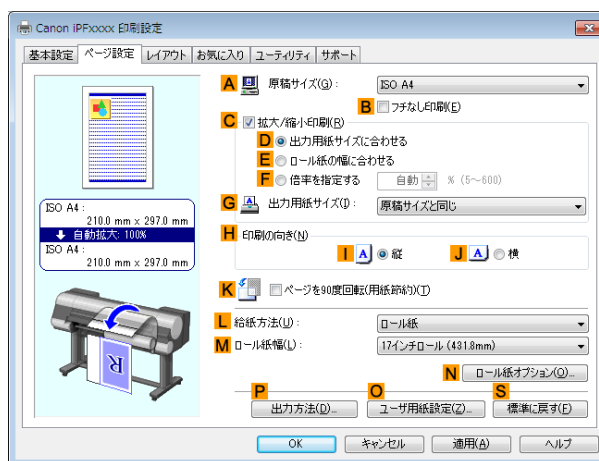
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

メモ

- B[情報の取得]ボタンをクリックすると[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスが表示されます。[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの給紙方法と用紙の種類を設定することができます。
  この機能を使用する場合は、[ステータスモニタ]がインストールされている必要があります。

5 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

7 L[給紙方法]の一覧から給紙方法を選択します。

8 L[給紙方法]でロール紙を選択した場合は、M[ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙幅を選択します。

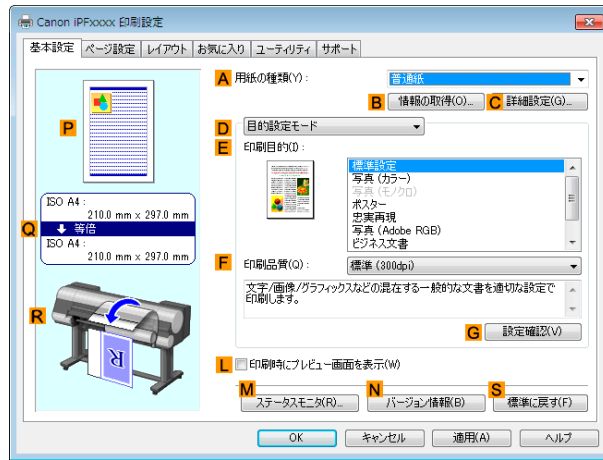
メモ

- プリンタドライバでは、印刷の目的に合わせていろいろな設定ができます。
  設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.156」を参照してください。

印刷の設定を確認する

印刷の設定を確認するには、以下の 2 種類の方法があります。

- 設定プレビューで確認する

設定プレビューは、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの左側の部分に表示されます。原稿サイズ、印刷の向き、給紙方法、レイアウトなど、現在の設定状況をイラストや数値で確認できます。

表示部分	表示される情報
P[上部のイラスト]	印刷の向き、ページレイアウト、フチなし印刷、カラーモードなどの設定状況がイラストで表示されます。
Q[中央の枠内]	原稿サイズ、出力用紙サイズ、拡大/縮小の方法、倍率などが表示されます。
R[下部のイラスト]	給紙方法、印刷の向き、フチなし印刷などの設定状況がイラストで表示されます。

メモ

- [目的設定モード]で選択した[印刷目的]の設定値を確認したい場合は、[基本設定]シートで G[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開きます。

- 印刷プレビューで確認する

原稿の印刷イメージそのものを確認できます。

この機能を有効にしておくと、印刷する前に imagePROGRAF Preview または PageComposer が起動し、印刷イメージを確認できるため、印刷の失敗を未然に防止できます。

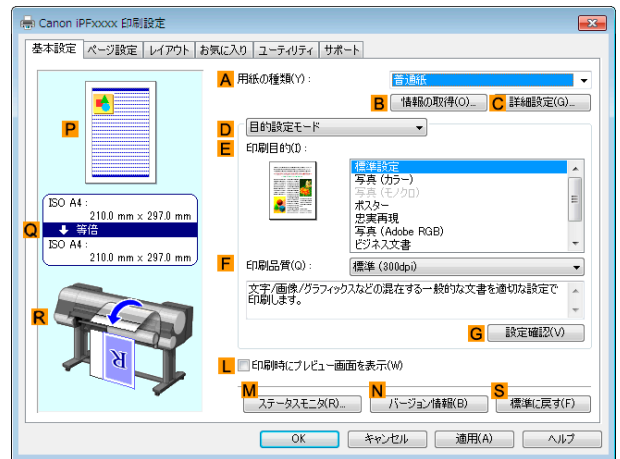
印刷プレビューの詳細については、「印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.143」を参照してください。

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

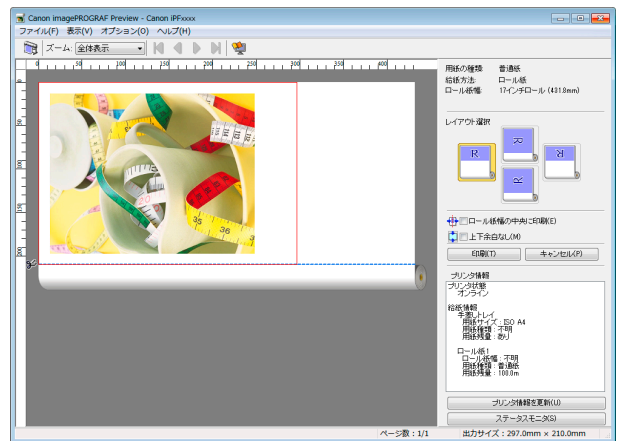
ここでは、実際に用紙に印刷する前に、印刷結果をプレビューする手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 L[印刷時にプレビュー画面を表示]チェックボックスをオンにします。

5 [OK]をクリックして印刷を実行すると、[imagePROGRAF Preview]ウィンドウが開きます。

メモ

- PageComposer が起動した場合は、[レイアウト]シートから[処理オプション]ダイアログを開き、[プレビュー互換を行う]のチェックを外してください。

6 メインウィンドウで、レイアウトの確認や必要に応じた設定の変更を行います。

7 [ファイル]メニューから[印刷]をクリックします。

メモ

- [imagePROGRAF Preview]の機能の詳細は、Preview →P.188 を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

ここでは、お気に入りの設定を登録し、その設定で印刷する手順を説明します。

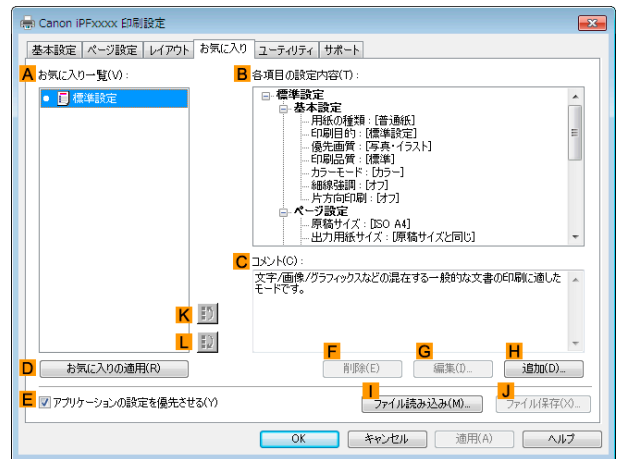
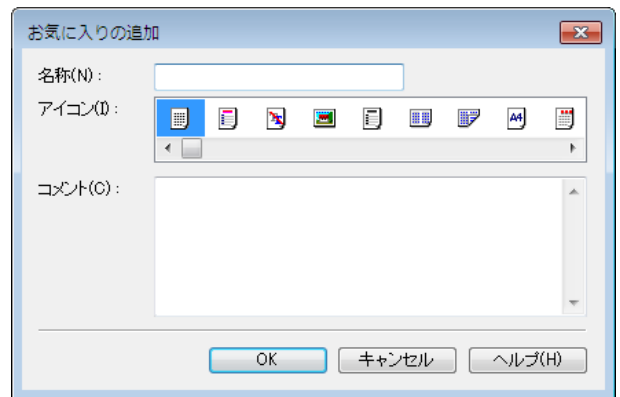
お気に入りの設定を登録する

ここではドライバ上で変更した印刷設定を[お気に入り]として登録する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照)

3 通常の印刷の設定を行います。
ここからお気に入りの登録を行います。

4 [お気に入り]タブをクリックし、[お気に入り]シートを表示します。

5 **H**[追加]をクリックし、[お気に入りの追加]ダイアログボックスを開きます。

6 [名称]に[プレゼン用の写真]や[月例の報告書]などの任意の名前を入力します。

7 [アイコン]の一覧から、この設定にふさわしいアイコンを選択します。

8 [コメント]に、追加するお気に入りの設定を説明するコメントを入力します。

9 [OK]をクリックし、[お気に入りの追加]ダイアログボックスを閉じます。
登録したお気に入りの設定は、**A**[お気に入り一覧]に表示されます。

メモ

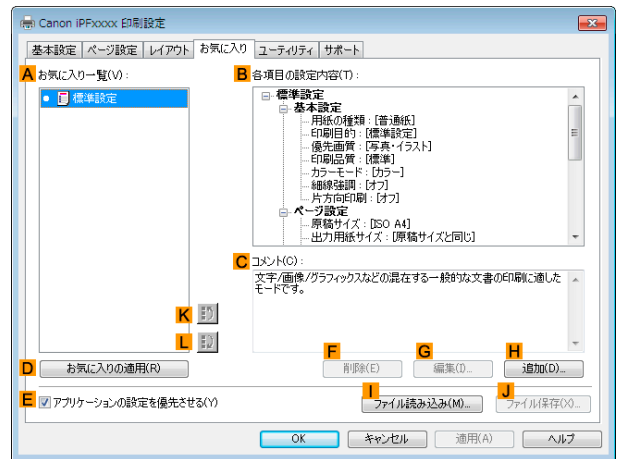
- お気に入りの設定をファイルに保存する場合は、**J**[ファイル保存]をクリックし、保存するファイルを指定します。

お気に入りの設定で印刷する

ここでは、登録したお気に入りの設定で印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」参照)

3 [お気に入り]タブをクリックし、[お気に入り]シートを表示します。

4 A[お気に入り一覧]の一覧から、登録したお気に入りの設定を選択します。

メモ

- お気に入りの設定をファイルから読み込む場合は、I[ファイル読み込み]をクリックし、お気に入りが保存してあるファイルを指定します。

5 D[お気に入りの適用]をクリックし、現在の印刷の設定をお気に入りの設定に置き換えます。

6 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.159 」を参照してください。

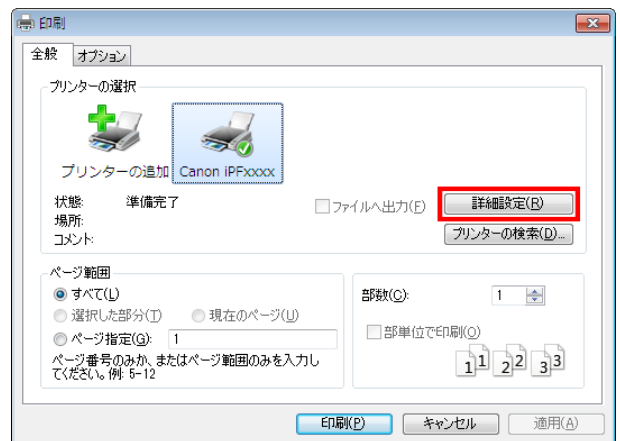
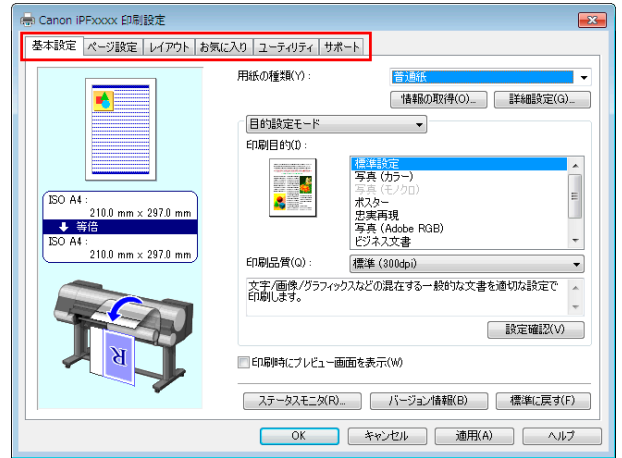
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1 [ファイル]メニューから[印刷](プリント)を選択し、印刷の条件を設定するダイアログボックスを開きます。

2 プリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。

メモ

- 印刷の条件を設定するダイアログボックスはアプリケーションソフトによって異なります。プリンタを選択すると、表示されているダイアログボックスにプリンタドライバの設定用のシートが追加されるアプリケーションソフトもあります。
以下の例では、[詳細設定]をクリックします。

- アプリケーションソフトから表示される[印刷]ダイアログボックスの例

[基本設定]、[ページ設定]、[レイアウト]、[お気に入り]、[ユーティリティ]、[サポート]の 6 つのシートが、プリンタドライバが表示する印刷の設定用のシートです。

メモ

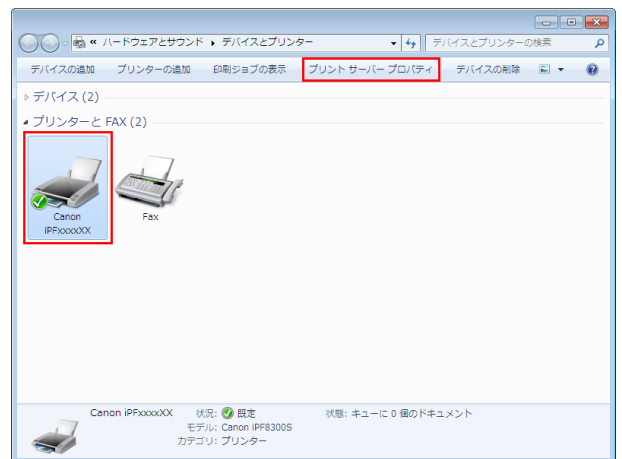
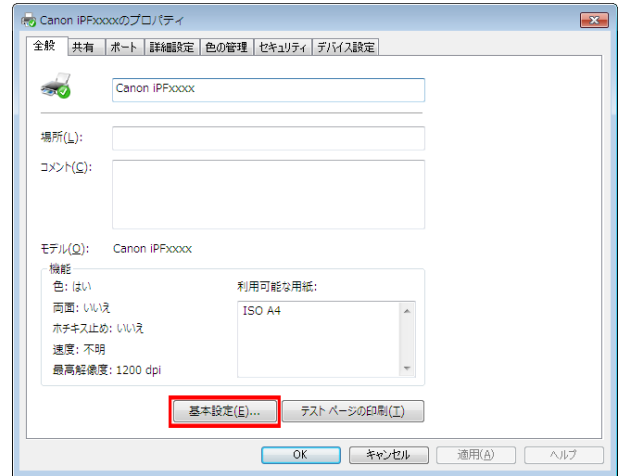
- アプリケーションソフトによっては、ダイアログボックスのタイトルが異なったり、上記の 6 つ以外のシートも表示される場合があります。

重要

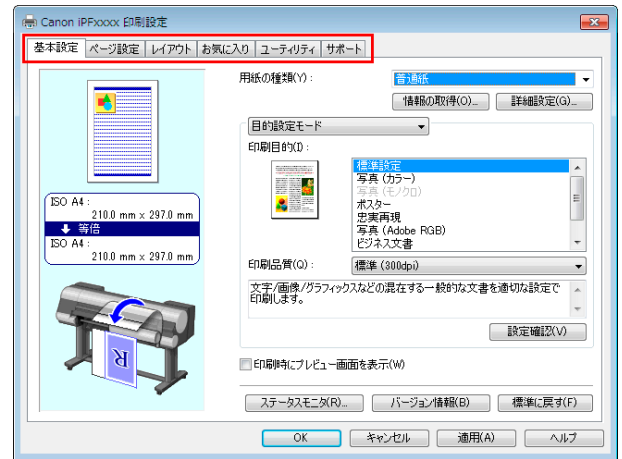
- アプリケーションソフトで開いたプリンタドライバのダイアログボックスで行った設定は、そのアプリケーションソフトで有効な一時的な設定です。アプリケーションソフトを終了した時点で無効になります。
- プリンタドライバのダイアログボックスは、Windows のシステムのメニューから開くこともできます。
  設定を継続的に全てのアプリケーションで使用する場合は、システムのメニューからプリンタドライバを開いて設定してください。
  「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.163 」を参照してください。

システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1 [スタート]メニューから[プリンタと FAX](または[プリンタ])を開きます。

2 プリンタを選択し、プリンタのプロパティのダイアログボックスを開きます。

3 [印刷設定]をクリックし、タイトルにプリンタ名の付いた[基本設定]（または[印刷設定]）ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [デバイス設定]シートもプリンタドライバの一部です。(「デバイス設定シート →P.187」参照)

[基本設定]、[ページ設定]、[レイアウト]、[お気に入り]、[ユーティリティ]、[サポート]の 6 つのシートが、プリンタドライバが表示する印刷の設定用のシートです。

重要

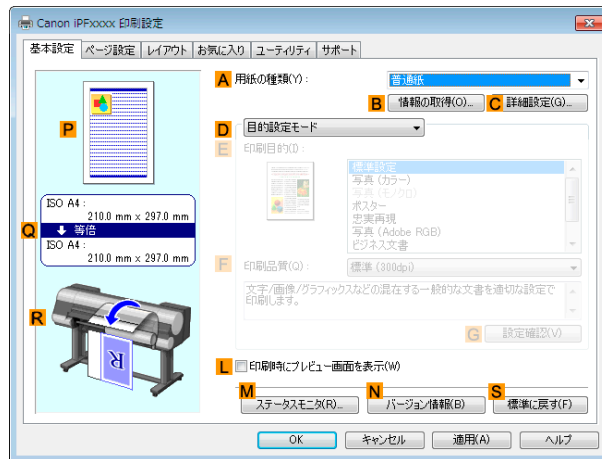
- システムのメニューで開いたプリンタドライバのダイアログボックスで行った設定は、すべてのアプリケーションソフトで有効になります。
- プリンタドライバのダイアログボックスは、アプリケーションソフトから開くこともできます。
  「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162」を参照してください。

基本設定シート

[基本設定]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [基本設定]シートは、目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]を切り替えて使用することができます。

共通項目

- **A[用紙の種類]**

用紙の種類を選択できます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)

- **B[情報の取得]**

[プリンタの用紙情報]を表示します。給紙方法を選択し、プリンタドライバの給紙方法、用紙の種類およびロール紙幅に反映させることができます。

  - プリンタの用紙情報ダイアログボックス →P.167

- **C[詳細設定]**

[用紙の詳細設定]を表示します。インクの乾燥時間など、用紙の種類に合わせた印刷の方法を設定できます。

  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.167

- **L[印刷時にプレビュー画面を表示]**

オンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Preview]が起動します。
イメージを画面上で確認してから印刷できます。

  - 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.143

- **M[ステータスモニタ]**

imagePROGRAF Status Monitor が起動します。
プリンタの状態やジョブの状態などを確認できます。
また、プリンタにエラーが発生した場合に、電子メールで通知する[電子メール通知]の設定ができます。
詳細は[ステータスモニタ]のヘルプを参照してください。

- **N[バージョン情報]**

プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

- **S[標準に戻す]**

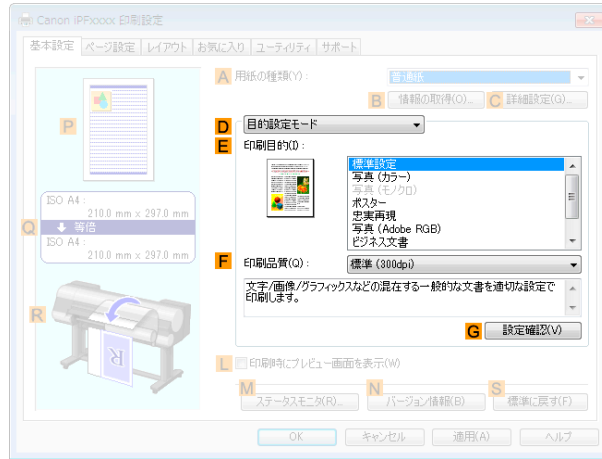
シート内の各設定値を初期値に戻します。

[目的設定モード]を選択した場合

- **E**[印刷目的]

印刷物に適した設定を選択できます。

- 写真やイラストを印刷する →P.35
- オフィスの文書を印刷する →P.45

メモ

- **A**[用紙の種類]によっては選択できない**E**[印刷目的]があります。

- **F**[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.57

- **G**[設定確認]

E[印刷目的]の設定値が表示されます。

E[印刷目的]の設定値を確認したり、順番を変更することができます。

- 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.169

[詳細設定モード]を選択した場合

- **E**[優先画質]

印刷結果で優先する要素を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.57

- **F**[印刷品質]

  印刷品質を選択できます。

  - 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.57

- **G**[カラーモード]

  カラーモードを選択できます。

  - 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.57

メモ

- A[用紙の種類]によっては選択できないG[カラーモード]があります。

- **H**[色設定]

  クリックすると[色設定]ダイアログボックスが開き、色を詳細に設定できます。

  - プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.51

- **I**[細線強調]

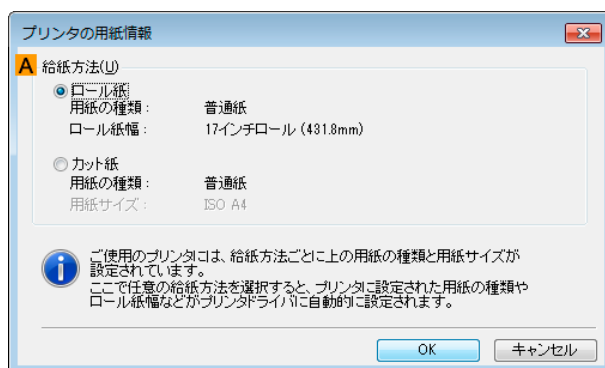
  オンにすると、細い線をくっきりと印刷します。

- **J**[片方向印刷]

  チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

プリンタの用紙情報ダイアログボックス

[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの給紙方法と用紙の種類を設定することができます。

メモ

- [プリンタの用紙情報]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[用紙の種類]の[情報の取得]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.164 」参照)

- **A**[給紙方法]

  プリンタで使用可能な給紙方法とセットされている用紙の情報が表示されます。[給紙方法]を選択して[OK]をクリックすると、プリンタドライバに給紙方法と用紙の種類が設定されます。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[用紙の詳細設定]ダイアログボックスでは、[基本設定]シートの[用紙の種類]で選択した用紙の[インク乾燥時間]などが設定できます。

このダイアログボックスは、[基本設定]シートで[用紙の種類]の[設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.164 」参照)

また、このダイアログボックスで[パネル優先]を選択できる項目は、プリンタ本体の操作パネルからも設定できます。(「メニューの設定値 →P.605 」参照)

A[インク乾燥時間]

インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。[ページ間]の設定は、ロール紙のみ有効となります。

- B[ページ間]

1 ページ分を印刷してから、用紙を排紙するまでの待ち時間を設定できます。ロール紙がカットされる前にインク乾燥のための待ち時間が取られるので、[カットモード]が[自動カット]に設定されている場合にも、インクが乾いた状態でバスケットに落下させることができます。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	印刷終了後、すぐに排紙されます。
[30 秒] / [1 分] / [3 分] / [5 分] / [10 分] / [30 分] / [60 分]	印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。

- C[スキャン間]

ページ内で 1 ラインを印刷してから、次の 1 ラインを印刷するまでの待ち時間を設定できます。ページ内でにじみが発生したときや、フチなし印刷時に色ムラが発生したときなど、にじみやムラの発生を回避したいときに設定します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	1 ライン印刷後、すぐに次のラインが印刷されます。
[1 秒] / [3 秒] / [5 秒] / [7 秒] / [9 秒]	1 ライン印刷後、設定した時間が経過してから次のラインが印刷されます。 *にじみやムラの発生状況に応じて時間を増やしてください。

D[ロール紙の安全余白]

カールの強い用紙をプラテンにしっかりと吸着させるために、用紙の先端に確保する余白の長さを指定することができます。

- E[先端余白]

ロール紙の[先端余白]の長さを設定できます。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[5mm]	定型サイズで印刷されます。 *印刷に特に問題がないときに選択してください。
[20mm]	カールの強い用紙を使用した場合など、プリントヘッドのこすれが発生する場合に選択してください。

F[カットスピード]

オートカットのスピードを選択できます。オートカットできれいにカットできないときに調整できます。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[高速]	[標準]の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。
[標準]	オートカットで特に問題ない場合に選びます。
[低速]	糊付きの用紙の場合に選択すると、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。

H[キャリブレーション調整値]

プリンタで実行したキャリブレーション結果を画像処理に適用するかを指定することができます。

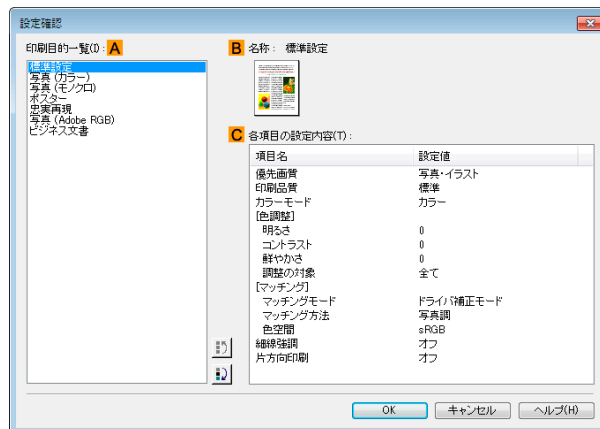
設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[有効]	キャリブレーション結果を使用して印刷します。
[無効]	キャリブレーション結果を使用しないで印刷します。カラーキャリブレーションによって印刷中の画像の色味が変わってしまうことを避けたい場合に選択します。

G[鏡像]

鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

印刷目的の設定確認ダイアログボックス

[設定確認]ダイアログボックスでは、選択した印刷目的の詳細を確認することができます。

メモ

- [設定確認]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[印刷目的]の[設定確認]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.164」参照)

- **A[印刷目的一覧]**
  [印刷目的]のすべての項目が表示されます。
- **B[名称]**
  [印刷目的一覧]から選択した項目の名称とアイコンが表示されます。
- **C[各項目の設定内容]**
  選択した[印刷目的]の一覧から選択した各項目の細かな設定値を確認することができます。

色調整シート(カラー)

[色調整]シートでは、印刷結果が思いどおりの色調にならない場合に調整することができます。

メモ

- [色調整]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.164 」参照)

- **A[サンプルの種類]**

  サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

- **B[カラーパターン表示]**

  チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

- **C[サンプルへ適用]**

  チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

- **D[シアン]/E[マゼンタ]/F[イエロー]**

  各色の強弱を調整することで色合いを補正できます。

- **G[グレー色調]**

  グレーの色調を調整できます。[冷黒]にすると青みがかった色合いになり、[温黒]にすると赤みがかった色合いになります。

- **H[明るさ]**

  画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

- **I[コントラスト]**

  最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

- **J[鮮やかさ]**

  色の濃さを調整できます。[鮮やかさ]の設定を強くするとビビッドな色合いになり、[鮮やかさ]を弱くするとくすんだ色合いになります。

- **K[調整の対象]**

  [調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

  - 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.171

- **S[標準に戻す]**

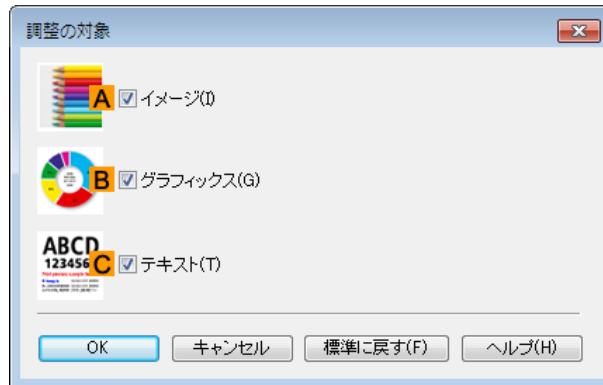
  クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.51 」を参照してください。

調整の対象ダイアログボックス(カラー)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]シートの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

- **A**[イメージ]

  チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

- **B**[グラフィックス]

  チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

- **C**[テキスト]

  チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

マッチングシート

[マッチング]シートでは、異なるデバイス間で色を合わせるカラーマッチングを設定することができます。

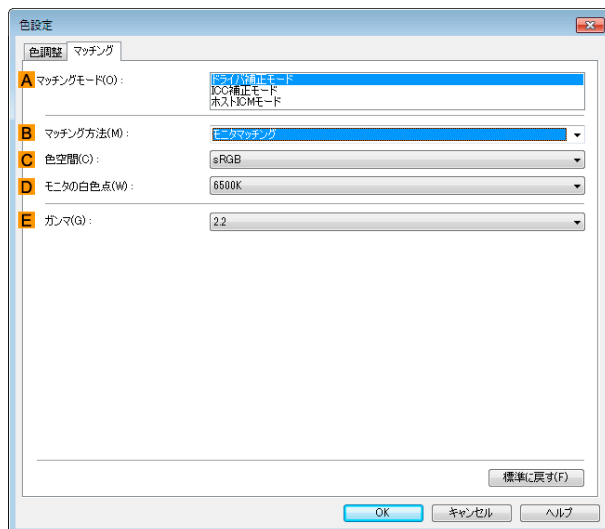
重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]シートは表示されません。

メモ

- [マッチング]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]シートをクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.164 」参照)

[ドライバ補正モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ドライバ補正モード]を選択したときに、以下の項目を設定できます。

- **A[マッチングモード]**

  使用するカラーマッチングを選択できます。

  通常は、[ドライバ補正モード]を選択します。ICC プロファイルを使用したカラーマッチングを行いたい場合は、使用するカラーマッチングシステムに応じて[ICC 補正モード]または[ホスト ICM モード]を選択します。

- **B[マッチング方法]**

  印刷する内容に合わせてカラーマッチング方法を選択できます。[マッチング方法]は、選択した[マッチングモード]によって設定できる項目が異なります。

- **C[色空間]**

  出力する色空間を選択できます。

- **D[モニタの白色点]**

  モニタで設定されている色温度を入力します。

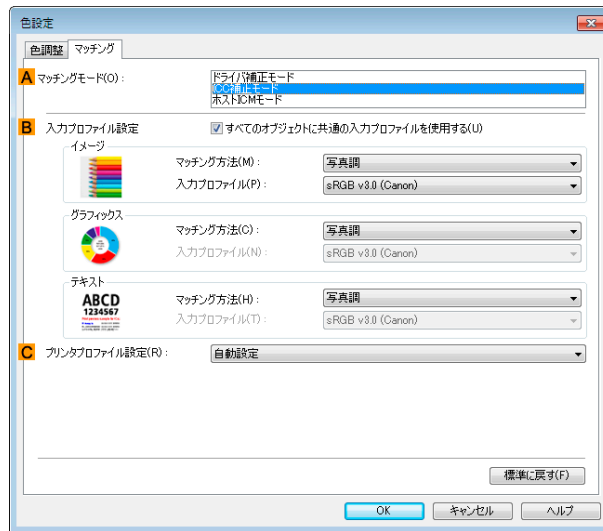
  B[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合に表示されます。

- **E[ガンマ]**

  画像の中間調の階調を変えることができます。

  通常は[2.2]を選択します。[2.2]に比べて柔らかい印象にしたい場合は[1.8]を選択します。

[ICC 補正モード]/[ホスト ICM モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ICC 補正モード]または[ホスト ICM モード]を選択したときは、以下の項目を設定できます。

- **A[マッチングモード]**

  使用するカラーマッチングを選択できます。

- **B[入力プロファイル設定]**

  [イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]それぞれを選択できます。[マッチング方法]と[入力プロファイル]を選択することができます。

  選択されている[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。

  [すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する]のチェックボックスがオンになっているときは、[グラフィックス]、[テキスト]にも自動的に同じ入力プロファイルが設定されます。[グラフィックス]、[テキスト]に対して、それぞれ異なる入力プロファイルを設定したいときは、[すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する]のチェックボックスをオフにしてから、設定します。

- **C[プリンタプロファイル設定]**

  プリンタのプロファイルを設定することができます。通常は[自動設定]を選択します。

  キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙でカラーマネージメントを正確に行うためには、市販のプロファイル作成ソフトウェアで作成した ICC プロファイルを選択することお勧めします。

  作成した ICC プロファイルはご使用のコンピュータの以下のフォルダに保存されている必要があります。

  C:¥Windows¥system32¥spool¥drivers¥color フォルダ

- C:は環境により異なる場合があります。

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する」を参照してください。 →P.51

色調整シート(モノクロ)

モノクロ用の[色調整]シートでは、明るさとコントラストを調整することができます。

メモ

- [色調整]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.164 」参照)

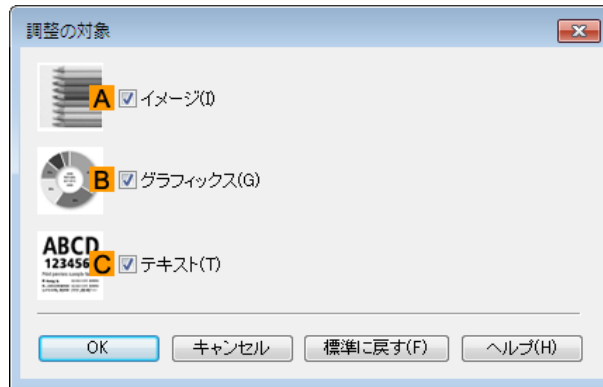
- **A**[サンプルの種類]
  サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。
- **B**[カラーパターン表示]
  チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。
- **C**[サンプルへ適用]
  チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。
- **D**[シアン]/**E**[マゼンタ]/**F**[イエロー]
  設定できません。
- **G**[グレー色調]
  設定できません。
- **H**[明るさ]
  画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。
- **I**[コントラスト]
  最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。
- **J**[鮮やかさ]
  設定できません。
- **K**[調整の対象]
  [調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。
  - 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) →P.175
- **S**[標準に戻す]
  クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.51 」を参照してください。

調整の対象ダイアログボックス(モノクロ)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]シートの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

- **A[イメージ]**

  チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

- **B[グラフィックス]**

  チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

- **C[テキスト]**

  チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

グレー調整シート

[グレー調整]シートでは、色調、明るさ、コントラストなどを調整することができます。

メモ

- [グレー調整]シートは、基本設定シート →P.164 で[詳細設定モード]の[カラーモード]で[モノクロ(写真)]を選択し、[色設定]をクリックすると表示できます。
- 用紙の種類によって[モノクロ(写真)]は選択できない場合があります。

- **A[サンプルの種類]**

  シート上の各項目の設定を変更すると、左側のイメージに反映され、調整結果を確認できます。

- **B**[サンプルリスト]

  サンプルの画像を選択することができます。

- **C**[色調]

  リストをクリックして目的に合った色調を選択することができます。

- **D**[X]/**E**[Y]

  調整領域では色合いを確認しながら、色調の調整をすることができます。
  中央の四角領域をマウスでクリック、またはドラッグして調整することができます。
  水平・垂直のスライドバーを左右、上下にドラッグして調整することができます。

  D[X](横方向)、**E**[Y](縦方向)の数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して色調を調整することができます。

- **J**[調子]

  画像の中間調の明るさを調整できます。[硬調]を選択するとメリハリがつき硬い印象になります。[軟調]を選択すると柔らかい印象になります。

- **F**[明るさ]

  画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

- **G**[コントラスト]

  最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

- **H**[ハイライト]

  最も明るい部分の明るさを調整することができます。

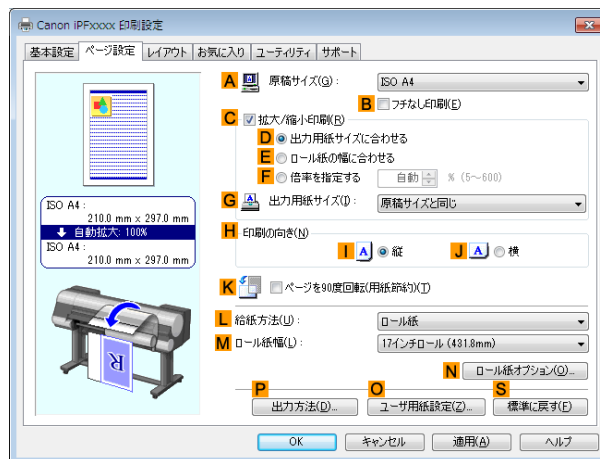
- **I**[シャドー]

  最も暗い部分の明るさを調整することができます。

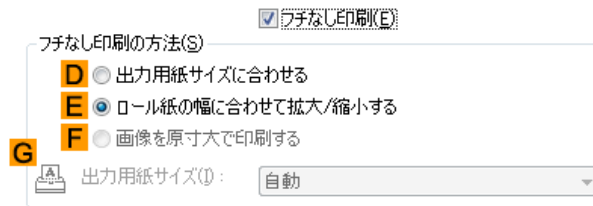
- **S**[標準に戻す]

  クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

ページ設定シート

[ページ設定]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- **A**[原稿サイズ]

  アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択できます。
  選択できる原稿のサイズについては、「用紙のサイズ →P.474」を参照してください。

- **B**[フチなし印刷]

L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択すると有効になります。オンにすると、以下の項目を選択できます。

- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.86
- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.92
- 原寸大のフチなしで印刷する →P.80

- **D**[出力用紙サイズに合わせる]

原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **E**[ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]

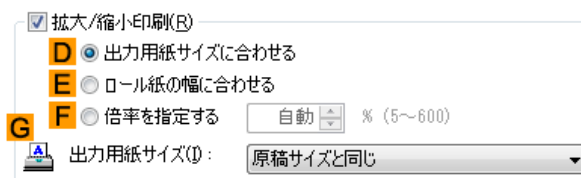
原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **F**[画像を原寸大で印刷する]

画像を原寸大で印刷できます。**A**[原稿サイズ]の一覧から、原稿の高さまたは幅が[ロール紙]の幅と同じサイズを選択したときに有効になります。

- **G**[出力用紙サイズ]

D[出力用紙サイズに合わせる]を選択すると有効になります。
印刷する用紙のサイズを選択できます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.474 」を参照してください。
一覧には、フチなしで印刷できる用紙のサイズが表示されます。

- **C**[拡大/縮小印刷]

オンにすると、以下の項目を選択できます。

- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.63
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.67
- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.71

- **D**[出力用紙サイズに合わせる]

原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **E**[ロール紙の幅に合わせる]

原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **F**[倍率を指定する]

原稿を、指定した倍率で拡大/縮小して印刷できます。[5～600]の値を入力できます。

- **G**[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択できます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.474 」を参照してください。

- **H**[印刷の向き]

印刷の向きを選択できます。

- 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する →P.146

- **K**[ページを 90 度回転(用紙節約)]

オンにすると、ページを 90 度回転して印刷できます。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.134

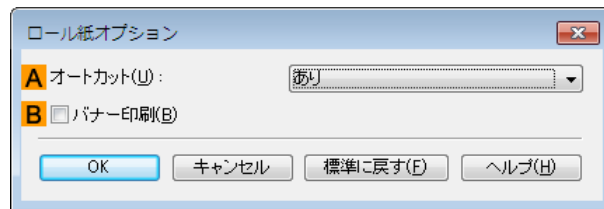
- **L**[給紙方法]

用紙の給紙方法を選択できます。
[基本設定]シートの[用紙の種類]で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

- **M**[ロール紙幅]

ロール紙の幅を選択できます。
選択できるロール紙の幅については、「用紙のサイズ →P.474 」を参照してください。

- **N**[ロール紙オプション]

ロール紙のオプション設定を行います。クリックすると[ロール紙オプション]ダイアログボックスが開きます。

A[オートカット]の一覧からオートカットの[あり]/[なし]や[カットラインを印刷]を設定できます。

- 印刷後にロール紙をカットする →P.150

複数ページをつなげて印刷する場合は **B**[バナー印刷]をチェックします。

- 複数ページをつなげて印刷する →P.114

- **P**[出力方法]

クリックすると[出力方法]ダイアログボックスが開き、[出力方法]や[保存するデータの名称]を設定することができます。

- 出力方法ダイアログボックス →P.179

- **O**[ユーザ用紙設定]

クリックすると[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスが開き、独自の用紙サイズを登録したり、使用するサイズの系列を設定できます。

- ユーザ用紙設定ダイアログボックス →P.180

- **S**[標準に戻す]

シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

出力方法ダイアログボックス

[出力方法]ダイアログボックスでは、[出力方法]を選択したり、ボックスに保存する場合に、保存の設定をすることができます。

メモ

- [出力方法]ダイアログボックスは、[ページ設定]シートの[出力方法]をクリックすると表示できます。(「ページ設定シート →P.176 」参照)

- **A**[出力方法]

  [印刷]を選択すると印刷終了後に、印刷ジョブがプリンタのハードディスクに保存されます。

  [ボックス保存]を選択すると印刷ジョブが、プリンタのハードディスクに保存されます。[ボックス保存]を選択した場合は、[ボックス]の一覧から保存先の個人ボックス番号を選択します。

  [受信を完了してから印刷する]をチェックすると、印刷ジョブの受信が途切れて、印刷が中断することで発生する、印刷品質の低下を防ぐことができます。

  [印刷]のオプションとして選択できます。

- **B**[保存するデータの名称]

  ファイル名をそのまま使用する場合は、[ファイル名を使用]を選択します。

  ファイル名を使用しない場合は、[手入力で指定]を選択し、[名称]に保存名を入力します。

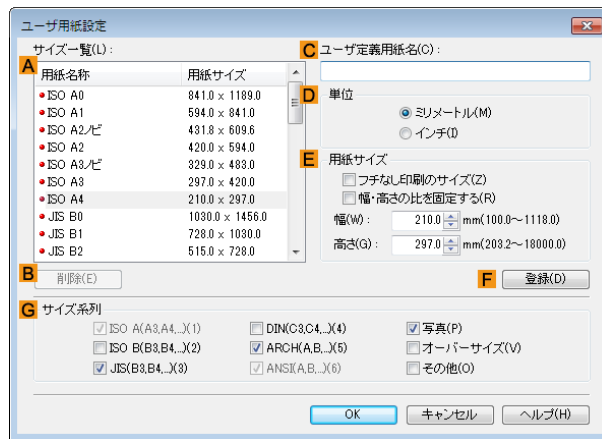
- **C**[ボックス]

  ボックスの一覧が表示されます。[ボックス保存]を選択した場合に、一覧から保存先の個人ボックス番号を選択します。

- **D**[ボックス名の取得]

  クリックすると、[ボックス]にプリンタ本体から取得したボックス名が表示されます。

ユーザ用紙設定ダイアログボックス

[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスでは、独自のユーザ定義用紙を作成して登録することができます。定義した用紙サイズは、標準の用紙サイズとともに一覧から選択できるようになります。

重要

- 任意のロール紙幅をユーザ定義用紙として作成することはできません。
- [出力用紙サイズ]を[ユーザ用紙設定]から選択する場合は、選択した[ユーザ用紙設定]と同等以上のサイズの用紙をプリンタにセットしてください。セットした用紙のサイズが[ユーザ用紙設定]よりも小さい場合は、出力画像に欠けが生じます。

メモ

- [ユーザ用紙設定]ダイアログボックスは、[ページ設定]シートの[ユーザ用紙設定]をクリックすると表示できます。(「ページ設定シート」参照) →P.176

- **A[サイズ一覧]**

  プリンタドライバで使用可能な用紙サイズの名称とサイズが表示されます。

- **B[削除]**

  A[サイズ一覧]からユーザが作成したユーザ定義用紙を削除することができます。
  以下の場合は、削除することができません。

  - プリンタドライバ標準の用紙サイズを選択した場合
  - オーバーサイズの用紙サイズを選択した場合
  - 赤い丸の付いた用紙サイズを選択した場合

- **C[ユーザ定義用紙名]**

  ユーザ定義用紙の名称を指定することができます。

- **D[単位]**

  ユーザ定義用紙の高さ、幅のサイズの単位を指定することができます。

- **E[用紙サイズ]**

  用紙の[幅]と[高さ]を指定することができます。[フチなし印刷のサイズ]チェックボックスをオンにすると、[フチなし印刷]が可能なサイズから選択することができます。[幅・高さの比を固定する]チェックボックスをオンにすると、[幅]と[高さ]の比率を保ったままサイズを変更することができます。

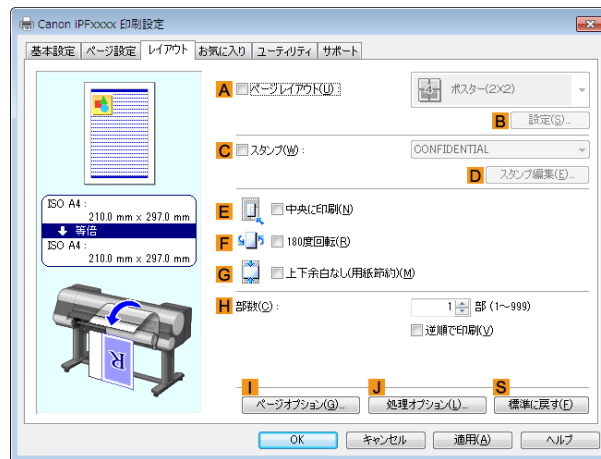
- **F[登録]**

  設定したユーザ定義用紙を登録したり、既存のユーザ定義用紙を上書きすることができます。

- **G[サイズ系列]**

  [原稿サイズ]、[出力用紙サイズ]、[サイズ一覧]に表示する選択肢の数を制限することができます。

レイアウトシート

[レイアウト]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- **A[ページレイアウト]**

  オンにすると、ページレイアウトを選択できます。

  - 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する →P.117
  - ポスターを分割して印刷する →P.122
  - 複数の原稿を並べて印刷する →P.110
  - PosterArtist で編集して印刷する →P.48

- **B[設定]**

  クリックすると、A[ページレイアウト]で選択した項目によって、以下のいずれかのダイアログボックスが開き、レイアウトの詳細や印刷するページを設定できます。

  - [N ページ印刷]
  - [出力ページの指定]
  - [フリーレイアウト設定]

- **C[スタンプ]**

  オンにすると、[スタンプリスト]と D[スタンプ編集]が選択できるようになります。

  - スタンプを押して印刷する →P.144
  - [スタンプリスト]
    スタンプのリストが表示されます。印刷したいスタンプを選びます。

- **D[スタンプ編集]**

  クリックすると[スタンプ編集]ダイアログボックスが開き、独自のスタンプを定義できます。

- **E[中央に印刷]**

  オンにすると、原稿を用紙の中央に印刷できます。

  - 原稿をロール紙の中央に印刷する →P.125
  - 原稿をカット紙の中央に印刷する →P.129

- **F[180 度回転]**

  オンにすると、原稿を 180 度回転して印刷できます。

- **G[上下余白なし(用紙節約)]**

  オンにすると、原稿の上下に余白がある場合、余白を除いて印刷し、用紙を節約できます。

  - 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.138

- **H[部数]**

  印刷部数を[1〜999]の値で入力できます。

  - [逆順で印刷]

オンにすると、最終ページから逆の順番で印刷できます。

- **I**[ページオプション]

クリックすると[ページオプション]ダイアログボックスが開き、用紙のヘッダやフッタにユーザ名や日付、ページ番号を印刷する設定をすることができます。

- ページオプションダイアログボックス →P.182

- **J**[処理オプション]

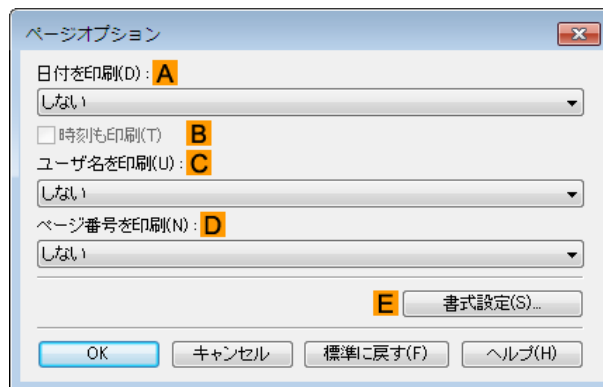
思いどおりに印刷できない場合、クリックすると、印刷の処理方法を変更できます。

- 処理オプションダイアログボックス →P.183

- **S**[標準に戻す]

クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

ページオプションダイアログボックス

[ページオプション]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。

メモ
- [ページオプション]ダイアログボックスは、[レイアウト]シートの[ページオプション]をクリックすると表示できます。(「レイアウトシート →P.181」参照)

- **A**[日付を印刷]

日付を印刷する位置を選択することができます。**B**[時刻も印刷]をチェックすると時刻も印刷します。

- **C**[ユーザ名を印刷]

ユーザ名を印刷する位置を選択することができます。

- **D**[ページ番号を印刷]

ページ番号を印刷する位置を選択することができます。

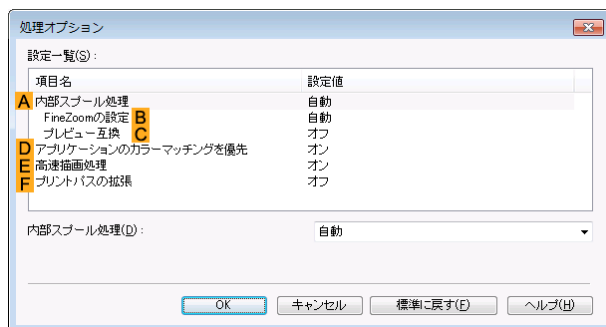
- **E**[書式設定]

[書式設定]ダイアログボックスが開き、書式を設定する事ができます。

メモ
- 同じ位置が指定された場合には、左から日付/ユーザ名/ページ番号の順に配置して印字を行います。
- [N ページ印刷]などで複数ページを 1 枚にまとめる設定をした場合、それぞれのページに印刷されます。

処理オプションダイアログボックス

[処理オプション]ダイアログボックスでは、思いどおりの印刷結果を得られなかったときに、印刷の処理方法を変更することができます。

メモ

- [処理オプション]ダイアログボックスは、[レイアウト]シートの[処理オプション]をクリックすると表示できます。(「レイアウトシート」参照) →P.181
- [設定一覧]枠内の[項目名]の処理方法をクリックすると枠の下に設定内容の一覧が表示されます。

- **A[内部スプール処理]**

  プリンタドライバ内部で印刷ジョブをスプールし、PageComposer による処理を行うかどうかを設定します。
  [しない]または[しない(メタファイルスプーリングを行う)]に設定されると印刷結果が改善される場合があります。

  メモ

  - [しない]、または[しない(メタファイルスプーリングを行う)]に設定されると、[ページレイアウト]、[スタンプ]、[逆順で印刷]、[ページオプション]、[FineZoom の設定]、[プレビュー互換]などの機能は使用できなくなります。

  - **B[FineZoom の設定]**

    長尺用紙に印刷するときに使用される機能です。
    [する]に設定されると印刷の不具合が改善される場合があります。
    [しない]に設定されると、細い線が消えるなどの画像乱れが改善される場合があります。

  - **C[プレビュー互換]**

    オンに設定されると、[基本設定]シートで[印刷時にプレビュー画面を表示]をチェックして印刷したときに、PageComposer を起動します。

- **D[アプリケーションのカラーマッチングを優先]**

  オンにするとアプリケーションソフトによるカラーマネージメントを優先させることができます。

- **E[高速描画処理]**

  オフにすると画像の色味や線の太さなどが違って印刷されたとき、思いどおりの印刷結果を得られることがあります。

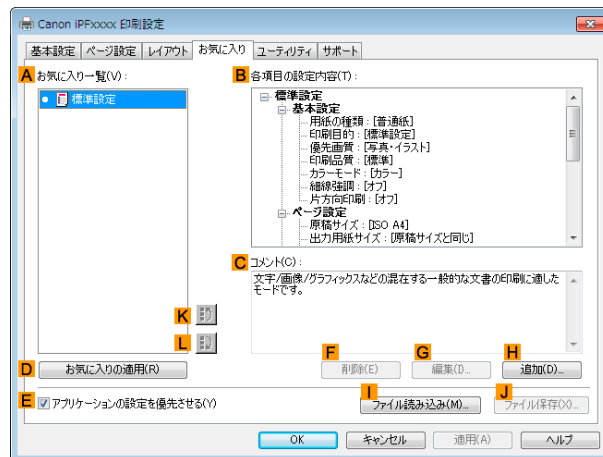
  メモ

  - この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。

- **F[プリントパスの拡張]**

  オンにすると、[印刷品質]で[最高]を選択して印刷した場合に発生する印刷ムラが改善されることがあります。ただし、印刷速度が遅くなります。

お気に入りシート

[お気に入り]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- **A**[お気に入り一覧]

  [標準設定]と、独自に作成したお気に入りの設定の一覧が表示されます。

  - お気に入りの設定で印刷する →P.150

- **B**[各項目の設定内容]

  A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定の設定内容が表示されます。

- **C**[コメント]

  お気に入りの設定に登録したコメントが表示されます。

- **D**[お気に入りの適用]

  クリックすると、印刷の設定を、**A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定に変更できます。

- **E**[アプリケーションの設定を優先させる]

  オンにすると、**D**[お気に入りの適用]をクリックしたときに、**A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定よりも、アプリケーションソフトでの設定を優先します。優先される項目については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

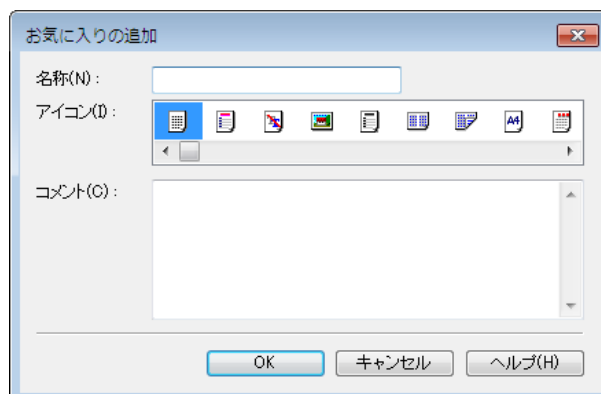
- **F**[削除]

  クリックすると、**A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を削除できます。

- **G**[編集]

  クリックすると[お気に入りの編集]ダイアログボックスが開き、**A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定の名前やアイコンを編集できます。

- **H**[追加]

  クリックすると[お気に入りの追加]ダイアログボックスが開き、現在の印刷の設定をお気に入りの設定として登録できます。

- **I**[ファイル読み込み]

  クリックすると[ファイルを開く]ダイアログボックスが開き、ファイルに保存されているお気に入りの設定を読み込むことができます。

- **J**[ファイル保存]

  クリックすると[名前を付けて保存]ダイアログボックスが開き、お気に入りの設定をファイルに保存できます。

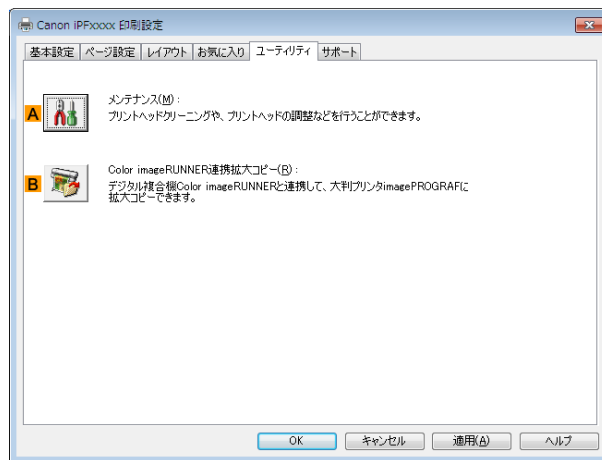
- **K**[上へ]

  クリックすると **A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を上へ変更することができます。

- **L**[下へ]

  クリックすると **A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を下へ変更することができます。

ユーティリティシート

[ユーティリティ]シートでは、以下の項目を実行できます。ユーティリティの詳細については、各ユーティリティのヘルプを参照してください。

- **A**[メンテナンス]

  クリックすると imagePROGRAF Status Monitor が起動し、以下のプリンタのメンテナンスを実行できます。

  - ノズル(インクの噴き出し口)のチェック
  - ノズル(インクの噴き出し口)のクリーニング
  - ヘッドの位置の調整
  - 用紙の送り量の調整

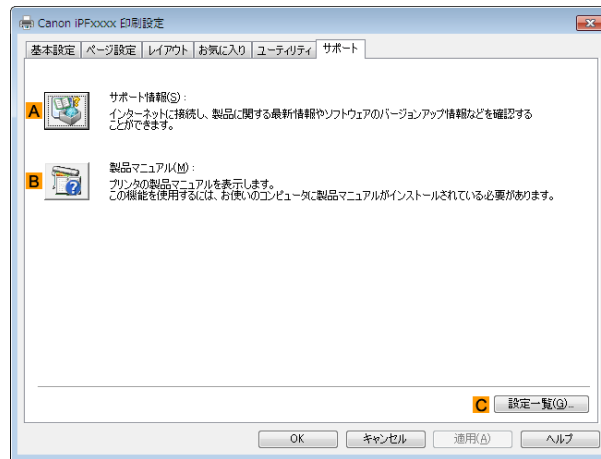
- **B**[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]

  クリックすると Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティ(iR 連携)が起動し、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるホットフォルダを作成したり、ホットフォルダに印刷の条件を設定することができます。

  - Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.227

  詳細は Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.219 を参照してください。

サポートシート

[サポート]シートでは、サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

- **A[サポート情報]**

  クリックするとインターネットに接続し、製品に関する最新の情報や消耗品の情報、プリンタドライバのバージョンアップ情報などを確認することができます。

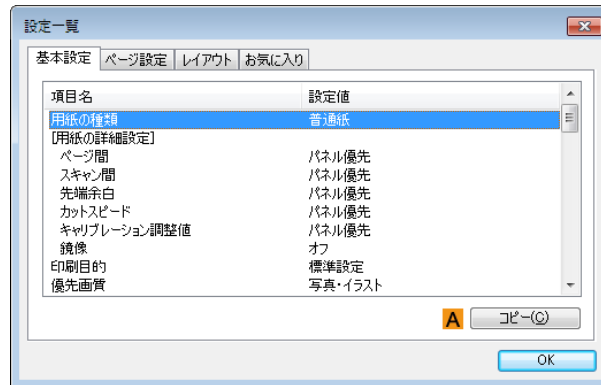
- **B[製品マニュアル]**

  クリックするとプリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、ご使用のコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

- **C[設定一覧]**

  クリックすると[設定確認]ダイアログボックスが開き、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シート、[お気に入り]シートの設定を確認することができます。

設定一覧ダイアログボックス

[設定一覧]ダイアログボックスでは、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シート、[お気に入り]シートの設定を表示することができます。

- **A[コピー]**

  クリックすると、設定をクリップボードにコピーします。テキストエディタなどに貼り付けることができます。

デバイス設定シート

プリンタのプロパティのウィンドウにあるシートの多くは、Windows によって管理されています。ただし、[デバイス設定]シートはプリンタの構成に関連する設定を行うシートで、プリンタドライバの一部です。
[デバイス設定]シートでは、以下の項目を設定できます。

- **A**[バージョン情報]

  プリンタドライバのバージョン情報を表示できます。

Preview

Previewの特長 188
Previewの起動方法 188
Previewメインウィンドウ 189
ダイアログエリア 191
画面表示を拡大/縮小する 192
ページを移動する 192
ルーラーを使用する 192
90度回転の優先設定を行う 193
レイアウトを選択して印刷する 194
中央に印刷する 196
上下の余白を印刷しない 197

Previewの特長

Previewの主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を、プレビュー画面を見ながらレイアウトの設定を変更することができます。
- レイアウトを変更するだけでなく、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映され、プレビュー画面をそのまま印刷することができます。

メモ
- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Preview上の設定と異なる場合があります。

Previewの起動方法

Previewを起動する手順は、以下のとおりです。

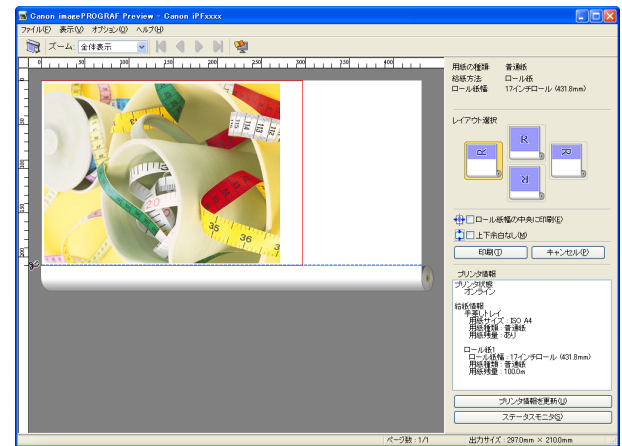
1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。
2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

メモ
- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

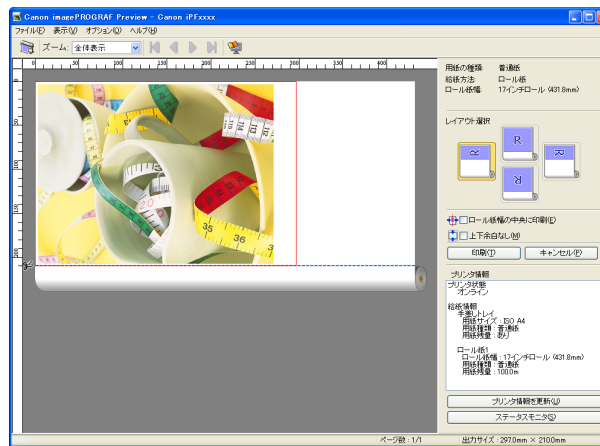
3. [基本設定]シートで[印刷時にプレビュー画面を表示]チェックボックスをオンにします。
[OK]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

メモ
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4. アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスで[印刷]ボタンをクリックします。

Preview メインウィンドウが表示されます。

Preview メインウィンドウ

Preview のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、プレビューエリア、ダイアログエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

- メニューバー

操作に必要なメニューを選択できます。

- ツールバー

主な操作のツールボタンを選択できます。

- プレビューエリア

設定した内容がどのように反映されるのかを確認することができます。

- ダイアログエリア

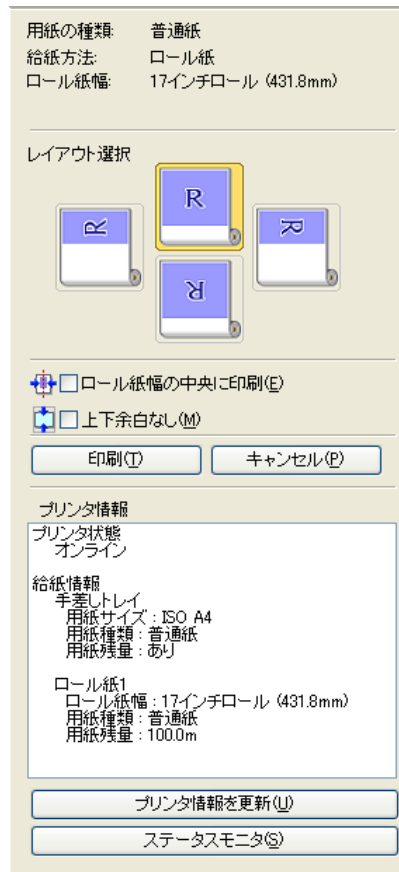
印刷条件を設定したり、印刷を実行することができます。
ダイアログエリアについて詳しくは、「ダイアログエリア」を参照してください。→P.191

- ステータスバー

メッセージ、[ページ数]と[出力サイズ]が表示されます。

画像を90度回転して印刷すれば、用紙を節約できます。　ページ数 : 1/1　出力サイズ : 297.0mm × 420.0mm

ダイアログエリア

レイアウトを選択したり、中央に印刷することができます。

- [用紙の種類]/[給紙方法]/用紙のサイズ

設定されている情報を確認することができます。

- [レイアウト選択]

レイアウトを選択することにより、用紙を節約して印刷することができます。
[レイアウト選択]について詳しくは、「レイアウトを選択して印刷する」を参照してください。→P.194

- [ロール紙幅の中央に印刷]

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷することができます。
[ロール紙幅の中央に印刷]について詳しくは、「中央に印刷する」を参照してください。→P.196

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [上下余白なし]

用紙の上下に空白領域がある印刷データの場合に、空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。
[上下余白なし]について詳しくは、「上下の余白を印刷しない」を参照してください。→P.197

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [印刷]ボタン

ボタンをクリックすると、印刷を開始します。

- [キャンセル]ボタン

ボタンをクリックすると、印刷を中止します。

- [プリンタ情報]
  プリンタから取得した情報を確認することができます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン
  ボタンをクリックすると、プリンタと接続しプリンタ情報を更新することができます。

- [ステータスモニタ]ボタン
  ボタンをクリックすると、[ステータスモニタ]を起動します。

画面表示を拡大/縮小する

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、画面表示を拡大/縮小することができます。

項目	内容
[全体表示]	全体を表示します。
[幅に合わせる]	用紙の幅に合わせて表示します。
[縮小]	標準サイズの 1/2 倍で表示します。
[標準]	標準サイズで表示します。
[拡大]	標準サイズの 2 倍で表示します。
[さらに拡大]	標準サイズの 3 倍で表示します。

メモ

- ツールバーの[ズーム]の[▼]ボタンをクリックしても、項目を選択することができます。

ページを移動する

[表示]メニューから[ページ移動]を選択すると、表示するページを移動する事ができます。

項目	内容
[最初のページへ]	最初のページに移動します。
[前のページへ]	前のページに移動します。
[次のページへ]	次のページに移動します。
[最後のページへ]	最後のページに移動します。
[ページの指定]	指定したページに移動します。

メモ

- ツールバーの でページを移動することもできます。

ルーラーを使用する

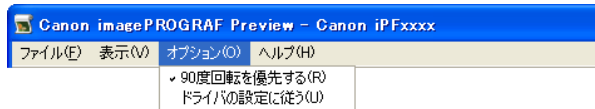
ルーラーを使用してレイアウトを確認することができます。

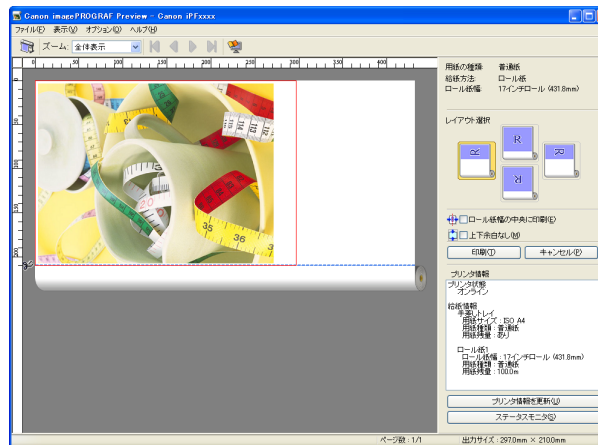
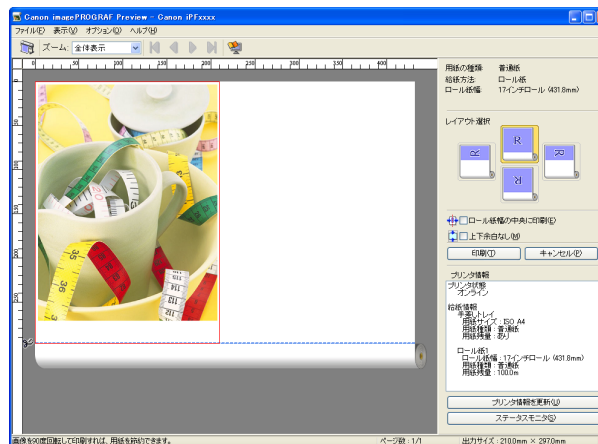
- ルーラーの表示/非表示を切り替える
  [表示]メニューから[ルーラー]を選択すると、ルーラーの表示/非表示が切り替わります。

- ルーラーの表示単位を変更する
  [表示]メニューから[表示単位]を選択すると、ルーラーの表示単位を設定することができます。

項目	内容
[ミリメートル]	ルーラーの目盛りをミリ単位で表示します。
[インチ]	ルーラーの目盛りをインチ単位で表示します。

90度回転の優先設定を行う

[オプション]メニューから[90度回転を優先する]または、[ドライバの設定に従う]を選択することができます。

項目	内容
[90度回転を優先する]	縦長のページを90度回転して印刷します。回転した結果、ロール紙幅に収まるときにのみ自動的にページを回転します。
[ドライバの設定に従う]	ページを回転させるかどうかは、プリンタドライバの設定に従います。

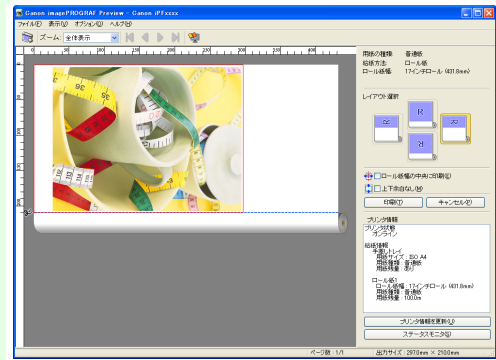
[90度回転を優先する]が選択されている、またはプリンタドライバで[ページを90度回転(用紙節約)]がチェックされている場合

[ドライバの設定に従う]が選択されている場合

レイアウトを選択して印刷する

レイアウトを選択することにより、用紙を節約して印刷することができます。

1 [レイアウト選択]で変更したいレイアウトのボタンをクリックします。

ボタン	内容
[上ボタン]	の位置に回転します。
[右ボタン]	の位置に回転します。
[左ボタン]	の位置に回転します。
[下ボタン]	の位置に回転します。

メモ

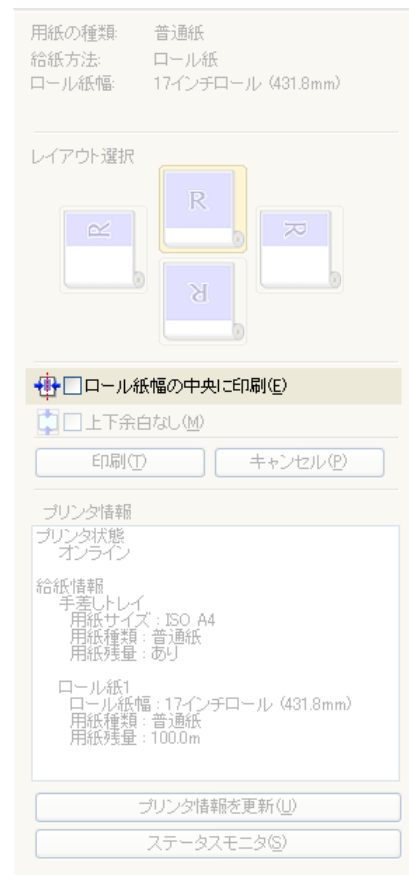
- [右ボタン]または[左ボタン]は回転した結果､ロール紙幅に収まるときにのみ選択することができます。
- [右ボタン]または[左ボタン]をクリックすると､ロール紙上に横長に印刷されるため､用紙を節約できます。
- [カット紙]が選択されている場合は､[上ボタン]または[下ボタン]のみ選択することができます。

ボタン	内容
	現在選択されているボタンです。
	選択することができるボタンです。
	選択することができないボタンです。

2 [印刷]ボタンをクリックします。

選択されたレイアウトで印刷が開始されます。

中央に印刷する

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷することができます。

1 [ロール紙幅の中央に印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

2 [印刷]ボタンをクリックします。

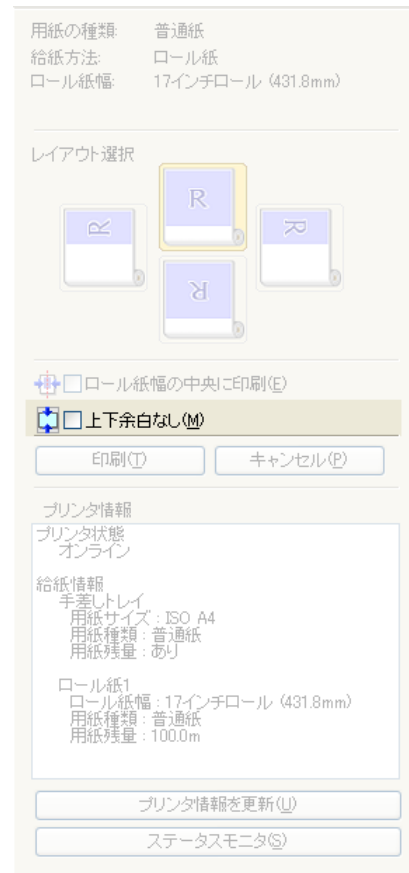
用紙の中央に印刷が開始されます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

上下の余白を印刷しない

用紙の上下に空白領域のあるデータを印刷するとき、マージン以外の空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。

1 [上下余白なし]をクリックしてチェックマークを付けます。

2 [印刷]ボタンをクリックします。

上下余白なしの設定で印刷が開始されます。

フリーレイアウト

フリーレイアウトの特長 ... 198
フリーレイアウトの起動方法 ... 198

フリーレイアウト メインウィンドウ ... 200
詳細設定ダイアログ ... 201
環境設定ダイアログボックス ... 201
ページオプションダイアログボックス ... 202
ズームダイアログボックス ... 203
書式設定ダイアログボックス ... 204

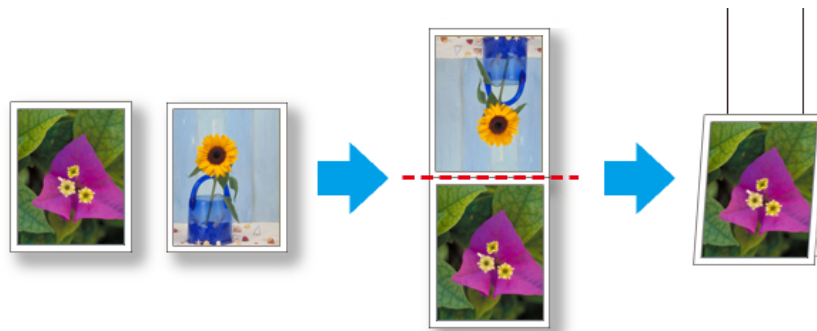
複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する ... 205
複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する ... 207
オブジェクトを選択する ... 209
オブジェクトのサイズを変更する ... 210
オブジェクトを移動する ... 211
オブジェクトを回転する ... 211
オブジェクトを自動配置する ... 211
オブジェクトを整列する ... 212
オブジェクトの重なり順を変更する ... 213
コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける ... 214

折り返し両面ウィンドウ ... 215
仕上りサイズ設定ダイアログボックス ... 216
とじしろ設定ダイアログボックス ... 217
折り返し両面で印刷する ... 217

フリーレイアウトの特長

フリーレイアウトの主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を自由に配置して印刷することができます。
- 複数のページを 1 ページに配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。
- 任意の 2 ページを、折り返すことで両面となるレイアウトに配置し、印刷します。
  天井から吊下げた広告用ポスターなどに利用できます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、フリーレイアウト上の設定と異なる場合があります。

フリーレイアウトの起動方法

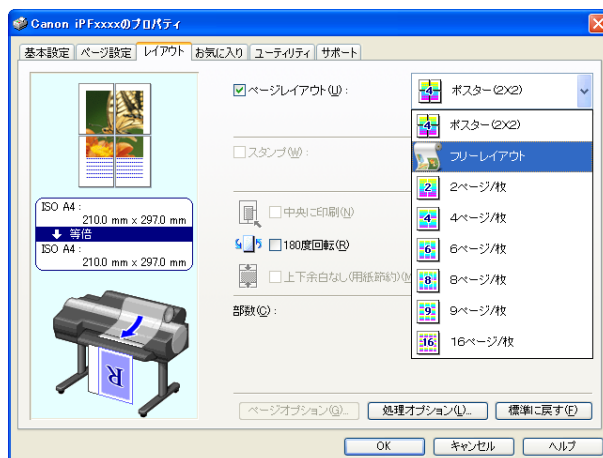
フリーレイアウトを起動する手順は、以下のとおりです。

1 ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

2 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

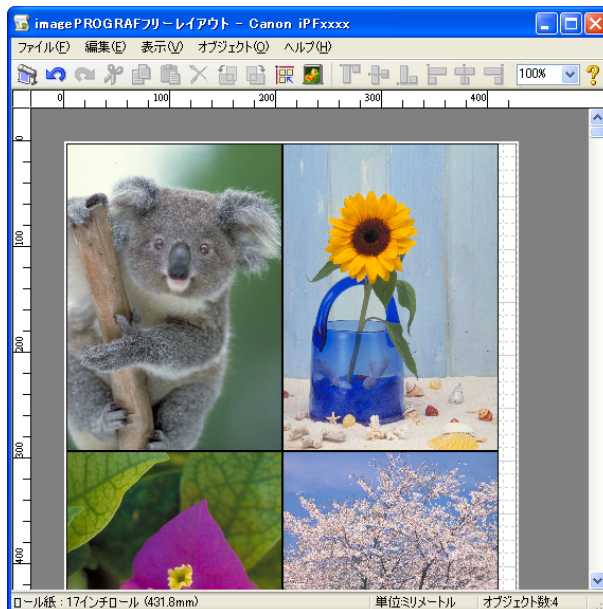
3 一覧からプリンタを選択し、[レイアウト]シートを選択します。

メモ

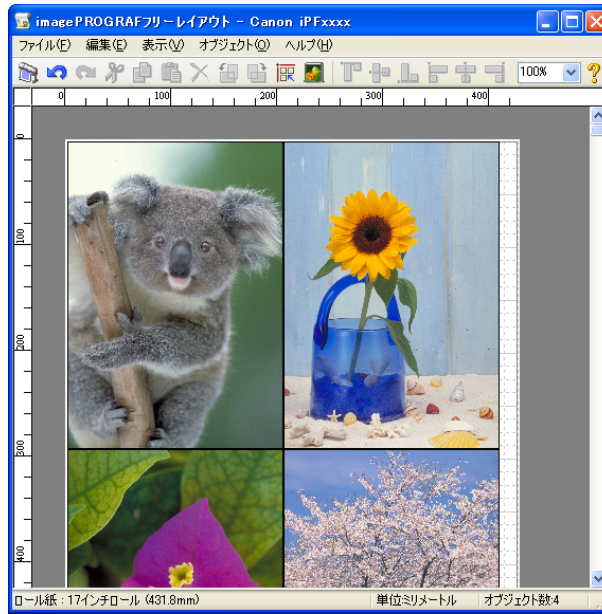
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4 [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。
[OK]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

メモ

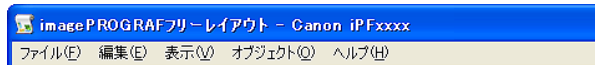
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

5 アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスで[印刷]ボタンをクリックします。
フリーレイアウト メインウィンドウが表示されます。

フリーレイアウト メインウィンドウ

フリーレイアウトのメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバー、ステータスバーは、[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

- メニューバー

  操作に必要なメニューを選択できます。

- ツールバー

  主なる操作のツールボタンを選択できます。

- レイアウトエリア

  オブジェクトの配置、サイズ、向きを編集できます。

- ステータスバー

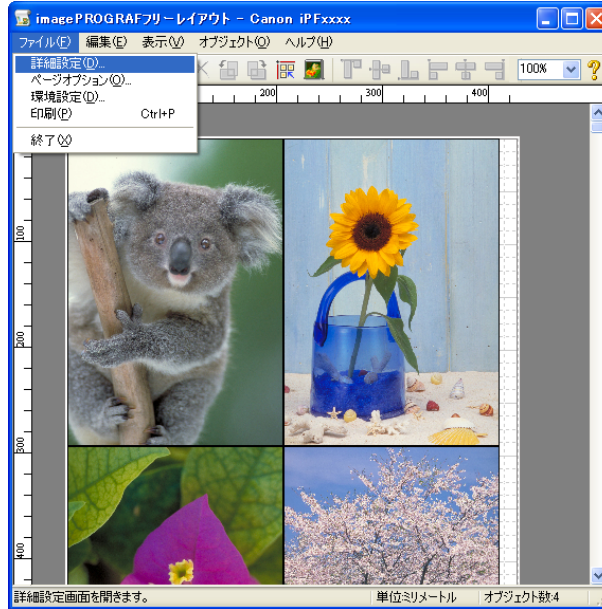
用紙サイズ、長さの単位、オブジェクトの数が表示されます。

ロール紙 : 24インチロール (609.6mm) 単位ミリメートル オブジェクト数:4

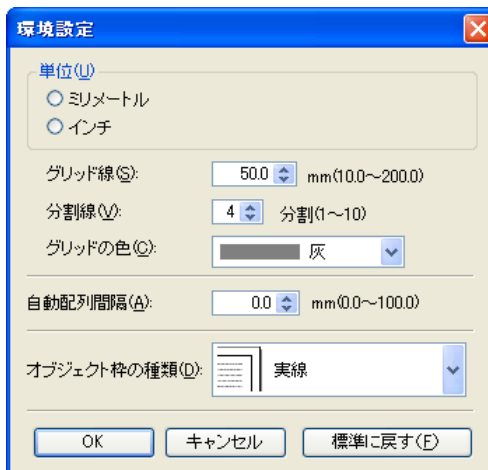
詳細設定ダイアログ

[ファイル]メニューから[詳細設定]ダイアログを選択すると、プリンタドライバが開きます。プリンタドライバで、プリンタにセットしている用紙の種類に合わせて基本的な設定をします。

プリンタドライバについての詳細はプリンタドライバ →P.156 を参照してください。

メモ

- [詳細設定]ダイアログを選択すると、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの3つのシートのみ表示します。一部プリンタドライバの設定項目が無効になるものがあります。

環境設定ダイアログボックス

[ファイル]メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。フリーレイアウトの環境設定を行うことができます。

- [単位]

用紙の長さや余白などの単位を選択します。

- [グリッド線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の幅を半角数字で入力します。

- 入力できる数値は「10.0～200.0（mm）」「0.39～7.88（inch）」です。
- ［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- ［分割線］

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の分割数を変更します。

- 入力できる数値は 1～10 です。
- ［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- ［グリッドの色］

グリッド線の色を選択します。

- ［自動配列間隔］

オブジェクトを自動配列する際の、オブジェクト間の間隔を設定します。

- 入力できる数値は「0.0～100.0（mm）」「0.00～3.94（inch）」です。
- ［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- ［オブジェクト枠の種類］

印刷するオブジェクトの枠線を選択することができます。
オブジェクト枠の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
［枠なし］	枠なしで印刷します。
［実線］	実線を枠として印刷します。
［点線］	点線を枠として印刷します。
［破線］	破線を枠として印刷します。
［カットマーク］	カットマークを付けて印刷します。

ページオプションダイアログボックス

［ファイル］メニューから［ページオプション］を選択すると、表示されます。フリーレイアウトのロール紙の長さ、オブジェクトの配置順、余白の設定を行うことができます。

- ［ロール紙の長さ］

ロール紙に印刷する 1 ページの長さを設定します。
ロール紙の長さには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[自動設定]	配置したオブジェクトが１ページで印刷されるように、ロール紙に印刷する１ページの長さが自動で設定されます。
[手動設定]	ロール紙に印刷する１ページの長さを半角数字で入力します。

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- 入力できる数値は「203.2～18000.0(mm)」「8.00～708.66(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [配置順]

オブジェクトの配置順を設定します。
配置順には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[左上から右向き]	左上から右方向に、オブジェクトが配置されます。
[左上から下向き]	左上から下方向に、オブジェクトが配置されます。
[右上から左向き]	右上から左方向に、オブジェクトが配置されます。
[左下から上向き]	左下から上方向に、オブジェクトが配置されます。

メモ
- [ロール紙の長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[縦]を選択している場合は、[左上から右向き]と[右上から左向き]が選択できます。
- [ロール紙の長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[横]を選択している場合は、[左上から下向き]と[左下から上向き]が選択できます。

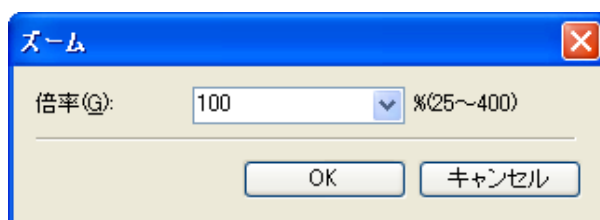
- [余白]

用紙の余白を半角数字で入力します。

メモ
- 入力できる数値は「0.0～50.0(mm)」「0.00～1.97(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

ズームダイアログボックス

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大/縮小できます。

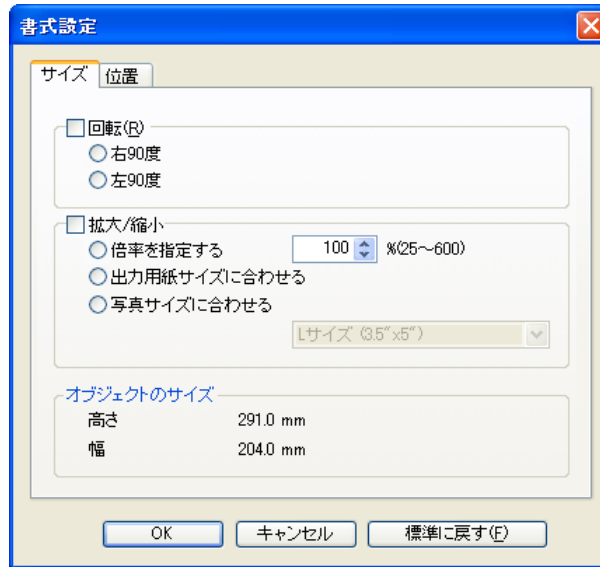
- [倍率]

画面表示の拡大/縮小倍率を設定します。

メモ
- 入力できる数値は 25～400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

書式設定ダイアログボックス

オブジェクトを選択後、[オブジェクト]メニューから[書式設定]を選択すると、表示されます。

[サイズ]シート

オブジェクトを回転したり、拡大/縮小できます。

メモ

- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

- [回転]

  チェックマークを付けると、[右 90 度]または[左 90 度]を選択することができます。

設定項目	内容
[右 90 度]	時計回りに 90 度回転します。
[左 90 度]	反時計回りに 90 度回転します。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

- [拡大/縮小]

  チェックマークを付けると、[倍率を指定する]、[出力用紙サイズに合わせる]または[写真サイズに合わせる]を選択することができます。

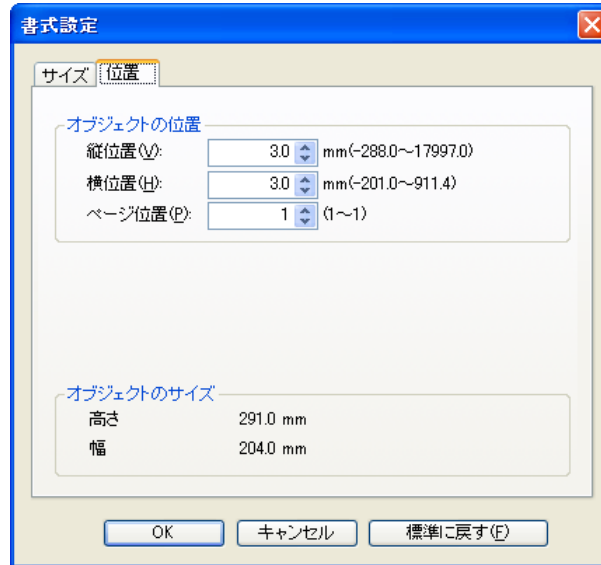
設定項目	内容
[倍率を指定する]	オブジェクトの拡大/縮小率の数値を入力します。
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、各オブジェクトを拡大/縮小して印刷します。ロール紙を使用している場合は、各オブジェクトの幅がロール紙の幅に合うように拡大/縮小します。
[写真サイズに合わせる]	すべてのオブジェクトを、指定した写真サイズで印刷します。

メモ

- オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。入力できる数値は 25〜600 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[位置]シート

オブジェクトの位置を調整できます。

メモ

- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

- [オブジェクトの位置]

数値を指定することにより、オブジェクトの位置を移動することが出来ます。

設定項目	内容
[縦位置]	縦位置の数値を入力します。
[横位置]	横位置の数値を入力します。
[ページ位置]	ページ位置の数値を入力します。

- [オブジェクトのサイズ]

オブジェクトのサイズを確認できます。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[オブジェクトのサイズ]は表示されません。

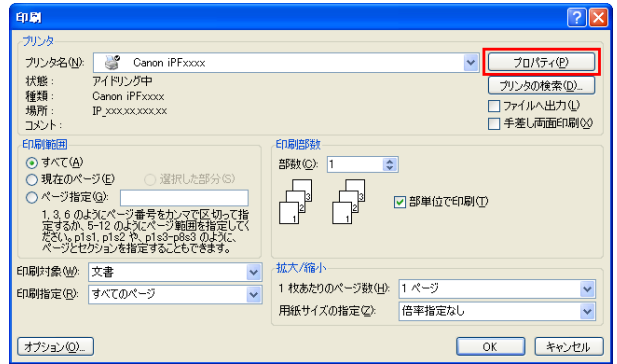
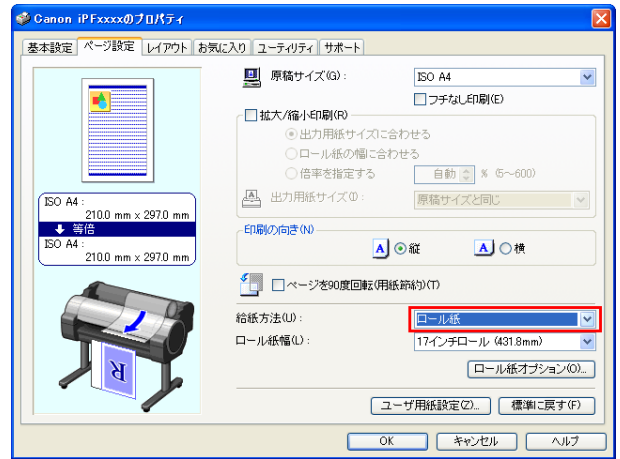
複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する

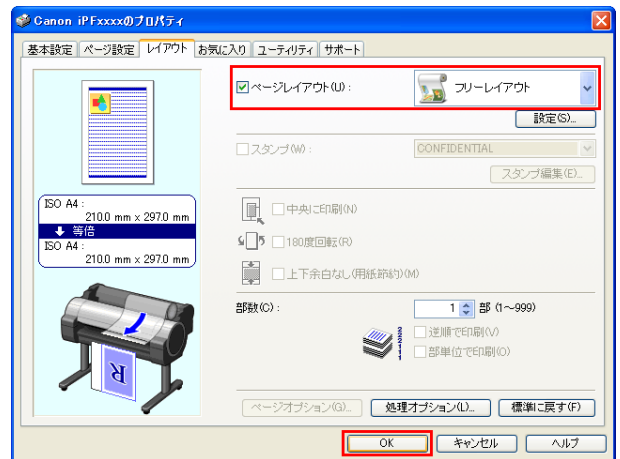
複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

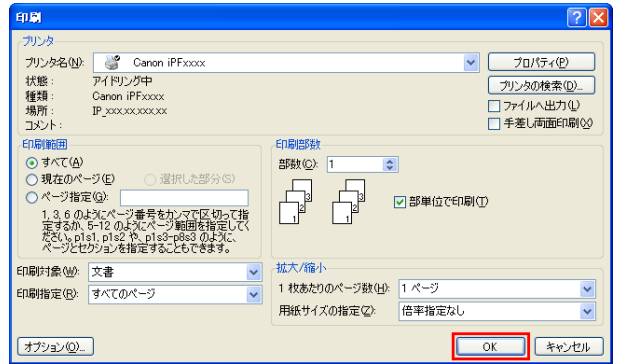
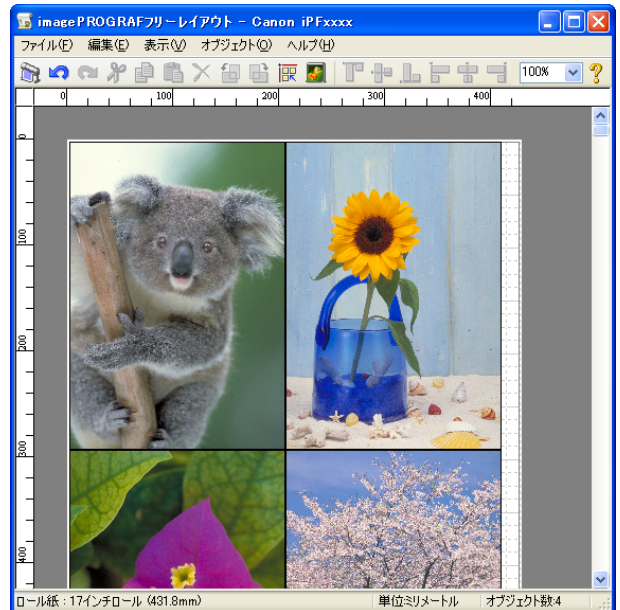
メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

2 [プロパティ]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを開きます。

3 [ページ設定]シートで[給紙方法]を選択します。

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4 [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

5 [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

6 [印刷]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

フリーレイアウトが起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

7 フリーレイアウトを起動したまま、アプリケーションソフトで他のファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

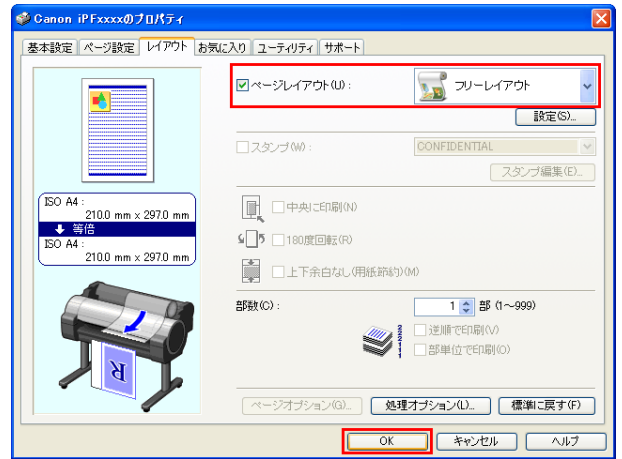
2 [プロパティ]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを開きます。

3 [ページ設定]シートで[給紙方法]を選択します。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4 [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

5 [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

6 [印刷]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

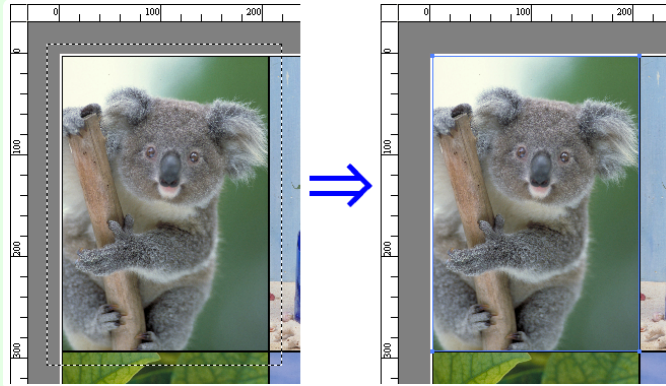
フリーレイアウトが起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

7 フリーレイアウトを起動したまま、他のアプリケーションソフトでファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

オブジェクトを選択する

オブジェクトが選択されると、オブジェクトの周囲に選択ボックス(青い枠線)が表示されます。

メモ

- 1 つのオブジェクトを選択する場合は、オブジェクトをクリックします。
- 連続したオブジェクトを複数選択する場合は、Shift キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- 任意のオブジェクトを複数選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- すべてのオブジェクトを選択する場合は、[編集]メニューから[全て選択]を選択します。
- マウスをドラッグしたまま範囲を指定すると、範囲内にあるオブジェクトが選択されます。

オブジェクトのサイズを変更する

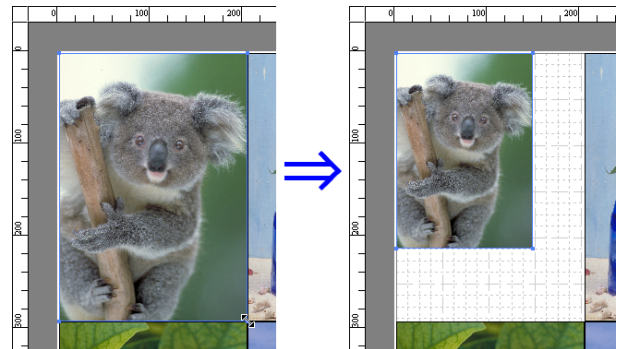
オブジェクトのサイズを変更する手順には、マウス操作による方法と、拡大/縮小倍率を指定する方法があります。

メモ

- オブジェクトの縦横の比率は変わらずに、拡大/縮小されます。

マウス操作によってサイズを変更する場合

1 オブジェクトを選択します。

2 オブジェクトの周囲の選択ボックスの角にポインタを置いて矢印ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトのサイズを変更します。

拡大/縮小倍率を指定する場合

1 オブジェクトを選択します。
書式設定ダイアログボックス →P.204 の[拡大/縮小]チェックボックスをオンにし、[倍率を指定する]を選択します。

2 オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

メモ

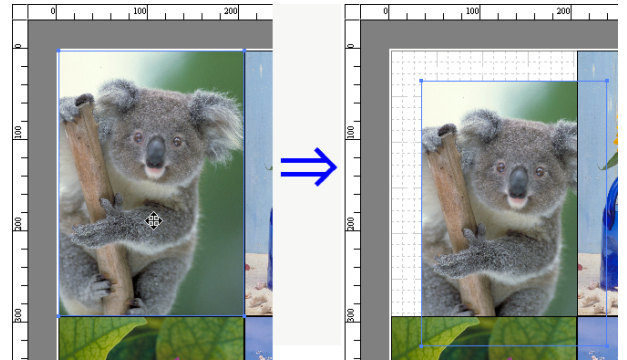
- 入力できる数値は 25～600 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

3 [OK]をクリックします。

オブジェクトを移動する

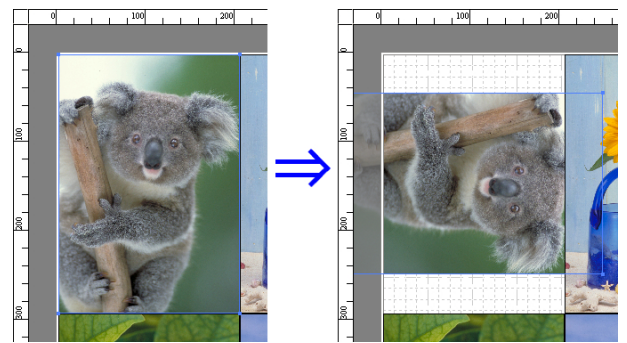
選択したオブジェクトの位置を移動することができます。

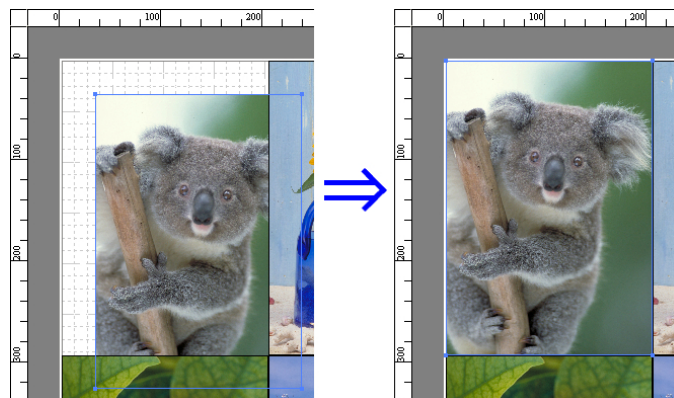
1 オブジェクトを選択します。

2 オブジェクトの選択ボックス内にポインタを置いて十字ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトを移動します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.204 の[縦位置]、[横位置]、[ページ位置]に数値を指定することにより、[オブジェクトの位置]を移動することが出来ます。

オブジェクトを回転する

選択したオブジェクトを回転することができます。

1 オブジェクトを選択します。

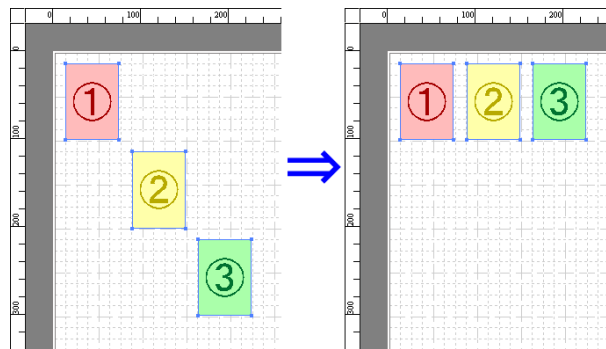
2 ツールバーから[左 90 度回転]または[右 90 度回転]を選択します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.204 の[回転]チェックボックスをオンにし、[右 90 度]または[左 90 度]を選択し、[OK]をクリックします。

オブジェクトを自動配置する

ツールバーの[オブジェクトの自動配列]をクリックします。オブジェクトが自動的に配置されます。または、[オブジェクト]メニューから[オブジェクトの自動配列]を選択します。

メモ
- オブジェクトの配置順は、ページオプションダイアログボックス →P.202 の[配置順]の設定によって異なります。

オブジェクトを整列する

オブジェクトを規則的に整列させることができます。

1 複数のオブジェクトを選択します。

2 ツールバーから整列用のボタンをクリックします。
または[オブジェクト]メニューから整列用のメニューを選択します。

- [上揃え]

  オブジェクトを上端に揃えて配置します。

- [上下中央揃え]

  オブジェクトを垂直方向の中央に揃えて配置します。

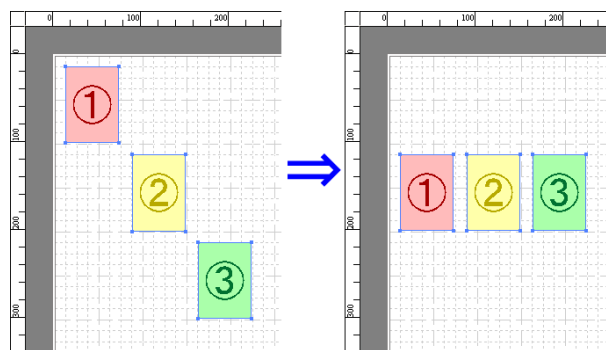
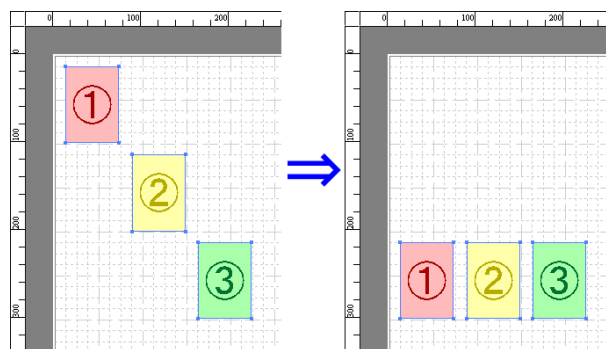
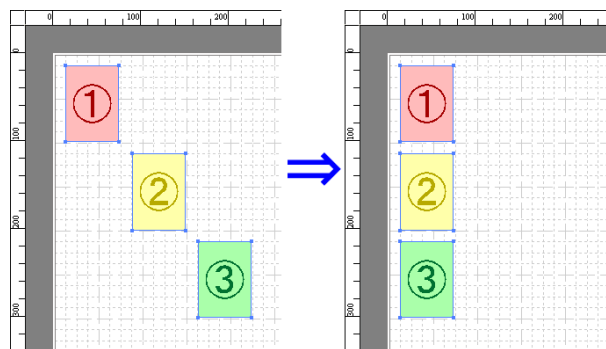
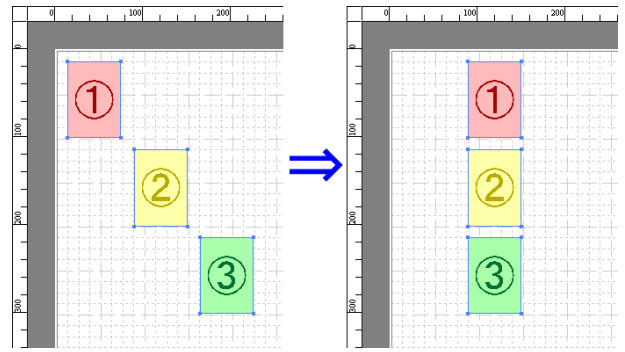
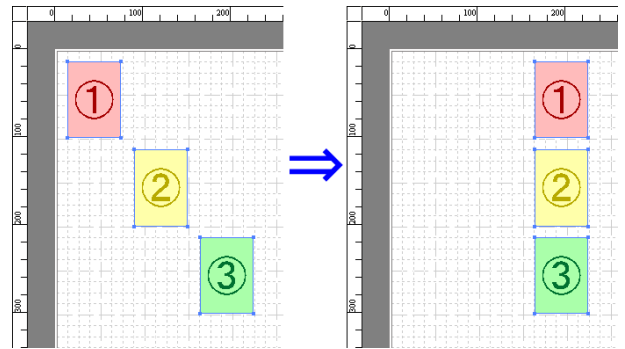
- [下揃え]

  オブジェクトを下端に揃えて配置します。

- [左揃え]

  オブジェクトを左端に揃えて配置します。

- [左右中央揃え]
  オブジェクトを水平方向の中央に揃えて配置します。

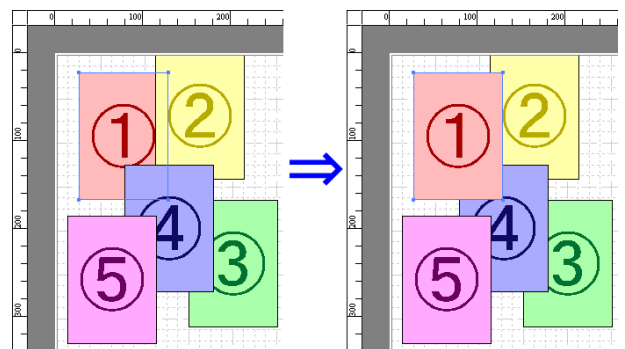
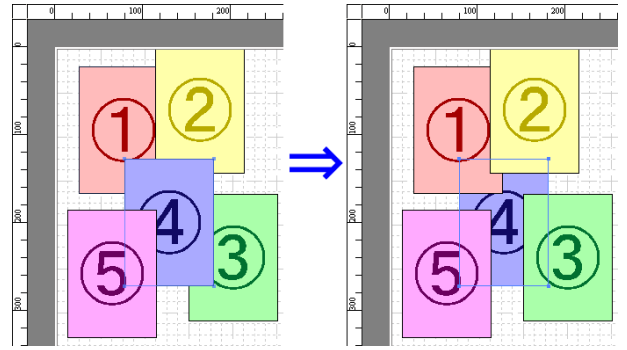
- [右揃え]
  オブジェクトを右端に揃えて配置します。

オブジェクトの重なり順を変更する

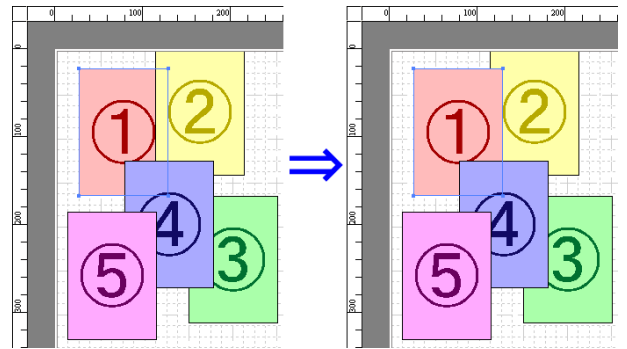
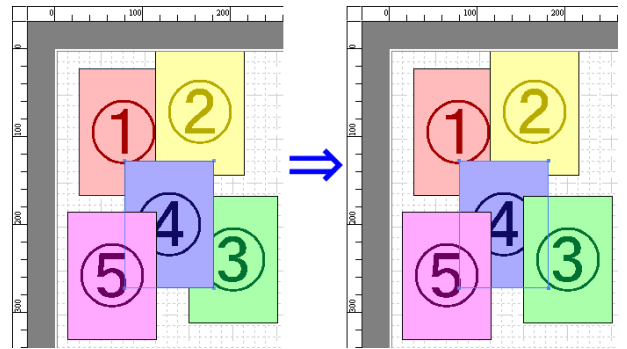
オブジェクトの重なり順を変更することができます。

1 オブジェクトを選択します。

2 [オブジェクト]メニューから重なり順のメニューを選択します。

メモ
- オブジェクトの重なり順は、自動配置の順序に影響します。
- オブジェクトの上でマウスを右クリックしても選択できます。

- [最前面へ移動]
  オブジェクトを最前面に移動します。

- [最背面へ移動]
  オブジェクトを最背面に移動します。

- [前面へ移動]
  オブジェクトを 1 つ前に移動します。

- [背面へ移動]
  オブジェクトを 1 つ後ろに移動します。

コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける

1 ツールバーから[コピー]または[切り取り]をクリックします。
または[編集]メニューから[コピー]または[切り取り]を選択します。

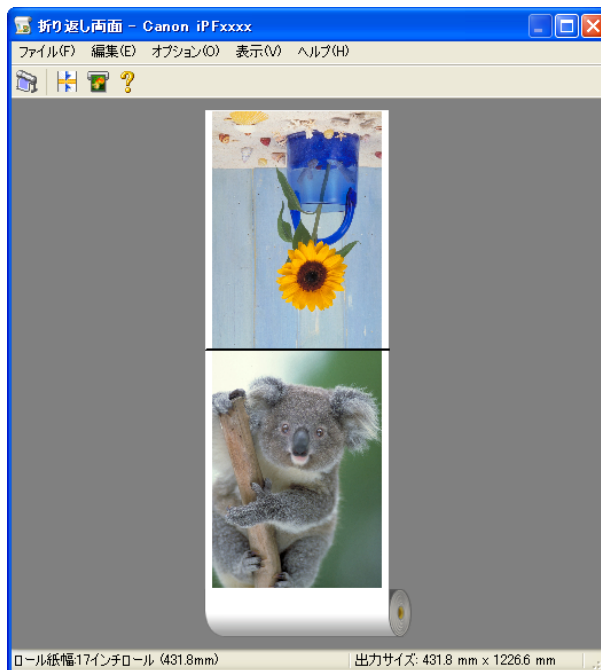
2 ツールバーから[貼り付け]をクリックします。
または[編集]メニューから[貼り付け]を選択します。

メモ

- コピーまたは切り取ったオブジェクトがページの一番最後に配置されます。
- オブジェクトの上でマウスを右クリックしても選択できます。
- 好みの位置に貼り付けたい場合は、マウスを好みの位置で右クリックして、[指定位置貼り付け]でオブジェクトを貼り付けます。

折り返し両面ウィンドウ

オブジェクトを選択後、[編集]メニューから[折り返し両面]を選択すると、表示されます。[折り返し両面]機能を使用して、折り目をつけて印刷することができます。
[折り返し両面]ウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバー、ステータスバーは、[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

- メニューバー

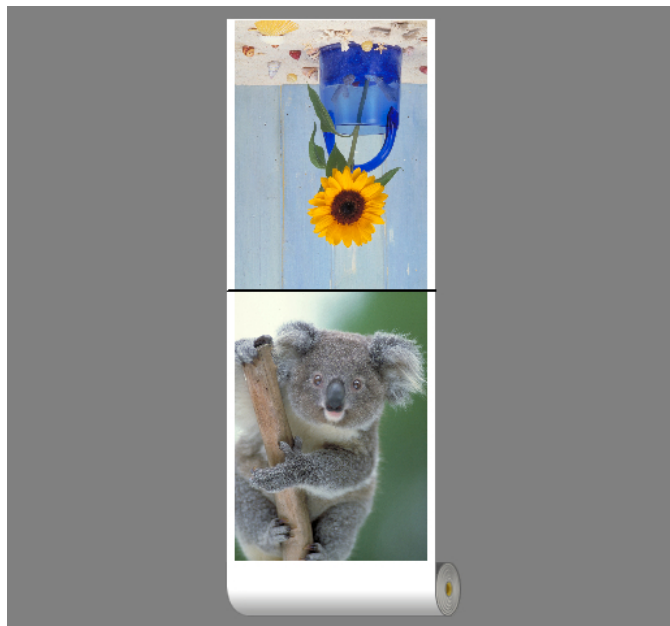
  操作に必要なメニューを選択できます。

  ファイル(F) 編集(E) オプション(O) 表示(V) ヘルプ(H)

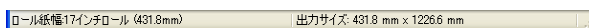
- ツールバー

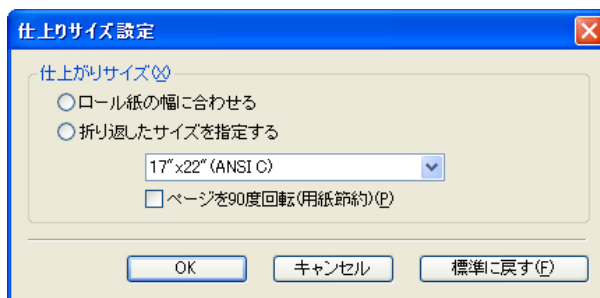
  主な操作のツールボタンを選択できます。

- **レイアウトエリア**

  オブジェクトの配置、向きを確認できます。

- **ステータスバー**

  給紙方法、ロール紙幅、出力サイズが表示されます。

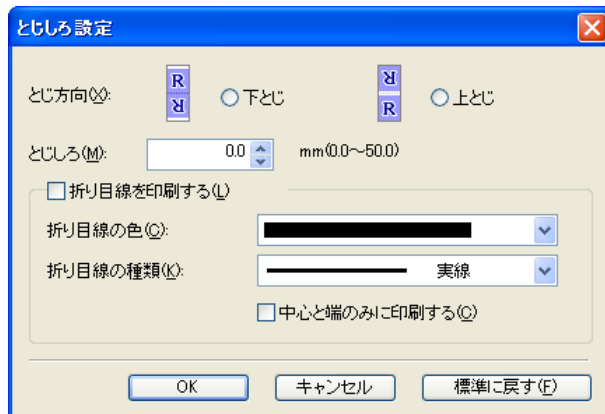
ロール紙幅:17インチロール (431.8mm)　出力サイズ: 431.8 mm x 1226.6 mm

仕上りサイズ設定ダイアログボックス

[編集]メニューから[仕上りサイズ設定]を選択すると、表示されます。仕上りサイズの設定を行うことができます。

- **[仕上りサイズ]**

  仕上りサイズの設定方法を選択します。
  仕上りサイズには以下の設定があります。

設定項目	内容
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。
[折り返したサイズを指定する]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ページを 90 度回転(用紙節約)]	ページを 90 度回転して印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。

とじしろ設定ダイアログボックス

[編集]メニューから[とじしろ設定]を選択すると、表示されます。とじ方向の設定を行うことができます。

- [とじ方向]

用紙を折り返す際のとじ方向を設定します。
とじ方向には以下の設定があります。

設定項目	内容
[下とじ]	原稿の下部にとじしろの余白を設定して印刷します。
[上とじ]	原稿の上部にとじしろの余白を設定して印刷します。

- [とじしろ]

とじしろの余白を設定します。
指定したサイズで、とじしろの余白をとって印刷します。余白サイズを半角数字で入力してください。

メモ

- 入力できる数値は「0～50(mm)」です。

- [折り目線を印刷する]

折り目線の色や種類を設定します。

メモ

- 折り目線を印刷しない場合は、[折り目線を印刷する]チェックボックスをオフにします。

- [折り目線の色]

折り目線を選択することができます。

- [折り目線の種類]

折り目線を選択することができます。
折り目線の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。

- [中心と端のみに印刷する]

折り目線を中心と両端に印刷する場合は、[中心と端のみに印刷する]チェックボックスをオンにします。

折り返し両面で印刷する

2 つのページを連続して印刷します。中央の折り目線で折り返すことで、両面印刷の代用とすることができます。

1. フリーレイアウトのレイアウトエリアから 2 つのオブジェクトを選択します。

2 フリーレイアウトの[編集]メニューから[折り返し両面]を選択します。
[折り返し両面]ウィンドウが開き、選択したオブジェクトがレイアウトエリアに配置されます。

3 [編集]メニューから[仕上りサイズ設定]ダイアログボックスを開きます。

4 [仕上りサイズ]から[ロール紙の幅に合わせる]もしくは[折り返したサイズを指定する]を選択します。

メモ
- [折り返したサイズを指定する]を選択した場合、[ページを 90 度回転(用紙節約)]を設定できます。

5 [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

6 [編集]メニューから[とじしろ設定]ダイアログボックスを開きます。

7 [とじ方向]から[下とじ]もしくは[上とじ]を選択します。

8 [とじしろ]から[とじしろ]の幅を設定をします。

9 [折り目線を印刷する]から[折り目線の色]と[折り目線の種類]の設定をします。

メモ
- [中心と端のみに印刷する]のチェックボックスをオンにすると、折り目線を中心と両端の 3 点のみに印刷します。

10 [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

11 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

Color imageRUNNER 連携拡大コピー

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長 219
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 219

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス 220

ホットフォルダ 221
ホットフォルダを新規作成する 221
既存の共有フォルダをホットフォルダに指定する 224

印刷について設定する 226
Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する 227

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの主な特長は以下のとおりです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。

メモ

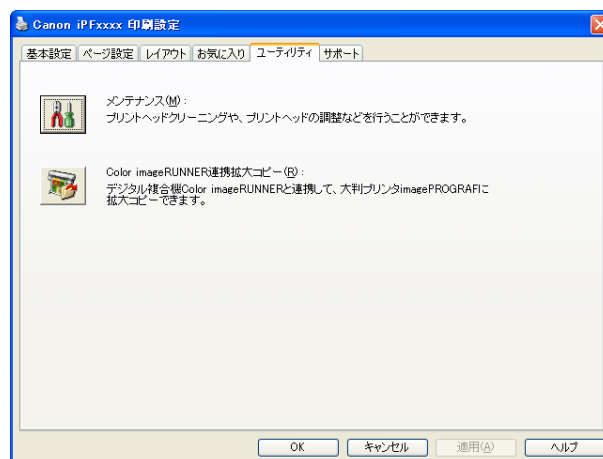
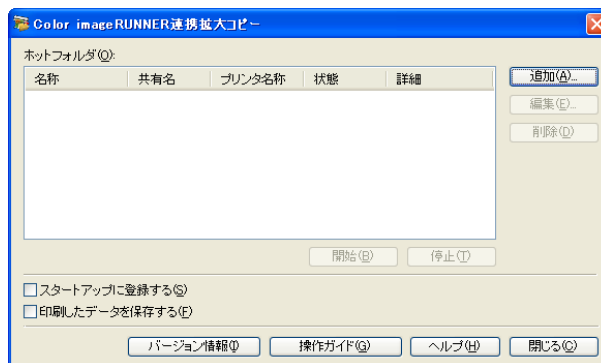
- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、連携拡大コピー機能上の設定と異なる場合があります。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法

Color imageRUNNER 連携拡大コピーを起動する手順は、以下のとおりです。

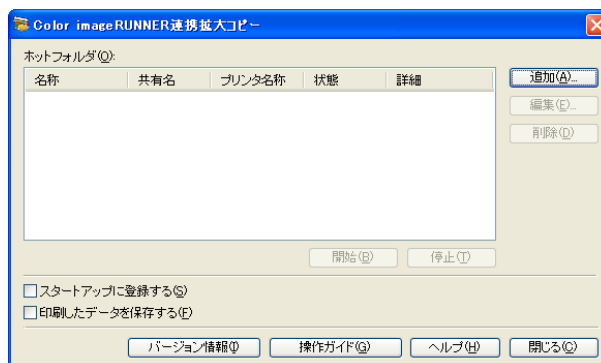
[スタート]ボタンから[プリンタと FAX]を選択して起動する場合

1. お使いの OS の、プリンタを設定するためのフォルダを開きます。
たとえば Windows XP の場合は、デスクトップの[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタと FAX]を選択します。

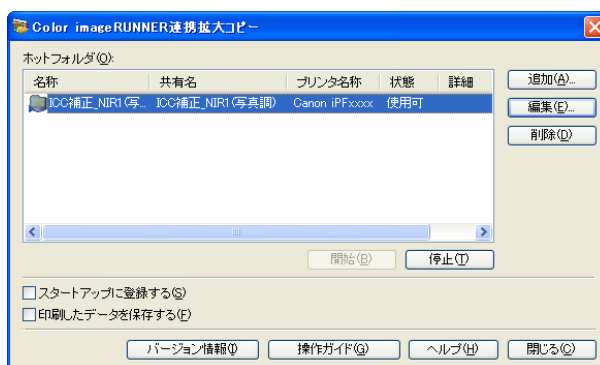
2. プリンタのアイコンを右クリックし、[印刷設定]を選択し、[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。
[ユーティリティ]シートで[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ボタンをクリックします。

3 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスが表示されます。

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスで[スタートアップに登録する]チェックボックスをオンにすると、次回 Windows を起動したときから、タスクバーに Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティのアイコンが表示されます。

[スタート]ボタンから[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]を選択して起動する場合

1 Windows の[スタート]ボタンから[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]を選択します。

2 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスが表示されます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス

ここでは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスについて説明しています。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.219

- [ホットフォルダ]

  ホットフォルダの一覧が表示されます。

- [追加]ボタン

  ボタンをクリックすると、[簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを追加できます。
- [編集]ボタン

  [ホットフォルダ]の一覧からホットフォルダを選択してボタンをクリックすると、[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを編集できます。
- [削除]ボタン

  [ホットフォルダ]の一覧からホットフォルダを選択してボタンをクリックすると、ホットフォルダを削除できます。
- [開始]ボタン

  ボタンをクリックすると、選択された[停止]状態のホットフォルダが[使用可]になります。
- [停止]ボタン

  ボタンをクリックすると、選択された[使用可]状態のホットフォルダが[停止]になります。
- [スタートアップに登録する]

  Windows のスタートアップメニューに登録します。
- [印刷したデータを保存する]

  印刷したデータを自動的に保存します。
- [バージョン情報]ボタン

  ボタンをクリックすると、ユーティリティの名称とバージョン情報が表示されます。
- [操作ガイド]ボタン

  ボタンをクリックすると、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー設定マニュアル]が表示されます。

ホットフォルダ

ホットフォルダとは、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるフォルダです。

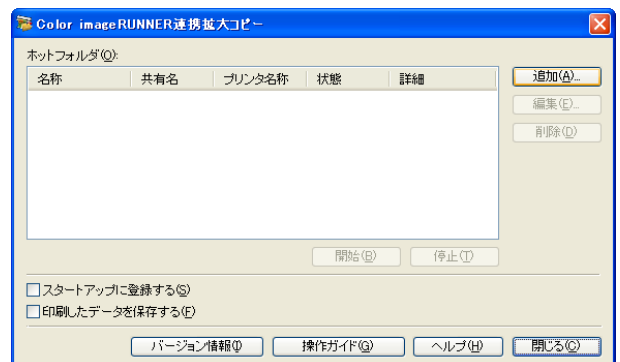
- Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータがコンピュータのホットフォルダに転送されると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
- ホットフォルダは、自由に作成、編集、削除したり、印刷について設定することができます。

メモ

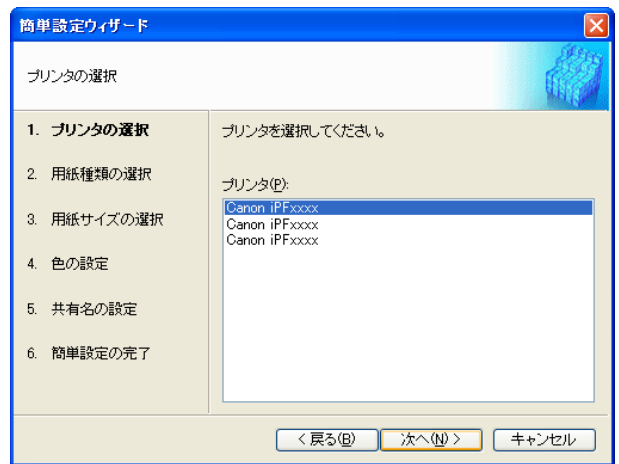
- ホットフォルダは 20 個まで作成できます。

ホットフォルダを新規作成する

1 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

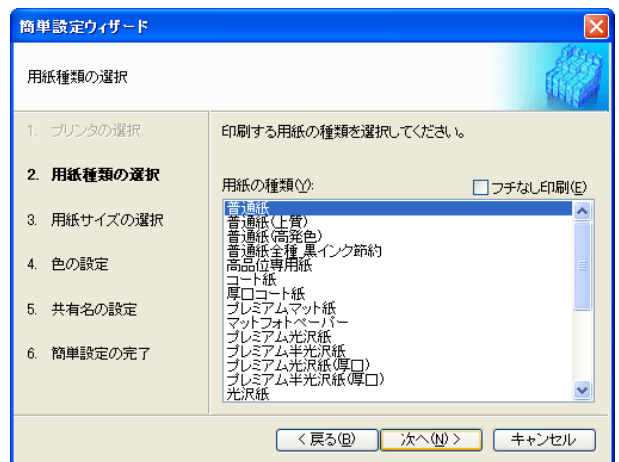
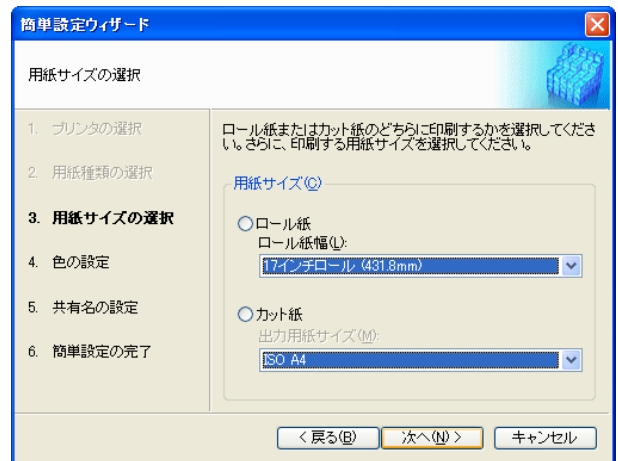
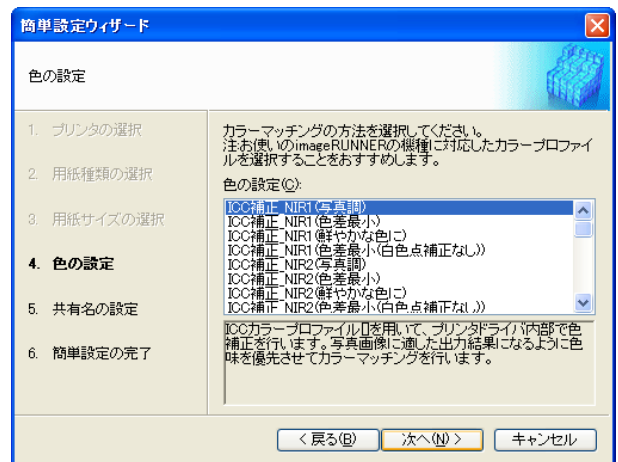
メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.219

2 [簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。
[次へ]ボタンをクリックします。

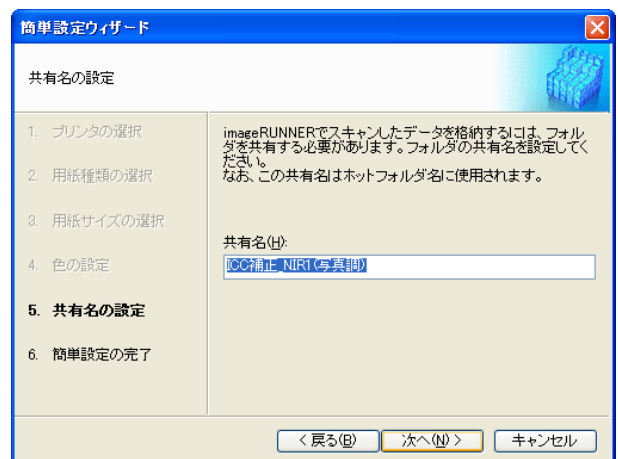
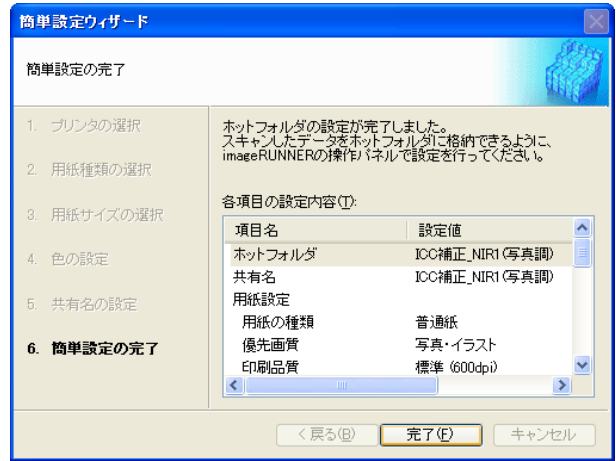
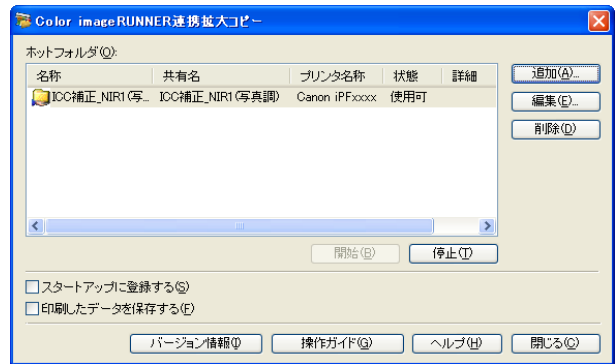
3 使用するプリンタの機種を選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

4 印刷する用紙の種類を選択します。

メモ

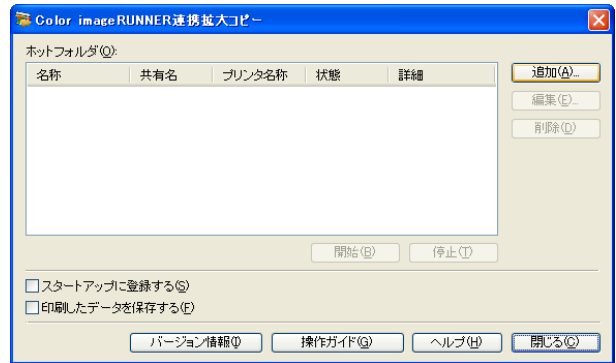
- [フチなし印刷]チェックボックスをオンにすると、フチなし印刷が可能な用紙の種類のみを 一覧表示します。

[次へ]ボタンをクリックします。

5 ロール紙またはカット紙のどちらに印刷するかを選択します。さらに、印刷する用紙サイズを選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

6 カラーマッチングの方法を選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

7 Color imageRUNNER でスキャンした原稿を受信するためには、フォルダを共有する必要があります。[共有名]にフォルダの共有名を入力します。
[次へ]ボタンをクリックします。

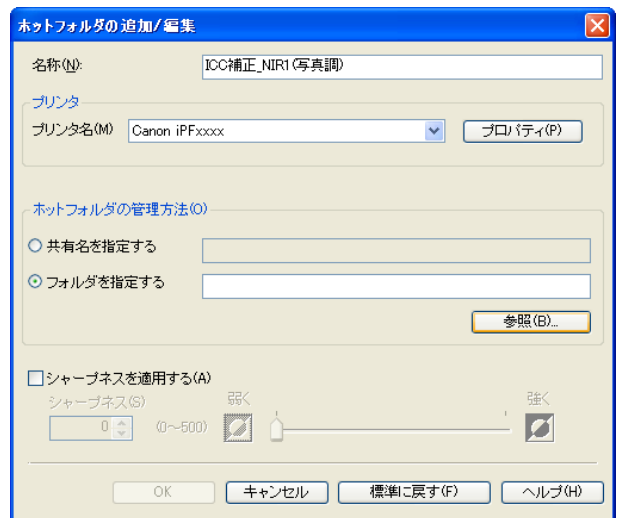
メモ

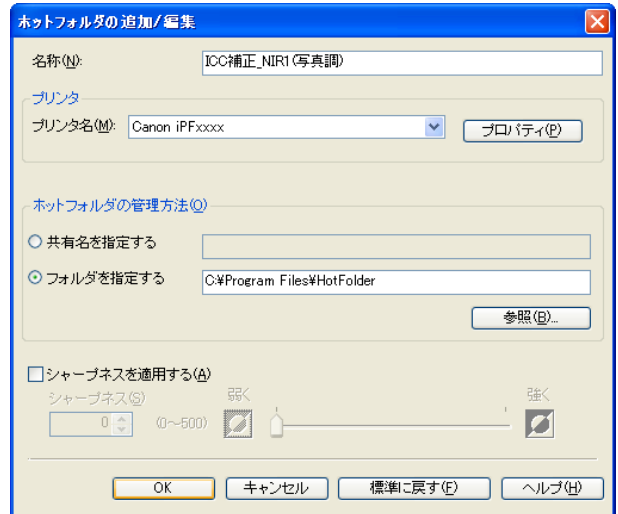
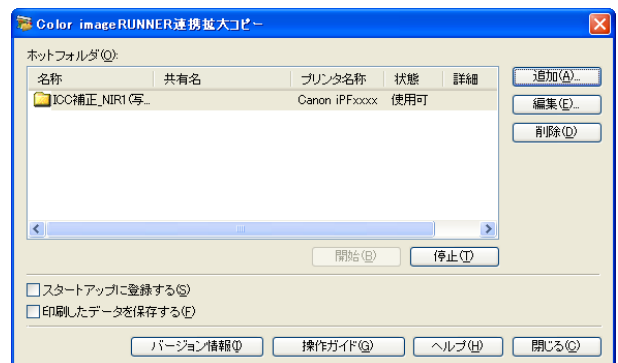
- この共有名はホットフォルダの名称に使用されます。
- ここで[次へ]ボタンをクリックした後は、[戻る]ボタンが使用できなくなります。

8 [完了]ボタンをクリックし、[簡単設定ウィザード]ダイアログボックスを閉じます。

[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの[ホットフォルダ]の一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

既存の共有フォルダをホットフォルダに指定する

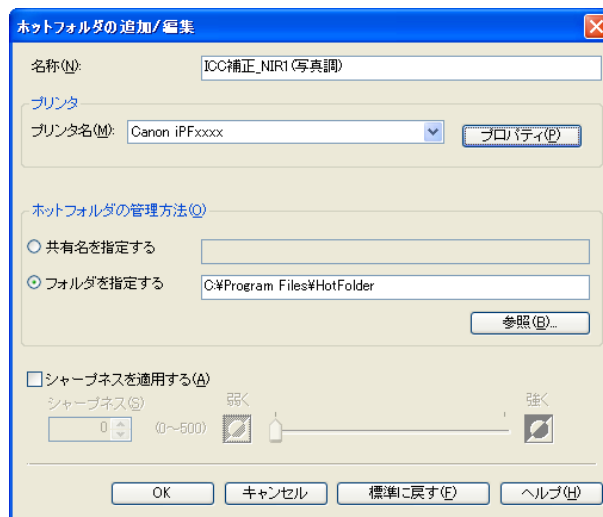
1 ホットフォルダに指定するフォルダを共有します。

2 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.219

3 [簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。
[マニュアル設定]ボタンをクリックします。

4 [ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスが表示されます。
[名称]にホットフォルダの名称を入力します。
[フォルダを指定する]を選択してから、[参照]をクリックし、既存の共有フォルダを設定します。

5 フォルダの場所が表示されます。
ホットフォルダに指定するフォルダを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

6 必要に応じて、ホットフォルダに印刷について設定することができます。（「印刷について設定する」参照） →P.226
[OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスを閉じます。

[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの[ホットフォルダ]の一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

印刷について設定する

[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスから[プロパティ]ボタンをクリックすると、プリンタドライバが開きます。プリンタドライバで、プリンタにセットしている用紙の種類に合わせて基本的な設定をします。

プリンタドライバについての詳細はプリンタドライバ →P.156 を参照してください。

- [基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの３つのシートのみ表示します。一部プリンタドライバの設定項目が無効になるものがあります。

- [シャープネスを適用する]

チェックマークを付けると、シャープネスの設定を行うことができます。

スライドバーを左右にドラッグして調整します。直接数値を入力して調整することもできます。

メモ

- 入力できる数値は 0～500 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。
- PDF 形式のファイルには適用されません。

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷することができます。
Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダへ送信すると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
この一連の機能を Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能と呼びます。
Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能を使用するために、あらかじめ以下の流れで設定を行います。

1. コンピュータにホットフォルダを作成します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを送信するホットフォルダをコンピュータに作成し、拡大コピーするための設定を行います。詳細は、「ホットフォルダを新規作成する」を参照してください。 →P.221

2. Color imageRUNNER に読取設定を登録します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。

上記の設定が完了したら、Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信し、拡大印刷することができます。

Color imageRUNNER に読取設定を登録する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。読取設定と送信先を Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンとして登録すると、ホットフォルダへ簡単に送信できます。
Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンに読取設定と送信先を登録する手順については、Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティの[Color imageRUNNER 連携拡大コピー設定マニュアル]ボタンをクリックして表示される設定マニュアル、または Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

原稿をスキャンして拡大印刷する

Color imageRUNNER で原稿をスキャンして、拡大印刷するには、以下の手順を行います。手順の詳細については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

1. Color imageRUNNER の原稿台ガラスまたはフィーダに原稿をセットします。

2. [送信/ファクス]（または[送信]）を押し、送信画面を表示します。

3. [定型業務]ボタンを押し、ホットフォルダ用に登録した[定型業務]ボタンを押します。

4. 操作パネルの[スタート]ボタンを押します。原稿台ガラスで原稿をスキャンした場合は、すべての原稿をスキャンした後にタッチパネルディスプレイの[読込終了]を押してください。
   スキャンした原稿がホットフォルダに送信され、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。

Print Plug-In for Photoshop / Digital Photo Professional

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の特長 229
インストール手順 229
アンインストール手順 232
Photoshop からの起動方法 232
Digital Photo Professional からの起動方法 233

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional メインウィンドウ 234
プレビューエリア 236
基本設定シート 237
ページ設定シート 240
色設定シート(カラー) 242
色設定シート(モノクロ) 243
印刷履歴シート 244
サポートシート 245

調整パターン設定ダイアログボックス 246
用紙の詳細設定ダイアログボックス 249
環境設定ダイアログボックス 250
ICC 変換オプションダイアログボックス 251
ロール紙オプションダイアログボックス 252
ユーザ用紙設定ダイアログボックス 252
トーンカーブダイアログボックス 253
印刷履歴の詳細ダイアログボックス 254

3 種類のプレビューを活用する 255
印刷範囲レイアウトで画像を確認する 255
画像で元画像を確認する 256
ロール紙プレビューで画像を確認する 256
お好みの画質で印刷する 257
色を調整して印刷する 257
プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合) 258
プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合) 259
カラーマッチングで色を調整する 261
Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する 262
高品質なモノクロの写真を印刷する 263
Adobe CMM を使用する 263
調整パターンを印刷して調整値を選択する 265
黒点補正を行う 266
印刷機のシミュレーション印刷を行う 267
拡大/縮小して印刷する 267
出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する 268
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する 268
倍率を指定して拡大/縮小印刷する 270
フチなしで印刷する 270
用紙の設定をカスタマイズする 271
印刷履歴を活用する 272
印刷履歴の詳細を確認する 272
印刷履歴を画像に適用する 273
印刷履歴をお気に入りに登録する 273
印刷履歴を削除する 275
お気に入りの印刷履歴を書き出す 277
お気に入りに印刷履歴を読み込む 278
お気に入りから印刷履歴を削除する 279
情報を画像とともに印刷するよう設定する 280

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の特長

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の主な特長は以下のとおりです。

- sRGB 用または Adobe RGB 等の画像の色空間を自動認識し、最適なプロファイルを自動的に設定できます。このため、面倒な設定をすることなく印刷が実現できます。
- Photoshop 上の画像データを直接加工し、プリンタに画像データを転送することができます。これにより、8bit だけでなく 16bit の画像データを処理できます。
- 実画像を元にした画像プレビュー表示機能、出力用紙サイズ上の画像配置を元にしたレイアウトプレビュー機能によって、印刷レイアウトの確認や色調整ができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。
- 色調、明るさ、コントラストなどの調整値を段階的に変化させた画像を印刷して、お好みの調整値を選択できます。（「調整パターン設定ダイアログボックス」参照） →P.246
- Print Plug-In for Photoshop と同時にインストールされる Layout Plug-In を使用して、フレームの側面まで画像で覆う装丁に仕上げるためのレイアウトイメージを作成し、印刷できます。（「Layout Plug-In について」参照） →P.282
- 印刷履歴管理機能により、過去の印刷設定パラメータの読み込みができます。また、お気に入りをファイルとして保存できます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional 上の設定（レイアウトプレビュー上の画像の配置、印刷開始位置、出力用紙サイズ）と異なる場合があります。

- 黒点補正を行うことにより、暗部の階調の潰れを軽減することができます。

メモ

- 黒点補正の機能を使用するには、Adobe CMM が必要です。

- 印刷機のプロファイルを指定して、印刷機のシミュレーション印刷ができます。

インストール手順

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional をインストールする手順は、以下のとおりです。

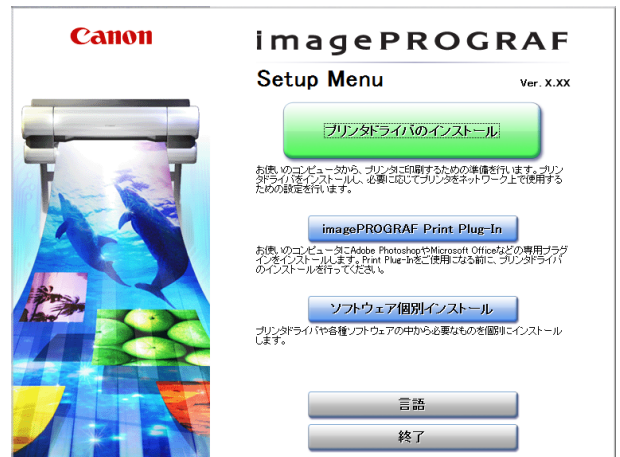
メモ

- Print Plug-In for Photoshop をインストールすると、Layout Plug-In もインストールされます。

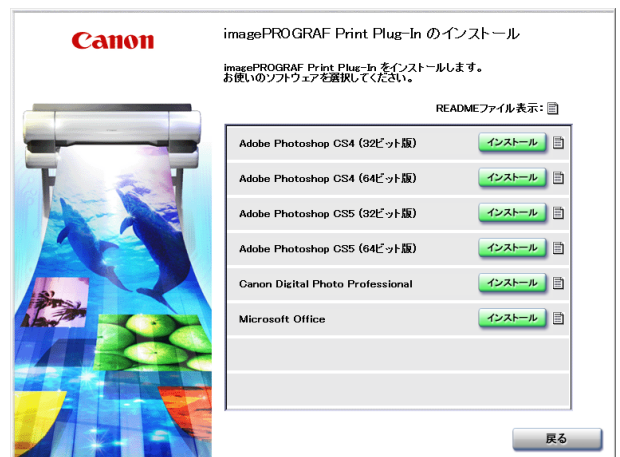
1 CD-ROM ドライブに、「User Software CD-ROM」を挿入し、インストーラを起動します。

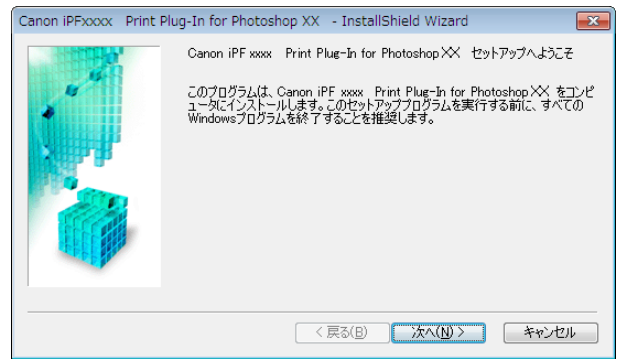
メモ

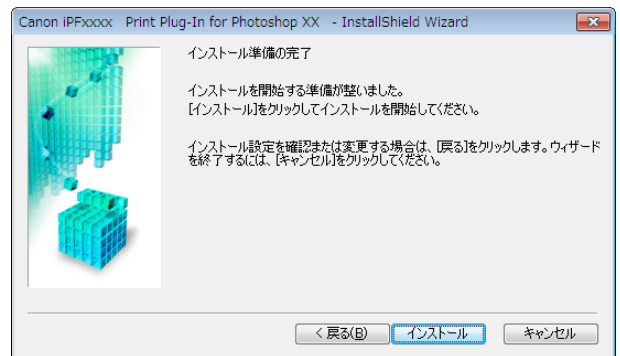
- インストーラの画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]から CD-ROM アイコンを開き、[setup.exe]をクリックし、アイコンを開きます。

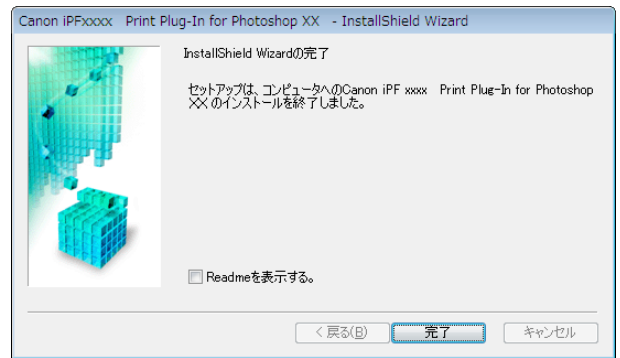
2 [imagePROGRAF Print Plug-In]ボタンをクリックします。

3 ご使用の Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional に対応した[インストール]ボタンをクリックします。

- 32 ビット版 Windows の場合

- 64 ビット版 Windows の場合

- Print Plug-In for Photoshop 対応の Photoshop がインストールされていない場合は、[対象のソフトウェアがありません。]と表示されます。対応する Photoshop がインストールされているコンピュータに Print Plug-In をインストールしてください。
- Print Plug-In をインストールする Photoshop プラグイン用のフォルダが見つからない場合、[手動でプラグインのインストール先を指定しますか？]と表示されます。この場合、Photoshop のマニュアルを参照して、プラグイン用のフォルダを指定してください。
- インストールされている Photoshop が一度も起動されていない環境に、Print Plug-In for Photoshop をインストールすることはできません。その場合、いったん、Photoshop を起動後、終了させてから Print Plug-In for Photoshop をインストールしてください。

4 [次へ]ボタンをクリックします。

5 使用許諾契約書を読んで、[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

6 [インストール]ボタンをクリックします。

7 [完了]ボタンをクリックします。

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional のインストールが終了します。

アンインストール手順

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional または Layout Plug-In をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

メモ
- ここでは Windows 7 での手順を説明します。

- Print Plug-In for Photoshop のアンインストール

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
2. [プログラムと機能]を開きます。
3. [Canon iPFxxxx Print Plug-In for Photoshop xx]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

- Print Plug-In for Digital Photo Professional のアンインストール

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
2. [プログラムと機能]を開きます。
3. [Canon iPFxxxx Print Plug-In for Digital Photo Professional]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

メモ
- iPFxxxx は、ご使用のプリンタ名です。

- Layout Plug-In のアンインストール

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
2. [プログラムと機能]を開きます。
3. [imagePROGRAF Layout Plug-In]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

Photoshop からの起動方法

Photoshop から Print Plug-In for Photoshop を起動する手順は、以下のとおりです。

1 Photoshop を起動します。

2 印刷したい画像を開きます。

3 必要に応じて印刷する範囲を選択します。

メモ
- Print Plug-In for Photoshop で扱える画像は、幅および高さが 60,000pixel 未満のものです。画像の幅または高さが 60,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4 [ファイル]メニューから[書き出し](または[データ書き出し])を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。
imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop ウィンドウ(以下、Print Plug-In ウィンドウ と呼びます)が表示されます。

重要

- 市販のプロファイル作成ツールでプロファイルを作成した場合、ICCv4 フォーマットで作成される場合があります。画像のソースプロファイルが ICCv4 の場合は、Windows Vista 以降の環境で Print Plug-In を使用するか、または AdobeCMM をインストールする必要があります。
  Windows XP の環境で Adobe CMM がインストールされていない場合には、メッセージが表示されて、ソースプロファイルが Adobe RGB に変更されます。Windows XP の環境で ICCv4 プロファイルを使用したい場合は、Plug-In を一度閉じてから Adobe CMM をインストールしてください。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.263 を参照してください。

メモ

- 入力画像の色空間が CMYK の場合は、Print Plug-In で処理するために AdobeRGB に変換します。また、マッチング方法は[相対的な色域を維持]を使用します。
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、最新の imagePROGRAF プリンタドライバをインストールしてから、手順 3 を行ってください。
  [iPFxxxx 用の imagePROGRAF プリンタドライバがインストールされていないか、または正常にインストールされていません。インストールしてください。]
  (上記メッセージの iPFxxxx の部分はご使用のプリンタ名になります。)
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、画像の色空間を RGB カラー、グレースケールまたは CMYK カラーのいずれかに変換してから、手順 3 を行ってください。
  [画像の色空間を RGB カラー、グレースケールまたは CMYK カラーのいずれかに設定してください。]

Digital Photo Professional からの起動方法

Digital Photo Professional から Print Plug-In for Digital Photo Professional を起動する手順は、以下のとおりです。

1 Digital Photo Professional を起動します。

2 印刷したい RGB カラーの画像を開きます。

3 必要に応じて印刷する範囲を選択します。

メモ

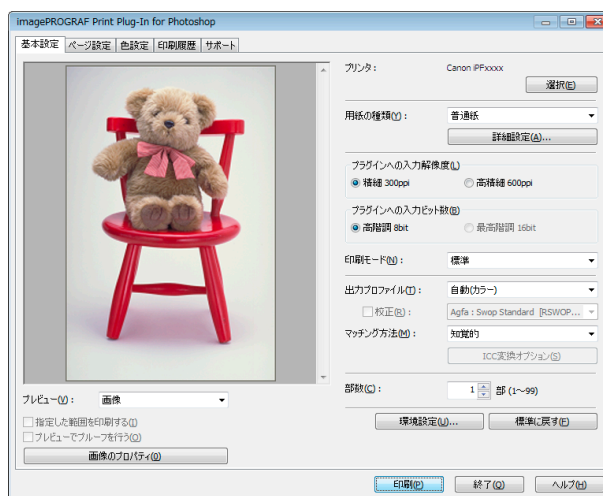
- Print Plug-In for Digital Photo Professional で扱える画像は、幅および高さが 6,000pixel 未満のものです。画像の幅または高さが 6,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4 [ファイル]メニューから[プラグイン印刷]を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。
imagePROGRAF Print Plug-In for Digital Photo Professional ウィンドウ(以下、Print Plug-In ウィンドウ と呼びます)が表示されます。

重要

- 市販のプロファイル作成ツールでプロファイルを作成した場合、ICCv4 フォーマットで作成される場合があります。画像のソースプロファイルが ICCv4 の場合は、Windows Vista 以降の環境で Print Plug-In を使用するか、または AdobeCMM をインストールする必要があります。
  Windows XP の環境で Adobe CMM がインストールされていない場合には、メッセージが表示されて、ソースプロファイルが Adobe RGB に変更されます。Windows XP の環境で ICCv4 プロファイルを使用したい場合は、Plug-In を一度閉じてから Adobe CMM をインストールしてください。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.263 を参照してください。

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional メインウィンドウ

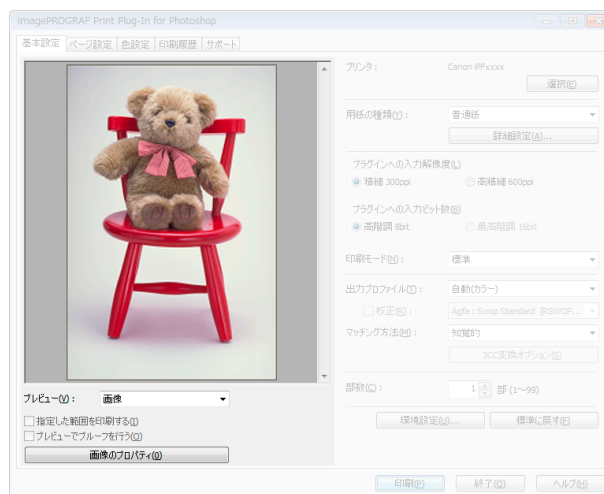
Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional のメインウィンドウは、シート選択エリア、プレビューエリア、ボタンエリアで構成されています。

- **シート選択エリア**

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional ウィンドウ上で各シートを切り替えるためのタブが表示されています。

タブを選択すると､各シートが表示されます｡各シートで設定できる項目については以下をご覧ください｡

- 基本設定シート →P.237
- ページ設定シート →P.240
- 色設定シート（カラー） →P.242
- 印刷履歴シート →P.244
- サポートシート →P.245

- **プレビューエリア**

設定した内容が画像にどのように反映されるのかを確認することができます。

プレビューエリアで設定できる項目については､｢プレビューエリア｣を参照してください｡ →P.236

- ボタンエリア

[印刷]、[終了]、[ヘルプ]のボタンがあります。

- [印刷]ボタン
  ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。
- [終了]ボタン
  ボタンをクリックすると、Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional メインウィンドウを閉じ、アプリケーションに戻ります。
- [ヘルプ]ボタン
  ボタンをクリックすると、Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional のヘルプが表示されます。

プレビューエリア

設定した内容が画像にどのように反映されるのかを確認することができます。

- [プレビュー]
  プレビュー表示の方法を選択します。
  プレビューについて詳しくは、「3 種類のプレビューを活用する」を参照してください。→P.255

設定項目	内容
[印刷範囲レイアウト]	設定した[出力用紙サイズ]に合わせたレイアウトで、印刷される範囲以外もあわせて表示します。 *カーソルが 表示のときに画像をドラッグすると、画像の印刷位置を変更できます。
[画像]	画像全体が表示されます。 *カーソルが 表示のときに画像をドラッグすると、印刷範囲を選択することができます。 *カーソルが 表示のときに、画像をクリックすると、選択が解除されます。

設定項目	内容
[ロール紙プレビュー]	ロール紙に印刷するときのレイアウトで、上部に出力用紙サイズとロール紙情報もあわせて表示します。 *[ロール紙プレビュー]を選択するときは、[給紙方法]で[ロール紙]を選択してください。

- [指定した範囲を印刷する]
  チェックマークを付けると、選択範囲だけが印刷されます。

メモ

- [プレビュー]で[画像]を選択し、プレビュー表示で画像の一部を選択すると有効になります。

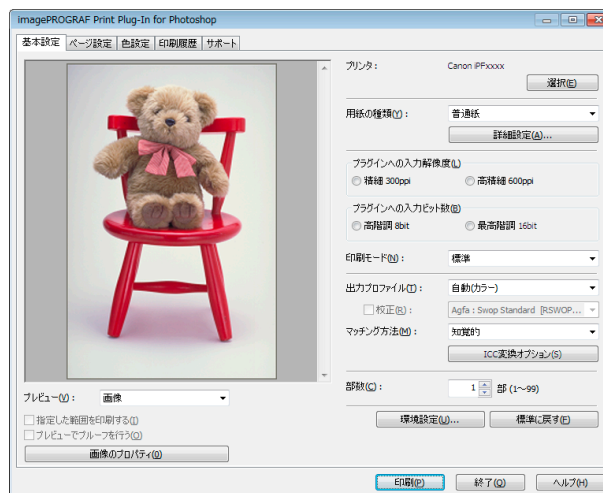
- [プレビューでプルーフを行う]
  チェックマークを付けると、プレビューに出力結果の色がシミュレーションして表示されます。

メモ

- [出力プロファイル]に[自動(カラー)]を選択した場合、一部の用紙の種類に対して有効です。
- [出力プロファイル]に ICC プロファイルを選択した場合、常に有効です。
- ご使用の環境や条件などにより、シミュレーションの結果と、実際の印刷結果の色合いが異なる場合があります。また、[出力プロファイル]で、使用するプリンタやメディアに対応しない ICC プロファイルを選択した場合、実際の印刷結果とは異なる色合いになります。

- [画像のプロパティ]ボタン
  ボタンをクリックすると、[画像のプロパティ]ダイアログボックスが表示され、Print Plug-In に読み込んだ画像の[画像サイズ]、[解像度]、[ビット数]、[色空間]情報が表示されます。
  [閉じる]ボタンをクリックすると、Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional に戻ります。

基本設定シート

プリンタの選択、用紙の種類設定や画像の品質など、基本的な設定を行います。

- [プリンタ]
  プリンタの機種が表示されます。
- [選択]ボタン
  ボタンをクリックすると、[プリンタの選択]ダイアログボックスが表示されます。
  [プリンタの選択]ダイアログボックスでプリンタを選択して[OK]ボタンをクリックすると、Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional に対応するプリンタを変更できます。

- [用紙の種類]

用紙の種類を選択します。
用紙の種類について詳しくは、「用紙の設定をカスタマイズする」を参照してください。→P.271

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

- [詳細設定]ボタン

ボタンをクリックすると、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスが表示されます。
用紙の詳細設定について詳しくは、「用紙の詳細設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.249

- [プラグインへの入力解像度]

Print Plug-In で処理する画像の解像度を選択します。
解像度には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[精細 300ppi]	精細な解像度で画像処理が行われます。印刷速度とメモリ容量の抑制に効果があります。
[高精細 600ppi]	より高精細な解像度で画像処理が行われます。最良の印刷結果が得られますが、[精細 300ppi]を選択した場合より印刷に時間がかかります。また、メモリ容量が多く必要になります。 *[用紙の種類]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。

- [プラグインへの入力ビット数]

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional で処理するビット数を選択します。
入力ビット数には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[高階調 8bit]	8bit/チャンネル(24 ビット)で画像処理が行われます。
[最高階調 16bit]	16bit/チャンネル(48 ビット)で画像処理が行われます。 *[用紙の種類]と[プラグインへの入力解像度]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。

- [印刷モード]

画質と印刷速度のバランスで印刷モードを選択できます。
印刷モードには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。[標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、印刷品質は高くなります。
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。[最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。レイアウトの確認などを効率よく行えます。
[最高(最大パス数)]	[最高品質]の印刷結果で印刷ムラが気になるとき、チェックボックスをオンにすると印刷結果が改善されることがあります。ただし、印刷速度が遅くなります。

メモ

- 選択できる設定は、設定した[用紙の種類]、[プラグインへの入力解像度]、[プラグインへの入力ビット数]によって異なります。

- [出力プロファイル]

出力プロファイルを選択します。
出力プロファイルには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[自動(カラー)]	入力画像データの色空間情報(sRGB, Adobe RGB)や、用紙の設定などから最適な色変換が行われます。通常はこの設定を選択してください。

設定項目	内容
[自動(モノクロ写真)]	入力画像データの色空間情報(sRGB, Adobe RGB)や、用紙の設定等から最適なモノクロへの変換を行います。
[なし(色補正しない)]	プラグインで色変換を行いません。オリジナルのICCプロファイルを作成する場合に便利です。
[外部ICCプロファイル]	OS標準のフォルダに保存されているICCプロファイルから、出力するプリンタのICCプロファイルを選択します。入力データの色空間情報と、選択したICCプロファイルを使用して色変換が行われます。

重要

- ICCv4プロファイルを使用するためには、Windows Vista以降の環境でPrint Plug-Inを使用するか、またはAdobe CMMをインストールする必要があります。Adobe CMMのインストール方法は、Adobe CMMを使用する →P.263 を参照してください。

メモ

- [自動(モノクロ写真)]は、対応する用紙の種類にのみ選択できます。

- **[校正]**

[出力プロファイル]でICCプロファイルを選択しているときに表示されます。
チェックマークを付けると、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。
印刷機のシミュレーション印刷について詳しくは、印刷機のシミュレーション印刷を行う →P.267 を参照してください。

- **[マッチング方法]**

色変換を行う際の処理方法を選択します。
マッチング方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[知覚的]	自然な色合いや階調に変換されます。写真の色補正に適しています。
[彩度]	色の鮮やかさを重視して変換されます。写真やイラストの色合いが変わることがあります。
[相対的な色域を維持]	画像の色合いを重視して変換されます。写真やイラストの色補正に適しています。

メモ

- [出力プロファイル]が、[自動(モノクロ写真)]および[なし(色補正しない)]の場合、選択することはできません。

- **[ICC変換オプション]ボタン**

[出力プロファイル]でICCプロファイルを選択しているときに表示されます。
ボタンをクリックすると、[ICC変換オプション]ダイアログボックスが表示され、カラー変換に関する設定を行うことができます。
ICC変換オプションについて詳しくは、ICC変換オプションダイアログボックス →P.251 を参照してください。

- **[部数]**

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は1～99です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンをクリックしても、数値を変更することができます。

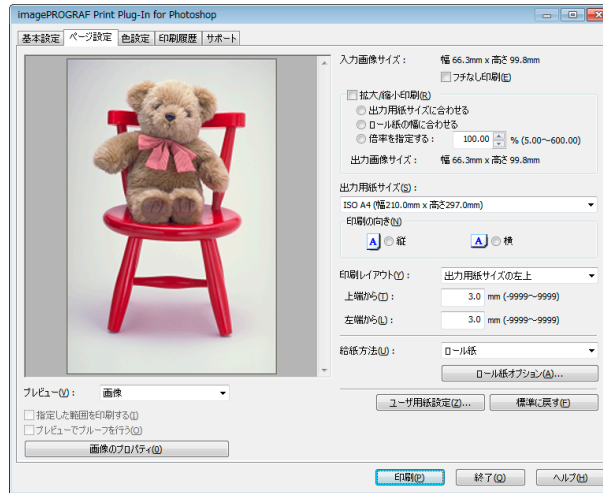
- **[環境設定]ボタン**

ボタンをクリックすると、[環境設定]ダイアログボックスが表示され、シャープネスや画像拡大方法を設定することができます。
[環境設定]について詳しくは、「環境設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.250

- **[標準に戻す]ボタン**

ボタンをクリックすると、[基本設定]シートで設定した項目が初期値に戻ります。

ページ設定シート

印刷する画像のサイズや用紙のサイズ、画像の拡大/縮小などについて設定します。

- **[入力画像サイズ]**

  Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional に読み込んだ画像のサイズが表示されます。

- **[フチなし印刷]**

  チェックマークを付けると、[ロール紙幅の指定]ダイアログボックスが表示され、画像をフチなしで印刷するよう設定することができます。

  [フチなし印刷]について詳しくは、「フチなしで印刷する」を参照してください。→P.270

  メモ
  - [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- **[拡大/縮小印刷]**

  チェックマークを付けると、画像を拡大/縮小して印刷することができます。

  画像を拡大/縮小する場合は拡大/縮小の方法を選択します。選択した方法に合わせて、[出力画像サイズ]にプリンタに送信される画像サイズが表示されます。

  拡大/縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	Print Plug-In に読み込んだ画像が、出力する用紙サイズに合わせて、全体的に拡大/縮小されて印刷されます。
[ロール紙の幅に合わせる]	Print Plug-In に読み込んだ画像が、ロール紙の幅に合わせて、全体的に拡大/縮小されて印刷されます。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	Print Plug-In に読み込んだ画像が指定した倍率で拡大/縮小されます。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5〜600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンをクリックしても、数値を変更することができます。

  メモ
  - [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

- **[出力画像サイズ]**

  出力される画像サイズがミリ単位で小数点以下 1 桁まで表示されます。

  メモ
  - [出力用紙サイズ]が[出力画像サイズ]よりも小さい場合、画像が一部欠けて印刷されます。

- [出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

- [印刷の向き]

印刷の向きを選択します。
印刷の向きには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[縦]	画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
[横]	画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

- [印刷レイアウト]

用紙に対する画像を印刷する位置を選択します。
印刷レイアウトには、以下の設定があります。

[印刷レイアウト]

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>[出力用紙サイズの左上]</td><td colspan="2">[出力用紙サイズ]に対して、有効な印刷領域の左上に合わせて画像を印刷します。</td></tr>
<tr><td>[出力用紙サイズの中央]</td><td colspan="2">画像の中心が、選択した[出力用紙サイズ]の中心になるように印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">[印刷開始位置を指定]</td><td colspan="2">[出力用紙サイズ]に対して、印刷領域の上端の開始位置と左端の開始位置を[上端から]と[左端から]に指定して印刷することができます。</td></tr>
<tr><td>[上端から]</td><td>用紙の上からの余白を半角数字で入力します。
*入力できる数値は、-9999～9999mm です。</td></tr>
<tr><td>[左端から]</td><td>用紙の左からの余白を半角数字で入力します。
*入力できる数値は、-9999～9999mm です。</td></tr>
</table>

メモ

- [印刷レイアウト]を選択するときは、[プレビュー]で[印刷範囲レイアウト]または[画像]を選択してください。

[ロール紙レイアウト]

設定項目	内容
[ロール紙幅の左上]	出力用紙サイズの左上が、選択したロール紙の左上にくるように印刷します。
[ロール紙幅の中央]	出力用紙サイズの中心が、選択したロール紙幅の中心にくるように印刷します。

メモ

- [ロール紙レイアウト]を選択するときは、[プレビュー]で[ロール紙プレビュー]を選択してください。

- [給紙方法]

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。
[カット紙]	カット紙に印刷する場合に選びます。

- [ロール紙オプション]ボタン

ボタンをクリックすると、[ロール紙オプション]ダイアログボックスが表示され、ロール紙の幅やオートカット設定などを設定することができます。
ロール紙オプションについて詳しくは、「ロール紙オプションダイアログボックス」を参照してください。
→P.252

- **[ユーザ用紙設定]ボタン**

  ボタンをクリックすると、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスが表示され、用紙名や、用紙サイズなどを設定できます。
  ユーザ用紙設定について詳しくは、「ユーザ用紙設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.252

- **[標準に戻す]ボタン**

  ボタンをクリックすると、[ページ設定]シートで設定した項目が初期値に戻ります。

色設定シート(カラー)

画像の色調、[明るさ]、[コントラスト]、[鮮やかさ]などを調整して、印刷結果をより思いどおりの色合いに設定することができます。

メモ

- 以下の項目については、調整具合をプレビューで確認できます。
  [シアン] / [マゼンタ] / [イエロー]、[グレー色調]、[明るさ]、[コントラスト]、[鮮やかさ]

- **[シアン] / [マゼンタ] / [イエロー]**

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、各色の強弱が調整されます。

- **[グレー色調]**

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、グレーの色が冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整されます。

- **[明るさ]**

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分を損なわずに印刷結果の明るさが調整されます。

- **[コントラスト]**

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分の明るさが相対的に調整されます。

- **[鮮やかさ]**

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで鮮やかさが調整されます。

- **[調整パターン設定]ボタン**

  ボタンをクリックすると、[調整パターン設定]ダイアログボックスが表示されます。[調整パターン設定]ダイアログボックスでは、調整値を前後に段階的に変化させた調整パターンを印刷して、お好みの調整値を選択することができます。
  [調整パターン設定]について詳しくは、「調整パターン設定ダイアログボックス」を参照してください。
  →P.246

- [トーンカーブ]ボタン

  ボタンをクリックすると、[トーンカーブ]ダイアログボックスが表示され、[チャンネル]などを設定することができます。
  [トーンカーブ]について詳しくは、「トーンカーブダイアログボックス」を参照してください。→P.253

- [標準に戻す]ボタン

  ボタンをクリックすると、[色設定]シートで設定した項目が初期値に戻ります。

色設定シート(モノクロ)

[色調]、[調子]、[明るさ]、[コントラスト]などを調整して、印刷結果をより思いどおりの調子や階調に設定することができます。
基本設定シート →P.237 の[出力プロファイル]で、[自動(モノクロ写真)]を選択すると表示されます。

メモ

- 以下の項目については、調整具合をプレビューで確認できます。
  [色調]、[調子]、[明るさ]、[コントラスト]、[ハイライト]、[シャドー]、[かぶり]

- [色調]

  目的に合った色調を選択することができます。

- [X]/[Y]

  調整領域では色合いを確認しながら、色調の調整をすることができます。
  中央の四角領域をマウスでクリック、またはドラッグして調整することができます。
  水平・垂直のスライドバーを左右、上下にドラッグして調整することができます。
  [X](横方向)、[Y](縦方向)の数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して色調を調整することができます。

- [調子]

  画像の中間調の明るさを調整できます。[硬調]を選択するとメリハリがつき硬い印象になります。[軟調]を選択すると柔らかい印象になります。

- [明るさ]

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分を損なわずに印刷結果の明るさが調整されます。

- [コントラスト]

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分の明るさが相対的に調整されます。

- [ハイライト]

  最も明るい部分の明るさを調整することができます。

- [シャドー]

  最も暗い部分の明るさを調整することができます。

- [かぶり]

画像のハイライト部と用紙の白地との質感の差を低減するために、用紙の白地部分に微量のインクを塗布します。

- [調整パターン設定]ボタン

ボタンをクリックすると、[調整パターン設定]ダイアログボックスが表示されます。[調整パターン設定]ダイアログボックスでは、調整値を前後に段階的に変化させた調整パターンを印刷して、お好みの調整値を選択することができます。

[調整パターン設定]について詳しくは、「調整パターン設定ダイアログボックス」を参照してください。 →P.246

- [トーンカーブ]ボタン

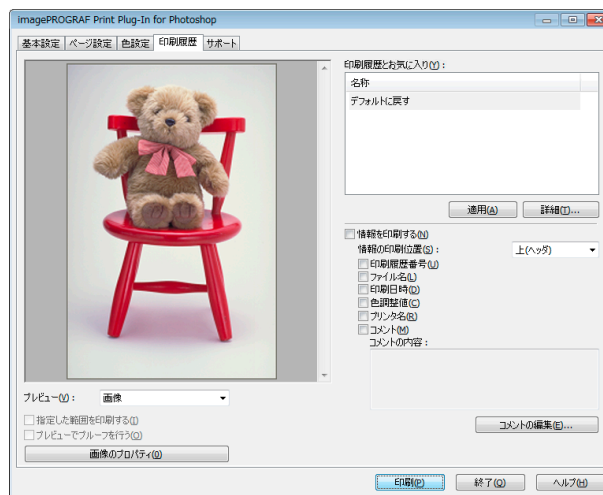
ボタンをクリックすると、[トーンカーブ]ダイアログボックスが表示され、[チャンネル]などを設定することができます。

[トーンカーブ]について詳しくは、「トーンカーブダイアログボックス」を参照してください。 →P.253

- [標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、[色設定]シートで設定した項目が初期値に戻ります。

印刷履歴シート

印刷に使用した設定の履歴を適用したり、画像のファイル名などの情報を画像とともに印刷する設定を行います。

- [印刷履歴とお気に入り]

登録されたお気に入りが一覧で表示されます。

[デフォルトに戻す]を選択し、[適用]ボタンをクリックすると、全ての設定値が初期値に戻ります。

メモ

- 一覧上部には、お気に入りが3件まで表示されます。

- [適用]ボタン

ボタンをクリックすると、[印刷履歴とお気に入り]で選択された印刷履歴の設定内容が画像に適用されます。

- [詳細]ボタン

ボタンをクリックすると、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスが表示され、印刷履歴の管理を詳細に行うことができます。

印刷履歴の詳細について詳しくは、「印刷履歴の詳細ダイアログボックス」を参照してください。 →P.254

- [情報を印刷する]

チェックマークを付けると、画像とともにファイル名や印刷日時などを印刷することができます。印刷する位置や内容については、以下の項目を設定する必要があります。

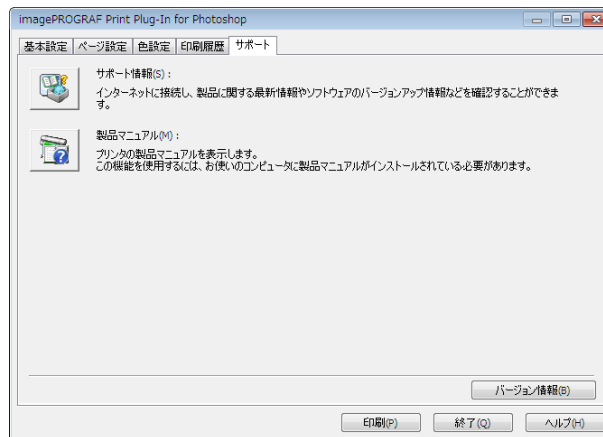
[情報を印刷する]について詳しくは、「情報を画像とともに印刷するよう設定する」を参照してください。 →P.280

設定項目	内容	
[情報の印刷位置]	情報を印刷する位置を選択します。	
	[上(ヘッダ)]	画像の上に情報が印刷されます。
	[下(フッタ)]	画像の下に情報が印刷されます。
[印刷履歴番号]	チェックマークを付けると、印刷履歴番号が印刷されます。	
[ファイル名]	チェックマークを付けると、ファイル名が印刷されます。	
[印刷日時]	チェックマークを付けると、印刷日時が印刷されます。	
[色調整値]	チェックマークを付けると、色調整値が印刷されます。	
[プリンタ名]	チェックマークを付けると、プリンタ名が印刷されます。	
[コメント]	チェックマークを付けると、コメントの内容が印刷されます。	
[コメントの内容]	チェックマークを付けると、コメントの内容が表示されます。	

- [コメントの編集]ボタン

  ボタンをクリックすると、[コメントの編集]ダイアログボックスが表示され、コメントを編集することができます。

サポートシート

製品に関するサポート情報や電子マニュアルを表示します。

- [サポート情報]ボタン

  ボタンをクリックすると、製品に関する最新情報を記載したウェブサイトを表示します。

メモ
- 各ウェブサイトを閲覧するには、インターネットに接続する必要があります。

- [製品マニュアル]ボタン

  ボタンをクリックすると、コンピュータにインストールされているプリンタの製品マニュアルを表示します。

メモ
- 製品マニュアルがお使いのコンピュータにインストールされている必要があります。

調整パターン設定ダイアログボックス

[色設定]シート(カラーまたはモノクロ)の調整値を基準として、調整値を前後に段階的に変化させた画像を調整パターンとして表示します。調整パターンを印刷して画像を比較しながらお好みの調整値を選択できます。

- プレビューエリア

  調整パターンの画像を並べて、調整値の変化が反映された状態を確認できます。

  中央の青枠で囲まれた画像の調整値を基準として、調整値を前後に段階的に変化させた画像が配置されます。任意の画像をクリックすると、その画像の調整値を基準値にして調整パターンを再表示します。

  各画像上には調整値が表示されます。[横軸]と[縦軸]の両方が設定されていれば、右に[横軸]、左に[縦軸]の調整値が表示されます。なお、画像が小さくて調整値が表示ができない場合は、ツールチップの表示で調整値を確認できます。

  メモ
  - 調整値が範囲外になった画像は、調整パターンとしての表示は行なわれず、[範囲外]というメッセージが表示されます。

- [給紙方法]

  調整パターンを印刷する用紙の給紙方法を選択します。調整パターンの印刷をカット紙(手差し)で行い、作品の印刷はロール紙で行うという使い分けができます。

- [使用用紙サイズ]

  調整パターンを印刷する用紙のサイズを選択します。

  調整パターンは、選択された用紙サイズに収まるように印刷されます。

  メモ
  - 画像サイズが大きい場合に[パターンの大きさ]で[原寸]を選択した場合、パターン表示が用紙サイズの縦方向に収まらない場合があります。その場合は[パターンの大きさ]で[自動]を選択してください。
  - 印刷される用紙サイズは[出力用紙サイズ]に表示されます。

- [出力用紙サイズ]

  [使用用紙サイズ]と実際の印刷物とで縦方向の長さが異なる場合があるため、実際の出力用紙サイズを表示します。

- [用紙下余白なし(用紙節約)]

  [使用用紙サイズ]で選択した用紙サイズで、用紙下部に余白が生じる場合、このチェックボックスをオンにすると、余白の部分を除いて印刷されるので用紙の節約ができます。余白の部分が節約されて縦方向の長さが短くなった状態は[出力用紙サイズ]の表示に反映されます。

- [横軸]/[縦軸]

  横方向または縦方向に複数の調整パターンを並べるとき、段階的に変化させる項目やパターンの個数などを設定します。

  - [調整項目]
    段階的に変化させる項目を選択します。

カラーでは[シアン] 、[マゼンタ]、[イエロー]、[グレー色調]、[明るさ]、[コントラスト] 、[鮮やかさ]が選択できます。
モノクロでは[色調]X、[色調]Y、[調子]、[明るさ]、[コントラスト]、[ハイライト]、[シャドー]、[かぶり]が選択できます。
[横軸]の[調整項目]はプレビューエリアの上に、[縦軸]の[調整項目]はプレビューエリアの左側に、それぞれアイコンで表示されます。

メモ
- カラー、モノクロとも[縦軸]のみ[なし]が選択できます。

- [パターン個数]
横方向または縦方向にパターン表示する画像の個数を 3、5、7 から選択できます。調整項目が[調子]の場合は、3 個または 5 個が選択できます。なお、調整値に[調子]を選択した場合は、-1 が[軟調]、0 が[標準]、1 が[やや硬調]、2 が[硬調]、3 が[より硬調]になります。
- [調整値の間隔]
隣接する調整パターン画像で変化させる調整値の間隔を 1～10 から選択できます。値を大きくすれば、調整パターン画像の状態の違いも大きくなります。ただし、調整項目が[調子]の場合は、[調整値の間隔]は選択できません。
- （入れ替え）ボタン
[横軸]と[縦軸]の調整項目を入れ替えて、調整パターンを再配置します。

- [90 度回転]

画像を回転することで、用紙の節約や画像の比較が容易になる場合があります。
[画像ごと]を選択すると、調整パターンの各画像を 90 度回転することができます。
[配置後の画像全体]を選択すると、調整パターン全体を 90 度回転することができます。
[なし]を選択すると、画像の回転は行われません。

- [パターンの大きさ]

調整パターンを印刷するときの画像の大きさを指定できます。
[自動]を選択すると、[使用用紙サイズ]に調整パターンが収まるように、画像を拡大または縮小します。
[原寸]を選択すると、画像を拡大または縮小せず、入力画像のサイズで印刷します。給紙方法が[手差し]の場合は[原寸]は選択できません。

メモ
- 入力画像のサイズ大きい場合は、実際の印刷物のサイズが大きくなることがありますので、印刷を開始する前に[出力用紙サイズ]を確認してください。
- [パターンの大きさ]で[原寸]を選択すると、画像を拡大または縮小せず、入力画像のサイズで印刷します。
- 用紙の横幅をはみ出すパターンは、次の行に折り返して印刷されます。

- [パターンの隙間]

[なし]と[あり]が選択できます。[あり]を選択すると、各画像の間に背景を入れることができます。背景の色は[パターンの背景]で指定できます。

- [パターンの背景]

背景の色を ［白］、[黒]、グレーから選択できます。
隣接する調整パターン画像の違いが比較し難い場合、背景色を変えると比較し易くなることがあります。なお、[パターンの背景]は[パターンの隙間]が[あり]の場合に選択できます。

- [基準値を色設定シートに反映]

チェックボックスをオンにして[閉じる]ボタンをクリックすると、プレビューエリアの中央の青枠で囲まれた画像の設定値（基準値）が[色設定]シート（カラーまたはモノクロ）に反映されます。

- [印刷条件]

メインウィンドウで設定している用紙の種類、印刷モード、出力プロファイルが表示されます。調整パターンを印刷する際に、メインウィンドウに戻らずに各設定の内容が確認できます。

- [画像の範囲を指定する]ボタン

ボタンをクリックすると、画像の範囲を指定するための[画像の範囲指定]ダイアログボックスが表示されます。

マウスなどで範囲を指定して[OK]ボタンをクリックすると、[画像の範囲指定]ダイアログボックスを閉じて、選択範囲の画像が調整パターンとして再表示されます。

[キャンセル]ボタンをクリックすると、範囲が選択された状態でも[画像の範囲指定]ダイアログボックスを閉じます。

メモ

- 範囲が指定された状態の画像をクリックすると、選択範囲は解除されます。

- [最初の状態に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、最初に[調整パターン設定]ダイアログボックスを表示した状態に戻ります。

- [閉じる]ボタン

ボタンをクリックすると、[調整パターン設定]ダイアログボックスでの設定値を保存し、ダイアログボックスを閉じます。次に Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional を起動した時は、この設定値が適用されます。また、[基準値を色設定シートに反映]チェックボックスをオンにして[閉じる]ボタンをクリックすると、プレビューエリアの青枠で囲まれた画像(中央の画像)の設定値は[色設定]シート(カラーまたはモノクロ)の設定に反映されます。

- [調整パターン印刷]ボタン

ボタンをクリックすると、調整パターンの印刷が実行されます。印刷実行後も[調整パターン設定]ダイアログボックスは閉じません。

各画像上には調整値が印字されます。[横軸]と[縦軸]の両方が設定されていれば、右に[横軸]、左に[縦軸]の調整値が印字されます。

用紙の下部には、用紙の種類、印刷モード、出力プロファイルの各設定値と[色設定]シート(カラーまたはモノクロ)で設定した調整値が印字されます。ただし、[トーンカーブ]の調整値は印字されません。

メモ

- 調整パターンを印刷する場合のジョブ名は「元画像名+ Pattern-Print」となります。例えば「ABC.jpg」の画像の印刷ジョブ名は「ABC_Pattern-Print.jpg」となります。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[基本設定]シートで、[詳細設定]ボタンをクリックすると、表示されます。用紙の種類に対して[インク乾燥時間]や[ロール紙の安全余白]などを詳細に設定することができます。

- [インク乾燥時間]

[ページ間]

インク乾燥のため、用紙を排紙するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	印刷終了後、すぐに排紙されます。
[30 秒] / [1 分] / [3 分] / [5 分] / [10 分] / [30 分] / [60 分]	印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。

[スキャン間]

1 ラインを印刷後、次のラインを印刷するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	1 ライン印刷後、すぐに次のラインが印刷されます。
[1 秒] / [3 秒] / [5 秒] / [7 秒] / [9 秒]	1 ライン印刷後、設定した時間が経過してから次のラインが印刷されます。 *ページ内でにじみが発生したときや、フチなし印刷時に色ムラが発生したときには時間を増やしてください。

- [ロール紙の安全余白]

[先端余白]

ロール紙の先端余白の長さを選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[5mm]	定型サイズで印刷されます。 *印刷に特に問題がないときに選択してください。
[20mm]	カールの強い用紙を使用した場合など、プリントヘッドのこすれが発生する場合に選択してください。

- [カットスピード]

オートカットのスピード設定を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[高速]	[標準]の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。
[標準]	オートカットで特に問題ない場合に選びます。
[低速]	糊付きの用紙の場合に選択すると、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。

- [キャリブレーション調整値]

  プリンタ本体でカラーキャリブレーションを行った場合に、その結果を印刷時に使用するかしないかを選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[有効]	キャリブレーション結果を使用して印刷します。
[無効]	キャリブレーション結果を使用しないで印刷します。カラーキャリブレーションによって印刷中の画像の色味が変わってしまうことを避けたい場合に選択します。

- [鏡像]

  鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

- [片方向印刷]

  チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

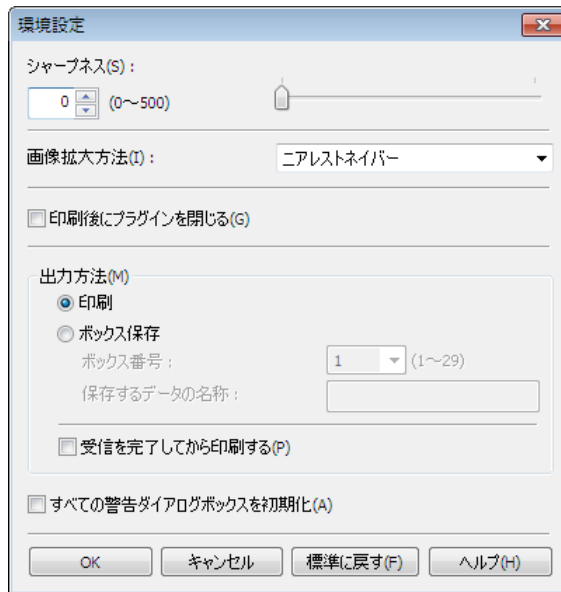
- [文字･線画高精細]

  インクの着弾精度を高め、特に文字や線画をくっきりと印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- 印刷モードで[最高(最大パス数)]が選択されているときには、[文字･線画高精細] は選択できません。

環境設定ダイアログボックス

[基本設定]シートで、[環境設定]ボタンをクリックすると、表示されます。シャープネスや画像拡大方法を設定することができます。

- [シャープネス]

  シャープネス(輪郭強調)の設定を行います。

- [画像拡大方法]

  画像拡大方法を選択します。
  画像拡大方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[ニアレストネイバー]	単純拡大を行います。
[バイリニア]	線形拡大を行います。

設定項目	内容
[バイキュービック]	周辺のピクセルの色調や明るさなどの要素を計算して、ピクセルを補完します。

- [印刷後にプラグインを閉じる]

チェックマークを付けると、印刷終了時にプラグインを終了します。

メモ

- キャンセルやエラーなどで印刷が正常に終了しなかった場合は、終了しません。

- [出力方法]

出力方法を選択します。
出力方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[印刷]	通常の印刷です。一時保存ボックスに保存しながら印刷します。
[ボックス保存]	印刷データをボックスに保存します。 [ボックス保存]を選んだ場合は、[保存するデータの名称]を設定します。
[受信を完了してから印刷する]	チェックマークを付けると、一時保存ボックスに保存が完了してから印刷を開始します。[ボックス保存]選択時には使用できません。

- [すべての警告ダイアログボックスを初期化]

チェックマークを付けると、「次回からこの画面は表示しない」設定にしたすべての警告ダイアログを表示するようにします。

ICC 変換オプションダイアログボックス

[基本設定]パネルの[出力プロファイル]リストで ICC プロファイルを選択し、[ICC 変換オプション]ボタンをクリックすると、表示されます。カラーマッチングに関する詳細を設定することができます。

- [変換エンジン]

色変換の際に使用する変換エンジンを選択します。

メモ

- [Adobe CMM]を使用するためには、Adobe CMM をインストールする必要があります。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.263 を参照してください。

- [黒点補正を使用]

黒点補正を行う場合にチェックマークをつけます。黒点補正を行うと、暗部の階調の潰れを改善できます。

メモ

- [変換エンジン]で[Adobe CMM]が選択されているときに使用できます。

- [校正オプション]

印刷機シミュレーションに関する設定を行います。
校正オプションには以下の設定があります。

設定項目	内容
[紙色シミュレート]	紙色のシミュレートを行うときに選択します。オンにすると、[黒インキシミュレート]が自動的にオンになり、グレーアウトします。
[黒インキシミュレート]	黒インキのシミュレートを行うときに選択します。有効にするためには、[変換エンジン]で[Adobe CMM]を選択する必要があります。

ロール紙オプションダイアログボックス

[ページ設定]シートで、[ロール紙オプション]ボタンをクリックすると、表示されます。ロール紙の幅やオートカット設定などを設定することができます。

- [ロール紙幅]

  プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

- [オートカット]

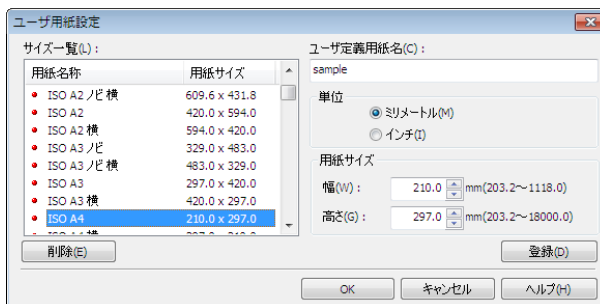
  ロール紙のカットを自動で行うか、またはカットラインを印刷するかを設定します。
  オートカットには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[あり]	印刷が終わると、自動的に用紙がカットされます。
[なし]	印刷が終わると、1 ページごとにロール紙をカットしないで、連続して次のデータを印刷します。
[カットラインを印刷]	印刷が終わると、1 ページごとに線を印刷し連続して次のデータを印刷します。

- [上下余白なし(用紙節約)]

  チェックマークを付けると、ロール紙の上下に余白を設定せずに印刷されます。

ユーザ用紙設定ダイアログボックス

[ページ設定]シートで、[ユーザ用紙設定]ボタンをクリックすると、表示されます。用紙名や、用紙サイズなどを設定できます。

- [サイズ一覧]

  標準サイズとユーザ定義用紙の全てを表示します。

- [ユーザ定義用紙名]

  任意の名称を、半角で最大 63 文字、全角で最大 31 文字の範囲で入力します。

- [単位]

  ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位を選択します。これを切り替えると、Print Plug-In の全ての単位が切り替わります。

- [用紙サイズ]

[幅]

用紙サイズの幅を入力します。

[高さ]

用紙サイズの高さを入力します。

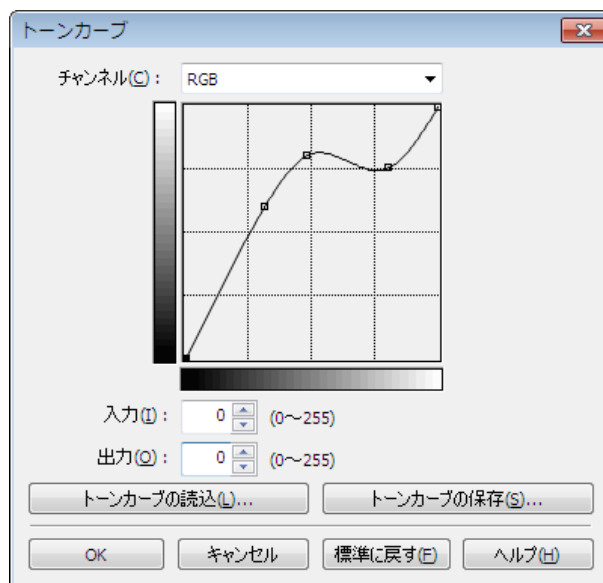
メモ

- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [登録]ボタン

ボタンをクリックすると、設定した内容を登録します。

トーンカーブダイアログボックス

[色設定]シートで、[トーンカーブ]ボタンをクリックすると、表示されます。[チャンネル]などを設定することができます。

- [チャンネル]

[RGB]、[レッド]、[グリーン]、[ブルー]のいずれかを選択します。

メモ

- モノクロ印刷の場合は[グレー]と表示され、選択することはできません。

- [入力]

入力値を入力します。

メモ

- 入力できる数値は、0～255 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [出力]

出力値を入力します。

メモ

- 入力できる数値は、0～255 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [トーンカーブの読込]ボタン

ボタンをクリックすると、保存したトーンカーブの設定を読み込みます。

- [トーンカーブの保存]ボタン

  ボタンをクリックすると、トーンカーブの現在の設定を保存します。

印刷履歴の詳細ダイアログボックス

[印刷履歴]シートで、[詳細]ボタンをクリックすると、表示されます。印刷履歴の管理を行います。[印刷履歴の詳細]について詳しくは、「印刷履歴を活用する」を参照してください。→P.272

- [印刷履歴]

  印刷履歴が一覧で表示されます。

表示項目	内容
[印刷履歴番号]	印刷履歴の管理番号が表示されます。
[ファイル名]	画像のファイル名が表示されます。
[印刷日時]	印刷日時が表示されます。
[コメント]	コメントの内容が表示されます。

メモ

- 表示可能な印刷履歴は最大 200 件までです。200 件を超えると、古い履歴から削除されます。
- キャンセルやエラーにより正常に印刷できなかった場合、印刷履歴番号の左側に ✕ が表示されます。

- [削除]ボタン

  ボタンをクリックすると、選択されている印刷履歴が削除されます。

- [登録]ボタン

  ボタンをクリックすると、選択されている印刷履歴がお気に入りに登録されます。

メモ

- お気に入りは最大 200 件まで追加できます。

- [お気に入り]

  お気に入りに登録した印刷履歴が一覧で表示されます。

メモ

- 選択してドラッグすると、並び順を変更することができます。

- [読み込み]ボタン

  ボタンをクリックすると、ファイルとして保存されている印刷履歴を読み込むことができます。

- [書き出し]ボタン

  ボタンをクリックすると、お気に入りに登録されている印刷履歴をファイルとして保存することができます。

- [削除]ボタン

  ボタンをクリックすると、お気に入りに登録された印刷履歴を削除することができます。

- [設定内容]

  [印刷履歴]または[お気に入り]で選択された印刷履歴の内容が表示されます。

表示項目	内容
[基本設定]	選択すると、[基本設定]シートで設定した内容が表示されます。
[ページ設定]	選択すると、[ページ設定]シートで設定した内容が表示されます。
[色設定]	選択すると、[色設定]シートで設定した内容が表示されます。

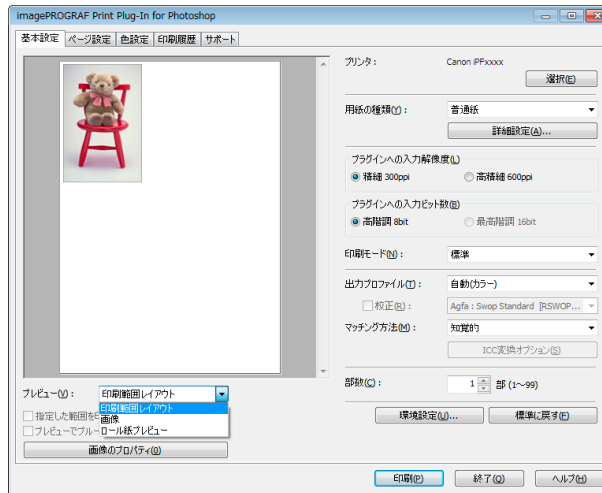
3 種類のプレビューを活用する

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional では、3 種類のプレビュー表示で画像を確認することができます。
プレビュー表示の種類は、以下のとおりです。

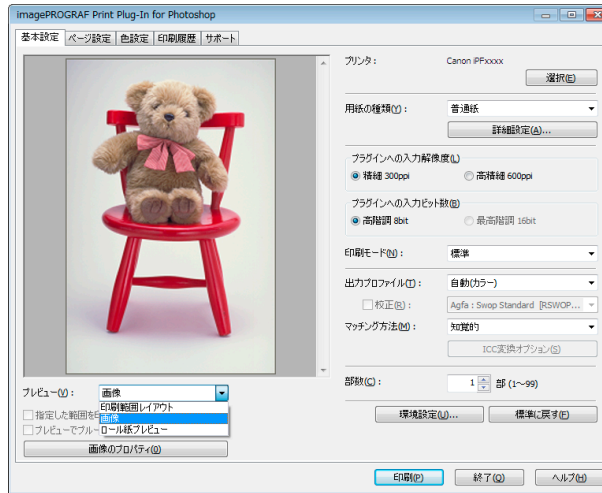
- 印刷範囲レイアウトで画像を確認する →P.255
- 画像で元画像を確認する →P.256
- ロール紙プレビューで画像を確認する →P.256

印刷範囲レイアウトで画像を確認する

印刷範囲レイアウトでは、設定した出力用紙サイズに合わせたレイアウトで、印刷される範囲以外もあわせて表示します。
[プレビュー]で、[印刷範囲レイアウト]を選択します。

メモ

- プレビュー表示上でカーソルが の状態になると、画像をドラッグして印刷位置を指定することができます。
- カーソルが の状態になるのは、[ページ設定]シートで以下の条件をすべて満たしているときです。
  - [フチなし印刷]のチェックマークが付いていない。
  - [拡大/縮小印刷]のチェックマークが付いていない、または[倍率を指定する]が選択されている。

画像で元画像を確認する

画像プレビューでは、入力された画像全体を確認することができます。
[プレビュー]で、[画像]を選択します。

- [プレビュー]で[画像]を選択している場合は、カーソルが の状態でプレビュー表示上をドラッグすると、[指定した範囲を印刷する]が有効になり、選択範囲だけを印刷することができます。
- カーソルが の状態でプレビュー表示上をクリックすると、選択が解除されます。

ロール紙プレビューで画像を確認する

ロール紙プレビューでは、ロール紙に印刷するときのレイアウトで、上部に出力用紙サイズとロール紙情報もあわせて表示します。
[プレビュー]で、[ロール紙プレビュー]を選択します。

- [プレビュー]で[ロール紙プレビュー]を選択するときは、[給紙方法]で[ロール紙]を選択してください。

お好みの画質で印刷する

お好みの解像度を指定して、印刷することができます。

1 [基本設定]シートを表示します。

2 [用紙の種類]で、プリンタにセットされている用紙を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

3 [プラグインへの入力解像度]で、画像を処理する解像度として[精細 300ppi]または[高精細 600ppi]のいずれかを選択します。

メモ

- [精細 300ppi]を選択すると、精細な解像度で画像処理を行います。印刷スピードとメモリ容量の抑制に効果があります。
- [高精細 600ppi]を選択すると、より高精細な解像度で画像処理を行います。最良の印刷結果が得られますが、[精細 300ppi]を選択した場合より印刷に時間がかかります。また、メモリ容量が多く必要になります。
- [用紙の種類]で選択した内容によっては、[高精細 600ppi]は表示されません。

4 [プラグインへの入力ビット数]で、画像を処理するビット数として[高階調 8bit]または[最高階調 16bit]のいずれかを選択します。

メモ

- [高階調 8bit]を選択すると、画像が 8bit/チャンネル(24 ビット)で画像処理されます。
- [最高階調 16bit]を選択すると、画像が 16bit/チャンネル(48 ビット)で画像処理されます。
- [用紙の種類]または[プラグインへの入力解像度]で選択した内容によっては、[最高階調 16bit]は表示されません。

5 [印刷モード]で、画像を処理する印刷モードを選択します。

メモ

- 選択できる設定は、設定した[用紙の種類]、[プラグインへの入力解像度]、[プラグインへの入力ビット数]によって異なります。

6 [印刷]ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。

色を調整して印刷する

希望する色調で画像が印刷されるように調整することができます。
Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional で色を調整する方法として以下の 6 つを紹介します。

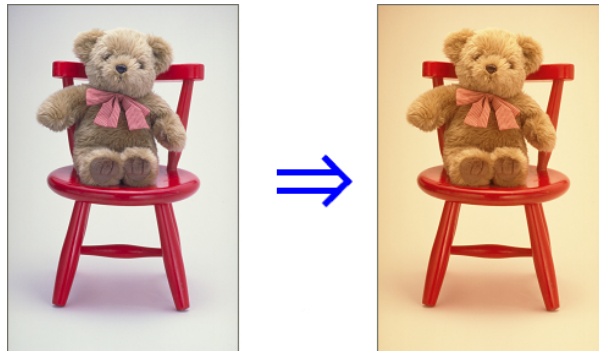
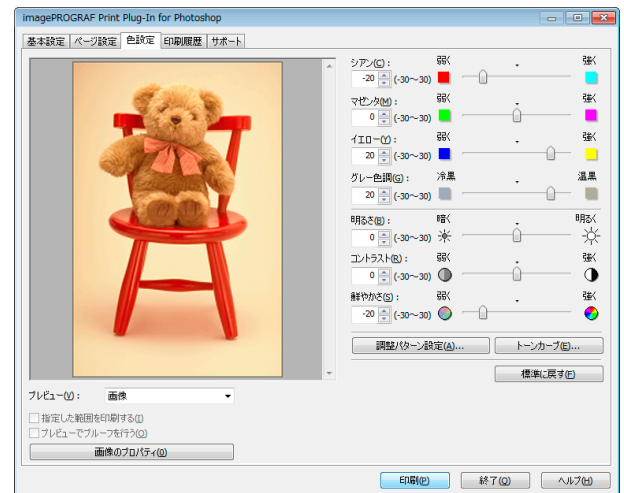
- プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合) →P.258
- プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合) →P.259

- カラーマッチングで色を調整する →P.261
- Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する →P.262
- 高品質なモノクロの写真を印刷する →P.263
- Adobe CMM を使用する →P.263

プレビュー表示で確認しながら色を調整する（カラーの場合）

プレビュー表示で調整内容を確認しながら、色を調整することができます。
以下の画像調整を例とした手順を説明しています。

- [シアン]を[弱く]
- [イエロー]を[強く]
- [鮮やかさ]を[弱く]
- [グレー色調]を[温黒]
- トーンカーブで明るさを強調

上記画像調整の適用前と適用後は、以下のとおりです。

1 [色設定]シートを表示します。

2 [シアン]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします。

3 [イエロー]で、スライドバーを[強く]の方向にドラッグします。

4 [鮮やかさ]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします。

5 [グレー色調]で、スライドバーを[温黒]の方向にドラッグします。

> メモ
> - 半角数字で入力しても、数値を変更することができます。
> - [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

6 [トーンカーブ]ボタンをクリックして、トーンカーブの中心付近をクリックします。

7 [入力]に 120 を、[出力]に 135 を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

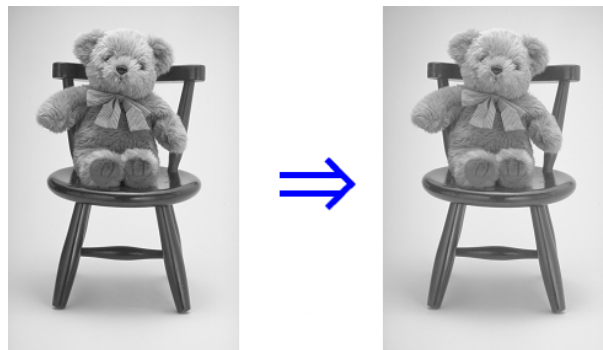
8 [印刷]ボタンをクリックします。

画像調整が適用され、印刷が開始されます。

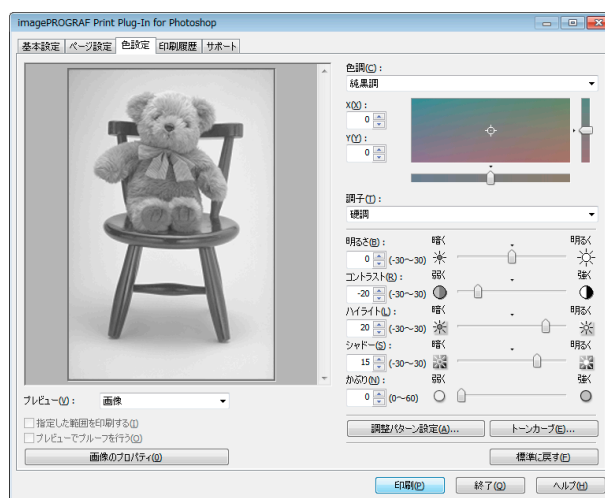
プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合)

プレビュー表示で調整内容を確認しながら、色を調整することができます。
以下の画像調整を例とした手順を説明しています。

- [コントラスト]を[弱く]
- [ハイライト]を[明るく]
- [シャドー]を[明るく]
- トーンカーブで明るさを強調

上記画像調整の適用前と適用後は、以下のとおりです。

1 [基本設定]シートを表示します。

2 [出力プロファイル]で、[自動(モノクロ写真)]を選択します。

3 [色設定]シートを表示します。

4 [コントラスト]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします。

5 [ハイライト]で、スライドバーを[明るく]の方向にドラッグします。

6 [シャドー]で、スライドバーを[明るく]の方向にドラッグします。

メモ
- 半角数字で入力しても、数値を変更することができます。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

7 [トーンカーブ]ボタンをクリックして、トーンカーブの中心付近をクリックします。

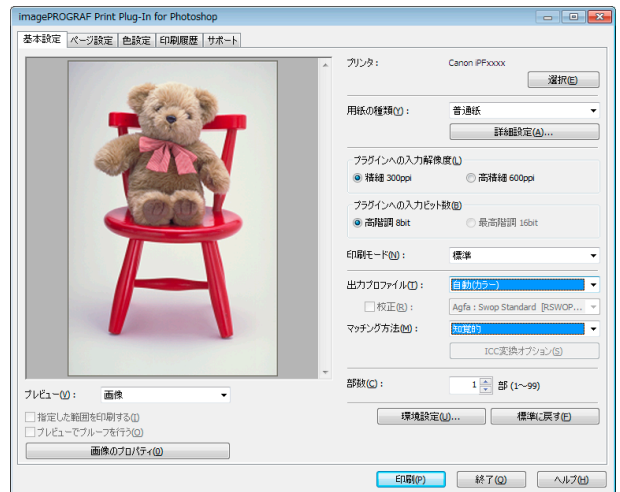
8 [入力]に 120 を、[出力]に 135 を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

9 [印刷]ボタンをクリックします。

画像調整が適用され、印刷が開始されます。

カラーマッチングで色を調整する

スキャナやデジタルカメラなどから取り込んだカラー画像を印刷すると、画面上で見たイメージとは異なることがあります。それは、画面上で表示される色とプリンタが印刷する色に違いがあるためです。Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional では、メディアや解像度設定などに応じて最適な色変換を行う内蔵プロファイルの他、ICC（International Color Consortium）のカラープロファイルを設定したり、マッチングモードの設定を行うことによって、画面上で表示される色合いとプリンタで印刷した色合いをより近付けることができます。

1 [基本設定]シートを表示します。

2 [出力プロファイル]で、プロファイルを選択します。

メモ

- [プレビューでプルーフを行う]にチェックマークを付けると、カラーマッチングをプレビュー表示で確認することができます。[用紙の種類]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。
- [出力プロファイル]で設定した内容は、Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional を終了しても保存されますが、指定したプロファイルが見つからない場合は、[自動（カラー）]に設定されます。
- [出力プロファイル]で ICC プロファイルを選択している場合は、色変換エンジンに Adobe CMM を選択することができます。詳しくは、Adobe CMM を使用する →P.263 を参照してください。

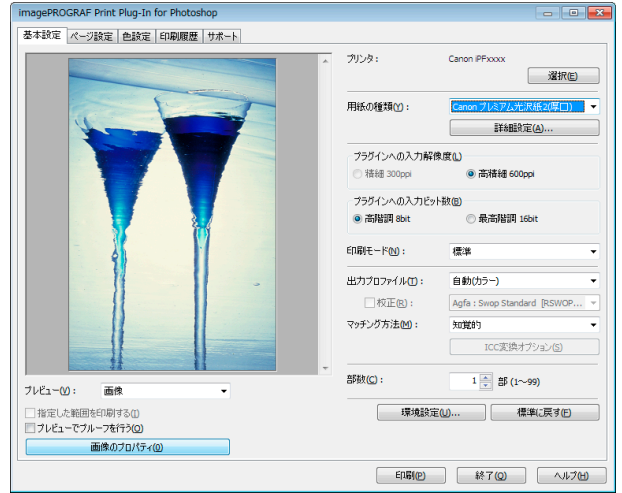
3 [マッチング方法]で、プロファイルのマッチング方法を選択します。

4 [印刷]ボタンをクリックします。

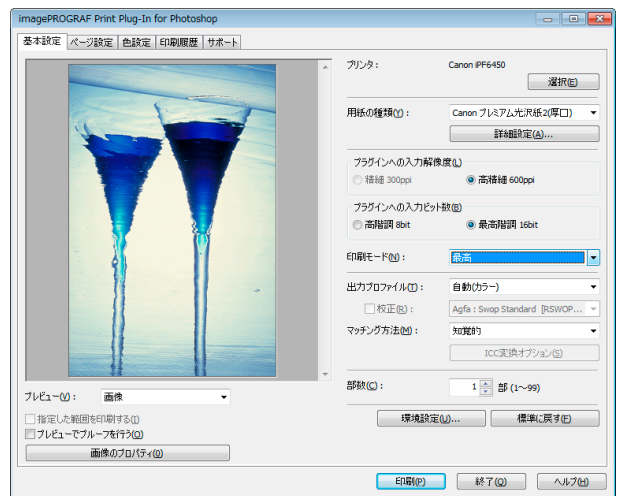
設定した出力プロファイルやマッチング方法で、印刷が開始されます。

Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する

高機能なデジタルカメラで撮影された Adobe RGB16bit の画像を高品位で印刷します。Print Plug-In for Photoshop/ Digital Photo Professional では、Photoshop でレタッチした Adobe RGB16bit の画像データを広色域・高階調のまま直接印刷処理するため、画像の階調性を損なうことなく印刷することができます。

1 Photoshop で Adobe RGB16bit の画像データを選択して、Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional を起動します。(「Photoshop からの起動方法」参照) →P.232

2 [画像のプロパティ]ボタンをクリックします。

3 [画像のプロパティ]ダイアログボックスで、[ビット数]に[16bit/チャンネル]、[色空間]に[Adobe RGB]と表示されていることを確認して、[閉じる]ボタンをクリックします。

4 [基本設定]シートを表示します。

5 [プラグインへの入力解像度]で、[高精細 600ppi]を選択します。

6 [プラグインへの入力ビット数]で、[最高階調 16bit]を選択します。

7 [印刷モード]で、できるだけ高品質の印刷モードを選択します。

8 必要があれば、カラーマッチングで色を調整します。

メモ

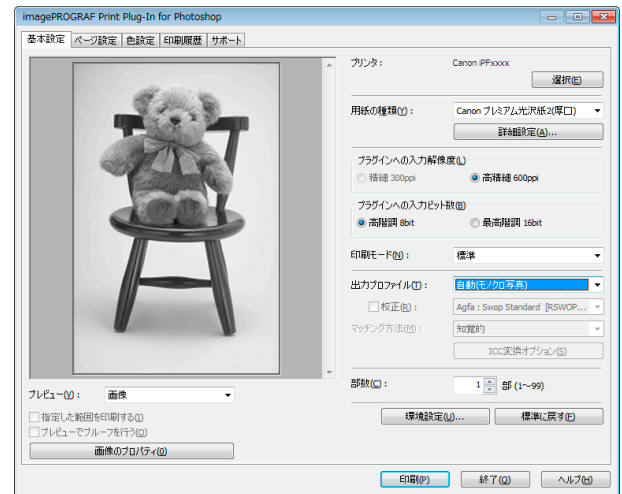
- カラーマッチングについて詳しくは、「カラーマッチングで色を調整する」を参照してください。→P.261

9 [印刷]ボタンをクリックします。

Adobe RGB16bit 画像の印刷が開始されます。

高品質なモノクロの写真を印刷する

スキャナやデジタルカメラなどから取り込んだ画像を、高品質なモノクロで印刷できます。グレーに色がついて見える現象(色転び)を改善したり、光源の影響を小さくしたりすることができます。

1 [基本設定]シートを表示します。

2 [出力プロファイル]で、[自動(モノクロ写真)]を選択します。

メモ

- [自動(モノクロ写真)]は一部の[用紙の種類]を選択した場合にのみ選択できます。

3 [印刷]ボタンをクリックします。

最適なモノクロへの変換が行われ、印刷が開始されます。

Adobe CMM を使用する

Adobe CMM は Adobe 社製の色変換エンジンです。Adobe CMM を使用することにより、色変換結果の一貫性が得られ、また黒点補正機能が使用できるようになります。

- Adobe CMM の入手方法

Adobe CMM は以下の手順で入手します。

1 Adobe 社のウェブサイト(http://www.adobe.com)を開きます。

2 画面内の検索用入力ボックスに「Adobe CMM」と入力します。

3 「Adobe Color Management Module (CMM)」の項目が検索されたら、Windows 版を選択します。

4 画面の指示に従ってファイルをダウンロードします。

5 ダウンロードしたファイルのインストーラを起動し、インストールを行います。

重要

- Adobe CMM はバージョン 1.1 以上を使用してください。

- Adobe CMM の動作環境

Adobe CMM の動作環境は、以下のとおりです。

- 対応 OS
  Windows XP SP2、Windows Vista

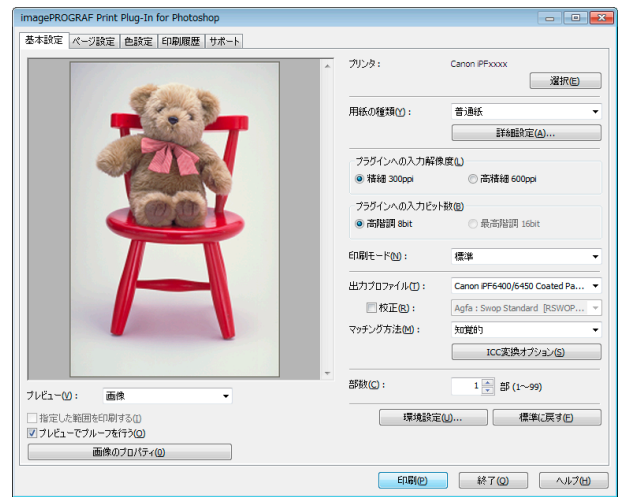
- 対応 CPU
  Intel Xeon、Xeon Dual、Intel Centrino、Pentium 4 プロセッサ

メモ

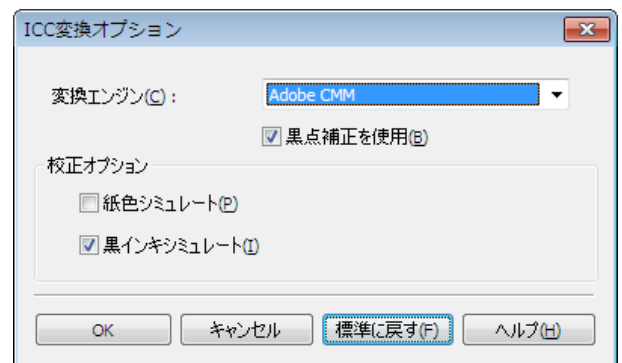
- 詳しくは Adobe 社にご確認ください。

- Adobe CMM の使用方法

Adobe CMM を使用する手順は、以下のとおりです。

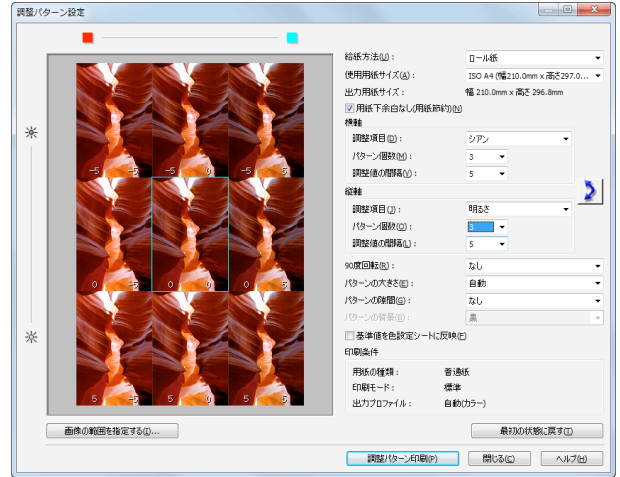
1 [基本設定]シートを表示します。

2 [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

3 [ICC 変換オプション]ボタンをクリックします。

4 [ICC 変換オプション]ダイアログボックスで、[変換エンジン]から[Adobe CMM]を選択します。

5 [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

調整パターンを印刷して調整値を選択する

調整パターンを印刷して画像を比較しながらお好みの調整値を選択することができるため、用紙やインクの節約とともに調整結果を繰り返し確認する時間を節約することができます。
調整パターンの表示と印刷の手順は以下のとおりです。

1. [色設定]シート(カラーまたはモノクロ)を表示して、基準となる調整値を決めます。

2. [調整パターン設定]ボタンをクリックして、[調整パターン設定]ダイアログボックスを表示します。

3. [横軸]および[縦軸]で[調整項目]、[パターン個数]、[調整値の間隔]を設定します。
画像の一部を調整パターンとして確認したい場合は、[画像の範囲を指定する]ボタンをクリックし、[画像の範囲指定]ダイアログボックスで確認したい範囲を選択して[OK]ボタンをクリックします。

4. 必要に応じて[90 度回転]、[パターンの大きさ]、[パターンの隙間]、[パターンの背景]を設定します。

5. [給紙方法]で、印刷する用紙の給紙方法を選択します。

6. [使用用紙サイズ]で、印刷する用紙のサイズを選択します。

7. [調整パターン印刷]ボタンをクリックします。
調整パターンの印刷が開始されます。

8. 調整パターンの中からお客様のイメージに一番近い画像を確認し、該当するプレビューエリア上の画像をクリックします。

9 他に調整したい項目がある場合は、[調整項目]を選択し、手順7、8の作業を行います。

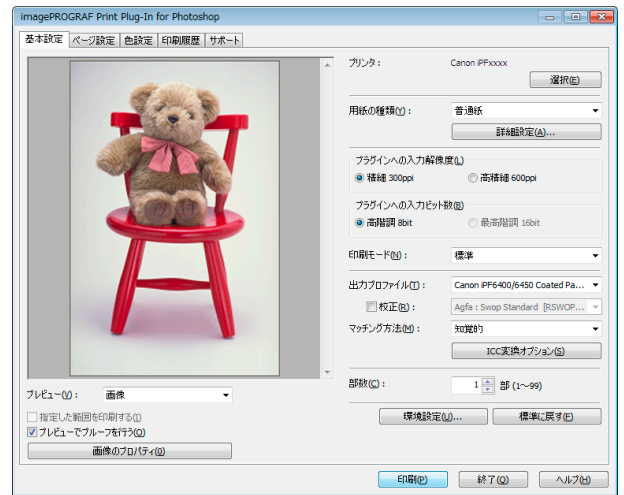
10 お好みの画像に調整できたら、[基準値を色設定シートに反映]チェックボックスをオンにして[閉じる]ボタンをクリックします。
[色設定]シート(カラーまたはモノクロ)に、これまでの調整値が反映されます。

黒点補正を行う

以下の手順により、Photoshop と同等の黒点補正を行うことができます。画像の暗部潰れを避けたいときに使用します。

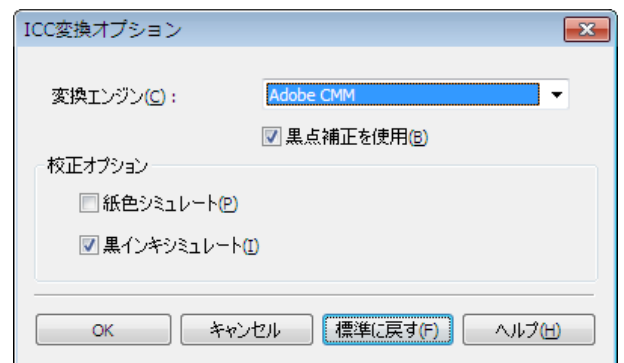
重要

- 黒点補正を使用するには、Adobe CMM をインストールする必要があります。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.263 を参照してください。

1 [基本設定]シートを表示します。

2 [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

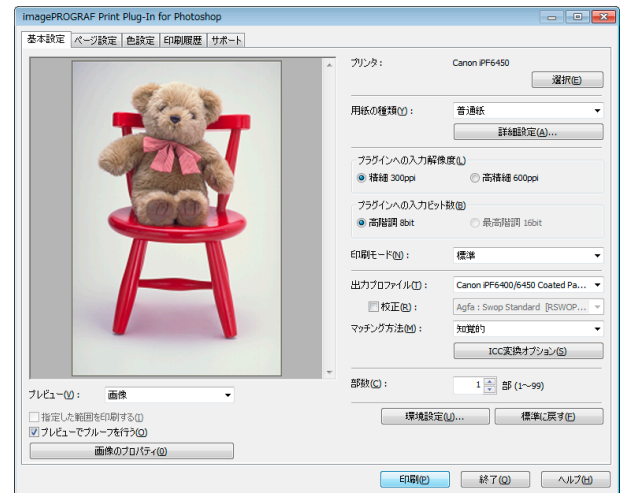
3 [ICC 変換オプション]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを開きます。

4 [変換エンジン]で[Adobe CMM]を選択します。

5 [黒点補正を使用]にチェックマークを付けます。

6 [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

印刷機のシミュレーション印刷を行う

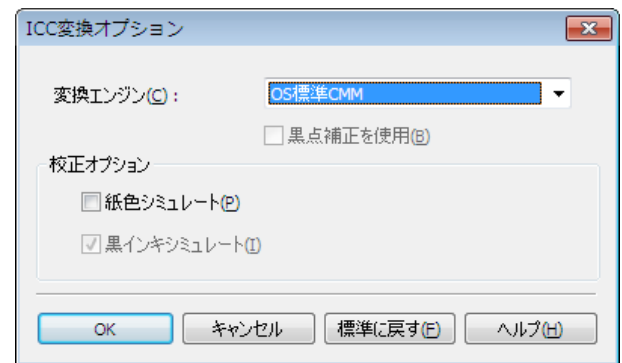
Japan Color や SWOP などの ICC プロファイルや印刷機用の ICC プロファイルを指定して、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。

1 [基本設定]シートを表示します。

2 [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

3 [校正]にチェックマークを付け、右のリストからターゲットにしたい印刷機のプロファイルを選択します。

4 [ICC 変換オプション]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを開きます。

5 必要に応じて、[校正オプション]の設定を行います。

メモ

- 校正のオプションとして[紙色シミュレート]と[黒インキシミュレート]があります。[変換エンジン]の設定によって、選択できるオプションは異なります。

6 [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

7 [印刷]ボタンをクリックします。
印刷が開始されます。

拡大/縮小して印刷する

画像の実サイズよりも大きく印刷、または小さく印刷することができます。
拡大/縮小印刷するには、以下の 3 つの方法があります。

- 出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する →P.268
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する →P.268
- 倍率を指定して拡大/縮小印刷する →P.270

出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する

プリンタにセットされている用紙を指定することで、用紙の印刷領域に合わせて画像を拡大/縮小して印刷することができます。指定した出力用紙いっぱいに画像を印刷したいときに使用すると便利です。

メモ

- ロール紙の幅いっぱいに印刷したい場合は、「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する」を参照してください。→P.268
- ロール紙への印刷に対して以下の手順を行うと、[出力用紙サイズ]で設定した出力用紙サイズに合わせて印刷されます。

1 [ページ設定]シートを表示します。

2 [出力用紙サイズ]で、出力したい用紙のサイズを選択します。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

3 [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ

- [縦]を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- [横]を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

4 [拡大/縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

5 [出力用紙サイズに合わせる]を選択します。

6 [印刷]ボタンをクリックします。

画像が出力用紙サイズいっぱいになるように印刷されます。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する

プリンタにセットされているロール紙の幅に合わせて画像を拡大/縮小して印刷することができます。ロール紙幅いっぱいに画像を印刷したいときに使用すると便利です。

メモ

- プリンタにロール紙がセットされていない場合は、正しく印刷されません。

1 [ページ設定]シートを表示します。

2 [給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

3 [ロール紙オプション]ボタンをクリックします。

4 ロール紙のオプションを設定して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [ロール紙オプション]ダイアログボックスについて詳しくは、「ロール紙オプションダイアログボックス」を参照してください。 →P.252
- [標準に戻す]ボタンをクリックすると、ロール紙オプションの設定が初期値に戻ります。

5 [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ

- [縦]を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- [横]を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

6 [拡大/縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

7 [ロール紙の幅に合わせる]を選択します。

8 [印刷]ボタンをクリックします。

画像がロール紙幅サイズいっぱいになるように印刷されます。

倍率を指定して拡大/縮小印刷する

画像を拡大/縮小するための倍率を指定して、印刷することができます。お好みの大きさで画像を印刷したいときに使用すると便利です。

1 [ページ設定]シートを表示します。

2 [出力用紙サイズ]で、出力したい用紙のサイズを選択します。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

3 [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ

- [縦]を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- [横]を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

4 [拡大/縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

5 [倍率を指定する]を選択して、半角数字で倍率を入力するか、プレビュー画面の四隅をドラッグします。

メモ

- 倍率は 0.01%単位で指定することができます。
- 倍率は、5.00〜600.00%の範囲で、指定することができます。
- 縦横のサイズは等倍率で拡大/縮小されます。

6 [印刷範囲レイアウト]のプレビュー表示で画像をドラッグするか、[印刷レイアウト]で印刷位置を設定します。

7 [印刷]ボタンをクリックします。

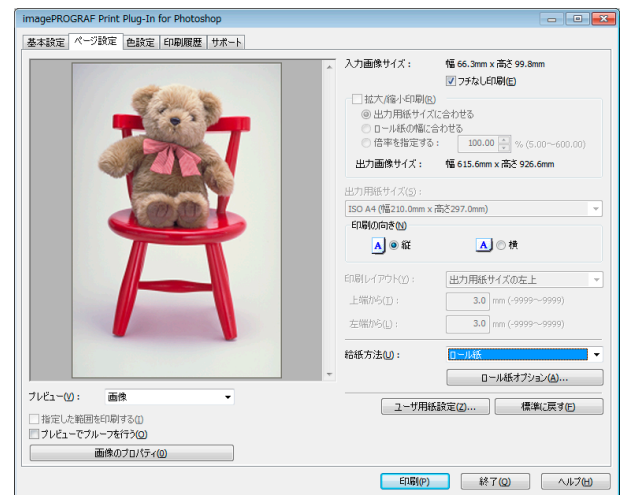
設定した倍率で印刷が開始されます。

フチなしで印刷する

フチなし印刷機能を使用して、画像の周囲に余白を取らずに印刷することができます。

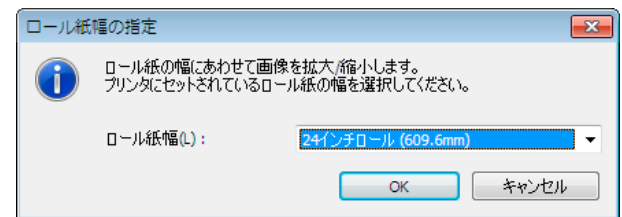
メモ

- 用紙の種類によっては、2 辺のみのフチなしで印刷されます。
- フチなし印刷機能を使用するには、プリンタに専用の用紙がセットされている必要があります。

1 [ページ設定]シートを表示します。

2 [給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

3 [フチなし印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ

- [ロール紙幅の指定]ダイアログボックスの[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

4 [印刷]ボタンをクリックします。

フチなしの設定で印刷が開始されます。

用紙の設定をカスタマイズする

用紙の設定をカスタマイズすることができます。

1 [基本設定]シートを表示します。

2 [用紙の種類]で、カスタマイズしたい用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

3 [詳細設定]ボタンをクリックします。

4 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.249 で、各種設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

印刷履歴を活用する

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional では各種設定を行って印刷すると、印刷履歴として各種設定が保存されます。ファイルとして書き出したり、読み込んだりすることができます。よく使用する印刷履歴は、お気に入りとして名前を付けて登録することもできます。

メモ

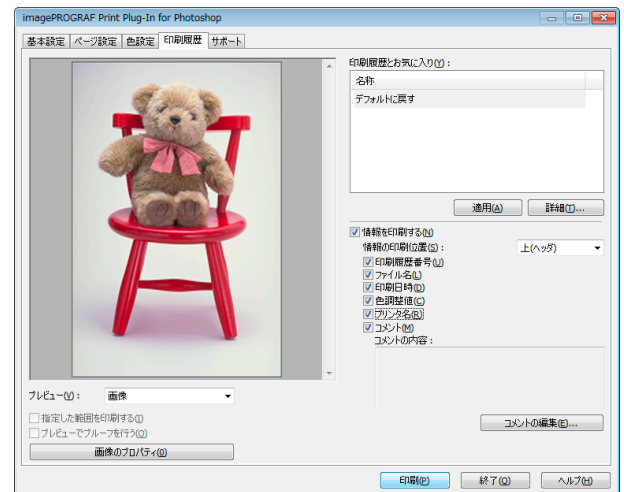
- 印刷履歴は、200 件まで保存することができます。印刷履歴数が 200 件を超えると、古い順から自動的に削除されます。

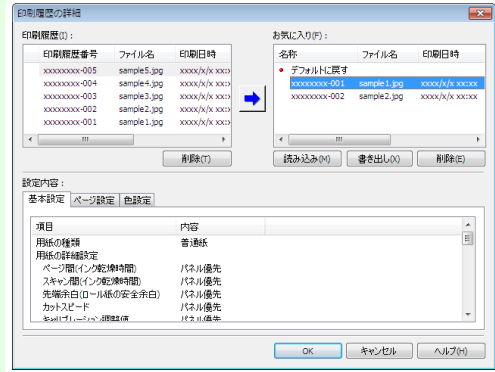
印刷履歴を活用してできることは、以下のとおりです。

- 印刷履歴の詳細を確認する →P.272
- 印刷履歴を画像に適用する →P.273
- 印刷履歴をお気に入りに登録する →P.273
- 印刷履歴を削除する →P.275
- お気に入りの印刷履歴を書き出す →P.277
- お気に入りに印刷履歴を読み込む →P.278
- お気に入りから印刷履歴を削除する →P.279
- 情報を画像とともに印刷するよう設定する →P.280

印刷履歴の詳細を確認する

印刷履歴の詳細を確認することができます。

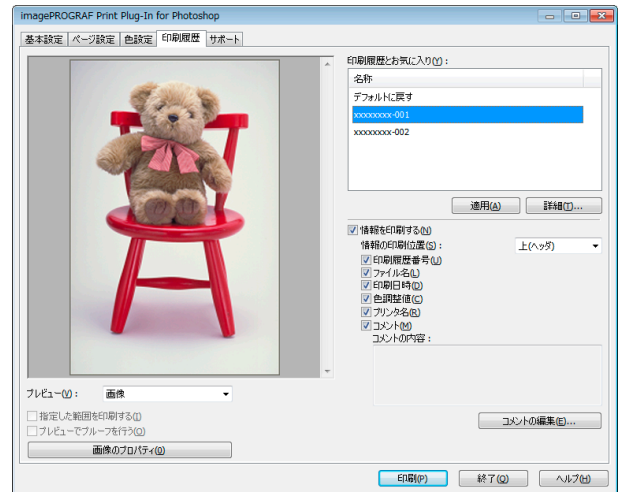
1 [印刷履歴]シートを表示します。

2 [詳細]ボタンをクリックします。

- [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]または[お気に入り]から詳細を確認したい印刷履歴を選択します。

3 [設定内容]で印刷履歴の詳細を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

- 印刷履歴の詳細内容は、シートを切り替えて表示することができます。

印刷履歴を画像に適用する

過去の印刷履歴を呼び出して、画像に適用することができます。

1 [印刷履歴]シートを表示します。

2 必要があれば印刷履歴の詳細を確認します。(「印刷履歴の詳細を確認する」参照) →P.272

3 [印刷履歴とお気に入り]から適用したい印刷履歴を選択して、[適用]ボタンをクリックします。

印刷履歴をお気に入りに登録する

よく使用する印刷履歴をお気に入りとして登録することができます。お気に入りに登録しておくと個別の名称を付けられるだけでなく、簡単に呼び出すこともできます。

- お気に入りに登録できる印刷履歴は、200 件までです。

1 [印刷履歴]シートを表示します。

2 [詳細]ボタンをクリックします。

3 [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]からお気に入りに登録したい印刷履歴を選択して、[設定内容]で印刷履歴の詳細を確認します。

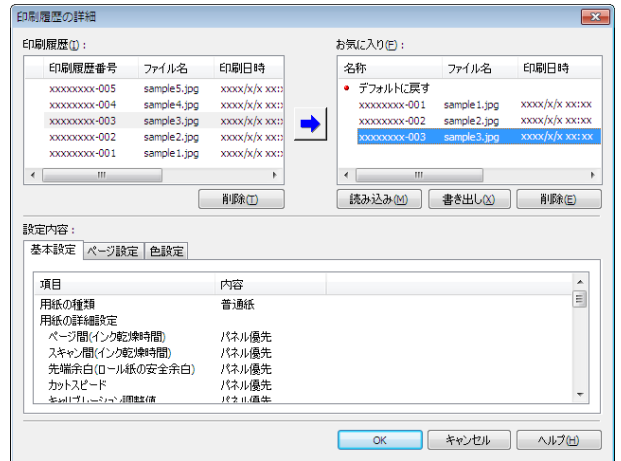
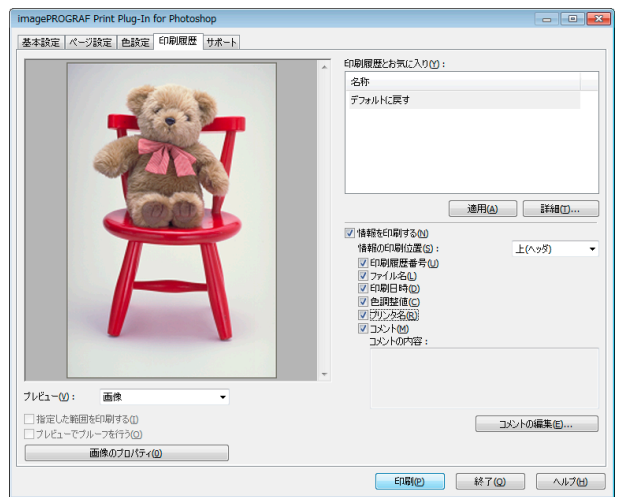
4 [印刷履歴]からお気に入りに登録したい印刷履歴を選択して、 ➡ ボタンをクリックします。

5 [お気に入りの追加]ダイアログボックスで、[名称]に印刷履歴の名称を入力し、[コメント]にコメントを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

6 [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

印刷履歴を削除する

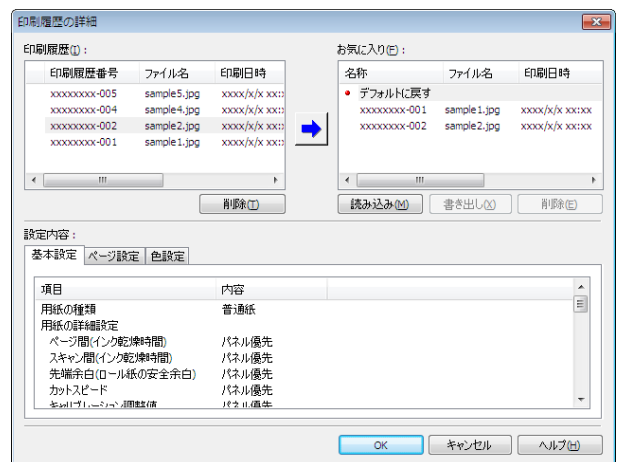
印刷履歴を削除することができます。

重要

- 削除した印刷履歴は元には戻せませんので、ご注意ください。

1 [印刷履歴]シートを表示します。

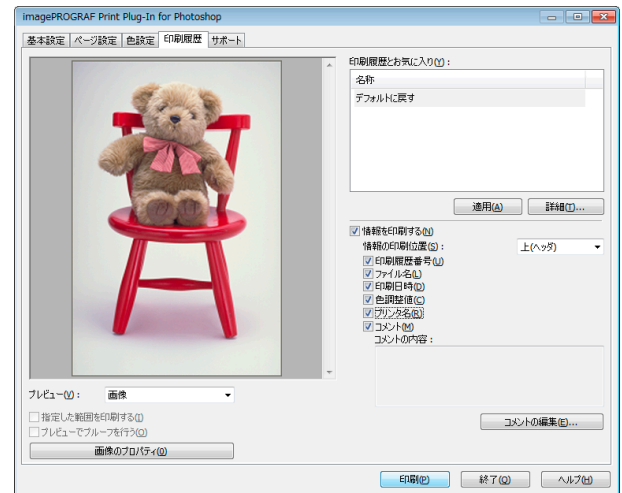
2 [詳細]ボタンをクリックします。

3 [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]から削除したい印刷履歴を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

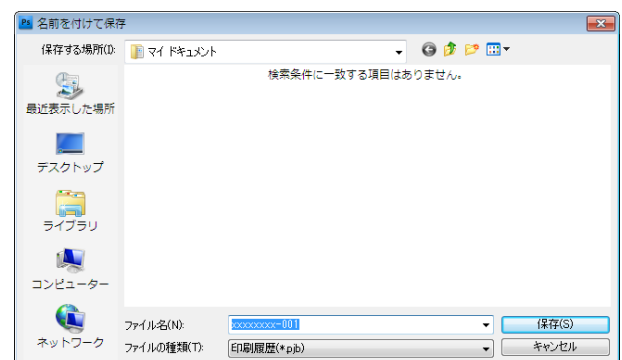
4 [OK]ボタンをクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りの印刷履歴を書き出す

お気に入りに登録した印刷履歴をファイルに書き出すことができます。

1 [印刷履歴]シートを表示します。

2 [詳細]ボタンをクリックします。

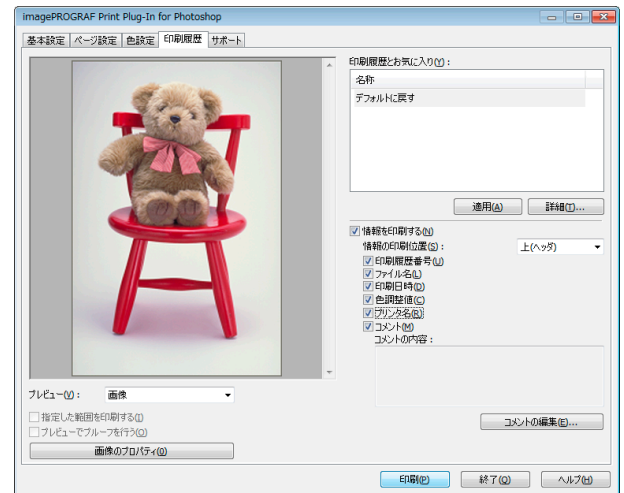
3 [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]から書き出したい印刷履歴を選択して、[書き出し]ボタンをクリックします。

4 [名前を付けて保存]ダイアログボックスで、[ファイル名]に印刷履歴のファイル名を入力して、[保存]ボタンをクリックします。

指定したファイル名で印刷履歴が書き出されます。

5 [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りに印刷履歴を読み込む

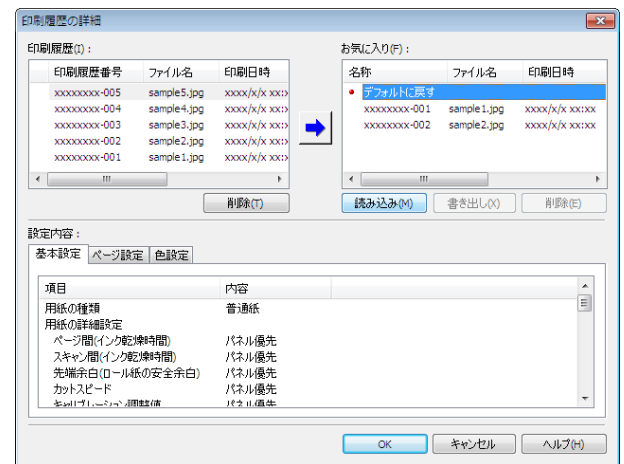
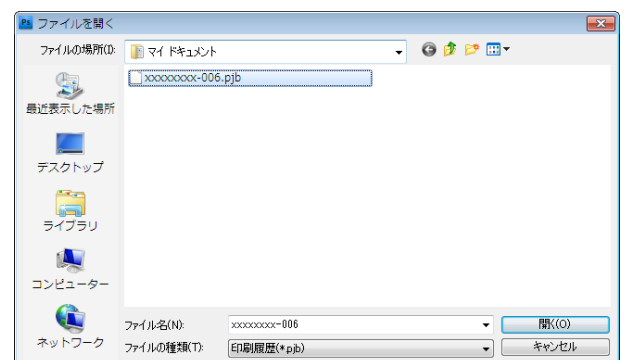
ファイル形式の印刷履歴を読み込んで、お気に入りに登録することができます。

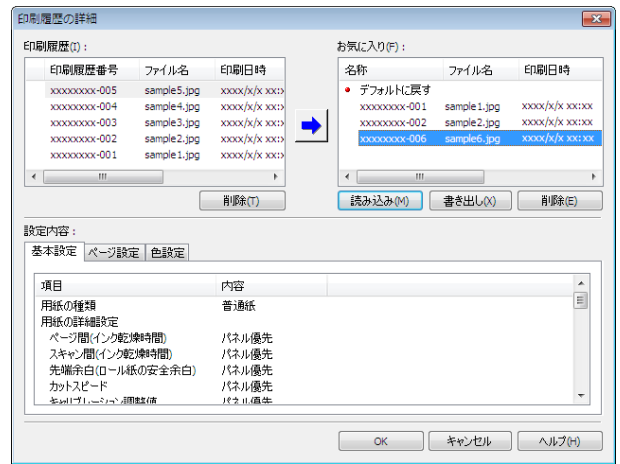
1 [印刷履歴]シートを表示します。

2 [詳細]ボタンをクリックします。

3 [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]の[読み込み]ボタンをクリックします。

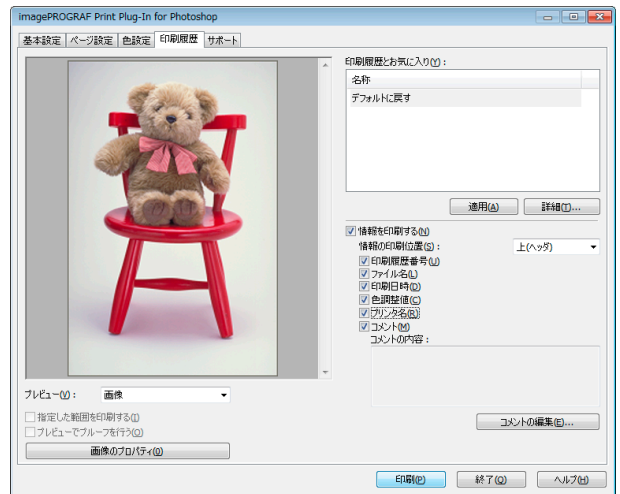
4 [ファイルを開く]ダイアログボックスで、読み込みたい印刷履歴ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

印刷履歴が読み込まれます。

メモ

- 印刷履歴ファイルの拡張子は*.pjb です。
- 異なる OS の Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional で書き出された印刷履歴ファイルを読み込むことはできません。
- 異なるプリンタの Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional で書き出された印刷履歴ファイルを読み込むことはできません。

5 [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りから印刷履歴を削除する

お気に入りに登録した印刷履歴をお気に入りから削除することができます。お気に入りは、200 件を超えて登録することはできません。

1 [印刷履歴]シートを表示します。

2 [詳細]ボタンをクリックします。

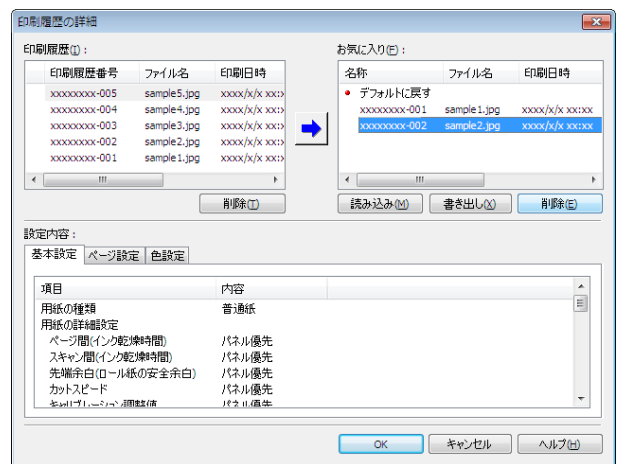
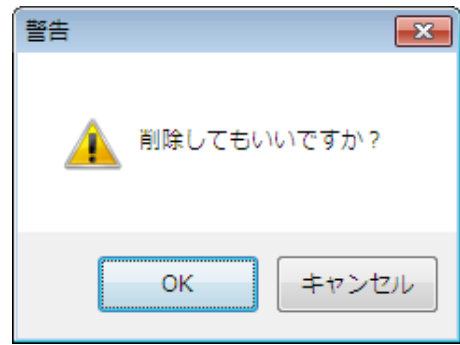
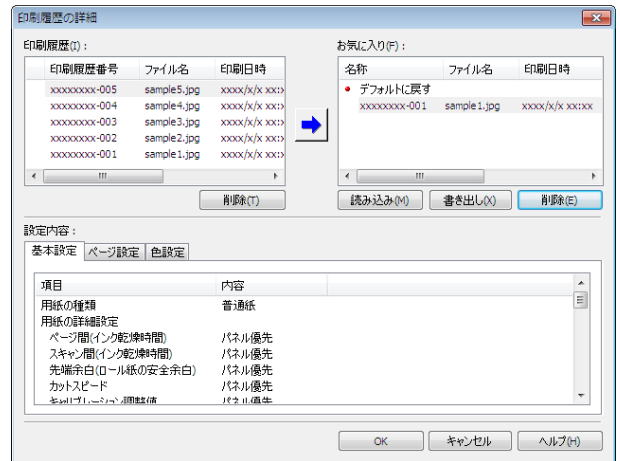
3 [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]から削除したい印刷履歴を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

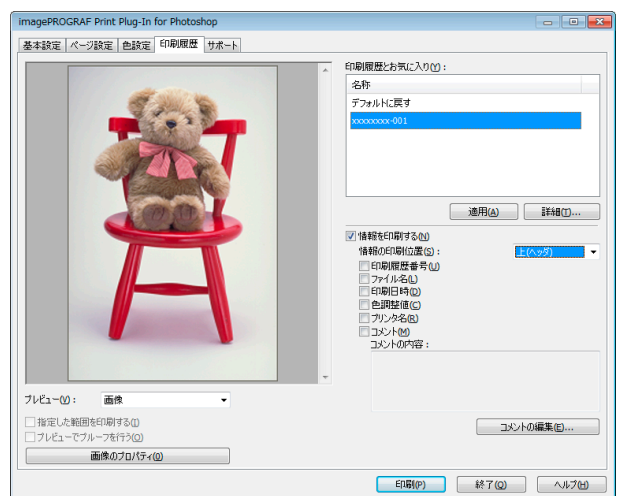
4 [OK]ボタンをクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

情報を画像とともに印刷するよう設定する

ファイル名や印刷日時などの印刷に関連した情報を、画像といっしょに印刷することができます。

メモ

- フチなし印刷機能を使用して印刷する場合は、印刷に関連した情報は印刷されません。(「フチなしで印刷する」参照) →P.270
- 印刷される情報が長すぎて用紙内に収まらない場合は、途中で切れた状態で印刷されます。
- 画像データのサイズや拡大率、印刷位置の値によっては、画像データ上に情報が印刷されてしまうことがあります。
- プリンタ本体で[外形サイズ優先]が[オン]に設定されている場合は、印刷データの下部が一部印刷されないことがあります。

1 [印刷履歴]シートを表示します。

2 [情報を印刷する]をクリックしてチェックマークを付けます。

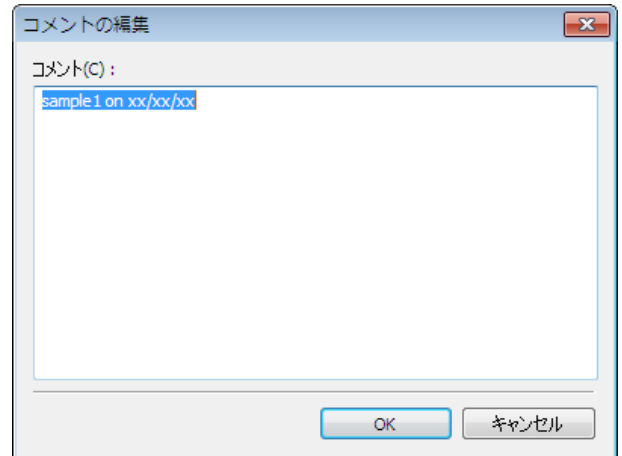
3 [情報の印刷位置]で、情報を印刷したい位置を選択します。

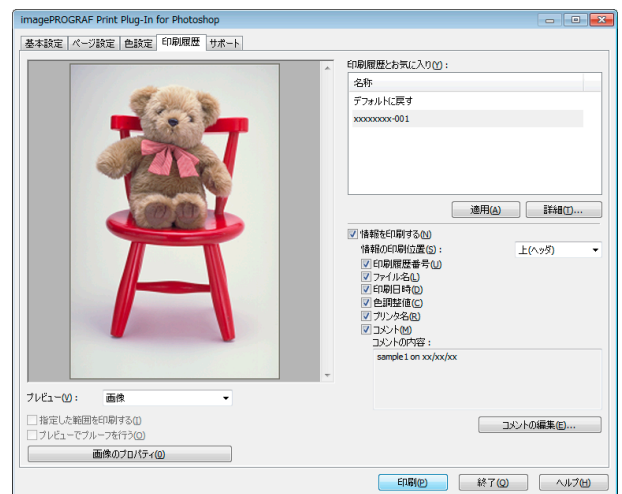
4 印刷したい情報をクリックしてチェックマークを付けます。

5 コメントを編集したい場合は、[コメントの編集]ボタンをクリックします。

メモ

- コメントの編集が必要ない場合は手順7に進んでください。

6 [コメントの編集]ダイアログボックスで、コメントを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

7 [印刷]ボタンをクリックします。

コメントとともに画像が印刷されます。

Layout Plug-In for Photoshop

Layout Plug-In について 282
Layout Plug-In メインウィンドウ 282
フレームサイズの追加ダイアログボックス 284
フレーム装丁用のレイアウトイメージを作成して印刷する 285

Layout Plug-In について

Photoshop から Layout Plug-In を起動して、写真を印刷してフレームに装丁する際、フレーム側面まで画像で覆うレイアウトイメージを作成することができます。

メモ

- Layout Plug-In は Photoshop CS5、Photoshop CS4、Photoshop CS3 で使用できます。
- Layout Plug-In で作成したレイアウトイメージは、そのまま Print Plug-In for Photoshop から印刷できます。

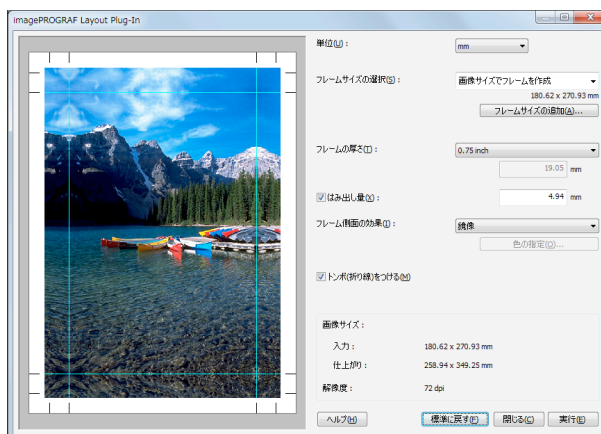
Layout Plug-In の機能については、「Layout Plug-In メインウィンドウ」を参照してください。→P.282
起動方法と使い方については、「フレーム装丁用のレイアウトイメージを作成して印刷する」を参照してください。
→P.285

Layout Plug-In メインウィンドウ

写真を印刷してフレームに装丁する際に、フレーム側面まで画像で覆うように仕上げるためのレイアウトイメージを作成します。
設定した内容は Layout Plug-In メインウィンドウ左側のプレビューエリアで確認できます。

- ［単位］

単位を mm、inch、pixel から選択できます。

重要

- mm または inch で入力した数値は、一旦 pixel に換算してから mm または inch に再度換算するため、入力した値と異なる数値で表示される場合があります。

- [フレームサイズの選択]

フレームのサイズを選択します。[画像サイズでフレームを作成]を選択すると、画像サイズをフレームサイズとして扱います。画像サイズに合わせてフレームを用意する場合にお勧めします。

- [フレームサイズの追加]ボタン

ボタンをクリックすると[フレームサイズの追加]ダイアログボックスが表示され、[カスタムフレームサイズ]の登録ができます。(「フレームサイズの追加ダイアログボックス」参照) →P.284

- [フレームの厚さ]

フレームの厚さ(フレーム側面の量)を指定します。0.75inch(約 19mm)または 1.5inch(約 38mm)から選択できますが、任意の厚さの指定も可能です。

重要

- mm または inch で入力した数値は、一旦 pixel に換算してから mm または inch に再度換算するため、入力した値と異なる数値で表示される場合があります。

- [はみ出し量]

チェックボックスをオンにすると、フレーム側面からのはみ出し量が設定できます。装丁時にフレーム側面に紙白が生じるのを防ぐことができます。

重要

- mm または inch で入力した数値は、一旦 pixel に換算してから mm または inch に再度換算するため、入力した値と異なる数値で表示される場合があります。

- [フレーム側面の効果]

フレームの効果を以下から選べます。

  - [画像]
    フレーム側面まで画像で覆います。
  - [画像(ぼかし)]
    フレーム側面の画像をガウス処理します。
  - [鏡像]
    フレーム側面の画像を鏡像にします。
  - [鏡像(ぼかし)]
    フレーム側面の画像を鏡像にしてガウス処理します。
  - [白]
    フレーム側面を紙白にします。
  - [黒]
    フレーム側面を黒にします。
  - [指定色]
    フレーム側面を指定した色にします。色の指定は[色の指定]ボタンをクリックして行います。

- [トンボ(折り線)をつける]

チェックボックスをオンにすると、フレームに装丁する際に、用紙を折る位置の目安として画像の外側にトンボを印刷します。

- 情報表示

以下の情報が表示されます。

  - [入力]
    レイアウトイメージを作成する前のオリジナル画像のサイズを表します。
  - [仕上がり]
    入力画像サイズにフレーム側面、トンボ、はみ出し量を追加した、レイアウトイメージ全体の画像サイズを表します。
  - [解像度]
    画像の解像度を表示します。オリジナル画像の解像度から変化しません。Layout Plug-In で画像サイズを変更する場合は、オリジナル画像と同じ解像度を維持して、バイキュービック法での再サンプルが行われます。

画像の pixel 数を変更(再サンプル)したくない場合は、[フレームサイズの選択]で[画像サイズでフレームを作成]を選択し、[フレーム側面の効果]で[画像]または[画像(ぼかし)]以外を選択してください。この場合は画像の拡大または縮小は行われません。

- [標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、設定値がリセットされます。

- [閉じる]ボタン

ボタンをクリックすると、Layout Plug-In が終了し、その時点での設定値が保存されます。また、次回 Layout Plug-In を起動したときは、前回の設定値が適用されます。

- [実行]ボタン

ボタンをクリックすると Print Plug-In for Photoshop が起動します。作成したレイアウトイメージを印刷する場合は、Print Plug-In for Photoshop メインウインドウの[印刷]ボタンをクリックしてください。

重要

- Print Plug-In を終了すると、作成したレイアウトイメージは破棄されます。

メモ

- 複数機種の Print Plug-In for Photoshop がインストールされている場合、[実行]ボタンをクリックすると機種選択画面が表示されます。
- 印刷後に Print Plug-In for Photoshop メインウィンドウを閉じると、Layout Plug-In メインウィンドウが再度表示されます。
- レイアウトイメージのサイズがプリンタで印刷可能な用紙サイズを超えている場合、あらかじめレイアウトイメージのサイズを出力用紙サイズまで縮小してから印刷してください。

フレームサイズの追加ダイアログボックス

Layout Plug-In メインウィンドウで[フレームサイズの追加]ボタンをクリックすると表示されます。任意のフレームサイズ(カスタムフレームサイズ)の登録や削除ができます。

[閉じる]ボタンをクリックすると、[フレームサイズの追加]ダイアログボックスを閉じます。

フレームサイズを追加する

1. [単位]で追加するフレームサイズの幅と高さの単位を決めます。
2. [サイズ]で追加するフレームサイズの幅と高さを入力します。
   [サイズ一覧]で表示しているサイズを選択すると、[サイズ]欄の[幅]と[高さ]に数値が表示されます。[入力画像サイズ]を選択した場合は、入力画像のサイズがそのままフレームの幅と高さになります。
   [画像の縦横比を固定して作成]チェックボックスをオンにすると、入力画像の縦横比でのカスタムサイズが作成できます。例えば幅を変更した場合、入力画像の縦横比に従って高さも変更されます。
3. [カスタムフレームサイズ名]に追加するフレームサイズの名前を入力します。
4. [登録]ボタンをクリックします。

フレームサイズを削除する

1 [サイズ一覧]から削除したい[カスタムフレームサイズ名]を選択します。

2 [削除]ボタンをクリックします。

メモ
- [名称]に赤丸がついているサイズは削除できません。

フレーム装丁用のレイアウトイメージを作成して印刷する

フレーム装丁用のレイアウトイメージを作成して印刷する手順は以下のとおりです。

1 Photoshop を起動します。

2 レイアウトする画像を開き、必要に応じて Photoshop で画像編集を行います。

3 Photoshop の[ファイル]メニューの[自動処理]から[imagePROGRAF Layout Plug-In]を選択します。
Layout Plug-In が起動して、Layout Plug-In メインウィンドウが表示されます。

メモ
- Layout Plug-In で扱える画像は、幅および高さが 60,000pixel 未満のものです。画像の幅または高さが 60,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4 装丁するフレームに合わせてフレームサイズを選択し、フレーム側面の効果などを追加したレイアウトイメージを作成します。
詳しくは、「Layout Plug-In メインウィンドウ」を参照してください。 →P.282

重要
- 作成したレイアウトイメージを Photoshop で加工することはできません。

5 レイアウトイメージの作成が完了したら、Print Plug-In for Photoshop を起動して、レイアウトイメージのサイズより大きめの用紙に印刷します。

重要
- [閉じる]ボタンをクリックして Layout Plug-In を終了すると、作成したレイアウトイメージは破棄されます。

6 印刷したレイアウトイメージをフレームに装丁します。

重要
- 印刷した用紙は、十分に乾燥させてからフレームに装丁してください。
- フレームに装丁する際に、印刷面に触れるとインクが剥がれてしまう場合がありますのでご注意ください。

メモ
- 印刷した用紙はフレームに沿って折り曲げる際に、用紙の種類によっては折り曲げた部分が割れて下地が見えてしまう場合があります。折り曲げる前に市販のインクジェット用保護スプレーやインクジェット用液状ラミネート剤を使用しておくことで、折り曲げ部の割れをある程度防げます。

Print Plug-In for Office

Print Plug-In for Office の特長 286
インストール手順 286
アンインストール手順 289
Print Plug-In for Office が表示されないときには 289

Microsoft Word からの起動方法 292
ロール紙幅に合わせて印刷する(Word) 294
フチなし印刷する(Word) 296
割り付け印刷する(Word) 298
設定を登録する(Word) 299
登録した設定で印刷する(Word) 300
垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(Word) 301

Microsoft PowerPoint からの起動方法 303
ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint) 305
フチなし印刷する(PowerPoint) 306
割り付け印刷する(PowerPoint) 309
設定を登録する(PowerPoint) 310
登録した設定で印刷する(PowerPoint) 311
垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(PowerPoint) 312

Microsoft Excel からの起動方法 314
シート全体を印刷する(Excel) 315
選択した範囲を印刷する(Excel) 318
とじしろを設定する(Excel) 320

処理オプションを設定する 321

Print Plug-In for Office の特長

[Print Plug-In for Office]は[Microsoft Office]から簡単に印刷を行うための Plug-In です。

- ツールバー/リボンに表示されるので簡単にアクセスできます。
- ウィザード形式で選択していくだけで設定できます。
- [Microsoft Word]や[Microsoft PowerPoint]からは[長尺印刷]のカスタムサイズの設定もウィザードで設定できます。
- [Microsoft Excel]では自動的にカスタムサイズの設定ができます。
- 印刷前にプレビュー画面を起動し、レイアウトを確認することができます。

メモ

- 64 ビット版 Windows OS では、WOW64(32 ビットエミュレータ)上でのみ動作します。

重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]をインストール後、[Microsoft Office]に[Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンが表示されないことがあります。詳しくは、Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.289 を参照してください。
- [Internet Explorer]から Office ドキュメントを開いた場合、正常に動作しません。
- 埋め込みオブジェクトやリンクオブジェクトを編集している場合、正常に動作しません。
- [Microsoft Office 2007/2010]のクイックアクセスツールバーに[imagePROGRAF Print Plug-In]リボンを追加した場合、正常に動作しません。

インストール手順

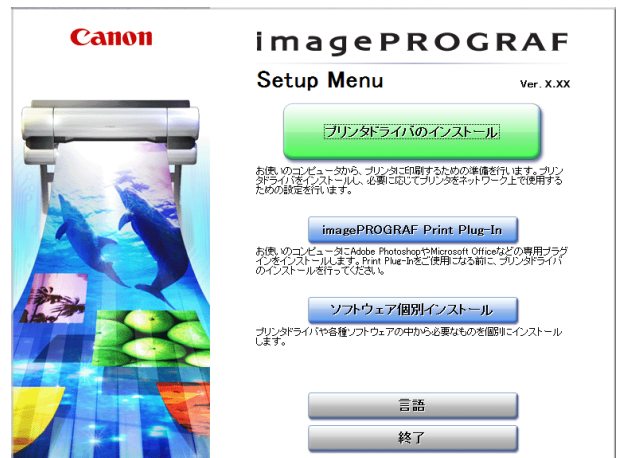
[Print Plug-In for Office]をインストールする手順は、以下のとおりです。

メモ

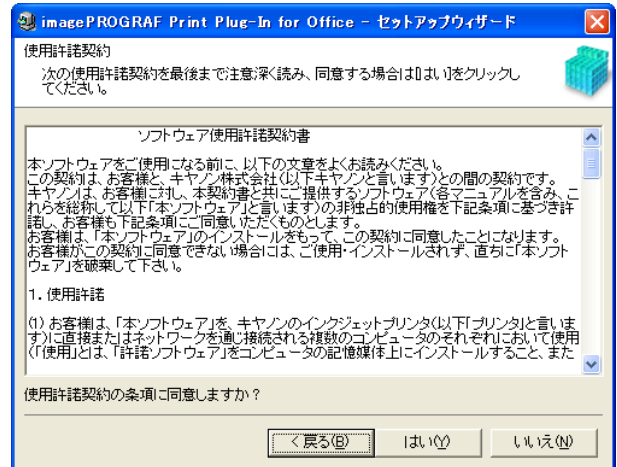
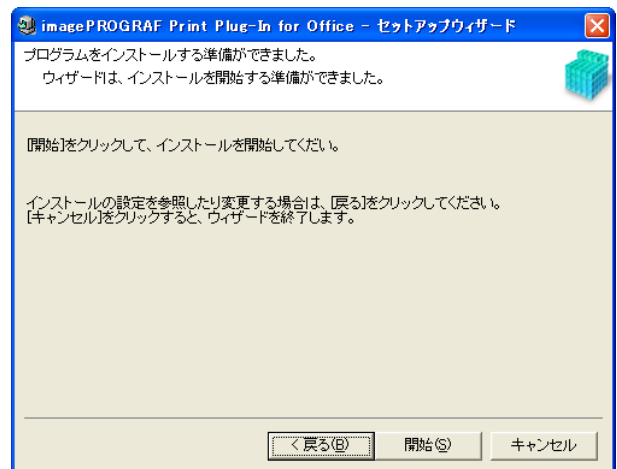
- インストールする前に Administrator 権限で Windows にログオンする必要があります。

1 CD-ROM ドライブに、「User Software CD-ROM」を挿入し、インストーラを起動します。

- インストーラの画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]から CD-ROM アイコンを開き、[setup.exe]をクリックし、アイコンを開きます。

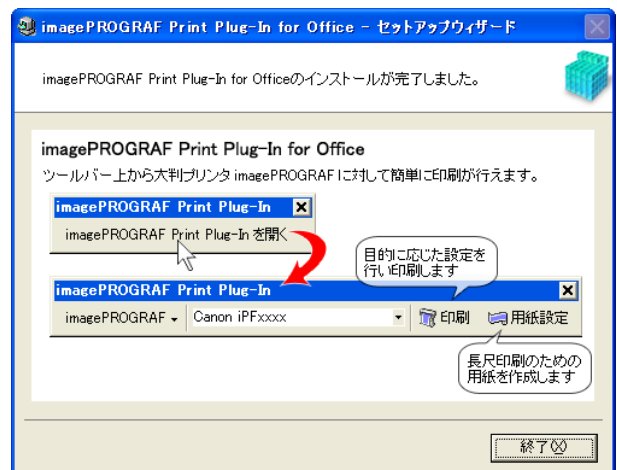
2 [ソフトウェア個別インストール]ボタンをクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]の[インストール]をクリックします。

4 [次へ]ボタンをクリックします。

5 [使用許諾契約]を読んで、[はい]ボタンをクリックします。

6 [開始]ボタンをクリックします。

7 [はい]ボタンをクリックします。

8 [終了]ボタンをクリックします。

[Print Plug-In for Office]のインストールが終了します。

Windows ソフトウエア
Print Plug-In for Office

重要

- 本ソフトウェアをインストールすると、仮想プリンタ[Canon imagePROGRAF PrintPlugIn]がインストールされる場合があります。本ソフトウェアを使用する場合、仮想プリンタ[Canon imagePROGRAF PrintPlugIn]をアンインストールしないでください。
- [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]をインストール後、[Microsoft Office]に[Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンが表示されないことがあります。
  [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンを表示する方法については、以下のトピックを参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.289

アンインストール手順

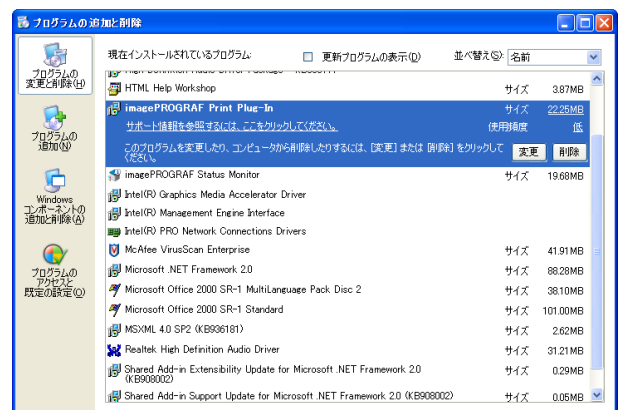
[Print Plug-In for Office]をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

1 [Microsoft Office]を開いている場合は閉じます。

2 [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。

3 [プログラムの追加と削除]を開きます。

4 [imagePROGRAF Print Plug-In]を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- Office アプリケーションが起動していると[Print Plug-In for Office]のアンインストールはできません。メッセージが表示されたら、[キャンセル]を選択して起動している全ての Office アプリケーションを閉じてください。

Print Plug-In for Office が表示されないときには

[Word]、[PowerPoint]、[Excel]の Microsoft Office アプリケーションで、[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]ボタンなどが表示されず[Print Plug-In for Office]の機能が使用できないことがあります。
その場合は[Print Plug-In for Office]を再インストールしてください。
また、[Microsoft Office 2003]以降の場合はアドインを有効にし、[Print Plug-In for Office]を表示させることもできます。
再インストール、またはアドインを有効にする手順については以下を参照してください。

[Print Plug-In for Office]を再インストールする

[Microsoft Office]アプリケーションは、システムやアプリケーションなどの異常終了などが発生した場合、安全のためにアドインを無効にします。
その場合、[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンを表示させるために、[Print Plug-In for Office]を再インストールする必要があります。

メモ

- Office アプリケーションが起動していると[Print Plug-In for Office]の再インストールはできません。メッセージが表示されたら、[キャンセル]を選択して起動している Office アプリケーションを閉じてください。

[Print Plug-In for Office]を再インストールするには、次の手順で操作します。

1 [Microsoft Office]を開いている場合は閉じます。

2 [Print Plug-In for Office]をインストールします。
インストールについては、「インストール手順」を参照してください。 →P.286

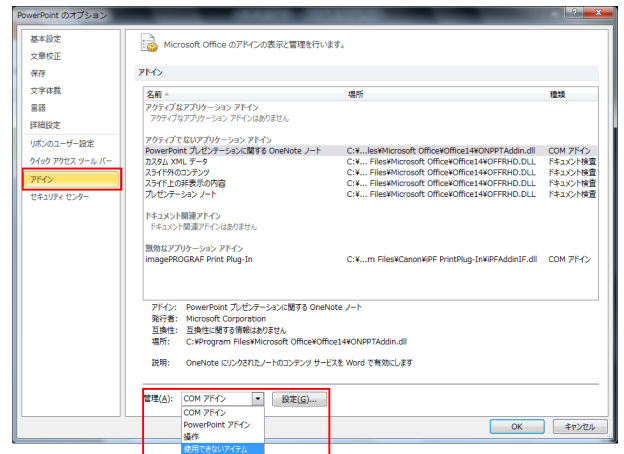
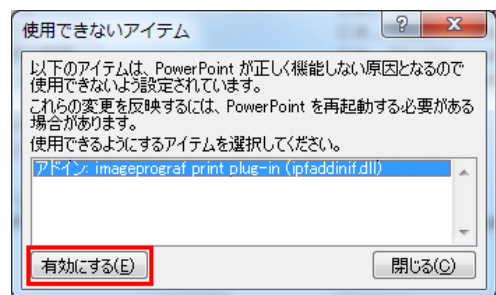
Office アプリケーションの使用できないアイテムで[Print Plug-In for Office]を有効にする

[Microsoft Office]アプリケーションは、システムやアプリケーションなどの異常終了などが発生した場合、安全のためにアドインを無効にします。
その場合、[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンを表示させるために、無効になっているアドインを復元させる必要があります。
[Microsoft Office]で無効になっているアドインを復元するには、次の手順で操作します。

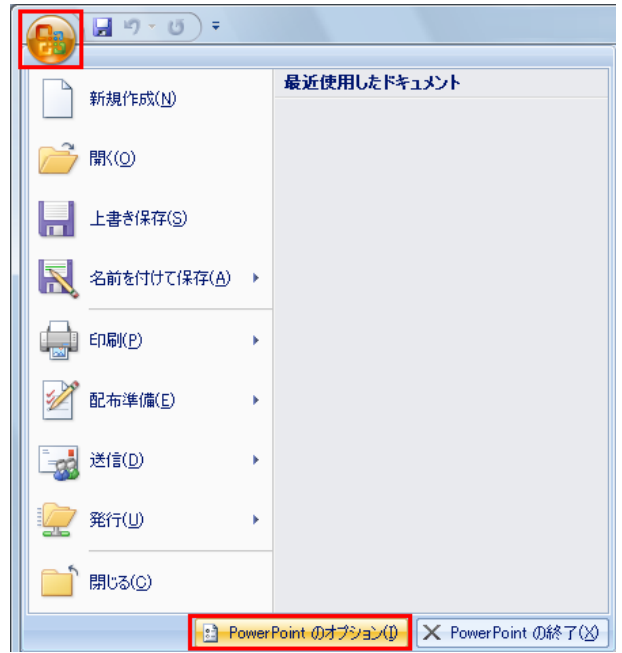
- [Microsoft Office 2010]の場合

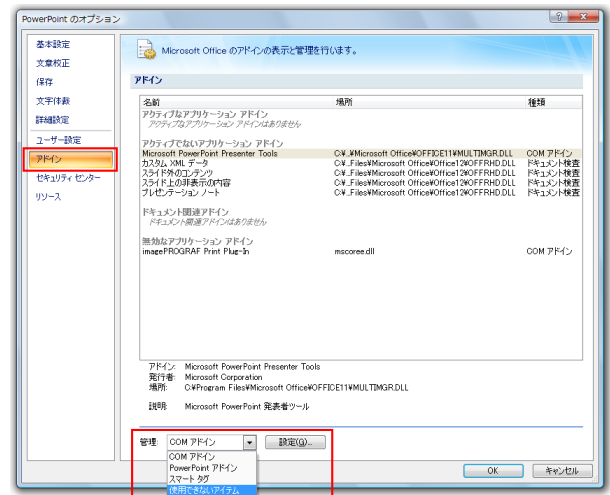
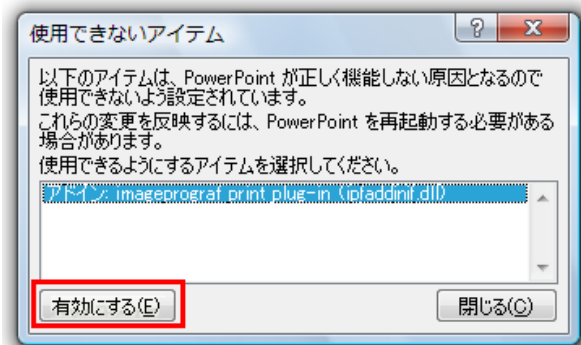
1 [ファイル]メニューから、[オプション]を選択します。

2 [<アプリケーション名>のオプション] ダイアログ左側のリストから [アドイン] を選択します。

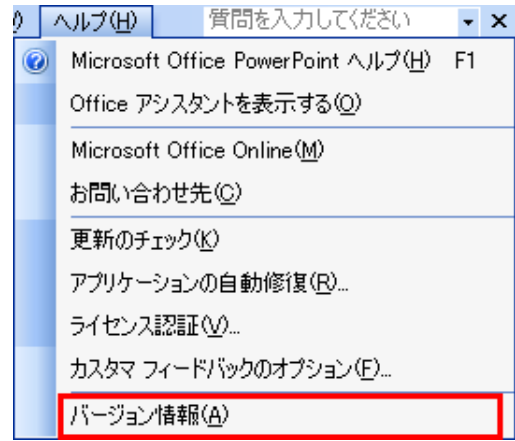
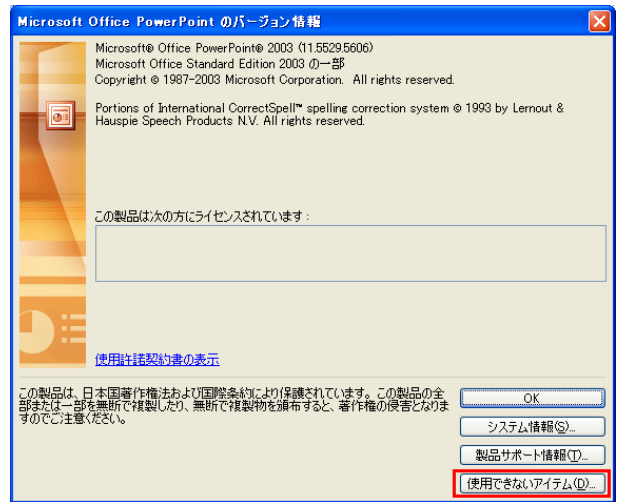
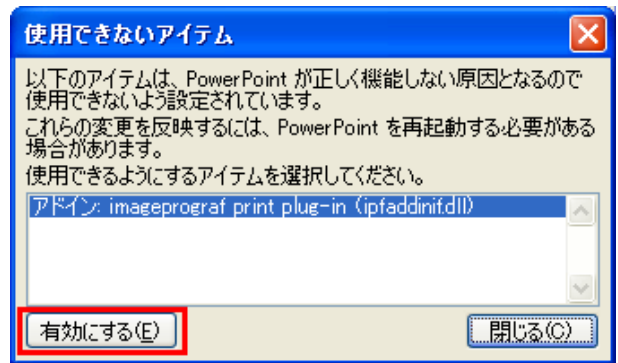
3 [管理] コンボボックスから [使用できないアイテム] を選択し [設定] ボタンをクリックします。

4 [使用できないアイテム] ダイアログで [アドイン imageprograf print plug-in (ipfaddinif.dll)] が表示されている場合、選択して [有効にする] ボタンをクリックします。

5 すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

- [Microsoft Office 2007]の場合

1 [Office] ボタンをクリックして、[<アプリケーション名>のオプション] ボタンをクリックします。

2 [<アプリケーション名>のオプション] ダイアログ左側のリストから [アドイン] を選択します。

3 [管理] コンボボックスから [使用できないアイテム] を選択し [設定] ボタンをクリックします。

4 [使用できないアイテム] ダイアログで [アドイン imageprograf print plug-in (ipfaddinif.dll)] が表示されている場合、選択して [有効にする] ボタンをクリックします。

5 すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

- [Microsoft Office 2003]の場合

1 アプリケーションの[ヘルプ]メニューから[バージョン情報]をクリックします。

2 [<アプリケーション>のバージョン情報] ダイアログで [使用できないアイテム] ボタンをクリックします。

3 [使用できないアイテム] ダイアログで [アドイン imageprograf print plug-in (ipfaddinif.dll)] が表示されている場合、選択して [有効にする] ボタンをクリックします。

4 すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

Microsoft Word からの起動方法

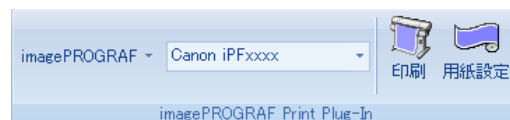
[Microsoft Word]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

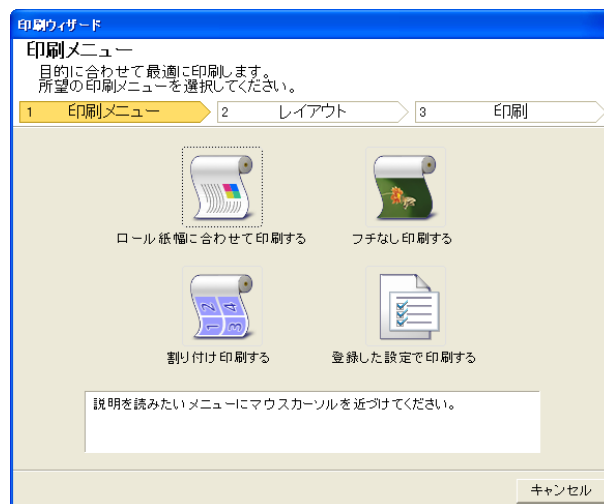
1 [Microsoft Word]を起動します。

2 ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

重要

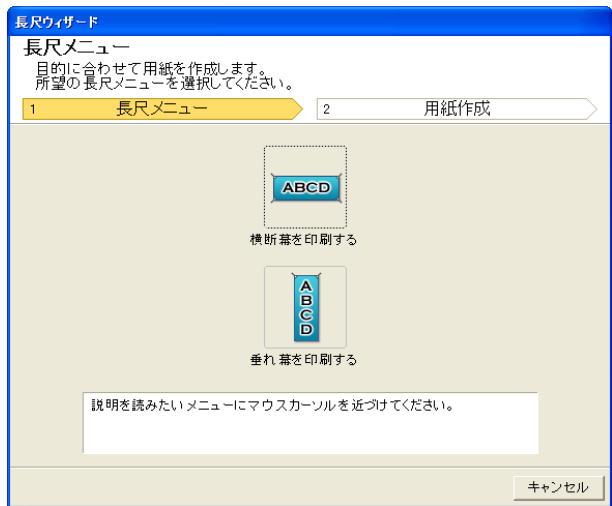
- ［imagePROGRAF Print Plug-In］ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.289

3 ［imagePROGRAF Print Plug-In］ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF メニュー	［バージョン情報］や［ヘルプ］、［処理オプション］ダイアログボックスを表示します。 ［処理オプション］ダイアログボックスでは設定を変更することができます。 詳しくは、処理オプションを設定する →P.321 を参照してください。
Canon iPFxxxx プリンタ一覧	プリンタを選択します。 ［すべてのプリンタを表示］を選択すると大判プリンタ［imagePROGRAF］の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 ［印刷］ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 ［ロール紙幅に合わせて印刷する］、［フチなし印刷する］、［割り付け印刷する］、［登録した設定で印刷する］の設定ができます。
用紙設定 ［用紙設定］ボタン	長尺ウィザードが表示されます。 垂れ幕または横断幕の設定ができます。

［印刷ウィザード］ダイアログボックス

重要

- ［印刷ウィザード］が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は［印刷ウィザード］ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

[長尺ウィザード] ダイアログボックス

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください｡表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります｡
- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります｡そのときは再度データを修正してください｡

ロール紙幅に合わせて印刷する(Word)

ロール紙幅いっぱいに印刷します｡掲示物やポスターを大きく印刷したり､[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます｡

1 [Microsoft Word]を起動します｡

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします｡

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします｡
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます｡

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください｡表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります｡

4 [ロール紙幅に合わせて印刷する]をクリックします。

5 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6 画像のサイズを選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [次へ]を選択します。

9 [用紙の種類]を選択します。

10 [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

11 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12 [プリント]を押すと印刷を開始します。

フチなし印刷する（Word）

フチなし印刷します。写真やポスターを周囲に余白をとらずに印刷することができます。

1 [Microsoft Word]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [フチなし印刷する]をクリックします。

5 確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。原稿いっぱいにデータが作成されている場合は[動作の選択]で[このまま続ける]が選択されていることを確認し、[OK]を押してください。

メモ

- データを修正する場合は[アプリケーションに戻る]を選択して[OK]を押してください。[Print Plug-In for Office]を終了しアプリケーションへ戻ります。

6 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [次へ]を選択します。

9 [用紙の種類]を選択します。

10 [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

11 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- フチなし印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12 [プリント]を押すと印刷を開始します。

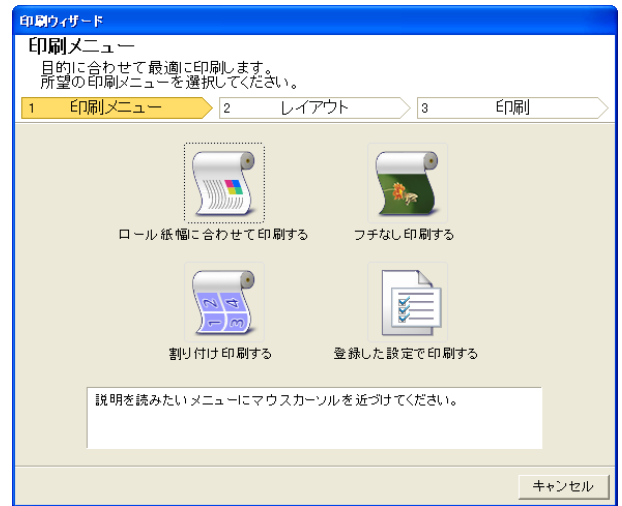
割り付け印刷する（Word）

複数ページを 1 枚にまとめて印刷を行います。配布資料を 1 ページにまとめたり、ページ数の多い文書を印刷することができます。

1 ［Microsoft Word］を起動します。

2 ［imagePROGRAF Print Plug-In を開く］が表示されている場合はクリックします。

3 ［imagePROGRAF Print Plug-In］ツールバー/リボンから［印刷］をクリックします。
［印刷ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

重要

- ［印刷ウィザード］が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は［印刷ウィザード］ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバーの操作ができない場合があります。

4 ［割り付け印刷する］をクリックします。

5 プリンタにセットされている［ロール紙幅］を選択します。

6 ［レイアウト選択］からレイアウトを選択します。

7 ［次へ］を選択します。

8 ［用紙の種類］を選択します。

9 ［印刷範囲］を［全てのページ］、［現在のページ］、［ページ指定］から選択します。
［ページ指定］の場合はページ番号を入力します。

10 ［部数］を入力します。

メモ

- ［ドラフト印刷］をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- ［鮮やかな色に］をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- ［ワンタッチ登録］ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- ［印刷プレビュー］ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 割り付け印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

11 ［プリント］を押すと印刷を開始します。

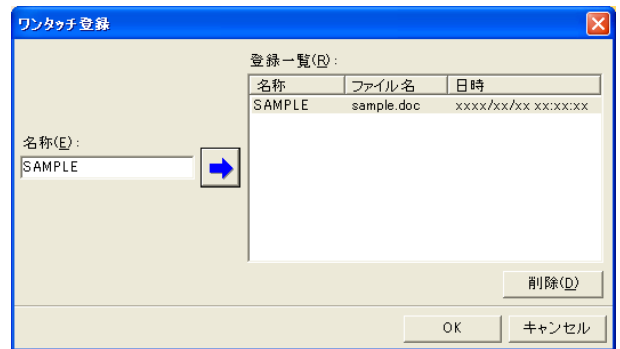
設定を登録する（Word）

同じ設定で繰り返し印刷する場合は［ワンタッチ登録］することができます。登録した設定は［登録した設定で印刷する］から呼び出すことができます。

1 ［印刷メニュー］の［ロール紙幅に合わせて印刷する］、［フチなし印刷する］または［割り付け印刷する］で［印刷］画面まで設定をします。

メモ

- 20 個まで登録することができます。
- 設定できる項目については以下をご覧ください。
  - ロール紙幅に合わせて印刷する（Word） →P.294
  - フチなし印刷する（Word） →P.296
  - 割り付け印刷する（Word） →P.298

2 ［ワンタッチ登録］ボタンをクリックします。

3 ［名称］に名称を入力します。
31 文字まで入力できます。

4 をクリックします。入力した名称が［登録一覧］に表示されます。

5 ［OK］をクリックし、［印刷］画面へ戻ります。

6 印刷する場合は［プリント］、印刷を中止する場合は［キャンセル］をクリックします。

> メモ
> - ［印刷］画面で［キャンセル］をクリックしても登録した設定は削除されません。

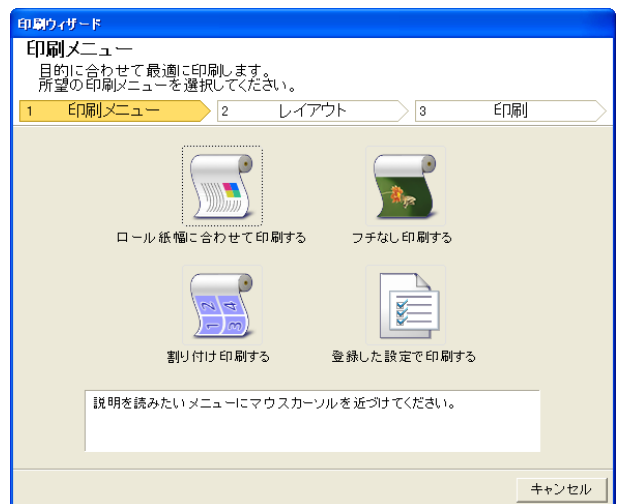
登録した設定で印刷する（Word）

登録した設定で印刷を行います。

1 ［Microsoft Word］を起動します。

2 ［imagePROGRAF Print Plug-In を開く］が表示されている場合はクリックします。

3 ［imagePROGRAF Print Plug-In］ツールバー/リボンから［印刷］をクリックします。
［印刷ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

> 重要
> - ［印刷ウィザード］が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は［印刷ウィザード］ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [登録した設定で印刷する]をクリックします。

5 [次へ]ボタンをクリックします。

6 [用紙の種類]を選択します。

7 [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

8 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 登録した設定で印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

9 [プリント]を押すと印刷を開始します。

垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(Word)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

垂れ幕/横断幕の用紙を作成する

[長尺ウィザード]を使用し垂れ幕の場合は縦長、横断幕の場合は横長の用紙を作成します。

1 [Microsoft Word]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[用紙設定]をクリックします。

[長尺ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [垂れ幕を印刷する]または[横断幕を印刷する]をクリックします。

メモ

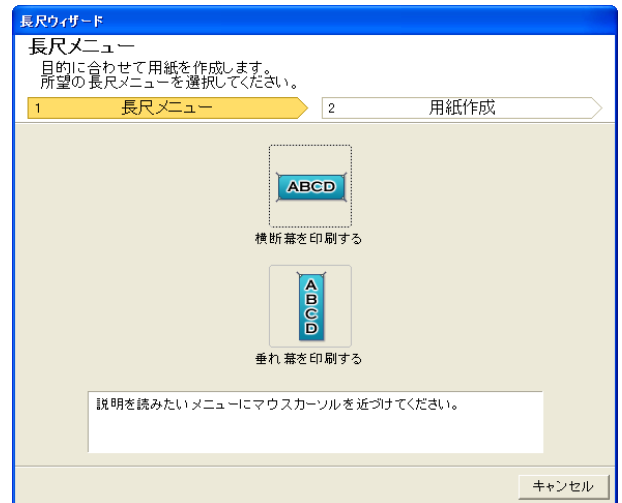
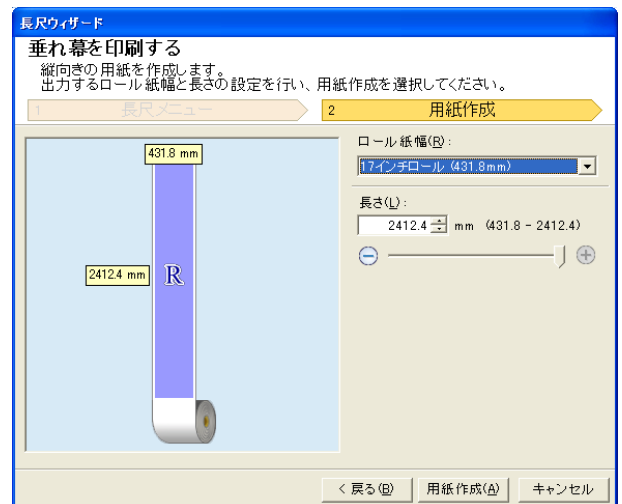
- ここでは垂れ幕作成を例に手順を説明します。

5 [長さ]をリストボックス、スライドバーのどちらかで調整します。

6 [用紙作成]ボタンをクリックします。

7 メッセージが表示された場合は[OK]をクリックします。

8 編集し、原稿を作成してください。

メモ

- 印刷は[印刷ウィザード]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]で行います。[ロール紙幅に合わせて印刷する]について詳しくは、「ロール紙幅に合わせて印刷する(Word)」を参照してください。 →P.294

重要

- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

Microsoft PowerPoint からの起動方法

[Microsoft PowerPoint]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

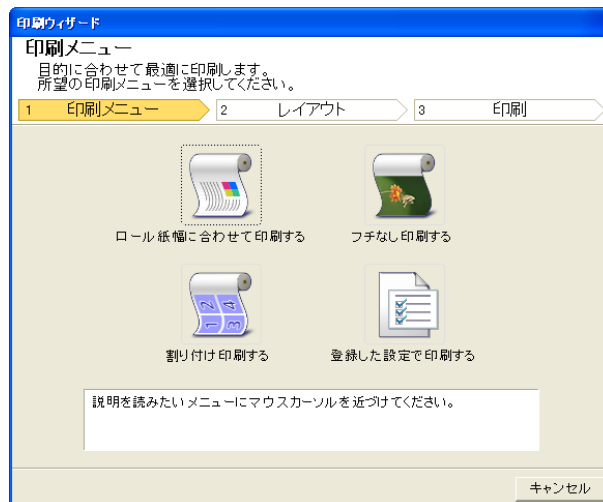
重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.289

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。(「処理オプションを設定する」参照) →P.321
Canon iPFxxxx プリンタ一覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]、[割り付け印刷する]、[登録した設定で印刷する]の設定ができます。

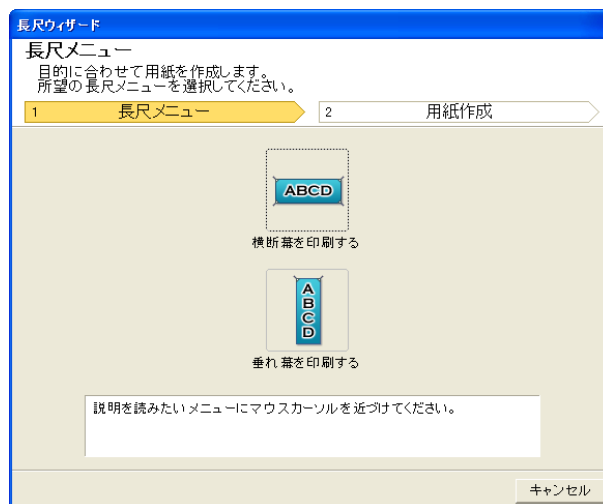
アイコン	内容
用紙設定 [用紙設定]ボタン	長尺ウィザードが表示されます。 垂れ幕または横断幕の設定ができます。

[印刷ウィザード] ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

メモ

- パスワードが設定されているドキュメントを読み取り専用で開いた場合、[印刷ウィザード]を実行できません。

[長尺ウィザード] ダイアログボックス

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。
- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

メモ

- パスワードが設定されているドキュメントを読み取り専用で開いた場合、[長尺ウィザード]を実行できません。パスワードの設定を解除してください。

ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [ロール紙幅に合わせて印刷する]をクリックします。

5 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6 画像のサイズを選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 ［次へ］を選択します。

9 ［用紙の種類］を選択します。

10 ［印刷範囲］を［全てのスライド］、［現在のスライド］、［スライド指定］から選択します。
［スライド指定］の場合はスライド番号を入力します。

11 ［部数］を入力します。

メモ

- ［ドラフト印刷］をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- ［鮮やかな色に］をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- ［ワンタッチ登録］ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- ［印刷プレビュー］ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12 ［プリント］を押すと印刷を開始します。

フチなし印刷する（PowerPoint）

フチなし印刷します。写真やポスターを周囲に余白をとらずに印刷することができます。

1 ［Microsoft PowerPoint］を起動します。

2 ［imagePROGRAF Print Plug-In を開く］が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [フチなし印刷する]をクリックします。

5 確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。原稿いっぱいにデータが作成されている場合は[動作の選択]で[このまま続ける]が選択されていることを確認し､[OK]を押してください。

メモ

- データを修正する場合は[アプリケーションに戻る]を選択して[OK]を押してください。[Print Plug-In for Office]を終了しアプリケーションへ戻ります。

6 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [次へ]を選択します。

9 [用紙の種類]を選択します。

10 [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

11 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- フチなし印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12 [プリント]を押すと印刷を開始します。

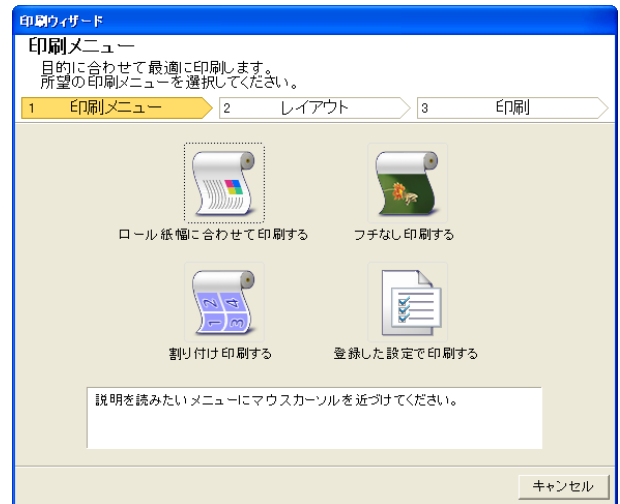
割り付け印刷する(PowerPoint)

複数ページを 1 枚にまとめて印刷を行います。配布資料を 1 ページにまとめたり、ページ数の多い文書を印刷することができます。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

> **重要**
> • [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [割り付け印刷する]をクリックします。

5 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6 [レイアウト選択]からレイアウトを選択します。

7 [次へ]を選択します。

8 [用紙の種類]を選択します。

9 [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

10 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 割り付け印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

11 [プリント]を押すと印刷を開始します。

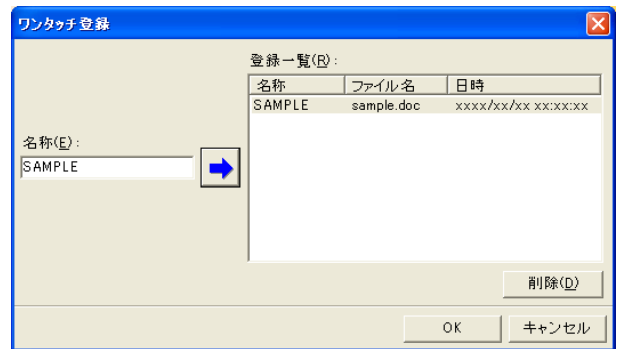
設定を登録する(PowerPoint)

同じ設定で繰り返し印刷する場合は[ワンタッチ登録]することができます。登録した設定は[登録した設定で印刷する]から呼び出すことができます。

1 [印刷メニュー]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]または[割り付け印刷する]で[印刷]画面まで設定をします。

メモ

- 20 個まで登録することができます。
- 設定できる項目については以下をご覧ください。
  - ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint) →P.305
  - フチなし印刷する(PowerPoint) →P.306
  - 割り付け印刷する(PowerPoint) →P.309

2 [ワンタッチ登録]ボタンをクリックします。

3 [名称]に名称を入力します。
31 文字まで入力できます。

4 をクリックします。入力した名称が[登録一覧]に表示されます。

5 [OK]をクリックし、[印刷]画面へ戻ります。

6 印刷する場合は[プリント]、印刷を中止する場合は[キャンセル]をクリックします。

メモ
- [印刷]画面で[キャンセル]をクリックしても登録した設定は削除されません。

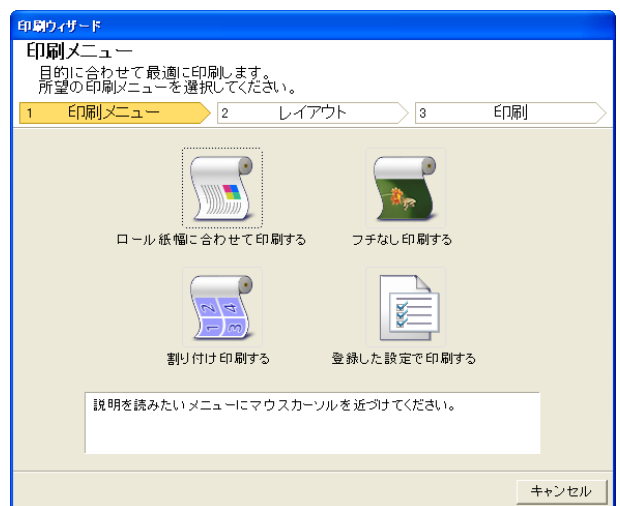
登録した設定で印刷する(PowerPoint)

登録した設定で印刷を行います。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要
- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [登録した設定で印刷する]をクリックします。

5 [次へ]ボタンをクリックします。

6 [用紙の種類]を選択します。

7 [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

8 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 登録した設定で印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

9 [プリント]を押すと印刷を開始します。

垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(PowerPoint)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

垂れ幕/横断幕の用紙を作成する

[長尺ウィザード]を使用し垂れ幕の場合は縦長、横断幕の場合は横長の用紙を作成します。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[用紙設定]をクリックします。
[長尺ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

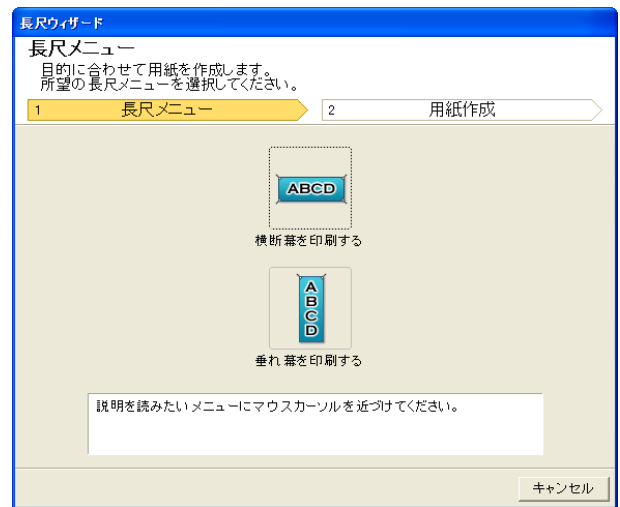
4 [垂れ幕を印刷する]または[横断幕を印刷する]をクリックします。

メモ

- ここでは垂れ幕作成を例に手順を説明します。

5 [長さ]をリストボックス､スライドバーのどちらかで調整します。

6 [用紙作成]ボタンをクリックします。

7 メッセージが表示された場合は[OK]をクリックします。

8 編集し、原稿を作成してください。

重要

- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

メモ

- 印刷は[印刷ウィザード]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]で行います。[ロール紙幅に合わせて印刷する]について詳しくは、「ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint)」を参照してください。 →P.305

Microsoft Excel からの起動方法

[Microsoft Excel]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

1 [Microsoft Excel]を起動します。

2 ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

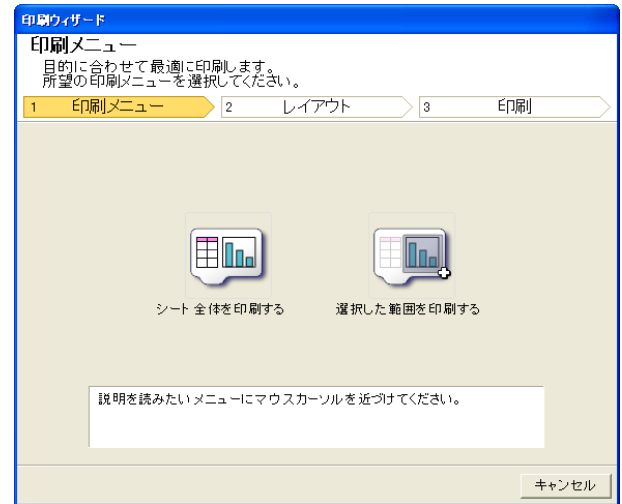
重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.289

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF ▾ メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。(「処理オプションを設定する」参照) →P.321
Canon iPFxxxx ▾ プリンタ一覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [シート全体を印刷する]、[選択した範囲を印刷する]の設定ができます。

［印刷ウィザード］ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。
- セル編集中は、ツールバー/リボンの[印刷]ボタンをクリックしても[印刷ウィザード]を起動しません。
- 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。
- オブジェクトが選択されているとき、ツールバー/リボンの[印刷]ボタンをクリックしても[印刷ウィザード]を起動しません。
- Excel の用紙サイズが空白になっている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。エクセルの[ファイル]メニューの[ページ設定]で[用紙サイズ]を確認してください。

メモ

- グラフが選択されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。
- 改ページが設定されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。設定された改ページを使用しない場合は、改ページプレビューを確認して変更してください。
- 印刷範囲が設定されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。設定された印刷範囲を使用しない場合は、改ページプレビューを確認して変更してください。
- シートやセルが保護されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。設定を変更する場合はシートやセルの保護を解除してください。

シート全体を印刷する(Excel)

シート全体をロール紙幅いっぱいに印刷します。現在表示しているシートを大きく印刷する場合は、こちらを選択してください。

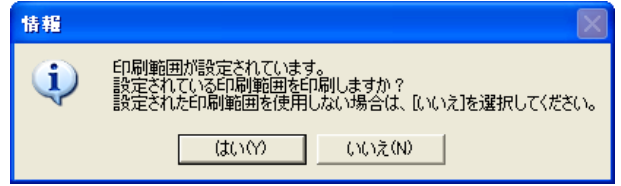
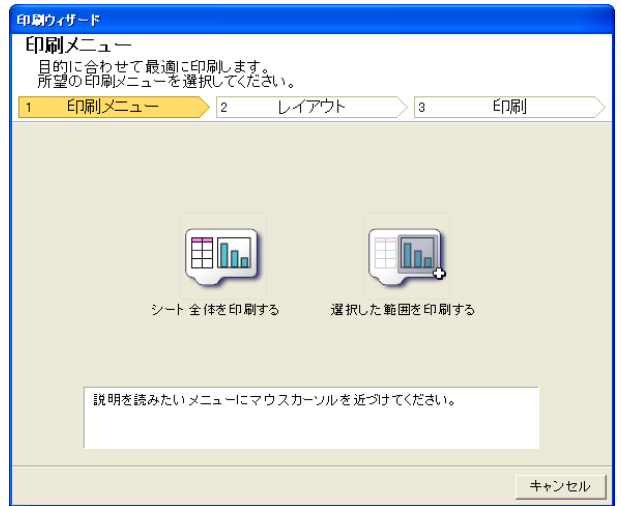
1 [Microsoft Excel]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。

重要

- 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。

印刷範囲が設定されている場合は確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。
シート全体を印刷したい場合は、印刷範囲の設定を解除してください。

[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

4 [シート全体を印刷する]をクリックします。
解析中のメッセージが表示されます。

自動的にレイアウトメニューが表示されます。

メモ

- データ解析に時間がかかる場合は、メッセージダイアログが表示されます。[いいえ]を選択するとアプリケーションへ戻ります。

5 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6 画像のサイズを選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [とじしろ]を設定する場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックします。
[とじしろ]の設定手順についてはとじしろを設定する（Excel） →P.320 を参照してください。

9 [次へ]を選択します。

10 [用紙の種類]を選択します。

11 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は 18.0m です。

12 上下の余白が多い場合は[上下余白なし（用紙節約）]をチェックしてください。
上下余白は[印刷プレビュー]で確認することができます。

13 [プリント]を押すと印刷を開始します。

重要
- 複数ページに分かれてしまう場合は、データを小さくするか、または選択する範囲を小さくしてみてください。
- 表示されているデータが何もないシートでは、[プリント]や[印刷プレビュー]を選択しても実行することができません。

選択した範囲を印刷する(Excel)

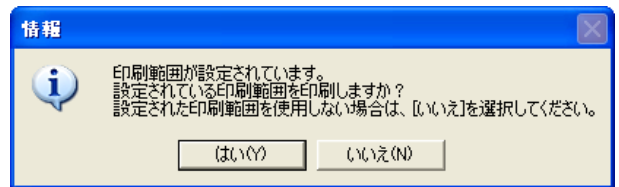
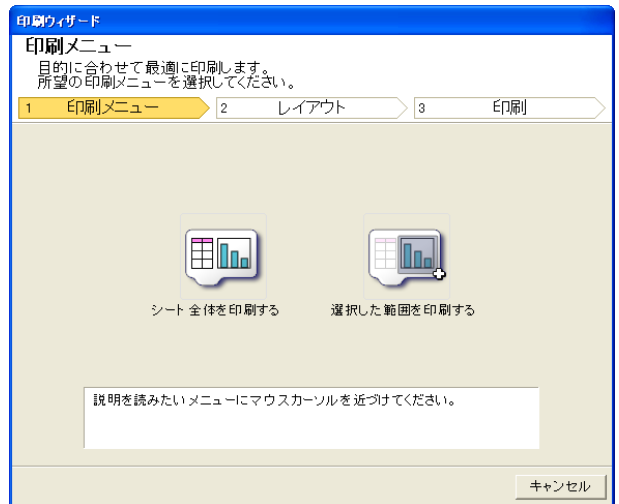
選択した範囲のセルをロール紙幅いっぱいに印刷します。シートの特定の部分を大きく印刷する場合は、こちらを選択してください。

1 [Microsoft Excel]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。

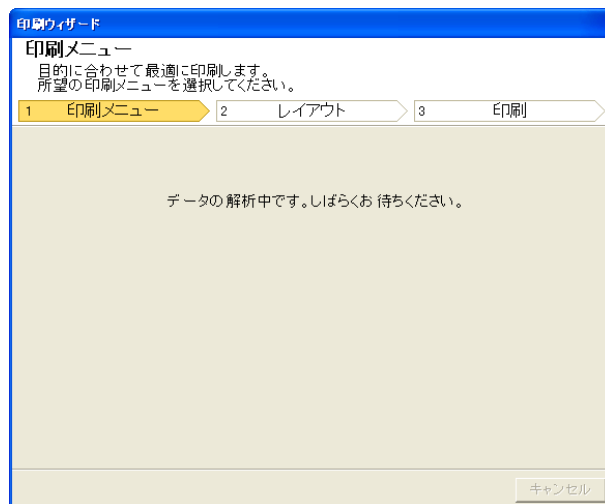
重要
- 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。

印刷範囲が設定されている場合は確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。
選択した範囲を印刷したい場合は、印刷範囲の設定を解除してください。

[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

4 [選択した範囲を印刷する]をクリックします。

重要
- 複数のセルが選択されていない場合は、[選択した範囲を印刷する]を選択できません。

解析中のメッセージが表示されます。

自動的にレイアウトメニューが表示されます。

重要

- [Excel 2007/2010]で選択されている範囲が大きすぎる場合はデータを解析することができません。選択する範囲を小さくしてから実行してください。

メモ

- データ解析に時間がかかる場合は、メッセージダイアログが表示されます。[いいえ]を選択するとアプリケーションへ戻ります。

5 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6 画像のサイズを選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [とじしろ]を設定する場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックします。
[とじしろ]の設定手順についてはとじしろを設定する(Excel) →P.320 を参照してください。

9 [次へ]を選択します。

10 [用紙の種類]を選択します。

11 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は 18.0m です。

12 上下の余白が多い場合は[上下余白なし(用紙節約)]をチェックしてください。
上下余白は[印刷プレビュー]で確認することができます。

13 [プリント]を押すと印刷を開始します。

重要

- 複数ページに分かれてしまう場合は、データを小さくするか、または選択する範囲を小さくしてみてください。
- 表示されているデータが何もないシートでは、[プリント]や[印刷プレビュー]を選択しても実行することができません。

とじしろを設定する(Excel)

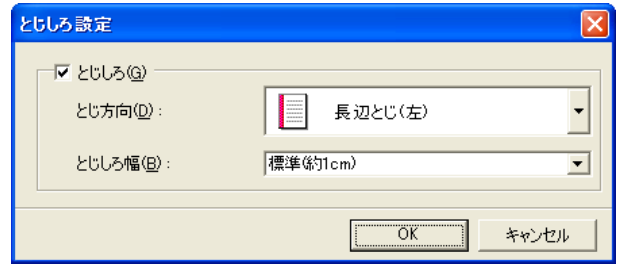
印刷物を閉じるための余白である[とじしろ]を設定することができます。

1 [シート全体を印刷する]または[選択した範囲を印刷する]で[レイアウト]画面の[レイアウト選択]まで設定します。
設定方法についてはシート全体を印刷する(Excel) →P.315 、選択した範囲を印刷する(Excel) →P.318 を参照してください。

2 [とじしろ設定]ボタンをクリックします。

重要

- 以下の場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックできません。
  - [画像のサイズ]が[100%]に設定されている場合
  - グラフが選択されている場合
  - 改ページが設定されている状態
  - シート、またはセルが保護されている場合

[とじしろ設定]ダイアログボックスが開きます。

3 [とじしろ]チェックボックスがオンになっていない場合はチェックしてオンにします。

4 [とじ方向]を選択します。

5 [とじしろ幅]を選択します。

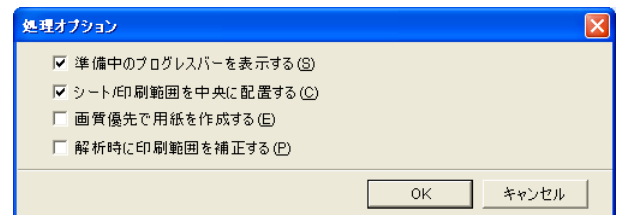
6 [OK]ボタンをクリックします。
[レイアウト]画面に戻ります。

プレビュー画面に[とじしろ]の設定が反映されていることを確認します。

7 [印刷ウィザード]ダイアログボックスの設定を行います。

処理オプションを設定する

[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバーから[処理オプション]を設定することができます。

1 ツールバーの[imagePROGRAF]をクリックし、[処理オプション]を選択します。

2 設定を変更したい項目のチェックボックスをオンまたはオフにします。

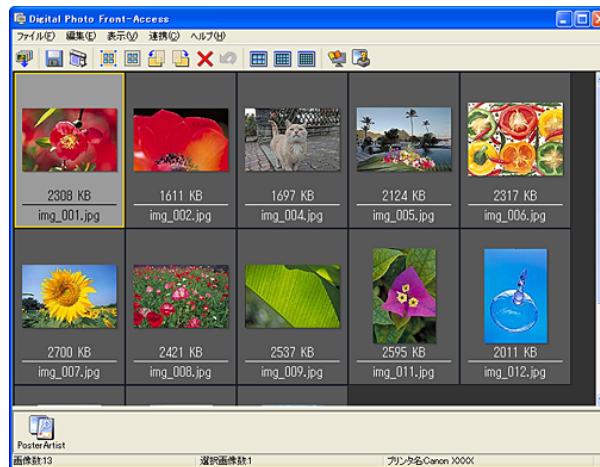
項目	内容
[準備中のプログレスバーを表示する]	オフにすると準備中に表示されるプログレスバーを非表示にします。
[シート/印刷範囲を中央に配置する]	オフにすると配置を変更せずに印刷します。オンになっている場合は上下左右の余白が片寄らないように配置をして印刷します。オフにすると配置を変更せずに印刷します。 この機能は[Microsoft Excel]のみで有効になります。
[画質優先で用紙を作成する]	オンにすると原稿を最大のサイズで作成します。印刷の際に拡大率が低くなるので写真などの画質の劣化が最小限になります。 この機能は[Microsoft PowerPoint]のみで有効になります。

項目	内容
[解析時に印刷範囲を補正する]	通常のデータ解析で処理できないデータに対して、印刷範囲を補正して処理を行います。データ解析に失敗した場合に、このチェックボックスをオンにすると印刷できることがあります。 この機能は[Microsoft Excel]のみで有効になります。

3 [OK]をクリックして[処理オプション]ダイアログボックスを閉じます。

Digital Photo Front-Access

Digital Photo Front-Access

Digital Photo Front-Access は、キヤノン製デジタルカメラで撮影した写真など、コンピュータに取り込んだ画像と各種アプリケーションを簡単に連携させることができるアプリケーションソフトです。

- 画像を選択して、起動したいアプリケーションソフトのアイコンをクリックするだけで、簡単にアプリケーションを起動することができます。
- Digital Photo Front-Access から印刷することもでき、Digital Photo Front-Access を中心に、編集から印刷まで各種アプリケーションを有効に活用することができます。
- Digital Photo Front-Access には、画像補正機能もあります。補正したい画像を選択し、画像補正を選択すると、自動的に画像が補正されます。
- すべての画像を自動で補正してから表示させることもできるので、補正の手間もかかりません。

メモ

- 詳細については、Digital Photo Front-Access のヘルプを参照してください。

プリンタドライバ

プリンタドライバの設定項目 326

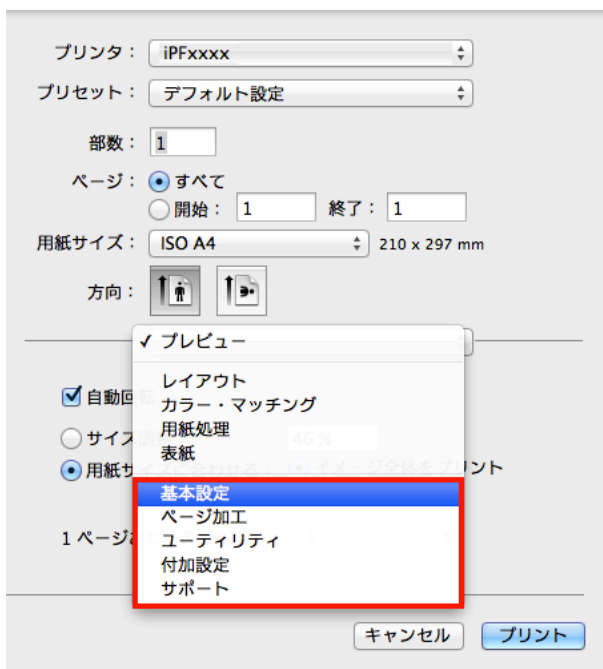
プリンタドライバで用紙を指定する 327
印刷の設定を確認する 329
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する 329
お気に入りの設定で印刷する 330

アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 331

基本設定パネル 331
　プリンタの用紙情報ダイアログボックス 334
　用紙の詳細設定ダイアログボックス 335
　印刷目的の設定確認ダイアログボックス 337
　マッチングパネル 337
　色設定パネル(カラー) 340
　調整の対象ダイアログボックス(カラー) 341
　色設定パネル(モノクロ) 341
　調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) 342
　グレー調整パネル 343
ページ加工パネル 344
ユーティリティパネル 345
付加設定パネル 346
サポートパネル 346

プリンタドライバの設定項目

Mac OS X 版プリンタドライバの開き方については、以下を参照してください。

- アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.331

Mac OS X 版プリンタドライバの設定項目については、以下を参照してください。

- 基本設定パネル →P.331
  用紙の種類、カラー、印刷画質、印刷プレビューについて設定できます。目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]があります。
  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.335
  - 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.337
  - 色設定パネル(カラー) →P.340
  - 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.341

- マッチングパネル →P.337
- 色設定パネル(モノクロ) →P.341
- 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) →P.342
- グレー調整パネル →P.343

- ページ加工パネル →P.344
  給紙方法、印刷する用紙サイズ、原稿の拡大/縮小率、フチなし印刷、印刷の向きについて設定できます。
- ユーティリティパネル →P.345
  プリントヘッドや用紙送りに関するメンテナンス、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]に関する設定を行えます。
- 付加設定パネル →P.346
  プリンタへの印刷ジョブの送信方法について設定できます。
- サポートパネル →P.346
  サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

[imagePROGRAF Free Layout]という機能で、アプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。詳細は、Free Layout →P.372 を参照してください。
[imagePROGRAF Preview]という機能で、印刷前にレイアウトを確認したりプレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することができます。詳細は、Preview →P.347 を参照してください。
[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]という機能で、[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。詳細は、Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.399 を参照してください。

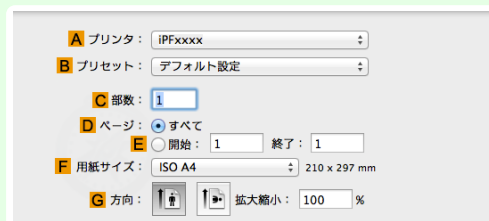
プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換した場合にプリンタドライバでは以下の設定が必要です。

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

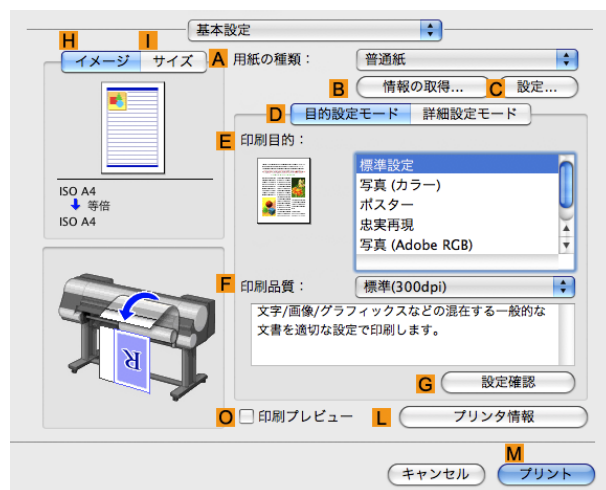
メモ

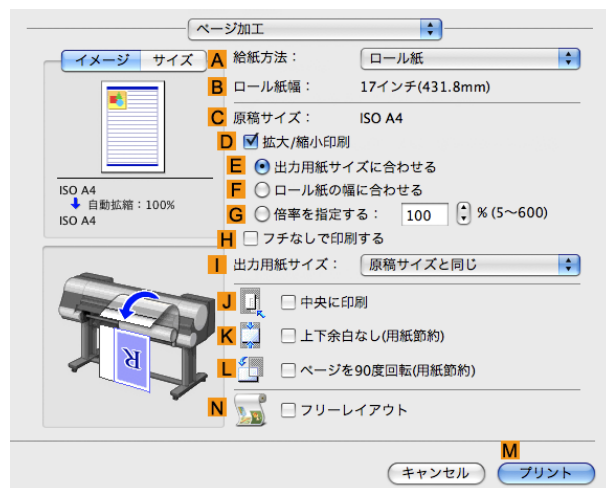
- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

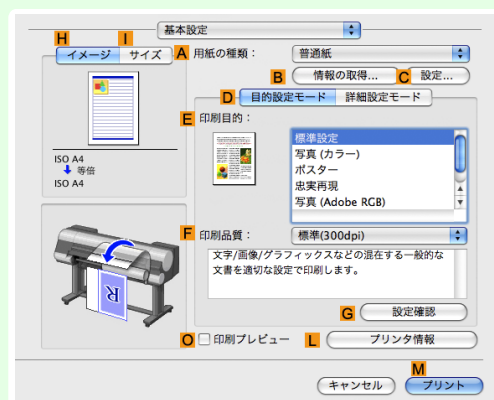
5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

7 [ページ加工]パネルを表示します。

8 A[給紙方法]の一覧から給紙方法を選択します。

9 A[給紙方法]で[カット紙]を選択した場合は、C[原稿サイズ]で、[ページ設定]で選択したサイズが表示されていることを確認します。A[給紙方法]でロール紙を選択した場合は、B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されていることを確認します。

メモ

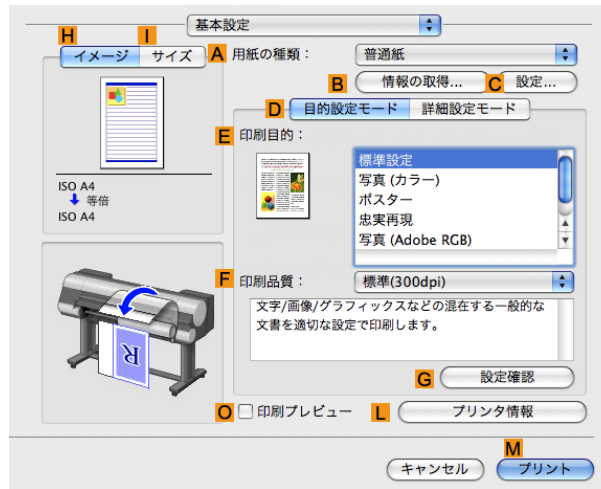
- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルのL[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

メモ

- プリンタドライバでは、印刷の目的に合わせていろいろな設定ができます。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.326」を参照してください。

印刷の設定を確認する

設定した印刷条件を確認するには、以下の 2 種類の方法があります。

設定プレビューで確認する

設定プレビューは、[基本設定]パネル、[ページ加工]パネル、[ユーティリティ]パネル、[付加設定]パネルの左側の部分に表示されます。原稿サイズ、印刷の向き、給紙方法など、現在の設定状況をイラストや数値で確認できます。

表示部分	表示される情報
H[イメージ]タブをクリックして表示されるパネル	上部には、原稿のサイズ、用紙のサイズ、印刷の向き、ページレイアウト、フチなし印刷、カラーモードなどの設定状況がイラストで表示されます。 その下には、原稿サイズ、出力用紙サイズ、拡大/縮小の方法、倍率などが表示されます。
I[サイズ]タブをクリックして表示されるパネル	用紙サイズの詳細が数値で表示されます。
プリンタと用紙のイラストのパネル	給紙方法、印刷の向き、フチなし印刷などの設定状況がイラストで表示されます。

メモ

- [目的設定モード]で選択した[印刷目的]の設定値を確認したい場合は、[基本設定]パネルで G[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開きます。

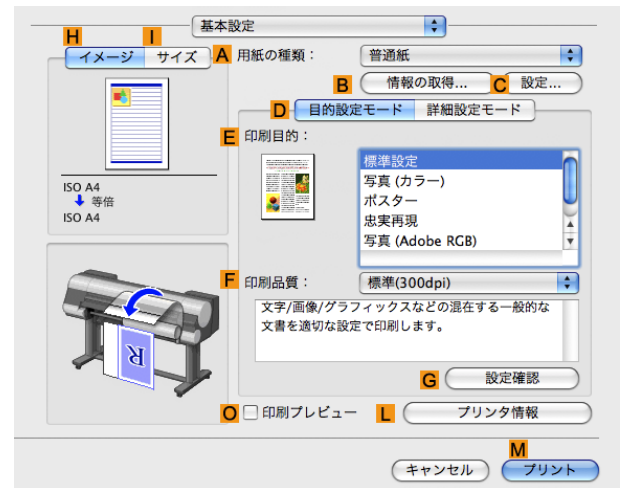
印刷プレビューで確認する

原稿の印刷イメージそのものを確認できます。
印刷する前に印刷イメージを確認できるため、印刷の失敗を未然に防止できます。
印刷プレビューの詳細については、「印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.143」を参照してください。

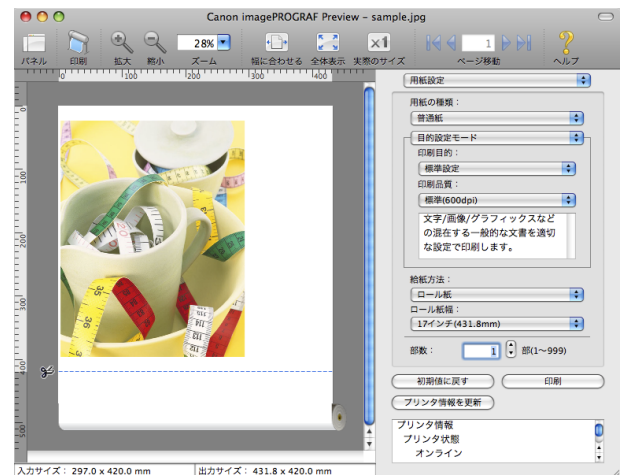
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

ここでは、[Canon imagePROGRAF Preview]という機能で、印刷する前にレイアウトを確認する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2 ［基本設定］パネルを表示します。

3 O［印刷プレビュー］チェックボックスをオンにします。

4 M［プリント］をクリックします。

5 ［Canon imagePROGRAF Preview］のウィンドウが開きます。

6 ［Canon imagePROGRAF Preview］のウィンドウで、レイアウトの確認や設定の変更を行います。

7 ［Canon imagePROGRAF Preview］のメニューから印刷します。

メモ

- ［imagePROGRAF Preview］機能についての詳細は、Preview →P.347 を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

Mac OS X では、［プリセット］機能を使用してお気に入りの設定で印刷できます。

メモ

- 印刷ダイアログボックスの［プリセット］の一覧から［別名で保存］をクリックすることで、現在の印刷条件の設定を保存できます。これは OS がサポートする機能です。詳細については、Mac OS のマニュアルを参照してください。

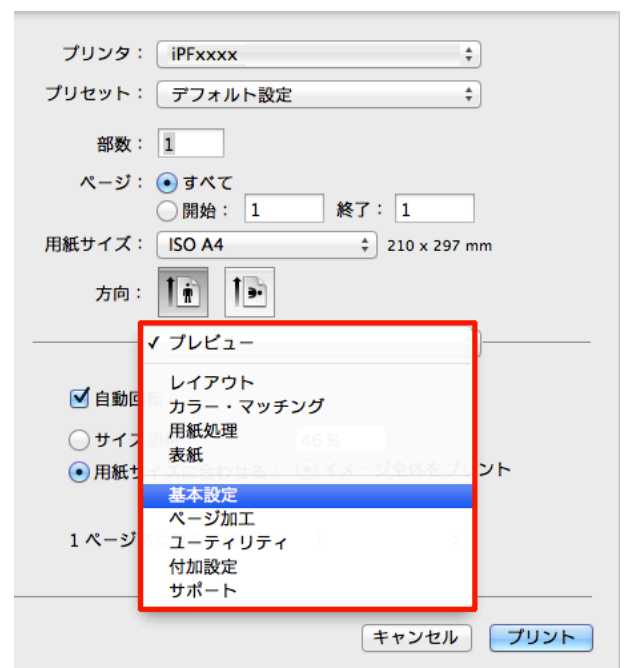
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

メモ

- このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。

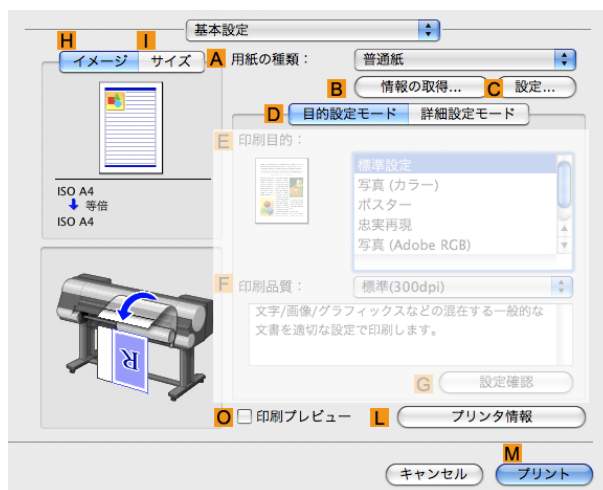
2 ［プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

3 ［プリント］をクリックして印刷を開始します。
拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、図のように、ダイアログボックスのパネルを切り替えて行います。

基本設定パネル

［基本設定］パネルでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- ［基本設定］パネルは、目的に応じて簡単に印刷の設定が行える［目的設定モード］と、より細かな設定を自由に行える［詳細設定モード］を切り替えて使用できます。

共通項目

- **A**[用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)

- **B**[情報の取得]

[プリンタの用紙情報]を表示します。給紙方法を選択し、プリンタドライバの給紙方法、用紙の種類およびロール紙幅に反映できます。

  - プリンタの用紙情報ダイアログボックス →P.334

- **C**[設定]

[用紙の詳細設定]を表示します。インクの乾燥時間など、用紙の種類に合わせた印刷の方法を設定できます。

  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.335

- **O**[印刷プレビュー]

オンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Preview]が起動します。
イメージを画面上で確認してから印刷できます。

重要

- [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]がオンになっている場合は[フリーレイアウト]が無効になります。

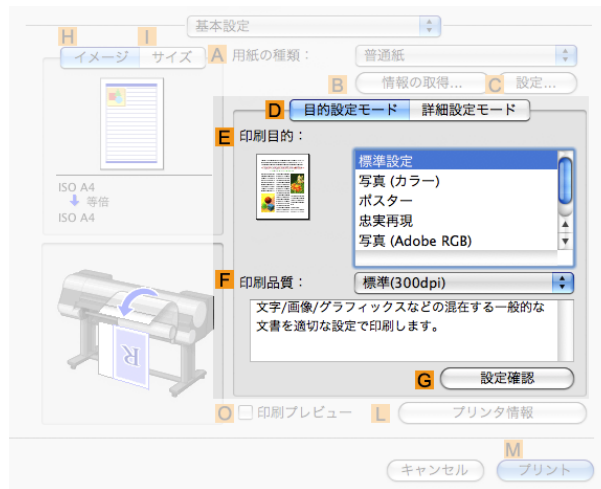
  - 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.143

- **L**[プリンタ情報]

[プリンタ情報]ダイアログボックスを表示します。インクの残量やキャリブレーション履歴などのプリンタの情報を表示できます。

メモ

- **B**[情報の取得]、**C**[設定]および**L**[プリンタ情報]の各ボタンは、アプリケーションの種類やOSのバージョンによっては使用できない場合があります。

[目的設定モード]を選択した場合

- **E**[印刷目的]

  印刷物に適した設定を選択できます。

  - 写真やイラストを印刷する →P.35
  - オフィスの文書を印刷する →P.45

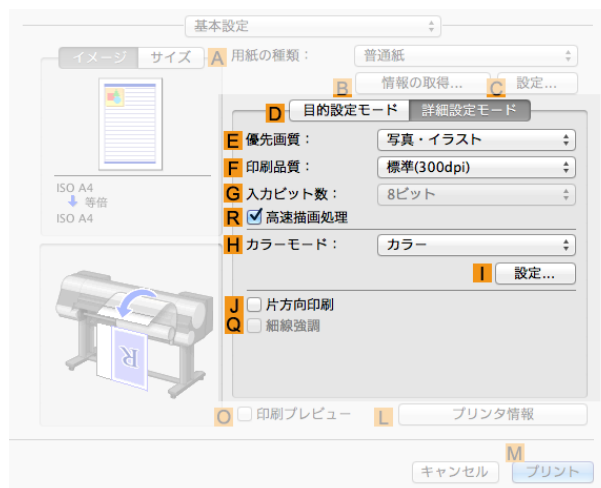
- **F**[印刷品質]

  印刷品質を選択できます。

- **G**[設定確認]

  クリックすると[設定確認]ダイアログボックスが開き、**E**[印刷目的]の一覧から選択した項目の設定値を確認したり、**E**[印刷目的]の一覧に表示される項目の順番を変更できます。

  - 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.337

[詳細設定モード]を選択した場合

- **E**[優先画質]

  印刷結果で優先する要素を選択できます。

  - 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.57

- **F**[印刷品質]

  印刷品質を選択できます。

  - 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.57

- **G**［入力ビット数］

  印刷データの階調を［8 ビット］または［16 ビット］から選択します。階調性の高いデータを印刷するときに［16 ビット］を選択すると、最適な出力結果を得られることがあります。例えば、Photoshop で 16bit/チャンネルに指定して作成した画像を出力する場合に適しています。

- **R**［高速描画処理］

  チェックマークを付けると、通常よりも高速で印刷できます。

- **H**［カラーモード］

  カラーモードを選択できます。

  - 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.57

- **I**［設定］

  クリックすると［色設定］ダイアログボックスが開き、色を詳細に設定できます。

  - プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.51

- **J**［片方向印刷］

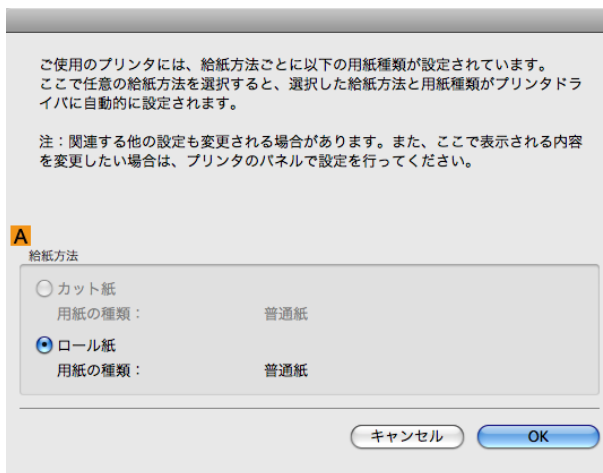
  チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

- **Q**［細線強調］

  オンにすると、細い線をくっきりと印刷します。

プリンタの用紙情報ダイアログボックス

［プリンタの用紙情報］ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの用紙の種類を設定することができます。

メモ

- ［プリンタの用紙情報］ダイアログボックスは、［基本設定］パネルで［用紙の種類］の［情報の取得］をクリックすると表示できます。（「基本設定パネル →P.331」参照）

- **A**［給紙方法］

  プリンタで使用可能な［給紙方法］とセットされている用紙の種類が表示されます。［給紙方法］を選択して［OK］をクリックすると、プリンタドライバに用紙の種類が設定されます。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[用紙の詳細設定]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [用紙の詳細設定]ダイアログボックスは、[基本設定]パネルで[用紙の種類]の[設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.331 」参照)

A[用紙の種類]

[基本設定]パネルの[用紙の種類]で選択した用紙が表示されます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)

B[インク乾燥時間]

インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。[ページ間]の設定は、ロール紙のみ有効となります。

- C[ページ間]

１ページ分を印刷してから、用紙を排紙するまでの待ち時間を設定できます。ロール紙がカットされる前にインク乾燥のための待ち時間が取られるので、[カットモード]が[自動カット]に設定されている場合にも、インクが乾いた状態でバスケットに落下させることができます。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	印刷終了後、すぐに排紙されます。
[30 秒] / [1 分] / [3 分] / [5 分] / [10 分] / [30 分] / [60 分]	印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。

- D[スキャン間]

ページ内で１ラインを印刷してから、次の１ラインを印刷するまでの待ち時間を設定できます。ページ内でにじみが発生したときや、フチなし印刷時に色ムラが発生したときなど、にじみやムラの発生を回避したいときに設定します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	1 ライン印刷後、すぐに次のラインが印刷されます。
[1 秒] / [3 秒] / [5 秒] / [7 秒] / [9 秒]	1 ライン印刷後、設定した時間が経過してから次のラインが印刷されます。 *にじみやムラの発生状況に応じて時間を増やしてください。

E[ロール紙の安全余白]

カールの強い用紙をプラテンにしっかりと吸着させるために、用紙の先端に確保する余白の長さを指定することができます。

- **F**[先端余白]

ロール紙の[先端余白]の長さを設定できます。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[5mm]	定型サイズで印刷されます。 *印刷に特に問題がないときに選択してください。
[20mm]	カールの強い用紙を使用した場合など、プリントヘッドのこすれが発生する場合に選択してください。

G[カットスピード]

オートカットのスピードを選択できます。オートカットできれいにカットできないときに調整できます。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[高速]	[標準]の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。
[標準]	オートカットで特に問題ない場合に選びます。
[低速]	糊付きの用紙の場合に選択すると、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。

H[オートカット]

ロール紙のカットを自動で行うか、またはカットラインを印刷するかを設定します。
オートカットには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	印刷が終わると、1ページごとにロール紙をカットしないで、連続して次のデータを印刷します。
[カットラインを印刷]	印刷が終わると、1ページごとに線を印刷し連続して次のデータを印刷します。

I[キャリブレーション調整値]

プリンタで実行したキャリブレーション結果を画像処理に適用するかを指定することができます。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[有効]	キャリブレーション結果を使用して印刷します。
[無効]	キャリブレーション結果を使用しないで印刷します。カラーキャリブレーションによって印刷中の画像の色味が変わってしまうことを避けたい場合に選択します。

J[鏡像]

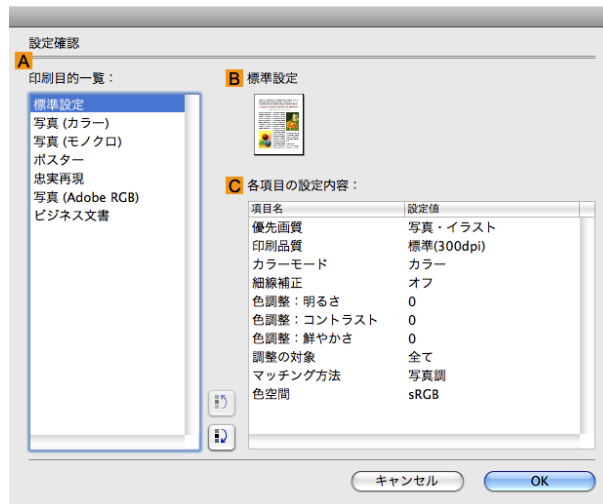
鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

K[プリントパスを拡張する]

チェックボックスをオンにすると、[印刷品質]で[最高]を選択して印刷した場合に発生する印刷ムラが改善されることがあります。ただし、印刷速度が遅くなります。

印刷目的の設定確認ダイアログボックス

[設定確認]ダイアログボックスでは、選択した印刷目的の詳細を確認することができます。

メモ

- [設定確認]ダイアログボックスは、[基本設定]パネルで[印刷目的]の[設定確認]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.331」参照)

- **A**[印刷目的一覧]
  [印刷目的]のすべての項目が表示されます。
- **B**[名称]
  [印刷目的一覧]から選択した項目の名称とアイコンが表示されます。
- **C**[各項目の設定内容]
  [印刷目的]の一覧から選択した項目の細かな設定値を確認することができます。

マッチングパネル

[マッチング]パネルでは、異なるデバイス間で色を合わせるカラーマッチングを設定できます。

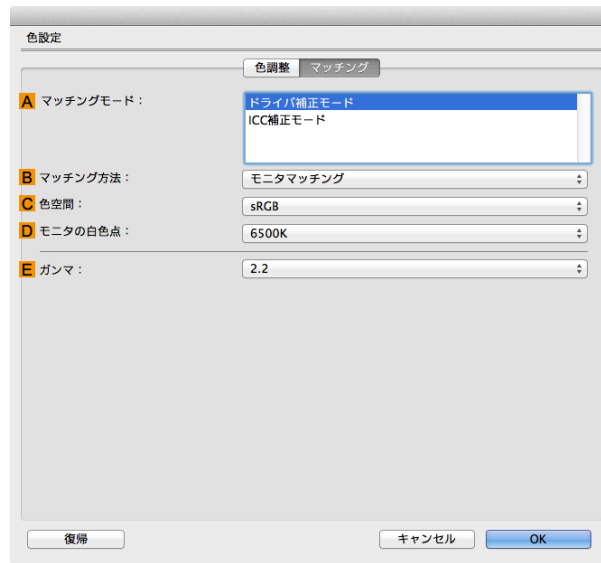
重要

- [カラーモード]で[色補正なし]または[モノクロ]が選択されているときは[マッチング]パネルは表示されません。

メモ

- [マッチング]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]タブをクリックすると表示できます。(「基本設定パネル」参照) →P.331

[ドライバ補正モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ドライバ補正モード]を選択したときに、以下の項目を設定できます。

- **A[マッチングモード]**

  使用するカラーマッチングを選択できます。

  通常は、[ドライバ補正モード]を選択します。ICC プロファイルを使用したカラーマッチングを行いたい場合は、使用するカラーマッチングシステムに応じて[ICC 補正モード]を選択します。

- **B[マッチング方法]**

  印刷する内容に合わせてカラーマッチング方法を選択できます。B[マッチング方法]は、選択した A[マッチングモード]によって設定できる項目が異なります。

- **C[色空間]**

  出力する色空間を選択できます。

- **D[モニタの白色点]**

  モニタで設定されている色温度を入力します。

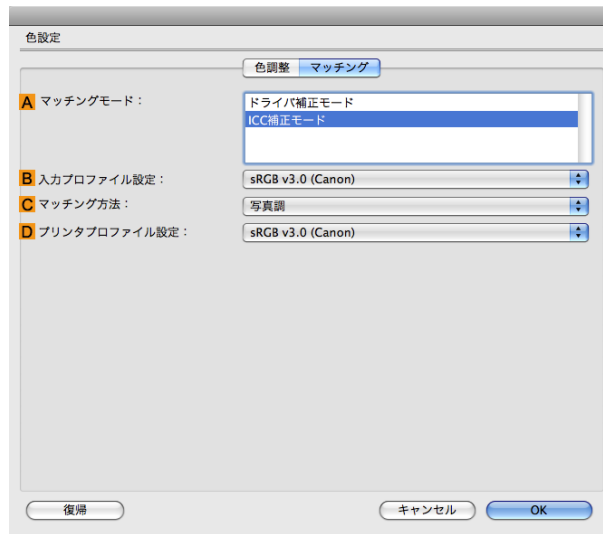
  B[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合に表示されます。

- **E[ガンマ]**

  画像の中間調の階調を変えることができます。

  通常は[2.2]を選択します。[2.2]に比べて柔らかい印象にしたい場合は[1.8]を選択します。

[ICC 補正モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ICC 補正モード]を選択したときは、以下の項目を設定できます。

メモ

- [マッチング]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]タブをクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.331」参照)

- **A[マッチングモード]**

  使用するカラーマッチングを選択できます。

- **B[入力プロファイル設定]**

  [入力プロファイル]を選択できます。
  選択されている A[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。

- **C[マッチング方法]**

  C[マッチング方法]を選択できます。
  選択されている A[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。

- **D[プリンタプロファイル設定]**

  プリンタのプロファイルを設定できます。
  キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙でカラーマネージメントを正確に行うためには、市販のプロファイル作成ソフトウェアで作成した ICC プロファイルを選択することお勧めします。
  作成した ICC プロファイルはご使用のコンピュータの以下のフォルダに保存されている必要があります。
  /ユーザ/(ユーザ名)/ライブラリ/ColorSync/Profiles フォルダ

メモ

- 各選択項目の詳細については､「プリンタドライバで色を調整して印刷する」を参照してください。 →P.51

色設定パネル(カラー)

色は、基本的にアプリケーションソフトで調整されます。印刷結果が思いどおりの色調にならない場合は、プリンタドライバでカラーを調整することもできます。
[色調整]パネルでは、印刷結果が思いどおりの色調にならない場合に調整することができます。

メモ

- [色調整]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.331」参照)
- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.51」を参照してください。

- **A**[サンプルの種類]

  サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

- **B**[カラーパターン表示]

  チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

- **C**[サンプルへ適用]

  チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

- **D**[シアン]/**E**[マゼンタ]/**F**[イエロー]

  各色の強弱を調整することで色合いを補正できます。

- **G**[グレー色調]

  グレーの色調を調整できます。[冷黒]にすると青みがかった色合いになり、[温黒]にすると赤みがかった色合いになります。

- **H**[明るさ]

  画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

- **I**[コントラスト]

  最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

- **J**[鮮やかさ]

  色の濃さを調整できます。[鮮やかさ]の設定を強くするとビビッドな色合いになり、[鮮やかさ]を弱くするとくすんだ色合いになります。

- **K**[調整の対象]

  [調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

  - 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.341

調整の対象ダイアログボックス(カラー)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]パネルの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

- **A[イメージ]**

  チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

- **B[グラフィックス]**

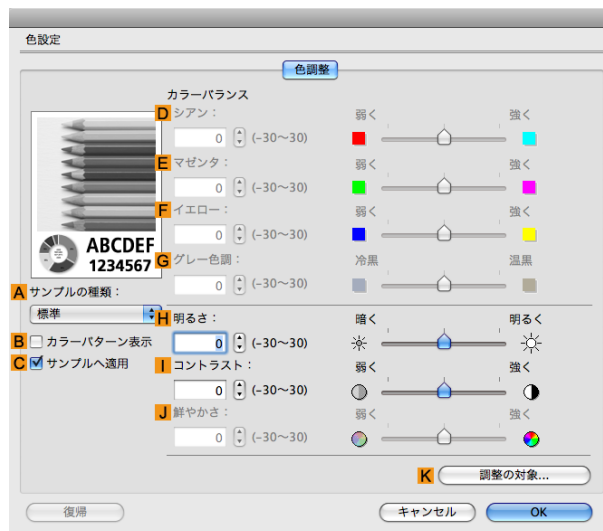
  チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

- **C[テキスト]**

  チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

色設定パネル(モノクロ)

モノクロ用の[色調整]パネルでは、明るさとコントラストを調整することができます。

メモ

- [色調整]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.331 」参照)
- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.51 」を参照してください。

- **A[サンプルの種類]**

  サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

- **B**[カラーパターン表示]

  チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

- **C**[サンプルへ適用]

  チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

- **D**[シアン]/**E**[マゼンタ]/**F**[イエロー]

  設定できません。

- **G**[グレー色調]

  設定できません。

- **H**[明るさ]

  画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

- **I**[コントラスト]

  最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。**I**[コントラスト]を強くするとメリハリが付き **I**[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

- **J**[鮮やかさ]

  設定できません。

- **K**[調整の対象]

  [調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

  - 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) →P.342

調整の対象ダイアログボックス(モノクロ)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]パネルの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

- **A**[イメージ]

  チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

- **B**[グラフィックス]

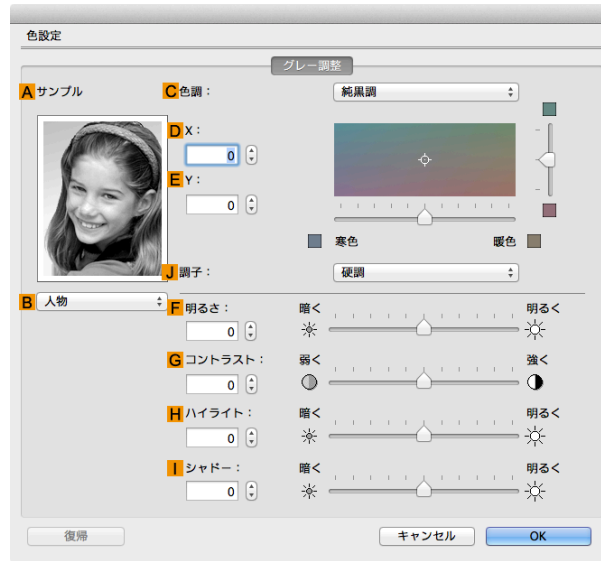
  チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

- **C**[テキスト]

  チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

グレー調整パネル

[グレー調整]パネルでは、色調、明るさ、コントラストなどを調整することができます。

メモ

- [グレー調整]パネルは、基本設定パネル →P.331 で[詳細設定モード]の[カラーモード]で[モノクロ(写真)]を選択し、[色設定]をクリックすると表示できます。
- 用紙の種類によって[モノクロ(写真)]は選択できない場合があります。

- **A[サンプル]**

シート上の各項目の設定を変更すると、左側のイメージに反映され、調整結果を確認できます。

- **B[サンプルリスト]**

サンプルの画像を選択することができます。

- **C[色調]**

リストをクリックして目的に合った色調を選択することができます。

- **D[X]/E[Y]**

調整領域では色合いを確認しながら、色調の調整をすることができます。
中央の四角領域をマウスでクリック、またはドラッグして調整することができます。
水平・垂直のスライドバーを左右、上下にドラッグして調整することができます。
D[X](横方向)、E[Y](縦方向)の数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して色調を調整することができます。

- **J[調子]**

画像の中間調の明るさを調整できます。[硬調]を選択するとメリハリがつき硬い印象になります。[軟調]を選択すると柔らかい印象になります。

- **F[明るさ]**

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

- **G[コントラスト]**

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

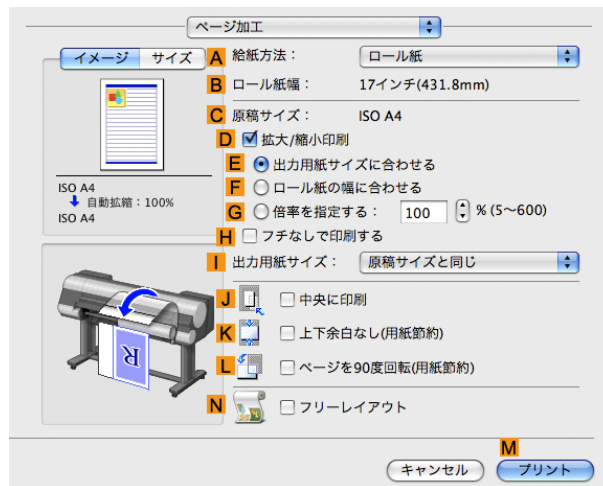
- **H[ハイライト]**

最も明るい部分の明るさを調整することができます。

- **I[シャドー]**

最も暗い部分の明るさを調整することができます。

ページ加工パネル

[ページ加工]パネルでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- **A[給紙方法]**

用紙の給紙方法を選択できます。

[基本設定]パネルの A[用紙の種類]で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

- **B[ロール紙幅]**

プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されます。プリンタがロール紙の幅を認識できない場合は、[不明]と表示されます。

- **C[原稿サイズ]**

アプリケーションソフトのページ設定で設定されている原稿のサイズが表示されます。

アプリケーションソフトで選択できる原稿のサイズについては、「用紙のサイズ →P.474 」を参照してください。

- **D[拡大/縮小印刷]**

チェックボックスをオンにすると、以下の項目を選択できます。

  - 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.63
  - ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.67
  - 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.71

- **E[出力用紙サイズに合わせる]**

原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **F[ロール紙の幅に合わせる]**

原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **G[倍率を指定する]**

原稿を、指定した倍率で拡大/縮小して印刷できます。[5〜600]の値を入力できます。

- **H[フチなしで印刷する]**

A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択すると有効になります。

オンにすると、印刷する用紙のサイズや幅に合わせて、フチなしで印刷できます。

  - 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.86
  - ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.92
  - 原寸大のフチなしで印刷する →P.80

- **I[出力用紙サイズ]**

印刷する用紙のサイズを選択できます。

[すべての出力用紙サイズを表示]をクリックすると、選択可能な用紙のサイズの一覧が表示されます。

選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.474 」を参照してください。

- **J**[中央に印刷]

チェックボックスをオンにすると、原稿を用紙の中央に印刷できます。

  - 原稿をロール紙の中央に印刷する →P.125
  - 原稿をカット紙の中央に印刷する →P.129

- **K**[上下余白なし(用紙節約)]

チェックボックスをオンにすると、原稿の上下に余白がある場合、余白を除いて印刷し、用紙を節約できます。

  - 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.138

- **L**[ページを 90 度回転(用紙節約)]

チェックボックスをオンにすると、原稿を 90 度回転して印刷できます。

  - 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.134

- **N**[フリーレイアウト]

チェックボックスをオンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Free Layout]が起動します。
複数の原稿を並べて印刷することができます。

重要

- [基本設定]パネルの[印刷プレビュー]がオンになっている場合は[印刷プレビュー]が無効になります。

  - 複数の原稿を並べて印刷する →P.110

ユーティリティパネル

[ユーティリティ]パネルでは、以下の項目を設定できます。

- **A**[設定]

クリックすると[プリンタ情報]ダイアログボックスが開き、以下のプリンタのメンテナンスを実行できます。

  - ノズル(インクの噴き出し口)のクリーニング
  - ヘッドの位置の調整
  - 用紙の送り量の調整

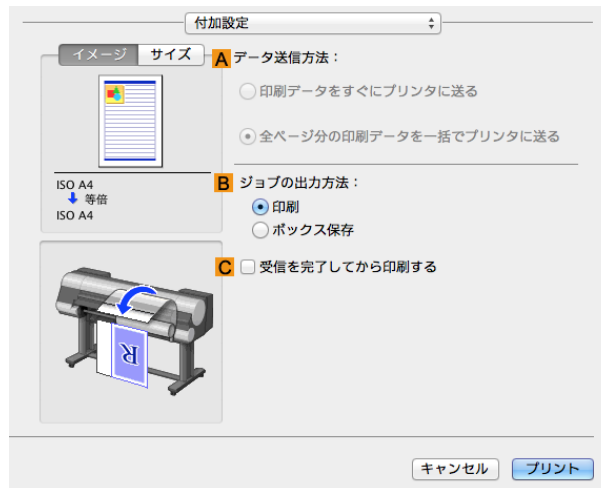
- **B**[表示]

クリックすると[imagePROGRAF Printmonitor]が起動し、印刷ジョブの状態などを表示できます。

- **C**[設定]

クリックすると、Color imageRUNNER 連携拡大コピー(iR 連携)の設定を行うことができます。
詳細は Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.399 を参照してください。

付加設定パネル

[付加設定]パネルでは、以下の項目を設定できます。

- **A[データ送信方法]**

  印刷ジョブをプリンタに送信する方法を表示します。

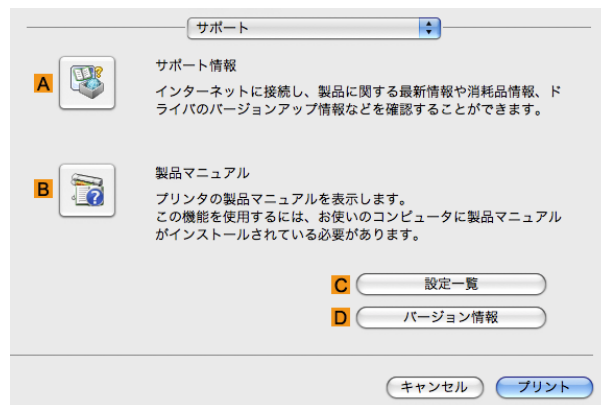
- **B[ジョブの出力方法]**

  印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存する方法を設定できます。

- **C[受信を完了してから印刷する]**

  印刷ジョブの受信が途切れて、印刷が中断することで発生する、印刷品質の低下を防ぐことができます。

サポートパネル

[サポート]パネルでは、サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

- **A[サポート情報]**

  クリックするとインターネットに接続し、製品に関する最新の情報や消耗品の情報、プリンタドライバのバージョンアップ情報などを確認することができます。

- **B[製品マニュアル]**

  クリックするとプリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、ご使用のコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

- **C[設定一覧]**

  設定をファイルとして保存することができます。クリックすると[ファイル保存]ダイアログボックスが開き、保存先を指定してファイルを保存します。

- **D[バージョン情報]**

  プリンタドライバのバージョン情報を表示できます。

Preview

Preview の特長 347
Preview の起動方法 347

Preview メインウィンドウ 348
用紙設定パネル 351
目的設定モード 352
詳細設定モード 354
出力設定パネル 355
色設定パネル 357
色調整 358
グレー調整 360
マッチング 362
ドライバ補正モード 364
ICC 補正モード 365
ColorSync モード 366

環境設定ダイアログボックス 366
ズームダイアログボックス 367
ページ移動ダイアログボックス 367

フチなしで印刷する 367
中央に印刷する 368
上下の余白を印刷しない 368
ページを 90 度回転して印刷する 369
用紙の幅に合わせて表示する 369
全体を表示する 370
実際のサイズで表示する 370
ページを移動する 371

Preview の特長

Preview の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を、プレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することができます。
- 設定を変更するだけでなく、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映され、プレビュー画面をそのまま印刷することができます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Preview 上の設定と異なる場合があります。

Preview の起動方法

Preview を起動する手順は、以下のとおりです。

1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

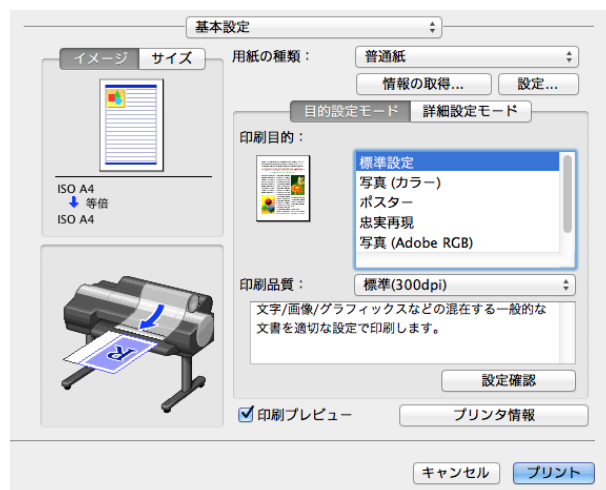
2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

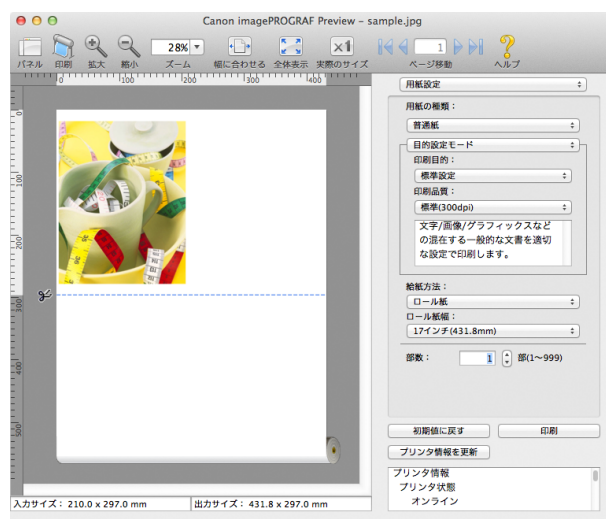
メモ

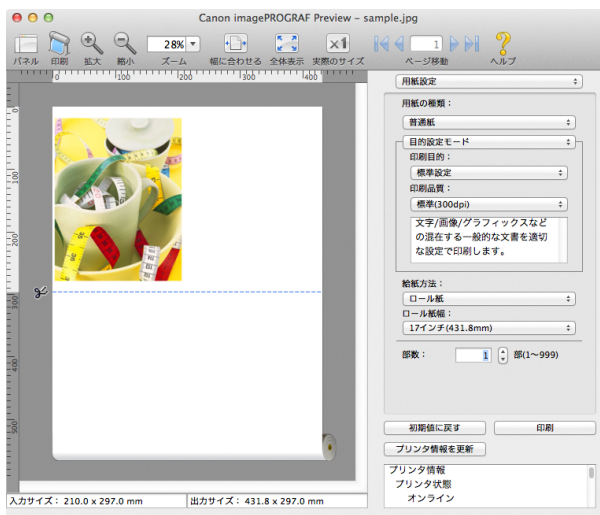
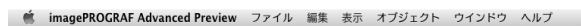
- 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

3. [基本設定]パネルの[印刷プレビュー]をクリックしてチェックマークを付けます。

4 ［プリント］ダイアログボックスの［プリント］ボタンをクリックします。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

5 Preview メインウィンドウが表示されます。

Preview メインウィンドウ

Preview のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、プレビューエリア、ダイアログエリア、パネルエリア、ステータスエリアで構成されています。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

- メニューバー

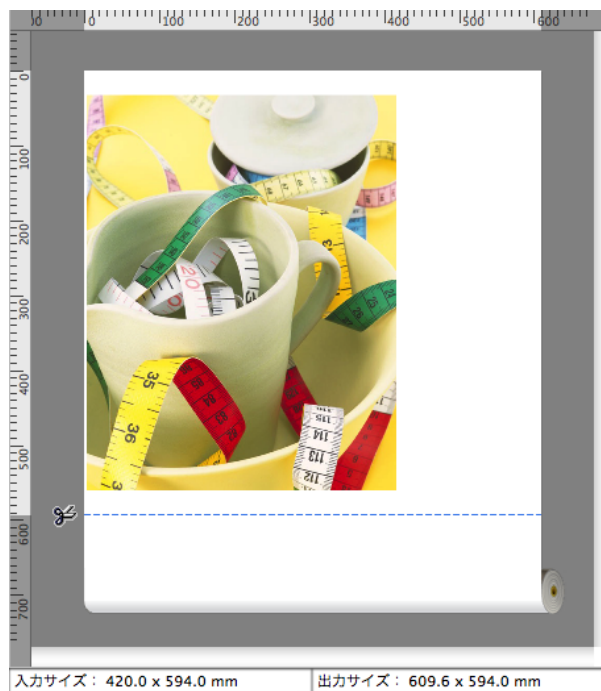
操作に必要なメニューを選択できます。

imagePROGRAF Advanced Preview ファイル 編集 表示 オブジェクト ウインドウ ヘルプ

- ツールバー

主な操作のツールボタンを選択できます。

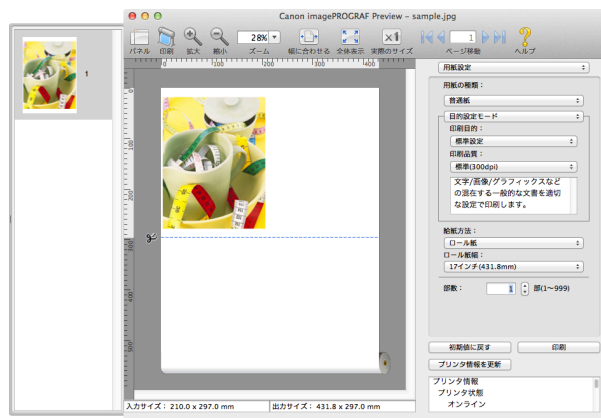
- プレビューエリア

設定した内容がどのように反映されるのかを確認することができます。

- ダイアログエリア

印刷条件を設定したり､印刷を実行することができます。

- パネルエリア

原稿のサムネイルを表示することができます。

ツールバーの [パネル]をクリックすると､表示されます。
または[表示]メニューから[パネル]を選択します。

- ステータスエリア

[入力サイズ]と[出力サイズ]が表示されます。

入力サイズ： 420.0 x 594.0 mm | 出力サイズ： 609.6 x 594.0 mm

用紙設定パネル

ダイアログエリアから[用紙設定]を選択すると、表示されます。

- [用紙の種類]

  用紙の種類を選択します。

  メモ

  - 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

- [目的設定モード]/ [詳細設定モード]

  最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。

  各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

  - 目的設定モード →P.352
  - 詳細設定モード →P.354

- [給紙方法]

  給紙方法を選択します。

  給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[カット紙]	カット紙に印刷する場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

- [ロール紙幅]

  プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [部数]

  印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ
- 入力できる数値は 1〜999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [初期値に戻す]ボタン

  ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

- [印刷]ボタン

  ボタンを押すと、印刷が開始されます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン

  ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

- [印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[写真 (カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[写真 (モノクロ)]	モノクロ写真を最適な設定で印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[写真 (Adobe RGB)]	色空間が Adobe RGB の画像を最適な色で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。
[ユーザ設定]	詳細設定モードで設定された内容で印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/ [きれい]/ [標準]/ [速い]
解像度	[600dpi]/ [300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

印刷品質やカラーモードなどの詳細な設定を自分で行うことできます。

- [優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真･イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。
[線画･文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真･イラスト]を選んでください。
[プルーフ]	印刷プルーフで写真やイラストや文字の再現性を重視する場合の設定です。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/ [きれい]/ [標準]/ [速い]

設定項目	内容
解像度	[600dpi]/ [300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

出力設定パネル

ダイアログエリアから[出力設定]を選択すると、表示されます。

- [拡大／縮小印刷]

拡大／縮小印刷の方法を選択します。
拡大／縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。 *[用紙設定]パネルの[ロール紙幅]に、プリンタに取り付けたロール紙の幅が正しく設定されていることを確認してください。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	指定した倍率で、原稿全体を拡大／縮小して印刷します。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5〜600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

設定項目	内容
[倍率を指定する]	*出力用紙サイズより大きくなるように倍率を指定することは可能ですが、用紙に入りきらない部分は印刷されません。 *[フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、選択できません。

- [フチなしで印刷する]

特定の幅のロール紙、および特定の種類の用紙を用いた場合に四辺の縁のない印刷を行うことができます。
[フチなしで印刷する]について詳しくは、「フチなしで印刷する」を参照してください。→P.367

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- [中央に印刷]が設定されている場合は、選択できません。

- [出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、選択できません。

- [中央に印刷]

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷します。
[中央に印刷]について詳しくは、「中央に印刷する」を参照してください。→P.368

メモ
- [フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、選択できません。

- [上下余白なし(用紙節約)]

用紙の上下に空白領域がある印刷データの場合に、空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。
[上下余白なし(用紙節約)]について詳しくは、「上下の余白を印刷しない」を参照してください。→P.368

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [ページを回転]

ページを回転する方法を選択します。
ページを回転には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[右 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを右 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。
[左 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを左 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。
[180 度回転]	文書や画像を 180 度回転させて印刷します。

- [初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

- [印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

色設定パネル

ダイアログエリアから[色設定]を選択すると、表示されます。

- [カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ(写真)]	モノクロ写真の画像データを、色転び(グレーに色がついて見える現象)のないグレー階調で印刷します。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[色補正なし]	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。Adobe Photoshop などのアプリケーションでカラーマッチングを行う場合や、プロファイル作成ツールでカラーチャートを印刷する場合に選択してください。

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

- [色調整]/ [グレー調整]/ [マッチング]

色調整とマッチングの設定を行うことができます。

- 色調整 →P.358
- グレー調整 →P.360
- マッチング →P.362

メモ

- [グレー調整]は、[カラーモード]で[モノクロ(写真)]を選択した場合のみ、選択できます。
- [マッチング]は[カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは表示されません。

- [初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

- [印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

色調整

色調整の設定を行うことができます。

カラーを調整する

カラーは基本的にアプリケーションソフトで選択され調整されます。ただし、印刷結果が希望する色調にならない場合は、カラーを調整することもできます。

1 [色設定]パネルの[カラーモード]で、[カラー]を選択します。

2 [色調整]を選択します。

3 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[シアン]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[マゼンタ]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[イエロー]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強くしてください。
[鮮やかさ]	ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを調整できます。
[グレー色調]	グレーの色を、冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整できます。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

モノクロを調整する

スキャナやデジタルカメラで取り込んだカラー写真または他のカラー画像を、モノクロで印刷するための設定をします。

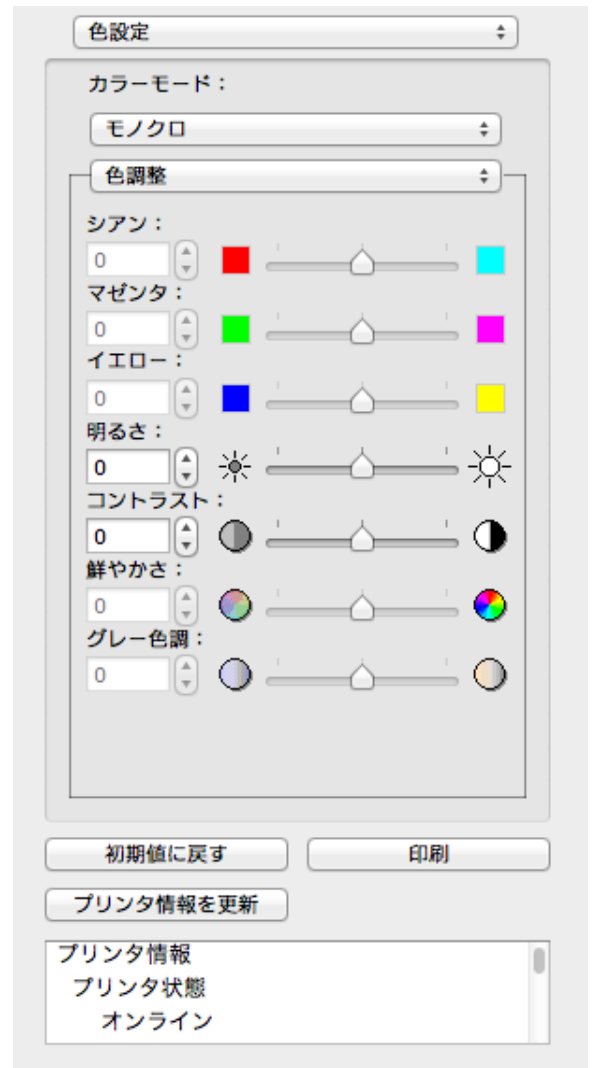
1 [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ]を選択します。

2 [色調整]を選択します。

3 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強くしてください。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

グレー調整

グレー調整を行うことができます。

モノクロ(写真)を調整する

スキャナやデジタルカメラから取り込んだモノクロ写真の画像データを、モノクロで印刷するための設定をします。

1 [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ(写真)]を選択します。

2 ［グレー調整］を選択します。

3 ［色調］のリストをクリックして色調を選びます。

設定項目	内容
［冷黒調］	冷黒（青みがかった色合い）系のグレーに調整します。
［純黒調］	ニュートラルなグレーに調整します。
［温黒調］	温黒（赤みがかった色合い）系のグレーに調整します。

メモ

- X、Y のスライドバーを左右にドラッグして調整することもできます。
- X、Y の数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

4 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
［調子］	画像の中間調の明るさを調整できます。［硬調］を選択するとメリハリがつき硬い印象になります。［軟調］を選択すると柔らかい印象になります。
［明るさ］	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像（スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど）に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
［コントラスト］	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。
［ハイライト］	最も明るい部分の明るさを調整することができます。
［シャドー］	最も暗い部分の明るさを調整することができます。

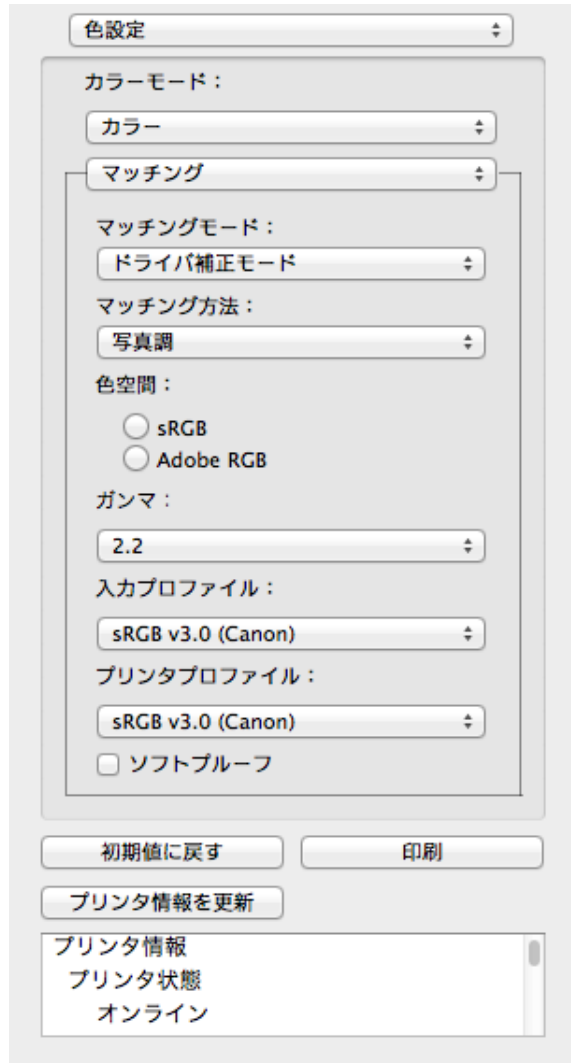
メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。
- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

マッチング

マッチングの設定を行うことができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]は表示されません。

- [マッチングモード]

印刷の内容に応じてマッチングモードを選択することができます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.364	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.365	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
ColorSync モード →P.366	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。

メモ

- プリンタドライバで各モードが設定されている必要があります。
- [ColorSync モード]を選択するにはドライバの[カラー･マッチング]パネルで[ColorSync モード]が設定されている必要があります。

- **[マッチング方法]**

印刷の内容に応じてマッチング方法を選択することができます。

- **[色空間]**

色空間を選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- **[ガンマ]**

画像の中間調の明るさを調整できます。通常は[2.2]を選択します。[2.2]に比べて柔らかい印象にしたい場合は[1.8]を選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- **[入力プロファイル]**

入力プロファイルを選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- **[プリンタプロファイル]**

プリンタプロファイルを選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- **[ソフトプルーフ]**

チェックマークを付けると、[ColorSync モード]がプレビューエリアに適用されます。

メモ

- [マッチングモード]で[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。

ドライバ補正モード

1 [マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]を選択します。

2 [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[写真調(人肌・暗部優先)]	室内で撮影された人物写真や、薄暗い風景写真など、ローキーな写真を印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。暗部の階調つぶれを防止すると共に、人物の肌を温かみのある色合いで再現できます。

3 出力する[色空間]を選択します。

設定項目	内容
[sRGB]	標準的なモニタの色空間を使用します。一般的なアプリケーションの印刷に適しています。
[Adobe RGB]	より広い色空間を使用します。Adobe RGB の色空間を使用して作成された画像を印刷する場合に使用してください。

ICC 補正モード

1 [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択します。

2 [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3 [入力プロファイル]のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

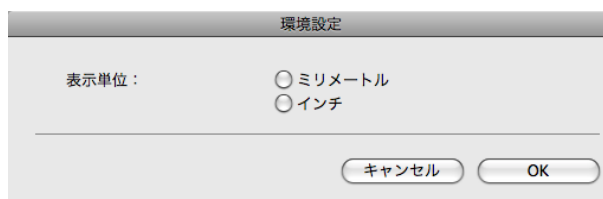
4 [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1 [マッチングモード]で、[ColorSync モード]が選択されていることを確認します。

2 [ColorSync モード]をプレビューに適用する場合は、[ソフトプルーフ]にチェックマークをつけます。

環境設定ダイアログボックス

[imagePROGRAF Advanced Preview]メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。Preview の環境設定を行うことができます。

- [表示単位]

  用紙の長さや余白などの単位を選択します。

ズームダイアログボックス

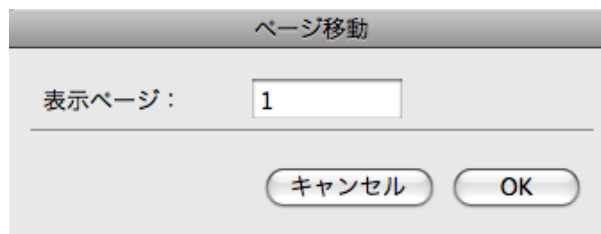
[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大／縮小できます。

- [倍率]

画面表示の拡大／縮小倍率を設定します。

メモ
- 入力できる数値は 10〜400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

ページ移動ダイアログボックス

[表示]メニューから[ページ移動]を選択すると、表示されます。

メモ
- 原稿が 1 ページしかない場合は、[ページ移動]を選択することができません。

- [表示ページ]

プレビューエリアに表示するページを半角数字で入力します。

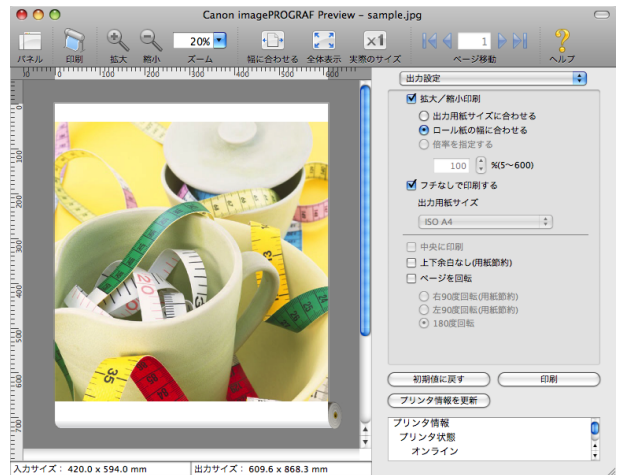
メモ
- 入力できる数値は、原稿のページ数の範囲です。

フチなしで印刷する

フチなし印刷機能を使用して、画像の周囲に余白を取らずに印刷することができます。

メモ
- 用紙の種類によっては、2 辺のみのフチなしで印刷されます。
- フチなし印刷機能を使用するには、プリンタに専用の用紙がセットされている必要があります。

1. 用紙設定パネル →P.351 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。
2. 出力設定パネル →P.355 の[拡大／縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。
3. [ロール紙の幅に合わせる]を選択します。

4 ［フチなしで印刷する］をクリックしてチェックマークを付けます。

5 ［印刷］ボタンをクリックします。

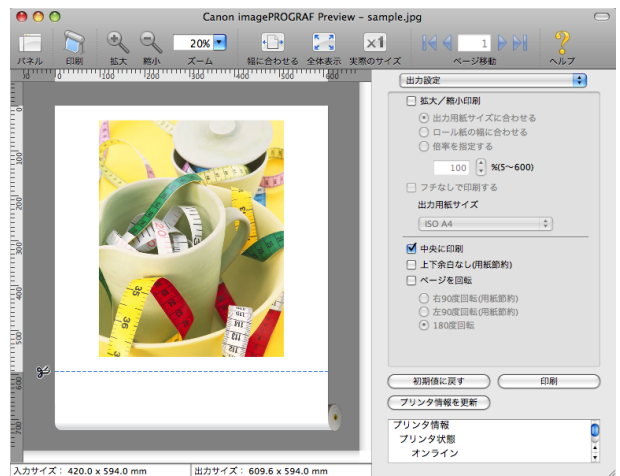
フチなしの設定で印刷が開始されます。

中央に印刷する

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷します。

メモ

- ［フチなしで印刷する］にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

1 出力設定パネル →P.355 の［中央に印刷］をクリックしてチェックマークを付けます。

2 ［印刷］ボタンをクリックします。

用紙の中央に印刷が開始されます。

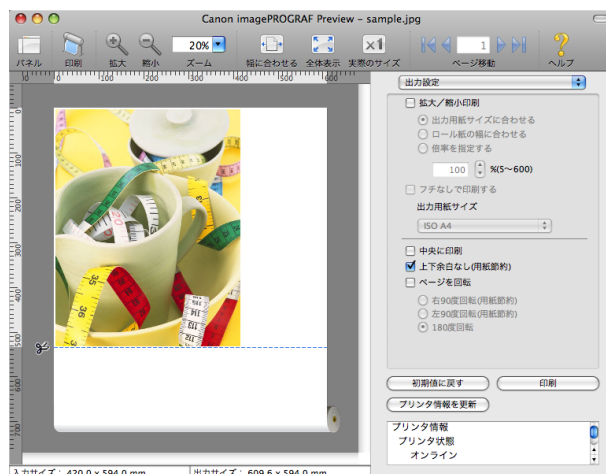
上下の余白を印刷しない

用紙の上下に空白領域のあるデータを印刷するとき、マージン以外の空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。

メモ

- ［フチなしで印刷する］にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

1 用紙設定パネル →P.351 の［給紙方法］で、［ロール紙］を選択します。

2 出力設定パネル →P.355 の[上下余白なし(用紙節約)]をクリックしてチェックマークを付けます。

3 [印刷]ボタンをクリックします。

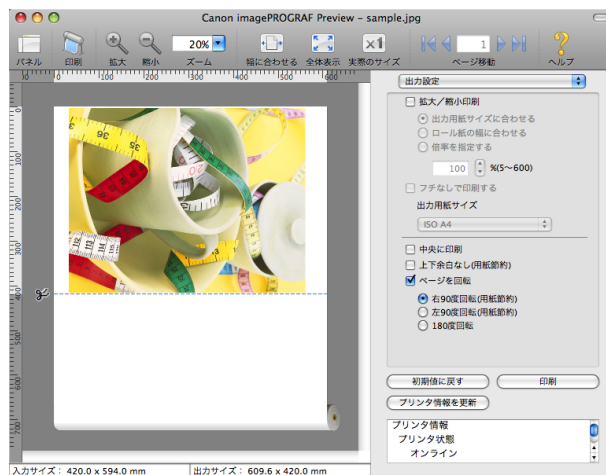
上下余白なしの設定で印刷が開始されます。

ページを 90 度回転して印刷する

ロール紙上に横長に印刷されるため、用紙を節約できます。

1 用紙設定パネル →P.351 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

2 出力設定パネル →P.355 の[ページを回転]をクリックしてチェックマークを付けます。

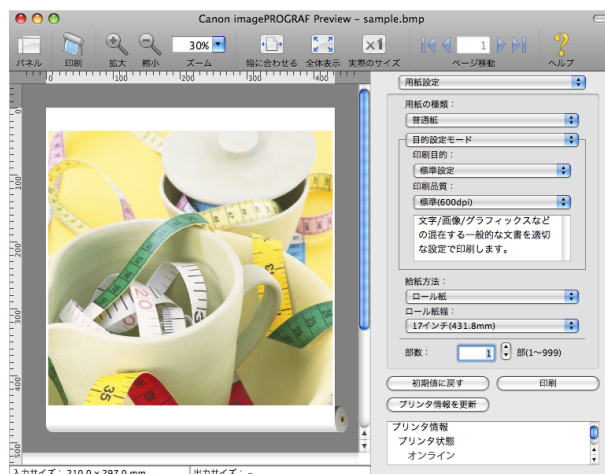
3 [右 90 度回転(用紙節約)]または[左 90 度回転(用紙節約)]を選択します。

4 [印刷]ボタンをクリックします。

ページを 90 度回転して印刷が開始されます。

用紙の幅に合わせて表示する

プレビューエリアに用紙の幅に合わせて表示することができます。

1 ツールバーから [幅に合わせる]を選択します。

2 用紙の幅に合わせて表示されます。

全体を表示する

プレビューエリアに全体を表示することができます。

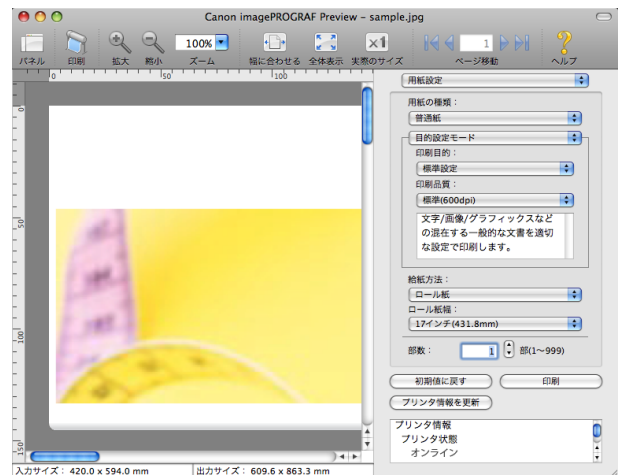
1 ツールバーから [全体表示]を選択します。

2 全体が表示されます。

実際のサイズで表示する

実際のサイズで表示することができます。

1 ツールバーから [実際のサイズ]を選択します。

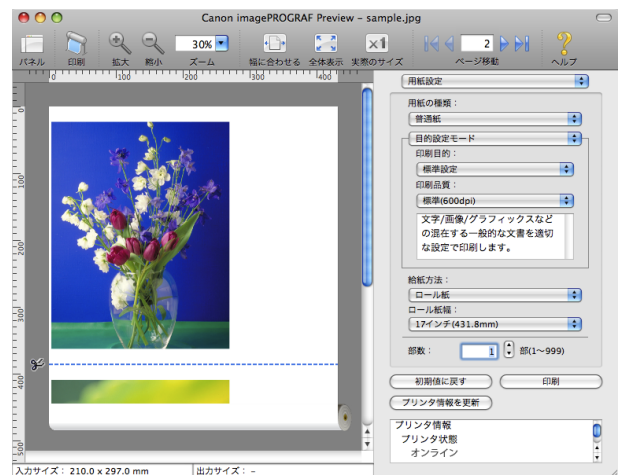
2 実際のサイズで表示されます。

ページを移動する

プレビューエリアに表示するページを移動する事が出来ます。

1 ツールバーの[ページ移動]の各ボタンを選択します。

ボタン	内容
	最初のページに移動します。
	前のページに移動します。
	次のページに移動します。
	最後のページに移動します。

2 移動先のページが表示されます。

メモ

- サムネイルでページをクリックして、ページを移動することもできます。

Free Layout

Free Layout の特長 372
Free Layout の起動方法 372

Free Layout メインウィンドウ 373
用紙設定パネル 376
目的設定モード 377
詳細設定モード 379
色設定パネル 380
色調整 381
グレー調整 384
マッチング 385
ドライバ補正モード 387
ICC 補正モード 388
ColorSync モード 389

環境設定ダイアログボックス 389
ページ設定ダイアログボックス 390
ズームダイアログボックス 391
書式設定ダイアログボックス 392

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する 392
複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する 393
オブジェクトを選択する 393
オブジェクトのサイズを変更する 394
オブジェクトを移動する 394
オブジェクトを回転する 395
オブジェクトを自動配置する 395
オブジェクトを整列する 395
オブジェクトの重なり順を変更する 397
コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける 398

Free Layout の特長

Free Layout の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を自由に配置して印刷することができます。
- 複数のページを 1 ページに配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が Free Layout 上の設定と異なる場合があります。

Free Layout の起動方法

Free Layout を起動する手順は、以下のとおりです。

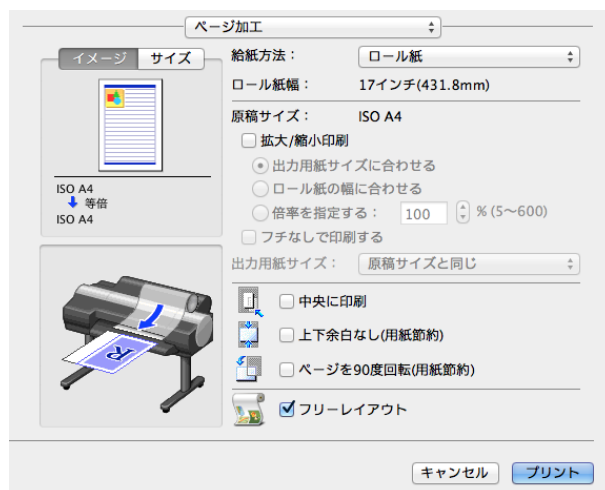
1 ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

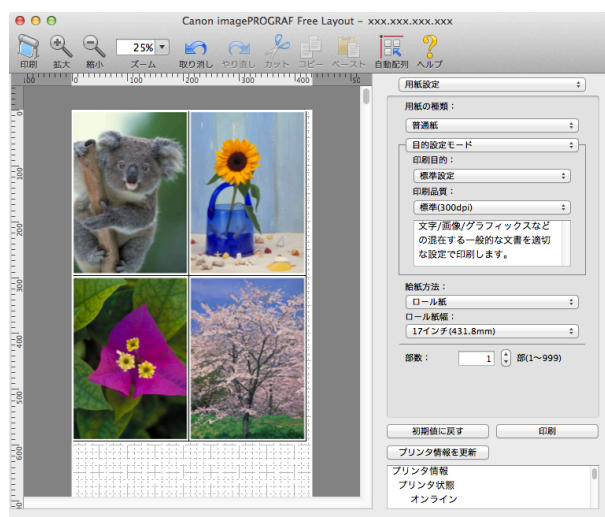
2 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

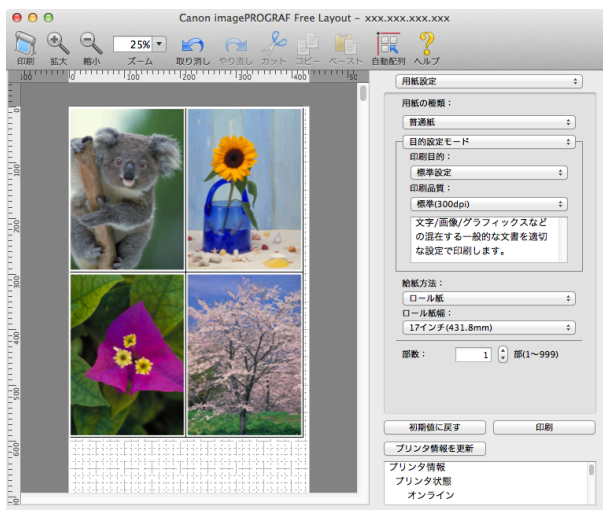
メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

3 [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

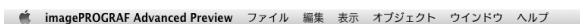
4 ［プリント］ダイアログボックスの［プリント］ボタンをクリックします。

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

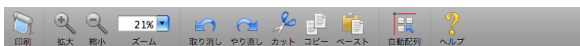
5 Free Layout メインウィンドウが表示されます。

Free Layout メインウィンドウ

Free Layout のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ダイアログエリアで構成されています。

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

- **メニューバー**

操作に必要なメニューを選択できます。

imagePROGRAF Advanced Preview　ファイル　編集　表示　オブジェクト　ウインドウ　ヘルプ

- **ツールバー**

主な操作のツールボタンを選択できます。

- **レイアウトエリア**

オブジェクトの配置、サイズ、向きを編集できます。

- ダイアログエリア

印刷条件を設定したり､印刷を実行することができます。

用紙設定

用紙の種類：

普通紙

目的設定モード

印刷目的：

標準設定

印刷品質：

標準(300dpi)

文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。

給紙方法：

ロール紙

ロール紙幅：

17インチ(431.8mm)

部数： 1 部(1〜999)

初期値に戻す

印刷

プリンタ情報を更新

プリンタ情報

プリンタ状態

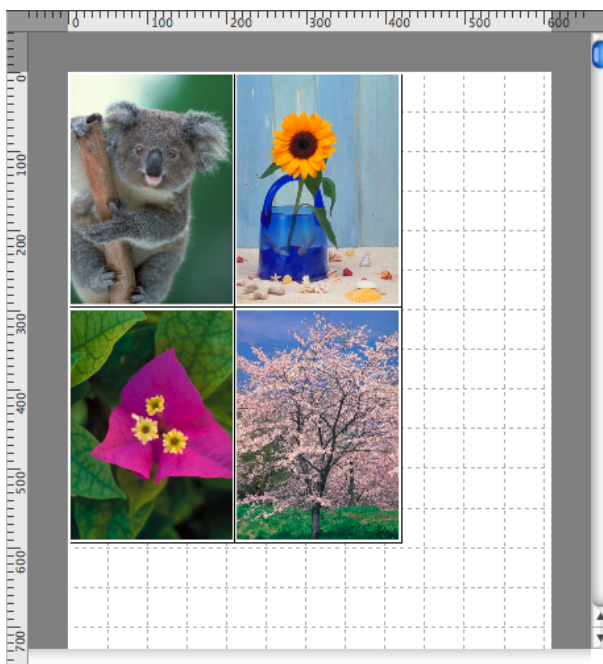
オンライン

用紙設定パネル

ダイアログエリアから[用紙設定]を選択すると、表示されます。

- [用紙の種類]

  用紙の種類を選択します。

  メモ
  - 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

- [目的設定モード]/ [詳細設定モード]

  最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。
  各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

  - 目的設定モード →P.377
  - 詳細設定モード →P.379

- [給紙方法]

  給紙方法を選択します。
  給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[カット紙]	カット紙に印刷する場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

- [ロール紙幅]

プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1～999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Free Layout の起動時の設定に戻ります。

- [印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

用紙設定
用紙の種類：
普通紙
目的設定モード
印刷目的：
標準設定
印刷品質：
標準(300dpi)
文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
給紙方法：
ロール紙
ロール紙幅：
17インチ(431.8mm)
部数： 1 部(1～999)
初期値に戻す 印刷
プリンタ情報を更新
プリンタ情報
プリンタ状態
オンライン

- [印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[写真 (カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[写真 (モノクロ)]	モノクロ写真を最適な設定で印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[写真 (Adobe RGB)]	色空間が Adobe RGB の画像を最適な色で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。
[ユーザ設定]	詳細設定モードで設定された内容で印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/ [きれい]/ [標準]/ [速い]
解像度	[600dpi]/ [300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

優先画質や印刷品質などの詳細な設定を自分で行うことできます。

- ［優先画質］

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
［写真･イラスト］	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。
［線画･文字］	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は［写真･イラスト］を選んでください。
［プルーフ］	印刷プルーフで写真やイラストや文字の再現性を重視する場合の設定です。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。
［オフィス文書］	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- ［印刷品質］

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	［最高］/［きれい］/［標準］/［速い］

設定項目	内容
解像度	[600dpi]/ [300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

色設定パネル

ダイアログエリアから[色設定]を選択すると、表示されます。

- [カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ(写真)]	モノクロ写真の画像データを、色転び(グレーに色がついて見える現象)のないグレー階調で印刷します。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[色補正なし]	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。Adobe Photoshop などのアプリケーションでカラーマッチングを行う場合や、プロファイル作成ツールでカラーチャートを印刷する場合に選択してください。

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

- [色調整]/ [グレー調整]/ [マッチング]

色調整とマッチングの設定を行うことができます。

- 色調整 →P.381
- グレー調整 →P.384
- マッチング →P.385

メモ

- [グレー調整]は、[カラーモード]で[モノクロ(写真)]を選択した場合のみ、選択できます。
- [マッチング]は[カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは表示されません。

- [初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Free Layout の起動時の設定に戻ります。

- [印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

色調整

色調整の設定を行うことができます。

カラーを調整する

カラーは基本的にアプリケーションソフトで選択され調整されます。ただし、印刷結果が希望する色調にならない場合は、カラーを調整することもできます。

1 [色設定]パネルの[カラーモード]で、[カラー]を選択します。

2 [色調整]を選択します。

3 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[シアン]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[マゼンタ]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[イエロー]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。
[鮮やかさ]	ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを調整できます。
[グレー色調]	グレーの色を、冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整できます。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

モノクロを調整する

スキャナやデジタルカメラで取り込んだカラー写真または他のカラー画像を、モノクロで印刷するための設定をします。

1 [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ]を選択します。

2 [色調整]を選択します。

3 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

グレー調整

グレー調整の設定を行うことができます。

モノクロ(写真)を調整する

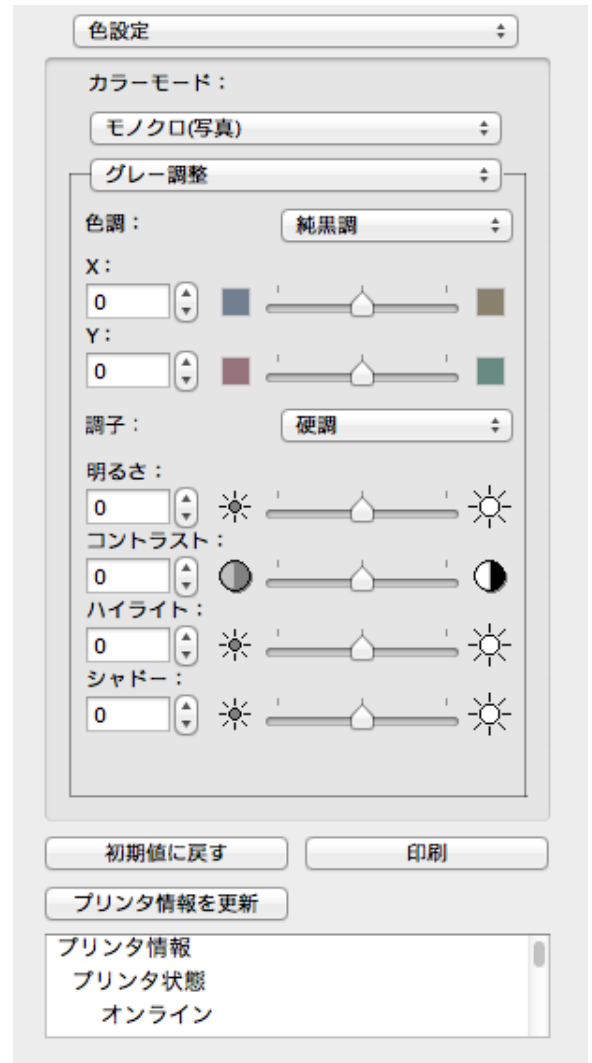
スキャナやデジタルカメラから取り込んだモノクロ写真の画像データを、モノクロで印刷するための設定をします。

1 ［色設定］パネルの［カラーモード］で、［モノクロ(写真)］を選択します。

2 ［グレー調整］を選択します。

3 ［色調］のリストをクリックして色調を選びます。

設定項目	内容
［冷黒調］	冷黒(青みがかった色合い)系のグレーに調整します。
［純黒調］	ニュートラルなグレーに調整します。
［温黒調］	温黒(赤みがかった色合い)系のグレーに調整します。

メモ

- X、Y のスライドバーを左右にドラッグして調整することもできます。
- X、Y の数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

4 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
［調子］	画像の中間調の明るさを調整できます。［硬調］を選択するとメリハリがつき硬い印象になります。［軟調］を選択すると柔らかい印象になります。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。
[ハイライト]	最も明るい部分の明るさを調整することができます。
[シャドー]	最も暗い部分の明るさを調整することができます。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。
- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

マッチング

マッチングの設定を行うことができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]は表示されません。

- [マッチングモード]

  印刷の内容に応じてマッチングモードを選択することができます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.387	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.388	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
ColorSync モード →P.389	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。

メモ

- プリンタドライバで各モードが設定されている必要があります。
- [ColorSync モード]を選択するにはドライバの[カラー・マッチング]パネルで[ColorSync モード]が設定されている必要があります。

- [マッチング方法]

印刷の内容に応じてマッチング方法を選択することができます。

- [色空間]

色空間を選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- [ガンマ]

画像の中間調の明るさを調整できます。通常は[2.2]を選択します。[2.2]に比べて柔らかい印象にしたい場合は[1.8]を選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- [入力プロファイル]

入力プロファイルを選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- [プリンタプロファイル]

プリンタプロファイルを選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- [ソフトプルーフ]

チェックマークを付けると、[ColorSync モード]がレイアウトエリアに適用されます。

メモ

- [マッチングモード]で[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。

ドライバ補正モード

1 [マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]を選択します。

2 [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[写真調(人肌・暗部優先)]	室内で撮影された人物写真や、薄暗い風景写真など、ローキーな写真を印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。暗部の階調つぶれを防止すると共に、人物の肌を温かみのある色合いで再現できます。

3 出力する[色空間]を選択します。

設定項目	内容
[sRGB]	標準的なモニタの色空間を使用します。一般的なアプリケーションの印刷に適しています。
[Adobe RGB]	より広い色空間を使用します。Adobe RGB の色空間を使用して作成された画像を印刷する場合に使用してください。

ICC 補正モード

1 [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択します。

2 [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3 [入力プロファイル]のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

4 [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1 [マッチングモード]で、[ColorSync モード]が選択されていることを確認します。

2 [ソフトプルーフ]にチェックマークを付けると、レイアウトエリアに出力結果がシミュレーションして表示されます。

環境設定ダイアログボックス

imagePROGRAF Advanced Preview メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。Free Layout の環境設定を行うことができます。

- [表示単位]

用紙の長さや余白などの単位を選択します。

- [グリッド線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の幅を半角数字で入力します。

メモ
- 入力できる数値は「10.0～200.0(mm)」「0.39～7.87(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [分割線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の分割数を変更します。

メモ
- 入力できる数値は 1～10 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [グリッドの色]

グリッド線の色を選択します。

- [オブジェクト枠を印刷する]

オブジェクトの枠線を印刷することができます。

メモ
- オブジェクトの枠線を印刷しない場合は、[オブジェクト枠を印刷する]チェックボックスをオフにします。

- [オブジェクト枠の種類]

印刷するオブジェクトの枠線を選択することができます。
オブジェクト枠の種類には、以下の設定があります。

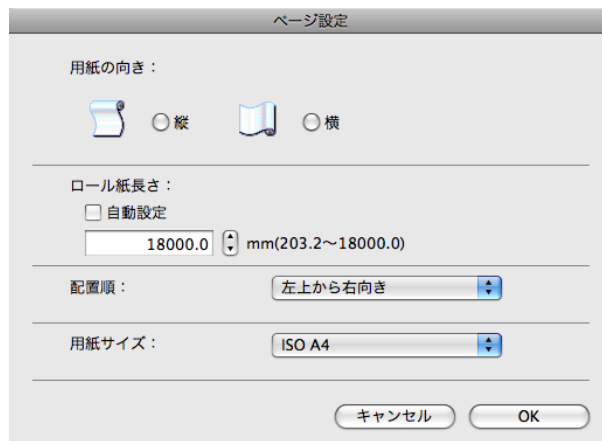
設定項目	内容
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。

- [自動配列間隔]

オブジェクトを自動配列する際の、オブジェクト間の間隔を設定します。

メモ
- 入力できる数値は「0.0～100.0(mm)」「0.00～3.94(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

ページ設定ダイアログボックス

[ファイル]メニューから[ページ設定]を選択すると、表示されます。このダイアログボックスで、印刷の向き、用紙サイズなどを設定します。

- [用紙の向き]

用紙の向きを選択します。
用紙の向きには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[縦]	アプリケーションで作成した図や文章をそのままの向きで印刷します。
[横]	アプリケーションで作成した図や文章の向きを、横に 90 度回転して印刷します。

- [ロール紙長さ]

ロール紙に印刷する 1 ページの長さを設定します。
[自動設定]にチェックマークを付けると、配置したオブジェクトが 1 ページで印刷されるように、ロール紙に印刷する 1 ページの長さが自動で設定されます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- 入力できる数値は「203.2〜18000.0(mm)」「8.00〜708.66(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [配置順]

オブジェクトの配置順を設定します。
配置順には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[左上から右向き]	左上から右方向に、オブジェクトが配置されます。
[左上から下向き]	左上から下方向に、オブジェクトが配置されます。

メモ

- [ロール紙長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[縦]を選択している場合は、[左上から右向き]のみが選択できます。
- [ロール紙長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[横]を選択している場合は、[左上から下向き]のみが選択できます。

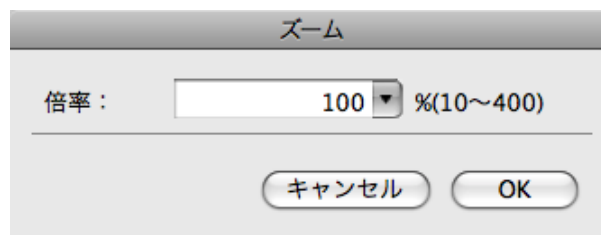
- [用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ

- [給紙方法]で[ロール紙]が設定されている場合は、選択できません。

ズームダイアログボックス

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大/縮小できます。

- [倍率]

画面表示の拡大/縮小倍率を設定します。

メモ

- 入力できる数値は 10〜400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

書式設定ダイアログボックス

オブジェクトを選択後、[オブジェクト]メニューから[書式設定]を選択すると、表示されます。オブジェクトを回転したり、拡大/縮小できます。

メモ

- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

- [回転]

チェックマークを付けると、[右 90 度]または[左 90 度]を選択することができます。

設定項目	内容
[右 90 度]	時計回りに 90 度回転します。
[左 90 度]	反時計回りに 90 度回転します。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

- [倍率]

オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 25〜400 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [オブジェクトのサイズ]

オブジェクトのサイズを確認できます。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[オブジェクトのサイズ]は表示されません。

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

2 [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

3 [プリント]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[プリント]ボタンをクリックします。
Free Layout が起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

4 Free Layout を起動したまま、アプリケーションソフトで他のファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

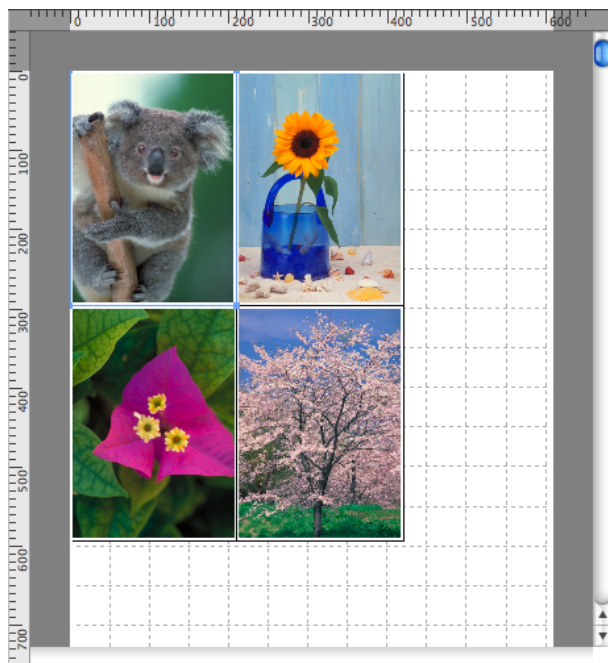
2 [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

3 [プリント]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[プリント]ボタンをクリックします。
Free Layout が起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

4 Free Layout を起動したまま、他のアプリケーションソフトでファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

オブジェクトを選択する

オブジェクトが選択されると、オブジェクトの周囲に選択ボックス(青い枠線)が表示されます。

メモ

- 1 つのオブジェクトを選択する場合は、オブジェクトをクリックします。
- 連続したオブジェクトを複数選択する場合は、shift キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- 任意のオブジェクトを複数選択する場合は、command キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- すべてのオブジェクトを選択する場合は、[編集]メニューから[すべてを選択]を選択します。

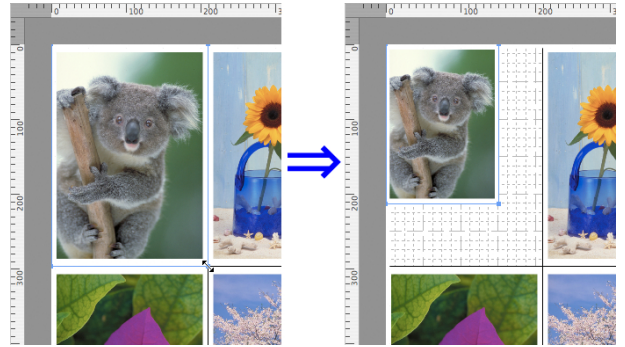
オブジェクトのサイズを変更する

オブジェクトのサイズを変更する手順には、マウス操作による方法と、拡大/縮小倍率を指定する方法があります。

メモ

- オブジェクトの縦横の比率は変わらずに、拡大/縮小されます。

マウス操作によってサイズを変更する場合

1. オブジェクトを選択します。
2. オブジェクトの周囲の選択ボックスの角にポインタを置いて矢印ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトのサイズを変更します。

拡大/縮小倍率を指定する場合

1. オブジェクトを選択します。
2. 書式設定ダイアログボックス →P.392 を開きます。
3. [倍率]で拡大/縮小倍率を設定します。オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

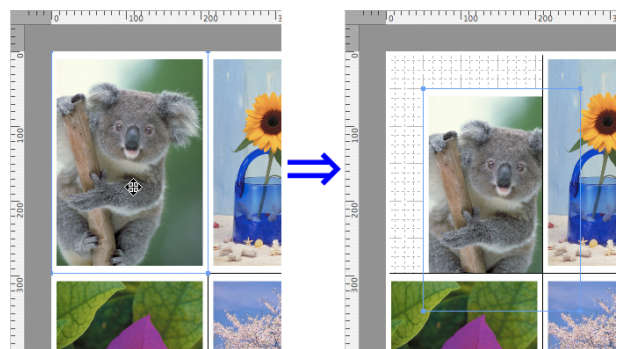
メモ

- 入力できる数値は 25～400 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

4. [OK]をクリックします。

オブジェクトを移動する

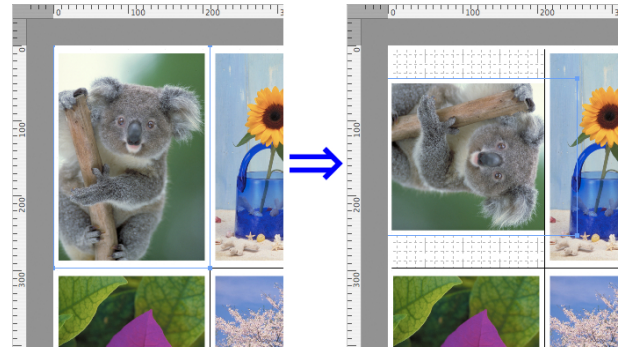
選択したオブジェクトの位置を移動することができます。

1. オブジェクトを選択します。
2. オブジェクトの選択ボックス内にポインタを置いて十字ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトを移動します。

オブジェクトを回転する

選択したオブジェクトを回転することができます。

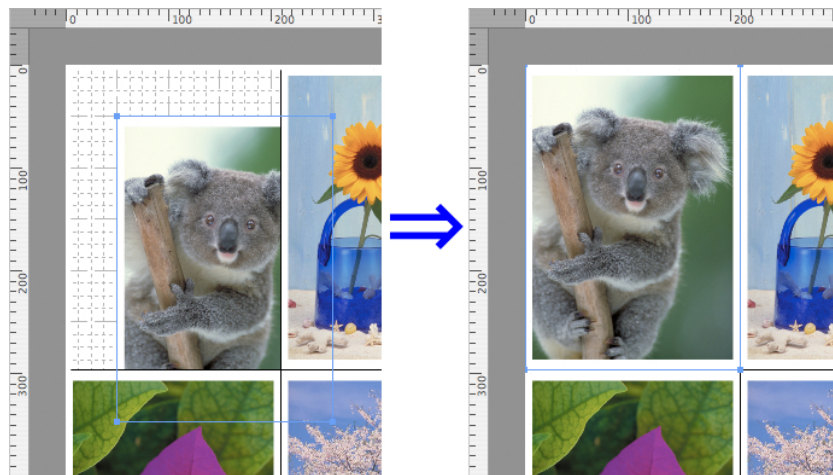
1 オブジェクトを選択します。

2 ツールバーから[左 90 度回転]または[右 90 度回転]を選択します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.392 の[回転]チェックボックスをオンにし、[右 90 度]または[左 90 度]を選択し、[OK]をクリックします。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

オブジェクトを自動配置する

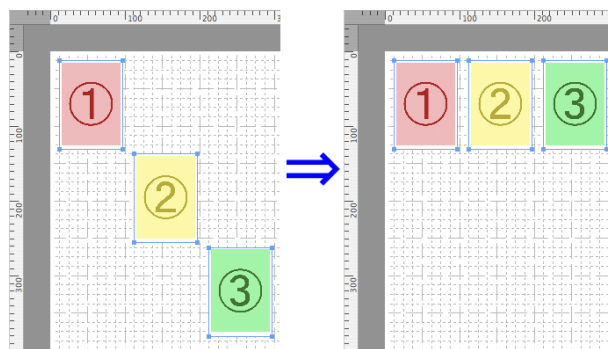
ツールバーの[自動配列]をクリックします。オブジェクトが自動的に配置されます。または、[オブジェクト]メニューから[オブジェクトの自動配列]を選択します。

メモ

- オブジェクトの配置順は、ページ設定ダイアログボックス →P.390 の[配置順]の設定によって異なります。

オブジェクトを整列する

オブジェクトを規則的に整列させることができます。

1 複数のオブジェクトを選択します。

2 [オブジェクト]メニューから整列用のメニューを選択します。

- [上揃え]

  オブジェクトを上端に揃えて配置します。

- [上下中央揃え]

  オブジェクトを垂直方向の中央に揃えて配置します。

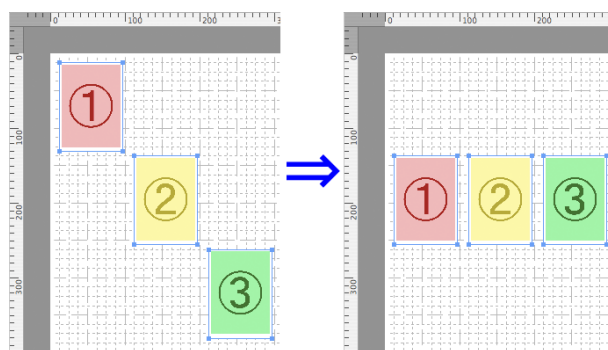
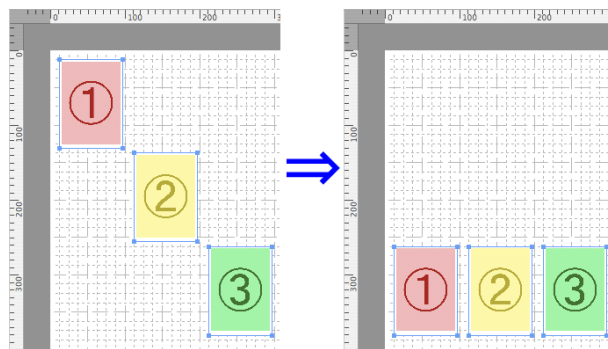
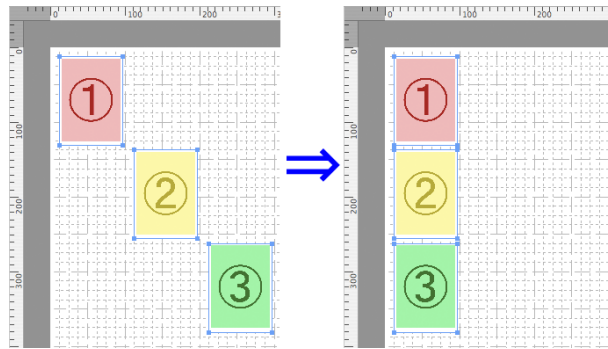
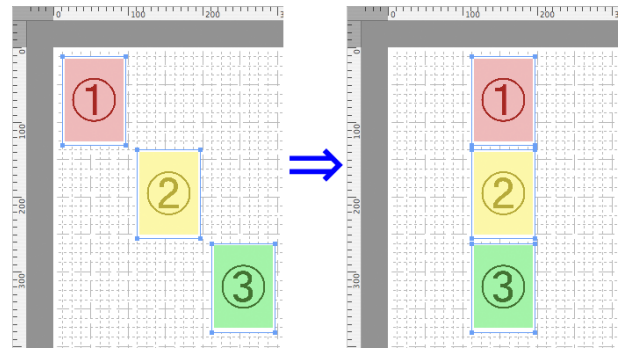
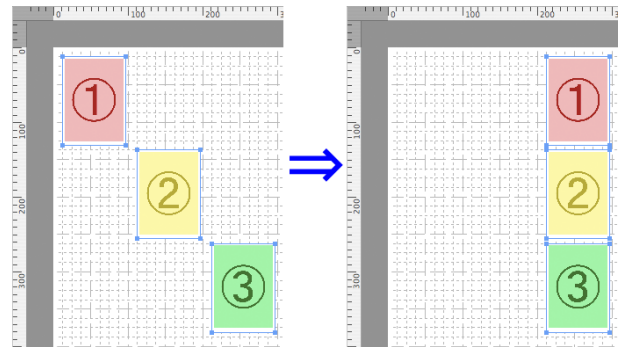
- [下揃え]

  オブジェクトを下端に揃えて配置します。

- [左揃え]

  オブジェクトを左端に揃えて配置します。

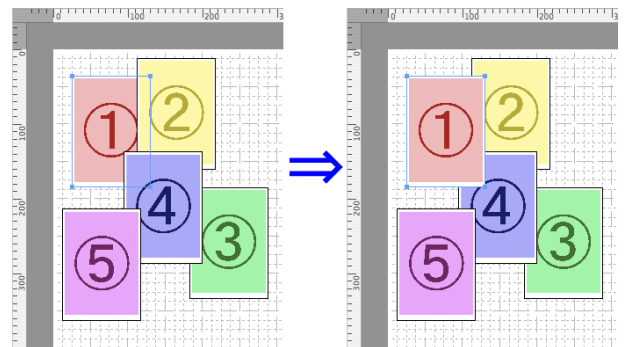
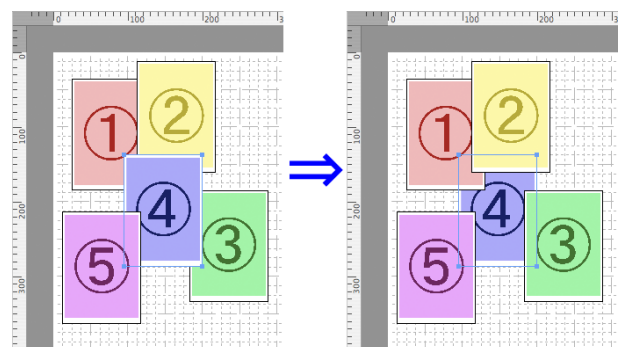
- [左右中央揃え]
  オブジェクトを水平方向の中央に揃えて配置します。

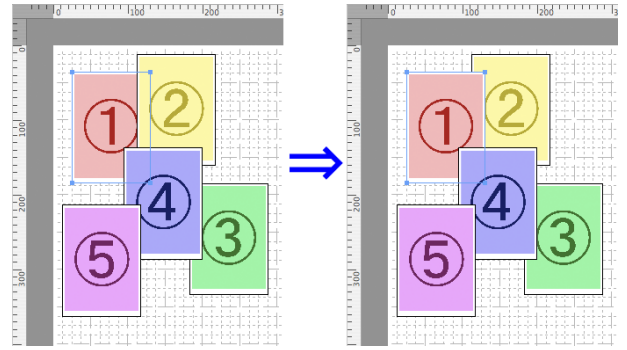
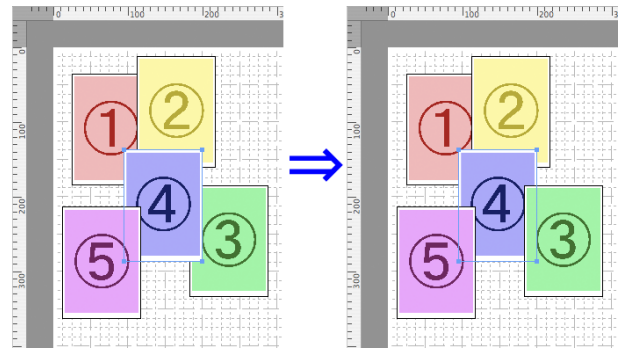
- [右揃え]
  オブジェクトを右端に揃えて配置します。

オブジェクトの重なり順を変更する

オブジェクトの重なり順を変更することができます。

1 オブジェクトを選択します。

2 [オブジェクト]メニューから重なり順のメニューを選択します。

- [最前面へ移動]
  オブジェクトを最前面に移動します。

- [最背面へ移動]
  オブジェクトを最背面に移動します。

- [前面へ移動]
  オブジェクトを 1 つ前に移動します。

- [背面へ移動]
  オブジェクトを 1 つ後ろに移動します。

コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける

1. ツールバーから[コピー]または[カット]をクリックします。
   または[編集]メニューから[コピー]または[カット]を選択します。

2. ツールバーから[ペースト]をクリックします。
   または[編集]メニューから[ペースト]を選択します。

メモ

- コピーまたは切り取ったオブジェクトがページの一番最後に配置されます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピー

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長 399
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 399

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス 400

ホットフォルダ 401
ホットフォルダを新規作成する 401
ホットフォルダを編集する(印刷条件の設定) 403
ホットフォルダを削除する 405

印刷について設定する 405
用紙設定パネル 406
目的設定モード 407
詳細設定モード 408
出力設定パネル 409
色設定パネル 410
ドライバ補正モード 411
ICC 補正モード 412

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する 412

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの主な特長は以下のとおりです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。

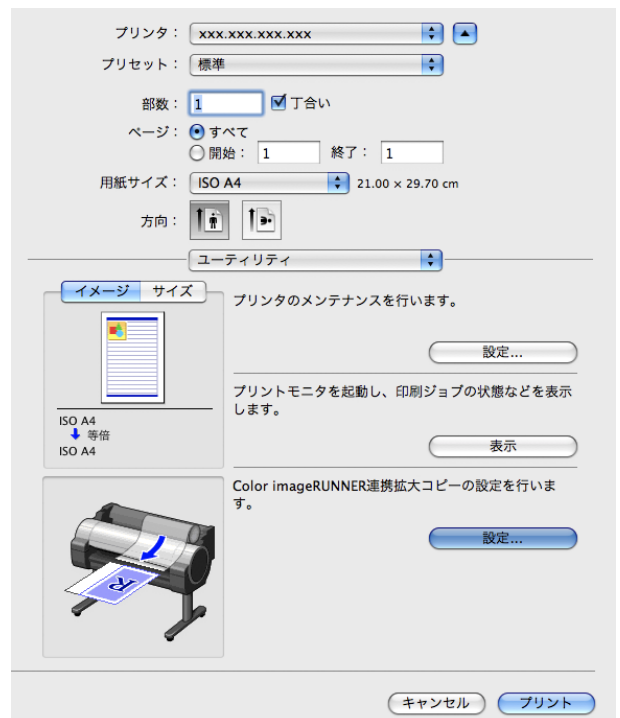
メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、連携拡大コピー機能上の設定と異なる場合があります。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法

Color imageRUNNER 連携拡大コピーを起動する手順は、以下のとおりです。

1. [プリント]ダイアログボックスの[ユーティリティ]パネルを開きます。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

2 [Color imageRUNNER 連携拡大コピーの設定を行います。]の[設定]ボタンをクリックし、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [アプリケーション]>[Canon Utilities]> [iR Enlargement Copy] >[Color imageRUNNER 連携拡大コピー.app]アイコンをクリックして直接起動することもできます。
- Mac OS X v10.7 以降をご使用の場合は、Launchpad から起動してください。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス

ここでは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスについて説明しています。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.399

- [フォルダ内のファイルを削除]

  ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択して[削除]ボタンをクリックすると、ホットフォルダ内のファイルのみを削除できます。

- [フォルダごと削除、および上記リストから削除]

  ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択して[削除]ボタンをクリックすると、ホットフォルダを削除できます。

- [削除]ボタン

  [フォルダ内のファイルを削除]または[フォルダごと削除、および上記リストから削除]を選択してボタンをクリックすると、ホットフォルダまたはホットフォルダ内のファイルのみを削除できます。

- [追加]ボタン

  ボタンをクリックすると、[出力先選択]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを追加できます。

- [編集]ボタン

  ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択してこのボタンをクリックすると、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを編集できます。

- [ホットフォルダを常に監視する]

  チェックボックスをオンにすると、次回ログイン後からホットフォルダの監視を行います。

ホットフォルダ

ホットフォルダとは、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるフォルダです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータがコンピュータのホットフォルダに転送されると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
- ホットフォルダは、自由に作成、編集、削除したり、印刷について設定することができます。

メモ

- ホットフォルダは 10 個まで作成できます。

ホットフォルダを新規作成する

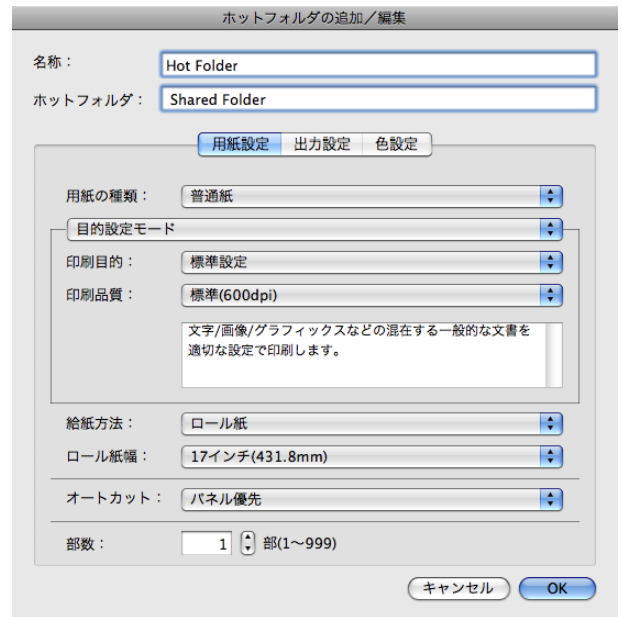
1 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.399

2 [拡大コピー用設定]の[追加]ボタンをクリックし、[出力先選択]ダイアログボックスを開きます。

3 [出力先]にプリンター覧の中から、出力先のプリンタを選択します。

4 [OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを開きます。

5 [名称]に、ホットフォルダのリストで表示するための名称を入力します。

6 [ホットフォルダ]にホットフォルダ名を入力します。

7 [OK]ボタンをクリックします。[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

8 [閉じる]ボタンをクリックし、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを終了させます。

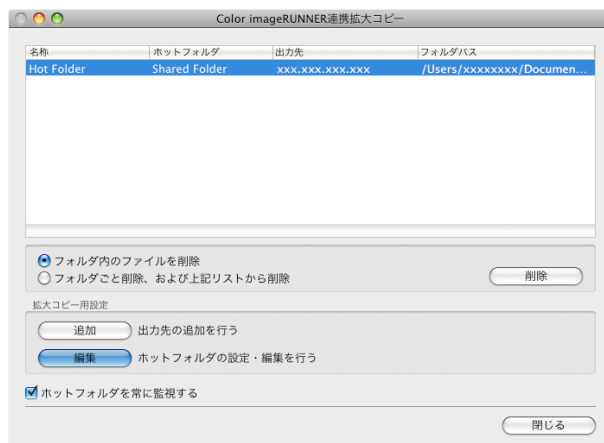
9 [アップル]メニューから[システム環境設定]の[共有]ダイアログボックスを開きます。

10 Mac OS X v10.5-v10.6 の場合
[ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。
[FTP を使用してファイルやフォルダを共有]、[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。
Mac OS X v10.7 以降の場合
[ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。
[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。

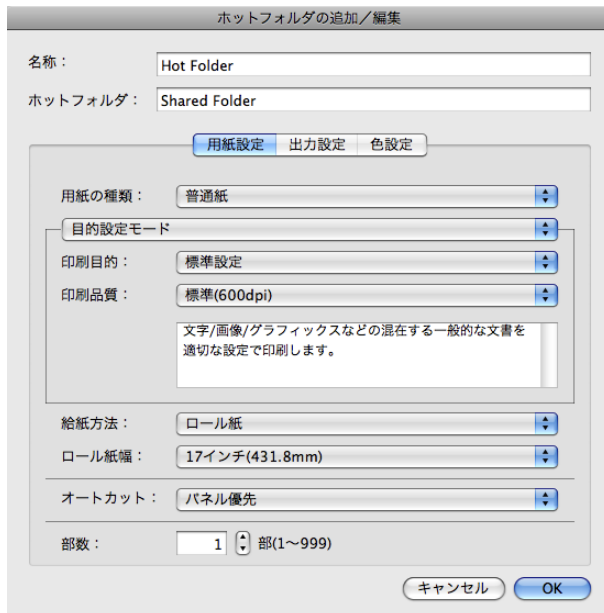
メモ

- ホットフォルダは 10 個まで作成できます。

ホットフォルダを編集する（印刷条件の設定）

1 ［Color imageRUNNER 連携拡大コピー］ダイアログボックスを開きます。

2 ホットフォルダのリストから作成済みのホットフォルダを選択します。

3 ［拡大コピー用設定］の［編集］ボタンをクリックし、［ホットフォルダの追加／編集］ダイアログボックスを開きます。

4 用紙設定パネル →P.406 で必要な項目を設定します。

5 出力設定パネル →P.409 で必要な項目を設定します。

6 色設定パネル →P.410 で必要な項目を設定します。

7 [OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを終了させます。

8 [アップル]メニューから[システム環境設定]の[共有]ダイアログボックスを開きます。

9 Mac OS X v10.5-v10.6 の場合
[ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。
[FTP を使用してファイルやフォルダを共有]、[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。
Mac OS X v10.7 以降の場合
[ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。
[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。

メモ

- ホットフォルダを新規作成した際、共有設定を行っている場合は、手順 8〜9 は必要ありません。

ホットフォルダを削除する

1 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

2 ホットフォルダのリストから削除したいホットフォルダを選択します。

3 [フォルダごと削除、および上記リストから削除]を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

4 メッセージの内容を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- ホットフォルダ内のファイルのみを削除するには、[フォルダ内のファイルを削除]を選択します。

印刷について設定する

[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスの設定パネルで印刷条件を設定することができます。
各パネルで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 用紙設定パネル →P.406
- 出力設定パネル →P.409
- 色設定パネル →P.410

用紙設定パネル

- ［目的設定モード］/［詳細設定モード］

  最適な印刷の設定を行うために２つのモードがあります。
  各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

  - 目的設定モード →P.407
  - 詳細設定モード →P.408

- ［用紙の種類］

  用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

- ［給紙方法］

  給紙方法を選択します。
  給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
［カット紙］	カット紙に印刷する場合に選びます。
［ロール紙］	ロール紙に印刷する場合に選びます。

- ［ロール紙幅］

  プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ

- ［給紙方法］でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- ［オートカット］

  ロール紙のカットを自動で行うか、またはカットラインを印刷するかを設定します。
  オートカットには、以下の設定があります。

設定項目	内容
［パネル優先］	本体の操作パネルに設定されている値になります。
［なし］	印刷が終わると、1ページごとにロール紙をカットしないで、連続して次のデータを印刷します。
［カットラインを印刷］	印刷が終わると、1ページごとに手動でカットするためのカットラインを印刷し、連続して次のデータを印刷します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

- [印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[写真 (カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[写真 (モノクロ)]	モノクロ写真を最適な設定で印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/ [きれい]/ [標準]/ [速い]

設定項目	内容
解像度	[600dpi] / [300dpi]

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

優先画質や印刷品質などの詳細な設定を自分で行うことできます。

- [優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真･イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。
[線画･文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真･イラスト]を選んでください。
[プルーフ]	印刷プルーフで写真やイラストや文字の再現性を重視する場合の設定です。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[600dpi] / [300dpi]

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

出力設定パネル

- [拡大／縮小印刷]

拡大／縮小印刷の方法を選択します。
拡大／縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。 *[用紙設定]パネルの[ロール紙幅]に、プリンタに取り付けたロール紙の幅が正しく設定されていることを確認してください。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	指定した倍率で、原稿全体を拡大／縮小して印刷します。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5～600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。 *出力用紙サイズより大きくなるように倍率を指定することは可能ですが、用紙に入りきらない部分は印刷されません。 *[フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

- [フチなしで印刷する]

特定の幅のロール紙、および特定の種類の用紙を用いた場合に四辺の縁のない印刷を行うことができます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ

- [拡大／縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

- [中央に印刷]

画像をカット紙の中央に配置して印刷したいときや、ロール紙の幅に対して左右の余白を均等にとって印刷したいときには、この機能を使用します。

メモ
- [倍率を指定する]の機能を使って拡大または縮小印刷するときにも、この機能を使うと便利です。画像の倍率を指定すると、必ずそのページの左上の角に固定された始点を基準に拡大または縮小されます。そのため、縮小して印刷すると、用紙の下側と右側の余白が大きくなります。このときにこの機能を使用すると、上下左右の余白が均等になります。

- [上下余白なし（用紙節約）]

印刷データの上下に空白部分がある場合に空白部分をなくして印刷します。空白部分については、紙を送らないので用紙を節約することができます。

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [ページを回転]

ページを回転する方法を選択します。
ページを回転には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[右 90 度回転（用紙節約）]	縦長で作成したページを右 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。 *[拡大／縮小印刷]で[ロール紙の幅に合わせる]が選択されている場合、ロール紙幅に合わせて回転後の画像を拡大／縮小します。
[左 90 度回転（用紙節約）]	縦長で作成したページを左 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。 *[拡大／縮小印刷]で[ロール紙の幅に合わせる]が選択されている場合、ロール紙幅に合わせて回転後の画像を拡大／縮小します。
[180 度回転]	文書や画像を 180 度回転させて印刷します。

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [出力方法]ボタン

ボタンをクリックすると、[出力方法]ダイアログボックスが表示されます。
オブジェクトの出力方法の設定を行うことができます。

色設定パネル

Mac OS X ソフトウエア
Color imageRUNNER 連携拡大コピー

- [カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ(写真)]	モノクロ写真の画像データを、色転び(グレーに色がついて見える現象)のないグレー階調で印刷します。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

- [マッチングモード]

[マッチングモード]でマッチングモードを選びます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.411	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.412	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
[補正しない]	カラーマッチングを実行しません。アプリケーションでマッチングを実行する場合に選択します。

ドライバ補正モード

1 [マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択します。

2 [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。

設定項目	内容
［色差最小］	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
［写真調（人肌・暗部優先）］	室内で撮影された人物写真や、薄暗い風景写真など、ローキーな写真を印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。暗部の階調つぶれを防止すると共に、人物の肌を温かみのある色合いで再現できます。

ICC 補正モード

1 ［マッチングモード］で［ICC 補正モード］を選択します。

2 ［マッチング方法］のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
［写真調］	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
［鮮やかな色に］	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
［色差最小］	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
［色差最小（白色点補正なし）］	カラーマッチングの処理方法は［色差最小］と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3 ［入力プロファイル］のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

メモ

- 望みどおりの色で印刷されない場合は、お使いの Color imageRUNNER の iR 連携拡大コピー用の入力プロファイルを選択してください。

4 ［プリンタプロファイル］のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷することができます。
Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダへ送信すると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
この一連の機能を Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能と呼びます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能を使用するために、あらかじめ以下の流れで設定を行います。

1. コンピュータにホットフォルダを作成します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを送信するホットフォルダをコンピュータに作成し、拡大コピーするための設定を行います。詳細は、「ホットフォルダを新規作成する」を参照してください。 →P.401

2. Color imageRUNNER に読取設定を登録します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。

上記の設定が完了したら、Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信し、拡大印刷することができます。

Color imageRUNNER に読取設定を登録する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。読取設定と送信先を Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンとして登録すると、ホットフォルダへ簡単に送信できます。
Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンに読取設定と送信先を登録する手順については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

原稿をスキャンして拡大印刷する

Color imageRUNNER で原稿をスキャンして、拡大印刷するには、以下の手順を行います。手順の詳細については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

1. Color imageRUNNER の原稿台ガラスまたはフィーダに原稿をセットします。

2. [送信/ファクス](または[送信])を押し、送信画面を表示します。

3. [定型業務]ボタンを押し、ホットフォルダ用に登録した[定型業務]ボタンを押します。

4. 操作パネルの[スタート]ボタンを押します。原稿台ガラスで原稿をスキャンした場合は、すべての原稿をスキャンした後にタッチパネルディスプレイの[読込終了]を押してください。
   スキャンした原稿がホットフォルダに送信され、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。

Print Plug-In for Photoshop / Digital Photo Professional

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の特長 415
インストール手順 415
アンインストール手順 417
Photoshop からの起動方法 418
Digital Photo Professional からの起動方法 419

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の画面構成 420
プレビューエリア 422
基本設定パネル 423
ページ設定パネル 425
色設定パネル(カラー) 428
色設定パネル(モノクロ) 429
印刷履歴パネル 430
サポートパネル 431

調整パターン設定ダイアログボックス 432
用紙の詳細設定ダイアログボックス 435
環境設定ダイアログボックス 436
ICC 変換オプションダイアログボックス 437
ロール紙オプションダイアログボックス 438
ユーザ用紙設定ダイアログボックス 438
トーンカーブダイアログボックス 439
印刷履歴の詳細ダイアログボックス 440

3 種類のプレビューを活用する 441
印刷範囲レイアウトで画像を確認する 441
画像で元画像を確認する 442
ロール紙プレビューで画像を確認する 442
お好みの画質で印刷する 443
色を調整して印刷する 443
プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合) 444
プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合) 445
カラーマッチングで色を調整する 447
Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する 448
高品質なモノクロの写真を印刷する 449
Adobe CMM を使用する 450
調整パターンを印刷して調整値を選択する 451
黒点補正を行う 452
印刷機のシミュレーション印刷を行う 453
拡大/縮小して印刷する 454
出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する 454
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する 455
倍率を指定して拡大/縮小印刷する 456
フチなしで印刷する 457
用紙の設定をカスタマイズする 458
印刷履歴を活用する 458
印刷履歴の詳細を確認する 459
印刷履歴を画像に適用する 460
印刷履歴をお気に入りに登録する 460
印刷履歴を削除する 462
お気に入りの印刷履歴を書き出す 463
お気に入りに印刷履歴を読み込む 464
お気に入りから印刷履歴を削除する 465
情報を画像とともに印刷するよう設定する 466

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の特長

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の主な特長は以下のとおりです。

- sRGB 用または Adobe RGB 等の画像の色空間を自動認識し、最適なプロファイルを自動的に設定できます。このため、面倒な設定をすることなく印刷が実現できます。
- Photoshop 上の画像データを直接加工し、プリンタに画像データを転送することができます。これにより、8bit だけでなく 16bit の画像データを処理できます。
- 実画像を元にした画像プレビュー表示機能、出力用紙サイズ上の画像配置を元にしたレイアウトプレビュー機能によって、印刷レイアウトの確認や色調整ができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。
- 色調、明るさ、コントラストなどの調整値を段階的に変化させた画像を印刷して、お好みの調整値を選択できます。(「調整パターン設定ダイアログボックス」参照) →P.432
- Print Plug-In for Photoshop と同時にインストールされる Layout Plug-In を使用して、フレームの側面まで画像で覆う装丁に仕上げるためのレイアウトイメージを作成し、印刷できます。(「Layout Plug-In について」参照) →P.468
- 印刷履歴管理機能により、過去の印刷設定パラメータの読み込みができます。また、お気に入りをファイルとして保存できます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional 上の設定(レイアウトプレビュー上の画像の配置、印刷開始位置、出力用紙サイズ)と異なる場合があります。

- 黒点補正を行うことにより、暗部の階調の潰れを軽減することができます。

メモ

- 黒点補正の機能を使用するには、Adobe CMM が必要です。

- 印刷機のプロファイルを指定して、印刷機のシミュレーション印刷ができます。

インストール手順

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional をインストールする手順は、以下のとおりです。

メモ

- Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional をインストールする前に、必ずプリンタドライバをインストールしてください。
- Print Plug-In for Photoshop をインストールすると、Layout Plug-In もインストールされます。

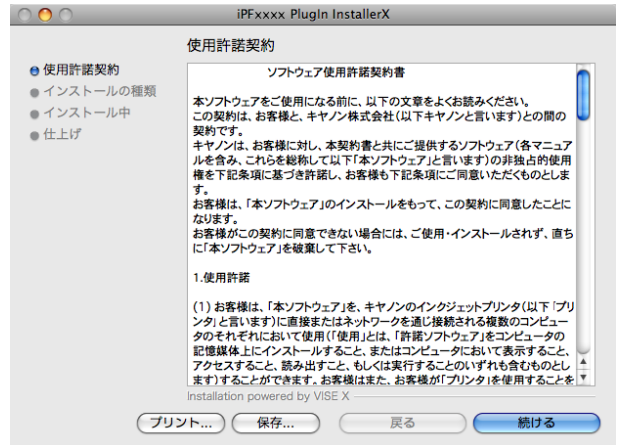
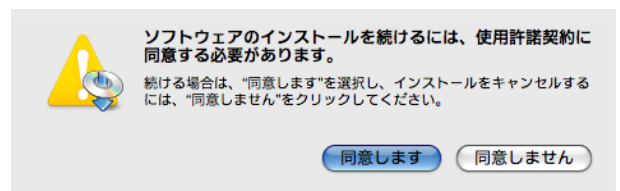
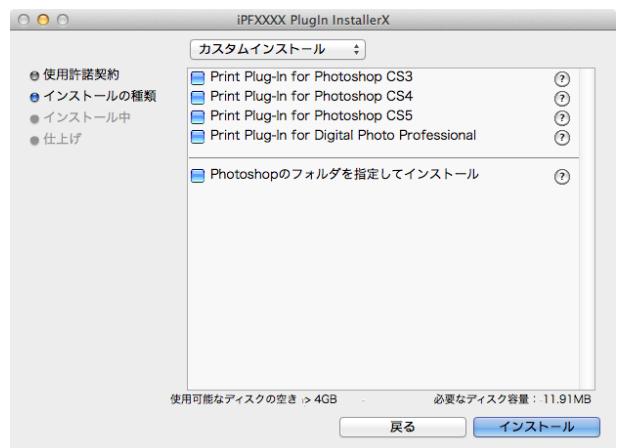
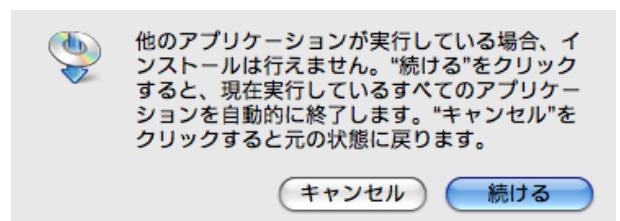
1 CD-ROM ドライブに、「User Software CD-ROM」を挿入します。

2 「User Software CD-ROM」内の[Plug-in]フォルダを開き、[iPFxxxx PlugIn InstallerX]アイコンを開きます。

メモ

- アイコンの iPFxxxx はご使用のプリンタ名になります。

3 管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

4 ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、[続ける]ボタンをクリックします。

5 [同意します]ボタンをクリックします。

6 [カスタムインストール]を選択し、ご使用の Print Plug-In にチェックマークを付けて、[インストール]ボタンをクリックします。

7 他のアプリケーションを終了するために、[続ける]ボタンをクリックします。

8 ［終了］ボタンをクリックします。

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional のインストールが終了します。

アンインストール手順

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional をアンインストールする手順は､以下のとおりです。

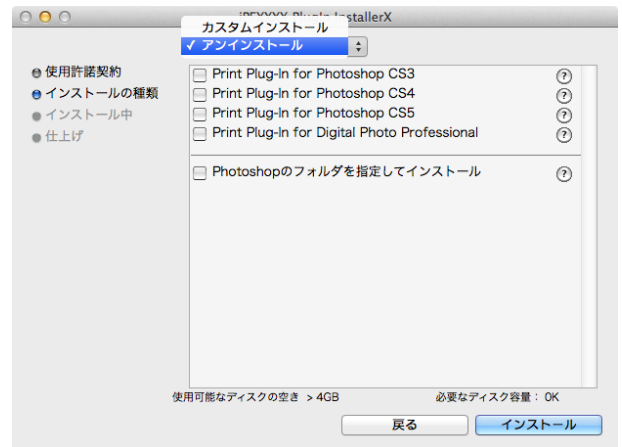
- Print Plug-In for Photoshop のアンインストール

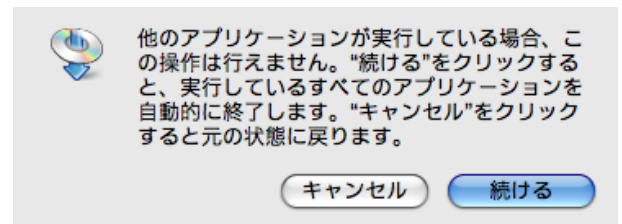
1. Photoshop を終了します。
2. Finder で［Print Plugin for iPFxxxx］フォルダを表示させます。
3. ［Print Plugin for iPFxxxx］フォルダを削除します。

メモ

- iPFxxxx は､ご使用のプリンタ名です。

- Print Plug-In for Digital Photo Professional のアンインストール

1. インストール手順の 1〜5 を行います。
2. ［アンインストール］を選択します。

3. [アンインストール]ボタンをクリックします。

4. 他のアプリケーションを終了するために、[続ける]ボタンをクリックします。

5. [終了]ボタンをクリックします。

Photoshop からの起動方法

Photoshop から Print Plug-In for Photoshop を起動する手順は、以下のとおりです。

1 Photoshop を起動します。

2 印刷したい画像を開きます。

3 必要に応じて印刷する範囲を選択します。

メモ

- Print Plug-In for Photoshop で扱える画像は、幅および高さが 60,000pixel 未満のものです。画像の幅または高さが 60,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4 [ファイル]メニューから[書き出し](または[データ書き出し])を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。
imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop ウィンドウ(以下、Print Plug-In ウィンドウ と呼びます)が表示されます。

メモ

- 入力画像の色空間が CMYK の場合は、Print Plug-In for Photoshop で処理するために AdobeRGB に変換します。また、マッチング方法は[相対的な色域を維持]を使用します。
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、最新の imagePROGRAF プリンタドライバをインストールしてから、手順 3 を行ってください。
  [imagePROGRAF Print Plug-In をインストールするには、最新のバージョンの imagePROGRAF プリンタドライバがインストールされている環境が必要です。]
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、Photoshop を単独で起動してください。
  [Photoshop を複数起動している場合は、プラグインを起動できない場合があります。]
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、画像の色空間を RGB カラー、グレースケールまたは CMYK カラーのいずれかに変換してから、手順 3 を行ってください。
  [画像の色空間を RGB カラー、グレースケールまたは CMYK カラーのいずれかに設定してください。]

Digital Photo Professional からの起動方法

Digital Photo Professional から Print Plug-In for Digital Photo Professional を起動する手順は、以下のとおりです。

1 Digital Photo Professional を起動します。

2 印刷したい RGB カラーの画像を開きます。

3 必要に応じて印刷する範囲を選択します。

メモ

- Print Plug-In for Digital Photo Professional で扱える画像は、幅および高さが 6,000pixel 未満のものです。画像の幅または高さが 6,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4 [ファイル]メニューから[プラグイン印刷]を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。
imagePROGRAF Print Plug-In for Digital Photo Professional ウィンドウ(以下、Print Plug-In ウィンドウ と呼びます)が表示されます。

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional の画面構成

Print Plug-In ウィンドウは、パネル選択エリア、プレビューエリア、ボタンエリアで構成されています。ここでは、Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional を各部位に分けて説明します。

- パネル選択エリア

Print Plug-In ウィンドウ上で各パネルを切り替えるためのタブが表示されています。

タブを選択すると、各パネルが表示されます。各パネルで設定できる項目については以下をご覧ください。

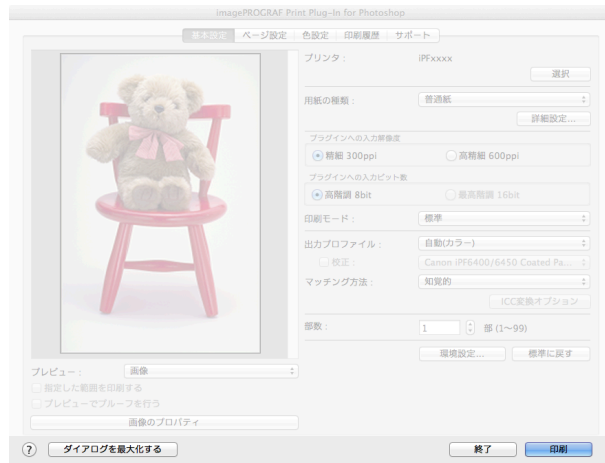
- 基本設定パネル →P.423
- ページ設定パネル →P.425
- 色設定パネル(カラー) →P.428
- 印刷履歴パネル →P.430
- サポートパネル →P.431

- プレビューエリア

設定した内容が画像にどのように反映されるのかを確認することができます。

プレビューエリアで設定できる項目については、「プレビューエリア」を参照してください。→P.422

- ボタンエリア

[印刷]、[終了]、[ヘルプ]、[ダイアログを最大化する]のボタンがあります。

- [印刷]ボタン
  ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。
- [終了]ボタン
  ボタンをクリックすると、Print Plug-In ウィンドウを閉じ、アプリケーションに戻ります。
- ボタン
  ボタンをクリックすると、Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional のヘルプが表示されます。
- [ダイアログを最大化する]ボタン
  ボタンをクリックすると、ディスプレイ画面いっぱいに Print Plug-In ウィンドウが拡大されます。

プレビューエリア

設定した内容が画像にどのように反映されるのかを確認することができます。

- [プレビュー]

プレビュー表示の方法を選択します。
プレビューについて詳しくは、「3 種類のプレビューを活用する」を参照してください。 →P.441

設定項目	内容
[印刷範囲レイアウト]	設定した[出力用紙サイズ]に合わせたレイアウトで、印刷される範囲以外もあわせて表示します。 *カーソルが 表示のときに画像をドラッグすると、画像の印刷位置を変更できます。
[画像]	画像全体が表示されます。 *カーソルが 表示のときに画像をドラッグすると、印刷範囲を選択することができます。 *カーソルが 表示のときに、画像をクリックすると、選択が解除されます。
[ロール紙プレビュー]	ロール紙に印刷するときのレイアウトで、上部に出力用紙サイズとロール紙情報もあわせて表示します。 *[ロール紙プレビュー]を選択するときは、[給紙方法]で[ロール紙]を選択してください。

- [指定した範囲を印刷する]

チェックマークを付けると、選択範囲だけが印刷されます。

メモ

- [プレビュー]で[画像]を選択し、プレビュー表示で画像の一部を選択すると有効になります。

- [プレビューでプルーフを行う]

チェックマークを付けると、プレビューに出力結果の色がシミュレーションして表示されます。

メモ

- [出力プロファイル]に[自動(カラー)]を選択した場合、一部の用紙の種類に対して有効です。
- [出力プロファイル]に ICC プロファイルを選択した場合、常に有効です。
- ご使用の環境や条件などにより、シミュレーションの結果と、実際の印刷結果の色合いが異なる場合があります。また、[出力プロファイル]で、使用するプリンタやメディアに対応しない ICC プロファイルを選択した場合、実際の印刷結果とは異なる色合いになります。

- [画像のプロパティ]ボタン

ボタンをクリックすると、[画像のプロパティ]ダイアログボックスが表示され、Print Plug-In に読み込んだ画像の[画像サイズ]、[解像度]、[ビット数]、[色空間]情報が表示されます。

［閉じる］ボタンをクリックすると、Print Plug-In に戻ります。

基本設定パネル

プリンタの選択、用紙の種類設定や画像の品質など、基本的な設定を行います。

- ［プリンタ］

プリンタの機種が表示されます。

- ［選択］ボタン

ボタンをクリックすると、［プリンタの選択］ダイアログボックスが表示されます。
［プリンタの選択］ダイアログボックスでプリンタを選択して［OK］ボタンをクリックすると、Print Plug-In に対応するプリンタを変更することができます。

- ［用紙の種類］

用紙の種類を選択します。
詳しくは、「用紙の設定をカスタマイズする」を参照してください。→P.458

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

- ［詳細設定］ボタン

ボタンをクリックすると、［用紙の詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。
用紙の詳細設定について詳しくは、「用紙の詳細設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.435

- ［プラグインへの入力解像度］

Print Plug-In で処理する画像の解像度を選択します。
解像度には、以下の設定があります。

設定項目	内容
［精細 300ppi］	精細な解像度で画像処理が行われます。印刷速度とメモリ容量の抑制に効果があります。
［高精細 600ppi］	より高精細な解像度で画像処理が行われます。最良の印刷結果が得られますが、［精細 300ppi］を選択した場合より印刷に時間がかかります。また、メモリ容量が多く必要になります。 *［用紙の種類］で設定した内容によっては、表示されない場合があります。

- [プラグインへの入力ビット数]

Print Plug-In で処理するビット数を選択します。
入力ビット数には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[高階調 8bit]	8bit/チャンネル(24 ビット)で画像処理が行われます。
[最高階調 16bit]	16bit/チャンネル(48 ビット)で画像処理が行われます。 *[用紙の種類]と[プラグインへの入力解像度]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。

- [印刷モード]

画質と印刷速度のバランスで印刷モードを選択できます。
印刷モードには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。[標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、印刷品質は高くなります。
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。[最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。レイアウトの確認などを効率よく行えます。
[最高(最大パス数)]	[最高品質]の印刷結果で印刷ムラが気になるとき、チェックボックスをオンにすると印刷結果が改善されることがあります。ただし、印刷速度が遅くなります。

- 選択できる設定は、設定した[用紙の種類]、[プラグインへの入力解像度]、[プラグインへの入力ビット数]によって異なります。

- [出力プロファイル]

出力プロファイルを選択します。
出力プロファイルには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[自動(カラー)]	入力画像データの色空間情報(sRGB, Adobe RGB)や、用紙の設定などから最適な色変換が行われます。通常はこの設定を選択してください。
[自動(モノクロ写真)]	入力画像データの色空間情報(sRGB, Adobe RGB)や、用紙の設定等から最適なモノクロへの変換を行います。
[なし(色補正しない)]	プラグインで色変換を行いません。オリジナルの ICC プロファイルを作成する場合に便利です。
[外部 ICC プロファイル]	OS 標準のフォルダに保存されている ICC プロファイルから、出力するプリンタの ICC プロファイルを選択します。入力データの色空間情報と、選択した ICC プロファイルを使用して色変換が行われます。

- [自動(モノクロ写真)]は、対応する用紙の種類にのみ選択できます。

- [校正]

[出力プロファイル]で ICC プロファイルを選択しているときに表示されます。
チェックマークを付けると、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。
印刷機のシミュレーション印刷について詳しくは、印刷機のシミュレーション印刷を行う →P.453 を参照してください。

- [マッチング方法]

色変換を行う際の処理方法を選択します。
マッチング方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[知覚的]	自然な色合いや階調に変換されます。写真の色補正に適しています。
[彩度]	色の鮮やかさを重視して変換されます。写真やイラストの色合いが変わることがあります。
[相対的な色域を維持]	画像の色合いを重視して変換されます。写真やイラストの色補正に適しています。

メモ

- [出力プロファイル]が、[自動(モノクロ写真)]および[なし(色補正しない)]の場合、選択することはできません。

- [ICC 変換オプション]ボタン

[出力プロファイル]で ICC プロファイルを選択しているときに表示されます。
ボタンをクリックすると、[ICC 変換オプション]ダイアログボックスが表示され、カラー変換に関する設定を行うことができます。
ICC 変換オプションについて詳しくは、ICC 変換オプションダイアログボックス →P.437 を参照してください。

- [部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜99 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンをクリックしても、数値を変更することができます。

- [環境設定]ボタン

ボタンをクリックすると、[環境設定]ダイアログボックスが表示され、シャープネスや画像拡大方法を設定することができます。
[環境設定]について詳しくは、「環境設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.436

- [標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、[基本設定]パネルで設定した項目が初期値に戻ります。

ページ設定パネル

印刷する画像のサイズや用紙のサイズ、画像の拡大/縮小などについて設定します。

- [入力画像サイズ]

Print Plug-In に読み込んだ画像のサイズが表示されます。

- [フチなし印刷]

チェックマークを付けると、[ロール紙幅の指定]ダイアログボックスが表示され、画像をフチなしで印刷するよう設定することができます。
[フチなし印刷]について詳しくは、「フチなしで印刷する」を参照してください。→P.457

メモ
• [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

• [拡大/縮小印刷]

チェックマークを付けると、画像を拡大/縮小して印刷することができます。

画像を拡大/縮小する場合は拡大/縮小の方法を選択します。選択した方法に合わせて、[出力画像サイズ]にプリンタに送信される画像サイズが表示されます。

拡大/縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	Print Plug-In に読み込んだ画像が、出力する用紙サイズに合わせて、全体的に拡大/縮小されて印刷されます。
[ロール紙の幅に合わせる]	Print Plug-In に読み込んだ画像が、ロール紙の幅に合わせて、全体的に拡大/縮小されて印刷されます。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	Print Plug-In に読み込んだ画像が指定した倍率で拡大/縮小されます。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5～600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンをクリックしても、数値を変更することができます。

メモ
• [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

• [出力画像サイズ]

出力される画像サイズがミリ単位で小数点以下 1 桁まで表示されます。

メモ
• [出力用紙サイズ]が[出力画像サイズ]よりも小さい場合、画像が一部欠けて印刷されます。

• [出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ
• [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
• [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

• [印刷の向き]

印刷の向きを選択します。

印刷の向きには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[縦]	画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
[横]	画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

• [印刷レイアウト]

用紙に対する画像を印刷する位置を選択します。

印刷レイアウトには、以下の設定があります。

[印刷レイアウト]

設定項目	内容	
[出力用紙サイズの左上]	[出力用紙サイズ]に対して、有効な印刷領域の左上に合わせて画像を印刷します。	
[出力用紙サイズの中央]	画像の中心が、選択した[出力用紙サイズ]の中心になるように印刷します。	
[印刷開始位置を指定]	[出力用紙サイズ]に対して、印刷領域の上端の開始位置と左端の開始位置を[上端から]と[左端から]に指定して印刷することができます。	
	[上端から]	用紙の上からの余白を半角数字で入力します。

設定項目	内容	
[印刷開始位置を指定]	[上端から]	*入力できる数値は、-9999～9999mm です。
	[左端から]	用紙の左からの余白を半角数字で入力します。 *入力できる数値は、-9999～9999mm です。

メモ

- [印刷レイアウト]を選択するときは、[プレビュー]で[印刷範囲レイアウト]または[画像]を選択してください。

[ロール紙レイアウト]

設定項目	内容
[ロール紙幅の左上]	出力用紙サイズの左上が、選択したロール紙の左上にくるように印刷します。
[ロール紙幅の中央]	出力用紙サイズの中心が、選択したロール紙幅の中心にくるように印刷します。

メモ

- [ロール紙レイアウト]を選択するときは、[プレビュー]で[ロール紙プレビュー]を選択してください。

- [給紙方法]

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。
[カット紙]	カット紙に印刷する場合に選びます。

- [ロール紙オプション]ボタン

ボタンをクリックすると、[ロール紙オプション]ダイアログボックスが表示され、ロール紙の幅やオートカット設定などを設定することができます。
ロール紙オプションについて詳しくは、「ロール紙オプションダイアログボックス」を参照してください。 →P.438

- [ユーザ用紙設定]ボタン

ボタンをクリックすると、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスが表示され、用紙名や、用紙サイズなどを設定できます。
ユーザ用紙設定について詳しくは、「ユーザ用紙設定ダイアログボックス」を参照してください。 →P.438

- [標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、[ページ設定]パネルで設定した項目が初期値に戻ります。

色設定パネル(カラー)

画像の色調、[明るさ]、[コントラスト]、[鮮やかさ]などを調整して、印刷結果をより思いどおりの色合いに設定することができます。

- 以下の項目については、調整具合をプレビューで確認できます。
  [シアン] / [マゼンタ] / [イエロー]、[グレー色調]、[明るさ]、[コントラスト]、[鮮やかさ]

- **[シアン] / [マゼンタ] / [イエロー]**

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、各色の強弱が調整されます。

- **[グレー色調]**

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、グレーの色が冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整されます。

- **[明るさ]**

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分を損なわずに印刷結果の明るさが調整されます。

- **[コントラスト]**

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分の明るさが相対的に調整されます。

- **[鮮やかさ]**

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで鮮やかさが調整されます。

- **[調整パターン設定]ボタン**

  ボタンをクリックすると、[調整パターン設定]ダイアログボックスが表示されます。[調整パターン設定]ダイアログボックスでは、調整値を前後に段階的に変化させた調整パターンを印刷して、お好みの調整値を選択することができます。

  [調整パターン設定]について詳しくは、「調整パターン設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.432

- **[トーンカーブ]ボタン**

  ボタンをクリックすると、[トーンカーブ]ダイアログボックスが表示され、[チャンネル]などを設定することができます。

  [トーンカーブ]について詳しくは、「トーンカーブダイアログボックス」を参照してください。→P.439

- **[標準に戻す]ボタン**

  ボタンをクリックすると、[色設定]パネルで設定した項目が初期値に戻ります。

色設定パネル(モノクロ)

[色調]、[調子]、[明るさ]、[コントラスト]などを調整して、印刷結果をより思いどおりの調子や階調に設定することができます。
基本設定パネル →P.423 の[出力プロファイル]で、[自動(モノクロ写真)]を選択すると表示されます。

メモ

- 以下の項目については、調整具合をプレビューで確認できます。
  [色調]、[調子]、[明るさ]、[コントラスト]、[ハイライト]、[シャドー]、[かぶり]

- [色調]

  目的に合った色調を選択することができます。

- [X]/[Y]

  調整領域では色合いを確認しながら、色調の調整をすることができます。
  中央の四角領域をマウスでクリック、またはドラッグして調整することができます。
  水平・垂直のスライドバーを左右、上下にドラッグして調整することができます。
  [X](横方向)、[Y](縦方向)の数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して色調を調整することができます。

- [調子]

  画像の中間調の明るさを調整できます。[硬調]を選択するとメリハリがつき硬い印象になります。[軟調]を選択すると柔らかい印象になります。

- [明るさ]

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分を損なわずに印刷結果の明るさが調整されます。

- [コントラスト]

  半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分の明るさが相対的に調整されます。

- [ハイライト]

  最も明るい部分の明るさを調整することができます。

- [シャドー]

  最も暗い部分の明るさを調整することができます。

- [かぶり]

  画像のハイライト部と用紙の白地との質感の差を低減するために、用紙の白地部分に微量のインクを塗布します。

- [調整パターン設定]ボタン

  ボタンをクリックすると、[調整パターン設定]ダイアログボックスが表示されます。[調整パターン設定]ダイアログボックスでは、調整値を前後に段階的に変化させた調整パターンを印刷して、お好みの調整値を選択することができます。
  [調整パターン設定]について詳しくは、「調整パターン設定ダイアログボックス」を参照してください。
  →P.432

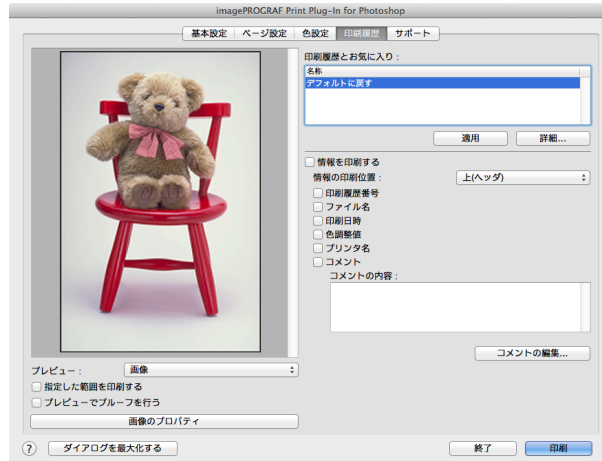
- [トーンカーブ]ボタン

ボタンをクリックすると、[トーンカーブ]ダイアログボックスが表示され、[チャンネル]などを設定することができます。
[トーンカーブ]について詳しくは、「トーンカーブダイアログボックス」を参照してください。→P.439

- [標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、[色設定]パネルで設定した項目が初期値に戻ります。

印刷履歴パネル

印刷に使用した設定の履歴を適用したり、画像のファイル名などの情報を画像とともに印刷する設定を行います。

- [印刷履歴とお気に入り]

登録されたお気に入りが一覧で表示されます。
[デフォルトに戻す]を選択し、[適用]ボタンをクリックすると、全ての設定値が初期値に戻ります。

メモ

- 一覧上部には、お気に入りが3件まで表示されます。

- [適用]ボタン

ボタンをクリックすると、[印刷履歴とお気に入り]で選択された印刷履歴の設定内容が画像に適用されます。

- [詳細]ボタン

ボタンをクリックすると、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスが表示され、印刷履歴の管理を詳細に行うことができます。
印刷履歴の詳細について詳しくは、「印刷履歴の詳細ダイアログボックス」を参照してください。→P.440

- [情報を印刷する]

チェックマークを付けると、画像とともにファイル名や印刷日時などを印刷することができます。印刷する位置や内容については、以下の項目を設定する必要があります。
[情報を印刷する]について詳しくは、「情報を画像とともに印刷するよう設定する」を参照してください。
→P.466

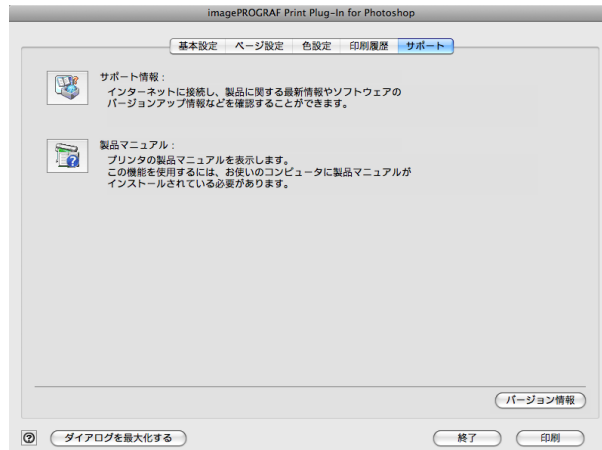
<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">[情報の印刷位置]</td><td colspan="2">情報を印刷する位置を選択します。</td></tr>
<tr><td>[上(ヘッダ)]</td><td>画像の上に情報が印刷されます。</td></tr>
<tr><td>[下(フッタ)]</td><td>画像の下に情報が印刷されます。</td></tr>
<tr><td>[印刷履歴番号]</td><td colspan="2">チェックマークを付けると、印刷履歴番号が印刷されます。</td></tr>
<tr><td>[ファイル名]</td><td colspan="2">チェックマークを付けると、ファイル名が印刷されます。</td></tr>
<tr><td>[印刷日時]</td><td colspan="2">チェックマークを付けると、印刷日時が印刷されます。</td></tr>
<tr><td>[色調整値]</td><td colspan="2">チェックマークを付けると、色調整値が印刷されます。</td></tr>
</table>

設定項目	内容
[プリンタ名]	チェックマークを付けると、プリンタ名が印刷されます。
[コメント]	チェックマークを付けると、コメントの内容が印刷されます。
[コメントの内容]	チェックマークを付けると、コメントの内容が表示されます。

- [コメントの編集]ボタン

  ボタンをクリックすると、[コメントの編集]ダイアログボックスが表示され、コメントを編集することができます。

サポートパネル

製品に関するサポート情報や電子マニュアルを表示します。

- [サポート情報]ボタン

  ボタンをクリックすると、製品に関する最新情報を記載したウェブサイトを表示します。

メモ
• 各ウェブサイトを閲覧するには、インターネットに接続する必要があります。

- [製品マニュアル]ボタン

  ボタンをクリックすると、コンピュータにインストールされているプリンタの製品マニュアルを表示します。

メモ
• 製品マニュアルがお使いのコンピュータにインストールされている必要があります。

- [バージョン情報]ボタン

  ボタンをクリックすると、Print Plug-In のバージョン情報ウィンドウが表示されます。バージョン情報ウィンドウの[OK]ボタンをクリックすると、Print Plug-In ウィンドウに戻ります。

調整パターン設定ダイアログボックス

[色設定]パネル(カラーまたはモノクロ)の調整値を基準として、調整値を前後に段階的に変化させた画像を調整パターンとして表示します。調整パターンを印刷して画像を比較しながらお好みの調整値を選択できます。

- **プレビューエリア**

  調整パターンの画像を並べて、調整値の変化が反映された状態を確認できます。

  中央の青枠で囲まれた画像の調整値を基準として、調整値を前後に段階的に変化させた画像が配置されます。任意の画像をクリックすると、その画像の調整値を基準値にして調整パターンを再表示します。

  各画像上には調整値が表示されます。[横軸]と[縦軸]の両方が設定されていれば、右に[横軸]、左に[縦軸]の調整値が表示されます。なお、画像が小さくて調整値が表示ができない場合は、ツールチップの表示で調整値を確認できます。

  メモ
  - 調整値が範囲外になった画像は、調整パターンとしての表示は行なわれず、[範囲外]というメッセージが表示されます。

- **[給紙方法]**

  調整パターンを印刷する用紙の給紙方法を選択します。調整パターンの印刷をカット紙(手差し)で行い、作品の印刷はロール紙で行うという使い分けができます。

- **[使用用紙サイズ]**

  調整パターンを印刷する用紙のサイズを選択します。

  調整パターンは、選択された用紙サイズに収まるように印刷されます。

  メモ
  - 画像サイズが大きい場合に[パターンの大きさ]で[原寸]を選択した場合、パターン表示が用紙サイズの縦方向に収まらない場合があります。その場合は[パターンの大きさ]で[自動]を選択してください。
  - 印刷される用紙サイズは[出力用紙サイズ]に表示されます。

- **[出力用紙サイズ]**

  [使用用紙サイズ]と実際の印刷物とで縦方向の長さが異なる場合があるため、実際の出力用紙サイズを表示します。

- **[用紙下余白なし(用紙節約)]**

  [使用用紙サイズ]で選択した用紙サイズで、用紙下部に余白が生じる場合、このチェックボックスをオンにすると、余白の部分を除いて印刷されるので用紙の節約ができます。余白の部分が節約されて縦方向の長さが短くなった状態は[出力用紙サイズ]の表示に反映されます。

- **[横軸]/[縦軸]**

  横方向または縦方向に複数の調整パターンを並べるとき、段階的に変化させる項目やパターンの個数などを設定します。

  - [調整項目]
    段階的に変化させる項目を選択します。

カラーでは[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[グレー色調]、[明るさ]、[コントラスト]、[鮮やかさ]が選択できます。
モノクロでは[色調]X、[色調]Y、[調子]、[明るさ]、[コントラスト]、[ハイライト]、[シャドー]、[かぶり]が選択できます。
[横軸]の[調整項目]はプレビューエリアの上に、[縦軸]の[調整項目]はプレビューエリアの左側に、それぞれアイコンで表示されます。

メモ
- カラー、モノクロとも[縦軸]のみ[なし]が選択できます。

- [パターン個数]
  横方向または縦方向にパターン表示する画像の個数を 3、5、7 から選択できます。調整項目が[調子]の場合は、3 個または 5 個が選択できます。なお、調整値に[調子]を選択した場合は、-1 が[軟調]、0 が[標準]、1 が[やや硬調]、2 が[硬調]、3 が[より硬調]になります。
- [調整値の間隔]
  隣接する調整パターン画像で変化させる調整値の間隔を 1〜10 から選択できます。値を大きくすれば、調整パターン画像の状態の違いも大きくなります。ただし、調整項目が[調子]の場合は、[調整値の間隔]は選択できません。
- (入れ替え)ボタン
  [横軸]と[縦軸]の調整項目を入れ替えて、調整パターンを再配置します。

- [90 度回転]

画像を回転することで、用紙の節約や画像の比較が容易になる場合があります。
[画像ごと]を選択すると、調整パターンの各画像を 90 度回転することができます。
[配置後の画像全体]を選択すると、調整パターン全体を 90 度回転することができます。
[なし]を選択すると、画像の回転は行われません。

- [パターンの大きさ]

調整パターンを印刷するときの画像の大きさを指定できます。
[自動]を選択すると、[使用用紙サイズ]に調整パターンが収まるように、画像を拡大または縮小します。
[原寸]を選択すると、画像を拡大または縮小せず、入力画像のサイズで印刷します。給紙方法が[手差し]の場合は[原寸]は選択できません。

メモ
- 入力画像のサイズ大きい場合は、実際の印刷物のサイズが大きくなることがありますので、印刷を開始する前に[出力用紙サイズ]を確認してください。
- [パターンの大きさ]で[原寸]を選択すると、画像を拡大または縮小せず、入力画像のサイズで印刷します。
- 用紙の横幅をはみ出すパターンは、次の行に折り返して印刷されます。

- [パターンの隙間]

[なし]と[あり]が選択できます。[あり]を選択すると、各画像の間に背景を入れることができます。背景の色は[パターンの背景]で指定できます。

- [パターンの背景]

背景の色を [白]、[黒]、グレーから選択できます。
隣接する調整パターン画像の違いが比較し難い場合、背景色を変えると比較し易くなることがあります。なお、[パターンの背景]は[パターンの隙間]が[あり]の場合に選択できます。

- [基準値を色設定パネルに反映]

チェックボックスをオンにして[閉じる]ボタンをクリックすると、プレビューエリアの中央の青枠で囲まれた画像の設定値(基準値)が[色設定]パネル(カラーまたはモノクロ)に反映されます。

- [印刷条件]

メインウィンドウで設定している用紙の種類、印刷モード、出力プロファイルが表示されます。調整パターンを印刷する際に、メインウィンドウに戻らずに各設定の内容が確認できます。

- [画像の範囲を指定する]ボタン

ボタンをクリックすると、画像の範囲を指定するための[画像の範囲指定]ダイアログボックスが表示されます。

マウスなどで範囲を指定して[OK]ボタンをクリックすると、[画像の範囲指定]ダイアログボックスを閉じて、選択範囲の画像が調整パターンとして再表示されます。

[キャンセル]ボタンをクリックすると、範囲が選択された状態でも[画像の範囲指定]ダイアログボックスを閉じます。

メモ

- 範囲が指定された状態の画像をクリックすると、選択範囲は解除されます。

- [最初の状態に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、最初に[調整パターン設定]ダイアログボックスを表示した状態に戻ります。

- [閉じる]ボタン

ボタンをクリックすると、[調整パターン設定]ダイアログボックスでの設定値を保存し、ダイアログボックスを閉じます。次に Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional を起動した時は、この設定値が適用されます。また、[基準値を色設定パネルに反映]チェックボックスをオンにして[閉じる]ボタンをクリックすると、プレビューエリアの青枠で囲まれた画像(中央の画像)の設定値は[色設定]パネル(カラーまたはモノクロ)の設定に反映されます。

- [調整パターン印刷]ボタン

ボタンをクリックすると、調整パターンの印刷が実行されます。印刷実行後も[調整パターン設定]ダイアログボックスは閉じません。

各画像上には調整値が印字されます。[横軸]と[縦軸]の両方が設定されていれば、右に[横軸]、左に[縦軸]の調整値が印字されます。

用紙の下部には、用紙の種類、印刷モード、出力プロファイルの各設定値と[色設定]パネル(カラーまたはモノクロ)で設定した調整値が印字されます。ただし、[トーンカーブ]の調整値は印字されません。

メモ

- 調整パターンを印刷する場合のジョブ名は「元画像名+ Pattern-Print」となります。例えば「ABC.jpg」の画像の印刷ジョブ名は「ABC_Pattern-Print.jpg」となります。

- [ダイアログを最大化する]ボタン

  ボタンをクリックすると、ディスプレイ画面いっぱいに[調整パターン設定]ダイアログボックスが拡大されます。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[基本設定]パネルで、[詳細設定]ボタンをクリックすると、表示されます。用紙の種類に対して[インク乾燥時間]や[ロール紙の安全余白]などを詳細に設定することができます。

- [インク乾燥時間]

  [ページ間]

  インク乾燥のため、用紙を排紙するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	印刷終了後、すぐに排紙されます。
[30 秒] / [1 分] / [3 分] / [5 分] / [10 分] / [30 分] / [60 分]	印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。

  [スキャン間]

  1 ラインを印刷後、次のラインを印刷するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	1 ライン印刷後、すぐに次のラインが印刷されます。
[1 秒] / [3 秒] / [5 秒] / [7 秒] / [9 秒]	1 ライン印刷後、設定した時間が経過してから次のラインが印刷されます。 *ページ内でにじみが発生したときや、フチなし印刷時に色ムラが発生したときには時間を増やしてください。

- [ロール紙の安全余白]

  [先端余白]

  ロール紙の先端余白の長さを選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[5mm]	定型サイズで印刷されます。 *印刷に特に問題がないときに選択してください。
[20mm]	カールの強い用紙を使用した場合など、プリントヘッドのこすれが発生する場合に選択してください。

- [カットスピード]

  オートカットのスピード設定を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[高速]	[標準]の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。
[標準]	オートカットで特に問題ない場合に選びます。

設定項目	内容
[低速]	糊付きの用紙の場合に選択すると、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。

- [キャリブレーション調整値]

プリンタ本体でカラーキャリブレーションを行った場合に、その結果を印刷時に使用するかしないかを選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[有効]	キャリブレーション結果を使用して印刷します。
[無効]	キャリブレーション結果を使用しないで印刷します。カラーキャリブレーションによって印刷中の画像の色味が変わってしまうことを避けたい場合に選択します。

- [鏡像]

鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

- [片方向印刷]

チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

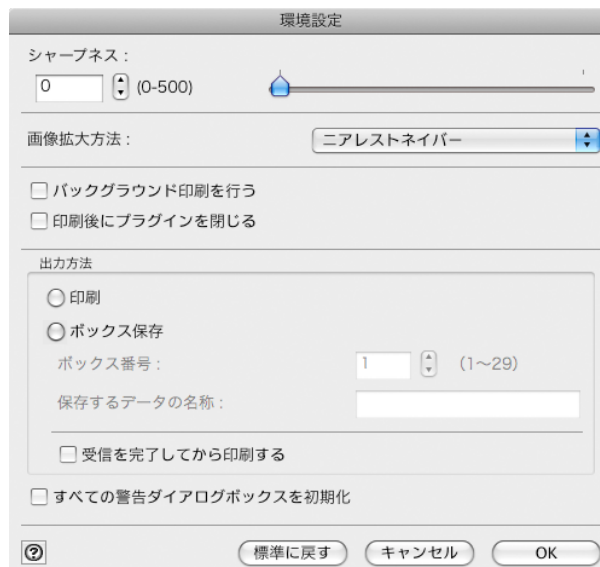
- [文字･線画高精細]

インクの着弾精度を高め、特に文字や線画をくっきりと印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- 印刷モードで[最高(最大パス数)]が選択されているときには、[文字･線画高精細] は選択できません。

環境設定ダイアログボックス

[基本設定]パネルで、[環境設定]ボタンをクリックすると、表示されます。シャープネスや画像拡大方法を設定することができます。

- [シャープネス]

シャープネス(輪郭強調)の設定を行います。

- [画像拡大方法]

画像拡大方法を選択します。
画像拡大方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[ニアレストネイバー]	単純拡大を行います。
[バイリニア]	線形拡大を行います。
[バイキュービック]	周辺のピクセルの色調や明るさなどの要素を計算して、ピクセルを補完します。

- [バックグラウンド印刷を行う]

チェックマークを付けると、プラグインからの印刷をバックグラウンドで行います。

- [印刷後にプラグインを閉じる]

チェックマークを付けると、印刷終了時にプラグインを終了します。

メモ

- キャンセルやエラーなどで印刷が正常に終了しなかった場合は、終了しません。

- [出力方法]

出力方法を選択します。
出力方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[印刷]	通常の印刷です。一時保存ボックスに保存しながら印刷します。
[ボックス保存]	印刷データをボックスに保存します。 [ボックス保存]を選んだ場合は、[保存するデータの名称]を設定します。
[受信を完了してから印刷する]	チェックマークを付けると、一時保存ボックスに保存が完了してから印刷を開始します。[ボックス保存]選択時には使用できません。

- [すべての警告ダイアログボックスを初期化]

チェックマークを付けると、「次回からこの画面は表示しない」設定にしたすべての警告ダイアログを表示するようにします。

ICC 変換オプションダイアログボックス

[基本設定]パネルの[出力プロファイル]リストで ICC プロファイルを選択し、[ICC 変換オプション]ボタンをクリックすると、表示されます。カラーマッチングに関する詳細を設定することができます。

- [変換エンジン]

色変換の際に使用する変換エンジンを選択します。

メモ

- [Adobe CMM]を使用するためには、Adobe CMM をインストールする必要があります。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.450 を参照してください。

- [黒点補正を使用]

黒点補正を行う場合にチェックマークをつけます。黒点補正を行うと、暗部の階調の潰れを改善できます。

メモ

- [変換エンジン]で[Adobe CMM]が選択されているときに使用できます。

- [校正オプション]

  印刷機シミュレーションに関する設定を行います。
  校正オプションには以下の設定があります。

設定項目	内容
[紙色シミュレート]	紙色のシミュレートを行うときに選択します。

ロール紙オプションダイアログボックス

[ページ設定]パネルで、[ロール紙オプション]ボタンをクリックすると、表示されます。ロール紙の幅やオートカット設定などを設定することができます。

- [ロール紙幅]

  プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

- [オートカット]

  ロール紙のカットを自動で行うか、またはカットラインを印刷するかを設定します。
  オートカットには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[あり]	印刷が終わると、自動的に用紙がカットされます。
[なし]	印刷が終わると、1ページごとにロール紙をカットしないで、連続して次のデータを印刷します。
[カットラインを印刷]	印刷が終わると、1ページごとに線を印刷し連続して次のデータを印刷します。

- [上下余白なし(用紙節約)]

  チェックマークを付けると、ロール紙の上下に余白を設定せずに印刷されます。

ユーザ用紙設定ダイアログボックス

[ページ設定]パネルで、[ユーザ用紙設定]ボタンをクリックすると、表示されます。用紙名や、用紙サイズなどを設定できます。

- [サイズ一覧]

  標準サイズとユーザ定義用紙の全てを表示します。

- [ユーザ定義用紙名]

  任意の名称を、半角で最大63文字、全角で最大31文字の範囲で入力します。

• [単位]

ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位を選択します。これを切り替えると、Print Plug-In の全ての単位が切り替わります。

• [用紙サイズ]

[幅]

用紙サイズの幅を入力します。

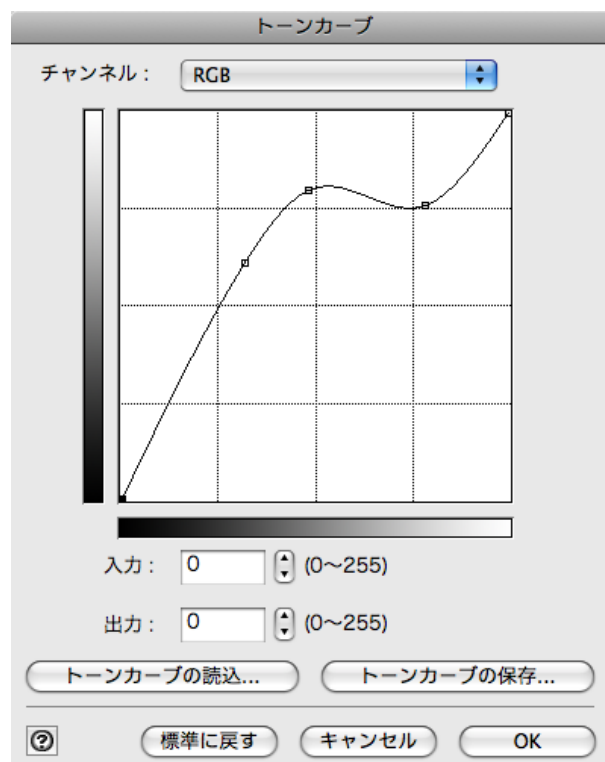
[高さ]

用紙サイズの高さを入力します。

• [登録]ボタン

ボタンをクリックすると、設定した内容を登録します。

トーンカーブダイアログボックス

[色設定]パネルで、[トーンカーブ]ボタンをクリックすると、表示されます。[チャンネル]などを設定することができます。

• [チャンネル]

[RGB]、[レッド]、[グリーン]、[ブルー]のいずれかを選択します。

メモ

• モノクロ印刷の場合は[グレー]と表示され、選択することはできません。

• [入力]

入力値を入力します。

メモ

• 入力できる数値は、0～255 です。
• [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

• [出力]

出力値を入力します。

メモ

- 入力できる数値は、0～255 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [トーンカーブの読込]ボタン

ボタンをクリックすると、保存したトーンカーブの設定を読み込みます。

- [トーンカーブの保存]ボタン

ボタンをクリックすると、トーンカーブの現在の設定を保存します。

印刷履歴の詳細ダイアログボックス

[印刷履歴]パネルで、[詳細]ボタンをクリックすると、表示されます。印刷履歴の管理を行います。[印刷履歴の詳細]について詳しくは、「印刷履歴を活用する」を参照してください。→P.458

- [印刷履歴]

印刷履歴が一覧で表示されます。

表示項目	内容
[印刷履歴番号]	印刷履歴の管理番号が表示されます。
[ファイル名]	画像のファイル名が表示されます。
[印刷日時]	印刷日時が表示されます。
[コメント]	コメントの内容が表示されます。

メモ

- 表示可能な印刷履歴は最大 200 件までです。200 件を超えると、古い履歴から削除されます。
- キャンセルやエラーにより正常に印刷できなかった場合、印刷履歴番号の左側に ✕ が表示されます。

- [削除]ボタン

ボタンをクリックすると、選択されている印刷履歴が削除されます。

- [登録]ボタン

 ボタンをクリックすると、選択されている印刷履歴がお気に入りに登録されます。

メモ

- お気に入りは最大 200 件まで追加できます。

- [お気に入り]

お気に入りに登録した印刷履歴が一覧で表示されます。

メモ

- 選択してドラッグすると、並び順を変更することができます。

- [読み込み]ボタン

ボタンをクリックすると、ファイルとして保存されている印刷履歴を読み込むことができます。

- [書き出し]ボタン

ボタンをクリックすると、お気に入りに登録されている印刷履歴をファイルとして保存することができます。

- [削除]ボタン

ボタンをクリックすると、お気に入りに登録された印刷履歴を削除することができます。

- [設定内容]

[印刷履歴]または[お気に入り]で選択された印刷履歴の内容が表示されます。

表示項目	内容
[基本設定]	選択すると、[基本設定]パネルで設定した内容が表示されます。
[ページ設定]	選択すると、[ページ設定]パネルで設定した内容が表示されます。
[色設定]	選択すると、[色設定]パネルで設定した内容が表示されます。

3 種類のプレビューを活用する

Print Plug-In では、3 種類のプレビュー表示で画像を確認することができます。
プレビュー表示の種類は、以下のとおりです。

- 印刷範囲レイアウトで画像を確認する →P.441
- 画像で元画像を確認する →P.442
- ロール紙プレビューで画像を確認する →P.442

印刷範囲レイアウトで画像を確認する

印刷範囲レイアウトでは、設定した出力用紙サイズに合わせたレイアウトで、印刷される範囲以外もあわせて表示します。
[プレビュー]で、[印刷範囲レイアウト]を選択します。

メモ

- プレビュー表示上でカーソルが の状態になると、画像をドラッグして印刷位置を指定することができます。
- カーソルが の状態になるのは、[ページ設定]パネルで以下の条件をすべて満たしているときです。
  - [フチなし印刷]のチェックマークが付いていない。
  - [拡大/縮小印刷]のチェックマークが付いていない、または[倍率を指定する]が選択されている。

画像で元画像を確認する

画像プレビューでは、入力された画像全体を確認することができます。
[プレビュー]で、[画像]を選択します。

メモ

- [プレビュー]で[画像]を選択している場合は、カーソルが の状態でプレビュー表示上をドラッグすると、[指定した範囲を印刷する]が有効になり、選択範囲だけを印刷することができます。
- カーソルが の状態でプレビュー表示上をクリックすると、選択が解除されます。

ロール紙プレビューで画像を確認する

ロール紙プレビューでは、ロール紙に印刷するときのレイアウトで、上部に出力用紙サイズとロール紙情報もあわせて表示します。
[プレビュー]で、[ロール紙プレビュー]を選択します。

メモ

- [プレビュー]で[ロール紙プレビュー]を選択するときは、[給紙方法]で[ロール紙]を選択してください。

お好みの画質で印刷する

お好みの解像度を指定して、印刷することができます。

1 [基本設定]パネルを表示します。

2 [用紙の種類]で、プリンタにセットされている用紙を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

3 [プラグインへの入力解像度]で、画像を処理する解像度として[精細 300ppi]または[高精細 600ppi]のいずれかを選択します。

メモ

- [精細 300ppi]を選択すると、精細な解像度で画像処理を行います。印刷スピードとメモリ容量の抑制に効果があります。
- [高精細 600ppi]を選択すると、より高精細な解像度で画像処理を行います。最良の印刷結果が得られますが、[精細 300ppi]を選択した場合より印刷に時間がかかります。また、メモリ容量が多く必要になります。
- [用紙の種類]で選択した内容によっては、[高精細 600ppi]は表示されません。

4 [プラグインへの入力ビット数]で、画像を処理するビット数として[高階調 8bit]または[最高階調 16bit]のいずれかを選択します。

メモ

- [高階調 8bit]を選択すると、画像が 8bit/チャンネル(24 ビット)で画像処理されます。
- [最高階調 16bit]を選択すると、画像が 16bit/チャンネル(48 ビット)で画像処理されます。
- [用紙の種類]または[プラグインへの入力解像度]で選択した内容によっては、[最高階調 16bit]は表示されません。

5 [印刷モード]で、画像を処理する印刷モードを選択します。

メモ

- 選択できる設定は、設定した[用紙の種類]、[プラグインへの入力解像度]、[プラグインへの入力ビット数]によって異なります。

6 [印刷]ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。

色を調整して印刷する

希望する色調で画像が印刷されるように調整することができます。
Print Plug-In で色を調整する方法として以下の 5 つを紹介します。

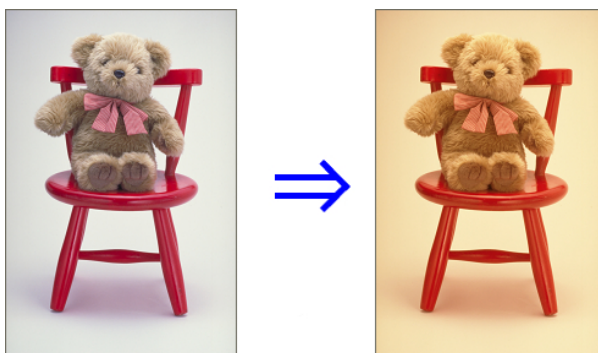
- プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合) →P.444
- プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合) →P.445
- カラーマッチングで色を調整する →P.447

- Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する →P.448
- 高品質なモノクロの写真を印刷する →P.449
- Adobe CMM を使用する →P.450

プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合)

プレビュー表示で調整内容を確認しながら、色を調整することができます。
以下の画像調整を例とした手順を説明しています。

- [シアン]を[弱く]
- [イエロー]を[強く]
- [鮮やかさ]を[弱く]
- [グレー色調]を[温黒]
- トーンカーブで明るさを強調

上記画像調整の適用前と適用後は、以下のとおりです。

1 [色設定]パネルを表示します。

2 [シアン]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします。

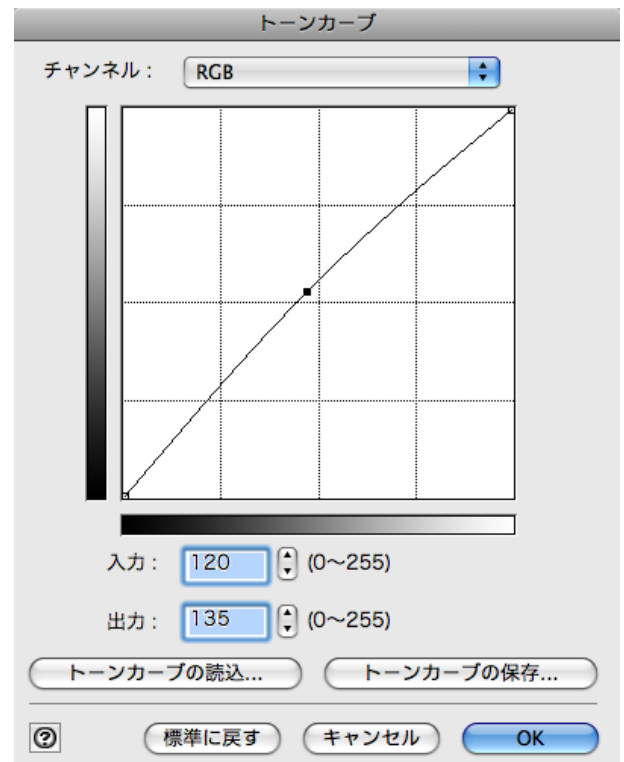
3 [イエロー]で、スライドバーを[強く]の方向にドラッグします。

4 [鮮やかさ]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします

5 [グレー色調]で、スライドバーを[温黒]の方向にドラッグします。

> メモ
> - 半角数字で入力しても、数値を変更することができます。
> - [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

6 [トーンカーブ]ボタンをクリックして、トーンカーブの中心付近をクリックします。

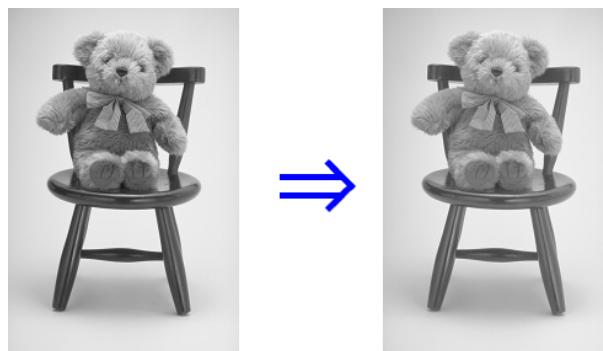
7 [入力]に 120 を、[出力]に 135 を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

8 [印刷]ボタンをクリックします。

画像調整が適用され、印刷が開始されます。

プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合)

プレビュー表示で調整内容を確認しながら、色を調整することができます。
以下の画像調整を例とした手順を説明しています。

- [コントラスト]を[弱く]
- [ハイライト]を[明るく]
- [シャドー]を[明るく]
- トーンカーブで明るさを強調

上記画像調整の適用前と適用後は、以下のとおりです。

1 [基本設定]パネルを表示します。

2 [出力プロファイル]で、[自動(モノクロ写真)]を選択します。

3 [色設定]パネルを表示します。

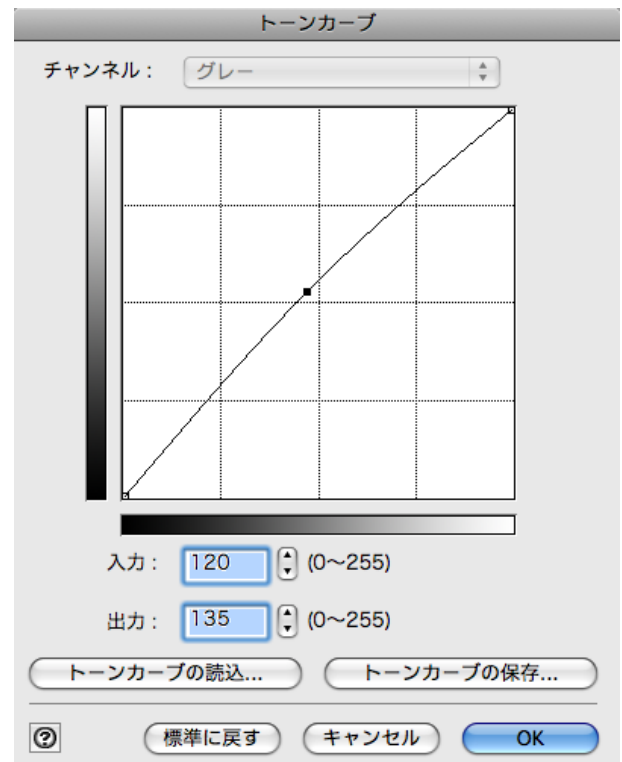
4 [コントラスト]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします。

5 [ハイライト]で、スライドバーを[明るく]の方向にドラッグします。

6 [シャドー]で、スライドバーを[明るく]の方向にドラッグします。

> メモ
> - 半角数字で入力しても、数値を変更することができます。
> - [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

7 [トーンカーブ]ボタンをクリックして、トーンカーブの中心付近をクリックします。

8 [入力]に 120 を、[出力]に 135 を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

9 [印刷]ボタンをクリックします。

画像調整が適用され、印刷が開始されます。

カラーマッチングで色を調整する

スキャナやデジタルカメラなどから取り込んだカラー画像を印刷すると、画面上で見たイメージとは異なることがあります。それは、画面上で表示される色とプリンタが印刷する色に違いがあるためです。Print Plug-In では、メディアや解像度設定などに応じて最適な色変換を行う内蔵プロファイルの他、ICC（International Color Consortium）のカラープロファイルを設定したり、マッチングモードの設定を行うことによって、画面上で表示される色合いとプリンタで印刷した色合いをより近付けることができます。

1 [基本設定]パネルを表示します。

2 [出力プロファイル]で、プロファイルを選択します。

- [プレビューでプルーフを行う]にチェックマークを付けると、カラーマッチングをプレビュー表示で確認することができます。[用紙の種類]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。
- [出力プロファイル]で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されますが、指定したプロファイルが見つからない場合は、[自動(カラー)]に設定されます。
- [出力プロファイル]で ICC プロファイルを選択している場合は、色変換エンジンに Adobe CMM を選択することができます。詳しくは、Adobe CMM を使用する →P.450 を参照してください。

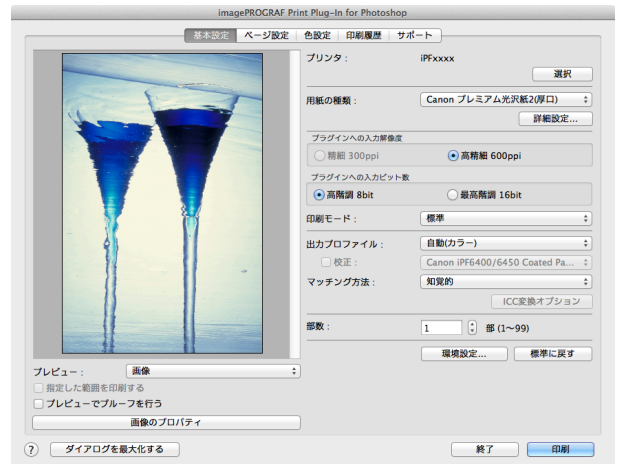
3 [マッチング方法]で、プロファイルのマッチング方法を選択します。

4 [印刷]ボタンをクリックします。

設定した出力プロファイルやマッチング方法で、印刷が開始されます。

Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する

高機能なデジタルカメラで撮影された Adobe RGB16bit の画像を高品位で印刷します。Print Plug-In では、Photoshop でレタッチした Adobe RGB16bit の画像データを広色域・高階調のまま直接印刷処理するため、画像の階調性を損なうことなく印刷することができます。

1 Photoshop で Adobe RGB16bit の画像データを選択して、Print Plug-In を起動します。(「Photoshop からの起動方法」参照) →P.418

2 [画像のプロパティ]ボタンをクリックします。

3 [画像のプロパティ]ダイアログボックスで、[ビット数]に[16bit/チャンネル]、[色空間]に[Adobe RGB]と表示されていることを確認して、[閉じる]ボタンをクリックします。

4 [基本設定]パネルを表示します。

5 [プラグインへの入力解像度]で、[高精細 600ppi]を選択します。

6 [プラグインへの入力ビット数]で、[最高階調 16bit]を選択します。

7 [印刷モード]で、できるだけ高品質の印刷モードを選択します。

8 必要があれば、カラーマッチングで色を調整します。

> メモ
> - カラーマッチングについて詳しくは、「カラーマッチングで色を調整する」を参照してください。 →P.447

9 [印刷]ボタンをクリックします。

Adobe RGB16bit 画像の印刷が開始されます。

高品質なモノクロの写真を印刷する

スキャナやデジタルカメラなどから取り込んだ画像を、高品質なモノクロで印刷できます。グレーに色がついて見える現象(色転び)を改善したり、光源の影響を小さくしたりすることができます。

1 [基本設定]パネルを表示します。

2 [出力プロファイル]で、[自動(モノクロ写真)]を選択します。

> メモ
> - [自動(モノクロ写真)]は一部の[用紙の種類]を選択した場合にのみ選択できます。

3 [印刷]ボタンをクリックします。

最適なモノクロへの変換が行われ、印刷が開始されます。

Adobe CMM を使用する

Adobe CMM は Adobe 社製の色変換エンジンです。Adobe CMM を使用することにより、色変換結果の一貫性が得られ、また黒点補正機能が使用できるようになります。

重要

- Adobe CMM はバージョン 1.1 以上を使用してください。

• Adobe CMM の入手方法

Adobe CMM は以下の手順で入手します。

1. Adobe 社のウェブサイト（http://www.adobe.com）を開きます。
2. 画面内の検索用入力ボックスに「Adobe CMM」と入力します。
3. 「Adobe Color Management Module（CMM）」の項目が検索されたら、Macintosh 版を選択します。
4. 画面の指示に従ってファイルをダウンロードします。
5. ダウンロードしたファイルのインストーラを起動し、インストールを行います。

• Adobe CMM の動作環境

Adobe CMM の動作環境は、以下のとおりです。

- 対応 OS
  Mac OS X 10.4.8 以上
- 対応 CPU
  PowerPC G4 または G5
  Intel Core Duo、Intel Core 2 Duo、Intel Xeon プロセッサ

メモ

- 詳しくは Adobe 社にご確認ください。

• Adobe CMM の使用方法

Adobe CMM を使用する手順は、以下のとおりです。

1. [基本設定]パネルを表示します。

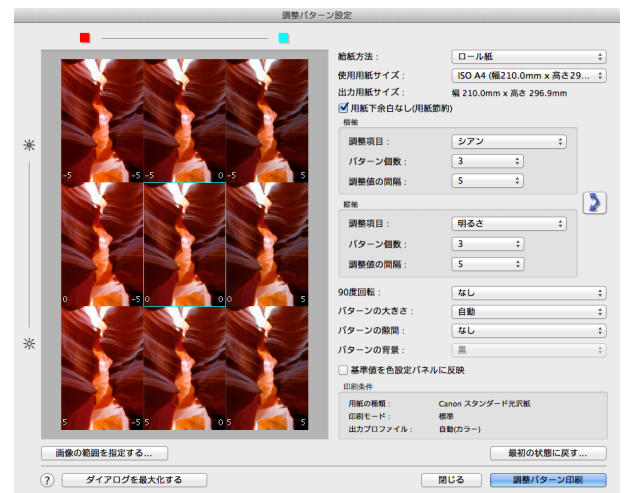
2. [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。
3. [ICC 変換オプション]ボタンをクリックします。

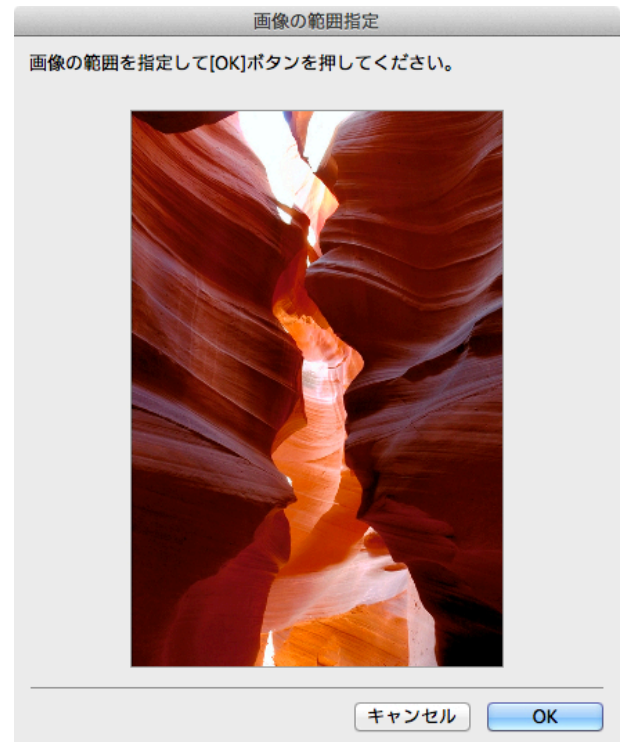
4 [ICC 変換オプション]ダイアログボックスで、[変換エンジン]から[Adobe CMM]を選択します。

5 [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

調整パターンを印刷して調整値を選択する

調整パターンを印刷して画像を比較しながらお好みの調整値を選択することができるため、用紙やインクの節約とともに調整結果を繰り返し確認する時間を節約することができます。
調整パターンの表示と印刷の手順は以下のとおりです。

1 [色設定]パネル(カラーまたはモノクロ)を表示して、基準となる調整値を決めます。

2 [調整パターン設定]ボタンをクリックして、[調整パターン設定]ダイアログボックスを表示します。

3 [横軸]および[縦軸]で[調整項目]、[パターン個数]、[調整値の間隔]を設定します。
画像の一部を調整パターンとして確認したい場合は、[画像の範囲を指定する]ボタンをクリックし、[画像の範囲指定]ダイアログボックスで確認したい範囲を選択して[OK]ボタンをクリックします。

4 必要に応じて[90 度回転]、[パターンの大きさ]、[パターンの隙間]、[パターンの背景]を設定します。

5 [給紙方法]で、印刷する用紙の給紙方法を選択します。

6 [使用用紙サイズ]で、印刷する用紙のサイズを選択します。

7 [調整パターン印刷]ボタンをクリックします。
調整パターンの印刷が開始されます。

8 調整パターンの中からお客様のイメージに一番近い画像を確認し、該当するプレビューエリア上の画像をクリックします。

9 他に調整したい項目がある場合は、[調整項目]を選択し、手順 7、8 の作業を行います。

10 お好みの画像に調整できたら、[基準値を色設定パネルに反映]チェックボックスをオンにして[閉じる]ボタンをクリックします。
[色設定]パネル(カラーまたはモノクロ)に、これまでの調整値が反映されます。

黒点補正を行う

以下の手順により、Photoshop と同等の黒点補正を行うことができます。画像の暗部潰れを避けたいときに使用します。

重要

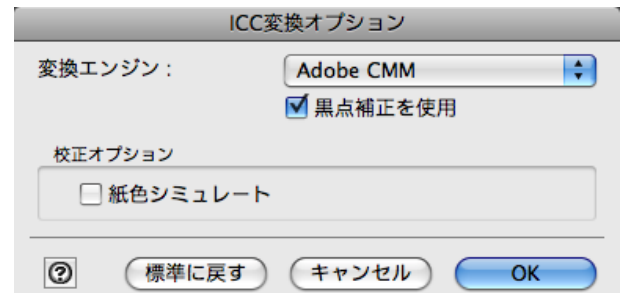
- 黒点補正の設定を有効にするためには、Photoshop または Digital Photo Professional をいったん終了してから、再度起動してください。
- 黒点補正を使用するには、Adobe CMM をインストールする必要があります。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.450 を参照してください。

1 [基本設定]パネルを表示します。

2 [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

3 [ICC 変換オプション]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを開きます。

4 [変換エンジン]で[Adobe CMM]を選択します。

5 [黒点補正を使用]にチェックマークを付けます。

6 [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

印刷機のシミュレーション印刷を行う

Japan Color や SWOP などの ICC プロファイルや印刷機用の ICC プロファイルを指定して、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。

1 [基本設定]パネルを表示します。

2 [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

3 [校正]にチェックマークを付け、右のリストからターゲットとしたい印刷機のプロファイルを選択します。

4 [ICC 変換オプション]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを開きます。

5 必要に応じて、[校正オプション]の設定を行います。

メモ

- 校正のオプションとして[紙色シミュレート]があります。

6 [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

7 [印刷]ボタンをクリックします。
印刷が開始されます。

拡大/縮小して印刷する

画像の実サイズよりも大きく印刷、または小さく印刷することができます。
拡大/縮小印刷するには、以下の 3 つの方法があります。

- 出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する →P.454
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する →P.455
- 倍率を指定して拡大/縮小印刷する →P.456

出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する

プリンタにセットされている用紙を指定することで、用紙の印刷領域に合わせて画像を拡大/縮小して印刷することができます。指定した出力用紙いっぱいに画像を印刷したいときに使用すると便利です。

メモ

- ロール紙の幅いっぱいに印刷したい場合は、「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する」を参照してください。→P.455
- ロール紙への印刷に対して以下の手順を行うと、[出力用紙サイズ]で設定した出力用紙サイズに合わせて印刷されます。

1 [ページ設定]パネルを表示します。

2 [出力用紙サイズ]で、出力したい用紙のサイズを選択します。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

3 [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ
- [縦]を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- [横]を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

4 [拡大/縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

5 [出力用紙サイズに合わせる]を選択します。

6 [印刷]ボタンをクリックします。

画像が出力用紙サイズいっぱいになるように印刷されます。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する

プリンタにセットされているロール紙の幅に合わせて画像を拡大/縮小して印刷することができます。ロール紙幅いっぱいに画像を印刷したいときに使用すると便利です。

メモ
- プリンタにロール紙がセットされていない場合は、正しく印刷されません。

1 [ページ設定]パネルを表示します。

2 [給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

3 [ロール紙オプション]ボタンをクリックします。

4 ロール紙のオプションを設定して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ
- [ロール紙オプション]ダイアログボックスについて詳しくは、「ロール紙オプションダイアログボックス」を参照してください。 →P.438
- [標準に戻す]ボタンをクリックすると、ロール紙オプションの設定が初期値に戻ります。

5 [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ
- [縦]を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- [横]を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

6 [拡大/縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

7 [ロール紙の幅に合わせる]を選択します。

8 [印刷]ボタンをクリックします。
画像がロール紙幅サイズいっぱいになるように印刷されます。

倍率を指定して拡大/縮小印刷する

画像を拡大/縮小するための倍率を指定して、印刷することができます。お好みの大きさで画像を印刷したいときに使用すると便利です。

1 [ページ設定]パネルを表示します。

2 [出力用紙サイズ]で、出力したい用紙のサイズを選択します。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

3 [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ

- [縦]を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- [横]を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

4 [拡大/縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

5 [倍率を指定する]を選択して、半角数字で倍率を入力するか、プレビュー画面の四隅をドラッグします。

メモ

- 倍率は 0.01%単位で指定することができます。
- 倍率は、5.00〜600.00%の範囲で、指定することができます。
- 縦横のサイズは等倍率で拡大/縮小されます。

6 [印刷範囲レイアウト]のプレビュー表示で画像をドラッグするか、[印刷レイアウト]で印刷位置を設定します。

7 [印刷]ボタンをクリックします。

設定した倍率で印刷が開始されます。

フチなしで印刷する

フチなし印刷機能を使用して、画像の周囲に余白を取らずに印刷することができます。

メモ

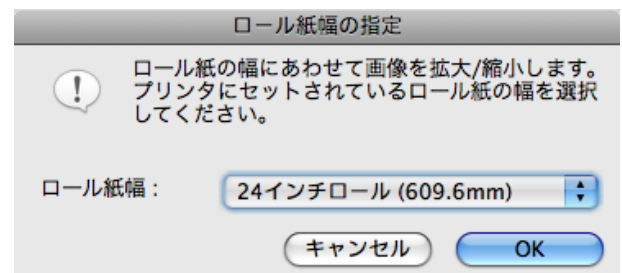
- 用紙の種類によっては、2 辺のみのフチなしで印刷されます。
- フチなし印刷機能を使用するには、プリンタに専用の用紙がセットされている必要があります。

1 [ページ設定]パネルを表示します。

2 [給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

3 [フチなし印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ

- [ロール紙幅の指定]ダイアログボックスの[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

4 [印刷]ボタンをクリックします。

フチなしの設定で印刷が開始されます。

用紙の設定をカスタマイズする

用紙の設定をカスタマイズすることができます。

1 [基本設定]パネルを表示します。

2 [用紙の種類]で、カスタマイズしたい用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

3 [詳細設定]ボタンをクリックします。

4 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.435 で、各種設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

印刷履歴を活用する

Print Plug-In では各種設定を行って印刷すると、印刷履歴として各種設定が保存されます。ファイルとして書き出したり、読み込んだりすることができます。よく使用する印刷履歴は、お気に入りとして名前を付けて登録することもできます。

メモ

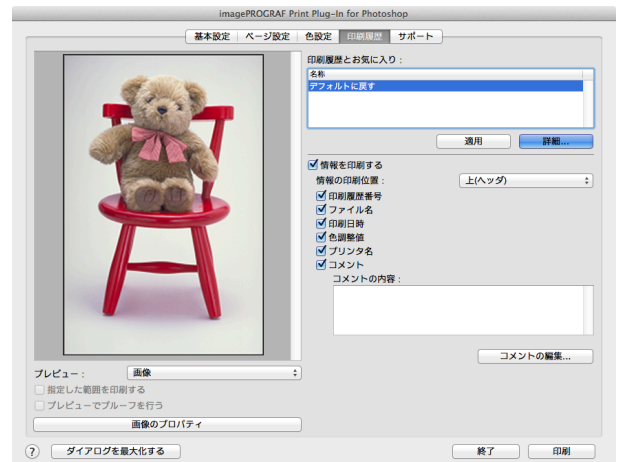
- 印刷履歴は、200 件まで保存することができます。印刷履歴数が 200 件を超えると、古い順から自動的に削除されます。

印刷履歴を活用してできることは、以下のとおりです。

- 印刷履歴の詳細を確認する →P.459
- 印刷履歴を画像に適用する →P.460
- 印刷履歴をお気に入りに登録する →P.460
- 印刷履歴を削除する →P.462
- お気に入りの印刷履歴を書き出す →P.463
- お気に入りに印刷履歴を読み込む →P.464
- お気に入りから印刷履歴を削除する →P.465
- 情報を画像とともに印刷するよう設定する →P.466

印刷履歴の詳細を確認する

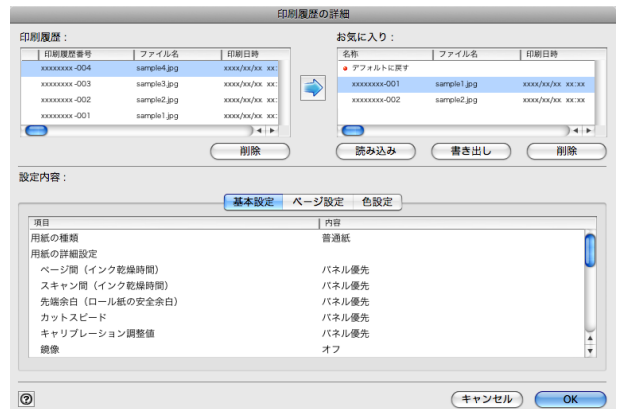
印刷履歴の詳細を確認することができます。

1 [印刷履歴]パネルを表示します。

2 [詳細]ボタンをクリックします。

メモ

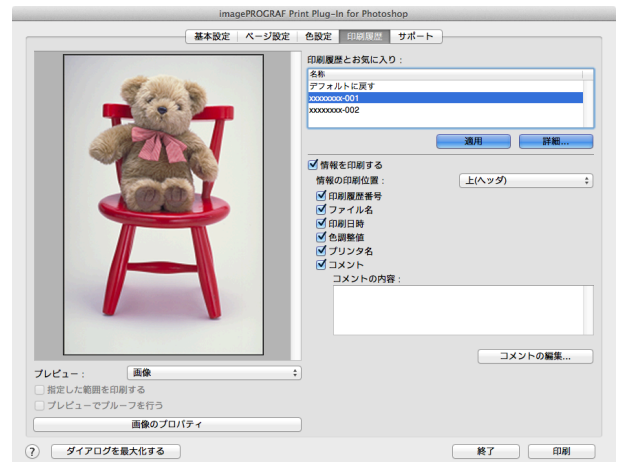
- [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]または[お気に入り]から詳細を確認したい印刷履歴を選択します。

3 [設定内容]で印刷履歴の詳細を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- 印刷履歴の詳細内容は、パネルを切り替えて表示することができます。

印刷履歴を画像に適用する

過去の印刷履歴を呼び出して、画像に適用することができます。

1 ［印刷履歴］パネルを表示します。

2 必要があれば印刷履歴の詳細を確認します。(「印刷履歴の詳細を確認する」参照) →P.459

3 ［印刷履歴とお気に入り］から適用したい印刷履歴を選択して、［適用］ボタンをクリックします。

印刷履歴をお気に入りに登録する

よく使用する印刷履歴をお気に入りとして登録することができます。お気に入りに登録しておくと個別の名称を付けられるだけでなく、簡単に呼び出すこともできます。

メモ

- お気に入りに登録できる印刷履歴は、200 件までです。

1 ［印刷履歴］パネルを表示します。

2 ［詳細］ボタンをクリックします。

3 [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]からお気に入りに登録したい印刷履歴を選択して、[設定内容]で印刷履歴の詳細を確認します。

4 [印刷履歴]からお気に入りに登録したい印刷履歴を選択して、 ボタンをクリックします。

5 [お気に入りの追加]ダイアログボックスで、[名称]に印刷履歴の名称を入力し、[コメント]にコメントを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

6 [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

印刷履歴を削除する

印刷履歴を削除することができます。

重要

- 削除した印刷履歴は元には戻せませんので、ご注意ください。

1 [印刷履歴]パネルを表示します。

2 [詳細]ボタンをクリックします。

3 [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]から削除したい印刷履歴を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

4 [OK]ボタンをクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

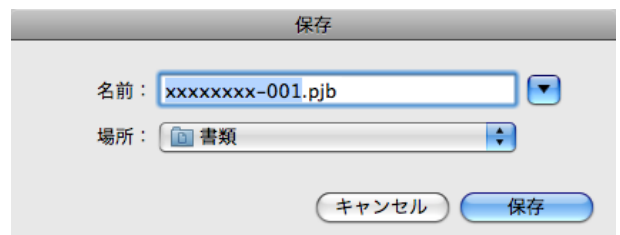
お気に入りの印刷履歴を書き出す

お気に入りに登録した印刷履歴をファイルに書き出すことができます。

1 [印刷履歴]パネルを表示します。

2 [詳細]ボタンをクリックします。

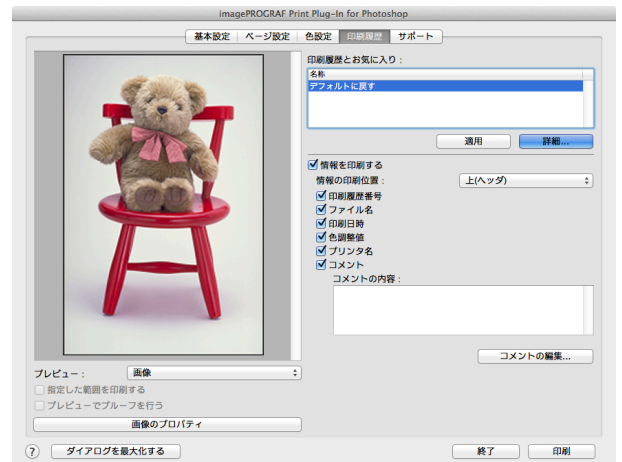
3 [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]から書き出したい印刷履歴を選択して、[書き出し]ボタンをクリックします。

4 [保存]ダイアログボックスで、[名前]に印刷履歴のファイル名を入力して、[保存]ボタンをクリックします。

指定したファイル名で印刷履歴が書き出されます。

5 [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りに印刷履歴を読み込む

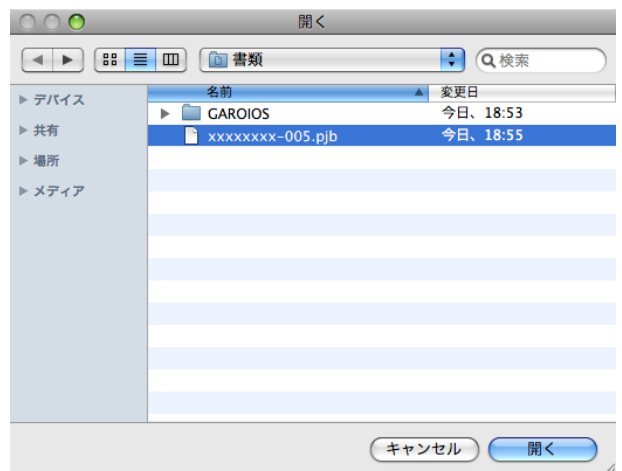
ファイル形式の印刷履歴を読み込んで、お気に入りに登録することができます。

1 [印刷履歴]パネルを表示します。

2 [詳細]ボタンをクリックします。

3 [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]の[読み込み]ボタンをクリックします。

4 [ファイルを開く]ダイアログボックスで、読み込みたい印刷履歴ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

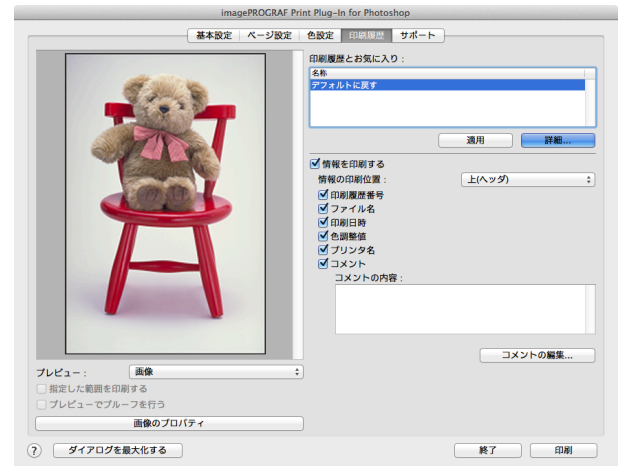
印刷履歴が読み込まれます。

メモ

- 印刷履歴ファイルの拡張子は*.pjb/*.pjb2 です。
- 異なる OS の Print Plug-In で書き出された印刷履歴ファイルを読み込むことはできません。
- 異なるプリンタの Print Plug-In で書き出された印刷履歴ファイルを読み込むことはできません。

5 [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りから印刷履歴を削除する

お気に入りに登録した印刷履歴をお気に入りから削除することができます。お気に入りは、200 件を超えて登録することはできません。

1 [印刷履歴]パネルを表示します。

2 [詳細]ボタンをクリックします。

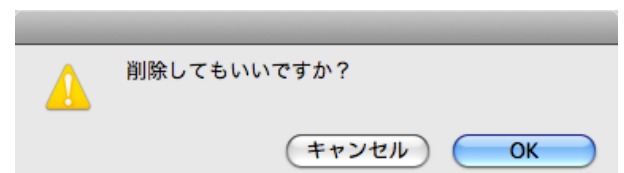
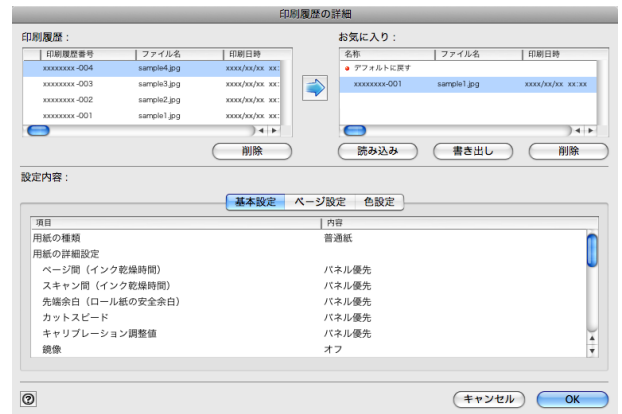
3 [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]から削除したい印刷履歴を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

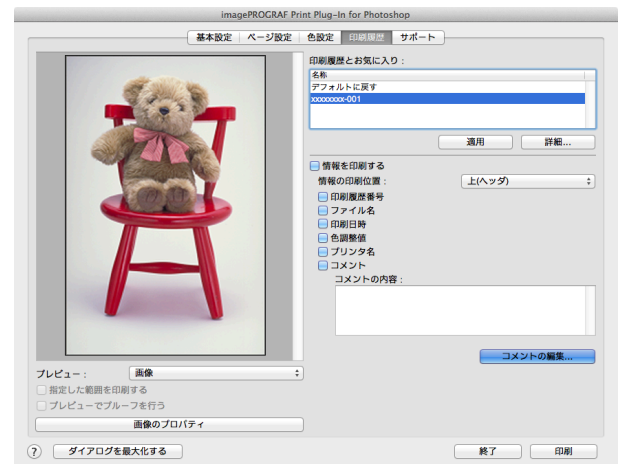
4 [OK]ボタンをクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

情報を画像とともに印刷するよう設定する

ファイル名や印刷日時などの印刷に関連した情報を、画像といっしょに印刷することができます。

メモ

- フチなし印刷機能を使用して印刷する場合は、印刷に関連した情報は印刷されません。(「フチなしで印刷する」参照) →P.457
- 印刷される情報が長すぎて用紙内に収まらない場合は、途中で切れた状態で印刷されます。
- 画像データのサイズや拡大率、印刷位置の値によっては、画像データ上に情報が印刷されてしまうことがあります。
- プリンタ本体で[外形サイズ優先]が[オン]に設定されている場合は、印刷データの下部が一部印刷されないことがあります。

1 [印刷履歴]パネルを表示します。

2 [情報を印刷する]をクリックしてチェックマークを付けます。

3 [情報の印刷位置]で、情報を印刷したい位置を選択します。

4 印刷したい情報をクリックしてチェックマークを付けます。

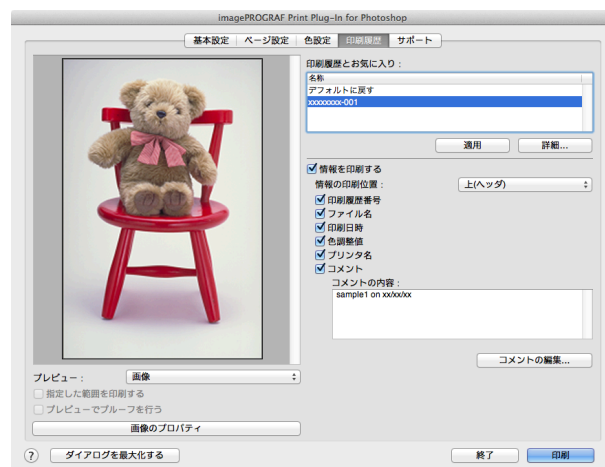
5 コメントを編集したい場合は、[コメントの編集]ボタンをクリックします。

メモ

- コメントの編集が必要ない場合は手順7に進んでください。

6 [コメントの編集]ダイアログボックスで、コメントを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

7 [印刷]ボタンをクリックします。

コメントとともに画像が印刷されます。

Layout Plug-In for Photoshop

Layout Plug-In について 468
Layout Plug-In メインウィンドウ 468
フレームサイズの追加ダイアログボックス 470
フレーム装丁用のレイアウトイメージを作成して印刷する 471

Layout Plug-In について

Photoshop から Layout Plug-In を起動して、写真を印刷してフレームに装丁する際、フレーム側面まで画像で覆うレイアウトイメージを作成することができます。

メモ

- Layout Plug-In は Photoshop CS5、Photoshop CS4、Photoshop CS3 で使用できます。
- Layout Plug-In で作成したレイアウトイメージは、そのまま Print Plug-In for Photoshop から印刷できます。

Layout Plug-In の機能については、「Layout Plug-In メインウィンドウ」を参照してください。→P.468
起動方法と使い方については、「フレーム装丁用のレイアウトイメージを作成して印刷する」を参照してください。
→P.471

Layout Plug-In メインウィンドウ

写真を印刷してフレームに装丁する際に、フレーム側面まで画像で覆うように仕上げるためのレイアウトイメージを作成します。
設定した内容は Layout Plug-In メインウィンドウ左側のプレビューエリアで確認できます。

- ［単位］

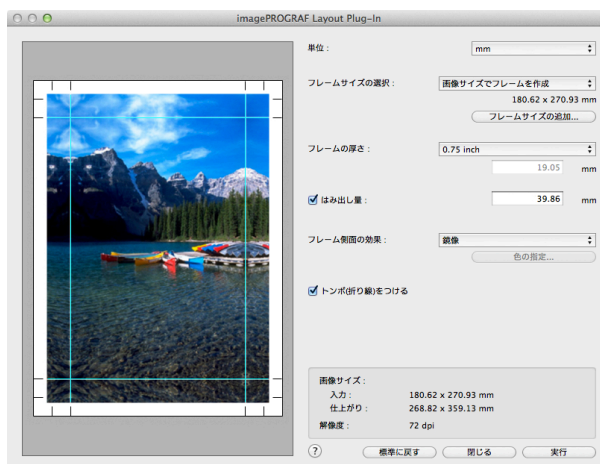
単位を mm、inch、pixel から選択できます。

重要

- mm または inch で入力した数値は、一旦 pixel に換算してから mm または inch に再度換算するため、入力した値と異なる数値で表示される場合があります。

- [フレームサイズの選択]

フレームのサイズを選択します。[画像サイズでフレームを作成]を選択すると、画像サイズをフレームサイズとして扱います。画像サイズに合わせてフレームを用意する場合にお勧めします。

- [フレームサイズの追加]ボタン

ボタンをクリックすると[フレームサイズの追加]ダイアログボックスが表示され、[カスタムフレームサイズ]の登録ができます。(「フレームサイズの追加ダイアログボックス」参照) →P.470

- [フレームの厚さ]

フレームの厚さ(フレーム側面の量)を指定します。0.75inch(約 19mm)または 1.5inch(約 38mm)から選択できますが、任意の厚さの指定も可能です。

重要

- mm または inch で入力した数値は、一旦 pixel に換算してから mm または inch に再度換算するため、入力した値と異なる数値で表示される場合があります。

- [はみ出し量]

チェックボックスをオンにすると、フレーム側面からのはみ出し量が設定できます。装丁時にフレーム側面に紙白が生じるのを防ぐことができます。

重要

- mm または inch で入力した数値は、一旦 pixel に換算してから mm または inch に再度換算するため、入力した値と異なる数値で表示される場合があります。

- [フレーム側面の効果]

フレームの効果を以下から選べます。

  - [画像]
    フレーム側面まで画像で覆います。
  - [画像(ぼかし)]
    フレーム側面の画像をガウス処理します。
  - [鏡像]
    フレーム側面の画像を鏡像にします。
  - [鏡像(ぼかし)]
    フレーム側面の画像を鏡像にしてガウス処理します。
  - [白]
    フレーム側面を紙白にします。
  - [黒]
    フレーム側面を黒にします。
  - [指定色]
    フレーム側面を指定した色にします。色の指定は[色の指定]ボタンをクリックして行います。

- [トンボ(折り線)をつける]

チェックボックスをオンにすると、フレームに装丁する際に、用紙を折る位置の目安として画像の外側にトンボを印刷します。

- 情報表示

以下の情報が表示されます。

  - [入力]
    レイアウトイメージを作成する前のオリジナル画像のサイズを表します。
  - [仕上がり]
    入力画像サイズにフレーム側面、トンボ、はみ出し量を追加した、レイアウトイメージ全体の画像サイズを表します。
  - [解像度]
    画像の解像度を表示します。オリジナル画像の解像度から変化しません。Layout Plug-In で画像サイズを変更する場合は、オリジナル画像と同じ解像度を維持して、バイキュービック法での再サンプルが行われます。

画像の pixel 数を変更(再サンプル)したくない場合は、[フレームサイズの選択]で[画像サイズでフレームを作成]を選択し、[フレーム側面の効果]で[画像]または[画像(ぼかし)]以外を選択してください。この場合は画像の拡大または縮小は行われません。

- [標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、設定値がリセットされます。

- [閉じる]ボタン

ボタンをクリックすると、Layout Plug-In が終了し、その時点での設定値が保存されます。また、次回 Layout Plug-In を起動したときは、前回の設定値が適用されます。

- [実行]ボタン

ボタンをクリックすると Print Plug-In for Photoshop が起動します。作成したレイアウトイメージを印刷する場合は、Print Plug-In for Photoshop メインウインドウの[印刷]ボタンをクリックしてください。

重要

- Print Plug-In を終了すると、作成したレイアウトイメージは破棄されます。

メモ

- 複数機種の Print Plug-In for Photoshop がインストールされている場合、[実行]ボタンをクリックすると機種選択画面が表示されます。
- 印刷後に Print Plug-In for Photoshop メインウィンドウを閉じると、Layout Plug-In メインウィンドウが再度表示されます。
- レイアウトイメージのサイズがプリンタで印刷可能な用紙サイズを超えている場合、あらかじめレイアウトイメージのサイズを出力用紙サイズまで縮小してから印刷してください。

フレームサイズの追加ダイアログボックス

Layout Plug-In メインウィンドウで[フレームサイズの追加]ボタンをクリックすると表示されます。任意のフレームサイズ(カスタムフレームサイズ)の登録や削除ができます。

[閉じる]ボタンをクリックすると、[フレームサイズの追加]ダイアログボックスを閉じます。

フレームサイズを追加する

1. [単位]で追加するフレームサイズの幅と高さの単位を決めます。
2. [サイズ]で追加するフレームサイズの幅と高さを入力します。
   [サイズ一覧]で表示しているサイズを選択すると、[サイズ]欄の[幅]と[高さ]に数値が表示されます。[入力画像サイズ]を選択した場合は、入力画像のサイズがそのままフレームの幅と高さになります。
   [画像の縦横比を固定して作成]チェックボックスをオンにすると、入力画像の縦横比でのカスタムサイズが作成できます。例えば幅を変更した場合、入力画像の縦横比に従って高さも変更されます。
3. [カスタムフレームサイズ名]に追加するフレームサイズの名前を入力します。
4. [登録]ボタンをクリックします。

フレームサイズを削除する

1 [サイズ一覧]から削除したい[カスタムフレームサイズ名]を選択します。

2 [削除]ボタンをクリックします。

メモ

- [名称]に赤丸がついているサイズは削除できません。

フレーム装丁用のレイアウトイメージを作成して印刷する

フレーム装丁用のレイアウトイメージを作成して印刷する手順は以下のとおりです。

1 Photoshop を起動します。

2 レイアウトする画像を開き、必要に応じて Photoshop で画像編集を行います。

3 Photoshop の[ファイル]メニューの[自動処理]から[imagePROGRAF Layout Plug-In]を選択します。
Layout Plug-In が起動して、Layout Plug-In メインウィンドウが表示されます。

メモ

- Layout Plug-In で扱える画像は、幅および高さが 60,000pixel 未満のものです。画像の幅または高さが 60,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4 装丁するフレームに合わせてフレームサイズを選択し、フレーム側面の効果などを追加したレイアウトイメージを作成します。
詳しくは、「Layout Plug-In メインウィンドウ」を参照してください。 →P.468

重要

- 作成したレイアウトイメージを Photoshop で加工することはできません。

5 レイアウトイメージの作成が完了したら、Print Plug-In for Photoshop を起動して、レイアウトイメージのサイズより大きめの用紙に印刷します。

重要

- [閉じる]ボタンをクリックして Layout Plug-In を終了すると、作成したレイアウトイメージは破棄されます。

6 印刷したレイアウトイメージをフレームに装丁します。

重要

- 印刷した用紙は、十分に乾燥させてからフレームに装丁してください。
- フレームに装丁する際に、印刷面に触れるとインクが剥がれてしまう場合がありますのでご注意ください。

- 印刷した用紙はフレームに沿って折り曲げる際に、用紙の種類によっては折り曲げた部分が割れて下地が見えてしまう場合があります。折り曲げる前に市販のインクジェット用保護スプレーやインクジェット用液状ラミネート剤を使用しておくことで、折り曲げ部の割れをある程度防げます。

印刷の流れ 19
さまざまな印刷方法 33
Windows ソフトウエア 155
Mac OS X ソフトウエア 325

用紙の取り扱いと活用

用紙について 474
ロール紙の取り扱い 481
カット紙の取り扱い 505
バスケット 512
巻き取り装置 519
Media Configuration Tool (Windows) 530
Media Configuration Tool (Mac OS X) 556

操作パネル 587
プリンタの各部 621
ネットワークの設定 637
印刷ジョブの管理 671
画質の調整と改善 725
色の管理 741
メンテナンスと消耗品 817
困ったときには 863
エラーメッセージ 893
仕様 919
付録 923

用紙について

用紙の種類 474
用紙のサイズ 474
純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する 476
既存の設定で純正紙/出力確認紙以外の用紙に印刷する 477
用紙の種類を追加して純正紙/出力確認紙以外の用紙に印刷する 478
用紙リファレンスガイドを表示する 478
最新の用紙情報に更新する 479

用紙の種類

プリンタに対応する用紙には、以下の用紙の種類があります。プリンタに対応する用紙についての詳細は、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)

- 普通紙
- コート紙
- フォト用紙
- 光沢紙
- プルーフ用紙
- CAD 専用紙　など

用紙リファレンスガイドには、以下の内容が記載されています。

- 用紙の種類
- 用紙の取り扱いについて
- 用紙の製品仕様
- 使用上の注意
- 操作パネル、プリンタドライバの設定　など

メモ

- 用紙リファレンスガイドに記載されていない用紙の使用方法については、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。→P.476

- 用紙リファレンスガイド表示方法

  用紙リファレンスガイドは、[imagePROGRAF サポート情報]から表示できます。(「用紙リファレンスガイドを表示する」参照) →P.478

- 対応用紙の更新方法

  プリンタに対応する用紙は、imagePROGRAF ホームページに新たにリリースされることがあります。

  新たにリリースされた用紙を使用するには、Media Configuration Tool で最新の用紙情報をプリンタに登録してください。(「最新の用紙情報に更新する」参照) →P.479

重要

- プリンタドライバを使用しない場合でも、用紙リファレンスガイドのインストールとお使いの地域に合った用紙種類をプリンタに登録するため、Media Configuration Tool をインストールしてください。
  Media Configuration Tool については、Media Configuration Tool(Windows) →P.530 または Media Configuration Tool(Macintosh) →P.556 を参照してください。

用紙のサイズ

ロール紙

以下のすべての条件に合ったロール紙を使用できます。

- 外径 150 mm 以内
- 紙管の内径 2 インチまたは 3 インチ
- 表(外側)が印刷面

ロール紙の幅	プリンタドライバの[ロール紙幅]の設定	フチなし印刷(*1)
1117.6 mm(44.00 インチ)	[44 インチロール (1117.6mm)]	可

ロール紙の幅	プリンタドライバの[ロール紙幅]の設定	フチなし印刷(*1)
1066.8 mm(42.00 インチ)	[42 インチロール (1066.8mm)]	可
1030.0 mm(40.55 インチ)	[JIS B0/B1 ロール (1030.0mm)]	可
914.4 mm(36.00 インチ)	[36 インチロール (914.4mm)]	可
841.0 mm(33.11 インチ)	[ISO A0/A1 ロール (841.0mm)]	可
762.0 mm(30.00 インチ)	[30 インチロール (762.0mm)]	不可
728.0 mm(28.66 インチ)	[JIS B1/B2 ロール (728.0mm)]	不可
609.6 mm(24.00 インチ)	[24 インチロール(609.6mm)]	可
594.0 mm(23.39 インチ)	[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)]	可
515.0 mm(20.28 インチ)	[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]	可
431.8 mm(17.00 インチ)	[17 インチロール(431.8mm)]	可
420.0 mm(16.54 インチ)	[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]	不可
406.4 mm(16.00 インチ)	[16 インチロール(406.4mm)]	不可
355.6 mm(14.00 インチ)	[14 インチロール(355.6mm)]	可
297.0 mm(11.69 インチ)	[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]	不可
254.0 mm(10.00 インチ)	[10 インチロール(254.0mm)]	可

*1: フチなし印刷できる用紙の種類については用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.474

カット紙

以下のサイズのカット紙を使用できます。

用紙のサイズ	寸法
[ISO A0]	841.0 × 1189.0 mm(33.11 × 46.81 インチ)
[ISO A1]	594.0 × 841.0 mm(23.39 × 33.11 インチ)
[ISO A2]	420.0 × 594.0 mm(16.54 × 23.39 インチ)
[ISO A2 ノビ]	431.8 × 609.6 mm(17.00 × 24.00 インチ)
[ISO A3]	297.0 × 420.0 mm(11.69 × 16.54 インチ)
[ISO A3 ノビ]	329.0 × 483.0 mm(12.95 × 19.02 インチ)
[ISO A4]	210.0 × 297.0 mm(8.27 × 11.69 インチ)
[ISO B0]	1000.0 × 1414.0 mm(39.37 × 55.67 インチ)
[ISO B1]	707.0 × 1000.0 mm(27.83 × 39.37 インチ)
[ISO B2]	500.0 × 707.0 mm(19.69 × 27.83 インチ)
[ISO B3]	353.0 × 500.0 mm(13.90 × 19.69 インチ)
[ISO B4]	250.0 × 353.0 mm(9.84 × 13.90 インチ)
[JIS B0]	1030.0 × 1456.0 mm(40.55 × 57.32 インチ)
[JIS B1]	728.0 × 1030.0 mm(28.66 × 40.55 インチ)
[JIS B2]	515.0 × 728.0 mm(20.28 × 28.66 インチ)
[JIS B3]	364.0 × 515.0 mm(14.33 × 20.28 インチ)
[JIS B4]	257.0 × 364.0 mm(10.12 × 14.33 インチ)
[34"x44"(ANSI E)]	863.6 × 1117.6 mm(34.00 × 44.00 インチ)
[28"x40"(ANSI F)]	711.2 × 1016.0 mm(28.00 × 40.00 インチ)
[22"x34"(ANSI D)]	558.8 × 863.6 mm(22.00 × 34.00 インチ)
[17"x22"(ANSI C)]	431.8 × 558.8 mm(17.00 × 22.00 インチ)
[11"x17"(Ledger)]	279.4 × 431.8 mm(11.00 × 17.00 インチ)
[13"x19"(Super B)]	330.2 × 482.6 mm(13.00 × 19.00 インチ)
[Letter(8.5"x11")]	215.9 × 279.4 mm(8.50 × 11.00 インチ)
[Legal(8.5"x14")]	215.9 × 355.6 mm(8.50 × 14.00 インチ)

用紙のサイズ	寸法
[36"x48"(ARCH E)]	914.4 × 1219.2 mm(36.00 × 48.00 インチ)
[30"x42"(ARCH E1)]	762.0 × 1066.8 mm(30.00 × 42.00 インチ)
[26"x38"(ARCH E2)]	660.4 × 965.2 mm(26.00 × 38.00 インチ)
[27"x39"(ARCH E3)]	685.8 × 990.6 mm(27.00 × 39.00 インチ)
[24"x36"(ARCH D)]	609.6 × 914.4 mm(24.00 × 36.00 インチ)
[18"x24"(ARCH C)]	457.2 × 609.6 mm(18.00 × 24.00 インチ)
[12"x18"(ARCH B)]	304.8 × 457.2 mm(12.00 × 18.00 インチ)
[9"x12"(ARCH A)]	228.6 × 304.8 mm(9.00 × 12.00 インチ)
[DIN C0]	917.0 × 1296.0 mm(36.10 × 51.02 インチ)
[DIN C1]	648.0 × 917.0 mm(25.51 × 36.10 インチ)
[DIN C2]	458.0 × 648.0 mm(18.03 × 25.51 インチ)
[DIN C3]	324.0 × 458.0 mm(12.76 × 18.03 インチ)
[DIN C4]	229.0 × 324.0 mm(9.02 × 12.76 インチ)
[大全 (20"x24")]	508.0 × 609.6 mm(20.00 × 24.00 インチ)
[全紙 (18"x22")]	457.2 × 558.8 mm(18.00 × 22.00 インチ)
[半切 (14"x17")]	355.6 × 431.8 mm(14.00 × 17.00 インチ)
[小半切 (12"x16")]	304.8 × 406.4 mm(12.00 × 16.00 インチ)
[四切 (10"x12")]	254.0 × 304.8 mm(10.00 × 12.00 インチ)
[四切ワイド (10"x15")]	254.0 × 381.0 mm(10.00 × 15.00 インチ)
[六切 (8"x10")]	203.2 × 254.0 mm(8.00 × 10.00 インチ)
[US フォト (16"x20")]	406.4 × 508.0 mm(16.00 × 20.00 インチ)
[ポスター 20"x30"]	508.0 × 762.0 mm(20.00 × 30.00 インチ)
[ポスター 30"x40"]	762.0 × 1016.0 mm(30.00 × 40.00 インチ)
[ポスター 42"x60"]	1066.8 × 1524.0 mm(42.00 × 60.00 インチ)
[ポスター 44"x62"]	1117.6 × 1574.8 mm(44.00 × 62.00 インチ)
[13"x22"]	329.0 × 558.0 mm(12.95 × 21.97 インチ)
[ポスター 300x900mm]	300.0 × 900.0 mm(11.81 × 35.43 インチ)
ユーザ定義用紙	203.2 × 203.2 mm(8.00 × 8.00 インチ) ~ 1118.0 × 1600.0 mm(44.02 × 62.99 インチ)

メモ

- 定形外の用紙については、「定形外の用紙に印刷する」を参照してください。 →P.105
- カット紙では、フチなし印刷ができません。

純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する

本プリンタでキヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙に印刷する場合、以下の条件を満たしている用紙を使用してください。

メモ

- キヤノン純正紙/出力確認紙は、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)

- 「用紙のサイズ」に記載されたサイズのもの(「用紙のサイズ」参照) →P.474
- 「仕様」の「用紙厚さ」に記載された厚みのもの(「仕様」参照) →P.920
- 印刷した時に滲みやインクあふれの生じないもの
- 用紙セット時や印刷時に大きく反ったりしないもの

重要

- キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙の使用については、印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。キヤノン純正紙/出力確認紙は、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)

用紙をプリンタにセットした後は、操作パネル及びプリンタドライバで用紙の種類を選択して印刷を行います。用紙の種類は、既存の設定から選択する簡易的な方法と、ご使用の用紙の設定を作成して使用する方法があります。

既存の設定で印刷する

プリンタの操作パネルやプリンタドライバに用意されている既存の設定から選択することで、簡易的に印刷することができます。（「既存の設定で純正紙/出力確認紙以外の用紙に印刷する」参照） →P.477

追加した設定で印刷する

Media Configuration Tool の［カスタム用紙の追加］機能を使用して、ご使用の純正紙/出力確認紙以外の用紙に適した設定を作成し、プリンタの操作パネル及びプリンタドライバに新しい用紙の種類として追加し印刷することができます。（「用紙の種類を追加して純正紙/出力確認紙以外の用紙に印刷する」参照） →P.478

既存の設定で純正紙/出力確認紙以外の用紙に印刷する

ご使用の用紙の種類に応じて、プリンタの操作パネル及びプリンタドライバに用意されている既存の設定を選択することで、複雑な設定を行うことなく簡易的にキヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙への印刷ができます。既存の設定には、用紙の種類別に用意された汎用的な用紙設定と、インクの使用量を選択できるスペシャル設定があります。

重要

- プリンタの操作パネル及びプリンタドライバに用意されているキヤノン純正紙の設定は、キヤノン純正紙に最適化されています。キヤノン純正紙以外の用紙への印刷にこの設定を選択すると、インクのにじみやプリントヘッドのこすれ等が発生する場合があります。キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙へ簡易的に印刷するには以下の汎用的な用紙設定またはスペシャル設定の選択をお勧めします。

メモ

- 用紙の種類の概要については、「用紙の種類」を参照してください。 →P.474
- 操作パネル及びプリンタドライバで用紙の種類を選択する方法については、「用紙の種類」を参照してください。 →P.474

汎用的な用紙設定を選択する

幅広い種類のキヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙を想定した設定なので、インクにじみやヘッドこすれなどが発生し難くなっています。キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙の条件と選択する用紙の種類の関係は以下の表をご参照ください。

種類	坪量の目安	厚さの目安	プリンタの操作パネル	プリンタドライバ
普通紙	70 g/㎡	0.09mm	［普通紙］	［普通紙］
コート紙	90 g/㎡	0.13mm	［コート紙（薄口）］	［コート紙（薄口）］
コート紙	170 g/㎡	0.22mm	［コート紙（厚口）］	［コート紙（厚口）］
フォト用紙	180 g/㎡	0.18mm	［フォト用紙（薄口）］	［フォト用紙（薄口）］
フォト用紙	260 g/㎡	0.26mm	［フォト用紙（厚口）］	［フォト用紙（厚口）］
プルーフ	80 g/㎡	0.10mm	［新聞プルーフ用紙］	［新聞プルーフ用紙］
アート紙	65 g/㎡	0.15mm	［和紙］	［和紙］
アート紙	200 g/㎡	0.35mm	［アート紙（厚口）］	［アート紙（厚口）］
アート紙	300 g/㎡	0.44mm	［アート紙（特厚）］	［アート紙（特厚）］
サイン/CAD 専用	470 g/㎡	0.35mm	［ビニール（バナー）］	［ビニール（バナー）］
サイン/CAD 専用	300 g/㎡	0.28mm	［ビニール（糊付き）］	［ビニール（糊付き）］
サイン/CAD 専用	240 g/㎡	0.18mm	［光沢フィルム］	［光沢フィルム］
サイン/CAD 専用	150 g/㎡	0.11mm	［クリアフィルム（CAD）］	［クリアフィルム（CAD）］

スペシャル設定を選択する

インクの使用量を段階的に選択できるスペシャル設定が用意されています。ご使用の用紙に適したインク使用量のスペシャル設定を選択することで発色性の不足やインクにじみを改善することができます。スペシャル設定はブラックインクの種類及び用紙の種類に応じて、以下のように使い分けることができるようになっています。

スペシャル設定の種類	ブラックインクの種類	対応する用紙の例
スペシャル 1～スペシャル 5	BK（フォトブラック）	光沢紙、プルーフ系用紙
スペシャル 6～スペシャル 10	MBK（マットブラック）	コート紙、マット紙、アート紙

用紙の取り扱いと活用
用紙について

”スペシャル 1”と”スペシャル 6”がインク使用量が最も少なく、数字が増えるごとに 5 段階でインクの使用量が多くなり、”スペシャル 5”と”スペシャル 10”が最も多くなります。インクの使用量が多いと発色性は良くなりますが、にじみが生じやすくなります。印刷状態を確認しながら、”スペシャル 1”または”スペシャル 6”から順に試されることをお勧めします。

メモ

- 汎用的な用紙設定またはスペシャル設定を選択して十分な画質が得られない場合は、Media Configuration Tool のカスタム用紙の追加機能を使用して、ご使用の用紙に適した設定を作成することができます。詳しくは、「用紙の種類を追加して純正紙/出力確認紙以外の用紙に印刷する」を参照してください。→P.478

用紙の種類を追加して純正紙/出力確認紙以外の用紙に印刷する

キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙を汎用的な設定で印刷する場合よりも印刷品位や搬送性などを向上させる方法として、Media Configuration Tool の[カスタム用紙の追加]機能が用意されています。この機能を使うと、ご使用の用紙の特性に応じてインクの最大使用量やプリントヘッド高さなどを設定できるので、印刷品位などの向上が期待できます。また、この機能で作成した設定は、新しい用紙の種類としてプリンタの操作パネルやプリンタドライバに追加して印刷することができます。
Media Configuration Tool については、以下を参照してください。

- Media Configuration Tool（Windows） →P.530
- Media Configuration Tool（Macintosh） →P.556

重要

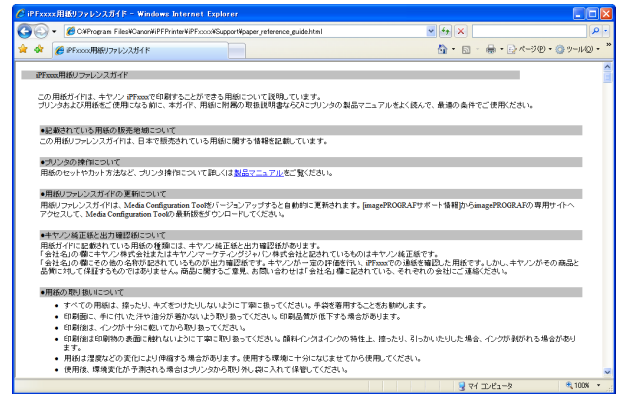
- 追加した用紙の種類を操作パネルで選択する方法は「用紙の種類を変更する」を参照してください。 →P.487
- プリンタドライバで選択する方法は、以下を参照してください。
  プリンタドライバで用紙を指定する（Windows） →P.157
  プリンタドライバで用紙を指定する（Mac OS X） →P.327
- キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙でカラーマネージメントを正確に行うためには、市販のプロファイル作成ソフトで作成した ICC プロファイルを使用することお勧めします。作成した ICC プロファイルは、プリンタドライバに登録して印刷することができます。詳しくは、「マッチングシート（Windows）」を参照してください。 →P.171

用紙リファレンスガイドを表示する

用紙リファレンスガイドは、[imagePROGRAF サポート情報]から参照できます。ご使用の OS に合わせて、操作してください。

- Windows の場合

1. デスクトップの[iPFxxxx サポート]アイコンをダブルクリックします（iPFxxxx はプリンタ名）。

   [imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [用紙リファレンスガイド]ボタンをクリックします。

用紙リファレンスガイドが表示されます。

- Mac OS X の場合

1. [Dock](OS10.7 以降は[Launchpad])内の[iPF サポート]アイコンをクリックします。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [用紙リファレンスガイド]ボタンをクリックします。

用紙リファレンスガイドが表示されます。

最新の用紙情報に更新する

用紙リファレンスガイドやプリンタの操作パネル、プリンタドライバの用紙情報は、[用紙情報ファイル](Media Information File)の最新版を imagePROGRAF ホームページからダウンロードしてインストールすることで、最新の情報に更新できます。
最新の[用紙情報ファイル](Media Information File)は、[imagePROGRAF サポート情報]から imagePROGRAF の専用サイトへアクセスしてダウンロードしてください。ダウンロードできない場合は、販売店にお問い合わせください。
[用紙情報ファイル](Media Information File)については、以下を参照してください。

- Media Configuration Tool →P.530 (Windows)
- Media Configuration Tool →P.556 (Macintosh)

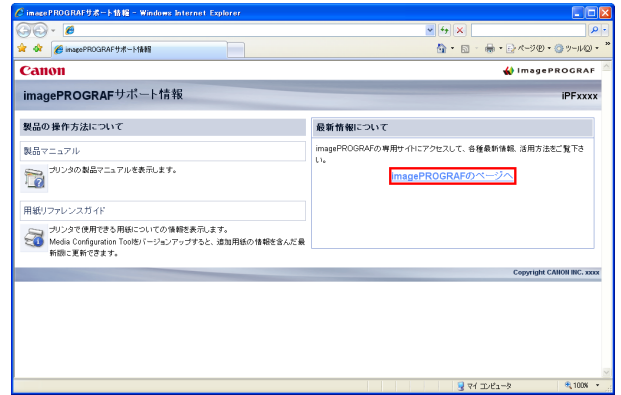
重要

- お使いの Media Configuration Tool のバージョンが imagePROGRAF ホームページにリリースされているバージョンより古い場合は、[用紙情報ファイル](Media Information File)をインストールする前に Media Configuration Tool の最新版をダウンロードしてインストールしてください。Media Configuration Tool の最新版を[用紙情報ファイル](Media Information File)より先にインストールしないと最新の用紙情報に更新できません。

• Windows の場合

1. デスクトップの[iPFxxxx サポート]アイコンをダブルクリックします(iPFxxxx はプリンタ名)。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

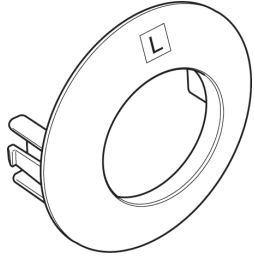
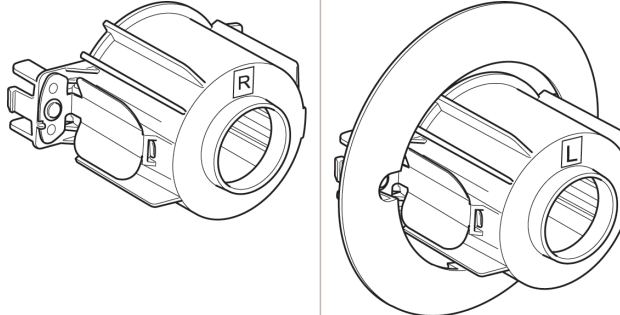
2. [imagePROGRAF のページへ]をクリックします。

ご使用のコンピュータの標準ブラウザが起動し、imagePROGRAF のホームページが表示されます。

• Mac OS X の場合

1. [Dock](OS10.7 以降は[Launchpad])内の[iPF サポート]アイコンをクリックします。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [imagePROGRAF のページへ]をクリックします。

ご使用のコンピュータの標準ブラウザが起動し、imagePROGRAF のホームページが表示されます。

ロール紙の取り扱い

ロール紙にロールホルダーをセットする 481
ロール紙をプリンタにセットする 483

用紙の種類を変更する 487
用紙の長さを設定する 489

ロール紙をプリンタから取り外す 489
ロール紙からロールホルダーを取り外す 492

ロール紙のつまりを取り除く 865

ロール紙を手動で送る 493
ロール紙の残量を管理する 494
ロール紙のインク乾燥時間を設定する 494

ロール紙のカット方法を設定する 496
ロール紙の先端を自動でカットする 502
ロール紙のカット屑を軽減する 503

ロールホルダーセット 635

ロール紙にロールホルダーをセットする

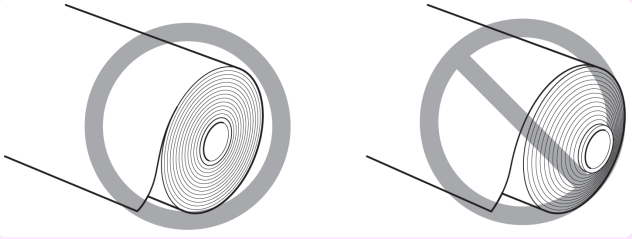
ロール紙に印刷する場合は、ロール紙にロールホルダーを取り付けます。
ロール紙の紙管には 2 インチと 3 インチの 2 つの種類があるため、紙管に合ったアタッチメントを取り付けてください。工場出荷状態では 2 インチ紙管アタッチメントが取り付けられています。

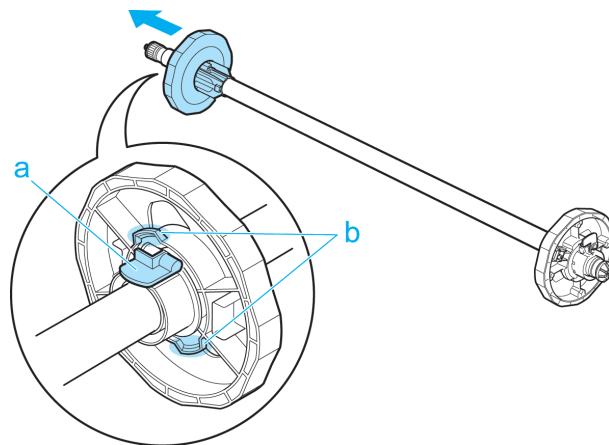
2 インチ紙管のロール紙を使用する場合		3 インチ紙管のロール紙を使用する場合	
ロールホルダー側	ホルダーストッパ側	ロールホルダー側	ホルダーストッパ側
アタッチメント不要	2 インチ紙管アタッチメント	3 インチ紙管アタッチメント 1	3 インチ紙管アタッチメント 2

注意

- ロール紙は、転がり落ちないように、机の上など平面に横置きにしてセットしてください。ロール紙を落とすと、けがをする場合があります。

重要

- ロール紙を取り扱うときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- ロール紙の先端が不揃いだったり、汚れやテープの跡がある場合は、はさみなどで切り揃えておいてください。給紙不良や印刷品質の低下の原因になります。バーコードが印刷されているロール紙の場合、バーコード部分をカットしないように注意してください。
- ロール紙の端面は、巻き揃えておいてください。給紙不良の原因になります。

- 使用できるロール紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。
  (「用紙のサイズ」参照) →P.474 (「用紙の種類」参照) →P.474
- [ナビ]キーを押すと、操作説明を見ながらロールホルダーをセットすることができます。(「ナビの見かた」参照) →P.593

1 ホルダーストッパのレバー(a)を軸側から起こしてロックを解除し、図の位置(b)を持ってホルダーストッパをロールホルダーから取り外します。

2 ロールホルダーとホルダーストッパに、それぞれ使用するロール紙の紙管のアタッチメントを取り付けます。

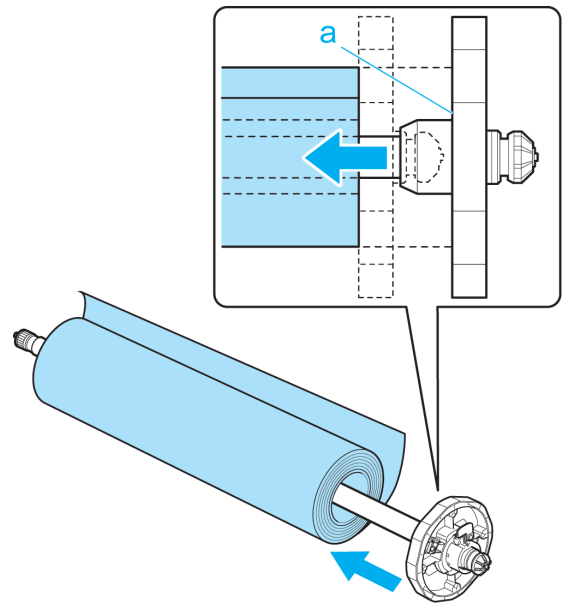
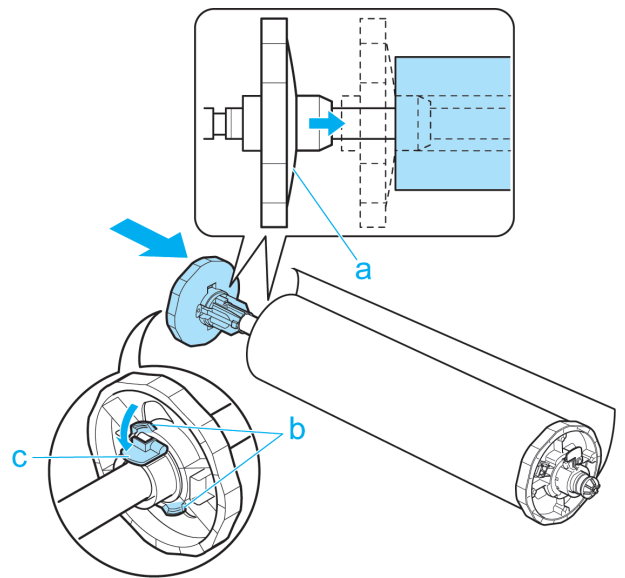
- 2インチ紙管の用紙を使用する場合

ホルダーストッパ側	ロールホルダー側
2インチ紙管アタッチメントのツメ(a)をホルダーストッパの穴(b)に合わせて、しっかりと差し込みます。	アタッチメントは不要です。

- 3インチ紙管の用紙を使用する場合

ホルダーストッパ側	ロールホルダー側
3インチ紙管アタッチメント2のツメ(a)をホルダーストッパの穴(b)に合わせて、しっかりと差し込みます。	3インチ紙管アタッチメント1のツメ(a)をロールホルダーの穴(b)に合わせて、しっかりと差し込みます。

用紙の取り扱いと活用
ロール紙の取り扱い

3 ロール紙を図の向きにして、ロール紙の右側からロールホルダーを差し込みます。ロール紙が、ロールホルダーのフランジ(a)に隙間なく突き当たるまでしっかりと差し込みます。

4 図のように、ホルダーストッパを左側からロールホルダーに差し込み、図の位置(b)を持ってホルダーストッパのフランジ(a)がロール紙に突き当たるまでしっかりと押し込みます。ホルダーストッパのレバー(c)を軸側に倒してロックします。

ロール紙をプリンタにセットする

以下の手順でロール紙をプリンタにセットします。

重要

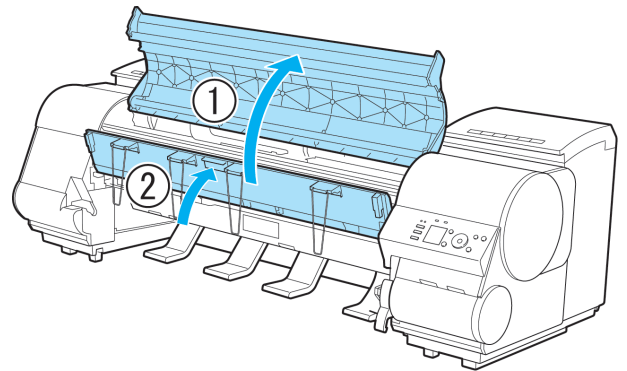
- ロール紙は、必ず電源を入れた状態でセットしてください。電源を入れない状態でロール紙をセットした場合、電源を入れたときに正しく給紙されないことがあります。
- ロール紙をセットする前に、上カバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをお勧めします。(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.851

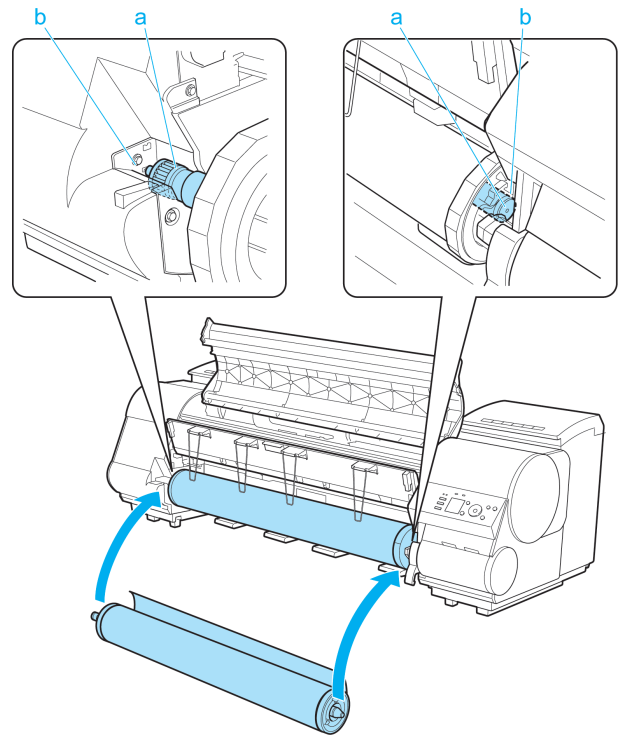
1 [用紙交換]キーを押します。

2 [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押します。

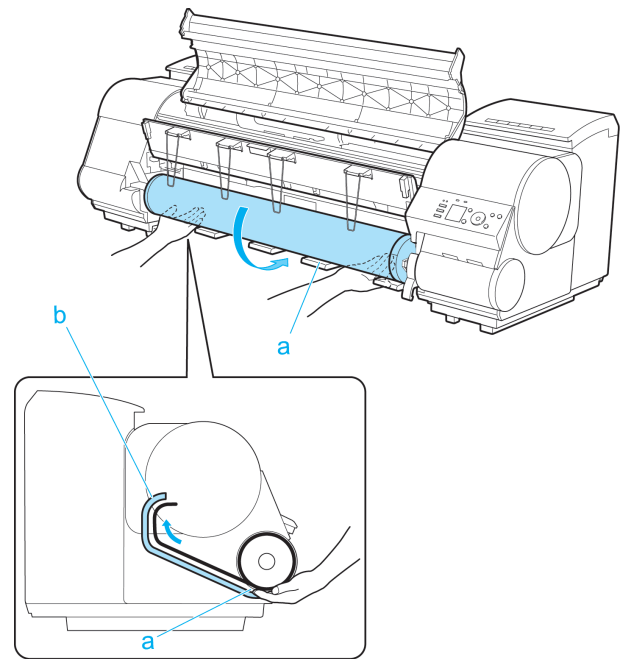
メモ

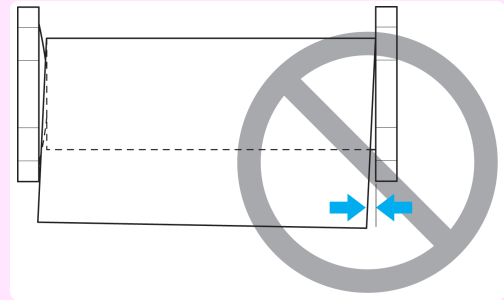
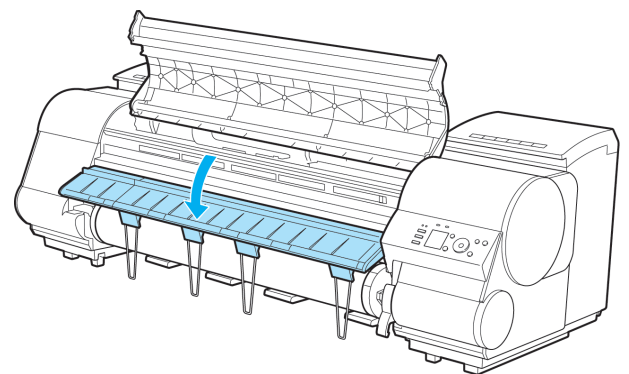
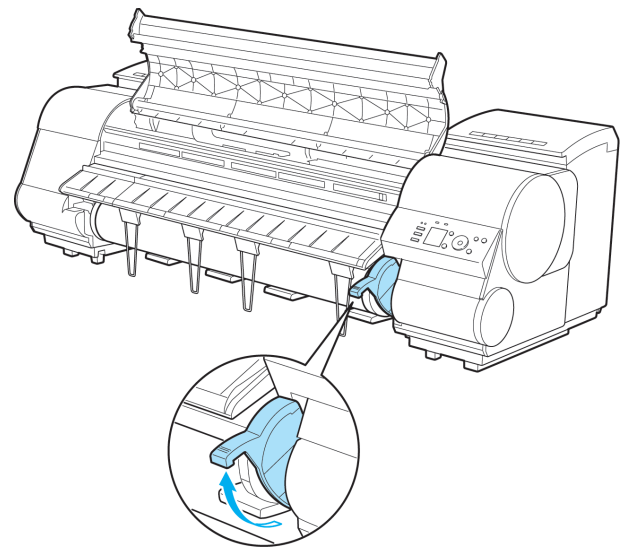
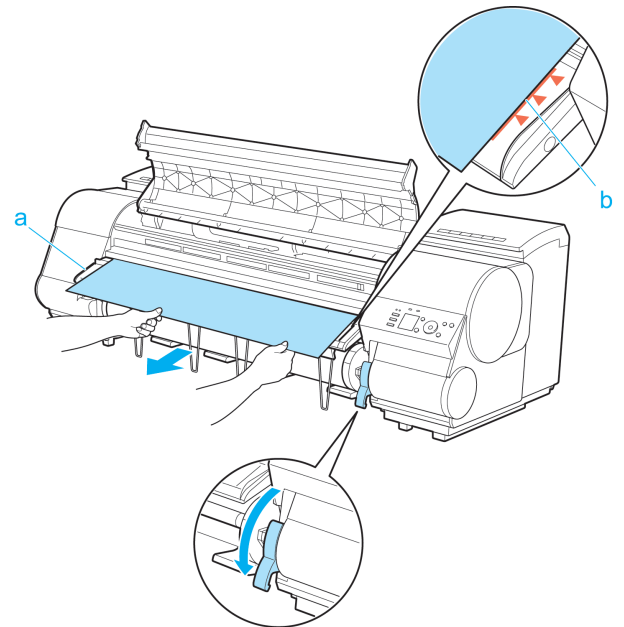
- 使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
  [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。用紙を取り外し、次の手順に進んでください。

3 上カバーを開き、排紙ガイドを上げます。

4 ロールホルダーの白いギヤが付いている側をロールホルダースロットの白いギヤが付いている側に向け、ロールホルダーの軸(a)をロールホルダースロットの左右のガイド溝(b)に合わせて奥までセットします。

注意

- セットするときに、ロール紙を落としてけがをしないように注意してください。
- セットするときに、ロールホルダーの軸(a)とガイド溝(b)の間に指が挟まれないように注意してください。

5 ロール紙を左右均等に引き出して給紙口(a)に差し込み、用紙押さえ(b)に突き当たるまで送り込みます。

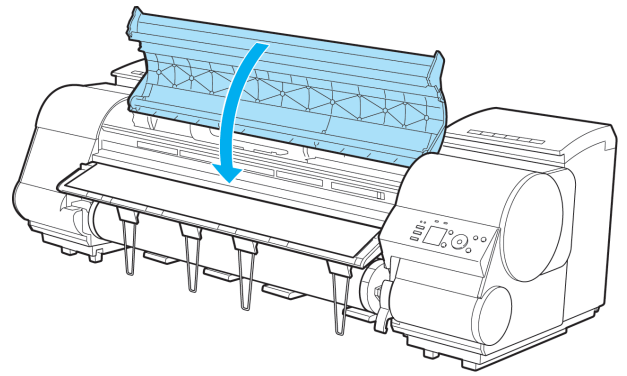
用紙押さえ(b)に突き当たるまで送り込むと、自動的にロール紙がプラテン上へ送られます。

重要

- ロール紙を送り込むときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- 用紙にしわやカールがある場合は、しわやカールを取ってからセットしてください。
- カールが強い用紙の場合は、リリースレバーを上げて、ロール紙を手動でプラテン上に引き出してください。
- 用紙が斜めにならないようにセットしてください。

6 排紙ガイドを下げます。

7 ロール紙の先端を持ちながら、リリースレバーを上げます。

8 ロール紙の先端を持って排紙ガイド(a)の位置まで両手で左右均等に軽く引きながら、ロール紙の右端を紙合わせライン(b)に平行になるように合わせて、リリースレバーを下げます。

重要

- 手順7と8は必ず実施してください。用紙をまっすぐ給紙できない場合や、用紙に波打ちが発生してプリントヘッドの擦れや紙づまりの原因になります。
- ロール紙を無理に引っ張って紙合わせライン(b)に合わせないでください。ロール紙がまっすぐ送られない場合があります。

メモ

- リリースレバーを開いているときは、プラテンの用紙吸着力を調整することができます。用紙をセットしにくいときは、操作パネルの[▲]キー、[▼]キーを押して、吸着力を調整してください。吸着力の調整は3段階で、[▲]キーを押すと強く、[▼]キーを押すと弱くなります。

9 上カバーを閉じます。

10 給紙動作が開始されると、[ロール紙残量管理]の設定やロール紙に印刷されているバーコードによって、以下の操作が必要になります。(「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.494

[ロール紙残量管理]	バーコード	給紙後の動作
[オフ]	印刷されている	ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが表示されます。 [▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。
	印刷されていない	
[オン]	印刷されている	ロール紙に印刷されているバーコードから用紙の種類と残量が自動で検知されます。 用紙の種類、長さを選択する必要はありません。
	印刷されていない	ディスプレイに用紙の種類と長さを選択するメニューが表示されます。 [▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類と長さを選択し、[OK]キーを押します。

重要

- ロール紙の先端に折れや汚れがある場合は[用紙カット]の操作を行って、ロール紙の先端をカットしてください。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496

メモ

- 選択する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.474
- セットした用紙でヘッド位置調整を行うと、印刷品質が向上する場合があります。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728
- ユーザーカットで用紙先端検知の設定を[オフ]に設定している場合は、手順８でロール紙をセットした位置から印刷開始されます。そのため、用紙先端の余白が大きくなります。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496

用紙の種類を変更する

用紙のセット後にプリンタに設定した用紙の種類を変更する場合は、以下の手順で変更してください。
同じ種類の用紙を使い続ける場合は、[用紙種類の固定]を[オン]に設定すると、用紙をセットする際に、[オン]に設定する前に選択した用紙の種類が自動的に選択され、用紙の種類を設定する手間が省けます。(「同じ種類の用紙を使い続ける場合」参照) →P.488

重要

- このプリンタは、最良の印刷品質を得るために、用紙の種類ごとに用紙の送り量とプリントヘッドの高さを調整しています。印刷するときは、給紙する用紙の種類を正しく選択してください。
- 用紙の種類ごとに用紙の送り量を微調整しているため、用紙の種類によって画像のサイズやマージンが変わることがあります。画像のサイズやマージンが思うような結果にならない場合は、用紙の送り量の調整を行ってください。
(「用紙の送り量を調整する」参照) →P.734
- ロール紙とカット紙で印刷領域が異なり、カット紙はロール紙より下端余白が多くなります。
(「印刷領域」参照) →P.921

用紙の種類を変更する

メモ

- ロール紙をセットすると、ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが表示されます。用紙の種類を選択して[OK]キーを押してください。
ロール紙にバーコードが印刷されていなくて、[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されている場合は、用紙の種類を選択した後、続けて、用紙の長さを選択してください。(「用紙の長さを設定する」参照) →P.489

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙種類の変更]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して現在給紙されている用紙の種類([ロール紙]または[カット紙])を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

重要

- 必ず正しい用紙の種類を選択してください。セットした用紙の種類と設定値が合っていないと、用紙送りのエラーや印刷品質の低下の原因になります。

メモ

- 用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.474 工場出荷時は、[普通紙]が選択されています。
- リリースレバーを操作すると、設定値は自動的に最後に選択した用紙に戻ります。

同じ種類の用紙を使い続ける場合

現在設定されている用紙種類が、今後用紙をセットする際に自動的に選択されるように設定します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙種類の固定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[オン]を選択し、[OK]キーを押します。

- 以下の場合は、設定した用紙種類が更新されます。
  - カット紙を使用する場合、用紙セット前に印刷ジョブを送信すると、印刷ジョブで設定した用紙種類に更新されます。
  - 操作パネルのメニューで[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されていて、ロール紙にバーコードが印刷されている場合は、バーコードに登録されている用紙種類に更新されます。
- 用紙の種類を変更したい場合は、「用紙の種類を変更する」を参照してください。 →P.487

用紙の長さを設定する

用紙の給紙後に用紙の長さを変更する場合は、以下の手順で用紙の長さを設定してください。

- ロール紙の長さの設定は、[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されている場合に行います。(「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.494

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙サイズの変更]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙の長さ]を選択し、[OK]キーを押します。

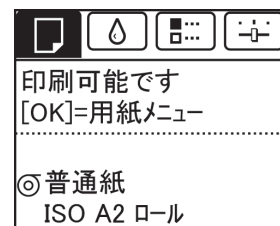
5 [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の長さを設定し、[OK]キーを押します。
用紙の長さは、以下の手順で設定します。

1. [◀]キー、[▶]キーを押して、入力フィールドを移動します。
2. [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。
3. 手順 1、2 を繰り返して数値を入力し、[OK]キーを押します。

ロール紙をプリンタから取り外す

以下の手順でロール紙をプリンタから取り外します。

- ロール紙をカットする必要がある場合は、「ロール紙のカット方法を設定する」を参照してください。 →P.496

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

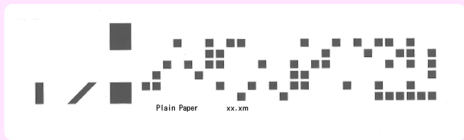
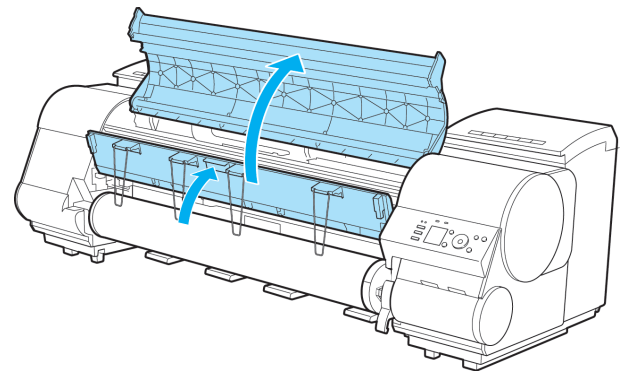
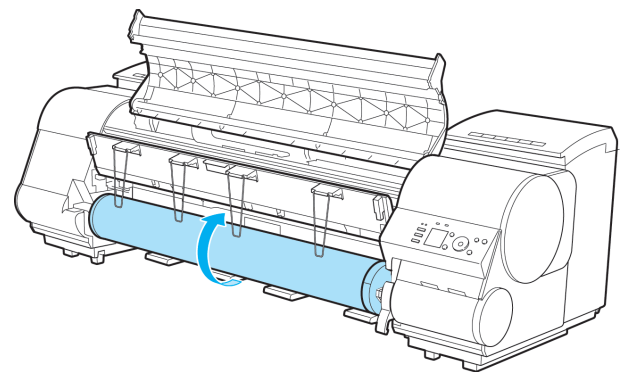
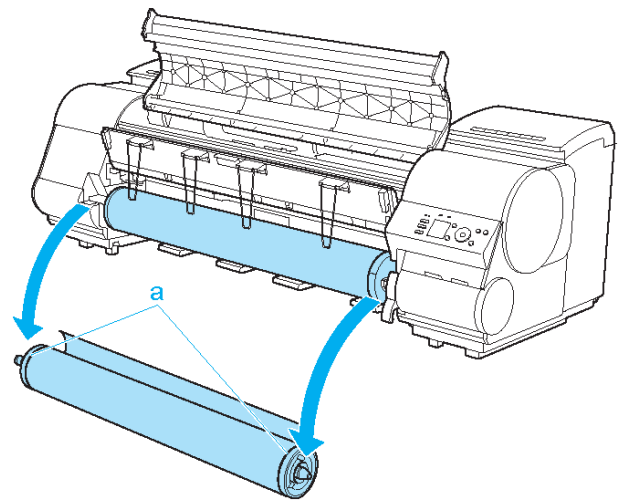
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

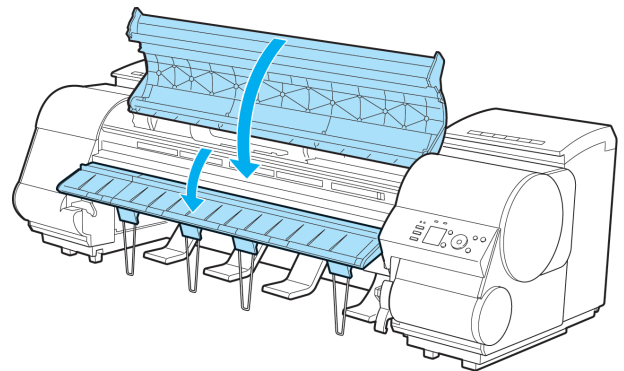
3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙の取り外し]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。
ロール紙が巻き戻されます。

重要

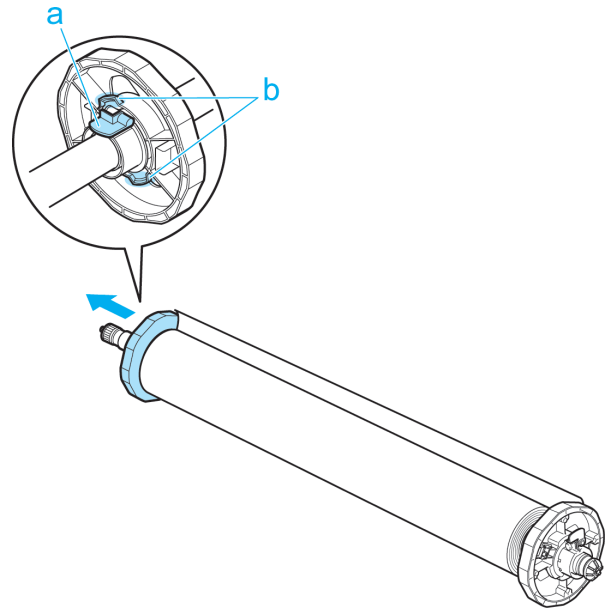
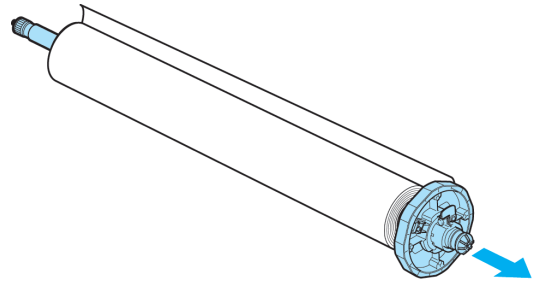
- 操作パネルのメニューで[ロール紙残量管理]を[オン]に設定している場合は、ロール紙の先端にバーコードが印刷されます。
バーコードが印刷される前にロール紙を取り出さないでください。ロール紙の残量を管理できなくなります。(「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.494

5 上カバーを開き、排紙ガイドを上げます。

6 両手でロールホルダーを矢印方向に回してロール紙を巻き取ります。

7 ロールホルダーのフランジ(a)を持って、ロールホルダースロットから取り外します。

メモ

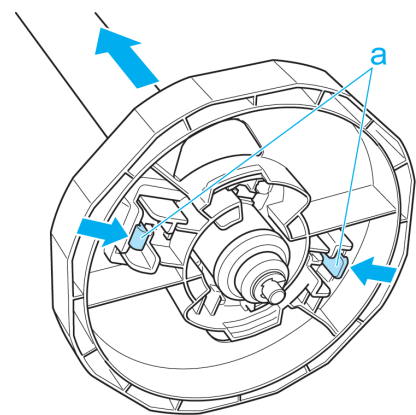
- ロール紙からロールホルダーを取り外す手順は「ロール紙からロールホルダーを取り外す」を参照してください。 →P.492

8 排紙ガイドを下げて、上カバーを閉じます。

メモ

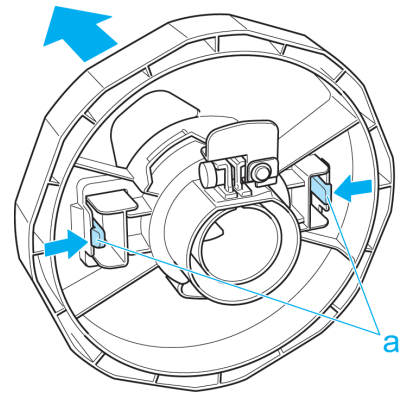
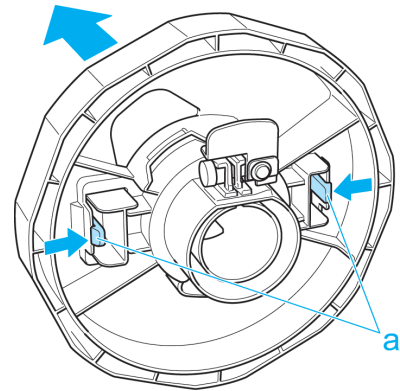
- 新しく用紙をプリンタに取り付ける場合は、引き続き「ロール紙をプリンタにセットする」を参照してください。 →P.483
- 用紙をプリンタに取り付ける前に、上カバー内部を清掃してください。
（「上カバー内部を清掃する」参照） →P.851

ロール紙からロールホルダーを取り外す

1 ホルダーストッパのレバー(a)を軸側から起こしてロックを解除し、図の位置(b)を持ってホルダーストッパをロールホルダーから取り外します。

2 ロール紙からロールホルダーを取り外します。

3 アタッチメントを取り外す場合は、ツメ(a)を内側に押して、アタッチメントを取り外します。

- 3インチ紙管アタッチメント1(ロールホルダー側)

- 3インチ紙管アタッチメント2(ホルダーストッパ側)

- 2インチ紙管アタッチメント

重要

- ロール紙は入っていた袋または箱に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。正しく保管しておかないと、印刷時に、印刷面がこすれたり、印刷品質が低下する場合があります。

ロール紙を手動で送る

ロール紙の給紙後に[用紙送り]キーを押すと、ロール紙を[▲]キー、[▼]キーで前後に送ることができます。

1 [用紙送り]キーを押します。

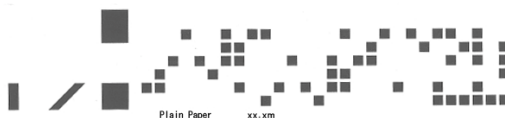
2 [▲]キー、[▼]キーを押してロール紙を前後に送ります。
[▲]キーを押すと、ロール紙を手動で後ろに戻すことができます。
[▼]キーを押すと、ロール紙を手動で前に送ることができます。

メモ

- 1秒未満[▲]キー、[▼]キーを押すと、ロール紙は約1 mm送られます。
  1秒以上[▲]キー、[▼]キーを押し続けると、キーから指を離すまでロール紙が送られます。ディスプレイに[紙送り量のリミットに達しました。これ以上紙送りできません。]が表示された場合は、指を離します。

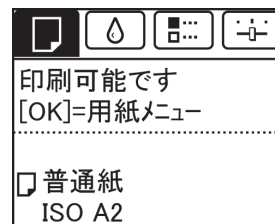
ロール紙の残量を管理する

操作パネルの[用紙メニュー]で[ロール紙残量管理]を[オン]に設定すると、用紙を取り外す際にロール紙の残量と用紙種類情報がバーコードとテキストで印刷されます。[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されているときにバーコードが印刷されたロール紙をセットすると、そのロール紙をセットしたときに、ロール紙の残量と用紙種類が自動的に検知されます。バーコード部分は読み取り後にカットされます。

重要

- ロール紙のバーコードが検知されなかったときは、操作パネルで用紙種類と長さを入力します。

[ロール紙残量管理]を[オン]に設定する場合は、以下の手順で行います。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙残量管理]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[オン]を選択し、[OK]キーを押します。

ロール紙のインク乾燥時間を設定する

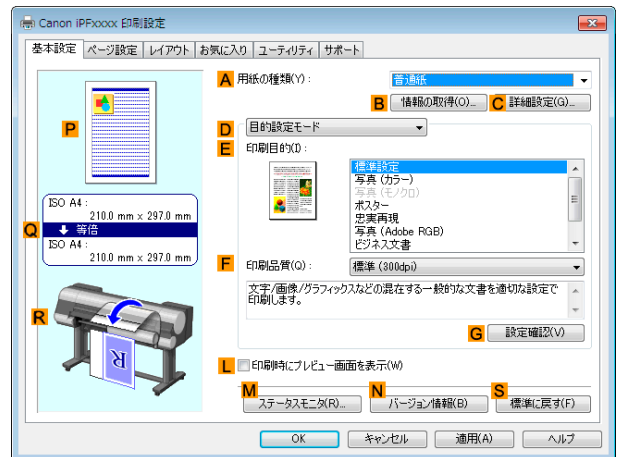
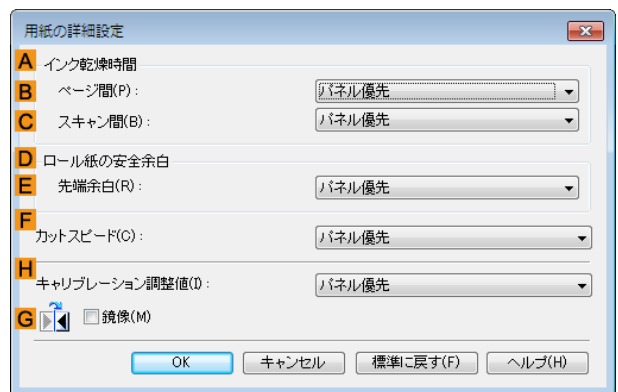
インクの定着が悪い用紙の場合、排紙時の転写などにより、用紙の表面が汚れる場合があります。その場合は、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定することで、改善できることがあります。

メモ

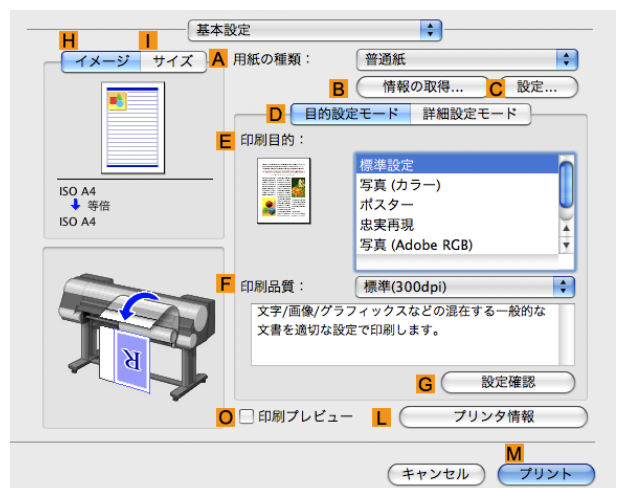
- カッターがインクの乾いていない印刷面と接触したときに、用紙の表面に傷や汚れが付いたり、表面がこすれ、用紙の表面に汚れが付く場合があります。
印刷直後に印刷物を落下させずにインクの乾燥を待つ場合は、プリンタのメニューの[カットモード]を[イジェクトカット]に設定します。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496

Windows の場合

1 プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」参照) →P.163

2 [基本設定]シートを選択し、**A**[用紙の種類]の **C**[詳細設定]をクリックします。

3 [用紙の詳細設定]ダイアログボックスが開いたら、**A**[インク乾燥時間]の **B**[ページ間]と **C**[スキャン間]で、それぞれの一覧から任意の値を選択し、[OK]をクリックします。
（「用紙の詳細設定ダイアログボックス（Windows）」参照） →P.167

Mac OS X の場合

1 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2 [基本設定]パネルを選択し、**A**[用紙の種類]の **C**[設定]をクリックします。

3 [用紙の詳細設定]ダイアログボックスが開いたら、**B**[インク乾燥時間]の **C**[ページ間]と **D**[スキャン間]で、それぞれの一覧から任意の値を選択し、[OK]をクリックします。
(「用紙の詳細設定ダイアログボックス(Mac OS X)」参照) →P.335

用紙の詳細設定
A 用紙の種類：　普通紙
B インク乾燥時間
C ページ間：　パネル優先
D スキャン間：　パネル優先
E ロール紙の安全余白
F 先端余白：　パネル優先
G カットスピード：　パネル優先
H オートカット：　パネル優先
I キャリブレーション調整値：　パネル優先
J 鏡像
K プリントパスを拡張する
復帰　キャンセル　OK

ロール紙のカット方法を設定する

プリンタの設定によって、排紙したときのロール紙のカット方法は異なります。

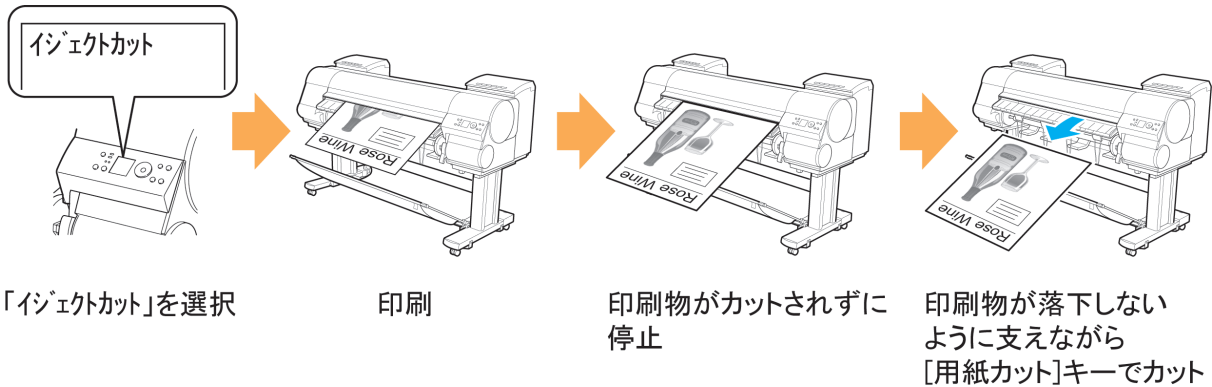
カット方法		プリンタの設定		ドライバの設定	
自動カット	プリンタドライバの設定によって、カッターユニットでロール紙を自動的にカットします。	[用紙メニュー]－[用紙詳細設定]－(各用紙種類)－[カットモード]	[自動カット]	[オートカット設定](「印刷後にロール紙をカットする」参照) →P.150	[あり]
イジェクトカット	カッターをキー操作で動かして用紙をカットするときに選択します。[自動カット]では用紙が落下してバスケットにこすれて用紙表面に傷がつく場合がありますが、この方法ではカットの際に用紙が落下しないように手で用紙を保持しながらカットできるので、用紙の損傷を回避できます。また、インクの乾燥を目視で確認しながら、カットすることもできるので、インクが乾いていない状態で用紙が落下してしまうことを防ぐことができます。 [用紙カット]キーを押して、カッターユニットでロール紙をカットします。		[イジェクトカット]		[あり]
ユーザーカット	カッターユニットでカットできない用紙の場合、または用紙のカールが強く用紙先端にプリントヘッドがこすれる用紙の場合に選択します。 1枚ずつはさみでロール紙をカットします。連続印刷した後にカットしたい場合は、[オートカット設定]で[あり]または[カットラインを印刷]を選択します。		[ユーザーカット]		[なし][あり][カットラインを印刷]
用紙カット	プリンタドライバの[オートカット設定]で、[なし]または[カットラインを印刷]を選択して印刷した後で、カッターユニットをボタン操作で動作させて、ロール紙をカットしたい場合に選択します。 またはロール紙のセット後に用紙の先端をカットしたい場合に選択します。	[用紙カット]キー押下	[する]		[なし][カットラインを印刷]

メモ

- 自動カット、イジェクトカットは、プリンタドライバの[オートカット設定]が[あり]の場合のみ動作します。
- イジェクトカットで連続印刷をする場合は、印刷後にロール紙をカットしないと次の印刷が開始しません。
- 用紙の種類によっては、あらかじめ[カットモード]が[イジェクトカット]に設定されている用紙があります。これらの用紙はカット方法を変更しないことをお勧めします。
- 自動カット、イジェクトカット、用紙カットで印刷長さが短い場合、カット不良や排紙不良を防ぐためロール紙を規定の長さまで送ってカットするので、用紙の下端余白が長くなる場合があります。

以下の場合に、ロール紙を手動でカットしてください。

イジェクトカット(用紙表面に傷が付く場合/インクの乾燥を待つ場合)

重要

- 幅の広い用紙をイジェクトカットするときは、用紙を 2 人で支えてください。用紙が落下すると、印刷物に傷を付ける原因になります。
- カットする前に印刷物を支えるときは、用紙を持ち上げないでください。用紙が浮き上がると、印刷品質が低下したり、切断面がみだれる場合があります。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

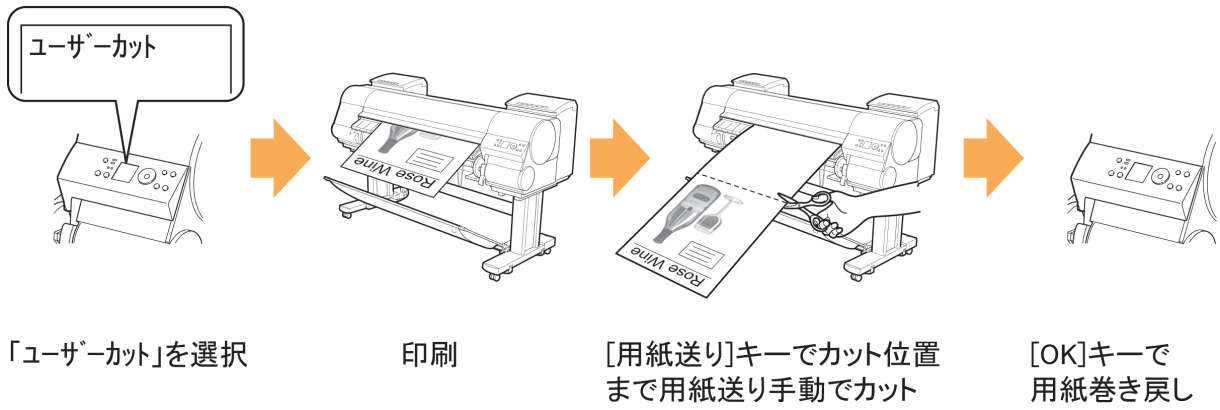
4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[カットモード]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[イジェクトカット]を選択し、[OK]キーを押します。

7 印刷します。
印刷が終わると、カットされずに自動的に停止します。

8 印刷物が落下しないように支えながら、[用紙カット]キーを押してロール紙をカットします。

ユーザーカット(カッターユニットでカットできない用紙の場合)

「ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ」を選択　印刷　[用紙送り]キーでカット位置まで用紙送り手動でカット　[OK]キーで用紙巻き戻し

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （用紙タブ）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[カットモード]を選択し、[OK]キーを押します。

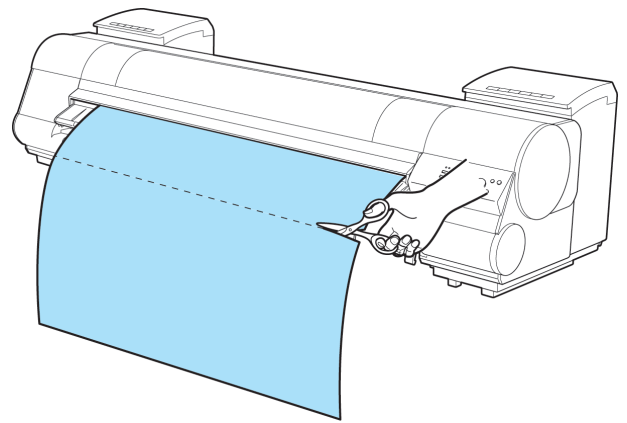
6 [▲]キー、[▼]キーを押して[ユーザーカット]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [用紙先端検知を行いますか。]と表示されたら、[行う(推奨)]を選択します。

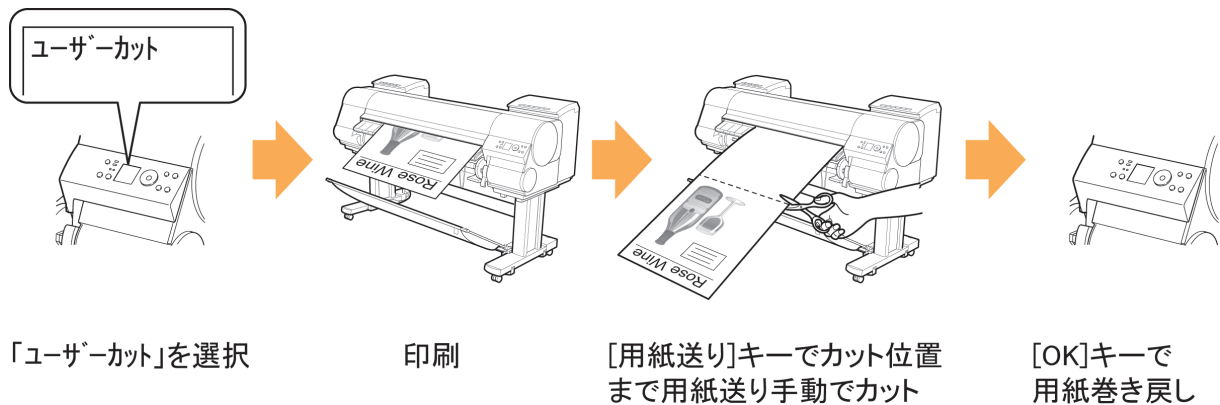
8 印刷します。
印刷が終わると、停止します。

9 [用紙送り]キーを押します。

カットする位置まで自動的に用紙が送られ、停止します。

10 手動でロール紙をはさみなどでカットします。

11 [OK]キーを押します。

ロール紙が巻き戻され、自動的に止まります。

ユーザーカット(用紙先端にプリントヘッドがこすれる用紙の場合)

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[カットモード]を選択し、[OK]キーを押します。

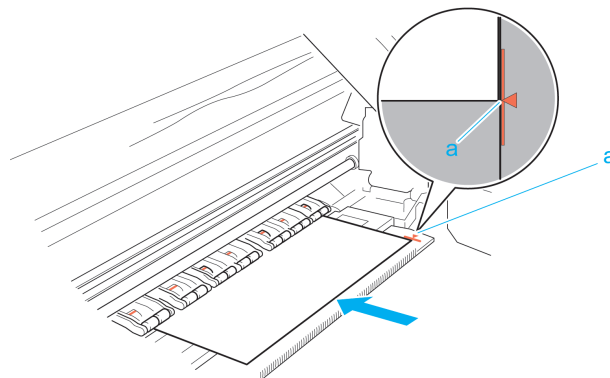
6 [▲]キー、[▼]キーを押して[ユーザーカット]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [用紙先端検知を行いますか。]と表示されたら、[行わない]を選択します。

メモ

- 用紙先端検知を[行わない]に設定すると、印刷開始時の用紙先端に約 10cm の余白が生じます。
- 用紙先端検知が[行わない]に設定されている場合、ロール紙交換後の最初の印刷はロール紙をセットした位置から印刷開始します。そのため、用紙先端の余白が大きくなります。
（「ロール紙をプリンタにセットする」参照） →P.483

8 [用紙送り]キーを押します。

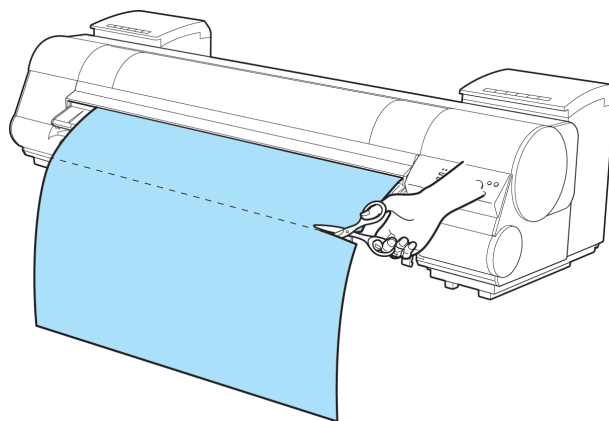
9 [▲]キー、[▼]キーを押し、用紙先端を（a）の位置に合わせます。

10 印刷します。
印刷が終わると、停止します。

メモ

- 続けてコンピュータから印刷ジョブを受信できます。ここで印刷ジョブ受信して印刷すると、用紙先端に生じる約 10cm の余白無しで印刷できます。

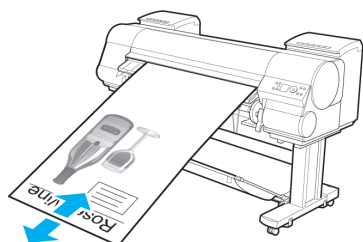
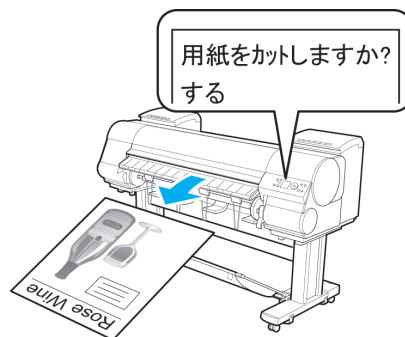
11 [用紙送り]キーを押します。

カットする位置まで自動的に用紙が送られ、停止します。

12 手動でロール紙をはさみなどでカットします。

重要
- 用紙に印刷された点線付近でカットしてください。点線よりプリンタ側でカットすると、用紙先端にプリントヘッドがこすれたり、ロール紙先端が用紙押さえから外れる場合があります。

13 [OK]キーを押します。

ロール紙が巻き戻され、自動的に止まります。

用紙カット(任意の位置でロール紙をカットしたい場合)

[▲] [▼]キーで
カット位置まで用紙送り

用紙カット

1 [用紙送り]キーを押します。

2 [▼]キーを押して、カットしたい位置までロール紙を送ります。

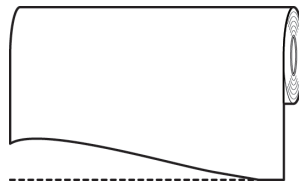
3 [用紙カット]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
ロール紙がカットされ、自動的に巻き戻されます。

ロール紙の先端を自動でカットする

ロール紙セット時に、用紙の先端が斜めに切れていたり真っ直ぐに切れていないと正しく印刷できません。その場合は、操作パネルのメニューの[先端プレカット]で、ロール紙セット時に先端を切り揃えることができます。
[先端プレカット]には以下の設定があります。

- [自動]

  ロール紙セット時に、用紙の先端が斜めに切れていたり真っ直ぐに切れていない場合、プラテンの上に印刷してプリンタを汚さないように、先端を切り揃えて白紙の紙片を排紙します。

- [オン(規定長さ)]

  用紙先端のカット量は、用紙の種類によって異なり、規定長さでカットします。規定長さは、用紙リファレンスガイドの先端プレカット長を参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)

- [オン(指定長さ)]

  用紙先端のカット量を操作パネルで指定します。用紙先端のカット量は、操作パネルに表示される長さの範囲で指定できます。長さの範囲は、用紙の種類毎に異なります。

メモ
• 用紙先端のカット量は、操作パネルに表示される長さより短く設定できません。

- [手動]

  用紙先端のカット量を[▲]キー、[▼]キーを押して調整できます。
  調整後、[用紙カット]キーを押し、[用紙をカットする]を選択すると用紙をカットできます。
  用紙をカットした後は、[用紙セットを完了する]を押してください。

メモ
• 用紙をカットした後、[用紙セットを完了する]を押さないと、次の印刷ができません。

- [オフ]

  先端は切り揃えられず白紙の紙片も排紙されません。

[先端プレカット]の設定を変更する場合は、以下の手順を行ってください。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

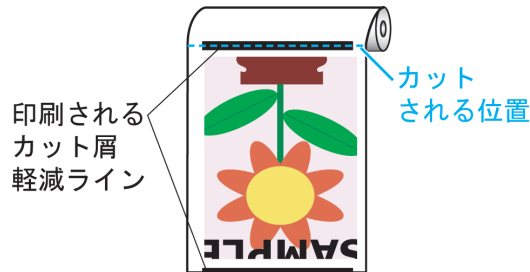
3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[先端プレカット]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して設定を選択し、[OK]キーを押します。
次回ロール紙をセットするときから、設定が有効になります。

ロール紙のカット屑を軽減する

バックライトフィルムなどカット屑が出やすい用紙の場合、操作パネルの[用紙メニュー]から[カット屑軽減]を[オン]に設定することで、印刷物の先端と後端に黒い線が印刷され、カット屑を軽減できます。これによって、プリントヘッドの故障が減る場合があります。[カット屑軽減]は、用紙の種類ごとに設定できます。

重要

- [普通紙]や薄い用紙など波打ちが起きやすい用紙の場合は、[カット屑軽減]を[オン]に設定しないでください。正常にカットされず、用紙がつまる場合があります。
- [カット屑軽減]を[オン]に設定している場合は、フチなし印刷できません。フチなし印刷する場合は、[カット屑軽減]を[オフ]に設定してください。

以下の手順で[カット屑軽減]を[オン]に設定します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[カット屑軽減]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[オン]を選択し、[OK]キーを押します。

カット紙の取り扱い

カット紙をプリンタにセットする 505
用紙の種類を変更する 487
任意の位置から印刷を開始する 508
カット紙を取り外す 510
カット紙のつまりを取り除く 868

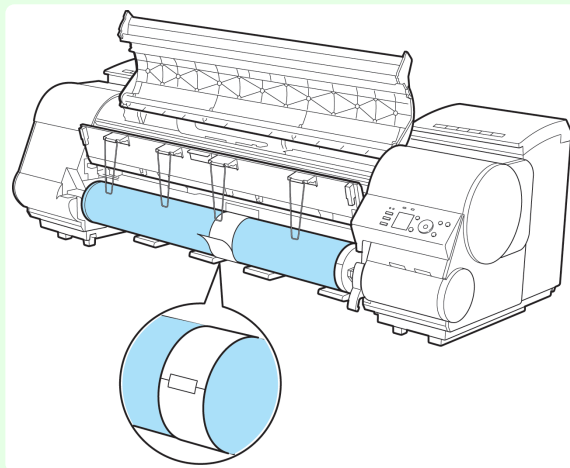
カット紙をプリンタにセットする

以下の手順でカット紙をプリンタにセットします。

重要

- 用紙が波打っていたり、たわんでいる場合、紙づまりの原因になります。用紙は平らな状態に直してからセットしてください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。斜めにセットすると斜行エラーになります。

メモ

- プリンタにロール紙をセットしたまま、カット紙をセットすると紙づまりの原因になります。カット紙をセットする場合は、ロール紙を取り外すことをお勧めします。(「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.489
- ロール紙をセットしたまま使用する場合は、ロール紙がばらけないように、ロール紙の周囲に紙を巻き、テープでとめてください。

- カット紙をセットする前に、上カバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをお勧めします。(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.851
- 使用しない用紙は入っていた袋に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。

1 給紙元にカット紙を選択します。

- 事前に印刷ジョブを受信している場合

  自動的にカット紙が選択され、ディスプレイに印刷ジョブで指定した用紙の種類とサイズが表示されます。
  [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押します。

- 事前に印刷ジョブを受信していない場合

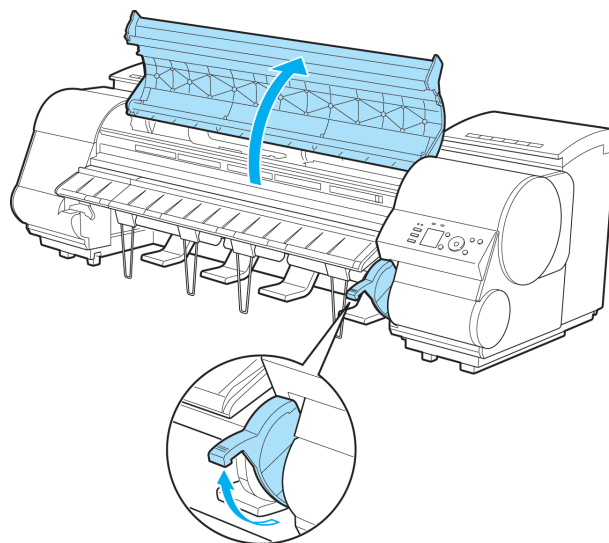
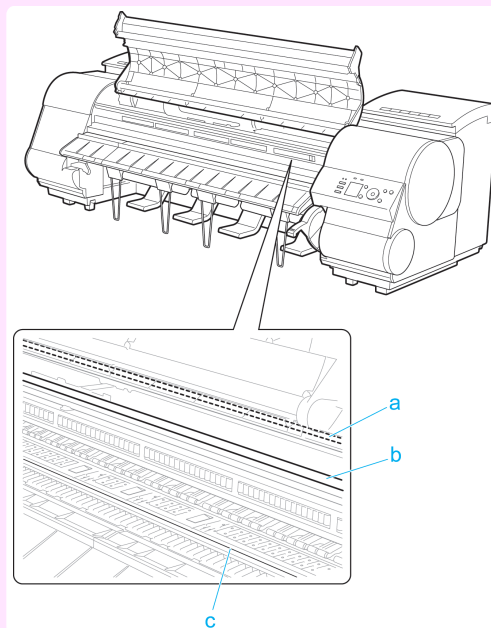
  1. [用紙交換]キーを押します。

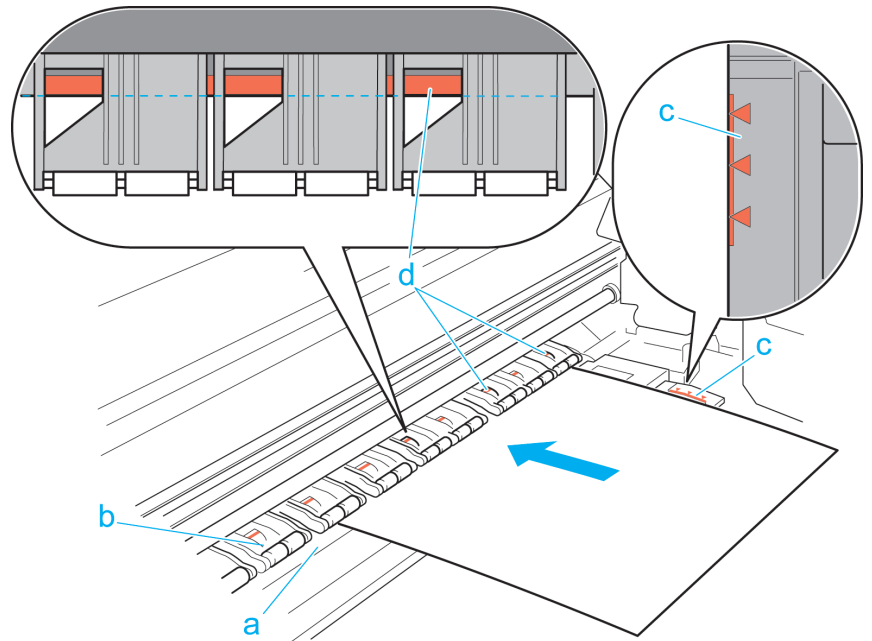
  2. [▲]キー、[▼]キーを押して[カット紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- 使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
  [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。用紙を取り外し、次の手順に進んでください。

2 リリースレバーを上げ、上カバーを開きます。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、固定刃(c)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

3 印刷面を上にして縦長になる向きで、カット紙 1 枚をプラテン(a)と用紙押さえ(b)の間に差し込み、以下の手順で用紙の先端を合わせます。

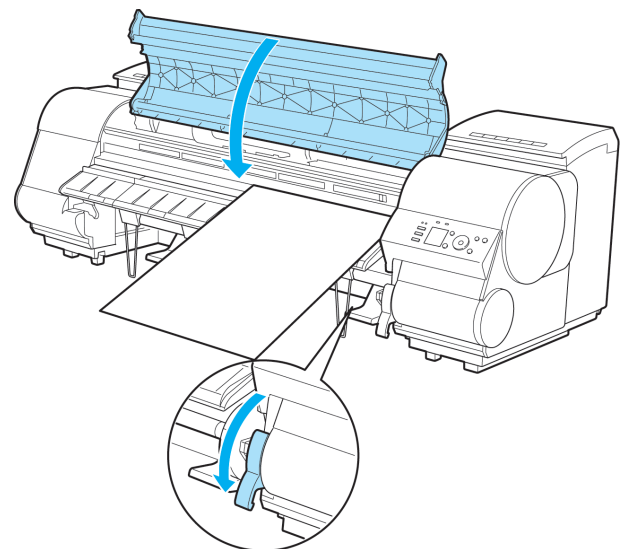
1. 右側の紙合わせライン(c)に合わせてセットします。
2. 図のように、紙合わせライン(d)の手前側に、差し込んだ用紙の先端を合わせます。

カット紙を差し込むと、自動的にカット紙が吸引されてプラテン上に保持されます。

重要

- カット紙は右側の紙合わせライン(c)と平行になるようにセットしてください。斜めになっていると斜行エラーになります。
- 用紙に反りがある場合、用紙とプリントヘッドがこすれる可能性があります。反りを直してから用紙をセットしてください。

メモ

- リリースレバーを上げているときは、プラテンの用紙吸着力を調整することができます。用紙をセットしにくいときは、操作パネルの[▲]キー、[▼]キーを押して、吸着力を調整してください。吸着力の調整は 3 段階で、[▲]キーを押すと強く、[▼]キーを押すと弱くなります。
ただし、用紙によっては、吸着力を強くしてもプラテン上に保持されない場合があります。その場合は、手を添えて用紙をセットしてください。
- カット紙は、プラテン上の穴が吸引することによって保持されています。セット位置によって音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。音が気になる場合は、紙合わせラインと平行のままセット位置を少し(左右最大 1 mm 以内)ずらしてみてください。
- セット時の吸引時間は約 30 秒です。吸引中にセットできなかった場合は、カット紙を引き抜いて差し込み直すと、再び吸引されます。

4 リリースレバーを下げ、上カバーを閉じます。

- 事前に印刷ジョブを受信している場合

[OK]キーを押すと、給紙後、印刷が開始されます。

- **事前に印刷ジョブを受信していない場合**

  ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが表示されます。
  [▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。
  給紙が開始されます。

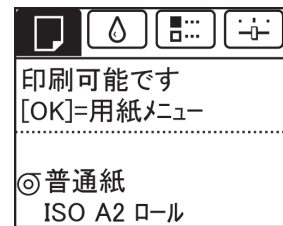
メモ

- 選択する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.474
- バスケットを使用する場合、大きいサイズの固いカット紙を印刷するときは、印刷物が折れ曲がらないように、バスケットを倒した位置にセットすることをお勧めします。(「バスケットを使用する」参照) →P.513

任意の位置から印刷を開始する

カット紙を使って、任意の位置から印刷する方法を説明します。

[用紙幅検知]を[オフ]に設定する

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙幅検知]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[オフ]を選択し、[OK]キーを押します。

用紙を任意の印刷開始位置へセットする

ここでは、[用紙幅検知]が[オフ]に設定されている用紙を、任意の印刷開始位置へセットする手順を説明します。

1 用紙のセット後、事前に印刷ジョブを受信していない場合は、用紙の種類を選択する画面が表示されます。
[▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

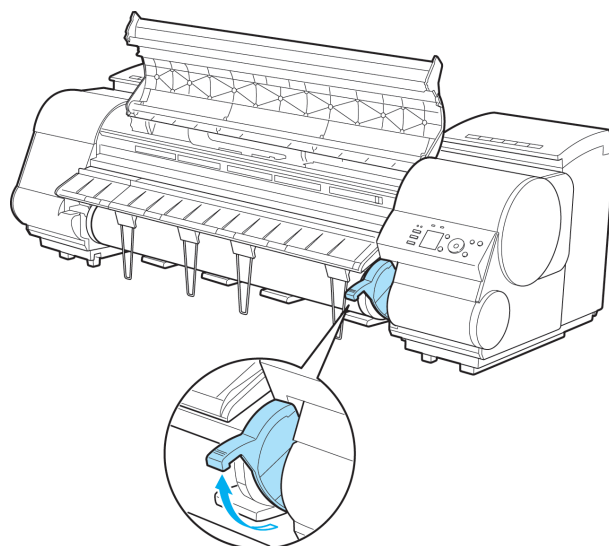
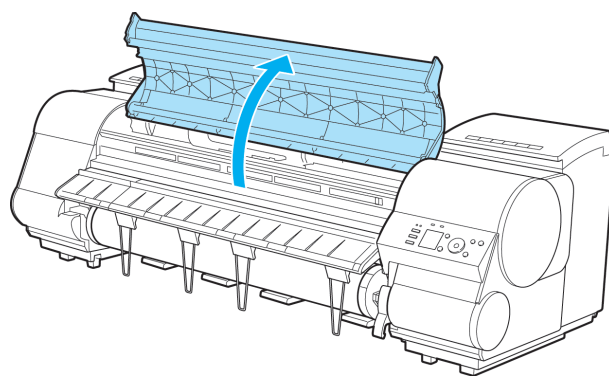
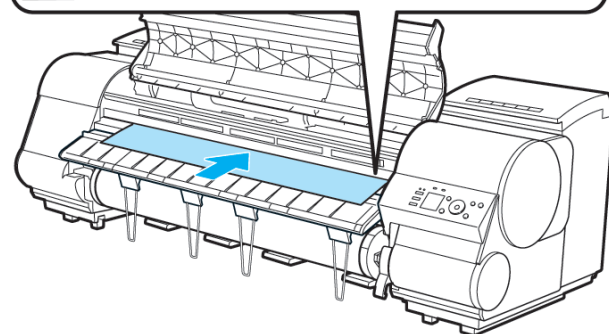
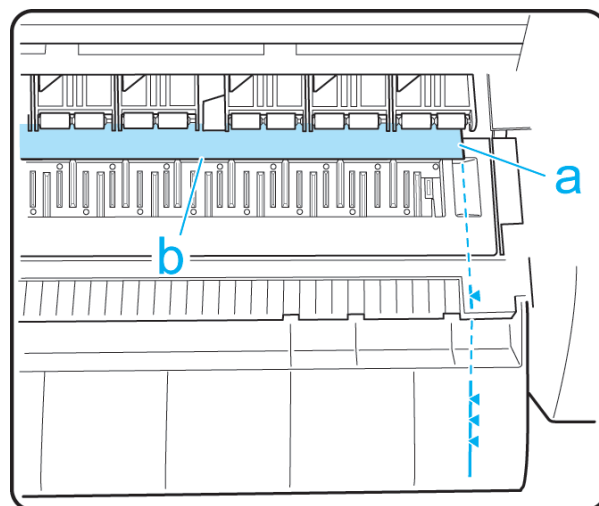
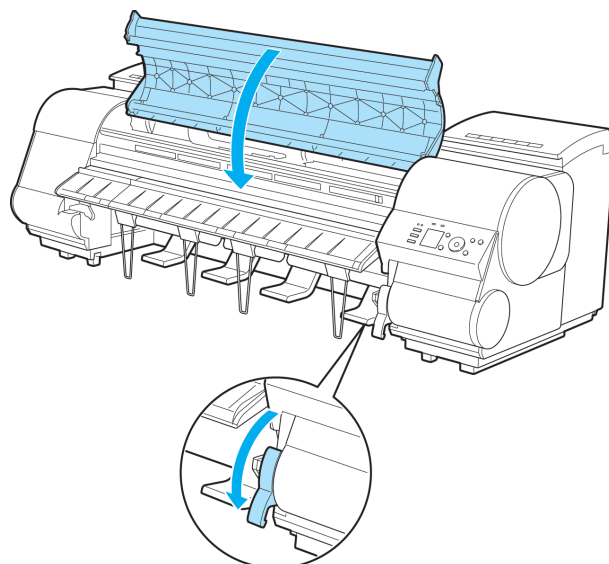
メモ

- 給紙前に印刷ジョブを受信している場合は、ディスプレイに印刷ジョブで指定した用紙の種類とサイズが表示されています。
  手順2に進んでください。

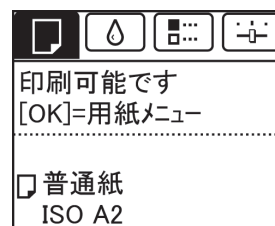
2 ディスプレイに[[用紙幅検知]がオフに設定されています。そのまま続けますか?]と表示されるので、[▲]キー、[▼]キーを押して[オフのまま続ける]を選択し、[OK]キーを押します。

3 用紙のサイズを選択する画面が表示されたら、[▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙のサイズを選択し、[OK]キーを押します。

4 上カバーを開いて、用紙のセット位置を確認します。

現在の位置から印刷を開始したい場合は、上カバーを閉じます。
用紙のセット位置を変更したい場合は、リリースレバーを上げます。

5 用紙の右端をプリンタ本体の右側の紙合わせライン(a)の延長線上に合わせながら、印刷を開始したい任意の位置をプラテンの奥側の溝(b)に合わせてセットします。

6 リリースレバーを下げ、上カバーを閉じます。

カット紙を取り外す

以下の手順でカット紙をプリンタから取り外します。

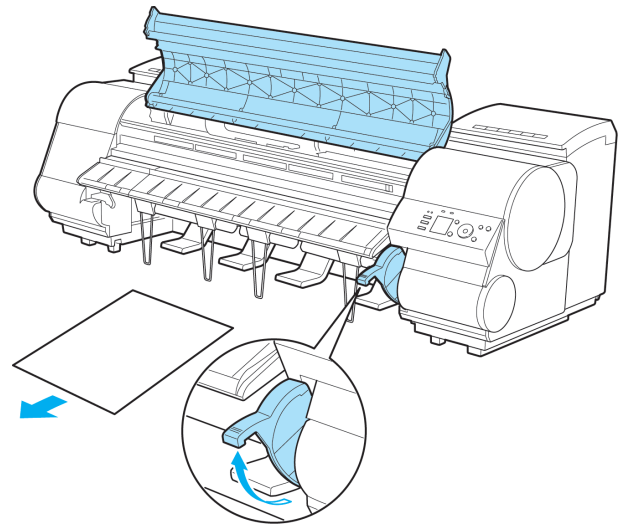
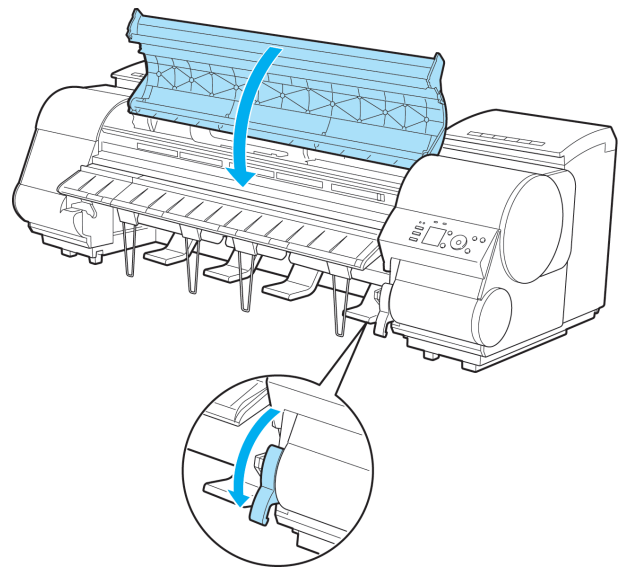
1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

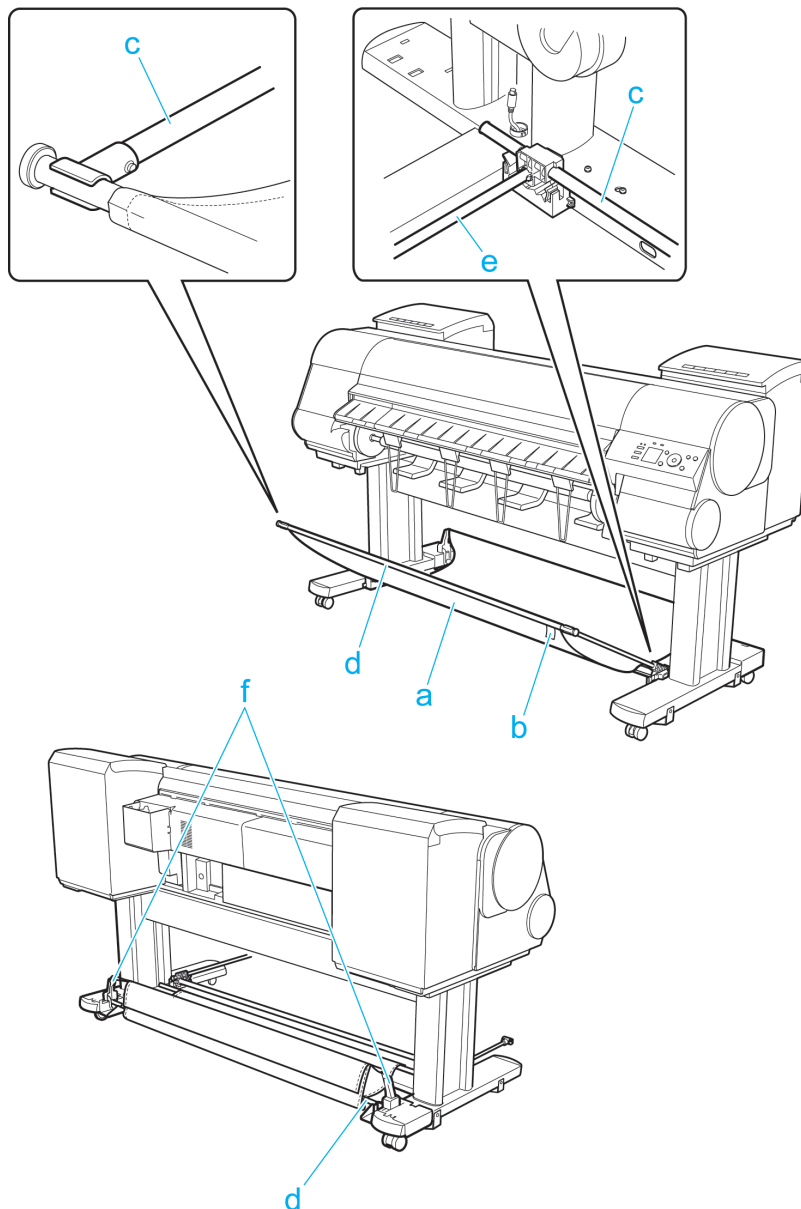
2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙の取り外し]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。
カット紙は前側に排紙されます。

5 上カバーを開いてリリースレバーを上げ、カット紙を取り外します。

6 リリースレバーを下げ、上カバーを閉じます。

バスケット

バスケット 512
バスケットを使用する 513
バスケットを収納する 517

バスケット

a バスケット

排紙された用紙を受けとめる布製のトレイです。

b 白いタグ

バスケットの取り付け向きの目印です。

c バスケットアーム R／バスケットアーム L

バスケットを通したバスケットロッド(タグ側)を保持します。バスケットを使わないときは下に倒してスタンドレッグに沿って収納できます。

d バスケットロッド(タグ側)／バスケットロッド(ひも側)

布製バスケットを所定の位置に固定します。

e バスケットロッド

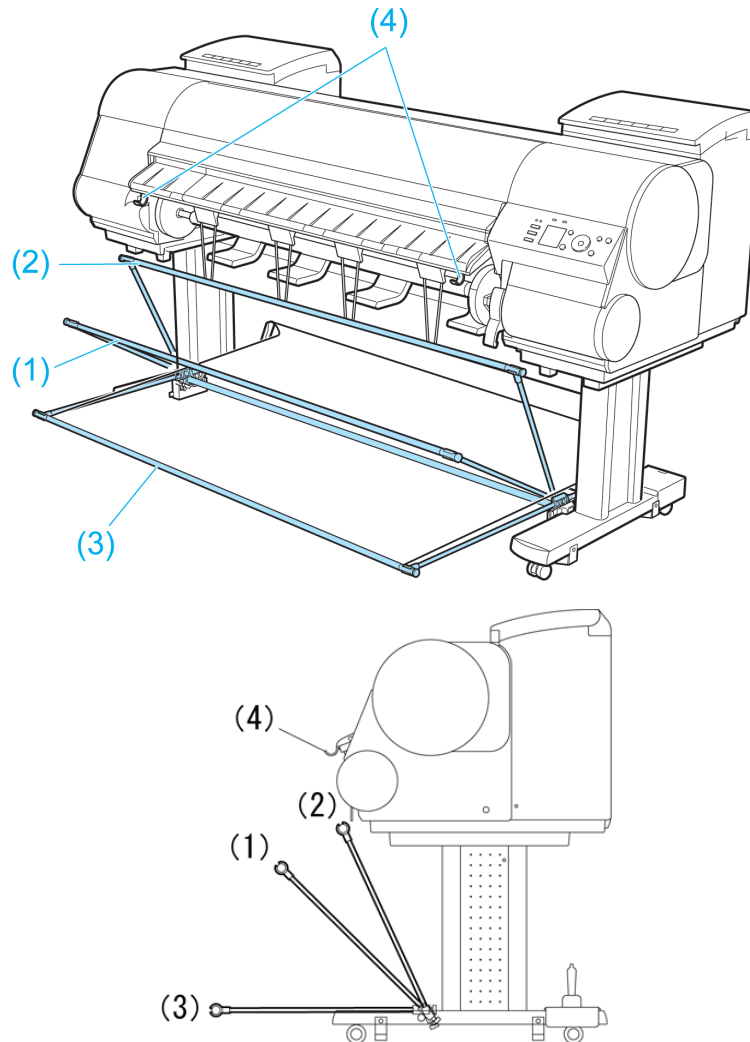
バスケットアーム R とバスケットアーム L の角度を同期させます。

f ロッドホルダー

バスケットロッド（ひも側）を保持します。

（「バスケットを使用する」参照） →P.513

バスケットを使用する

バスケットは、図のように 4 か所の位置で使用することができます。

- **バスケットに印刷物を収容するとき**

  (1)の位置で使用します。

- **バスケットを使用しないとき**

  (2)の位置で使用します。

- **巻き取り装置を使用するとき、またはバスケットを長期間使用しないとき**

  (3)の位置に倒し、収納します。（「バスケットを収納する」参照） →P.517

  収納したバスケットを再度使用するときは、バスケット前側のバスケットロッドを左右のバスケットアームの先端部分に取り付けて、最後まで完全に引き出します。

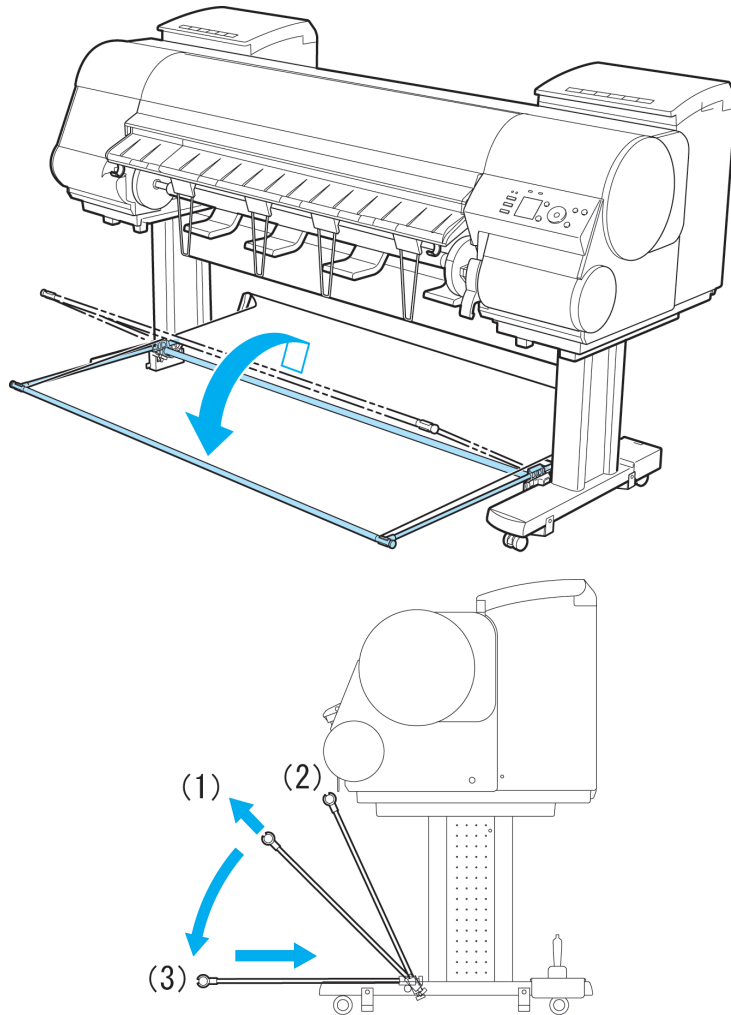
- **大きいサイズの固いカット紙を印刷するとき**

  (3)の位置で使用します。

  長尺印刷や傷が付きやすい用紙を印刷するときは、(4)の位置で使用します。（「バスケットを前方排紙で使用する」参照） →P.514

重要

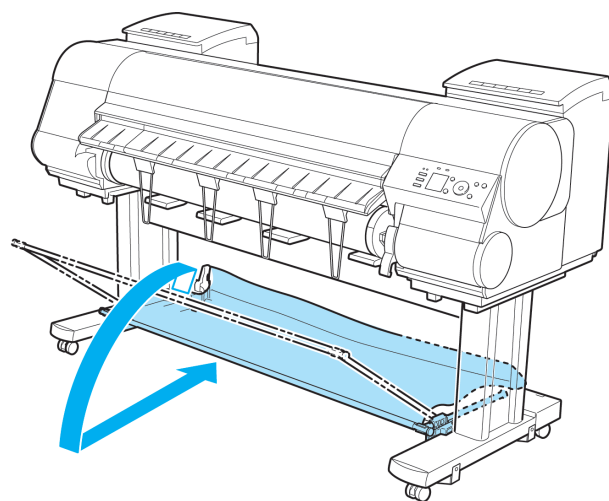
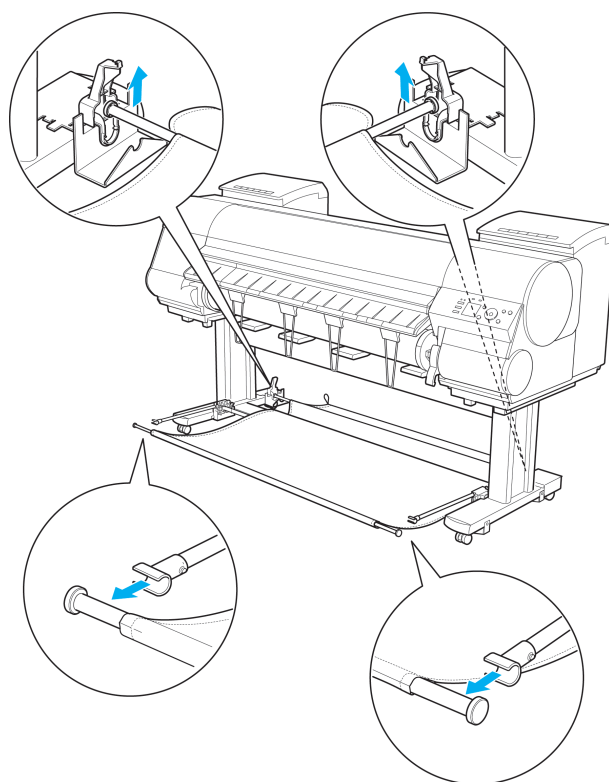
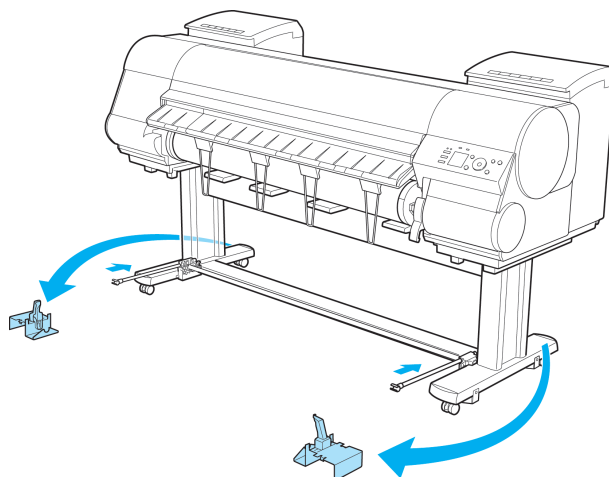
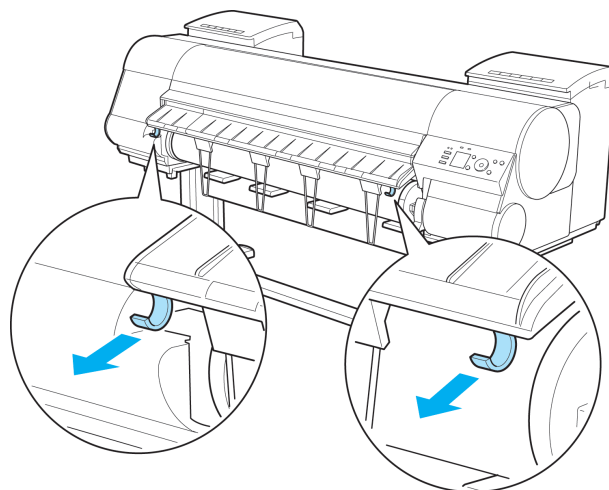
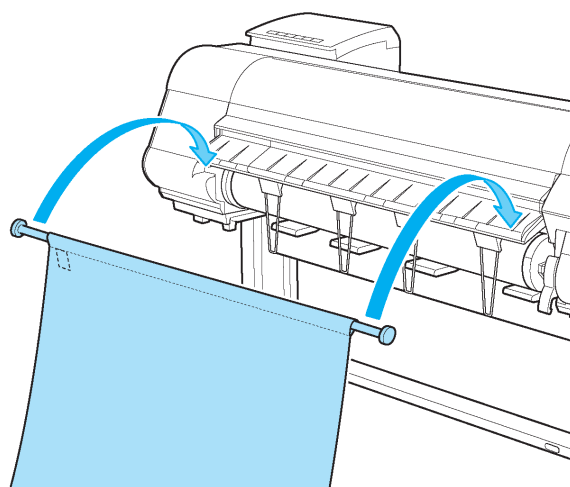
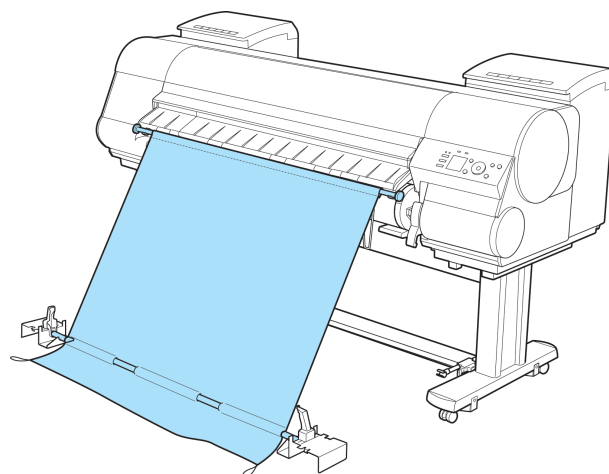
- バスケットに印刷物を収容するときは、必ず(1)の位置で使用してください。(1)の位置で使用しないと、印刷物がバスケットに入らず、印刷面が汚れる場合があります。
- バスケットに収容できる枚数は1枚です。複数ページを印刷する場合は、1枚ずつ取り出してから印刷してください。
- バスケットを使用するときは、巻き取り用スプールを取り外してください。印刷物が正しく収容されず、傷付く場合があります。
- バスケットには、62インチ(1575mm)までのロール紙を収容できます。それ以上の長さのロール紙に印刷する場合は、前方排紙または巻き取り装置(オプション)を使用してください。

(1)または(2)の位置まで持ち上げると、バスケットはロックされます。バスケットを倒したい場合は、前側のバスケットロッドを軽く持ち上げるとロックが解除されるので、そのまま倒します。

バスケットを前方排紙で使用する

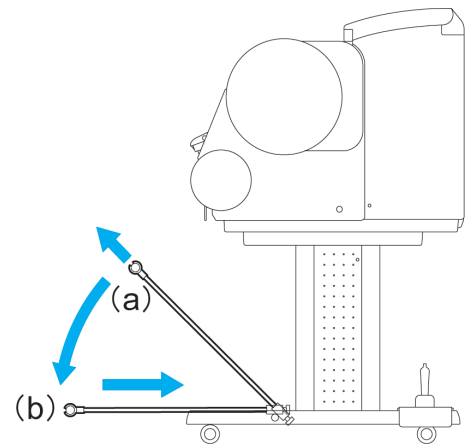
長尺印刷や傷が付きやすい用紙を使用する場合は、以下の位置にバスケットをセットして使用することも可能です。

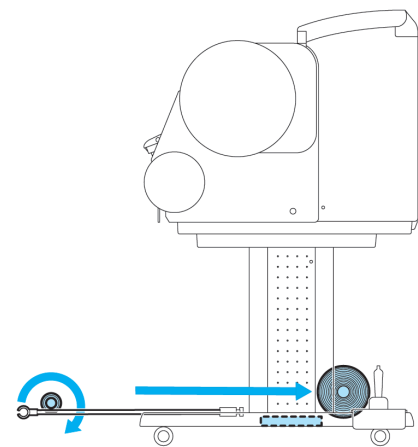
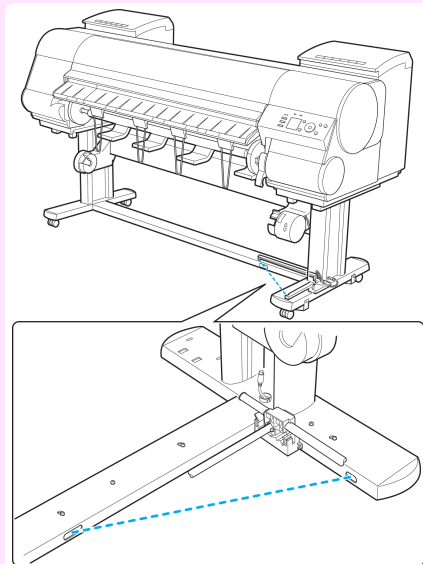
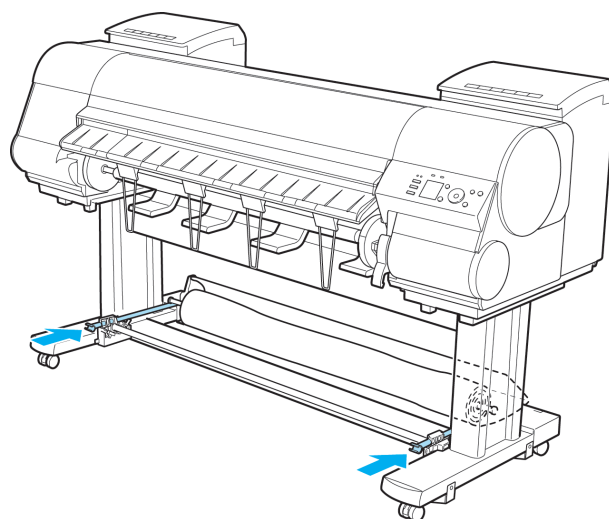
重要

- 前方排紙で使用するときは、必ず[カットモード]で[イジェクトカット]を選択してください。[自動カット]を選択すると、印刷物に傷を付ける原因になります。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496
- 前方排紙で、カールしやすい、傷が付きやすい用紙を使用するときは、細心の注意をはらって使用してください。
- 用紙によっては、排紙中に用紙の先端がカールしたり、たわむ場合があります。その場合は、カールやたわみを直してください。用紙にカールやたわみがあると、印刷物に傷を付ける原因になります。
- 用紙によっては、排紙中に用紙が排紙ガイドとバスケットの間に引っかかる場合があります。その場合は、引っかかりを直してください。用紙が引っかかっていると、印刷物に傷を付ける原因になります。

1 バスケットロッドを軽く持ち上げてロックを解除してから手前に倒し、奥側に押し込みます。

2 バスケットをプリンタから取り外します。
前側のバスケットロッドを左右のバスケットアームから、後側のバスケットロッドと黒いヒモをロッドホルダーから取り外します。

3 左右のバスケットアームを収納します。次に、ロッドホルダーを取り付けたままロッドホルダー用アダプタを取り外し、プリンタの前側に置きます。

4 排紙ガイドから左右のバスケットフックを引き出します。

5 バスケット布の白いタグが左側になるように、バスケットロッドをバスケットフックに取り付けます。

6 バスケット布がたるまないようにスロープをつくり、ロッドホルダーに中央用のバスケットロッドを取り付けます。

バスケットを収納する

巻き取り装置を使用するとき、またはバスケットを長期間使用しないときは、バスケットを収納します。

1. バスケットに印刷物を収容するときに使用する位置(a)で、前側のバスケットロッドを軽く持ち上げてロックを解除してから手前に倒し(b)、奥側に押し込みます。

2. 前側のバスケットロッドを左右のバスケットアームから取り外し、バスケット布を巻き取りながらスタンド下ステーの後ろ側に置きます。

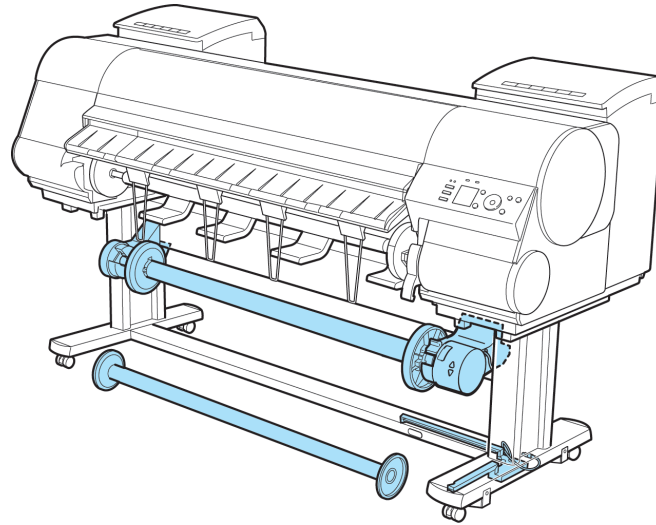
重要

- オプションの巻き取り装置を使用している場合は、バスケット布やバスケットロッドは、巻き取りセンサー(破線部)をさえぎらないように置いてください。動作不良の原因になります。

3 左右のバスケットアームを、止まるまで後ろ側に押し込みます。

巻き取り装置

巻き取り装置 635
巻き取り装置(オプション)について 519

巻き取り装置(オプション)を使用する 519
巻き取り機能をオンにする 520
巻き取り機能をオフにする 520
巻き取り用スプールを巻き取り装置にセットする 521

印刷した用紙を巻き取り装置(オプション)から取り外す 526

巻き取り装置(オプション)について

オプションの巻き取り装置を使用すると、ロール紙に印刷した用紙を自動的に巻き取ることができます。長尺印刷や大量に連続して印刷したい場合に便利です。

メモ

- 巻き取り装置の取り付け方法については、巻き取り装置セットアップガイドを参照してください。
- 巻き取り装置で使用できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.474
- 巻き取り装置の使用方法については、「巻き取り装置(オプション)を使用する」を参照してください。 →P.519

巻き取り装置(オプション)を使用する

1. プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.21
2. 巻き取り機能をオンにします。(「巻き取り機能をオンにする」参照) →P.520
3. 巻き取り用スプールを巻き取り装置にセットします。(「巻き取り用スプールを巻き取り装置にセットする」参照) →P.521 にセットする
4. 巻き取り装置の電源をオンにします。
5. ロール紙に印刷します。
6. 巻き取り装置の電源をオフにします。
7. 印刷した用紙を巻き取り装置から取り外します。(「印刷した用紙を巻き取り装置(オプション)から取り外す」参照) →P.526 (オプション)から取り外す
8. 巻き取り機能をオフにします。(「巻き取り機能をオフにする」参照) →P.520

重要

- カット紙の場合は、巻き取り装置を使用することはできません。
- バスケットを取り付けている場合は、必ず収納してから巻き取り装置を使用してください。(「バスケットを収納する」参照) →P.517
- バスケット布やバスケットロッドは、巻き取りセンサーをさえぎらないように置いてください。動作不良の原因になります。(「バスケットを収納する」参照) →P.517
- 巻き取り装置を使用しているときは、プリンタの[カットモード]メニューの設定またはプリンタドライバの[オートカット]の設定にかかわらず、印刷後にロール紙は自動でカットされません。ただし、[用紙カット]キーを押して、用紙をカットできます。
- 用紙の種類によっては、インクが乾燥するまでに印刷物の色合いが変化する場合があります。最終的な色合いの確認や巻き取り装置からの印刷物の取り外しは、十分にインクを乾燥させてから行ってください。
- 薄手の[Canon コート紙]など薄くて腰の弱い用紙にインクを多く使用する印刷を行うと、湿度の高い環境ではきれいに巻き取れない場合があります。その場合は、使用環境の改善を図るか、[ロール紙乾燥時間]の設定を変更し、インクが乾燥してから用紙を巻き取るようにしてください。
- [クロス]、[合成紙(糊付き)]は、湿度の高い環境ではきれいに巻き取れない場合があります。その場合は、使用環境の改善を図るか、[ロール紙乾燥時間]の設定を変更し、インクが乾燥してから用紙を巻き取るようにしてください。

巻き取り機能をオンにする

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[巻き取り装置]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[装置の使用]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[使用する]を選択し、[OK]キーを押します。

巻き取り機能をオフにする

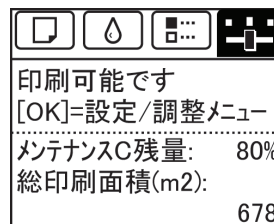
1 [用紙カット]キーを押します。

2 [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
巻き取りモードが通常モードに切り替わります。

メモ

- [用紙カット]キーで用紙をカットしなくても、リリースレバーを上げてロール紙をはさみでカットして取り除くと、巻き取りモードが通常モードに切り替わります。

3 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （設定/調整タブ）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

4 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[巻き取り装置]を選択し、[OK]キーを押します。

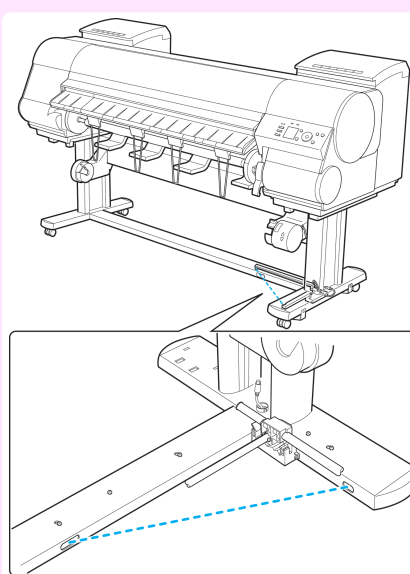
6 [▲]キー、[▼]キーを押して[装置の使用]を選択し、[OK]キーを押します。

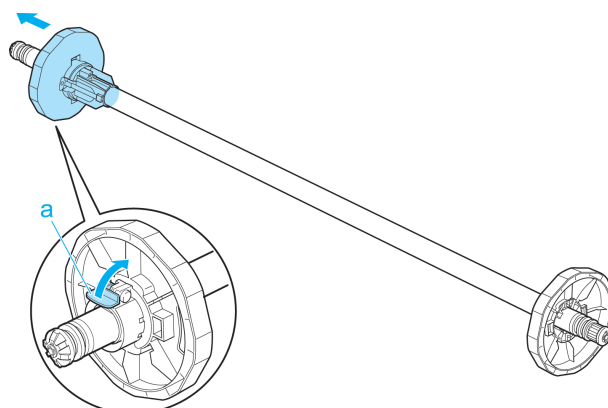
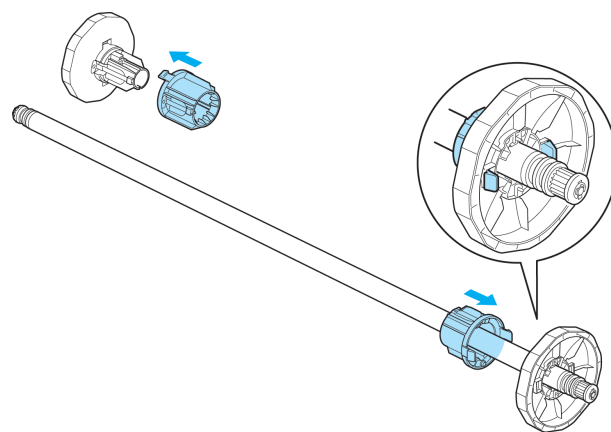
7 [▲]キー、[▼]キーを押して[使用しない]を選択し、[OK]キーを押します。

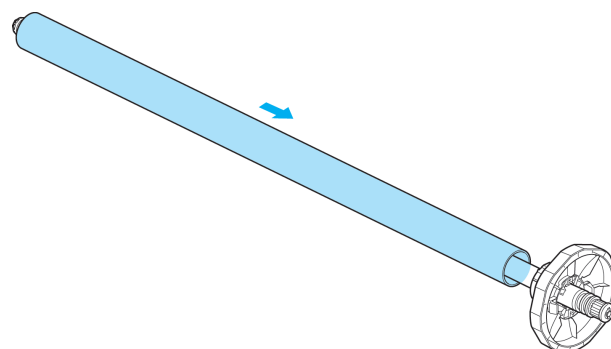
巻き取り用スプールを巻き取り装置にセットする

1 バスケットを使用している場合は、バスケットを収納します。(「バスケットを収納する」参照) →P.517

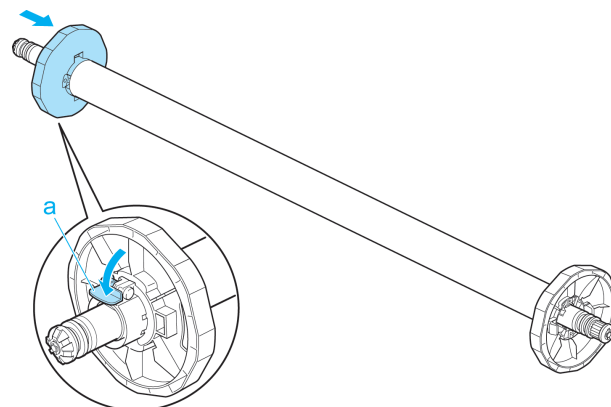
重要

- バスケット布やバスケットロッドは、巻き取りセンサー(波線部)をさえぎらないように置いてください。動作不良の原因になります。

2 巻き取り用スプールの左側のフランジのレバー(a)を軸側から起こしてロックを解除し、フランジを取り外します。

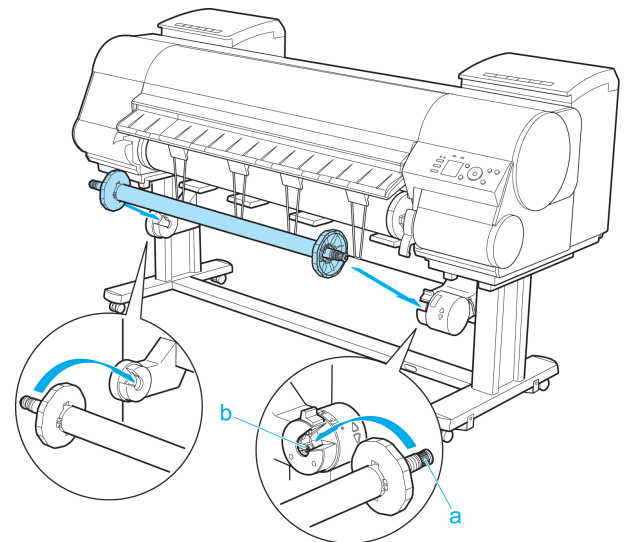
用紙の取り扱いと活用
巻き取り装置

3 紙管が 3 インチのロール紙を巻き取る場合は、両方のフランジに 3 インチアダプタを差し込みます。

4 ロール紙を巻き取るための芯となる紙管を巻き取り用スプールに差し込みます。

重要

- 巻き取り用スプールにセットする紙管は、必ず巻き取るロール紙と同じサイズのものを使用してください。違うサイズのものを使用すると、巻き取り不良の原因になります。

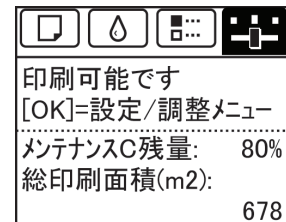
5 紙管が固定されるまでフランジを強く押し込み、レバー(a)を軸側に倒してロックします。

重要

- フランジを強く押し込んだ後、紙管にガタつきがないか確認してください。紙管を持って左右に動かし、フランジと紙管の間にすきまができる場合は、手順 2~4 をやり直してください。すきまがあると、巻き取り不良の原因になります。

6 巻き取り用スプールのギア(a)と巻き取り装置Rのギア(b)がかみ合うように、巻き取り用スプールを巻き取り装置にセットします。

重要

- 巻き取り用スプールのギア(a)と巻き取り装置Rのギア(b)がかみ合っていないと、巻き取り装置の電源はオンにできません。

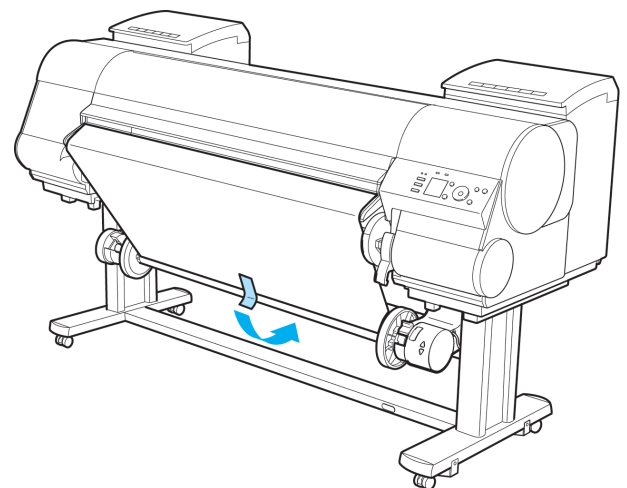
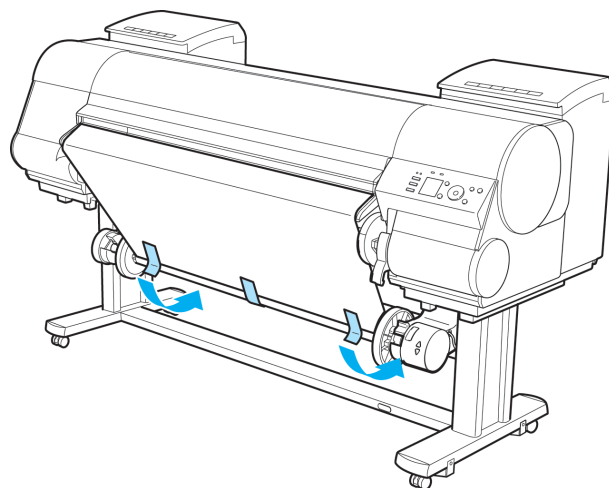
7 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

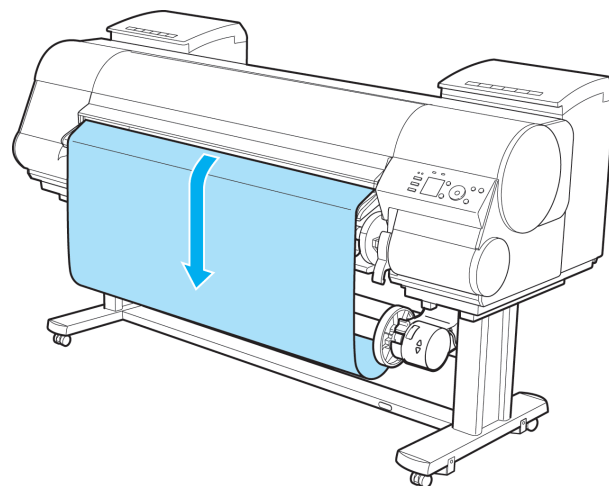
8 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

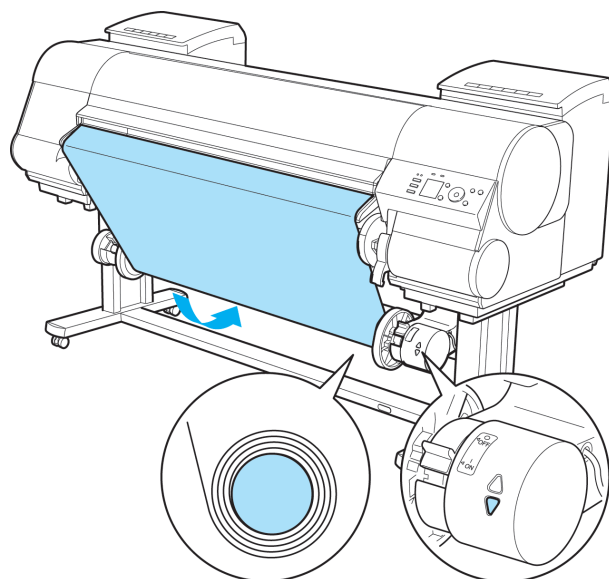
9 [▲]キー、[▼]キーを押して[巻き取り装置]を選択し、[OK]キーを押します。

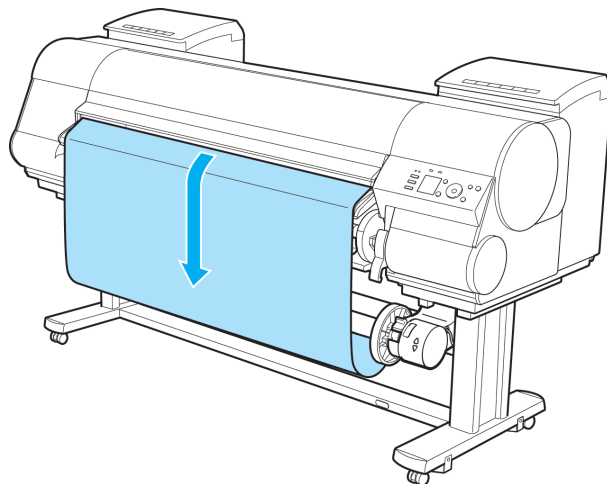
10 [▲]キー、[▼]キーを押して[巻き取りオートフィード]を選択し、[OK]キーを押します。
ロール紙が巻き取り装置まで送られます。

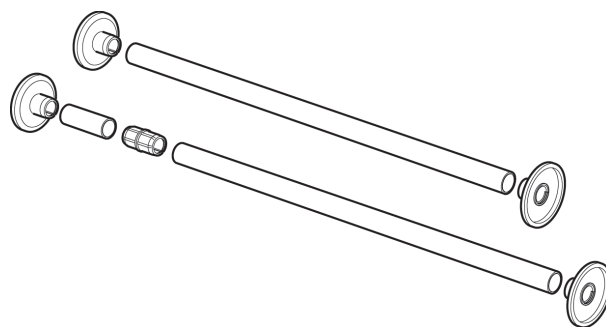
11 ロール紙の先端中央を持って右端を巻き取り用スプールの紙管の右端に揃え、ロール紙を左右均等に突っ張らせた状態で、中央を紙管にテープで止めます。

12 ロール紙がたるまないように注意しながら、ロール紙の左右先端を紙管にテープで止めます。

メモ

- 厚い用紙を巻き取る場合は、粘着力の強いテープでしっかりと止めてください。巻き取り不良の原因になります。

13 [▼]キーを押してロール紙をたるませます。

14 巻き取り装置 R の巻き取りモードスイッチを手前に引いて電源をオンにし、[▼]キーを押して、たるみがほとんどなくなるまでロール紙を巻き取ります。

重要

- 紙管が2周以上回転するまで用紙を巻き取ってください。巻き取った量が2周に満たない場合は、手順13と手順14を繰り返してください。
- 巻き取り用スプールと紙管は無理に手で回さないでください。故障の原因になります。ロール紙を巻き取る場合、たるませる場合は、巻き取り装置の[▲]キー、[▼]キーを押してください。

15 操作パネルの[▼]キーを押し続けて、ロール紙をたるませます。

16 下記の表を参照し、ロール紙の幅と種類に合ったウェイトフランジとウェイトジョイントをウェイトロールにしっかりと差し込みます。

使用可能なウェイトロールとウェイトフランジを、以下に示します。各ウェイトロールには色ラベルが付いています。

ウェイトロール

ロール紙の幅	使用するウェイトロール
B2幅:515.0 mm(20.3インチ)	[D]
B1幅:728.0 mm(28.7インチ)	[A]+[E]
B0幅:1030.0 mm(40.6インチ)	[A]+[G]
A1幅:594.0 mm(23.4インチ)	[E]
A0幅:841.0 mm(33.1インチ)	[B]+[E]
431.8 mm(17インチ)	[C]
609.6 mm(24インチ)	[E]
762.0 mm(30インチ)	[B]+[D]
914.4 mm(36インチ)	[G]
1066.8 mm(42インチ)	[C]+[E]
1117.6 mm(44インチ)	[D]+[E]

ウェイトフランジ

ロール紙の種類	使用するウェイトフランジ
[Canon プレミアム光沢紙2(厚口)]、フォト半光沢紙、[Canon プレミアム光沢紙2(厚口)]、フォト半光沢(厚口)、[ファインアート(フォト)]、[ファインアート(フォト厚口)]、[ファインアート(画材)]、[キャンバス(マット)]、[ファインアート(版画)]、[ファインアート(水彩)]、[Canon ブルーフ用紙2]、[Canon コート紙]、[Canon 厚口コート紙]、[特厚コート紙]、[色付きコート紙]、[合成紙(糊付き)]、[合成紙(糊無し)]、バックプリントフィルム(BPF)、バックライトフィルム、[Canon 防炎クロス]、[クロス]、ポンジクロス	ウェイトフランジ1(*1)

ロール紙の種類	使用するウェイトフランジ
プレミアムマット紙	ウェイトフランジ2

*1: 硬い用紙でウェイトフランジ1ではうまく巻き取れない場合や、巻き取った用紙の径が巻き取り用スプールのフランジより大きくなる場合は、ウェイトフランジ2を使用してください。ウェイトフランジ2を使用する場合は、[自動(純正紙)]または[自動(その他)]を実行し、用紙の送り量を調整してください。(「横スジを自動で調整する」参照) →P.735

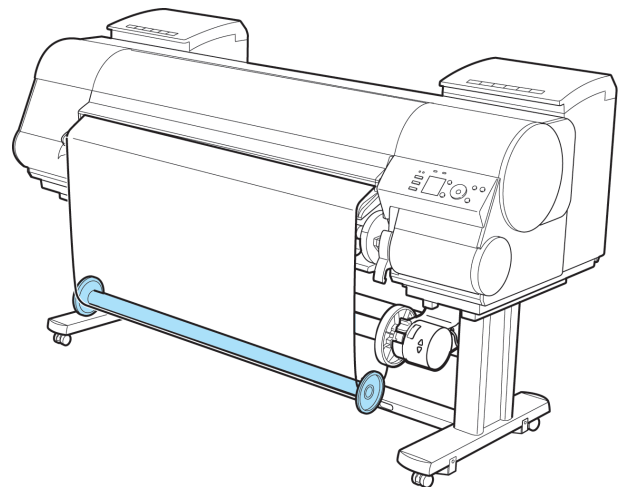
重要

- 上記の表の組み合わせ以外では使用できません。
- ウェイトフランジとウェイトジョイントは、ウェイトロールにしっかりと差し込んでください。
- 左右同じウェイトフランジを使用してください。ウェイトフランジ1どうし、ウェイトフランジ2どうしをウェイトロールの左右端に差し込みます。

メモ

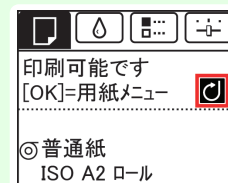
- 使用しないウェイトロール、ウェイトジョイント、ウェイトフランジは、梱包箱に入れてスタンドの下に置いておくと便利です。

17 ウェイトロールをロール紙のたるみの上に静かに乗せます。

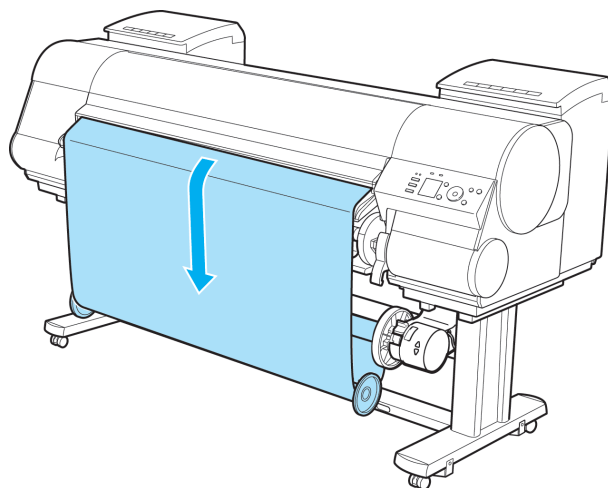
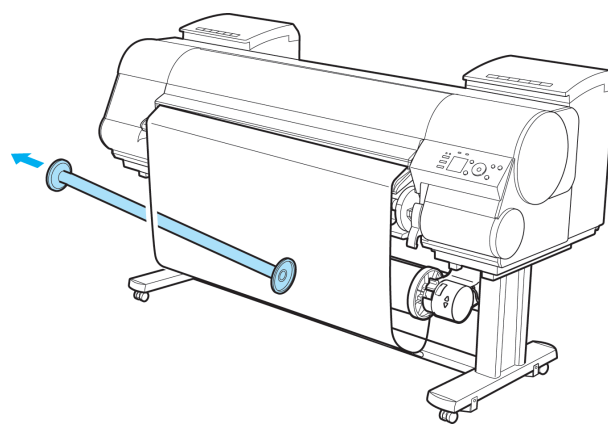
これで、巻き取り装置の準備は完了です。ロール紙に印刷すると、自動で巻き取ることができます。

重要

- ウェイトロールは必ず乗せてください。巻き取り不良の原因になります。
- ウェイトロールを乗せるときに、紙管に触れて紙管に巻きついたロール紙の位置が左右にずれないように注意してください。左右にずれがあると、巻き取り不良の原因になります。

メモ

- 巻き取り装置が動作中は、ディスプレイに巻き取りモードアイコンが表示されます。

印刷した用紙を巻き取り装置(オプション)から取り外す

1 [用紙送り]キーを押します。

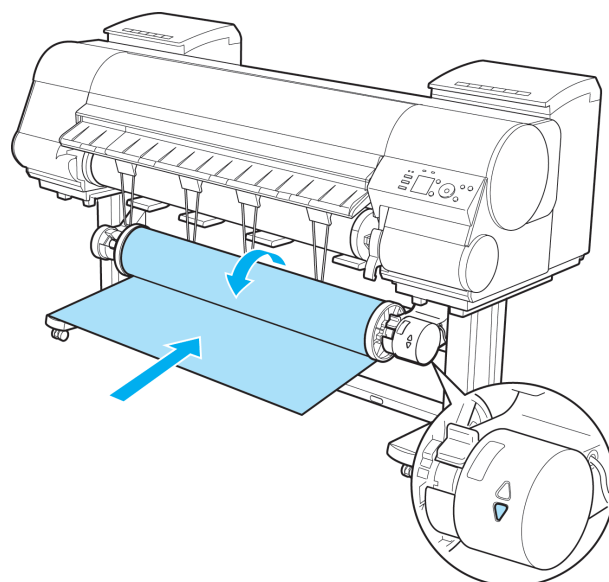
2 [▼]キーを押し続けて、ロール紙を少し送ります。
巻き取った用紙を保護したい場合は、外周分以上の長さを送ってください。

3 ウェイトロールをロール紙から取り除きます。

4 [用紙カット]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、印刷した用紙の後端を持ちながら[OK]キーを押します。
ロール紙がカットされます。

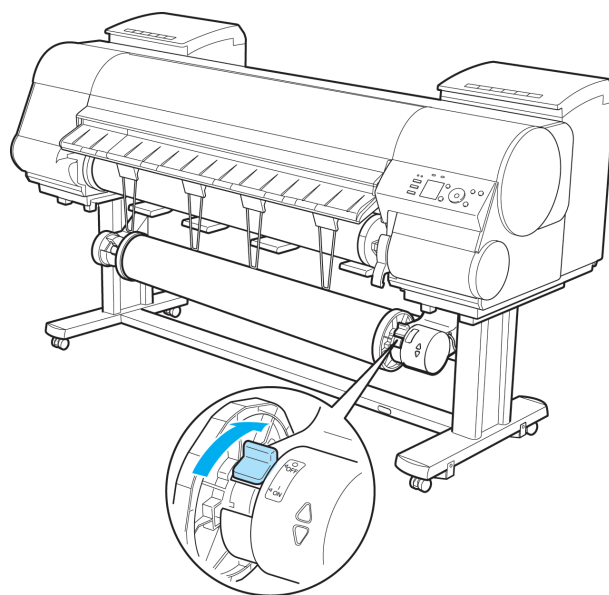
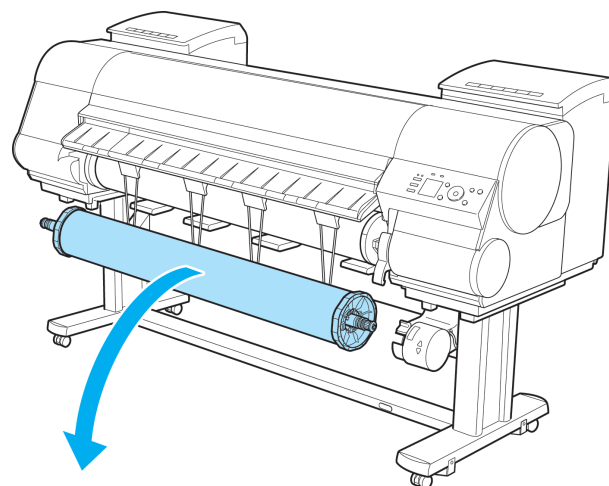
重要

- ロール紙をカットするときは、必ず印刷した用紙の後端を持ってください。持たずにカットすると、用紙が床に落ちて印刷面が汚れる場合があります。

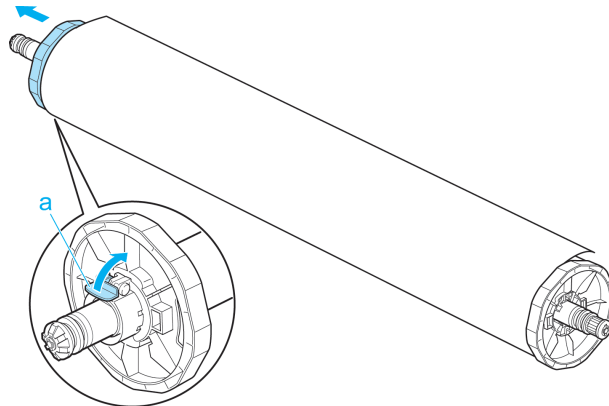
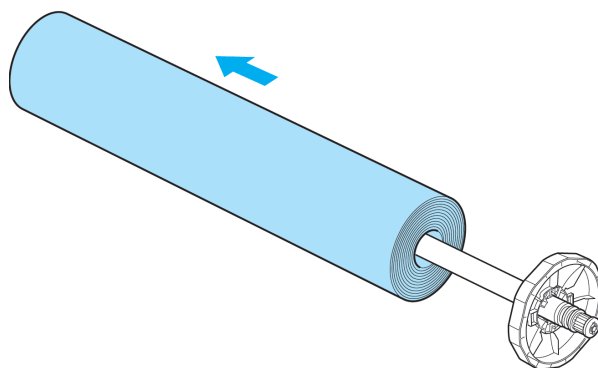
6 印刷した用紙の後端を持ちながら、巻き取り装置の[▼]キーを押して、印刷した用紙を巻き取ります。

巻き取った用紙は必要に応じてテープなどで止めてください。

重要

- 印刷面を傷付けないように注意してください。

7 巻き取り装置の巻き取りモードスイッチを奥側に倒して電源をオフにします。

8 巻き取り用スプールを巻き取り装置から取り外します。

重要

- 必ず巻き取り装置の電源をオフにしてから、巻き取り用スプールを取り外してください。オフにしないと、巻き取り装置の破損の原因になります。
- 巻き取り用スプールは、両端が同時に巻き取り装置から外れるように、取り外してください。同時に外さないと、巻き取り装置の破損の原因になります。

9 巻き取り用スプールの左側のフランジのレバー(a)を軸側から起こしてロックを解除し、フランジを取り外します。

10 巻き取った印刷物を紙管ごと巻き取り用スプールから取り外します。

メモ

- 巻き取り用スプールは、ロール紙を巻き取らないときでも、巻き取り装置にセットしておいてかまいません。

Media Configuration Tool (Windows)

Media Configuration Tool の特長 530
インストール手順 531
起動方法 532
Media Configuration Tool メインウィンドウ 533
純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する 533
用紙種類の追加 535
用紙名称の変更 537
追加した用紙種類の削除 539
用紙種類の表示/非表示を切り替える 540
用紙種類の表示順序を変更する 542
純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する 543
使用できる用紙 545
カスタム用紙の追加 545
カスタム用紙の削除 551
カスタム用紙の編集 551
カスタム用紙の書き出し 552
カスタム用紙の読み込み 553
注意事項 554

Media Configuration Tool の特長

imagePROGRAF では、高品位な印刷結果が得られるよう、用紙ごとに最適なプリンタ設定が用紙情報ファイルとしてまとめられています。キヤノン純正紙とキヤノン出力確認紙については、キヤノンよりその用紙情報ファイルが提供されます。

メモ

- キヤノン純正紙やキヤノン出力確認紙は、用紙リファレンスガイドに記載されている用紙です。それ以外の用紙をカスタム用紙と呼びます。

Media Configuration Tool では以下のようなことができます。

- プリンタがサポートする用紙が新たに追加されたとき、キヤノンより提供されたその用紙の用紙情報ファイルを使って、その用紙種類をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加できます。
- キヤノン純正紙や出力確認紙の用紙情報ファイルをカスタマイズして、カスタム用紙(キヤノン純正紙や出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)の用紙情報ファイルを作成し、その用紙種類をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加できます。
また、作成した用紙情報ファイルを他のコンピュータやプリンタで読み込んで、読み込んだコンピュータのプリンタドライバやプリンタに用紙種類を追加することもできます。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバのダイアログボックスで使用される用紙種類の表示順や用紙名称を変更できます。

重要

- User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールすると、通常 Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。さらに新たな用紙情報を追加したり、既存の用紙情報を編集したい方は、このソフトウェアをお使いください。
- Media Configuration Tool による用紙情報の管理はプリンタの管理者が行ってください。

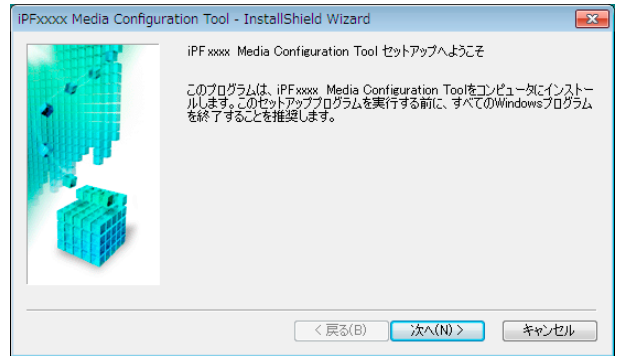
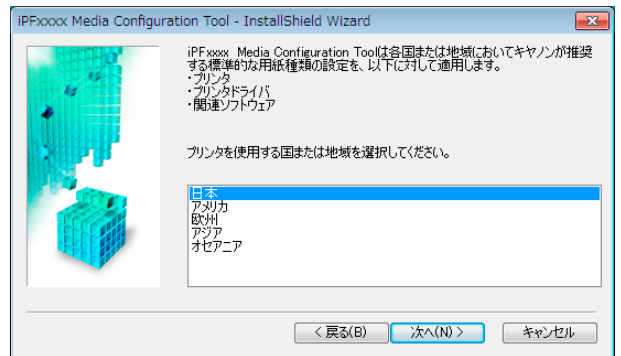
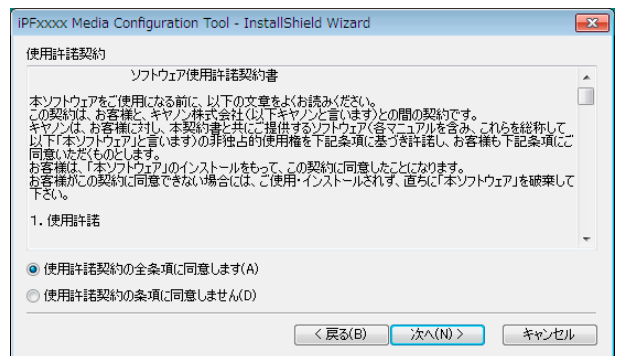
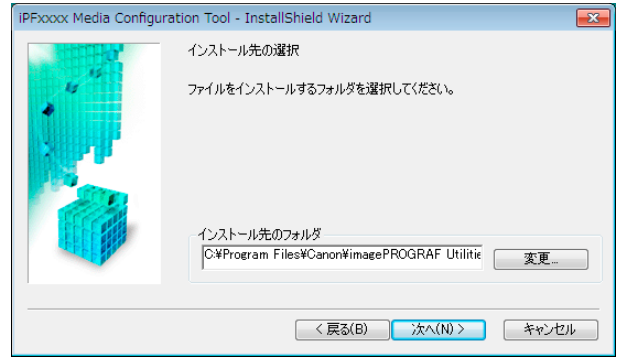
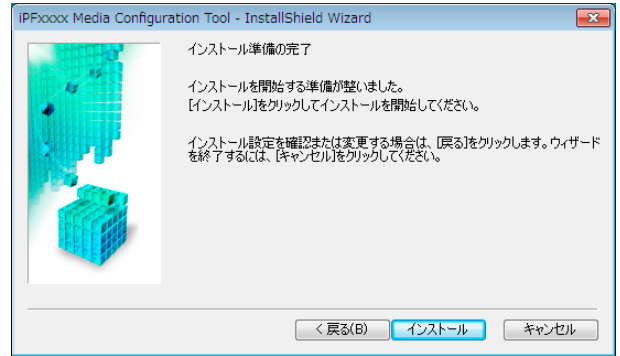
Media Configuration Tool が適用されるドライバ

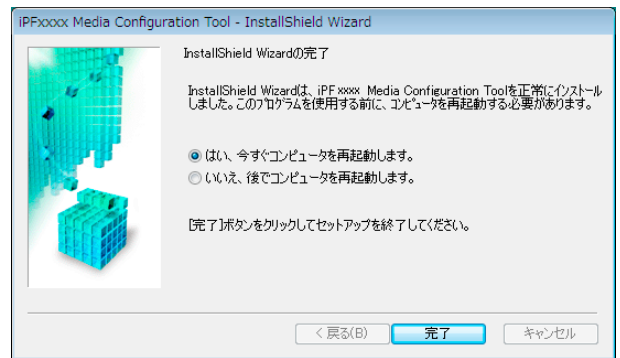
- imagePROGRAF プリンタドライバ

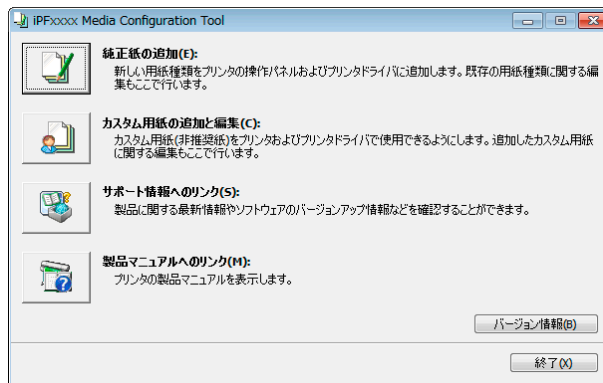
インストール手順

新しいバージョンの Media Configuration Tool のインストーラを起動すると、Media Configuration Tool のインストール画面が表示されます。この画面からインストールする手順は、以下のようになります。

- User Software CD-ROM からプリンタドライバをインストールすると、Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。そのため通常は、以下の手順を行う必要はありません。キヤノンのホームページから新しいバージョンの Media Configuration Tool をダウンロードした場合など、User Software CD-ROM を使わずに Media Configuration Tool をインストールする場合は、以下の手順で行ってください。
- Windows にソフトウェアをインストールするときは、管理者としてログインする必要があります。

1 Media Configuration Tool のインストーラを起動します。
[次へ]ボタンをクリックします。

2 プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

3 [使用許諾契約]が表示されます。
[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

4 [インストール先の選択]画面が表示されます。
インストール先を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

5 [インストール準備の完了]画面が表示されます。
[インストール]ボタンをクリックします。

6 必要なファイルがお使いのコンピュータにコピーされ、[InstallShield Wizard の完了]画面が表示されます。
[完了]ボタンをクリックします。

Media Configuration Tool のインストールが完了します。

起動方法

Media Configuration Tool を起動する手順は、以下のとおりです。
[スタート]メニューから[すべてのプログラム] > [iPFxxxx Media Configuration Tool] > [iPFxxxx Media Configuration Tool]を選択します。
Media Configuration Tool メインウィンドウが表示されます。

Media Configuration Tool メインウィンドウ

ここでは、Media Configuration Tool メインウィンドウについて説明しています。

メモ

- Media Configuration Tool メインウィンドウを開く手順について詳しくは、「起動方法」を参照してください。 →P.532

- [純正紙の追加]ボタン

  ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示され、キヤノンよりリリースされた用紙情報ファイル(Media Information File)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録することができます。名称変更や表示/非表示の切り替え、追加した用紙種類の削除も可能です。

  キヤノン純正紙やカスタム用紙の表示順序を変更することもできます。

  [純正紙の追加]について詳しくは、純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する →P.533 を参照してください。

- [カスタム用紙の追加と編集]ボタン

  ボタンをクリックすると、[カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスが表示され、カスタム用紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加することができます。

  [カスタム用紙の追加と編集]について詳しくは、純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する →P.543 を参照してください。

- [サポート情報へのリンク]ボタン

  [imagePROGRAF サポート情報]が開きます。製品に関する最新情報やソフトウェアのバージョンアップ情報などを確認することができます。

- [製品マニュアルへのリンク]ボタン

  ボタンをクリックすると、ユーザーズガイドを表示します。この機能を使用するには、お使いのコンピュータにユーザーズガイドがインストールされている必要があります。

純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する

純正紙や出力確認紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加したり、用紙種類情報を編集するときは、Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]ボタンをクリックします。
[プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

プリンタとの通信が開始されます。

重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- これ以降、プリンタの変更はできません。

メモ

- グレーアウト表示されている用紙は、プリンタドライバまたはプリンタパネルには表示されていません。

- [追加]ボタン

  純正紙や出力確認紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加する場合、このボタンをクリックします。

  用紙種類を追加する手順について詳しくは、「用紙種類の追加」を参照してください。→P.535

  重要

  - 用紙種類の追加を行う場合は、キヤノンのホームページからあらかじめ用紙情報ファイル（Media Information File / .amf ファイル）をダウンロードしておいてください。

- [名称変更]ボタン

  純正紙や出力確認紙のプリンタパネル表示名やプリンタドライバ表示名を変更する場合、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

  用紙の表示名を変更する手順について詳しくは、「用紙名称の変更」を参照してください。→P.537

- [削除]ボタン

  追加した純正紙や出力確認紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバから削除する場合、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

  追加した用紙種類を削除する手順について詳しくは、「追加した用紙種類の削除」を参照してください。→P.539

- [表示/非表示]ボタン

  純正紙や出力確認紙のプリンタの操作パネルやプリンタドライバでの表示/非表示を変更する場合、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

  用紙種類の表示/非表示を変更する手順について詳しくは、「用紙種類の表示/非表示を切り替える」を参照してください。→P.540

- 表示順変更ボタン（ または ）

  プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバでの用紙種類の表示順を変更する場合、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

  用紙種類の表示順序を変更する手順について詳しくは、「用紙種類の表示順序を変更する」を参照してください。→P.542

メモ

- 表示順序は、カスタム用紙も変更することができます。

重要

- 用紙種類情報を更新する場合は、そのプリンタを使用する他の全てのコンピュータでも同様の更新を行ってください。

メモ

- 削除、表示/非表示、表示順の変更は条件によって行うことができない場合があります。
- 表示名がグレーアウト表示されている場合は、プリンタドライバやプリンタパネルにその用紙種類は表示されていません。

用紙種類の追加

キヤノンよりリリースされた用紙情報ファイル(Media Information File / .amf ファイル)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録します。

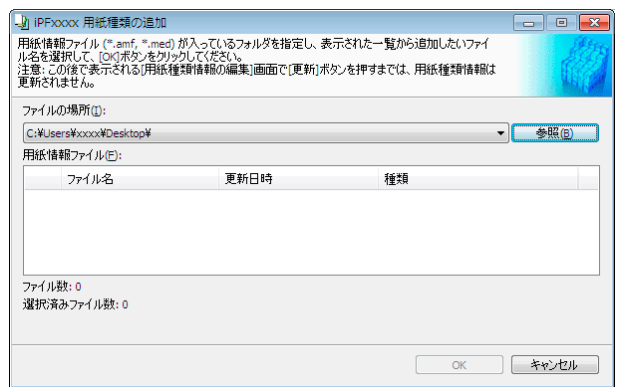
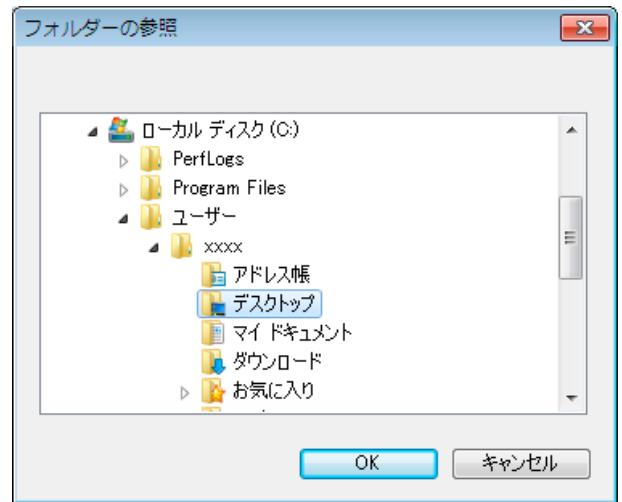
重要

- 用紙種類の追加を行っている間は、対象のプリンタで印刷を実行しないでください。
- 用紙情報ファイルを登録後に、プリンタドライバまたは Media Configuration Tool を再インストールすると、登録済みの用紙情報ファイルは削除されることがあります。この場合は、まず最新の Media Configuration Tool をダウンロードしてインストールし、続いて必要な用紙情報ファイルをダウンロードして登録してください。

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

メモ

- [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.533

2 [用紙種類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
[参照]ボタンをクリックします。

3 用紙情報ファイル（.amf ファイル）が含まれるフォルダを開きます。

4 [用紙種類の追加]ダイアログボックスの[用紙情報ファイル]に選択したフォルダ内の用紙情報ファイル名が表示されます。追加したい用紙のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK]ボタンをクリックします。

- [用紙情報ファイル]の[種類]に[基本用紙情報ファイル]と表示されている場合は、用紙種類の表示順序や用紙種類の表示/非表示の設定が初期化されます。基本用紙情報ファイルの追加を行った後、再度設定しなおしてください。

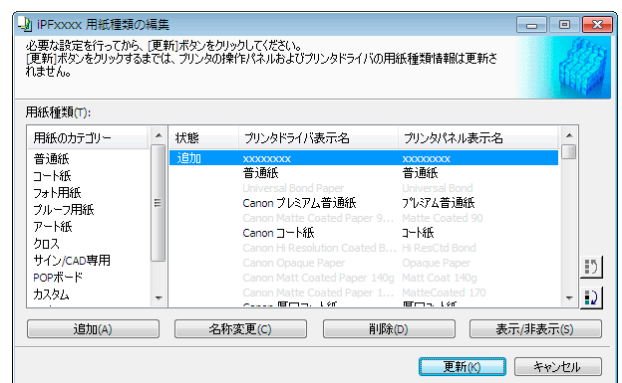
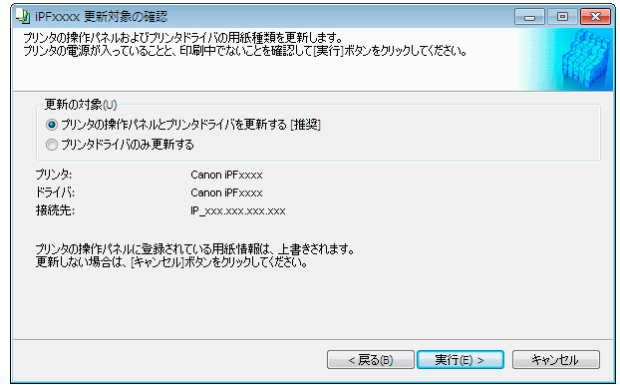
5 確認画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

6 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

7 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新の対象を設定し、[実行]ボタンをクリックします。
プリンタとの通信が開始されます。

メモ

- 通常は、[プリンタの操作パネルとプリンタドライバを更新する]を選択してください。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

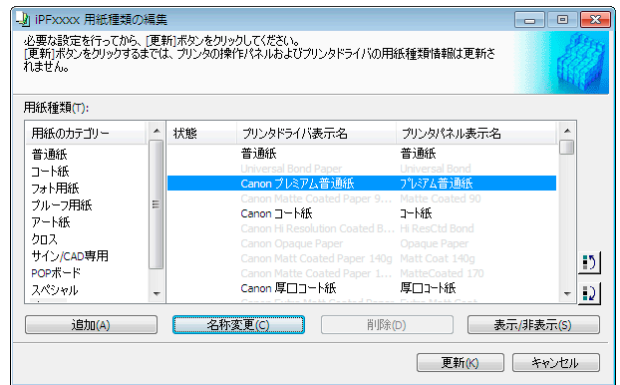
8 [OK]ボタンをクリックします。

用紙名称の変更

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.533

2 ［用紙種類］のリストから、名称を変更したい用紙を選択します。
［名称変更］ボタンをクリックします。

3 ［用紙種類名称の変更］ダイアログボックスが表示されます。
［プリンタドライバ表示名］および［プリンタパネル表示名］を編集して、［OK］ボタンをクリックします。

メモ

- ［元に戻す］ボタンをクリックすると、初期状態の名称が設定されます。
- ［プリンタドライバ表示名］には、半角英数、全角カナ、全角かな、漢字、全角 Space、全角「―」、半角 Space、「-」、「.」、「_」、「()」、「+」、「%」、「,」、「/」、「[」、「]」が使用できます。半角カナ、全角英数は使用できません。
［プリンタドライバ表示名］は、2Byte 文字で 16 文字、1Byte 文字で 32 文字まで入力可能です。
- ［プリンタパネル表示名］には、半角英数、半角カナ、全角かな、漢字、全角 Space、半角 Space、「-」、「.」、「_」、「()」、「+」、「%」、「,」、「/」が使用できます。全角カナ、全角英数は使用できません。
［プリンタパネル表示名］は、2Byte 文字で 8 文字、1Byte 文字で 16 文字まで入力可能です。

4 ［用紙種類の編集］ダイアログボックスの［更新］ボタンをクリックします。

5 ［更新対象の確認］ダイアログボックスが表示されます。
更新の対象を設定し、［実行］ボタンをクリックします。
プリンタとの通信が開始されます。

- 通常は、［プリンタの操作パネルとプリンタドライバを更新する］を選択してください。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

6 [OK]ボタンをクリックします。

追加した用紙種類の削除

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.533

2 [用紙種類]のリストから、削除したい用紙を選択します。
[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- [用紙種類]のリストの[状態]に[追加]と表示されている用紙のみ削除できます。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

4 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
[実行]ボタンをクリックします。
プリンタとの通信が開始されます。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

5 [OK]ボタンをクリックします。

用紙種類の表示/非表示を切り替える

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.533

2 [用紙種類]のリストから、表示/非表示にしたい用紙を選択します。
[表示/非表示]ボタンをクリックします。
選択した用紙の表示と非表示が切り替わります。

メモ

- 複数の用紙を選択することができます。
- 非表示の用紙は、[用紙種類]のリスト上でグレーアウト表示されます。
- [表示/非表示]ボタンをクリックするごとに、プリンタドライバとプリンタパネルの両方表示→両方非表示→プリンタパネルのみ表示と切り替わります。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

4 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新の対象を設定し、[実行]ボタンをクリックします。
プリンタとの通信が開始されます。

メモ

- 通常は、[プリンタの操作パネルとプリンタドライバを更新する]を選択してください。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

5 [OK]ボタンをクリックします。

用紙種類の表示順序を変更する

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.533

2 [用紙種類]のリストから、表示順を変更したい用紙を選択して、表示順変更ボタン（ または ）をクリックします。
選択した行が一行ずつ上または下に移動します。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

4 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新の対象を設定し、[実行]ボタンをクリックします。
プリンタとの通信が開始されます。

メモ
- 通常は、[プリンタの操作パネルとプリンタドライバを更新する]を選択してください。

重要
- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

5 [OK]ボタンをクリックします。

純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する

キヤノン純正紙や出力確認紙以外の用紙をプリンタの操作パネルやプリンタドライバに追加したり、その用紙の用紙情報ファイルの書き出しや読み込みをするときは、Media Configuration Tool メインウィンドウの[カスタム用紙の追加と編集]ボタンをクリックします。
[プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

プリンタとの通信が開始されます。
[カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスが表示されます。

メモ
- これ以降、プリンタの変更はできません。
- カスタム用紙とは、キヤノン純正紙や出力確認紙(用紙リファレンスガイドに記載されている用紙)以外の用紙です。

- [追加済みのカスタム用紙]

  追加されたカスタム用紙は、ここに表示されます。

  - [プリンタドライバ表示名]
    追加されたカスタム用紙は、プリンタドライバにこの名称で表示されます。
  - [プリンタパネル表示名]
    追加されたカスタム用紙は、プリンタの操作パネルにこの名称で表示されます。
  - [基準用紙]
    カスタム用紙を追加したとき、基準用紙として選択した用紙が表示されます。

- [追加]ボタン

  カスタム用紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに新規追加するには、このボタンをクリックします。

  カスタムを追加する手順について詳しくは、「カスタム用紙の追加」を参照してください。→P.545

- [編集]ボタン

  追加済みのカスタム用紙の設定を変更するには、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

  カスタム用紙の設定を変更する手順について詳しくは、「カスタム用紙の編集」を参照してください。→P.551

- [削除]ボタン

  追加済みのカスタム用紙をプリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバから削除するには、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

  カスタム用紙を削除する手順について詳しくは、「カスタム用紙の削除」を参照してください。→P.551

- [読み込み]ボタン

  フォルダに保存されているカスタム用紙情報ファイルを読み込んで、プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバにカスタム用紙を追加するには、このボタンをクリックします。

  カスタム用紙情報ファイルを読み込む手順について詳しくは、「カスタム用紙の読み込み」を参照してください。→P.553

- [書き出し]ボタン

  追加済みのカスタム用紙の用紙情報をファイルに書き出し保存するには、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

  カスタム用紙の用紙情報を書き出す手順について詳しくは、「カスタム用紙の書き出し」を参照してください。→P.552

重要

- カスタム用紙の追加は、あらかじめ用紙管理用のコンピュータを特定し、常にそのコンピュータで行ってください。他のコンピューターでこのカスタム用紙を使用する場合は、まず用紙管理用のコンピュータでそのカスタム用紙のカスタム用紙情報ファイル（.am1 ファイル）を書き出し、それを他のコンピュータに読み込んで使用してください。
- 対象プリンタを使用するネットワーク外で作成されたカスタム用紙情報ファイル（.am1 ファイル）を使用する場合は、まず用紙管理用のコンピュータで読み込んでください。他のコンピュータでも使用したい場合は、用紙管理用のコンピュータからあらためて書き出したカスタム用紙情報ファイル（.am1 ファイル）を読み込んで使用してください。
- 用紙管理用のコンピュータで作成されたカスタム用紙情報ファイル（.am1 ファイル）を読み込む場合は、あらかじめ用紙管理用のコンピュータに存在しないカスタム用紙は削除してください。
- カスタム用紙の削除を行った場合は、対象のプリンタを使用する他の全てのコンピュータからも同様にその用紙を削除してください。
- カスタム用紙を別のプリンタで使用する場合は、必ずそのプリンタにカスタム用紙を追加してから使用してください。

メモ

- このダイアログボックスでは、キヤノン純正紙および出力確認紙の変更は行えません。「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」 →P.533 を参照してください。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに表示されている用紙種類の表示順序を変更する場合は、キヤノン純正紙、カスタム用紙にかかわらず、[用紙種類の編集]ダイアログボックスから行います。「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」 →P.533 を参照してください。

使用できる用紙

用紙仕様

厚さやサイズなど、カスタム用紙として追加できる用紙の仕様は、「仕様」の「用紙」を参照してください。(「仕様」参照) →P.920

使用環境についてのご注意

低湿度環境(40%以下)では、以下のようなトラブルが発生することがあります。

- 用紙にカールやシワが発生する
- 用紙とプリントヘッドが接触しやすくなり、印地面にキズがついたり、プリントヘッドを損傷する場合がある
- カットした印刷物がプリンタにはりつき、下に落ちない(フィルム系用紙)
- 用紙がプリンタにはりつき、搬送不良となり正常に排紙されない(フィルム系用紙)
- 印刷ムラが発生する(フィルム系用紙)

高湿度環境(60%以上)では、以下のようなトラブルが発生することがあります。

- 印刷物が乾燥しない
- 用紙表面の波うち(凹凸)が激しくなる
- きれいにカットできない(クロス系用紙)
- フチなし印刷で余白が残る

重要

- カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)の印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。

カスタム用紙の追加

カスタム用紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに新規追加するには、まずキヤノン純正紙や出力確認紙の中から基準とする用紙種類を選択します。その基準用紙に必要に応じてさまざまな設定を行った後、それをカスタム用紙として追加します。

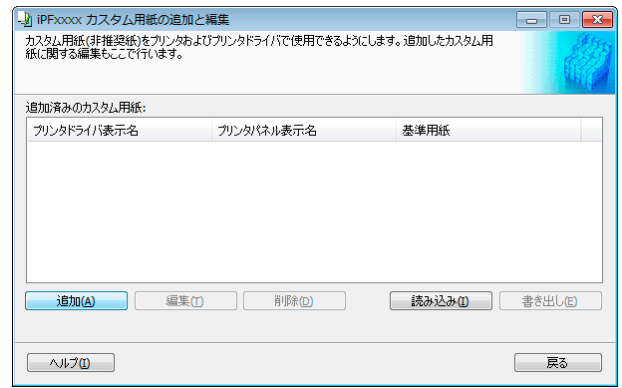
重要

- カスタム用紙の印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。
- キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙は、用紙リファレンスガイドで推奨されている用紙種類で印刷してください。Media Configuration Tool のカスタム用紙の追加を使用した場合は、印刷品位および紙搬送性は保証できません。
- カスタム用紙の追加を行っている間は、対象のプリンタで印刷を実行しないでください。
- カスタム用紙の追加を行う場合は、「使用できる用紙」 →P.545 で、追加可能な用紙の仕様を確認してください。

1 [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。 →P.543

2 [追加]ボタンをクリックします。

3 [Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスが表示されます。[用紙のカテゴリー]で、追加するカスタム用紙の基準とする用紙種類のカテゴリーを選択します。

重要

- 追加するカスタム用紙に最も近いと思われるカテゴリーを選択してください。

4 [用紙種類名]に、選択したカテゴリー中の、キヤノン純正紙および出力確認紙の用紙種類名が表示されます。カスタム用紙の基準とする用紙種類を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

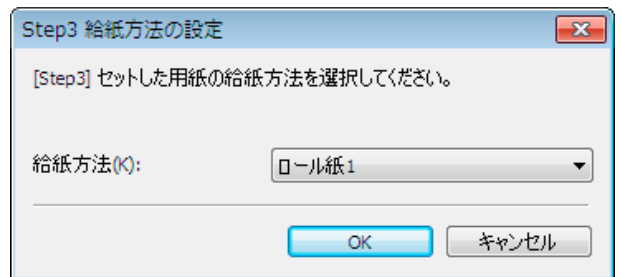
- カスタム用紙の基準とする用紙種類が分からない場合は、[アシスト]ボタンをクリックして、[用紙種類選択アシスト]ダイアログボックスを開き、[重さ（坪量）]または[厚さ]を設定してください。選択した用紙のカテゴリーの中から適切なものを Media Configuration Tool が自動で選択します。または、表示されている[用紙種類名]の中から、[汎用]と書かれている用紙種類を選択してください。
- 選択したカテゴリーによっては、[汎用]と書かれている用紙種類はありません。
- 選択したカテゴリーによっては、[アシスト]ボタンは無効です。

5 [Step2 カスタム用紙名称の設定]ダイアログボックスが表示されます。
プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバで表示させる任意の名称を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

- 選択した基準用紙によっては、[プリンタドライバ表示名]が入力できず、作成したカスタム用紙はプリンタドライバには追加されません。カスタム用紙をプリンタドライバで使用する場合は、基準用紙を別の用紙に変更して作成してください。
- [プリンタドライバ表示名]には、半角英数、全角カナ、全角かな、漢字、全角 Space、全角「—」、半角 Space、「-」、「.」、「_」、「()」、「+」、「%」、「,」、「/」、「[」、「]」が使用できます。半角カナ、全角英数は使用できません。
[プリンタドライバ表示名]は、2Byte 文字で 16 文字、1Byte 文字で 32 文字まで入力可能です。
- [プリンタパネル表示名]には、半角英数、半角カナ、全角かな、漢字、全角 Space、半角 Space、「-」、「.」、「_」、「()」、「+」、「%」、「,」、「/」が使用できます。全角カナ、全角英数は使用できません。
[プリンタパネル表示名]は、2Byte 文字で 8 文字、1Byte 文字で 16 文字まで入力可能です。
- [用紙名称 (英語)]は、ロール紙残量管理やステータスプリントなどで使用されます。
[用紙名称 (英語)]は、1Byte 文字で 16 文字まで入力可能です。

6 プリンタにカスタム用紙をセットした後、[OK]ボタンをクリックします。

- カールしている用紙や、一度印刷した用紙をセットしないでください。

7 [Step3 給紙方法の設定]ダイアログボックスが表示されます。カスタム用紙をセットした給紙口を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

8 [Step4 紙送り調整]ダイアログボックスが表示されます。[実行]ボタンをクリックして、紙送り調整を実行します。
調整パターンが印刷され、印刷結果をもとに用紙の送り量が自動的に調整されます。
紙送り調整が終了したら、[次へ]ボタンをクリックします。

- 排紙ガイド上に用紙が残っていないことを確認してください。
- [紙送り調整]を実行しない場合、印刷物に色味の違う横スジが入ることがあります。紙送り調整は、二度以上実行する必要はありません。カスタム用紙を 1 つ追加するごとに、一度だけ実行してください。

9 [ロール紙の設定]ダイアログボックスが表示されます。

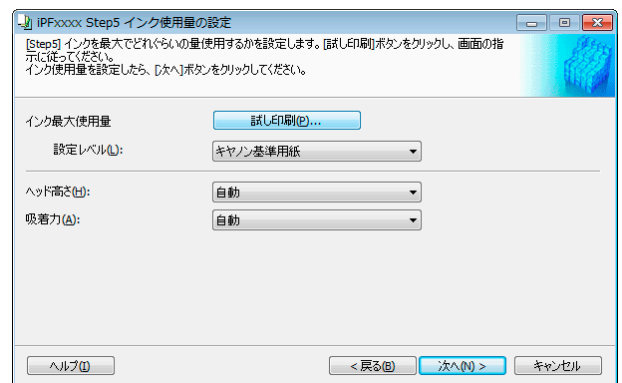
- [Step3 給紙方法の設定]ダイアログボックスで、[ロール紙]以外の給紙方法を選択した場合は、この画面は表示されません。

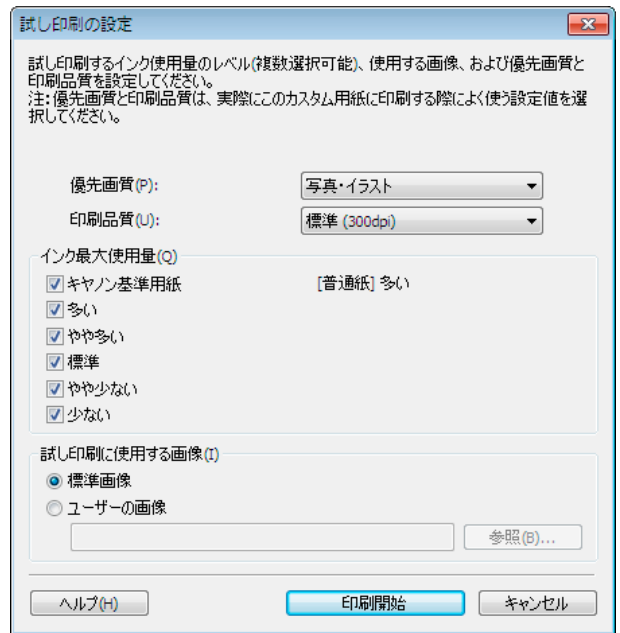
必要に応じて以下を設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

設定項目	内容
[オートカット設定]	印刷後、排紙したときのロール紙のカット方法を設定します。 • [自動カット]:カッターユニットでロール紙を自動的にカットします。 • [イジェクトカット]:プリンタの操作パネルで[用紙カット]キーを押すと、カッターユニットでロール紙をカットします。インクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。 • [ユーザーカット]:カッターユニットではカットしません。1 枚ずつはさみでロール紙をカットしてください。カッターユニットでカットできない用紙の場合に選択します。
[インク乾燥時間]	インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。 • [オフ]:印刷終了後、すぐに排紙されます。 • [30 秒/1 分/3 分/5 分/10 分/30 分/60 分]:印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。
[フチなし印刷]	フチなし印刷を許可するかしないかを設定します。 • [許可する]:フチなし印刷を許可します。 • [許可しない]:フチなし印刷を許可しません。

重要

- 用紙によっては、カッターユニットでカットできないものや、カッターの劣化を早めたりカッターを損傷させるものがあります。厚い用紙や硬い用紙などはカッターユニットを使用せず、印刷後にロール紙をはさみなどでカットしてください。この場合は、[オートカット設定]で[ユーザーカット]を選択してください。
- インクの乾きが悪い用紙にフチなし印刷する場合、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、正しくカットできないことがあります。このような場合は[インク乾燥時間]で、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定してください。また、カッターでうまく用紙がカットできない場合は、[オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットしてください。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。「使用できる用紙」 →P.545 を参照してください。
- [オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定する必要があるカスタム用紙は、[フチなし印刷]は[許可しない]を設定してください。

10 [Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスが表示されます。
この画面では、カスタム用紙への印刷に使用するインク量の上限を、複数のレベルの中から選択し設定します。
まず[試し印刷]ボタンをクリックして各レベルの試し印刷を行います。

- 手順 5 の画面で、[プリンタドライバ表示名]が表示されない基準用紙を選択した場合は、インク最大使用量の試し印刷および設定はできません。

11 [試し印刷の設定]ダイアログボックスが表示されます。
[優先画質]と[印刷品質]で、試し印刷の優先画質と印刷品質を選択します。
[インク最大使用量]で試し印刷するレベルを、[試し印刷に使用する画像]で使用する画像を設定し、[印刷開始]ボタンをクリックします。

12 インクのにじみやかすれがないか、試し印刷の結果を見て最もよいと思われるインク量レベルを判断し、設定します。

- ヘルプを参考にして、最適なインク量レベルを判断してください。
- どのインク最大使用量を選択しても、十分な印刷品位が得られない場合は、カスタム用紙の基準とする用紙を[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスで別の用紙に変更して設定をやり直してください。
- 印刷に使用するインク量の上限を設定するため、画像によってはレベルを変更しても印刷結果が変わらないことがあります。
- Media Configuration Tool では色味の設定はできません。インク最大使用量を変更すると色味が変わることがありますが、ここではインクのにじみやかすれがないかにのみ着目して最適なレベルを選択してください。色味の調整が必要な場合は、お使いの用紙に合った ICC プロファイルを用意して、ソフトウエアでその ICC プロファイルを指定してください。プリンタドライバで ICC プロファイルを指定する方法について詳しくは、「マッチングシート」を参照してください。 →P.171
- インク最大使用量の設定によっては、プリンタドライバの一部の印刷品質が選択できなくなることがあります。

13 [ヘッド高さ]と[吸着力]を必要に応じて設定し、[次へ]ボタンをクリックします。
通常は設定する必要はありません。

重要

- [ヘッド高さ]を自動で設定された( )内の高さより低くする場合は、用紙にこすれないことを確認してください。(プリントヘッドが用紙にこすれると印刷結果に傷が入ります。)プリントヘッドが用紙にこすれるとプリントヘッドの故障につながることがあります。
- [吸着力]を変更する場合は、プリントヘッドが用紙にこすれないことを確認してください。(プリントヘッドが用紙にこすれると印刷結果に傷が入ります。)プリントヘッドが用紙にこすれるとプリントヘッドの故障につながることがあります。
- [ヘッド高さ]と[吸着力]について詳しくは、ヘルプを参照してください。

14 [Step6 設定内容の確認]ダイアログボックスが表示されます。
カスタム用紙の設定内容を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

15 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新対象を確認し、[実行]ボタンをクリックします。

プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバにカスタム用紙が追加されます。

重要

- [POP ボード/厚紙]カテゴリーの用紙を基準用紙としてカスタム用紙を追加した場合は、セットしたカスタム用紙をプリンタから取り外してください。

メモ

- カスタム用紙がプリンタドライバに正しく追加されると、Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]で開く[用紙種類の編集]ダイアログボックスに、追加したカスタム用紙名称が表示されます。

カスタム用紙の削除

追加済みのカスタム用紙を、プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバから削除することができます。

1 [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。 →P.543

2 [追加済みのカスタム用紙]のリストから、削除したい用紙を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- 複数の用紙を選択することができます。

3 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新対象を確認し、[実行]ボタンをクリックします。

プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバから、カスタム用紙が削除されます。

カスタム用紙の編集

追加済みのカスタム用紙の設定を変更することができます。

1 [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。 →P.543

2 [追加済みのカスタム用紙]のリストから、編集したい用紙を選択して、[編集]ボタンをクリックします。

3 設定確認ダイアログボックスが表示されます。

以降、画面の指示に従い、必要に応じて設定を変更します。

メモ

- 各設定方法については、「カスタム用紙の追加」 →P.545 の手順5〜15を参照してください。

カスタム用紙の書き出し

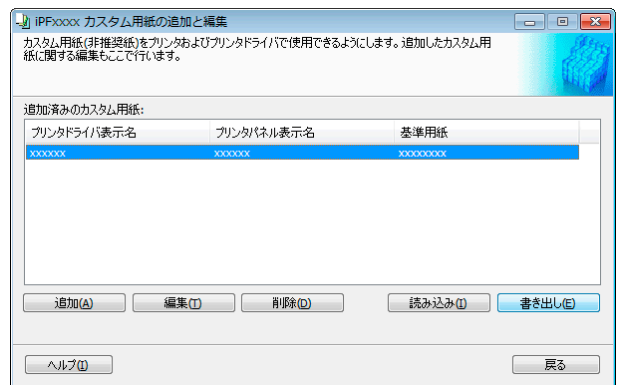
追加済みのカスタム用紙の用紙情報を、ファイルに書き出し、保存することができます。
保存されたカスタム用紙情報ファイルは、別のプリンタやコンピュータに読み込んで使用することができます。「カスタム用紙の読み込み」について詳しくは、「カスタム用紙の読み込み」 →P.553 を参照してください。

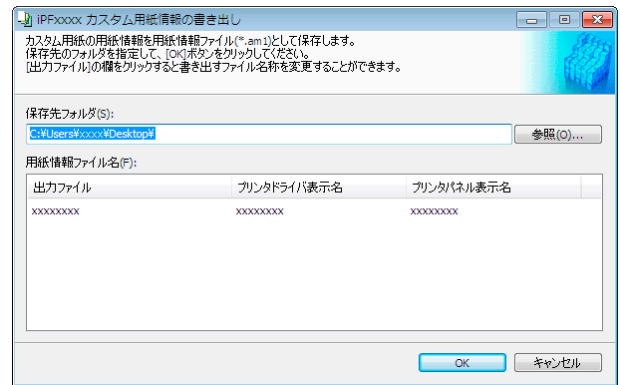
1 [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。 →P.543

2 [追加済みのカスタム用紙]のリストから、用紙情報ファイルを書き出したい用紙を選択して、[書き出し]ボタンをクリックします。

メモ

- 複数の用紙を選択することができます。

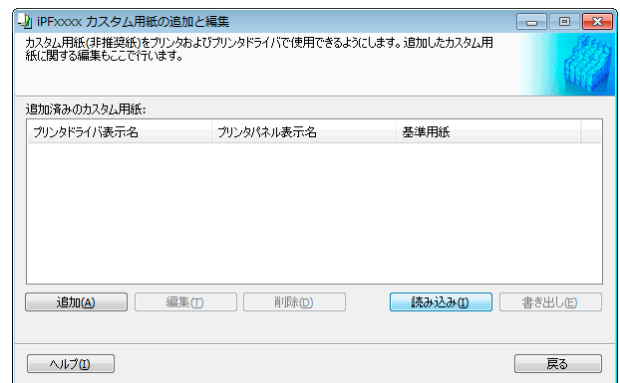
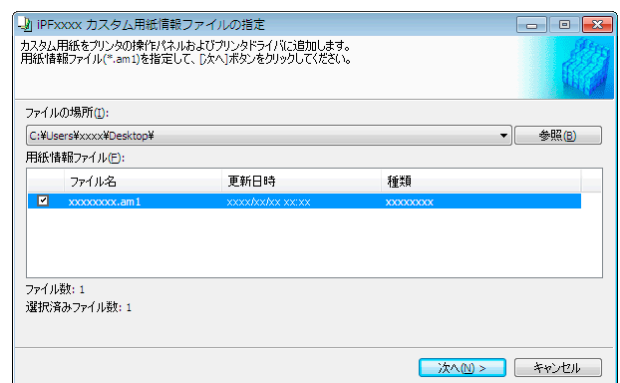
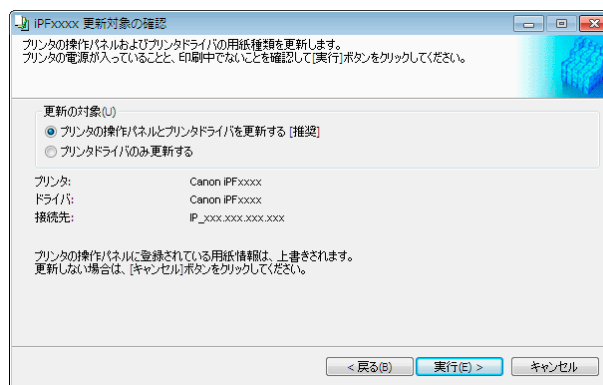
3 カスタム用紙情報ファイルの保存先を指定します。

- ファイル名を選択して編集し、ファイル名を変更することができます。
  カスタム用紙情報ファイル(.am1 ファイル)が保存されます。

カスタム用紙の読み込み

フォルダに保存されているカスタム用紙情報ファイルを読み込んで、プリンタの操作パネルやお使いのコンピュータのプリンタドライバに追加することができます。

1 [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開きます。

- [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。 →P.543

2 [読み込み]ボタンをクリックします。

3 読み込むカスタム用紙情報ファイル(.am1 ファイル)を選択します。

4 [更新対象の確認]ダイアログボックスが開きます。
[実行]ボタンをクリックします。

メモ

- 通常は、[プリンタの操作パネルとプリンタドライバを更新する]を選択してください。
  プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバにカスタム用紙が追加されます。
- カスタム用紙がプリンタドライバに正しく追加されると、Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]で開く[用紙種類の編集]ダイアログボックスに、追加したカスタム用紙名称が表示されます。
- カスタム用紙を読み込んだら、そのカスタム用紙で用紙の送り量を調整してください。用紙の送り量を調整する方法について詳しくは、「横スジを自動で調整する」を参照してください。→P.735

注意事項

キヤノン純正紙/出力確認紙以外のカスタム用紙をプリンタドライバおよびプリンタ本体に追加する場合は、以下の点にご注意ください。

カッターについて

- 用紙によっては、カッターユニットでカットできないものや、カッターの劣化を早めたりカッターを損傷させるものがあります。厚い用紙や硬い用紙などはカッターユニットを使用せず、印刷後にロール紙をはさみなどでカットしてください。この場合は、[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[オートカット設定]で[ユーザーカット]を選択してください。

メモ

- カッターが故障した場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
- ロール紙のカット方法について詳しくは、「ロール紙のカット方法を設定する」を参照してください。→P.496

プリントヘッドについて

- 印刷したときにプリントヘッドが用紙にこすれると、プリントヘッドの故障につながることがあります。プリントヘッドがこすれる場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[吸着力]を以下のように設定してください。
  - 厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合:[やや強い]または[強い]に設定
  - トレーシングペーパー(CAD)のようにフィルムベースの場合:[標準]、[やや強い]または[強い]に設定
  - 厚さが 0.1mm 以下の薄い用紙の場合:[弱い]に設定

メモ

- [吸着力]を変更してもこすれる場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[ヘッド高さ]を高く設定してください。
- プリントヘッドがこすれる場合の対応については、「プリントヘッドが用紙にこすれる」を参照してください。→P.875

フチなし印刷について

- インクの乾きが悪い用紙にフチなし印刷する場合、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、正しくカットできないことがあります。このような場合は[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[インク乾燥時間]で、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定してください。
  また、カッターでうまく用紙がカットできない場合は、[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットしてください。

印刷品位について

- 画像の端部がぼやける場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[吸着力]を弱く設定してください。
- 線がゆがんだりかすれたりする場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[ヘッド高さ]を低く設定してください。
- インクの使用量が多すぎると印刷物にしわがよったり、インクがにじんだりする場合があります。またインクの使用量が少なすぎると、発色が悪くなったり、線がかすれることがあります。そのような場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスでインクの使用量を変更してください。
- 印刷物に色味の違う横スジが入る場合は、[Step4 紙送り調整]ダイアログボックスの[紙送り調整]を実行してください。[紙送り調整]をすでに実行済みの場合は、プリンタの操作パネルで[紙送り微調整]を実行し、用紙の送り量を微調整してください。

メモ

- [紙送り微調整]について詳しくは、「用紙の送り量を微調整する」を参照してください。→P.738
- [紙送り微調整]を実行しても横スジが入る場合は、「困ったときには」の「色味の違うスジが入る」を参照してください。(「色味の違うスジが入る」参照) →P.878

- 十分な印刷品位が得られない場合は、インク最大使用量を変更したり、[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスでカスタム用紙の基準とする用紙の種類を変更してください。
- 印刷物に光沢感がない場合は、カスタム用紙の基準とする用紙に、黒インクにフォトインクを使用する用紙を選択してください。
使用する黒インクの種類は、[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスの各用紙種類の右側に表示されています。

メモ

- 印刷品質のトラブルについては、「印刷品質のトラブル」を参照してください。→P.875

色味について

- Media Configuration Tool では色味の設定はできません。色味の調整が必要な場合は、お使いの用紙に合ったICC カラープロファイルを用意して、ソフトウエアでその ICC カラープロファイルを指定してください。プリンタドライバで ICC カラープロファイルを指定する方法について詳しくは、「マッチングシート」を参照してください。 →P.171
- カスタム用紙は、カラーマッチング方法のモニタマッチングは使用できません。

Media Configuration Tool (Mac OS X)

Media Configuration Tool の特長 556
インストール手順 557
アンインストール手順 559
起動方法 561
Media Configuration Tool メインウィンドウ 562
純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する 563
用紙種類の追加 564
用紙名称の変更 567
追加した用紙種類の削除 569
用紙種類の表示/非表示を切り替える 570
用紙種類の表示順序を変更する 572
純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する 573
使用できる用紙 575
カスタム用紙の追加 575
カスタム用紙の削除 581
カスタム用紙の編集 582
カスタム用紙の書き出し 583
カスタム用紙の読み込み 584
注意事項 585

Media Configuration Tool の特長

imagePROGRAF では、高品位な印刷結果が得られるよう、用紙ごとに最適なプリンタ設定が用紙情報ファイルとしてまとめられています。キヤノン純正紙とキヤノン出力確認紙については、キヤノンよりその用紙情報ファイルが提供されます。

メモ

- キヤノン純正紙やキヤノン出力確認紙は、用紙リファレンスガイドに記載されている用紙です。それ以外の用紙をカスタム用紙と呼びます。

Media Configuration Tool では以下のようなことができます。

- プリンタがサポートする用紙が新たに追加されたとき、キヤノンより提供されたその用紙の用紙情報ファイルを使って、その用紙種類をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加できます。
- キヤノン純正紙や出力確認紙の用紙情報ファイルをカスタマイズして、カスタム用紙（キヤノン純正紙や出力確認紙のいずれにも該当しない用紙）の用紙情報ファイルを作成し、その用紙種類をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加できます。
また、作成した用紙情報ファイルを他のコンピュータやプリンタで読み込んで、読み込んだコンピュータのプリンタドライバやプリンタに用紙種類を追加することもできます。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバのダイアログボックスで使用される用紙種類の表示順や用紙名称を変更できます。

重要

- User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールすると、通常 Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。さらに新たな用紙情報を追加したり、既存の用紙情報を編集したい方は、このソフトウェアをお使いください。
- Media Configuration Tool による用紙情報の管理はプリンタの管理者が行ってください。

Media Configuration Tool が適用されるドライバ

- imagePROGRAF プリンタドライバ

インストール手順

新しいバージョンの Media Configuration Tool のインストーラを起動して Media Configuration Tool をインストールする手順は、以下のとおりです。

重要

- User Software CD-ROM からプリンタドライバをインストールすると、Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。そのため通常は、以下の手順を行う必要はありません。キヤノンのホームページから新しいバージョンの Media Configuration Tool をダウンロードした場合など、User Software CD-ROM を使わずに Media Configuration Tool をインストールする場合は、以下の手順で行ってください。

1 [MCT Installer iPFxxxx for X]アイコンを開き、Media Configuration Tool のインストーラを起動します。

メモ

- アイコンの[iPFxxxx]はご使用のプリンタ名になります。

2 管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

iPFXXXX MCT Installer X が変更を加えようとしています。 これを許可するには、パスワードを入力してください。

名前：

パスワード：

キャンセル　OK

3 プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

Media Configuration Toolは各国または地域においてキヤノンが推奨する標準的な用紙種類の設定を、以下に対して適用します。
・プリンタ
・プリンタドライバ
・関連ソフトウェア

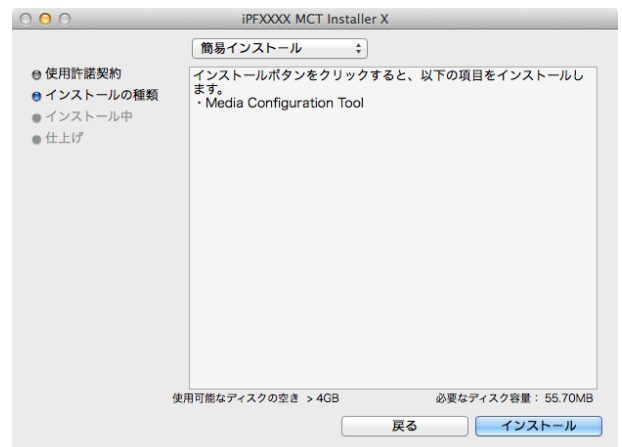
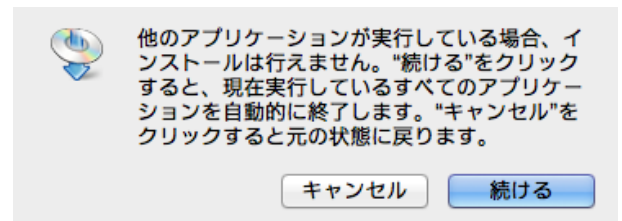
プリンタを使用する国または地域を選択してください。

- 日本
- アメリカ
- 欧州
- アジア
- オセアニア

OK

4 ［使用許諾契約］が表示されます。
ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、［続ける］ボタンをクリックします。

5 ［同意します］ボタンをクリックします。

6 ［簡易インストール］を選択して、［インストール］ボタンをクリックします。

7 他のアプリケーションを終了するために、［続ける］ボタンをクリックします。

8 以下のメッセージが表示されたら、[終了]ボタンをクリックします。

Media Configuration Tool のインストールが終了します。

メモ

- インストールが正常に終了すると、以下のフォルダに[Media Configuration Tool]フォルダが保存されます。
  [アプリケーション] > [Canon Utilities] > [iPFxxxx Media Configuration Tool]
- 上記フォルダの[iPFxxxx]の部分はご使用のプリンタ名になります。

アンインストール手順

1 [MCT Installer iPFxxxx for X]アイコンを開き、Media Configuration Tool のインストーラを起動します。

メモ

- アイコンの[iPFxxxx]はご使用のプリンタ名になります。

2 管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

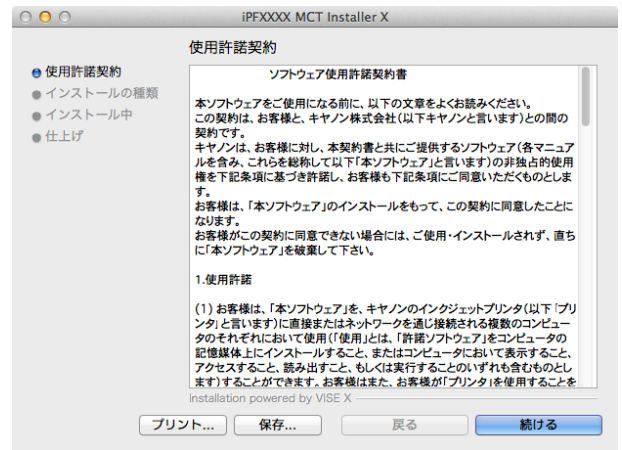
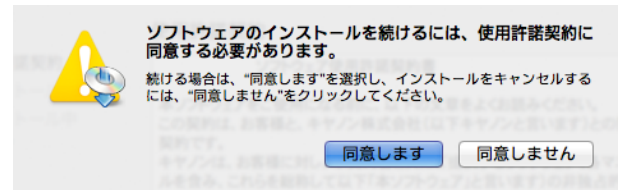
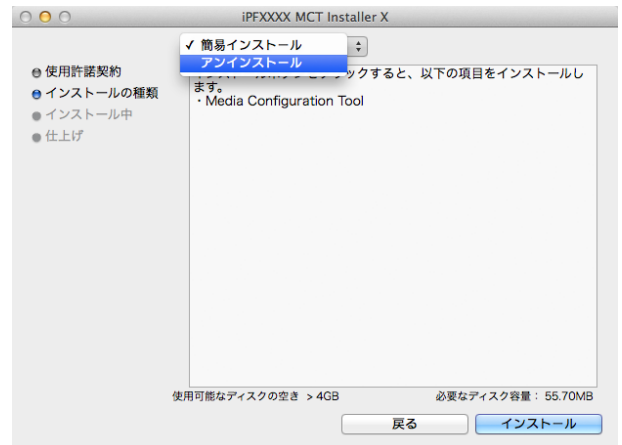
3 プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

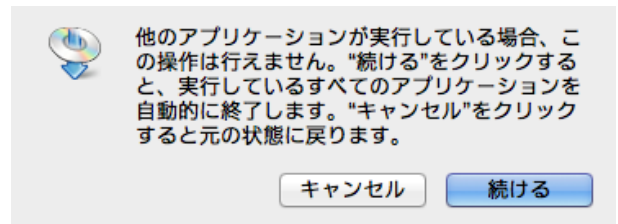
Media Configuration Toolは各国または地域においてキヤノンが推奨する標準的な用紙種類の設定を、以下に対して適用します。
・プリンタ
・プリンタドライバ
・関連ソフトウェア

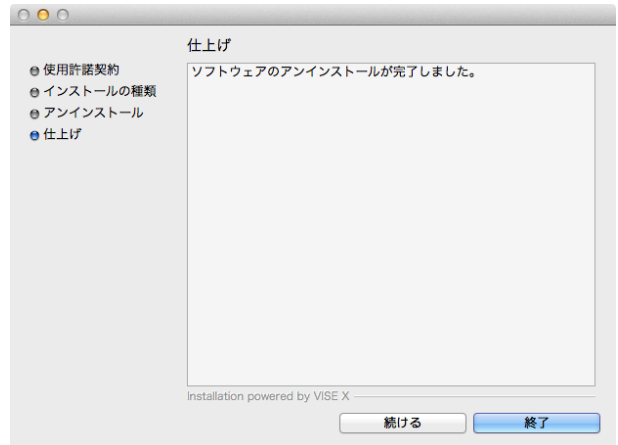
プリンタを使用する国または地域を選択してください。

- (●) 日本
- ( ) アメリカ
- ( ) 欧州
- ( ) アジア
- ( ) オセアニア

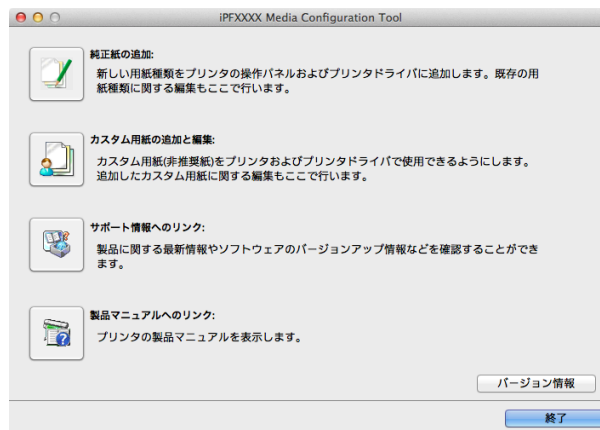
OK

4 ［使用許諾契約］が表示されます。
ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、［続ける］ボタンをクリックします。

5 ［同意します］ボタンをクリックします。

6 ［アンインストール］を選択します。

7 ［アンインストール］ボタンをクリックします。

8 他のアプリケーションが実行されている場合は、[続ける]ボタンをクリックします。

9 以下のメッセージが表示されたら、[終了]ボタンをクリックします。

Media Configuration Tool のアンインストールが終了します。

起動方法

Media Configuration Tool を起動する手順は、以下のとおりです。
[アプリケーション]メニューから[Canon Utilities] > [iPFxxxx Media Configuration Tool] > [MCTxxxx.app]を選択します。
Media Configuration Tool メインウィンドウが表示されます。

メモ

- 対象機種のプリンタドライバがインストールされていない場合、Media Configuration Tool は起動しません。プリンタドライバがインストールされていない状態で Media Configuration Tool を起動すると、以下の警告メッセージが表示されます。

Media Configuration Tool メインウィンドウ

ここでは、Media Configuration Tool メインウィンドウについて説明しています。

メモ

- Media Configuration Tool メインウィンドウを開く手順について詳しくは、「起動方法」を参照してください。 →P.561

- [純正紙の追加]ボタン

  ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示され、キヤノンよりリリースされた用紙情報ファイル(Media Information File)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録することができます。名称変更や表示/非表示の切り替え、追加した用紙種類の削除も可能です。

  キヤノン純正紙やカスタム用紙の表示順序を変更することもできます。

  [純正紙の追加]について詳しくは、純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する →P.563 を参照してください。

- [カスタム用紙の追加と編集]ボタン

  ボタンをクリックすると、[カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスが表示され、カスタム用紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加することができます。

  [カスタム用紙の追加と編集]について詳しくは、純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する →P.573 を参照してください。

- [サポート情報へのリンク]ボタン

  [imagePROGRAF サポート情報]が開きます。製品に関する最新情報やソフトウェアのバージョンアップ情報などを確認することができます。

- [製品マニュアルへのリンク]ボタン

  ボタンをクリックすると、ユーザーズガイドを表示します。この機能を使用するには、お使いのコンピュータにユーザーズガイドがインストールされている必要があります。

純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する

純正紙や出力確認紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加したり、用紙種類情報を編集するときは、Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]ボタンをクリックします。
[プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

プリンタとの通信が開始されます。

重要
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示されます。

メモ
- これ以降、プリンタの変更はできません。

メモ
- グレーアウト表示されている用紙は、プリンタドライバまたはプリンタパネルには表示されていません。

- [追加]ボタン

  純正紙や出力確認紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加する場合、このボタンをクリックします。
  用紙種類を追加する手順について詳しくは、「用紙種類の追加」を参照してください。 →P.564

重要
- 用紙種類の追加を行う場合は、キヤノンのホームページからあらかじめ用紙情報ファイル(Media Information File / .amf ファイル)をダウンロードしておいてください。

- [名称変更]ボタン

純正紙や出力確認紙のプリンタパネル表示名やプリンタドライバ表示名を変更する場合、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

用紙の表示名を変更する手順について詳しくは、「用紙名称の変更」を参照してください。→P.567

- [削除]ボタン

追加した純正紙や出力確認紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバから削除する場合、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

追加した用紙種類を削除する手順について詳しくは、「追加した用紙種類の削除」を参照してください。→P.569

- [表示/非表示]ボタン

純正紙や出力確認紙のプリンタの操作パネルやプリンタドライバでの表示/非表示を変更する場合、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

用紙種類の表示/非表示を変更する手順について詳しくは、「用紙種類の表示/非表示を切り替える」を参照してください。→P.570

- 表示順変更ボタン（ または ）

プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバでの用紙種類の表示順を変更する場合、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

用紙種類の表示順序を変更する手順について詳しくは、「用紙種類の表示順序を変更する」を参照してください。→P.572

メモ
- 表示順序は、カスタム用紙も変更することができます。

重要
- 用紙種類情報を更新する場合は、そのプリンタを使用する他の全てのコンピュータでも同様の更新を行ってください。

メモ
- 削除、表示/非表示、表示順の変更は条件によって行うことができない場合があります。
- 表示名がグレーアウト表示されている場合は、プリンタドライバやプリンタパネルにその用紙種類は表示されていません。

用紙種類の追加

キヤノンよりリリースされた用紙情報ファイル（Media Information File / .amf ファイル）をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録します。

重要
- 用紙種類の追加を行っている間は、対象のプリンタで印刷を実行しないでください。
- 用紙情報ファイルを登録後に、プリンタドライバまたは Media Configuration Tool を再インストールすると、登録済みの用紙情報ファイルは削除されることがあります。この場合は、まず最新の Media Configuration Tool をダウンロードしてインストールし、続いて必要な用紙情報ファイルをダウンロードして登録してください。

1 ［用紙種類の編集］ダイアログボックスを開き、［追加］ボタンをクリックします。

- ［用紙種類の編集］ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.563

2 ［用紙種類の追加］ダイアログボックスが表示されます。
［参照］ボタンをクリックします。

3 用紙情報ファイル（.amf ファイル）が含まれるフォルダを開きます。

4 ［用紙種類の追加］ダイアログボックスの［用紙情報ファイル］に選択したフォルダ内の用紙情報ファイル名が表示されます。追加したい用紙のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

メモ

- ［用紙情報ファイル］の［種類］に［基本用紙情報ファイル］と表示されている場合は、用紙種類の表示順序や用紙種類の表示/非表示の設定が初期化されます。基本用紙情報ファイルの追加を行った後、再度設定しなおしてください。

5 確認画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックします。

6 ［用紙種類の編集］ダイアログボックスの［更新］ボタンをクリックします。

7 ［更新対象の確認］ダイアログボックスが表示されます。
更新の対象を設定し、［実行］ボタンをクリックします。
プリンタとの通信が開始されます。

メモ

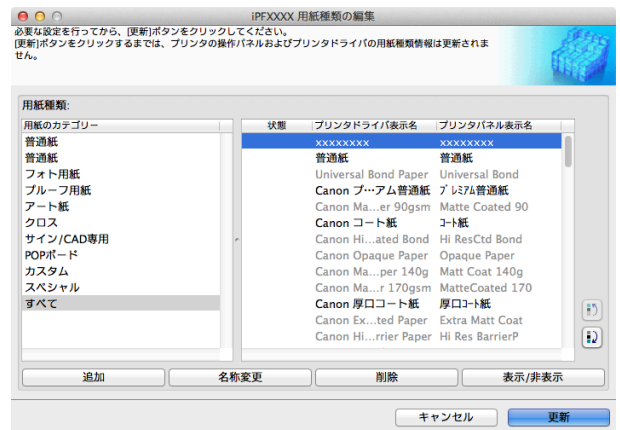
- 通常は、［プリンタの操作パネルとプリンタドライバを更新する］を選択してください。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

用紙の取り扱いと活用
Media Configuration Tool (Mac OS X)

8 [OK]ボタンをクリックします。

用紙名称の変更

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

- [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.563

2 [用紙種類]のリストから、名称を変更したい用紙を選択します。
[名称変更]ボタンをクリックします。

3 [用紙種類名称の変更]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタドライバ表示名]および[プリンタパネル表示名]を編集して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [元に戻す]ボタンをクリックすると、初期状態の名称が設定されます。
- [プリンタドライバ表示名]には、半角英数、全角カナ、全角かな、漢字、全角 Space、全角「—」、半角 Space、「-」、「.」、「_」、「()」、「+」、「%」、「,」、「/」、「[」、「]」が使用できます。半角カナ、全角英数は使用できません。
[プリンタドライバ表示名]は、2Byte 文字で 16 文字、1Byte 文字で 32 文字まで入力可能です。
- [プリンタパネル表示名]には、半角英数、半角カナ、全角かな、漢字、全角 Space、半角 Space、「-」、「.」、「_」、「()」、「+」、「%」、「,」、「/」が使用できます。全角カナ、全角英数は使用できません。
[プリンタパネル表示名]は、2Byte 文字で 8 文字、1Byte 文字で 16 文字まで入力可能です。

4 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

5 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新の対象を設定し、[実行]ボタンをクリックします。
プリンタとの通信が開始されます。

メモ

- 通常は、[プリンタの操作パネルとプリンタドライバを更新する]を選択してください。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

6 [OK]ボタンをクリックします。

追加した用紙種類の削除

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.563

2 [用紙種類]のリストから、削除したい用紙を選択します。
[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- [用紙種類]のリストの[状態]に[追加]と表示されている用紙のみ削除できます。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

4 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
[実行]ボタンをクリックします。
プリンタとの通信が開始されます。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

5 [OK]ボタンをクリックします。

用紙種類の表示/非表示を切り替える

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.563

2 [用紙種類]のリストから、表示/非表示にしたい用紙を選択します。
[表示/非表示]ボタンをクリックします。
選択した用紙の表示と非表示が切り替わります。

メモ

- 複数の用紙を選択することができます。
- 非表示の用紙は、[用紙種類]のリスト上でグレーアウト表示されます。
- [表示/非表示]ボタンをクリックするごとに、プリンタドライバとプリンタパネルの両方表示→両方非表示→プリンタパネルのみ表示と切り替わります。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

4 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新の対象を設定し、[実行]ボタンをクリックします。
プリンタとの通信が開始されます。

メモ

- 通常は、[プリンタの操作パネルとプリンタドライバを更新する]を選択してください。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

5 [OK]ボタンをクリックします。

用紙種類の表示順序を変更する

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.563

2 [用紙種類]のリストから、表示順を変更したい用紙を選択して、表示順変更ボタン(または)をクリックします。
選択した行が一行ずつ上または下に移動します。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

4 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新の対象を設定し、[実行]ボタンをクリックします。
プリンタとの通信が開始されます。

メモ

- 通常は、[プリンタの操作パネルとプリンタドライバを更新する]を選択してください。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

5 [OK]ボタンをクリックします。

純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する

キヤノン純正紙や出力確認紙以外の用紙をプリンタの操作パネルやプリンタドライバに追加したり、その用紙の用紙情報ファイルの書き出しや読み込みをするときは、Media Configuration Tool メインウィンドウの[カスタム用紙の追加と編集]ボタンをクリックします。
[プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

プリンタとの通信が開始されます。
[カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- これ以降、プリンタの変更はできません。
- カスタム用紙とは、キヤノン純正紙や出力確認紙(用紙リファレンスガイドに記載されている用紙)以外の用紙です。

- [追加済みのカスタム用紙]

  追加されたカスタム用紙は、ここに表示されます。

  - [プリンタドライバ表示名]
    追加されたカスタム用紙は、プリンタドライバにこの名称で表示されます。
  - [プリンタパネル表示名]
    追加されたカスタム用紙は、プリンタの操作パネルにこの名称で表示されます。
  - [基準用紙]
    カスタム用紙を追加したとき、基準用紙として選択した用紙が表示されます。

- [追加]ボタン

  カスタム用紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに新規追加するには、このボタンをクリックします。

  カスタムを追加する手順について詳しくは、「カスタム用紙の追加」を参照してください。→P.575

- [編集]ボタン

  追加済みのカスタム用紙の設定を変更するには、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

  カスタム用紙の設定を変更する手順について詳しくは、「カスタム用紙の編集」を参照してください。→P.582

- [削除]ボタン

  追加済みのカスタム用紙をプリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバから削除するには、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

  カスタム用紙を削除する手順について詳しくは、「カスタム用紙の削除」を参照してください。→P.581

- [読み込み]ボタン

  フォルダに保存されているカスタム用紙情報ファイルを読み込んで、プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバにカスタム用紙を追加するには、このボタンをクリックします。

  カスタム用紙情報ファイルを読み込む手順について詳しくは、「カスタム用紙の読み込み」を参照してください。→P.584

- [書き出し]ボタン

  追加済みのカスタム用紙の用紙情報をファイルに書き出し保存するには、対象の用紙を選択して、このボタンをクリックします。

  カスタム用紙の用紙情報を書き出す手順について詳しくは、「カスタム用紙の書き出し」を参照してください。→P.583

重要

- カスタム用紙の追加は、あらかじめ用紙管理用のコンピュータを特定し、常にそのコンピュータで行ってください。他のコンピューターでこのカスタム用紙を使用する場合は、まず用紙管理用のコンピュータでそのカスタム用紙のカスタム用紙情報ファイル（.am1 ファイル）を書き出し、それを他のコンピュータに読み込んで使用してください。
- 対象プリンタを使用するネットワーク外で作成されたカスタム用紙情報ファイル（.am1 ファイル）を使用する場合は、まず用紙管理用のコンピュータで読み込んでください。他のコンピュータでも使用したい場合は、用紙管理用のコンピュータからあらためて書き出したカスタム用紙情報ファイル（.am1 ファイル）を読み込んで使用してください。
- 用紙管理用のコンピュータで作成されたカスタム用紙情報ファイル（.am1 ファイル）を読み込む場合は、あらかじめ用紙管理用のコンピュータに存在しないカスタム用紙は削除してください。
- カスタム用紙の削除を行った場合は、対象のプリンタを使用する他の全てのコンピュータからも同様にその用紙を削除してください。
- カスタム用紙を別のプリンタで使用する場合は、必ずそのプリンタにカスタム用紙を追加してから使用してください。

メモ

- このダイアログボックスでは、キヤノン純正紙および出力確認紙の変更は行えません。「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」 →P.563 を参照してください。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに表示されている用紙種類の表示順序を変更する場合は、キヤノン純正紙、カスタム用紙にかかわらず、[用紙種類の編集]ダイアログボックスから行います。「純正紙/出力確認紙の用紙種類情報を編集する」 →P.563 を参照してください。

使用できる用紙

用紙仕様

厚さやサイズなど、カスタム用紙として追加できる用紙の仕様は、「仕様」の「用紙」を参照してください。（「仕様」参照） →P.920

使用環境についてのご注意

低湿度環境（40%以下）では、以下のようなトラブルが発生することがあります。

- 用紙にカールやシワが発生する
- 用紙とプリントヘッドが接触しやすくなり、印地面にキズがついたり、プリントヘッドを損傷する場合がある
- カットした印刷物がプリンタにはりつき、下に落ちない（フィルム系用紙）
- 用紙がプリンタにはりつき、搬送不良となり正常に排紙されない（フィルム系用紙）
- 印刷ムラが発生する（フィルム系用紙）

高湿度環境（60%以上）では、以下のようなトラブルが発生することがあります。

- 印刷物が乾燥しない
- 用紙表面の波うち（凹凸）が激しくなる
- きれいにカットできない（クロス系用紙）
- フチなし印刷で余白が残る

重要

- カスタム用紙（キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙）の印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。

カスタム用紙の追加

カスタム用紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに新規追加するには、まずキヤノン純正紙や出力確認紙の中から基準とする用紙種類を選択します。その基準用紙に必要に応じてさまざまな設定を行った後、それをカスタム用紙として追加します。

重要

- カスタム用紙の印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。
- キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙は、用紙リファレンスガイドで推奨されている用紙種類で印刷してください。Media Configuration Tool のカスタム用紙の追加を使用した場合は、印刷品位および紙搬送性は保証できません。
- カスタム用紙の追加を行っている間は、対象のプリンタで印刷を実行しないでください。
- カスタム用紙の追加を行う場合は、「使用できる用紙」 →P.575 で、追加可能な用紙の仕様を確認してください。

1 [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、｢純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する｣を参照してください。 →P.573

2 [追加]ボタンをクリックします。

3 [Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスが表示されます。[用紙のカテゴリー]で、追加するカスタム用紙の基準とする用紙種類のカテゴリーを選択します。

重要

- 追加するカスタム用紙に最も近いと思われるカテゴリーを選択してください。

4 [用紙種類名]に、選択したカテゴリー中の、キヤノン純正紙および出力確認紙の用紙種類名が表示されます。カスタム用紙の基準とする用紙種類を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- カスタム用紙の基準とする用紙種類が分からない場合は、[アシスト]ボタンをクリックして、[用紙種類選択アシスト]ダイアログボックスを開き、[重さ（坪量）]または[厚さ]を設定してください。選択した用紙のカテゴリーの中から適切なものをMedia Configuration Toolが自動で選択します。または、表示されている[用紙種類名]の中から、[汎用]と書かれている用紙種類を選択してください。
- 選択したカテゴリーによっては、[汎用]と書かれている用紙種類はありません。
- 選択したカテゴリーによっては、[アシスト]ボタンは無効です。

5 [Step2 カスタム用紙名称の設定]ダイアログボックスが表示されます。
プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバで表示させる任意の名称を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- 選択した基準用紙によっては、[プリンタドライバ表示名]が入力できず、作成したカスタム用紙はプリンタドライバには追加されません。カスタム用紙をプリンタドライバで使用する場合は、基準用紙を別の用紙に変更して作成してください。
- [プリンタドライバ表示名]には、半角英数、全角カナ、全角かな、漢字、全角 Space、全角「—」、半角 Space、「-」、「.」、「_」、「()」、「+」、「%」、「,」、「/」、「[」、「]」が使用できます。半角カナ、全角英数は使用できません。
[プリンタドライバ表示名]は、2Byte 文字で 16 文字、1Byte 文字で 32 文字まで入力可能です。
- [プリンタパネル表示名]には、半角英数、半角カナ、全角かな、漢字、全角 Space、半角 Space、「-」、「.」、「_」、「()」、「+」、「%」、「,」、「/」が使用できます。全角カナ、全角英数は使用できません。
[プリンタパネル表示名]は、2Byte 文字で 8 文字、1Byte 文字で 16 文字まで入力可能です。
- [用紙名称（英語）]は、ロール紙残量管理やステータスプリントなどで使用されます。
[用紙名称（英語）]は、1Byte 文字で 16 文字まで入力可能です。

6 プリンタにカスタム用紙をセットした後、[OK]ボタンをクリックします。

重要

- カールしている用紙や、一度印刷した用紙をセットしないでください。

7 [Step3 給紙方法の設定]ダイアログボックスが表示されます。カスタム用紙をセットした給紙口を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

8 [Step4 紙送り調整]ダイアログボックスが表示されます。[実行]ボタンをクリックして、紙送り調整を実行します。
調整パターンが印刷され、印刷結果をもとに用紙の送り量が自動的に調整されます。
紙送り調整が終了したら、[次へ]ボタンをクリックします。

重要
- 排紙ガイド上に用紙が残っていないことを確認してください。
- [紙送り調整]を実行しない場合、印刷物に色味の違う横スジが入ることがあります。紙送り調整は、二度以上実行する必要はありません。カスタム用紙を 1 つ追加するごとに、一度だけ実行してください。

9 [ロール紙の設定]ダイアログボックスが表示されます。

メモ
- [Step3 給紙方法の設定]ダイアログボックスで、[ロール紙]以外の給紙方法を選択した場合は、この画面は表示されません。

必要に応じて以下を設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

設定項目	内容
[オートカット設定]	印刷後、排紙したときのロール紙のカット方法を設定します。 • [自動カット]:カッターユニットでロール紙を自動的にカットします。 • [イジェクトカット]:プリンタの操作パネルで[用紙カット]キーを押すと、カッターユニットでロール紙をカットします。インクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。 • [ユーザーカット]:カッターユニットではカットしません。1 枚ずつはさみでロール紙をカットしてください。カッターユニットでカットできない用紙の場合に選択します。
[インク乾燥時間]	インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。 • [オフ]:印刷終了後、すぐに排紙されます。 • [30 秒/1 分/3 分/5 分/10 分/30 分/60 分]:印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。
[フチなし印刷]	フチなし印刷を許可するかしないかを設定します。 • [許可する]:フチなし印刷を許可します。 • [許可しない]:フチなし印刷を許可しません。

重要

- 用紙によっては、カッターユニットでカットできないものや、カッターの劣化を早めたりカッターを損傷させるものがあります。厚い用紙や硬い用紙などはカッターユニットを使用せず、印刷後にロール紙をはさみなどでカットしてください。この場合は、[オートカット設定]で[ユーザーカット]を選択してください。
- インクの乾きが悪い用紙にフチなし印刷する場合、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、正しくカットできないことがあります。このような場合は[インク乾燥時間]で、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定してください。また、カッターでうまく用紙がカットできない場合は、[オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットしてください。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。「使用できる用紙」→P.575 を参照してください。
- [オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定する必要があるカスタム用紙は、[フチなし印刷]は[許可しない]を設定してください。

10 [Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスが表示されます。
この画面では、カスタム用紙への印刷に使用するインク量の上限を、複数のレベルの中から選択し設定します。
まず[試し印刷]ボタンをクリックして各レベルの試し印刷を行います。

メモ

- 手順5の画面で、[プリンタドライバ表示名]が表示されない基準用紙を選択した場合は、インク最大使用量の試し印刷および設定はできません。

11 [試し印刷の設定]ダイアログボックスが表示されます。
[優先画質]と[印刷品質]で、試し印刷の優先画質と印刷品質を選択します。
[インク最大使用量]で試し印刷するレベルを、[試し印刷に使用する画像]で使用する画像を設定し、[印刷開始]ボタンをクリックします。

12 インクのにじみやかすれがないか、試し印刷の結果を見て最もよいと思われるインク量レベルを判断し、設定します。

メモ

- ヘルプを参考にして、最適なインク量レベルを判断してください。
- どのインク最大使用量を選択しても、十分な印刷品位が得られない場合は、カスタム用紙の基準とする用紙を[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスで別の用紙に変更して設定をやり直してください。
- 印刷に使用するインク量の上限を設定するため、画像によってはレベルを変更しても印刷結果が変わらないことがあります。
- Media Configuration Tool では色味の設定はできません。インク最大使用量を変更すると色味が変わることがありますが、ここではインクのにじみやかすれがないかにのみ着目して最適なレベルを選択してください。色味の調整が必要な場合は、お使いの用紙に合った ICC プロファイルを用意して、ソフトウエアでその ICC プロファイルを指定してください。プリンタドライバで ICC プロファイルを指定する方法について詳しくは、「マッチングシート」を参照してください。 →P.171
- インク最大使用量の設定によっては、プリンタドライバの一部の印刷品質が選択できなくなることがあります。

13 [ヘッド高さ]と[吸着力]を必要に応じて設定し、[次へ]ボタンをクリックします。
通常は設定する必要はありません。

重要

- [ヘッド高さ]を自動で設定された( )内の高さより低くする場合は、用紙にこすれないことを確認してください。(プリントヘッドが用紙にこすれると印刷結果に傷が入ります。)プリントヘッドが用紙にこすれるとプリントヘッドの故障につながることがあります。
- [吸着力]を変更する場合は、プリントヘッドが用紙にこすれないことを確認してください。(プリントヘッドが用紙にこすれると印刷結果に傷が入ります。)プリントヘッドが用紙にこすれるとプリントヘッドの故障につながることがあります。
- [ヘッド高さ]と[吸着力]について詳しくは、ヘルプを参照してください。

14 [Step6 設定内容の確認]ダイアログボックスが表示されます。
カスタム用紙の設定内容を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

15 [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新対象を確認し、[実行]ボタンをクリックします。

プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバにカスタム用紙が追加されます。

- [POP ボード/厚紙]カテゴリーの用紙を基準用紙としてカスタム用紙を追加した場合は、セットしたカスタム用紙をプリンタから取り外してください。

- カスタム用紙がプリンタドライバに正しく追加されると、Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]で開く[用紙種類の編集]ダイアログボックスに、追加したカスタム用紙名称が表示されます。

カスタム用紙の削除

追加済みのカスタム用紙を、プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバから削除することができます。

1 [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開きます。

- [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。 →P.573

2 ［追加済みのカスタム用紙］のリストから、削除したい用紙を選択して、［削除］ボタンをクリックします。

メモ

- 複数の用紙を選択することができます。

3 ［更新対象の確認］ダイアログボックスが表示されます。
更新対象を確認し、［実行］ボタンをクリックします。

プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバから、カスタム用紙が削除されます。

カスタム用紙の編集

追加済みのカスタム用紙の設定を変更することができます。

1 ［カスタム用紙の追加と編集］ダイアログボックスを開きます。

メモ

- ［カスタム用紙の追加と編集］ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。 →P.573

2 ［追加済みのカスタム用紙］のリストから、編集したい用紙を選択して、［編集］ボタンをクリックします。

3 設定確認ダイアログボックスが表示されます。

以降、画面の指示に従い、必要に応じて設定を変更します。

メモ

- 各設定方法については、「カスタム用紙の追加」 →P.575 の手順 5～15 を参照してください。

カスタム用紙の書き出し

追加済みのカスタム用紙の用紙情報を、ファイルに書き出し、保存することができます。
保存されたカスタム用紙情報ファイルは、別のプリンタやコンピュータに読み込んで使用することができます。「カスタム用紙の読み込み」について詳しくは、「カスタム用紙の読み込み」 →P.584 を参照してください。

1 [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。 →P.573

2 [追加済みのカスタム用紙]のリストから、用紙情報ファイルを書き出したい用紙を選択して、[書き出し]ボタンをクリックします。

メモ

- 複数の用紙を選択することができます。

3 カスタム用紙情報ファイルの保存先を指定します。

メモ

- ファイル名を選択して編集し､ファイル名を変更することができます。
  カスタム用紙情報ファイル(.am1 ファイル)が保存されます。

カスタム用紙の読み込み

フォルダに保存されているカスタム用紙情報ファイルを読み込んで､プリンタの操作パネルやお使いのコンピュータのプリンタドライバに追加することができます。

1 [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [カスタム用紙の追加と編集]ダイアログボックスを開く手順について詳しくは､｢純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する｣を参照してください。 →P.573

2 [読み込み]ボタンをクリックします。

3 読み込むカスタム用紙情報ファイル(.am1 ファイル)を選択します。

[更新対象の確認]ダイアログボックスが開きます。
[実行]ボタンをクリックします。

- 通常は、[プリンタの操作パネルとプリンタドライバを更新する]を選択してください。
  プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバにカスタム用紙が追加されます。
- カスタム用紙がプリンタドライバに正しく追加されると、Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]で開く[用紙種類の編集]ダイアログボックスに、追加したカスタム用紙名称が表示されます。
- カスタム用紙を読み込んだら、そのカスタム用紙で用紙の送り量を調整してください。用紙の送り量を調整する方法について詳しくは、「横スジを自動で調整する」を参照してください。 →P.735

注意事項

キヤノン純正紙/出力確認紙以外のカスタム用紙をプリンタドライバおよびプリンタ本体に追加する場合は、以下の点にご注意ください。

カッターについて

- 用紙によっては、カッターユニットでカットできないものや、カッターの劣化を早めたりカッターを損傷させるものがあります。厚い用紙や硬い用紙などはカッターユニットを使用せず、印刷後にロール紙をはさみなどでカットしてください。この場合は、[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[オートカット設定]で[ユーザーカット]を選択してください。

- カッターが故障した場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
- ロール紙のカット方法について詳しくは、「ロール紙のカット方法を設定する」を参照してください。 →P.496

プリントヘッドについて

- 印刷したときにプリントヘッドが用紙にこすれると、プリントヘッドの故障につながることがあります。プリントヘッドがこすれる場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[吸着力]を以下のように設定してください。
  - 厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合:[やや強い]または[強い]に設定
  - トレーシングペーパー(CAD)のようにフィルムベースの場合:[標準]、[やや強い]または[強い]に設定
  - 厚さが 0.1mm 以下の薄い用紙の場合:[弱い]に設定

- [吸着力]を変更してもこすれる場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[ヘッド高さ]を高く設定してください。
- プリントヘッドがこすれる場合の対応については、「プリントヘッドが用紙にこすれる」を参照してください。 →P.875

フチなし印刷について

- インクの乾きが悪い用紙にフチなし印刷する場合、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、正しくカットできないことがあります。このような場合は[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[インク乾燥時間]で、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定してください。
  また、カッターでうまく用紙がカットできない場合は、[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットしてください。

印刷品位について

- 画像の端部がぼやける場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[吸着力]を弱く設定してください。
- 線がゆがんだりかすれたりする場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[ヘッド高さ]を低く設定してください。
- インクの使用量が多すぎると印刷物にしわがよったり、インクがにじんだりする場合があります。またインクの使用量が少なすぎると、発色が悪くなったり、線がかすれることがあります。そのような場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスでインクの使用量を変更してください。
- 印刷物に色味の違う横スジが入る場合は、[Step4 紙送り調整]ダイアログボックスの[紙送り調整]を実行してください。[紙送り調整]をすでに実行済みの場合は、プリンタの操作パネルで[紙送り微調整]を実行し、用紙の送り量を微調整してください。

メモ

- [紙送り微調整]について詳しくは、「用紙の送り量を微調整する」を参照してください。 →P.738
- [紙送り微調整]を実行しても横スジが入る場合は、「困ったときには」の「色味の違うスジが入る」を参照してください。（「色味の違うスジが入る」参照） →P.878

- 十分な印刷品位が得られない場合は、インク最大使用量を変更したり、[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスでカスタム用紙の基準とする用紙の種類を変更してください。
- 印刷物に光沢感がない場合は、カスタム用紙の基準とする用紙に、黒インクにフォトインクを使用する用紙を選択してください。
  使用する黒インクの種類は、[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスの各用紙種類の右側に表示されています。

メモ

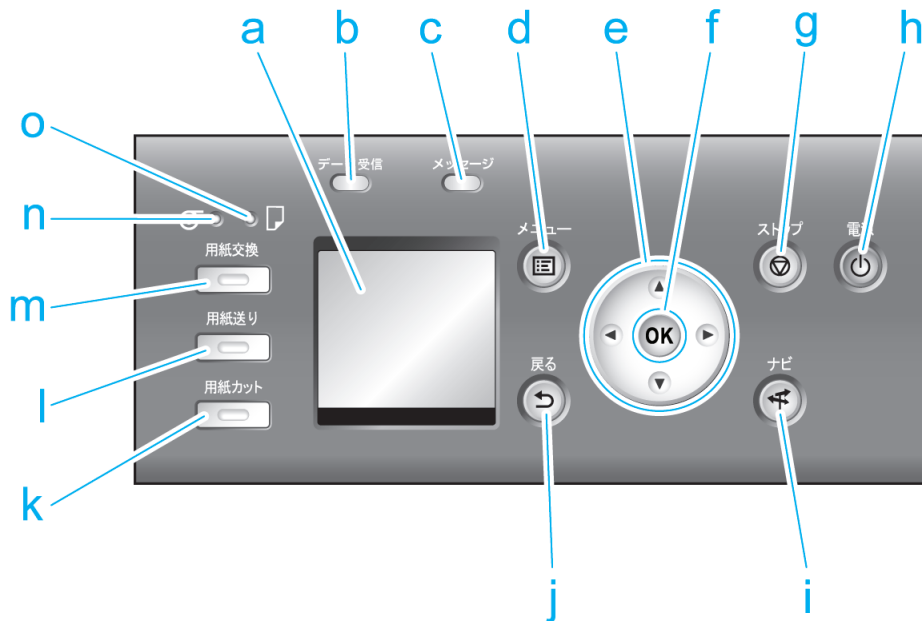
- 印刷品質のトラブルについては、「印刷品質のトラブル」を参照してください。 →P.875

色味について

- Media Configuration Tool では色味の設定はできません。色味の調整が必要な場合は、お使いの用紙に合ったICC カラープロファイルを用意して、ソフトウエアでその ICC カラープロファイルを指定してください。プリンタドライバで ICC カラープロファイルを指定する方法について詳しくは、「マッチングシート」を参照してください。 →P.171
- カスタム用紙は、カラーマッチング方法のモニタマッチングは使用できません。

操作とディスプレイ

操作パネル 588
操作パネルのディスプレイ 589
ナビの見かた 593
ガイダンスを見ながら操作する 594

操作パネル

a ディスプレイ

プリンタのメニュー、状態、またはメッセージが表示されます。

b ［データ受信ランプ］（緑）

- 点滅

印刷しているときは、印刷ジョブの受信中または処理中を示します。印刷していないときは、印刷ジョブの一時停止中またはファームウェアのデータの受信中を示します。

- 消灯

印刷ジョブがない状態を示します。

c ［メッセージランプ］（オレンジ）

- 点灯

警告メッセージの表示中を示します。

- 点滅

エラーメッセージの表示中を示します。

- 消灯

正常または電源がオフの状態を示します。

d ［メニュー］キー

［タブ選択画面］が表示されます。（「メニューの設定値」参照） →P.605

e 方向キー

- ［◀］キー

［タブ選択画面］でこのキーを押すと、タブを移動します。
数値を入力するメニューのときに、数値の桁を移動します。

- ［▲］キー

メニュー内でこのキーを押すと、次の項目または設定値が表示されます。

- [▶]キー

  [タブ選択画面]でこのキーを押すと、タブを移動します。
  数値を入力するメニューのときに、数値の桁を移動します。

- [▼]キー

  メニュー内でこのキーを押すと、次の項目または設定値が表示されます。

f [OK]キー

[タブ選択画面]でこのキーを押すと、表示されているタブのメニューが表示されます。
各タブのメニューで、メニューの左側に ⊞ がある項目でこのキーを押すと、メニュー項目の下の階層に移動し、メニュー項目の実行や値の設定を行うことができます。
ディスプレイに[OK]キーを押すメッセージが表示された場合も、このキーを押します。

g [ストップ]キー

処理中のジョブや実行中のインク乾燥を中止します。

h [電源]キー(緑)

プリンタの電源をオン/オフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.21
電源がオンまたはスリープ状態のとき、[電源]キーが点灯します。

i [ナビ]キー

用紙のセット/取り外し方法、インクタンクの交換方法、プリントヘッドの交換方法などの手順を確認できます。(「ナビの見かた」参照) →P.593

j [戻る]キー

現在表示している画面の 1 つ前の画面が表示されます。

k [用紙カット]キー

操作パネルのメニューで[カットモード]が[自動カット]または[イジェクトカット]に設定されていて、ロール紙がセットされているときにこのキーを押すと、用紙をカットします。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496

l [用紙送り]キー

ロール紙がセットされているときにこのキーを押すと、用紙の位置を変更できます。(「ロール紙を手動で送る」参照) →P.493

m [用紙交換]キー

用紙をセット/交換するときに、このキーを押します。
(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483
(「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505

n [ロール紙ランプ](緑)

給紙元にロール紙が選択されているときに点灯します。

o [カット紙ランプ](緑)

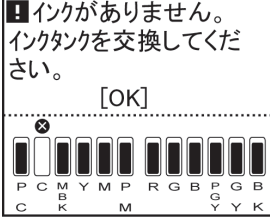
給紙元にカット紙が選択されているときに点灯します。

メモ

- スリープ中は、操作パネルのいずれかのキーを押すとスリープ状態から復帰します。

操作パネルのディスプレイ

プリンタが起動すると、ディスプレイには[タブ選択画面]が表示されます。
タブは 4 種類あり、それぞれのタブに関連する状態、メニュー、エラーの情報が表示されます。

タブの種類

[タブ選択画面]には 4 つのタブがあります。タブはディスプレイの上段にアイコンとして表示されます。[◀]キーまたは[▶]キーでタブを移動します。

用紙タブ	用紙に関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[用紙メニュー]が表示されます。
 印刷可能です [OK]=用紙メニュー ◎普通紙 ISO A2 ロール	• ディスプレイ上段 用紙のアイコンが反転表示されます。 • ディスプレイ中段 プリンタの状態とメニュー名が表示されます。 • ディスプレイ下段 1 段目に用紙の種類、2 段目に用紙のサイズが表示されます。

インクタブ	インクに関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[インクメニュー]が表示されます。
	• ディスプレイ上段 インクのアイコンが反転表示されます。 • ディスプレイ中段 プリンタの状態とメニュー名が表示されます。 • ディスプレイ下段 現在セットされているインクの残量が表示されます。(「インクタンクの残量を確認する」参照) →P.828

ジョブタブ	印刷ジョブに関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[ジョブメニュー]が表示されます。
 印刷可能です [OK]=ジョブメニュー	• ディスプレイ上段 ジョブのアイコンが反転表示されます。 • ディスプレイ中段 プリンタの状態とメニュー名が表示されます。

設定/調整タブ	設定/調整に関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[設定/調整メニュー]が表示されます。
 印刷中 [OK]=設定/調整メニュー メンテナンスC残量: 100% 総印刷面積(m2): 678	• ディスプレイ上段 設定/調整のアイコンが反転表示されます。 • ディスプレイ中段 プリンタの状態とメニュー名が表示されます。 • ディスプレイ下段 1 段目にメンテナンスカートリッジの残り容量、2 段目に[総印刷面積]が表示されます。[総印刷面積]の表示単位は[長さの単位]メニューで設定できます。(「メニューの設定値」参照) →P.605

状態の種類

プリンタの状態には、以下の 5 種類があります。

[スタンバイ]	プリンタがコンピュータからの印刷ジョブを受信できる状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信すると、すぐに印刷を開始します。
 ◎普通紙 ISO A2 ロール	

[印刷一時停止]

プリンタが印刷を一時停止している状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信しても、印刷せずに待機します。

[印刷]

プリンタが印刷ジョブを印刷している状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信すると、現在印刷中の印刷ジョブを印刷後、印刷を開始します。画面の右上には、印刷の残り時間（10 時間未満）が表示されます。

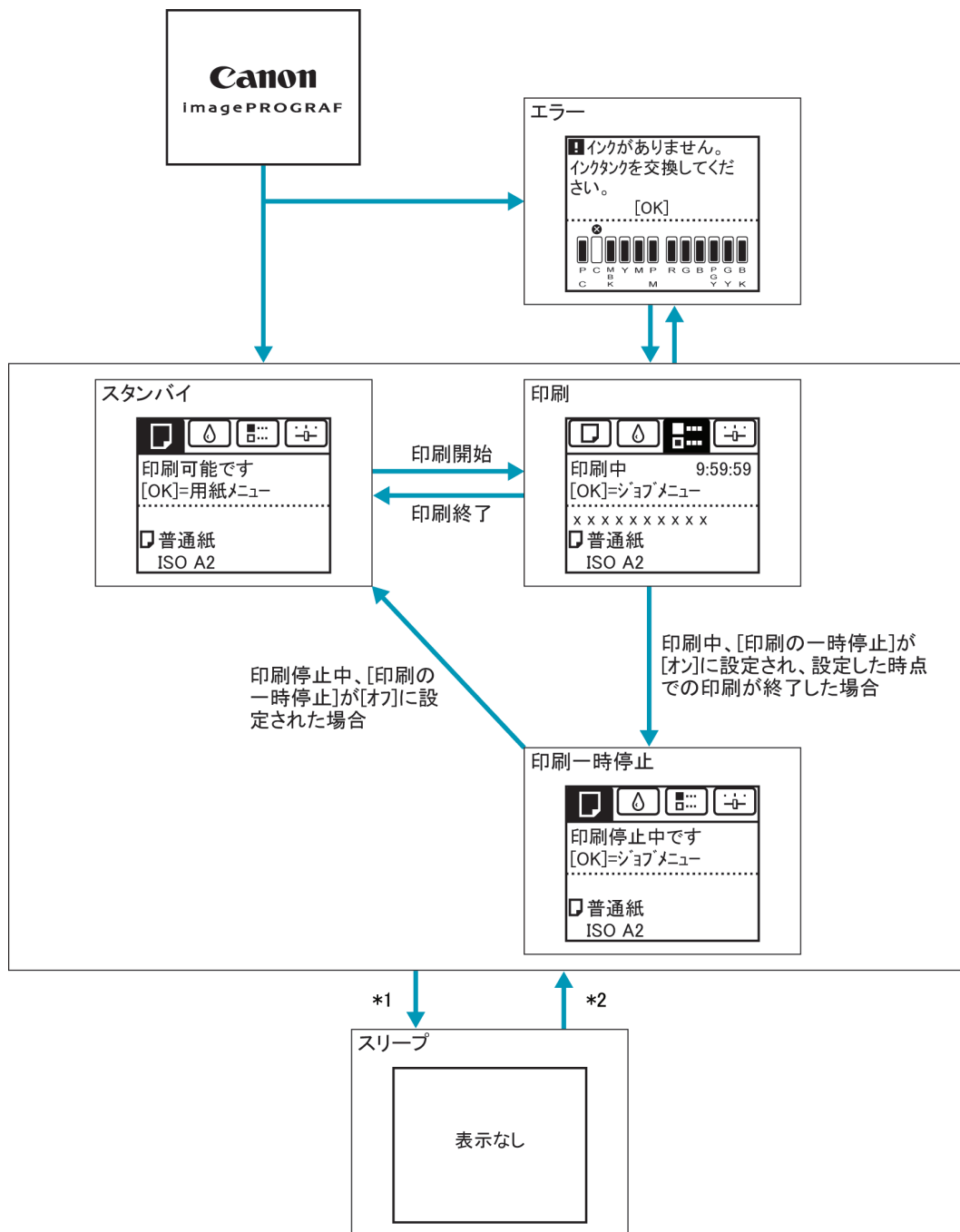
[スリープ]

プリンタが節電している状態です。プリンタのカバーがすべて閉じた状態で、印刷ジョブの受信やプリンタの操作を一定時間（工場出荷時の状態では 5 分）以上行わないと、自動的にスリープ状態になり、消費電力を節約します。
[スリープ]への移行時間は、プリンタの[スリープ タイマー]メニューで設定できます。（「メニューの設定値」参照） →P.605
[スタンバイ]から[スリープ]に移行した場合は、印刷ジョブを受信すると自動的に復帰し、印刷を行います。

[エラー]

プリンタが処置を必要としている状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信しても、処理できない状態です。発生しているエラーに関連するタブが表示されます。
複数のエラーが発生している場合のディスプレイ表示は、「エラー状態の表示の遷移」を参照してください。

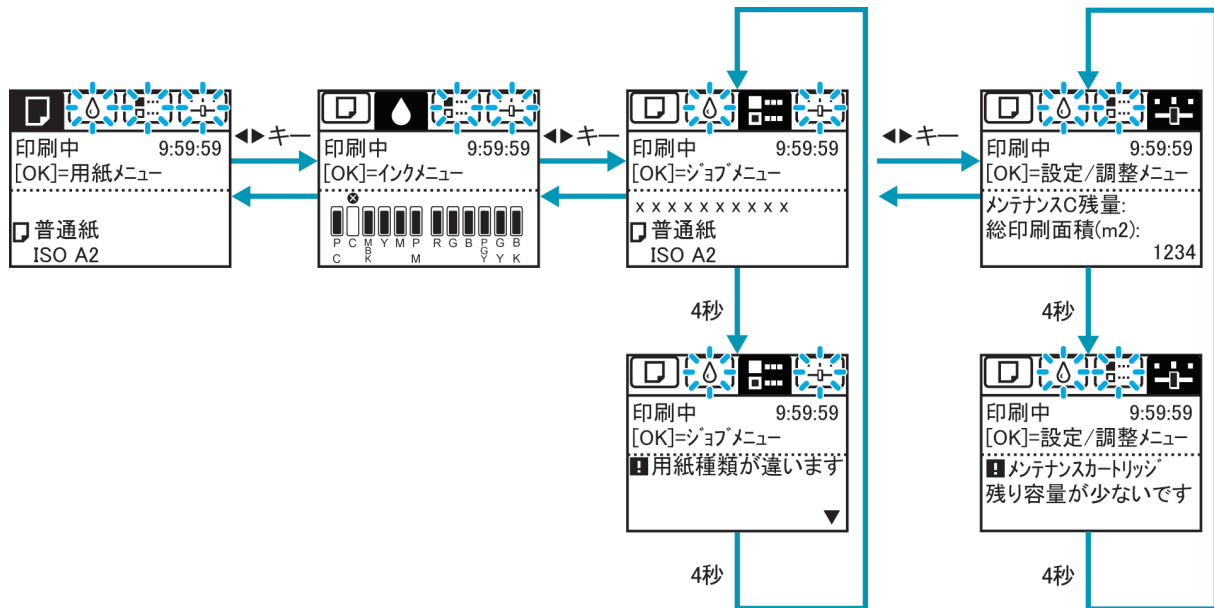
通常状態の表示の遷移

プリンタが通常の状態(エラーが発生していない状態)での表示の遷移を以下に示します。

*1: プリンタのカバーがすべて閉じた状態で、印刷ジョブの受信やプリンタの操作を一定時間(工場出荷時の状態では 5 分)以上行わないと、自動的に[スリープ]になります。ただし、エラーメッセージが表示されている場合、および[用紙送り]キーを押して、ロール紙を手動で送ることができる状態では、[スリープ]にはなりません。

*2:[スリープ]中は、[電源]キー以外のいずれかのキーを押すと、[スリープ]から復帰します。また、印刷ジョブの受信時やリモート UI による操作時も、[スリープ]から復帰します。

エラー状態の表示の遷移

プリンタにエラーが発生している状態での表示の遷移を以下に示します。

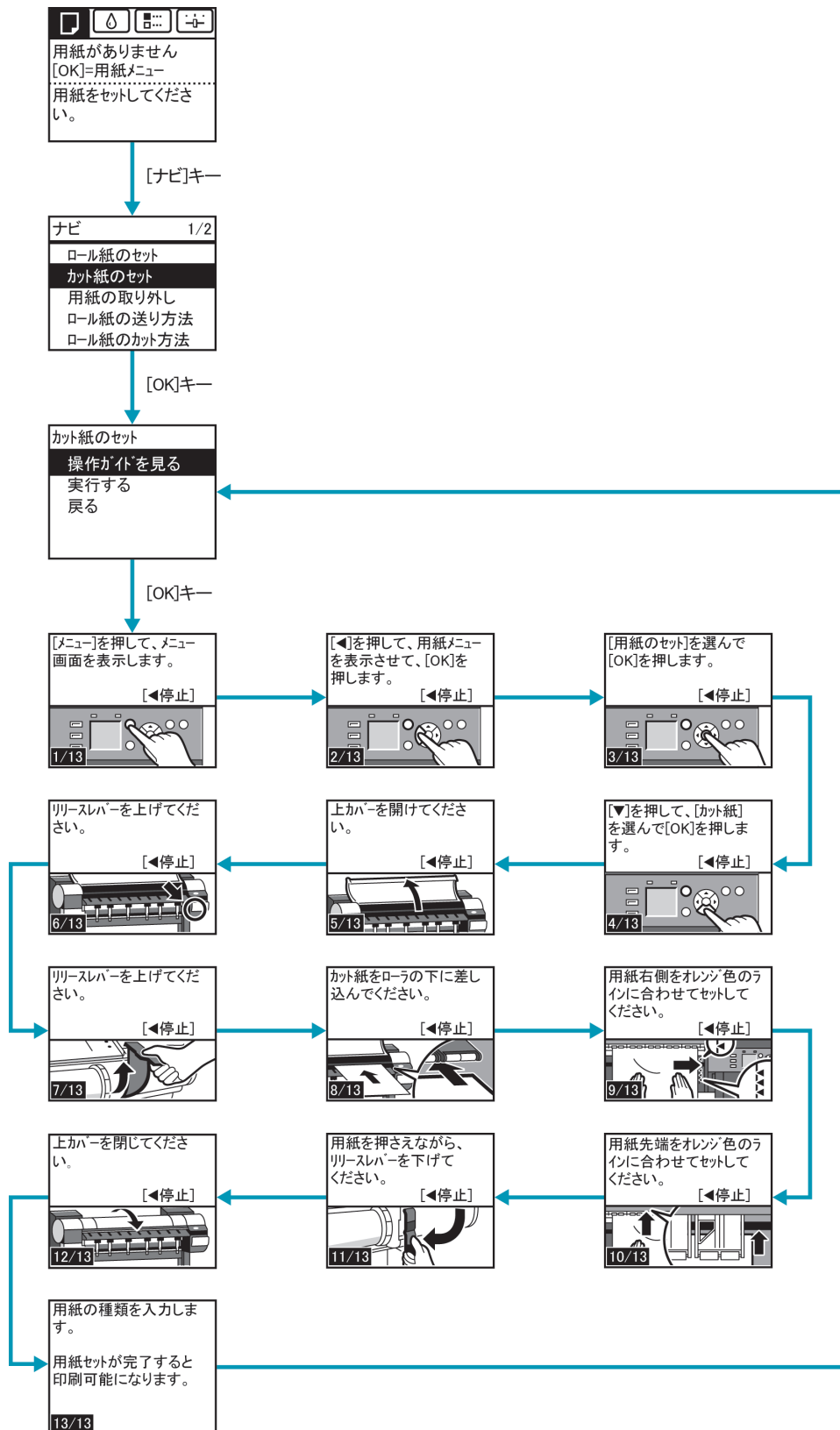
複数のエラーが発生している場合、現在表示しているタブ以外のエラーが発生しているタブが点滅します。[◀]キーまたは[▶]キーでタブを移動してエラーを確認できます。ジョブタブ、設定/調整タブで複数のエラーが発生している場合は、エラーメッセージが各タブ内で 4 秒毎に切り替わります。

ナビの見かた

用紙をセットする手順やインクタンクの交換手順などを、操作パネルのディスプレイで確認できます。

1 [ナビ]キーを押します。

2 [▲]キー、[▼]キーを押して、ナビのメニューを選択します。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して、[操作ガイドを見る]を選択し、[OK]キーを押します。
ナビが開始されます。

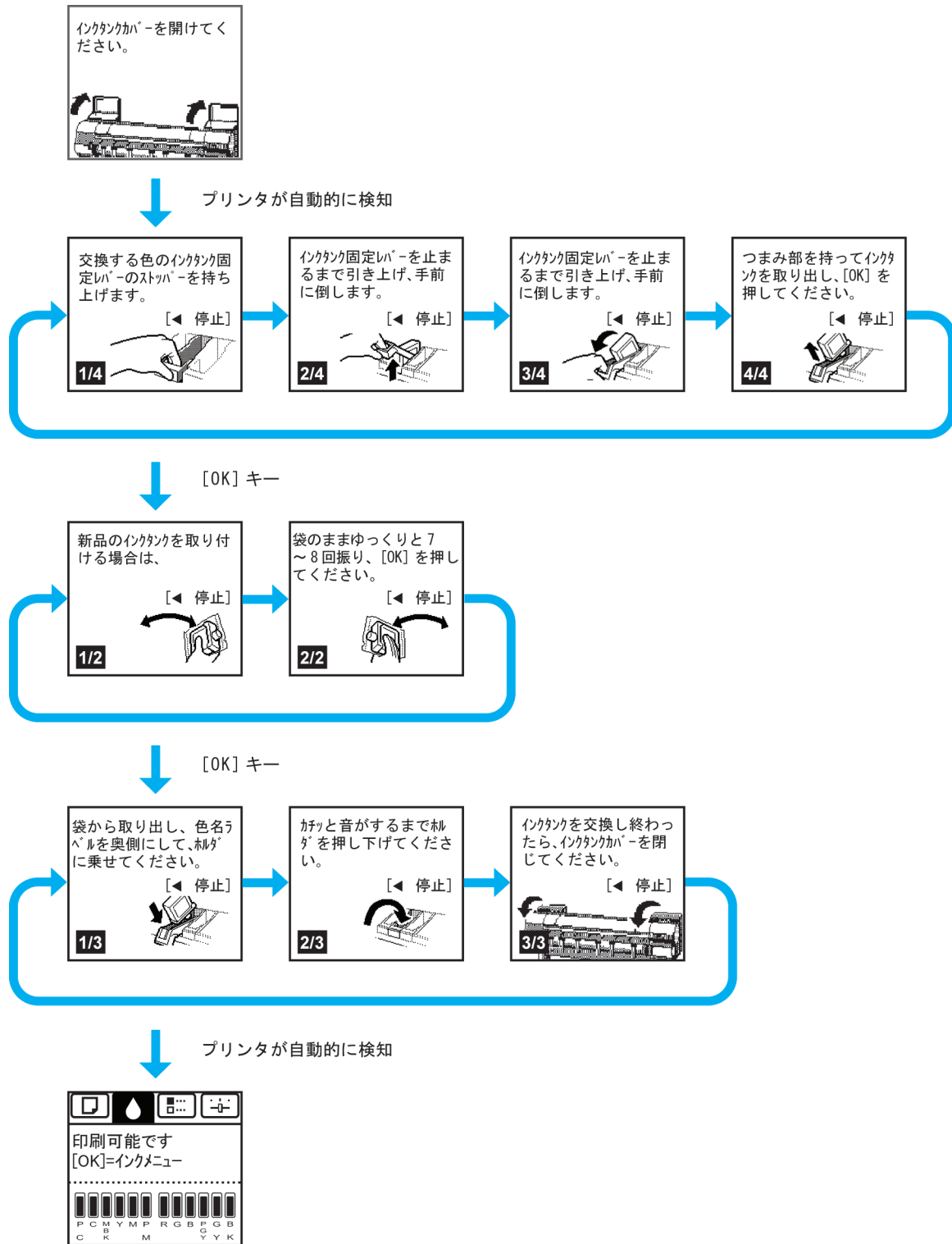
例：カット紙のセット

ガイダンスを見ながら操作する

用紙をセットする手順やインクタンクの交換などを、操作パネルのディスプレイで手順を見ながら操作することができます。

ガイダンスの見かた

ガイダンスに表示されている操作を実行すると、プリンタが検知して次のガイダンス画面に切り替わります。

プリンタが検知できない操作については、画面が4秒ごとに切り替わり、一連の操作が繰り返し表示されます。
繰り返し表示されるガイダンスについては、すべての操作が終わると次の手順のガイダンス画面が表示されます。

例：インクタンク交換

メモ

- 繰り返し表示されるガイダンス中に[◀]キーを押すと、画面が停止します。
  [◀]キー、[▶]キーで前画面/次画面を表示します。[◀]キー、[▶]キーを押さずに30秒が経過すると、繰り返し表示に戻ります。
  [OK]キーを押すと、次の手順のガイダンス画面が表示されます。

プリンタのメニュー

プリンタのメニューでできること 596

メニューを操作する 597
メニューの階層 600
メニューの設定値 605

ステータスプリントについて 614
インタフェース設定プリントについて 617

プリンタのメニューでできること

プリンタのメニューには、印刷していないときに操作できる通常のメニューと印刷中のみ操作できる印刷中のメニューがあります。

- 通常のメニューの操作 →P.596
- 印刷中のメニューの操作 →P.596

通常のメニューの操作

[タブ選択画面]でタブを選択し、[OK]キーを押すと各タブに関連するメニューが表示されます。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合、[OK]キーを押してもメニューは表示されません。
  問題を解決すると、メニューを選択できます。

メニューでは、以下の操作を行えます。

- [用紙メニュー]
  用紙メニューの設定
- [インクメニュー]
  インクメニューの操作
- [ジョブメニュー]
  ジョブメニューの操作
- [設定/調整メニュー]
  プリンタの調整、メンテナンスに関するメニューの操作

メニューで実行できる具体的な項目については、「メニューの設定値」を参照してください。→P.605
メニューの設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。→P.597

メモ

- メニューで設定した値は、プリンタの初期値としてすべての印刷ジョブに適用されます。ただし、プリンタドライバに同じ設定項目がある場合は、プリンタドライバの設定値が優先されます。

印刷中のメニューの操作

印刷中は、メニューの限定された項目のみ表示されます。印刷中に表示されないメニューは、印刷が終了してから操作してください。
印刷中に、操作パネルの[タブ選択画面]でタブを選択し、[OK]キーを押すとメニューが表示されます。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合、[OK]キーを押してもメニューは表示されません。
  問題を解決すると、メニューを選択できます。

印刷中のメニューでは、以下の操作を行えます。

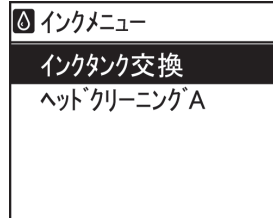
- [インクメニュー]
  インクメニューの操作
- [ジョブメニュー]
  ジョブメニューの操作
- [設定/調整メニュー]
  紙送りの微調整
  プリンタに関する情報の表示

印刷中のメニューで実行できる具体的な項目については、「メニューの設定値」を参照してください。→P.605
印刷中のメニューの設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。→P.597

メニューを操作する

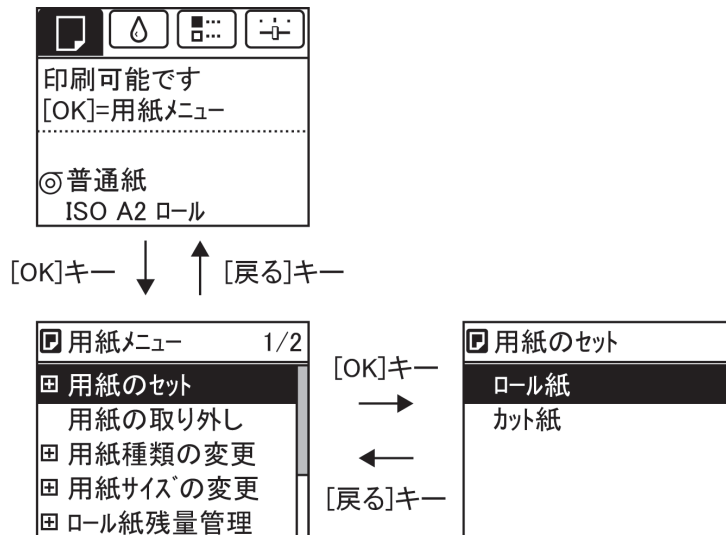
[タブ選択画面]でタブを選択し、[OK]キーを押すと、各タブに関連するメニューを表示できます。詳細については「メニューの設定値」を参照してください。→P.605

- メニュー(インクタブを選択し、[OK]キーを押した場合)

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

操作パネルのキーを押すだけで、[タブ選択画面]から各タブのメニューに移動したり、[メニュー]の項目を設定または実行できます。
ここでは、メニューの操作方法について説明します。

- 各メニューに移動する →P.597
- メニューの項目を設定する →P.598
- メニューの項目で数値を設定する →P.599
- メニューの項目を実行する →P.599

各メニューに移動する

プリンタのメニューは、機能ごとに分類され、階層構造になっています。
メニューの1段目が選択されている状態で表示されます。操作パネルのキーを押すと、各メニューに移動できます。

- 同じ画面の上部のメニューに移動する場合は[戻る]キー、下部のメニューに移動する場合は[OK]キーを押します。画面に表示しきれないメニューが上部にある場合は[▲]キー、画面に表示しきれないメニューが下部にある場合は[▼]キーを押し続けます。選択されているメニューは、反転表示されます。

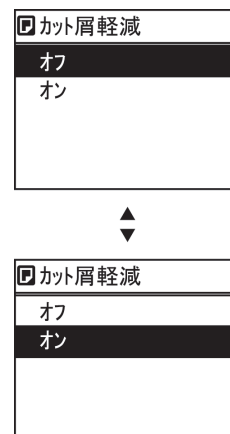
画面の右側にあるスライドバーは、選択されているメニューがメニュー全体に対してどの位置にあるかを示します。

- 下の階層にメニューがある場合は、2 段目以降のメニューの左側に ⊞ が表示されます。下の階層のメニューに移動する場合は、メニューを選択し、[OK]キーを押します。

メニューの項目を設定する

以下の手順で、メニューの項目を設定できます。

1. [▲]キー、[▼]キーを押して設定する項目を選択し、[OK]キーを押します。
   2 秒後に、1 つ上の階層のメニューに戻ります。

メモ

- 設定の登録を確認するメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押します。設定が登録されて、[スタンバイ]になります。

メニューの項目で数値を設定する

ネットワークなどの設定項目で数値を入力するときに、以下の手順で、数値を設定できます。

1 [◀]キー、[▶]キーを押して、入力フィールドを移動します。

IPv4設定
000.000.000.000 ◀▶ : 桁の変更 ▼▲ : 数値の変更 [OK]=選択

2 [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。

メモ

- [▲]キーや[▼]キーを押し続けると、数値を連続して増減できます。

3 手順 1〜2 を繰り返して、設定が完了したら[OK]キーを押します。

メモ

- 設定の登録を確認するメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押します。設定が登録されて、[スタンバイ]になります。

メニューの項目を実行する

以下の手順で、メニューの項目を実行できます。

1 [▲]キー、[▼]キーを押して実行する項目を選択し、[OK]キーを押します。
メニュー項目が実行されます。

メニューの階層

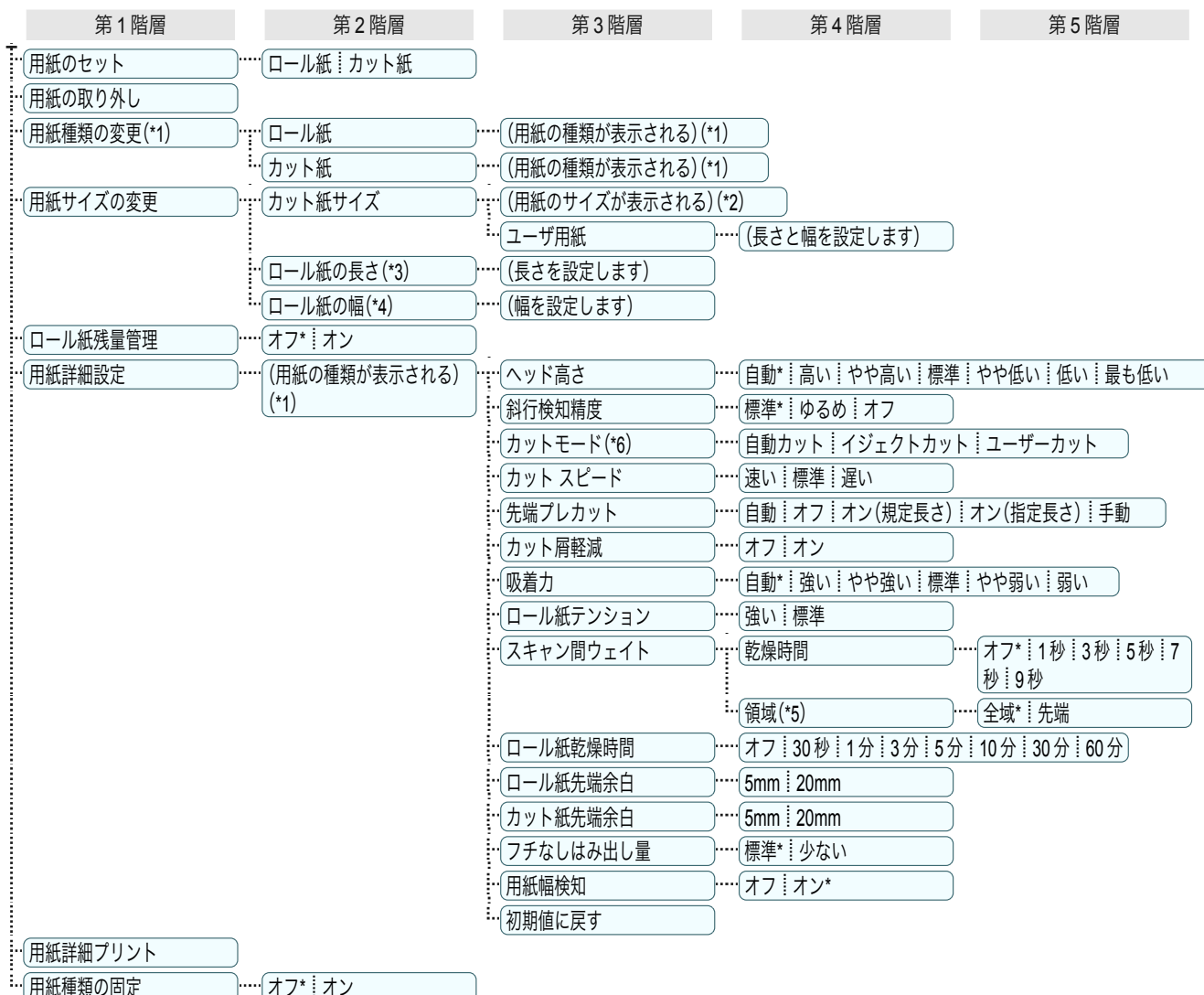
メニューの階層を、各タブごとに分類して示します。項目の右側の*は、初期値を示します。
プリンタのメニューには、印刷していないときに操作できる通常のメニューと印刷中のみ操作できる印刷中のメニューがあります。「プリンタのメニューでできること」を参照してください。 →P.596

通常のメニュー	印刷中のメニュー
用紙メニュー	表示無し
インクメニュー	通常と同じインクメニューが表示されます。
ジョブメニュー	通常と同じジョブメニューが表示されます。
設定/調整メニュー	以下の項目に限定された設定/調整メニューが表示されます。 • [紙送り微調整](*1) • [プリンタの情報]

*1: 印刷中メニューでのみ表示されます。通常メニューでは表示されません。

設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。 →P.597
各項目の詳細については、「メニューの設定値」を参照してください。 →P.605

[用紙メニュー]

印刷中に[用紙メニュー]は表示されません。

*1: プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照) User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。(「最新の用紙情報に更新する」参照) →P.479

*2: プリンタに対する用紙サイズについては、「用紙のサイズ」を参照してください。 →P.474
*3: [ロール紙残量管理]で[オン]が設定されている場合のみ設定可能です。
*4: [用紙幅検知]で[オフ]が設定されている場合のみ設定可能です。
*5: プリンタドライバの[用紙の詳細設定]ダイアログボックスから[先端]の設定はできません。
*6: 「ロール紙のカット方法を設定する」を参照してください。 →P.496

[インクメニュー]

第 1 階層

- インクタンク交換
- ヘッドクリーニング A

[ジョブメニュー]

*1: 保留中のジョブを選択した場合は[そのまま印刷]が表示されます。

[設定/調整メニュー]

印刷中は限定された項目が表示されます。表示項目は、注釈で示します。

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層
テストプリント	ノズルチェック プリント ┆ ステータス プリント ┆ インタフェース設定プリント ┆ 用紙詳細プリント ┆ ジョブ履歴プリント ┆ メニュー マップ					
印字調整	ヘッド位置調整	標準				
		簡易				

第 1 階層
第 2 階層
第 3 階層
第 4 階層
第 5 階層
第 6 階層
第 7 階層
紙送り調整
その他
初期調整 ┊ 手動(*1)
優先設定
自動* ┊ 画質優先 ┊ 長さ優先
画質調整(*2)
自動(純正紙) ┊ 自動(その他) ┊ 手動
長さ調整(*3)
調整プリント
A:きれい ┊ B:標準/速い
調整値の変更
A:きれい ┊ B:標準/速い
キャリブレーション
自動調整
実行履歴
日付 ┊ 用紙種類 ┊ 調整タイプ
調整値有効設定
無効 ┊ 有効*
実行案内設定
オフ* ┊ オン
初期値に戻す
メンテナンス
ヘッドクリーニング
ヘッドクリーニング A ┊ ヘッドクリーニング B
ノズルチェック プリント
ヘッド交換
ヘッド L ┊ ヘッド R ┊ ヘッド L+R
メンテナンス C 交換
シャフトクリーナ交換
カッター交換
インタフェース設定(*8)
EOP タイマー(*8)
10 秒 ┊ 30 秒 ┊ 1 分 ┊ 2 分 ┊ 5 分 ┊ 10 分* ┊ 30 分 ┊ 60 分
TCP/IP(*8)
IPv4(*8)
IPv4 モード(*8)
自動 ┊ 手動*
プロトコル(*4)(*8)
DHCP(*8)
オン ┊ オフ*
BOOTP(*8)
オン ┊ オフ*
RARP(*8)
オン ┊ オフ*
IPv4 設定
IP アドレス(*9)
xxx.xxx.xxx.xxx
サブネット マスク(*9)
xxx.xxx.xxx.xxx
デフォルト G/W(*9)
xxx.xxx.xxx.xxx
DNS 設定(*9)
DNS 動的更新(*9)
オン ┊ オフ*
プライマリ DNS サーバアドレス(*9)
セカンダリ DNS サーバアドレス(*9)
DNS ホスト名(*9)
DNS ドメイン名(*9)
IPv6(*8)
IPv6 の使用(*8)
使う ┊ 使わない*
IPv6 ステートレスアドレス(*8)(*10)
使う* ┊ 使わない
DHCPv6(*8)(*10)
使う ┊ 使わない*
DNS 設定(*9)(*10)
DNS 動的更新(*9)
ステートフルアドレス(*9)
オン ┊ オフ*
ステートレスアドレス(*9)
オン ┊ オフ*
プライマリ DNS サーバアドレス(*9)
セカンダリ DNS サーバアドレス(*9)
DNS ホスト名(*9)
DNS ドメイン名(*9)
NetWare(*8)
NetWare(*8)
使う ┊ 使わない*
フレームタイプ(*5)(*8)
自動検出 ┊ Ethernet 2 ┊ Ethernet 802.2* ┊ Ethernet 802.3 ┊ Ethernet SNAP
プリント サービス(*5)(*8)
BinderyPServer ┊ RPrinter ┊ NDSPServer* ┊ NPrinter

第 1 階層
第 2 階層
第 3 階層
第 4 階層
第 5 階層
第 6 階層
第 7 階層
AppleTalk(*8)
使う ┆ 使わない*
Ethernet ドライバ(*8)
自動検出(*8)
オン* ┆ オフ
通信方式(*6)(*8)
半二重* ┆ 全二重
Ethernet 種類(*6)(*8)
10 Base-T* ┆ 100 Base-TX ┆ 1000 Base-T
スパニングツリー(*8)
対応しない* ┆ 対応する
MAC アドレス(*8)
xxxxxxxxxxxx
インタフェース設定プリント(*8)
初期値に戻す(*8)
システム設定
スリープ タイマー(*11)
5 分* ┆ 10 分 ┆ 15 分 ┆ 20 分 ┆ 30 分 ┆ 40 分 ┆ 50 分 ┆ 60 分 ┆ 210 分
シャットダウンタイマー
オフ ┆ 5 分 ┆ 10 分 ┆ 30 分 ┆ 1 時間 ┆ 4 時間 ┆ 8 時間* ┆ 12 時間
ブザー
オフ ┆ オン*
画面コントラスト調整
-4,-3,-2,-1,0*,+1,+2,+3,+4
日時設定(*8)
日付設定 yyyy/mm/dd(*7)(*8)
時刻設定 hh:mm
日付形式(*8)
yyyy/mm/dd* ┆ dd/mm/yyyy ┆ mm/dd/yyyy
表示言語
English ┆ 日本語 ┆ Français ┆ Italiano ┆ Deutsch ┆ Español ┆ Русский ┆ 中文(簡体字) ┆ 한국어
タイムゾーン(*8)
0:ロンドン (GMT) ┆ +1:パリ,ローマ ┆ +2:アテネ,カイロ ┆ +3:モスクワ ┆ +4:エレバン,バクー ┆ +5:イスラマバード ┆ +6:ダッカ ┆ +7:バンコク ┆ +8:香港 ┆ +9:東京,ソウル ┆ +10:キャンベラ ┆ +11:ニューカレドニア ┆ +12:ウェリントン ┆ -12:エニウェトク ┆ -11:ミッドウェー島 ┆ -10:ハワイ (AHST) ┆ -9:アラスカ (AKST) ┆ -8:オレゴン (PST) ┆ -7:アリゾナ (MST) ┆ -6:テキサス (CST) ┆ -5:ニューヨーク (EST) ┆ -4:サンティアゴ ┆ -3:ブエノスアイレス ┆ -2:中央大西洋 ┆ -1:カーボベルデ諸島
長さの単位
メートル* ┆ フィート/インチ
用紙ミスマッチ検知
一時停止する ┆ 警告表示する ┆ 検知しない* ┆ 保留する
用紙サイズ優先
カット紙優先設定1
ISO A3+* ┆ 13"x19"(Super B)
カット紙優先設定2
ISO B1* ┆ 28"x40"(ANSI F)
外形サイズ優先
オフ* ┆ オン
ヘッド交換後プリント
オフ ┆ オン*
ノズルチェック設定
間隔
標準* ┆ 1 ページ
警告
オフ* ┆ オン
キャリッジスキャン幅設定
自動* ┆ 固定
RemoteUI の使用(*8)
使う* ┆ 使わない
用紙設定初期化(*8)
HDD データ消去
高速(*8) ┆ セキュア高速(*8) ┆ セキュア(*8)
出力方法
印刷* ┆ 印刷(自動消去) ┆ ボックス保存
受信完了後に印刷
オフ* ┆ オン
共通ボックス設定(*4)(*8)
印刷* ┆ 印刷(自動消去)
ジョブ履歴表示(*8)
オフ ┆ オン*
巻き取り装置(*12)
装置の使用
使用しない* ┆ 使用する
巻き取りオートフィード(*13)

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層
	巻き取りエラースキップ(*14)	オフ* ┆ オン				
移動の準備	レベル 1 ┆ レベル 2 ┆ レベル 3					
管理者メニュー(*9)	パスワードの変更(*9)	(パスワードの設定の画面が表示される)				
	パスワードの初期化(*9)					
紙送り微調整(*15)(*16)						
プリンタの情報(*15)	用紙の情報 ┆ インクの情報 ┆ システム情報 ┆ エラー履歴 ┆ その他のカウンタ					

*1: 一度[ヘッド位置調整]の[標準]または[初期調整]を行った後に設定可能です。

*2: [優先設定]で[自動]または[画質優先]が設定されている場合に設定可能です。

*3: [優先設定]で[自動]または[長さ優先]が設定されている場合に設定可能です。

*4: [IPv4 モード]で[手動]が設定されている場合は表示しません。

*5: [NetWare]で[使わない]が設定されている場合は表示しません。

*6: [自動検出]で[オン]が設定されている場合は表示しません。

*7: [日付形式]の設定に従います。

*8: 管理者は表示/設定可能、管理者以外のユーザーは表示のみ可能です。

*9: 管理者のみ表示/設定可能です。

*10: [IPv6 の使用]で[使わない]が設定されている場合は表示しません。

*11: 省電力モードまたはスリープモードへの移行時間は、初期値が推奨されます。

*12: 巻き取り装置が装着されている場合に表示します。

*13: (a)[装置の使用]で[使用する]、(b)ロール紙をセット済み、(c)セットしたロール紙に対し[巻き取りオートフィード]未実施、の場合に設定可能です。

*14: [装置の使用]で[使用する]が設定されている場合に設定可能です。

*15: 印刷中メニューとして印刷中に表示されます。

*16: 通常メニューでは表示されません。

メニューの設定値

メニューの各項目について、以下に示します。
プリンタのメニューには、印刷していないときに操作できる通常のメニューと印刷中のみ操作できる印刷中のメニューがあります。「プリンタのメニューでできること」を参照してください。 →P.596

通常のメニュー	印刷中のメニュー
用紙メニュー	表示無し
インクメニュー	通常と同じインクメニューが表示されます。
ジョブメニュー	通常と同じジョブメニューが表示されます。
設定/調整メニュー	以下の項目に限定された設定/調整メニューが表示されます。 • [紙送り微調整](*1) • [プリンタの情報]

*1: 印刷中メニューでのみ表示されます。通常メニューでは表示されません。

設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。 →P.597
表示されるメニューの階層については、「メニューの階層」を参照してください。 →P.600

[用紙メニュー]

印刷中に[用紙メニュー]は表示されません。

設定項目			機能説明/設定方法
[用紙のセット]			カット紙、ロール紙のいずれかを選択しセットします。
[用紙の取り外し]			現在セットされている用紙を取り外します。
[用紙種類の変更](*1)			セットされている用紙種類を変更します。(「用紙の種類を変更する」参照) →P.487
[用紙サイズの変更]			セットされている用紙サイズを変更します。(「用紙の長さを設定する」参照) →P.489 (「用紙のサイズ」参照) →P.474
[ロール紙残量管理]			[オン]を選択すると、ロール紙を取り外すときにバーコードを印刷します。印刷されたバーコードによってロール紙の残量を管理できます。[オフ]を選択すると、バーコードは印刷されません。 (「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.494
[用紙詳細設定]	(用紙の種類が表示されます)(*1)	[ヘッド高さ]	プリントヘッドの高さを調整します。(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732
		[斜行検知精度]	幅が一定ではない用紙の場合に、[ゆるめ]を選択して用紙の斜行検知機能の精度を緩めたり、[オフ]を選択して斜行検知機能を無効にします。ただし、[オフ]を選択したときに用紙が斜めにセットされると、紙づまりが起こり、プラテン上が汚れる場合があります。
		[カットモード]	標準装備の丸刃カッターでカットするかどうかを選択します。 [自動カット]を選択すると、プリンタドライバの設定によって、カッターユニットでロール紙を自動的にカットします。 [イジェクトカット]はインクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。[ユーザーカット]は、印刷後にカットしないでカット位置に線を印刷します。なお、[ユーザーカット]を選択すると、用紙先端検知の設定画面が表示されます。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496
		[カット スピード]	用紙をカットする速度を選択します。初期状態では用紙の種類により最適なカットスピードが適用されています。この設定のまま使用することをお勧めします。 糊付きの用紙の場合は、[遅い]を選択すると、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。
		[先端プレカット]	ロール紙をセットしたときに、ロール紙の先端を自動でカットするかどうかを選択します。 (「ロール紙の先端を自動でカットする」参照) →P.502

設定項目			機能説明/設定方法
[用紙詳細設定]	(用紙の種類が表示されます)(*1)	[カット屑軽減]	[オン]を選択すると、用紙をカットする際に、カット位置に線を印刷します。これにより、カット屑の散乱が軽減されます。また、糊付きの用紙の場合は、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。(「ロール紙のカット屑を軽減する」参照) →P.503
		[吸着力]	プラテン上での用紙の吸着力を選択します。(「用紙の吸着力を変更する」参照) →P.740
		[ロール紙テンション]	プリンタにセットしたロール紙のたるみを調整します。 厚みの薄いロール紙がたるんで傷がついたり、しわや折れが生じる場合は、[強い]に設定するとたるみにくくなり傷などが低減されます。なお、[ロール紙テンション]の設定値を変えた場合は、[画質調整]することをお勧めします。(「横スジを自動で調整する」参照) →P.735
		[スキャン間ウェイト]	用紙のインク乾燥特性に合わせて、片方向への印刷(スキャン)ごとにインクの乾 燥待ち時間を設定します。さらに、乾燥時間の適用領域を設定します。[全域]を選択すると、印刷のはじめから終わりまでの各スキャンごとに乾燥時間が入ります。[先端]を選択すると、用紙の先端から約 110mm～160mm までの各スキャンごとに乾燥時間が入ります。(乾燥時間の入る長さは[印刷品質]の設定により異なります。) [スキャン間ウェイト]を設定すると、印刷に時間がかかるようになります。とくに[先端]を選択すると、乾燥時間の入る領域と入らない領域の境でバンド状の色ムラが生じる可能性があります。
		[ロール紙乾燥時間]	1 枚印刷するごとのインクの乾燥待ち時間を選択します。
		[ロール紙先端余白]	用紙の先端側の印刷品質を確保したい場合に、ロール紙先端側の余白の最小値を設定します。 [5mm]を選択した場合、用紙の先端の印刷品質または用紙送りの精度が低下したり、印刷面がこすれたり、用紙の先端にインクが付着することがあります。また、プラテンが汚れる場合があります。
		[カット紙先端余白]	用紙先端側の印刷品質を確保したい場合に、カット紙先端側の余白を設定します。 [5mm]を選択した場合、用紙の先端の印刷品質または用紙送りの精度が低下したり、印刷面がこすれたり、用紙の先端にインクが付着することがあります。
		[フチなしはみ出し量]	フチなし印刷するときの原稿のはみ出し量を選択します。 通常は[標準]に設定することをお勧めします。 [少ない]に設定すると裏面の汚れは低減されますが、印刷面に白いフチが残る可能性があります。
		[用紙幅検知]	枠内に印刷したい場合など、任意の位置から印刷を開始したいときに設定します。 [オフ]を選択すると、用紙幅や斜行の検知を行ないません。用紙が斜めにセットされると、紙づまりが起こり、プラテン上が汚れる場合があります。
		[初期値に戻す]	[OK]を押すと[用紙詳細設定]の設定が工場出荷時の値に戻ります。
[用紙詳細プリント]			[用紙詳細設定]で設定されている用紙の設定値を印刷します。
[用紙種類の固定]			同じ種類の用紙を使い続ける場合は、[オン]を選択します。(「用紙の種類を変更する」参照) →P.487

*1: プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照) User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。(「最新の用紙情報に更新する」参照) →P.479

[インクメニュー]

設定項目	機能説明/設定方法
[インクタンク交換]	インクタンクを交換します。画面の指示に従って必要な処理を行います。(「インクタンクを交換する」参照) →P.818

設定項目	機能説明/設定方法
[ヘッドクリーニング A]	プリントヘッドをクリーニングします。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.831 印刷がかすれた場合、ゴミなどが付いた場合、または色味がおかしい場合に、[ヘッドクリーニング A]を行います。

[ジョブメニュー]

設定項目					機能説明/設定方法
[印刷ジョブ]	[ジョブリスト]	(印刷ジョブを選択します)	[削除]		印刷中または印刷待ちのジョブを削除します。(「ジョブキューを操作する(削除、追い越し印刷)」参照) →P.692
			[追い越し]		印刷中のジョブが印刷完了後、優先的に印刷します。(「ジョブキューを操作する(削除、追い越し印刷)」参照) →P.692
[保存ジョブ]	[ボックスリスト]	(暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力します)	[ジョブリスト]	[印刷]	保存したジョブを印刷します。
				[削除]	保存したジョブを削除します。
			[ジョブリスト印刷]		保存したジョブの一覧を印刷します。
[ジョブ履歴]	(最近の印刷ジョブの履歴 3 件から選択できます)	[ドキュメント名]			選択した印刷ジョブのドキュメント名が表示されます。
		[ユーザー]			ジョブを送信したユーザー名が表示されます。
		[ページ数]			ジョブの枚数が表示されます。
		[ジョブ ステータス]			ジョブの処理結果が表示されます。
		[プリント開始時刻]			ジョブの印刷を開始した時刻が表示されます。
		[プリント終了時刻]			ジョブの印刷を終了した時刻が表示されます。
		[プリント時間]			ジョブの印刷の所要時間が表示されます。
		[出力画像サイズ]			ジョブの画像のサイズが表示されます。
		[用紙種類]			ジョブの用紙の種類が表示されます。
		[用紙の使用量]			用紙の使用量が表示されます。
		[用紙の長さ]			用紙の長さが表示されます。
		[用紙の幅]			用紙の幅が表示されます。
		[インタフェース]			ジョブのインタフェースが表示されます。
		[インク使用量]			ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1)
		[印刷設定]			メンテナンス用のカウンタです。ジョブの印刷設定が表示されます。
		[ヘッド高さ]			メンテナンス用のカウンタです。ジョブを印刷した時のヘッド高さが表示されます。
		[温湿度]			メンテナンス用のカウンタです。ジョブを印刷した時の温度と湿度が表示されます。
		[調整条件]			メンテナンス用のカウンタです。ジョブに反映された調整条件が表示されます。
[ジョブ履歴プリント]					印刷ジョブの用紙の種類、サイズ、インクの消費量などの情報を印刷します。インクの消費量は、ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1)
[印刷の一時停止]					[オン]を選択すると、印刷を停止します。
[HDD 情報]					HDD の総容量とボックスの空き容量が表示されます。

*1: ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。実際の使用量とは異なる場合があります。当社インクコスト測定条件に基づく概算値の平均誤差は、±15%です。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。なお、この概算値の算出には、クリーニング機構による強制吐出のインク消費量等は含まれておりません。

[設定/調整メニュー]

印刷中は限定された項目が表示されます。表示項目は、注釈で示します。

設定項目				機能説明/設定方法
[テストプリント]	[ノズルチェック プリント]			ノズルチェックパターンを印刷します。
	[ステータス プリント]			プリンタの状態や設定値の情報を印刷します。
	[インタフェース設定プリント]			インタフェースの設定値を印刷します。
	[用紙詳細プリント]			[用紙詳細設定]で設定されている用紙の設定値を印刷します。
	[ジョブ履歴プリント]			印刷ジョブの用紙の種類、サイズ、インクの消費量などの情報を印刷します。インクの消費量は、ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1)
	[メニュー マップ]			メニューの一覧を印刷します。
[印字調整]	[ヘッド位置調整]	[標準]		印刷のずれを改善するため、調整用パターンが印刷されて自動的に印刷位置が調整されます。印刷物の縦線がゆがむ場合や、色ずれがおきた場合に[標準]を選択します。また、[簡易]を実行しても印刷結果が改善されない場合も、[標準]を選択します。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728
		[簡易]		印刷のずれを改善するため、調整用パターンが印刷されて自動的に印刷位置が調整されます。[簡易]は、簡易的な調整が短時間で実行されます。日常のメインテナンスなど、頻繁にプリントヘッドを調整する場合に[簡易]を選択します。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728
		[その他]	[初期調整]	初期設置時のプリントヘッド位置調整が実行されます。初期設置時のエラーや、プリントヘッド交換時の動作設定の状況により、プリントヘッドの位置調整が実行されなかった場合に[初期調整]を選択します。(「プリントヘッドの設置時調整」参照) →P.731
			[手動]	印刷のずれを改善するため、調整用パターンの印刷結果から設定値を入力し印刷位置を調整します。通常は、[標準]を選択します。ただし、特殊な用紙に印刷する場合や、[標準]を実行しても印刷結果が改善されない場合に[手動]を選択します。(「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する」参照) →P.730
	[紙送り調整]	[優先設定]	[自動]	優先させる紙送りの精度を設定します。通常は、[自動]を選択します。きれいに印刷したい場合は、[画質優先]を選択します。[画質優先]を選択すると、横スジが目立たなくなります。用紙の送り量を正確にしたい場合は、[長さ優先]を選択します。ただし、[長さ優先]を選択した場合、キャリッジのスキャン方向に若干の色ムラが発生することがあります。
			[画質優先]	
			[長さ優先]	
		[画質調整]	[自動(純正紙)]	用紙リファレンスガイドに記載されている用紙を使用する場合に設定します。(「用紙リファレンスガイド」参照) 用紙の送り量を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に用紙の送り量が調整されます。(「横スジを自動で調整する」参照) →P.735
			[自動(その他)]	用紙リファレンスガイドに記載されていない用紙を使用する場合に設定します。(「用紙リファレンスガイド」参照) 用紙の送り量を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に用紙の送り量が調整されます。[自動(純正紙)]よりも時間がかかり、インクを多く消費します。(「横スジを自動で調整する」参照) →P.735
			[手動]	透過性の高い用紙など、[自動(純正紙)]または[自動(その他)]で調整できない用紙に対して実行します。 用紙の種類に合わせて、用紙の送り量を調整するための調整用パターンを印刷します。(「横スジを手動で調整する」参照) →P.736

設定項目					機能説明/設定方法
[印字調整]	[紙送り調整]	[長さ調整]	[調整プリント]	[A:きれい]	用紙の種類に合わせて、用紙の伸縮率の調整用パターンを印刷し、調整値を設定します。(「罫線の長さを調整する」参照) →P.738
				[B:標準/速い]	
			[調整値の変更]	[A:きれい]	[紙送り調整]の[優先設定]で[長さ優先]が選択されている場合に表示されます。 現在セットされている用紙の伸縮率を調整します。 [調整プリント]で調整した結果を入力するか、自分で測定した値との差を%で入力します。 伸びやすい用紙など送り量を長くしたい場合は調整値を増やし、縮みやすい用紙など送り量を短くしたい場合は調整値を減らします。(「罫線の長さを調整する」参照) →P.738
				[B:標準/速い]	
	[キャリブレーション]	[自動調整]			カラーキャリブレーションを実行します。 カラーキャリブレーション調整用パターンが印刷されて自動的に調整値が設定されます。 (「プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション」参照) →P.751
		[実行履歴]			カラーキャリブレーションを実行した[日付]、[用紙種類]、[調整タイプ]がディスプレイに表示され確認できます。 カラーキャリブレーションの[調整タイプ]には用紙共通キャリブレーションと用紙個別キャリブレーションがあります。 プリンタに用紙がセットされている場合は、セットされた用紙に対し有効なカラーキャリブレーションの履歴が表示されます。 プリンタに用紙がセットされていない場合は、用紙共通キャリブレーションもしくは用紙個別キャリブレーションのうち最も新しい履歴が表示されます。 また、カラーキャリブレーションの実施実績が無い場合はハイフン(-)が表示されます。 (「プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション」参照) →P.751 (「カラーキャリブレーションに使用できる用紙」参照) →P.753
		[調整値有効設定]			[無効]を選択して[OK]キーを押すと、カラーキャリブレーションの調整値は印刷に適用されません。ただし、プリンタドライバの設定が優先されます。 [有効]を選択して[OK]キーを押すと、カラーキャリブレーションの調整値が印刷に適用されます。ただし、プリンタドライバの設定が優先されます。
		[実行案内設定]			[オン]を選択すると、カラーキャリブレーションの実行をお勧めするタイミングで操作パネルにメッセージを表示します。
		[初期値に戻す]			カラーキャリブレーションの調整値と実行履歴がクリアされます。
[メンテナンス]	[ヘッドクリーニング]				プリントヘッドをクリーニングします。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.831 印刷がかすれた場合、ゴミなどが付いた場合、または色味がおかしい場合に、[ヘッドクリーニング A]を選択します。 インクがまったく出ない場合や、[ヘッドクリーニング A]で問題が解決されない場合に、[ヘッドクリーニング B]を選択します。
	[ノズルチェック プリント]				ノズルチェックパターンを印刷します。
	[ヘッド交換]				プリントヘッドを交換します。画面の指示に従って必要な処理を行います。(「プリントヘッドを交換する」参照) →P.832 メンテナンスカートリッジの残量の警告メッセージ表示中は表示されません。

設定項目						機能説明/設定方法
[メンテナンス]	[メンテナンス C 交換]					メンテナンスカートリッジを交換します。画面の指示に従って必要な処理を行います。(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.843
	[シャフトクリーナ交換]					シャフトクリーナを交換します。画面の指示に従って必要な処理を行います。(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.843
	[カッター交換]					カッターユニットを交換します。画面の指示に従って必要な処理を行います。(「カッターユニットを交換する」参照) →P.839 カッターユニットを交換すると、カットの回数をリセットすることもできます。
[インタフェース設定]	[EOP タイマー]					印刷ジョブを受信できないときの、印刷ジョブをキャンセルする時間を設定します。
	[TCP/IP]	[IPv4]	[IPv4 モード]			プリンタの IP アドレスを自動で設定するか、手動で固定 IP アドレスを設定するかを選択します。
			[プロトコル]	[DHCP]		IP アドレスを自動で設定するためのプロトコルを設定します。
				[BOOTP]		
				[RARP]		
			[IPv4 設定]	[IP アドレス]		固定 IP アドレスを設定する場合に、プリンタのネットワーク情報を設定します。 プリンタに割り当てる IP アドレスと、ネットワークのサブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを設定します。 [IPv4 モード]を[自動]に設定している場合は、自動的に設定された値が表示されます。
				[サブネット マスク]		
				[デフォルト G/W]		
			[DNS 設定]	[DNS 動的更新]		DNS サーバへの登録の更新を自動的に行うかどうかを設定します。
				[プライマリ DNS サーバアドレス]		DNS サーバアドレスを設定します。
				[セカンダリ DNS サーバアドレス]		
				[DNS ホスト名]		DNS ホスト名を設定します。
				[DNS ドメイン名]		DNS ドメイン名を設定します。
		[IPv6]	[IPv6 の使用]			IPv6 接続をするかどうかを設定します。
			[IPv6 ステートレスアドレス]			IPv6 のステートレスアドレスを使うかどうかを設定します。
			[DHCPv6]			DHCPv6 設定を使うかどうかを設定します。
			[DNS 設定]	[DNS 動的更新]	[ステートフルアドレス]	DNS サーバへの登録の更新を自動的に行うかどうかを設定します。
					[ステートレスアドレス]	
				[プライマリ DNS サーバアドレス]		DNS サーバアドレスを設定します。
				[セカンダリ DNS サーバアドレス]		
				[DNS ホスト名]		DNS ホスト名を設定します。
				[DNS ドメイン名]		DNS ドメイン名を設定します。
	[NetWare]	[NetWare]				NetWare プロトコルを設定します。各項目を設定した後、[設定登録]を選択すると、設定値が有効になります。
		[フレームタイプ]				使用するフレームタイプを選択します。
		[プリント サービス]				使用するプリントサービスを選択します。

設定項目			機能説明/設定方法
[インタフェース設定]	[AppleTalk]		AppleTalk プロトコルを使用するかどうかを設定します。各項目を設定した後、[設定登録]を選択すると、設定値が有効になります。
	[Ethernet ドライバ]	[自動検出]	通信方式を設定します。各項目を設定した後、[設定登録]を選択すると、設定値が有効になります。 [オン]を選択すると、LAN の通信プロトコルを自動的に認識します。[オフ]を選択すると、[通信方式]や[Ethernet 種類]の設定値が有効になります。
		[通信方式]	LAN の通信方式を選択します。
		[Ethernet 種類]	LAN の通信速度を選択します。
		[スパニングツリー]	LAN のスパニングツリー信号を受け入れて対応するかどうかを選択できます。
		[MAC アドレス]	MAC アドレスが表示されます。
	[インタフェース設定プリント]		インタフェースの設定値を印刷します。
	[初期値に戻す]		[OK]を押すと[インタフェース設定]の設定が工場出荷時の値に戻ります。
[システム設定]	[スリープ タイマー]		プリンタがスリープモードに移行するまでの時間を設定します。
	[シャットダウン タイマー]		プリンタが自動的にオフするまでの時間を設定します。スリープモードに移行してから[シャットダウン タイマー]で設定した時間までプリンタを操作しない状態が続くと、プリンタの電源は自動的にオフになります。
	[ブザー]		[オン]を選択すると、警告時に 1 回、エラー発生時に 3 回ブザーが鳴ります。
	[画面コントラスト調整]		ディスプレイのコントラストを調整します。
	[日時設定]	[日付設定]	現在の日付を設定します。
		[時刻設定]	現在の時刻を設定します。[日付設定]が設定されている場合のみ設定可能です。
	[日付形式]		日付の表示形式を設定します。
	[表示言語]		ディスプレイの表示言語を設定します。
	[タイムゾーン]		タイムゾーンを設定します。タイムゾーンの項目名には、グリニッジ標準時間からの時差とともに該当のタイムゾーン内の代表的な都市名が表示されます。
	[長さの単位]		長さの表示単位を選択します。ロール紙残量や[総印刷面積]の表示単位が切り替わります。
	[用紙ミスマッチ検知]		プリンタのメニューで設定した用紙の種類やサイズとプリンタドライバで設定した用紙の種類やサイズが異なっている場合の印刷動作を設定します。 [一時停止する]を選択すると、印刷を一時停止します。[警告表示する]を選択すると、警告を表示して印刷を続行します。[検知しない]を選択すると、警告を表示せずに印刷を続行します。[保留する]を選択すると、用紙の種類やサイズが異なるジョブをジョブキュー(処理待ちの状態)としてハードディスクに保存します。(「ハードディスクの使い方」参照) →P.688
	[用紙サイズ優先]	[カット紙優先設定 1]	カット紙のサイズを検知したときに、サイズが[ISO A3+]と[13"x19"(Super B)]の間の場合に、どちらのサイズとして認識するかを選択します。
		[カット紙優先設定 2]	カット紙のサイズを検知したときに、サイズが[ISO B1]と[28"x40"(ANSI F)]の間の場合に、どちらのサイズとして認識するかを選択します。

設定項目			機能説明/設定方法
[システム設定]	[外形サイズ優先]		[オン]を選択すると、用紙のサイズが優先されます。プリンタドライバで設定した余白が、プリンタのメニューで設定した余白より少ない場合、プリンタのメニューで設定した余白が優先され、余白をはみ出た分の文字や画像は切れてしまいます。 SAMPLE SAMPLE [オフ]を選択すると、余白の設定値が優先されます。プリンタドライバで設定した余白とプリンタのメニューで設定した余白の設定値が異なる場合、設定値の大きい方に合わせて印刷します。 SAMPLE SAMPLE
	[ヘッド交換後プリント]		[オン]を選択すると、プリントヘッドの交換後に、[詳細調整]が自動的に実行されます。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728
	[ノズルチェック設定]		ノズルのつまりを印刷後にチェックするタイミングを[間隔]で設定します。[標準]を選択すると、ノズルの使用頻度により、チェックするタイミングを調整します。[1 ページ]を選択すると、1 ページ毎にチェックを行います。 [警告]で[オン]を選択すると、印刷中にプリントヘッドのノズルがつまった場合、警告を表示します。
	[キャリッジスキャン幅設定]		印刷の際のキャリッジのスキャン幅を設定します。[自動]を選択すると、セットした用紙の幅に合わせて移動します。[固定]を選択すると、裏面の汚れは低減されますが、印刷時間が多少長くなります。
	[RemoteUI の使用]		[使わない]を選択すると RemoteUI からのアクセスはできなくなり、操作パネルからの設定のみ可能になります。
	[用紙設定初期化]		Media Configuration Tool で変更した内容を工場出荷時の設定値に戻します。
	[HDD データ消去]	[高速]	ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報を消去します。(「ハードディスク内のデータを消去する」参照) →P.633
		[セキュア高速]	ハードディスク全体にランダムデータを上書きします。(「ハードディスク内のデータを消去する」参照) →P.633
		[セキュア]	ハードディスク全体に 00/FF/ランダムデータを各 1 回ずつ上書きします。データが正しく書き込めたかどうかのベリファイチェックを行います。(「ハードディスク内のデータを消去する」参照) →P.633
	[出力方法]	[印刷]	プリンタドライバ以外のソフトウェアから送信されたジョブの出力方法を選択します。プリンタドライバをお使いの場合は、プリンタ上で設定できます。
		[印刷(自動消去)]	
		[ボックス保存]	

設定項目			機能説明/設定方法
[システム設定]	[出力方法]	[ボックス保存]	[印刷]を選択すると通常の印刷を行います。[印刷(自動消去)]を選択すると印刷しますが、ハードディスクのデータは削除されます。[ボックス保存<01>]はボックスへの保存のみ行い、印刷は行われません。
	[受信完了後に印刷]		プリンタドライバ以外のソフトウェアから送信されたジョブの設定です。プリンタドライバをお使いの場合は、プリンタ上で設定できます。[オン]を選択すると保存が完了してから印刷を行います。
	[共通ボックス設定]		[印刷(自動消去)]を選択すると共通ボックスに保存せずに印刷します。
	[ジョブ履歴表示]		[オフ]を選択すると、[ジョブメニュー]の[ジョブ履歴]で履歴が表示されません。さらに[ジョブメニュー]の[ジョブ履歴プリント]でも履歴が印刷されません。また、Status Monitorのアカウンティング機能においてもジョブ履歴を収集できないため正しい動作が行われません。
[巻き取り装置]	[装置の使用]		[使用する]を選択すると、巻き取り装置を使用できます。
	[巻き取りオートフィード]		[装置の使用]で[使用する]が設定済みの場合のみ実行可能です。ロール紙を巻き取り用スプールに貼り付ける位置まで自動的に送ります。
	[巻き取りエラースキップ]		[装置の使用]で[使用する]が設定済みの場合のみ実行可能です。 [オン]を選択すると、巻き取り装置で、巻き取りエラーが発生しても、印刷を続行します。[オフ]を選択すると、巻き取りエラーが発生すると、印刷を一時停止します。
[移動の準備]			プリンタを輸送するときに輸送レベルを選択し、画面の指示に従って必要な処理を行います。(「プリンタの輸送の準備をする」参照) →P.855 メンテナンスカートリッジの残量の警告メッセージ表示中は表示されません。
[管理者メニュー]	[パスワードの変更]		入力できるパスワードは数値の 0〜9999999 です。 制限の状態と主な項目を以下に示します。より具体的な制限項目については、「メニューの階層」を参照してください。 →P.600 • 管理者のみ表示/設定可能 [パスワードの変更] [パスワードの初期化] など • 管理者は表示/設定可能、管理者以外のユーザーは表示のみ可能 [日時設定] [タイムゾーン] [RemoteUI の使用] など
	[パスワードの初期化]		[OK]を押すと[管理者メニュー]のパスワードが工場出荷時の値に戻ります。
[紙送り微調整] (*2) (*3)			[紙送り調整]の[優先設定]で[自動]または[画質優先]が選択されている場合に表示されます。用紙の送り量を手動で微調整します。
[プリンタの情報] (*2)	[用紙の情報]		現在セットされている用紙の種類、サイズ、プリンタの設定が表示されます。
	[インクの情報]		インクの残量とメンテナンスカートリッジの残り容量が表示されます。
	[システム情報]		ファームウェアのバージョン、シリアルナンバー、インタフェースの情報が表示されます。

設定項目		機能説明/設定方法
[プリンタの情報](*2)	[エラー履歴]	最近発生したエラーメッセージ(5件まで)が表示されます。
	[その他のカウンタ]	プリンタの印刷した総面積が表示されます。

*1: ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。実際の使用量とは異なる場合があります。当社インクコスト測定条件に基づく概算値の平均誤差は、±15%です。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。なお、この概算値の算出には、クリーニング機構による強制吐出のインク消費量等は含まれておりません。

*2: 印刷中メニューとして印刷中に表示されます。

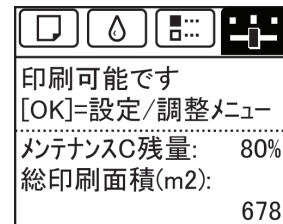
*3: 通常メニューでは表示されません。

ステータスプリントについて

このプリンタはプリンタの状態を示す[ステータス プリント]を印刷できます。
[ステータス プリント]にはファームウェアバージョンやプリンタの各種設定値、消耗品の使用状況などプリンタの情報が印刷されます。

[ステータス プリント]を印刷する

1. 用紙をセットします。
カット紙の場合は、A4 サイズで 5 枚以上必要です。
必要枚数は、用紙個別キャリブレーションの実行履歴数により変化します。

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[テスト プリント]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ステータス プリント]を選択し、[OK]キーを押します。

[ステータス プリント]の内容を確認する

[ステータス プリント]には以下の情報が出力されます。

Canon imagePROGRAF iPFxxxx Status Print	機種名
Firm	ファームウェアバージョン
Boot	ブートロムバージョン
MIT(DBF)	MIT DB フォーマットバージョン
MIT(DB)	MIT DB バージョン
S/N	機種シリアル No
Date	ステータスプリントを印刷した日時です。

Paper Menu			設定されている用紙の情報です。
	Paper Type		
		Roll Media	

		Cut Sheet	設定されている用紙の情報です。
	ManageRemainRoll		
	Keep Paper Type		

Job Menu			ジョブ関連の情報です。
	Job Log		メンテナンス用のカウンタです。 各ジョブについての情報の履歴です。
	HDD Information		HDD の総容量とボックスの空き容量が表示されます。
		Total capacity	
		Box free space	

Set./Adj. Menu					設定/調整関連の情報です。
	System Setup				本体システム/警告/エラー関連の設定値です。
		Sleep Timer			
		Shut Down Timer			
		Buzzer			
		Contrast Adj.			
		Date Format			
		Language			
		Time Zone			
		Length Unit			
		Detect Mismatch			
		Paper Size Basis			用紙関連の設定値です。
			Sht Selection 1		
			Sht Selection 2		
		Keep Paper Size			
		Rep.P.head Print			ヘッド交換後の調整パターン印刷の設定値です。
		Nozzle Check			ノズルチェックの設定値です。
			Frequency		
			Warning		
		CarriageScanWdth			キャリッジのスキャン幅設定値です。
		Use RemoteUI			RemoteUI の使用の設定値です。
		Output Method			印刷ジョブ関連の設定値です。
		Print After Recv			
		Common Box Set.			
		Show Job Log			
	Adjust Printer				調整関連の設定値です。
		Head Posi. Adj.			メンテナンス用のカウンタです。 ヘッド位置調整の調整値の履歴です。
			Adjust Log		
		Calibration			カラーキャリブレーションの設定値です。
			Calibration Log (Common Calibration)		用紙共通キャリブレーションの実行履歴です。
				Date	実行した日付と使用した用紙種類です。
				Paper Type	
			Use Adj. Value		カラーキャリブレーションの調整値を印刷に適用するか、しないかの設定値です。

		Set Exec. Guide		カラーキャリブレーションの実行をお勧めするメッセージを表示するか、しないかの設定値です。
Take-up Reel				巻き取り装置関連の設定値です。
	Use Take-up Reel			
	Skip Take-Up Err			
Printer Info				インク関連/RAM の使用状況とエラー履歴です。
	Ink Info			インク関連の情報です。
		MC		メンテナンスカートリッジ空き容量(%)
		PC, C, MBK, Y, M, PM, R, G, B, PGY, GY, BK		インク残量です。 20%刻みで表示されます。
	System Info			RAM の総容量が表示されます。
		RAM		
	Error Log			過去 5 件のエラーコードです。

HEAD LOT NUMBER			プリントヘッドのロットナンバーです。
	LOT L: R:		
PARTS STATUS			サービス交換部品の使用状況です。
	COUNTER		
COUNTER			カッター、メディアなどの使用状況です。
	CUTTER		
	MEDIA		
		LIFE TTL	
		LIFE ROLL	
		LIFE CUTSHEET	
	MEDIA 1-7,OTHER		
		NAME	
		TTL	
		ROLL	
		CUTSHEET	
	AFTER INSTALLATION		

DUTY		メンテナンス用のカウンタです。サービスを依頼する際に、必要となることがあります。
	UNIT:m2	
	UNIT:sq.f	
	UNIT:A4 Sheet	
	UNIT:Letter Sheet	

Set./Adj. Menu					設定/調整関連の情報です。
	Adjust Printer				調整関連の設定値です。
		Calibration			カラーキャリブレーションの設定値です。
			Calibration Log (Unique Calibration)		用紙個別キャリブレーションの実行履歴です。
				No.	履歴番号です。
				Paper Type	実行した日付と使用した用紙種類です。
				Date	
				AdjType	調整タイプです。
				PatternSize	パターンサイズです。

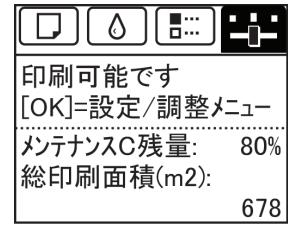
				Temp/Humid	実行したときの温度と湿度です。
				Backing	実行したときのバッキングの情報です。

インタフェース設定プリントについて

このプリンタはプリンタのインタフェース設定値を一覧で示す[インタフェース設定プリント]を印刷できます。
[インタフェース設定プリント]には TCP/IP や NetWare などの設定値が印刷されます。

[インタフェース設定プリント]を印刷する

1 用紙をセットします。
カット紙の場合は、A4 サイズで 3 枚以上必要です。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

• [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[テスト プリント]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定プリント]を選択し、[OK]キーを押します。

[インタフェース設定プリント]の内容を確認する

[インタフェース設定プリント]には以下の情報が出力されます。

Canon imagePROGRAF iPFxxxx Interface Print	機種名

Firm	ファームウェアバージョン
Boot	ブートロムバージョン
MIT(DBF)	MIT DB フォーマットバージョン
MIT(DB)	MIT DB バージョン
S/N	機種シリアル No
Date	インタフェース設定プリントを印刷した日時です。

EOP Timer		印刷ジョブを受信できないときの、印刷ジョブをキャンセルする時間を設定します。
TCP/IPv4	Frame Type	[IPv4]の設定値です。
	Use DHCP	
	Use BOOTP	
	Use RARP	
	Enable DNS Dynamic Update	
	Use Zeroconf Function	
	IP Address	

TCP/IPv4	Subnet Mask	[IPv4]の設定値です。
	Gateway Address	
	LPD Printing	
	IPP Printing	
	IPP Printer URI	
	RAW Printing	
	Raw Mode Bi-direction	
	FTP Printing	
	Use Discovery	
	Scope	
	SMTP Server Address	
	Primary DNS Server Address	
	Secondary DNS Server Address	
	DNS Host Name	
	DNS Domain Name	
	MulticastDNS ServiceName	
	SNMPv1	
	SNMPv3	

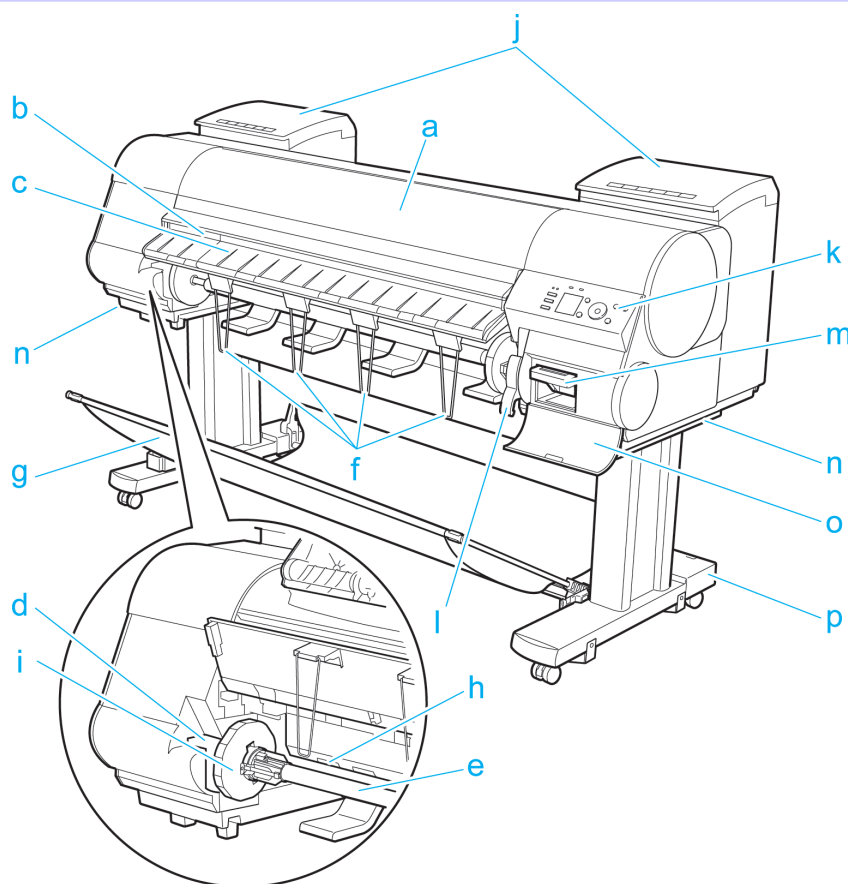
TCP/IPv6	Use IPv6		[IPv6]の設定値です。
	Use DHCPv6	Stateful Address	
		Prefix Length	
		Primary DNS Server Address	
		Secondary DNS Server Address	
	Use a stateless address	Stateless Address 1	
		Prefix Length 1	
		Stateless Address 2	
		Prefix Length 2	
		Stateless Address 3	
		Prefix Length 3	
		Stateless Address 4	
		Prefix Length 4	
		Stateless Address 5	
		Prefix Length 5	
		Stateless Address 6	
		Prefix Length 6	
	Use a link-local Address	Link-Local Address	
		Prefix Length	
	Use a manual address	IP Address	
		Prefix Length	
		Default Router Address	
		Prefix Length	
		Primary DNS Server Address	
		Secondary DNS Server Address	
	Use the same host name and domain name as IPv4	DNS Host Name	

TCP/IPv6	Use the same host name and domain name as IPv4	DNS Domain Name	[IPv6]の設定値です。
	Perform dynamic updating of stateful addresses		
	Dynamically update the stateless address		
	Dynamically update the manual address		

NetWare	Frame Type		[NetWare]の設定値です。
	IPX External Network Number		
	Node Number		
	Print Application		
	Bindery PServer	File Server Name	
		Print Server Name	
		Print Server Password	
		Polling Interval	
	RPrinter	Print Server Name	
		Printer Number	
	NDS PServer	Tree Name	
		Context Name	
		Print Server Name	
		Print Server Password	
		Polling Interval	
	NPrinter	Print Server Name	
		Printer Number	
AppleTalk	Phase Type		[AppleTalk]の設定値です。
	Name		
	Network Number		
	Zone		
Network Interface	Physical Interface		ネットワークインタフェースの設定値です。
	Transmission Rate		
	MAC Address		
	Auto Detect		
	Communication		
	Ethernet Type		
	Spanning Tree		
	Use the Jumbo Frame Function		

各部の説明

前面 622
背面 624
上カバー内部 625
キャリッジ 626
インクタンクカバー内部 627
スタンド 628
バスケット 512
巻き取り装置(オプション) 629
操作パネル 588

前面

a 上カバー

このカバーを開き、プリントヘッドを取り付けたり、用紙をセットしたり、プリンタ内部につまった用紙を取り除きます。(「上カバー内部」参照) →P.625

b カッター溝

カッターやはさみで用紙をカットするときに、この溝の上でカットします。

c 排紙ガイド

印刷物が排紙されます。また、ロール紙をセットするときに、このガイドを上げます。

d ロールホルダースロット

ロールホルダーをこのガイド溝にセットします。

e ロールホルダー

ロール紙をこのホルダーにセットします。

f 排紙サポート

印刷物がロールホルダーや給紙口に巻き込まれるのを防止します。

g バスケット

排紙された用紙を受け止める布製のトレイです。(「バスケット」参照) →P.512

h 給紙口

ロール紙をセットするときに、ここにロール紙を差し込みます。

i ホルダーストッパ

ロールホルダーにロール紙をこの部品で固定します。

j インクタンクカバー

このカバーを開き、インクタンクを交換します。(「インクタンクカバー内部」参照) →P.627

k 操作パネル

このパネルで、プリンタを操作したり、プリンタの状態を確認します。(「操作パネル」参照) →P.588

l リリースレバー

用紙押さえを解除します。用紙をセットするときに、このレバーを手前側に引き上げます。

m メンテナンスカートリッジ

ヘッドクリーニングなど、メンテナンスで使用したインクを吸収します。(いっぱいになったら交換します。)

n 運搬用取っ手

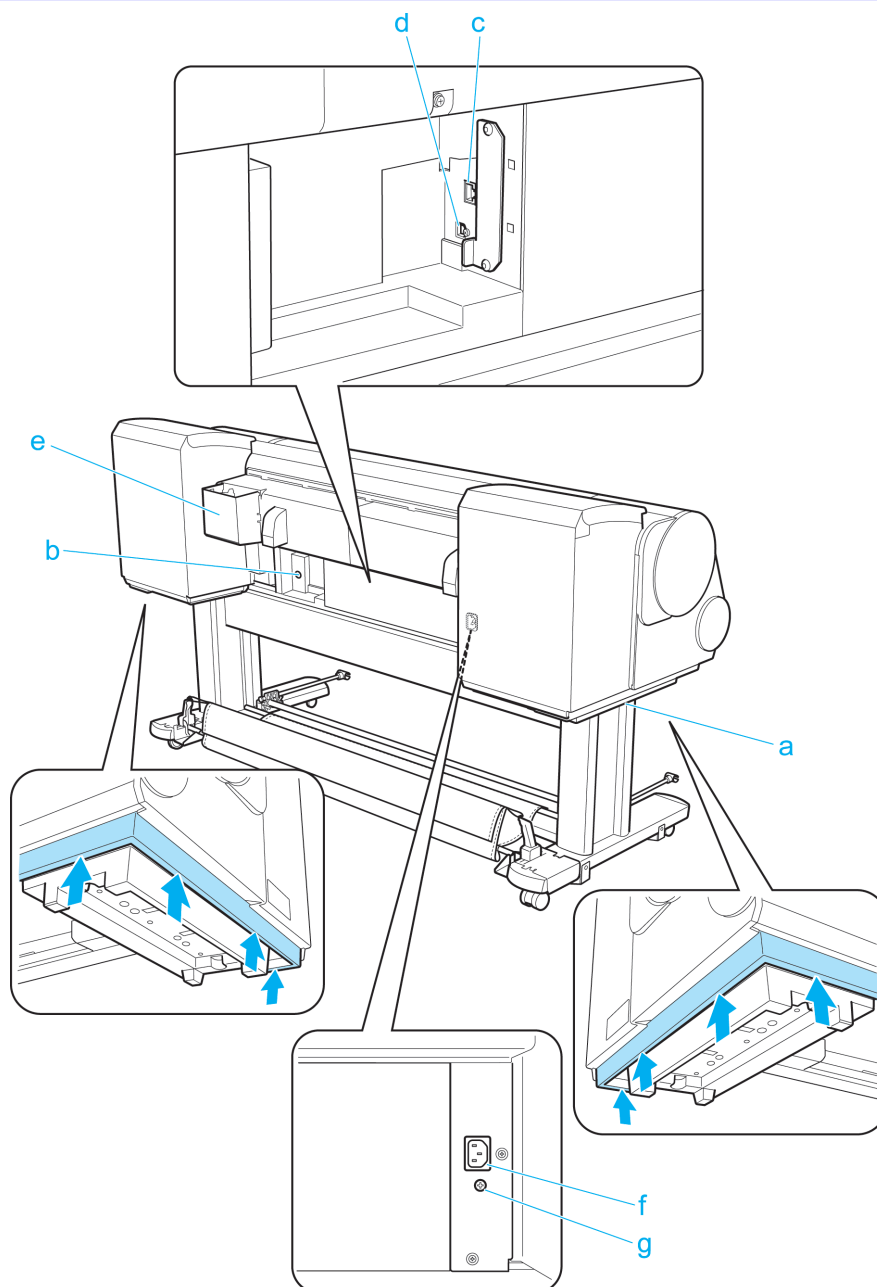
左右底面のこの部分を持って、4 人でプリンタを運びます。

o メンテナンスカートリッジカバー

このカバーを開き、メンテナンスカートリッジを交換します。

p スタンド

プリンタの取り付け台です。キャスター付きで簡単に移動できます。(「スタンド」参照) →P.628

背面

a 運搬用取っ手

左右底面のこの部分を持って､4 人でプリンタを運びます。

b 巻き取り装置用電源コネクタ

巻き取り装置(オプション)の電源コードをこのコネクタに接続します。

c Ethernet コネクタ

Ethernet ケーブルをこのコネクタに接続します。

d USB ポート

USB ケーブルをこのポートに接続します。Hi-Speed USB に対応しています。

e マニュアルポケット

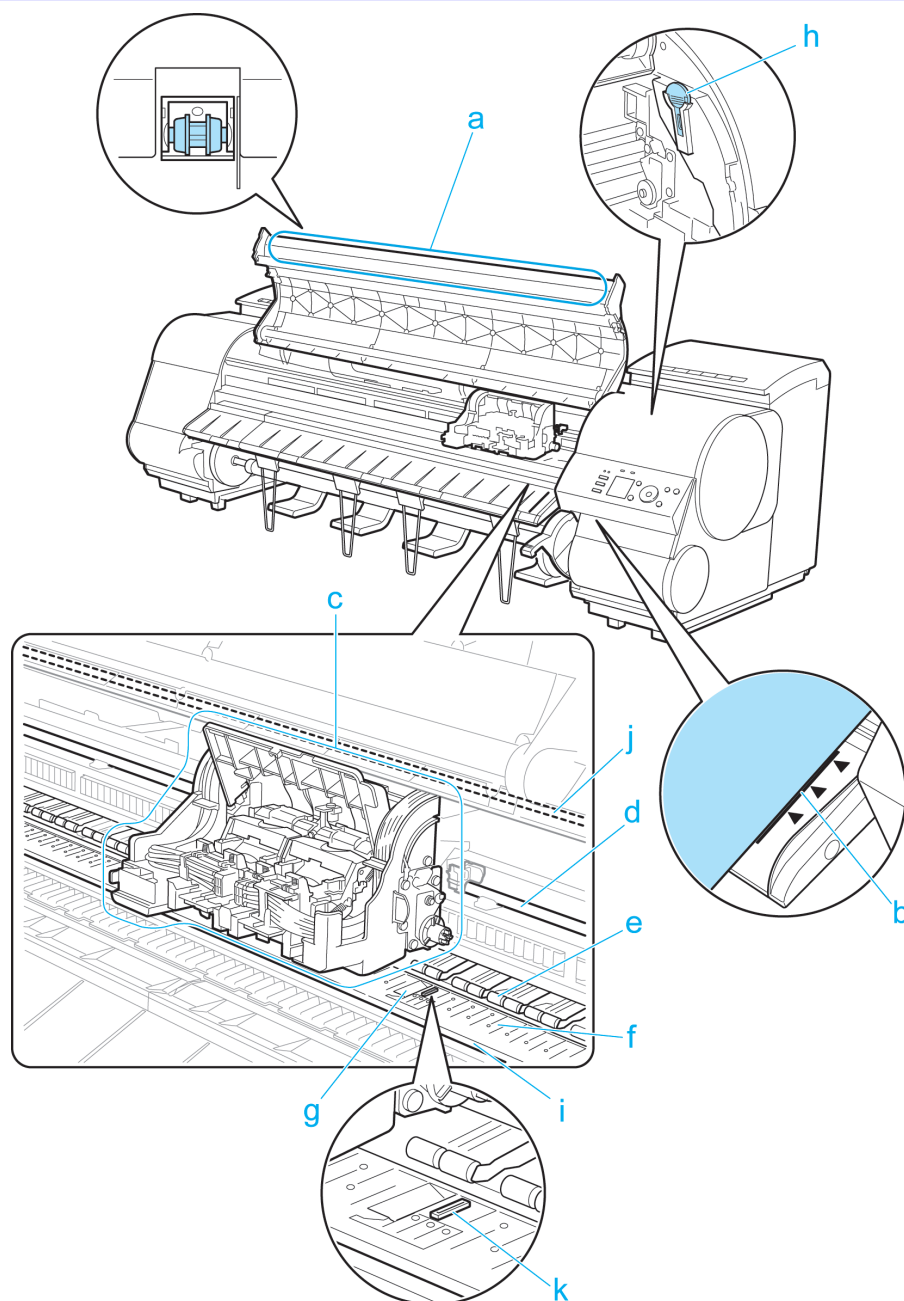
プリンタのマニュアルをこのポケットに収納します。

f 電源コネクタ

電源コードをこのコネクタに接続します。

g アース端子

アース線をこの端子に接続します。

上カバー内部

a 上カバーローラ

用紙の浮き上がりを押さえて排紙します。

b 紙合わせライン

用紙をセットするときに、このラインに合わせてセットします。

c キャリッジ

プリントヘッドを動かします。印刷するための重要な部品です。(「キャリッジ」参照) →P.626

d キャリッジシャフト

この部分をキャリッジが移動します。

e 用紙押さえ

用紙を送るための重要な部品です。この部分で用紙を保持しています。

f プラテン

この部分をプリントヘッドが移動し、印刷が行われます。表面には吸引口があり、用紙の浮き上がりを防ぎます。

g フチなし印刷インク受け溝

フチなし印刷するときに、用紙の外側にはみ出したインクを受けます。

h クリーナブラシ

上カバー内部を清掃するときに、このブラシでプラテン上の紙粉を掃き取ります。
また、プラテン上の青いスイッチを動かす際に使用します。

i 固定刃

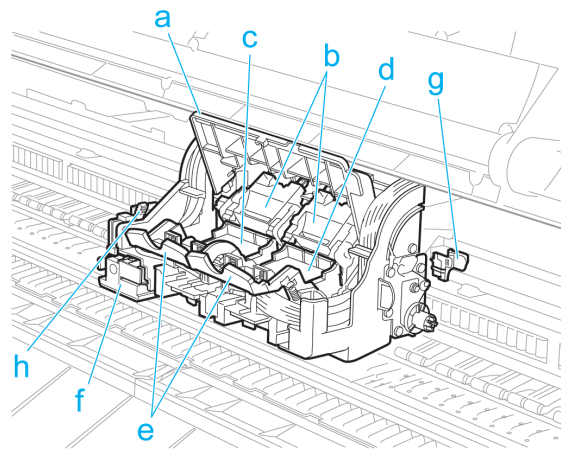
この部分をカッターユニットが通過し、用紙をカットします。

j リニアスケール

キャリッジの位置を検出するための重要な部品です。上カバー内部で清掃や紙づまり処理を行うときは、絶対に触れないでください。

k スイッチ

印刷した画像の端部がぼやける場合などに、●の反対側に設定します。フチなし印刷をする際は●側に戻してから印刷してください。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.880

キャリッジ

a キャリッジカバー

キャリッジを保護します。

b プリントヘッド固定カバー

プリントヘッドを固定します。

c プリントヘッドL

ノズルが装着されています。印刷するための重要な部品です。

d プリントヘッドR

ノズルが装着されています。印刷するための重要な部品です。

e プリントヘッド固定レバー

プリントヘッド固定カバーをロックします。

f カッターユニット

用紙を自動でカットするための丸刃カッターです。カットしていないときは、収納されています。

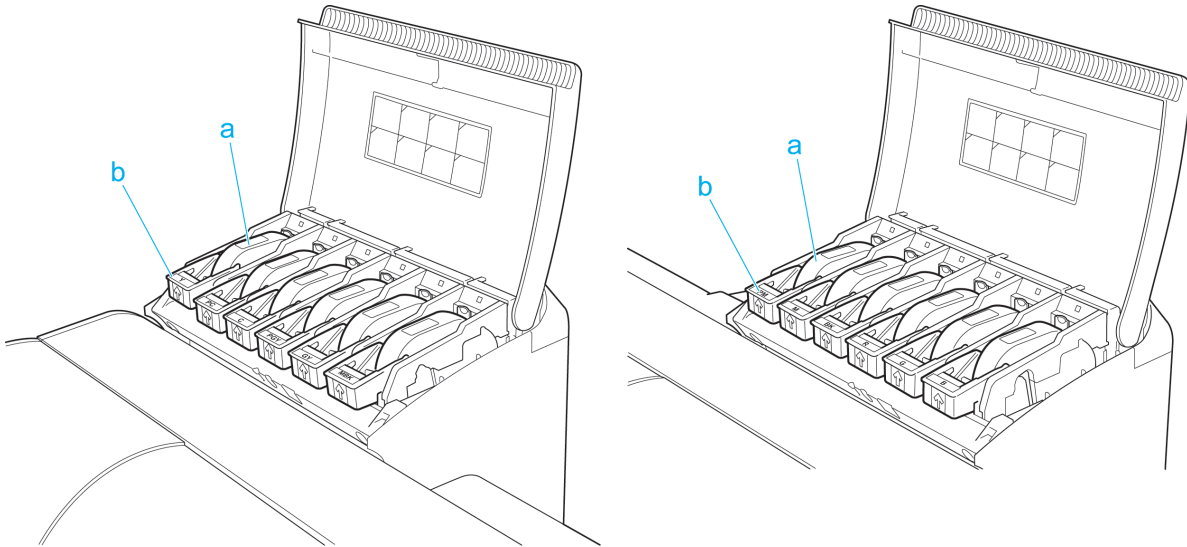
g シャフトクリーナ

キャリッジシャフトの汚れを防止します。

h カッターユニット着脱レバー

カッターユニットを交換するときに操作します。

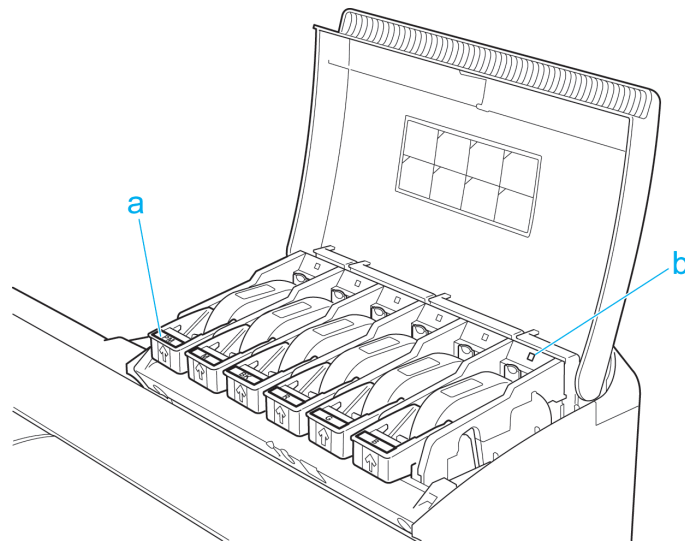
インクタンクカバー内部

左側	右側

*1: 図は 700ml のインクタンクをセットした状態

a インクタンク

各色のインクのカートリッジです。

b インクタンク固定レバー

インクタンクを保護し、ロックするためのレバーです。インクタンクを交換するときに、このレバーを上下します。開くときは、このレバーのストッパーを持ち上げて、止まるところまで引き上げてから手前に倒します。閉じるときは、カチッと音がするまで押し下げます。

a インク色ラベル

ラベルの色と名称に合わせてインクタンクをセットします。

b インクランプ(赤)

インクタンクカバーを開いたときに、以下のようにインクタンクの状態を示します。

- **点灯**

  インクタンクが正常にセットされています。

- **消灯**

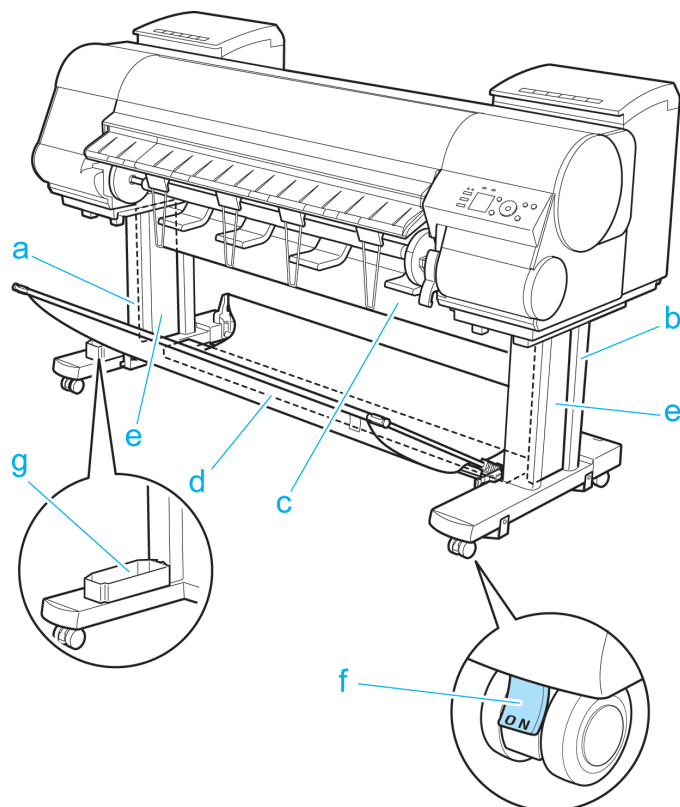
  インクタンクがセットされていない、またはインク残量検知機能が無効になっています。

- **遅い点滅**

  インクの残量が少なくなっています。

- 速い点滅

  インクがありません。

スタンド

a スタンドL

スタンドの左足です。

b スタンドR

スタンドの右足です。

c スタンド上ステー

スタンドLとスタンドRを支えます。ここに、巻き取り装置(オプション)を取り付けます。

d スタンド下ステー

スタンドLとスタンドRを支えます。

e レッグカバー

スタンドLとスタンドRのカバーです。

f ストッパ

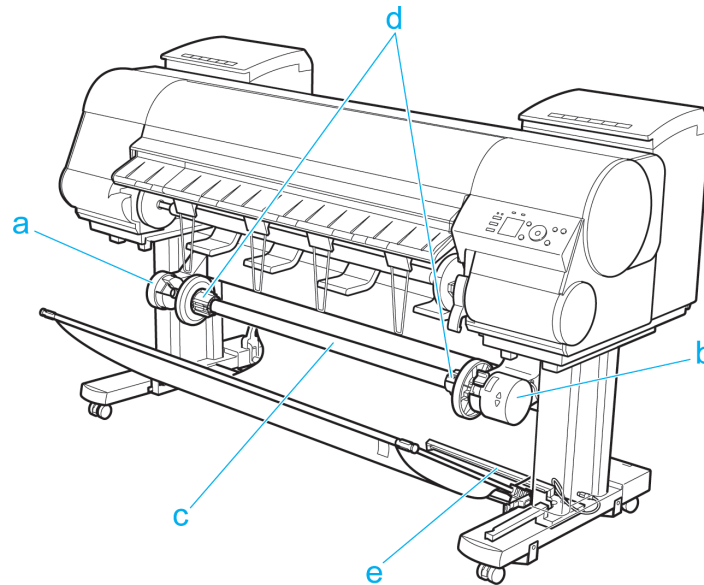
スタンドのキャスターを固定します。

プリンタを移動するときは、必ずストッパを解除してください。ストッパをロックしたままプリンタを移動すると、キャスターが削れて床に傷が付く場合があります。

g アクセサリポケット

プリンタの付属品を収納します。

巻き取り装置(オプション)

本体

a 巻き取り装置 L

ここに、巻き取り用スプールをセットします。

b 巻き取り装置 R

ここに、巻き取り用スプールをセットします。巻き取り装置の[電源]キー、用紙送りのための[▲]キーと[▼]キー、電源コードが付いています。

c 巻き取り用スプール

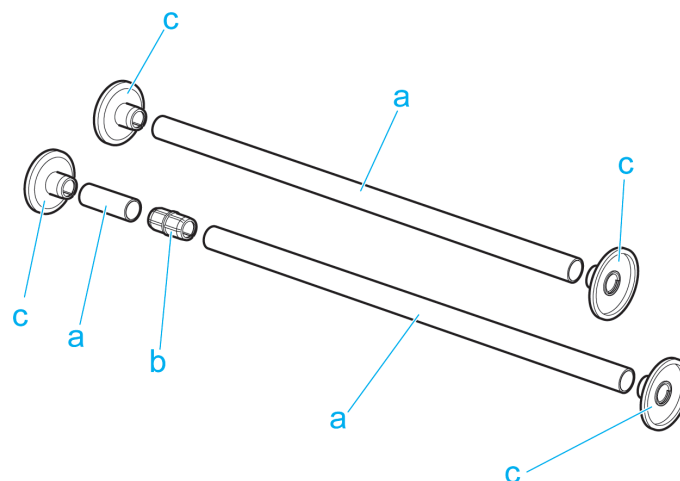
印刷したロール紙を巻き取ります。

d 3 インチアダプタ

紙管が 3 インチのロール紙を巻き取るときに、巻き取り用スプールに取り付けます。

e 巻き取りセンサー

ロール紙を自動で巻き取るためのセンサーです。

ウェイト

a ウェイトロール(6 本)

ロール紙を巻き取るために必要な重りです。ロール紙の幅に合わせて、1 本またはウェイトジョイントで 2 本を組み合わせて使用します。

b ウェイトジョイント

2 本のウェイトロールをジョイントします。

c ウェイトフランジ(2 組)

重みを調整するために、ウェイトロールの両端に取り付けます。用紙の種類によって、ウェイトフランジ 1 とウェイトフランジ 2 を使い分けます。(「巻き取り用スプールを巻き取り装置にセットする」参照) →P.521

ハードディスク

プリンタのハードディスク関連の機能一覧 631
ハードディスクの空き容量を確認する 631
ハードディスク内のデータを消去する 633

プリンタのハードディスク関連の機能一覧

プリンタのハードディスク関連の操作は、下記の方法で行うことができます。

- プリンタドライバ
- imagePROGRAF Print Plug-In
- imagePROGRAF Status Monitor
- imagePROGRAF Printmonitor
- リモート UI
- 操作パネル

プリンタのハードディスク関連の機能の一覧を、以下に示します。

機能		• プリンタドライバ • imagePROGRAF Print Plug-In	• imagePROGRAF Status Monitor • imagePROGRAF Printmonitor	リモート UI	操作パネル
印刷ジョブの保存	ボックス保存	可	不可	不可	不可
	印刷ジョブを共通ボックスに保存しない	不可	不可	不可	可
	プリンタドライバ以外から送信された印刷ジョブの保存	不可	不可	不可	可
保存したジョブの操作	保存したジョブの印刷	不可	可	可	可
	保存したジョブの削除	不可	可	可	可
ジョブキューの管理	ジョブキューの表示	不可	可	可	可
	削除	不可	可	可	可
	追い越し	不可	可	可	可
	保留ジョブの操作	不可	可	可	可
ボックスの管理	保存したジョブの移動	不可	可	可	不可
	保存したジョブの設定変更	不可	可	可	不可
	ボックスの設定変更	不可	可	可	不可
	保存したジョブの一覧印刷	不可	不可	不可	可
	保存したジョブの一覧表示	不可	可	可	可
その他の操作	ハードディスク空き容量の表示	不可	可	可	可
	ハードディスクの初期化	不可	不可	不可	可
	印刷時間の表示	不可	可	可	可
エラーメッセージの表示		不可	可	可	可

ハードディスクの空き容量を確認する

プリンタのハードディスクの空き容量を確認できます。
この操作は操作パネル、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor、imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

操作パネルの場合

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (ジョブタブ)を選択します。

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[ジョブメニュー]が表示されます。

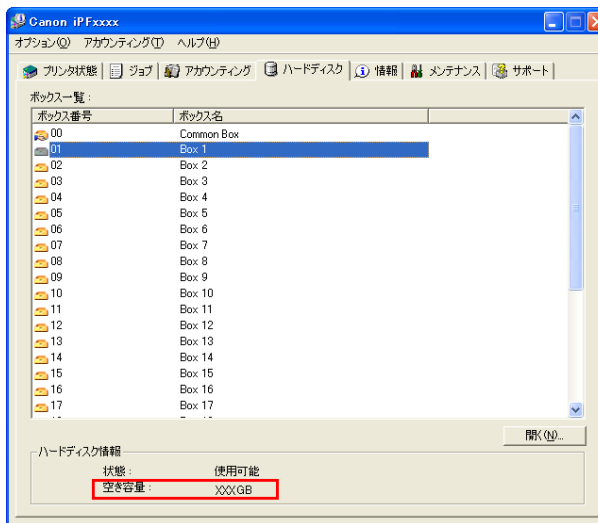
3 [▲]キー、[▼]キーを押して[HDD 情報]を選択し、[OK]キーを押します。

リモート UI の場合

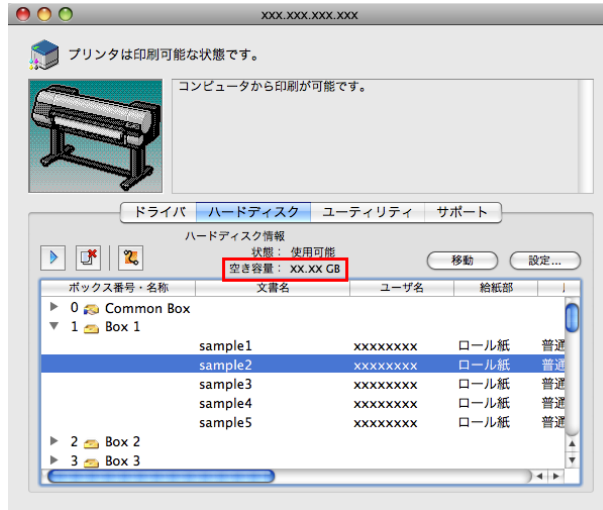
ジョブ管理から[保存ジョブ]を選択するとボックスリストが表示されます。[保存ジョブ]ページでボックスリストを表示しているときに、右上にハードディスクの空き容量の情報が表示されます。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor の場合

[ハードディスク]シートにハードディスクの空き容量が表示されます。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor の場合

[ハードディスク]パネルにハードディスクの空き容量が表示されます。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

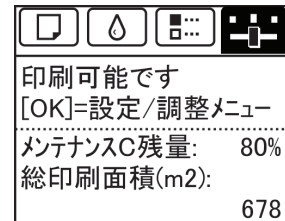
ハードディスク内のデータを消去する

ハードディスクのデータを一括で消去する場合は、3 つの方法から選択します。
この操作は、操作パネルでのみ実行できます。

消去方法	特徴
[高速]	ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報を消去します。短時間で消去する場合に選択してください。ファイル管理情報を消去するだけですので、データ自体は消去されません。データは市販のデータ復元ソフトウェアなどで読取られる可能性があります。
[セキュア高速]	ハードディスク全体にランダムデータを上書きします。データが正しく書き込めたかどうかのベリファイチェックは行いません。機密性の高いデータを消去する場合に選択してください。上書きされたデータは特殊なデータ復元ツールなどで復元できる可能性があります。
[セキュア]	ハードディスク全体に 00/FF/ランダムデータを各 1 回ずつ上書きします。データが正しく書き込めたかどうかのベリファイチェックを行います。特に機密性の高いデータを消去する場合に選択してください。上書きされたデータの復元はほぼ不可能です。米国防総省基準(DoD5220.22-M)に準拠。

重要

- より確実にデータの復元を防止するためには、ハードディスクを物理的または磁気的に破壊する事を推奨します。その場合、ハードディスクの再利用はできません。
- ジョブキューが存在する場合は、[HDD データ消去]を実行できません。
  また、[HDD データ消去]の実行中は、印刷ジョブを処理できません。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[システム設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[HDD データ消去]を選択し、[OK]キーを押します。

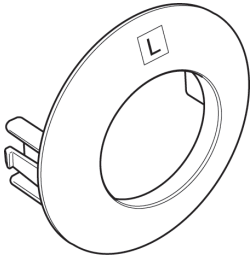
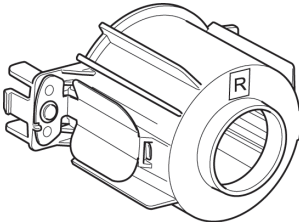
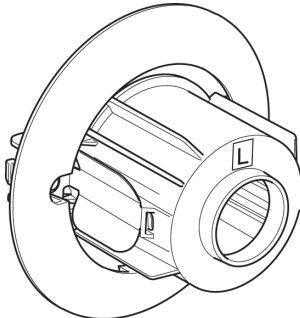
5 [▲]キー、[▼]キーを押して[高速]、[セキュア高速]または[セキュア]を選択し、[OK]キーを押すと、実行確認画面が表示されます。

メモ

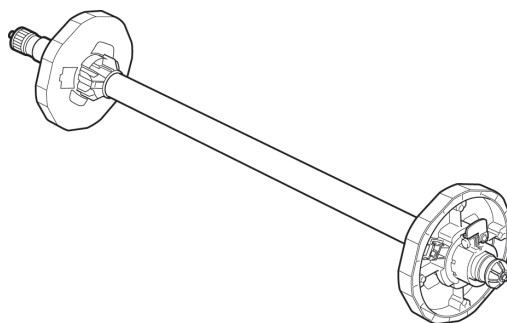
- プリンタにパスワードを設定している場合は、[管理者パスワード]画面が表示されます。この場合、パスワードを入力してから[OK]キーを押すと、次の手順に進みます。
- 消去にかかる時間については、操作パネルで確認してください。ただし、[高速]を選択した場合は、数秒で終了します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押すと、消去を開始します。
消去が終了されると、プリンタが自動的に再起動されます。

オプション

ロールホルダーセット 635
巻き取り装置 635

ロールホルダーセット

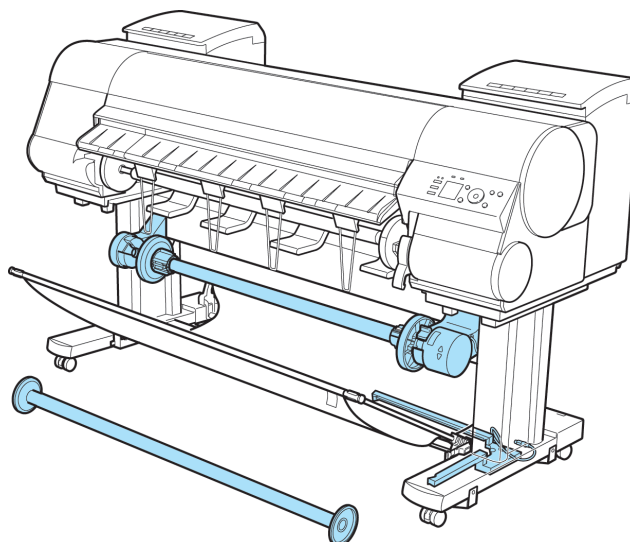
ロール紙はロールホルダーにセットしてプリンタに取り付けます。ロールホルダーセット RH2-44 のロールホルダーは 2 インチ/3 インチ紙管兼用でお使いいただけます。紙管に合ったアタッチメントを取り付けてご使用ください。（「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照） →P.481

- ロールホルダーセット RH2-44
  - ロールホルダー（2 インチ/3 インチ紙管兼用）

  - アタッチメント

2 インチ紙管のロール紙を使用する場合	3 インチ紙管のロール紙を使用する場合	
2 インチ紙管アタッチメント	3 インチ紙管アタッチメント 1	3 インチ紙管アタッチメント 2

巻き取り装置

印刷したロール紙を自動で巻き取ります。

- 巻き取り装置 TU-06

メモ

- 巻き取り装置の取り付け方法については、巻き取り装置セットアップガイドを参照してください。
- 巻き取り装置で使用できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。
- 巻き取り装置の使用方法については、「巻き取り装置(オプション)を使用する」を参照してください。 →P.519

ネットワーク環境

ネットワーク環境について

必要なシステム環境について

使用するネットワークに応じて、以下のシステム環境が必要です。

- TCP/IP ネットワークで印刷する場合（IPv4 使用時）
  - 対応している OS
    - Windows XP
    - Windows Server 2003
    - Windows Vista
    - Windows Server 2008
    - Windows 7
    - Windows Server 2003 x64
    - Windows Vista x64
    - Windows Server 2008 x64
    - Windows 7 x64
    - Mac OS X v10.2.8 以降
    - Unix（Solaris 9）
    - Unix（Red Hat 9）
- TCP/IP ネットワークで印刷する場合（IPv6 使用時）
  - 対応している OS
    - Windows Vista
    - Windows Server 2008
    - Windows 7
    - Windows Vista x64
    - Windows Server 2008 x64
    - Windows 7 x64
    - Mac OS X v10.3.9 以降

メモ

- IPv6 を使用する場合、IPv6 を操作パネルまたはリモート UI で設定する必要があります。設定方法については、「TCP/IPv6 ネットワークを設定する」→P.645 または「リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」を参照してください。→P.647
- imagePROGRAF プリンタドライバは、Mac OS X v10.5.8 以降に対応しています。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、Unix には対応していません。

- AppleTalk ネットワークで印刷する場合
  - 対応している OS
    - Mac OS X v10.2.8～10.4

メモ

- LocalTalk ネットワークには対応していません。
- フェーズ 2 の EtherTalk に対応しています。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

- NetWare ネットワークで印刷する場合
  - 対応しているサーバ
    - Novell NetWare Version 4.2/5.1/6.0
  - 対応しているクライアント
    - Windows XP（Professional）

ネットワークの設定
ネットワーク環境

メモ

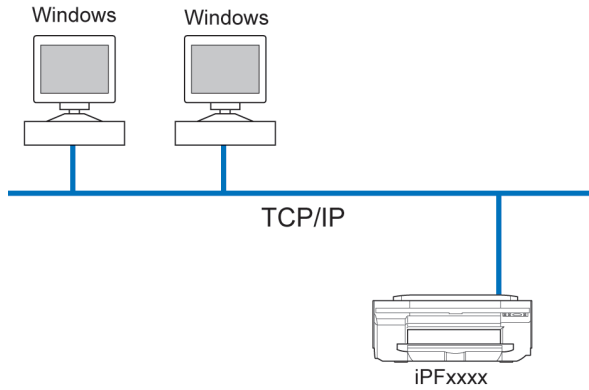
- NetWare Version 6.0 の iPrint はサポートしていません。

ネットワーク環境について

プリンタを接続するネットワーク環境を確認し、必要な作業を行ってください。なおネットワーク用インターフェースの仕様については「仕様」を参照してください。→P.920

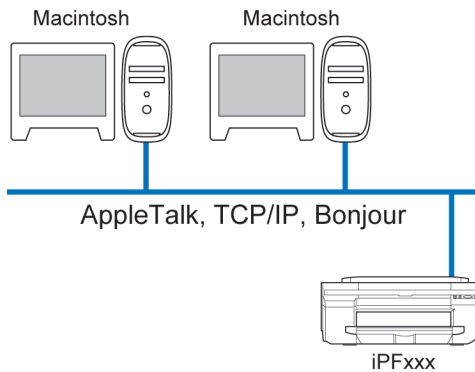
- Windows ネットワークの例

Windows ネットワークでは、TCP/IP プロトコルを使用します。

メモ

- このプリンタでは、NetBIOS プロトコルは使用できません。

- Macintosh ネットワークの例

Macintosh ネットワークでは TCP/IP、Bonjour(Zeroconf)機能が使用できます。

メモ

- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

- NetWare ネットワークの例

- NetWare サーバがあるネットワーク環境でも、TCP/IP プロトコルや AppleTalk プロトコルを併用することは可能です。その場合は、使用する各プロトコルの設定を行ってください。

リモート UI を使用する

リモート UI を使う

リモート UI は、お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由して本プリンタにアクセスし、プリンタの状況の確認やジョブの操作、各種設定などができるソフトウェアです。リモート UI を使用するためのソフトウェア(Web サーバ)はプリンタに内蔵されているので、Web ブラウザ以外のソフトウェアを用意する必要はありません。ネットワーク上の imagePROGRAF プリンタがコンピュータとつながっていれば、リモート UI を使うことができます。Web ブラウザを起動してプリンタの IP アドレスを指定すると、リモート UI の画面が表示され、リモート UI を使えるようになります。

重要

- リモート UI を使用するためには、プリンタに事前に IP アドレスを設定しておく必要があります。IP アドレスの設定方法については、「プリンタに IP アドレスを設定する」を参照してください。→P.643

リモート UI でできること

リモート UI では、ネットワーク経由でプリンタにアクセスして、ネットワークに関する設定を行ったり、プリンタの現在の状況や各種情報、ジョブの処理状況などを表示させることができます。

リモート UI の起動方法

次の操作に従い、リモート UI を起動します。

1. Web ブラウザを起動します。
2. [アドレス]または[場所]に以下の URL を入力します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/
3. リモート UI の画面が表示されます。

メモ

- プリンタの機種によって画面は多少異なります。

リモート UI でネットワークの設定を行う

ネットワークに関連する項目の設定方法については、以下のトピックを参照してください。

- リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする →P.647
- プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする →P.662
- リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする →P.655
- プリンタの情報を設定する →P.664

重要

- Web ブラウザは、Netscape Navigator 6.0 以降、Internet Explorer 5.01 以降、または Firefox 1.5 以降を使用してください。Mac OS X の場合は、Safari 1.32 以降または 2.03 以降にも対応しています。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをご使用の環境では、Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、[例外](プロキシを使用しないアドレス)にプリンタの IP アドレスを追加してください。(設定はネットワーク環境によって異なります。)
- Web ブラウザで、JavaScript とクッキー(Cookie)が使用できるように設定してください。
- プリンタの IP アドレスではなく、名前を指定してリモート UI を起動する場合は、DNS の設定が正しく行われていることを確認してください。
- ネットワーク環境によっては、リモート UI が起動できない場合があります。
- プリンタの操作パネルの[システム設定]で[RemoteUI の使用]が[使う]になっていることを確認してください。

メモ

- リモート UI には、インクの残量やエラーなどのプリンタの状態表示、印刷ジョブの中止など、他にも多くの機能があります。
- 工場出荷時の状態では、英語のページが表示されます。表示言語を切り替えるには[Language]の一覧から言語を選択してから、管理者モードにログオンしてください。
- 管理者モードでログオンすると、[ネットワーク]ページで Jumbo Frame 機能を使用するように設定することができます。ただし、ネットワーク環境によってはこの機能を使用できない場合があります。

最初の設定

プリンタに IP アドレスを設定する ... 643
imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する ... 668
プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する ... 643
ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する ... 644
TCP/IPv6 ネットワークを設定する ... 645
プリンタドライバの接続先を設定する(Windows) ... 646
プリンタドライバの接続先を設定する(Mac OS X) ... 647
リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする ... 647

プリンタに IP アドレスを設定する

プリンタを TCP/IP ネットワークで使用するためには、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。
セットアップガイドの手順に従ってプリンタドライバをインストールすると、プリンタの IP アドレスを同時に設定することができます。
一度設定した IP アドレスを変更する場合や、プリンタの接続形態をネットワーク接続に変更する場合は、imagePROGRAF Device Setup Utility、プリンタの操作パネル、ARP/PING コマンドのいずれかを使用して IP アドレスを設定します。IP アドレスの設定方法については、以下のトピックを参照してください。

- imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する →P.668 (Windows)
- プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する →P.643
- ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する →P.644

重要

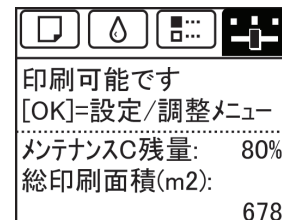
- DHCP サーバの機能を利用して、自動的にプリンタに IP アドレスを割り当てる場合、プリンタの電源を入れなおすと、印刷できなくなることがあります。これは、今まで使用していた IP アドレスとは異なる IP アドレスが割り当てられたためです。DHCP サーバの機能を使用する場合には、ネットワーク管理者にお問合せの上、次のいずれかの設定を行ってください。
  - DNS 動的更新機能を設定する
    プリンタのメニューで[DNS 動的更新]を[オン]にするか、またはリモート UI で[DNS の動的更新を行う]をオンにしてください。
    (「メニューの設定値」参照) →P.605
    (「リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」参照) →P.647
  - プリンタ起動時に常に同じ IP アドレスを割り当てるように設定する

メモ

- TCP/IP 以外のネットワークでプリンタを使用する場合も、プリンタの IP アドレスを設定しておくことをお勧めします。IP アドレスを設定しておくと、リモート UI を使用し、Web ブラウザからネットワークの設定やプリンタの管理が行えます。リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.641

プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する

ここでは、プリンタの操作パネルでプリンタの IP アドレスを設定する手順を説明します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[TCP/IP]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv4]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv4 設定]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[IP アドレス]を選択し、[OK]キーを押します。

8 [◀]キー、[▶]キーを押して入力フィールドを選択し、数値を入力できる状態にします。

9 [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。

メモ
- [▲]キーを押すと数値は 1 つずつ増えます。ただし、百の桁は 2 の次が 0、十と一の桁は 9 の次は 0 になります。
- [▼]キーを押すと数値は 1 つずつ減ります。ただし、百の桁は 0 の次が 2、十と一の桁は 0 の次は 9 になります。
- [▲]キーや[▼]キーを押し続けると、数値を連続して増減することができます。
- コンピュータとプリンタの IP アドレスが同じにならないように設定してください。

10 手順 8〜9 を繰り返して、設定が完了したら[OK]キーを押します。

11 [メニュー]キーを押します。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。

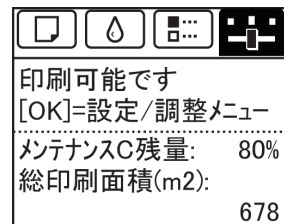
重要
- 必ず手順 11 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。
- エラーが表示される場合は、各設定値を確認し、設定し直してください。

メモ
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイもプリンタの操作パネルで設定できます。
- DNS もプリンタの操作パネルで設定できます。

ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する

ここでは、ARP/PING コマンドを使用し、IP アドレスを設定する手順を説明します。
ARP/PING コマンドを使用する場合、プリンタの MAC アドレスが必要になります。MAC アドレスは、プリンタの操作パネルで確認できます。

1 プリンタの MAC アドレスを調べます。
MAC アドレスは、以下の手順でプリンタの操作パネルで確認できます。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

2. [OK]キーを押します。

[設定/調整メニュー]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet ドライバ]を選択し、[OK]キーを押します。
5. [▲]キー、[▼]キーを押して[MAC アドレス]を選択し、[OK]キーを押します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。
- MAC アドレスはインタフェース設定プリントを出力して調べることもできます。（「インタフェース設定プリントについて」参照） →P.617

2 Windows の場合はコマンドプロンプト、Mac OS X の場合はターミナルを起動します。

3 以下のコマンドを実行し、IP アドレスと MAC アドレスの対応を管理する ARP テーブルにエントリを追加します。
arp -s [IP アドレス] [確認したプリンタの MAC アドレス]
入力例: arp -s xxx.xxx.xxx.xxx xx-xx-xx-xx-xx-xx

メモ
- Mac OS X のターミナルの場合、arp コマンドは
arp -s xxx.xxx.xxx.xxx xx-xx-xx-xx-xx-xx
のように指定します。詳細については、コマンドラインのヘルプなどで確認してください。

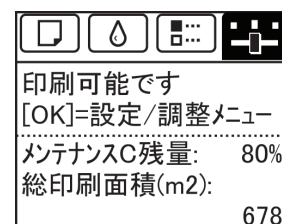
4 以下のコマンドを実行し、IP アドレスをプリンタに送信し、設定します。
ping [ARP コマンドで指定した IP アドレス] -l 479
入力例: ping xxx.xxx.xxx.xxx -l 479

メモ
- [-l]の[l]はアルファベットの[エル]です。
- Mac OS X のターミナルの場合、ping コマンドは
ping -s 479 xxx.xxx.xxx.xxx
のように指定します。詳細については、コマンドラインのヘルプなどで確認してください。

メモ
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、0.0.0.0 に設定されます。リモート UI を使用して、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイを、ご使用のネットワークの設定に合わせて変更してください。
リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.641

TCP/IPv6 ネットワークを設定する

TCP/IPv6 ネットワークで印刷する場合、TCP/IPv6 を操作パネルで設定する必要があります。
TCP/IPv6 ネットワークは、以下の手順で設定します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して（設定/調整タブ）を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[TCP/IP]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv6]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv6 の使用]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。

重要

- [IPv6 の使用]で[使う]を選択すると、[IPv6 ステートレスアドレス]の設定が有効になります。

メモ

- [IPv6 ステートレスアドレス]、[DHCPv6]もプリンタの操作パネルで設定できます。
- DNS もプリンタの操作パネルで設定できます。

プリンタドライバの接続先を設定する(Windows)

ここでは、プリンタの IP アドレスを変更した場合や、プリンタを USB 接続からネットワーク接続に変更する場合などに、プリンタドライバの接続先を設定する手順を説明します。
この手順は、Windows 標準の TCP/IP ポート([Standard TCP/IP Port])を使用し、LPR または Raw プロトコルを使用する場合の設定方法です。

重要

- TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、プリンタに IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。
  - プリンタに IP アドレスを設定する →P.643

メモ

- ここでは Windows 7 での手順を説明します。

1 [デバイスとプリンター]ウィンドウを開きます。

2 プリンタのアイコンを右クリックして[プリンターのプロパティ]を選択し、プリンタのプロパティのウィンドウを開きます。

3 [ポート]タブをクリックし、[ポート]シートを表示します。

4 [ポートの追加]をクリックし、[プリンタポート]ダイアログボックスを開きます。

5 [利用可能なポートの種類]の一覧から[Standard TCP/IP Port]を選択します。

6 [新しいポート]をクリックします。
ウィザードが起動し、[標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザードの開始]ウィンドウが表示されます。

7 [次へ]をクリックします。

8 [プリンタ名または IP アドレス]に、プリンタの IP アドレスを入力します。なお、DNS が設定されている場合は、DNS ドメイン名での入力もできます。

9 画面の指示に従ってプリンタポートを追加します。

10 [閉じる]をクリックし、[プリンタポート]ダイアログボックスを閉じます。

11 [印刷するポート]に追加したポートが表示され、チェックボックスがオンになっていることを確認します。

12 [閉じる]をクリックし、プリンタのプロパティのウィンドウを閉じます。

プリンタドライバの接続先を設定する(Mac OS X)

プリンタの IP アドレスを変更した場合や、プリンタを USB 接続からネットワーク接続に変更する場合などは、プリンタドライバの接続先を設定します。

- TCP/IP ネットワークに変更したり、プリンタの IP アドレスを変更する場合については、「TCP/IP ネットワークで接続先を設定する」を参照してください。→P.658
- Bonjour ネットワークに変更する場合は、「Bonjour ネットワークで接続先を設定する」を参照してください。→P.659

リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする

TCP/IP ネットワークは、以下の手順で設定します。

IPv4 の IP アドレスを使用する場合

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://[プリンタの IP アドレスまたは名前]/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/
2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。
3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。
5. [TCP/IPv4]グループの右上にある[変更]をクリックし、[TCP/IP プロトコル設定の変更]ページを表示します。
6. TCP/IP の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

TCP/IP の設定項目

項目名	内容	初期値
[DHCP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、DHCP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[BOOTP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、BOOTP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[RARP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、RARP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[DNS の動的更新を行う]	オンにすると、DNS サーバへの登録を自動的に更新できます。	オフ
[Zeroconf 機能を使用する]	オンにすると、Bonjour 機能を使用できます。	オン
[IP アドレス]	プリンタの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[サブネットマスク]	プリンタのサブネットマスクを設定できます。	0.0.0.0
[ゲートウェイアドレス]	プリンタのデフォルトゲートウェイを設定できます。	0.0.0.0
[LPD 印刷]	オンにすると、LPD 印刷機能を使用できます。	オン
[IPP 印刷]	オンにすると、IPP 印刷機能を使用できます。	オン
[IPP プリンタの URI]	IPP 印刷に使用するプリンタの URI(1~252 文字)を設定できます。	printer
[RAW 印刷]	オンにすると、RAW 印刷機能を使用できます。	オン
[Raw モード双方向通信機能]	オンにすると、Raw モードでの双方向通信機能を使用できます。	オフ
[FTP 印刷]	オンにすると、FTP 印刷機能を使用できます。	オン
[Discovery を使用する]	オンにすると、SLP の Discover 機能を使用できます。	オン
[スコープ]	SLP の検索範囲を入力します。	default
[SMTP サーバアドレス]	SMTP サーバの IP アドレスを設定できます。 SMTP サーバのドメイン名も設定可能です。	0.0.0.0

項目名	内容	初期値
[プライマリ DNS サーバアドレス]	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[セカンダリ DNS サーバアドレス]	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[DNS ホスト名]	プリンタのホスト名(1〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)で設定します。先頭に数字や[-]、最後に[-]は使用できません。	NB-18GBipxxxxxx
[DNS ドメイン名]	プリンタのドメイン名(0〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)や[.](ピリオド)で設定します。先頭に数字や[-] [.]、最後に[-] [.]は使用できません。	(空欄)
[Multicast DNS サービス名]	プリンタの Multicast DNS サービス名を設定できます。(1〜63 文字) この名前が Bonjour 機能でのプリンタ名として表示されます。	Canon iPFxxxx (xxxxxx)

7 [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

メモ

- DHCP、BOOTP、または RARP を使用して IP アドレスを設定する場合は、ネットワーク内にそのプロトコルのサーバが起動されている必要があります。
- DHCP、BOOTP、または RARP を使用して IP アドレスを設定する場合は、いずれかのプロトコルで取得した IP アドレスが優先して使用されます。IP アドレスが取得できない場合は、[IP アドレス]に設定されているアドレスが使用されます。
- DHCP、BOOTP、または RARP が使用できるかどうかのチェックには最大 2 分程度かかります。使用しない項目のチェックボックスはオフにしておくことをお勧めします。
- DNS サーバを使用する場合は、[DNS の動的更新を行う]チェックボックスをオンにし、[プライマリ DNS サーバアドレス]、[セカンダリ DNS サーバアドレス]、[DNS ドメイン名]に、DNS サーバの IP アドレス、DNS ドメイン名を入力します。

IPv6 の IP アドレスを使用する場合

1 Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
http://[プリンタの IP アドレスまたは名前]/
入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2 [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3 プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5 [TCP/IPv6]グループの右上にある[変更]をクリックし、[TCP/IPv6 プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6 TCP/IPv6 の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

TCP/IPv6 の設定項目

項目名		内容	初期値
[IPv6 を使用する]		オンにすると、IPv6 を有効にします。	オフ
[DHCPv6 を使用する]		DHCPv6 サーバを使用して IP アドレスを取得する場合にオンにします。	オフ
[ステートレスアドレスを使用する]		IPv6 ルータを使用して IP アドレスを取得する場合にオンにします。	オン
[手動アドレスを使用する]		手動で IP アドレスを設定する場合にオンにします。	オフ
	[IP アドレス]	プリンタの IP アドレスを入力します。	::
	[プレフィックス長]	IP アドレスのプレフィックス長を入力します。	0
	[デフォルトルータアドレス]	デフォルトルータアドレスを入力します。	::
	[プレフィックス長]	デフォルトルータアドレスのプレフィックス長を 入力します。	0

項目名		内容	初期値
[プライマリ DNS サーバアドレス]		プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	::
[セカンダリ DNS サーバアドレス]		セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	::
[IPv4 と同じホスト名･ドメイン名を使用する]		IPv4 と同じ DNS ホスト名とドメイン名を使用する場合にオンにします。	オフ
	[DNS ホスト名]	プリンタのホスト名(1〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)で設定します。先頭に数字や[-]、最後に[-]は使用できません。	NB-18GBip6xxxxxx
	[DNS ドメイン名]	プリンタのドメイン名(0〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)や[.](ピリオド)で設定します。先頭に数字や[-][.]、最後に[-] [.]は使用できません。	(空欄)
[ステートフルアドレスの動的更新を行う]		ステートフルアドレスを DNS サーバに自動的に登録する場合にオンにします。	オフ
[ステートレスアドレスの動的更新を行う]		ステートレスアドレスを DNS サーバに自動的に登録する場合にオンにします。	オフ
[手動アドレスの動的更新を行う]		手動アドレスを DNS サーバに自動的に登録する場合にオンにします。	オフ

7 [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

メモ

- DNS サーバを使用する場合は、[DNS の動的更新を行う]チェックボックスをオンにし、[プライマリ DNS サーバアドレス]、[セカンダリ DNS サーバアドレス]、[DNS ドメイン名]に、DNS サーバの IP アドレス、DNS ドメイン名を入力します。

NetWare の設定

NetWare ネットワークを設定する 650
プリンタのフレームタイプを設定する 650
NetWare プリントサービスを設定する 653
リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする 655

NetWare ネットワークを設定する

NetWare ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順でネットワーク環境を設定します。

重要

- ネットワークの設定には Administrator アカウントに相当する管理者権限が必要です。ネットワークの設定は、ネットワーク管理者が行うことをお勧めします。

メモ

- ここでは Windows 7 での手順を説明します。

1 プリンタがコンピュータとの通信に使用する Ethernet のフレームタイプを設定します。
設定方法については、「プリンタのフレームタイプを設定する」を参照してください。→P.650

2 プリントサーバやプリントキューなどの NetWare のプリントサービスを設定します。
設定方法については、「NetWare プリントサービスを設定する」を参照してください。→P.653

3 フレームタイプ以外の NetWare プロトコルの詳細を設定します。
設定方法については、「リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする」を参照してください。
→P.655
この手順までの設定が完了したら、NetWare ネットワークで印刷するための設定を、各コンピュータで行います。

4 NetWare ネットワークに接続します。
印刷を行うすべてのコンピュータに NetWare クライアントソフトをインストールし、NetWare サーバまたはツリーにログインします。接続する方法については、NetWare のマニュアルや OS のマニュアルを参照してください。

5 プリンタドライバをインストールします。
ネットワーク管理者の指示に従って、印刷を行うすべてのコンピュータにプリンタドライバをインストールします。インストールするときは、プリンタの接続先として[ネットワークプリンタ]を選択し、NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューを選択します。

6 以下の手順でプリンタのポートを設定します。プリンタドライバのインストール中にプリンタの接続先を設定した場合は、この手順は必要ありません。

1. [デバイスとプリンター]ウィンドウを開きます。
2. プリンタのアイコンを右クリックして[プリンターのプロパティ]を選択し、プリンタのプロパティのウィンドウを開きます。
3. [ポート](または[詳細])タブをクリックし、[ポート](または[詳細])シートを表示します。
4. 印刷先のポートを NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューに設定します。

プリンタのフレームタイプを設定する

ご使用の NetWare 環境に合わせて Ethernet のフレームタイプを設定し、プリンタとコンピュータが通信できるようにします。
プリンタのフレームタイプは、imagePROGRAF Device Setup Utility またはプリンタの操作パネルを使用し、以下の手順で設定します。

重要

- フレームタイプを設定する前に、プリンタの電源がオンになっていること、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。

メモ

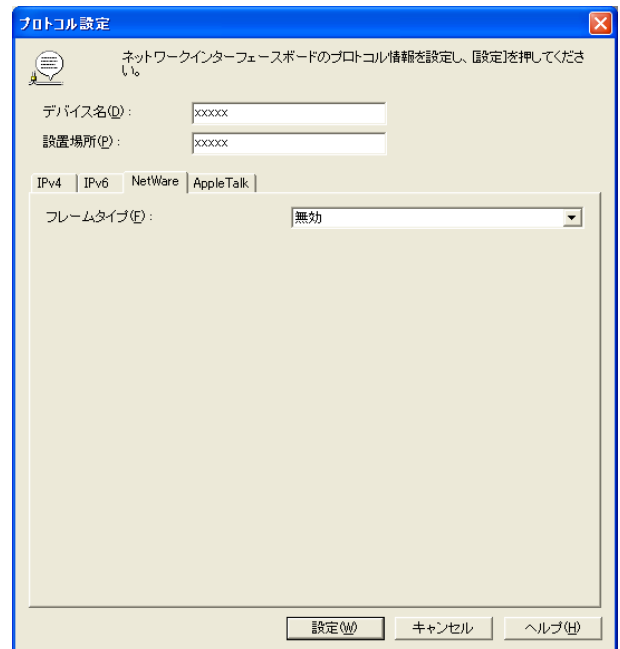
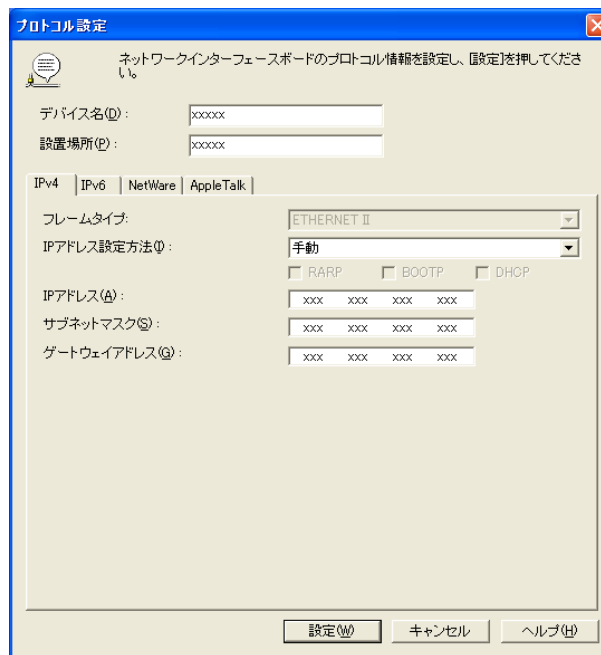
- プリンタに IP アドレスが設定されている場合は、リモート UI を使用してプリンタのフレームタイプを設定することができます。
- imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする方法については、「imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする」を参照してください。→P.668

imagePROGRAF Device Setup Utility でフレームタイプを設定する

1 imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。

2 一覧に表示されるプリンタの名前から、設定するプリンタを選択します。

3 [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。

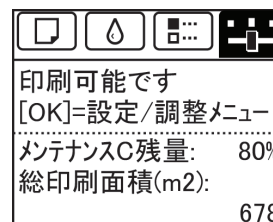
4 [NetWare]タブを選択し、[NetWare フレームタイプ]の一覧からフレームタイプを選択します。

5 [IPv4]タブを選択します。[IP アドレス]でプリンタに割り当てる IP アドレスを入力し、[サブネットマスク]でサブネットマスク、[ゲートウェイアドレス]でデフォルトゲートウェイを入力します。

重要
- リモート UI を使用して NetWare プロトコルを設定するため、ここで IP アドレスを設定しておく必要があります。

6 [設定]をクリックします。

7 [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

8 imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

プリンタの操作パネルでフレームタイプを設定する

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （設定/調整タブ）を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[NetWare]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[NetWare]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[フレームタイプ]を選択し、[OK]キーを押します。

8 [▲]キー、[▼]キーを押して使用するフレームタイプを選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

9 [▲]キー、[▼]キーを押して[プリント サービス]を選択し、[OK]キーを押します。

10 [▲]キー、[▼]キーを押して使用するプリントサービスを選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

11 [メニュー]キーを押します。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。

重要

- 必ず手順 11 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。

メモ

- エラーが表示される場合は、各設定値を確認し、設定し直してください。
- 設定を中止する場合は、[戻る]キーを押してください。

NetWare プリントサービスを設定する

NetWare ネットワークを使用して印刷するには、プリントサーバやプリントキューなどのプリントサービスを設定する必要があります。プリントサービスの設定は、以下のいずれかのソフトウェア(NetWare に付属の Novell 社製ソフトウェア)を使用してご使用のコンピュータから設定できます。

- NWADMIN
- PCONSOLE

重要

- NWADMIN からプリントサービスを設定するには、クライアントソフトとして Novell Client(Novell 社製の NetWare クライアント)がインストールされている必要があります。
- Windows Vista、Windows Server 2008 および Windows 7 では NetWare ネットワークは使用できません。

ここでは、NetWare プリントサービスを設定する手順を説明します。ご使用の環境によっては、設定手順が異なることがあります。

プリントサービスの種類を選択する

プリントサービスを設定する前に、以下の説明を参考に、使用するプリントサービスの種類を選択してください。

メモ

- NetWare 5.1/6.0 では、プリントサービスとして NDPS を使用することもできます。NDPS を使用するときは、ゲートウェイとして NetWare に付属の Novell プリンタゲートウェイを使用してください。NDPS の設定方法については、NetWare のマニュアルを参照してください。

- NDS(ノベルディレクトリサービス)とバインダリ
NDS とバインダリの両方に対応しています。ご使用のネットワーク環境に合わせてモードを選択してください。
- キューサーバモードとリモートプリンタモード
キューサーバモードとリモートプリンタモードの両方に対応しています。
    - キューサーバモード

キューサーバモードで使用する場合、プリントサーバの機能をすべて備えているため、プリントサーバ用のハードウェアやソフトウェアを用意する必要はありません。NDS のキューサーバモード(NDS PServer)では、NDS のプリントサーバを使用して印刷します。バインダリのキューサーバモード(Bindery PServer)では、バインダリのプリントサーバを使用して印刷します。また、キューサーバモードでは、使用するネットワークインタフェースごとに NetWare ユーザーライセンスが必要です。

- リモートプリンタモード
  リモートプリンタモードで使用する場合、NetWare プリントサーバによって制御されます。そのため、NetWare プリントサーバが必要です。NDS のリモートプリンタモード(NPrinter)では NDS のプリントサーバを使用して、バインダリのリモートプリンタモード(RPrinter)ではバインダリのプリントサーバを使用して印刷します。

NWADMIN、PCONSOLE でプリントサーバを設定する

NDS のキューサーバモード/リモートプリンタモードで使用する場合は、NWADMIN でプリントサーバを設定します。

1 NetWare に Admin または Admin と同等の権限を持つユーザとしてログインし、NWADMIN を起動します。

2 クイックセットアップを実行します。

1. [ツール]メニューから[プリントサービスクイックセットアップ]を選択します。
2. [プリントサーバ名]に任意の名前の入力します。既存のプリントサーバを使用する場合は、右横のボタンをクリックし、一覧から選択します。
3. プリンタの[名前]に任意の名前を入力します。
4. キューサーバモードで使用する場合は、[タイプ]で[その他/不明]を選択します。リモートプリンタモードで使用する場合は、[タイプ]で[パラレル]を選択して[通信]をクリックし、[ポート]を[LPT1]に、[接続タイプ]を[手動ロード]に設定します。
5. プリントキューの[名前]に任意の名前を入力します。
6. [ボリューム]に、プリントキューを作成するボリュームオブジェクト(ネットワーク上の物理ボリュームを表すオブジェクト)を入力します。右横のボタンをクリックすると一覧から選択できます。
7. 他の項目を設定し、[OK]をクリックします。

メモ
- プリントサーバの名前は、プリンタのプロトコルを設定するときに必要です。メモしておいてください。
- クイックセットアップを実行すると、プリンタ番号 0 にプリンタが割り当てられます。キューサーバモードで使用する場合は、プリンタ番号を 0 から変更しないでください。

3 パスワードを設定します。

1. 手順 2 で作成したプリントサーバを選択し、右クリックして[詳細]を選択します。
2. [パスワード変更]をクリックしてパスワード入力ダイアログボックスを開き、パスワードを入力します。
3. [OK]をクリックし、パスワード入力ダイアログボックスを閉じます。
4. [OK]または[キャンセル]をクリックし、詳細ダイアログボックスを閉じます。

4 リモートプリンタモードで使用する場合は、プリントサーバを起動します。
例えば、NetWare ファイルサーバをプリントサーバとして使用する場合は、ファイルサーバで[LOAD PSERVER.NLM]を入力して< Enter >キーを押します。

メモ
- キューサーバモードで使用する場合は、この手順は必要ありません。

バインダリのキューサーバモードまたはリモートプリンタモードで使用する場合は、PCONSOLE でプリントサーバを設定します。

1 NetWare に Admin としてログインし、PCONSOLE を起動します。

2 バインダリモードに変更します。

3 プリントサーバを作成していない場合は、プリントサーバを作成します。

1. [利用可能な項目]から[クイックセットアップ]を選択し、< Enter >キーを押します。
2. 作成するプリントサーバの名前、新しいプリンタ、およびキューの名前を入力します。

メモ

- プリントサーバの名前は、プリンタのプロトコルを設定するときに必要です。メモしておいてください。

4 プリンタのタイプを設定します。

1. キューサーバモードで使用するときは、[タイプ]で[その他／不明]を選択します。リモートプリンタモードで使用するときは、[プリンタタイプ]で[パラレル]を選択し、[位置]を[手動ロード]に設定します。
2. < Esc >キーを押します。
3. 確認のダイアログボックスで、[Yes]を選択し、< Enter >キーを押します。

5 パスワードを設定します。

1. [利用可能な項目]から[プリントサーバ]を選択し、< Enter >キーを押します。
2. 手順 2 で作成したプリントサーバを選択し、< Enter >キーを押します。
3. [パスワード]を選択して< Enter >キーを押し、パスワードを入力する画面を開きます。
4. パスワードを入力し、< Enter >キーを押します。

6 < Esc >キーを数回押して PCONSOLE の終了を確認するダイアログボックスを表示します。

7 [Yes]を選択し、PCONSOLE を終了します。

リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする

フレームタイプ以外の NetWare プロトコルは、リモート UI を使用し、以下の手順で設定します。

メモ

- リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.641

1 Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2 [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3 プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5 [NetWare]グループの右上にある[変更]をクリックし、[NetWare プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6 NetWare の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

NetWare の設定項目

項目名	内容	初期値
[フレームタイプ]	NetWare で使用するフレームタイプを選択できます。	無効

項目名		内容	初期値
[NCPバーストモード]		オンにすると、NCPバーストモードを使用できます。 キューサーバモードで印刷する場合に、データを高速で転送するモードです。通常はオンのまま使用してください。	オン
[プリントサービス]		使用するプリントサービスを選択できます。 ここで選択したプリントサービスが有効になります。同時に複数のプリントサービスを有効にすることはできません。 • [Bindery PServer] • [RPrinter] • [NDS PServer] • [NPrinter]	NDS PServer
[パケットサイン]		[サーバが要求した場合に使用する]を選択すると、パケットサインを使用できます。	[サーバが要求した場合に使用する]
[Bindery PServer]	[ファイルサーバ名]	NetWareプリントサーバがあるファイルサーバ名を設定できます。 (0～47文字)	—
	[プリントサーバ名]	NetWareプリントサーバ名を設定できます。 (0～47文字)	—
	[プリントサーバパスワード]	プリントサーバのパスワードを設定できます。 (0～20文字)	—
	[ポーリング間隔]	ジョブを確認する間隔を設定できます。 (1～15秒)	5
[RPrinter]	[プリントサーバ名]	NetWareプリントサーバ名を設定できます。 (0～47文字)	—
	[プリンタ番号]	NetWareプリントサーバに接続しているプリンタの番号を設定できます。 (0～15)	0
[NDS PServer]	[ツリー名]	NetWareプリントサーバがあるNDSツリー名を設定できます。 (0～32文字)	—
	[コンテキスト名]	NetWareプリントサーバがあるコンテキスト名を設定できます。 (0～255文字)	—
	[プリントサーバ名]	NetWareプリントサーバ名を設定できます。 (0～64文字)	—
	[プリントサーバパスワード]	プリントサーバのパスワードを設定できます。 (0～20文字)	—
	[ポーリング間隔]	ジョブを確認する間隔を設定できます。 (1～255秒)	5
[NPrinter]	[プリントサーバ名]	NetWareプリントサーバ名を設定できます。 (0～47文字)	—
	[プリンタ番号]	NetWareプリントサーバに接続しているプリンタの番号を設定できます。 (0～254)	0

7 選択したサービスに応じて、以下の設定を行います。

- Bindery PServerを選択した場合:キューサーバモード(バインダリのプリントサーバを使用)

  1. [ファイルサーバ名]にファイルサーバ名を入力します。
  2. [プリントサーバ名]に「NetWareプリントサービスを設定する →P.653 」で作成したプリントサーバ名を入力します。
  3. [プリントサーバパスワード]に「NetWareプリントサービスを設定する →P.653 」で作成したプリントサーバパスワードを入力します。
  4. [ポーリング間隔]に、プリンタがNetWareプリントキューを確認する間隔を設定します。

- RPrinterを選択した場合:リモートプリンタモード(バインダリのプリントサーバを使用)

1. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.653 」で作成したプリントサーバのアドバタイジング名を入力します。

2. [プリンタ番号]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.653 」で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

- NDS PServer を選択した場合:キューサーバモード(NDS のプリントサーバを使用)

1. [ツリー名]、[コンテキスト名]にプリントサーバがあるツリー名、コンテキスト名を入力します。

2. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.653 」で作成したプリントサーバ名を入力します。

3. [プリントサーバパスワード]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.653 」で作成したプリントサーバパスワードを入力します。

4. [ポーリング間隔]に、プリンタが NetWare プリントキューを確認する間隔を設定します。

- NPrinter を選択した場合:リモートプリンタモード(NDS のプリントサーバを使用)

1. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.653 」で作成したプリントサーバのアドバタイジング名を入力します。アドバタイジング名は、通常プリントサーバ名と同じ名前に設定されています。

2. [プリンタ番号]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.653 」で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

8 [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

Mac OS X の設定

TCP/IP ネットワークで接続先を設定する 658
Bonjour ネットワークで接続先を設定する 659
AppleTalk ネットワークで接続先を設定する 660
プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする 662

TCP/IP ネットワークで接続先を設定する

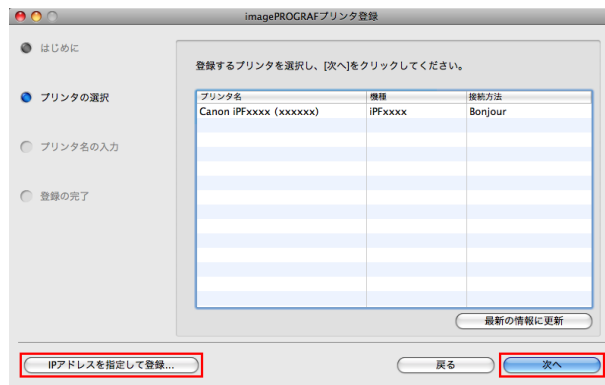
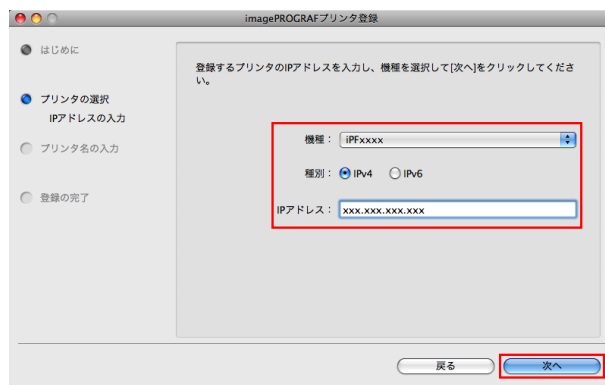
TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で接続先を設定します。

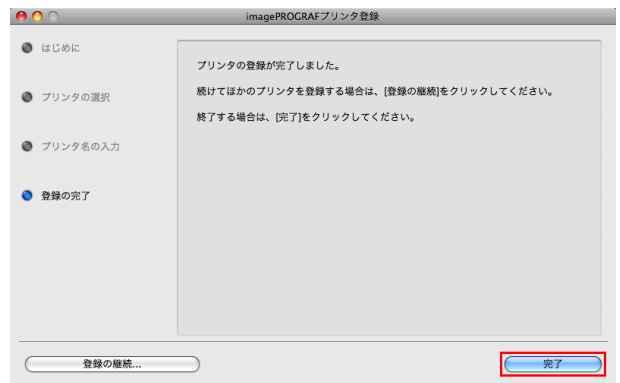
重要

- TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、プリンタに IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。(「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する」参照) →P.643

1 [アプリケーション]フォルダ内の[Canon Utilities]-[imagePROGRAF PrinterSetup]フォルダにある[imagePROGRAF PrinterSetup.app]をダブルクリックします。

2 [次へ]をクリックします。

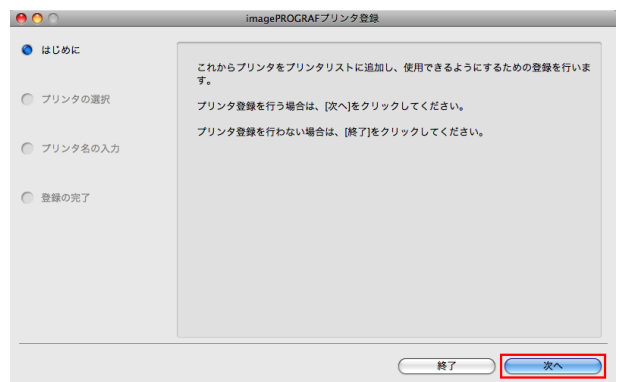
3 [IP アドレスを指定して登録]をクリックします。

4 機種、種別を選択してから IP アドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

5 [プリンタ名]、[場所]を任意で入力し、[登録]をクリックします。

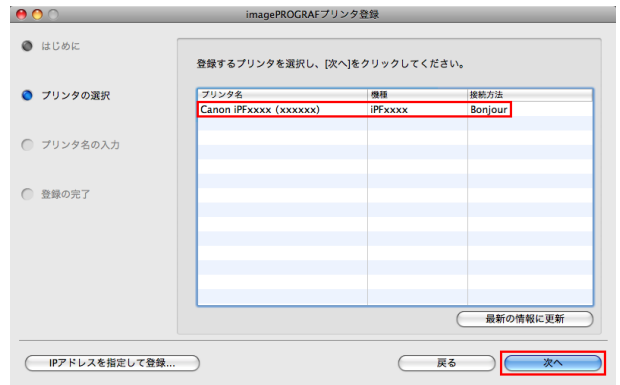
6 [完了]をクリックします。

Bonjour ネットワークで接続先を設定する

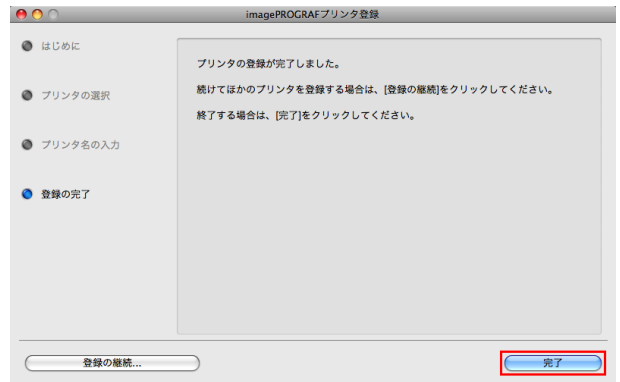
Bonjour 機能を使用したネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で接続先を設定します。

重要

- Bonjour 機能や[IP プリント(自動)]では、ルーターを経由した他のネットワークグループ上のプリンタで印刷することはできません。コンピュータとプリンタを同じネットワークグループに接続してください。ご使用のネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。
- プリンタの Bonjour 機能は、あらかじめ有効になっています。Bonjour 機能の有効/無効やプリンタ名は、リモート UI を使用して変更できます。変更する方法については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.641

1 [アプリケーション]フォルダ内の[Canon Utilities]-[imagePROGRAF PrinterSetup]フォルダにある[imagePROGRAF PrinterSetup.app]をダブルクリックします。

2 [次へ]をクリックします。

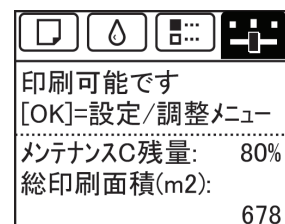
3 登録するプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

4 [プリンタ名]、[場所]を任意で入力し、[登録]をクリックします。

5 [完了]をクリックします。

AppleTalk ネットワークで接続先を設定する

AppleTalk ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で AppleTalk プロトコルを有効にし、接続先を設定します。

AppleTalk プロトコルを有効にする

重要

- 工場出荷時の状態では、プリンタの AppleTalk プロトコルは無効に設定されています。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[AppleTalk]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [メニュー]キーを押します。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。

重要
- 必ず手順 6 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。

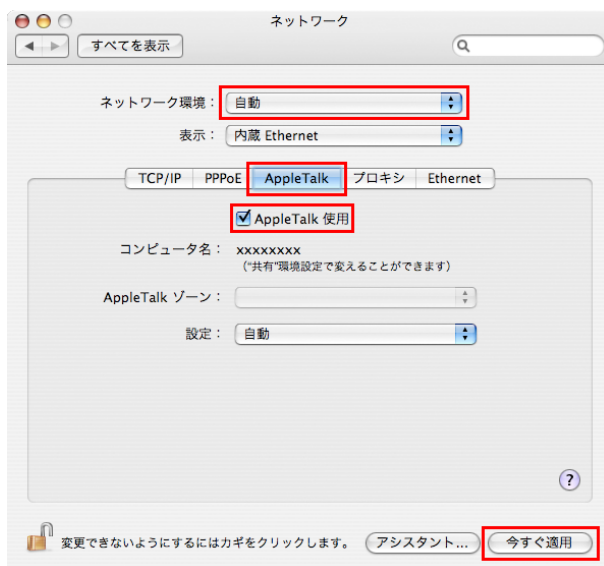
メモ
- リモート UI では、AppleTalk で使用するオブジェクト名やプリンタのゾーン名も設定できます。
リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.641

接続先を設定する(Mac OS X)

重要
- AppleTalk は Mac OS X v10.2.8〜10.4 で対応しています。

メモ
- 以下の操作手順は、Mac OS X v10.4 のものです。接続先の設定方法は、Mac OS X のバージョンによって異なります。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

1 [システム環境設定]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ウィンドウを開きます。

2 [表示]の一覧から[内蔵 Ethernet]を選択します。次に、[AppleTalk]をクリックし、[AppleTalk 使用]チェックボックスをオンにし、[今すぐ適用]をクリックします。

3 [ネットワーク]ウィンドウを閉じ、設定を保存します。

プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする

AppleTalk ネットワークは、以下の手順で設定します。

1 Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2 [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3 プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5 [AppleTalk]グループの右上にある[変更]をクリックし、[AppleTalk プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6 AppleTalk の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

AppleTalk の設定項目

項目名	内容	初期値
[フェーズタイプ]	AppleTalk の使用を設定できます。 AppleTalk を使用する場合は、[フェーズ 2]を選択します。 AppleTalk を使用しない場合は、[無効]を選択します。	無効
[名前](*1)	AppleTalk で使用するオブジェクト名(半角 1～31 文字、全角 1～15 文字)を設定できます。 半角の@、*、:、=は使用できません。	Canon NB-18GB (xxxxxx)
[ゾーン](*2)	プリンタのゾーン名(半角 1～31 文字)を設定できます。 @、:、=は使用できません。また、デフォルトゾーンを示す[*]1 文字のみの設定を除き、文字列中の*は使用できません。	*

*1: [名前]に設定したオブジェクト名が、Mac OS X 10.2.8～10.4 の[プリンタ設定ユーティリティ](または[プリントセンター])に表示されます。プリンタが同じゾーン内に複数ある場合は、それぞれ固有の名前を付けてください。初期値は、ネットワークインタフェース名[Canon NB-18GB(xxxxxx)]です。(xxxxxx はプリンタの MAC アドレスの下 6 桁)

*2: ネットワーク上にゾーンが設定されている場合は、プリンタが属するゾーン名を入力します。ゾーンが設定されていない場合は、[*](デフォルトゾーン)のままで使用してください。ネットワーク上に設定されていないゾーン名を入力すると、Macintosh のコンピュータから認識されなくなります。ゾーン名については、ネットワーク管理者に確認してください。

7 [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

その他の設定

プリンタの情報を設定する 664
通信方式を手動で設定する 665
印刷の終了やエラーの発生を電子メールで通知する 666
ネットワークの設定を初期化する 666

プリンタの情報を設定する

デバイス情報、セキュリティ、および電子メール通知は、以下の手順で設定します。
[電子メール通知]は[ステータスモニタ]からも設定できます。詳細は[ステータスモニタ]のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[情報]をクリックし、[情報]ページを表示します。

5. 設定する情報に応じて、[デバイス情報]、[セキュリティ]、または[電子メール通知]のグループの右上にある[変更]をクリックし、それぞれの設定ページを表示します。
   管理者パスワードを変更する場合は、[セキュリティ]の[パスワード変更]ボタンをクリックします。

6. デバイス情報の設定項目、セキュリティの設定項目、または電子メール通知の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。
   セキュリティの設定項目は、[セキュリティ]の[パスワード変更]ボタンをクリックすると表示されます。

デバイス情報の設定項目

項目名	内容	初期値
[デバイス名]	デバイスの名前を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[設置場所]	デバイスの設置場所を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[管理者名]	デバイス管理者の名前を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[管理者連絡先]	デバイス管理者の連絡先を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[管理者コメント]	デバイス管理者のコメントを設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)

セキュリティの設定項目

項目名	内容	初期値
[新しいパスワード]	新しいパスワードを入力します。 (0〜9999999)	(空欄)
[確認入力]	確認のために、新しいパスワードを入力します。 (0〜9999999)	(空欄)

*1: [セキュリティ]の設定画面では、デバイスのパスワード以外にも、IP アドレスによる SNMP･TCP の使用制限、MAC アドレスによるアクセスの制限、IPP の認証設定、FTP 認証設定をする事が出来ます。

電子メール通知の設定項目

項目名	内容	初期値
[再送回数]	メールの送信に失敗したときの最大再送回数を設定できます。 (0〜5 回)	0

項目名		内容	初期値
[再送間隔]		メールの送信に失敗したときの再送までの時間を設定できます。 (1〜60 分)	5
[From アドレス]		メールの発信元を設定できます。 (0〜128 文字)	(空欄)
電子メール通知(条件1)(*1)	[To アドレス]	送信するメールの宛先を設定できます。 (0〜128 文字) 128 文字の範囲内であれば、カンマで区切って複数の宛先を設定できます。	(空欄)
	[Reply-to アドレス]	送信するメールの返信アドレスを設定できます。 (0〜128 文字)	(空欄)
	[通知のタイミング]	メールを送信する条件を、以下のチェックボックスのオン/オフで設定できます。 [ジョブ終了時] [警告発生時] [エラー発生時]	すべてオフ
	[署名]	メールの署名を設定できます。 (0〜128 文字)	(空欄)
電子メール通知(条件2)(*1)	(条件 1 と同じ)	(条件 1 と同じ)	(条件 1 と同じ)

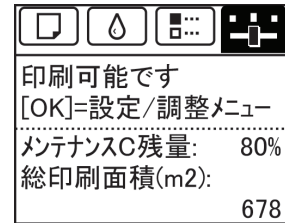
*1: 電子メールを通知する条件は、宛先、返信アドレス、通知タイミング、および署名の組み合わせを、2 組まで設定することができます。

[電子メール通知]を有効にするためには[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]、[SMTP サーバアドレス]、[DNS ドメイン名]が設定されている必要があります。

7 [OK]をクリックし、設定を有効にします。

通信方式を手動で設定する

ここでは、通信方式を手動で設定する手順を説明します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet ドライバ]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[自動検出]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[オフ]を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ドライバ]メニューに戻ります。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[通信方式]を選択し、[OK]キーを押します。

8 [▲]キー、[▼]キーを押して通信方式の種類を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ドライバ]メニューに戻ります。

9 [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet 種類]を選択し、[OK]キーを押します。

10 [▲]キー、[▼]キーを押して Ethernet の種類を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ドライバ]メニューに戻ります。

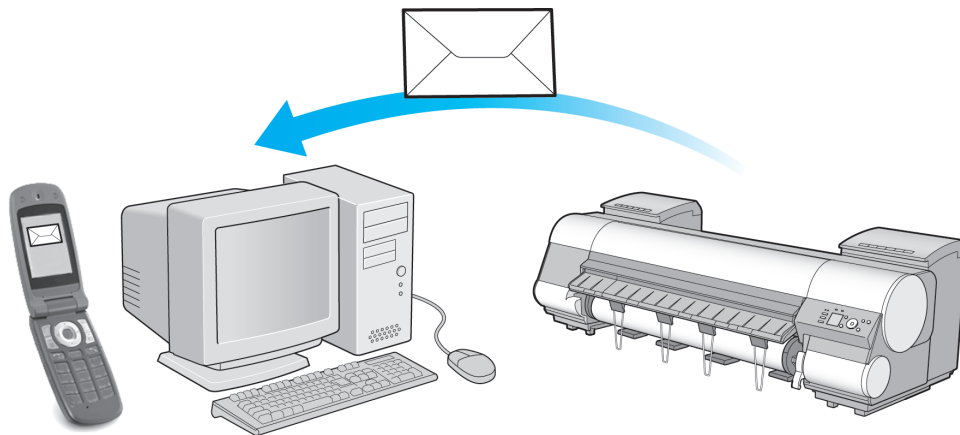
11 [▲]キー、[▼]キーを押して[スパニングツリー]を選択し、[OK]キーを押します。

12 [▲]キー、[▼]キーを押してスパニングツリーへの対応を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ドライバ]メニューに戻ります。

13 [メニュー]キーを押します。
確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。
プリンタが再起動し、設定が適用されます。

- 通信方式はリモート UI の[ネットワーク]ページでも設定できます。

印刷の終了やエラーの発生を電子メールで通知する

このプリンタには、プリンタの状態を電子メールで通知する機能があります。プリンタから離れていても、プリンタからの電子メールを携帯電話や自席のコンピュータで受信し、印刷の終了やエラーの発生を知ることができます。

電子メールの宛先や電子メールを送信するタイミングは、リモート UI 機能または imagePROGRAF Status Monitor（Windows）を使用して設定します。印刷ジョブの終了やエラーの発生以外に、サービスコールや消耗品の交換が必要な場合に電子メールを送信するように設定することもできます。詳しい操作方法については「プリンタの情報を設定する」を参照してください。 →P.664

- imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の電子メール通知機能については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。
- メールサーバ上での認証には、imagePROGRAF Status Monitor のみ対応しています。

ネットワークの設定を初期化する

ネットワークの設定を工場出荷時の状態に戻すには、リモート UI を使用し、以下の手順で設定を初期化します。

重要

- ネットワークの設定を初期化すると、プリンタの IP アドレスも工場出荷時の値に戻るため、リモート UI のページは Web ブラウザに表示されなくなります。
- IP アドレスの設定をやり直す方法については、「プリンタに IP アドレスを設定する」を参照してください。 →P.643
- リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.641

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/
2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。
3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。
5. [ネットワークインタフェース]グループの右下にある[プリンタの初期化]をクリックします。
6. メッセージを確認して[OK]をクリックし、ネットワークの設定を初期化します。

メモ

- ネットワークの設定の初期化は、imagePROGRAF Device Setup Utility またはプリンタの操作パネルから行うこともできます。

Device Setup Utility (Windows)

imagePROGRAF Device Setup Utility 668
imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする 668
imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する 668

imagePROGRAF Device Setup Utility

imagePROGRAF Device Setup Utility は、ご使用のコンピュータとプリンタが通信できるように設定するためのユーティリティソフトウェアです。プリンタを新規に導入した場合などは、最初に imagePROGRAF Device Setup Utility を使用してネットワーク設定を行います。

- imagePROGRAF Device Setup Utility を起動すると、ネットワーク上のプリンタを検索して一覧表示します。この中から設定したいプリンタ(MAC アドレス)を選択し、ご使用のコンピュータからプリンタの IP アドレスやネットワークのフレームタイプなどの基本的な設定を行います。
- 使用するコンピュータとプリンタが正しく通信できる状態にあるかどうかは、プリンタリストの一覧で確認できます。

メモ

- imagePROGRAF Device Setup Utility による設定作業は、ネットワーク管理者またはプリンタ管理者が行ってください。
- 詳細については、imagePROGRAF Device Setup Utility のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする

imagePROGRAF Device Setup Utility は、プリンタに付属の User Software CD-ROM から、以下の手順でインストールします。

1. User Software CD-ROM を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
2. [Setup Menu]ウィンドウで、[ソフトウェア個別インストール]をクリックします。
3. imagePROGRAF Device Setup Utility の[インストール]をクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールします。

imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する

Windows のコンピュータをご使用の場合は、プリンタに付属のユーティリティソフト imagePROGRAF Device Setup Utility でプリンタの IP アドレスを設定できます。ここでは、imagePROGRAF Device Setup Utility を使用し、IP アドレスを設定する手順を説明します。

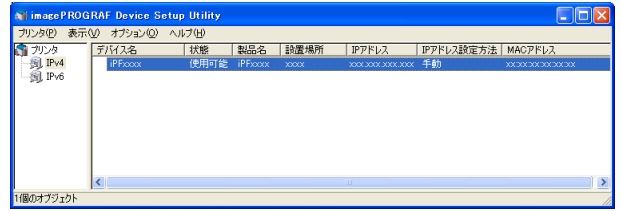
重要

- ネットワークの設定には[Administrator]アカウントに相当する管理者権限が必要です。ネットワークの設定は、ネットワーク管理者が行うことをお勧めします。

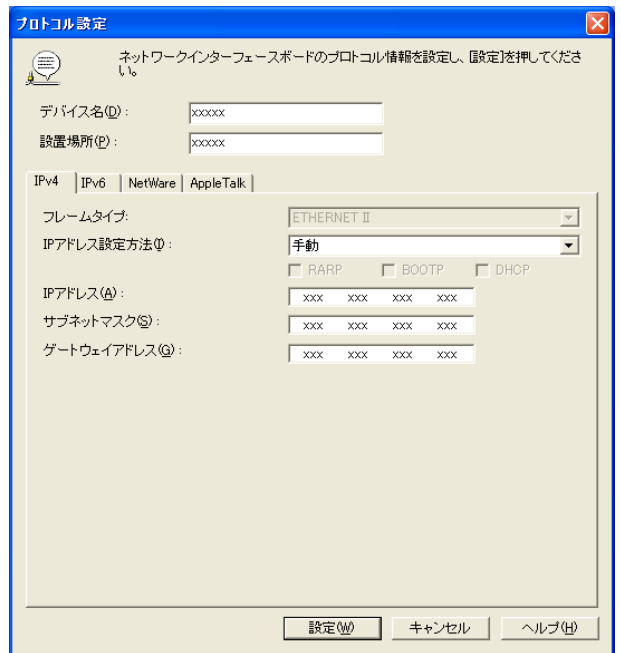
メモ

- imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする方法については、「imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする」を参照してください。 →P.668

IPv4 の IP アドレスを設定する場合

1 [スタート]メニューから imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。

2 一覧に表示される[デバイス名]から、設定するプリンタを選択します。

3 [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。

4 [IPv4]タブを選択します。

5 [IP アドレス設定方法]の一覧から[手動]を選択します。

6 プリンタに割り当てる IP アドレスを入力し、[設定]をクリックします。

7 [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

8 imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

メモ

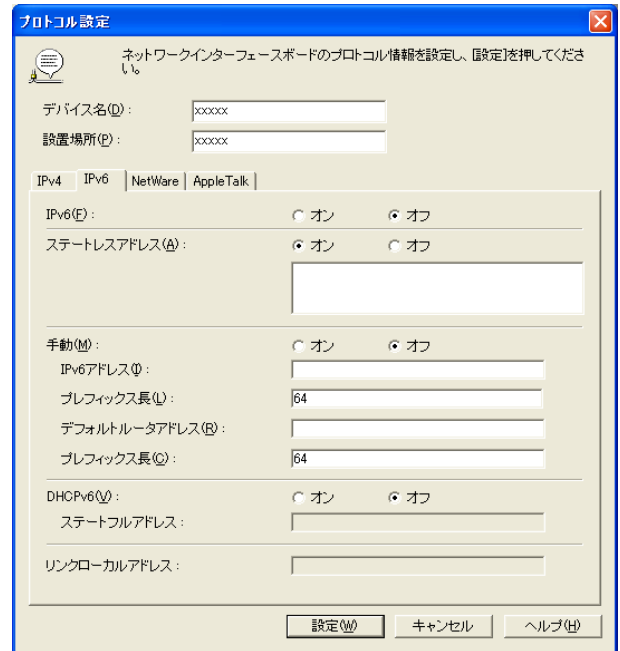
- IP アドレスを自動で設定する場合は、[IP アドレス設定方法]の一覧から[自動]を選択し、[DHCP]、[BOOTP]、[RARP]のうち、使用する項目のチェックボックスをオンにします。
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイも設定できます。

IPv6 の IP アドレスを設定する場合

1 [スタート]メニューから imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。

2 一覧に表示される[デバイス名]から、設定するプリンタを選択します。

3 [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。

4 [IPv6]タブを選択します。

5 [IPv6]で[オン]を選択します。

6 ネットワーク環境に IPv6 に対応したルータがある場合は、[ステートレスアドレス]で[オン]を選択します。
または、ネットワーク環境に DHCPv6 サーバがある場合は、[DHCPv6]で[オン]を選択します。

- IPv6 に対応したルータおよび DHCPv6 サーバのいずれもない場合は、[手動]で[オン]を選択し、[IPv6 アドレス]と[プレフィックス長]を入力してください。

7 [設定]をクリックします。

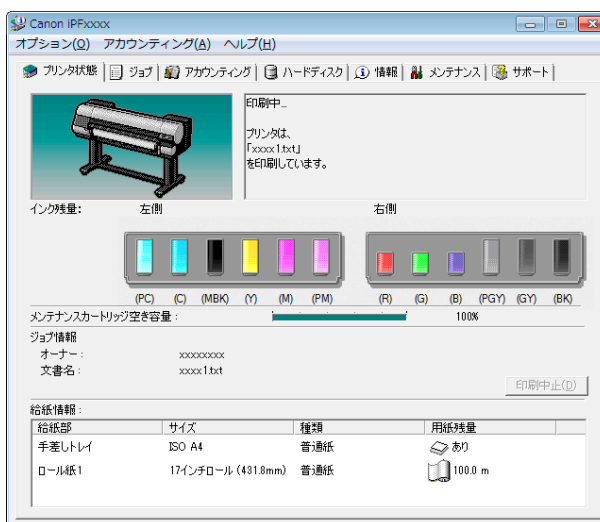
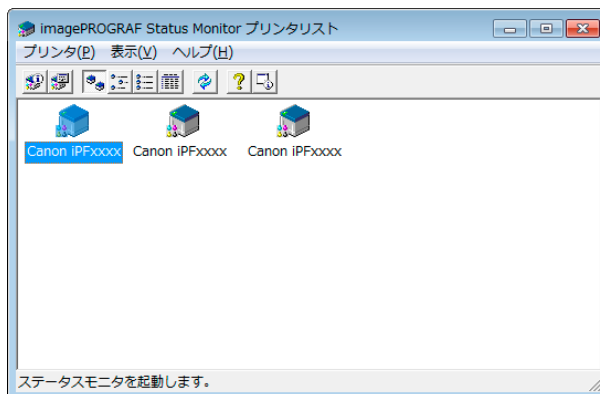
8 [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

9 imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

Status Monitor (Windows)

imagePROGRAF Status Monitor の特長 672
imagePROGRAF Status Monitor によるジョブ管理 673

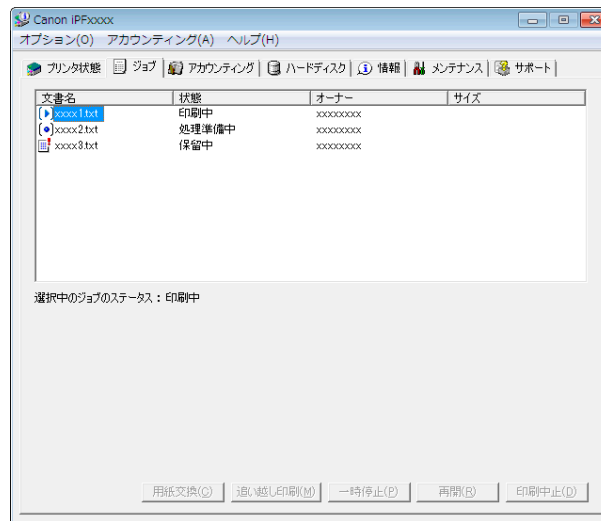
imagePROGRAF Status Monitor の特長

imagePROGRAF Status Monitor は、プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブを管理したりするためのユーティリティソフトウェアです。
imagePROGRAF Status Monitor は、プリンタを一覧表示する[プリンタリスト]と、個別のプリンタの詳細を表示する[ステータスモニタ]の二つの画面で構成されています。

- ご使用のコンピュータにドライバがインストールされているプリンタ、またはコンピュータに接続されているプリンタやネットワーク上で検索されたプリンタの一覧を表示させることができます。
- プリンタの状態をコンピュータの画面上でリアルタイムに確認できます。
- プリンタにエラーが発生したとき、どのように対処したらよいかを即座に確認できます。
- プリンタの各色のインクの量を表示します。インクが残り少なくなると、アイコンやメッセージで知らせます。
- 各給紙部にセットされている用紙のサイズと種類が表示されます。また、用紙の有無を確認できます。
- プリンタの情報を確認したり、最良の印刷結果を得るためにプリンタのメンテナンスができます。
- プリンタにエラーなどが発生した場合に、登録しておいたメールアドレスに自動的にエラー情報を通知するように設定できます。
- ハードディスクの状態とハードディスクに保存されている文書を確認できます。
- アカウンティング機能を使ってプリンタのジョブ履歴を収集し、そのコストなどを調べることができます。
アカウンティング機能について詳しくは、アカウンティングについて →P.676 を参照してください。

メモ

- 詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor によるジョブ管理

imagePROGRAF Status Monitor の[ジョブ]シートでは、印刷ジョブの一時停止や中止などの操作を行うことができます。

- 追い越し印刷を行う

  印刷ジョブを選択して[追い越し印刷]ボタンをクリックすると、選択したジョブをひとつ前のジョブよりも先に印刷します。

- 印刷を一時停止/再開する

  印刷ジョブを選択して[一時停止]ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷処理が一時的に停止されます。

  一時停止中のジョブを選択して[再開]ボタンをクリックすると、印刷処理を再開します。

メモ

- 印刷データがすべてプリンタに送られた時点で、一時停止/再開の操作は行えなくなります。

- 印刷を中止する

  印刷ジョブを選択して[印刷中止]ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷が中止されます。

メモ

- 他のユーザの印刷を中止することはできません。

- 保留中のジョブを印刷する

  [状態]が[保留中]になっているジョブは、プリンタドライバで指定した用紙と、プリンタに給紙されている用紙とが一致していないため、印刷を一時的に停止しています。

  保留中のジョブは以下の手順で印刷します。

1. 保留中のジョブを選択し、[用紙交換]ボタンをクリックします。

2. プリンタの用紙を正しい用紙に交換します。

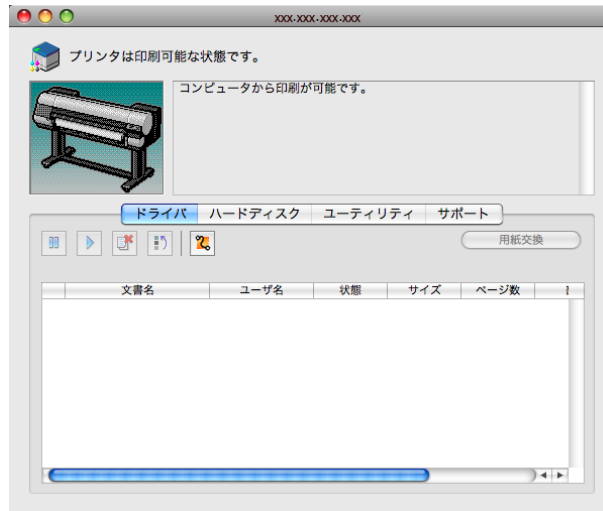
メモ

- プリンタの用紙を変えずにそのまま印刷する場合は、保留中のジョブを選択して[印刷続行]をクリックします。
- プリンタドライバで指定した用紙と、プリンタに給紙されている用紙とが一致していないときの印刷動作は、操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]で変更できます。詳しくは、メニューの設定値 →P.605 を参照してください。

Printmonitor (Mac OS X)

imagePROGRAF Printmonitor の特長 674
imagePROGRAF Printmonitor によるジョブ管理 675

imagePROGRAF Printmonitor の特長

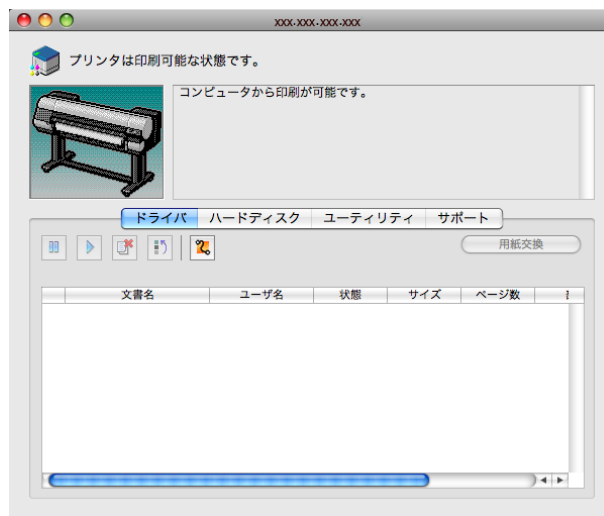
imagePROGRAF Printmonitor は、プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブを管理したりするためのユーティリティソフトウェアです。

- プリンタの状態をコンピュータの画面上でリアルタイムに確認できます。
- 印刷ジョブの状態を確認したり、削除などの操作を行ったりすることができます。
- プリンタにエラーが発生したとき、どのように対処したらよいかを即座に確認できます。
- プリンタにエラーなどが発生した場合に、登録しておいたメールアドレスに自動的にエラー情報を通知するように設定できます。
- ハードディスクの状態とハードディスクに保存されている文書を確認できます。

メモ

- imagePROGRAF Printmonitor に目的のプリンタの状態が表示されなかった場合は、以下の手順でプリンタを選択し直してください。

1. 目的のプリンタがネットワークまたはローカルポートに接続されていて、電源がオンになっていることを確認します。
2. [プリンタ]メニューから目的のプリンタ名を選択します。目的のプリンタを認識すると、プリンタの状態が表示されます。
3. 2.の手順で目的のプリンタの情報が表示されない場合は、[プリンタ]メニューの[監視プリンタを検索]を選択します。[プリンタ]メニューのプリンタ名が現在認識されているプリンタ名に更新されます。
4. [プリンタ]メニューから目的のプリンタ名を選択します。目的のプリンタを認識すると、プリンタの状態が表示されます。

imagePROGRAF Printmonitor によるジョブ管理

imagePROGRAF Printmonitor の[ドライバ]パネルでは、印刷ジョブの一時停止や中止などの操作を行うことができます。

- 追い越し印刷を行う

印刷ジョブを選択して をクリックすると、選択したジョブをひとつ前のジョブよりも先に印刷します。

- 印刷を一時停止/再開する

印刷ジョブを選択して をクリックすると、選択したジョブの印刷処理が一時的に停止されます。

一時停止中のジョブを選択して をクリックすると、印刷処理を再開します。

- 印刷データがすべてプリンタに送られた時点で、一時停止/再開の操作は行えなくなります。

- 印刷を中止する

印刷ジョブを選択して ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷が中止されます。

- 他のユーザの印刷を中止することはできません。

- 保留中のジョブを印刷する

[状態]が[保留中]になっているジョブは、プリンタドライバで指定した用紙と、プリンタに給紙されている用紙とが一致していないため、印刷を一時的に停止しています。

保留中のジョブは以下の手順で印刷します。

1. 保留中のジョブを選択し、[用紙交換]ボタンをクリックします。

2. プリンタの用紙を正しい用紙に交換します。

- プリンタの用紙を変えずにそのまま印刷する場合は、保留中のジョブを選択して[印刷再開]ボタンをクリックします。

アカウンティング (Windows)

アカウンティングについて ... 676
アカウンティングの起動方法 ... 676
アカウンティング メインウィンドウ ... 677
ジョブリストエリア ... 679
アカウンティングの基本的な手順 ... 680
アカウンティングの単価を設定する ... 681
インクの単価を設定する ... 681
用紙の単価を設定する ... 682
インクと用紙以外の価格を設定する ... 683
アカウンティングの表示と単位の設定をする ... 684
ジョブ履歴を定期的に自動取得する ... 684
ジョブ履歴の定期取得を解除する ... 685
プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える ... 685
ジョブ情報を CSV ファイルに出力する ... 685
ジョブのプロパティまたは期間のプロパティを表示する ... 686
設定した単価情報の表示、保存、読み込みをする ... 687
インクと用紙の総使用量を表示する ... 687

アカウンティングについて

アカウンティングは、プリンタのジョブ履歴を収集し、そのコストなどを調べるための機能です。
アカウンティングを利用すると次のようなメリットがあります。

- ジョブ履歴の収集
  いつ誰がどんなドキュメントをどのプリンタから印刷したのかを確認できます。
- 使用した用紙枚数や金額の集計
  収集したジョブ履歴から、印刷したページ数や用紙枚数、印刷にかかったコストなどを集計できます。
- ジョブの定期取得
  定期的にジョブ履歴を自動収集できます。
- ジョブ情報の書き出し
  収集したジョブ情報を CSV 形式のファイルに書き出すことができます。

重要

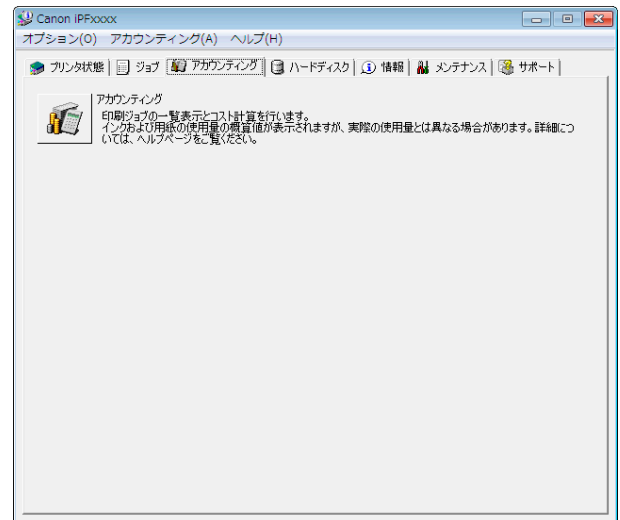
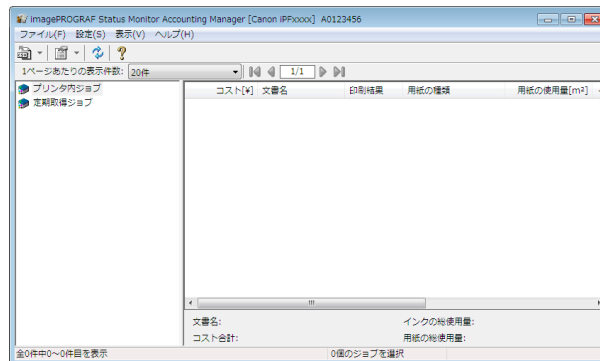
- Status Monitor のアカウンティングでは、ジョブごとに消費されるインクおよび用紙の使用量の概算値が表示されます。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。
- 操作パネルの[設定/調整メニュー]→[プリンタの情報]→[ジョブ履歴表示]が[オフ]になっているときには、ジョブ履歴の収集が行われません。ただし、
  - [ジョブ履歴表示]を[オフ]にしても、その時点で既に取得済みの定期取得ジョブは表示されます。
  - [ジョブ履歴表示]を再び[オン]にしたときには、その時点でプリンタの中にあるジョブがすべて表示されます。

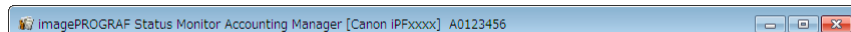
アカウンティングの起動方法

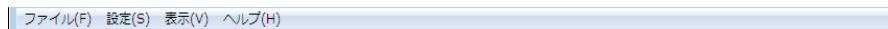
アカウンティングを起動する手順は、以下のとおりです。

1 imagePROGRAF Status Monitor の画面を開きます。

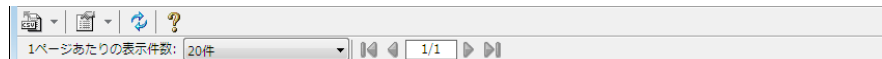
2 [アカウンティング]メニューから[アカウンティング]を選択します。
または、[アカウンティング]シートを開き、[アカウンティング]ボタンをクリックします。

アカウンティング メインウィンドウ

アカウンティングのメインウィンドウは、タイトルバー、メニューバー、ツールバー、表示ジョブの切替エリア、ジョブ一覧エリア、集計エリア、ステータスバーで構成されています。

- タイトルバー

プリンタの機種名、使用しているポート名、およびシリアルナンバーが表示されます。

- メニューバー

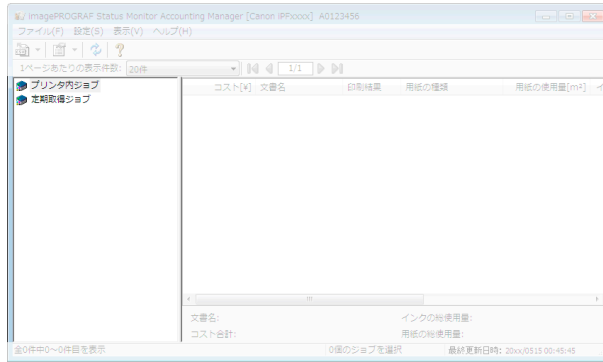
操作に必要なメニューを選択できます。

- ツールバー

主なな操作のツールボタンやプルダウンを選択できます。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

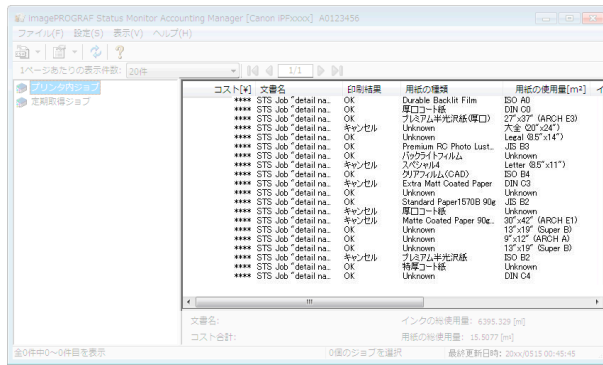
- 表示ジョブの切り替えエリア

どのジョブ履歴を表示させるかをここで選択して切り替えます。

定期取得を行っている場合は、指定した期間ごとにまとめてジョブ履歴を表示できます。

表示の切り替え方法について詳しくは、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える →P.685 を参照してください。

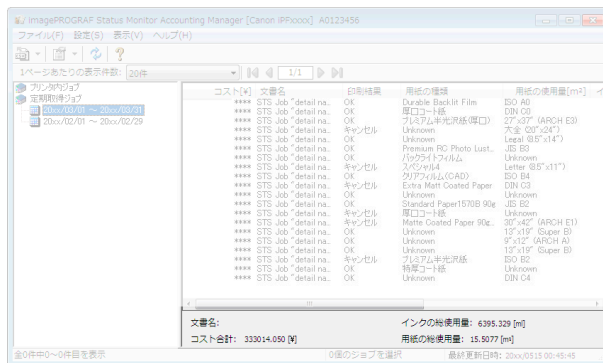
- **ジョブリストエリア**

取得したジョブの詳細情報が一覧表示されます。
プリンタ内のジョブまたは定期取得したジョブを一覧表示します。(「ジョブリストエリア」参照) →P.679

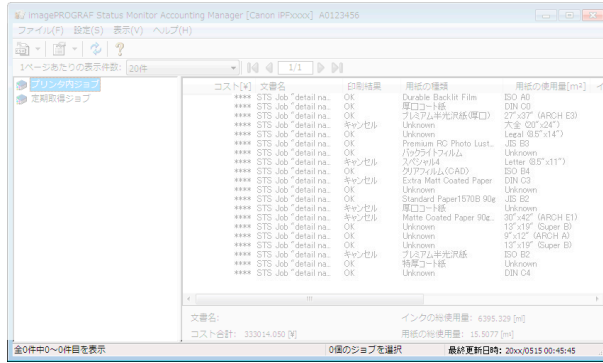
メモ

- 表示する項目や順番は[詳細表示の設定]ダイアログボックスで変更することができます。[詳細表示の設定]ダイアログボックスは[表示]メニューから[詳細表示の設定]を選択すると表示されます。

- **集計エリア**

選択したジョブのコスト合計、および用紙とインクの使用量が表示されます。

メモ

- 定期取得ジョブを表示している場合は、画面左側で期間を選択すると、その期間のコスト合計、および用紙とインクの使用量が表示されます。

- ステータスバー

  メッセージなどが表示されます。

ジョブリストエリア

ジョブリストエリアに表示可能なジョブの項目と内容は次の通りです。

- [No.]

  ジョブの通し番号です 。

- [コスト]

  印刷にかかったコストです。

メモ

- インクと用紙の単価が設定されていないときには、[****]が表示されます。

- [文書名]

  印刷した文書の名前です。

- [印刷結果]

  印刷が実行された場合は[OK]、実行されなかった場合は[キャンセル]を表示します。

- [用紙の種類]

  印刷に使用した用紙の種類です。

- [出力画像サイズ]

  印刷に使用した画像のサイズです。

メモ

- ジョブが複数ページの場合は最終ページのサイズが表示されます。

- [用紙の使用量]

  印刷に使用した用紙の面積です。

メモ

- [用紙の使用量]は[用紙の幅]と[用紙の長さ]を掛け合わせた値と異なる場合があります。

- [用紙の幅]

  印刷に使用した用紙の幅です。

メモ

- ジョブが複数ページの場合は最終ページの幅が表示されます。

- [用紙の長さ]

  印刷に使用した用紙の長さです。

- [インクの使用量]
  印刷に使用したインク量です。

- [オーナー]
  ジョブの送信元です。

- [印刷開始時刻]/[印刷時間]
  印刷を開始した時刻と印刷に要した時間です。

- [ページ数]
  印刷したページ数です。

- [ロール紙幅]
  印刷に使用したロール紙の幅です。

- [用紙のコスト]
  印刷に使用した用紙のコストです。

メモ
• 用紙の単価が設定されていないときには、[****]が表示されます。

- [インクコスト合計]
  印刷に使用したインクのコストの合計値です。

メモ
• インクの単価が設定されていないときには、[****]が表示されます。

- [その他のコスト合計]
  用紙とインク以外のコストの合計値です。

- [インクのコスト詳細]
  インクの各色ごとのコストです。

- [インクの使用量詳細]
  インクの各色ごとの使用量です。

アカウンティングの基本的な手順

初めて使用するときは、以下の手順で設定を行います。

1. 用紙やインクなどの単価を設定します。
   単価の設定について詳しくは、アカウンティングの単価を設定する →P.681 を参照してください。

2. 表示させる単位などを設定します。
   単位の設定について詳しくは、アカウンティングの表示と単位の設定をする →P.684 を参照してください。

3. ジョブを定期的に取得する場合は、定期取得の設定を行います。
   定期取得の設定について詳しくは、ジョブ履歴を定期的に自動取得する →P.684 を参照してください。

4. 一覧表示させたいジョブを指定します。
   一覧表示の設定について詳しくは、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える →P.685 を参照してください。

これで必要なジョブ履歴と詳細情報が一覧表示されます。

アカウンティングの単価を設定する

[設定]メニューから[単価設定]を選択すると、[単価設定]ダイアログボックスが表示されます。ここで単価を設定します。

メモ

- ジョブを選択してから[単価設定]ダイアログボックスを開くと、そのジョブで単価がまだ設定されていない項目がフォーカスされた状態で表示されます。

- インクの単価を設定する →P.681
- 用紙の単価を設定する →P.682
- インクと用紙以外の価格を設定する →P.683

インクの単価を設定する

[インク]シートを開きます。このシートでインクの単価を設定します。

すべてのインクを同じ単価にする場合

1. [すべてのインクに同じ単価を使う]チェックボックスを選択します。
2. [タンク容量]と、それに対する[価格]を入力します。
3. [OK]ボタンをクリックします。

重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

色ごとにインクの単価を変える場合

1. 設定したいインクの色を選択します。
2. [タンク容量]と、それに対する[価格]を入力します。
3. [上書き]ボタンをクリックします。
4. すべてのインクに対して、手順 1〜3 を繰り返します。

5 [OK]ボタンをクリックします。

重要
- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

用紙の単価を設定する

[用紙]シートを開きます。このシートで用紙の単価を設定します。

標準の価格を設定する

1 [用紙の種類]で、用紙の種類を選択します。

2 用紙の[幅]、[長さ]、および、設定した幅×長さに対する面積あたりの[価格]を入力します。

3 [追加]ボタンをクリックします。既に設定済みの用紙種類の単価を変更する場合は、[上書き]ボタンをクリックします。

4 [OK]ボタンをクリックします。

重要
- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

ロール紙ごとの価格を設定する

1 [用紙の種類]で、用紙の種類を選択します。

2 [ロール紙幅の設定]ボタンを押して[ロール紙幅の設定]ダイアログボックスを表示します。

3 [ロール紙幅]、[長さ]および、設定した長さあたりの[価格]を入力します。

4 [追加]ボタンをクリックして[用紙]シートに戻ります。

5 既に設定済みの用紙種類の単価を変更する場合は、[上書き]ボタンをクリックします。

6 [OK]ボタンをクリックします。

重要

- 標準の価格を設定しないと、ロール紙ごとの価格を設定することはできません。
- 標準の価格で設定した用紙の[幅]と同じ値で[ロール紙幅]を設定した場合は、[ロール紙幅の設定]ダイアログボックスで設定した価格でコスト計算が行われます。
- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

インクと用紙以外の価格を設定する

[その他]シートを開きます。このシートでインクと用紙以外の価格を自由に設定します。

1 [名称]に任意の名称を入れます。

2 [単価]を入力します。

3 ジョブにかかったコストとして計上するかしないかを、[計上]で選択します。

4 [追加]ボタンをクリックします。既に設定済みの用紙種類の単価を変更する場合は、[上書き]ボタンをクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックします。

重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

メモ

- 最大で5件まで設定できます。

アカウンティングの表示と単位の設定をする

[設定]メニューから[単位と表示の設定]を選択すると、[単位と表示の設定]ダイアログボックスが表示されます。ここで表示に関する設定をします。

- [日付の表示形式]
  日付の表示形式を選択します。YYYY は年、MM は月、DD は日を表します。
- [通貨単位]
  通貨単位を入れます。3 文字以内で任意に入力します。
- [桁区切り記号]
  桁区切りに使用する記号を選択します。記号は数字 3 桁ごとに入ります。
- [小数点の記号]
  小数点として使用する記号を選択します。
- [インク量]
  インク量の単位を選択します。
- [用紙の幅]
  用紙の幅方向の長さの単位を選択します。
- [用紙の長さ]
  用紙の長さの単位を選択します。
- [面積の表示形式]
  用紙の面積の単位を選択します。

ジョブ履歴を定期的に自動取得する

プリンタからジョブ履歴を定期的に収集し、お使いのコンピュータに保存します。

1 [設定]メニューから[定期取得設定]を選択します。

2 [印刷ジョブのログを定期的に取得する]を選択します。

3 [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

重要

- 操作パネルの[設定/調整メニュー]→[プリンタの情報]→[ジョブ履歴表示]が[オフ]になっているときには、ジョブ履歴の収集が行われません。ただし、[ジョブ履歴表示]を[オフ]にしても、その時点で既に取得済みの定期取得ジョブは表示されます。

メモ

- 定期取得の設定を行った直後はジョブが表示されません。しばらく待ってから、[表示]メニューで[最新の情報に更新]を選択すると表示されます。
- ジョブ履歴は最大で 10000 件まで保存され、これを超えた場合は古いジョブ履歴から順に削除されます。古いデータを保存する場合は、CSV ファイルに書き出すことをおすすめします。
  ジョブ履歴を CSV ファイルに書き出す方法について詳しくは、ジョブ情報を CSV ファイルに出力する →P.685 を参照してください。

ジョブ履歴の定期取得を解除する

プリンタからの定期的なジョブ履歴の取得を解除することができます。

1 [設定]メニューから[定期取得設定]を選択します。

2 [印刷ジョブのログを定期的に取得する]のチェックマークをはずします。

3 [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える

アカウンティングで表示するジョブ履歴には、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの二種類があります。
プリンタ内ジョブと定期取得ジョブは、画面左の表示ジョブの切り替えエリアで指定して表示を切り替えます。

- [プリンタ内ジョブ]

  現在プリンタ内にあるジョブを一覧表示します。
  ツールバーまたは[表示]メニューの[1 ページあたりの表示件数]で、1 ページに表示する件数を変えることができます。
  ツールバーまたは[表示]メニューの[移動]で表示するページを移動する事ができます。

メモ

- ハードディスクを搭載するプリンタの場合は、プリンタ 1 台あたり 500 件まで表示できます。
- ハードディスクを搭載しないプリンタの場合は、プリンタ 1 台あたり 32 件まで表示できます。ただし、プリンタの電源をオフにすると、表示できるジョブは 10 件になります。

- [定期取得ジョブ]

  定期的に取得したジョブを一覧表示します。
  ある一定の期間ごとにまとめてジョブを表示する場合は、ツールバーまたは[表示]メニューの[期間集計]および[集計開始日](または[集計開始曜日]、[集計開始月])で期間を指定します。
  例えば、毎月 1 日から 1 か月分の単位でジョブ履歴を表示するときは、[期間集計]を[1 ヶ月ごと]に、[集計開始日]を[1]に設定します。

メモ

- 定期取得ジョブはプリンタ 1 台あたり最大 10000 件まで表示されます。

ジョブ情報を CSV ファイルに出力する

[ファイル]メニューから[コスト情報の書き出し]を選択すると、収集したジョブの情報を CSV ファイルに出力することができます。

メモ

- [コスト情報の書き出し]は、ツールバーのアイコンから選択することもできます。

- ［選択しているジョブ］
  ジョブ一覧の中で選択されているジョブの情報を CSV ファイルに出力します。

メモ
- Shift キーまたは Ctrl キーを押しながらクリックすることで、複数のジョブを選択することができます。

- ［リストに表示されているジョブ］
  現在リストに表示されているジョブの情報を CSV ファイルに出力します。

ジョブのプロパティまたは期間のプロパティを表示する

［ジョブのプロパティ］ダイアログボックスまたは［期間のプロパティ］ダイアログボックスを表示させて、コストの詳細情報などを確認できます。
［ジョブのプロパティ］ダイアログボックスでは、選択したジョブの詳細情報が表示されます。
［期間のプロパティ］ダイアログボックスでは、［定期取得ジョブ］の期間中の詳細情報が表示されます。

- ［ジョブのプロパティ］ダイアログボックスの表示方法
  ジョブ一覧中のジョブを選択し、［ファイル］メニューの［ジョブのプロパティ］から［ジョブのプロパティを表示］を選択します。複数のジョブをまとめて選択することもできます。

メモ
- ジョブを選択して右クリックし、［ジョブのプロパティを表示］を選択して表示させることもできます。また、ツールバーのアイコンから表示させることもできます。

- ［期間のプロパティ］ダイアログボックスの表示方法
  ［定期取得ジョブ］のリストから期間を選択し、［ファイル］メニューの［ジョブのプロパティ］から［期間のプロパティを表示］を選択します。複数の期間をまとめて選択することもできます。

メモ
- 期間を選択して右クリックし、［期間のプロパティを表示］を選択して表示させることもできます。また、ツールバーのアイコンから表示させることもできます。

- ［ジョブのプロパティ］ダイアログボックス/［期間のプロパティ］ダイアログボックスの各部

- ［ジョブ］タブ
  選択したジョブの詳細情報が表示されます。［文書名］でジョブ名を選択すると、ジョブごとの詳細情報が表示されます。
- ［オーナー］タブ
  ［オーナー］でオーナー名を選択すると、オーナーごとの詳細情報が表示されます。

- [コピー]ボタン
  クリックすると、表示中の文字情報をクリップボードにコピーします。

設定した単価情報の表示、保存、読み込みをする

- [単価情報の表示]

  [ファイル]メニューから[単価情報の表示]を選択すると、[単価情報]ダイアログボックスが表示されます。設定されているインクや用紙などの単価が一覧表示されます。

  [コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

- [単価情報の保存]

  [ファイル]メニューの[単価情報の保存]で保存先を選択します。設定されているインクや用紙などの単価情報をファイルに保存します。

- [単価情報の読み込み]

  [ファイル]メニューの[単価情報の読み込み]で単価情報のファイルを選択すると、単価情報を読み込みます。

インクと用紙の総使用量を表示する

[ファイル]メニューから[インクと用紙の使用量を表示]を選択すると、[インクと用紙の使用量を表示]ダイアログボックスが表示されます。
プリンタが今までに使用したインクと用紙の総量を一覧表示します。
[コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

メモ

- 用紙は、使用量の多い順に 7 種類まで表示されます。それ以外の用紙は、合計使用量が[その他]として表示されます。

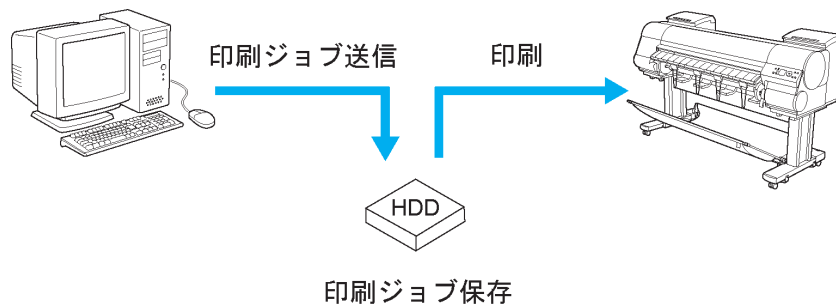
印刷ジョブの基本操作

ハードディスクの使い方 688

印刷ジョブをハードディスクに保存する 689
ジョブキューを操作する(削除、追い越し印刷) 692
保留ジョブを操作する(印刷、削除) 694

保存したジョブを印刷する 696
保存したジョブを削除する 700
保存したジョブを移動する 703

ハードディスクの使い方

このプリンタでは、印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存できます。
プリンタに保存された印刷ジョブを使用すると、コンピュータから再度印刷を実行することなく、必要に応じて印刷ができます。

印刷ジョブを保存すると、以下のようなことができます。

- コンピュータの作業負荷を軽減

  印刷終了後に印刷ジョブをプリンタに保存したり、印刷しないで印刷ジョブをプリンタに保存することができます。印刷ジョブを保存しておけば、コンピュータを使用せずに、必要なときに必要な部数を印刷することができます。

- エラー発生後の再印刷が簡単

  印刷中に用紙切れなどのエラーがプリンタで発生した場合、コンピュータから印刷ジョブを再送しなくても、エラー解消後に印刷を続行することができます。

- 印刷の作業効率を向上

  コンピュータを使用せずに、印刷ジョブを選択して印刷したり、部数を指定して印刷することができます。また、複数の印刷ジョブをまとめて印刷することができます。夜間の無人運転も可能です。

出力方法

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存するには、印刷時にプリンタドライバを設定します。
Windows の場合は[出力方法]ダイアログボックスで設定します。
Mac OS X の場合は[付加設定]パネルで設定します。

- [印刷]

  印刷終了後に、印刷ジョブがプリンタのハードディスクに保存されます。

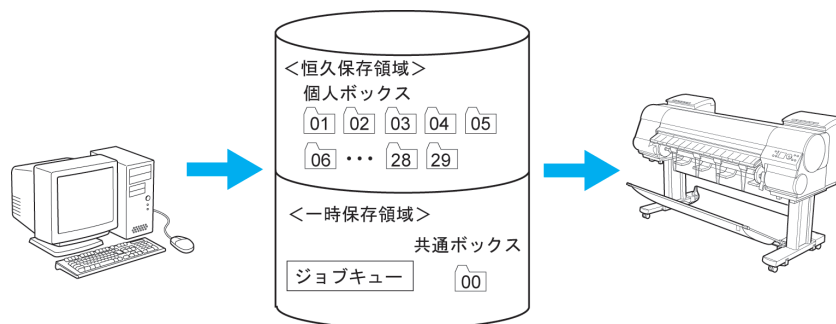
- [ボックス保存]

  印刷ジョブが、プリンタのハードディスクに保存されます。

- [受信を完了してから印刷する]

  [印刷]のオプションとして選択できます。印刷ジョブの受信が途切れて、印刷が中断することで発生する、印刷品質の低下を防ぐことができます。

保存場所

プリンタのハードディスクの保存領域は、一時保存領域と恒久保存領域に分かれています。一時保存領域にはジョブキューを保存する領域と共通ボックスがあり、恒久保存領域には個人ボックスがあります。

- ジョブキュー

  プリンタで処理実行中(保存中、受信中、処理準備中、処理中、印刷中、中断中、削除中および保留中)の印刷ジョブをジョブキューと呼び、一時保存領域に最大 64 個まで保存されます。

  ジョブキューが最大数保存されているときに、コンピュータから送信された印刷ジョブは、処理待ちの状態になります。

  ただし、保存されているジョブキューの状態がすべて保留中の場合は、保存日時の 1 番古いジョブキューが削除され、コンピュータから送信された印刷ジョブが処理されます。

- 共通ボックス

  [出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)で[印刷]を選択して印刷した場合、印刷ジョブは共通ボックスに保存され、保存ジョブとなります。

  共通ボックスは 1 個で、ボックス番号は[00]です。暗証番号は設定できません。

  最大 100 個の印刷ジョブを保存できますが、以下の場合は、最終印刷日時の古い順に消去されます。

  - 共通ボックスに保存されている保存ジョブとジョブキューの総数が 101 個以上の場合
  - [出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)が[印刷]の印刷ジョブを受信中に、一時保存領域の空き容量がなくなった場合
  - [出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)が[ボックス保存]の印刷ジョブを受信中に、一時保存領域と恒久保存領域に必要な空き容量がなくなった場合

- 個人ボックス

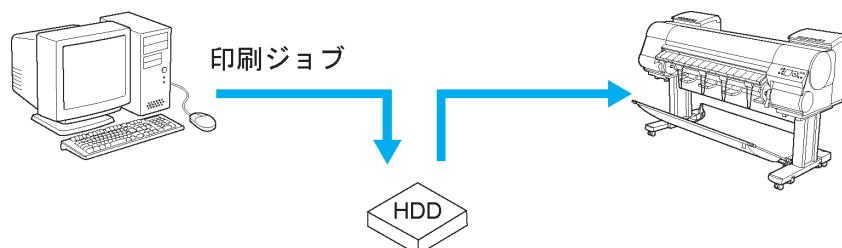
  以下の場合に、印刷ジョブは個人ボックスに保存され、保存ジョブとなります。

  - 共通ボックスに保存されている保存ジョブを個人ボックスに移動したとき
  - [出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)で[ボックス保存]を選択したとき

  個人ボックスは 29 個で、ボックス番号は[01]～[29]です。個人ボックスごとに、名前と暗証番号を設定できます。

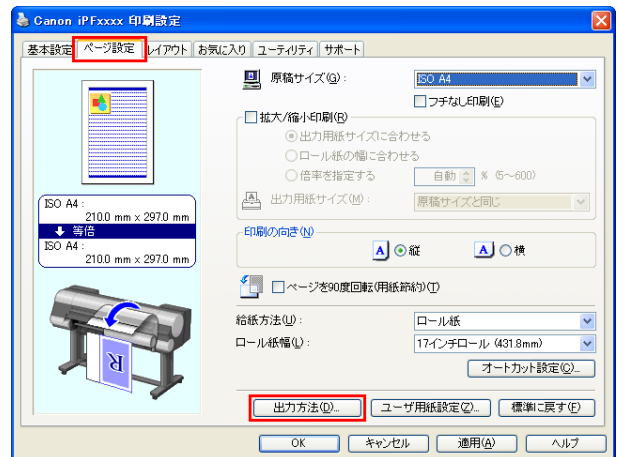
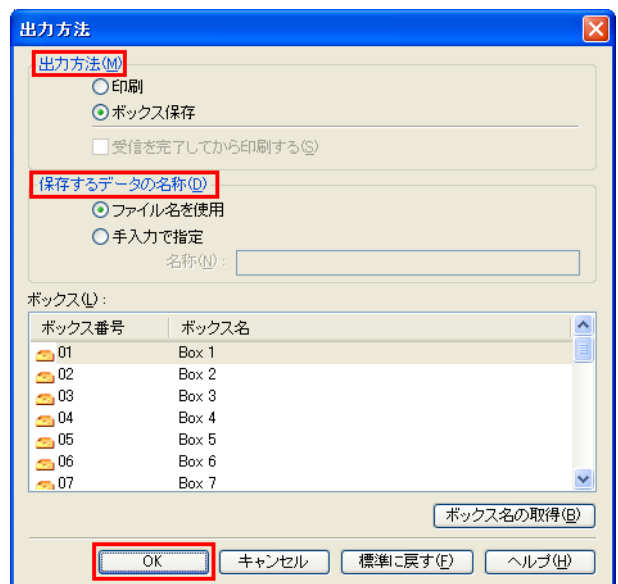
  全ての個人ボックスで、合わせて最大 100 個の印刷ジョブを保存することができます。

印刷ジョブをハードディスクに保存する

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存するには、印刷時にプリンタドライバを設定します。

- 以下のソフトウェアを使用した場合も、印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存できます。
  Windows
  - Print Plug-In →P.228

  Mac OS
  - Print Plug-In →P.414

プリンタドライバ(Windows)を設定する

1 [ページ設定]シートを表示します。

2 [出力方法]をクリックし、[出力方法]ダイアログボックスを開きます。

3 [出力方法]を選択します。

- **[印刷]**

  印刷終了後に、印刷ジョブがプリンタのハードディスクに保存されます。

- **[ボックス保存]**

  印刷ジョブが、プリンタのハードディスクに保存されます。
  [ボックス保存]を選択した場合は、[ボックス]の一覧から保存先の個人ボックス番号を選択します。

- **[受信を完了してから印刷する]**

  [印刷]のオプションとして選択できます。印刷ジョブの受信が途切れて、印刷が中断することで発生する、印刷品質の低下を防ぐことができます。

メモ

- [ボックス名の取得]をクリックすると、プリンタから取得した個人ボックスの名前が[ボックス]の一覧に表示されます。

4 [保存するデータの名称]で、印刷ジョブの保存名を指定します。

- ファイル名をそのまま使用する場合は、[ファイル名を使用]を選択します。
- ファイル名を使用しない場合は、[手入力で指定]を選択し、[名称]に保存名を入力します。

5 [OK]をクリックし、[出力方法]ダイアログボックスを閉じます。

プリンタドライバ(Mac OS)を設定する

1 [付加設定]パネルを表示します。

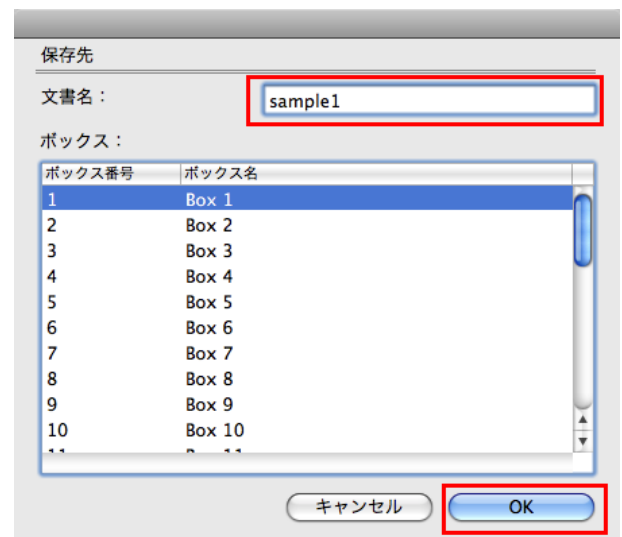
2 [ジョブの出力方法]を選択します。

- [印刷]

  印刷終了後に、印刷ジョブがプリンタのハードディスクに保存されます。

- [ボックス保存]

  印刷ジョブが、プリンタのハードディスクに保存されます。

  [ボックス保存]を選択した場合は、[保存先]ダイアログボックスが表示されます。印刷ジョブの保存名と保存先の個人ボックス番号を指定します。

1. [文書名]に、印刷ジョブの保存名を入力します。

   メモ

   - Free Layout または Preview から出力した場合、[文書名]は imagePROGRAF で保存されます。

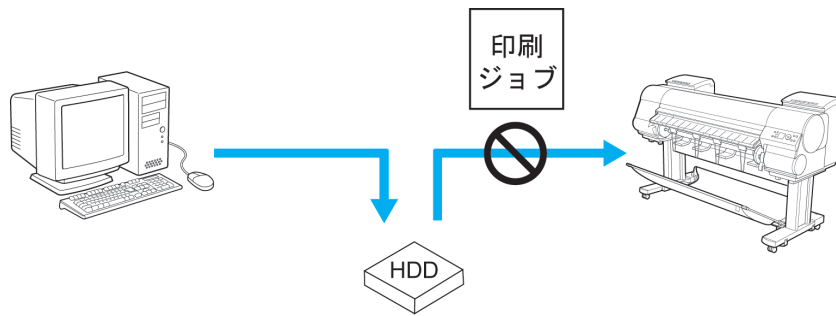
2. [ボックス]の一覧から保存先の個人ボックス番号を選択します。

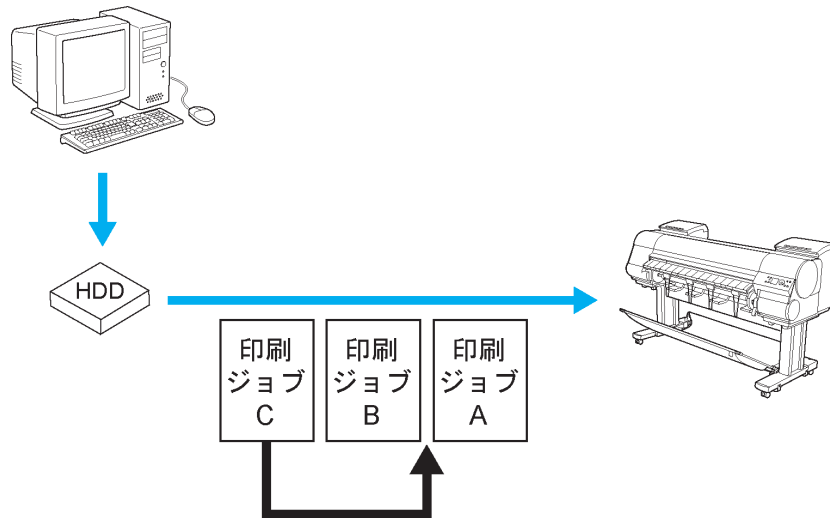
3. [OK]をクリックし、[保存先]ダイアログボックスを閉じます。

- [受信を完了してから印刷する]
  [印刷]のオプションとして選択できます。印刷ジョブの受信が途切れて、印刷が中断することで発生する、印刷品質の低下を防ぐことができます。

ジョブキューを操作する(削除、追い越し印刷)

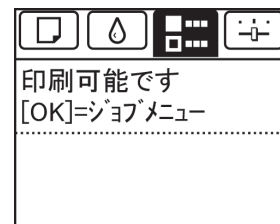
プリンタで処理実行中の印刷ジョブをジョブキューと呼びます。ジョブキューは、削除または追い越し印刷ができます。
この操作は、操作パネル、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor、imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

- 削除
  状態が削除中以外のジョブキューを削除できます。

- 追い越し印刷
  状態が受信中および処理準備中のジョブキューは追い越し印刷ができます。

メモ

- 状態が保留のジョブ(保留ジョブ)の操作については、「保留ジョブを操作する(印刷、削除)」を参照してください。 →P.694

操作パネルの場合

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (ジョブタブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[ジョブメニュー]が表示されます。

3 ジョブキューを操作します。

- 削除する場合

1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷ジョブ]を選択し、[OK]キーを押します。
2. [▲]キー、[▼]キーを押して削除する印刷ジョブを選択し、[OK]キーを押します。
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[削除]を選択し、[OK]キーを押します。

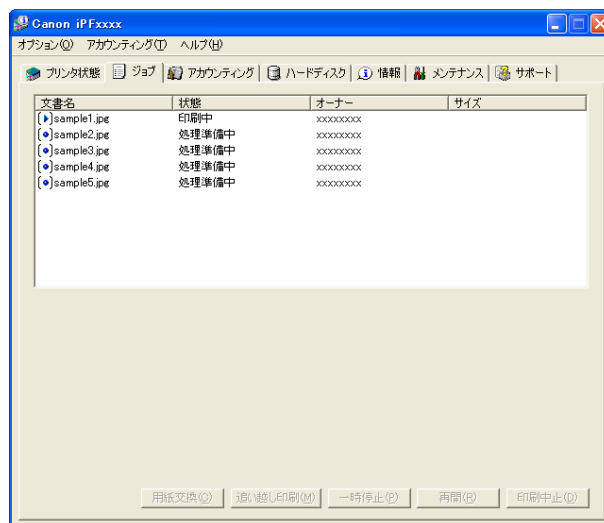
- 追い越し印刷をする場合

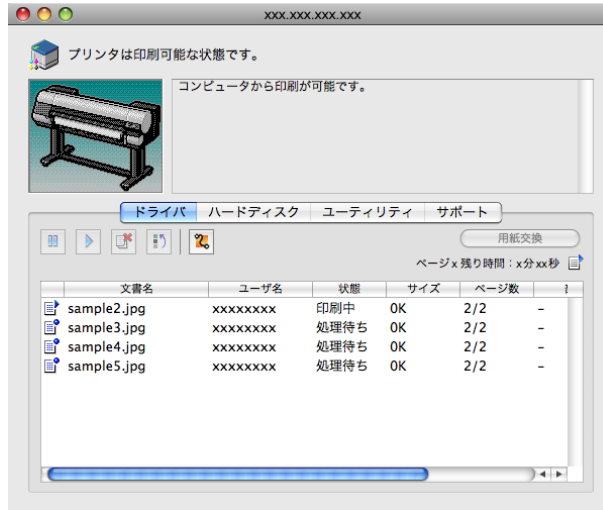
1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷ジョブ]を選択し、[OK]キーを押します。
2. [▲]キー、[▼]キーを押して優先して印刷するジョブを選択し、[OK]キーを押します。
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[追い越し]を選択し、[OK]キーを押します。

リモート UI の場合

[印刷ジョブ]ページで操作します。詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合

[ジョブ]シートで操作します。詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

[ドライバ]パネルで操作します。詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保留ジョブを操作する(印刷、削除)

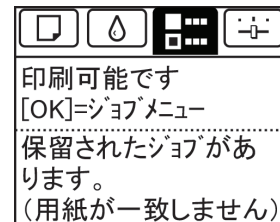
操作パネルのメニューで、[用紙ミスマッチ検知]が[保留する]に設定されている場合に、セットした用紙の種類やサイズと設定が異なるジョブを受信すると、印刷ジョブは保留ジョブ(状態が保留中のジョブキュー)となります。
ここでは、保留ジョブの操作について説明します。
この操作は、操作パネル、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor および imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

メモ

- 保留ジョブは、操作パネル、imagePROGRAF Status Monitor および imagePROGRAF Printmonitor から操作しない限り、ジョブキューとして保存されたままの状態となります。このとき、プリンタは一時停止せずに、次の順番のジョブキューを処理します。
- 保留ジョブを印刷する場合は、プリンタの用紙を、印刷ジョブで指定した用紙に交換しておいてください。
(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483
(「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505

操作パネルの場合

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (ジョブタブ)を選択します。
保留ジョブが存在する場合は、[保留されたジョブがあります。]と表示されます。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[ジョブメニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷ジョブ]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して操作する保留ジョブを選択し、[OK]キーを押します。
保留ジョブには、アイコンが表示されます。

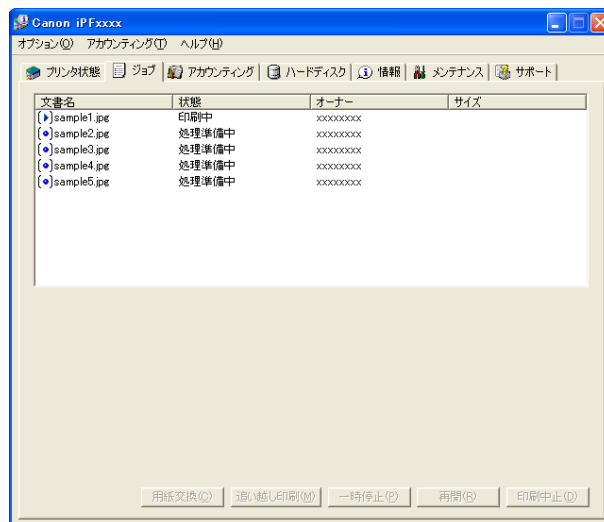
5 [▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷]または[削除]を選択し、[OK]キーを押します。

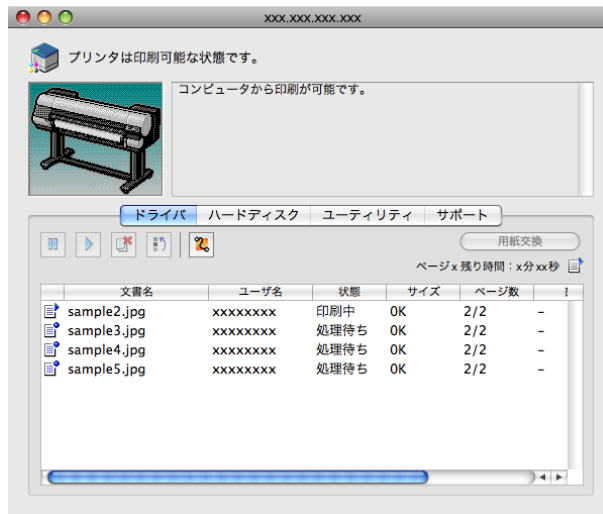
- [そのまま印刷]を選択した場合
  [▲]キー、[▼]キーを押して[する]または[しない]を選択し、[OK]キーを押します。
- [削除]を選択した場合
  [▲]キー、[▼]キーを押して[する]または[しない]を選択し、[OK]キーを押します。

リモート UI の場合

[印刷ジョブ]ページで操作します。詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor の場合

[ジョブ]シートで操作します。詳細については、「imagePROGRAF Status Monitor によるジョブ管理」を参照してください。 →P.673

imagePROGRAF Printmonitor の場合

[ドライバ]パネルで操作します。詳細については、「imagePROGRAF Printmonitor によるジョブ管理」を参照してください。 →P.675

保存したジョブを印刷する

プリンタのハードディスクに保存されているジョブ(保存ジョブ)を印刷できます。
この操作は、操作パネル、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor および imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

操作パネルの場合

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (ジョブタブ)を選択します。

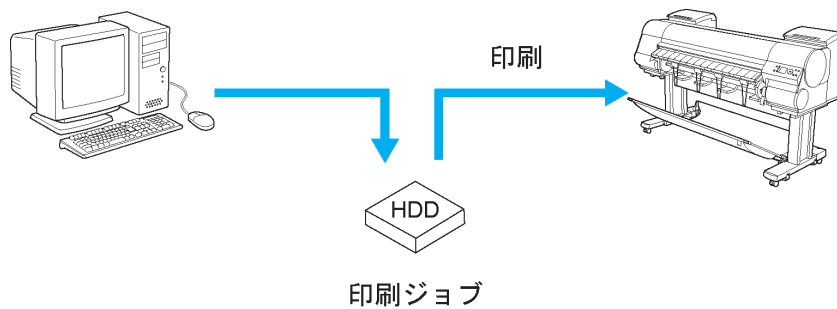
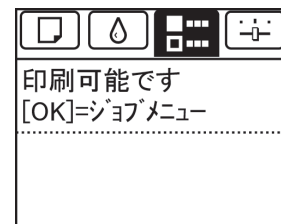
メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[ジョブメニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[保存ジョブ]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押してボックス番号([00]〜[29])を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- 暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ジョブリスト]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して保存ジョブを選択し、[OK]キーを押します。

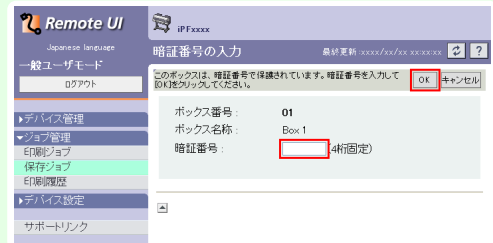
7 [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷]を選択し、[OK]キーを押します。

8 印刷部数を設定し、[OK]キーを押します。

リモート UI の場合

1 [保存ジョブ]ページでボックスを選択します。

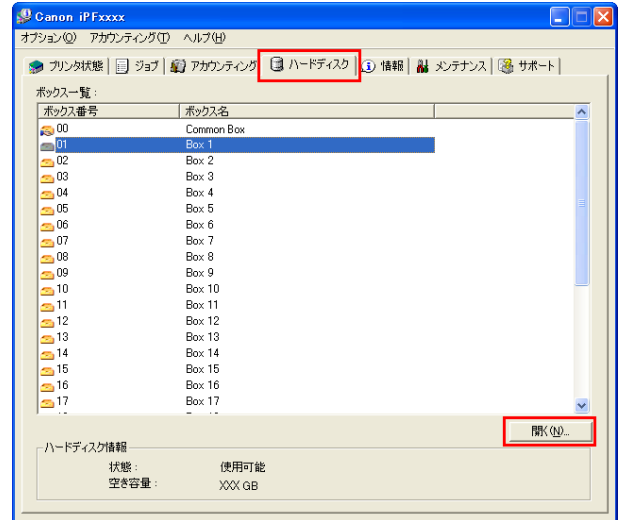
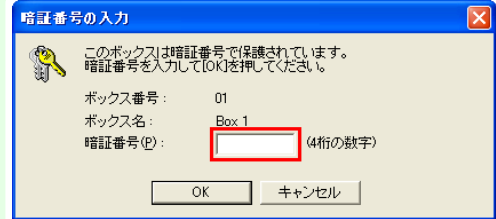
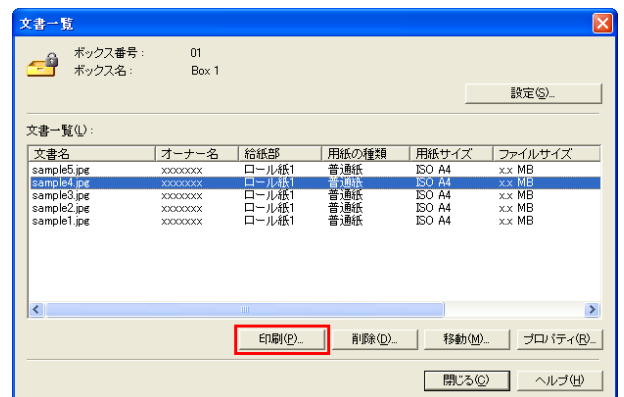
メモ

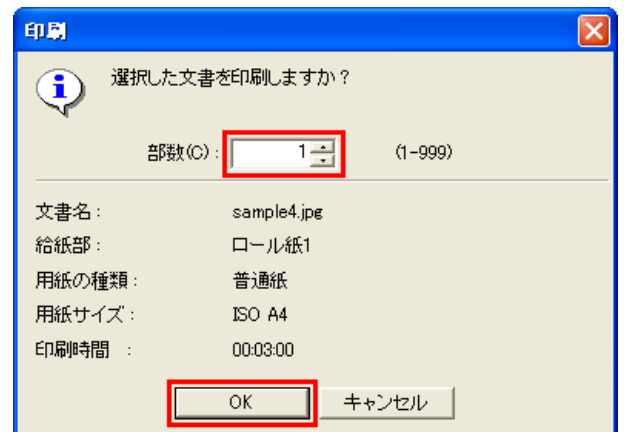
- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 保存ジョブを選択し、[再開]をクリックします。

3 [保存文書の印刷]ページで、[部数]に印刷部数を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor の場合

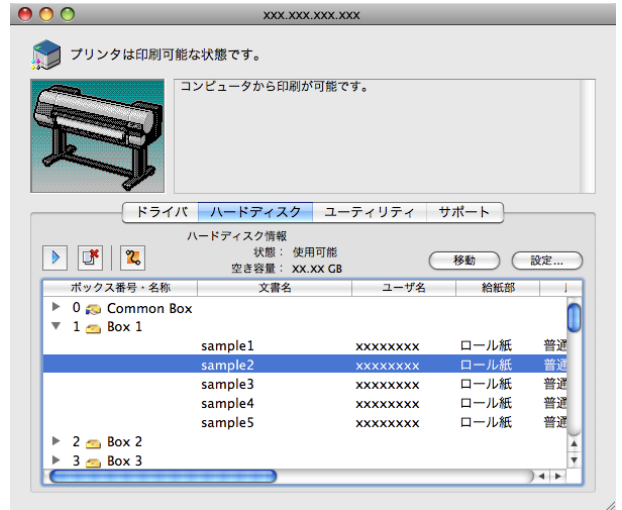
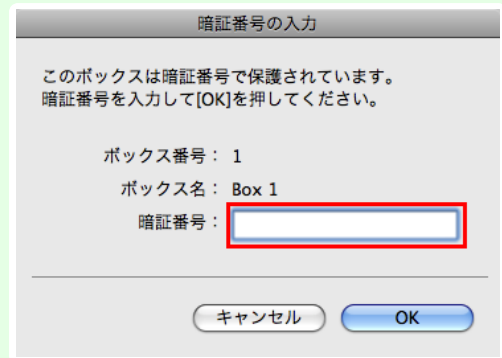
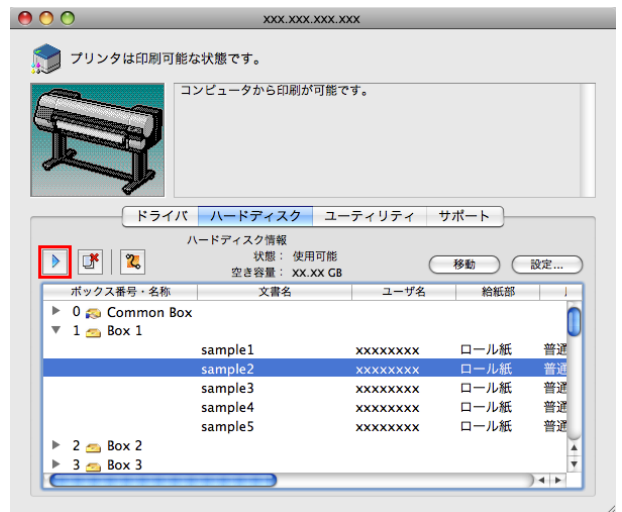
1 [ハードディスク]シートでボックスを選択し、[開く]をクリックします。

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 [文書一覧]ダイアログボックスで保存ジョブを選択し、[印刷]をクリックします。

3 [印刷]ダイアログボックスで、[部数]に印刷部数を入力し、[OK]をクリックします。

メモ

- 印刷時間には、前回の印刷で 1 部を印刷するのにかかった時間がはじめに表示されます。
  [部数]を変更した場合、印刷時間には、前回の印刷で 1 部を印刷するのにかかった時間に部数を掛けた時間が表示されます。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor の場合

1 [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号・名称]の[▶]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
  暗証番号は 4 桁の数字です。

2 保存ジョブを選択し、[印刷再開]ボタンをクリックします。

3 [印刷再開]ダイアログで部数を入力して[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保存したジョブを削除する

プリンタのハードディスクに保存されているジョブ(保存ジョブ)は、削除できます。
この操作は、操作パネル、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor、imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

操作パネルの場合

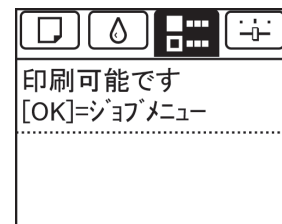
1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (ジョブタブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[ジョブメニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[保存ジョブ]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押してボックス番号([00]～[29])を選択し、[OK]キーを押します。

メモ
- 暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ジョブリスト]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して保存ジョブを選択し、[OK]キーを押します。

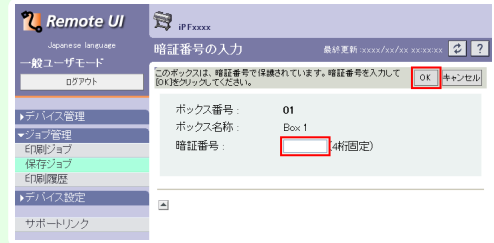
7 [▲]キー、[▼]キーを押して[削除]を選択し、[OK]キーを押します。

8 [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

リモート UI の場合

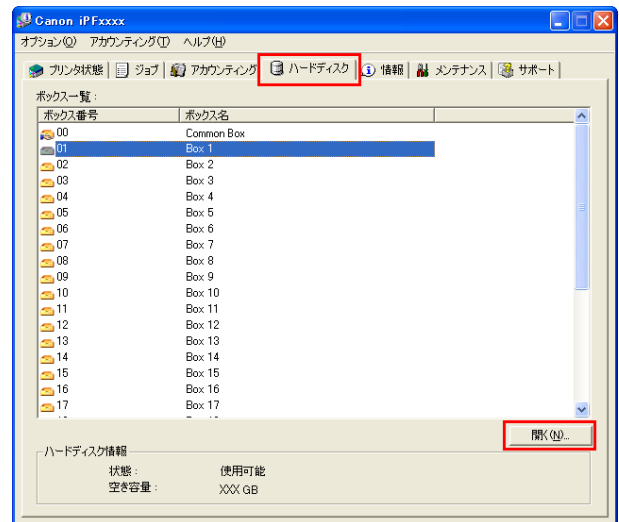
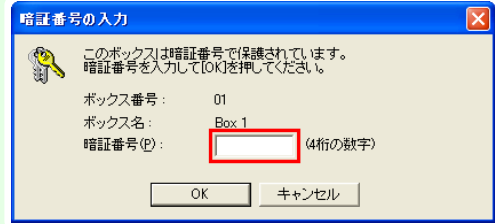
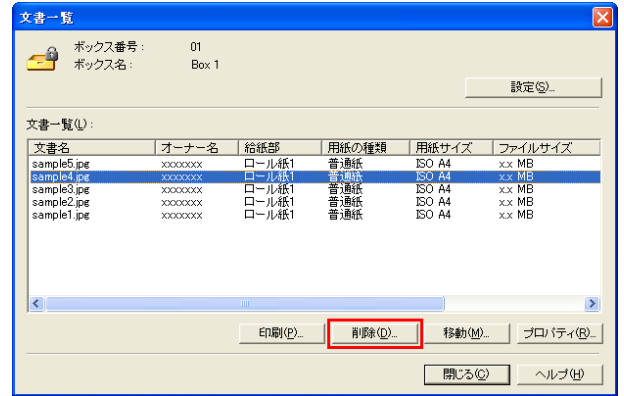
1 [保存ジョブ]ページでボックスを選択します。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 保存ジョブを選択し、[削除]をクリックします。

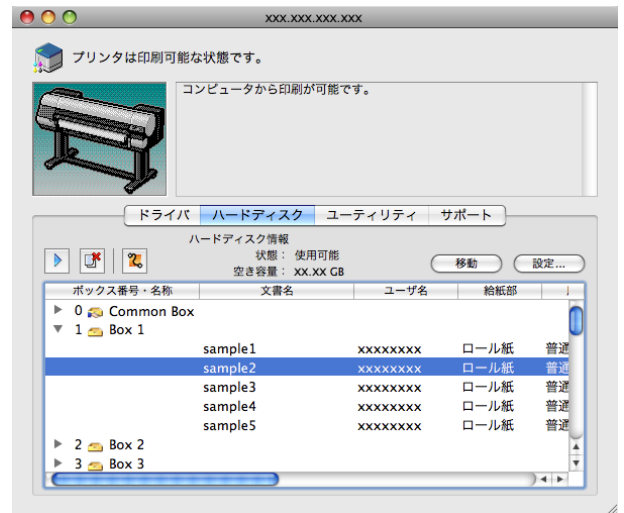
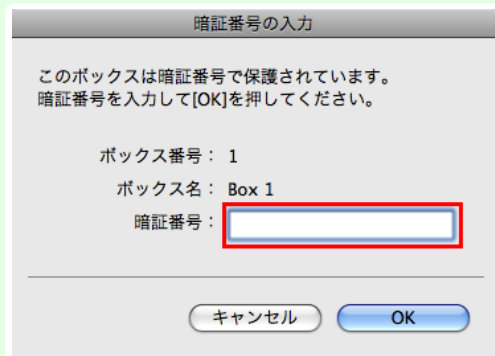
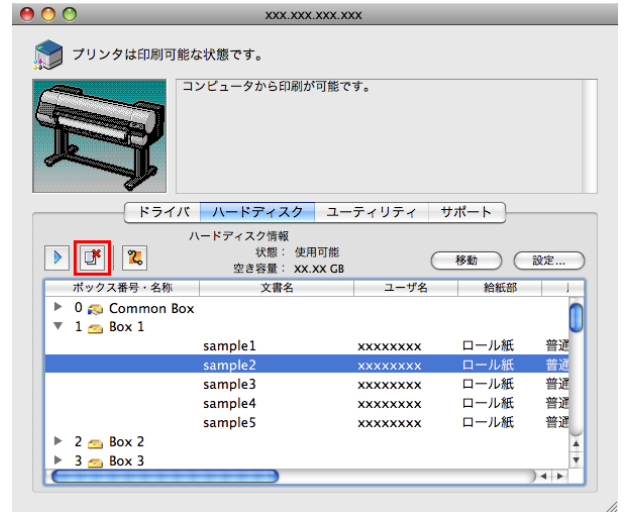
詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor の場合

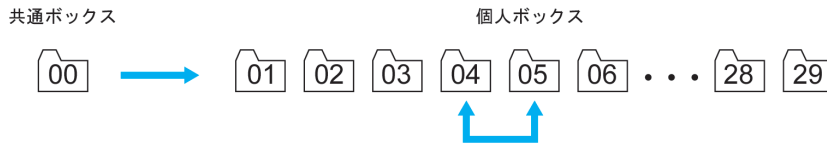
1 [ハードディスク]シートでボックスを選択し、[開く]をクリックします。

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 [文書一覧]ダイアログボックスで保存ジョブを選択し、[削除]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor の場合

1 [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号･名称]の[▶]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
  暗証番号は 4 桁の数字です。

2 保存ジョブを選択し、[削除]ボタンをクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保存したジョブを移動する

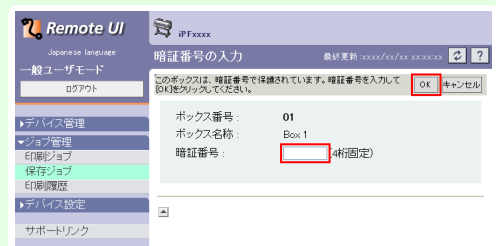
プリンタのハードディスクに保存されているジョブ(保存ジョブ)を、現在保存されているボックスから、異なるボックスに移動できます。
ただし、個人ボックスの保存ジョブを共通ボックスへ移動することはできません。
この操作は、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor および imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

重要

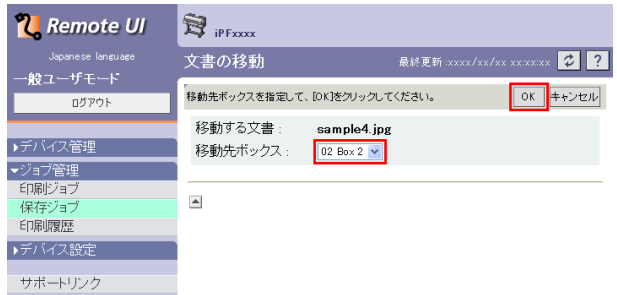
- 共通ボックスの保存ジョブは、自動的に削除される場合がありますので、削除したくない保存ジョブが共通ボックスに保存されている場合は、個人ボックスに移動してください。(「ハードディスクの使い方」参照) →P.688

リモート UI の場合

1 [保存ジョブ]ページでボックスを選択します。

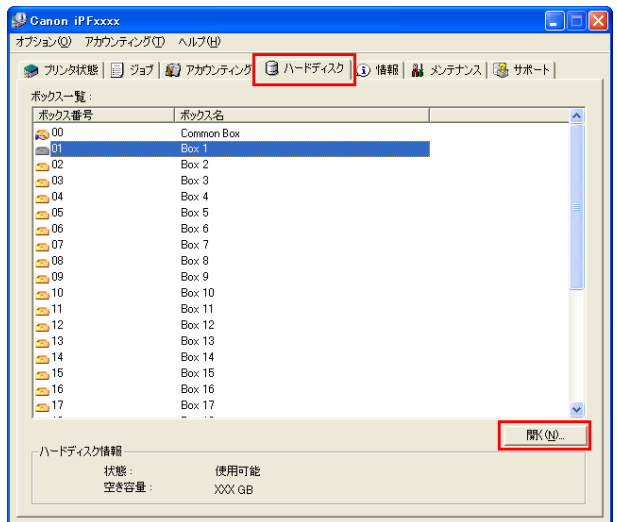
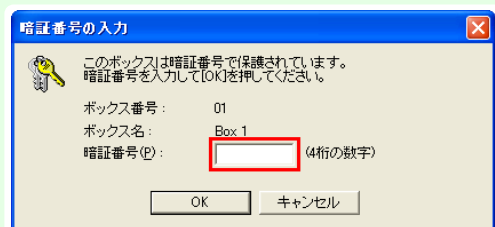
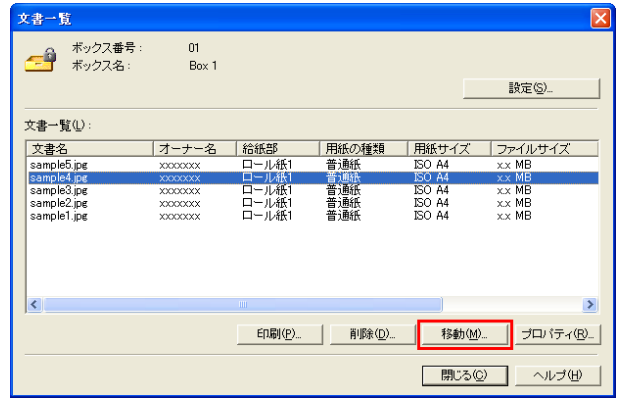
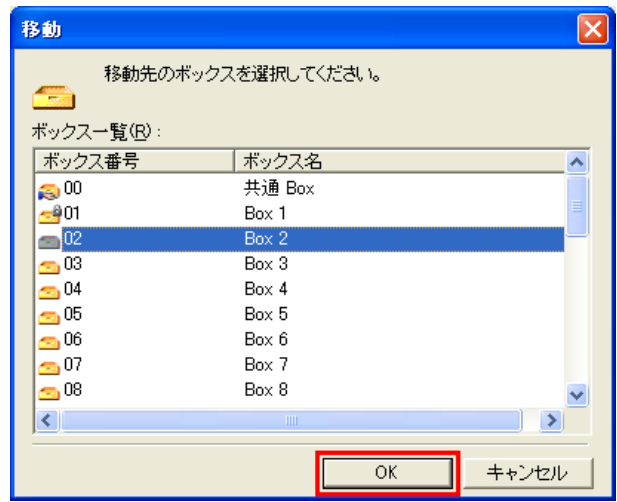
メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 保存ジョブを選択し、[文書の移動]をクリックします。

3 [文書の移動]ページで、[移動先ボックス]の一覧から移動先の個人ボックス番号･名称を選択し、[OK]をクリックします。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

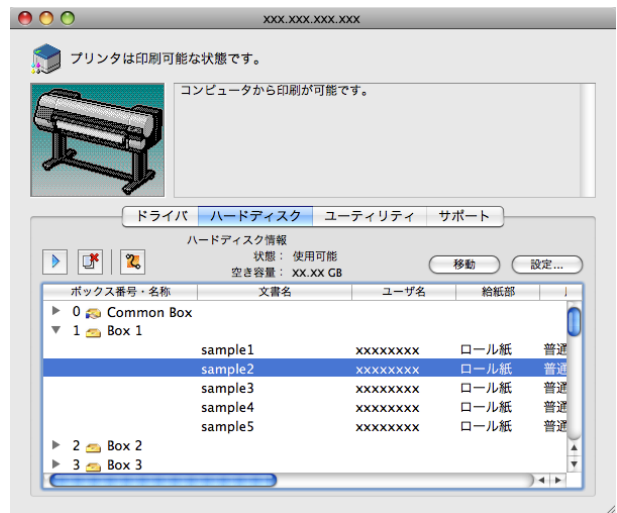
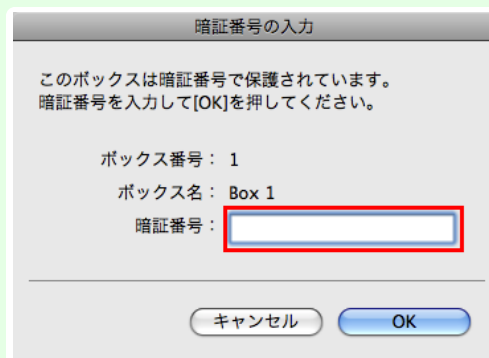
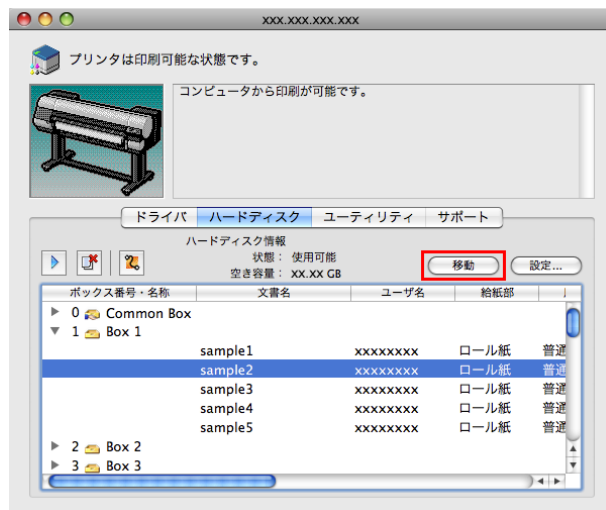
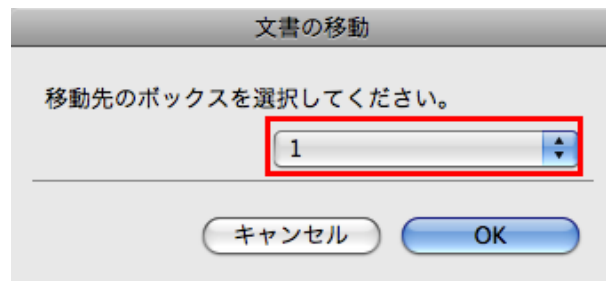
imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合

1 [ハードディスク]シートでボックスを選択し、[開く]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 [文書一覧]ダイアログボックスで保存ジョブを選択し、[移動]をクリックします。

3 [移動]ダイアログボックスで、移動先の個人ボックスを選択し、[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

1 [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号・名称]の[▶]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
  暗証番号は4桁の数字です。

2 保存ジョブを選択し、[移動]をクリックします。

3 [文書の移動]ダイアログで、移動先の個人ボックス番号を選択し、[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

印刷ジョブのさまざまな操作

プリンタドライバ以外から送信された印刷ジョブを保存する 707
印刷ジョブを共通ボックスに保存しない 708

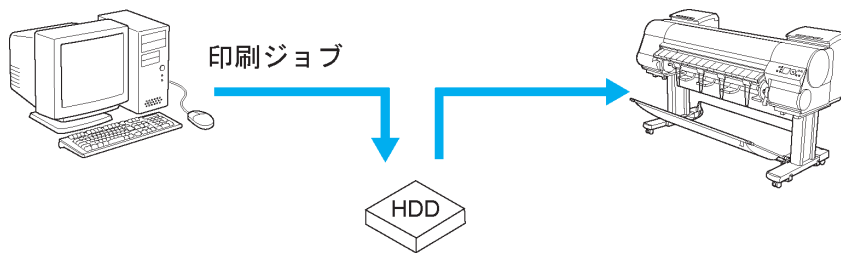
個人ボックスに暗証番号を設定する 709
個人ボックスに名前を付ける 712

保存したジョブの一覧を表示する 715
保存したジョブの一覧を印刷する 717
保存したジョブの詳細を表示する 718
保存したジョブの名前を変更する 720

プリンタのハードディスク関連の機能一覧 631
ハードディスクの空き容量を確認する 631

プリンタドライバ以外から送信された印刷ジョブを保存する

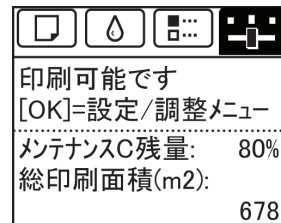
同梱のプリンタドライバやアプリケーション以外のソフトウェアやシステムなどから送信された印刷ジョブの保存について設定する場合は、操作パネルのメニューで、[出力方法]と[受信完了後に印刷]を設定してください。

メモ

- お使いのソフトウェアやシステムのこの機能への対応につきましては、お使いのソフトウェアまたはシステムの製造元にお問い合わせください。

[出力方法]を設定する

[出力方法]では、印刷や印刷ジョブの保存について設定します。

- [印刷]
  印刷と同時に自動的に印刷ジョブをプリンタに保存します。(初期値)
- [印刷(自動消去)]
  印刷と同時に一時的に印刷ジョブを保存し、印刷後に印刷ジョブを消去します。
- [ボックス保存<01>](数字はボックス番号)
  印刷ジョブをプリンタに保存します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[システム設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[出力方法]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷]、[印刷(自動消去)]または[ボックス保存<01>]を選択します。
[ボックス保存<01>]を選択した場合のみ、次の手順を実行してください。

6 [▲]キー、[▼]キーを押してボックスを選択し、[OK]キーを押します。

[受信完了後に印刷]を設定する

印刷を開始する前に、印刷ジョブをハードディスクに保存する場合は、[受信完了後に印刷]を設定します。
[受信完了後に印刷]を[オン]に設定すると、[出力方法]で[ボックス保存<01>]を選択した場合でも、印刷が開始されます。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
• [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[システム設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[受信完了後に印刷]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[オン]または[オフ]を選択し、[OK]キーを押します。

印刷ジョブを共通ボックスに保存しない

コンピュータから送信した印刷ジョブは、プリンタドライバの[出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)で[印刷]を選択した場合、共通ボックスに保存されます。(「ハードディスクの使い方」参照) →P.688
操作パネルのメニューで[共通ボックス設定]が[印刷(自動消去)]に設定されていると、プリンタドライバの[出力方法]ダイアログボックスで[印刷]を選択した印刷ジョブは、印刷後に共通ボックスから削除されます。
機密性の高い印刷データを印刷する場合などに、この機能を使用します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
• [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[システム設定]を選択し、[OK]キーを押します。

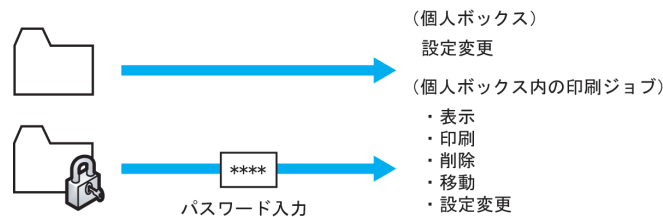
4 [▲]キー、[▼]キーを押して[共通ボックス設定]を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- プリンタにパスワードを設定している場合は、[ログオン]画面が表示されます。
  設定を変更する場合は、[管理者]を選択し、[OK]キーを押してください。
  [管理者パスワード]画面が表示されたら、パスワードを入力し、[OK]キーを押すと、次の手順に進みます。
  [一般ユーザ]を選択し、[OK]キーを押した場合は、設定値を参照できますが、変更はできません。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷(自動消去)]を選択し、[OK]キーを押します。

個人ボックスに暗証番号を設定する

個人ボックスには、セキュリティのために、暗証番号を設定できます。暗証番号を設定すると、個人ボックスの設定変更、個人ボックスに保存されているジョブの表示、印刷、削除、移動、設定変更には暗証番号が必要になります。
この操作は、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor、imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

メモ

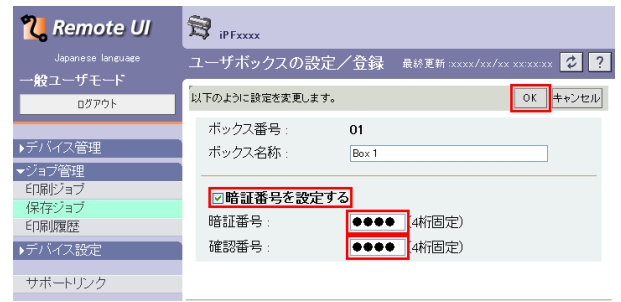
- 工場出荷時の状態では、個人ボックスに暗証番号は設定されていません。
- 共通ボックスには、暗証番号を設定できません。
- 暗証番号は 0001 から 9999 までの 4 桁の数字を入力してください。
- 暗証番号を設定しても、リモート UI の管理者モードでログオンするときは、設定した暗証番号を入力する必要はありません。

リモート UI の場合

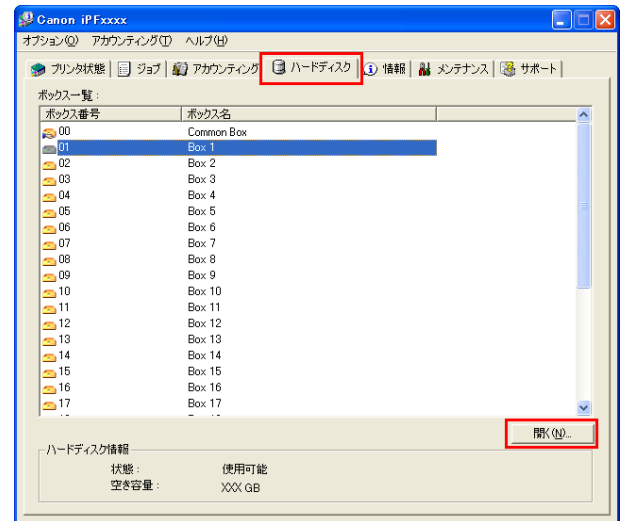
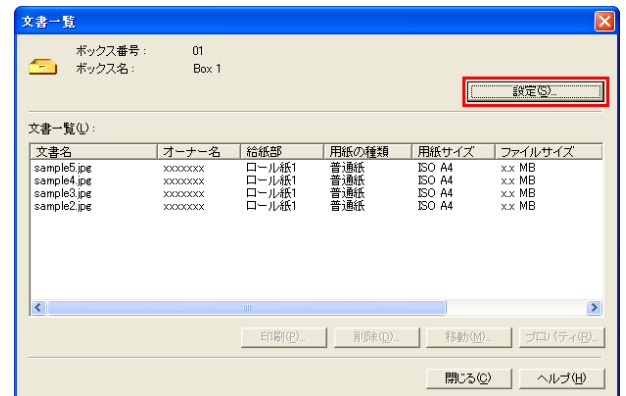
1 [保存ジョブ]ページで個人ボックスを選択します。

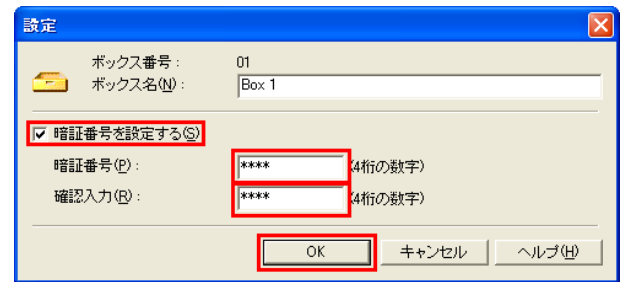
2 [変更]をクリックします。

3 [ユーザボックスの設定/登録]ダイアログボックスで暗証番号を設定し、[OK]をクリックします。

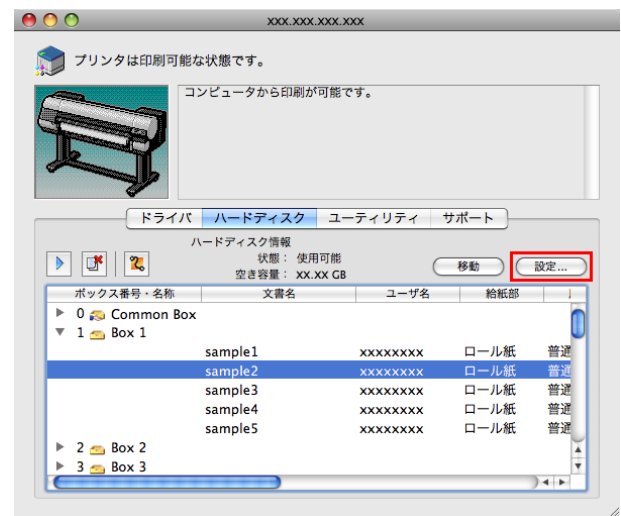
- [暗証番号を設定する]
  チェックボックスをオンにします。
- [暗証番号]
  暗証番号を入力します。(4 桁固定、0001〜9999)
- [確認番号]
  確認用に暗証番号を入力します。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の場合

1 ［ハードディスク］シートで個人ボックスを選択し、［開く］をクリックします。

2 ［文書一覧］ダイアログボックスで、［設定］をクリックします。

3 ［設定］ダイアログボックスで暗証番号を設定し、［OK］をクリックします。

- ［暗証番号を設定する］
  チェックボックスをオンにします。
- ［暗証番号］
  暗証番号を入力します。（4 桁固定、0001～9999）
- ［確認入力］
  確認用に暗証番号を入力します。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

1 ［ハードディスク］パネルで、［ボックス番号・名称］の［▶］をクリックします。表示された保存ジョブのいずれかを選択し、［設定］をクリックします。

2 ［設定］ダイアログボックスで暗証番号を設定し、［OK］をクリックします。

- ［暗証番号の設定］
  チェックボックスをオンにします。
- ［暗証番号］
  暗証番号を入力します。（4 桁固定、0001〜9999）
- ［確認入力］
  確認用に暗証番号を入力します。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

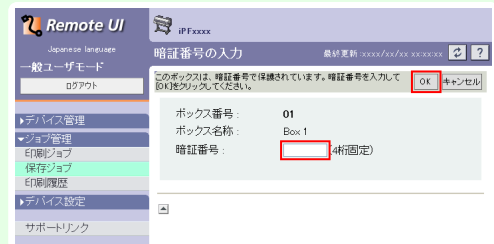
個人ボックスに名前を付ける

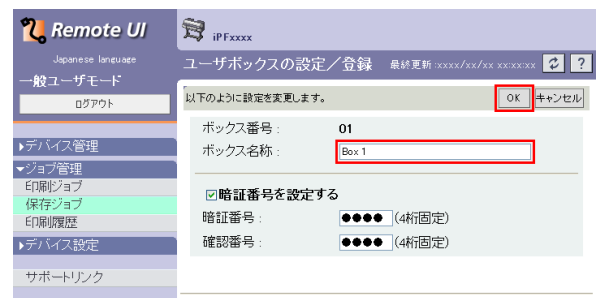
個人ボックスには、識別しやすくするために、名前を付けることができます。
この操作は、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor、imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

リモート UI の場合

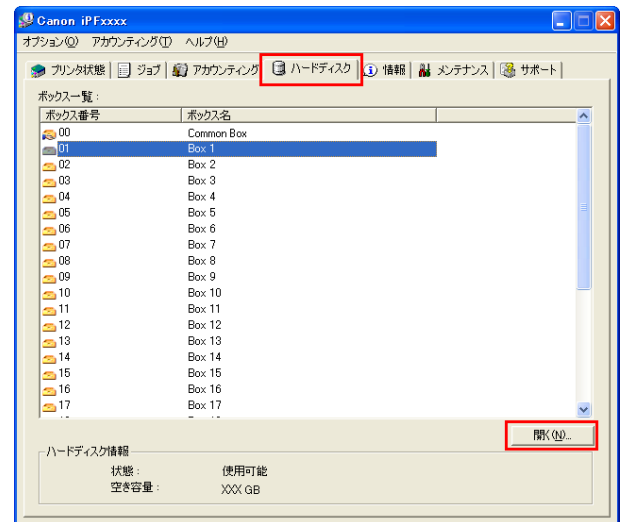
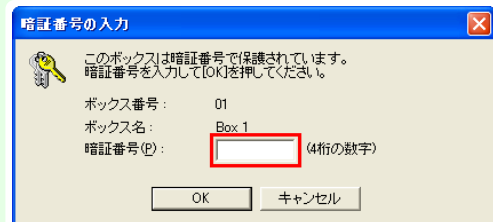
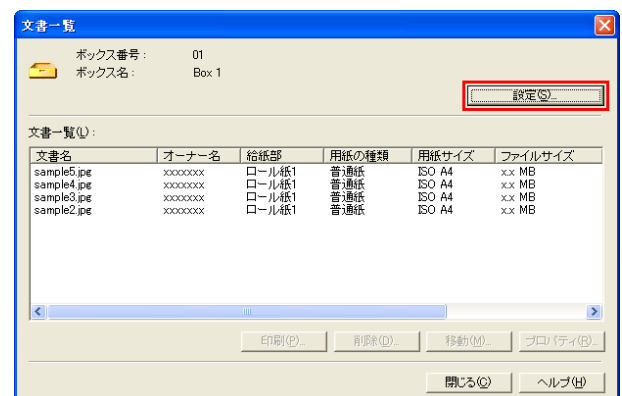
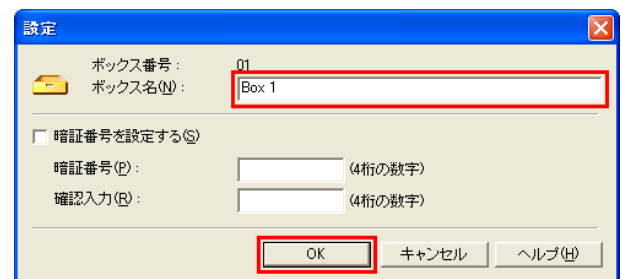
1 [保存ジョブ]ページで個人ボックスを選択します。

メモ

- 個人ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 [変更]をクリックします。

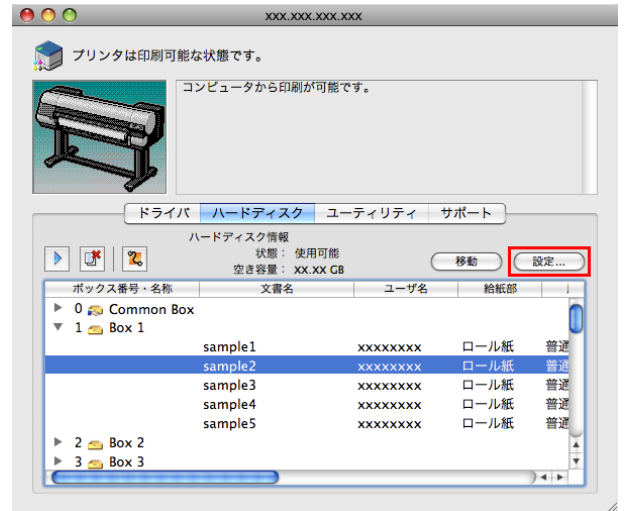
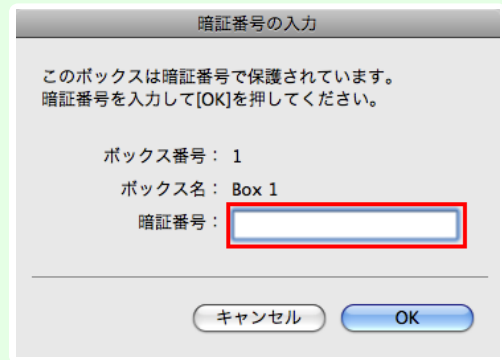
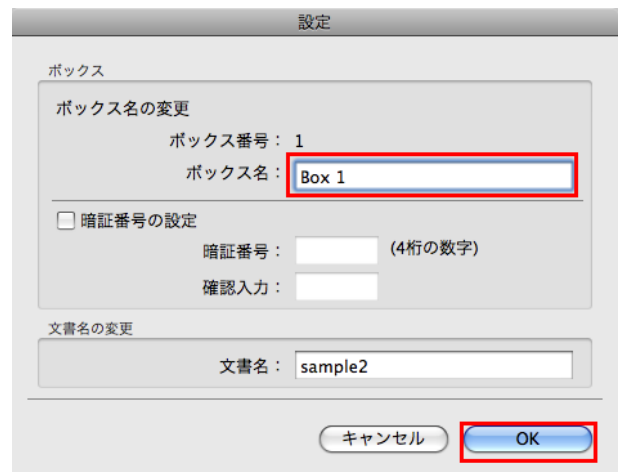
3 [ユーザボックスの設定/登録]ダイアログボックスで、[ボックス名称]に名前を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合

1 [ハードディスク]シートで個人ボックスを選択し、[開く]をクリックします。

- 個人ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 [文書一覧]ダイアログボックスで、[設定]をクリックします。

3 [設定]ダイアログボックスで名前を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

1 [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号・名称]の[▶]をクリックします。表示された保存ジョブのいずれかを選択し、[設定]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
暗証番号は 4 桁の数字です。

2 [設定]ダイアログボックスで名前を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保存したジョブの一覧を表示する

プリンタのハードディスクに保存されているジョブ(保存ジョブ)の一覧を、ボックスごとに表示できます。
この操作は、操作パネル、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor および imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

操作パネルの場合

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (ジョブタブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[ジョブメニュー]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[保存ジョブ]を選択し、[OK]キーを押します。

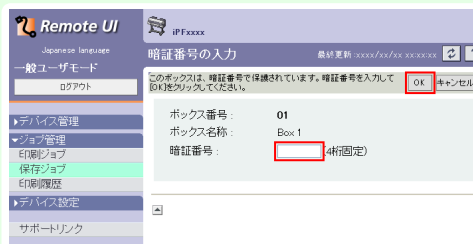
4. [▲]キー、[▼]キーを押してボックス番号([00]〜[29])を選択し、[OK]キーを押します。

メモ
- 暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ジョブリスト]を選択し、[OK]キーを押します。

リモート UI の場合

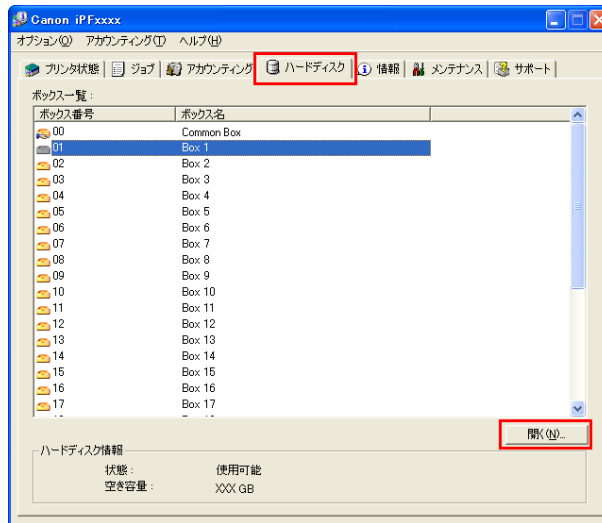
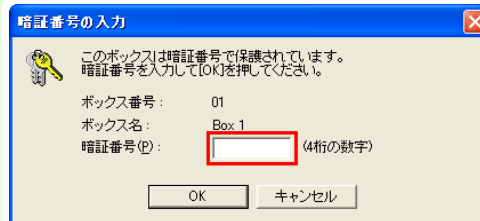
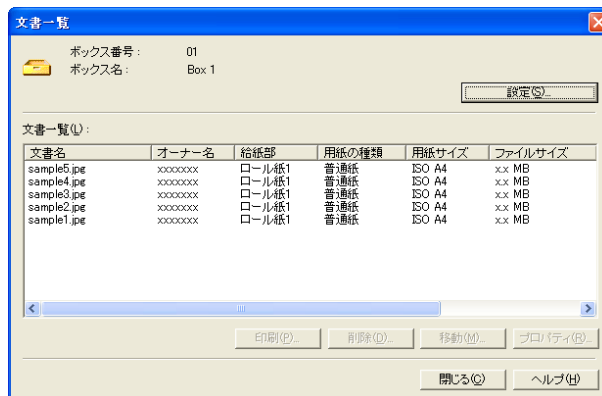
[保存ジョブ]ページでボックスを選択します。

メモ
- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

ボックス内の保存ジョブの一覧が表示されます。

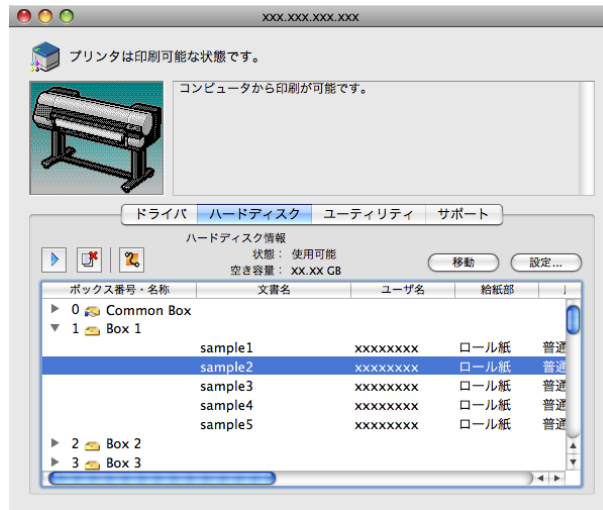
詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

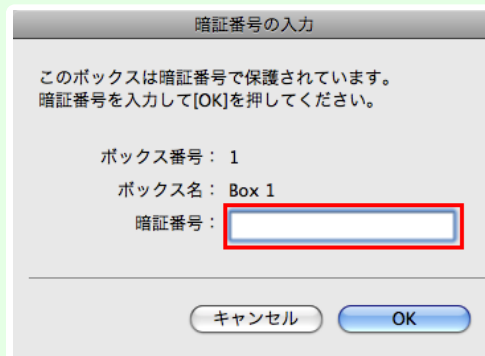
imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合

[ハードディスク]シートでボックスを選択し、[開く]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

[文書一覧]ダイアログボックスに、ボックス内の保存ジョブの一覧が表示されます。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

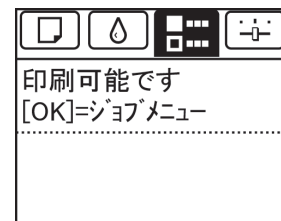
imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

[ハードディスク]パネルで、[ボックス番号・名称]の[▶]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
暗証番号は 4 桁の数字です。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保存したジョブの一覧を印刷する

プリンタのハードディスクに保存されているジョブ（保存ジョブ）の一覧を、ボックスごとに印刷できます。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （ジョブタブ）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[ジョブメニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[保存ジョブ]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押してボックス番号([00]〜[29])を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- 暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ジョブリスト印刷]を選択し、[OK]キーを押します。

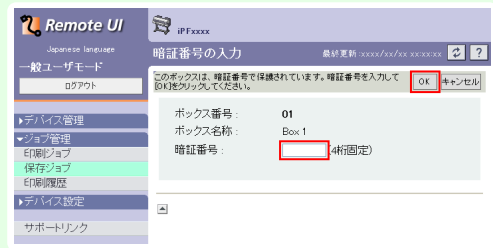
保存したジョブの詳細を表示する

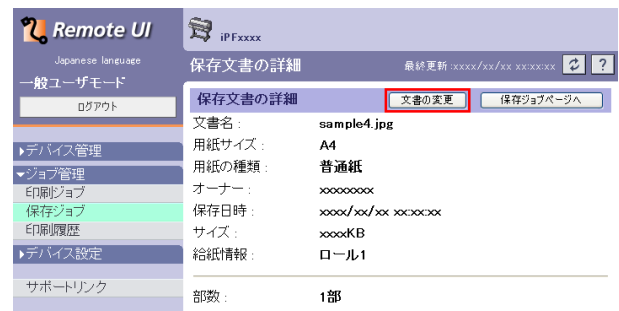
プリンタのハードディスクに保存されているジョブ(保存ジョブ)の詳細を表示できます。
この操作は、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor および imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

リモート UI の場合

1 [保存ジョブ]ページでボックスを選択します。

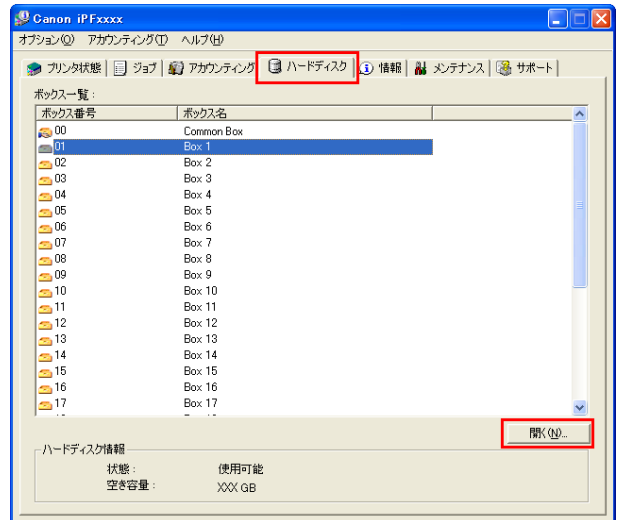
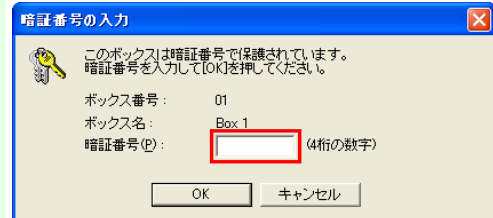
メモ

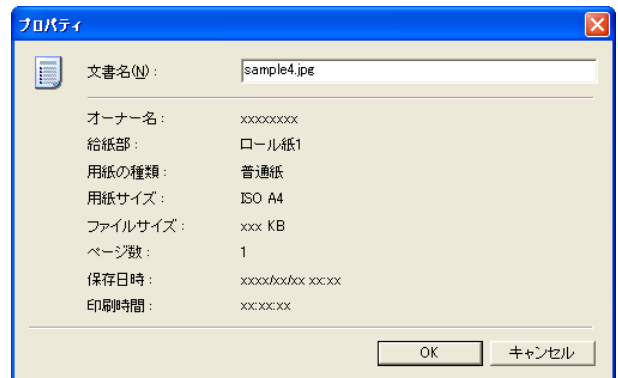
- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 保存ジョブを選択し、[詳細]をクリックします。

[保存文書の詳細]ページが表示されます。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の場合

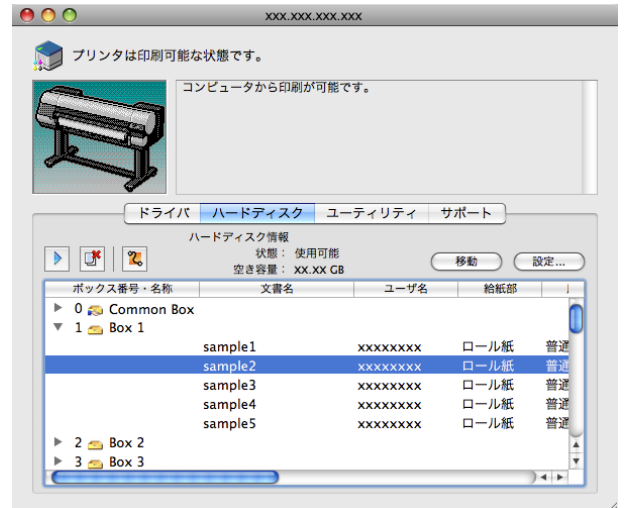
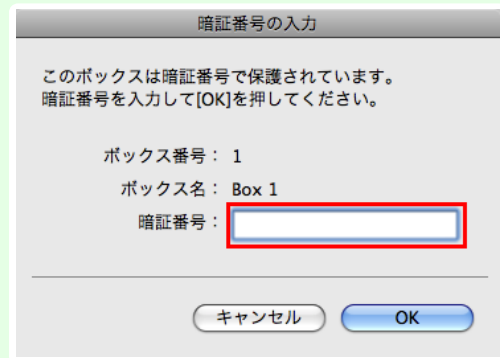
1 [ハードディスク]シートでボックスを選択し、[開く]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 [文書一覧]ダイアログボックスで保存ジョブを選択し、[プロパティ]をクリックします。

[プロパティ]ダイアログボックスが開きます。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

1 ［ハードディスク］パネルで、［ボックス番号・名称］の［▶］をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
暗証番号は 4 桁の数字です。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

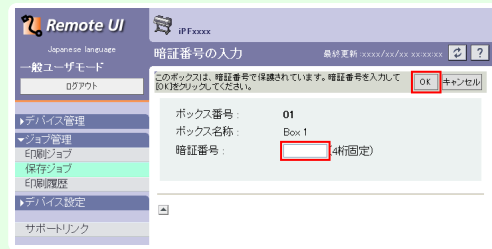
保存したジョブの名前を変更する

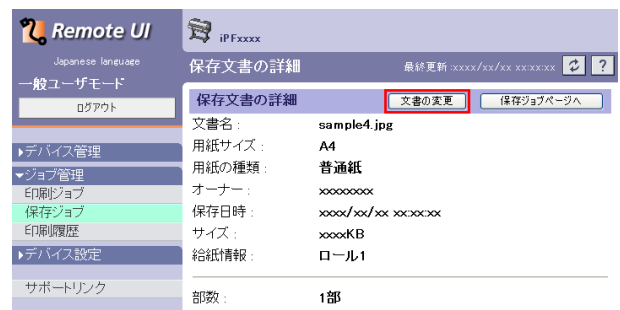
プリンタのハードディスクに保存されているジョブ（保存ジョブ）の名前を変更できます。
この操作は、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor および imagePROGRAF Printmonitor から実行できます。

リモート UI の場合

1 ［保存ジョブ］ページでボックスを選択します。

メモ

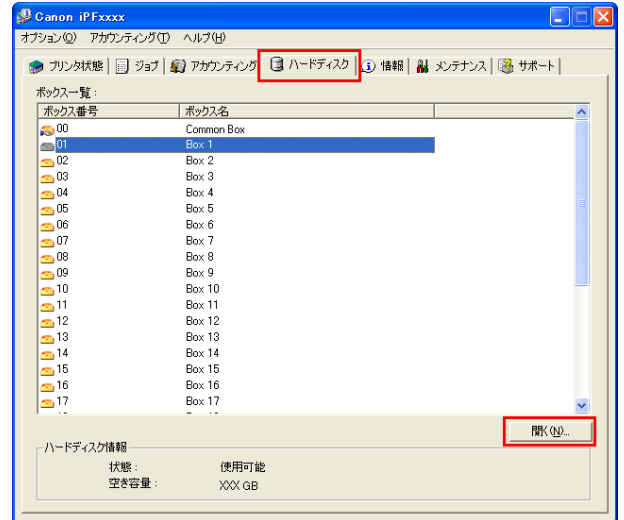
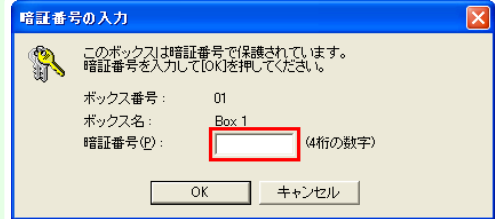
- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 保存ジョブを選択し、[詳細]をクリックします。

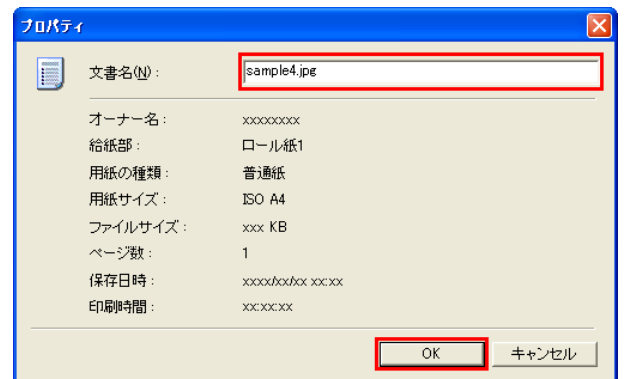
3 [保存文書の詳細]ページで、[文書の変更]をクリックします。

4 [保存文書名の変更]ページで名前を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合

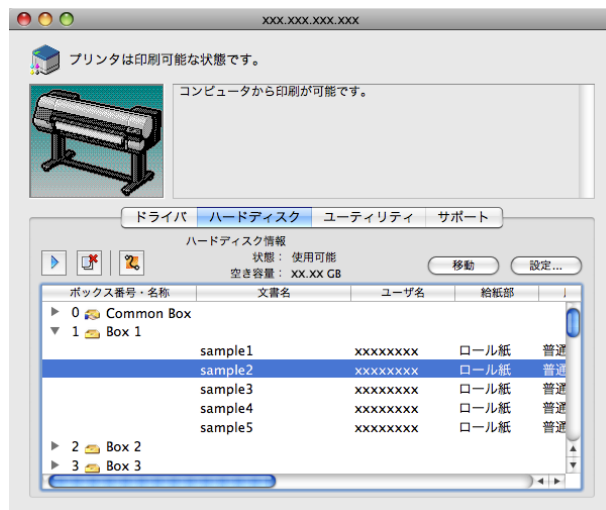
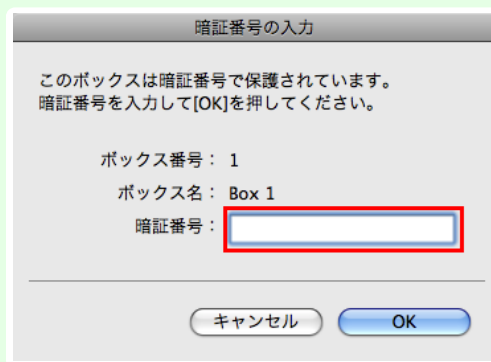
1 [ハードディスク]シートでボックスを選択し、[開く]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2 [文書一覧]ダイアログボックスで保存ジョブを選択し、[プロパティ]をクリックします。

3 [プロパティ]ダイアログボックスで名前を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

1 [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号・名称]の[▶]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
暗証番号は 4 桁の数字です。

2 保存ジョブを選択し、[設定]をクリックします。

[設定]ダイアログで名前を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

高画質印刷の調整

印刷品質を向上させる

用紙の種類や環境条件によっては、印刷する用紙で以下の調整を実行することで、細かい文字や細線または写真の印刷品質が向上する場合があります。
本調整はプリントヘッドの高さを[自動]の状態で実行する「標準調整」と、「標準調整」で印刷品質が向上しない場合に実行する「追加調整」があります。

重要

- プリントヘッドの高さが[自動]の場合、本調整や印刷に適した環境条件の目安は、温度:20〜30 ℃、湿度:30〜60 %の範囲です。それ以外の環境条件では印刷品質が向上しない場合があります。

標準調整

標準調整はプリントヘッドの高さが[自動]の状態で実行します。

1 用紙をプリンタにセットします

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.481
- ロール紙をプリンタにセットする →P.483

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド位置調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[標準]を選択し、[OK]キーを押します。

調整用パターンが印刷されます。完了までに約 13 分かかります。

メモ

- 上記の調整を実行しても印刷品質が向上しない場合は、次の「追加調整」を実行すると、より良い印刷品質が得られる場合があります。

追加調整

追加調整はプリントヘッドの高さを[最も低い]に設定して実行します。

重要

- [ヘッド高さ]が[最も低い]の状態で印刷を実行すると、より良い印刷品質が得られる場合がありますが、用紙がプリントヘッドにこすれたり引っかかったりして、印刷物を汚したり紙詰まりが発生する原因となることがありますのでご注意ください。

メモ

- 追加調整は以下の条件の用紙での実行をお勧めします。
  種類:光沢、半光沢系のフォト用紙またはプルーフ用紙(いずれもロール紙のみ)
  仕様:厚み 300 µm 以下、または坪量 300 g/㎡以下
  紙幅:420.0 mm(16.54 インチ)以上

1 [ヘッド高さ]を[最も低い]に設定します。(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732

メモ

- [最も低い]が設定できない場合は[低い]を選択してください。

2 [ヘッド位置調整]の[標準]を実行します。

メモ

- プリントヘッドの位置調整でプリントヘッドが用紙にこすれたり用紙が詰まったりする場合は、[ヘッド高さ]を現在の設定より一段高くしてから、もう一度[標準]を実行してください。

プリントヘッドの調整

プリントヘッドを調整する 728
縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する 728
縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する 730
プリントヘッドの設置時調整 731
用紙のこすれや画像のぼやけを改善する 732

プリントヘッドを調整する

印刷物に以下のような現象が発生した場合は、プリントヘッドを調整します。

- 印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合

操作パネルのメニューで[ノズルチェック プリント]を実行し、プリントヘッドのノズルがつまっていないかを確認します。
確認方法については、「ノズルのつまりをチェックする」を参照してください。→P.830

- 印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合

操作パネルのメニューで[ヘッド位置調整]を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。

  - 通常は、[標準]を実行してください。
  (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照)→P.728
  - 特殊な用紙に印刷する場合や、[標準]を実行しても印刷結果が改善されない場合は、[手動]を実行してください。
  (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する」参照)→P.730

メモ

- つぎの場合には、[初期調整]を実行してください。
(「プリントヘッドの設置時調整」参照)→P.731
  - 初期設置時に、エラーなどでプリントヘッドの位置調整が実行されなかった場合
  - プリントヘッド交換時に、操作パネルのメニューで[ヘッド交換後プリント]が[オフ]に設定されていて、プリントヘッド位置調整が実行されなかった場合

- プリントヘッドが用紙にこすれる場合や、画像の端部がぼやける場合

操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を選択し、プリントヘッドの高さを変更すると改善されることがあります。
(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照)→P.732

縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

印刷物の縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、[ヘッド位置調整]を実行します。調整用パターンが印刷され、印刷結果からプリントヘッドの位置が自動的に調整されます。
プリントヘッドの位置を自動で調整する方法には、[標準]および[簡易]があります。

- [標準]

印刷物の縦線がゆがむ場合や、色ずれがおきた場合に実行してください。
また、[簡易]を実行しても印刷結果が改善されない場合も、[標準]を実行してください。

- [簡易]

簡易的な調整が、短時間で実行されます。
日常の点検など、頻繁にプリントヘッドを調整する場合に実行してください。

重要

- [トレーシングペーパー(CAD)]、[半透明マットフィルム(CAD)]および[クリアフィルム(CAD)]は使用できません。
- 特殊な用紙で思ったように調整できない場合は、他の用紙で調整するか、[手動]を実行してください。
（「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する」参照） →P.730

メモ

- 調整結果は、用紙の種類に依存するため、実際に印刷に使用する用紙で調整してください。
- [標準]を実行しても印刷結果が改善されない場合は、手動でプリントヘッドを調整してください。
（「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する」参照） →P.730
- 初期設置時またはプリントヘッド交換時に、プリントヘッドの位置調整を実行しなかった場合は、[初期調整]を実行してください。
（「プリントヘッドの設置時調整」参照） →P.731
- 光沢・半光沢のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、詳細な調整を実行することで、高い印刷品質が得られます。
（「印刷品質を向上させる」参照） →P.726

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm（10.00 インチ）幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	[標準]：未使用の A4/レターサイズの用紙 6 枚（ただし、A2 サイズの場合は 1 枚） [簡易]：未使用の A4/レターサイズの用紙 1 枚

以下の手順で調整します。

1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.481
- ロール紙をプリンタにセットする →P.483
- カット紙をプリンタにセットする →P.505

重要

- プリンタにセットした用紙とプリンタに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （設定/調整タブ）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド位置調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[標準]または[簡易]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターンが印刷されます。
ロール紙に印刷した場合は、ここで調整が終了します。

7 カット紙に印刷した場合は、ディスプレイに印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。
[OK]キーを押して、ディスプレイの指示に従って操作を続けてください。

縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、[ヘッド位置調整]を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。
通常は、[標準]を実行してください。
(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728
ただし、特殊な用紙に印刷する場合や、[標準]を実行しても印刷結果が改善されない場合は、[手動]を実行してください。
[手動]を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果を見て設定値を入力してください。

メモ
- 使用頻度が最も高い用紙で調整することをお勧めします。
- 初期設置時またはプリントヘッド交換時に、プリントヘッドの位置調整を実行しなかった場合は、[初期調整]を実行してください。
(「プリントヘッドの設置時調整」参照) →P.731

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm(10.00 インチ)幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	未使用の A4/レターサイズの用紙 3 枚(ただし、A2 サイズの場合は 1 枚)

以下の手順で調整します。

1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.481
- ロール紙をプリンタにセットする →P.483
- カット紙をプリンタにセットする →P.505

重要
- プリンタにセットした用紙とプリンタに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

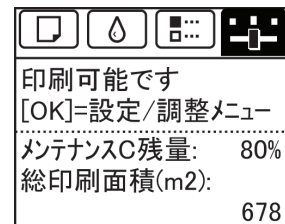
3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド位置調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[その他]を選択し、[OK]キーを押します。

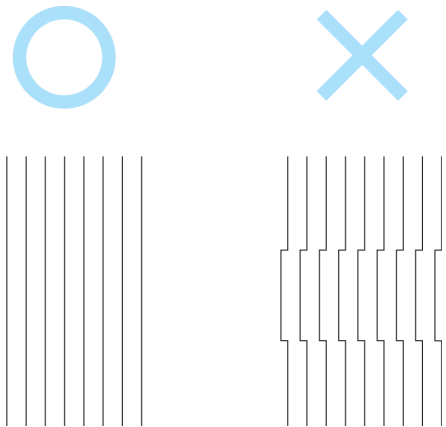
7 [▲]キー、[▼]キーを押して[手動]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターンが印刷されます。

メモ

- [手動]がメニューに表示されているのに選択できない場合があります。
  この場合は、一度[標準]を実行してください。
  (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728

8 [▲]キー、[▼]キーを押して[D]を選択し、[OK]キーを押します。

9 [▲]キー、[▼]キーを押して[D-1]を選択し、[OK]キーを押します。

10 調整用パターンの[D-1]を見て、線がまっすぐの番号を確認します。

メモ

- 並んだ 2 つのパターンを見て、どちらを選択するか迷った場合は、中間の値を選択してください。
  例えば、番号が 10 と 12 のパターンで迷った場合は、11 を選択します。

11 [▲]キー、[▼]キーを押して、確認した番号を選択し、[OK]キーを押します。

12 手順 8〜10 を繰り返し、[D-1]〜[D-36]を設定します。
ただし、[D-6]、[D-18]および[D-30]は設定できません。

13 [戻る]キーを押します。

14 [▲]キー、[▼]キーを押して[設定登録]を選択し、[OK]キーを押します。

15 [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
調整値が登録され、調整が終了します。

プリントヘッドの設置時調整

初期設置時のプリントヘッド位置調整が実行されます。
この調整は、つぎの場合に実行してください。

- 初期設置時に、エラーなどでプリントヘッドの位置調整が実行されなかった場合
- プリントヘッド交換時に、操作パネルのメニューで[ヘッド交換後プリント]が[オフ]に設定されていて、プリントヘッド位置調整が実行されなかった場合

メモ

- この調整では、プリンタに同梱されていた用紙と同じ用紙を使用することをお勧めします。

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm(10.00 インチ)幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	未使用の A4/レターサイズの用紙 7 枚(ただし、A2 サイズの場合は 1 枚)

以下の手順で調整します。

1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.481
- ロール紙をプリンタにセットする →P.483
- カット紙をプリンタにセットする →P.505

重要

- プリンタにセットした用紙とプリンタに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド位置調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[その他]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[初期調整]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターンが印刷されます。
ロール紙に印刷した場合は、ここで調整が終了します。

8 カット紙に印刷した場合は、ディスプレイに印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。[OK]キーを押して、ディスプレイの指示に従って操作を続けてください。

メモ

- 光沢・半光沢のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、詳細な調整を実行することで、高い印刷品質が得られます。
(「印刷品質を向上させる」参照) →P.726

用紙のこすれや画像のぼやけを改善する

プリントヘッドの高さの設定は、印刷品質に影響します。
プリントヘッドの高さを低めに設定すると、ぼやけが改善され、印刷品質が向上しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることがあります。
また、プリントヘッドの高さを高めに設定すると、印刷品質が低下しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることを防止します。

重要

- 用紙がプリントヘッドにこすれたりひっかかったりすると、印刷物を汚したり、用紙のつまりが発生する原因となることがありますので注意してください。

メモ

- プリントヘッドの高さは、症状に応じて設定してください。
  (「プリントヘッドが用紙にこすれる」参照) →P.875
  (「用紙の端が汚れる」参照) →P.876
  (「画像の端部がぼやけたり、白スジが入る」参照) →P.879

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

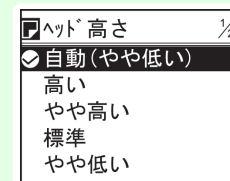
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- [ヘッド高さ]が[自動]に設定されている場合、現在給紙されている用紙の種類を選択すると、[自動]の右側に、前回印刷時に選択された設定値を表示させることができます。
  ただし、電源を切るか、用紙を交換するとリセットされ、表示されなくなります。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド高さ]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して設定値を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- [自動]に設定した場合、印刷時のプリントヘッドの高さは、使用環境の温度や湿度に応じて最適な高さに調整されます。また、[自動]以外に設定した場合は、常に選択した設定値で印刷されます。
- 用紙の種類によっては、選択できない設定値があります。

用紙送りの調整

用紙の送り量を調整する 734
用紙の送り量の調整方法を選択する 734
横スジを自動で調整する 735
横スジを手動で調整する 736
用紙の送り量を微調整する 738
罫線の長さを調整する 738
用紙の吸着力を変更する 740

用紙の送り量を調整する

印刷物に以下のような現象が発生した場合は、用紙の送り量を調整します。

- 印刷物に色味の違うスジが入る
- 用紙送り方向に印刷された罫線の長さが正確でない

用紙の送り量を調整する場合は、以下の順に設定してください。

1 現象に応じて、用紙の種類に対する[優先設定]の設定を変更します。
(「用紙の送り量の調整方法を選択する」参照) →P.734

2 [優先設定]の設定に応じて、[画質調整]または[長さ調整]を実行します。
(「横スジを自動で調整する」参照) →P.735
(「横スジを手動で調整する」参照) →P.736
(「罫線の長さを調整する」参照) →P.738

3 [画質調整]を実行した後に、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整]を実行します。
(「用紙の送り量を微調整する」参照) →P.738

用紙の送り量の調整方法を選択する

用紙の送り量を調整する方法には、[画質優先]と[長さ優先]の 2 つの方法があり、印刷時にはいずれかの方法が適用されます。
どちらの方法が印刷時に適用されるかは、[優先設定]の設定値で決まりますので、印刷目的に応じて[優先設定]を設定してください。

- [画質優先]：印刷物の横スジを目立たなくするように調整します。
  [画質調整]の設定が適用されます。[紙送り微調整]を実行した場合は、[画質調整]の設定に加えて[紙送り微調整]の設定も適用されます。
- [長さ優先]：印刷物の罫線の長さを合わせるように調整します。
  [長さ調整]の[A:きれい]または[B:標準/速い]の設定が適用されます。
- [自動]：印刷時にプリンタドライバで選択された[優先画質]により、[画質優先]または[長さ優先]が自動的に選択されます。

メモ

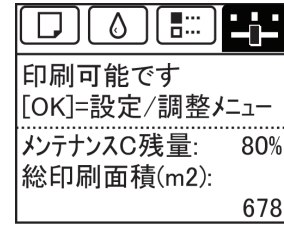
- [長さ調整]メニューの[A:きれい]、[B:標準/速い]は、印刷時のプリンタドライバの設定によりいずれかが適用されます。

以下の手順で設定します。

1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.481
- ロール紙をプリンタにセットする →P.483
- カット紙をプリンタにセットする →P.505

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

> メモ
> - [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[優先設定]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[自動]、[画質優先]または[長さ優先]を選択し、[OK]キーを押します。

横スジを自動で調整する

印刷物に色味の違う横スジが入る場合は、[画質調整]を実行し、用紙の送り量を調整します。
横スジを自動調整する方法には、[自動(純正紙)]と[自動(その他)]があり、調整用パターンが印刷され、印刷結果をもとに用紙の送り量が自動的に調整されます。

- [自動(純正紙)]
  用紙リファレンスガイドに記載されている用紙を使用する場合に実行します。
  (「用紙の種類」参照) →P.474
- [自動(その他)]
  用紙リファレンスガイドに記載されていない用紙を使用する場合や、[自動(純正紙)]を実行しても横スジが改善されない場合に実行します。
  (「用紙の種類」参照) →P.474

> 重要
> - 透過性の高い用紙などは、[自動(純正紙)]および[自動(その他)]で調整できません。
>   この場合は、[手動]を実行してください。
>   (「横スジを手動で調整する」参照) →P.736

> メモ
> - 用紙の種類または用紙のサイズを変更した場合は、調整の実行をお勧めします。
> - [自動(純正紙)]および[自動(その他)]を実行する前に、必ず[優先設定]の設定値を確認してください。
>   (「用紙の送り量の調整方法を選択する」参照) →P.734
> - [自動(純正紙)]および[自動(その他)]を実行後、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整]を実行してください。
>   (「用紙の送り量を微調整する」参照) →P.738
> - CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整]を実行してください。
>   (「罫線の長さを調整する」参照) →P.738
> - 用紙の種類によっては、時間がかかる場合があります。

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm(10.00 インチ)幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	[自動(純正紙)]: 未使用の A4/レターサイズの用紙 1 枚 [自動(その他)]: 未使用の A4/レターサイズの用紙 2 枚(ただし、A2 サイズの場合は 1 枚)

画質の調整と改善
用紙送りの調整

以下の手順で調整します。

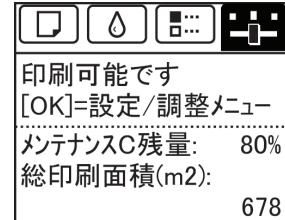
1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.481
- ロール紙をプリンタにセットする →P.483
- カット紙をプリンタにセットする →P.505

重要

- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[画質調整]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[自動(純正紙)]または[自動(その他)]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターンが印刷されます。
ロール紙または A2 サイズ以上のカット紙に印刷した場合は、ここで調整が終了します。

8 [自動(その他)]で A2 サイズより小さい用紙に印刷した場合は、ディスプレイに印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。
[OK]キーを押して、ディスプレイの指示に従って操作を続けてください。

横スジを手動で調整する

印刷物に色味の違うスジが入る場合は、[画質調整]を実行し、用紙の送り量を調整します。
[手動]は、透過性の高い用紙など、[自動(純正紙)]または[自動(その他)]で調整できない用紙に対して実行します。
(「横スジを自動で調整する」参照) →P.735
[手動]を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果をもとに設定値を入力してください。

メモ

- 用紙の種類または用紙のサイズを変更した場合は、調整の実行をお勧めします。
- [手動]を実行する前に、必ず[優先設定]の設定値を確認してください。
(「用紙の送り量の調整方法を選択する」参照) →P.734
- [手動]を実行後、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整]を実行してください。
(「用紙の送り量を微調整する」参照) →P.738
- CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整]を実行してください。
(「罫線の長さを調整する」参照) →P.738

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm(10.00 インチ)幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 2 枚

以下の手順で調整します。

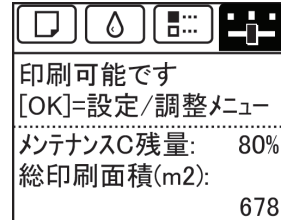
1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.481
- ロール紙をプリンタにセットする →P.483
- カット紙をプリンタにセットする →P.505

重要

- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[画質調整]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[手動]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターン A が印刷されます。

メモ

- カット紙に印刷した場合は、ディスプレイの指示に従ってカット紙を取り外してください。

8 調整用パターン A を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認します。

メモ

- 並んだ 2 つのパターンを見て、どちらを選択するか迷った場合は、中間の値を選択してください。
例えば、番号が 10 と 12 のパターンで迷った場合は、11 を選択します。

9 [▲]キー、[▼]キーを押して、確認した番号を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターン B が印刷されます。

メモ

- 調整用パターン A をカット紙に印刷した場合は、ディスプレイの指示に従って同じ種類のカット紙を取り付けてください。
また、調整用パターン B の印刷後は、ディスプレイの指示に従ってカット紙を取り外してください。

10 調整用パターン B を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認します。

11 [▲]キー、[▼]キーを押して、確認した番号を選択し、[OK]キーを押します。
調整値が登録され、調整が終了します。

用紙の送り量を微調整する

印刷物に 50mm 程度の周期的な濃淡差が発生した場合、または色味の違う横スジが入る場合は、印刷中に[紙送り微調整]を実行し、用紙の送り量を微調整します。

メモ

- [紙送り微調整]のメニューは、印刷中にのみ表示できます。
  また、[紙送り調整]の[優先設定]で[自動]または[画質優先]が選択されている場合に表示されます。
  (「メニューの階層」参照) →P.600
- [紙送り微調整]を実行する前に、必ず[画質調整]を実行しておいてください。
  [画質調整]を実行すると、[紙送り微調整]の設定値は 0 に戻ります。
  (「横スジを自動で調整する」参照) →P.735
  (「横スジを手動で調整する」参照) →P.736

以下の手順で調整します。

1 印刷中に、操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り微調整]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して-5〜5 の範囲で設定値を選択し、[OK]キーを押します。
このとき、色味の濃い横スジが入る場合は、1〜5 の範囲で設定値を選択し、色味の薄い横スジが入る場合は、-1〜-5 の範囲で設定値を選択してください。

罫線の長さを調整する

CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整]を実行し、用紙の送り量を調整します。
[長さ調整]には[調整プリント]と[調整値の変更]があります。

- [調整プリント]
  調整用パターンが印刷されますので、印刷結果をもとに誤差を測定します。
- [調整値の変更]
  調整用パターンが印刷されませんので、あらかじめ印刷物を測定し、誤差を測定しておいてください。

また、[調整プリント]と[調整値の変更]には、それぞれ[A:きれい]と[B:標準/速い]がありますので、印刷目的に応じて選択してください。

- [A:きれい]
  印刷時にプリンタドライバの[印刷品質]で[最高品質]または[きれい]が選択された場合に設定が適用されます。
- [B:標準/速い]
  印刷時にプリンタドライバの[印刷品質]で[標準]または[速い]が選択された場合に設定が適用されます。

メモ
- 用紙の種類または用紙のサイズを変更した場合は、調整の実行をお勧めします。
- [長さ調整]を実行する前に、必ず[優先設定]の設定値を確認してください。(「用紙の送り量の調整方法を選択する」参照) →P.734

用意するもの

ロール紙を使用する場合	• 未使用の 254.0 mm(10.00 インチ)幅以上の用紙 • 精度の高いものさし
カット紙を使用する場合	• 未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚 • 精度の高いものさし

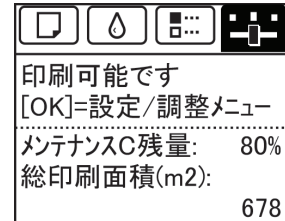
以下の手順で調整します。

1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.481
- ロール紙をプリンタにセットする →P.483
- カット紙をプリンタにセットする →P.505

重要
- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

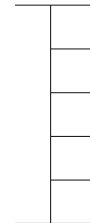
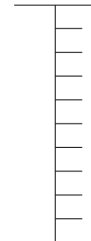
2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[長さ調整]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[調整プリント]または[調整値の変更]を選択し、[OK]キーを押します。
[調整プリント]を選択した場合は、調整用パターンが印刷されますので、スケールを測定し、誤差を計算します。[Millimeter]には 50 mm 間隔、[Inch]には 1 インチ間隔のスケールが印刷されます。

メモ
- 調整用パターンは、[A:きれい]を選択した場合は黒で、[B:標準/速い]を選択した場合はマゼンタでそれぞれ印刷されます。
- 調整用パターンの印刷を中止する場合は、[ストップ]キーを押します。[印刷を中止しますか?]と表示されたら、[▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

8 [▲]キー、[▼]キーを押して誤差を入力し、[OK]キーを押します。
スケールが実際の長さより短かった場合は+側に、長かった場合は-側に設定します。
設定値は、0.02%ごとに変更できます。

用紙の吸着力を変更する

厚い用紙や、カールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷したときに、プリントヘッドが用紙にこすれる場合は、プラテン上での用紙の吸着力を変更すると、改善されることがあります。

重要

- 用紙がプリントヘッドにこすれたりひっかかったりすると、印刷物を汚したり、用紙のつまりが発生する原因となることがありますので注意してください。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

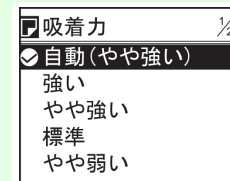
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

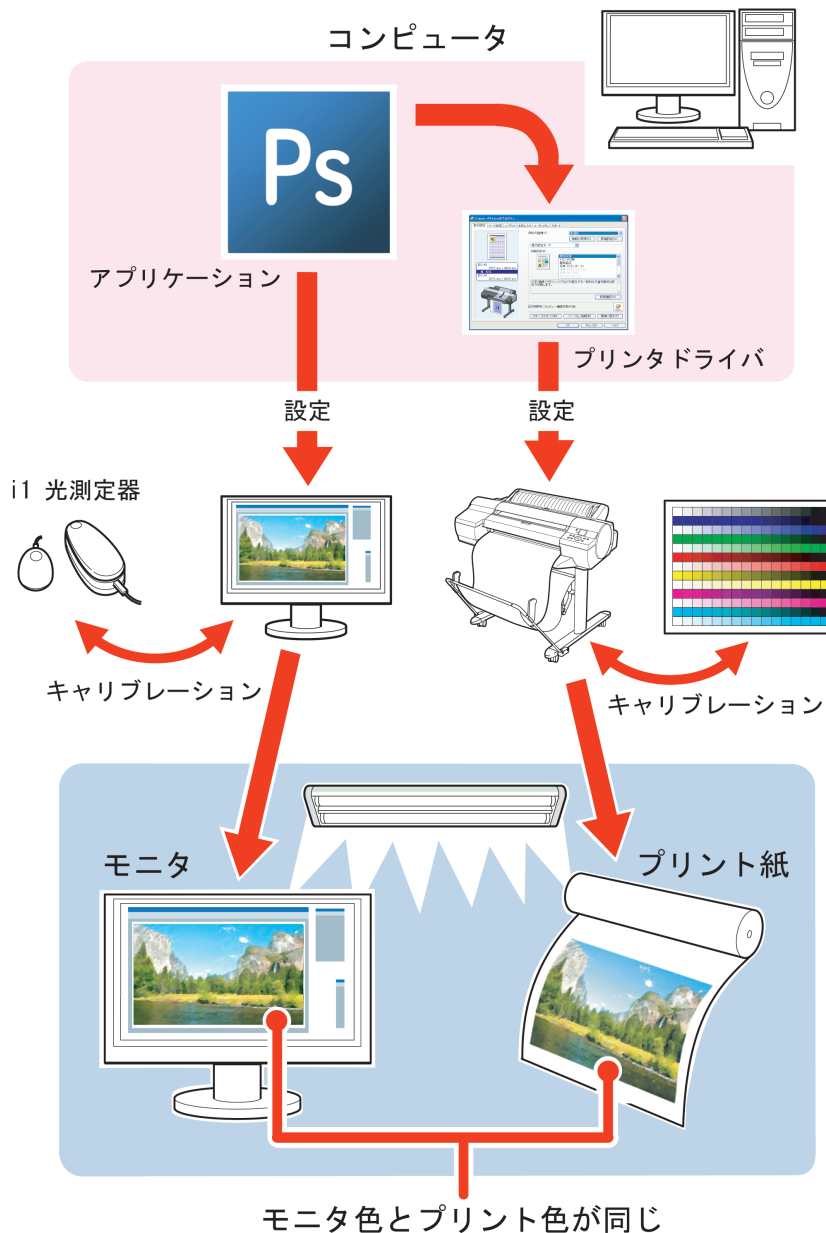
- [吸着力]が[自動]に設定されている場合、現在給紙されている用紙の種類を選択すると、[自動]の右側に、前回印刷時に選択された設定値を表示させることができます。
ただし、電源を切るか、用紙を交換するとリセットされ、表示されなくなります。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[吸着力]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して設定値を選択し、[OK]キーを押します。

モニタマッチング

画像をモニタと同じ色味で出力する 742
画像をモニタと同じ色味で出力する(Windows) 743
画像をモニタと同じ色味で出力する(Mac OS X) 745

画像をモニタと同じ色味で出力する

モニタと出力物の色を近づけるように調整を行うことをモニタマッチングとよびます。モニタ、アプリケーション、データ、ドライバをそれぞれ調整し、設定を行います。

重要

- ご使用のモニタ、アプリケーションによっては、モニタマッチングに適さない、または設定や調整ができない場合があります。

メモ

- モニタで表示できる色の範囲とプリンタで出力できる色の範囲が異なるため完全に同じ色にはならない場合があります。
- モニタの調整を行うために測定器が必要となります。
- 太陽光は時間により色の見え方が異なるため太陽光の入らない室内での作業をお勧めします。

- モニタマッチング

モニタマッチングの流れは以下の通りです。

1 プリンタのキャリブレーションを行います。
カラーキャリブレーションは、プリントヘッドの個体差や印刷環境によって変化する色味のばらつきを補正します。
（「プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション」参照） →P.751

2 モニタのキャリブレーションを行います。
通常は i1-Display などの測定器を使って行います。
[白色点]を[6500K]または[5000K]、[ガンマ]を[2.2]、[輝度]を[120cd]に設定します。
具体的な手順はモニタや測定器によって異なります。

3 データを開き、アプリケーションの設定をします。
データを sRGB もしくは、AdobeRGB で表示されるように開きます。
アプリケーション側で色変換をしない設定にします。
Photoshop CS3 の場合は[プリント]ダイアログボックスで[カラーマネジメント]を選択し、[カラー処理]の一覧から[カラーマネジメントなし]を選択します。

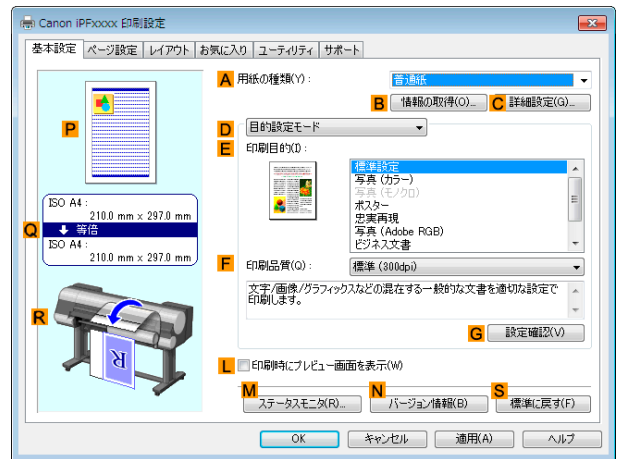
4 プリンタドライバで設定や調整を行います。
[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択し、モニタのキャリブレーションで設定した[モニタの白色点]を設定します。
[色空間]にデータをアプリケーションで表示している色空間を選択します。

メモ

- 一度設定した値で繰り返し印刷する場合は、システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開き、設定しておくことをお勧めします。（「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows）」参照） →P.163

モニタマッチングのプリンタドライバの設定方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 画像をモニタと同じ色味で出力する（Windows） →P.743
- 画像をモニタと同じ色味で出力する（Mac OS X） →P.745

画像をモニタと同じ色味で出力する（Windows）

事前にモニタのキャリブレーションや、画像アプリケーションの設定を行う事によりモニタとできるだけ同じ色味で印刷するための設定をすることができます。

重要

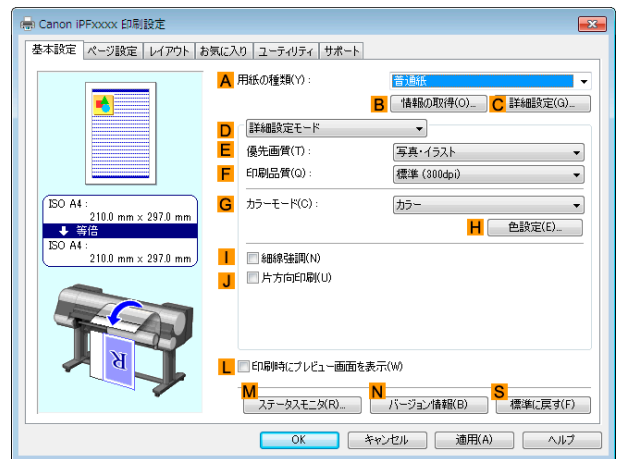
- この機能を使用する場合は、事前にモニタのキャリブレーションやアプリケーションの設定が必要になります。（「画像をモニタと同じ色味で出力する →P.742 」参照）

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

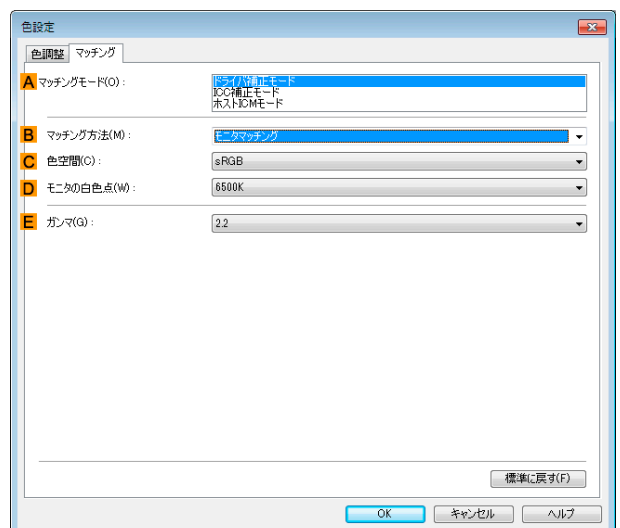
2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.162 」参照）

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、例えば[Canon プレミアム光沢紙 2 (厚口)]を選択します。

5 D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6 F[印刷品質]で[きれい]をクリックします。

7 G[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

8 H[色設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

9 [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]シートを表示します。

10 A[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]が選択されていることを確認します。

11 B[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択します。

12 C[色空間]にデータをアプリケーションで表示している色空間を選択します。

13 D[モニタの白色点]でモニタに設定されている色温度を選択します。

14 [OK]をクリックします。

15 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

画像をモニタと同じ色味で出力する(Mac OS X)

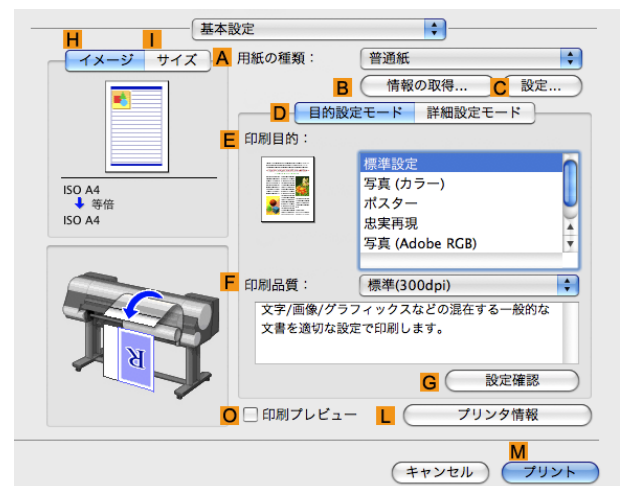
事前にモニタのキャリブレーションや、画像アプリケーションの設定を行う事によりモニタとできるだけ同じ色味で印刷するための設定をすることができます。

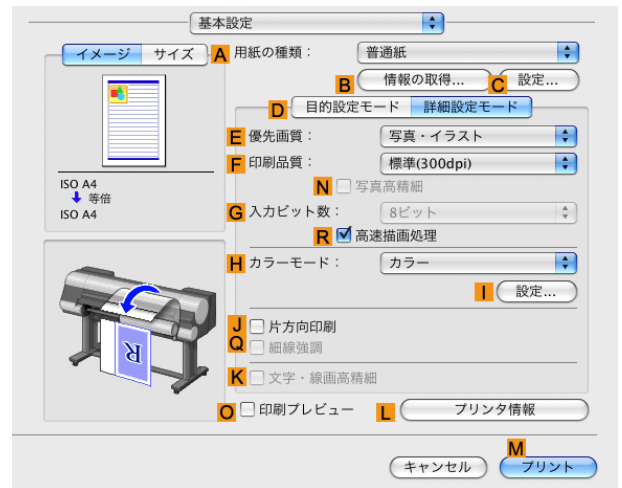
重要

- この機能を使用する場合は、事前にモニタのキャリブレーションやアプリケーションの設定が必要になります。(「画像をモニタと同じ色味で出力する」参照) →P.742

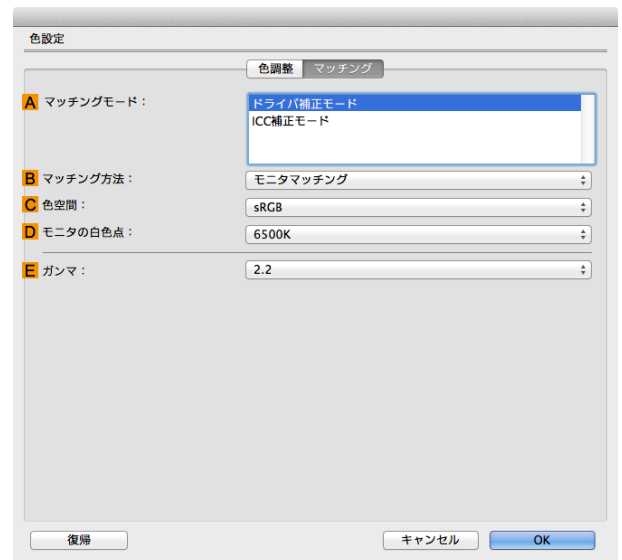
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く」参照) →P.331

3 [基本設定]パネルが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、例えば[Canon プレミアム光沢紙 2 (厚口)]を選択します。

5 D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6 F[印刷品質]で[きれい]をクリックします。

7 H[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

8 I[設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

9 [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]パネルを表示します。

10 A[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]が選択されていることを確認します。

11 B[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択します。

12 C[色空間]にデータをアプリケーションで表示している色空間を選択します。

13 D[モニタの白色点]でモニタに設定されている色温度を選択します。

14 [OK]をクリックします。

15 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

カラーキャリブレーション

色を管理する 747
プリンタのセンサーで色管理する 749
プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション 751
カラーキャリブレーションに使用できる用紙 753

色を管理する

プリンタの色管理とは、プリンタの個体差や経時変化でばらつく色味を補正したり、補正した色味を継続的に安定することです。
本プリンタは、カラーキャリブレーションを実行することで色味の補正ができます。さらにカラーキャリブレーション実行をお勧めする通知機能があり、この機能を利用してカラーキャリブレーションを実行することにより、効率的に色味の変動を軽減することができます。
また、本プリンタ付属の色管理ユーティリティ Color Calibration Management Console(以下 CCMC)を使用すると、プリンタと離れた場所からカラーキャリブレーションを実行したり、複数台のプリンタのカラーキャリブレーション履歴を集中管理することが可能になります。
本プリンタ付属の用紙情報追加ユーティリティ Media Configuration Tool(以下 MCT)を使用して、測色ユニット搭載プリンタ(12 色モデル)で作成した[キャリブレーションターゲット](*1)を含むカスタム用紙情報ファイルを取り込むことにより、お使いの用紙でカラーキャリブレーションの実行が可能になるので、色管理を効率的かつ低コストで実現します。(キャリブレーションリンク)
*1:カラーキャリブレーションで補正する色の基準値

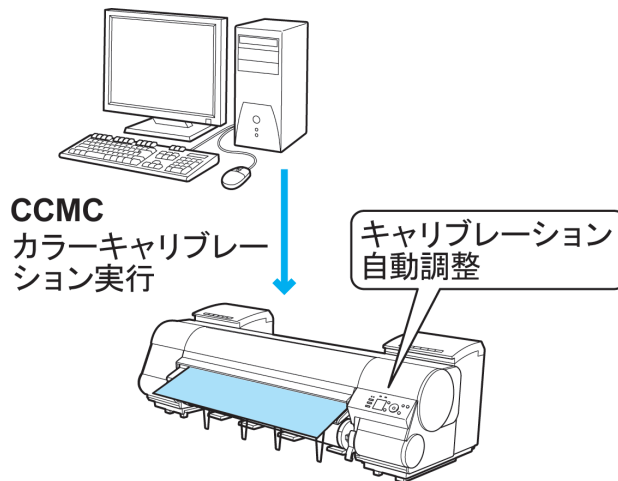
詳細説明は以下を参照してください。
色を補正する (カラーキャリブレーション) →P.747
色を安定させる (カラーキャリブレーション実行案内設定) →P.749

色を補正する (カラーキャリブレーション)

ご使用のプリンタの台数によって、次の運用ができます。

- 1 台のプリンタで運用する場合

  カラーキャリブレーションを実行することで、ご使用のプリンタにおける色味のばらつきを補正できます。
  カラーキャリブレーションは、プリンタの操作パネルと色管理ユーティリティの CCMC から実行します。
  詳細説明は以下を参照してください。

- プリンタのセンサーで色管理する →P.749

- 複数台のプリンタで運用する場合

  プリンタが複数台ある場合、それぞれのプリンタでキャリブレーションを実行することで、複数台のプリンタの色味をそろえることができます。
  また、色管理ユーティリティの CCMC を利用すれば、管理者は 1 台のコンピュータでリモート接続されているプリンタを複数台まとめて集中管理し、複数のプリンタから出力される印刷物の色味の変動を軽減することができます。

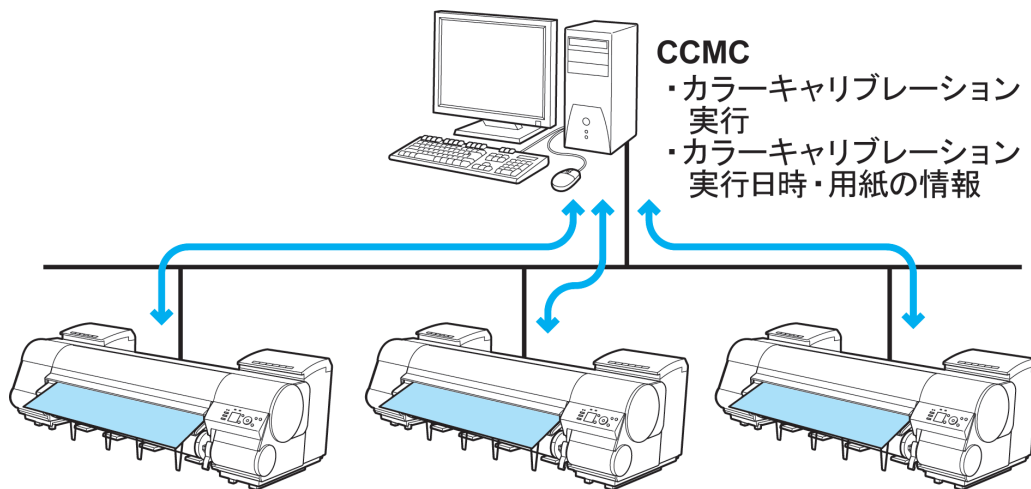
色の管理
カラーキャリブレーション

例えば、各プリンタの色管理状態(カラーキャリブレーションを実行した日時と用紙の情報)を把握したり、プリンタから離れた場所からリモートで各プリンタのカラーキャリブレーションを実行できます。
このような集中管理を行うには、色管理ユーティリティの CCMC を使用します。

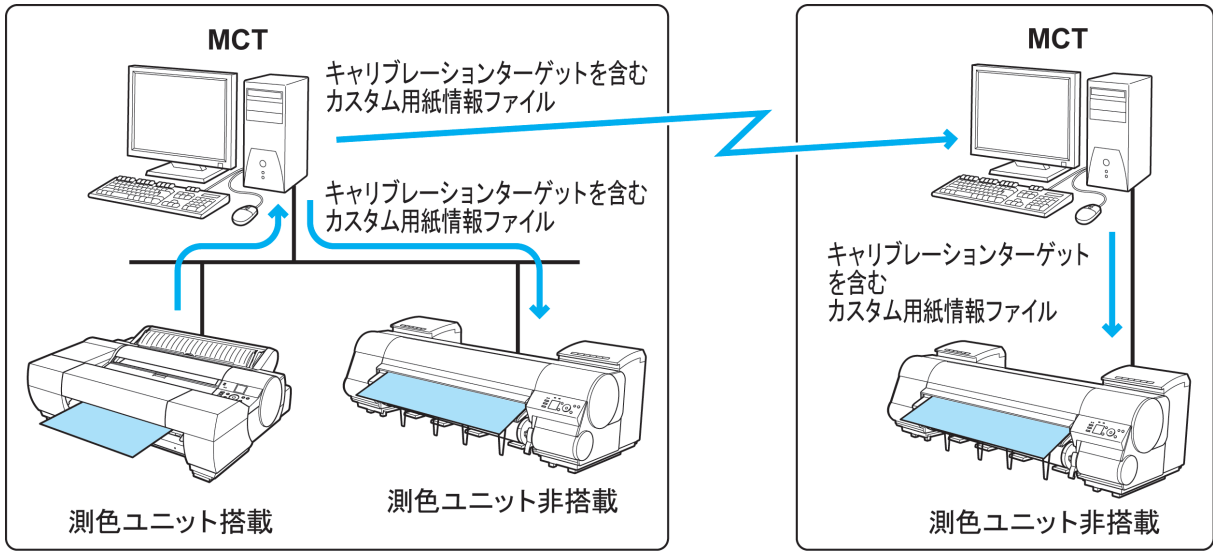
更に CCMC では、複数のプリンタで同じ用紙に印刷する場合、各プリンタの色差を一定の範囲内に納めるように管理できます。この機能をキャリブレーションリンクと喚び、CCMC では同じ[キャリブレーショングループ]に表示されます。キャリブレーションリンク機能のご使用にあたって、次の条件が必要です。

- プリンタにセットされている用紙が同じである
- プリンタにセットされている用紙でカラーキャリブレーションが実行されている
- プリンタの電源がオンになっている
- 色管理するプリンタがキャリブレーションリンク機能に対応している

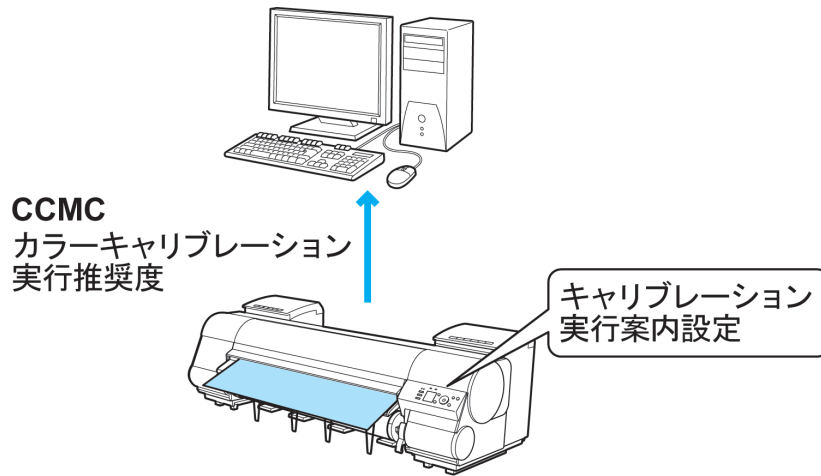
詳細説明は以下を参照してください。

- プリンタのセンサーで色管理する →P.749

- キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙の場合

キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙でカラーキャリブレーションを実行するときは、その専用の[キャリブレーションターゲット]を含むカスタム用紙情報ファイルが必要になります。
測色ユニット搭載プリンタ(12 色モデル)で作成したキヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙専用の[キャリブレーションターゲット]を含むカスタム用紙情報ファイルがあれば、付属の MCT を使用して、本プリンタに登録できるので、キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙にもカラーキャリブレーションを実行できます。
本店や支店など、各拠点で色味の統一ができ、キャリブレーション作業がおこなえるため、効率的かつ低コストで運用できます。
詳細説明は以下を参照してください。

- プリンタのセンサーで色管理する →P.749

色を安定させる（カラーキャリブレーション実行案内設定）

プリントヘッドの経時変化や環境変化で色味が変わることがあるため、カラーキャリブレーションを実施することが大切です。
本プリンタでは、カラーキャリブレーション実行をお勧めする通知機能があります。カラーキャリブレーションの実施忘れを防ぎ、継続的に色味の変動を軽減できます。
色管理ユーティリティ CCMC には、[カラーキャリブレーション実行推奨度]がプログレスバーで表示されます。カラーキャリブレーションの次回実行までの目安が目視確認できるので効率的に色管理できます。
詳細説明は以下を参照してください。

- プリンタのセンサーで色管理する →P.749

プリンタのセンサーで色管理する

プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション機能を使用することで、プリントヘッドの個体差や経年変化による色味のばらつきを補正することができます。
また、色管理ユーティリティの Color Calibration Management Console（以下 CCMC）を使用することで、カラーキャリブレーションを実行したり、プリンタのキャリブレーション履歴を確認できます。プリンタがネットワークに接続されていれば、コンピュータからリモートで実行管理できます。
プリンタの色管理状態を集中管理できるので、色管理を効率的かつ低コストで実現します。

プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション

プリンタは個体差や経年変化で色味がばらつくことがありますが、本プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーションを実行することで色味のばらつきを補正できるため、印刷の色味の変動を軽減します。
詳細説明は以下を参照してください。

- プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション →P.751

カラーキャリブレーション実行案内設定

プリントヘッドの経時変化や環境変化で色味が変わることがあるため、カラーキャリブレーションを定期的に実施することが大切です。
本プリンタでは、カラーキャリブレーション実行をお勧めする通知機能があり、この機能を利用することにより、カラーキャリブレーションの実施忘れを防ぎ、継続的に色味の変動を軽減できます。
詳細説明は以下を参照してください。

- プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション →P.751

キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙のカラーキャリブレーション

測色ユニット(オプション)を搭載した本プリンタと付属の Media Configuration Tool(以下 MCT)を使用して、[キャリブレーションターゲット]を作成することにより、キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙においても印刷の色味の変動を軽減できます。
この[キャリブレーションターゲット]を含むカスタム用紙情報ファイルを測色ユニット非搭載のキャリブレーションリンク対応プリンタ(12 色モデル)に、付属の MCT で登録すれば、お使いの用紙でキヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙にもカラーキャリブレーションを実行できます。
また、[キャリブレーションターゲット]を含むカスタム用紙情報ファイルを電子メールで送付すれば、離れた場所のキャリブレーションリンク対応プリンタ(12 色モデル)でもキヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙でカラーキャリブレーションの実行が可能になります。
各拠点で色味の統一ができ、お使いの用紙でキャリブレーション作業がおこなえるため、効率的かつ低コストで運用できます。

キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙でカラーキャリブレーションを行うには、MCT を使い以下の手順が必要です。

1. [カスタム用紙の追加]で用紙情報を登録する。
2. 作成したカスタム用紙に[キャリブレーションターゲット作成]で[キャリブレーションターゲット]の情報を追加する。
3. [キャリブレーションターゲット]の情報を含むカスタム用紙情報ファイルとして保存する。
4. 測色ユニット非搭載のキャリブレーションリンク対応プリンタ(12 色モデル)に、カスタム用紙情報ファイルを追加する。
5. プリンタ本体、または色管理ユーティリティ CCMC を使用して、カラーキャリブレーションを実行する。

詳細説明は以下を参照してください。

- Media Configuration Tool (Windows) →P.530
- Media Configuration Tool (Mac OS X) →P.556

CCMC を使用してできること

色管理ユーティリティの CCMC を使用すると以下の機能が実行できます。
詳細説明は以下を参照してください。

- Color Calibration Management Console (Windows) →P.757
- Color Calibration Management Console (Mac OS X) →P.788

- **カラーキャリブレーションリモート実行**
  プリンタから離れた場所からカラーキャリブレーションをリモート実行することができます。
- **[カラーキャリブレーション実行推奨度]の表示**
  [カラーキャリブレーション実行推奨度]がプログレスバーで表示されます。カラーキャリブレーションの次回実行までの目安が目視確認できるので効率的に色管理できます。
- **リモート接続されたプリンタのカラーキャリブレーション履歴管理**
  プリンタのキャリブレーション履歴が一覧表示されるので、リモート接続された複数プリンタの色管理状態を把握することが可能です。
  管理者はカラーキャリブレーションが必要なプリンタの特定、実行、管理が可能で管理業務を効率化できます。

プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション

プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーションの特長

カラーキャリブレーションは、印刷時に、プリンタの個体差や経年変化による色味のばらつきを補正する機能です。プリンタのセンサーでカラーキャリブレーションを実行すると、プリンタに内蔵されている調整用パターンが印刷され、プリンタのセンサーにより調整用パターンが自動的に読み取られます。
この動作により、調整用パターンの印刷結果を反映したキャリブレーション調整値が設定されます。

重要

- カラーキャリブレーションを実行するときは、色安定精度をより高めるために、温度を 15〜30℃の範囲内、湿度を 40〜60%の範囲内とし、温湿度環境を毎回一定に揃えてください。
  異なる温湿度環境でカラーキャリブレーションを実行すると、正しく調整されないことがあります。
- カラーキャリブレーションを実行するときは、プリンタに直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。
  プリンタに強い光が当たると、正しく調整されないことがあります。

カラーキャリブレーションの実行時期

以下の場合に、カラーキャリブレーションの実行をお勧めします。

- 初期設置時
- プリントヘッドを交換したとき
- 以前と比べて色味の変化を感じたとき(ただし、環境や印刷の条件は、同一に揃えてください)
- 複数のプリンタから色味を揃えて印刷したいとき(ただし、ファームウェアおよびプリンタドライバのバージョンや設定項目は、同一に揃えてください)
- 実行案内が表示されたとき(実行案内の設定 →P.752)

カラーキャリブレーションをプリンタの操作パネルから実行する

ここでは、カラーキャリブレーションをプリンタの操作パネルから実行する方法を説明します。
コンピュータからカラーキャリブレーションを実行する場合は、Color Calibration Management Console の操作方法を参照してください。
(「カラーキャリブレーションを実行する (Windows)」参照) →P.772
(「カラーキャリブレーションを実行する (Mac OS X)」参照) →P.801

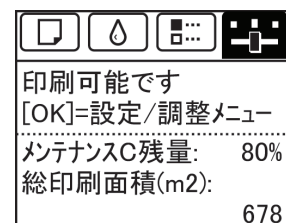
- プリンタを準備する

1 セットする用紙が、カラーキャリブレーションに使用できるか確認します。
(「カラーキャリブレーションに使用できる用紙」参照) →P.753

2 用紙をセットします。
(「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481
(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483
(「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505

- カラーキャリブレーションをプリンタの操作パネルから実行する

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[キャリブレーション]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[自動調整]を選択し、[OK]キーを押します。
環境測定や用紙の確認が行われた後、カラーキャリブレーションが実行され、キャリブレーション調整値が自動的に設定されます。

キャリブレーション調整値を印刷時に適用する

印刷時におけるキャリブレーション調整値の適用は、プリンタドライバまたは操作パネルのメニューで設定できます。
ただし、プリンタドライバの設定値と操作パネルのメニューの設定値が異なる場合は、プリンタドライバの設定が優先されます。

適用方法	操作方法
プリンタドライバのメニューで設定する。(Windows)	[キャリブレーション調整値]を設定してください。 (「用紙の詳細設定ダイアログボックス(Windows)」参照) →P.167
プリンタドライバのメニューで設定する。(Mac OS X)	[キャリブレーション調整値]を設定してください。 (「用紙の詳細設定ダイアログボックス(Mac OS X)」参照) →P.335
操作パネルのメニューで設定する。	[設定/調整メニュー]から、[印字調整]-[キャリブレーション]-[調整値有効設定]の順に選択します。 (「メニューの設定値」参照) →P.605

メモ

- カラーキャリブレーションを実行した後で、さらに好みの色に調整したい場合は、プリンタドライバで色を調整します。
(「プリンタドライバで色を調整して印刷する」参照) →P.51

カラーキャリブレーションの実行履歴を確認する

カラーキャリブレーションの実行日や実行した用紙種類などの情報は、つぎの方法で確認できます。

確認方法	操作方法
プリンタの操作パネルで確認する。	[設定/調整メニュー]から、[印字調整]-[キャリブレーション]-[実行履歴]の順に選択します。 (「メニューの設定値」参照) →P.605
プリンタの情報を印刷する。	[設定/調整メニュー]から、[テストプリント]-[ステータス プリント]の順に選択します。 (「ステータスプリントについて」参照) →P.614
imagePROGRAF Status Monitor で確認する。(Windows)	imagePROGRAF Status Monitor の[情報]シートで、[キャリブレーション履歴表示]ボタンをクリックします。 (「imagePROGRAF Status Monitor の特長」参照) →P.672
プリンタドライバの[プリンタ情報]ダイアログボックスで確認する。(Mac OS X)	[プリンタ情報]ダイアログボックスで、[情報]タブをクリックし、[キャリブレーション履歴表示]ボタンをクリックします。 (「基本設定パネル(Mac OS X)」参照) →P.331
Color Calibration Management Console で確認する。	[キャリブレーション]シートで確認します。 (「カラーキャリブレーション状況を確認する (Windows)」参照) →P.770 (「カラーキャリブレーション状況を確認する (Mac OS X)」参照) →P.800

実行案内の設定

実行案内は、カラーキャリブレーションを実行するよう、操作パネル、imagePROGRAF Status Monitor(Windows)、imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)、リモート UI および Color Calibration Management Console に案内が表示される機能です。
機能を有効にすると、つぎの場合に実行案内が表示されます。

- 新しいプリントヘッドが装着されたとき
- カラーキャリブレーションを実行してから、一定量の印刷が実行された場合
- カラーキャリブレーションのデータが初期化されたとき

機能を有効にする場合は、操作パネルのメニューで、[実行案内設定]を[オン]に設定してください。
(「メニューの設定値」参照) →P.605

Color Calibration Management Console の管理機能を使う

Color Calibration Management Console を使用すると、つぎのような管理機能が使えます。

- 詳細な実行情報の確認
- コンピュータからの実行指示
- 複数台のプリンタの管理

詳細は Color Calibration Management Console の使い方を参照してください。
(「Color Calibration Management Console (Windows)」参照) →P.757
(「Color Calibration Management Console (Mac OS X)」参照) →P.788

カラーキャリブレーションに使用できる用紙

用紙の使用推奨環境

推奨使用環境は用紙の種類によって異なりますので、用紙の種類に合った推奨環境範囲内で使用してください。
詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。

用紙の種類と調整タイプ

- カラーキャリブレーションには、以下のいずれかの種類の用紙が使用できます。
  また、用紙の種類によって、カラーキャリブレーションの調整タイプが決まっています。(カラーキャリブレーションの調整タイプ →P.755)
- 表に記載されている用紙種類は、プリンタの操作パネルに表示される名前です。

用紙種類	プリンタドライバのインストール時に選択した使用地域			調整タイプ
	[日本]、[アジア]、[オセアニア]	[欧州]	[アメリカ]	
[Opaque Paper 120]	選択不可	選択可	選択不可	用紙共通キャリブレーション
[厚口コート紙]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[スタンダードコウタク]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[スタンダードハンコウタク]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[フォト光沢紙 HG]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[フォト半光沢紙 HG]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[GlossyPhoto 200g]	選択不可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[SatinPhoto 200g]	選択不可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[GlossyPhoto 240]	選択不可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[SatinPhoto 240]	選択不可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[フォト光沢 HG 厚口]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[フォト半光沢 HG 厚口]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[RC Photo Luster]	選択不可	選択不可	選択可	用紙個別キャリブレーション
[プレミアム光沢 2 厚口]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[プレミアム半光沢 2 厚]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[光沢プラチナ 調整用]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[グロスプルーフ(ウスクチ)]	選択可	選択不可	選択可	用紙個別キャリブレーション
[マットプルーフ(ウスクチ)]	選択可	選択不可	選択可	用紙個別キャリブレーション
[プルーフ用紙 3]	選択可	選択不可	選択可	用紙個別キャリブレーション
[プルーフ用紙 2]	選択可	選択不可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[Proof SemiGl 195]	選択不可	選択可	選択不可	用紙個別キャリブレーション
[ファインアート(フォト)]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション
[ファインアート フォト厚口]	選択可	選択可	選択可	用紙共通キャリブレーション

- ご使用の用紙が用紙種類に記載されていない場合は、調整タイプが用紙共通キャリブレーションの用紙でカラーキャリブレーションを実行すれば、ご使用の用紙に対してキャリブレーション調整値を設定することができます。
- 各用紙種類に対する設定は Media Configuration Tool により変更できます。
  設定を変更することにより、選択不可の用紙種類を操作パネルに表示させることができます。
  (「用紙種類の表示/非表示を切り替える (Windows)」参照) →P.540
  (「用紙種類の表示/非表示を切り替える (Mac OS X)」参照) →P.570
- 用紙種類で[光沢プラチナ 調整用]を選択した場合に使用できる用紙については、用紙リファレンスガイドを参照してください。

カラーキャリブレーションに使用できる用紙のサイズ

カラーキャリブレーションに使用できる用紙のサイズは、カット紙とロール紙で異なります。
詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm(10.00 インチ)幅以上の用紙 (ただし、用紙の種類によっては 406.4 mm(16.00 インチ)幅以上の用紙)
カット紙を使用する場合	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚 (ただし、用紙の種類によっては、未使用の A2 サイズ以上の用紙 1 枚)

用紙情報の登録および確認

• 用紙情報をプリンタに登録するには

- 新しく発売された用紙を使用する場合は、用紙情報をプリンタ本体およびプリンタドライバに登録する必要があります。キヤノンのホームページから新しいバージョンの[用紙情報ファイル](Media Information File)をダウンロードし、インストールしてください。
  (「用紙の種類」参照) →P.474
- キヤノン純正紙以外の用紙または出力確認紙以外の用紙情報をプリンタおよびプリンタドライバに登録する場合は、Media Configuration Tool を使います。
  (「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する (Windows)」参照) →P.543
  (「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する (Mac OS X)」参照) →P.573

• プリンタに登録されている用紙情報を確認するには

- コンピュータで確認する場合は、Color Calibration Management Console の[キャリブレーション]シートを参照してください。
  (「キャリブレーションシート (Windows)」参照) →P.768
  (「キャリブレーションシート (Mac OS X)」参照) →P.798
- プリンタで用紙情報を印刷する場合は、操作パネルのメニューで、[用紙詳細プリント]を選択してください。
  [Calibration]欄に、つぎのように表示されます。

表示	意味
[Standard]	プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーションへの対応
[High Precision]	測色ユニットを使ったカラーキャリブレーションへの対応
[OK (Common)]	用紙個別キャリブレーションが実行されます
[OK(Unique)]	用紙個別キャリブレーションが実行されます
[N/A]	カラーキャリブレーションを実行できません
[N/A (Colorimetry Only)]	カラーキャリブレーションを実行できませんが、測色データの取得に使用できます

```
Canon imagePROGRAF iPFxxxx Pap.Detail Print
.
.
.
.
.
01  Media Name:xxxxxxxxxx
.
.
.
.
Calibration: Standard:OK(Common)  High Precision:OK(Unique)
```

重要

- 操作パネルのメニューの[システム設定]の[用紙設定初期化]で[する]を選択すると、工場出荷時の設定値に戻ります。Media Configuration Toolにより追加または更新した用紙の情報も消去されるため、Media Configuration Toolで情報を追加した用紙でカラーキャリブレーションを実行していた場合、すべての種類の用紙でカラーキャリブレーションが適用されなくなります。
  カラーキャリブレーションを適用させたい場合は、工場出荷時に設定されている用紙の種類の中でカラーキャリブレーションに対応している用紙を使用して、カラーキャリブレーションをやり直してください。

カラーキャリブレーションの調整タイプ

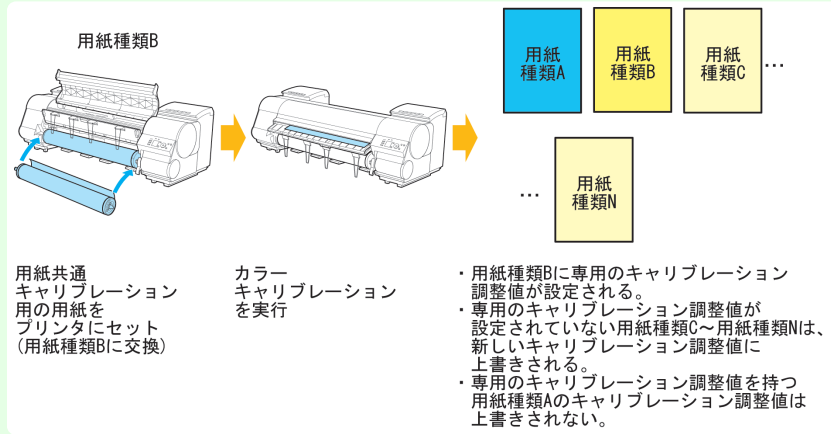
カラーキャリブレーションには、用紙共通キャリブレーションと用紙個別キャリブレーションの２つの調整タイプがあり、カラーキャリブレーション実行時にいずれか一方が選択されます。
選択される調整タイプは、カラーキャリブレーションを実行する用紙種類によって決まります。

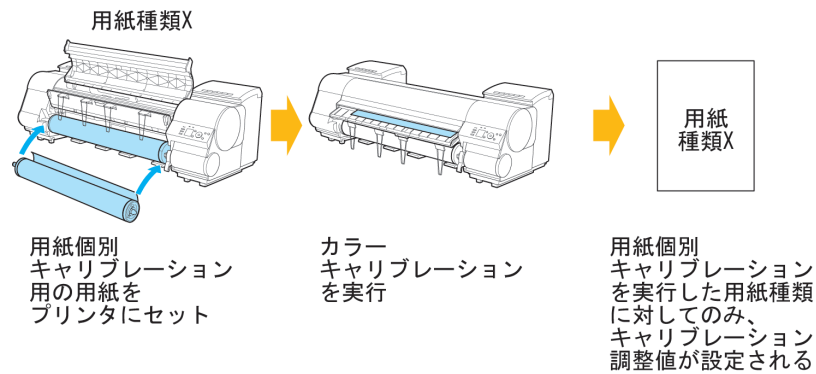
- 用紙共通キャリブレーション

  用紙共通キャリブレーションは、用紙の種類ごとにカラーキャリブレーションを実行する必要がないので、短時間で容易に複数の用紙種類を運用できるという特長があります。

  用紙共通キャリブレーションに分類される用紙でカラーキャリブレーションが実行されると、用紙共通キャリブレーションが実行された用紙種類に対して、専用のキャリブレーション調整値が設定されます。

  さらに、カラーキャリブレーションが実行されていない、すべての用紙種類のすべての印刷品位に対しても、キャリブレーション調整値が設定されます。

- カラーキャリブレーションが一度でも実行されていて、専用のキャリブレーション調整値が設定されている用紙種類に対しては、キャリブレーション調整値の上書きは実行されません。

- **用紙個別キャリブレーション**

用紙個別キャリブレーションに分類される種類の用紙でカラーキャリブレーションが実行されると、カラーキャリブレーションが実行された用紙種類に対してのみキャリブレーション調整値が設定されます。

- 用紙個別キャリブレーションに分類される用紙を使用する場合でも、カラーキャリブレーションが一度も実行されておらず、専用のキャリブレーション調整値を持たない用紙種類は、用紙共通キャリブレーションが実行されるとキャリブレーション調整値が上書きされます。

Color Calibration Management Console (Windows)

Color Calibration Management Console の特長 757

インストール手順 758
アンインストール手順 760
起動方法 760

メインウィンドウ 761
ファイルメニュー 764
ツールメニュー(キャリブレーションシート表示時) 765
ツールメニュー(色の測定シート表示時) 765
ヘルプメニュー 766
プリンタリスト 766
キャリブレーションシート 768
色の測定シート 769

カラーキャリブレーション状況を確認する 770
カラーキャリブレーションを実行する 772

任意のカラーチャートの測色データを取得する 774
カラーチェックを実行する 780
実行履歴をお気に入りに登録する 784
実行履歴をお気に入りから削除する 785
実行履歴をコンピュータに保存する 785

表示単位を切り替える 786
カラーキャリブレーションの完了を音で知らせる 787

Color Calibration Management Console の特長

Color Calibration Management Console は、複数のプリンタに対して、カラーキャリブレーションの状況の把握やカラーキャリブレーションの実行ができるソフトウェアです。測色ユニットが搭載されているプリンタに対しては、測色データの取得や、カラーチェックが実行できます。

- カラーキャリブレーション状況の表示
- カラーキャリブレーションの実行
- 測色データの取得
- カラーチェックの実行

カラーキャリブレーション状況の表示

ネットワークや USB で接続されたプリンタが、メインウィンドウにリスト表示されます。
プリンタが複数台ある場合、同じ用紙種類でカラーキャリブレーションが実行されていて、その用紙がセットされているプリンタは、同じキャリブレーショングループに表示されます。同じキャリブレーショングループのプリンタは、カラーキャリブレーションを実行することで同じ色味に補正できます。
メインウィンドウからプリンタを選択すると、そのプリンタのカラーキャリブレーションの状況や実行履歴などが表示されます。
カラーキャリブレーション状況の確認方法は「カラーキャリブレーション状況を確認する」を参照してください。
→P.770

カラーキャリブレーションの実行

カラーキャリブレーションを実行できます。
カラーキャリブレーションを実行すると、プリンタの個体差や経年変化による色味のばらつきを補正できます。
カラーキャリブレーションの実行手順は、「カラーキャリブレーションを実行する」を参照してください。→P.772

メモ

- キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙でカラーキャリブレーションを実行するには、その用紙のキャリブレーションターゲットが必要です。キャリブレーションターゲットの作成は、測色ユニット搭載プリンタで、測色ユニット対応プリンタに同梱されている Media Configuration Tool を使って作成することができます。

カラーチャートの測色データ取得

任意のカラーチャートを測色して、測色データをコンピュータに保存できます。このデータを市販の ICC プロファイル作成ソフトウェアに読み込むと、ICC プロファイルを作成できます。

測色データの取得手順は、「任意のカラーチャートの測色データを取得する」を参照してください。→P.774

メモ

- この機能は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

カラーチェックの実行

カラーチェックを実行できます。
カラーチェックを実行すると、内蔵パターンを印刷し、プリンタに登録されているキャリブレーションターゲットとの色差が算出され、チェック結果が表示されます。
カラーチェックは、プリンタの色状態を詳細に確認したいときに実行します。
カラーチェックの実行手順は、「カラーチェックを実行する」を参照してください。→P.780

メモ

- この機能は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

インストール手順

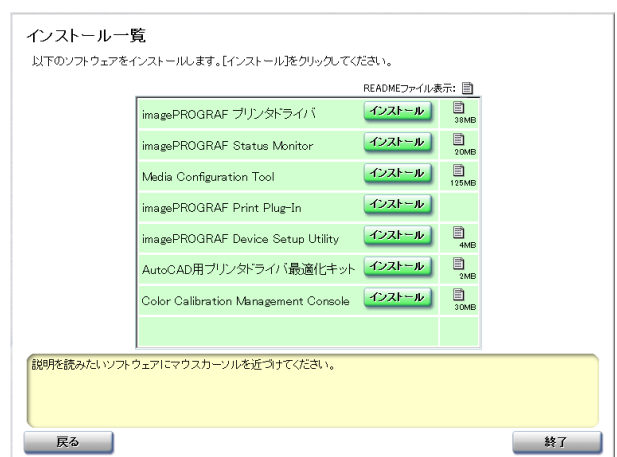
Color Calibration Management Console をインストールする手順は、以下のとおりです。

1 CD-ROM ドライブに、User Software CD-ROM を挿入し、インストーラを起動します。

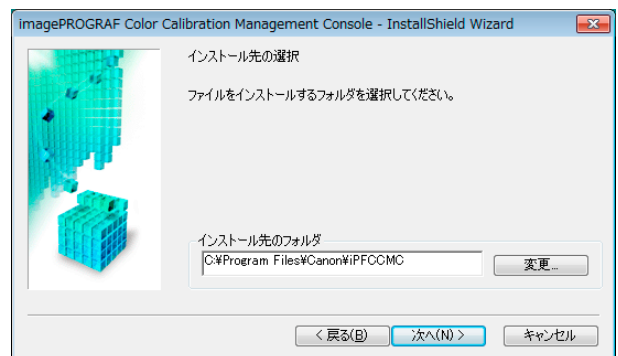
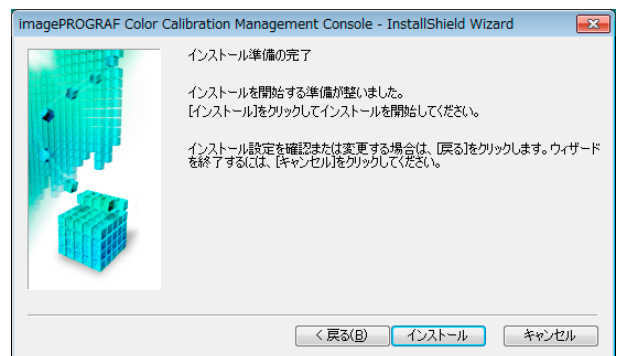
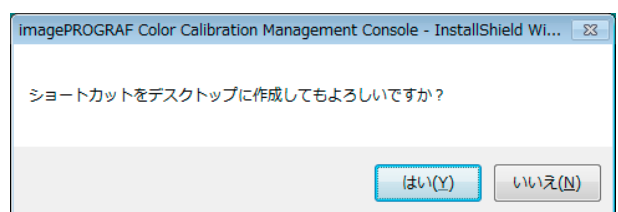
メモ

- インストーラの画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]から CD-ROM アイコンを開き、[setup.exe]をクリックし、アイコンを開きます。

2 [ソフトウェア個別インストール]ボタンをクリックします。

3 [Color Calibration Management Console]の[インストール]ボタンをクリックします。

4 ［次へ］ボタンをクリックします。

5 使用許諾契約書を読んで、［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

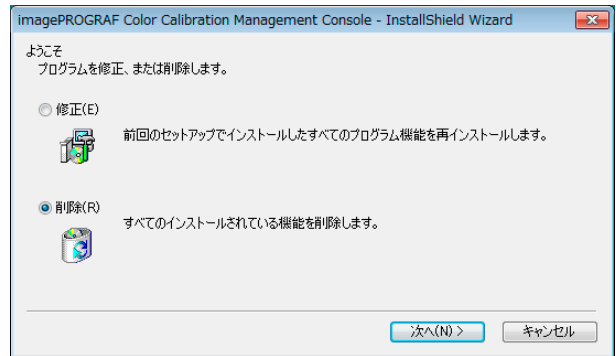
6 インストール先を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

7 ［インストール］ボタンをクリックします。

8 デスクトップに Color Calibration Management Console のショートカットアイコンを作成したいときは、［はい］ボタンをクリックします。

9 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。]または[いいえ、後でコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]ボタンをクリックします。

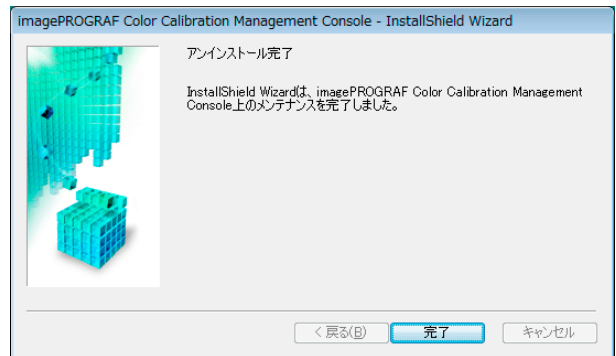
コンピュータを再起動すると、Color Calibration Management Console のインストールが完了します。

アンインストール手順

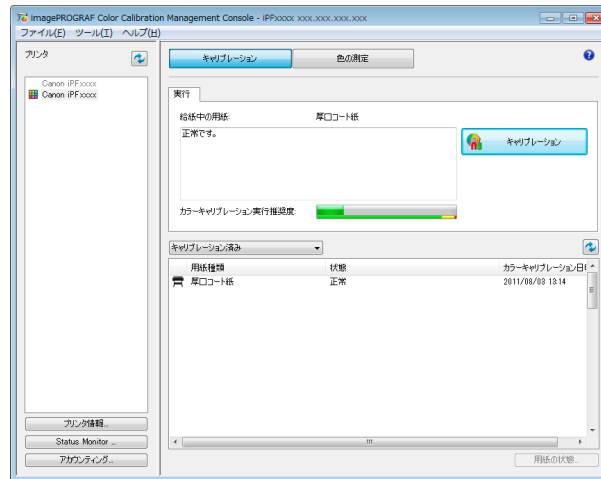
Color Calibration Management Console をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

1 [スタート]メニューから[すべてのプログラム]>[imagePROGRAF Color Calibration Management Console]>[Uninstaller (imagePROGRAF Color Calibration Management Console)]を選択します。

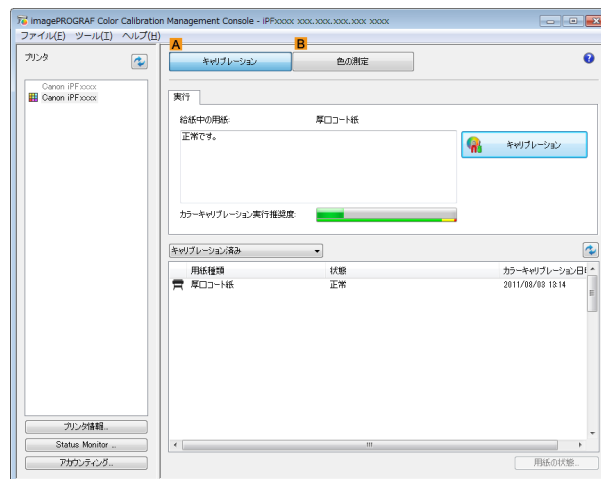
2 [削除]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

3 [完了]ボタンをクリックします。

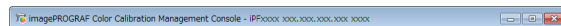
Color Calibration Management Console のアンインストールが完了します。

起動方法

Color Calibration Management Console を起動する手順は、以下のとおりです。
デスクトップの[Color Calibration Management Console]アイコンをダブルクリックします。

Color Calibration Management Console メインウィンドウが表示されます。

- デスクトップに[Color Calibration Management Console]アイコンがない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]>[imagePROGRAF Color Calibration Management Console]>[imagePROGRAF Color Calibration Management Console]を選択します。

メインウィンドウ

Color Calibration Management Console のメインウィンドウは、タイトルバー、メニューバー、[プリンタ]リスト、[キャリブレーション]シート、[色の測定]シートで構成されています。
[キャリブレーション]シートと[色の測定]シートは、**A**[キャリブレーション]ボタンまたは **B**[色の測定]ボタンをクリックすると切り替わります。メニューバーの[ファイル]メニューから切り替えることもできます。

- タイトルバー

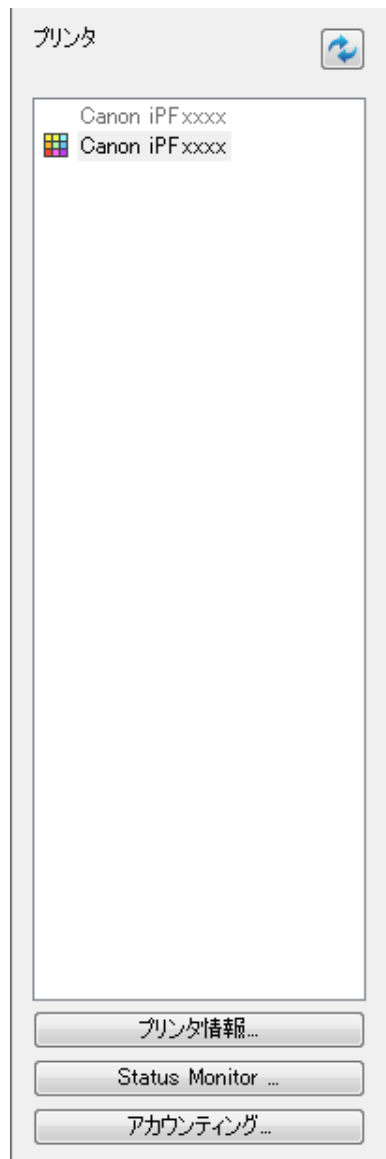
[プリンタ]リストで選択したプリンタの機種名、ポート名、設置場所が表示されます。

- メニューバー

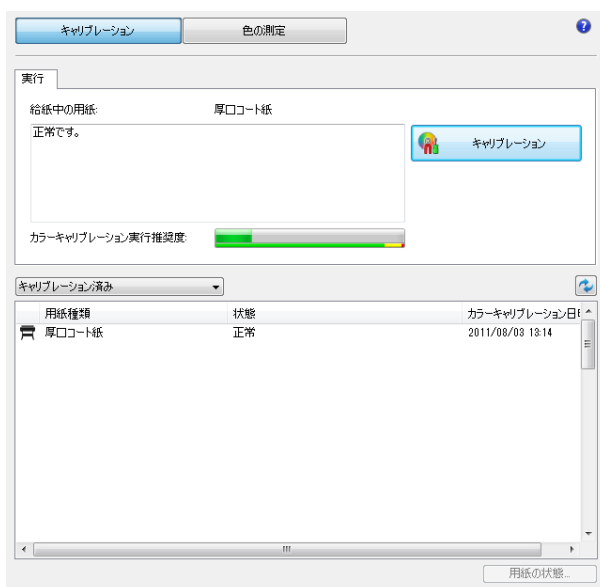
操作に必要なメニューを選択できます。

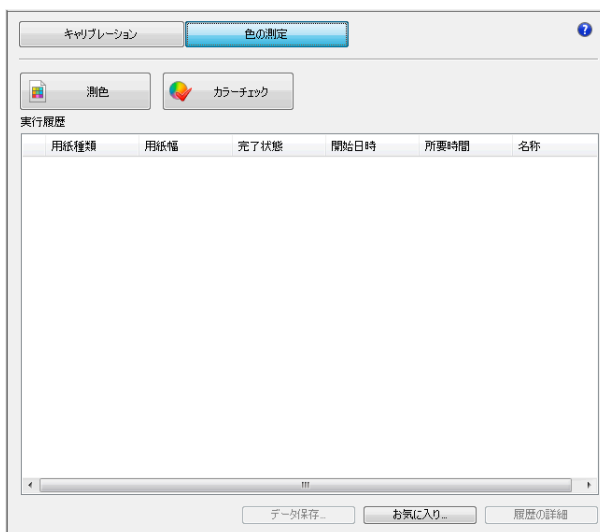
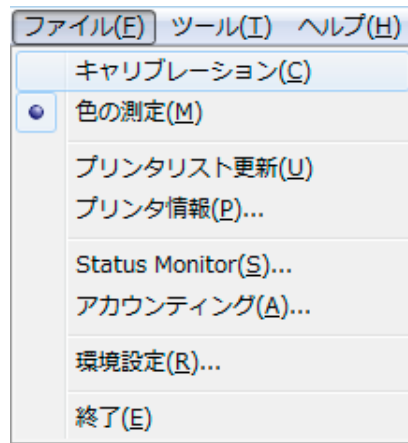
各メニューの詳細については、以下を参照してください。

- ファイルメニュー →P.764
- ツールメニュー(キャリブレーションシート表示時) →P.765
- ツールメニュー(色の測定シート表示時) →P.765
- ヘルプメニュー →P.766

- [プリンタ]リスト

操作可能なプリンタが表示されます。詳細については、「プリンタリスト」を参照してください。→P.766

- [キャリブレーション]シート

カラーキャリブレーションを実行できます。詳細については、「キャリブレーションシート」を参照してください。→P.768

- [色の測定]シート

カラーチャートの測色データを取得したり、カラーチェックを実行できます。詳細については、「色の測定シート」を参照してください。→P.769

メモ

- 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。

ファイルメニュー

[ファイル]メニューの各項目について説明します。

- [キャリブレーション] / [色の測定]

  メインウィンドウのシートを選択します。

- [プリンタリスト更新]

  メインウィンドウの左側にある[プリンタ]リストが最新の状態になります。

- [プリンタ情報]

  [プリンタ]リストで選択したプリンタの[プリンタ情報]ダイアログボックスを表示します。
  プリンタの詳細情報を確認できます。

- [Status Monitor]

  [プリンタ]リストで選択したプリンタの imagePROGRAF Status Monitor が起動し、印刷ジョブの状態などを確認できます。
  Status Monitor の詳細については、「imagePROGRAF Status Monitor の特長」を参照してください。 →P.672

- [アカウンティング]

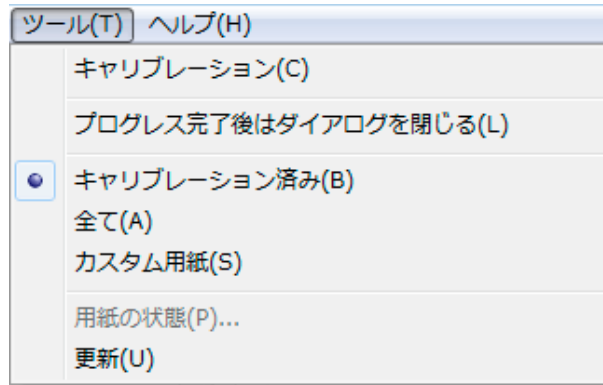
  [プリンタ]リストで選択したプリンタの imagePROGRAF Status Monitor Accounting Manger のメインウィンドウが起動し、印刷にかかったコストなどを確認できます。
  アカウンティングの詳細については、「アカウンティングについて」を参照してください。 →P.676

- [環境設定]

  [環境設定]ダイアログボックスを表示します。
  Color Calibration Management Console に表示される単位を切り替えたり、カラーキャリブレーション、測色データの取得またはカラーチェックの実行が完了したときに音を鳴らす設定などができます。

- [終了]

  Color Calibration Management Console を終了します。

ツールメニュー(キャリブレーションシート表示時)

メインウィンドウに[キャリブレーション]シートが表示されているときの[ツール]メニューの各項目について説明します。

- [キャリブレーション]

  [カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスを表示します。
  選択したプリンタのカラーキャリブレーションを実行できます。
  カラーキャリブレーションを実行する手順は、「カラーキャリブレーションを実行する」を参照してください。
  →P.772

- [プログレス完了後はダイアログを閉じる]

  カラーキャリブレーション終了時に、プログレスダイアログボックスを自動的に閉じるか閉じないかを切り替えます。
  チェックマークが付いているときは、プログレスダイアログボックスが自動的に閉じます。

- [キャリブレーション済み]/[全て]/[カスタム用紙]

  メインウィンドウ([キャリブレーション]シート)の用紙リストに表示する用紙種類を選択します。

- [用紙の状態]

  [用紙の状態]ダイアログボックスを表示します。
  選択した用紙のカラーキャリブレーションやカラーチェックの実行履歴が確認できます。

- [更新]

  メインウィンドウの用紙リストを最新の状態にします。

ツールメニュー(色の測定シート表示時)

メインウィンドウに[色の測定]シートが表示されているときの[ツール]メニューの各項目について説明します。

メモ

- 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。

- [測色データの取得]

  手順説明ウィンドウまたは[実行履歴の選択]ウィンドウを表示します。

選択したプリンタでカラーチャートを測色し、測色データを取得できます。
測色データの取得を実行する手順は、「任意のカラーチャートの測色データを取得する」を参照してください。 →P.774

- [カラーチェック]

[カラーチェックの実行]ダイアログボックスを表示します。
選択したプリンタのカラーチェックを実行できます。
カラーチェックを実行する手順は、「カラーチェックを実行する」を参照してください。 →P.780

- [手順説明ウィンドウの表示]

[測色データの取得]を実行するときに、手順説明ウィンドウを表示するかしないかを切り替えます。
チェックマークが付いているときは、手順説明ウィンドウが表示されます。

- [プログレス完了後はダイアログを閉じる]

[カラーチェック]または[測色データの取得]終了時に、プログレスダイアログボックスを自動的に閉じるか閉じないかを切り替えます。
チェックマークが付いているときは、プログレスダイアログボックスが自動的に閉じます。

- [お気に入り]

[お気に入りの管理]ダイアログボックスを表示します。
お気に入りに登録されている実行履歴が確認できます。

- [履歴の詳細]

[実行履歴の詳細]ダイアログボックスを表示します。
メインウィンドウの[実行履歴]で選択している実行履歴の詳細が確認できます。

- [データ保存]

[測色データの出力]ダイアログボックスを表示します。
メインウィンドウの[実行履歴]で選択している実行履歴の測色データをコンピュータに保存します。

メモ

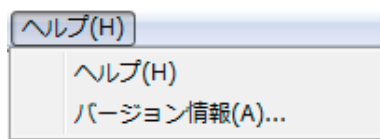
- 実行履歴を複数選択している場合、このメニューは選択できません。

- [実行履歴の CSV 出力]

[選択した履歴]を選択すると、メインウィンドウの[実行履歴]で選択している実行履歴を CSV 形式のファイルでコンピュータに保存します。
[全ての履歴]を選択すると、メインウィンドウの[実行履歴]に表示されているすべての実行履歴を CSV 形式のファイルでコンピュータに保存します。

ヘルプメニュー

[ヘルプ]メニューの各項目について説明します。

ヘルプ(H)
ヘルプ(H)
バージョン情報(A)...

- [ヘルプ]

Color Calibration Management Console のヘルプを表示します。

- [バージョン情報]

[バージョン情報]ダイアログボックスが表示され、Color Calibration Management Console のバージョンが確認できます。

プリンタリスト

[プリンタ]リストに表示されるプリンタは、ネットワークや USB で接続された以下の条件を満たすプリンタです。
ただし、サーバー経由で接続しているプリンタは表示されません。

- Color Calibration Management Console に対応したプリンタ
- プリンタドライバがインストールされているプリンタ

- [プリンタ]

  給紙中の用紙でカラーキャリブレーションが実行されている場合、同じ用紙が給紙されているプリンタは、[キャリブレーショングループ]配下に表示されます。

  カラーキャリブレーションに関するメッセージがあるプリンタには が表示されます。

  測色ユニットを搭載したプリンタには が表示されます。

  プリンタ名をダブルクリックすると、[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示され、プリンタの詳細情報を確認できます。

  メモ

  - Color Calibration Management Console が起動中には、プリンタの追加、プリンタの削除、プリンタ名変更は、[プリンタ]リストに反映されません。[プリンタ]リストに反映したい場合は、Color Calibration Management Console を終了し、再度起動してください。

- ボタン

  このボタンをクリックすると、[プリンタ]リストが最新の状態になります。

- [プリンタ情報]ボタン

  このボタンをクリックすると、選択したプリンタの[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示され、プリンタの詳細情報を確認できます。

- [Status Monitor]ボタン

  このボタンをクリックすると、選択したプリンタの imagePROGRAF Status Monitor が起動し、印刷ジョブの状態などを確認できます。

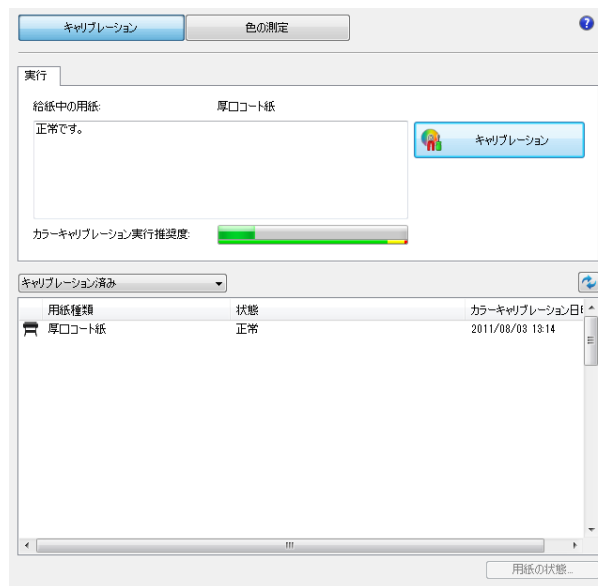
  Status Monitor の詳細については、「imagePROGRAF Status Monitor の特長」を参照してください。 →P.672

- [アカウンティング]ボタン

  このボタンをクリックすると、選択したプリンタの imagePROGRAF Status Monitor Accounting Manger のメインウィンドウが起動し、印刷にかかったコストなどを確認できます。

  アカウンティングの詳細については、「アカウンティングについて」を参照してください。 →P.676

キャリブレーションシート

[プリンタ]リストで選択したプリンタのカラーキャリブレーションを実行したり、カラーキャリブレーションの状態を確認できます。

- [給紙中の用紙]

  プリンタに給紙されている用紙の種類が表示されます。

- [キャリブレーション]ボタン

  このボタンをクリックすると、[カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスが表示されます。

  選択したプリンタのカラーキャリブレーションを実行できます。

  カラーキャリブレーションを実行する手順は、「カラーキャリブレーションを実行する」を参照してください。

  →P.772

- [カラーキャリブレーション実行推奨度]

  カラーキャリブレーションの実行をお勧めするまでの状態が表示されます。実行をお勧めする時期までプログレスバーが増加していきます。

- [用紙の状態]ボタン

  このボタンをクリックすると、[用紙の状態]ダイアログボックスが表示されます。

  選択した用紙のカラーキャリブレーションやカラーチェックの実行履歴が確認できます。

用紙ごとのカラーキャリブレーション状況

ボタンをクリックすると、リストが最新の状態になります。プリンタに給紙中の用紙にはが表示されます。
リストに表示される用紙種類は次のとおりです。

- [キャリブレーション済み]選択時

  プリンタに登録され、カラーキャリブレーションが実行されている用紙種類が表示されます。

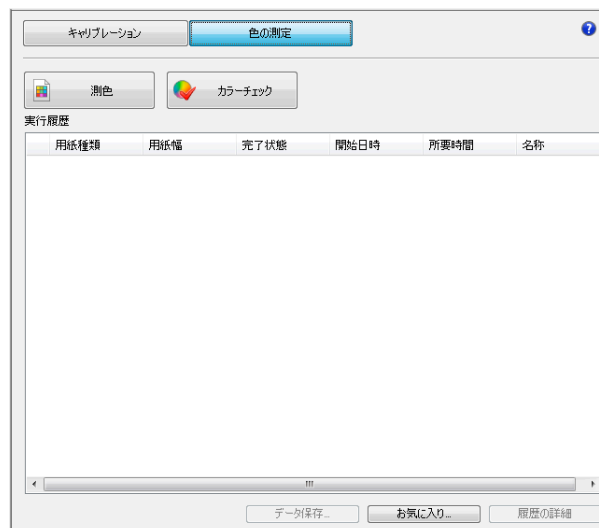
- [全て]選択時

  プリンタに登録されている用紙種類が表示されます。

- [カスタム用紙]選択時

  プリンタに登録されているキヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙種類が表示されます。

色の測定シート

測色ユニットを使って色の測定ができます。

- [測色]ボタン

  このボタンをクリックすると、手順説明ウィンドウまたは[実行履歴の選択]ウィンドウが表示されます。
  選択したプリンタでカラーチャートを測色し、測色データを取得できます。
  測色データの取得を実行する手順は、「任意のカラーチャートの測色データを取得する」を参照してください。
  →P.774

- [カラーチェック]ボタン

このボタンをクリックすると、[カラーチェックの実行]ダイアログボックスが表示されます。
選択したプリンタのカラーチェックを実行できます。
カラーチェックを実行する手順は、「カラーチェックを実行する」を参照してください。→P.780

- [実行履歴]

測色データを取得した実行履歴が表示されます。
給紙中の用紙には が表示されます。
[名称]には、お気に入りで登録した名称が表示されます。

- [データ保存]ボタン

このボタンをクリックすると、[測色データの出力]ダイアログボックスが表示されます。
選択されている実行履歴の測色データをコンピュータに保存します。

- [お気に入り]ボタン

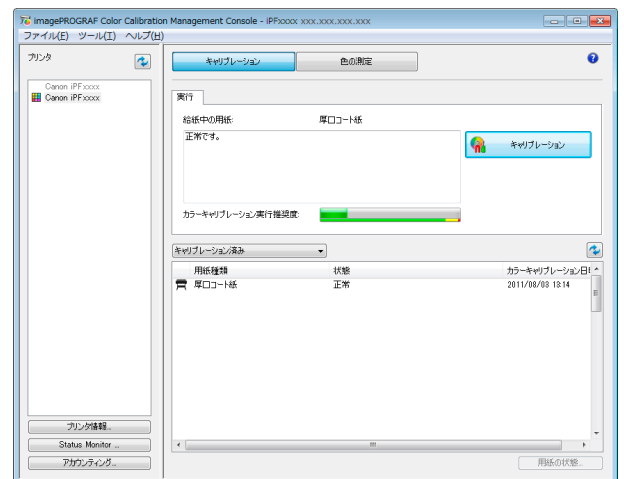
このボタンをクリックすると、[お気に入りの管理]ダイアログボックスが表示されます。
お気に入りに登録されている実行履歴が確認できます。

- [履歴の詳細]ボタン

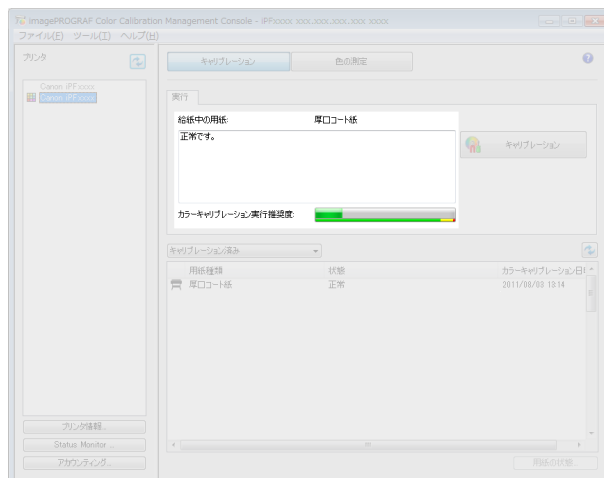
このボタンをクリックすると、[実行履歴の詳細]ダイアログボックスが表示されます。
選択されている実行履歴の詳細が確認できます。

カラーキャリブレーション状況を確認する

カラーキャリブレーションの状況や実行履歴は、メインウィンドウの[キャリブレーション]シートで確認できます。

1 [キャリブレーション]シートを開きます。

2 カラーキャリブレーション状況を確認したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

• プリンタが複数台ある場合、同じ用紙種類がセットされていて、その用紙でカラーキャリブレーションが実行されているプリンタは、同じキャリブレーショングループに表示されます。

3 [キャリブレーション]シートの上部で、給紙中の用紙のカラーキャリブレーション状況を確認します。

4 [キャリブレーション済み]を選択し、 ボタンをクリックします。

5 [キャリブレーション]シートの下部で、カラーキャリブレーション履歴を確認します。

カラーキャリブレーションを実行する

カラーキャリブレーションを実行する手順は以下のとおりです。

プリンタを準備する

1 セットする用紙が､カラーキャリブレーションに使用できるか確認します。
(｢カラーキャリブレーションに使用できる用紙｣参照) →P.753

2 用紙をセットします。
(｢ロール紙にロールホルダーをセットする｣参照) →P.481
(｢ロール紙をプリンタにセットする｣参照) →P.483
(｢カット紙をプリンタにセットする｣参照) →P.505

メモ

- [自動調整(高精度)]を実行するときに､お使いの用紙で一度も[画質調整]を実行したことがない場合は､操作パネルのメニューで[画質調整]を実行してください。
(｢横スジを自動で調整する｣参照) →P.735

3 測色ユニットが搭載されている場合は､ホワイト/ブラックバッキングの色を選択します。
白を選択することをお勧めします。

メモ

- ホワイト/ブラックバッキングの色は､カラーキャリブレーションを実行するごとに変更せず､選択した色を使い続けてください。

カラーキャリブレーションを実行する

1 [キャリブレーション]シートを開きます。

2 カラーキャリブレーションを実行したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

3 [キャリブレーション]ボタンをクリックします。

4 [カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスが開きます。

- [カラーキャリブレーションの種類]

  [自動調整(高精度)]を選択すると測色ユニットを使ったカラーキャリブレーションが実行され、[自動調整]を選択するとプリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーションが実行されます。

  メモ
  - 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。

- [パターンサイズ]

  [カラーキャリブレーションの種類]で[自動調整(高精度)]を選択した場合に設定できます。
  測色精度を優先したい場合は、[大きい]を選択することをお勧めします。

  メモ
  - 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。

5 [OK]ボタンをクリックします。

6 [カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスが表示されますので、内容を確認します。

7 [実行]ボタンをクリックします。
カラーキャリブレーションが実行されます。

メモ

- [キャンセル]ボタンをクリックすると、カラーキャリブレーションを途中で終了できます。ただし、終了するまでに時間がかかることがあります。

8 [OK]ボタンをクリックします。

任意のカラーチャートの測色データを取得する

任意のカラーチャートを印刷して測色し、測色データをコンピュータに保存する手順は以下のとおりです。
コンピュータに保存した測色データは、ICC プロファイルの作成などに使用します。ICC プロファイルの作成は市販のソフトウェアで行います。
作成した ICC プロファイルは、プリンタドライバで使用できます。(「マッチングシート」参照) →P.171

メモ

- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

プリンタを準備する

1 セットする用紙が、測色データの取得に使用できるか確認します。

2 用紙をセットします。
(「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481
(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483

メモ

- お使いの用紙で一度も[画質調整]を実行したことがない場合は、操作パネルのメニューで[画質調整]を実行してください。
(「横スジを自動で調整する」参照) →P.735

3 ホワイト/ブラックバッキングの色を選択します。

測色データの取得を実行する

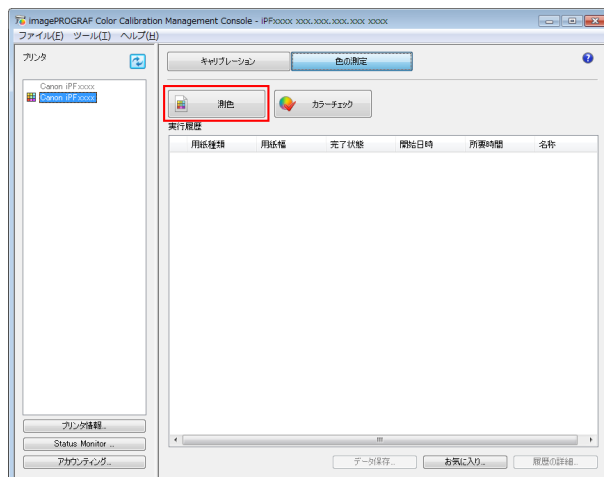
1 [色の測定]シートを開きます。

2 カラーチャートを測色したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

3 [測色]ボタンをクリックします。

4 手順説明ウィンドウでカラーチャートの測色手順を確認して［開始］をクリックします。

5 ［お気に入り］で［新規］を選択して［次へ］をクリックします。

メモ

- 以前実行したときの設定値でカラーチャートの測色を行う場合は、［お気に入り］シートまたは［履歴］シートで実行履歴を選択します。

6 カラーチャートを選択してカラーチャートの印刷設定を行い、［次へ］をクリックします。

設定項目	内容
［チャート］	印刷するカラーチャートを選択します。印刷するカラーチャートがリストに表示されないときは、［参照］ボタンをクリックして選択します。 選択できるカラーチャートは CGATS 形式の RGB のみです。
［ロール紙幅］	［情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタに装着されているロール紙の幅が表示されます。

設定項目	内容
[用紙節約あり]	チェックボックスをオンにすると、カラーチャートが分割して印刷される場合に、カラーチャートの間隔が狭くなり、用紙を節約できます。
[用紙種類]	用紙の種類を選択します。
[優先画質]	印刷結果において、特に重視する要素を選択します。 設定する項目の詳細は、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」を参照してください。 →P.57
[印刷品質]	印刷品質を選択します。 設定する項目の詳細は、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」を参照してください。 →P.57
[プリントパスを拡張する]	[印刷品質]で[最高]を選択して印刷した場合、印刷ムラが発生することがあります。チェックボックスをオンにすると、印刷ムラが改善されることがあります。ただし、印刷速度が遅くなります。
[給紙方法]	用紙の給紙方法を選択します。
[オートカット]	[測色データの取得]完了時に用紙をどのようにカットするかを選択します。
[ラベル印刷あり]	チェックボックスをオンにすると、カラーチャートの印刷情報が印刷されます。

7 測色設定と乾燥設定を行い、[次へ]をクリックします。

設定項目	内容
[測色環境設定]	印刷するカラーチャートのパターンサイズと印刷したカラーチャートの乾燥設定を行います。 [標準]を選択すると、標準的なパターンサイズで印刷し、標準的な設定値で乾燥を行います。 [設定]ボタンをクリックして[測色環境設定]ダイアログボックスを表示すると、パターンサイズと乾燥方法を詳細に設定できます。
[乾燥時間の短縮]	チェックボックスをオンにすると、乾燥時間が短縮します。 [環境設定]ダイアログボックスの[測色環境]シートで設定した時間が経過すると、それ以降、送風ファンによる乾燥は行わず、測色を続行します。 [環境設定]ダイアログボックスでは、自然乾燥で十分に乾燥する時間を設定してください。インクが乾いていない状態で測色を行うと、正しく測定されない場合があります。 [環境設定]ダイアログボックスは、[ファイル]メニューの[環境設定]をクリックすると表示されます。 パターンの数が少ないと、[環境設定]ダイアログボックスで設定した時間よりも短い時間で乾燥が終わります。この場合、[乾燥時間の短縮]チェックボックスをオンにしても乾燥時間は短縮されません。
[光源]	光源を[D50]、[D65]、[A]から選択します。
[視野角]	視野角を選択します。
[UV カット]	UV カットのあり、なしを選択します。
[測色値]	チェックボックスがオンの測色値で測色データを保存します。 [Lab]チェックボックスはオフにできません。

メモ

- カラーチャートのパターンを大きくしたり、カラーチャートの乾燥設定を詳細に行いたいときは、[設定]ボタンをクリックして[測色環境設定]ダイアログボックスを表示します。

設定項目	内容
[パターンサイズ]	カラーチャートのパターンサイズを選択します。 測色精度を優先したい場合は、[大きい]を選択することをお勧めします。
[乾燥方法]	送風ファンを使って乾燥するときは[送風ファン]、送風ファンを使わないで乾燥するときは[自然乾燥]を選びます。
[送風ファン]	送風ファンによる乾燥時間と風量を設定します。
[時間]	パターンごとに送風ファンによって乾燥する時間を設定します。 [パターンサイズ]で選択したサイズによって、送風ファンで一度に乾燥する行数がかわります。 時間を増やすと、インクの定着が良くなり、色味が安定します。
[乾燥時間の短縮]	チェックボックスをオンにすると、乾燥時間が短縮します。 [環境設定]ダイアログボックスの[測色環境]シートで設定した時間が経過すると、それ以降、送風ファンによる乾燥は行わず、測色を続行します。 [環境設定]ダイアログボックスでは、自然乾燥で十分に乾燥する時間を設定してください。インクが乾いていない状態で測色を行うと、正しく測定されない場合があります。 [環境設定]ダイアログボックスは、[ファイル]メニューの[環境設定]をクリックすると表示されます。 パターンの数が少ないと、[環境設定]ダイアログボックスで設定した時間よりも短い時間で乾燥が終わります。この場合、[乾燥時間の短縮]チェックボックスをオンにしても乾燥時間は短縮されません。
[風量]	送風ファンの風量を選択します。
[自然乾燥]	カラーチャートが印刷されてから測色を開始するまでの時間を設定します。 [分割されたチャート毎に乾燥する]チェックボックスをオンにすると、分割したカラーチャートごとに印刷と自然乾燥を繰り返します。カラーチャートに傷や汚れがつきにくくなりますが、作業時間は長くなります。 [分割されたチャート毎に乾燥する]チェックボックスをオフにすると、一度にカラーチャートの印刷と自然乾燥を行います。作業時間が短くなりますが、カラーチャートと用紙の端部に傷や汚れがつく場合があります。ただし、測色結果には影響がありません。
[送風ファンの位置]	カールの強い用紙を使用する場合や乾きにくい用紙を使用する場合は、押圧板に用紙が接触しないよう、[高い]を選択してください。 ただし、[高い]を選択した場合は、送風ファンと用紙の距離が離れるため、[標準]を選択した場合に比べて、[時間]を長く設定したり[風量]を強く設定することをお勧めします。

8 [設定確認]ウィンドウが表示されます。設定内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [お気に入りに登録]ボタンをクリックすると、[お気に入りに登録]ダイアログボックスが表示され、設定内容をお気に入りに登録できます。

9 [測色データの出力]ダイアログボックスが表示されます。
測色データを保存するファイルを設定して[OK]ボタンをクリックします。

10 [測色データの取得]ダイアログボックスが表示されます。
[実行]ボタンをクリックします。

カラーチャートを印刷し、測色が開始します。

メモ

- [キャンセル]ボタンをクリックすると、測色データの取得を途中で終了できます。ただし、終了するまでに時間がかかることがあります。

11 [OK]ボタンをクリックします。

測色が完了すると、測色データがコンピュータに保存されます。

カラーチェックを実行する

カラーチェックを実行すると、内蔵パターンを印刷し、プリンタに登録されているキャリブレーションターゲットとの色差が算出され、チェック結果が表示されます。

メモ

- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。
- カラーチェックチェックの調整用パターンが印刷されるときには、操作パネルのメニューで[調整値有効設定]が[無効]に設定されていても、キャリブレーション調整値が適用されます。

カラーチェックのしきい値を設定する

1 カラーチェックを実行したいプリンタを[プリンタ]リストでダブルクリックします。

2 [プリンタ情報]ダイアログボックスで[カラーチェック]の[設定]ボタンをクリックします。

3 [ΔE]にカラーチェックのしきい値を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

プリンタを準備する

1 セットする用紙が、カラーチェックに使用できるか確認します。
カラーチェックに使用できる用紙は、測色ユニットによる[自動調整(高精度)]が実行できる用紙です。

2 用紙をセットします。
(「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481
(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483

メモ

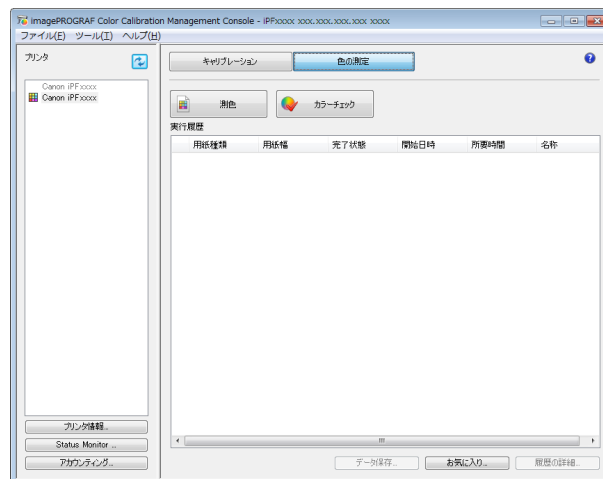
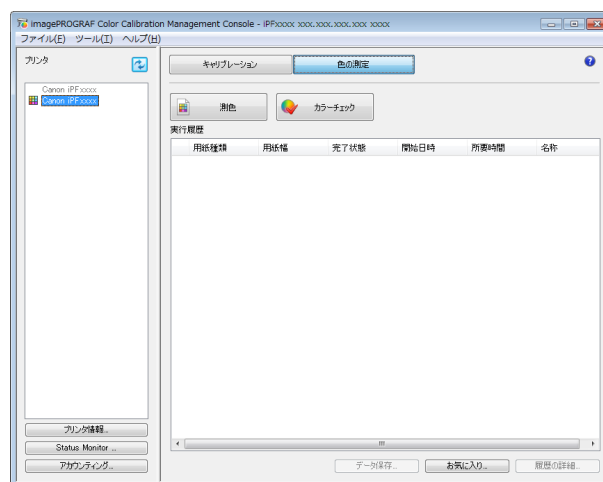
- お使いの用紙で一度も[画質調整]を実行したことがない場合は、操作パネルのメニューで[画質調整]を実行実行してください。
(「横スジを自動で調整する」参照) →P.735

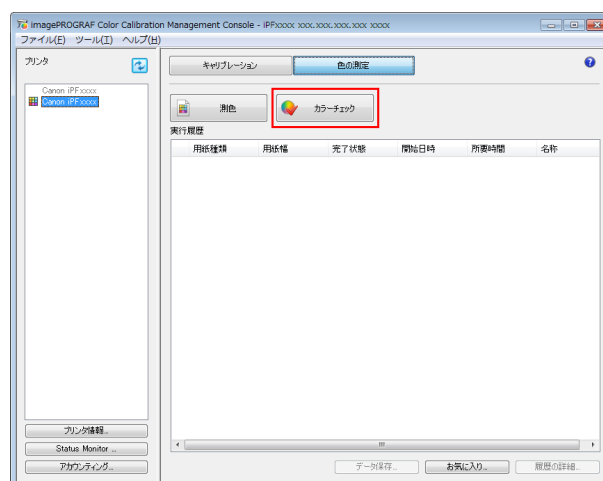
3 ホワイト/ブラックバッキングの色を選択します。

メモ

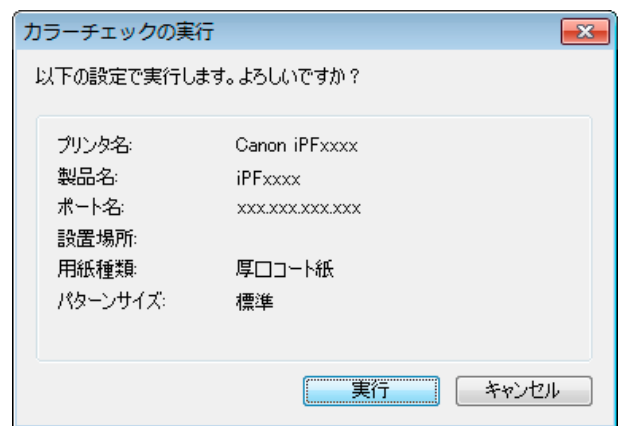
- ホワイト/ブラックバッキングの色は、測色ユニットでカラーキャリブレーションを実行したときの色を選択してください。
(「カラーキャリブレーションを実行する」参照) →P.772

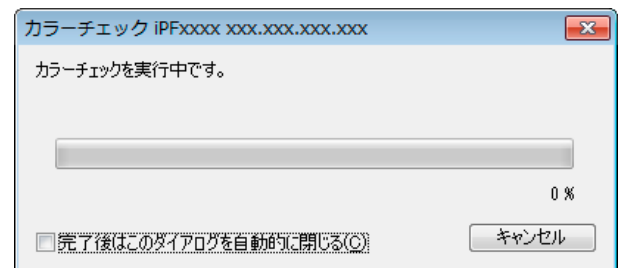
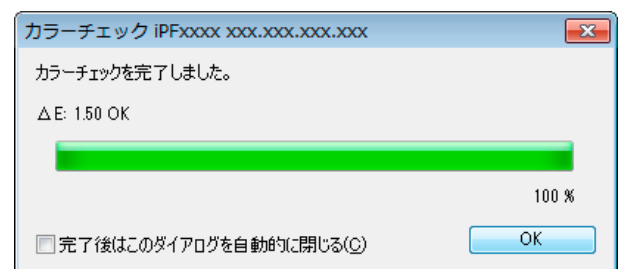
カラーチェックを実行する

1 [色の測定]シートを開きます。

2 カラーチェックを実行したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

3 [カラーチェック]ボタンをクリックします。

4
[カラーチェックの実行]ダイアログボックスが開きます。
[パターンサイズ]を選択します。
カラーチェックの精度を高くする場合は、カラーキャリブレーションで[自動調整(高精度)]を実行したときと同じ設定にすることをお勧めします。(「カラーキャリブレーションを実行する」参照) →P.772

5 [OK]ボタンをクリックします。

6 [カラーチェックの実行]ダイアログボックスが表示されますので、内容を確認します。

7 [実行]ボタンをクリックします。
カラーチェックが実行されます。

メモ
- [キャンセル]ボタンをクリックすると、カラーチェックを途中で終了できます。ただし、終了するまでに時間がかかることがあります。

8 判定結果を確認します。

メモ
- 結果がしきい値を超えていた場合は、カラーキャリブレーションの実行をお勧めします。(「カラーキャリブレーションを実行する」参照) →P.772

実行履歴をお気に入りに登録する

[測色データの取得]で、よく使用する実行履歴をお気に入りに登録できます。お気に入りに登録しておくと、個別の名称を付けて簡単に呼び出すことができます。

メモ
- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。
- お気に入りに登録できる実行履歴は30件までです。

1 メインウィンドウ([色の測定]シート)の[実行履歴]でお気に入りに登録する実行履歴を選択します。

2 [履歴の詳細]ボタンをクリックします。

3 [実行履歴の詳細]ダイアログボックスで[お気に入りに登録]ボタンをクリックします。

4 [名称]に名前を入力します。必要であれば、[コメント]にコメントを入力します。

5 [OK]ボタンをクリックします。

色の管理
Color Calibration Management Console (Windows)

実行履歴をお気に入りから削除する

[測色データの取得]の実行履歴をお気に入りから削除します。

メモ

- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

1 メインウィンドウ([色の測定]シート)で[お気に入り]ボタンをクリックします。

2 [お気に入り一覧]で削除したい実行履歴を選択し、[お気に入りの削除]ボタンをクリックします。

3 [OK]ボタンをクリックします。

実行履歴をコンピュータに保存する

[測色データの取得]の実行履歴をコンピュータに保存します。

メモ

- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

1 メインウィンドウ（[色の測定]シート）の[実行履歴]でコンピュータに保存する実行履歴を選択します。

2 [ツール]メニューから[実行履歴の CSV 出力]>[選択した履歴]を選択します。

メモ

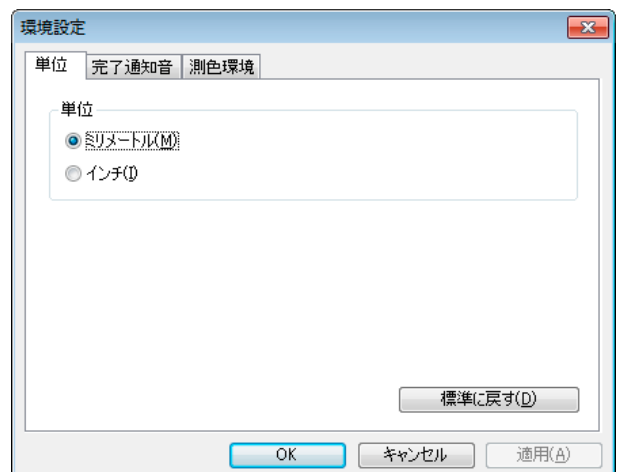
- すべての実行履歴を保存する場合は、[全ての履歴]を選択します。

3 ファイル名を入力して保存します。

表示単位を切り替える

Color Calibration Management Console に表示される単位をミリメートルまたはインチに切り替えます。

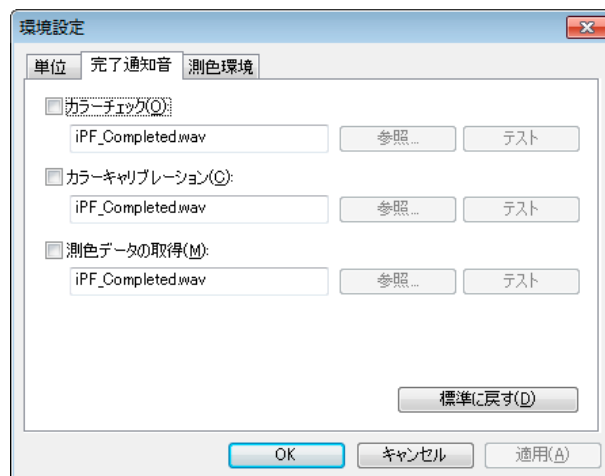
1 [ファイル]メニューから[環境設定]を選択します。

2 [環境設定]ダイアログボックスの[単位]シートで、表示単位を選択して[OK]ボタンをクリックします。

カラーキャリブレーションの完了を音で知らせる

カラーキャリブレーションが完了したことを音で知らせることができます。

1 [ファイル]メニューから[環境設定]を選択します。

2 [環境設定]ダイアログボックスの[完了通知音]シートで[カラーキャリブレーション]チェックボックスをオンにし、[参照]ボタンをクリックして音声ファイルを選択します。

メモ

- 選択した音声ファイルの音を確認したいときは、[テスト]ボタンをクリックします。

3 [OK]ボタンをクリックします。

Color Calibration Management Console (Mac OS X)

Color Calibration Management Console の特長 788
インストール手順 789
アンインストール手順 790
起動方法 792
メインウィンドウ 792
imagePROGRAF Color Calibration Management Console メニュー 794
ファイルメニュー 795
ツールメニュー(キャリブレーションシート表示時) 795
ツールメニュー(色の測定シート表示時) 796
プリンタリスト 797
キャリブレーションシート 798
色の測定シート 799
カラーキャリブレーション状況を確認する 800
カラーキャリブレーションを実行する 801
任意のカラーチャートの測色データを取得する 804
カラーチェックを実行する 809
実行履歴をお気に入りに登録する 813
実行履歴をお気に入りから削除する 813
実行履歴をコンピュータに保存する 814
表示単位を切り替える 815
カラーキャリブレーションの完了を音で知らせる 815

Color Calibration Management Console の特長

Color Calibration Management Console は、複数のプリンタに対して、カラーキャリブレーションの状況の把握やカラーキャリブレーションの実行ができるソフトウェアです。測色ユニットが搭載されているプリンタに対しては、測色データの取得や、カラーチェックが実行できます。

- カラーキャリブレーション状況の表示
- カラーキャリブレーションの実行
- 測色データの取得
- カラーチェックの実行

カラーキャリブレーション状況の表示

ネットワークや USB で接続されたプリンタが、メインウィンドウにリスト表示されます。
プリンタが複数台ある場合、同じ用紙種類でカラーキャリブレーションが実行されていて、その用紙がセットされているプリンタは、同じキャリブレーショングループに表示されます。同じキャリブレーショングループのプリンタは、カラーキャリブレーションを実行することで同じ色味に補正できます。
メインウィンドウからプリンタを選択すると、そのプリンタのカラーキャリブレーションの状況や実行履歴などが表示されます。
カラーキャリブレーション状況の確認方法は「カラーキャリブレーション状況を確認する」を参照してください。
→P.800

カラーキャリブレーションの実行

カラーキャリブレーションを実行できます。
カラーキャリブレーションを実行すると、プリンタの個体差や経年変化による色味のばらつきを補正できます。
カラーキャリブレーションの実行手順は、「カラーキャリブレーションを実行する」を参照してください。→P.801

メモ

- キヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙でカラーキャリブレーションを実行するには、その用紙のキャリブレーションターゲットが必要です。キャリブレーションターゲットの作成は、測色ユニット搭載プリンタで、測色ユニット対応プリンタに同梱されている Media Configuration Tool を使って作成することができます。

カラーチャートの測色データ取得

任意のカラーチャートを測色して、測色データをコンピュータに保存できます。このデータを市販の ICC プロファイル作成ソフトウェアに読み込むと、ICC プロファイルを作成できます。

測色データの取得手順は、「任意のカラーチャートの測色データを取得する」を参照してください。→P.804

メモ
- この機能は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

カラーチェックの実行

カラーチェックを実行できます。
カラーチェックを実行すると、内蔵パターンを印刷し、プリンタに登録されているキャリブレーションターゲットとの色差が算出され、チェック結果が表示されます。
カラーチェックは、プリンタの色状態を詳細に確認したいときに実行します。
カラーチェックの実行手順は、「カラーチェックを実行する」を参照してください。→P.809

メモ
- この機能は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

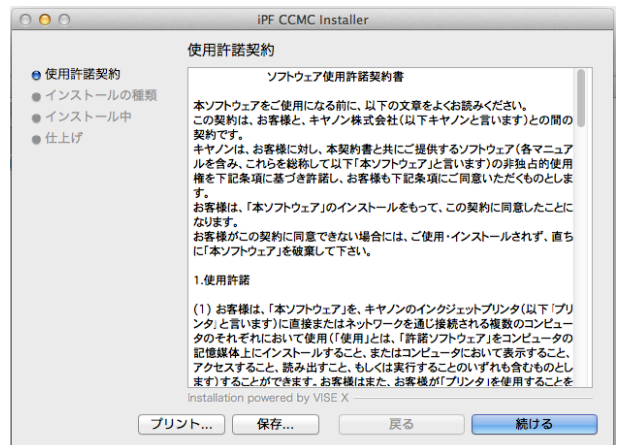
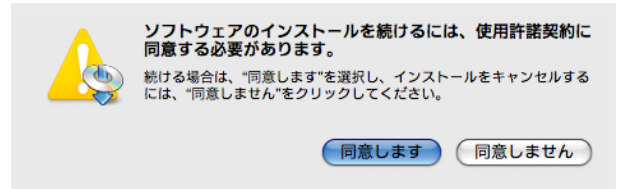
インストール手順

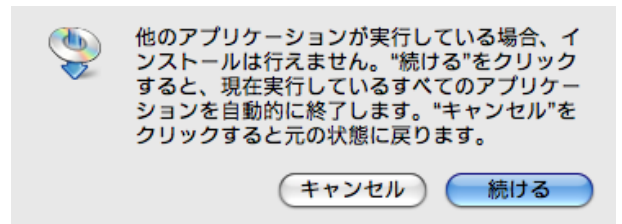
Color Calibration Management Console をインストールする手順は、以下のとおりです。

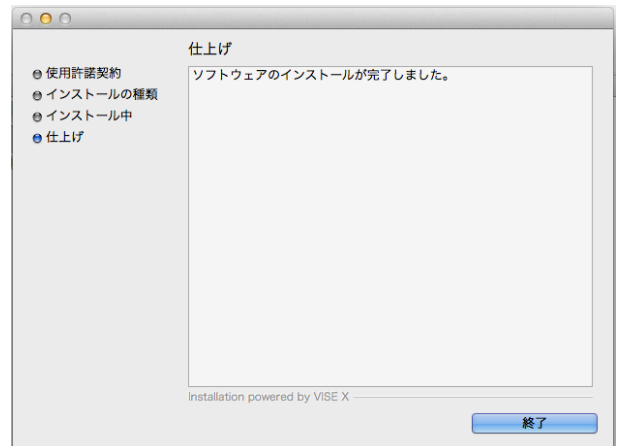
1 CD-ROM ドライブに、User Software CD-ROM を挿入します。

2 User Software CD-ROM 内の[CCMC]フォルダを開き、[iPF CCMC Installer]アイコンを開きます。(CCMC は Color Calibration Management Console の略称です。)

3 管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

4 ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、[続ける]ボタンをクリックします。

5 [同意します]ボタンをクリックします。

6 [インストール]ボタンをクリックします。

7 他のアプリケーションを終了するために、[続ける]ボタンをクリックします。

8 [終了]ボタンをクリックします。

Color Calibration Management Console のインストールが終了します。

アンインストール手順

Color Calibration Management Console をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

1 インストール手順の 1 から 5 を行います。

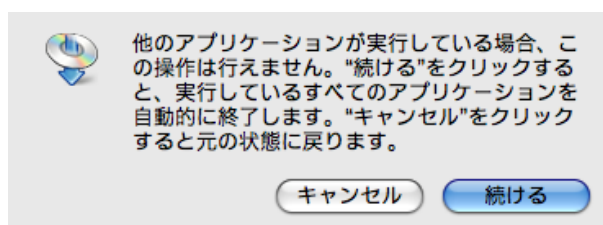
2 [アンインストール]を選択します。

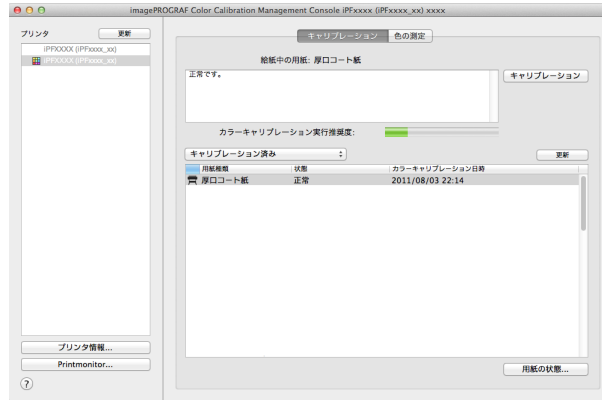
3 [アンインストール]ボタンをクリックします。

4 他のアプリケーションを終了するために、[続ける]ボタンをクリックします。

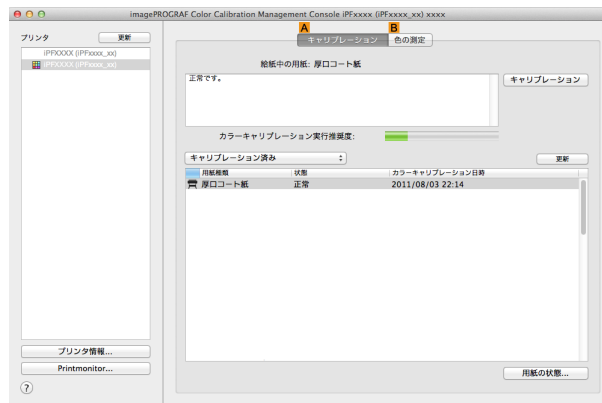
5 [終了]ボタンをクリックします。

色の管理

Color Calibration Management Console (Mac OS X)

起動方法

Color Calibration Management Console を起動する手順は、以下のとおりです。
[アプリケーション]>[Canon Utilities]>[imagePROGRAF CCMC]>[imagePROGRAF CCMC]アイコンをクリックします。(CCMC は Color Calibration Management Console の略称です。)
Color Calibration Management Console メインウィンドウが表示されます。

メインウィンドウ

Color Calibration Management Console のメインウィンドウは、メニューバー、タイトルバー、[プリンタ]リスト、[キャリブレーション]シート、[色の測定]シートで構成されています。
[キャリブレーション]シートと[色の測定]シートは、**A**[キャリブレーション]タブまたは **B**[色の測定]タブをクリックすると切り替わります。メニューバーの[ファイル]メニューから切り替えることもできます。

imagePROGRAF Color Calibration Management Console　ファイル　ツール　ウインドウ　ヘルプ

- メニューバー

  操作に必要なメニューを選択できます。

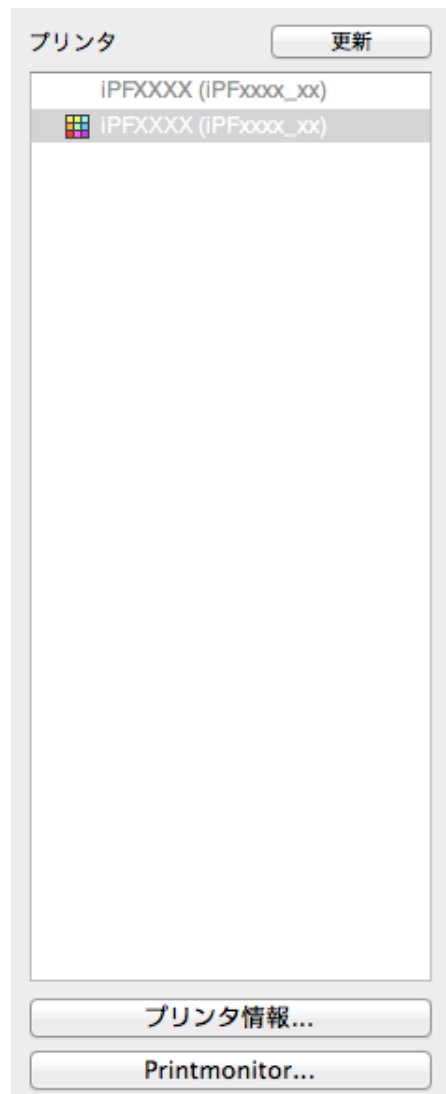
  imagePROGRAF Color Calibration Management Console　ファイル　ツール　ウインドウ　ヘルプ

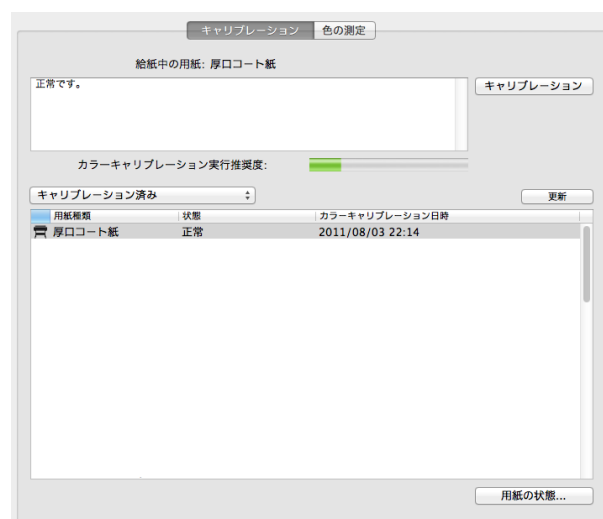
  各メニューの詳細については、以下を参照してください。

  - imagePROGRAF Color Calibration Management Console メニュー →P.794
  - ファイルメニュー →P.795
  - ツールメニュー(キャリブレーションシート表示時) →P.795
  - ツールメニュー(色の測定シート表示時) →P.796

  [ウインドウ]メニューで、Color Calibration Management Console の表示と非表示を切り替えることができます。
  [ヘルプ]メニューの[imagePROGRAF Color Calibration Management Console ヘルプ]をクリックすると、Color Calibration Management Console のヘルプが表示されます。

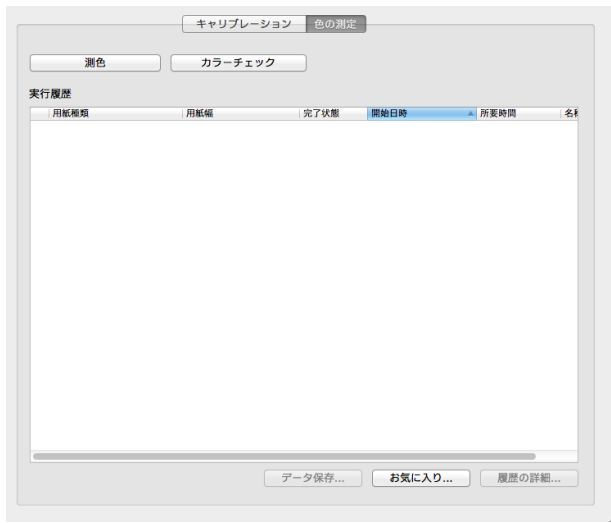
• [プリンタ]リスト

操作可能なプリンタが表示されます。詳細については、「プリンタリスト」を参照してください。→P.797

• [キャリブレーション]シート

カラーキャリブレーションを実行できます。詳細については、「キャリブレーションシート」を参照してください。→P.798

- [色の測定]シート

  カラーチャートの測色データを取得したり、カラーチェックを実行できます。詳細については、「色の測定シート」を参照してください。→P.799

メモ

- 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。

imagePROGRAF Color Calibration Management Console メニュー

[imagePROGRAF Color Calibration Management Console]メニューの各項目について説明します。

- [imagePROGRAF Color Calibration Management Console について]

  [バージョン情報]ダイアログボックスが表示され、Color Calibration Management Console のバージョンが確認できます。

- [環境設定]

  [環境設定]ダイアログボックスを表示します。

  Color Calibration Management Console に表示される単位を切り替えたり、カラーキャリブレーション、測色データの取得またはカラーチェックの実行が完了したときに音を鳴らす設定などができます。

- [サービス]

  Color Calibration Management Console を使用しているときに、別のアプリケーションの機能を使用できます。詳細については Mac OS X のヘルプを参照してください。

- [image Color Calibration Management Console を隠す]/[ほかを隠す]/[すべてを表示]

  ウィンドウの表示と非表示を切り替えます。

- [imagePROGRAF Color Calibration Management Console を終了]

  Color Calibration Management Console を終了します。

ファイルメニュー

[ファイル]メニューの各項目について説明します。

- [キャリブレーション] / [色の測定]

  メインウィンドウのシートを選択します。

- [プリンタリスト更新]

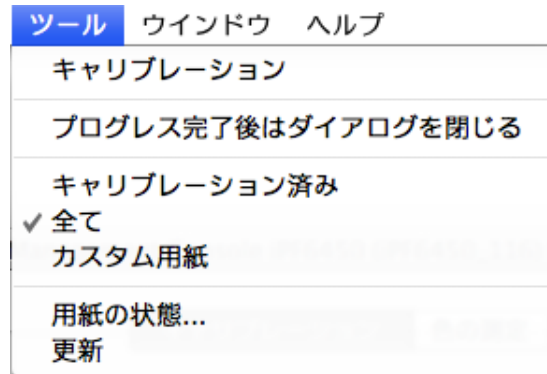
  メインウィンドウの左側にある[プリンタ]リストが最新の状態になります。

- [プリンタ情報]

  [プリンタ]リストで選択したプリンタの[プリンタ情報]ダイアログボックスを表示します。
  プリンタの詳細情報を確認できます。

- [Printmonitor]

  [プリンタ]リストで選択したプリンタの imagePROGRAF Printmonitor が起動し、印刷ジョブの状態などを確認できます。
  Printmonitor の詳細については、「imagePROGRAF Printmonitor の特長」を参照してください。 →P.674

ツールメニュー(キャリブレーションシート表示時)

メインウィンドウに[キャリブレーション]シートが表示されているときの[ツール]メニューの各項目について説明します。

- [キャリブレーション]

  [カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスを表示します。
  選択したプリンタのカラーキャリブレーションを実行できます。
  カラーキャリブレーションを実行する手順は、「カラーキャリブレーションを実行する」を参照してください。
  →P.801

- [プログレス完了後はダイアログを閉じる]

  カラーキャリブレーション終了時に、プログレスダイアログボックスを自動的に閉じるか閉じないかを切り替えます。
  チェックマークが付いているときは、プログレスダイアログボックスが自動的に閉じます。

- [キャリブレーション済み]/[全て]/[カスタム用紙]

  メインウィンドウ([キャリブレーション]シート)の用紙リストに表示する用紙種類を選択します。

- [用紙の状態]

  [用紙の状態]ダイアログボックスを表示します。
  選択した用紙のカラーキャリブレーションやカラーチェックの実行履歴が確認できます。

- [更新]

  メインウィンドウの用紙リストを最新の状態にします。

ツールメニュー(色の測定シート表示時)

メインウィンドウに[色の測定]シートが表示されているときの[ツール]メニューの各項目について説明します。

メモ

- 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。

ツール　ウインドウ　ヘルプ
測色データの取得
カラーチェック
✓手順説明ウィンドウの表示
プログレス完了後はダイアログを閉じる
お気に入り...
履歴の詳細...
データ保存...
実行履歴のCSV出力 ▶

- [測色データの取得]

  手順説明ウィンドウまたは[実行履歴の選択]ウィンドウを表示します。
  選択したプリンタでカラーチャートを測色し、測色データを取得できます。
  測色データの取得を実行する手順は、「任意のカラーチャートの測色データを取得する」を参照してください。 →P.804

- [カラーチェック]

  [カラーチェックの実行]ダイアログボックスを表示します。
  選択したプリンタのカラーチェックを実行できます。
  カラーチェックを実行する手順は、「カラーチェックを実行する」を参照してください。 →P.809

- [手順説明ウィンドウの表示]

  [測色データの取得]を実行するときに、手順説明ウィンドウを表示するかしないかを切り替えます。
  チェックマークが付いているときは、手順説明ウィンドウが表示されます。

- [プログレス完了後はダイアログを閉じる]

  [カラーチェック]または[測色データの取得]終了時に、プログレスダイアログボックスを自動的に閉じるか閉じないかを切り替えます。
  チェックマークが付いているときは、プログレスダイアログボックスが自動的に閉じます。

- [お気に入り]

  [お気に入りの管理]ダイアログボックスを表示します。
  お気に入りに登録されている実行履歴が確認できます。

- [履歴の詳細]

  [実行履歴の詳細]ダイアログボックスを表示します。
  メインウィンドウの[実行履歴]で選択している実行履歴の詳細が確認できます。

- [データ保存]

  [測色データの出力]ダイアログボックスを表示します。
  メインウィンドウの[実行履歴]で選択している実行履歴の測色データをコンピュータに保存します。

メモ

- 実行履歴を複数選択している場合、このメニューは選択できません。

- ［実行履歴の CSV 出力］

  ［選択した履歴］を選択すると、メインウィンドウの［実行履歴］で選択している実行履歴を CSV 形式のファイルでコンピュータに保存します。
  ［全ての履歴］を選択すると、メインウィンドウの［実行履歴］に表示されているすべての実行履歴を CSV 形式のファイルでコンピュータに保存します。

プリンタリスト

［プリンタ］リストに表示されるプリンタは、ネットワークや USB で接続された以下の条件を満たすプリンタです。ただし、サーバー経由で接続しているプリンタは表示されません。

- Color Calibration Management Console に対応したプリンタ
- プリンタドライバがインストールされているプリンタ

- ［プリンタ］

  給紙中の用紙でカラーキャリブレーションが実行されている場合、同じ用紙が給紙されているプリンタは、［キャリブレーショングループ］配下に表示されます。

  カラーキャリブレーションに関するメッセージがあるプリンタには が表示されます。

  測色ユニットを搭載したプリンタには が表示されます。

  プリンタ名をダブルクリックすると、［プリンタ情報］ダイアログボックスが表示され、プリンタの詳細情報を確認できます。

メモ

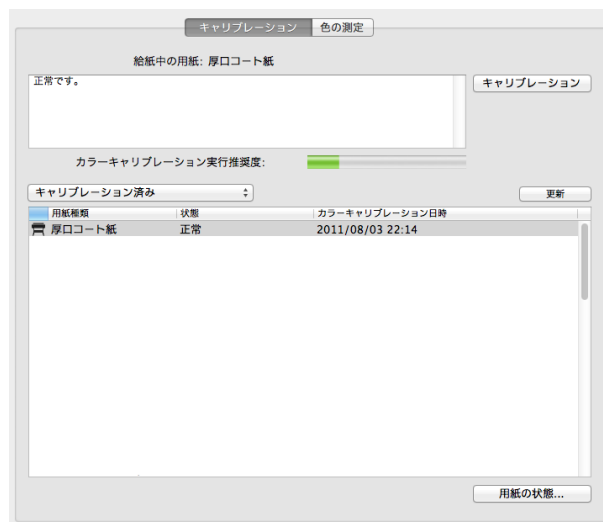
- Color Calibration Management Console が起動中には、プリンタの追加、プリンタの削除、プリンタ名変更は、[プリンタ]リストに反映されません。[プリンタ]リストに反映したい場合は、Color Calibration Management Console を終了し、再度起動してください。

- [更新]ボタン
  このボタンをクリックすると、[プリンタ]リストが最新の状態になります。

- [プリンタ情報]ボタン
  このボタンをクリックすると、選択したプリンタの[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示され、プリンタの詳細情報を確認できます。

- [Printmonitor]ボタン
  このボタンをクリックすると、選択したプリンタの imagePROGRAF Printmonitor が起動し、印刷ジョブの状態などを確認できます。
  Printmonitor の詳細については、「imagePROGRAF Printmonitor の特長」を参照してください。 →P.674

キャリブレーションシート

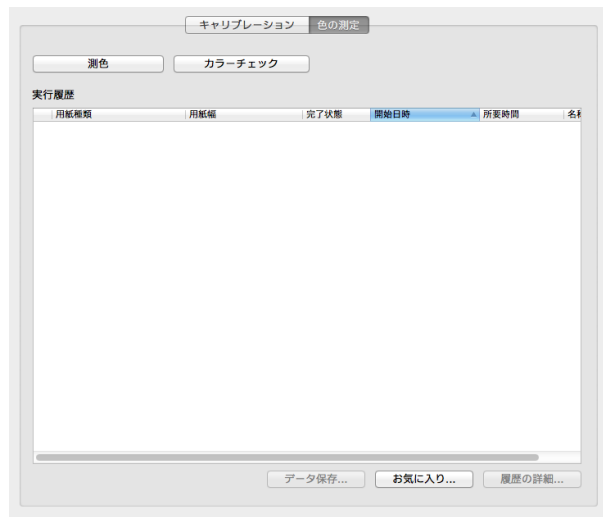
[プリンタ]リストで選択したプリンタのカラーキャリブレーションを実行したり、カラーキャリブレーションの状態を確認できます。

- [給紙中の用紙]
  プリンタに給紙されている用紙の種類が表示されます。
- [キャリブレーション]ボタン
  このボタンをクリックすると、[カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスが表示されます。
  選択したプリンタのカラーキャリブレーションを実行できます。
  カラーキャリブレーションを実行する手順は、「カラーキャリブレーションを実行する」を参照してください。
  →P.801
- [カラーキャリブレーション実行推奨度]
  カラーキャリブレーションの実行をお勧めするまでの状態が表示されます。実行をお勧めする時期までプログレスバーが増加していきます。
- [用紙の状態]ボタン
  このボタンをクリックすると、[用紙の状態]ダイアログボックスが表示されます。
  選択した用紙のカラーキャリブレーションやカラーチェックの実行履歴が確認できます。

用紙ごとのカラーキャリブレーション状況

[更新]ボタンをクリックすると、リストが最新の状態になります。プリンタに給紙中の用紙には が表示されます。
リストに表示される用紙種類は次のとおりです。

- [キャリブレーション済み]選択時
  プリンタに登録され、カラーキャリブレーションが実行されている用紙種類が表示されます。
- [全て]選択時
  プリンタに登録されている用紙種類が表示されます。
- [カスタム用紙]選択時
  プリンタに登録されているキヤノン純正紙/出力確認紙以外の用紙種類が表示されます。

色の測定シート

測色ユニットを使って色の測定ができます。

- [測色]ボタン
  このボタンをクリックすると、手順説明ウィンドウまたは[実行履歴の選択]ウィンドウが表示されます。
  選択したプリンタでカラーチャートを測色し、測色データを取得できます。
  測色データの取得を実行する手順は、「任意のカラーチャートの測色データを取得する」を参照してください。
  →P.804
- [カラーチェック]ボタン
  このボタンをクリックすると、[カラーチェックの実行]ダイアログボックスが表示されます。

選択したプリンタのカラーチェックを実行できます。
カラーチェックを実行する手順は、「カラーチェックを実行する」を参照してください。→P.809

- [実行履歴]

測色データを取得した実行履歴が表示されます。
給紙中の用紙には が表示されます。
[名称]には、お気に入りで登録した名称が表示されます。

- [データ保存]ボタン

このボタンをクリックすると、[測色データの出力]ダイアログボックスが表示されます。
選択されている実行履歴の測色データをコンピュータに保存します。

- [お気に入り]ボタン

このボタンをクリックすると、[お気に入りの管理]ダイアログボックスが表示されます。
お気に入りに登録されている実行履歴が確認できます。

- [履歴の詳細]ボタン

このボタンをクリックすると、[実行履歴の詳細]ダイアログボックスが表示されます。
選択されている実行履歴の詳細が確認できます。

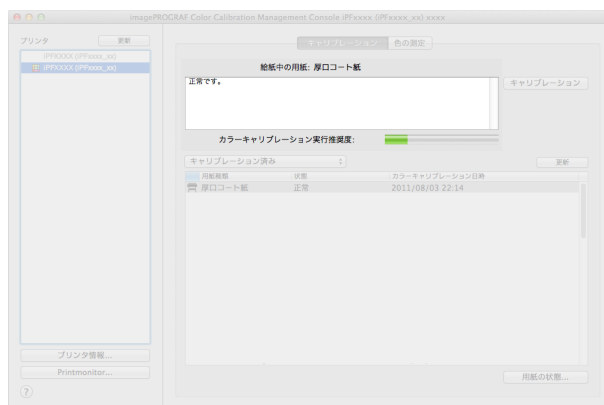
カラーキャリブレーション状況を確認する

カラーキャリブレーションの状況や実行履歴は、メインウィンドウの[キャリブレーション]シートで確認できます。

1 [キャリブレーション]シートを開きます。

2 カラーキャリブレーション状況を確認したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

メモ
- プリンタが複数台ある場合、同じ用紙種類がセットされていて、その用紙でカラーキャリブレーションが実行されているプリンタは、同じキャリブレーショングループに表示されます。

3 [キャリブレーション]シートの上部で、給紙中の用紙のカラーキャリブレーション状況を確認します。

4 [キャリブレーション済み]を選択し、[更新]ボタンをクリックします。

5 [キャリブレーション]シートの下部で、カラーキャリブレーション履歴を確認します。

カラーキャリブレーションを実行する

カラーキャリブレーションを実行する手順は以下のとおりです。

プリンタを準備する

1 セットする用紙が、カラーキャリブレーションに使用できるか確認します。
(「カラーキャリブレーションに使用できる用紙」参照) →P.753

2 用紙をセットします。
(「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481
(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483
(「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505

メモ

- [自動調整(高精度)]を実行するときに、お使いの用紙で一度も[画質調整]を実行したことがない場合は、操作パネルのメニューで[画質調整]を実行してください。
(「横スジを自動で調整する」参照) →P.735

3 測色ユニットが搭載されている場合は、ホワイト/ブラックバッキングの色を選択します。
白を選択することをお勧めします。

メモ

- ホワイト/ブラックバッキングの色は、カラーキャリブレーションを実行するごとに変更せず、選択した色を使い続けてください。

カラーキャリブレーションを実行する

1 [キャリブレーション]シートを開きます。

2 カラーキャリブレーションを実行したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

3 [キャリブレーション]ボタンをクリックします。

4 [カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスが開きます。

- [カラーキャリブレーションの種類]

[自動調整(高精度)]を選択すると測色ユニットを使ったカラーキャリブレーションが実行され、[自動調整]を選択するとプリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーションが実行されます。

メモ
- 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。

- [パターンサイズ]

[カラーキャリブレーションの種類]で[自動調整(高精度)]を選択した場合に設定できます。
測色精度を優先したい場合は、[大きい]を選択することをお勧めします。

メモ
- 測色ユニット搭載プリンタ選択時に有効です。

5 [OK]ボタンをクリックします。

6 [カラーキャリブレーションの実行]ダイアログボックスが表示されますので、内容を確認します。

7 [実行]ボタンをクリックします。
カラーキャリブレーションが実行されます。

メモ
- [キャンセル]ボタンをクリックすると、カラーキャリブレーションを途中で終了できます。ただし、終了するまでに時間がかかることがあります。

8 [OK]ボタンをクリックします。

任意のカラーチャートの測色データを取得する

任意のカラーチャートを印刷して測色し、測色データをコンピュータに保存する手順は以下のとおりです。
コンピュータに保存した測色データは、ICC プロファイルの作成などに使用します。ICC プロファイルの作成は市販のソフトウェアで行います。
作成した ICC プロファイルは、プリンタドライバで使用できます。（「マッチングパネル」参照） →P.337

メモ
- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

プリンタを準備する

1 セットする用紙が、測色データの取得に使用できるか確認します。

2 用紙をセットします。
（「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照） →P.481
（「ロール紙をプリンタにセットする」参照） →P.483

メモ
- お使いの用紙で一度も[画質調整]を実行したことがない場合は、操作パネルのメニューで[画質調整]を実行してください。
（「横スジを自動で調整する」参照） →P.735

3 ホワイト/ブラックバッキングの色を選択します。

測色データの取得を実行する

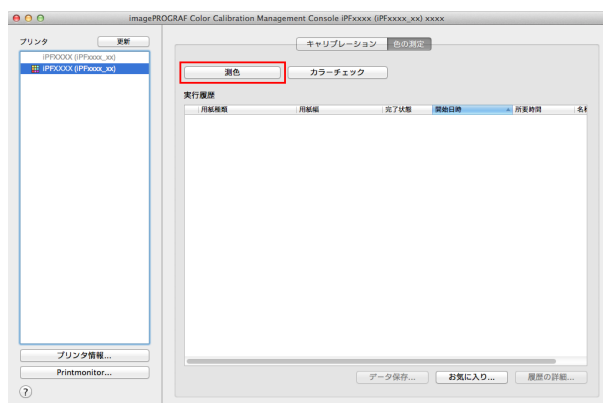
1 [色の測定]シートを開きます。

2 カラーチャートを測色したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

3 [測色]ボタンをクリックします。

4 手順説明ウィンドウでカラーチャートの測色手順を確認して[開始]をクリックします。

5 ［お気に入り］で［新規］を選択して［次へ］をクリックします。

メモ

- 以前実行したときの設定値でカラーチャートの測色を行う場合は、［お気に入り］シートまたは［履歴］シートで実行履歴を選択します。

6 カラーチャートを選択してカラーチャートの印刷設定を行い、［次へ］をクリックします。

設定項目	内容
［チャート］	印刷するカラーチャートを選択します。印刷するカラーチャートがリストに表示されないときは、［参照］ボタンをクリックして選択します。 選択できるカラーチャートは CGATS 形式の RGB のみです。
［ロール紙幅］	［情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタに装着されているロール紙の幅が表示されます。
［用紙節約あり］	チェックボックスをオンにすると、カラーチャートが分割して印刷される場合に、カラーチャートの間隔が狭くなり、用紙を節約できます。
［用紙種類］	用紙の種類を選択します。
［優先画質］	印刷結果において、特に重視する要素を選択します。 設定する項目の詳細は、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」を参照してください。 →P.57
［印刷品質］	印刷品質を選択します。 設定する項目の詳細は、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」を参照してください。 →P.57
［プリントパスを拡張する］	［印刷品質］で［最高］を選択して印刷した場合、印刷ムラが発生することがあります。チェックボックスをオンにすると、印刷ムラが改善されることがあります。ただし、印刷速度が遅くなります。
［給紙方法］	用紙の給紙方法を選択します。
［オートカット］	［測色データの取得］完了時に用紙をどのようにカットするかを選択します。
［ラベル印刷あり］	チェックボックスをオンにすると、カラーチャートの印刷情報が印刷されます。

測色設定と乾燥設定を行い、[次へ]をクリックします。

設定項目	内容
[測色環境設定]	印刷するカラーチャートのパターンサイズと印刷したカラーチャートの乾燥設定を行います。 [標準]を選択すると、標準的なパターンサイズで印刷し、標準的な設定値で乾燥を行います。 [設定]ボタンをクリックして[測色環境設定]ダイアログボックスを表示すると、パターンサイズと乾燥方法を詳細に設定できます。
[乾燥時間の短縮]	チェックボックスをオンにすると、乾燥時間が短縮します。 [環境設定]ダイアログボックスの[測色環境]シートで設定した時間が経過すると、それ以降、送風ファンによる乾燥は行わず、測色を続行します。 [環境設定]ダイアログボックスでは、自然乾燥で十分に乾燥する時間を設定してください。インクが乾いていない状態で測色を行うと、正しく測定されない場合があります。 [環境設定]ダイアログボックスは、[imagePROGRAF Color Calibration Management Console]メニューの[環境設定]をクリックすると表示されます。 パターンの数が少ないと、[環境設定]ダイアログボックスで設定した時間よりも短い時間で乾燥が終わります。この場合、[乾燥時間の短縮]チェックボックスをオンにしても乾燥時間は短縮されません。
[光源]	光源を[D50]、[D65]、[A]から選択します。
[視野角]	視野角を選択します。
[UV カット]	UV カットのあり、なしを選択します。
[測色値]	チェックボックスがオンの測色値で測色データを保存します。 [Lab]チェックボックスはオフにできません。

メモ

- カラーチャートのパターンを大きくしたり、カラーチャートの乾燥設定を詳細に行いたいときは、[設定]ボタンをクリックして[測色環境設定]ダイアログボックスを表示します。

設定項目	内容
[パターンサイズ]	カラーチャートのパターンサイズを選択します。 測色精度を優先したい場合は、[大きい]を選択することをお勧めします。
[乾燥方法]	送風ファンを使って乾燥するときは[送風ファン]、送風ファンを使わないで乾燥するときは[自然乾燥]を選びます。
[送風ファン]	送風ファンによる乾燥時間と風量を設定します。
[時間]	パターンごとに送風ファンによって乾燥する時間を設定します。

設定項目	内容
[時間]	[パターンサイズ]で選択したサイズによって、送風ファンで一度に乾燥する行数がかわります。 時間を増やすと、インクの定着が良くなり、色味が安定します。
[乾燥時間の短縮]	チェックボックスをオンにすると、乾燥時間が短縮します。 [環境設定]ダイアログボックスの[測色環境]シートで設定した時間が経過すると、それ以降、送風ファンによる乾燥は行わず、測色を続行します。 [環境設定]ダイアログボックスでは、自然乾燥で十分に乾燥する時間を設定してください。インクが乾いていない状態で測色を行うと、正しく測定されない場合があります。 [環境設定]ダイアログボックスは、[imagePROGRAF Color Calibration Management Console]メニューの[環境設定]をクリックすると表示されます。 パターンの数が少ないと、[環境設定]ダイアログボックスで設定した時間よりも短い時間で乾燥が終わります。この場合、[乾燥時間の短縮]チェックボックスをオンにしても乾燥時間は短縮されません。
[風量]	送風ファンの風量を選択します。
[自然乾燥]	カラーチャートが印刷されてから測色を開始するまでの時間を設定します。 [分割されたチャート毎に乾燥する]チェックボックスをオンにすると、分割したカラーチャートごとに印刷と自然乾燥を繰り返します。カラーチャートに傷や汚れがつきにくくなりますが、作業時間は長くなります。 [分割されたチャート毎に乾燥する]チェックボックスをオフにすると、一度にカラーチャートの印刷と自然乾燥を行います。作業時間が短くなりますが、カラーチャートと用紙の端部に傷や汚れがつく場合があります。ただし、測色結果には影響がありません。
[送風ファンの位置]	カールの強い用紙を使用する場合や乾きにくい用紙を使用する場合は、押圧板に用紙が接触しないよう、[高い]を選択してください。 ただし、[高い]を選択した場合は、送風ファンと用紙の距離が離れるため、[標準]を選択した場合に比べて、[時間]を長く設定したり[風量]を強く設定することをお勧めします。

8 [設定確認]ウィンドウが表示されます。設定内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [お気に入りに登録]ボタンをクリックすると、[お気に入りに登録]ダイアログボックスが表示され、設定内容をお気に入りに登録できます。

9 [測色データの出力]ダイアログボックスが表示されます。
測色データを保存するファイルを設定して[OK]ボタンをクリックします。

10 [測色データの取得]ダイアログボックスが表示されます。
[実行]ボタンをクリックします。

カラーチャートを印刷し、測色が開始します。

メモ
- [キャンセル]ボタンをクリックすると、測色データの取得を途中で終了できます。ただし、終了するまでに時間がかかることがあります。

11 [OK]ボタンをクリックします。

測色が完了すると、測色データがコンピュータに保存されます。

カラーチェックを実行する

カラーチェックを実行すると、内蔵パターンを印刷し、プリンタに登録されているキャリブレーションターゲットとの色差が算出され、チェック結果が表示されます。

メモ
- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。
- カラーチェックチェックの調整用パターンが印刷されるときには、操作パネルのメニューで[調整値有効設定]が[無効]に設定されていても、キャリブレーション調整値が適用されます。

カラーチェックのしきい値を設定する

1 カラーチェックを実行したいプリンタを[プリンタ]リストでダブルクリックします。

2 [プリンタ情報]ダイアログボックスで[カラーチェック]の[設定]ボタンをクリックします。

3 [ΔE]にカラーチェックのしきい値を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

プリンタを準備する

1 セットする用紙が、カラーチェックに使用できるか確認します。
カラーチェックに使用できる用紙は、測色ユニットによる[自動調整(高精度)]が実行できる用紙です。

2 用紙をセットします。
(「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481
(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483

メモ

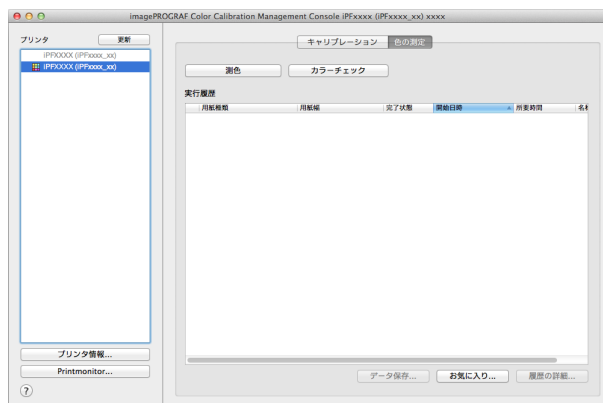
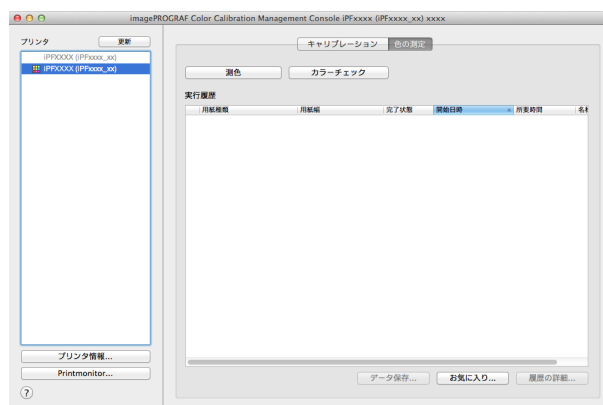
- お使いの用紙で一度も[画質調整]を実行したことがない場合は、操作パネルのメニューで[画質調整]を実行実行してください。
(「横スジを自動で調整する」参照) →P.735

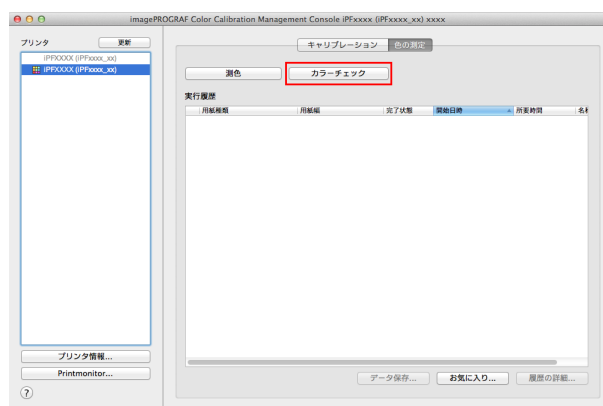
3 ホワイト/ブラックバッキングの色を選択します。

メモ

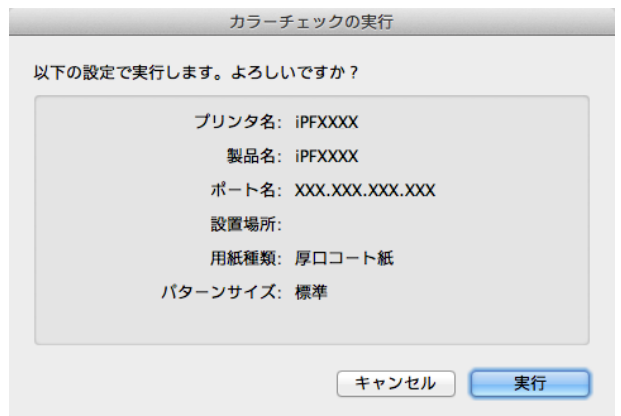
- ホワイト/ブラックバッキングの色は、測色ユニットでカラーキャリブレーションを実行したときの色を選択してください。
(「カラーキャリブレーションを実行する」参照) →P.801

カラーチェックを実行する

1 [色の測定]シートを開きます。

2 カラーチェックを実行したいプリンタを[プリンタ]リストから選択します。

3 [カラーチェック]ボタンをクリックします。

4 [カラーチェックの実行]ダイアログボックスが開きます。
[パターンサイズ]を選択します。
カラーチェックの精度を高くする場合は、カラーキャリブレーションで[自動調整(高精度)]を実行したときと同じ設定にすることをお勧めします。(「カラーキャリブレーションを実行する」参照) →P.801

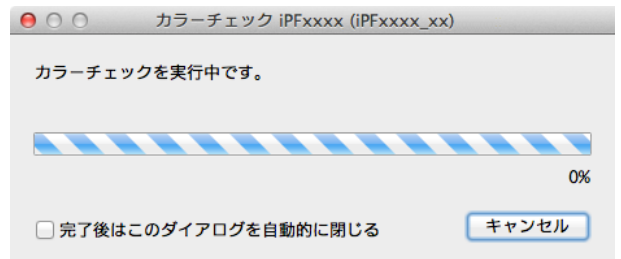
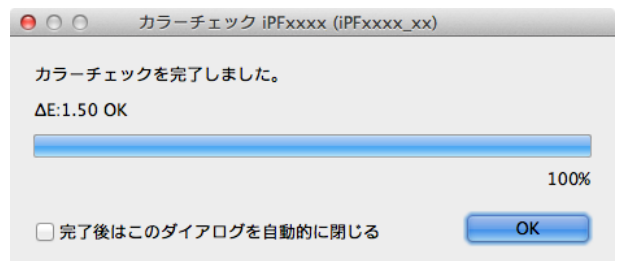
5 [OK]ボタンをクリックします。

6 [カラーチェックの実行]ダイアログボックスが表示されますので、内容を確認します。

7 [実行]ボタンをクリックします。
カラーチェックが実行されます。

メモ

- [キャンセル]ボタンをクリックすると、カラーチェックを途中で終了できます。ただし、終了するまでに時間がかかることがあります。

8 判定結果を確認します。

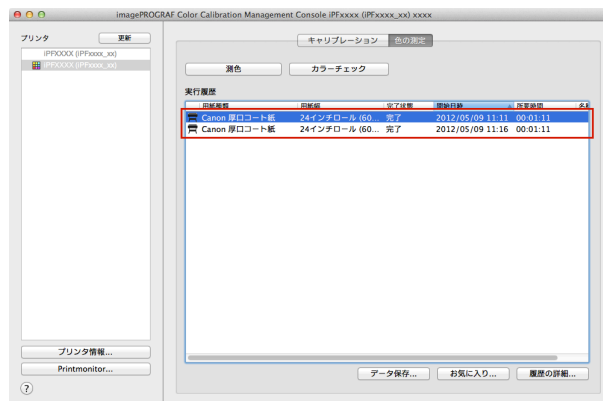
メモ

- 結果がしきい値を超えていた場合は、カラーキャリブレーションの実行をお勧めします。
(「カラーキャリブレーションを実行する」参照) →P.801

実行履歴をお気に入りに登録する

[測色データの取得]で、よく使用する実行履歴をお気に入りに登録できます。お気に入りに登録しておくと、個別の名称を付けて簡単に呼び出すことができます。

メモ

- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。
- お気に入りに登録できる実行履歴は 30 件までです。

1 メインウィンドウ([色の測定]シート)の[実行履歴]でお気に入りに登録する実行履歴を選択します。

2 [履歴の詳細]ボタンをクリックします。

3 [実行履歴の詳細]ダイアログボックスで[お気に入りに登録]ボタンをクリックします。

4 [名称]に名前を入力します。必要であれば、[コメント]にコメントを入力します。

5 [OK]ボタンをクリックします。

実行履歴をお気に入りから削除する

[測色データの取得]の実行履歴をお気に入りから削除します。

メモ

- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

1 メインウィンドウ([色の測定]シート)で[お気に入り]ボタンをクリックします。

2 [お気に入り一覧]で削除したい実行履歴を選択し、[お気に入りの削除]ボタンをクリックします。

3 [OK]ボタンをクリックします。

実行履歴をコンピュータに保存する

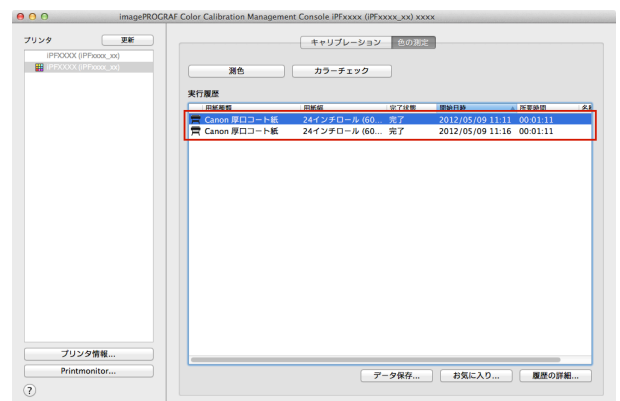
[測色データの取得]の実行履歴をコンピュータに保存します。

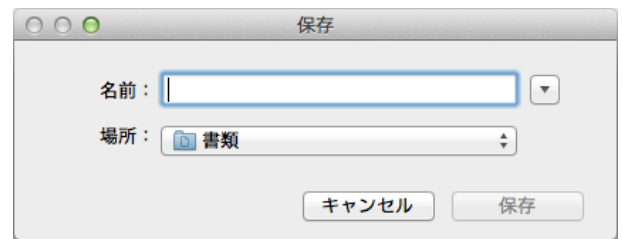
メモ

- この手順は、測色ユニット搭載プリンタ選択時に実行できます。

1 メインウィンドウ([色の測定]シート)の[実行履歴]でコンピュータに保存する実行履歴を選択します。

2 [ツール]メニューから[実行履歴の CSV 出力]>[選択した履歴]を選択します。

メモ

- すべての実行履歴を保存する場合は、[全ての履歴]を選択します。

3 ファイル名を入力して保存します。

表示単位を切り替える

Color Calibration Management Console に表示される単位をミリメートルまたはインチに切り替えます。

1 [imagePROGRAF Color Calibration Management Console]メニューから[環境設定]を選択します。

2 [環境設定]ダイアログボックスの[単位]シートで、表示単位を選択して ボタンをクリックします。

カラーキャリブレーションの完了を音で知らせる

カラーキャリブレーションが完了したことを音で知らせることができます。

1 [imagePROGRAF Color Calibration Management Console]メニューから[環境設定]を選択します。

2 [環境設定]ダイアログボックスの[完了通知音]シートで[カラーキャリブレーション]チェックボックスをオンにし、[参照]ボタンをクリックして音声ファイルを選択します。

メモ

- 選択した音声ファイルの音を確認したいときは、[テスト]ボタンをクリックします。

3 ボタンをクリックします。

インクタンク

インクタンク 818
インクタンクを交換する 818
インクタンクの残量を確認する 828
インクタンクの交換時期について 828

インクタンク

購入の際は、型番をご確認ください。

形状	色	型番	インクタイプ	容量
	マットブラック	PFI-306 MBK	顔料インク	330 ml
	ブラック	PFI-306 BK		
	シアン	PFI-306 C		
	マゼンタ	PFI-306 M		
	イエロー	PFI-306 Y		
	フォトシアン	PFI-306 PC		
	フォトマゼンタ	PFI-306 PM		
	レッド	PFI-306 R		
	グリーン	PFI-306 G		
	ブルー	PFI-306 B		
	グレー	PFI-306 GY		
	フォトグレー	PFI-306 PGY		

形状	色	型番	インクタイプ	容量
	マットブラック	PFI-706 MBK	顔料インク	700 ml
	ブラック	PFI-706 BK		
	シアン	PFI-706 C		
	マゼンタ	PFI-706 M		
	イエロー	PFI-706 Y		
	フォトシアン	PFI-706 PC		
	フォトマゼンタ	PFI-706 PM		
	レッド	PFI-706 R		
	グリーン	PFI-706 G		
	ブルー	PFI-706 B		
	グレー	PFI-706 GY		
	フォトグレー	PFI-706 PGY		

メモ

- インクタンクの交換方法については、「インクタンクを交換する」を参照してください。 →P.818
- プリンタに同梱のスターターインクタンクは各色 330 ml です。
- キヤノンでは対象製品毎に製品安全データシート（MSDS）を用意しており、ホームページ上 → http://canon.jp/ecology で公開しています。MSDS とは Material Safety Data Sheet の略で、日本語では製品安全データシートと呼ばれています。化学製品を安全かつ適切に取扱っていただくために、製品に含まれる物質名やその危険有害性情報、取扱い上の注意、環境への影響などに関する情報を記載した資料です。

インクタンクを交換する

対応しているインクタンク

プリンタに対応しているインクタンクについては、「インクタンク」を参照してください。 →P.818
330ml または 700ml のインクタンクに交換することができます。

メモ

- 色によって、異なる容量のインクタンクを取り付けて使うこともできます。

インクタンクの取り扱い上の注意

インクタンクを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

注意

- 安全のため、インクタンクはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

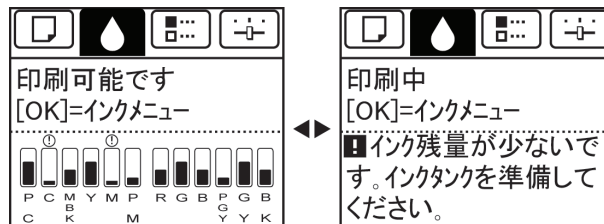
重要

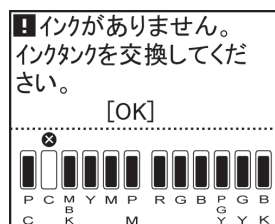
- 取り外したインクタンクのインク供給部には、インクが付着している場合があります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- 本製品で一度使用したインクタンクを、他の機種のプリンタに使用しないでください。
  インクの残量が正しく検知されず、プリンタに損傷・異常が発生することがあります。
- インクタンクは、開封後、半年以内に使い切ることをお勧めします。時間の経過したインクタンクを使用すると、印刷品質が低下する場合があります。
- プリンタは、長期間(1か月以上)、インクタンクを取り外した状態にしないでください。プリンタに残ったインクがつまり、印刷不良の原因になります。

インクタンクの交換手順

1. メッセージを確認します。→P.819
2. インクタンク交換のメニューを選択します。→P.820（またはインクタンクカバーを開きます。）
3. インクタンクを取り外します。
   - 330ml のインクタンクの場合 →P.820
   - 700ml のインクタンクの場合 →P.821
4. 新しいインクタンクを取り付けます。
   - 330ml のインクタンクの場合 →P.823
   - 700ml のインクタンクの場合 →P.825

メッセージを確認する

インクの残量が少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。
メッセージに従って、インクタンクを交換するか、新しいインクタンクを準備してください。(「インクタンクの交換時期について」参照) →P.828

インクタンクの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、[OK]キーを押します。この場合は、[インクタンク交換のメニューを選択する]の操作は不要です。[インクタンクを取り外す]に進んでください。

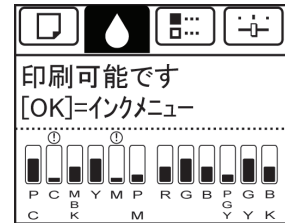
重要

- 電源をオンにした直後のプリンタの初期化中、ヘッドクリーニング中は、インクタンクを取り外さないでください。インクが漏れる可能性があります。

メモ

- インクタンクは、印刷中、印刷ジョブのキャンセル中、用紙の給紙中も交換できます。

インクタンク交換のメニューを選択する

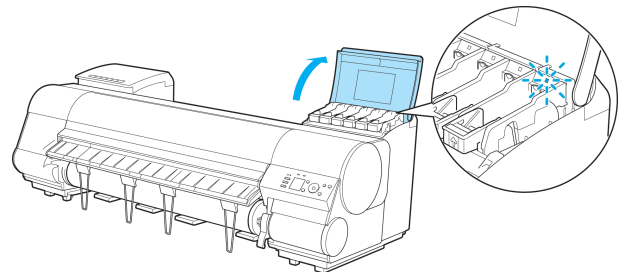
1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して（インクタブ）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[インクメニュー]が表示されます。

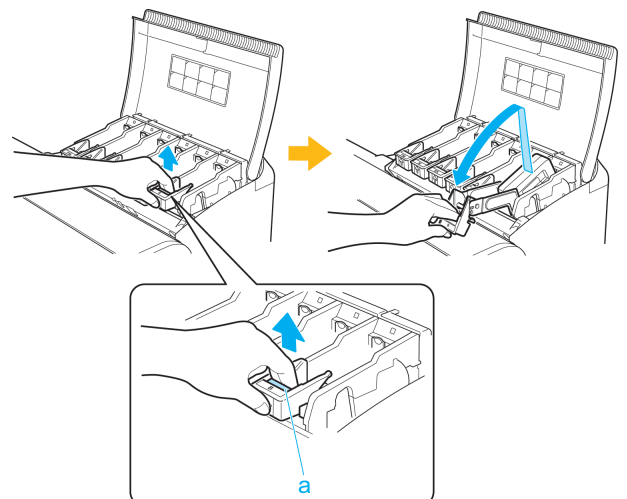
3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インクタンク交換]を選択し、[OK]キーを押します。
ディスプレイにガイダンスが表示されます。

インクタンク(330ml)を取り外す

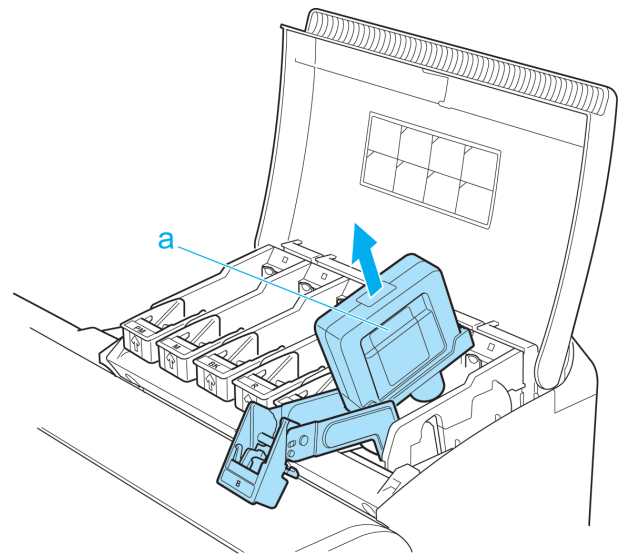
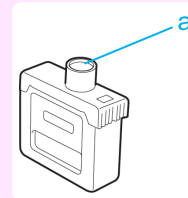
1 インクを交換するインクタンクカバーを開き、インクランプを確認します。
インクがなくなると、インクランプは速く点滅します。

重要

- プリンタに大きな振動を与えないように、インクタンクは静かに交換してください。印刷中にプリンタに振動が加わると、印刷品質が低下する場合があります。

2 交換する色のインクタンク固定レバーのストッパー(a)を持ち上げて、インクタンク固定レバーを止まるところまで引き上げてから、手前に倒します。

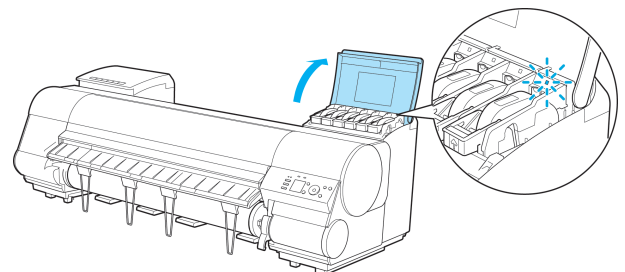
メモ

- インクタンク固定レバーがロックするところまで押し下げてください。
- インクタンク固定レバーが戻らないことを確認してください。

3 つまみ部(a)を持ってインクタンクを取り出し、[OK]キーを押します。

重要

- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部(a)を上にして保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。取り出したインクタンクは、ビニール袋に入れて口を閉じてください。

メモ

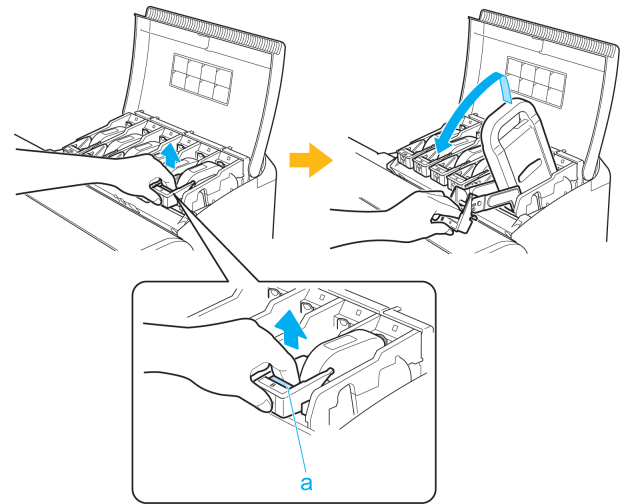
- キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
  キヤノンサポートページ → http://canon.jp/support
  事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。
- キヤノンでは、使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています。ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
  環境への取り組み → http://canon.jp/ecology

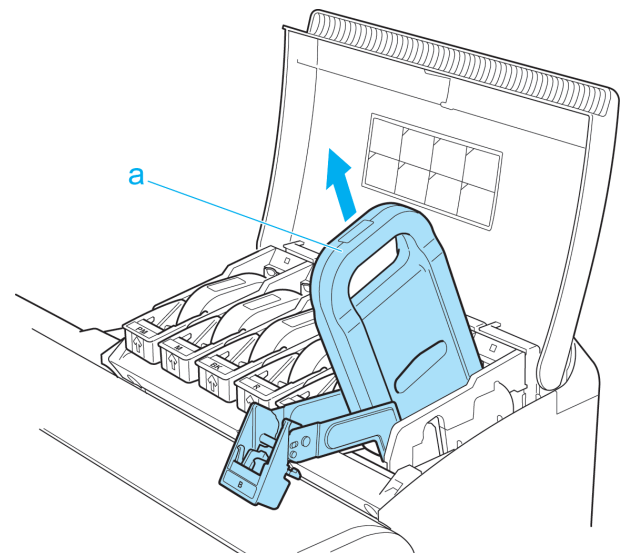
インクタンク(700ml)を取り外す

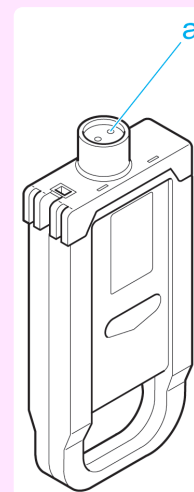
1 インクを交換するインクタンクカバーを開き、インクランプを確認します。
インクがなくなると、インクランプは速く点滅します。

重要

- プリンタに大きな振動を与えないように、インクタンクは静かに交換してください。印刷中にプリンタに振動が加わると、印刷品質が低下する場合があります。

2 交換する色のインクタンク固定レバーのストッパー(a)を持ち上げて、インクタンク固定レバーを止まるところまで引き上げてから、手前に倒します。

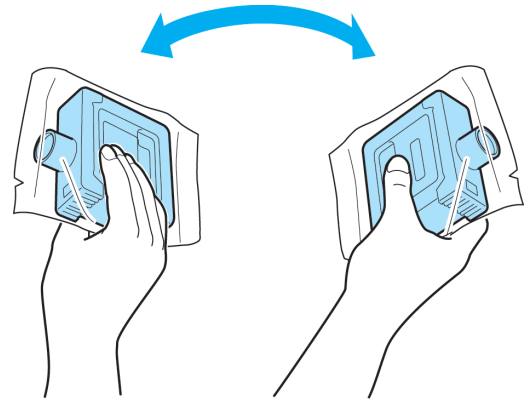
メモ

- インクタンク固定レバーがロックするところまで押し下げてください。
- インクタンク固定レバーが戻らないことを確認してください。

3 取っ手(a)を持ってインクタンクを取り出し、[OK]キーを押します。

重要

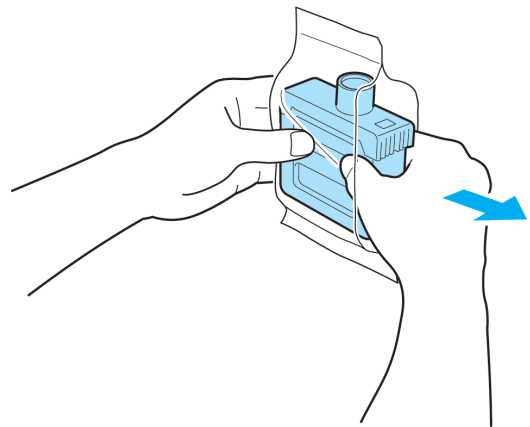
- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部(a)を上にして、梱包箱に入れて保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

メモ

- キヤノンでは､資源の再利用のために､使用済みのインクタンクの回収を推進しています。回収窓口につきましては､下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
  キヤノンサポートページ → http://canon.jp/support
  事情により､回収窓口にお持ちになれない場合は､使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ､地域の条例に従い処分してください。
- キヤノンでは､使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています｡ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき､その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです｡この活動を通じ､環境保全と資源の有効活用､さらに教育支援を行うものです｡詳細につきましては､下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
  環境への取り組み → http://canon.jp/ecology

インクタンク（330ml）を取り付ける

1 袋を開封する前に､新しいインクタンクをゆっくりと 7～8 回左右に傾けながら振ります。

重要

- 一度プリンタに取り付けたインクタンクは､取り外して振らないでください｡インクが飛び散る場合があります。
- インクタンクを振らないと､インクの成分が沈殿し､印刷品質が低下する場合があります。

2 袋を開封し､インクタンクを取り出します。

重要

- インク供給部や端子部には､絶対に触れないでください｡周辺の汚損､インクタンクの破損､または印刷不良の原因になります。

3 [OK]キーを押し、インク供給部を下側、図の向きにしてインクタンクをホルダーに取り付けます。

重要

- 取り付ける色と向きが違うと、インクタンクはホルダーに取り付けられません。
  インクタンクをホルダーに取り付けられない場合は、無理に入れずに、インクタンク固定レバーに貼ってあるラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認して取り付け直してください。

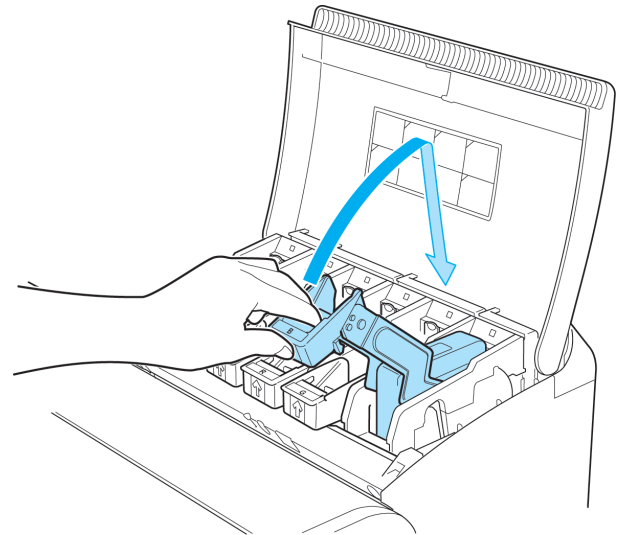
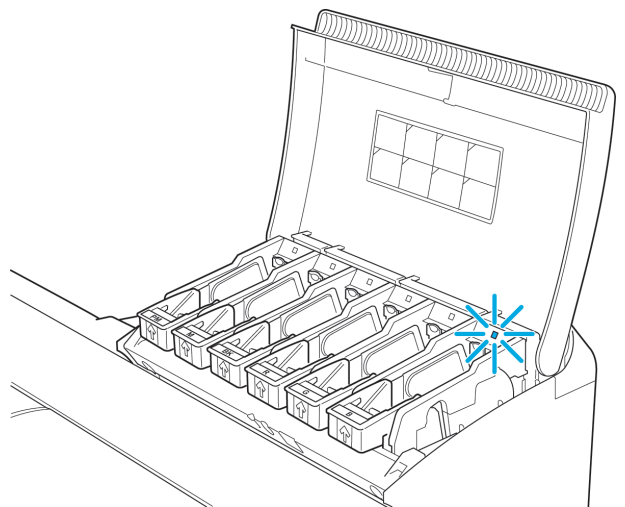
4 インクタンク固定レバーを止まるところまで持ち上げてから、カチッと音がするまで押し下げます。

5 インクランプが赤く点灯していることを確認します。

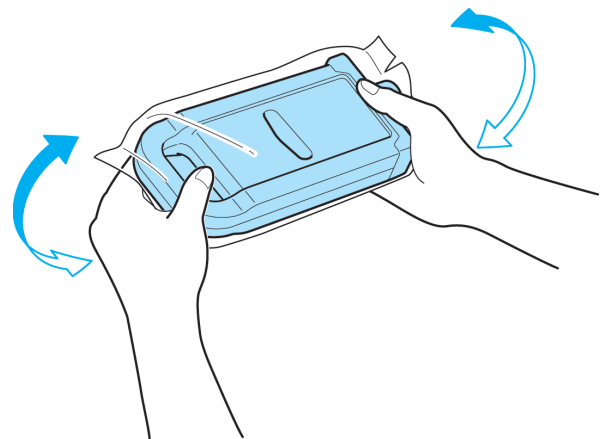
メモ

- インクランプが赤く点灯しない場合は、取り付け直してください。

6 インクタンクカバーを閉じます。

重要

- インクタンクを交換した後は、必ずインクタンクカバーを閉じてください。インクタンクカバーが閉じない場合は、いずれかのインクタンク固定レバーが完全に閉じてない可能性があります。すべてのインクタンク固定レバーが完全に閉じていることを確認してください。

インクタンク(700ml)を取り付ける

1 袋を開封する前に、新しいインクタンクを図のように両手で持ち、ゆっくりと左右に傾けながら 7～8 回振ります。

注意

- 700ml のインクタンクは重いので、手首だけで振らずに腕全体で振るようにしてください。手首だけでインクタンクを振ると、手首を傷める可能性があります。

重要

- 一度プリンタに取り付けたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。
- インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。

メンテナンスと消耗品 インクタンク

2 袋を開封し、インクタンクを取り出します。

重要

- インク供給部や端子部には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。

3 [OK]キーを押し、インク供給部を下側、図の向きにしてインクタンクをホルダーに取り付けます。

重要

- 取り付ける色と向きが違うと、インクタンクはホルダーに取り付けられません。
インクタンクをホルダーに取り付けられない場合は、無理に入れずに、インクタンク固定レバーに貼ってあるラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認して取り付け直してください。

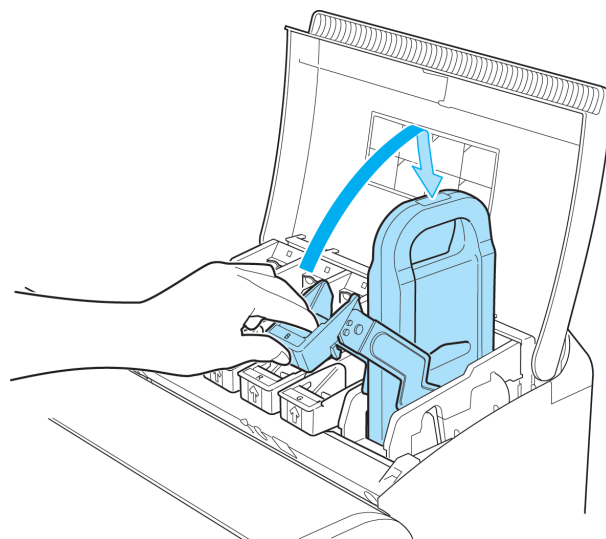
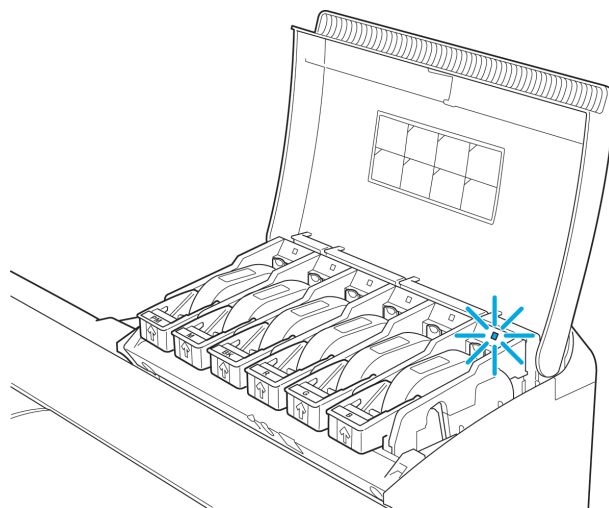
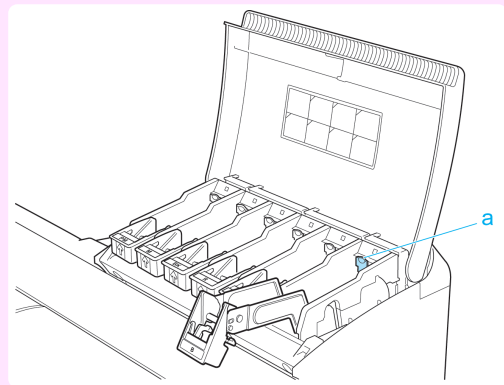
4 インクタンク固定レバーを止まるところまで持ち上げてから、カチッと音がするまで押し下げます。

5 インクランプが赤く点灯していることを確認します。

メモ

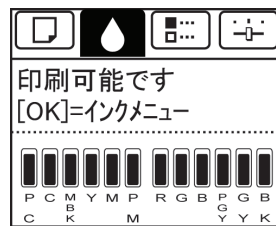
• インクランプが赤く点灯しない場合は、取り付け直してください。

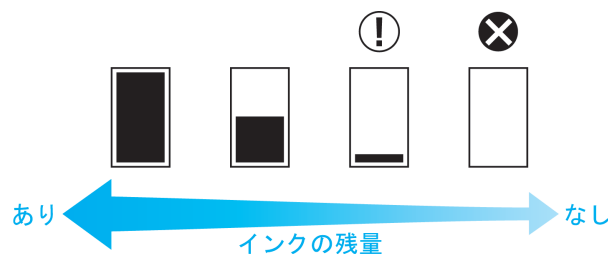
6 インクタンクカバーを閉じます。

重要

- インクタンクを交換した後は、必ずインクタンクカバーを閉じてください。インクタンクカバーが閉じない場合は、いずれかのインクタンク固定レバーが完全に閉じてない可能性があります。すべてのインクタンク固定レバーが完全に閉じていることを確認してください。
- プリンタの輸送時など、インクタンクを取り付けないでインクタンクカバーを閉じる場合は、図の解除レバー(a)を押しながらインクタンク固定レバーを元の位置に戻してください。

インクタンクの残量を確認する

インクタンクのインクの残量は、ディスプレイで確認できます。

インクタンクの残り容量を確認する場合は、操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (インクタブ)を選択します。

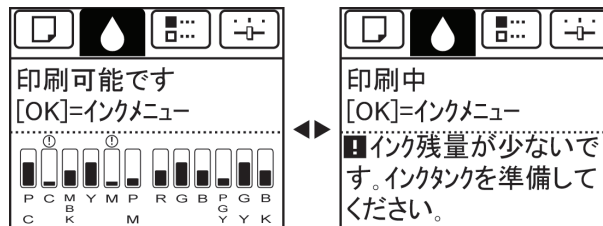
メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。
- エラーが発生し、[タブ選択画面]が表示できない場合は、以下の手順で[インクの情報]を表示してください。
  1. [OK]キーを押して[プリンタの情報]を表示します。
  2. [▲]キー、[▼]キーを押して[インクの情報]を選択します。
  3. [OK]キーを押します。

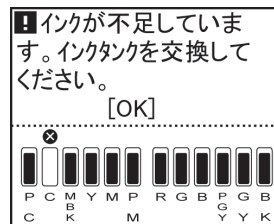
ディスプレイに表示されるインクの残量は、ディスプレイ下部の色ラベルに対応しています。
インクが不足している場合は[!]、インクがない場合は[×]、インク残量検知機能が無効の場合は[?]がインクの残量の上に表示されます。
インクの残量の割合は、以下の図のように表示されます。

ディスプレイにインクタンクの交換を指示するメッセージが表示されたら、インクタンクを交換してください。また、インクの残量確認を指示するメッセージが表示された場合や、インクを大量に消費する長尺印刷、ヘッドクリーニングなどの場合は、残量を確認し、必要に応じてインクタンクを交換してください。(「インクタンクを交換する」参照) →P.818

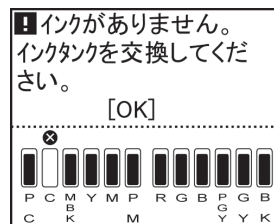
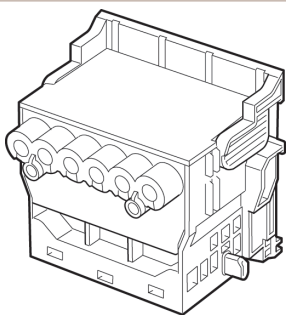
インクタンクの交換時期について

以下の場合、インクタンクを準備または交換してください。

ディスプレイにインク確認のメッセージが表示された場合

インクの残量が少なくなると、[メッセージランプ]が点灯し、ディスプレイに[インク残量が少なくなりました。]と表示されます。印刷は継続されますが、インクタンクを準備してください。(「インクタンクの残量を確認する」参照)
→P.828

インクを大量に消費する印刷やメンテナンスを実行する場合

インクの残量が少なくなると、インクを大量に消費する長尺印刷、ヘッドクリーニングおよびメンテナンスなどを実行できない場合があります。インクタンクを準備または交換してください。

ディスプレイにインク交換のメッセージが表示された場合

インクがなくなると、[メッセージランプ]が点滅し、ディスプレイにインクタンク交換のメッセージが表示され、印刷できません。インクタンクを交換してください。

プリントヘッド

プリントヘッド 830
ノズルのつまりをチェックする 830
プリントヘッドをクリーニングする 831
プリントヘッドを交換する 832

プリントヘッド

購入の際は、型番をご確認ください。

形状	型番
	PF-05

メモ

- プリントヘッドの交換方法については、「プリントヘッドを交換する」を参照してください。→P.832

ノズルのつまりをチェックする

印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの各ノズルがつまっていないかを確認します。

メモ

- ノズルのつまりは、一定の間隔でチェックされています。ノズルのチェックについては、操作パネルのメニューで[ノズルチェック設定]を設定してください。(「メニューの設定値」参照) →P.605

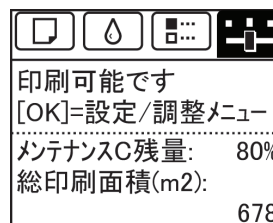
用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm(10.00 インチ)幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚

1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.481
- ロール紙をプリンタにセットする →P.483
- カット紙をプリンタにセットする →P.505

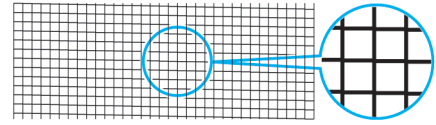
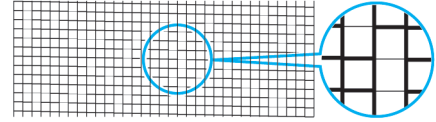
2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[テストプリント]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ノズルチェック プリント]を選択し、[OK]キーを押します。
ノズルチェックパターンが印刷されます。

6 印刷結果を確認します。
横線がかすれていない、横線が抜けていない場合は、ノズルは正常です。

横線がかすれていたり抜けている場合は、その色のノズルがつまっています。

横線がかすれていたり抜けている場合は、以下の手順でノズルのつまりを再度チェックしてください。

1. プリントヘッドのクリーニングを実行します。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.831
2. ノズルチェックパターンを印刷します。

重要

- 上記の操作を何回か繰り返しても横線がかすれていたり抜けている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プリントヘッドをクリーニングする

印刷がかすれる場合は、プリントヘッドをクリーニングすると改善される場合があります。
プリントヘッドをクリーニングする方法には、[ヘッドクリーニング A]と[ヘッドクリーニング B]の 2 つの方法がありますので、症状によりいずれかを実行してください。

- [ヘッドクリーニング A]
  印刷がかすれた場合や、印刷物にごみが付いた場合などに実行します。インクの消費が少ないクリーニング方法です。
  所要時間は約 4 分です。
- [ヘッドクリーニング B]
  インクがまったく出ない場合や、[ヘッドクリーニング A]を実行しても改善されない場合に実行します。
  所要時間は約 5 分です。

重要

- [ヘッドクリーニング A]および[ヘッドクリーニング B]の実行中は、メンテナンスカートリッジやインクタンクを取り外さないでください。
  インクが漏れたり、エラーが発生する可能性があります。
- [ヘッドクリーニング B]を実行しても改善されない場合は、[ヘッドクリーニング B]を 1~2 回繰り返してください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドの寿命の可能性がありますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メモ

- ノズルのつまりは、一定の間隔でチェックされています。ノズルのチェックについて、操作パネルのメニューで[ノズルチェック設定]を設定してください。(「メニューの設定値」参照) →P.605

以下の手順でクリーニングします。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[メンテナンス]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッドクリーニング]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッドクリーニング A]または[ヘッドクリーニング B]を選択し、[OK]キーを押します。
ヘッドクリーニングが実行されます。

6 ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルのつまりが改善されているかどうかを確認します。(「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.830

プリントヘッドを交換する

プリントヘッドの交換時期について

このプリンタでは、プリントヘッドを 2 個使用しています。
以下の場合に、両方または片方のプリントヘッドを交換してください。

- プリンタのメニューで[ヘッドクリーニング B]を 1〜2 回実行しても印刷品質が改善されない場合
  印刷品位の低いプリントヘッドを交換してください。
- ディスプレイに[上カバーを開けて、プリントヘッド L を交換してください。]と表示された場合
  左側のプリントヘッドを交換してください。
- ディスプレイに[上カバーを開けて、プリントヘッド R を交換してください。]と表示された場合
  右側のプリントヘッドを交換してください。
- ディスプレイに[上カバーを開けて、プリントヘッドを交換してください。]と表示された場合
  両方のプリントヘッドを交換してください。
- キヤノンお客様相談センターでプリントヘッドの交換を指示された場合
  交換を指示されたプリントヘッドを交換してください。

対応しているプリントヘッド

プリンタに対応しているプリントヘッドについては、「プリントヘッド」を参照してください。 →P.830

プリントヘッド取り扱いの注意

プリントヘッドを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

注意

- 安全のため、プリントヘッドはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 印刷直後は、プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドが高温になっていて、やけどする場合があります。

重要

- 取り外したプリントヘッドのノズルには、インクが付着している場合があります。プリントヘッドの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- プリントヘッドの袋は、プリンタに取り付ける直前まで開封しないでください。また、袋から取り出したプリントヘッドは、すぐにプリンタに取り付けてください。開封したまま放置すると、プリントヘッドのノズルが乾いて、印刷品質が低下する場合があります。

プリントヘッド交換のメニューを選択する

注意

- 印刷直後にプリントヘッドを交換する場合は、数分間待ってから作業してください。印刷直後は、プリントヘッドの金属部分が熱くなっているので、触れるとやけどする場合があります。

メンテナンスと消耗品 プリントヘッド

重要

- プリントヘッドの交換では、手が汚れる場合があります。交換時は、プリントヘッドの箱に同梱されている手袋を装着してください。

メモ

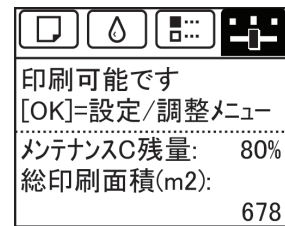
- インクの残量が少ない場合は、新しいインクタンクを準備してください。
- メンテナンスカートリッジの残り容量が少ない場合は、新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。

1 給紙されている用紙がある場合は、操作パネルのメニューで、[用紙の取り外し]を選択し、用紙を取り外します。

- ロール紙の場合は、ロール紙を巻き戻します。
（「ロール紙をプリンタから取り外す」参照） →P.489
- カット紙の場合は、用紙を取り外します。
（「カット紙を取り外す」参照） →P.510

2 上カバー内部を清掃します。（「上カバー内部を清掃する」参照） →P.851

3 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （設定/調整タブ）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

4 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

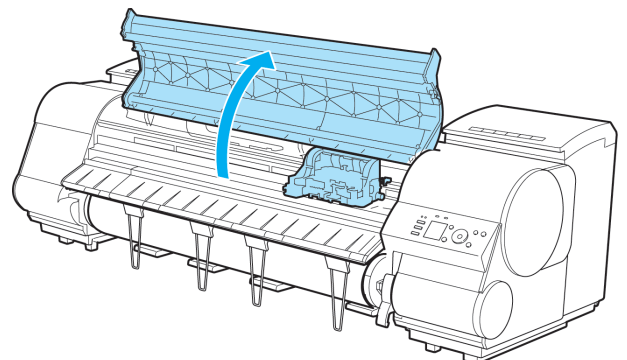
5 [▲]キー、[▼]キーを押して[メンテナンス]を選択し、[OK]キーを押します。

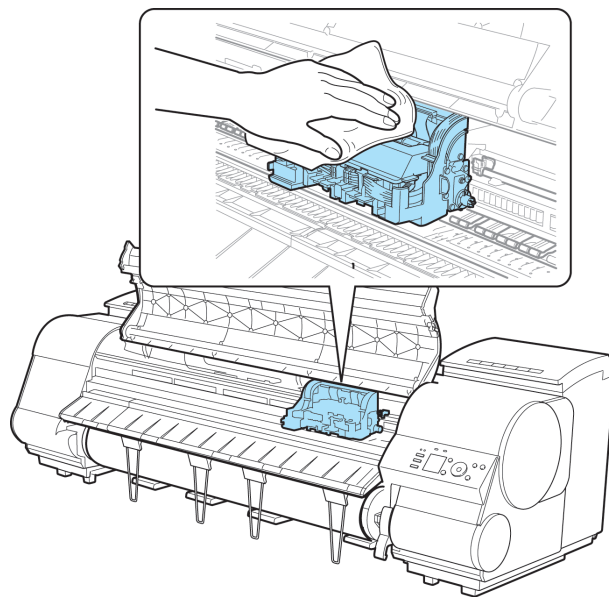
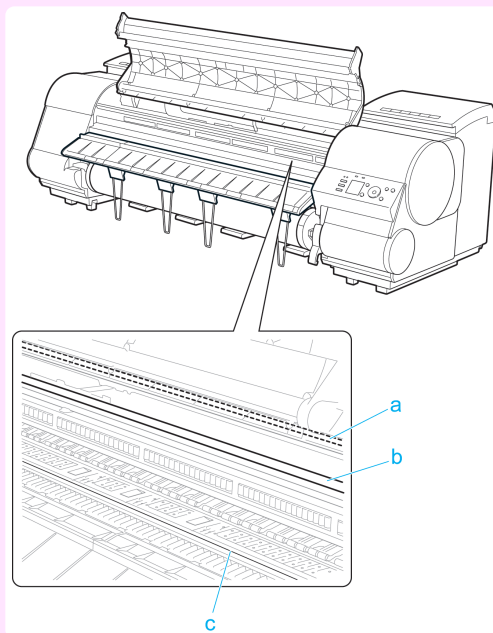
6 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド交換]を選択し、[OK]キーを押します。

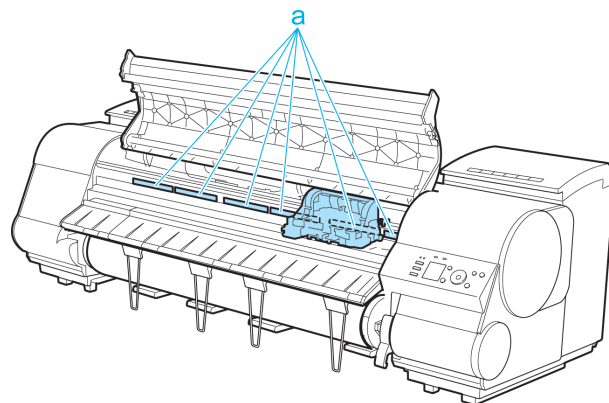
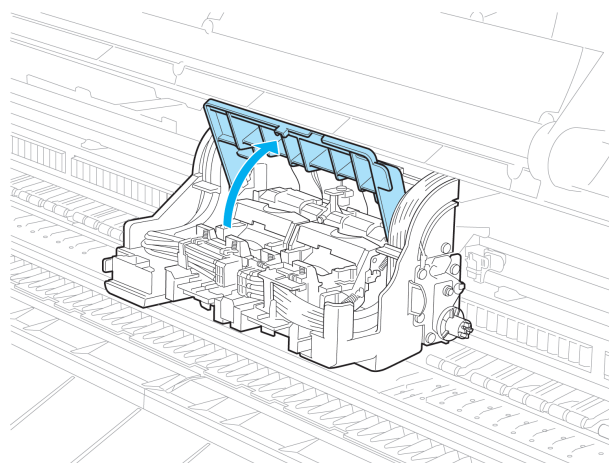
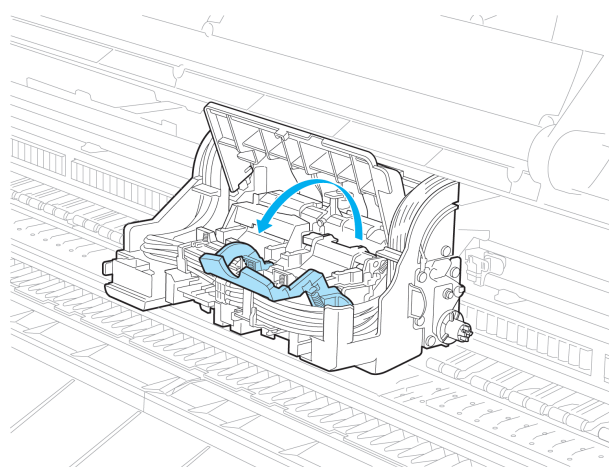
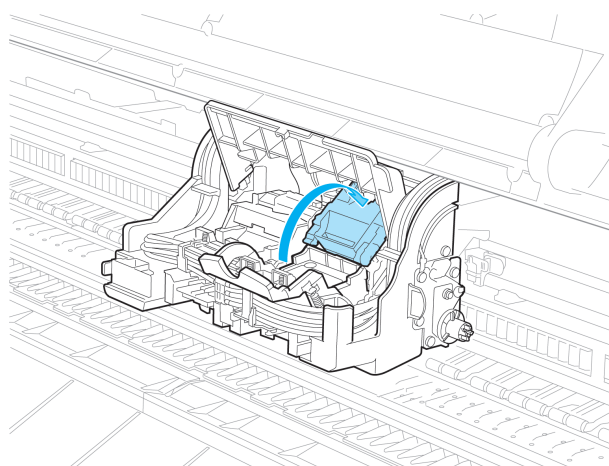
7 [▲]キー、[▼]キーを押して交換するプリントヘッドを選択します。
プリントヘッド L を交換する場合は[ヘッド L]、プリントヘッド R を交換する場合は[ヘッド R]、両方交換する場合は[ヘッド L+R]を選択します。間違えないように注意してください。

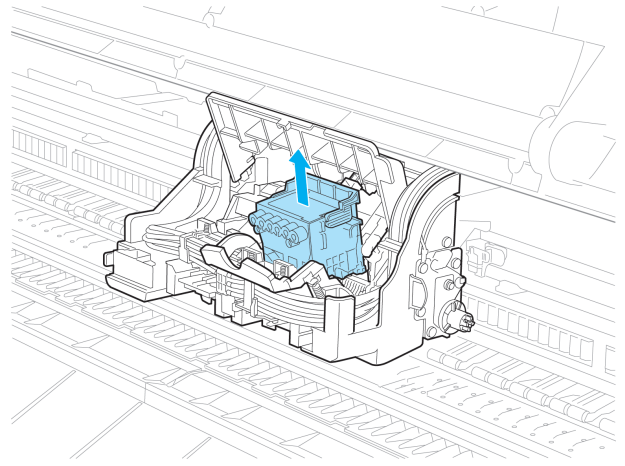
8 [OK]キーを押します。
インクの吸引が開始され、吸引が終了すると、ディスプレイにガイダンスが表示されます。
インクの吸引には約 3 分かかります。

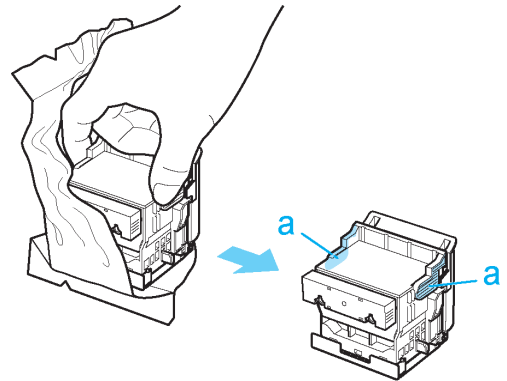
プリントヘッドを交換する

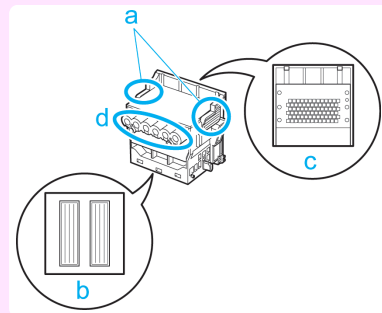
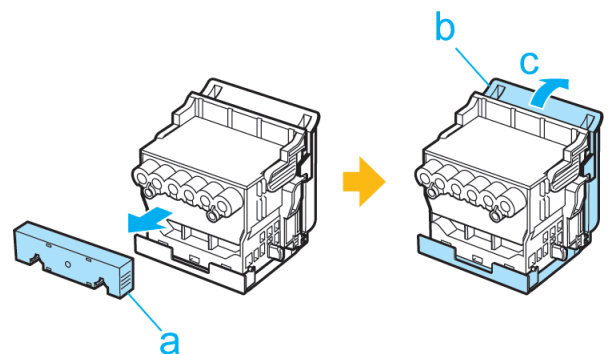
1 上カバーを開きます。

2 キャリッジカバーが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、固定刃(c)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

- キャリッジの電極部には、絶対に触れないでください。プリンタの故障の原因になります。

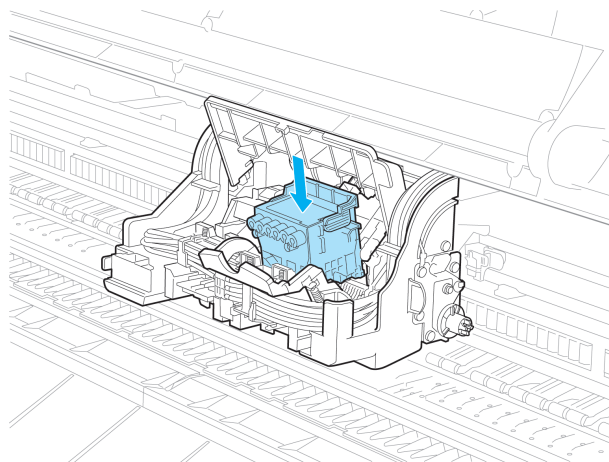
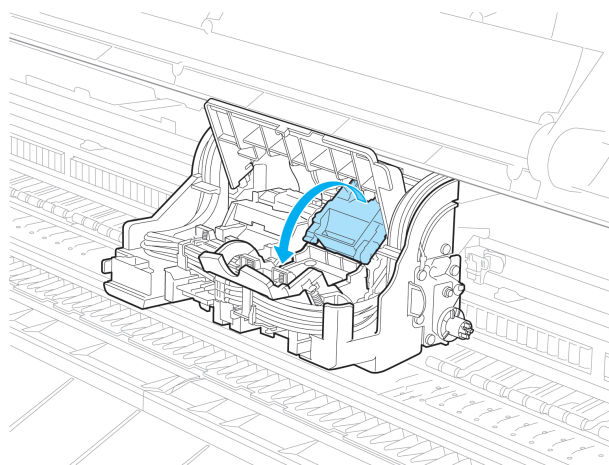
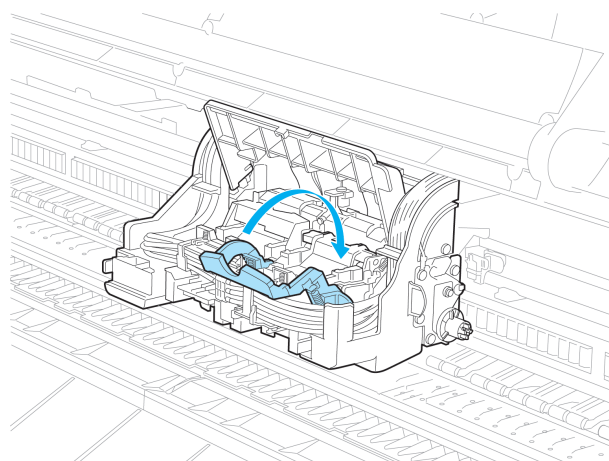
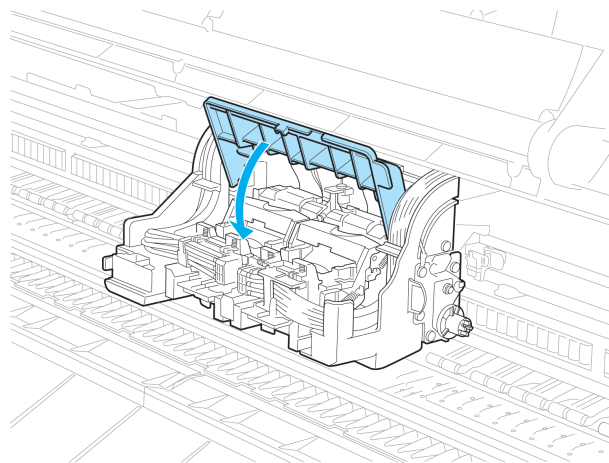
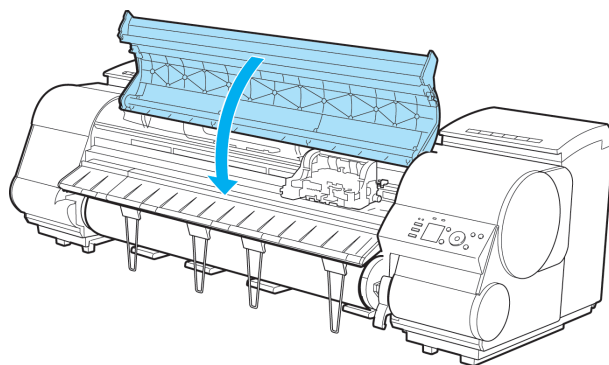
3 吸気ダクト(a)が汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。
吸気ダクトがキャリッジに隠れている場合は、キャリッジを手で移動して清掃してください。

4 キャリッジカバーを引き上げて、いっぱいに開きます。

5 プリントヘッド固定レバーを前側に引いて、最後まで完全に開きます。

6 プリントヘッド固定カバーを引き上げて、いっぱいに開きます。

7 プリントヘッドを取り外し、[OK]キーを押します。

メモ

- 取り出したプリントヘッドは、地域の条例に従って廃棄してください。

8 新しいプリントヘッドを、つまみ部(a)を持って袋から取り出します。

重要

- プリントヘッドは、必ずつまみ部(a)を持って取り扱ってください。ノズル(b)や電極部(c)には、絶対に触れないでください。プリントヘッドの破損や印刷不良の原因になります。
- インク供給部(d)には、絶対に触れないでください。印刷不良の原因になります。

9 プリントヘッドを取り出したまましっかりと持ち、もう一方の手でオレンジ色の保護部品(a)を取り外し、保護部品(b)をつまみ(c)を押しながら下に引いて取り外します。

重要

- 保護部品(a)や保護部品(b)の内側には、ノズルを保護するためのインクが塗られています。取り外す際は触れないように注意してください。
- プリントヘッドには、ノズルを保護するためのインクが入っています。保護部品(b)を取り外す際は、こぼして衣服や周囲を汚さないようにプリントヘッドが入っていた箱の上などで行うことをお勧めします。こぼれてしまった場合は、乾いた布などでインクをふき取ってください。
- プリントヘッドを一時的に置く場合は、ノズルや電極部を下向きに置かないでください。ノズルや電極部が損傷し、印刷品質が低下する場合があります。
- 取り外した保護部品や保護材は、再装着しないでください。これらのものは、地域の条例に従って処理してください。

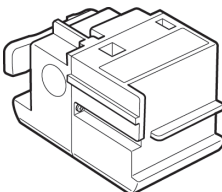
10 ノズルを下側、電極部を奥側にして、プリントヘッドを少し手前に傾けてキャリッジに差し込みます。ノズルや電極部がキャリッジに当たらないように注意しながら、奥までしっかりと押し込みます。

11 プリントヘッド固定カバーを前側に倒して、プリントヘッドをロックします。

12 プリントヘッド固定レバーを、カチッと音がするまで奥側に倒します。

13 キャリッジカバーを前側に倒します。

14 上カバーを閉じます。
インクが充填されます。インク充填には約 13 分間かかります。

重要

- インクの充填中は、絶対にインクタンクおよびメンテナンスカートリッジを取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。

メモ

- 操作パネルのメニューで[ヘッド交換後プリント]が[オフ]に設定されている場合は、ここで作業が終了します。
この場合は、操作パネルのメニューで、[ヘッド位置調整]の[初期調整]を実行してください。
(「プリントヘッドの設置時調整」参照) →P.731

15 ディスプレイの指示に従って、用紙を給紙してください。
給紙完了後、[ヘッド位置調整]の[初期調整]が自動的に実行されます。

メモ

- 光沢･半光沢系のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、プリントヘッドを最適な高さに設定してから、プリントヘッドの位置を調整してください。
(「印刷品質を向上させる」参照) →P.726

カッターユニット

カッターユニット 839
カッターユニットを交換する 839

カッターユニット

購入の際は、型番をご確認ください。

形状	型番
	CT-06

メモ

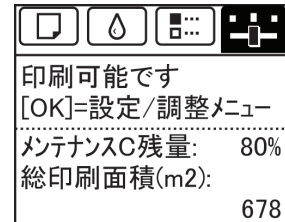
- カッターユニットの交換方法については、「カッターユニットを交換する」を参照してください。→P.839

カッターユニットを交換する

対応しているカッターユニット

プリンタに対応しているカッターユニットについては、「カッターユニット」を参照してください。 →P.839

カッターユニット交換のメニューを選択する

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （設定/調整タブ）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

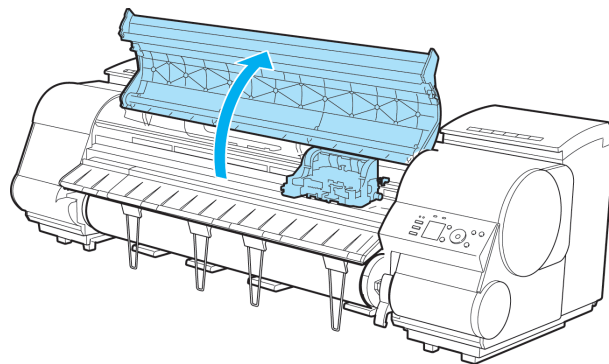
3 [▲]キー、[▼]キーを押して[メンテナンス]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[カッター交換]を選択し、[OK]キーを押します。
キャリッジが移動し、移動が終了すると、ディスプレイにガイダンスが表示されます。

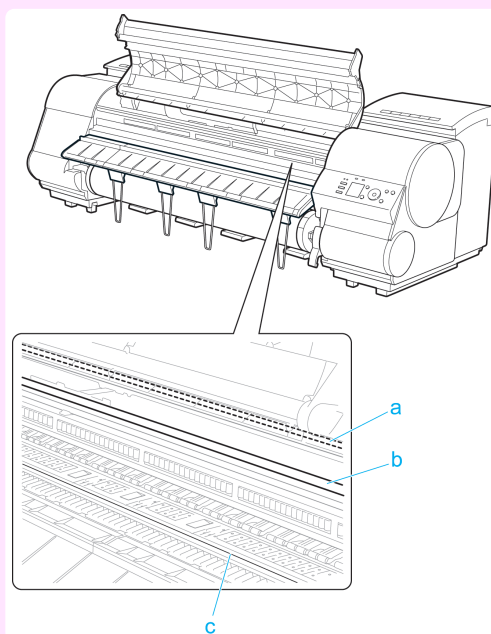
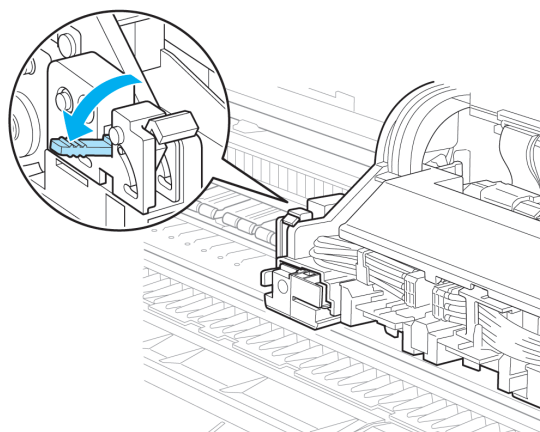
メモ

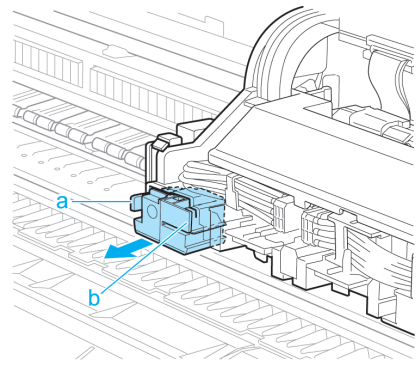
- 2分以上何もしないと、カッター交換の処理がキャンセルされます。その場合は、手順をやり直してください。

カッターユニットを交換する

1 上カバーを開きます。

2 カッターユニットやキャリッジカバーが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、固定刃(c)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

3 カッターユニット着脱レバーを左側に倒し、ロックを外します。

4 カッターユニットのロックレバー(a)とつまみ(b)を持ち、キャリッジから取り外します。

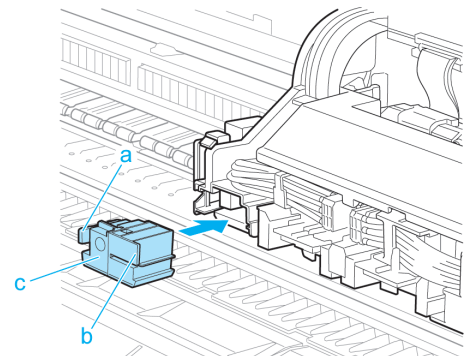
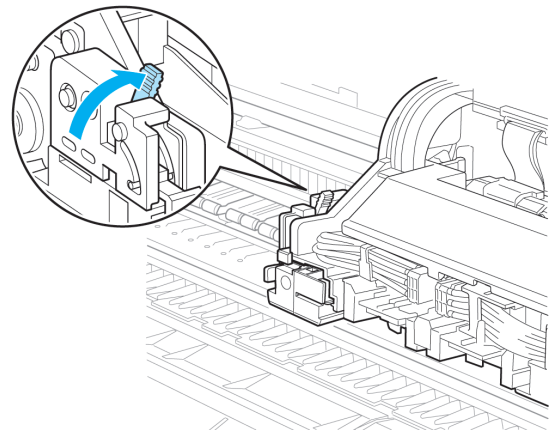
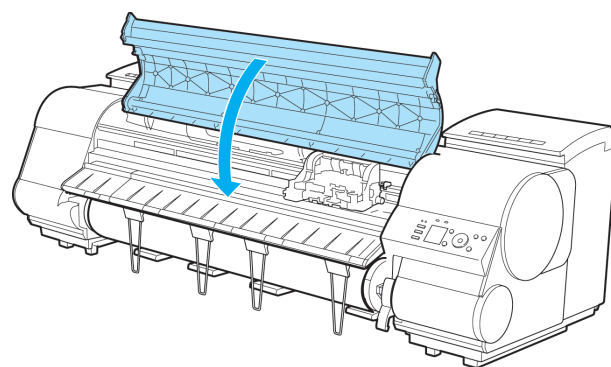
注意

- カッターユニットのロックレバー(a)とつまみ(b)の位置以外は、絶対に触れないでください。手が汚れたり、けがの原因になります。また、プリンタの故障の原因になります。
- カッターユニットは、分解しないでください。刃の部分に触れると、けがの原因になります。

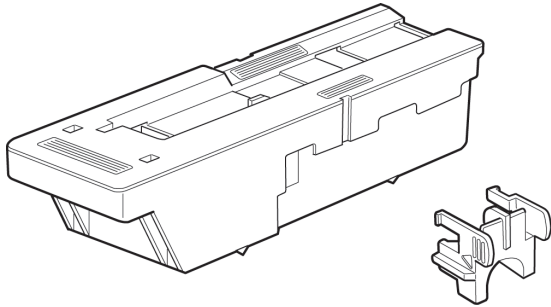
メモ

- 取り外したカッターユニットは、地域の条例に従って廃棄してください。

5 新しいカッターユニットのロックレバー(a)とつまみ(b)を持ってキャリッジに差し込んでから、カチッと音がするまで(c)を押します。

重要

- カッターユニットを取り付けたあと、つまみ(b)だけを持ち、手前に引いて、カッターユニットが外れないことを確認してください。カッターユニットが外れると、プリンタの故障の原因になります。

6 カッターユニット着脱レバーを起こし、ロックします。

7 上カバーを閉じます。

8 カッターユニットのロックを確認するメッセージが表示されます。
[▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

9 キャリッジが移動し、カット回数のリセットを確認するメッセージが表示されます。
カット回数をリセットする場合は、[▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。

メンテナンスカートリッジ

メンテナンスカートリッジ 843
メンテナンスカートリッジを交換する 843
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する 849

メンテナンスカートリッジの交換時期について 850

メンテナンスカートリッジ

購入の際は、型番をご確認ください。
このメンテナンスカートリッジには、シャフトクリーナが付属しています。

形状	型番
	MC-08

メモ

- メンテナンスカートリッジとシャフトクリーナの交換方法については、「メンテナンスカートリッジを交換する」を参照してください。 →P.843

メンテナンスカートリッジを交換する

対応しているメンテナンスカートリッジ

プリンタに対応しているメンテナンスカートリッジについては、「メンテナンスカートリッジ」を参照してください。 →P.843

メンテナンスカートリッジの取り扱い上の注意

メンテナンスカートリッジを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

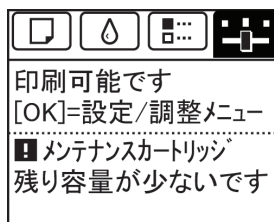
注意

- 安全のため、メンテナンスカートリッジはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

重要

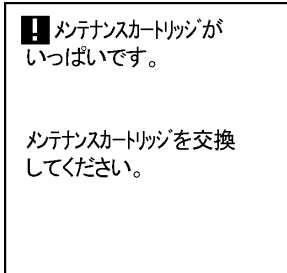
- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。
- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

メッセージを確認する

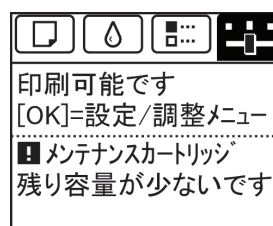
メンテナンスカートリッジの残り容量が少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、メンテナンスカートリッジを交換するか、新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。(「メンテナンスカートリッジの交換時期について」参照) →P.850

メンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示されている場合は、[メンテナンスカートリッジ交換のメニューを選択する]の操作は不要です。[メンテナンスカートリッジを交換する]に進んでください。

メンテナンスカートリッジが
いっぱいです。

メンテナンスカートリッジを交換
してください。

重要

- 電源をオンにした直後のプリンタの初期化中、プリントヘッドのクリーニング中、インク吸引中は、メンテナンスカートリッジを交換しないでください。インクが漏れる可能性があります。

メンテナンスカートリッジ交換のメニューを選択する

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

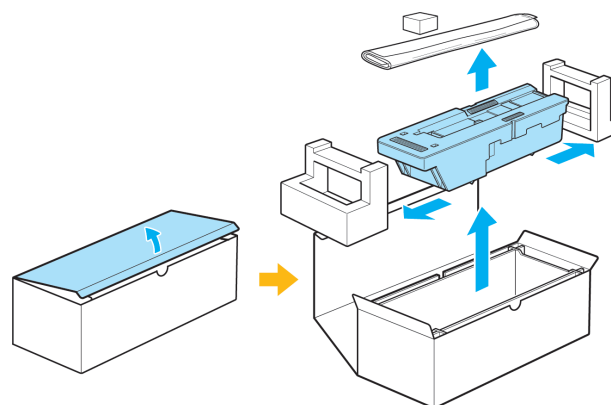
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

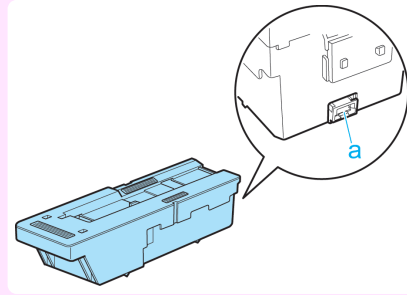
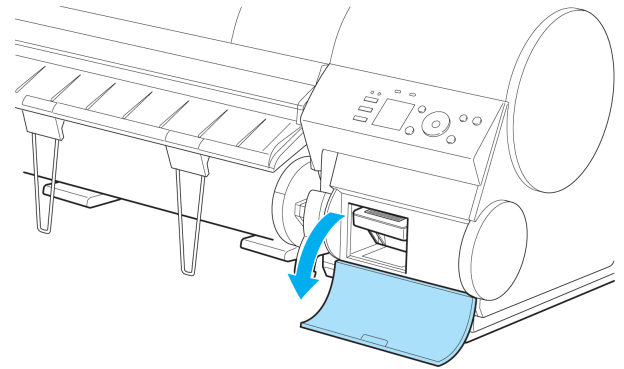
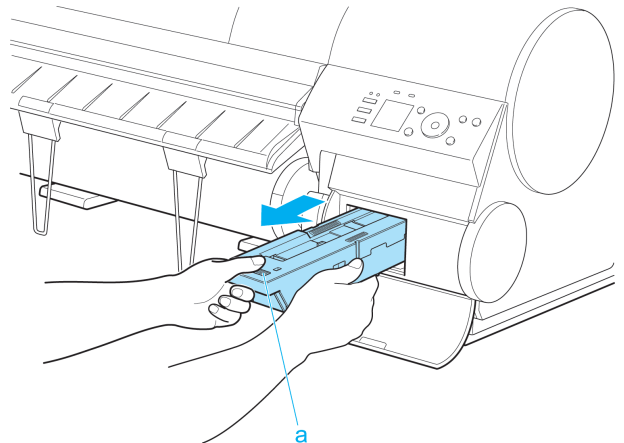
2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[メンテナンス]を選択し、[OK]キーを押します。

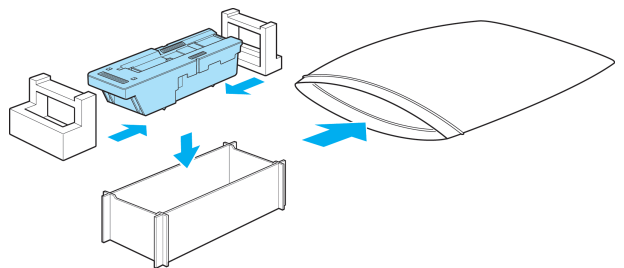
4 [▲]キー、[▼]キーを押して[メンテナンス C 交換]を選択し、[OK]キーを押します。
ディスプレイにガイダンスが表示されます。

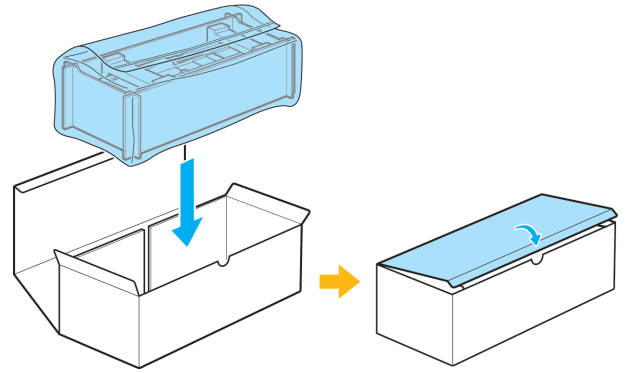
メンテナンスカートリッジを交換する

1 梱包箱を開いてビニール袋、緩衝材およびシャフトクリーナを取り外し、メンテナンスカートリッジを取り出します。

重要

- 端子部(a)には、絶対に触れないでください。メンテナンスカートリッジの故障の原因になります。

2 メンテナンスカートリッジカバーを開きます。

3 使用済みのメンテナンスカートリッジのつまみ(a)を片手で持って引き出し、もう一方の手でメンテナンスカートリッジの底面をしっかり持って水平に取り出します。

重要

- 使用済みのメンテナンスカートリッジは重くなっています。必ず、しっかり持って水平に保ちながら取り出し、保管してください。インクを含んだメンテナンスカートリッジを落としたり傾けたまま放置すると、インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- メンテナンスカートリッジの残り容量はプリンタごとに記録されます。一度使用したメンテナンスカートリッジを他のプリンタに取り付けることはできません。

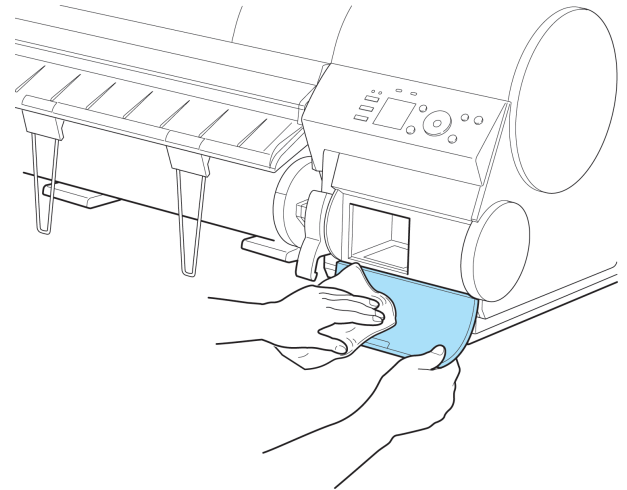
4 使用済みのメンテナンスカートリッジに緩衝材を取り付けて収納箱に入れ、水平に保ったままビニール袋に入れます。ビニール袋の中の空気を抜きながらジッパーをしっかり閉じます。

5 天地を確認して、メンテナンスカートリッジを梱包箱に入れ、水平に保ったまま保管します。

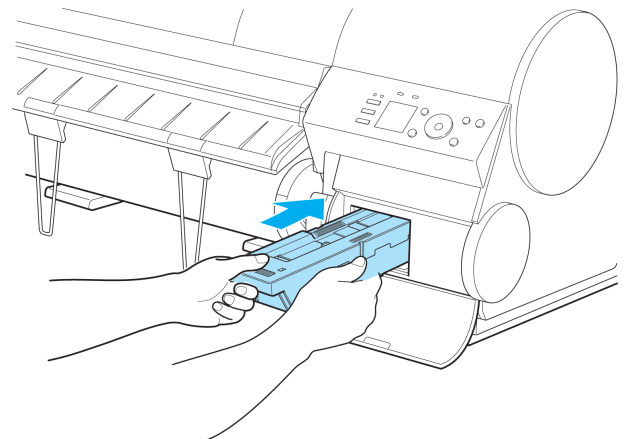
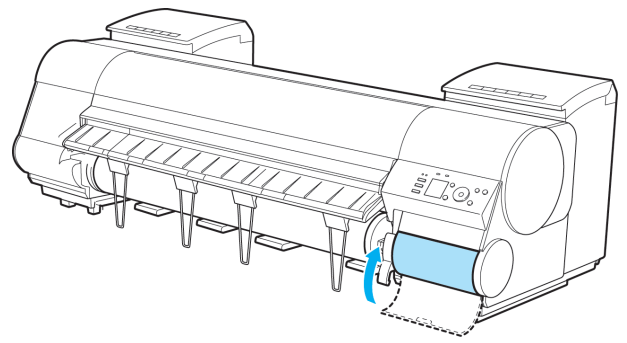
重要

- メンテナンスカートリッジは、必ず梱包箱に入れて、水平に保ったまま保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

メモ

- キヤノンでは、地球環境保全と資源の有効活用を目的として、使用済みのメンテナンスカートリッジを回収しています。使用済みのメンテナンスカートリッジは、交換用のメンテナンスカートリッジに付属している説明書に従って処理してください。

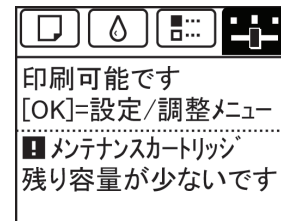
6 メンテナンスカートリッジカバーの汚れを拭き取ります。

重要

- メンテナンスカートリッジカバーの下側を支えながら拭いてください。

7 新しいメンテナンスカートリッジを水平に持ち、奥まで押し込みます。

8 メンテナンスカートリッジカバーを閉じます。

9 [OK]キーを押します。
メンテナンスカートリッジが初期化されます。
引き続き、シャフトクリーナの交換を行ってください。

シャフトクリーナを交換する

メンテナンスカートリッジを交換するときに、シャフトクリーナも交換してください。シャフトクリーナは、交換用のメンテナンスカートリッジに付属しています。
[メンテナンスC交換]を実行してメンテナンスカートリッジを交換すると、ディスプレイにシャフトクリーナ交換のメッセージが表示されます。[する]を選択して[OK]キーを押します。上カバーを開くメッセージが表示されたら、手順5から操作を行ってください。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

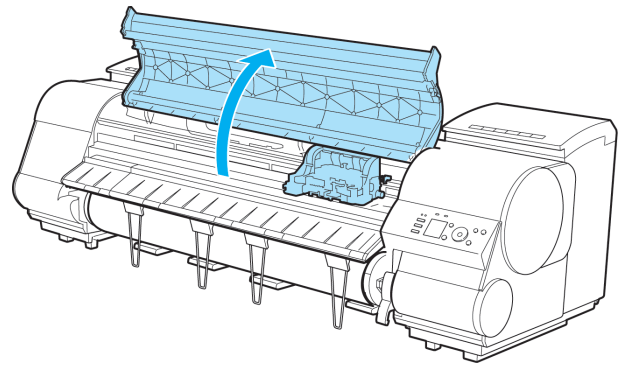
2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

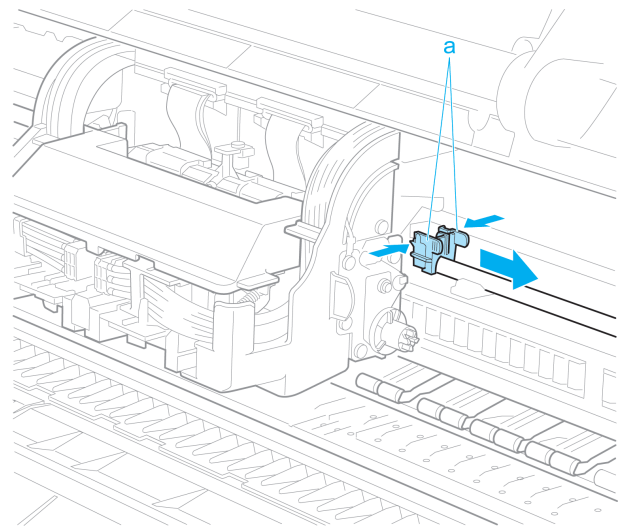
3 [▲]キー、[▼]キーを押して[メンテナンス]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[シャフトクリーナ交換]を選択し、[OK]キーを押します。
キャリッジが移動し、移動が終了すると、ディスプレイにガイダンスが表示されます。

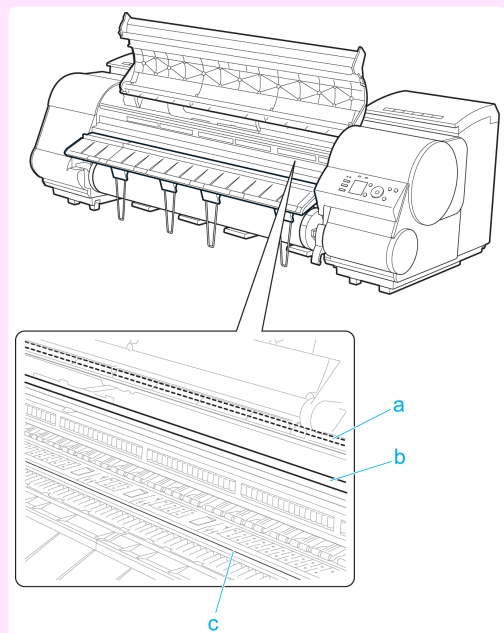
メンテナンスと消耗品 メンテナンスカートリッジ

5 上カバーを開きます。

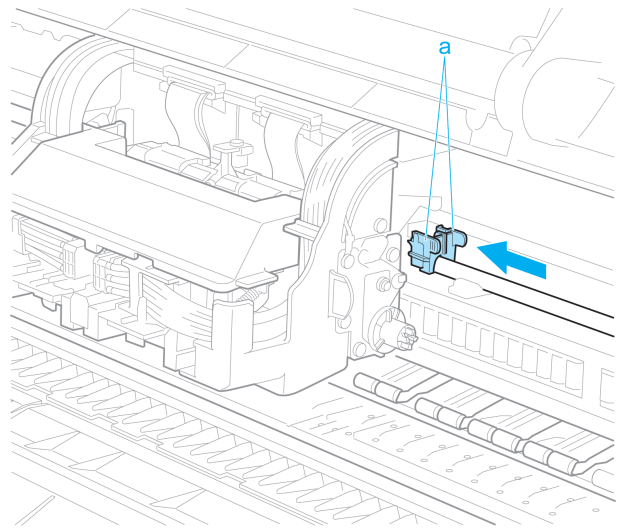
メモ

- 2分以上何もしないと、シャフトクリーナ交換の処理がキャンセルされます。その場合は、手順をやり直してください。

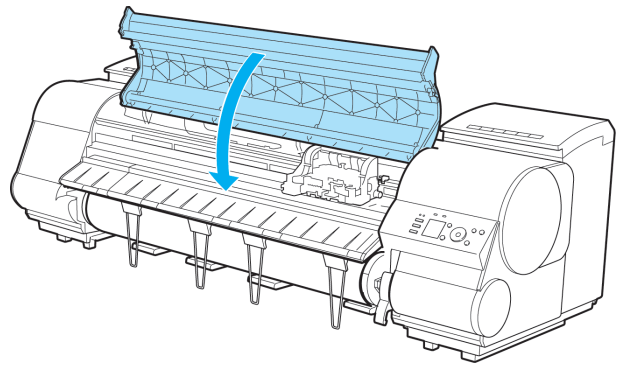
6 キャリッジの右側にあるシャフトクリーナを、つまみ(a)を持って右側に引き抜きます。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、固定刃(c)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

メンテナンスと消耗品

メンテナンスカートリッジ

7 新しいシャフトクリーナのつまみ(a)を持ってキャリッジに取り付けます。

メモ

- 使用済みのシャフトクリーナは、必ず小箱に入れ、使用済みのメンテナンスカートリッジといっしょに梱包箱に入れて処理してください。

8 上カバーを閉じます。
キャリッジが移動します。

メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

メンテナンスカートリッジは、フチなし印刷、ヘッドクリーニングで使用するインクを吸収するためのカートリッジです。メンテナンスカートリッジがあとどれくらいのインクを吸収できるかは、ディスプレイに表示されるメンテナンスカートリッジの残り容量で確認できます。
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する場合は、操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して（設定/調整タブ）を選択します。

メモ

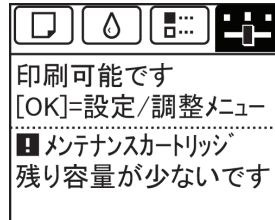
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

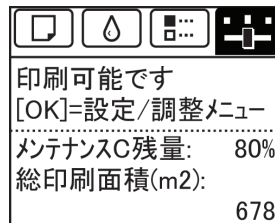
ディスプレイにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されたら、メンテナンスカートリッジを交換してください。また、メンテナンスカートリッジの残り容量の確認を指示するメッセージが表示された場合や、ヘッドクリーニングの実行やプリンタの輸送によってメンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合は、残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを用意してください。(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照） →P.843

メンテナンスカートリッジの交換時期について

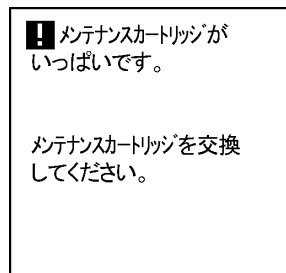
以下の場合、メンテナンスカートリッジを準備または交換してください。

ディスプレイにメンテナンスカートリッジ確認のメッセージが表示された場合

メンテナンスカートリッジの残り容量が少なくなると、[メッセージランプ]が点灯し、ディスプレイに[残り容量が少ないです]と表示されます。印刷は継続されますが、メンテナンスカートリッジの残り容量を確認し、交換用の新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。(「メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する」参照)
→P.849

メンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合

ヘッドクリーニングの実行やプリントヘッドの交換、プリンタの輸送の準備をする場合、メンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減ります。(特に、プリンタの輸送の準備をする場合は、大幅に減ります。)
これらのメンテナンスを実行する前には、メンテナンスカートリッジの残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを交換してください。

ディスプレイにメンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示された場合

メンテナンスカートリッジの残り容量がなくなると、[メッセージランプ]が点滅し、ディスプレイにメンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示され、印刷できません。新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。

メンテナンスカートリッジがいっぱいです。

メンテナンスカートリッジを交換してください。

プリンタの清掃

プリンタの外装を清掃する 851
上カバー内部を清掃する 851
プリントヘッドをクリーニングする 831

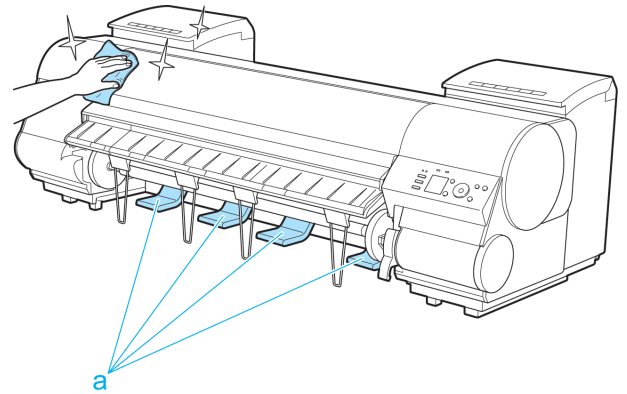
プリンタの外装を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、プリンタは定期的に清掃してください。
快適にご使用いただくために、月に 1 回程度、プリンタの外装を清掃してください。

1 プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.21

2 コンセントから電源コードを、アース端子からアース線を取り外します。

注意
- 必ず、プリンタの電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源がオンになると、作動した内部の部品に触れて、けがをする場合があります。

3 水を含ませて固く絞った布でプリンタの外装、給紙口(a)、電源コードのプラグ部などの汚れや紙粉をふき取り、乾いた布で乾ぶきします。

警告
- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。

4 アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続します。

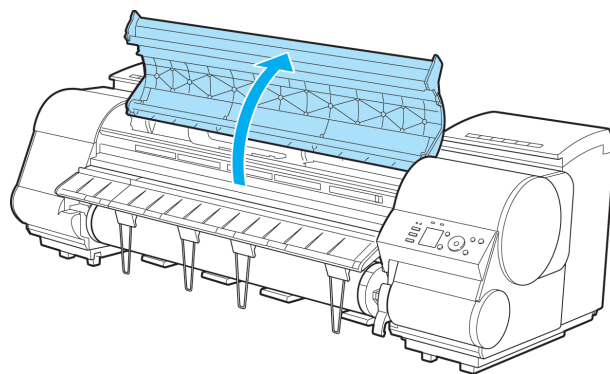
上カバー内部を清掃する

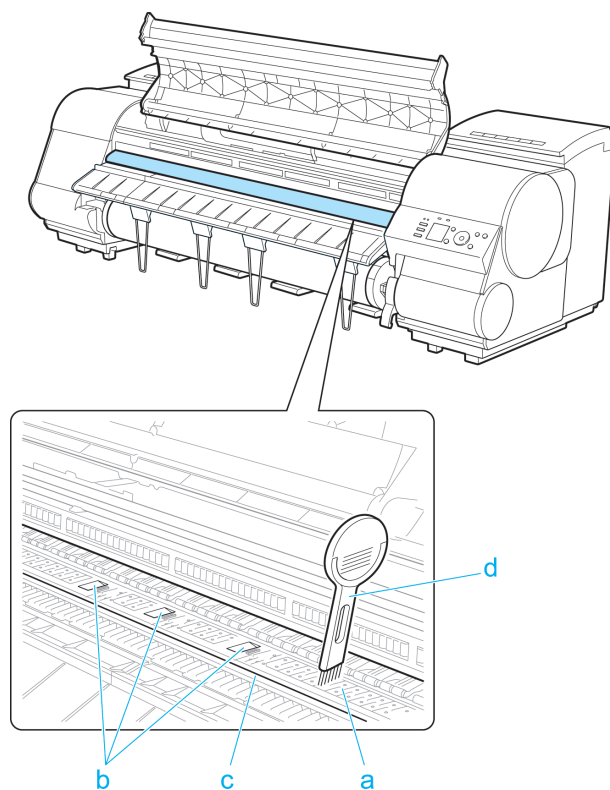
印刷品質の保持やトラブル防止のために、上カバー内部を清掃してください。
また、快適にご使用いただくために、以下の場合に上カバー内部を清掃してください。

- 印刷面や用紙の裏面が汚れる場合
- ロール紙 1 本を使い切った場合
- フチなし印刷を実行した場合
- 小さい用紙に印刷した場合
- カット屑が多く出る用紙に印刷した場合
- ロール紙を交換した場合
- 紙粉が多く出る用紙に印刷した場合
- [プラテン上の青いスイッチが汚れています。]とディスプレイに表示されている場合

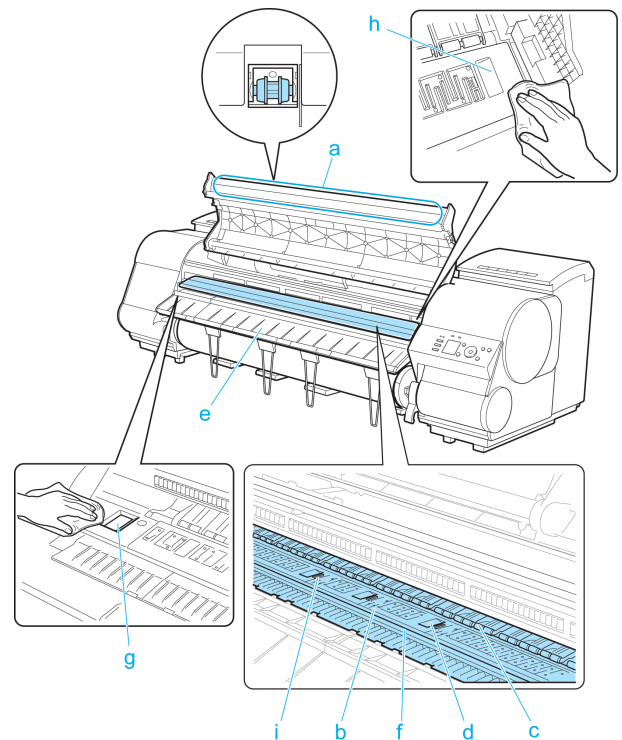
重要
- 上カバー内部のプラテンが汚れていると、用紙の裏面が汚れる場合があります。フチなし印刷を実行した後や小さい用紙に印刷した後は、プラテンを清掃することをお勧めします。
- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。

メンテナンスと消耗品
プリンタの清掃

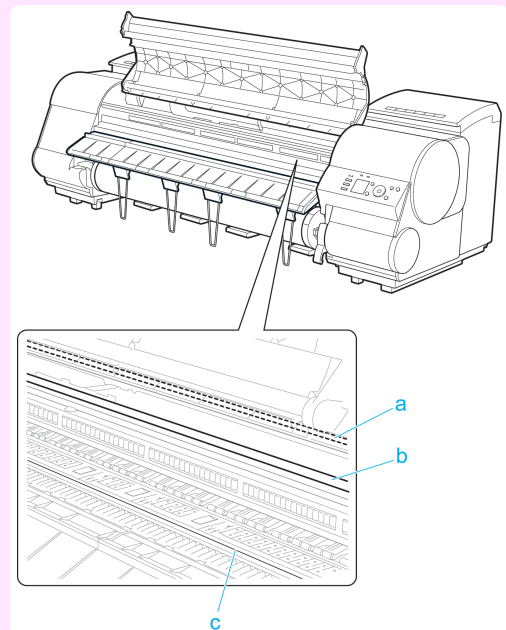
1 上カバーを開きます。

2 プラテン上の吸引口(a)、フチなし印刷インク受け溝(b)、カッターガイド(c)に紙粉がたまっている場合は、プリンタに同梱されているクリーナブラシ(d)で掃き取ります。

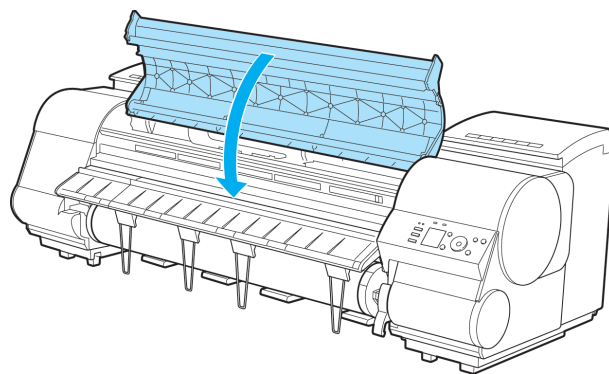
メモ

- クリーナブラシが汚れた場合は、水洗いしてください。

3 水を含ませて固く絞った布で、上カバー内部の汚れをふき取ります。上カバーローラ(a)、プラテン全域(b)、用紙押さえ(c)、フチなし印刷インク受け溝(d)、排紙ガイド(e)、カッターガイド(f)、左端のインク吸引口(g)の周囲、右端のフチなし印刷インク受け溝(h)、青いスイッチ(i)などのインクの汚れや紙粉(カット屑など)をふき取ります。

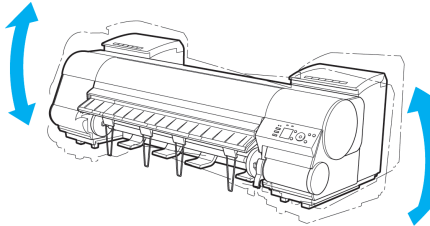
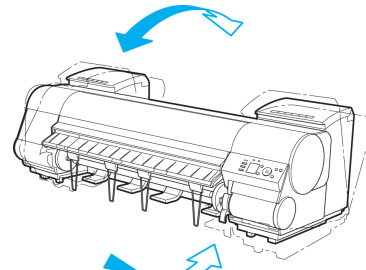
警告

- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、固定刃(c)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

- 上カバー内部の汚れをふき取るときは、乾ぶきしないでください。静電気を帯びて汚れやすくなり、印刷品質が低下する場合があります。
- 上カバーローラの脇に付いている透明なシートには触れないでください。破損の原因になります。

上カバーを閉じます。

その他のメンテナンス

プリンタの輸送の準備をする 855
ファームウェアをアップデートする 861

プリンタの輸送の準備をする

プリンタを輸送する場合は、内部機構を保護するために、必ず、輸送の前に以下の手順を行ってください。
プリンタの梱包作業、輸送後の設置作業については、セットアップガイドを参照してください。

重要

- プリンタを輸送する場合は、必ずキヤノンお客様相談センターへご連絡ください。適切な対応を行わずにプリンタ本体を傾けたり立てたりすると、内部のインクが漏れ出し、故障の原因になります。

メモ

- 輸送の準備時（輸送準備のためのメニュー実行時）に、プリンタの状態によっては、部品交換が必要な場合があります。
- 以下の表のレベル 2 またはレベル 3 の輸送を行う場合、インクがメンテナンスカートリッジに吸引されます。事前にメンテナンスカートリッジを準備してください。
- 以下の表のレベル 3 の輸送を行う場合は、必ず担当サービスの指示に従ってください。

レベル	輸送形態（例）	傾け許容角度	廃インク量	必要なメンテナンスカートリッジ（*1）
1	トラックによる輸送	長手方向:0°～30° 回転方向:0°～10°	0	0（*2）
2	飛行機による輸送	全方向:0°～30°	約 700ml	1 または 2
3	エレベータや階段で傾けたり立てて行う輸送	長手方向:0°～90° 回転方向:0°～30°	約 2000ml	2 または 3

*1: ［移動の準備］のメニューを実行するときに必要な新品のメンテナンスカートリッジの個数です。使用中のメンテナンスカートリッジの残量により個数は異なります。

*2: ディスプレイにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メンテナンスカートリッジの交換が必要となります。

用紙を取り外す

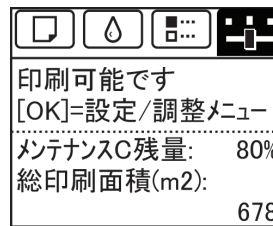
1 用紙を取り外します。

- ロール紙の場合（「ロール紙をプリンタから取り外す」参照） →P.489
- カット紙の場合（「カット紙を取り外す」参照） →P.510

[移動の準備]のメニューを選択する

1. ディスプレイにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メンテナンスカートリッジを交換します。
(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.843

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[移動の準備]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して輸送のレベルを選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[実行する]を選択し、[OK]キーを押すと、実行確認画面が表示されます。

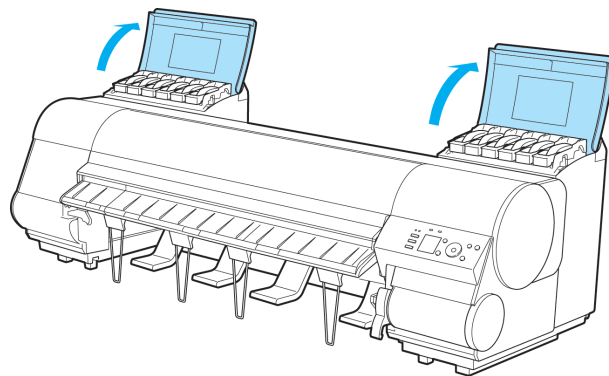
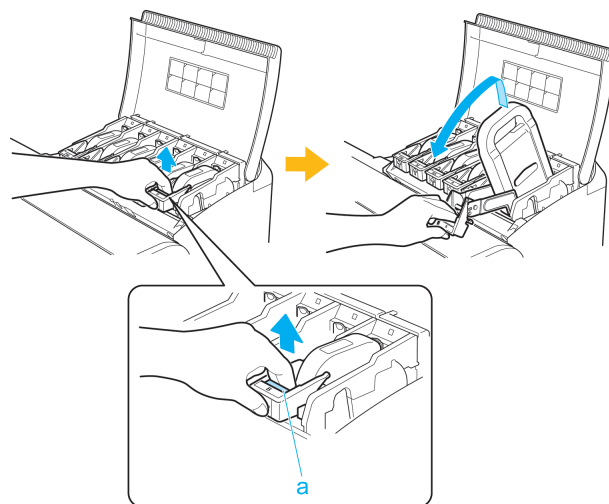
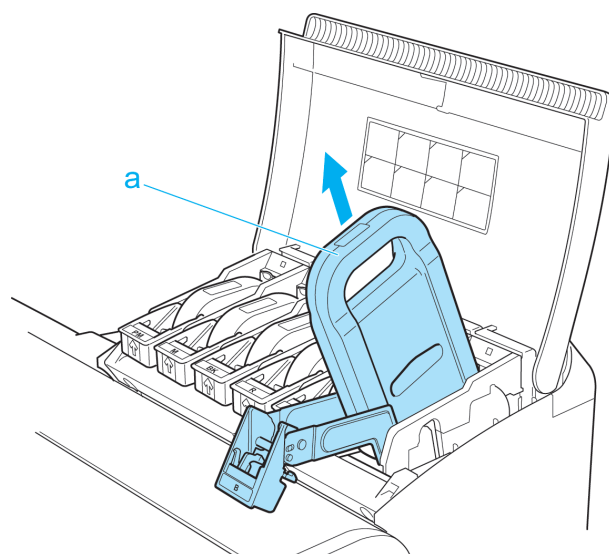
7. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
本体輸送の準備が開始されます。

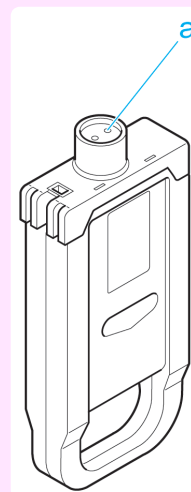
   - [レベル 1]の場合
   準備が完了すると、ディスプレイに電源をオフにするメッセージが表示されます。
   電源をオフにし、プリンタを梱包してください。インクタンクを取り出す必要はありません。
   (「プリンタを梱包する」参照) →P.858
   - [レベル 2]、[レベル 3]の場合
   準備が完了すると、ディスプレイにガイダンスが表示されます。
   インクタンクを取り出してから、プリンタを梱包してください。
   (「インクタンクを取り外す」参照) →P.856

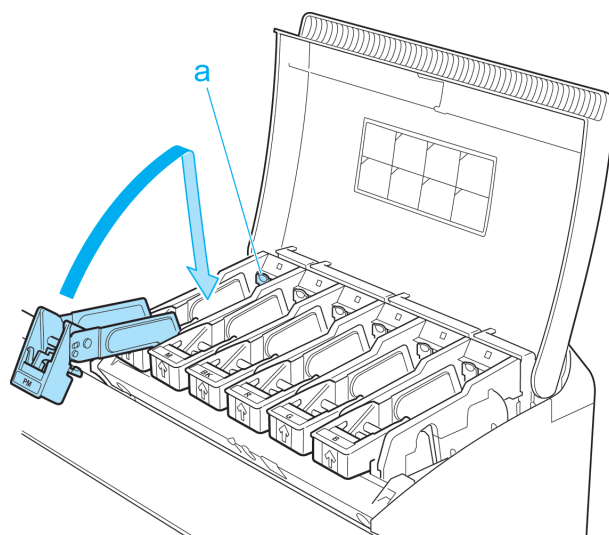
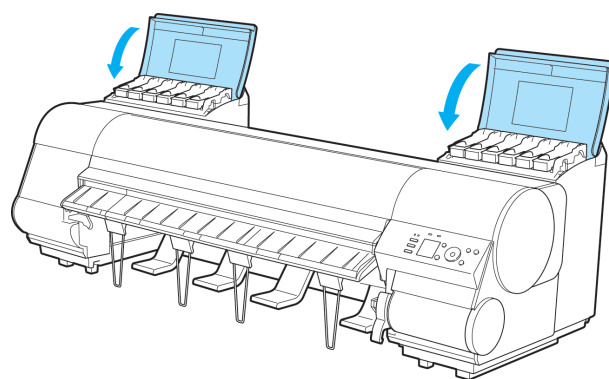
重要

- 消耗部品の交換が必要な場合は、ディスプレイに[消耗部品の交換が必要です。担当サービスにご相談ください。]と表示され、準備ができません。このメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押して、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

インクタンクを取り外す

1. 左右のインクタンクカバーを開きます。

2 インクタンク固定レバーのストッパー(a)を持ち上げて、インクタンク固定レバーを止まるところまで引き上げてから、手前に倒します。

3 取っ手(a)を持ってインクタンクを取り出します。

重要

- 取り出したインクタンクは、インク供給部(a)を上にして、梱包箱に入れて保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

4 手順 2〜3 を繰り返し、すべてのインクタンクを取り出します。

5 図の解除レバー(a)を押しながら、すべてのインクタンク固定レバーを静かに元の位置に戻します。

6 インクタンクカバーを閉じます。
チューブ内のインクが吸引されます。

重要
- メンテナンスカートリッジは、交換のメッセージが表示されたとき以外は取り外さないでください。
インクの吸引中にメンテナンスカートリッジを取り外すと、インクが漏れる可能性があります。

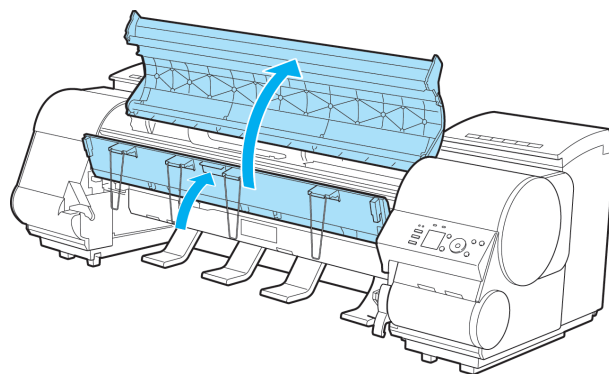
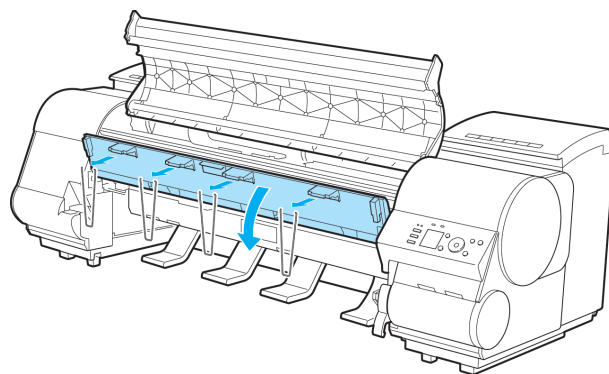
7 処理が終わると、[移動の準備が完了しました。電源を切ってください]と表示されます。
このとき、現在使用しているメンテナンスカートリッジを新品のメンテナンスカートリッジに交換してください。

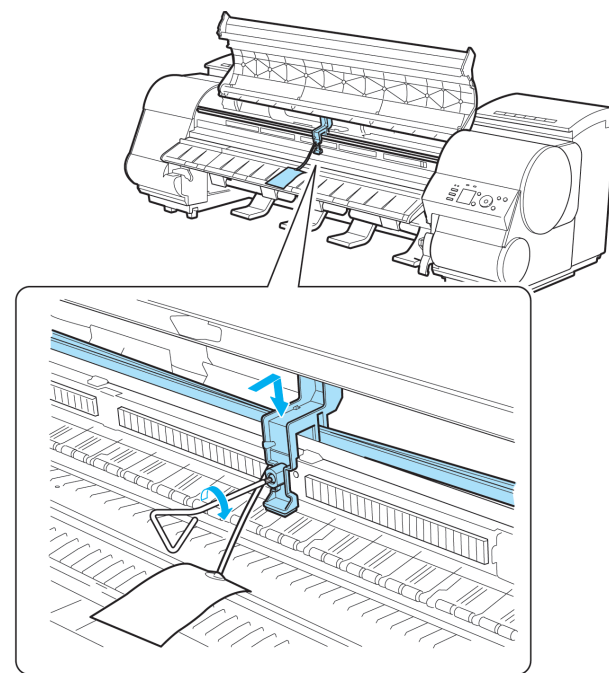
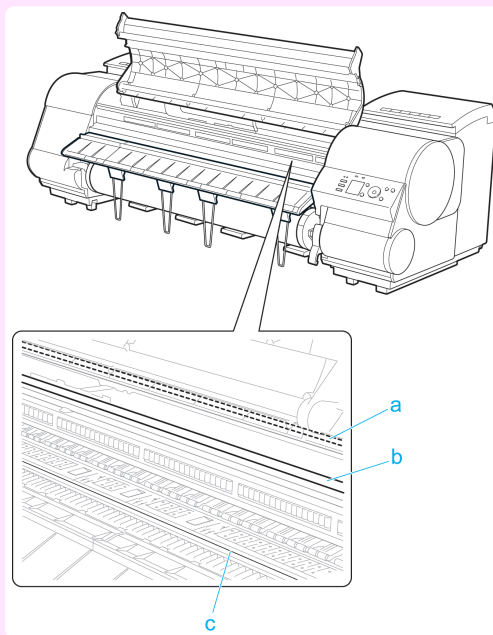
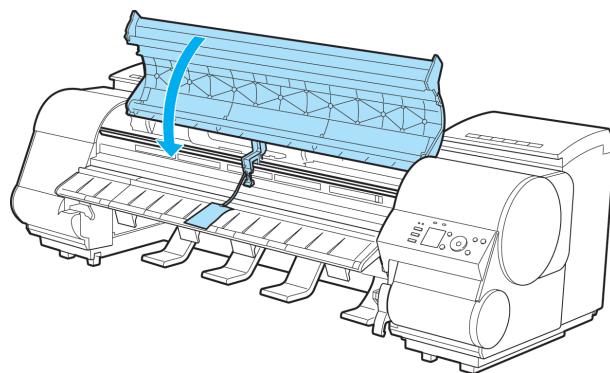
8 [電源]キーを押して、電源をオフにします。

プリンタを梱包する

1 電源コード、アース線、インタフェースケーブル、および巻き取り装置用電源コネクタを取り外します。

重要
- 電源をオフにしてから電源コードを抜いてください。オフにする前に抜いてしまった場合は、そのまま輸送するとプリンタの故障の原因になります。電源コードとインクタンクを取り付けた後、最初からやり直してください。

2 上カバーを開き、排紙ガイドを上げます。

3 4 本の排紙サポートを取り外し、排紙ガイドを下げます。

4 ベルトをつまんでベルトストッパに挟み、図の位置にベルトストッパを六角ビスで固定します。

重要

- ベルトストッパは、開梱時に取り外して保管しておいたものを取り付けてください。ベルトストッパを取り付けないと、故障の原因になります。
- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、固定刃(c)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

5 上カバーを閉じます。

6 開梱時と逆の手順でプリンタの各カバーをテープで固定します。

7 バスケットを取り付け時と逆の手順で取り外します。

8 プリンタ本体を取り付け時と逆の手順でスタンドから取り外します。

9 スタンドを、設置時と逆の手順で分解して梱包します。

10 ロールホルダー、ホルダーストッパ、プリンタなどに梱包材を取り付け、梱包箱に収納します。

ファームウェアをアップデートする

ファームウェアをアップデートすることにより、プリンタの機能を改善したり、新しい機能を追加することができます。

ファームウェアのバージョンを調べる

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して（設定/調整タブ）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[プリンタの情報]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[システム情報]を選択し、[OK]キーを押します。
ファームウェアのバージョンが表示されます。

ファームウェアをアップデートする

最新のファームウェアは、キヤノンのホームページから入手できます。ファームウェアのバージョンを調べて、ホームページのファームウェアの方が新しい場合は、ファームウェアをアップデートしてください。ファームウェアのダウンロードとアップデートの詳細については、キヤノンのホームページを参照してください。

消耗品

インクタンク 818
プリントヘッド 830
カッターユニット 839
メンテナンスカートリッジ 843

よくある質問

よくある質問

ここでは、よくある質問とその回答を紹介しています。回答欄のリンクをクリックすると、詳しい説明が表示されます。

質問	回答
垂れ幕や横断幕を簡単に作成したい。	横長または縦長の原稿をロール紙の幅に合わせて自動的に拡大し、印刷することで、簡単に垂れ幕や横断幕を作成できます。 (「垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)」参照) →P.98
ストップレスインクタンク交換に対応していますか?	このプリンタは、ストップレスインクタンク交換に対応しています。 印刷中にインクタンクが空になっても、サブインクタンクに常に一定量のインクが蓄えられているため、印刷しながらインクタンクを交換できます。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.818
ロール紙のカット設定について知りたい。	プリンタ本体の設定と、プリンタドライバの設定によって、カット方法を選択できます。 印刷後、自動的にロール紙をカットさせるには、プリンタ本体の[カットモード]の設定を[自動カット]に、プリンタドライバの[オートカット]の設定を[あり]に設定します。 印刷面に傷がつきやすい、またはインクの定着に時間がかかる用紙をご使用の場合は、プリンタ本体の[カットモード]の設定を[イジェクトカット]に設定することをお勧めします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496 (「印刷後にロール紙をカットする」参照) →P.150
インクの乾燥を待ってから、ロール紙が自動的にカットされるように設定したい。	プリンタドライバで、インクを乾燥させるための待ち時間が設定できます。 また、プリンタ本体でも、同様の設定ができます。 (「ロール紙のインク乾燥時間を設定する」参照) →P.494 (「メニューの階層」参照) →P.600
フチなし(ふちなし)で印刷したい。	ロール紙に印刷する場合は、プリンタドライバの設定で、フチなし印刷ができます。(カット紙に印刷する場合には、フチなし印刷ができません) (「用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する」参照) →P.86 (「ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する」参照) →P.92 (「原寸大のフチなしで印刷する」参照) →P.80
このプリンタで使用できる用紙の種類が知りたい。	このプリンタで使用できる用紙につきましては、imagePROGRAF のホームページ、または用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.474
印刷したい用紙の種類がディスプレイに表示されない。	新しく発売された用紙を使用する場合は、用紙情報をプリンタ本体およびプリンタドライバに登録する必要があります。imagePROGRAF のホームページから新しいバージョンの[用紙情報ファイル](Media Information File)をダウンロードし、インストールしてください。 (「用紙の種類」参照) →P.474
カラーキャリブレーションとはどのような機能ですか?	カラーキャリブレーションは、印刷時に、プリンタの個体差や経年変化による色味のばらつきを補正する機能です。 以下の場合に、カラーキャリブレーションの実行をお勧めします。 • 初期設置時 • プリントヘッドを交換したとき • 以前と比べて色味の変化を感じたとき • 複数のプリンタから色味を揃えて印刷したいとき • 実行案内が表示されたとき (「プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション」参照) →P.751
両面印刷はできますか?	このプリンタは、用紙の両面に印刷できません。 Windows ソフトウェアのフリーレイアウトで、[折り返し両面]機能を使えば、2 ページを片面に印刷し、用紙を中央で折り返し、吊り下げることで両面印刷の代用とすることができます。 (「折り返し両面で印刷する (Windows)」参照) →P.217
拡大印刷したい。	プリンタドライバで原稿を用紙のサイズや幅に合わせたり、倍率を指定して拡大印刷または縮小印刷ができます。 (「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.63 (「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.67 (「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する」参照) →P.71

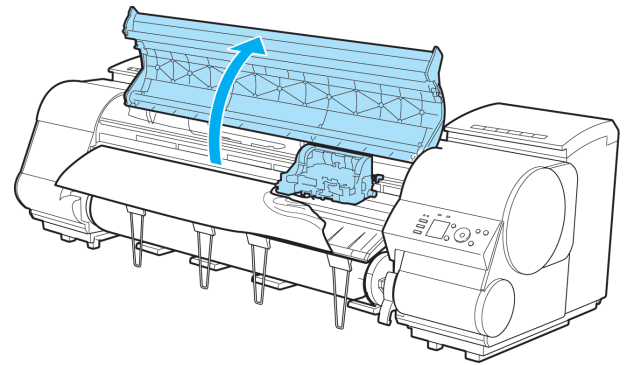
用紙に関連するトラブル

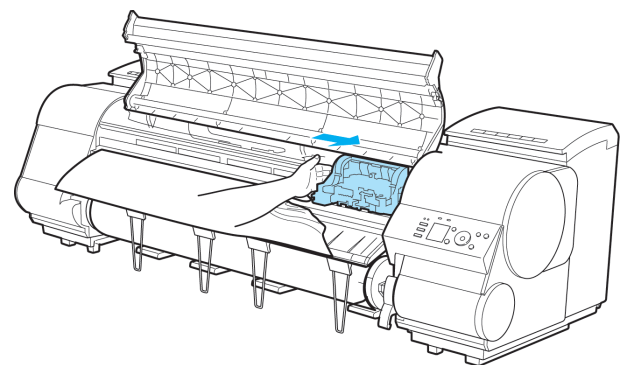
ロール紙のつまりを取り除く 865
カット紙のつまりを取り除く 868
ロール紙が給紙口に入らない 870
カット紙をセットできない 871
用紙をきれいにカットできない 871
用紙がカットされない 871
巻き取り装置が回転し続ける 871
クリアフィルムのサイズを検知できない 872
余白が多い 872
薄いロール紙に印刷すると印刷面に傷がつく 872

ロール紙のつまりを取り除く

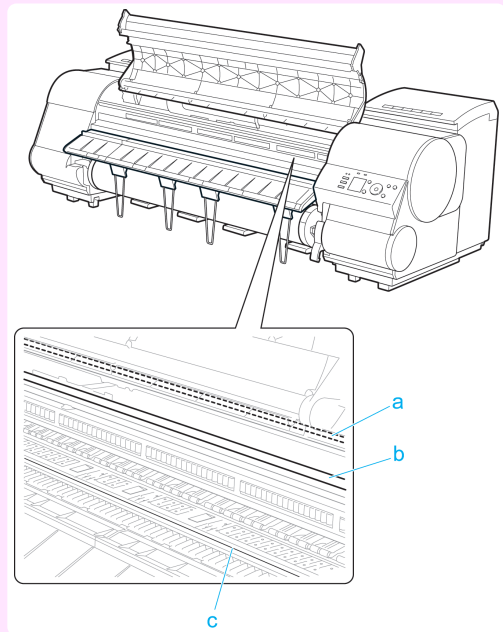
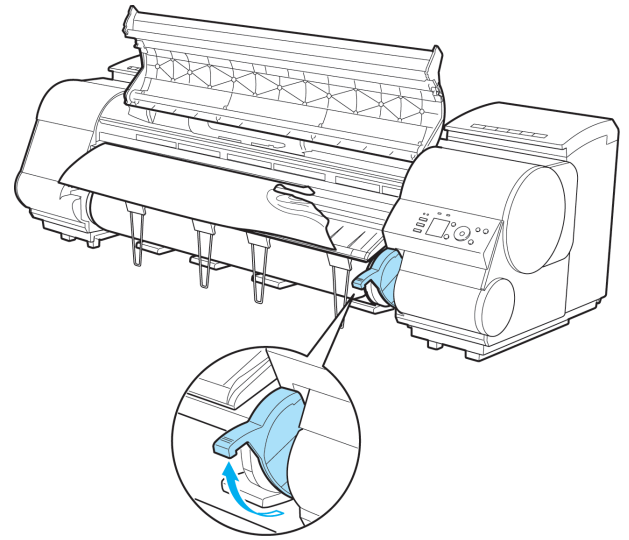
ロール紙がつまったときは、以下の手順でロール紙を取り除きます。

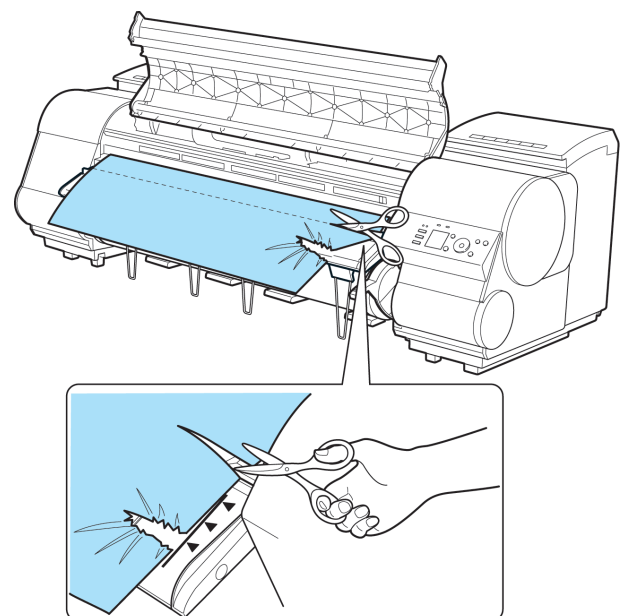
1 プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.21

2 上カバーを開きます。

- ロール紙のカールが強い場合など、ロール紙の先端がキャリッジにつまる場合は、ロール紙のカット方法をユーザーカットに設定し、用紙先端検知を[オフ]に設定すると用紙のつまりを回避できる場合があります。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496

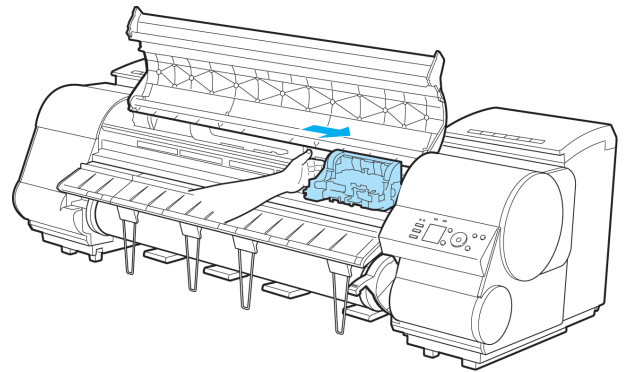
3 キャリッジが出ている場合は、用紙から離すように、キャリッジを移動します。

- キャリッジを左端に押し付けてしまうと、カッターユニットの刃が下りて用紙をカットできる状態になってしまいます。キャリッジを左端に押し付けた場合やカット中に紙づまりが発生した場合は、キャリッジとプラテンの間に指をはさまないように注意してください。

重要

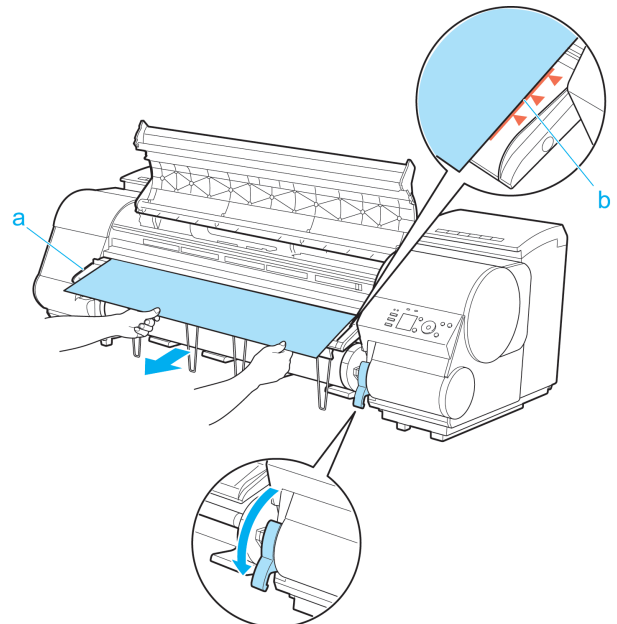
- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、固定刃(c)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

4 リリースレバーを上げます。

5 用紙の左右を持ってつまった用紙を前側に引き出し、印刷済みの部分やしわになっている部分をはさみなどでカットします。

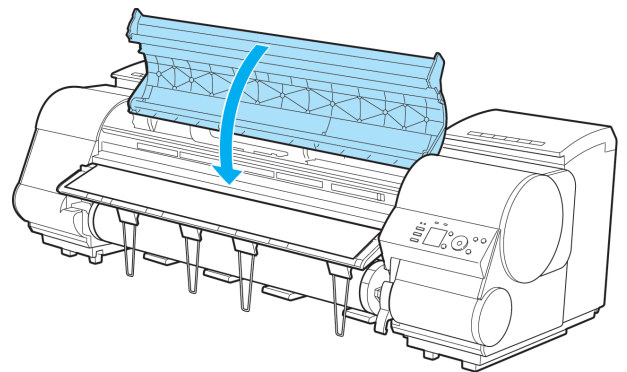
注意

- カットするときに、ケガをしたり、プリンタに傷を付けたりしないように注意してください。

6 キャリッジが左端にある場合は、キャリッジを右端に止まるまで移動します。

重要

- キャリッジは必ず右端に移動してください。キャリッジが左側にあると、電源をオンにしたときにキャリッジエラーが表示される場合があります。

7 ロール紙の先端中央を持って排紙ガイド(a)の位置まで左右均等に軽く引きながら、ロール紙の右端を紙合わせライン(b)に平行になるように合わせて、リリースレバーを下げます。

重要

- ロール紙を無理に引っ張って紙合わせライン(b)に合わせないでください。ロール紙がまっすぐ送られない場合があります。

8 上カバーを閉じます。

9 プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.21
ロール紙の給紙が始まり、印刷可能な状態になります。

メモ

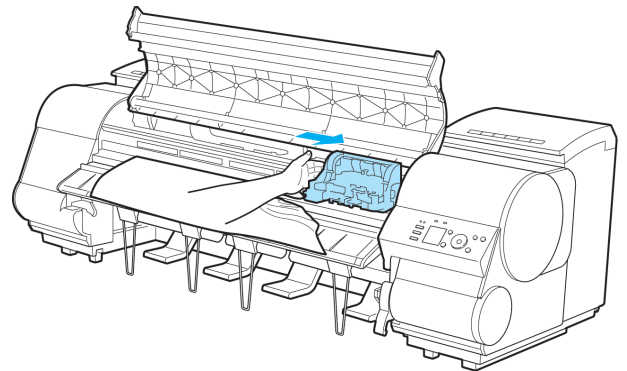
- 先端をよりきれいに揃えたい場合は、[用紙カット]キーを押してから[する]を選択し、先端をカットしてください。
(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496

カット紙のつまりを取り除く

カット紙がつまったときは、以下の手順でカット紙を取り除きます。

1 プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.21

2 上カバーを開きます。

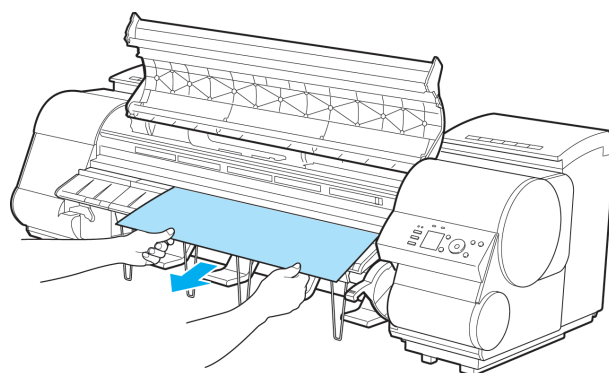
3 キャリッジが出ている場合は、用紙から離すように、キャリッジを移動します。

注意

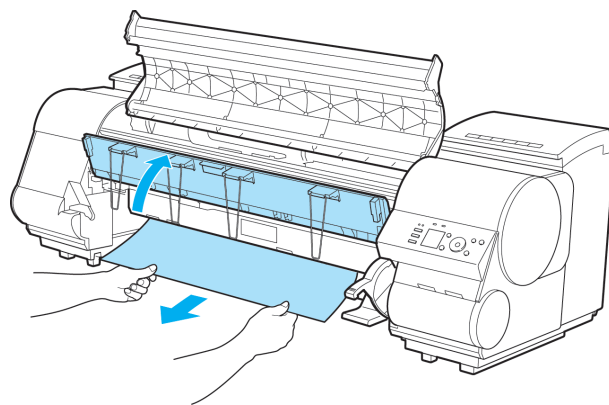
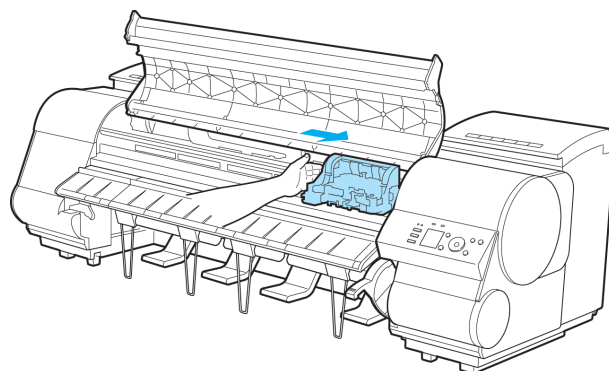
- キャリッジを左端に押し付けてしまうと、カッターユニットの刃が下りて用紙をカットできる状態になってしまいます。キャリッジを左端に押し付けた場合やカット中に紙づまりが発生した場合は、キャリッジとプラテンの間に指をはさまないように注意してください。

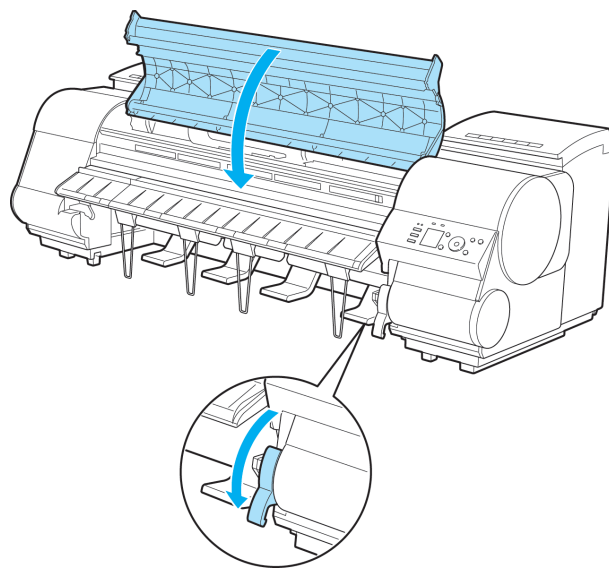
重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、固定刃(c)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

4 リリースレバーを上げます。

5 用紙が見える場合は、用紙を持って前側に引き抜きます。

6 用紙が見えない場合は、排紙ガイドを上げ、ロールホルダーを取り外し、下側からつまった用紙を取り除きます。

用紙を取り除いた後、紙片などが残っていないか内部を点検し、排紙ガイドを下げます。

7 キャリッジが左端にある場合は、キャリッジを右端に止まるまで移動します。

重要
- キャリッジは必ず右端に移動してください。キャリッジが左側にあると、電源をオンにしたときにキャリッジエラーが表示される場合があります。

8 リリースレバーを下げ、上カバーを閉じます。

9 プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.21

ロール紙が給紙口に入らない

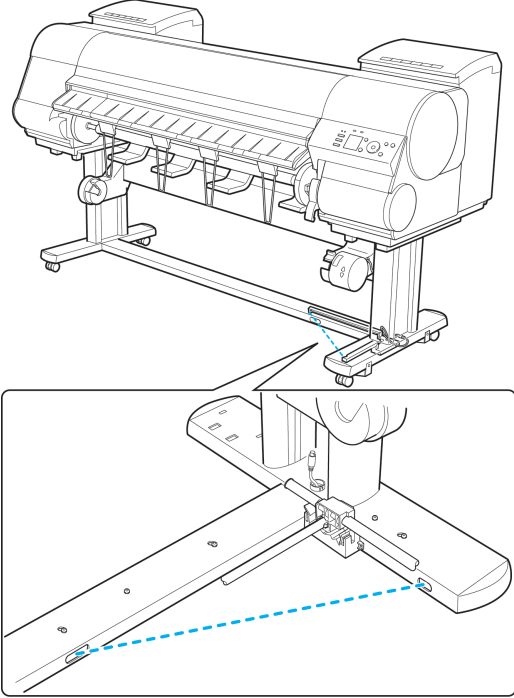
原因	処置
ロール紙がカールしています。	カールを直して、ロール紙をセットし直します。
給紙口に用紙がつまっています。	つまっている用紙を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.865 (「カット紙のつまりを取り除く」参照) →P.868

原因	処置
給紙元の選択が間違っています。	[用紙交換]キーを押して、給紙元を選択します。

カット紙をセットできない

原因	処置
給紙元の選択が間違っています。	[用紙交換]キーを押して、給紙元を選択します。

用紙をきれいにカットできない

原因	処置
用紙のカット位置の端部が折れ曲がっています。	用紙の端部の折れ曲がりを直します。
カット時に用紙のカット位置の端部が浮き上がっています。	用紙を正しくセットし直します。
カッターユニットでカットできない用紙を使用しています。	操作パネルのメニューで[カットモード]を[ユーザーカット]に設定し、印刷後にロール紙をはさみなどでカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496
カッターユニットが正しく取り付けられていません。	カッターユニットを正しく取り付けます。 (「カッターユニットを交換する」参照) →P.839
カッターユニットの刃が劣化しています。	カッターユニットを交換します。 (「カッターユニットを交換する」参照) →P.839
操作パネルのメニューで[カット スピード]が正しく設定されていません。	操作パネルのメニューで[カット スピード]の設定値を変更してください。 (「メニューの階層」参照) →P.600
カット中に、印刷物が斜めに落下しています。	操作パネルのメニューで[カットモード]を[イジェクトカット]に設定し、印刷後に印刷物を持ちながらカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496

用紙がカットされない

原因	処置
プリンタドライバの[オートカット]で[なし]または[カットラインを印刷]を選択しています。	プリンタドライバの[オートカット]で[あり]を選択します。 (「ページ設定シート(Windows)」参照) →P.176 (「用紙の詳細設定ダイアログボックス(Mac OS X)」参照) →P.335
操作パネルのメニューで[カットモード]が[イジェクトカット]または[ユーザーカット]に設定されています。	[カットモード]が[イジェクトカット]に設定されている場合は、[用紙カット]キーを押して用紙をカットします。 [カットモード]が[ユーザーカット]に設定されている場合は、ロール紙をはさみなどでカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496
カッターユニットが取り付けられていない。	カッターユニットを取り付けます。 (「カッターユニットを交換する」参照) →P.839
巻き取り装置を使用しているときは、ロール紙はカットされません。	[用紙カット]キーを押してロール紙をカットするか、リリースレバーを上げて、ロール紙をはさみでカットしてください。 (「印刷した用紙を巻き取り装置(オプション)から取り外す」参照) →P.526

巻き取り装置が回転し続ける

原因	処置
巻き取りセンサーの経路(破線部)に異物があります。	異物を巻き取りセンサーの経路から取り除きます。バスケット布やバスケットロッドは、巻き取りセンサーをさえぎらないように置いてください。

原因	処置
	異物を巻き取りセンサーの経路から取り除きます。バスケット布やバスケットロッドは、巻き取りセンサーをさえぎらないように置いてください。
巻き取りセンサーのコードが巻き取り装置Rに正しく接続されていません。	以下の手順で、巻き取りセンサーのコードを接続し直します。 1. プリンタ本体の電源をオフにします。 2. 巻き取りセンサーのコードを、巻き取り装置Rからいったん取り外し、再度奥までしっかりと差し込みます。 3. プリンタの電源をオンにします。 (「巻き取り装置(オプション)を使用する」参照) →P.519
	再び巻き取り装置が回転し続ける場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

困ったときには

用紙に関連するトラブル

クリアフィルムのサイズを検知できない

原因	処置
プラテンがインクなどで汚れています。	上カバーを開いて、プラテン全域を清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.851

余白が多い

原因	処置
カット不良や排紙不良を防ぐために、ロール紙が規定の長さ分送られてから、カットされました。	正常な動作です。

薄いロール紙に印刷すると印刷面に傷がつく

原因	処置
ロール紙が印刷中にたるんだため、用紙の表面に傷がついたり、用紙にしわや折れが発生しました。	操作パネルのメニューで[ロール紙テンション]を[強い]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.605 なお、[ロール紙テンション]の設定値を変えた場合は、[画質調整]することをお勧めします。 (「横スジを自動で調整する」参照) →P.735

印刷が開始されない

操作パネルのデータ受信ランプが点灯しない 873
印刷データを送信してもプリンタが動かない 873
ディスプレイにインク充填中です。と表示された 873
ディスプレイにインク攪拌中ですと表示された 873

操作パネルのデータ受信ランプが点灯しない

原因	処置
プリンタの電源が入っていません。	電源コードがしっかり奥まで接続されていることを確認します。[電源]キーを押して、プリンタの電源をオンにします。
印刷時に目的のプリンタが選択されませんでした。	Windows の場合は、印刷ダイアログボックスの[プリンタの選択]や[プリンタ設定]でプリンタを選択し、印刷し直します。
	Mac OS X の場合は、プリンタドライバのダイアログボックスを開き、[プリンタ]の一覧からプリンタを選択し、印刷し直します。
印刷ジョブが一時停止になっています。	Windows の場合は、以下の手順で一時停止を解除します。 1. [プリンタと FAX](または[プリンタ])ウィンドウのプリンタのアイコンを選択します。 2. [ファイル]メニューから[一時停止]を選択してチェックを外し、一時停止を解除します。
	Mac OS X の場合は、以下の手順で一時停止を解除します。 1. [プリントとファクス](OS のバージョンによっては[プリンタ設定ユーティリティ]または[プリントセンター])を開きます。 2. プリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[プリンタを再開](または[ジョブを開始])を選択し、一時停止を解除します。

印刷データを送信してもプリンタが動かない

原因	処置
操作パネルのメニューで[印刷の一時停止]が[オン]に設定されています。	[印刷の一時停止]を[オフ]に設定します。 (「印刷を一時停止状態にする」参照) →P.31
プリンタの[出力方法]で[ボックス保存]を選択して印刷しました。	ハードディスクに保存したジョブを印刷します。 (「保存したジョブを印刷する」参照) →P.696
印刷ジョブが保留ジョブになりました。	保留ジョブを操作して、印刷します。 (「保留ジョブを操作する(印刷、削除)」参照) →P.694

ディスプレイにインク充填中です。と表示された

原因	処置
プリンタの動作中に、強制的に電源を切ってしまいました。	インクの充填が完了するまでお待ちください。インクの充填は、9 分程度かかる場合があります。

ディスプレイにインク攪拌中ですと表示された

原因	処置
インク攪拌動作が実行されています。	インク攪拌動作が終了するまでお待ちください。 攪拌の動作時間は、電源オフ状態の経過期間により異なります(約 1 分 30 秒〜約 20 分)。

プリンタが途中で停止する

ディスプレイにエラーメッセージが表示される 874
用紙が白紙で排紙される 874

ディスプレイにエラーメッセージが表示される

原因	処置
印刷中にエラーメッセージが表示されます。	エラーメッセージを確認し、必要な処置を行います。 (「エラーメッセージ一覧」参照) →P.894
印刷中にロール紙がなくなり、後端をテープで止められているロール紙が搬送できずに止まっています。	使い終わったロール紙を取り除き、新しいロール紙に交換します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.489 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.492 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.22

用紙が白紙で排紙される

原因	処置
ロール紙の先端が切り揃えられました。	操作パネルのメニューで[先端プレカット]が[オフ]以外に設定されている場合は、ロール紙の先端が切り揃えられることがあります。 (「ロール紙の先端を自動でカットする」参照) →P.502
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.830
ご使用のプリンタに合っていないプリンタドライバから送信された印刷ジョブを受信しました。	ご使用のプリンタに合った imagePROGRAF プリンタドライバで印刷し直します。
プリンタが故障しています。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

印刷品質のトラブル

印刷がかすれる 875
プリントヘッドが用紙にこすれる 875
用紙の端が汚れる 876
用紙の表面が汚れる 877
用紙の裏面が汚れる 877
フチなし印刷の直後のフチあり印刷で後端余白部が汚れる 877
色味が違って印刷される 878
色味の違うスジが入る 878
色ムラが発生する 879
画像の端部がぼやけたり、白スジが入る 879
プラテン上の青いスイッチを設定する 880
印刷中に周期的な濃淡差が発生する 882
印刷物の用紙送り方向の長さが正確でない 882
用紙に対して斜めに印刷される 883
モノクロで印刷される 883
線の太さが均一に印刷されない 883
罫線のずれや色ずれが起こる 883
フチなし印刷でフチが出る 884

印刷がかすれる

原因	処置
用紙の裏面に印刷しています。	用紙の表面に印刷します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.830
インクタンクを取り外したままプリンタを放置したため、インク供給部にインクがつまっています。	インクタンクを取り付けた状態で 24 時間以上経過してから、操作パネルのメニューで[ヘッドクリーニング B]を実行します。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.831
上カバー内部に、つまった用紙の紙片が残っています。	以下の手順で、上カバー内部に残っている紙片を取り除きます。 1. 上カバーを開いて、プラテン上にキャリッジがないことを確認します。 2. 上カバー内部に残っている紙片を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.865 (「カット紙のつまりを取り除く」参照) →P.868 3. 上カバーを閉じます。
用紙をカットするときに、インクが乾燥していません。	操作パネルのメニューで[用紙詳細設定]の[ロール紙乾燥時間]の設定時間を長くします。 (「メニューの設定値」参照) →P.605
プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]の設定が[標準]または[速い]の場合、印刷がかすれることがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、[最高品質]または[きれい]を選択し、印刷します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高品質]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.57
カット屑が出やすい用紙に印刷しています。	操作パネルのメニューで[用紙詳細設定]の[カット屑軽減]を[オン]に設定します。 (「ロール紙のカット屑を軽減する」参照) →P.503

プリントヘッドが用紙にこすれる

原因	処置
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。

原因	処置
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
用紙が正しくセットされていないため、用紙が波打っています。	用紙をセットし直します。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
操作パネルのメニューでプリントヘッドの高さが低く設定されています。	操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を[自動]に設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732
厚い用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷しています。	[Canon 厚口コート紙]のように紙ベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[やや強い]または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を現在の設定値より高く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する」参照) →P.740 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732
	[トレーシングペーパー(CAD)]のようにフィルムベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[標準]、[やや強い]、または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を現在の設定値より高く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する」参照) →P.740 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732
	厚さが 0.1 mm 以下の薄い用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[弱い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を現在の設定値より高く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する」参照) →P.740 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732
プリンタに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、操作パネルで選択した用紙の種類が合っていません。	用紙をプリンタにセットするときに、操作パネルのメニューから正しい用紙種類を選択します。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
用紙の先端が上向きに強く反っている、または波打っているため、用紙の先端がプリントヘッドにこすれています。	操作パネルのメニューで[カットモード]を[ユーザーカット]に設定し、用紙先端検知設定で[オフ]を選択してください。 この場合、ロール紙の残量を管理する場合は、ロール紙をセットする前に、[ロール紙残量管理]を[オフ]に設定し、ロール紙をセットしてから[ロール紙残量管理]を[オン]に設定しなおしてください。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496 (「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.494

用紙の端が汚れる

原因	処置
フチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷した後、プラテンが汚れています。	上カバーを開いてプラテンを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.851
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類が合っていません。	プリンタの用紙の種類を、プリンタドライバで指定した用紙の種類に合わせます。 (「用紙の種類を変更する」参照) →P.487
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタで指定した用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
用紙にしわやカールがあります。	しわやカールを取ってから、用紙をセットし直します。一度印刷した用紙は使用しないでください。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
操作パネルのメニューで[カット屑軽減]が[オン]に設定されているため、用紙のカット位置にカット屑軽減ラインが印刷されています。	カット屑軽減機能が必要ない場合は、操作パネルのメニューで[カット屑軽減]を[オフ]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.605
操作パネルのメニューでプリントヘッドの高さが低く設定されています。	操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を[自動]に設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732

原因	処置
厚い用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷しています。	[Canon 厚口コート紙]のように紙ベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[やや強い]または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を現在の設定値より高く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する」参照) →P.740 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732
	[トレーシングペーパー(CAD)]のようにフィルムベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[標準]、[やや強い]、または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を現在の設定値より高く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する」参照) →P.740 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732
排紙ガイドが汚れています。	排紙ガイドを清掃します。 (「プリンタの外装を清掃する」参照) →P.851

用紙の表面が汚れる

原因	処置
用紙押さえが汚れています。	用紙押さえを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.851
乾きにくい用紙を使用しています。	操作パネルのメニューで[ロール紙乾燥時間]を[1 分]程度に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.605
	乾きにくい用紙に印刷すると、印刷中に用紙がカールし、排紙口に接触することがあります。 このような場合は、操作パネルのメニューで[スキャン間ウェイト]の[乾燥時間]と[領域]を設定します。 ただし、印刷に時間がかかるようになります。 (「メニューの設定値」参照) →P.605

用紙の裏面が汚れる

原因	処置
フチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷した後、プラテンが汚れています。	上カバーを開いてプラテンを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.851
	操作パネルのメニューで[キャリッジスキャン幅設定]を[固定]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.605
操作パネルのメニューで[用紙幅検知]が[オフ]に設定されている状態で印刷したため、プラテンが汚れました。	操作パネルのメニューで[用紙幅検知]を[オン]に設定してから、上カバーを開いてプラテンを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.851
	上カバーを開いてプラテンを清掃してから、ロール紙を手動でプラテン上に送って印刷します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.851 (「ロール紙を手動で送る」参照) →P.493
プラテン上での用紙の吸着力が強すぎます。	操作パネルのメニューで[吸着力]を現在の設定値より弱く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する」参照) →P.740
操作パネルのメニューで[フチなしはみ出し量]が[標準]に設定されています。	操作パネルのメニューで[フチなしはみ出し量]を[少ない]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.605

フチなし印刷の直後のフチあり印刷で後端余白部が汚れる

原因	処置
使用環境によっては、ロール紙の先端や後端を自動的にカットさせる設定でフチなし印刷を実行すると、カッターユニットに付着したインクが次の印刷物に転写することがあります。	以下の手順で[インク乾燥時間]の[ページ間]を 30 秒〜3 分程度に変更してから、フチなし印刷を実行してください。 1. プリンタドライバの[基本設定]シートで、[用紙の種類]の[詳細設定]をクリックします。 2. [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。

色味が違って印刷される

原因	処置
プリンタドライバの[詳細設定モード]でカラー調整が実行されていません。	プリンタドライバの[詳細設定モード]で[カラーモード]の[色設定]で色を調整します。
コンピュータやモニタのカラー調整が実行されていません。	コンピュータやモニタのマニュアルを参照して、コンピュータやモニタのカラー調整を実行します。
	カラーマネジメントソフトウェアのマニュアルを参照して、カラーマネジメントソフトウェアの設定を調整します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.830
Windows 用のプリンタドライバで[アプリケーションのカラーマッチングを優先する]チェックボックスがオフになっています。	プリンタドライバの[レイアウト]シートで[処理オプション]をクリックし、表示されたダイアログで[アプリケーションのカラーマッチングを優先する]チェックボックスをオンにします。
プリントヘッドを交換すると、プリントヘッドの個体差により色味が変わることがあります。	カラーキャリブレーションを実行します。
繰り返し使用するうちに、だんだんプリントヘッドの特性が変化し、色味が変わることがあります。	カラーキャリブレーションを実行します。
同一機種のプリンタでも、ファームウェアやプリンタドライバのバージョン、各項目の設定、使用環境が違うと、色味が変わることがあります。	以下の手順でプリンタの使用環境を揃えます。 1. ファームウェアやプリンタドライバのバージョンを同じものに揃えます。 2. 各設定項目を同じ設定にします。 3. カラーキャリブレーションを実行します。
プリンタドライバを再インストールするときに Media Configuration Tool の地域選択が変更されました。 Media Configuration Tool の地域選択を変更すると、インストール前にプリンタに登録されていた地域限定の用紙情報は削除されます。情報が削除された用紙でカラーキャリブレーションを実行していた場合、すべての種類の用紙でカラーキャリブレーションが適用されなくなります。	新しく選択した地域に合ったカラーキャリブレーションに対応している用紙で、カラーキャリブレーションをやり直します。

色味の違うスジが入る

原因	処置
用紙の送り量が正しく調整されていません。	用紙の送り量を調整します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.734
印刷ジョブの受信が途切れて、スムーズに印刷されていません。	他のアプリケーションや他の印刷ジョブを終了します。
操作パネルのメニューで[優先設定]が[長さ優先]に設定されています。	操作パネルのメニューで[優先設定]を[画質優先]に設定し、用紙の送り量を調整すると改善される場合があります。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.734
プリントヘッドの位置がずれています。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまり を確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.830
[印刷品質]の設定が低い場合、印刷にスジが入ることがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択し、印刷します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高品質]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.57
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。

原因	処置
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

色ムラが発生する

原因	処置
ベタ塗りが多い画像を、[線画・文字]で印刷しています。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[優先画質]で、[写真・イラスト]を選択します。
カールしやすい用紙に印刷しています。	カールしやすい用紙の場合、用紙先端で色ムラが発生することがあります。操作パネルのメニューで用紙の吸着力が強くなるよう[吸着力]の設定値を変更するか、用紙の先端に20 mm 以上の余白を設定します。 (「用紙の吸着力を変更する」参照) →P.740
[印刷品質]の設定が低い場合、色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。[速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高品質]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.57
画像に濃い部分と薄い部分がある場合、濃淡の境目に色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]で[片方向印刷]チェックボックスをオンにします。
フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[オートカット]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.57
プリントヘッドの位置がずれています。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728
印刷物を重ねて乾燥させると、色ムラの原因となることがあります。	色ムラが出ないように、1 枚ごとに乾燥させることをお勧めします。
光沢紙、[Canon コート紙]を使用した場合、濃度ムラが発生する場合があります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、[最高品質]または[きれい]を選択し、印刷します。
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
操作パネルのメニューで[スキャン間ウェイト]の[領域]が[先端]に設定されています。	[スキャン間ウェイト]の[領域]が[先端]に設定されている場合、用紙の先端から約 110～160 mm の位置に色ムラが発生することがあります。(位置は[印刷品質]の設定により異なります) このような場合は、[スキャン間ウェイト]の[領域]を[全域]に設定します。 ただし、印刷に時間がかかるようになります。 (「メニューの設定値」参照) →P.605

画像の端部がぼやけたり、白スジが入る

原因	処置
プラテン上での用紙の吸着力が強すぎます。	操作パネルのメニューで[吸着力]を現在の設定値より弱く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する」参照) →P.740
	プラテン上の青いスイッチを、用紙のサイズに合わせて閉じます。 (「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.880
プリントヘッドの位置が正しく設定されていません。	光沢・半光沢系のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、プリントヘッドを最適な高さに設定してから、プリントヘッドの位置を調整してください。 (「印刷品質を向上させる」参照) →P.726
	操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を現在の設定値より低く設定します。

原因	処置
プリントヘッドの位置が正しく設定されていません。	(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

プラテン上の青いスイッチを設定する

印刷物に対する以下のような症状が気になる場合には、プラテン上の青いスイッチの設定を変更してください。

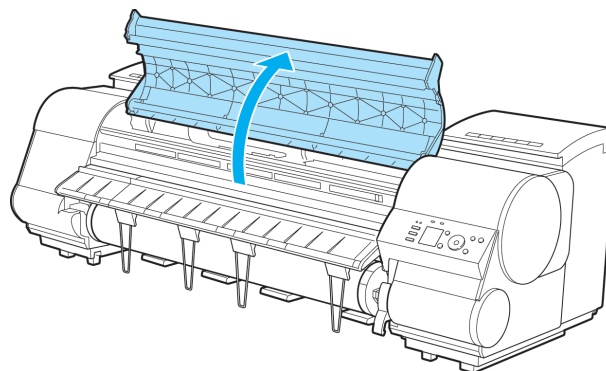
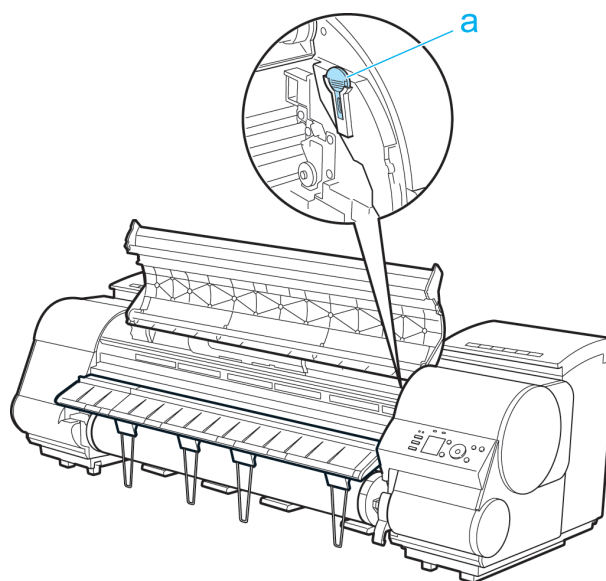
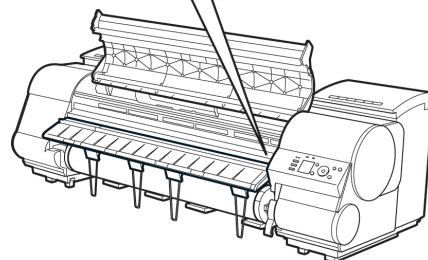
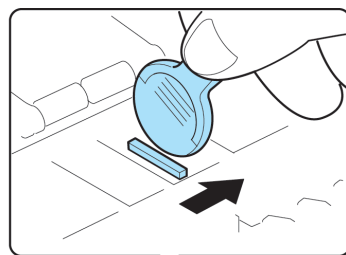
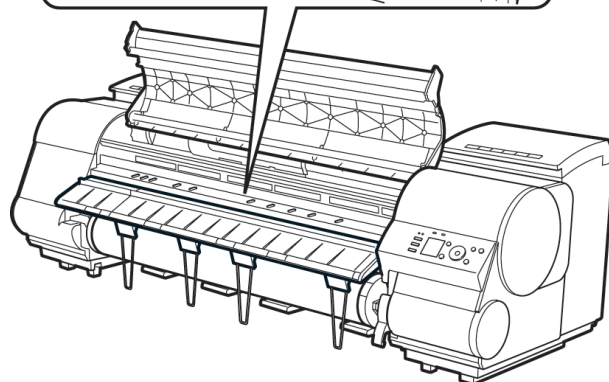
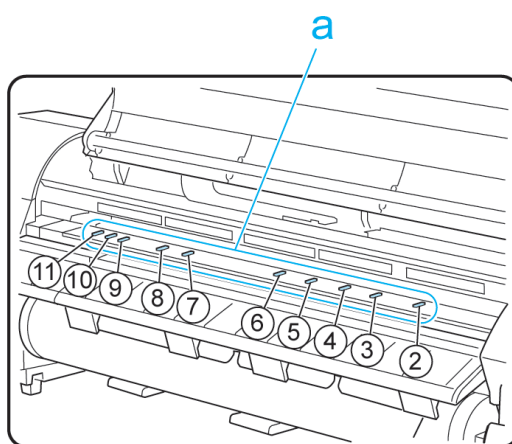
- 印刷した画像の端部がぼやける
- 印刷した画像の端部に、白いスジが入る

重要

- フチなしで印刷する場合は、プラテン上のすべての青いスイッチを必ず●側に設定してください。スイッチが正しく設定されていないと、印刷品質が低下します。

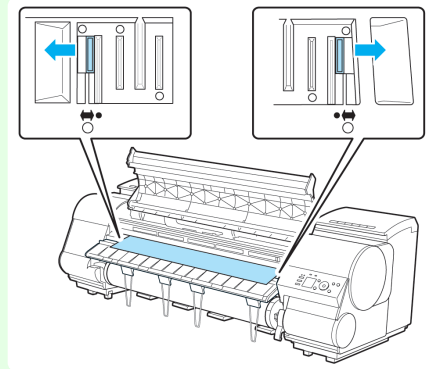
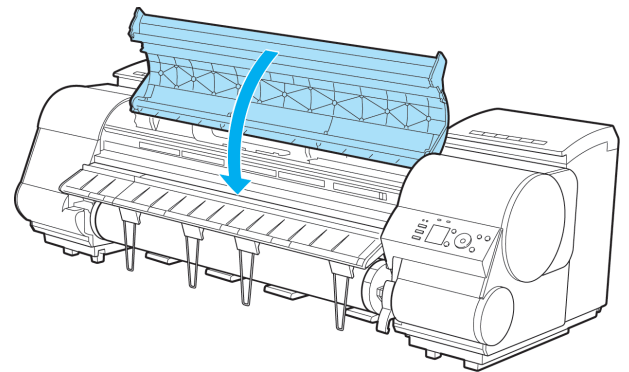
1 使用しない用紙がセットされている場合は、取り外しておきます。

- ロール紙の場合(「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.489
- カット紙の場合(「カット紙を取り外す」参照) →P.510

2 上カバーを開きます。

3 クリーナブラシ(a)を取り出します。

4 クリーナブラシの背を使い、1 番のスイッチを●の反対側に動かします。

5 印刷する用紙サイズに一致するプラテン上の番号(a)を、下の表で確認してください。

番号	寸法
2	254.0 mm(10.00 インチ)
3	355.6 mm(14.00 インチ)
4	431.8 mm(17.00 インチ)
5	515.0 mm(JIS B2/B3)
6	594.0 mm(ISO A1/A2) / 609.6 mm(24.00 インチ)
7	841.0 mm(ISO A0/A1)
8	914.4 mm(36.00 インチ)
9	1030.0 mm(JIS B0/B1)
10	1066.8 mm(42.00 インチ)
11	1117.6 mm(44.00 インチ)

6 クリーナブラシの背を使い、印刷する用紙サイズに一致する番号のスイッチを●の反対側に動かします。この場合、動かす方向が手順 4 と逆になるので注意してください。

メモ

- スイッチは、1 番と用紙サイズに一致する番号だけを動かします。2 以上の番号のスイッチで、用紙サイズに一致しない番号のスイッチはすべて●側に設定してください。

7 上カバーを閉じます。

印刷中に周期的な濃淡差が発生する

原因	処置
用紙の送り量が正しく調整されていません。	用紙の送り量を調整します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.734
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

印刷物の用紙送り方向の長さが正確でない

原因	処置
操作パネルのメニューで[優先設定]が[画質優先]に設定されています。	操作パネルのメニューで[優先設定]を[長さ優先]に設定してから、[長さ調整]を実行します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.734
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

用紙に対して斜めに印刷される

原因	処置
操作パネルのメニューで[斜行検知精度]が[ゆるめ]または[オフ]に設定されています。	操作パネルのメニューで[斜行検知精度]を[標準]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.605
操作パネルのメニューで[用紙幅検知]が[オフ]に設定されています。	操作パネルのメニューで[用紙幅検知]を[オン]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.605
ロール紙が斜めにセットされています。	ロール紙とロールホルダーに隙間があるときは、ロール紙をセットし直します。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483

モノクロで印刷される

原因	処置
プリンタドライバの[詳細設定モード]の[カラーモード]で[モノクロ]、[モノクロ(写真)]が設定されています。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[カラーモード]で[カラー]を選択し、印刷し直します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.830

線の太さが均一に印刷されない

原因	処置
Windows 用プリンタドライバの[処理オプション]ダイアログボックスで、[高速描画処理する]がチェックされています。	アプリケーションソフトの[ファイル]メニューの[印刷]から、プリンタドライバの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、以下の設定で印刷してください。 1. [基本設定]シートの[印刷時にプレビュー画面を表示]のチェックを外してください。 2. [レイアウト]シートで、[ページレイアウト]のチェックを外してください。 3. [レイアウト]シートの[処理オプション]ボタンをクリックして開く[処理オプション]ダイアログボックスで[高速描画処理する]のチェックを外してください。
プラテン上の青いスイッチの設定が正しくない。	印刷する用紙サイズに一致する番号のスイッチを●の反対側に動かします。 (「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.880
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
プリントヘッドの位置が正しく設定されていません。	光沢・半光沢系のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、プリントヘッドを最適な高さに設定してから、プリントヘッドの位置を調整してください。 (「印刷品質を向上させる」参照) →P.726
	操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を現在の設定値より低く設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732
用紙の種類によっては、印刷した線の太さのばらつきが目立つことがあります。	プリンタドライバの[優先画質]で[プルーフ]を選択します。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.57

罫線のずれや色ずれが起こる

原因	処置
プリントヘッドの位置が正しく調整されていません。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728 (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する」参照) →P.730
	光沢・半光沢系のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、プリントヘッドを最適な高さに設定してから、プリントヘッドの位置を調整してください。 (「印刷品質を向上させる」参照) →P.726
	操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を現在の設定値より低く設定します。

原因	処置
プリントヘッドの位置が正しく調整されていません。	(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する」参照) →P.732
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
用紙の種類によっては、印刷した罫線のずれが目立つことがあります。	プリンタドライバの[優先画質]で[プルーフ]を選択します。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.57

フチなし印刷でフチが出る

原因	処置
原寸大でフチなし印刷したときに、原稿サイズより幅の大きい用紙が選択されました。	原寸大でフチなし印刷する場合は、原稿サイズの横幅と同じ幅のロール紙を使用してください。 (「原寸大のフチなしで印刷する」参照) →P.80
原稿に余白があります。	原稿にトンボや透明なオブジェクトなどがないことを確認してください。
使用しているアプリケーションソフトで余白が設定されています。	使用しているアプリケーションソフトで、余白が設定されていないことを確認してください。
操作パネルのメニューで[フチなしはみ出し量]が[少ない]に設定されています。	操作パネルのメニューで[フチなしはみ出し量]を[標準]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.605

ネットワーク環境で印刷できない

プリンタをネットワークに接続できない 885
TCP/IP ネットワークで印刷できない 885
NetWare ネットワークで印刷できない 885
AppleTalk や Bonjour ネットワークで印刷できない 886

プリンタをネットワークに接続できない

原因	処置
プリンタの Ethernet コネクタと Ethernet ケーブルが正しく接続されていません。	1. 正しい Ethernet ケーブルでプリンタがネットワークに接続されていることを確認し、プリンタの電源をオンにします。ケーブルの接続方法については、セットアップガイドを参照してください。 2. LINK ランプが点灯していることを確認します。 1000Base-T で接続している場合は上下のランプが点灯します。100Base-TX で接続している場合は下側のランプが緑色に、10Base-T で接続している場合は上側のランプがオレンジ色に、それぞれ点灯します。 LINK ランプが点灯しない場合は、以下の点を確認してください。 • HUB の電源がオンになっていることを確認します。 • Ethernet ケーブルのコネクタが正しく接続されていることを確認します。 Ethernet ケーブルは、カチッとロックするまで Ethernet コネクタに差し込んでください。 • Ethernet ケーブルに問題がないことを確認します。 問題がある場合は、Ethernet ケーブルを取り替えてください。 • HUB との通信方式を確認します。 プリンタは通常、HUB の通信モードや速度を自動で検出しますが(オートネゴシエーションモード)、HUB によっては、検出できない場合があります。その場合は、ご使用の通信方式に合わせて、手動で接続方式を設定してください。 (「通信方式を手動で設定する」参照) →P.665

TCP/IP ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの IP アドレスが正しく設定されていません。	プリンタの IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。 (「imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する」参照) →P.668 (「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する」参照) →P.643
プリンタの TCP/IP プロトコルが正しく設定されていません。	プリンタの TCP/IP プロトコルが正しく設定されていることを確認します。 (「リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」参照) →P.647
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータの TCP/IP 設定が正しく行われていることを確認します。 (「プリンタドライバの接続先を設定する(Windows)」参照) →P.646 (「TCP/IP ネットワークで接続先を設定する(Mac OS X)」参照) →P.658

NetWare ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの NetWare プロトコルが正しく設定されていません。	プリンタの NetWare プロトコルが正しく設定されていることを確認します。特に、有効なフレームタイプが選択されていることを確認してください。 (「リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする」参照) →P.655
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータの NetWare 設定が正しく行われていることを確認します。 (「NetWare ネットワークを設定する」参照) →P.650
NetWare のサーバーやサービスが正しく設定されていません。	以下の点を確認します。 1. NetWare サーバーが起動していることを確認します。 2. NetWare サーバーに十分なディスクの空き容量があることを確認します。ディスクの空き容量が不足すると、サイズの大きいジョブを印刷できない場合があります。 3. NWADMIN または PCONSOLE を起動し、プリントサービスが正しく設定され、プリントキューが使用可能であることを確認します。 4. 他のサブネットにあるプリンタへのデータの送信に失敗する場合は、プリンタのプロトコル設定で、NCP バーストモードをオフにします。

原因	処置
NetWare のサーバーやサービスが正しく設定されていません。	**5.** キューサーバーモードで使用している場合は、プリンタタイプを[その他/不明]に設定します。
サーバとの接続が切断されていない状態で、プリンタの電源を入れなおしました。	プリンタの電源を切った場合は、30 秒以上たってから電源を入れます。

AppleTalk や Bonjour ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの AppleTalk プロトコルが有効になっていません。	AppleTalk プロトコルを有効にします。 (「プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする」参照) →P.662
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータ側の AppleTalk 設定が正しく行われていることを確認します。 (「AppleTalk ネットワークで接続先を設定する(Mac OS X)」参照) →P.660 (「Bonjour ネットワークで接続先を設定する(Mac OS X)」参照) →P.659
コンピュータとプリンタが同一のネットワーク上にありません。	Bonjour 機能では、ルーターを経由した別のネットワークグループ上のプリンタで印刷することはできません。コンピュータとプリンタを同じネットワークグループに接続してください。ご使用のネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

インストールに関連するトラブル

インストールしたプリンタドライバを削除したい

コンピュータにインストールしたプリンタドライバやユーティリティソフトは、以下の手順で削除できます。

プリンタドライバを削除する(Windows)

プリンタドライバは、以下の手順で削除します。

メモ

- 以下の操作手順は、Windows XP のものです。削除方法は、Windows のバージョンによって異なります。

1. Windows の[スタート]メニューから[プログラム]－[Canon Printer Uninstaller]－[imagePROGRAF Printer Driver Uninstaller]を選択し、[プリンタの削除]ウィンドウを開きます。
2. 一覧からプリンタを選択し、[削除]をクリックします。
3. [警告]メッセージダイアログボックスで、[はい]をクリックします。
4. 一覧からプリンタが削除されたことを確認し、[終了]をクリックします。

プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor を削除する(Macintosh)

プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor は、以下の手順で削除します。

1. プリンタに付属の User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. User Software CD-ROM の中にあるプリンタドライバのインストーラを起動します。
[OS X]フォルダ内の[iPF Driver Installer X]をダブルクリックします。
3. インストーラのウィンドウの左上のメニューから[アンインストール]を選択し、[アンインストール]をクリックします。
4. 画面に従って、プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor を削除します。

imagePROGRAF Status Monitor を削除する(Windows)

imagePROGRAF Status Monitor は、以下の手順で削除します。

メモ

- 以下の操作手順は、Windows XP のものです。削除方法は、Windows のバージョンによって異なります。

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
2. [プログラムの追加と削除]を開きます。
3. [imagePROGRAF Status Monitor]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

imagePROGRAF Device Setup Utility を削除する(Windows)

imagePROGRAF Device Setup Utility は、以下の手順で削除します。

メモ

- 以下の操作手順は、Windows XP のものです。削除方法は、Windows のバージョンによって異なります。

1. Windows の[スタート]メニューから[プログラム]－[imagePROGRAF Device Setup Utility]－[Uninstaller (imagePROGRAF Device Setup Utility)]を選択し、ウィザードを起動します。

2 ウィザードのウィンドウで[削除]をクリックし、[次へ]をクリックします。

3 画面に従って、imagePROGRAF Device Setup Utility を削除します。

その他のトラブル

電源がオンにならない 889
起動に時間がかかる 889
異常音かなと思ったときには 889
メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない 889
インクが異常に消費される 889
インク残量検知機能について 890

電源がオンにならない

原因	処置
電源コードが抜けています。	コンセントに電源コードを接続してから、プリンタの電源をオンにします。
所定の電圧が供給されていません。	コンセントやブレーカーの電圧を確認します。プリンタの仕様に合った電源を使用してください。（「仕様」参照） →P.920

起動に時間がかかる

原因	処置
停電やコンセントが抜けるなどして、プリンタが異常終了しました。 この場合、つぎに電源を入れたときに、ハードディスクがチェックされるため、起動時間が長くなることがあります。	ハードディスクのチェックが終了するまで、数分かかる場合がありますので、しばらくお待ちください。 ハードディスクのチェック終了後にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って処置してください。

異常音かなと思ったときには

原因	処置
プリンタの動作音がした。	以下のような場合は、異常ではありません。 • プラテンから吸引音がする 用紙の浮き上がりを防ぐために、プラテン表面には吸引口があり、用紙を吸引しています。 • 印刷中にロール紙がはためく音がする 大きいサイズの用紙が送られるときに、はためく音がする場合があります。 • 突然クリーニング動作の音がする プリンタのメンテナンスのため、所定の期間が経過するとスリープ状態でもクリーニング動作が自動実行されます。 • 突然インク撹拌動作の音がする 最適な印字品位を保つため、所定の期間が経過するごとにスリープ状態でもインク撹拌動作が自動実行されます。撹拌の動作時間は約 1 分 30 秒です。 また、以下のタイミングでもインク撹拌動作が自動実行されます。なお、操作パネルのディスプレイに[インク撹拌中です]と表示されている間に他の操作はできません。 　• 電源オン後 　• データ送信後 　• インクタンク交換後 上記以外の場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない

原因	処置
交換した新しいメンテナンスカートリッジが認識されていません。	交換した新しいメンテナンスカートリッジを取り外し、再度しっかり差し込み直します。（「メンテナンスカートリッジを交換する」参照） →P.843

インクが異常に消費される

原因	処置
全面カラーの多数の印刷物が印刷されています。	写真など色を塗りつぶすような印刷物の場合、インクを多く消費します。異常ではありません。

原因	処置
操作パネルのメニューで[ヘッドクリーニングB]が頻繁に実行されています。	操作パネルのメニューで[ヘッドクリーニングB]を実行すると、インクを多く消費します。異常ではありません。プリンタの輸送後、長期間プリンタを使用しなかった後、またはプリントヘッドのトラブル時以外は、できる限り[ヘッドクリーニングB]を実行しないことをお勧めします。
初期充填が行われました。	初めてプリンタを使用する場合やプリンタの輸送後に使い始める場合、インクタンクとプリントヘッド間でインクの初期充填が行われるため、インクの残量表示がすぐに80%になることがあります。異常ではありません。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルのつまりをチェックしてください。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.830

インク残量検知機能について

一度空になったインクタンクを取り付けた場合、インク残量検知機能を無効にできます。

インク残量検知機能について

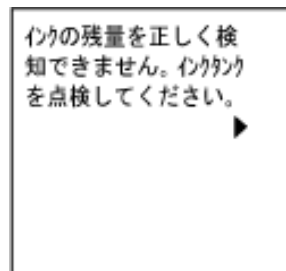
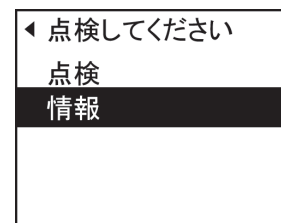
このプリンタ指定のインクタンクには、印刷中のインク切れやプリンタの故障を防止するためのインク残量検知機能があります。(「インクタンク」参照) →P.818
インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなり、印刷が停止します。そのため、インクを補充したインクタンクを使用する場合は、インク残量検知機能を無効にする必要があります。
ただし、インク残量検知機能を無効にして印刷した場合、プリンタに損傷、異常が発生する場合があります。インクを補充したことが原因の故障につきましては、キヤノンは責任を負いかねます。

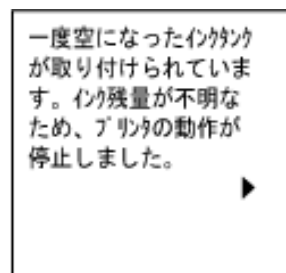
重要

- いったんインク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。インク残量検知機能を回復するには、プリンタ指定の新しいインクタンクに交換してください。
- 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンタとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンタに損傷を与える場合があります。

インク残量検知機能を無効にする

1 ディスプレイに、インクの残量を検知できないというメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

インクの残量を正しく検知できません。インクタンクを点検してください。 ▶

2 [▲]キー、[▼]キーを押して[情報]を選択し、[OK]キーを押します。

3 ディスプレイにインク残量検知機能の無効を確認するメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

一度空になったインクタンクが取り付けられています。インク残量が不明なため、プリンタの動作が停止しました。 ▶

4 メッセージを確認して[▶]キーを押します。

印刷を続けるにはｲﾝｸ
残量検知機能を無効に
する必要があります。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。

◀ 無効にしますか？
しない
する

6 メッセージを確認し、[▶]キーを押します。

ｲﾝｸﾀﾝｸにｲﾝｸが入って
いる事を確認の上、ｲﾝ
ｸ残量検知機能を無効
にしてください。
▶

7 メッセージを確認し、[▶]キーを押します。

ｷﾔﾉﾝはｲﾝｸ補充が原因
となったﾌﾟﾘﾝﾀの故障
については責任を負い
かねます。

8 [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

◀ よろしいですか？
いいえ
はい

9 ディスプレイに、インクの情報の更新を確認するメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

ｲﾝｸ残量検知機能を無
効にします。
履歴を残した上で実
行しますか?
▶

10 [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

インク残量検知機能が無効になります。

エラーメッセージ一覧

GARO Wxxxx(x は数字) 916

インクがありません。 906
インクが不足しています。 906
インク残量が少ないです。 907
インクタンクカバーを閉じてください。 906
インクタンクが空です。 907
インクタンクが装着されていません。 907
インクの残量を正しく検知できません。 906
印刷された出力物を確認してください。 910

上カバーが開いています。 916

エラー Exxx-xxxx(x は英数字) 916

下記のインクタンクが、認識できません。 907
カット紙印刷が指定されています。 901
カット紙印刷が指定されましたが、ロール紙がセットされています。 901
カット紙がありません。 901
紙送り調整できません。 910
紙送り量のリミットに達しました。 903

キャリブレーション マルチセンサが異常です。 917
キャリブレーション　温度･湿度が適応範囲を超えています。 908
キャリブレーションできません。 908
共通キャリブ実行をお勧めします。 908

このデータを印刷するには用紙が足りません。 899
この用紙では実行できません。 908
この用紙はカットできません。 902
この用紙は、対応していないサイズのため使用できません。 899

上記用紙でキャリブレーション実行をお勧めします 909
上記用紙で共通キャリブ実行をお勧めします 909

ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx(x は英数字) 916
ハードディスクにエラーが発生しました。 914

ファイル読み込み失敗 914
ファイルを認識できませんでした。 917
フチなし印刷ができません。 904
フチなし印刷をする時は、プラテン上の青いスイッチを切換えてください。 909
部品交換が近付いています。 917
部品交換目安を過ぎています。 917
プラテン上の青いスイッチ No.xx を右に動かしてください。(xx は数字) 909
プラテン上の青いスイッチが汚れています。 909
プリントヘッド x が異常です。(x は L、R または表示なし) 911
プリントヘッド x が違います。(x は L、R または表示なし) 911
プリントヘッド x を認識できません。(x は L、R または表示なし) 912
プリントヘッドの装着位置(L/R)が違います。 911

ヘッドクリーニングを行ってください。 912
ヘッド調整できません 911

保存ジョブの数が最大です。 914
ボックスに空き容量がないので保存せずに印刷を行っています。 914
ボックスの空き容量がありません。 914
ボックスの空き容量が少ないです。 914
ボックスの保存可能数が最大です。 914

巻き取りエラー 903
巻き取り装置の電源を入れてください。 904
巻き取り装置を使用します。 903
マルチセンサが異常です。 917

メンテナンスカートリッジ 残り容量が少ないです。 913
メンテナンスカートリッジが異常です。 913
メンテナンスカートリッジがいっぱいです。 913
メンテナンスカートリッジが装着されていません。 913
メンテナンスカートリッジが違います。 913
メンテナンスカートリッジの残り容量がありません 913

用紙が小さいです 897
用紙が小さいです。 897
用紙が違います 896
用紙がつまりました。 901
用紙が斜めにセットされています。 901
用紙サイズが伸縮したため､フチなし印刷ができません。 909
用紙サイズを検知できません。 898
用紙種類が違います 896
用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。 904
用紙幅が違います 898
用紙を送ることができません。 902
用紙を検知できません。 902

リリースレバーの位置が不正です。 903

ロール紙印刷が指定されています。 900
ロール紙印刷が指定されましたが､カット紙がセットされています。 900
ロール紙がなくなりました。 900

用紙関連のメッセージ

用紙が違います 896
用紙種類が違います 896
用紙が小さいです 897
用紙が小さいです。 897
用紙幅が違います 898
用紙サイズを検知できません。 898
このデータを印刷するには用紙が足りません。 899
この用紙は、対応していないサイズのため使用できません。 899
この用紙では実行できません。 908

ロール紙印刷が指定されています。 900
ロール紙印刷が指定されましたが、カット紙がセットされています。 900
ロール紙がなくなりました。 900

カット紙がありません。 901
カット紙印刷が指定されています。 901
カット紙印刷が指定されましたが、ロール紙がセットされています。 901

用紙がつまりました。 901
用紙が斜めにセットされています。 901
用紙を検知できません。 902
用紙を送ることができません。 902
この用紙はカットできません。 902
紙送り量のリミットに達しました。 903
リリースレバーの位置が不正です。 903

巻き取りエラー 903
巻き取り装置を使用します。 903
巻き取り装置の電源を入れてください。 904

フチなし印刷ができません。 904
用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。 904

用紙が違います

原因	処置
調整パターンを複数枚のカット紙に印刷する場合に用紙サイズや種類が統一されていません。	調整パターンを印刷する際は、同じサイズと種類の用紙を、調整に必要な枚数用意してください。 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押して、用紙を交換します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.25 印刷が開始されます。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。

用紙種類が違います

原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[一時停止する]に設定されているときに、プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットしてある用紙の種類が合っていません。	以下の手順で、プリンタドライバの用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類を合わせます。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押します。 **2.** プリンタドライバの用紙の種類の設定をプリンタにセットした用紙の種類に変更し、印刷し直します。
	以下の手順で、プリンタドライバの用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類を合わせます。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押します。

原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[一時停止する]に設定されているときに、プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットしてある用紙の種類が合っていません。	2. プリンタにプリンタドライバで指定した種類の用紙をセットし直します。 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.22 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.25
	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
調整パターンを複数枚のカット紙に印刷する場合に、用紙の種類が統一されていません。	調整パターンを印刷する際は、同じ種類の用紙を、調整に必要な枚数用意してください。以下の手順で用紙を交換し、調整し直します。 1. リリースレバーを上げて、印刷を中止します。 2. 用紙を交換します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.25 3. 操作パネルのメニューから再度調整を実行します。
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[警告表示する]に設定されているときに、プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットしてある用紙の種類が合っていません。	印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

用紙が小さいです

原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[一時停止する]または[保留する]に設定されているときに、プリンタドライバで設定した用紙のサイズよりも小さいサイズの用紙がプリンタにセットされています。	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	以下の手順で、プリンタにセットした用紙のサイズに合わせて、プリンタドライバの用紙サイズを設定し直します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 2. プリンタドライバの用紙サイズ設定を、プリンタにセットした用紙のサイズに変更し、印刷し直します。
	以下の手順で、プリンタドライバで設定した用紙サイズに合わせて、プリンタの用紙を交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 2. プリンタドライバで設定した用紙に交換し、印刷し直します。 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.22 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.25
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[警告表示する]に設定されているときに、プリンタドライバで設定した用紙のサイズよりも小さいサイズの用紙がプリンタにセットされています。	印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

用紙が小さいです。

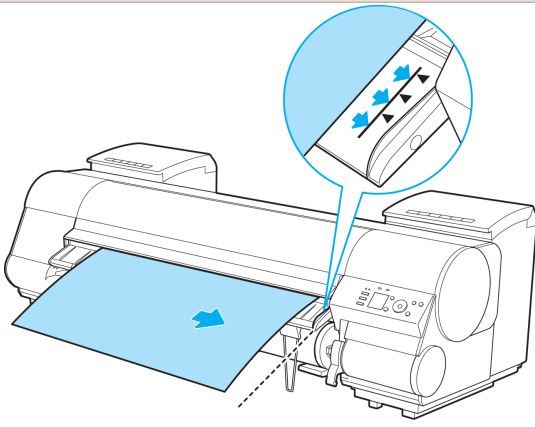
[A4/LTR 縦サイズ以上の用紙に交換してください。]

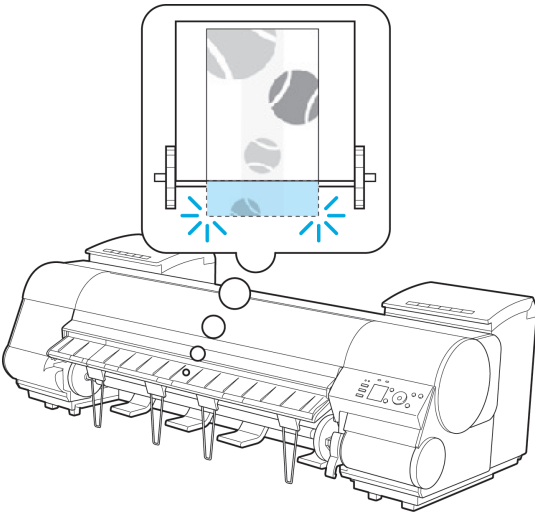
原因	処置
セットされている用紙が小さすぎます。 (テストプリントなどのプリンタ内部データを印刷するとき。)	以下の手順で、A4/レター縦サイズ以上の用紙に交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押して用紙を取り外します。 (「カット紙を取り外す」参照) →P.510 2. A4/レター縦サイズ以上の用紙に交換します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.25 印刷が再開されます。

原因	処置
セットされている用紙が小さすぎます。(テストプリントなどのプリンタ内部データを印刷するとき。)	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。

[10inch 幅以上のロール紙に交換してください。]

原因	処置
セットされている用紙が小さすぎます。(テストプリントなどのプリンタ内部データを印刷するとき。)	以下の手順で、10 インチ幅以上のロール紙に交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押してロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.489 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.492 2. 10 インチ幅以上のロール紙に交換します。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 印刷が再開されます。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。

用紙幅が違います

原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[一時停止する]または[保留する]に設定されているときに、プリンタドライバの[ロール紙の幅に合わせる]で設定したロール紙幅と、プリンタにセットしてあるロール紙の幅が違います。	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。
	以下の手順で、プリンタドライバで設定したロール紙幅の用紙に交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押してロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.489 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.492 2. プリンタドライバで設定した幅の用紙に交換します。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 印刷が開始されます。
	プリンタドライバの[ロール紙の幅に合わせる]を選択したときに表示されるダイアログボックスで設定したロール紙幅と、プリンタにセットする用紙の幅を合わせて印刷し直します。

用紙サイズを検知できません。

原因	処置
用紙のセット位置がずれているか、カールした用紙がセットされています。	リリースレバーを上げて、用紙をセットし直します。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505 ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。

原因	処置
	エラーが発生したページから、印刷が再開されます。
	ロール紙をセットし直しても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンタから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンタにセットしてください。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481
プラテンがインクなどで汚れているので、クリアフィルムのサイズを検知できません。	上カバーを開いて、プラテン全域を清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.851

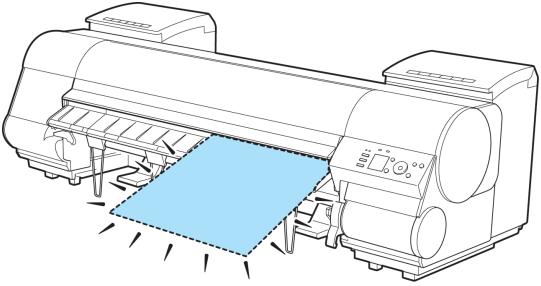
このデータを印刷するには用紙が足りません。

原因	処置
操作パネルのメニューで[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されている場合に、ロール紙の残量よりも長いサイズの印刷ジョブを受信しました。 	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 巻き取り装置を使用している場合は、[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷開始]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、途中でロール紙がなくなり最後まで印刷できない可能性があります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押します。 プリンタドライバの[給紙方法]を変更するか、印刷ジョブが印刷可能な長さの用紙に交換して印刷します。 巻き取り装置を使用している場合は、[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷中止]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 印刷した用紙を巻き取り装置から取り外してから、印刷ジョブが印刷可能な長さの用紙に交換して印刷し直します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.489 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「印刷した用紙を巻き取り装置(オプション)から取り外す」参照) →P.526
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択するか、[ストップ]キーを押して印刷を中止します。

この用紙は、対応していないサイズのため使用できません。

原因	処置
プリンタにセットできるサイズよりも大きな用紙がセットされています。	リリースレバーを上げて、正しいサイズの用紙をセットし直します。 (「用紙のサイズ」参照) →P.474
プリンタにセットできるサイズよりも小さな用紙がセットされています。	リリースレバーを上げて、正しいサイズの用紙をセットし直します。 (「用紙のサイズ」参照) →P.474
調整用パターンやノズルチェックパターンの印刷に必要なサイズよりも小さな用紙がセットされています。	リリースレバーを上げて、A4/レター縦サイズ以上で未使用の用紙をセットし直します。各調整により複数の用紙が必要な場合があります。

ロール紙印刷が指定されています。

原因	処置
ロール紙で印刷しようとしましたが、ロール紙がセットされていません。	[▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押して、ロール紙をセットして印刷します。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択するか、[ストップ]キーを押して印刷を中止します。

ロール紙印刷が指定されましたが、カット紙がセットされています。

原因	処置
カット紙がセットされているときに、ロール紙を指定した印刷ジョブを受信しました。	以下の手順で、ロール紙をセットして印刷します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を取り外す]を選択し、[OK]キーを押してカット紙を取り外します。 (「カット紙を取り外す」参照) →P.510 2. ロール紙をセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 印刷が開始されます。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。

ロール紙がなくなりました。

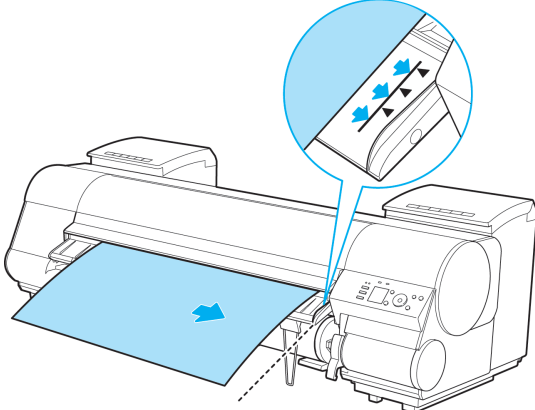
原因	処置
ロール紙がなくなりました。	以下の手順で、使用していたロール紙と同じサイズ、種類のロール紙に交換します。 1. リリースレバーを上げて、ロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.489 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.492 2. 新しいロール紙をセットします。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 3. ロール紙にバーコードが印刷されていない場合は、用紙の種類を選択します。 (「用紙の種類を変更する」参照) →P.487 4. 操作パネルのメニューで[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されていて、ロール紙にバーコードが印刷されていない場合は、用紙の長さを設定します。 (「用紙の長さを設定する」参照) →P.489 5. ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。
ロール紙はありますが、用紙送りに失敗して検知できませんでした。 • ロール紙の後端とロール紙の芯がテープで止められている場合	ロール紙の後端とロール紙の芯がテープで止められているため、搬送が止まっています。 使い終わったロール紙を取り除き、新しいロール紙に交換します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.489 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.492 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.22
ロール紙はありますが、用紙送りに失敗して検知できませんでした。 • ロール紙の未使用部が重いため負荷がかかっている場合	ロール紙の未使用部が重いため負荷がかかり、搬送が止まっています。 印字モードを変更すると紙送りのタイミングが変わるため改善する可能性があります。 プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.57

カット紙がありません。

原因	処置
カット紙が印刷中に外れました。	1. リリースレバーを上げて用紙を取り外します。 2. 用紙をセットし直します。 （「カット紙をプリンタにセットする」参照） →P.505

カット紙印刷が指定されています。

原因	処置
カット紙で印刷しようとしましたが、カット紙がセットされていません。	[▲]キー、[▼]キーを押して[用紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押して、カット紙をセットして印刷します。 （「カット紙をセットして印刷する」参照） →P.25
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択するか、[ストップ]キーを押して印刷を中止します。

カット紙印刷が指定されましたが、ロール紙がセットされています。

原因	処置
ロール紙がセットされている状態で、カット紙印刷のデータを受信しました。	1. [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙を取り外す]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 2. ロール紙を取り外し、プリンタドライバで指定したサイズ/種類のカット紙をセットして印刷し直します。 （「ロール紙をプリンタから取り外す」参照） →P.489 （「カット紙をセットして印刷する」参照） →P.25
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して、印刷を中止します。
ロール紙で巻き取り装置を使用している時に、カット紙印刷のデータを受信しました。	1. [OK]キーを押して印刷を中止します。 2. ロール紙を取り外し、プリンタドライバで指定したサイズ/種類のカット紙をセットして印刷し直します。 （「印刷した用紙を巻き取り装置（オプション）から取り外す」参照） →P.526 （「カット紙をセットして印刷する」参照） →P.25

用紙がつまりました。

原因	処置
印刷中に用紙がプリンタ内部でつまりました。	1. リリースレバーを解除して、つまった用紙を取り除きます。 （「ロール紙のつまりを取り除く」参照） →P.865 （「カット紙のつまりを取り除く」参照） →P.868 2. 用紙をセットします。 （「ロール紙をプリンタにセットする」参照） →P.483 （「カット紙をプリンタにセットする」参照） →P.505 3. ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

用紙が斜めにセットされています。

原因	処置
紙送り中に、用紙が斜めにセットされていることを検知しました。	リリースレバーを上げて、用紙をセットし直します。 （「ロール紙をプリンタにセットする」参照） →P.483

原因	処置
	(「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505 ロール紙をセットし直しても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンタから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンタにセットしてください。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481

重要

- 上記の手順を繰り返してもこのメッセージが表示される場合やこのメッセージを表示したくない場合は、プリンタのメニューの[斜行検知精度]で[オフ]または[ゆるめ]を選択します。ただし、用紙が斜めのまま印刷されるため、紙づまりや印刷結果に不具合が発生したり、プラテンが汚れ、次に印刷するときに用紙の裏が汚れる可能性があります。

用紙を検知できません。

原因	処置
用紙を検知できませんでした。	以下の手順で、用紙をセットし直します。 1. 用紙を取り除いて、[OK]キーを押します。 2. 用紙をセットし直します。 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483

用紙を送ることができません。

原因	処置
給紙時に用紙を正しく送ることができませんでした。	1. リリースレバーを上げて、つまった用紙を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.865 (「カット紙のつまりを取り除く」参照) →P.868 2. 用紙をセットします。 3. リリースレバーを下げます。 4. ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.505

この用紙はカットできません。

原因	処置
カットされた用紙が排紙ガイド上に残っています。	1. リリースレバーを上げて、用紙を取り除きます。 2. 用紙をセットします。 3. リリースレバーを下げます。 4. ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483
排紙口付近に異物があり、カッターユニットがぶつかっています。	1. 上カバーを開けて、異物を取り除きます。 2. ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。

原因	処置
排紙口付近に異物があり、カッターユニットがぶつかっています。	エラーが発生したページから、印刷が再開されます。
用紙の推奨使用環境で使用していません。	用紙の推奨使用環境範囲内で使用します。用紙ごとに推奨使用環境が異なります。推奨使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照)
オートカットに対応していない用紙を使用しています。	1. ロール紙のカット方法を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.496 オートカットの対応については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照) 2. リリースレバーを上げて、用紙を取り除きます。
上記以外の場合、カッターユニットが故障している可能性があります。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

紙送り量のリミットに達しました。

原因	処置
用紙を手動で搬送しようとしましたが、搬送可能な限界位置になりました。	手動の搬送を中止します。 (「ロール紙を手動で送る」参照) →P.493
巻き取り装置を使用しているときは、17mm までしか巻き戻すことができません。	手動の搬送を中止します。

リリースレバーの位置が不正です。

原因	処置
リリースレバーが上がっています。	リリースレバーを下げます。
	このエラーが再び発生する場合は、電源をオフにしてしばらくしてから電源をオンにします。

巻き取りエラー

原因	処置
巻き取り装置のセンサー付近に障害物があり、ロール紙が検知されません。	センサー付近の障害物を取り除きます。
巻き取り装置のセンサーが汚れていて、ロール紙が検知されません。	センサーを乾いた布で乾ぶきします。
ロール紙が巻き取り装置のセンサーの検知範囲から外れています。	ロール紙をセットし直します。 [OK]キーを押すとエラーが解除されます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 (「巻き取り用スプールを巻き取り装置にセットする」参照) →P.521
用紙がつまり、巻き取れなくなりました。	巻き取り装置から用紙を取り除いてください。 [OK]キーを押すとエラーが解除されます。
巻き取り装置のセンサーが壊れています。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

*1: 巻き取り装置関係のエラーが発生すると、印刷が一時停止します。印刷を止めたくない場合は、[巻き取りエラースキップ]を[オン]に設定します。ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

巻き取り装置を使用します。

原因	処置
[設定/調整メニュー]の[巻き取り装置]設定を[使用する]から[使用しない]に変更したが、ロール紙を取り外さないままで印刷データを受信しました。	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷中止]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 [設定/調整メニュー]の[巻き取り装置]設定を[使用する]から[使用しない]に変更した後、リリースレバーを解除してロール紙のセットを外すか、または[用紙カット]を実行すると巻き取りモードから通常モードに移行します。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷開始]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。

巻き取り装置の電源を入れてください。

原因	処置
操作パネルの[ロール紙ランプ]が点灯している状態で[巻き取り装置]の電源がオフのときに、操作パネルのメニューの[巻き取り装置]の設定を[使用する]に変更しました。	巻き取り装置の電源をオンにします。
	操作パネルのメニューの[巻き取り装置]の設定を[使用しない]に変更します。

フチなし印刷ができません。

原因	処置
フチなし印刷に対応していない用紙の種類あるいは紙幅が指定されたデータを受信しました。	以下の手順で、フチなし印刷できるように印刷ジョブを設定し直します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 2. ご使用のプリンタ専用のプリンタドライバが選択されていることを確認し、印刷し直します。 フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照)
	操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]を[警告表示する]に設定している場合は、[検知しない]に設定します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[フチありで印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。
プリンタにセットしてある用紙がフチなし印刷をサポートしていないサイズの用紙です。	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。
	以下の手順で、フチなし印刷できるプリンタの用紙に交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押してロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.489 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.492 2. フチなし印刷できるプリンタの用紙に交換します。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.483 印刷が開始されます。 フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照)
	[▲]キー、[▼]キーを押して[フチありで印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。

用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。

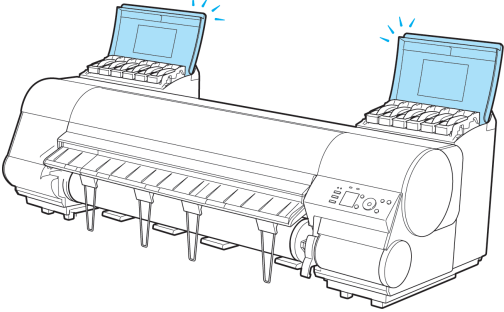
原因	処置
使用環境によってロール紙が伸びたり、縮んだりするため、フチなし印刷可能な幅に入らなくなる場合があります。	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 用紙種類ごとの使用環境範囲内で使用してください。用紙の使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照)
	操作パネルのメニューで[用紙ミスマッチ検知]が[警告表示する]に設定されている場合は、[検知しない]に設定します。 ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
用紙のセット位置がずれています。	[▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、用紙の端部がフチなし印刷インク受け溝の幅に入るようにセットし直します。 ロール紙はロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込みます。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.481
	操作パネルのメニューで[用紙ミスマッチ検知]が[警告表示する]に設定されている場合は、[検知しない]に設定します。

原因	処置
用紙のセット位置がずれています。	ただし､印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	[▲]キー､[▼]キーを押して[フチありで印刷する]を選択し､[OK]キーを押して印刷を続けた場合は､フチのある印刷になります。
	[▲]キー､[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し､[OK]キーを押して印刷を中止します。

インク関連のメッセージ

インクが不足しています。 906
インクがありません。 906
インクの残量を正しく検知できません。 906
インクタンクカバーを閉じてください。 906
インクタンクが空です。 907
インク残量が少ないです。 907
インクタンクが装着されていません。 907
下記のインクタンクが、認識できません。 907

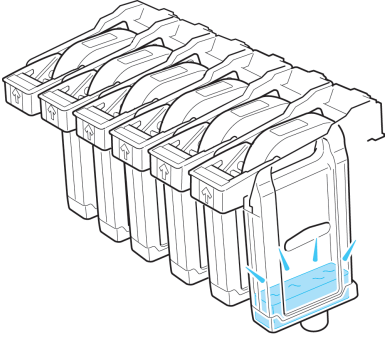
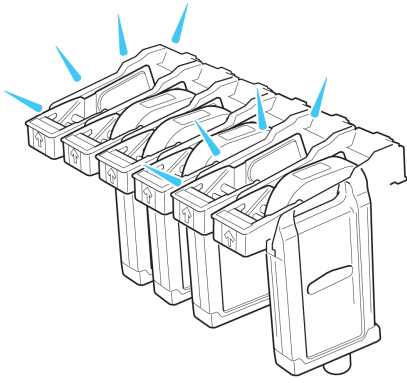
インクが不足しています。

原因	処置
インクの残量が少ないため、プリントヘッドのクリーニングや印刷など、インクを使用する機能が実行できません。 	[OK]キーを押して、残量の少ないインクタンクを新しいインクタンクに交換します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.818

インクがありません。

原因	処置
インクがなくなりました。 インクの残量表示の上部に[×]が表示されている色のインクがありません。	[OK]キーを押してインクタンクカバーを開き、インクが無い色のインクタンクを交換します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.818

インクの残量を正しく検知できません。

原因	処置
インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなります。	インクを補充したインクタンクはそのままでは使用できません。[インク残量検知機能について]を参照し、必要な処置を行ってください。(「インク残量検知機能について」参照) →P.890

インクタンクカバーを閉じてください。

原因	処置
インクタンクカバーが開いています。 	インクタンクカバーを閉めます。

インクタンクが空です。

原因	処置
インクタンクのインクがなくなりました。 インクタブのトップ画面でインクの残量表示の上部に[×]が表示されている色のインクがありません。 (「インクタンクの残量を確認する」参照) →P.828	インクタンクカバーを開き、インクが無い色のインクタンクを交換します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.818

インク残量が少ないです。

原因	処置
インクの残量が少なくなっています。 	新しいインクタンクを準備します。 長尺印刷や多部数の印刷の場合は、残量の少ないインクタンクを新しいインクタンクに交換することをお勧めします。

インクタンクが装着されていません。

原因	処置
インクタンクがセットされていません。 	インクタンクをセットします。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.818
インクタンクにトラブルが発生しました。	新しいインクタンクに交換します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.818

下記のインクタンクが、認識できません。

原因	処置
このプリンタに対応していないインクタンクがセットされています。	プリンタに対応したインクタンクをセットします。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.818

印刷／調整関連のメッセージ

この用紙では実行できません。 908
ヘッド調整できません 911
キャリブレーションできません。 908
キャリブレーション　温度・湿度が適応範囲を超えています。 908
共通キャリブ実行をお勧めします。 908
上記用紙で共通キャリブ実行をお勧めします 909
上記用紙でキャリブレーション実行をお勧めします 909
用紙サイズが伸縮したため、フチなし印刷ができません。 909
フチなし印刷をする時は、プラテン上の青いスイッチを切換えてください。 909
フチなし印刷ができません。 904
プラテン上の青いスイッチが汚れています。 909
プラテン上の青いスイッチ No.xx を右に動かしてください。(xx は数字) 909
紙送り調整できません。 910
印刷された出力物を確認してください。 910

この用紙では実行できません。

原因	処置
カラーキャリブレーションに対応している用紙がセットされていません。	**1.** [OK]キーを押してエラーを解除します。 **2.** カラーキャリブレーションに対応している用紙をセットします。 用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照) プリンタにセットした用紙と、プリンタの用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

キャリブレーションできません。

原因	処置
調整用パターンを印刷するための用紙が汚れています。または色の付いた用紙がセットされています。	[OK]キーを押してエラーを解除します。 カラーキャリブレーションに対応した未使用の用紙をセットします。 (「用紙リファレンスガイド」参照)
印刷した調整用パターンがかすれています。	[OK]キーを押してエラーを解除します。 印刷のかすれを直します。 (「印刷がかすれる」参照) →P.875
直射日光など、強い光がプリンタに当たり、センサが誤動作している可能性があります。	[OK]キーを押してエラーを解除します。 直射日光など、強い光がプリンタに当たらない環境で使用します。

キャリブレーション　温度・湿度が適応範囲を超えています。

原因	処置
プリンタ設置環境の温度または湿度が適応範囲外です。	[▲]キー、[▼]キーを押して[中止]を選択し、[OK]キーを押して、印刷を中止します。 プリンタに適した動作環境で使用してください。また、使用する用紙ごとに用紙の推奨使用環境が異なります。推奨使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照)
	[▲]キー、[▼]キーを押して[続行]を選択し、[OK]キーを押して、カラーキャリブレーションを続行します。ただし、正しく調整されない可能性があります。

共通キャリブ実行をお勧めします。

原因	処置
1度も用紙共通キャリブレーションの実施実績がありません。 ただし、以下の全てが当てはまる場合に表示されます。 • 操作パネルのメニューの[実行案内設定]が[オン]に設定されているとき。	用紙共通キャリブレーションを実行します。 (「プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション」参照) →P.751

原因	処置
• カラーキャリブレーションを実行できない種類の用紙がプリンタにセットされているとき。	操作パネルのメニューの[実行案内設定]を[オフ]にします。 (「メニューの階層」参照) →P.600

上記用紙で共通キャリブ実行をお勧めします

原因	処置
用紙共通キャリブレーションの実行をお勧めする状態になりました。 ただし、操作パネルのメニューの[実行案内設定]が[オン]に設定されていて、以下のいずれかが当てはまる場合に表示されます。 • カラーキャリブレーションを実行できない種類の用紙がプリンタにセットされていて、前回の用紙共通キャリブレーションを実行してから所定の条件に達したとき。 • カラーキャリブレーションを実行できる種類の用紙がプリンタにセットされているが、その用紙でのカラーキャリブレーションの実施実績は無く、前回の用紙共通キャリブレーションを実行してから所定の条件に達したとき。	用紙共通キャリブレーションを実行します。 (「プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション」参照) →P.751
	操作パネルのメニューの[実行案内設定]を[オフ]にします。 (「メニューの階層」参照) →P.600

上記用紙でキャリブレーション実行をお勧めします

原因	処置
用紙個別キャリブレーションの実行をお勧めする状態になりました。 ただし、操作パネルのメニューの[実行案内設定]が[オン]に設定されていて、以下のいずれかが当てはまる場合に表示されます。 • カラーキャリブレーションを実行できる種類の用紙がプリンタにセットされているが、その用紙でのカラーキャリブレーションの実施実績は無く、さらに他の用紙でも用紙共通キャリブレーションの実施実績がないとき。 • カラーキャリブレーションを実行できる種類の用紙がプリンタにセットされていて、その用紙でのカラーキャリブレーションの実施実績があり、前回のカラーキャリブレーションを実行してから所定の条件に達したとき。	用紙個別キャリブレーションを実行します。 (「プリンタのセンサーを使ったカラーキャリブレーション」参照) →P.751
	操作パネルのメニューの[実行案内設定]を[オフ]にします。 (「メニューの階層」参照) →P.600

用紙サイズが伸縮したため、フチなし印刷ができません。

原因	処置
使用環境によって、プリンタにセットしてあるロール紙が伸び縮みしたため、フチなし印刷可能な幅に入らなくなりました。	[OK]キーを押して、印刷を中止します。
	用紙種類ごとの使用環境範囲内で使用してください。用紙の使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照)

フチなし印刷をする時は、プラテン上の青いスイッチを切換えてください。

原因	処置
フチなし印刷用のデータを送信した時に、プラテン上の青いスイッチが●の反対側に設定されています。	フチなしで印刷する場合は、プラテン上の青いスイッチを●側に設定します。 (「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.880

プラテン上の青いスイッチが汚れています。

原因	処置
プラテン上の青いスイッチが汚れています。	上カバーを開けて、プラテン上の青いスイッチを清掃してください。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.851

プラテン上の青いスイッチ No.xx を右に動かしてください。(xx は数字)

原因	処置
印刷中のメンテナンスに必要な箇所のプラテン上の青いスイッチが●の反対側に設定されていることを検知しました。	メッセージで示された番号の、プラテン上の青いスイッチを●側に設定します。 (「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.880

紙送り調整できません。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順を行い、[画質調整]をやり直してください。 1. [OK]キーを押してエラーを解除します。 2. ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べます。（「ノズルのつまりをチェックする」参照） →P.830 3. ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。（「プリントヘッドをクリーニングする」参照） →P.831 4. [画質調整]をやり直します。（「横スジを自動で調整する」参照） →P.735
用紙の送り量を自動で調整できない透過性の高いフィルム系の用紙がセットされています。	[OK]キーを押してエラーを解除し、用紙の送り量を手動で調整します。（「横スジを手動で調整する」参照） →P.736

印刷された出力物を確認してください。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまり始めています。	印刷物がかすれている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。（「プリントヘッドをクリーニングする」参照） →P.831

プリントヘッド関連のメッセージ

ヘッド調整できません 911

プリントヘッドの装着位置(L/R)が違います。 911
プリントヘッド x が違います。(x は L、R または表示なし) 911
プリントヘッド x が異常です。(x は L、R または表示なし) 911
プリントヘッド x を認識できません。(x は L、R または表示なし) 912
ヘッドクリーニングを行ってください。 912

ヘッド調整できません

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順を行い、[ヘッド位置調整]をやり直してください。 1. [OK]キーを押してエラーを解除します。 2. ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べます。(「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.830 3. ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.831 4. [ヘッド位置調整]をやり直します。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728
プリントヘッドの調整ができない、透過性の高いフィルム系の用紙がセットされています。	[OK]キーを押してエラーを解除します。 プリントヘッドを調整する場合は、フィルム系以外の使用頻度が高い用紙で調整することをお勧めします。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する」参照) →P.728

プリントヘッドの装着位置(L/R)が違います。

原因	処置
プリントヘッドの装着位置が違います。	上カバーを開けて、一度右側で使用したプリントヘッドは右側に、左側で使用したプリントヘッドは左側にセットし直してください。

プリントヘッド x が違います。(x は L、R または表示なし)

原因	処置
使用できないプリントヘッドが取り付けられています。	上カバーを開けて、プリントヘッド L と表示された場合はプリントヘッド L、プリントヘッド R と表示された場合はプリントヘッド R、表示なしの場合はプリントヘッド L およびプリントヘッド R を、新しいプリントヘッドに交換します。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.832

プリントヘッド x が異常です。(x は L、R または表示なし)

原因	処置
プリントヘッドに異常があります。	以下の手順で、プリントヘッドを交換してください。 1. 上カバーを開けます。 2. プリントヘッド L と表示された場合はプリントヘッド L、プリントヘッド R と表示された場合はプリントヘッド R、表示なしの場合はプリントヘッド L およびプリントヘッド R を、新しいプリントヘッドに交換します。(「プリントヘッドを交換する」参照) →P.832
	以下の手順で、プリントヘッドを交換してください。 1. 電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れます。 2. 上カバーを開けます。 3. プリントヘッド L と表示された場合はプリントヘッド L、プリントヘッド R と表示された場合はプリントヘッド R、表示なしの場合はプリントヘッド L およびプリントヘッド R を、新しいプリントヘッドに交換します。(「プリントヘッドを交換する」参照) →P.832

プリントヘッドxを認識できません。(xはL、Rまたは表示なし)

原因	処置
プリントヘッドが取り付けられていません。	以下の手順で、プリントヘッドを取り付けます。 **1.** 上カバーを開けます。 **2.** プリントヘッドLと表示された場合はプリントヘッドL、プリントヘッドRと表示された場合はプリントヘッドR、表示なしの場合はプリントヘッドLおよびプリントヘッドRを取り付けます。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.832
プリントヘッドが正しく取り付けられていないため認識できません。	以下の手順で、プリントヘッドを取り付け直します。 **1.** 上カバーを開けます。 **2.** プリントヘッドLと表示された場合はプリントヘッドL、プリントヘッドRと表示された場合はプリントヘッドR、表示なしの場合はプリントヘッドLおよびプリントヘッドRを、取り付け直します。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.832

ヘッドクリーニングを行ってください。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順で、プリントヘッドをクリーニングしてください。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、印刷を中止します。 **2.** プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.831 それでも印刷時にこのメッセージが表示される場合はプリントヘッドを交換してください。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.832
	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	ディスプレイに[OK]と表示された場合は、以下の手順で、プリントヘッドをクリーニングしてください。 **1.** 操作パネルの[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.831 それでも印刷時にこのメッセージが表示される場合はプリントヘッドを交換してください。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.832

メンテナンスカートリッジ関連のメッセージ

メンテナンスカートリッジが装着されていません。 913
メンテナンスカートリッジが違います。 913
メンテナンスカートリッジ 残り容量が少ないです。 913
メンテナンスカートリッジの残り容量がありません 913
メンテナンスカートリッジがいっぱいです。 913
メンテナンスカートリッジが異常です。 913

メンテナンスカートリッジが装着されていません。

原因	処置
メンテナンスカートリッジが取り付けられていません。	メンテナンスカートリッジを取り付けます。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.843

メンテナンスカートリッジが違います。

原因	処置
違う機種のメンテナンスカートリッジが取り付けられました。	ご使用のプリンタ専用のメンテナンスカートリッジと交換してください。 (「メンテナンスカートリッジ」参照) →P.843

メンテナンスカートリッジ 残り容量が少ないです。

原因	処置
メンテナンスカートリッジの残り容量が少なくなってきました。	印刷は続行されますが、メンテナンスカートリッジ交換のメッセージに備えて新しいメンテナンスカートリッジを準備します。

メンテナンスカートリッジの残り容量がありません

原因	処置
プリントヘッドのクリーニングなどを実行するのに十分なメンテナンスカートリッジの残り容量がありません。	プリンタの動作が停止していることを確認し、メンテナンスカートリッジを交換します。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.843

メンテナンスカートリッジがいっぱいです。

原因	処置
メンテナンスカートリッジの残り容量がなくなりました。	プリンタの動作が停止していることを確認し、メンテナンスカートリッジを交換します。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.843

メンテナンスカートリッジが異常です。

原因	処置
使用できない、または使用済みのメンテナンスカートリッジが取り付けられています。	プリンタ指定の未使用のメンテナンスカートリッジを取り付けます。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.843

ハードディスク関連のメッセージ

ハードディスクにエラーが発生しました。 914
ファイル読み込み失敗 914

ボックスの空き容量がありません。 914
ボックスに空き容量がないので保存せずに印刷を行っています。 914
ボックスの空き容量が少ないです。 914

保存ジョブの数が最大です。 914
ボックスの保存可能数が最大です。 914

ハードディスクにエラーが発生しました。

原因	処置
プリンタのハードディスクのフォーマットが壊れました。	[OK]キーを押して、ハードディスクのフォーマットを開始します。フォーマットが完了すると、ハードディスク内のデータが消去され、プリンタは自動的に再起動します。

ファイル読み込み失敗

原因	処置
プリンタのハードディスクのファイルが壊れました。	プリンタの電源を入れ直します。壊れたファイルだけが削除され、プリンタが起動します。

ボックスの空き容量がありません。

原因	処置
プリンタのハードディスクの空き容量がなくなりました。	[ストップ]キーを押して印刷を中止します。
	ジョブキューの印刷ジョブを削除します。 (「ジョブキューを操作する(削除、追い越し印刷)」参照) →P.692
	個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除します。 (「保存したジョブを削除する」参照) →P.700

ボックスに空き容量がないので保存せずに印刷を行っています。

原因	処置
プリンタのハードディスクの空き容量がなくなり、印刷のみ実行しています。(ハードディスクに印刷ジョブは保存されません。)	印刷後、メッセージは消えます。
	個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除します。 (「保存したジョブを削除する」参照) →P.700

ボックスの空き容量が少ないです。

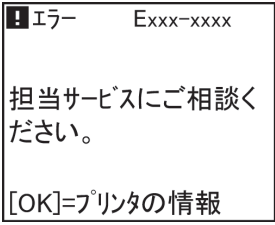
原因	処置
プリンタのハードディスクの個人ボックスの空き容量の合計が 1GB 未満になりました。	個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除します。 (「保存したジョブを削除する」参照) →P.700

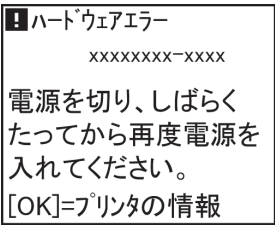
保存ジョブの数が最大です。

原因	処置
個人ボックスに 100 個の印刷ジョブが保存されています。	個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除します。 (「保存したジョブを削除する」参照) →P.700

ボックスの保存可能数が最大です。

原因	処置
個人ボックスに 100 個の印刷ジョブが保存されています。	[ストップ]キーを押して印刷を中止します。
	ジョブキューの印刷ジョブを削除します。 (「ジョブキューを操作する(削除、追い越し印刷)」参照) →P.692
	個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除します。

原因	処置
個人ボックスに 100 個の印刷ジョブが保存されています。	(「保存したジョブを削除する」参照) →P.700

その他のメッセージ

GARO Wxxxx（x は数字） ... 916
エラー Exxx-xxxx（x は英数字） ... 916
ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx（x は英数字） ... 916
上カバーが開いています。 ... 916
部品交換が近付いています。 ... 917
部品交換目安を過ぎています。 ... 917
ファイルを認識できませんでした。 ... 917
キャリブレーション マルチセンサが異常です。 ... 917
マルチセンサが異常です。 ... 917

GARO Wxxxx（x は数字）

原因	処置
印刷ジョブに問題があります。	正しいプリンタドライバを使用して、印刷し直します。
	そのまま印刷が続行されます。 但し、意図通りの印刷結果が得られない場合があります。

エラー Exxx-xxxx（x は英数字）

原因	処置
お客様では対処の出来ないエラーが発生している可能性があります。 エラー　Exxx-xxxx 担当サービスにご相談ください。 [OK]=プリンタの情報	エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx（x は英数字）

原因	処置
印刷中にロール紙がなくなりました。ロール紙の後端とロール紙の芯がテープで止められているため、搬送が止まっています。	電源をオフにして、ロール紙をプリンタから取り外してから電源をオンにしてください。
上カバー内部のテープやベルトストッパが取り外されていません。	電源をオフにして、上カバーを開きテープやベルトストッパを取り外してから電源をオンにしてください。
お客様では対処の出来ないエラーが発生している可能性があります。 ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx 電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。 [OK]=プリンタの情報	電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。再びメッセージが表示される場合は、エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

上カバーが開いています。

原因	処置
上カバーが開いた状態を検知しました。	上カバーを開け、異物などが挟まってる場合は取り除いたあと、上カバーを閉め直します。
	このエラーが再び発生する場合は、電源をオフにしてしばらくしてから電源をオンにします。

部品交換が近付いています。

原因	処置
サービス交換が必要な消耗部品の交換時期が近付いています。	[部品交換目安を過ぎています。]と表示されるまでは、しばらく使用することができます。キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

部品交換目安を過ぎています。

原因	処置
サービス交換が必要な消耗部品の交換時期の目安を過ぎています。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ファイルを認識できませんでした。

原因	処置
プリンタを最新状態にするために送信した用紙情報などのデータ形式が間違っています。	データを確認してください。電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてデータを送信し直します。
違う機種のファームウェアがアップロードされています。	ファームウェアを確認してください。電源を切りしばらくたってから再度電源を入れて、ファームウェアを送信し直します。
	再びメッセージが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

キャリブレーション マルチセンサが異常です。

原因	処置
プリンタ内部のセンサーの一部の性能が低下している可能性があります。	[OK]キーを押して、キャリブレーションを中止してください。キヤノンお客様センターへご連絡ください。

マルチセンサが異常です。

原因	処置
直射日光など、強い光がプリンタに当たり、センサが誤動作している可能性があります。	直射日光など、強い光がプリンタに当たらない環境で使用します。
プリンタ内部のセンサの一部の性能が低下している可能性があります。	電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。 再びメッセージが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

プリンタの仕様

仕様 920
印刷領域 921

仕様

重要

- 使用環境によって、下記の数値と異なる場合があります。

プリンタ

電源		AC 100～240 V(50/60 Hz)	
消費電力	動作時	190W 以下	
	スリープモード時	100～120V:5W 以下	
		220～240V:6W 以下	
	電源オフ時	0.5W 以下(*1)	
稼動音(*2)	音圧レベル	動作時	約 50dB(A)
		待機時	35dB(A)以下
	音響パワーレベル(動作時)		約 6.8Bels
動作環境	温度	15～30℃	
	湿度	10～80%(結露なきこと)	
寸法(幅×奥行×高さ mm)	本体とスタンド(ロールホルダー、バスケットを含む)	1893×975×1144 mm	
質量	本体とスタンド(プリントヘッド、インクタンクを含まない)	約 143kg	
設置面積(幅×奥行×高さ mm)	本体のみ	2293×1675×1500 mm	
関連基準	国際エネルギースタープログラム、グリーン購入法/GPN(日本)、エコマーク(日本)、RoHS		

*1: 電源をオフにした状態でも、若干の電力が消費されます。電力消費量を 0 にする場合は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

*2: 測定方法は ISO7779 に基づいています。動作時の印刷条件は、ドライバの[基本設定]シートで[用紙の種類]を[Canon フォト光沢紙 HG]、[詳細設定モード]の[優先画質]を[写真・イラスト]、[印刷品質]を[標準]に設定しています。

印刷性能

印刷方式	バブルジェット方式
最高解像度	2400 dpi(横) (*1) × 1200 dpi(縦)
プリントヘッド	PF-05×2
ノズル数	各色 2560 ノズル

*1: 最小 1/2400 インチのドット(インク滴)間隔でプリントします。

メモリとハードディスク

メモリ	384MB	
ハードディスク容量	250GB	
	個人ボックス (恒久保存領域)	140GB
保存可能な印刷ジョブ数	共通ボックス	最大 100 個
	個人ボックス	最大 100 個

インタフェース

Hi-Speed USB	形状	本体内蔵
	モード	Full Speed(12 Mbit/sec)、High Speed(480 Mbit/sec)、バルク転送
	コネクタ形状	シリーズB(4ピン)
Gigabit Ethernet	形状	本体内蔵
	規格	IEEE 802.3 10Base-T、 IEEE 802.3u 100Base-TX/Auto-Negotiation、 IEEE 802.3ab 1000Base-T/Auto-Negotiation、 IEEE 802.3x Full Duplex
	プロトコル	IPX/SPX(Netware 4.2(J)、5.1(J)、6.0(J))、SNMP(Canon-MIB 対応)、HTTP、TCP/IP(IPv4/IPv6)、AppleTalk

インク

プリンタに対応するインクについては、「インクタンク」を参照してください。 →P.818

用紙

プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)

用紙幅	プリンタに対応する用紙の幅については、「用紙のサイズ」を参照してください。 →P.474	
最小用紙長さ		203.2 mm
最大印字可能長さ(*1)	ロール紙	18 m
	カット紙	1600 mm
用紙厚さ	ロール紙	0.07〜0.8 mm
	カット紙	0.07〜0.8 mm
ロール紙最大外径		150 mm 以下
対応紙管内径		2インチ / 3インチ
印刷領域	印刷領域については「印刷領域」を参照してください。 →P.921	

*1: OS およびアプリケーションにより異なります。

印刷領域

プリンタは、プリンタにセットされている用紙のサイズに対して、印刷動作のための余白を必要とします。フチなし印刷の場合を除き、用紙のサイズから余白を除いたサイズが実際の印刷領域になります。

メモ

- 印刷可能領域:印刷できる範囲です。
- ロール紙でフチなし印刷した場合は、余白は 0 mm になります。
- 印刷推奨領域:この範囲に印刷することをお勧めします。
- 原稿のサイズと実際の印刷領域を一致させるには、必要な余白を加えたオーバーサイズの用紙サイズを使用して印刷します。(「オーバーサイズの用紙サイズに印刷する」参照) →P.76

	印刷可能領域での余白			印刷推奨領域での余白		
	上端	下端	左右端	上端	下端	左右端
カット紙	5 mm	23 mm	5 mm	20 mm	23 mm	5 mm
ロール紙	0/5 mm	0/5 mm	0/5 mm	20 mm	5 mm	5 mm

カット紙

- 印刷可能領域

  上端 5 mm、下端 23 mm、左右端 5 mm が必要な余白です。

- 印刷推奨領域

  上端 20 mm、下端 23 mm、左右端 5 mm が必要な余白です。

ロール紙

- 印刷可能領域

  上下端 5 mm、左右端 5 mm が必要な余白です。フチなし印刷時には上下左右端の余白は 0 mm になります。フチなし印刷可能な用紙については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照)

  →P.474

- 印刷推奨領域

  上端 20 mm、下端 5 mm、左右端 5 mm が必要な余白です。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために 924
規制について 926

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

設置場所について

警告

- アルコール･シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因になります。

注意

- 不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。周囲の温度が 15～30℃、湿度が 10～80%(結露しないこと)の範囲の場所でお使いください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットなどの上に設置しないでください。プリンタ内部に入り込んで火災の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの回りには物を置かないでください。万一プリンタに異常が起きたとき、すぐに電源コードが抜けないため、火災や感電の原因になることがあります。
- 強い磁気を発生する機器の近くや磁界のある場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因となることがあります。

電源について

警告

- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。差し込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。
- 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。また、同梱されている電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また電源コードに重い物をのせないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線は行わないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりして使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

注意

- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っぱると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- AC100～240V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。なおプリンタの動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。
  電源電圧: 100V
  電源周波数: 50/60Hz

万一異常が起きたら

警告

- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源コードをコンセントから抜いてください。そしてお近くの販売店までご連絡ください。

清掃のときは

警告

- 清掃のときは、水で湿した布を使用してください。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因になります。

注意

- 清掃のときは、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源スイッチを押してしまうと、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

心臓ペースメーカをご使用の方へ

警告

- 本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

プリンタを持ち運ぶときは

注意

- プリンタを持ち運ぶときは、必ず 6 人以上で左右から持ち、腰などを痛めないように注意してください。
- プリンタを持ち運ぶときは、左右底面の運搬用取っ手をしっかりと持ってください。他の場所を持つと不安定になり、落としてけがをする場合があります。

プリントヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジについて

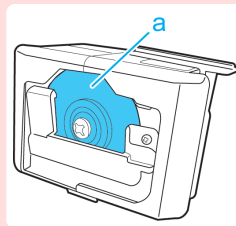
注意

- 安全のため子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。
- インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。
  インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。
  万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリントヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジを落としたり振ったりしないでください。インクが漏れて衣服などを汚すことがあります。
- 印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

その他

警告

- プリンタを分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。
- プリンタの近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気部分に触れて、火災や感電の原因になります。
- カッターユニットの刃(a)の部分に触れないでください。けがの原因になります。

注意

- 印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。内部で部品が動いているため、けがの原因になることがあります。
- プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤(アルコール・シンナーなど)の入った容器を置かないでください。プリンタ内部に落ちたりこぼれたりすると、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、異物(金属片・液体など)がプリンタ内部に入った場合は、プリンタの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くの販売店までご連絡ください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になることがあります。

重要

- インタフェースケーブル類は正しく接続してください。コネクタの向きを間違えて接続すると、故障の原因になります。
- 印刷中は、部屋の換気を行なってください。
- 設置には十分なスペースを確保することをお勧めします。

規制について

商標について

- Canon、Canon ロゴ、imagePROGRAF は、キヤノン株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows は、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標です。
- Macintosh は、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。
- その他、このマニュアルに記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

著作権について

- 製品マニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。

カラープリンタの使用に関する法律について

- 紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
  関連法律 : 刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条 等

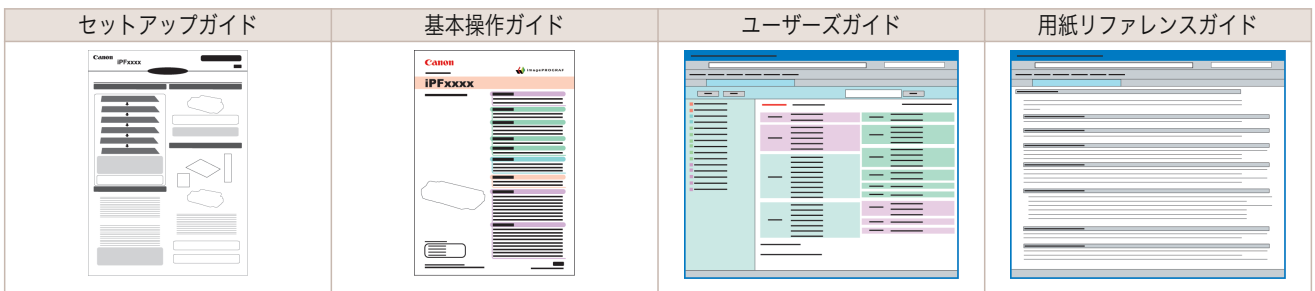
本プリンタのマニュアル

本プリンタのマニュアル 927
この製品マニュアルについて 927

本プリンタのマニュアル

本プリンタのマニュアルには、つぎのものがあります。

名前	内容	形態
セットアップガイド	プリンタの開梱から設置、ソフトウェアと電子マニュアルのインストールの手順が記載されています。	紙マニュアル
基本操作ガイド	プリンタの基本的な使い方について記載されています。	
ユーザーズガイド	プリンタを操作するうえでの詳しい操作方法が記載されています。	電子マニュアル
用紙リファレンスガイド	プリンタで使用できる用紙の種類や仕様が記載されています。	

セットアップガイド	基本操作ガイド	ユーザーズガイド	用紙リファレンスガイド

この製品マニュアルについて

- マークについて

この製品マニュアルでは、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限、注意などの説明に、以下のマークを付けています。

	警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
	注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	重要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。
	メモ	操作の参考となる情報や、特定のテーマに関する補足情報を記載しています。

- ボタン名や画面上の表示項目について

この製品マニュアルでは、操作パネル上のキーやボタンの名称、ソフトウェアの画面上の項目(メニューやボタンなど)を以下のように表しています。

操作パネル上のキー	(例)[OK]キーを押します。
操作パネルのディスプレイの表示	(例)[ヘッドクリーニング]と表示されます。
ソフトウェアの画面上の項目(メニューやボタンなど)	(例)[OK]をクリックします。
キーボード上のキー	(例)<Tab>を押します。

- 参照先について

この製品マニュアルでは、参照していただきたいページやマニュアルを、以下のように表しています。

製品マニュアル内のページへの参照	(例)「電源をオン/オフにする」を参照してください。 →P.21 リンクをクリックすると該当のページにジャンプします。
関連するマニュアルへの参照	(例)用紙リファレンスガイドを参照してください。

付録
本プリンタのマニュアル
927

その他への参照	(例)プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- イラストやソフトウェアの画面について
  - この製品マニュアルで使われている機種のイラストは、実際の機種と異なる場合があります。
  - この製品マニュアルで使われているプリンタドライバやアプリケーションソフトの画面は、ソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際と異なる場合があります。
- お客様へご承知いただきたいこと
  - 製品マニュアルに記載した内容は、予告なしに変更する場合があります。
  - 製品マニュアルの内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

このマニュアルの使い方

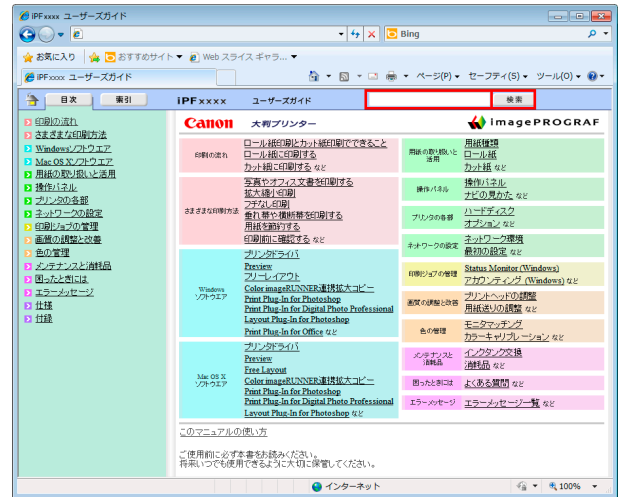
トピック検索について 929
印刷用 HTML について 930

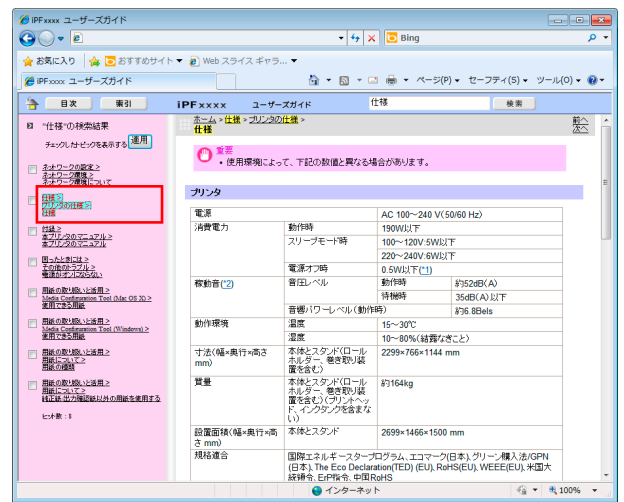
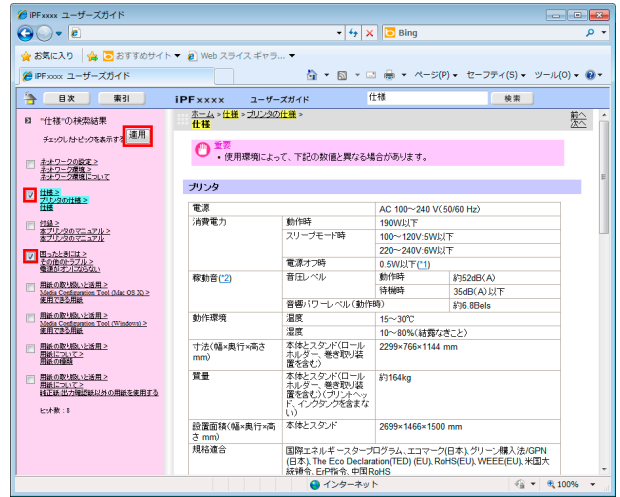
トピック検索について

この製品マニュアルでは、用語からトピックを検索できます。

1 用語を入力して、[検索]ボタンをクリックします。

メモ

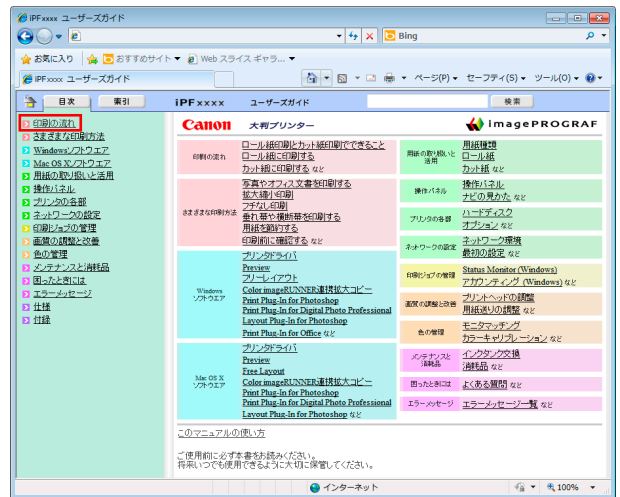
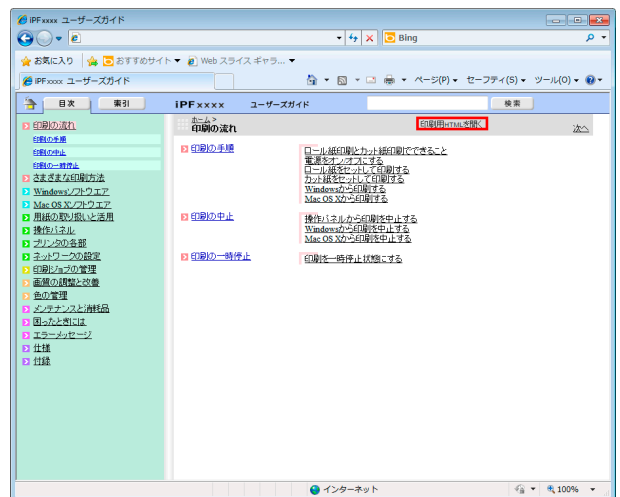
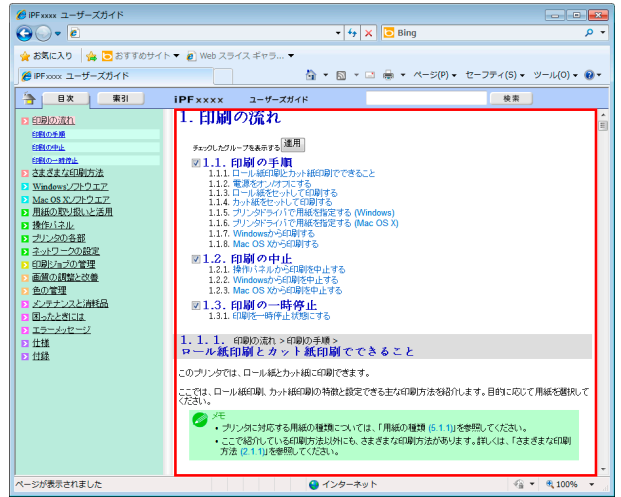
- 複数の用語で検索する場合は、用語と用語の間にスペースを入力してください。

左フレームに検索結果が表示されます。

2 確認したいトピックをクリックします。
検索した用語がマーカ表示されます。

複数のトピックを同時に確認したい場合は、確認したいトピックのチェックボックスをクリックし、[適用]ボタンをクリックします。

印刷用 HTML について

この製品マニュアルでは、目次の項目ごとにまとめて印刷したり、小項目を指定して印刷したりできます。
ここでは、[印刷の流れ]に関する内容を例に説明します。

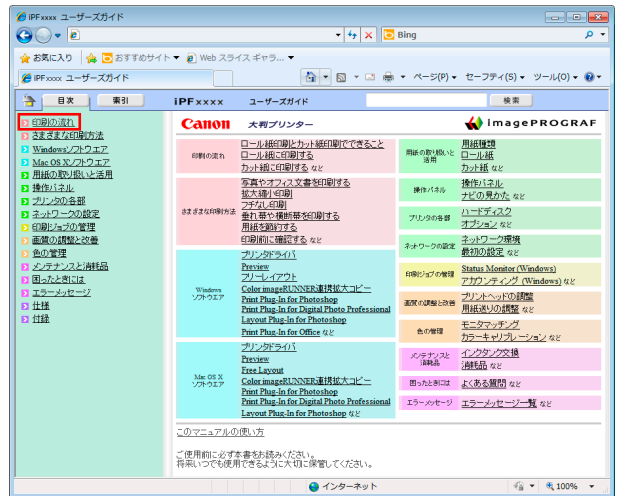
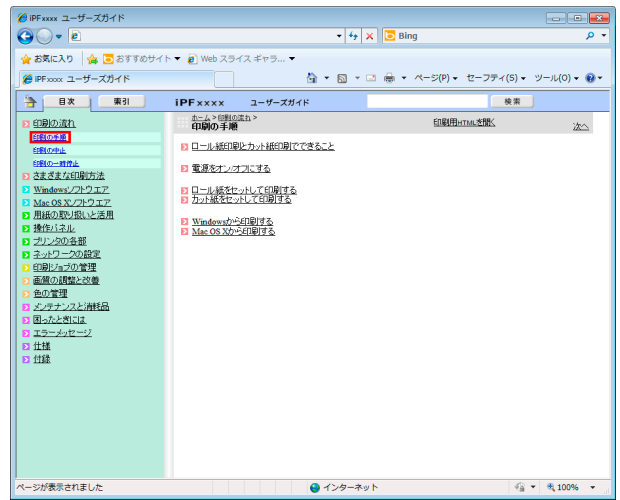
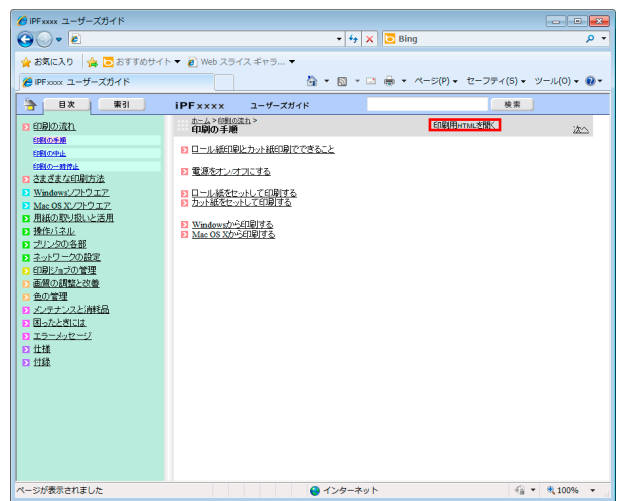
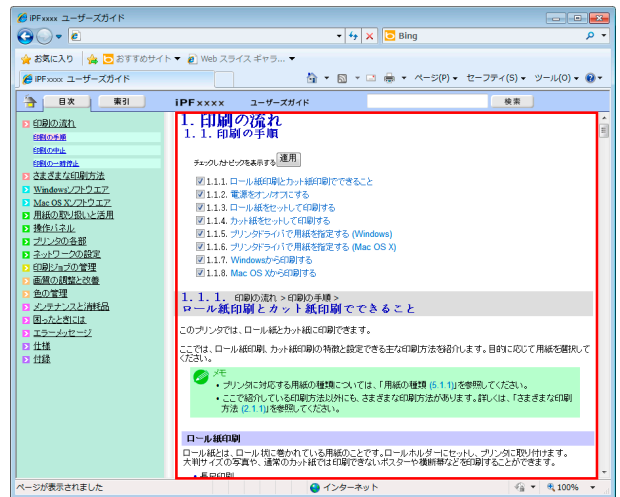
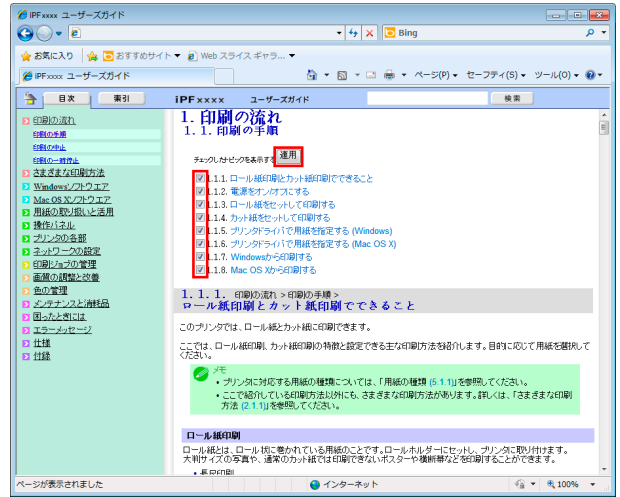
印刷する項目をまとめて指定する

目次の大項目のタイトルから印刷用 HTML を開くと、印刷したい項目をまとめて指定できます。

1. 目次の大項目、ここでは[印刷の流れ]をクリックします。

2. タイトル部分に表示される[印刷用 HTML を開く]をクリックします。

[印刷の流れ]内の項目をまとめた、印刷用の HTML が表示されます。

3 印刷しない項目のチェックを外し、[適用]ボタンをクリックします。

印刷する項目を小項目ごとに指定する

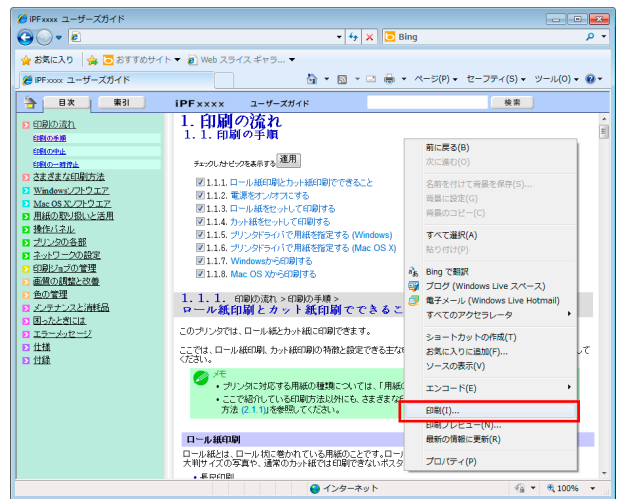
目次の中項目のタイトルから印刷用 HTML を開くと、印刷したい小項目ごとに指定できます。

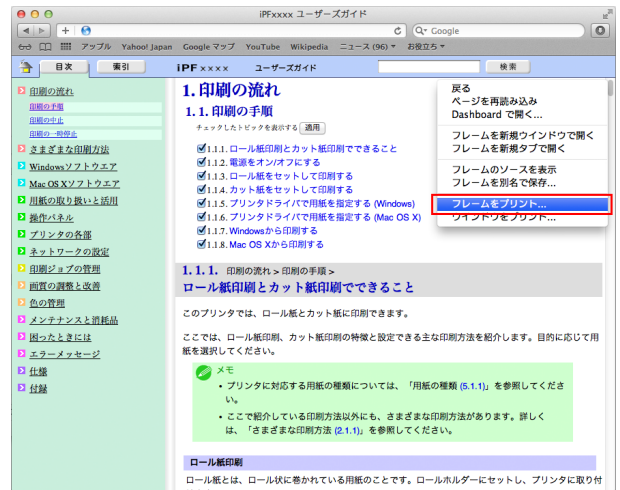
1 目次の大項目、ここでは[印刷の流れ]をクリックします。

2 [印刷の流れ]の下の項目、ここでは[印刷の手順]をクリックします。

3 タイトル部分に表示される[印刷用 HTML を開く]をクリックします。

[印刷の手順]内の項目をまとめた、印刷用の HTML が表示されます。

4 印刷しない項目のチェックを外し、[適用]ボタンをクリックします。

指定した項目を印刷する

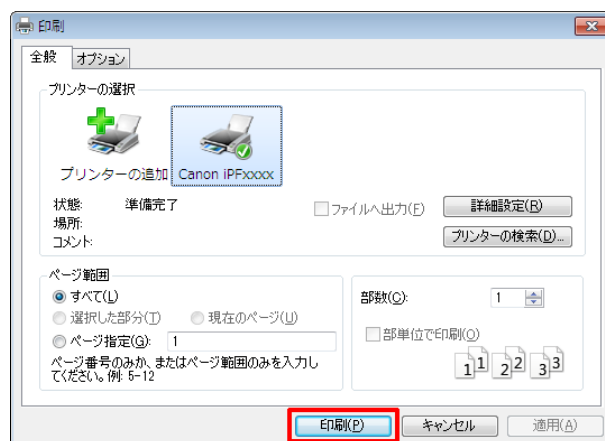
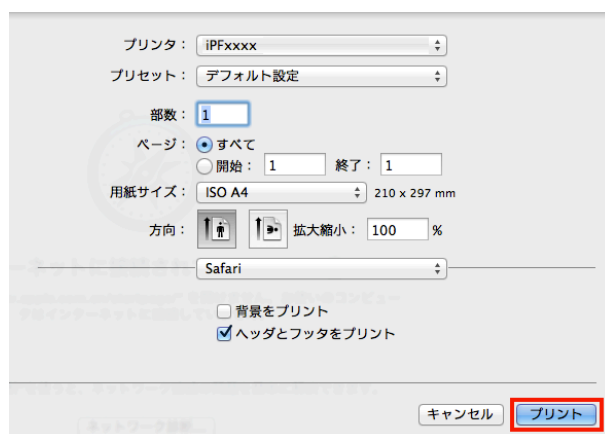
以下の方法で、指定した項目を印刷します。

1 お使いの OS に合わせて、以下の手順で印刷ダイアログボックスを開きます。

- Windows の場合

  Windows では、この説明の部分で画像やリンク以外の場所を右クリックし、[印刷]を選択して[印刷]ダイアログボックスを開きます。

- Macintosh の場合

  Macintosh では、この説明の部分で画像やリンク以外の場所を、Control キーを押しながらクリックし、表示されたメニューから[フレームをプリント]を選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

2 必要な条件を設定して、[印刷](Windows)または[プリント](Macintosh)をクリックします。

- Windows の場合

- Macintosh の場合

メモ

- 表示されている各説明の部分だけを印刷するには、この方法で印刷してください。

索引

9

90 度回転 134, 135, 193, 369

A

Adobe RGB 40, 43, 262, 448
AppleTalk ネットワーク 660, 662

B

Bonjour ネットワーク 659, 886

C

Color Calibration Management Console 757, 788, 794
Color imageRUNNER 連携拡大コピー 219, 220, 399, 400

D

Device Setup Utility 668
Digital Photo Front-Access 323

G

GARO Wxxxx(x は数字) 916

I

IP アドレスを設定 643, 644, 668

N

NetWare ネットワーク 650, 655, 885
NetWare プリントサービス 653

P

Photoshop で印刷 40
PosterArtist 48

あ

アカウンティング 676, 677, 680, 681, 684

い

異常音 889
色調整 169, 174, 358, 381
インク乾燥時間 494
インク残量検知機能 890
インクタンクの交換時期 828
インクタンクの残量を確認 828
インクタンクを交換 818
インクの残量 906
印刷ジョブを保存 707
印刷できない 885, 886
印刷の設定 159, 329
印刷領域 921
印刷を中止 28, 29
インタフェース 617

う

上カバー内部を清掃 851

え

エラーメッセージ 874

お

横断幕 98, 102, 301, 312
送り量 734, 738, 903
オーバーサイズ 76

か

カッターユニットを交換 839
カット紙印刷 20, 901
カット紙をセットして印刷 25
カット紙を取り外す 510
紙送り調整 910
カラーキャリブレーション 751, 753, 770, 772, 787, 800, 801, 815
カラーチェック 780, 809
カラーマッチング 261, 447

き

吸着力 740

こ

交換時期 850
後端余白 877
個人ボックス 709, 712

し

出力方法 179
処理オプション 183, 321
仕様 920
自動配置 211, 395

す

スタンプ 144, 145
ステータスプリント 614

た

垂れ幕 98, 102, 301, 312

ち

中央に印刷 125, 127, 129, 131, 196, 368
長尺印刷 98, 102

つ

つまりを取り除く 865, 868

て

定形外の用紙 105, 107

電源 21, 889, 904

な

ナビ 593

ね

ネットワーク環境 638

の

ノズル 830

は

ハードウェアエラー 916
ハードディスク関連の機能一覧 631
バスケットを収納 517
バスケットを使用 513

ふ

フリーレイアウト 198, 200
フレームタイプ 650
分割して印刷 122
プリンタドライバで色を調整 51
プリンタドライバで用紙を指定 34, 157, 327
プリンタドライバの設定項目 156, 326
プリンタドライバを削除 887
プリンタの外装を清掃 851
プリンタのメニュー 596
プリンタの輸送の準備 855
プリントヘッド 728, 731, 830, 831, 832, 875, 911, 912

へ

ヘッドクリーニング 912

ほ

保存したジョブを印刷 696
保存したジョブを削除 700

ま

巻き取りエラー 903
巻き取り装置 519, 521, 526, 629, 635, 871, 903, 904

め

メニューの階層 600
メニューを操作する 597
メンテナンスカートリッジ 843, 849, 850, 889, 913

ゆ

ユーザ用紙設定 180, 252, 438

よ

用紙の種類を選択 34

り

リモート UI 641, 647, 655

ろ

ロール紙印刷 20, 900
ロールホルダー 481, 492, 635